

2021年度

星槎道都大学

授業計画（シラバス）



目次

1101000	こころの科学	吉澤 英里	4 Q	・ ・ ・	1
1102000	倫理学入門	遠藤 均	1 Q	・ ・ ・	3
1103000	哲学入門	遠藤 均	1 Q	・ ・ ・	5
1104001	北海道誌 (S)	渡部 斎	3 Q	・ ・ ・	7
1201001	法学入門 (M・D・A)	青山 浩之	2 Q	・ ・ ・	9
1201002	法学入門 (S)	大倉 司	2 Q	・ ・ ・	11
1202001	社会学入門 (M)	山本 一彦	3 Q	・ ・ ・	13
1202002	社会学入門 (S・D・A)	松下 守邦	3 Q	・ ・ ・	15
1203000	経済学入門	小林 大州介	4 Q	・ ・ ・	17
1204000	政治学入門	金子 敏也	2 Q	・ ・ ・	19
1205000	日本の歴史	牧之内 友	1 Q	・ ・ ・	21
1206100	日本国憲法	青山 浩之	2 Q	・ ・ ・	23
1207000	外国の歴史	横田 肇	3 Q	・ ・ ・	25
1208000	日本事情 (留学生)	佐藤 恵利	3 Q	・ ・ ・	27
1302000	自然と環境	井坂 肇	4 Q	・ ・ ・	29
1304001	数学入門 (1年生)	横山 哲也	4 Q	・ ・ ・	31
1304002	数学入門 (2年生)	横山 哲也	4 Q	・ ・ ・	33
1305001	統計学入門 (M-1年次)	伊藤 裕康	3 Q	・ ・ ・	35
1305002	統計学入門 (SDA-1年次)	伊藤 裕康	3 Q	・ ・ ・	37
1305003	統計学入門 (M-2年次)	伊藤 裕康	3 Q	・ ・ ・	39
1305004	統計学入門 (SDA-2年次)	伊藤 裕康	3 Q	・ ・ ・	41
1308000	環境学入門	吉田 淳一	3 Q	・ ・ ・	43
2101001	情報基礎演習 (M-1)	由水 伸	前期	・ ・ ・	45
2101002	情報基礎演習 (M-2)	由水 伸	前期	・ ・ ・	47
2101003	情報基礎演習 (M-3)	由水 伸	前期	・ ・ ・	49
2101004	情報基礎演習 (M-4)	由水 伸	前期	・ ・ ・	51
2101005	情報基礎演習 (S-1)	近澤 潤	前期	・ ・ ・	53
2101006	情報基礎演習 (D-1)	近澤 潤	前期	・ ・ ・	55
2101007	情報基礎演習 (A-1)	近澤 潤	前期	・ ・ ・	57
2101044	情報基礎演習 (S-2)	近澤 潤	前期	・ ・ ・	59
2101055	情報基礎演習 (D-2)	近澤 潤	前期	・ ・ ・	61
2102001	情報基礎演習 (M-1)	由水 伸	後期	・ ・ ・	63
2102002	情報基礎演習 (M-2)	由水 伸	後期	・ ・ ・	65
2102003	情報基礎演習 (M-3)	由水 伸	後期	・ ・ ・	67
2102004	情報基礎演習 (M-4)	由水 伸	後期	・ ・ ・	69
2102005	情報基礎演習 (S-1)	近澤 潤	後期	・ ・ ・	71
2102006	情報基礎演習 (D-1)	近澤 潤	後期	・ ・ ・	73
2102007	情報基礎演習 (A-1)	近澤 潤	後期	・ ・ ・	75
2102044	情報基礎演習 (S-2)	近澤 潤	後期	・ ・ ・	77
2102055	情報基礎演習 (D-2)	近澤 潤	後期	・ ・ ・	79
3101101	基礎英語 (M-1)	信濃 吉彦	2 Q	・ ・ ・	81
3101102	基礎英語 (M-2)	岡島 徳昭	2 Q	・ ・ ・	83
3101103	基礎英語 (M-3)	石田 暁子	2 Q	・ ・ ・	85
3101104	基礎英語 (M-4)	井坂 肇	2 Q	・ ・ ・	87
3101105	基礎英語 (SDA-1)	西崎 毅	1 Q	・ ・ ・	89
3101106	基礎英語 (SDA-2)	宮嶋 達也	1 Q	・ ・ ・	91
3101107	基礎英語 (SDA-3)	横田 肇	1 Q	・ ・ ・	93
3101108	基礎英語 (SDA-4)	1 Q		・ ・ ・	95
3101109	基礎英語 (SDA-5)	1 Q		・ ・ ・	97
3101110	基礎英語 (遠隔留学生用)		後期	・ ・ ・	99
3101111	基礎英語 (SDA-6)	井坂 肇	1 Q	・ ・ ・	101
3102101	基礎英語 (M-1)	信濃 吉彦	4 Q	・ ・ ・	103
3102102	基礎英語 (M-2)	岡島 徳昭	4 Q	・ ・ ・	105
3102103	基礎英語 (M-3)	石田 暁子	4 Q	・ ・ ・	107
3102104	基礎英語 (M-4)	井坂 肇	3 Q	・ ・ ・	109
3102105	基礎英語 (SDA-1)	西崎 毅	3 Q	・ ・ ・	111
3102106	基礎英語 (SDA-2)	宮嶋 達也	3 Q	・ ・ ・	113
3102107	基礎英語 (SDA-3)	横田 肇	3 Q	・ ・ ・	115
3102108	基礎英語 (SDA-4)	3 Q		・ ・ ・	117
3102109	基礎英語 (SDA-5)	3 Q		・ ・ ・	119
3102110	基礎英語 (遠隔留学生用)		後期	・ ・ ・	121
3102111	基礎英語 (SDA-6)	井坂 肇	3 Q	・ ・ ・	123
3103101	英語入門 (M)	石田 暁子	2 Q	・ ・ ・	125
3103102	英語入門 (S)	横田 肇	2 Q	・ ・ ・	127
3103103	英語入門 (D・A)	宮嶋 達也	2 Q	・ ・ ・	129
3104101	英語入門 (M)	石田 暁子	4 Q	・ ・ ・	131
3104102	英語入門 (S)	横田 肇	4 Q	・ ・ ・	133
3104103	英語入門 (D・A)	宮嶋 達也	4 Q	・ ・ ・	135
3201101	トイ語入門 (M)	河田 一郎	1 Q	・ ・ ・	137
3201102	トイ語入門 (S・D・A)	河田 一郎	1 Q	・ ・ ・	139
3202101	トイ語入門 (M)	河田 一郎	4 Q	・ ・ ・	141
3202102	トイ語入門 (S・D・A)	河田 一郎	4 Q	・ ・ ・	143
3203100	中国語入門	村山 豊	2 Q	・ ・ ・	145
3204100	中国語入門	村山 豊	4 Q	・ ・ ・	147
3301001	外国語コミュニケーション (M)	岡島 徳昭	4 Q	・ ・ ・	149

3301002	外国語コミュニケーション(S)	信濃 吉彦	4 Q	151
3301003	外国語コミュニケーション(D・A)	宮嶋 達也	4 Q	153
3401000	日本語(留学生)	高橋 真弥	2 Q	155
3401100	上級日本語(留学生)	竜野 征一郎	2 Q	157
3401200	上級日本語(留学生)	竜野 征一郎	4 Q	159
3401300	上級日本語(留学生)	竜野 征一郎	1 Q	161
3401400	上級日本語(留学生)	竜野 征一郎	3 Q	163
3402000	日本語(留学生)	佐藤 恵利	4 Q	165
3403000	日本語(留学生)	佐藤 恵利	2 Q	167
3404000	日本語(留学生)	佐藤 恵利	4 Q	169
4101001	基礎総合(M-A1)	中川 純二	前期	171
4101002	基礎総合(M-B2)	石井 祐治	前期	173
4101003	基礎総合(M-C3)	佐藤 和裕	前期	175
4101004	基礎総合(S-A1)	三嶋 康嗣	前期	177
4101005	基礎総合(D-A1)	三嶋 康嗣	前期	179
4101006	基礎総合(A-1)	小山 尋明	前期	181
4101044	基礎総合(S-B1)	市原 英	前期	183
4101055	基礎総合(D-B1)		前期	185
4101090	基礎総合(遠隔留学生用)	佐藤 和裕	前期	187
4102001	健康科学(M)	米野 宏	3 Q	189
4102002	健康科学(S)	尾西 則昭	4 Q	191
4102003	健康科学(D)	市原 英	4 Q	193
4102004	健康科学(A)	三嶋 康嗣	4 Q	195
4102005	健康科学(遠隔留学生)	米野 宏	4 Q	197
4102033	健康科学(D-B)		4 Q	199
6101062	基礎ゼミA		前期	201
6101063	基礎ゼミA	戸佐 晃一	前期	203
6101064	基礎ゼミA	米野 宏	前期	205
6101065	基礎ゼミA	佐藤 和裕	前期	207
6101066	基礎ゼミA	伴 秀実	前期	209
6101067	基礎ゼミA	中川 純二	前期	211
6101068	基礎ゼミA	三嶋 康嗣	前期	213
6101069	基礎ゼミA	井坂 肇	前期	215
6101070	基礎ゼミA	近澤 潤	前期	217
6101071	基礎ゼミA	田畑 圭悟	前期	219
6101072	基礎ゼミA	篠原 諒介	前期	221
6101073	基礎ゼミA	渡部 斎	前期	223
6101074	基礎ゼミA	杉本 大輔	前期	225
6101075	基礎ゼミA	横田 肇	前期	227
6101076	基礎ゼミA	櫻井 美帆子	前期	229
6101077	基礎ゼミA	湯浅 頼佳	前期	231
6101078	基礎ゼミA	尾西 則昭	前期	233
6101079	基礎ゼミA	西崎 毅	前期	235
6101080	基礎ゼミA	堀川 厚志	前期	237
6101081	基礎ゼミA	小山 尋明	前期	239
6101082	基礎ゼミA	宮嶋 達也	前期	241
6101083	基礎ゼミA	横山 哲也	前期	243
6101084	基礎ゼミA	長森 正	前期	245
6101085	基礎ゼミA	向井 正伸	前期	247
6101091	基礎ゼミA(再)	渡部 斎	前期	249
6102062	基礎ゼミB	河田 一郎	後期	251
6102063	基礎ゼミB	戸佐 晃一	後期	253
6102064	基礎ゼミB	米野 宏	後期	255
6102065	基礎ゼミB	佐藤 和裕	後期	257
6102066	基礎ゼミB	伴 秀実	後期	259
6102067	基礎ゼミB	中川 純二	後期	261
6102068	基礎ゼミB	三嶋 康嗣	後期	263
6102069	基礎ゼミB	井坂 肇	後期	265
6102070	基礎ゼミB	近澤 潤	後期	267
6102071	基礎ゼミB	田畑 圭悟	後期	269
6102072	基礎ゼミB	篠原 諒介	後期	271
6102073	基礎ゼミB	渡部 斎	後期	273
6102074	基礎ゼミB	杉本 大輔	後期	275
6102075	基礎ゼミB	横田 肇	後期	277
6102076	基礎ゼミB	櫻井 美帆子	後期	279
6102077	基礎ゼミB	湯浅 頼佳	後期	281
6102078	基礎ゼミB	尾西 則昭	後期	283
6102079	基礎ゼミB	西崎 毅	後期	285
6102080	基礎ゼミB	堀川 厚志	後期	287
6102081	基礎ゼミB	宮嶋 達也	後期	289
6102082	基礎ゼミB	小山 尋明	後期	291
6102083	基礎ゼミB	横山 哲也	後期	293
6102084	基礎ゼミB	長森 正	後期	295
6102085	基礎ゼミB	向井 正伸	後期	297
6102091	基礎ゼミB	河田 一郎	後期	299
6103062	基礎ゼミA	河田 一郎	前期	301
6103063	基礎ゼミA	戸佐 晃一	前期	303
6103064	基礎ゼミA	米野 宏	前期	305
6103065	基礎ゼミA	佐藤 和裕	前期	307
6103066	基礎ゼミA	伴 秀実	前期	309

6103067	基礎ゼミ	ミナル	A	中川 純二	前期	311
6103068	基礎ゼミ	ミナル	A	三嶋 康嗣	前期	313
6103069	基礎ゼミ	ミナル	A	井坂 肇	前期	315
6103070	基礎ゼミ	ミナル	A	近澤 潤	前期	317
6103071	基礎ゼミ	ミナル	A	田畑 圭悟	前期	319
6103072	基礎ゼミ	ミナル	A	篠原 諒介	前期	321
6103073	基礎ゼミ	ミナル	A	渡部 斎	前期	323
6103074	基礎ゼミ	ミナル	A	杉本 大輔	前期	325
6103075	基礎ゼミ	ミナル	A	横田 肇	前期	327
6103076	基礎ゼミ	ミナル	A	櫻井 美帆子	前期	329
6103077	基礎ゼミ	ミナル	A	湯浅 頼佳	前期	331
6103078	基礎ゼミ	ミナル	A	尾西 則昭	前期	333
6103079	基礎ゼミ	ミナル	A	西崎 毅	前期	335
6103080	基礎ゼミ	ミナル	A	堀川 厚志	前期	337
6103081	基礎ゼミ	ミナル	A	小山 尋明	前期	339
6103082	基礎ゼミ	ミナル	A	宮嶋 達也	前期	341
6103083	基礎ゼミ	ミナル	A	横山 哲也	前期	343
6103084	基礎ゼミ	ミナル	A	長森 正	前期	345
6103085	基礎ゼミ	ミナル	A	向井 正伸	前期	347
6103093	基礎ゼミ	ミナル	A	(再) 河田 一郎	前期	349
6104061	基礎ゼミ	ミナル	B	後期		351
6104062	基礎ゼミ	ミナル	B	河田 一郎	後期	353
6104063	基礎ゼミ	ミナル	B	戸佐 晃一	後期	355
6104064	基礎ゼミ	ミナル	B	米野 宏	後期	357
6104065	基礎ゼミ	ミナル	B	佐藤 和裕	後期	359
6104066	基礎ゼミ	ミナル	B	伴 秀実	後期	361
6104067	基礎ゼミ	ミナル	B	中川 純二	後期	363
6104068	基礎ゼミ	ミナル	B	三嶋 康嗣	後期	365
6104069	基礎ゼミ	ミナル	B	井坂 肇	後期	367
6104070	基礎ゼミ	ミナル	B	近澤 潤	後期	369
6104071	基礎ゼミ	ミナル	B	田畑 圭悟	後期	371
6104072	基礎ゼミ	ミナル	B	篠原 諒介	後期	373
6104073	基礎ゼミ	ミナル	B	渡部 斎	後期	375
6104074	基礎ゼミ	ミナル	B	杉本 大輔	後期	377
6104075	基礎ゼミ	ミナル	B	横田 肇	後期	379
6104076	基礎ゼミ	ミナル	B	櫻井 美帆子	後期	381
6104077	基礎ゼミ	ミナル	B	湯浅 頼佳	後期	383
6104078	基礎ゼミ	ミナル	B	尾西 則昭	後期	385
6104079	基礎ゼミ	ミナル	B	西崎 毅	後期	387
6104080	基礎ゼミ	ミナル	B	堀川 厚志	後期	389
6104081	基礎ゼミ	ミナル	B	小山 尋明	後期	391
6104082	基礎ゼミ	ミナル	B	宮嶋 達也	後期	393
6104083	基礎ゼミ	ミナル	B	横山 哲也	後期	395
6104084	基礎ゼミ	ミナル	B	長森 正	後期	397
6104085	基礎ゼミ	ミナル	B	向井 正伸	後期	399
6114100	文章表現演習			(日本語論述技術(留))	津田 昭彦 4Q	401
6115100	文章表現演習			津田 昭彦 2Q		403
6200501	スタートアップ演習	(M)		青山 浩之	前期	405
6200502	スタートアップ演習	(S)		渡部 斎	前期	407
6200503	スタートアップ演習	(D)		北嶋 洋一	前期	409
6200504	スタートアップ演習	(A)		伊藤 裕康	前期	411
6200601	文章表現演習	(M)		津田 昭彦	3Q	413
6200602	文章表現演習	(S)		津田 昭彦	2Q	415
6200603	文章表現演習	(D)		津田 昭彦	4Q	417
6200604	文章表現演習	(A)		津田 昭彦	4Q	419
6200605	文章表現演習			(留学生用)	4Q	421
6203001	キャリアデザイン	(M)		後藤 哲	2Q	423
6203002	キャリアデザイン	(S・D・A)		山本 一彦	2Q	425
6204000	キャリアデザイン			青山 浩之	3Q	427
6209101	キャリア支援演習	(M)		遠藤 均	前期	429
6209102	キャリア支援演習	(S)		横田 肇	前期	431
6209103	キャリア支援演習	(D)		北嶋 洋一	前期	433
6209104	キャリア支援演習	(A)		横山 哲也	前期	435
6210101	キャリア支援演習	(M)		鈴木 重政	後期	437
6210102	キャリア支援演習	(S)		大島 康雄	後期	439
6210103	キャリア支援演習	(D)		林 春生	後期	441
6210104	キャリア支援演習	(A)		長森 正	後期	443
6211201	キャリア支援演習	(M)		(資格取得・コンクール等支援)	河野 善文 後期集中	445
6211202	キャリア支援演習	(S)		(資格取得・コンクール等支援)	西崎 毅 後期集中	447
6211203	キャリア支援演習	(D)		(資格取得・コンクール等支援)	林 春生 後期集中	449
6211204	キャリア支援演習	(A)		(資格取得・コンクール等支援)	伊藤 裕康 後期集中	451
6212201	キャリア支援演習	(M)		(就活等支援)	鈴木 重政 後期	453
6212202	キャリア支援演習	(S)		(就活等支援)	大島 康雄 後期	455
6212203	キャリア支援演習	(D)		(就活等支援)	林 春生 後期	457
6212204	キャリア支援演習	(A)		(就活等支援)	長森 正 後期	459
6213101	キャリア支援演習	(M)		(その他支援)	河野 善文 後期集中	461
6213102	キャリア支援演習	(S)		(その他支援)	西崎 毅 後期集中	463
6213103	キャリア支援演習	(D)		(その他支援)	林 春生 後期集中	465
6213104	キャリア支援演習	(A)		(その他支援)	伊藤 裕康 後期集中	467
6220001	インターシップ	(M)		河野 善文	後期集中	469

6220002	インターシップ	(S)	小早川 俊哉 後期集中	471
6220003	インターシップ	(D)	林 春生 後期集中	473
6220004	インターシップ	(A)	伊藤 裕康 後期集中	475
6221001	インターシップ	(M)	河野 善文 後期集中	477
6221002	インターシップ	(S)	小早川 俊哉 後期集中	479
6221003	インターシップ	(D)	林 春生 後期集中	481
6221004	インターシップ	(A)	伊藤 裕康 後期集中	483
6222001	インターシップ	(M)	河野 善文 後期集中	485
6222002	インターシップ	(S)	小早川 俊哉 後期集中	487
6222003	インターシップ	(D)	林 春生 後期集中	489
6222004	インターシップ	(A)	伊藤 裕康 後期集中	491
6223001	インターシップ	(M)	河野 善文 後期集中	493
6223002	インターシップ	(S)	小早川 俊哉 後期集中	495
6223003	インターシップ	(D)	林 春生 後期集中	497
6223004	インターシップ	(A)	伊藤 裕康 後期集中	499
6301401	アクティブプログラム	(M)	河野 善文 後期集中	501
6301402	アクティブプログラム	(S)	西崎 毅 後期集中	503
6301403	アクティブプログラム	(D)	林 春生 後期集中	505
6301404	アクティブプログラム	(A)	伊藤 裕康 後期集中	507
6302401	アクティブプログラム	(M)	河野 善文 後期集中	509
6302402	アクティブプログラム	(S)	西崎 毅 後期集中	511
6302403	アクティブプログラム	(D)	林 春生 後期集中	513
6302404	アクティブプログラム	(A)	伊藤 裕康 後期集中	515
6303401	アクティブプログラム	(M)	河野 善文 後期集中	517
6303402	アクティブプログラム	(S)	西崎 毅 後期集中	519
6303403	アクティブプログラム	(D)	林 春生 後期集中	521
6303404	アクティブプログラム	(A)	伊藤 裕康 後期集中	523
6304401	アクティブプログラム	(M)	河野 善文 後期集中	525
6304402	アクティブプログラム	(S)	西崎 毅 後期集中	527
6304403	アクティブプログラム	(D)	林 春生 後期集中	529
6304404	アクティブプログラム	(A)	伊藤 裕康 後期集中	531
6305401	アクティブプログラム	(M)	河野 善文 後期集中	533
6305402	アクティブプログラム	(S)	西崎 毅 後期集中	535
6305403	アクティブプログラム	(D)	林 春生 後期集中	537
6305404	アクティブプログラム	(A)	小笠原 健 4Q	539
6306401	アクティブプログラム	(M)	河野 善文 後期集中	541
6306402	アクティブプログラム	(S)	西崎 毅 後期集中	543
6306403	アクティブプログラム	(D)	林 春生 後期集中	545
6306404	アクティブプログラム	(A)	伊藤 裕康 後期集中	547
6307401	アクティブプログラム	(M)	河野 善文 後期集中	549
6307402	アクティブプログラム	(S)	西崎 毅 後期集中	551
6307403	アクティブプログラム	(D)	林 春生 後期集中	553
6307404	アクティブプログラム	(A)	伊藤 裕康 後期集中	555
6308401	アクティブプログラム	(M)	河野 善文 後期集中	557
6308402	アクティブプログラム	(S)	西崎 毅 後期集中	559
6308403	アクティブプログラム	(D)	林 春生 後期集中	561
6308404	アクティブプログラム	(A)	伊藤 裕康 後期集中	563
6401001	地域共生プログラム	(M)	河野 善文 後期集中	565
6401002	地域共生プログラム	(S)	西崎 毅 後期集中	567
6401003	地域共生プログラム	(D)	林 春生 後期集中	569
6401004	地域共生プログラム	(A)	伊藤 裕康 後期集中	571
6402001	地域共生プログラム	(M)	河野 善文 後期集中	573
6402003	地域共生プログラム	(D)	林 春生 後期集中	575
6402004	地域共生プログラム	(A)	伊藤 裕康 後期集中	577
6403001	地域共生プログラム	(M)	河野 善文 後期集中	579
6403002	地域共生プログラム	(S)	西崎 毅 後期集中	581
6403003	地域共生プログラム	(D)	林 春生 後期集中	583
6403004	地域共生プログラム	(A)	安藤 淳一 3Q	585
6404001	地域共生プログラム	(M)	河野 善文 後期集中	587
6404002	地域共生プログラム	(S)	西崎 毅 後期集中	589
6404003	地域共生プログラム	(D)	林 春生 後期集中	591
6404004	地域共生プログラム	(A)	伊藤 裕康 後期集中	593

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	4Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	こころの科学 (科目ナンバリング: PSG011001)				
授業担当者(所属・職名)	吉澤 英里 (社会福祉学科・准教授)	研究室所在	1号館3階		
単位数	2 (単位認定責任者: 吉澤 英里)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
心理学は、心とは何かという問いに対して科学的な手法を用いて明らかにすることを試みる学問領域である。研究例を手がかりとしながら、どのようなことが明らかになっているのを知り、自他の心の理解を深めることを目指す。

授業の位置づけ
社会福祉学科のDP「1(2)」、「2(1)」に対応する科目 経営学科のDP「1(2)」、「2(1)」に対応する科目 デザイン学科のDP「1(2)」、「2(1)」に対応する科目 建築学科のDP「1(2)」、「2(1)」に対応する科目

到達目標
こころを探究する方法の多様性を理解し、こころを探究することの意味に自分なりに気づき、こころ、それ自体の多様性を理解できる。

授業全体の内容と概要
心理学が成立した過程を学び、その中でどのような研究がなされてきたのかを理解する。さらに、研究の結果としてどのようなことがわかっているのか、あるいはわかっていないのかを、自分の経験や体験と照らし合わせながら考えていく。これらの学びを通して、こころの多様性や自他への理解を深めることを目指す。

授業の方法
パワーポイント、板書、プリント、映像等を使用しながら講義形式で行う。質疑応答の際は、その都度回答する。

アクティブラーニングの実施方法												
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>グループワーク</td> <td>フィールドワーク</td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td>ロールプレイ</td> <td>調査学習</td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td>実験・実習・実技</td> <td>双方向授業</td> <td>○ その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL	模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業	ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	○ その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL									
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業									
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	○ その他(授業の方法参照)									

履修上の注意事項
「読む、考える、書く」ことを重視する。関連図書を読み、理解を深めること。

資格指定科目
該当なし

評価方法・基準

評価前提条件												
単位認定に必要な最低出席回数は11回以上。												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>100%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	100%	0%	0%	0%	0%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	100%	0%	0%	0%	0%							

ルーブリック																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>こころの科学の授業内容の理解</td> <td>教科書、資料の内容を全体的に理解できた。</td> <td>授業で扱った内容をおおむね理解できた。</td> <td>授業で扱った内容をやや理解できた。</td> <td>授業で扱った内容を最低限理解できた。</td> <td>授業で扱った内容を理解できなかった。</td> </tr> <tr> <td>心理学的な思考力・判断力(心理学的な思考・判断についての考察が十分身にどの程度使えるか)の程度</td> <td>心理学の基本を踏まえた心についての考察が十分身についた。</td> <td>心理学の基本を踏まえた心についての考察がおおむね身についた。</td> <td>心理学の基本を踏まえた心についての考察が身についた。</td> <td>心理学の基本を踏まえた心についての考察が多少身についた。</td> <td>心理学の基本を踏まえた心についての考察が身につかなかった。</td> </tr> <tr> <td>授業に主体的に取り組む態度(こころの在り方の多様性について理解できる)の程度</td> <td>こころの在り方の多様性について理解したことをわかりやすく説明できた。</td> <td>こころの在り方の多様性について理解したことをおおむね説明できた。</td> <td>こころの在り方の多様性について理解したことを説明できた。</td> <td>こころの在り方の多様性について理解したことを多少説明できた。</td> <td>こころの在り方の多様性について理解したことを説明することが難しかった。</td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	こころの科学の授業内容の理解	教科書、資料の内容を全体的に理解できた。	授業で扱った内容をおおむね理解できた。	授業で扱った内容をやや理解できた。	授業で扱った内容を最低限理解できた。	授業で扱った内容を理解できなかった。	心理学的な思考力・判断力(心理学的な思考・判断についての考察が十分身にどの程度使えるか)の程度	心理学の基本を踏まえた心についての考察が十分身についた。	心理学の基本を踏まえた心についての考察がおおむね身についた。	心理学の基本を踏まえた心についての考察が身についた。	心理学の基本を踏まえた心についての考察が多少身についた。	心理学の基本を踏まえた心についての考察が身につかなかった。	授業に主体的に取り組む態度(こころの在り方の多様性について理解できる)の程度	こころの在り方の多様性について理解したことをわかりやすく説明できた。	こころの在り方の多様性について理解したことをおおむね説明できた。	こころの在り方の多様性について理解したことを説明できた。	こころの在り方の多様性について理解したことを多少説明できた。	こころの在り方の多様性について理解したことを説明することが難しかった。
評価項目		評価基準																											
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																								
こころの科学の授業内容の理解	教科書、資料の内容を全体的に理解できた。	授業で扱った内容をおおむね理解できた。	授業で扱った内容をやや理解できた。	授業で扱った内容を最低限理解できた。	授業で扱った内容を理解できなかった。																								
心理学的な思考力・判断力(心理学的な思考・判断についての考察が十分身にどの程度使えるか)の程度	心理学の基本を踏まえた心についての考察が十分身についた。	心理学の基本を踏まえた心についての考察がおおむね身についた。	心理学の基本を踏まえた心についての考察が身についた。	心理学の基本を踏まえた心についての考察が多少身についた。	心理学の基本を踏まえた心についての考察が身につかなかった。																								
授業に主体的に取り組む態度(こころの在り方の多様性について理解できる)の程度	こころの在り方の多様性について理解したことをわかりやすく説明できた。	こころの在り方の多様性について理解したことをおおむね説明できた。	こころの在り方の多様性について理解したことを説明できた。	こころの在り方の多様性について理解したことを多少説明できた。	こころの在り方の多様性について理解したことを説明することが難しかった。																								

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>『心理学 第5版 補訂版』</td> <td>鹿取廣人、杉本敏夫、鳥居修晃</td> <td>東京大学出版会</td> <td>2020</td> <td>978-4-13-012117-0</td> <td></td> </tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1	『心理学 第5版 補訂版』	鹿取廣人、杉本敏夫、鳥居修晃	東京大学出版会	2020	978-4-13-012117-0		2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1	『心理学 第5版 補訂版』	鹿取廣人、杉本敏夫、鳥居修晃	東京大学出版会	2020	978-4-13-012117-0																																					
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	4Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	こころの科学 (科目ナンバリング: PSG011001)				
授業担当者(所属・職名)	吉澤 英里 (社会福祉学科・准教授)	研究室所在	1号館3階		
単位数	2 (単位認定責任者: 吉澤 英里)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	シラバスの説明。 -オリエンテーション-心とは何か	関連図書を事前に読んでおくこと。(90分)	授業の内容をノートにまとめて復習すること。(90分)
2	心理学の歴史について	指定したキーワードを事前に調べておくこと。(90分)	授業の内容をノートにまとめて復習すること。(90分)
3	心を支える脳のメカニズム (神経細胞の構造と働き)	指定したキーワードを事前に調べておくこと。(90分)	授業の内容をノートにまとめて復習すること。(90分)
4	心を支える脳のメカニズム (神経系の構造と機能)	指定したキーワードを事前に調べておくこと。(90分)	授業の内容をノートにまとめて復習すること。(90分)
5	感覚と知覚 (視覚系の構造と働き)	指定したキーワードを事前に調べておくこと。(90分)	授業の内容をノートにまとめて復習すること。(90分)
6	感覚と知覚 (日常世界の事物の認知)	指定したキーワードを事前に調べておくこと。(90分)	授業の内容をノートにまとめて復習すること。(90分)
7	記憶のメカニズム (短期記憶、長期記憶)	指定したキーワードを事前に調べておくこと。(90分)	授業の内容をノートにまとめて復習すること。(90分)
8	記憶のメカニズム (日常世界における記憶)	指定したキーワードを事前に調べておくこと。(90分)	授業の内容をノートにまとめて復習すること。(90分)
9	言語 (文の理解)	指定したキーワードを事前に調べておくこと。(90分)	授業の内容をノートにまとめて復習すること。(90分)
10	言語 (言語と思考)	指定したキーワードを事前に調べておくこと。(90分)	授業の内容をノートにまとめて復習すること。(90分)
11	思考 (問題解決)	指定したキーワードを事前に調べておくこと。(90分)	授業の内容をノートにまとめて復習すること。(90分)
12	思考 (創造的思考)	指定したキーワードを事前に調べておくこと。(90分)	授業の内容をノートにまとめて復習すること。(90分)
13	情動 (情動とは何か)	指定したキーワードを事前に調べておくこと。(90分)	授業の内容をノートにまとめて復習すること。(90分)
14	情動 (情動のモデル)	指定したキーワードを事前に調べておくこと。(90分)	授業の内容をノートにまとめて復習すること。(90分)
15	人間と社会	指定したキーワードを事前に調べておくこと。(90分)	授業の内容をノートにまとめて復習すること。(90分)
16	これまでの振り返りと発展	今までの授業内容を復習しておくこと。(90分)	振り返りを行うこと(90分)。

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・3年		
開講時期	1Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	倫理学入門 (科目ナンバリング: PHE011002)				
授業担当者(所属・職名)	遠藤 均(経営学科・教授)	研究室所在	2号館7階		
単位数	2 (単位認定責任者: 遠藤 均)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
<p>教養力を身に付けるために「人間と文化」を幅広く学ぶための科目である。過去の倫理や具体例を踏まえながら、間接体験(感動)や創造的思索を通して、自他の心の支えとなりうるような確固とした価値観や人生観を形成することにも、これからの時代に必要新たな倫理思想を探究する。</p>

授業の位置づけ
<p>経営学科のDP「1(2)」、「1(3)」、「1(4)」、「1(5)」、「2(1)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(2)」、「1(3)」、「1(4)」、「1(5)」、「1(6)」、「1(7)」、「2(1)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(1)」、「1(2)」、「1(3)」、「2(3)」に対応する。 建築学科のDP「1(1)」、「1(2)」、「1(3)」、「2(3)」に対応する。</p>

到達目標
<p>人生をみずから創造していくための基礎となる価値観や人生観を構築することができる。</p>

授業全体の内容と概要
<p>過去の倫理思想や教師自身の考えを紹介しながら、学生自身が主体的にみずからの価値観や人生観を形成していく。そのためには、学生自身がみずから主体的に考え、かつ積極的に授業に参加することが欠かせない。</p>

授業の方法
<p>講義。対話、発表、ディベートなどによるアクティブラーニングを重視し、適宜、平常点を付与する。</p>

アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>プレゼンテーション</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>グループワーク</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>フィールドワーク</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>模擬授業</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>ロールプレイ</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>調査学習</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>ディスカッション</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>実験・実習・実技</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>双方向授業</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/>	プレゼンテーション	<input type="checkbox"/>	グループワーク	<input type="checkbox"/>	フィールドワーク	<input type="checkbox"/>	PBL	<input type="checkbox"/>	模擬授業	<input type="checkbox"/>	ロールプレイ	<input type="checkbox"/>	調査学習	<input type="checkbox"/>	反転授業	<input type="checkbox"/>	ディスカッション	<input type="checkbox"/>	実験・実習・実技	<input type="checkbox"/>	双方向授業	<input type="checkbox"/>	その他(授業の方法参照)
<input type="checkbox"/>	プレゼンテーション	<input type="checkbox"/>	グループワーク	<input type="checkbox"/>	フィールドワーク	<input type="checkbox"/>	PBL																	
<input type="checkbox"/>	模擬授業	<input type="checkbox"/>	ロールプレイ	<input type="checkbox"/>	調査学習	<input type="checkbox"/>	反転授業																	
<input type="checkbox"/>	ディスカッション	<input type="checkbox"/>	実験・実習・実技	<input type="checkbox"/>	双方向授業	<input type="checkbox"/>	その他(授業の方法参照)																	

履修上の注意事項
<p>講義中はスマホ等の電源を必ずOFFにし、机の上に置かないこと。置いている場合は、講義終了まで預かる。授業に関係のない私語禁止。座席を指定することもありうる。遅刻は一回につき一点減点。居眠り厳禁。レポートの採点基準は、「どれだけ講義の内容を理解し、自分のものになっているか」ということ。自分自身との対話を通し、自分のことは自分で読むことが重要。講義で扱っていない内容や自分の考えはかりを書いて合格点に達することはできない。コピペは100%単位認定されない。最後に、全体的感想や自分の意見をつけ加えよう。レポートは、原稿用紙換算5枚以上(2千字以上)、文字数を明記する。書式は問わない。公欠や特別な事由で欠席した場合、課題を提出しなければ、授業回数に反映されないことに留意。最終レポートの提出期限は、第13回の講義当日。一日遅れるごとに1点減点となる。学務課に成績票を提出した後は受領できない。</p>

資格指定科目
<p>教職課程(社会・公民)必修科目</p>

評価方法・基準

評価前提条件												
<p>単位認定に必要な最低出席回数は11回。 レポート、出席、平常点、講義後の感想文、発表等により採点する。</p>												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>42%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>10%</td> <td>48%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	42%	0%	0%	10%	48%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	42%	0%	0%	10%	48%							

ルーブリック																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レポート</td> <td>講義内容を深く理解し、自分自身の人生観や生き方に役立てた。</td> <td>講義内容をかなり理解し、自分自身の人生観や生き方に役立てた。</td> <td>講義内容を理解し、自分自身の人生観や生き方に役立てた。</td> <td>講義内容をほぼ理解し、自分自身の人生観や生き方に役立てた。</td> <td>講義内容を理解せず、自分自身の人生観や生き方に役立ってなかった。</td> </tr> <tr> <td>発言</td> <td>10回以上発言した。</td> <td>7回以上発言した。</td> <td>5回以上発言した。</td> <td>3回以上発言した。</td> <td>ほとんど発言しなかった。</td> </tr> <tr> <td>ディベート、グループワーク</td> <td>ディベートやグループワークにおいて、自分の意見を大いに発表した。</td> <td>ディベートやグループワークにおいて、自分の意見をかなり発表した。</td> <td>ディベートやグループワークにおいて、自分の意見を発表した。</td> <td>ディベートやグループワークにおいて、自分の意見をまともに発表しなかった。</td> <td>ディベートやグループワークにおいて、自分の意見をまったく発表しなかった。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	レポート	講義内容を深く理解し、自分自身の人生観や生き方に役立てた。	講義内容をかなり理解し、自分自身の人生観や生き方に役立てた。	講義内容を理解し、自分自身の人生観や生き方に役立てた。	講義内容をほぼ理解し、自分自身の人生観や生き方に役立てた。	講義内容を理解せず、自分自身の人生観や生き方に役立ってなかった。	発言	10回以上発言した。	7回以上発言した。	5回以上発言した。	3回以上発言した。	ほとんど発言しなかった。	ディベート、グループワーク	ディベートやグループワークにおいて、自分の意見を大いに発表した。	ディベートやグループワークにおいて、自分の意見をかなり発表した。	ディベートやグループワークにおいて、自分の意見を発表した。	ディベートやグループワークにおいて、自分の意見をまともに発表しなかった。	ディベートやグループワークにおいて、自分の意見をまったく発表しなかった。												
評価項目		評価基準																																							
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
レポート	講義内容を深く理解し、自分自身の人生観や生き方に役立てた。	講義内容をかなり理解し、自分自身の人生観や生き方に役立てた。	講義内容を理解し、自分自身の人生観や生き方に役立てた。	講義内容をほぼ理解し、自分自身の人生観や生き方に役立てた。	講義内容を理解せず、自分自身の人生観や生き方に役立ってなかった。																																				
発言	10回以上発言した。	7回以上発言した。	5回以上発言した。	3回以上発言した。	ほとんど発言しなかった。																																				
ディベート、グループワーク	ディベートやグループワークにおいて、自分の意見を大いに発表した。	ディベートやグループワークにおいて、自分の意見をかなり発表した。	ディベートやグループワークにおいて、自分の意見を発表した。	ディベートやグループワークにおいて、自分の意見をまともに発表しなかった。	ディベートやグループワークにおいて、自分の意見をまったく発表しなかった。																																				

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・3年		
開講時期	1Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	倫理学入門 (科目ナンバリング: PHE011002)				
授業担当者(所属・職名)	遠藤 均(経営学科・教授)	研究室所在	2号館7階		
単位数	2 (単位認定責任者: 遠藤 均)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	ガイダンス、シラバスの説明 逆境の幸福論 1 幸福とはなにか 事実と価値、事実と幸福	シラバスをよく読んでおくこと。(90分)	第1回講義の復習(90分)
2	逆境の幸福論 2 幸福とはなにか 事実と価値、事実と幸福	第1回講義の復習と第2回講義の予習(90分)	第2回講義の復習(90分)
3	逆境の幸福論 3 幸福とはなにか 中村久子の生き方を通して幸福を考える	第2回講義の復習と第3回講義の予習(90分)	第3回講義の復習(90分)
4	逆境の幸福論 4 幸福とはなにか 苦しみを喜びに変えるために マイナス感情の意味と価値	第3回講義の復習と第4回講義の予習(90分)	第4回講義の復習(90分)
5	逆境の幸福論 5 幸福とはなにか 苦しみを喜びに変えるために マイナス感情の意味と価値	第4回講義の復習と第5回講義の予習(90分)	第5回講義の復習(90分)
6	逆境の幸福論 6 幸福とはなにか 苦しみを喜びに変えるために 精神的エネルギーの差用法	第5回講義の復習と第6回講義の予習(90分)	第6回講義の復習(90分)
7	逆境の幸福論 7 幸福とはなにか 苦しみを喜びに変えるために 精神的エネルギーの差用法	第6回講義の復習と第7回講義の予習(90分)	第7回講義の復習(90分)
8	逆境の幸福論 8 幸福とはなにか 苦しみを喜びに変えるために ゆらぎ理論から幸福を考える	第7回講義の復習と第8回講義の予習(90分)	第8回講義の復習(90分)
9	逆境の幸福論 9 幸福とはなにか マリオネットから人生の主人公へ 外的価値と内的価値	第8回講義の復習と第9回講義の予習(90分)	第9回講義の復習(90分)
10	逆境の幸福論 10 幸福とはなにか マリオネットから人生の主人公へ 価値観の他律性と自律性	第9回講義の復習と第10回講義の予習(90分)	第10回講義の復習(90分)
11	逆境の幸福論 11 幸福とはなにか 運命と幸福	第10回講義の復習と第11回講義の予習(90分)	第11回講義の復習(90分)
12	逆境の幸福論 12 幸福とはなにか 運命と幸福	第11回講義の復習と第12回講義の予習(90分)	第12回講義の復習(90分)
13	逆境の幸福論 13 幸福とはなにか 宿命と幸福	第12回講義の復習と第13回講義の予習(90分)	第13回講義の復習(90分)
14	逆境の幸福論 14 幸福とはなにか 事実の超越	第13回講義の復習と第14回講義の予習(90分)	第14回講義の復習(90分)
15	逆境の幸福論 15 幸福とはなにか 価値の超越	第14回講義の復習と第15回講義の予習(90分)	第15回講義の復習(90分)
16	課題(レポート)に対するフィードバック	第15回講義の復習と第16回講義の予習(90分)	第16回講義の復習(90分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	1Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	哲学入門 (科目ナンバリング: PHE011003)				
授業担当者(所属・職名)	遠藤 均(経営学科・教授)	研究室所在	2号館7階		
単位数	2 (単位認定責任者: 遠藤 均)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
過去の哲学や具体例を踏まえながら、間接体験(感動)や創造的思索を通して、自他の心の支えとなりうるような確固とした価値観や人生観を形成することができる。また、AIの時代に必要ならた哲学を探究する。

授業の位置づけ
経営学科のDP「1(2)、(3)、(4)、(5)」、「2(1)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(2)、(3)、(4)1(5)」、「(6)」、「(7)」、「2(1)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(1)、(2)、(3)」、「2(3)」に対応する。 建築学科のDP「1(1)、(2)、(3)」、「2(3)」に対応する。

到達目標
目標や夢を実現するための人生観を涵養する。 自分自身の確固とした価値観や人生観を構築する。

授業全体の内容と概要
過去の哲学や教師自身の考えを紹介するとともに、質疑応答やディベートなどを通して、学生自身がみずからの価値観や人生観を形成していく。そのためには、学生自身がみずから主体的に考え、積極的に授業に参加し、発言することが不可欠である。

授業の方法
講義。対話発表、ディベート、などによるアクティブラーニング。適宜、平常点を付与する。

アクティブラーニングの実施方法							
<input type="checkbox"/>	プレゼンテーション	<input type="checkbox"/>	グループワーク	<input type="checkbox"/>	フィールドワーク	<input type="checkbox"/>	PBL
<input type="checkbox"/>	模擬授業	<input type="checkbox"/>	ロールプレイ	<input type="checkbox"/>	調査学習	<input type="checkbox"/>	反転授業
<input type="checkbox"/>	ディスカッション	<input type="checkbox"/>	実験・実習・実技	<input type="checkbox"/>	双方向授業	<input type="checkbox"/>	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項
講義中はスマホ等の電源を必ずOFFにし、机の上に置かないこと。置いている場合は、講義終了まで預かる。授業に関係のない私語禁止。座席を指定することもあり。遅刻は一回につき一点減点。居眠り厳禁。レポートの採点基準は、「どれだけ講義の内容を理解し、自分のものになっているか」ということ。自分自身との対話を通し、自分のことばで語る事が重要。講義で扱っていない内容や自分の考えはかりを書いても合格点に達することはできない。コピーは100%単位認定されない。最後に、全体的感想や自分の意見をつけ加えよう。レポートは、原稿用紙換算5枚以上(2千字以上)、文字数を明記する。書式は問わない。欠席や特別な事由で欠席した場合、課題を提出しなければ、授業回数に反映されないことに留意。最終レポートの提出期限は、第13回の講義当日。一日遅れるごとに1点減点となる。学務課に成績票を提出した後は受領できない。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な最低出席回数は、11回以上。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	42%	0%	0%	10%	48%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
レポート	講義の内容を十分に理解し、みずからの人生観や生き方に十分役立てた。	講義の内容をかなり理解し、みずからの人生観や生き方にかなり役立てた。	講義の内容を理解し、みずからの人生観や生き方に役立てた。	講義の内容をほぼ理解し、みずからの人生観や生き方にほぼ役立てた。	講義の内容を理解しておらず、みずからの人生観や生き方に役立てていなかった。
発表	10回以上発表した。	7回以上発表した。	5回以上発表した。	3回以上発表した。	0-2回しか発表していなかった。
ディベートとグループワーク	ディベートとグループワークで活発に発言した。	ディベートとグループワークでかなり発言した。	ディベートとグループワークでそれなりに発言した。	ディベートとグループワークであまり発言していなかった。	ディベートとグループワークで発言していなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	1Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	哲学入門 (科目ナンバリング: PHE011003)				
授業担当者(所属・職名)	遠藤 均(経営学科・教授)	研究室所在	2号館7階		
単位数	2 (単位認定責任者: 遠藤 均)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	ガイダンス, シラバスの説明 夢をかなえ目標を達成する考え方 1 序論	シラバスを読む(90分)	第1回講義の復習(90分)
2	夢をかなえ目標を達成する考え方 目標力, 目標の優先順位	第1回講義の復習と第2回講義の予習(90分)	第2回講義の復習(90分)
3	夢をかなえ目標を達成する考え方 動機が肝心, 三つの動機づけ理論	第2回講義の復習と第3回講義の予習(90分)	第3回講義の復習(90分)
4	夢をかなえ目標を達成する考え方 二重構造の目標をもつ, 人生という名の山頂を目指す	第3回講義の復習と第4回講義の予習(90分)	第4回講義の復習(90分)
5	夢をかなえ目標を達成する考え方 自信は夢や目標達成の必要条件 可能性を大きく左右するマインドセット	第4回講義の復習と第5回講義の予習(90分)	第5回講義の復習(90分)
6	夢をかなえ目標を達成する考え方 可能性に対する無条件の信頼, 不安力, 心の頭蓋をふりはらう	第5回講義の復習と第6回講義の予習(90分)	第6回講義の復習(90分)
7	夢をかなえ目標を達成する考え方 秀気は夢を実現させるための要件, フラットという名の高い壁	第6回講義の復習と第7回講義の予習(90分)	第7回講義の復習(90分)
8	夢をかなえ目標を達成する考え方 なぜ山に登るのか 苦しみはそれ自身の方に救いをもっている	第7回講義の復習と第8回講義の予習(90分)	第8回講義の復習(90分)
9	夢をかなえ目標を達成する考え方 憂は苦しみを喜びに変える, 気分コントロール, 挫折の条件	第8回講義の復習と第9回講義の予習(90分)	第9回講義の復習(90分)
10	夢をかなえ目標を達成する考え方 痛みや悔しさを飛躍のバネにする, 結果かプロセスか	第9回講義の復習と第10回講義の予習(90分)	第10回講義の復習(90分)
11	夢をかなえ目標を達成する考え方 人生はすべてプロセス 「腑つことよりも大事なことがある」	第10回講義の復習と第11回講義の予習(90分)	第11回講義の復習(90分)
12	夢をかなえ目標を達成する考え方 人生を輝かせるために, 「満足した豚」と「不満足な人間」	第11回講義の復習と第12回講義の予習(90分)	第12回講義の復習(90分)
13	夢をかなえ目標を達成する考え方 初心忘るべからず 「楽なことはよいことだ」という価値観の落とし穴	第12回講義の復習と第13回講義の予習(90分)	第13回講義の復習(90分)
14	夢をかなえ目標を達成する考え方 今に生きる, 大舞台で輝くために, サボるわけ, 進歩のヒント	第13回講義の復習と第14回講義の予習(90分)	第14回講義の復習(90分)
15	夢をかなえ目標を達成する考え方 コツはひとつ, 楽しくやること, 「やるべきこと」から「やりたいこと」へ	第14回講義の復習と第15回講義の予習(90分)	第15回講義の復習(90分)
16	課題(レポート)に対するフィードバック	第15回講義の復習と第16回講義の予習(90分)	第16回講義の復習(90分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	専門科目	対象学科・配当	社会福祉学科・3年		
開講時期	3Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	北海道誌（S）（科目ナンバリング：HUG122142）				
授業担当者（所属・職名）	渡部 斎（社会福祉学科・教授）	研究室所在	2号館7階		
単位数	2（単位認定責任者：渡部 斎）	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標												
地誌学的に「北海道」を人文・社会・自然的背景から、包括的に地域性を導き出し具体的に学修する。												
授業の位置づけ												
社会福祉学科のDP「1（2）と（3）と（4）」、「2（2）」に対応する。												
到達目標												
「北海道」に関して、人文・社会・自然分野から学び、地誌学的に地域性を考察することができる。												
授業全体の内容と概要												
「北海道」を時系列な時間軸の流れだけではなく、人文・社会・自然的な背景を踏まえ、地域性を考察する。また、過去の事象から、北海道の包括的な位置づけを学修する。												
授業の方法												
授業形態は講義形式であるが、板書の他に視聴覚メディア等を利用する。テキスト及び配布資料等を中心に講義を行う。また、北海道に関連する課題において、ディスカッションを行う予定である。レポート課題（10本程度）は授業の予習であり、復習でもあるので重要である。なお、レポートにはコメントにてフィードバックする。												
アクティブラーニングの実施方法												
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>グループワーク</td> <td>フィールドワーク</td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td>ロールプレイ</td> <td>調査学習</td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td>実験・実習・実技</td> <td>双方向授業</td> <td>その他（授業の方法参照）</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL	模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業	ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他（授業の方法参照）
プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL									
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業									
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他（授業の方法参照）									
履修上の注意事項												
・レポートは、指示した「レポート作成要領」に準拠したものを提出すること。												
資格指定科目												
教職課程（社会・地理歴史）選択科目												

評価方法・基準

評価前提条件					
・単位認定に必要な最低出席回数は、10回以上である。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	50%	0%	0%	25%	25%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
知識・理解	レポート課題において、9割以上の得点を取ることができた。	レポート課題において、8割以上の得点を取ることができた。	レポート課題において、7割以上の得点を取ることができた。	レポート課題において、6割以上の得点を取ることができた。	レポート課題において、6割以上の得点を取ることができなかった。
思考力・判断力・表現力	右の記述を高いレベルで実現できた。	ディスカッションの課題などで、論理的に自分の意見をまとめ、たいへんわかりやすく説明ができた。	ディスカッションの課題などで、自分の意見をまとめ、わかりやすく説明ができた。	ディスカッションの課題などで、自分の意見をまとめ、説明ができた。	ディスカッションの課題などで、自分の意見をまとめ、説明ができなかった。
関心・意欲・態度	右の記述を高いレベルで実現できた。	人文・社会・自然的な背景を踏まえ、北海道の地域性をより深く考察することができた。	人文・社会・自然的な背景を踏まえ、北海道の地域性を深く考察することができた。	人文・社会・自然的な背景を踏まえ、北海道の地域性を考察することができた。	人文・社会・自然的な背景を踏まえ、北海道の地域性を考察することができなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『北海道図鑑』		JTBパブリッシング	2019	9784533133022	
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『配布プリント』					
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	専門科目	対象学科・配当	社会福祉学科・3年		
開講時期	3Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	北海道誌(S) (科目ナンバリング:HUG122142)				
授業担当者(所属・職名)	渡部 斎(社会福祉学科・教授)	研究室所在	2号館7階		
単位数	2 (単位認定責任者: 渡部 斎)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	シラバスの説明、授業の内容・進め方・評価の仕方 ガイダンス	事前にシラバスを読んでいること。(90分)	今回の授業内容を復習しておくこと。(90分)
2	自然的背景 (気候と地形)	事前にテキストの範囲を読んでいること。(90分)	今回の授業内容を復習しておくこと。(90分)
3	自然的背景 (火山と災害)	前回の授業内容を復習しておくこと。(90分)	レポート課題等を作成すること。(90分)
4	自然的背景 (平地と山地)	事前にテキストの範囲を読んでいること。(90分)	今回の授業内容を復習しておくこと。(90分)
5	北海道誌ディスカッション (自然的背景)	ディスカッションの準備学修。(90分)	レポート課題等を作成すること。(90分)
6	歴史的背景 (古代)	前回の授業内容を復習しておくこと。(90分)	今回の授業内容を復習しておくこと。(90分)
7	歴史的背景 (中世)	前回の授業内容を復習しておくこと。(90分)	レポート課題等を作成すること。(90分)
8	歴史的背景 (松前藩時代・近世)	前回の授業内容を復習しておくこと。(90分)	今回の授業内容を復習しておくこと。(90分)
9	歴史的背景 (開拓使時代・近代)	前回の授業内容を復習しておくこと。(90分)	レポート課題等を作成すること。(90分)
10	歴史的背景 (開拓使時代・近代)	前回の授業内容を復習しておくこと。(90分)	今回の授業内容を復習しておくこと。(90分)
11	歴史的背景 (現代)	前回の授業内容を復習しておくこと。(90分)	今回の授業内容を復習しておくこと。(90分)
12	社会的背景 (人口分布)	ディスカッションの準備学修。(90分)	レポート課題等を作成すること。(90分)
13	社会的背景 (過疎と過密)	前回の授業内容を復習しておくこと。(90分)	今回の授業内容を復習しておくこと。(90分)
14	社会的背景 (産業構造)	前回の授業内容を復習しておくこと。(90分)	レポート課題等を作成すること。(90分)
15	北海道誌ディスカッション (北海道の課題)	ディスカッションの準備学修。(90分)	今回の授業内容を復習しておくこと。(90分)
16	まとめ、課題(レポートなど)の解説	まとめの準備。(90分)	まとめの振り返り。(90分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	経営学科・1年	デザイン学科・1年	建築学
開講時期	2Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	法学入門(M・D・A) (科目ナンバリング:)				
授業担当者(所属・職名)	青山 浩之(経営学科・准教授)	研究室所在	1号館4階		
単位数	(単位認定責任者: 青山 浩之)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
法律は、市民生活や経済活動を送るうえで欠かせないものである。法的な問題が生じたとき、迅速かつ的確に対応できるよう、条文を理解し、適用・解釈できるように学ぶ。

授業の位置づけ
経営学科のDP「1(1)」、「(3)」、「2(1)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(1)」、「2(1)」に対応する。 建築学科のDP「1(1)」、「2(1)」に対応する。

到達目標
法律に対して感じるむずかしさや抵抗感を取り除き、法律の基本知識を修得する。法律の基本知識を修得することにより、条文を理解し、適用・解釈できる。

授業全体の内容と概要
法律の基本となる知識を修得することを目的とし、条文を理解し、適用・解釈できるようになることを目標とする。さらには、法的な問題が生じたとき、迅速かつ的確に対応できる人材を育成することを目標とする。法の基本となる知識を修得し、実際に即し講義を行う。具体的には、日本において法律の基礎となる六つの法典、憲法、民法、商法、刑法、民事訴訟法、刑事訴訟法について、条文をベースに解説する。

授業の方法
授業は、資料をパワーポイントで投影し、資料(第3回から第14回の計12回)を配布して実施する(調査学習含む)。授業の進行は、前回の復習から始まり、本日の講義の内容を講義形式で解説を行う。 確認テストは、講義の理解を深めるために3回(前年実績)実施する。ビデオ視聴は、課題解決力を養うために2回(オンライン授業の場合は実施しない)実施する。 についてのフィードバックは、講義内で解説を行う。 補講は原則2回を限度として実施する(公文などの学生に対しては、補講を出席することによって単位認定基準を満たす場合のみ実施する)。

アクティブラーニングの実施方法							
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク	○	PBL
	模擬授業		ロールプレイ	○	調査学習		反転授業
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項
・私語などの迷惑行為は厳禁。 ・講義中スマホの操作は厳禁、マナーモードで受講してください。 ・六法を持参することを推奨。 ・確認テストやビデオ視聴を実施するので遅刻は慎むこと。開始後、プリント配布はしません。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な最低出席回数は、10回以上。 課題の提出等の定期試験以外の割合が単位認定基準の4割を占めるので、12回以上の出席を推奨。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
60%	0%	0%	0%	40%	0%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
法律の条文を読み取り、理解できる	法律の条文を読み取り、理解でき、さらに自分の意見を述べる	法律の条文を読み取り、理解でき、自分なりの説明できる	法律の条文を読み取り、理解できる	法律の条文を読み取れる	法律の条文を読み取れない
事例を理解し、法律の条文を適用できる	事例を理解し、法律の条文を適用し、さらに自分の意見を述べる	事例を理解し、法律の条文を適用し、自分なりの説明できる	事例を理解し、法律の条文を適用できる	事例を理解し、法律の条文を理解できる	事例を読み取れず、法律の条文を理解できない
課題に対し、問題解決ができる	解答が的確で、過不足なく網羅して答えている	一部に解答と関係ないことを答えている	改善すべき点があるが、解答は一通り答えている	的確ではないが、解答を部分的に答えている	解答が論点にズレがあり、テーマに対して十分ではない

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『ポケット六法 令和3年版』	佐伯 仁志, 大村 敦志 / 編集代表	有斐閣	2020年	9784641009219	
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	経営学科・1年 デザイン学科・1年 建築学		
開講時期	2Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	法学入門(M・D・A) (科目ナンバリング:)				
授業担当者(所属・職名)	青山 浩之(経営学科・准教授)	研究室所在	1号館4階		
単位数	(単位認定責任者: 青山 浩之)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	シラバスの説明 ガイダンス 法とは何か	シラバスの確認(90分)	復習(90分)
2	シラバスの説明 ガイダンス 法とは何か・法と道徳、法の目的・種類	シラバスの確認 法とは何かを考える調べ学習(90分)	復習(90分)
3	法の適用と解釈・法と裁判 確認テスト1(前年実績)	法と裁判についての調べ学習(90分)	配布資料の復習(90分)、確認テストの復習
4	日本国憲法の基本原理・基本的人権	基本的人権についての調べ学習(90分)	配布資料の復習(90分)
5	日本国憲法の基本原理・権力分立	権力分立二についての調べ学習(90分)	配布資料の復習(90分)
6	日本国憲法の基本原理・国民主権と国会	国民主権と国会についての調べ学習(90分)	配布資料の復習(90分)
7	民法 - 全体像と基本原理 確認テスト2(前年実績)	民法と基本原理についての調べ学習(90分)	配布資料の復習(90分)、確認テストの復習
8	民法 - 契約	契約についての調べ学習(90分)	配布資料の復習(90分)
9	民法 - 権利主体と法律行為	権利主体と法律行為についての調べ学習(90分)	配布資料の復習(90分)
10	民法 - 物権 民事訴訟法 - 全体像と目的	物権と民事訴訟法についての調べ学習(90分)	配布資料の復習(90分)
11	会社法 - 全体像と株式会社のしくみ	会社法と株式会社のしくみについての調べ学習(90分)	配布資料の復習(90分)
12	刑法 - 法益保護機能と自由保障機能、罪刑法定主義	法益保護機能と自由保障機能、罪刑法定主義についての調べ学習(90分)	配布資料の復習(90分)
13	刑法 - 犯罪が成立するためのプロセス、行為無価値論と結果無価値論 確認テスト3(前年実績)	犯罪が成立するためのプロセス、行為無価値論と結果無価値論についての調べ学習(90分)	配布資料の復習(90分)、確認テストの復習
14	刑法 - 犯罪の構成要件、犯罪の保護法益 刑事訴訟法 - 全体像と目的	犯罪の構成要件、犯罪の保護法益と刑事訴訟法についての調べ学習(90分)	配布資料の復習(90分)
15	まとめ 定期試験の説明	第3回から第14回まで復習(90分)。	試験範囲の確認、第3回から第14回まで復習(90分)
16	定期試験(60分) 定期試験の解説、採点方法の説明	試験範囲の確認、第3回から第14回まで復習(90分)	復習(90分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	社会福祉学科・1年		
開講時期	2Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	法学入門(S) (科目ナンバリング:)				
授業担当者(所属・職名)	大倉 司(社会福祉学科・教授)		研究室所在	1号館3階	
単位数	(単位認定責任者: 大倉 司)		CAP制		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
憲法、民法、労働法などわれわれが日常生活や経済活動を送るうえで関係する主な法律について、その基本的な考え方や具体的な知識を事例や判例をまじえながら理解する。

授業の位置づけ
社会福祉学科のDP「1(1)と(2)と(4)と(7)」、「2(3)」に対応する。

到達目標
<ul style="list-style-type: none"> 「法とは何か」について考える視点を理解できる。 日本国憲法の基本原理など国民として知っておくべき基本的事項を説明できる。 日常生活、社会生活に必要な身近な法律を知るために「六法」を使いこなすことができる。

授業全体の内容と概要
憲法、民法を中心に、われわれの生活に関係するさまざまな法について、具体的事例を挙げながら概説する。

授業の方法
授業は、板書及び配布資料を活用しながら講義形式で行う。また判例や立法動向を取り上げディスカッションを交えつつ理解を深める。適宜、授業内容についてのレポート提出を求める。

アクティブラーニングの実施方法						
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク	PBL
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習	反転授業
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項
毎回、必ず教科書・六法・配布資料を携行すること。私語等は慎み、授業に集中してノートを取ることを。

資格指定科目
教職課程(社会・公民)必修科目

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な出席回数は10回以上					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
70%	0%	0%	0%	30%	0%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
知識・理解	日常生活に関係する主な法律についての知識を具体的な事例に応用できた。	日常生活に関係する主な法律についての知識をほぼ理解できた。	「法とは何か」を考える視点を十分理解できた。	「法とは何か」を考える視点を理解できた。	「法とは何か」を考える視点を理解できなかった。
思考・判断	日常生活に関わる諸法律と憲法との関係を踏まえながら積極的に学修することができた。	日常生活に関わる諸法律について憲法との関係を考えながら判断することができた。	日常生活に関わる諸法律と憲法との関係について考えることができた。	日本国憲法の基本原理の意味について考える姿勢を示した。	日本国憲法の基本原理の意味について考える姿勢を示せなかった。
関心・意欲	授業内容を越えて日常生活と法の関係について「六法」を使いこなすことができた。	授業内容に則して日常生活と法の関係について「六法」を使いこなすことができた。	日常生活と法の関係について「六法」を参照しながら関心を広げた。	授業で取り上げた法律について「六法」で条文を確認することができた。	授業中に「六法」を使いながら理解を深めようという意欲に乏しかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『法の世界へ[第8版]』	池田真朗ほか	有斐閣	2020	978-4-641-22163-5	
2	『ポケット六法[令和3年版]』	佐伯仁志ほか編	有斐閣	2020	978-4-641-00921-9	
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	社会福祉学科・1年		
開講時期	2Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	法学入門(S) (科目ナンバリング:)				
授業担当者(所属・職名)	大倉 司(社会福祉学科・教授)		研究室所在	1号館3階	
単位数	(単位認定責任者: 大倉 司)		CAP制		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	シラバスの説明 法とは何か - われわれの生活と法との関わり	教科書を読み授業範囲の予習をする(90分)	授業のまとめをレポートとして提出する準備(90分)
2	法とは何か - 法と道徳, 法の目的・種類	教科書を読み授業範囲の予習をする(90分)	授業のまとめをレポートとして提出する準備(90分)
3	法とは何か - 法の適用と解釈, 裁判の基準	教科書を読み授業範囲の予習をする(90分)	授業のまとめをレポートとして提出する準備(90分)
4	日本国憲法の基本原理 - 国民主権, 基本的人権	教科書を読み授業範囲の予習をする(90分)	授業のまとめをレポートとして提出する準備(90分)
5	日本国憲法の基本原理 - 権力分立	教科書を読み授業範囲の予習をする(90分)	授業のまとめをレポートとして提出する準備(90分)
6	財産関係と法 - 権利能力・行為能力, 物権・債権	教科書を読み授業範囲の予習をする(90分)	授業のまとめをレポートとして提出する準備(90分)
7	財産関係と法 - 契約	教科書を読み授業範囲の予習をする(90分)	授業のまとめをレポートとして提出する準備(90分)
8	財産関係と法 - 損害賠償	教科書を読み授業範囲の予習をする(90分)	授業のまとめをレポートとして提出する準備(90分)
9	家族関係と法 - 婚姻, 親子, 親権, 後見・保佐・補助	教科書を読み授業範囲の予習をする(90分)	授業のまとめをレポートとして提出する準備(90分)
10	家族関係と法 - 扶養, 相続	教科書を読み授業範囲の予習をする(90分)	授業のまとめをレポートとして提出する準備(90分)
11	労働関係と法	教科書を読み授業範囲の予習をする(90分)	授業のまとめをレポートとして提出する準備(90分)
12	企業活動と法	教科書を読み授業範囲の予習をする(90分)	授業のまとめをレポートとして提出する準備(90分)
13	犯罪と法	教科書を読み授業範囲の予習をする(90分)	授業のまとめをレポートとして提出する準備(90分)
14	紛争解決と法	教科書を読み授業範囲の予習をする(90分)	授業のまとめをレポートとして提出する準備(90分)
15	社会福祉と法	教科書を読み授業範囲の予習をする(90分)	授業のまとめをレポートとして提出する準備(90分)
16	試験(60分の試験終了後、30分で解説をする)	全授業を振り返り試験に向けた準備(90分)	試験内容をふまえ授業全体を振り返る(90分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	経営学科・2年		
開講時期	3Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	社会学入門(M) (科目ナンバリング: SOC021006)				
授業担当者(所属・職名)	山本 一彦(経営学科・教授)	研究室所在	2号館8階		
単位数	2 (単位認定責任者: 山本 一彦)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標	現代社会の特質を知り、さまざまな場面に生ずる問題を生活者としての視点から把握して、持続可能なよりよい社会はどのようなものであるかを理解する。
------	--

授業の位置づけ	経営学科のDPの「1(2)」、「2(1)」に対応する。
---------	-----------------------------

到達目標	「現代社会の状況」について単に知識を習得するだけでなく、さまざまな社会問題を生活者としての自分自身の問題としてとらえ、批判的に考察できる。
------	---

授業全体の内容と概要	まず、社会的存在としての人間という視点に立ち、集団や組織のありようを学ぶ。次に、近代化を遂げた現代社会がどのような問題を持つようになったかを批判的にとらえ、その特質を学び、持続可能な社会を展望する。また、特に、学生世代が該当する現代の青年期問題について考察を加える。
------------	---

授業の方法	授業は現代社会のさまざまな事例を素材としながら講義形式で行ない(PBL含む)、必要な場合には資料を配布する。単元・項目によっては受講者の見解を知るための小文を提出してもらい、授業で概要を発表してフィードバックする。
-------	---

アクティブラーニングの実施方法						
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク	○ PBL
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習	反転授業
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項	さまざまなテーマについて自ら考える「主体的・能動的」な姿勢での受講を求める。本試験・追試験結果が保留となった場合、レポート課題の提出が必要。保留後の合格の場合は、評価はCとする。
----------	---

資格指定科目	
--------	--

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な最低出席回数は11回					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
90%	0%	0%	0%	0%	10%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
社会学の知識	定期試験における社会学の基礎事項該当部分で90%以上の正答があった。	左記の同部分が80%以上90%未満の正答であった。	左記の同部分が70%以上80%未満の正答であった。	左記の同部分が60%以上70%未満の正答であった。	左記の同部分の正答が60%に届かなかった。
思考力・判断力等	「人間と人間の関係」の視点から、さまざまな場面の社会的問題を十分に考察できていた。	左記の事項について概ね考察できていた。	左記の事項について広く一般的な水準の考察に達していた。	左記の事項についての考察が最低限の水準にとどまっていた。	考察が最低限の水準に届かず、授業内容が理解されていなかった。
社会的問題への分析力・主体性等	授業の核となる「現代の社会状況」の視点で、さまざまな社会問題について十分な主体的分析ができていた。	左記の事項について主体的分析が概ねできていた。	左記の事項についての主体的分析が一般的な水準でできていた。	左記の事項についての主体的分析が最低限の水準に留まっていた。	主体的分析ができていないと、授業内容が理解されていなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	経営学科・2年		
開講時期	3Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	社会学入門(M) (科目ナンバリング: SOC021006)				
授業担当者(所属・職名)	山本 一彦(経営学科・教授)		研究室所在	2号館8階	
単位数	2 (単位認定責任者: 山本 一彦)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	科目のガイダンス 全体概要、目的とねらい、履修上の注意、評価方	シラバス内容を事前確認(90分)	目的とねらいについての復習・理解(90分)
2	近代社会の確立と社会学 1.社会学成立の時代背景	近代社会とはどのようなものであるかのイメージ化(90分)	近代社会についての復習・理解(90分)
3	近代社会の確立と社会学 2.社会学は何を考えるのか?	近代社会の人間関係とはどのような特質をものかについての意識化(90分)	人間関係の変化のあり方についての復習・理解(90分)
4	人間と社会集団 1.社会的存在としての人間	「ヒト」という動物がもっている特殊性についての意識化(90分)	人間が「社会的」であることについての復習・理解(90分)
5	人間と社会集団 2.社会集団の類型	人間が作る集団にはどのような特質があるかについての事前考察(90分)	集団類型の原理についての復習・理解(90分)
6	人間と社会集団 3.基礎的生活集団の変化	基礎集団としての家族が現代社会ではどのような特質をもつようになったかの事前考察(90分)	家族集団のあり方と社会のあり方が密接に関わっていることについての復習・理解(90分)
7	全体社会の変動 1.社会変動と近代化	1.の振り返りを基に近代化とはどのような過程であるかの事前考察(90分)	社会変動パターンとその要因、近代化としての社会変動についての復習・理解(90分)
8	全体社会の変動 2.近代市民社会の変化 (1)大衆社会への移行	近代化によって成立した市民社会がどのように変化しているかの事前考察(90分)	現代社会の大衆化状況についての復習・理解(90分)
9	全体社会の変動 2.近代市民社会の変化 (2)個人化・リスク化する現代社会	個人を取り巻く不安定な現代社会の状況についての事前考察(90分)	リスク社会としての現代社会についての復習・理解(90分)
10	全体社会の変動 3.近代産業社会の変化 (1)産業社会の構造変化	近代化によって成立した産業社会がどのように変化しているかの事前考察(90分)	現代社会の脱工業化状況についての復習・理解(90分)
11	全体社会の変動 3.近代産業社会の変化 (2)ポスト産業化の中の現代社会	知識集約化する現代産業社会についての事前考察(90分)	サービス経済が主軸となった現代社会についての復習・理解(90分)
12	現代の青年期 1.青年期とアイデンティティ形成	1.の振り返りを基に社会の中の青年期についての事前考察(90分)	アイデンティティとはどのような自己のあり方であるかについての復習・理解(90分)
13	現代の青年期 2.ライフコースの多様化と 通過儀礼の喪失	現代社会の中のライフコースとはどのようなものかについての事前考察(90分)	標準的ライフコースが失われた現代社会でのアイデンティティ形成が困難であることの復習・理解(90分)
14	持続可能な社会に向けて	社会が持続可能となるためには何が問題でどのように対処すればよいかについての事前考察(90分)	後期近代社会に特有な社会問題についての復習・理解(90分)
15	総括と試験概要説明	ノートの整理と重点項目のチェック(90分)	評価に関する確認と理解、試験対応のための復習・理解(90分)
16	試験および開設 60分の試験終了後、残りの30分で解説	試験対応準備(90分)	解説内容の確認・理解(90分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	社会福祉学科・2年、デザイン学科・2年、建		
開講時期	3Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	社会学入門 (科目ナンバリング：SOC021006)				
授業担当者(所属・職名)	松下 守邦(社会福祉学科・教授)	研究室所在	1号館2階		
単位数	2 (単位認定責任者：松下 守邦)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
<ul style="list-style-type: none"> 社会学とはどのような学問であるか、その基本的性格を概観する。 社会学は、高校の科目である「現代社会」に近いものです。学術3分類(人文科学、自然科学、社会科学)のひとつ、社会科学に含まれる学問である。社会科学のなかでは、経済学は行動の効率合理性、政治学は国家や権力行使、法学は法規範に焦点をおくところならば、社会学はそれらのどれにもとらえられない、社会と人間の側面にこたわる性格を備えるものである。本科目においては、それらの基本的性格を学修する。 社会学は、個人と社会の関係を分析するものであり、「社会の常識とは違つ見方」(金菱 清：2014)を理解する。

授業の位置づけ
社会福祉学科のDP「1(2)」、「2(1)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(1)」、「2(3)」に対応する。 建築学科のDP「1(1)」、「2(3)」に対応する。

到達目標
<ul style="list-style-type: none"> 社会を構成しているさまざまな領域について、その基本を理解する。 社会でおきているさまざまな問題を、個人の責任のみでとらえるものではなく、社会的関係性のもたらす要因として説明をしようとする方法について、その基本を理解する。

授業全体の内容と概要
社会学固有の考え方である、社会的行為、相互作用、社会集団、社会構造、社会変動などの概念を使い、私たちの社会でおこっている社会現象を記述説明する知識、技術を学修する。

授業の方法
<ul style="list-style-type: none"> 学術論文読解(社会学)は、社会学の学術用語をつかった社会的現象の分析論文を読解学修である。3色線引き読み(齋藤孝『三色ボールペンで読む日本語』角川書店、2005)の技法を利用する。 映像資料視聴では、映像材料の社会的現象を学術概念を使い説明記述する、ワークシート作成である。 PBL(問題基盤型学習)を、学術論文読解とワークシート作成の構成により実施する。 「課題に関する説明→課題に対するフィードバック」：学術論文読解(三色線引き読み)、PBL(ワークシート作成)、映像資料視聴の各課題フィードバックは、提出の次の授業にて模範回答例を紹介する機会がある。この後の課題提出の改善材料として利用をすすめる。 「要望等への対応方法」：授業の課題の取り組み方など質問、要望、相談は、随時、対応する。授業中、あるいは研究室に来室など、気軽に相談してほしい。

アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	

履修上の注意事項
<ul style="list-style-type: none"> 授業(講義)は学びの基本である。授業外学修として、図書館にある学術文献を調べ、自宅で準備学修(予習や復習)をすることにより、学修時間を増やすことが大切になる。配布資料はファイリングして欠落することのないように留意する。 授業にて教材準備のない場合には、出席学生として対象評価はされない。 ノートは、授業の再現資料として利用できるものになる。取材メモとして作成する。 欠席、遅刻の際の対応、教室内の授業マナー(水分補給、入退室、スマホ操作)は、社会モードに対応する。大学生の受講マナーは、高校までのものとは異なる次元になる。 大学から交付される学生メールアドレスを使い、マイクロソフトTeams科目チャネル、Formsを学修利用する。パソコンスキル(レポート作成、準備学修の確認、教員への授業外連絡など、情報通信機器利用マナー)を高めていく。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
単位認定のためには、授業第1回から第15回までに計10回以上の出席が必要である。												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>90%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>10%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	90%	0%	0%	0%	0%	10%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
90%	0%	0%	0%	0%	10%							

ルーブリック																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>テキスト資料により学修した知識を使い、収集した情報を分析し、理解することができる。情報分析力としての知識・技能</td> <td>テキスト資料の要旨をていねいにまとめてあり、これまでの学修内容との関連づけが適切にふまえていた。新しく学ぶ学術用語について、自分の言葉で複数の例をあげながら、例をあげて説明することができた。</td> <td>テキスト資料の要旨をまとめてあり、これまでの学修内容のいくつかを関連づけしていた。新しく学ぶ学術用語について、自分の言葉で説明することができた。</td> <td>テキスト資料の要旨をまとめてあり、新しく学ぶ学術用語について、自分の言葉で説明することができた。</td> <td>テキスト資料の要旨は、改題の余地があるが、まとめられている。新しく学ぶ学術用語について、自分の言葉で説明することができた。</td> <td>テキスト資料の要旨をまとめる作業、新しく学ぶ学術用語について、説明することは難しく、知識・技能の修得はできなかった。</td> </tr> <tr> <td>文献資料の信頼性を保ちながら、学術概念を使って考察すること、客観的立場から社会的現象について論理的に分析表現をすることができ、思考力・判断力・表現力</td> <td>信頼性のある文献資料を複数選び、適切に引用した。新しく学ぶ学術概念を、これまでのものと対比して、類似点や相違点をあげながら、社会的現象の分析表現することができた。</td> <td>信頼性のある文献資料を選び、適切な手続きで引用した。新しく学ぶ学術概念を、これまでのものと関連づけながら、社会的現象の分析表現することができた。</td> <td>信頼性のある文献資料を選び、引用した。新しく学ぶ学術概念を使い、これまでのものと関連づけながら社会的現象の分析表現することができた。</td> <td>文献資料を選び、信頼性を保持したうえで引用すること、改善の余地はあるが、おこなった。新しく学ぶ学術概念を使い、社会的現象の分析表現をすることができた。十分ではないがおこなうことができた。</td> <td>文献資料を選び、引用する信頼性の確保すること、新しく学ぶ学術概念を使い、社会的現象の分析表現をすることが難しく、思考力・判断力・表現力は修得できなかった。</td> </tr> <tr> <td>大学の学修環境を創造するメンバーとして自覚し、自分の意見と異なる意見を統合させながら、学修経験を高めようとする、関心・意欲・態度</td> <td>大学生としての役割と責任を自覚し、積極的、協同的に行動することができた。</td> <td>大学生として役割は、おおむね理解しており、行動することができた。</td> <td>大学生として自分の役割は、基本的な行動をすることができた。</td> <td>大学生として自分の役割は、改善の余地はあるが、行動することができた。</td> <td>大学生として自分の役割は、自ら理解して行動することが難しく、関心・意欲・態度を示すことはできなかった。</td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	テキスト資料により学修した知識を使い、収集した情報を分析し、理解することができる。情報分析力としての知識・技能	テキスト資料の要旨をていねいにまとめてあり、これまでの学修内容との関連づけが適切にふまえていた。新しく学ぶ学術用語について、自分の言葉で複数の例をあげながら、例をあげて説明することができた。	テキスト資料の要旨をまとめてあり、これまでの学修内容のいくつかを関連づけしていた。新しく学ぶ学術用語について、自分の言葉で説明することができた。	テキスト資料の要旨をまとめてあり、新しく学ぶ学術用語について、自分の言葉で説明することができた。	テキスト資料の要旨は、改題の余地があるが、まとめられている。新しく学ぶ学術用語について、自分の言葉で説明することができた。	テキスト資料の要旨をまとめる作業、新しく学ぶ学術用語について、説明することは難しく、知識・技能の修得はできなかった。	文献資料の信頼性を保ちながら、学術概念を使って考察すること、客観的立場から社会的現象について論理的に分析表現をすることができ、思考力・判断力・表現力	信頼性のある文献資料を複数選び、適切に引用した。新しく学ぶ学術概念を、これまでのものと対比して、類似点や相違点をあげながら、社会的現象の分析表現することができた。	信頼性のある文献資料を選び、適切な手続きで引用した。新しく学ぶ学術概念を、これまでのものと関連づけながら、社会的現象の分析表現することができた。	信頼性のある文献資料を選び、引用した。新しく学ぶ学術概念を使い、これまでのものと関連づけながら社会的現象の分析表現することができた。	文献資料を選び、信頼性を保持したうえで引用すること、改善の余地はあるが、おこなった。新しく学ぶ学術概念を使い、社会的現象の分析表現をすることができた。十分ではないがおこなうことができた。	文献資料を選び、引用する信頼性の確保すること、新しく学ぶ学術概念を使い、社会的現象の分析表現をすることが難しく、思考力・判断力・表現力は修得できなかった。	大学の学修環境を創造するメンバーとして自覚し、自分の意見と異なる意見を統合させながら、学修経験を高めようとする、関心・意欲・態度	大学生としての役割と責任を自覚し、積極的、協同的に行動することができた。	大学生として役割は、おおむね理解しており、行動することができた。	大学生として自分の役割は、基本的な行動をすることができた。	大学生として自分の役割は、改善の余地はあるが、行動することができた。	大学生として自分の役割は、自ら理解して行動することが難しく、関心・意欲・態度を示すことはできなかった。
評価項目		評価基準																											
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																								
テキスト資料により学修した知識を使い、収集した情報を分析し、理解することができる。情報分析力としての知識・技能	テキスト資料の要旨をていねいにまとめてあり、これまでの学修内容との関連づけが適切にふまえていた。新しく学ぶ学術用語について、自分の言葉で複数の例をあげながら、例をあげて説明することができた。	テキスト資料の要旨をまとめてあり、これまでの学修内容のいくつかを関連づけしていた。新しく学ぶ学術用語について、自分の言葉で説明することができた。	テキスト資料の要旨をまとめてあり、新しく学ぶ学術用語について、自分の言葉で説明することができた。	テキスト資料の要旨は、改題の余地があるが、まとめられている。新しく学ぶ学術用語について、自分の言葉で説明することができた。	テキスト資料の要旨をまとめる作業、新しく学ぶ学術用語について、説明することは難しく、知識・技能の修得はできなかった。																								
文献資料の信頼性を保ちながら、学術概念を使って考察すること、客観的立場から社会的現象について論理的に分析表現をすることができ、思考力・判断力・表現力	信頼性のある文献資料を複数選び、適切に引用した。新しく学ぶ学術概念を、これまでのものと対比して、類似点や相違点をあげながら、社会的現象の分析表現することができた。	信頼性のある文献資料を選び、適切な手続きで引用した。新しく学ぶ学術概念を、これまでのものと関連づけながら、社会的現象の分析表現することができた。	信頼性のある文献資料を選び、引用した。新しく学ぶ学術概念を使い、これまでのものと関連づけながら社会的現象の分析表現することができた。	文献資料を選び、信頼性を保持したうえで引用すること、改善の余地はあるが、おこなった。新しく学ぶ学術概念を使い、社会的現象の分析表現をすることができた。十分ではないがおこなうことができた。	文献資料を選び、引用する信頼性の確保すること、新しく学ぶ学術概念を使い、社会的現象の分析表現をすることが難しく、思考力・判断力・表現力は修得できなかった。																								
大学の学修環境を創造するメンバーとして自覚し、自分の意見と異なる意見を統合させながら、学修経験を高めようとする、関心・意欲・態度	大学生としての役割と責任を自覚し、積極的、協同的に行動することができた。	大学生として役割は、おおむね理解しており、行動することができた。	大学生として自分の役割は、基本的な行動をすることができた。	大学生として自分の役割は、改善の余地はあるが、行動することができた。	大学生として自分の役割は、自ら理解して行動することが難しく、関心・意欲・態度を示すことはできなかった。																								

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>『新 体感する社会学』</td> <td>金菱 清</td> <td>新曜社</td> <td>2014</td> <td>9784788513884</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1	『新 体感する社会学』	金菱 清	新曜社	2014	9784788513884		2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1	『新 体感する社会学』	金菱 清	新曜社	2014	9784788513884																																					
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>『社会学の力』</td> <td>友枝俊雄・浜日出夫・山田真茂</td> <td>有斐閣</td> <td>2017</td> <td>9784641174306</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>『参照基準 社会学分野』</td> <td>日本学術会議社会学委員会</td> <td></td> <td>2014</td> <td></td> <td>大学教育の分野別強保証のための教育課</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1	『社会学の力』	友枝俊雄・浜日出夫・山田真茂	有斐閣	2017	9784641174306		2	『参照基準 社会学分野』	日本学術会議社会学委員会		2014		大学教育の分野別強保証のための教育課	3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1	『社会学の力』	友枝俊雄・浜日出夫・山田真茂	有斐閣	2017	9784641174306																																					
2	『参照基準 社会学分野』	日本学術会議社会学委員会		2014		大学教育の分野別強保証のための教育課																																				
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	社会福祉学科・2年、デザイン学科・2年、建		
開講時期	3Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	社会学入門 (科目ナンバリング：SOC021006)				
授業担当者(所属・職名)	松下 守邦(社会福祉学科・教授)	研究室所在	1号館2階		
単位数	2 (単位認定責任者：松下 守邦)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間			
回	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	オリエンテーションでシラバス(ルーブリック：古語の赤字マーク、赤土の語源とされ、現在は評価基準の意味を持つとされます。出典略)説明をおこ	シラバスを熟読する。(90分)	今回の学習内容を復習する。(90分)
2	脱常識と社会学	テキスト(金菱：2014)第1回を予習する。(90分)	今回の学習内容(テキスト、資料)を復習する。(90分)
3	意図せざる結果、社会的ジレンマ	テキスト(金菱：2014)第3回を予習する。(90分)	今回の学習内容(テキスト、資料)を復習する。(90分)
4	予言の自己実現、偽薬効果	テキスト(金菱：2014)第4回を予習する。(90分)	今回の学習内容(テキスト、資料)を復習する。(90分)
5	視聴覚教材、社会学文献の解題	授業1回-4回を整理学修する。(90分)	今回の学習内容(テキスト、資料)を復習する。(90分)
6	ラベリング	テキスト(金菱：2014)第5回を予習する。(90分)	今回の学習内容(テキスト、資料)を復習する。(90分)
7	葛藤、演技	テキスト(金菱：2014)第6回、7回を予習する。(90分)	今回の学習内容(テキスト、資料)を復習する。(90分)
8	食、結婚、家族	テキスト(金菱：2014)第8回を予習する。(90分)	今回の学習内容(テキスト、資料)を復習する。(90分)
9	受苦圏、受益圏、公共性	テキスト(金菱：2014)第9回を予習する。(90分)	今回の学習内容(テキスト、資料)を復習する。(90分)
10	環境	テキスト(金菱：2014)第10回を予習する。(90分)	今回の学習内容(テキスト、資料)を復習する。(90分)
11	視聴覚教材、社会学文献の解題	授業6回-10回を整理学修する。(90分)	今回の学習内容(テキスト、資料)を復習する。(90分)
12	倫理、モラル	テキスト(金菱：2014)第11回を予習する。(90分)	今回の学習内容(テキスト、資料)を復習する。(90分)
13	法、贈与、交換	テキスト(金菱：2014)第12回を予習する。(90分)	今回の学習内容(テキスト、資料)を復習する。(90分)
14	疎外、労働	テキスト(金菱：2014)第13回を予習する。(90分)	今回の学習内容(テキスト、資料)を復習する。(90分)
15	生と死、自殺	テキスト(金菱：2014)第14回を予習する。(90分)	今回の学習内容(テキスト、資料)を復習する。(90分)
16	定期試験(60分)、終了後、試験解説	全授業のまとめ試験の準備学修をする。(90分)	全体のふりかえりを行う。(90分)

授業計画			
回	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	4Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	経済学入門 (科目ナンバリング: ECT021008)				
授業担当者(所属・職名)	小林 大州介 (経営学科・非常勤講師)	研究室所在	1号館1階非常勤講師室		
単位数	2 (単位認定責任者: 小林 大州介)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標	本講義では経済学の基本的な考え方を学び、現実の経済現象における諸問題がなぜ、どのようにして生じているかを考える。					
授業の位置づけ	経営学科DP「1(1)」、「2(1)」、「2(1)」に対応する。 社会福祉DP「1(2)」、「2(1)」に対応する。 デザイン学科DP「1(1)」、「2(1)」に対応する。 建築学科のDP「1(1)」、「2(1)」に対応する。					
到達目標	ミクロ経済学、マクロ経済学の基本的な考え方、概説的な日本経済史などを学び、日常で起きている経済問題について理解、説明できるようにする。					
授業全体の内容と概要	ミクロ経済学(交換・取引、均衡分析・余剰分析)、マクロ経済学(ケインズ経済学・経済成長)、ゲーム理論(囚人のジレンマ・交互ゲーム)、日本経済史といった各領域を、テキストに即して説明する。					
授業の方法	パワーポイントを使用した講義形式で行う。					
アクティブラーニングの実施方法	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL		
	模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業		
	ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)		
履修上の注意事項	毎回きちんと内容を把握する事。講義の最後に毎回演習問題を行う。					
資格指定科目						

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定のための最低出席回数10回以上 単位認定は、定期試験70%、平常点(中間試験等)30%の合計100%のうち、60%以上をクリアしている事。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
70%	0%	0%	0%	30%	0%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
ミクロ経済学について	「市場」のメカニズムを深く理解し、「社会的総余剰」や「市場の失敗」といった概念を説明できる。また、ミクロ経済学における分析の限界も説明することができる。	「市場」のメカニズムを深く理解し、「社会的総余剰」や「市場の失敗」といった概念を説明できる。	「市場」のメカニズムを良く理解し、その均衡状態について説明することができる。	「市場」のメカニズムについて、一定の理解がある。	「市場」のメカニズムについて、理解が見られない。
マクロ経済学について	総需要管理政策の意味を深く理解し、計算問題を解くことができる。また、その政策の問題点や、経済成長論についての理解がある。	総需要管理政策の意味を深く理解し、計算問題を解くことができる。また、その問題点を挙げる事が出来る。	総需要管理政策の意味を深く理解し、計算問題を解くことができる。	総需要管理政策がどのようなものかについて説明できる。	総需要管理政策についての理解が見られない。
ゲーム理論	ナッシュ均衡の意味を深く理解し、囚人のジレンマゲームや交互ゲームの解を示すことができる。	ナッシュ均衡の意味を深く理解し、囚人のジレンマゲームを含む同時ゲームの解を示すことができる。	囚人のジレンマゲームを含む、同時ゲームの解を示すことができる。	同時ゲームの解を示すことができる。	ゲームの均衡解についての理解が見られない。
日本経済史	戦後の日本経済の歴史について深く理解し、マクロ経済学的な意図を使った説明が出来る。	戦後の日本経済史について深く理解し、その転換点についての説明が出来る。	戦後の日本経済史を理解し、説明できる。	戦後の日本経済の流れをある程度説明できる。	戦後の日本経済の流れを説明できる。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『経済学概論』	矢口和宏、坂本直樹	株式会社みらい	2016		
2						
3						
4						
5						
参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『はじめての人のための経済学史』	江頭進	新世社	2015		
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	4Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	経済学入門 (科目ナンバリング: ECT021008)				
授業担当者(所属・職名)	小林 大州介 (経営学科・非常勤講師)	研究室所在	1号館1階非常勤講師室		
単位数	2 (単位認定責任者: 小林 大州介)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	初回オリエンテーション: シラバスの説明、日本の経済状況を考える	経済学とは何かについて関心を持ち、本やネットを使って予習をする(90分)	講義で行ったことを良く復習する(90分)
2	経済学の基礎 : 経済活動における選択と意思決定	教科書の該当箇所について良く読み、分からない箇所は本やネットで調べる(90分)	講義で行ったことを良く復習する(90分)
3	経済学の基礎 : 取引とは何か	教科書の該当箇所について良く読み、分からない箇所は本やネットで調べる(90分)	講義で行ったことを良く復習する(90分)
4	需給分析・ミクロ経済学基礎 : 市場分析と取引量の決定	教科書の該当箇所について良く読み、分からない箇所は本やネットで調べる(90分)	講義で行ったことを良く復習する(90分)
5	需給分析・ミクロ経済学基礎 : 市場均衡と余剰分析	教科書の該当箇所について良く読み、分からない箇所は本やネットで調べる(90分)	講義で行ったことを良く復習する(90分)
6	需給分析・ミクロ経済学応用 : 企業の価格決定	教科書の該当箇所について良く読み、分からない箇所は本やネットで調べる(90分)	講義で行ったことを良く復習する(90分)
7	需給分析・ミクロ経済学応用 : 政策からの視点	教科書の該当箇所について良く読み、分からない箇所は本やネットで調べる(90分)	講義で行ったことを良く復習する(90分)
8	マクロ経済学入門: 一国の経済について	教科書の該当箇所について良く読み、分からない箇所は本やネットで調べる(90分)	講義で行ったことを良く復習する(90分)
9	マクロ経済学 : 国民総生産の決定	教科書の該当箇所について良く読み、分からない箇所は本やネットで調べる(90分)	講義で行ったことを良く復習する(90分)
10	マクロ経済学 : 総需要管理政策と経済成長	教科書の該当箇所について良く読み、分からない箇所は本やネットで調べる(90分)	講義で行ったことを良く復習する(90分)
11	ゲーム理論とは何か? 新しいミクロ経済学	教科書の該当箇所について良く読み、分からない箇所は本やネットで調べる(90分)	講義で行ったことを良く復習する(90分)
12	ゲーム理論・応用編: 時間を考慮した戦略	教科書の該当箇所について良く読み、分からない箇所は本やネットで調べる(90分)	講義で行ったことを良く復習する(90分)
13	戦後の日本経済史: 高度成長からバブル経済へ	教科書の該当箇所について良く読み、分からない箇所は本やネットで調べる(90分)	講義で行ったことを良く復習する(90分)
14	学んだ考え方で日本経済を考える	教科書の全体について良く読み、全体の復習を行う(90分)	講義で行ったことを良く復習する(90分)
15	経済学の色々	経済学には本講義で示した以外にも、様々な分野がある。各人で興味を持った経済学分野をネットでチェックしておくこと(90分)	講義で行ったことを良く復習する(90分)
16	定期試験(60分)と試験の説明・解説	これまでの講義を振り返り、よく復習しておくこと(90分)	これまで講義を通じて行ってきたことを良く復習する(90分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	経営学科・3年、社会福祉学科・3年、デザイ		
開講時期	2Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	政治学入門 (科目ナンバリング: POL021007)				
授業担当者(所属・職名)	金子 敏也 (社会福祉学科・特任准教授)	研究室所在	2号館7階		
単位数	2 (単位認定責任者: 金子 敏也)	CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標	政治に関して、分かっていること、わからないこと、知っていること、知らないことを見極めるようになる。																								
授業の位置づけ	経営学科のDP「1(1)と(2)」、「2(1)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(2)と(3)と(4)」、「2(1)と(4)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(1)と(2)」、「2(3)」に対応する。 建築学科のDP「1(1)」、「2(1)と(3)」に対応する。																								
到達目標	政治の目的とは何かを理解できる。制度的な特徴、役割がわかる。積極的に政治に参加できるようにする。																								
授業全体の内容と概要	日本の議院内閣制の政治的特色を他国の政治制度との対比などを踏まえて説明する。																								
授業の方法	講義の前半の60分弱を通常の講義にあて、残りの30分は各学生が講義内容について何が理解でき、何がわからなかったかを論述してもらい3週ないし4週に一度、書き出したメモ書きの提出を求めます。毎回出席して、メモ書きさえ出せば、単位習得可能な講義とします。わからなかったことについての積極的な調査と発表を歓迎します。学生は調べたことを黒板に書き出してください。学生の数人に対して、次週の章について、テーマ、論点を整理したレジメの作成を求めます。																								
アクティブラーニングの実施方法	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td>○</td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td>○</td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	○	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ	○	調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技	○	双方向授業		その他(授業の方法参照)
○	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																		
	模擬授業		ロールプレイ	○	調査学習		反転授業																		
	ディスカッション		実験・実習・実技	○	双方向授業		その他(授業の方法参照)																		
履修上の注意事項	出席を重視します。12回以上出席すれば、最低限の成績ではありますが、単位は取得可能と考えてください。(最低出席数は10回とします。)講義の過程で、自主的なレポートをする機会を設けます。その発表ひとつひとつが加点の機会だと考えてください。7回以上欠席した場合、特段の事由がない限り、不可とします。																								
資格指定科目																									

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要となる最低出席回数は10回以上。授業開始後20分以降の出席は受講回数から除外する(公共交通機関などの遅延の場合は例外とする)。テキストを購入しない学生は、無条件で不可とします。(ただし、各講義にその時間のコピーなどを持参したものは例外とします。)					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	50%	0%	0%	50%	0%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
速読法の理解	各章のレジメ作成を2時間以内にできた。	各章のレジメ作成3時間以内でできた。	レジメの作成の仕方が理解できた。	レジメの意義を理解できた。	レジメの意義を理解できなかった。
論点の把握	テーマ、論点を適切に提示にできた。	テーマ、論点を適切に提示にできた。	テーマの把握、論点の整理が一応にできた。	テーマと論点がわかった。	テーマと論点がずれていた。
知識の習得	適切な知識を身に着けた。	適切な知識を身に着けた。	最重要課題についての知識を身に着けた。	必要最低限の知識はあった。	必要最低限の知識を習得できなかった。
自主性	発表回数多数を達成した学生。	発表回数3回以上を達成した学生。	発表回数2回以上を達成した学生。	発表回数1回以上を達成した学生。	発表できなかった学生。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『ポリティカルサイエンス始め』	伊藤 光利編	有斐閣	1996年		
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	経営学科・3年、社会福祉学科・3年、デザイ		
開講時期	2Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	政治学入門 (科目ナンバリング: POL021007)				
授業担当者(所属・職名)	金子 敏也 (社会福祉学科・特任准教授)	研究室所在	2号館7階		
単位数	2 (単位認定責任者: 金子 敏也)	CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	シラバスの説明	シラバスを読んでおくこと(90分)	回想(90分)
2	政治を科学する。	教科書の該当節を読み、できればまとめる。(90分)	復習(90分)
3	政治って何だろう?	教科書の該当節を読み、できればまとめる。(90分)	復習(90分)
4	天気が良いと投票率は上がる?政治が悪いと投票率は下がる?	教科書の該当節を読み、できればまとめる。(90分)	復習(90分)
5	政党で選ぶの?候補者で選ぶの?	教科書の該当節を読み、できればまとめる。(90分)	復習(90分)
6	マスメディアの伝える政治的現実	教科書の該当節を読み、できればまとめる。(90分)	復習(90分)
7	メディアがつくる政治意識	教科書の該当節を読み、できればまとめる。(90分)	復習(90分)
8	政治家と選挙	教科書の該当節を読み、できればまとめる。(90分)	復習(90分)
9	政治家は必要か	教科書の該当節を読み、できればまとめる。(90分)	復習(90分)
10	思想の争いとしての55年体制	教科書の該当節を読み、できればまとめる。(90分)	復習(90分)
11	政党政治の行く末	教科書の該当節を読み、できればまとめる。(90分)	復習(90分)
12	職業としての官僚	教科書の該当節を読み、できればまとめる。(90分)	復習(90分)
13	官僚の役割	教科書の該当節を読み、できればまとめる。(90分)	復習(90分)
14	政策のつくられ方	教科書の該当節を読み、できればまとめる。(90分)	復習(90分)
15	目立たない最高権力者	教科書の該当節を読み、できればまとめる。(90分)	復習(90分)
16	まとめ(レポートの解説、フィードバック)	教科書の全体を見直す。(90分)	復習(90分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	1Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	日本の歴史 (科目ナンバリング: HIS021009)				
授業担当者(所属・職名)	牧之内 友(社会福祉学科・非常勤講師)	研究室所在	1号館1階非常勤講師室		
単位数	2 (単位認定責任者: 牧之内 友)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
教育を身につけるために「社会と歴史」を幅広く学ぶための科目であり、歴史研究の諸問題を考えることをテーマとし、歴史資料へのアクセス方法を学び、歴史的な見方を養うとともに、その重要性を知る。

授業の位置づけ
経営学科のDP「1(2)」、「2(1)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(2)と(4)」、「2(1)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(1)」、「2(3)」に対応する。 建築学科のDP「1(1)」、「2(3)」に対応する。

到達目標
1. 歴史資料にアクセスする方法を身につけるとともに、それぞれのテーマに沿った資料を提示することができる。 2. 多くの資料を比較検討して、史料に基づいて歴史的現象についての考察を行うことができる。 3. 自分の考察を、定められた枠組みに基づいて記述し、適切に表現できる。

授業全体の内容と概要
1. 資料に基づく歴史学の研究方法を知る。 2. 教科書的な見方からいったん離れ、異なる視点から日本史に接近する。 3. 多様な歴史の見方を概観し対比したうえで、自分なりの考えを得て、表現する。

授業の方法
授業は毎回資料を配布し(DVDの視聴なども含む)解説する講義形式で行う。受講者には毎回講義に対する意見、疑問などの小文を書いて提出してもらい、次回にそれに対するコメントを行う。

アクティブラーニングの実施方法																					
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模範授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL	模範授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL															
模範授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業															
ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)															

履修上の注意事項
毎回配布する資料をしっかりと読み、自分なりに整理、理解したうえで、次回の授業に臨むこと。また毎回の小文提出を持って出席に代える。私語厳禁。

資格指定科目
教職課程(社会・地理歴史)必修科目

評価方法・基準

評価前提条件												
単位認定に必要な最低出席回数は10回以上。												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>70%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>30%</td> <td>0%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	70%	0%	0%	30%	0%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	70%	0%	0%	30%	0%							

ルーブリック																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>資料の取り扱い</td> <td>授業で配布された資料を整理し、自分で文献や資料を広く入手することにも、テーマに沿って適切に提示できていた。</td> <td>授業で配布された資料を整理し、自分で文献や資料を図書館のみならず、インターネットなども使って広く入手して提示できていた。</td> <td>授業で配布された資料を整理し、自分で文献や資料を整理し、自分で文献や資料を図書館のみならず、インターネットなども使って提示できていた。</td> <td>授業で配布された資料を整理できていた。</td> <td>授業で配布された資料を整理できていなかった。</td> </tr> <tr> <td>テーマに基づく考察</td> <td>テーマに沿って、資料を取捨選択して提示し、複数の観点から分析を行ったうえで、考察がなされていた。</td> <td>テーマに沿って、資料を取捨選択して提示し、批判的な分析を行ったうえで、考察がなされていた。</td> <td>テーマに沿って、資料を取捨選択して、適切な考察がなされていた。</td> <td>テーマに沿い、資料を提示しての考察がなされていた。</td> <td>テーマに沿い、資料を提示しての考察がなされていない。</td> </tr> <tr> <td>テーマに沿った考察の表現</td> <td>指示された枠組みに基づいて記述がなされ、資料の提示、記述なども工夫されていた。</td> <td>指示された枠組みに基づいて記述がなされ、資料の提示も適切で、論得力がわかりやすいものとなっていた。</td> <td>指示された枠組みに基づいて記述がなされ、資料の提示も適切で、その記述が論得力のあるものとなっていた。</td> <td>指示された枠組みに基づいて記述されていた。</td> <td>指示された枠組みに基づいて記述されていない。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	資料の取り扱い	授業で配布された資料を整理し、自分で文献や資料を広く入手することにも、テーマに沿って適切に提示できていた。	授業で配布された資料を整理し、自分で文献や資料を図書館のみならず、インターネットなども使って広く入手して提示できていた。	授業で配布された資料を整理し、自分で文献や資料を整理し、自分で文献や資料を図書館のみならず、インターネットなども使って提示できていた。	授業で配布された資料を整理できていた。	授業で配布された資料を整理できていなかった。	テーマに基づく考察	テーマに沿って、資料を取捨選択して提示し、複数の観点から分析を行ったうえで、考察がなされていた。	テーマに沿って、資料を取捨選択して提示し、批判的な分析を行ったうえで、考察がなされていた。	テーマに沿って、資料を取捨選択して、適切な考察がなされていた。	テーマに沿い、資料を提示しての考察がなされていた。	テーマに沿い、資料を提示しての考察がなされていない。	テーマに沿った考察の表現	指示された枠組みに基づいて記述がなされ、資料の提示、記述なども工夫されていた。	指示された枠組みに基づいて記述がなされ、資料の提示も適切で、論得力がわかりやすいものとなっていた。	指示された枠組みに基づいて記述がなされ、資料の提示も適切で、その記述が論得力のあるものとなっていた。	指示された枠組みに基づいて記述されていた。	指示された枠組みに基づいて記述されていない。												
評価項目		評価基準																																							
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
資料の取り扱い	授業で配布された資料を整理し、自分で文献や資料を広く入手することにも、テーマに沿って適切に提示できていた。	授業で配布された資料を整理し、自分で文献や資料を図書館のみならず、インターネットなども使って広く入手して提示できていた。	授業で配布された資料を整理し、自分で文献や資料を整理し、自分で文献や資料を図書館のみならず、インターネットなども使って提示できていた。	授業で配布された資料を整理できていた。	授業で配布された資料を整理できていなかった。																																				
テーマに基づく考察	テーマに沿って、資料を取捨選択して提示し、複数の観点から分析を行ったうえで、考察がなされていた。	テーマに沿って、資料を取捨選択して提示し、批判的な分析を行ったうえで、考察がなされていた。	テーマに沿って、資料を取捨選択して、適切な考察がなされていた。	テーマに沿い、資料を提示しての考察がなされていた。	テーマに沿い、資料を提示しての考察がなされていない。																																				
テーマに沿った考察の表現	指示された枠組みに基づいて記述がなされ、資料の提示、記述なども工夫されていた。	指示された枠組みに基づいて記述がなされ、資料の提示も適切で、論得力がわかりやすいものとなっていた。	指示された枠組みに基づいて記述がなされ、資料の提示も適切で、その記述が論得力のあるものとなっていた。	指示された枠組みに基づいて記述されていた。	指示された枠組みに基づいて記述されていない。																																				

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	1Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	日本の歴史 (科目ナンバリング: HIS021009)				
授業担当者(所属・職名)	牧之内 友(社会福祉学科・非常勤講師)	研究室所在	1号館1階非常勤講師室		
単位数	2 (単位認定責任者: 牧之内 友)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	オリエンテーション シラバスの説明	シラバスを熟読し、本講義について理解する(90分)	説明内容を確認しまとめる(90分)
2	日本の近代化と軍隊1 明治維新と国民皆兵	学習内容に関連する事柄について調べる(90分)	資料およびノートをまとめる(90分)
3	日本の近代化と軍隊2 徴兵の実態	学習内容に関連する事柄について調べる(90分)	資料およびノートをまとめる(90分)
4	日本の近代化と軍隊3 軍隊生活の経験	学習内容に関連する事柄について調べる(90分)	資料およびノートをまとめる(90分)
5	日清戦争	学習内容に関連する事柄について調べる(90分)	資料およびノートをまとめる(90分)
6	日露戦争	学習内容に関連する事柄について調べる(90分)	資料およびノートをまとめる(90分)
7	第一次世界大戦と大正時代1 大戦への参戦	学習内容に関連する事柄について調べる(90分)	資料およびノートをまとめる(90分)
8	第一次世界大戦と大正時代2 デモクラシーと軍隊	学習内容に関連する事柄について調べる(90分)	資料およびノートをまとめる(90分)
9	第一次世界大戦と大正時代3 戦間期の軍隊	学習内容に関連する事柄について調べる(90分)	資料およびノートをまとめる(90分)
10	アジア・太平洋戦争1 満洲事変	学習内容に関連する事柄について調べる(90分)	資料およびノートをまとめる(90分)
11	アジア・太平洋戦争2 日中戦争	学習内容に関連する事柄について調べる(90分)	資料およびノートをまとめる(90分)
12	アジア・太平洋戦争3 太平洋戦争	学習内容に関連する事柄について調べる(90分)	資料およびノートをまとめる(90分)
13	アジア・太平洋戦争4 敗戦まで	学習内容に関連する事柄について調べる(90分)	資料およびノートをまとめる(90分)
14	戦後日本と戦争の記憶1 敗戦後の国民	学習内容に関連する事柄について調べる(90分)	資料およびノートをまとめる(90分)
15	戦後日本と戦争の記憶2 現代にいたる記憶	学習内容に関連する事柄について調べる(90分)	資料およびノートをまとめる(90分)
16	まとめ	学習内容に関連する事柄について調べる(90分)	資料およびノートをまとめる(90分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・3年		
開講時期	2Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	日本国憲法 (科目ナンバリング: LAW021005)				
授業担当者(所属・職名)	青山 浩之(経営学科・准教授)	研究室所在	1号館4階		
単位数	2 (単位認定責任者: 青山 浩之)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

<p>履修目標</p> <p>憲法は、国家権力の濫用を抑制し、国民の権利・自由を守るための基本法である。法的な問題が生じたとき、迅速かつ的確に対応できるよう、条文を理解し、適用・解釈する。</p>

<p>授業の位置づけ</p> <p>経営学科のDP「1(1)」、「1(3)」、「2(1)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(1)」、「1(4)」、「2(1)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(1)」、「2(1)」に対応する。 建築学科のDP「1(1)」、「2(1)」に対応する。</p>

<p>到達目標</p> <p>憲法を学ぶことにより、法律に対して感じるむずかしさや抵抗感を取り除き、法律の基本知識を修得する。法律の基本知識を修得することにより、条文を理解し、適用・解釈できる。</p>
--

<p>授業全体の内容と概要</p> <p>法律の基本となる知識を修得することを目的とし、法律の条文を理解し、個々の事例に対して適用・解釈できるようになることを目標とする。さらには、法的な問題が生じたとき、迅速かつ的確に対応できる人材を育成することを目標とする。憲法は、国民主権・基本的人権の尊重・平和主義の三つを基本原理とする日本の基本となる法律である。憲法の基本となる知識を修得し、実例に即し講義を行う。具体的には、憲法総論、人権分野、統治分野に関し条文をベースに解説する。</p>

<p>授業の方法</p> <p>授業は、資料をパワーポイントで投影し、資料(第3回から第14回の計12回)を配布して実施する。授業の進行は、前回の復習から始まり、本日の講義の内容を講義形式で解説を行う(調査実習含む)。確認テストは、講義の理解を深めるために2回(前年実績)実施する。ビデオ視聴は、課題解決力を養うために2回(オンライン授業の場合は実施しない)実施する。課題は、講義の理解を深めるために1回(前年実績)実施する。についてのフィードバックは、講義内で解説を行う。補講は原則2回を限度として実施する(欠欠などの学生に対しては、補講を出席することによって単位認定基準を満たす場合のみ実施する。前年度の補講は2回実施しました)。</p>
--

アクティブラーニングの実施方法							
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク	○	PBL
	模擬授業		ロールプレイ	○	調査学習		反転授業
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)

<p>履修上の注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私語などの迷惑行為は厳禁。 ・講義中スマホの操作は厳禁、マナーモードで受講してください。 ・六法を持参することを推奨。 ・確認テストやビデオ視聴を実施するので遅刻は慎むこと。開始後、プリント配布はしません。
--

<p>資格指定科目</p> <p>教職課程(社会・公民)必修科目</p>

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な最低出席回数は、10回以上 課題の提出等の定期試験以外の割合が単位認定基準の4割を占めるので、12回以上の出席を推奨。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
60%	0%	10%	0%	30%	0%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
法律の条文を読み取り、理解できる	法律の条文を読み取り、理解でき、さらに自分の意見を述べる事ができた	法律の条文を読み取り、理解でき、自分なりの説明できた	法律の条文を読み取り、理解できた	法律の条文を読み取れた	法律の条文を読み取れなかった
事例を理解し、法律の条文を適用できる	事例を理解し、法律の条文を適用し、さらに自分の意見を述べる事ができた	事例を理解し、法律の条文を適用し、自分なりの説明できた	事例を理解し、法律の条文を適用できた	事例を理解し、法律の条文を理解できた	事例を読み取れず、法律の条文を理解できなかった
課題に対し、問題解決ができる	解答が的確で、過不足なく網羅して答えていた	一部に解答と関係ないことを答えているが、解答は答えていた	改善すべき点があるが、解答が一通り答えていた	的確ではないが、解答を部分的には答えていた	解答が論点にズレがあり、テーマに対して十分ではなかった

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『ポケット六法 令和3年版』	佐伯 仁志, 大村 敦志 / 編集代表	有斐閣	2020年	9784641009219	
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・3年		
開講時期	2Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	日本国憲法 (科目ナンバリング: LAW021005)				
授業担当者(所属・職名)	青山 浩之(経営学科・准教授)	研究室所在	1号館4階		
単位数	2 (単位認定責任者: 青山 浩之)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	シラバスの説明 ガイダンス 憲法とは何か	シラバスの確認(90分)	復習(90分)
2	シラバスの説明 ガイダンス 憲法とは何か - 憲法の特徴と基本原理	シラバスの確認 憲法の特徴と基本原理の調べ学習(90分)	復習(90分)
3	憲法とは何か - 憲法の基本原則と構造	憲法の基本原則と構造についての調べ学習(90分)	配布資料の復習(90分)
4	基本的人権 総論・幸福追求権	総論・幸福追求権の調べ学習(90分)	配布資料の復習(90分)
5	基本的人権 各論 - 法の下での平等・精神的自由権	法の下での平等・精神的自由権についての調べ学習(90分)	配布資料の復習(90分)
6	基本的人権 各論 - 精神的自由権 確認テスト1(前年実績)	精神的自由についての調べ学習(90分)	配布資料の復習(90分), 確認テストの復習
7	基本的人権 各論 - 経済的自由権・社会権	経済的自由権・社会権についての調べ学習(90分)	配布資料の復習(90分)
8	基本的人権 各論 - 人身自由権・国務請求権・参政権	人身自由権・国務請求権・参政権についての調べ学習(90分)	配布資料の復習(90分)
9	基本的人権のまとめ	基本的人権についての調べ学習(90分)	配布資料の復習(90分)
10	統治機構 総論	統治機構について考える(90分)	配布資料の復習(90分)
11	統治機構 各論 - 国会	国会についての調べ学習(90分)	配布資料の復習(90分)
12	統治機構 各論 - 内閣 確認テスト2(前年実績)	内閣についての調べ学習(90分)	配布資料の復習(90分), 確認テストの復習
13	統治機構 各論 - 裁判所	裁判所についての調べ学習(90分)	配布資料の復習(90分)
14	統治機構 各論 - 財政・地方自治・統治機構のまとめ 課題1(前年実績)	財政・地方自治についての調べ学習。統治機構のまとめ(90分)	配布資料の復習(90分), 課題を作成
15	まとめ 定期試験の説明	課題作成。第3回から第14回まで復習(90分)	試験範囲の確認により, 第3回から第14回まで復習(90分)
16	定期試験(60分) 定期試験の解説, 採点方法の説明	試験範囲の確認, 第3回から第14回まで復習(90分)	復習(90分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・3年		
開講時期	3Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	外国の歴史 (科目ナンバリング: HIS021010)				
授業担当者(所属・職名)	横田 肇 (社会福祉学科・准教授)	研究室所在	2号館7階		
単位数	2 (単位認定責任者: 横田 肇)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
学生が、ヨーロッパとイギリスの歴史を概観し、政治・社会、文化の歴史の基本的な知識を習得する。

授業の位置づけ
経営学科のDP「1(2)」、「2(1)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(2)と(3)と(5)」、「2(1)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(1)」、「2(1)と(3)」に対応する。 建築学科のDP「1(1)」、「2(1)と(3)」に対応する。

到達目標
ヨーロッパとイギリスの歴史と社会・文化についての基礎的知識を獲得し、自分なりの理解がされ、合わせて、獲得した知識が自身の言葉で的確に説明できる。

授業全体の内容と概要
ヨーロッパ、特にイギリスの歴史の時代を辿って順次講義形式で概説していく。合わせて、日本を含むアジア等の諸国・地域について関連する部分を必要最小限説明していく。

授業の方法
毎回、講義形式でヨーロッパとイギリスの歴史を述べていく。原則、こちらで用意した原稿に沿って口頭で説明していくが、適宜、パワーポイントと板書、配布資料を併用する。授業の最後に当該箇所のまとめと確認を行い、その際、受講者にはミニッツペーパー(コメント)の提出を求める。ミニッツペーパー(コメント)への講評を次の授業の冒頭で行い、フィードバックする。

アクティブラーニングの実施方法												
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>グループワーク</td> <td>フィールドワーク</td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td>ロールプレイ</td> <td>調査学習</td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td>実験・実習・実技</td> <td>双方向授業</td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL	模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業	ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL									
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業									
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)									

履修上の注意事項
欠席、遅刻をしないように留意する。

資格指定科目
教職科目(社会・地理歴史)必修科目

評価方法・基準

評価前提条件												
単位認定に必要な最低出席回数は10回以上。												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>70%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>30%</td> <td>0%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	70%	0%	0%	0%	30%	0%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
70%	0%	0%	0%	30%	0%							

ルーブリック																													
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> <tr> <td>歴史についての知識・理解</td> <td>歴史(イギリス史)に関する理解が正確、十分になされ、的確に説明ができた。</td> <td>歴史(イギリス史)に関する理解がおおよそなされ、おおよその説明ができた。</td> <td>歴史(イギリス史)の主要な部分の理解がなされ、ある程度説明ができた。</td> <td>歴史(イギリス史)の主要な部分の理解がなされていた。</td> <td>歴史(イギリス史)の理解が全くなされていなかった。</td> </tr> <tr> <td>文献読解・考察の能力</td> <td>歴史に関する初歩的な文献が十分に読解でき、明晰な考察ができた。</td> <td>歴史に関する初歩的な文献の読解と考察がおおよそできた。</td> <td>歴史に関する初歩的な文献の読解が大体できた。</td> <td>指示によって歴史に関する初歩的な文献の読解が一定程度できた。</td> <td>指示による歴史に関する初歩的な文献の読解ができなかった。</td> </tr> <tr> <td>論述の能力</td> <td>課題に対する説明が論理的にでき、明確な文筆で表現できた。</td> <td>課題に対する説明が論理的にでき、明確な文で提示された。</td> <td>課題に対する説明がわかりやすく、読みやすい文で提示された。</td> <td>指示によって課題に対する説明がわかりやすく提示された。</td> <td>指示による課題に対する説明ができなかった。</td> </tr> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	歴史についての知識・理解	歴史(イギリス史)に関する理解が正確、十分になされ、的確に説明ができた。	歴史(イギリス史)に関する理解がおおよそなされ、おおよその説明ができた。	歴史(イギリス史)の主要な部分の理解がなされ、ある程度説明ができた。	歴史(イギリス史)の主要な部分の理解がなされていた。	歴史(イギリス史)の理解が全くなされていなかった。	文献読解・考察の能力	歴史に関する初歩的な文献が十分に読解でき、明晰な考察ができた。	歴史に関する初歩的な文献の読解と考察がおおよそできた。	歴史に関する初歩的な文献の読解が大体できた。	指示によって歴史に関する初歩的な文献の読解が一定程度できた。	指示による歴史に関する初歩的な文献の読解ができなかった。	論述の能力	課題に対する説明が論理的にでき、明確な文筆で表現できた。	課題に対する説明が論理的にでき、明確な文で提示された。	課題に対する説明がわかりやすく、読みやすい文で提示された。	指示によって課題に対する説明がわかりやすく提示された。	指示による課題に対する説明ができなかった。
評価項目		評価基準																											
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																								
歴史についての知識・理解	歴史(イギリス史)に関する理解が正確、十分になされ、的確に説明ができた。	歴史(イギリス史)に関する理解がおおよそなされ、おおよその説明ができた。	歴史(イギリス史)の主要な部分の理解がなされ、ある程度説明ができた。	歴史(イギリス史)の主要な部分の理解がなされていた。	歴史(イギリス史)の理解が全くなされていなかった。																								
文献読解・考察の能力	歴史に関する初歩的な文献が十分に読解でき、明晰な考察ができた。	歴史に関する初歩的な文献の読解と考察がおおよそできた。	歴史に関する初歩的な文献の読解が大体できた。	指示によって歴史に関する初歩的な文献の読解が一定程度できた。	指示による歴史に関する初歩的な文献の読解ができなかった。																								
論述の能力	課題に対する説明が論理的にでき、明確な文筆で表現できた。	課題に対する説明が論理的にでき、明確な文で提示された。	課題に対する説明がわかりやすく、読みやすい文で提示された。	指示によって課題に対する説明がわかりやすく提示された。	指示による課題に対する説明ができなかった。																								

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>適宜指示する</td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1						適宜指示する	2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1						適宜指示する																																				
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・3年		
開講時期	3Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	外国の歴史 (科目ナンバリング: HIS021010)				
授業担当者(所属・職名)	横田 肇(社会福祉学科・准教授)	研究室所在	2号館7階		
単位数	2 (単位認定責任者: 横田 肇)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	シラバスの説明、ガイダンス	シラバスを読んでおく(90分)	歴史の基礎的事項の復習(90分)
2	人類の起源・ヨーロッパの原始時代	原始・古代の予習(90分)	原始・古代の復習(90分)
3	ヨーロッパの古代(1)ギリシャ時代	古代ギリシャ(資料)の予習(90分)	古代ギリシ(資料)の復習(90分)
4	ヨーロッパの古代(2)ローマ時代	古代ローマ(資料)の予習(90分)	古代ローマ(資料)の復習(90分)
5	ヨーロッパの中世(1)イギリスの中世:王政前期	イギリス王政前期の予習(90分)	イギリス王政前期の復習(90分)
6	ヨーロッパの中世(2)イギリスの中世:王政前期	イギリス王政前期の予習(90分)	イギリス王政前期の復習(90分)
7	ヨーロッパの近世(1)イギリスの近世:王政中期	イギリス王政中期の予習(90分)	イギリス王政中期の復習(90分)
8	ヨーロッパの近世(2)イギリスの近世:王政中期	イギリス王政中期の予習(90分)	イギリス王政中期の復習(90分)
9	ヨーロッパの近世(3)イギリスの近世:王政後期	イギリス王政後期の予習(90分)	イギリス王政後期の復習(90分)
10	ヨーロッパの近世(4)イギリスの近世:王政後期	イギリス王政後期の予習(90分)	イギリス王政後期の復習(90分)
11	ヨーロッパの近代(1)イギリスの近代	イギリス近代の予習(90分)	イギリス近代の復習(90分)
12	ヨーロッパの近代(2)イギリスの近代	イギリス近代の予習(90分)	イギリス近代の復習(90分)
13	ヨーロッパの近代(3)イギリスの近代	イギリス近代の予習(90分)	イギリス近代の復習(90分)
14	今日の世界(1)	既習事項の復習(90分)	既習事項の復習(90分)
15	今日の世界(2)	既習事項の復習(90分)	既習事項の復習(90分)
16	定期試験。60分の試験終了後、残りの30分で解説を行う。	既習事項の復習(90分)	既習事項の復習(90分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	3 Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	日本事情（留学生）（科目ナンバリング：CUA021011）				
授業担当者（所属・職名）	佐藤恵利（経営学科・非常勤講師）	研究室所在	1号館1階非常勤講師室		
単位数	2（単位認定責任者：佐藤 恵利）	CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	日本事情		

概要

履修目標
留学生が日本文化・日本社会の諸々の面から理解を深め、大学生生活、日本での生活を円滑に送ることが出来ることを目的とする。

授業の位置づけ
経営学科のDP「1(1)、(2)、(4)」、「2(1)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(2)、(3)」、「2(1)」、「2(1)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(2)」、「2(1)」に対応する。 建築学科のDP「1(1)、1(3)」、「2(1)」に対応する。

到達目標
日本文化・日本社会の諸々の側面について留学生の知識が深まること。日本について深めた知識を勉学や生活、専門分野の研究などに生かせる力を養うこと。

授業全体の内容と概要
毎時限トピックを提示し、視覚的な教材の使用、来日後の留学生の体験談などを積極的に取り入れ、留学生の日本事情理解を促進する授業の展開を図る。

授業の方法
毎時限提示されるトピックに対しディスカッションやグループワークを通して理解を深める。また、トピックをテーマにプレゼンテーションやレポート作成を行い、自分の意見やグループの考えを表現する。

アクティブラーニングの実施方法							
○	プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク	○	P B L
	模擬授業	○	ロールプレイ	○	調査学習		反転授業
○	ディスカッション		実験・実習・実技	○	双方向授業		その他（授業の方法参照）

履修上の注意事項
課題は授業内で決定し、指定期日に発表・提出する。また、それ以外でも自主的にレポートを作成し、提出した者は評価の対象とする。定期試験は行わない。学期末にレポートの提出を課すが、自分の言葉で書いていないものは不可とする。授業中は母語の使用は原則禁止とする。母語話者同士の会話も全て日本語で行うこと。平常点が評価に大きく影響する。授業中は真面目に取り組み「日本語で表現できない」と思わず、なんでもチャレンジすること。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要となる最低出席回数は11回である。出席、授業態度、レポート、プレゼンテーションで評価を行う。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	30%	15%	0%	50%	5%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
日本語、日本文化、時事問題の知識・技能	日本の時事問題や文化、習慣に興味・関心を持ち、積極的に知識や技能を習得しようとしている。授業外でも日本のニュースなどに関心を持つ。	日本の時事問題や文化、習慣に興味・関心を持ち、積極的に知識・技能を習得しようとしているが、授業内での関心だけで終わってしまう。	日本の時事問題や文化、習慣に興味・関心を持っているが、知識・技能を習得しようという姿勢があまり見られない。	日本の時事問題や文化、習慣に興味・関心をあまり持たない。授業内の活動には参加するが、知識・技能を習得しようという姿勢があまり見られない。	日本の時事問題や文化、習慣に興味・関心を持たず、知識・技能を習得しようという姿勢が見られない。授業内の活動にもあまり参加しない。
思考力、判断力、日本語での表現力	自身で考え、自分の言葉で表現できる。表現の内容が分かりやすく、文法の間違いがほとんどない。声の大きさ、発音もよい。	自身で考え、自分の言葉で表現できる。表現の内容が分かりやすいが、文法の間違いが目立つ。声の大きさが、発音もよい。	自身で考え、自分の言葉で表現できる。表現の内容が分かりやすいが、文法、発音に問題があり、聞き取りにくい。	自身で考えているが、他者の協力がないと自分の言葉で表現することができない。文法、発音に問題がある。	他者任せで、自身で考え、自分の言葉で表現しようとする姿勢が見られない。文法、発音に問題がある。
主体的に日本語学習に取り組む態度	毎回の授業に参加し授業に意欲的で、活動にも積極的に参加している。発言も多い。	毎回の授業に参加し、授業に対して意欲的で真面目に取り組んでいる。積極性は弱い。	最低出席日数分授業に参加しており、授業に対し真面目に取り組んでいる。積極的に活動に参加している。	最低出席日数分授業に参加しており、授業に対し真面目に取り組んでいるが、授業内の活動に対し消極的である。	最低出席日数分授業に参加せず、授業態度も問題あり

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考
1						必要に応じ適宜配布
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	3Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	日本事情（留学生）（科目ナンバリング：CUA021011）				
授業担当者（所属・職名）	佐藤恵利（経営学科・非常勤講師）		研究室所在	1号館1階非常勤講師室	
単位数	2（単位認定責任者：佐藤 恵利）		CAP制	○	
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習（所要時間）	事後学習（所要時間）
1	オリエンテーション(シラバス・授業説明)アンケート	シラバスを熟読し、本講義について理解する。専用のレポートを準備する。(90分)	講義内容の理解を深め、指定された課題を作成する。プレゼンなどの準備をする。(90分)
2	日本について：地理、気候、地域による特色など	新聞やニュースに興味を持つとともに、自主的に日本事情について学習する。(90分)	講義内容の理解を深め、指定された課題を作成する。プレゼンなどの準備をする。(90分)
3	暮らし：日本での暮らしの中のマナー、都市と地方の暮らしの違いなど	新聞やニュースに興味を持つとともに、自主的に日本事情について学習する。(90分)	講義内容の理解を深め、指定された課題を作成する。プレゼンなどの準備をする。(90分)
4	旅行・観光：交通機関、観光地など	新聞やニュースに興味を持つとともに、自主的に日本事情について学習する。(90分)	講義内容の理解を深め、指定された課題を作成する。プレゼンなどの準備をする。(90分)
5	食文化：食生活の変化、マナーなど	新聞やニュースに興味を持つとともに、自主的に日本事情について学習する。(90分)	講義内容の理解を深め、指定された課題を作成する。プレゼンなどの準備をする。(90分)
6	四季：季節行事、祝祭日、気候など	新聞やニュースに興味を持つとともに、自主的に日本事情について学習する。(90分)	講義内容の理解を深め、指定された課題を作成する。プレゼンなどの準備をする。(90分)
7	歴史：知っておきたい日本の歴史と文化の観点から見た日本の歴史	新聞やニュースに興味を持つとともに、自主的に日本事情について学習する。(90分)	講義内容の理解を深め、指定された課題を作成する。プレゼンなどの準備をする。(90分)
8	伝統文化：茶道、華道、演芸など	新聞やニュースに興味を持つとともに、自主的に日本事情について学習する。(90分)	講義内容の理解を深め、指定された課題を作成する。プレゼンなどの準備をする。(90分)
9	現代文化とポップカルチャー：マンガ、アニメ、キャラクターなど	新聞やニュースに興味を持つとともに、自主的に日本事情について学習する。(90分)	講義内容の理解を深め、指定された課題を作成する。プレゼンなどの準備をする。(90分)
10	スポーツ：伝統的スポーツ、東京オリンピックなど	新聞やニュースに興味を持つとともに、自主的に日本事情について学習する。(90分)	講義内容の理解を深め、指定された課題を作成する。プレゼンなどの準備をする。(90分)
11	クリエイティブジャパン：日本の科学技術の進歩について	新聞やニュースに興味を持つとともに、自主的に日本事情について学習する。(90分)	講義内容の理解を深め、指定された課題を作成する。プレゼンなどの準備をする。(90分)
12	環境問題：日本の環境問題に対する取り組み、ゴミの分別やリサイクルについて	新聞やニュースに興味を持つとともに、自主的に日本事情について学習する。(90分)	講義内容の理解を深め、指定された課題を作成する。プレゼンなどの準備をする。(90分)
13	プレゼンテーション レポートテーマ発表	プレゼンテーションの準備をする。レポート作成に取り組み(90分)	講義内容の理解を深め、指定された課題を作成する。プレゼンなどの準備をする。(90分)
14	プレゼンテーション	プレゼンテーションの準備をする。レポート作成に取り組み(90分)	講義内容の理解を深め、指定された課題を作成する。プレゼンなどの準備をする。(90分)
15	プレゼンテーション	プレゼンテーションの準備をする。レポート作成に取り組み(90分)	講義内容の理解を深め、指定された課題を作成する。プレゼンなどの準備をする。(90分)
16	レポート提出 総括	レポートの再確認(90分)	講義全体を振り返り理解を深めること(90分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習（所要時間）	事後学習（所要時間）
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・3年		
開講時期	4Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	自然と環境 (科目ナンバリング: EPS031012)				
授業担当者(所属・職名)	井坂 肇(経営学科・助教)	研究室所在	1号館3階		
単位数	2 (単位認定責任者: 井坂 肇)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
<p>教養力を身につけるために、「自然と環境」を幅広く学ぶ。地球の温暖化、酸性雨、森林の減少と砂漠化、オゾン層の破壊、海洋汚染、内分泌攪乱物質の放出など、多くの環境問題の実態を科学的観点に立って認識し、そのメカニズムや原因、さらに対策について考える。</p>

授業の位置づけ
<p>経営学科のDP「1(2)」、「2(1)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(2)」、「1(3)」、「2(3)」に対応する。 経営学科のDP「1(1)」、「1(2)」、「1(3)」、「2(3)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(2)」、「1(3)」、「1(5)」、「1(6)」、「2(1)」に対応する。</p>

到達目標
<p>ニュースや報道等で取り扱われる環境問題について、ある程度把握できる。 環境の諸問題の原因と結果、対策などに関して、自分なりの見解を持つことができる。</p>

授業全体の内容と概要
<p>環境の定義に始まり、次に地球規模の環境問題、特に、地球の温暖化・酸性雨・森林の減少と砂漠化・オゾン層の破壊などについて扱う。さらに、主なエネルギー資源とその問題点、新しいエネルギー資源の開発についても進める。</p>

授業の方法
<p>板書とプリントを用いて、地球規模の環境問題(地球の温暖化・酸性雨・森林の減少と砂漠化・オゾン層の破壊など)の概要を講義形式で、できる限り簡潔に、かつ丁寧に説明していく。 グループワークやディスカッションを通じて多様な意見の中から判断できるようにする。</p>

アクティブラーニングの実施方法																					
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>○</td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>○ ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td>○</td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業	○ ディスカッション		実験・実習・実技	○	双方向授業		その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL															
模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業															
○ ディスカッション		実験・実習・実技	○	双方向授業		その他(授業の方法参照)															

履修上の注意事項
<ul style="list-style-type: none"> ・私語を慎むこと。 ・授業内容を自ら積極的に調べる姿勢で授業に臨むこと。 ・インターネット等を活用して、積極的に調べること。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
<p>成績は、レポート課題の提出と定期試験の結果を総合して判定する。 単位認定に必要な出席回数は、10回以上。</p>												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>40%</td> <td>60%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	40%	60%	0%	0%	0%	0%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
40%	60%	0%	0%	0%	0%							

ルーブリック																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>環境問題に関する知識</td> <td>複数の環境問題に対して、具体的に説明できる知識があり、環境問題の改善に役立てられている。さらには他者を巻き込んで環境問題の改善について考えられている。</td> <td>複数の環境問題に対して、具体的に説明できる知識があり、環境問題の改善に役立てられている。</td> <td>複数の環境問題に対して、具体的に説明できる知識がある。</td> <td>環境問題に対して知識がある。</td> <td>環境問題に対して知識がない。</td> </tr> <tr> <td>環境問題に関するレポート作成</td> <td>PC等を活用して適切な体裁で図表や写真等を用いた効果的なレポートの作成ができる。必要な情報・データへ適切にアクセスでき、批判的視点で評価・取捨選択・統合できた。</td> <td>PC等を活用して適切な体裁で図表や写真等を用いた効果的なレポートを作成できた。</td> <td>PC等を活用して図表や写真等を用いたレポートを作成できた。</td> <td>PC等を活用してレポートを作成できた。</td> <td>PC等を活用できず、指定の体裁でレポートが作成できなかった。</td> </tr> <tr> <td>環境問題の分析</td> <td>環境問題について文献や電子資料の情報を、テーマ毎にまとめ、それぞれについて自分なりの見解が持て、さらには改善策を提示できる。さらには行動を起こすことが出来ている。</td> <td>環境問題について文献や電子資料の情報を、テーマ毎にまとめ、それぞれについて自分なりの見解が持て、さらには改善策を提示できる。</td> <td>環境問題について文献や電子資料の情報を、テーマ毎にまとめ、それぞれについて自分なりの見解が持て、さらには改善策を提示できる。</td> <td>環境問題について文献や電子資料の情報をまとめ、自分なりの見解が持てている。</td> <td>環境問題について文献や電子資料の情報整理を行って自分なりの見解が持てていない。</td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	環境問題に関する知識	複数の環境問題に対して、具体的に説明できる知識があり、環境問題の改善に役立てられている。さらには他者を巻き込んで環境問題の改善について考えられている。	複数の環境問題に対して、具体的に説明できる知識があり、環境問題の改善に役立てられている。	複数の環境問題に対して、具体的に説明できる知識がある。	環境問題に対して知識がある。	環境問題に対して知識がない。	環境問題に関するレポート作成	PC等を活用して適切な体裁で図表や写真等を用いた効果的なレポートの作成ができる。必要な情報・データへ適切にアクセスでき、批判的視点で評価・取捨選択・統合できた。	PC等を活用して適切な体裁で図表や写真等を用いた効果的なレポートを作成できた。	PC等を活用して図表や写真等を用いたレポートを作成できた。	PC等を活用してレポートを作成できた。	PC等を活用できず、指定の体裁でレポートが作成できなかった。	環境問題の分析	環境問題について文献や電子資料の情報を、テーマ毎にまとめ、それぞれについて自分なりの見解が持て、さらには改善策を提示できる。さらには行動を起こすことが出来ている。	環境問題について文献や電子資料の情報を、テーマ毎にまとめ、それぞれについて自分なりの見解が持て、さらには改善策を提示できる。	環境問題について文献や電子資料の情報を、テーマ毎にまとめ、それぞれについて自分なりの見解が持て、さらには改善策を提示できる。	環境問題について文献や電子資料の情報をまとめ、自分なりの見解が持てている。	環境問題について文献や電子資料の情報整理を行って自分なりの見解が持てていない。
評価項目		評価基準																											
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																								
環境問題に関する知識	複数の環境問題に対して、具体的に説明できる知識があり、環境問題の改善に役立てられている。さらには他者を巻き込んで環境問題の改善について考えられている。	複数の環境問題に対して、具体的に説明できる知識があり、環境問題の改善に役立てられている。	複数の環境問題に対して、具体的に説明できる知識がある。	環境問題に対して知識がある。	環境問題に対して知識がない。																								
環境問題に関するレポート作成	PC等を活用して適切な体裁で図表や写真等を用いた効果的なレポートの作成ができる。必要な情報・データへ適切にアクセスでき、批判的視点で評価・取捨選択・統合できた。	PC等を活用して適切な体裁で図表や写真等を用いた効果的なレポートを作成できた。	PC等を活用して図表や写真等を用いたレポートを作成できた。	PC等を活用してレポートを作成できた。	PC等を活用できず、指定の体裁でレポートが作成できなかった。																								
環境問題の分析	環境問題について文献や電子資料の情報を、テーマ毎にまとめ、それぞれについて自分なりの見解が持て、さらには改善策を提示できる。さらには行動を起こすことが出来ている。	環境問題について文献や電子資料の情報を、テーマ毎にまとめ、それぞれについて自分なりの見解が持て、さらには改善策を提示できる。	環境問題について文献や電子資料の情報を、テーマ毎にまとめ、それぞれについて自分なりの見解が持て、さらには改善策を提示できる。	環境問題について文献や電子資料の情報をまとめ、自分なりの見解が持てている。	環境問題について文献や電子資料の情報整理を行って自分なりの見解が持てていない。																								

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>『これからの環境科学』</td> <td>小島 次雄ら 著</td> <td>化学同人</td> <td>2005</td> <td>978-475980987</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1	『これからの環境科学』	小島 次雄ら 著	化学同人	2005	978-475980987		2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1	『これからの環境科学』	小島 次雄ら 著	化学同人	2005	978-475980987																																					
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・3年		
開講時期	4Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	自然と環境 (科目ナンバリング: EPS031012)				
授業担当者(所属・職名)	井坂 肇(経営学科・助教)	研究室所在	1号館3階		
単位数	2 (単位認定責任者: 井坂 肇)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	自然と環境: シラバスの説明、環境の定義	シラバスを事前に読んでおく。環境の定義を調べておく。(90分)。	シラバスの内容を確認する。環境の定義を確認する(90分)。
2	人間と環境: 我々を取り巻く環境問題	我々を取り巻く環境問題について調べる(90分)。	我々を取り巻く環境問題のうち、特に興味のある問題について調べる(90分)。
3	地球規模の環境問題: 地球の温暖化(温室効果・地球温暖化の原因)	温室効果と地球温暖化の原因について調べる(90分)。	温室効果と地球温暖化の原因について確認する(90分)。
4	地球規模の環境問題: 地球の温暖化(温暖化の影響)	地球温暖化の影響について調べる(90分)。	地球温暖化の影響について確認する(90分)。
5	地球規模の環境問題: 地球の温暖化(温暖化の防止対策)	地球温暖化の防止対策について調べる(90分)。	地球温暖化の防止対策について確認する(90分)。
6	地球規模の環境問題: 酸性雨(酸性雨と発生源)	酸性雨の定義と発生源について調べる(90分)。	酸性雨の定義と発生源について確認する(90分)。
7	地球規模の環境問題: 酸性雨(酸性雨の特徴・酸性雨の影響)	酸性雨の特徴と影響について調べる(90分)。	酸性雨の特徴と影響について確認する(90分)。
8	地球規模の環境問題: 酸性雨(酸性雨の対策)	酸性雨に対する防止対策について調べる(90分)。	酸性雨に対する防止対策について確認する(90分)。
9	地球規模の環境問題: 森林の減少と砂漠化(森林の減少とその原因)	森林の減少とその原因について調べる(90分)。	森林の減少とその原因について確認する(90分)。
10	地球規模の環境問題: 森林の減少と砂漠化(熱帯林の保全)	熱帯林の重要性と熱帯林減少の原因について調べる(90分)。	熱帯林の重要性と熱帯林減少の原因について確認する(90分)。
11	地球規模の環境問題: 森林の減少と砂漠化(砂漠化の原因とその現状)	砂漠化の原因とその現状について調べる(90分)。	砂漠化の原因とその現状について確認する(90分)。
12	地球規模の環境問題: オゾン層の破壊(オゾン層とは・オゾン層破壊の原因)	オゾン層とオゾン層破壊の原因について確認する(90分)。	オゾン層とオゾン層破壊の原因について確認する(90分)。
13	地球規模の環境問題: オゾン層の破壊(オゾン層破壊による人体および環境への影響)	オゾン層破壊による人体への影響について調べる(90分)。	オゾン層破壊による人体への影響を確認する(90分)。
14	エネルギー資源: エネルギー資源の種類とその変遷	エネルギー資源の種類とその変遷について調べる(90分)。	エネルギー資源の種類、特に原子力エネルギーについて確認する(90分)。
15	エネルギー資源: 新しいエネルギー資源の開発	新しいエネルギー資源について、その種類と現状を調べる(90分)。	新しいエネルギー資源について、その種類と現状を確認する(90分)。
16	定期試験、解説: 60分の試験終了後、残りの30分で解説を行う。	前15回の講義内容を復習する(90分)。	定期試験の内容を確認する(90分)。

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	4Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	数学入門(1年生) (科目ナンバリング: MAT031014)				
授業担当者(所属・職名)	横山 哲也(建築学科・准教授)	研究室所在	2号館7階		
単位数	2 (単位認定責任者: 横山 哲也)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
<p>学生が教養力を身につけるために、「自然と環境」を幅広く学ぶための科目で、大学で必要となる数学の基礎知識をしっかりと身に付け、次に、高校の数学から大学の数学への橋渡しができる力を身につける。</p>

授業の位置づけ
<p>経営学科のDP「1(1)」、「2(1)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(2)」、「2(1)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(1)」、「2(1)」に対応する。 建築学科のDP「1(1)」、「2(1)」に対応する。</p>

到達目標
<p>様々な分野で活躍する人材に求められる課題探求能力のうちの、基本的な数学知識の修得と思考能力の向上を図ることができる。さらに、それらのことを通して、数学において重要なのは、答えではなく、計算過程(思考過程の説明)であることを理解し、習慣づけることができる。</p>

授業全体の内容と概要
<p>数の計算から始まり、分数・因数分解・平方根・無理数・一次方程式・連立方程式・二次方程式・高次方程式・一次関数・二次関数・三角関数・集合・順列と組み合わせ・確率などについて、豊富な練習問題をこなすことによって、数学を解くことの実感と意味をつかむ。</p>

授業の方法
<p>最近では、学生が積極的に参加する形での授業が要望されている。そこで、本講義では、教科書に沿って板書により授業を進める中で、学生自らが習熟度の向上を実現させるために、積極的に質問や要望を述べる事が求められる。また、学生が課題を提出した後に板書にて解説を行う。</p>

アクティブラーニングの実施方法																					
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td>○</td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業	ディスカッション		実験・実習・実技	○	双方向授業		その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL															
模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業															
ディスカッション		実験・実習・実技	○	双方向授業		その他(授業の方法参照)															

履修上の注意事項
<ul style="list-style-type: none"> ・課題等の提出方法については授業中に支持するので、授業を欠席することのないよう留意すること。 ・講義に対して積極的に取り組むこと。 ・解らないところは積極的に質問すること。 ・授業で求めている以上の習熟度の向上を望む場合には、申し出ること。適切に対応します。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
<p>成績は、11回以上の出席、レポート課題の提出と定期試験の結果を総合し絶対評価及び相対評価を併用して判定する。</p>												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>50%</td> <td>40%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>10%</td> <td>0%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	50%	40%	0%	0%	10%	0%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
50%	40%	0%	0%	10%	0%							

ルーブリック																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基礎知識の修得</td> <td>数学の基礎知識が完全に修得できた。</td> <td>数学の基礎知識が修得できた。</td> <td>数学の基礎知識がほぼ修得できた。</td> <td>数学の基礎知識が大体修得できた。</td> <td>数学の基礎知識が修得できなかった。</td> </tr> <tr> <td>思考能力の向上</td> <td>数学の思考能力が完全に向上した。</td> <td>数学の思考能力が向上した。</td> <td>数学の思考能力がほぼ向上した。</td> <td>数学の思考能力が大体向上した。</td> <td>数学の思考能力が向上しなかった。</td> </tr> <tr> <td>計算過程(思考過程の説明)の習慣化</td> <td>授業中に不明な点を全て解決し思考過程の習慣化ができた。</td> <td>授業中に不明な点を質問等で全て解決し思考過程の習慣化ができた。</td> <td>授業中に不明な点を質問等で解決し思考過程の習慣化ができた。</td> <td>授業中に不明な点を解決し思考過程の習慣化ができた。</td> <td>思考過程の習慣化ができなかった。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	基礎知識の修得	数学の基礎知識が完全に修得できた。	数学の基礎知識が修得できた。	数学の基礎知識がほぼ修得できた。	数学の基礎知識が大体修得できた。	数学の基礎知識が修得できなかった。	思考能力の向上	数学の思考能力が完全に向上した。	数学の思考能力が向上した。	数学の思考能力がほぼ向上した。	数学の思考能力が大体向上した。	数学の思考能力が向上しなかった。	計算過程(思考過程の説明)の習慣化	授業中に不明な点を全て解決し思考過程の習慣化ができた。	授業中に不明な点を質問等で全て解決し思考過程の習慣化ができた。	授業中に不明な点を質問等で解決し思考過程の習慣化ができた。	授業中に不明な点を解決し思考過程の習慣化ができた。	思考過程の習慣化ができなかった。												
評価項目		評価基準																																							
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
基礎知識の修得	数学の基礎知識が完全に修得できた。	数学の基礎知識が修得できた。	数学の基礎知識がほぼ修得できた。	数学の基礎知識が大体修得できた。	数学の基礎知識が修得できなかった。																																				
思考能力の向上	数学の思考能力が完全に向上した。	数学の思考能力が向上した。	数学の思考能力がほぼ向上した。	数学の思考能力が大体向上した。	数学の思考能力が向上しなかった。																																				
計算過程(思考過程の説明)の習慣化	授業中に不明な点を全て解決し思考過程の習慣化ができた。	授業中に不明な点を質問等で全て解決し思考過程の習慣化ができた。	授業中に不明な点を質問等で解決し思考過程の習慣化ができた。	授業中に不明な点を解決し思考過程の習慣化ができた。	思考過程の習慣化ができなかった。																																				

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>『大学新入生のための数学入門(増補版)』</td> <td>石村 園子</td> <td>共立出版</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1	『大学新入生のための数学入門(増補版)』	石村 園子	共立出版				2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1	『大学新入生のための数学入門(増補版)』	石村 園子	共立出版																																							
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	4Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	数学入門(1年生) (科目ナンバリング: MAT031014)				
授業担当者(所属・職名)	横山 哲也(建築学科・准教授)	研究室所在	2号館7階		
単位数	2 (単位認定責任者: 横山 哲也)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	ガイダンス、シラバスの説明及び基礎学力試験	基礎学力試験のための準備をする(90分)	基礎学力試験問題を再度解く(90分)
2	整数と計算	数の分類・性質と四則計算の基本を理解する(90分)	教科書の問題を再度解く(90分)
3	分数・小数・繁分数	教科書の問題を丁寧に解く練習をする(90分)	教科書の問題を再度解く(90分)
4	展開・因数分解	展開と因数分解における公式を覚え、教科書の問題を丁寧に解く(90分)	教科書の問題を再度解く(90分)
5	平方根	平方根の性質と計算方法を理解し、教科書の問題を丁寧に解く(90分)	教科書の問題を再度解く(90分)
6	分数式・無理式の計算	教科書の問題を丁寧に解く(90分)	教科書の問題を再度解く(90分)
7	一次方程式	一次方程式の解き方とその利用について理解する(90分)	教科書の問題を再度解く(90分)
8	連立方程式	連立方程式の解き方とその利用について理解する(90分)	教科書の問題を再度解く(90分)
9	二次方程式・高次方程式	二次方程式と高次方程式の解き方およびその利用について理解する(90分)	教科書の問題を再度解く(90分)
10	一次関数とグラフ	一次関数の性質を理解し、教科書の問題を丁寧に解く(90分)	教科書の問題を再度解く(90分)
11	二次関数	二次関数の性質を理解し、教科書の問題を丁寧に解く(90分)	教科書の問題を再度解く(90分)
12	三角関数	三角関数の性質を理解し、教科書の問題を丁寧に解く(90分)	教科書の問題を再度解く(90分)
13	集合	集合の性質を理解し、教科書の問題を丁寧に解く(90分)	教科書の問題を再度解く(90分)
14	順列と組み合わせ	順列と組み合わせの違いを理解し、教科書の問題を丁寧に解く(90分)	教科書の問題を再度解く(90分)
15	確率	確率の意味を理解し、教科書の問題を丁寧に解く(90分)	教科書の問題を再度解く(90分)
16	60分の試験終了後、残りの30分で解説を行います。	全内容の再確認及び理解を行う。(90分)	総理解(90分)

回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	4Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	数学入門(2年生) (科目ナンバリング: MAT031014)				
授業担当者(所属・職名)	横山 哲也(建築学科・准教授)	研究室所在	2号館7階		
単位数	2 (単位認定責任者: 横山 哲也)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
学生が教養力を身につけるために、「自然と環境」を幅広く学ぶための科目で、大学で必要となる数学の基礎知識をしっかりと身に付け、次に、高校の数学から大学の数学への橋渡しができる力を身につける。

授業の位置づけ
経営学科のDP「1(1)」、「2(1)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(2)」、「2(1)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(1)」、「2(1)」に対応する。 建築学科のDP「1(1)」、「2(1)」に対応する。

到達目標
様々な分野で活躍する人材に求められる課題探求能力のうちの、基本的な数学知識の修得と思考能力の向上を図ることができる。さらに、それらのことを通じて、数学において重要なのは、答えではなく、計算過程(思考過程の説明)であることを理解し、習慣づけることができる。

授業全体の内容と概要
数の計算から始まり、分数・因数分解・平方根・無理数・一次方程式・連立方程式・二次方程式・高次方程式・一次関数・二次関数・三角関数・集合・順列と組み合わせ・確率などについて、豊富な練習問題をこなすことによって、数学を解くことの実感と意味をつかむ。

授業の方法
最近では、学生が積極的に参加する形での授業が要望されている。そこで、本講義では、教科書に沿って板書により授業を進める中で、学生自らが習熟度の向上を実現させるために、積極的に質問や要望を述べる事が求められる。また、学生が課題を提出した後に板書にて解説を行う。

アクティブラーニングの実施方法						
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク	PBL
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習	反転授業
	ディスカッション		実験・実習・実技	○	双方向授業	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項
・課題等の提出方法については授業中に支持するので、授業を欠席することのないよう留意すること。 ・講義に対して積極的に取り組むこと。 ・解らないところは積極的に質問すること。 ・授業で求めている以上の習熟度の向上を望む場合には、申し出ること。適切に対応します。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件					
成績は、11回以上の出席、レポート課題の提出と定期試験の結果を総合し絶対評価及び相対評価を併用して判定する。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
50%	40%	0%	0%	10%	0%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
基礎知識の修得	数学の基礎知識が完全に修得できた。	数学の基礎知識が修得できた。	数学の基礎知識がほぼ修得できた。	数学の基礎知識が大体修得できた。	数学の基礎知識が修得できなかった。
思考能力の向上	数学の思考能力が完全に向上した。	数学の思考能力が向上した。	数学の思考能力がほぼ向上した。	数学の思考能力が大体向上した。	数学の思考能力が向上しなかった。
計算過程(思考過程の説明)の習慣化	授業中に不明な点を全て解決し思考過程の習慣化ができた。	授業中に不明な点を質問等で全て解決し思考過程の習慣化ができた。	授業中に不明な点を質問等で解決し思考過程の習慣化ができた。	授業中に不明な点を解決し思考過程の習慣化が大体できた。	思考過程の習慣化ができなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『大学新入生のための数学入門(増補版)』	石村 園子	共立出版			
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	4Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	数学入門(2年生) (科目ナンバリング: MAT031014)				
授業担当者(所属・職名)	横山 哲也(建築学科・准教授)	研究室所在	2号館7階		
単位数	2 (単位認定責任者: 横山 哲也)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	ガイダンス、シラバスの説明及び基礎学力試験	基礎学力試験のための準備をする(90分)	基礎学力試験問題を再度解く(90分)
2	整数と計算	数の分類・性質と四則計算の基本を理解する(90分)	教科書の問題を再度解く(90分)
3	分数・小数・繁分数	教科書の問題を丁寧に解く練習をする(90分)	教科書の問題を再度解く(90分)
4	展開・因数分解	展開と因数分解における公式を覚え、教科書の問題を丁寧に解く(90分)	教科書の問題を再度解く(90分)
5	平方根	平方根の性質と計算方法を理解し、教科書の問題を丁寧に解く(90分)	教科書の問題を再度解く(90分)
6	分数式・無理式の計算	教科書の問題を丁寧に解く(90分)	教科書の問題を再度解く(90分)
7	一次方程式	一次方程式の解き方とその利用について理解する(90分)	教科書の問題を再度解く(90分)
8	連立方程式	連立方程式の解き方とその利用について理解する(90分)	教科書の問題を再度解く(90分)
9	二次方程式・高次方程式	二次方程式と高次方程式の解き方およびその利用について理解する(90分)	教科書の問題を再度解く(90分)
10	一次関数とグラフ	一次関数の性質を理解し、教科書の問題を丁寧に解く(90分)	教科書の問題を再度解く(90分)
11	二次関数	二次関数の性質を理解し、教科書の問題を丁寧に解く(90分)	教科書の問題を再度解く(90分)
12	三角関数	三角関数の性質を理解し、教科書の問題を丁寧に解く(90分)	教科書の問題を再度解く(90分)
13	集合	集合の性質を理解し、教科書の問題を丁寧に解く(90分)	教科書の問題を再度解く(90分)
14	順列と組み合わせ	順列と組み合わせの違いを理解し、教科書の問題を丁寧に解く(90分)	教科書の問題を再度解く(90分)
15	確率	確率の意味を理解し、教科書の問題を丁寧に解く(90分)	教科書の問題を再度解く(90分)
16	60分の試験終了後、残りの30分で解説を行います。	全内容の再確認及び理解を行う。(90分)	総理解(90分)

回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	経営学科・1年		
開講時期	3Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	統計学入門 (M-1年) (科目ナンバリング: STS031015)				
授業担当者 (所属・職名)	伊藤 裕康 (建築学科・教授)	研究室所在	2号館 8階		
単位数	2 (単位認定責任者: 伊藤 裕康)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
世界の経済や社会の問題解決など、目的に応じた調査や実験が広く行われているが、その調査データには“ばらつき”が存在する。この“ばらつき”の大きさを分析し、単なる誤差とそうではない部分とに区分し、データから有益な情報を導き出すための統計的手法について、記述統計を中心とした統計学の基礎を学ぶ。

授業の位置づけ
経営学科のDP「1(2)」、「2(1)」に対応する。

到達目標
記述統計において、集めたデータを分析するための度数分布表を作成することができ、確率変数や標本分布の考え方を理解できる。

授業全体の内容と概要
記述統計は、度数分布表やヒストグラムの作成と平均値、分散、標準偏差などの特性値の理解と導出を中心に行う。また、確率変数や確率分布の考え方を学び、正規分布などの標準化や標本分布の特徴について学ぶ。授業は、コンピュータ室において表計算ソフトExcelを活用してデータ処理を行う。統計学の専門用語が多く出てくるため、理解するには時間がかかるが、多くの練習問題に触れることで処理手順と専門用語の意味を理解してもらおう。

授業の方法
授業は、板書および教員のパソコン画面を大型ディスプレイに表示して実施する。演習問題は、必要な統計的処理の流れを説明した後に、表計算ソフトExcelを使って実際に練習問題を行う。学生もそれぞれのパソコン上で同じデータ処理を行う。一つのデータ処理をするたびに机間巡視を行い、学生の作業状況および理解程度を確認する。適時、演習問題を与えて学生にデータ処理を行わせた後、授業内で解答を呈示してフィードバックする。

アクティブラーニングの実施方法							
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項
・使用するコンピュータ室のパソコン台数から、受講者数を46名以下に制限する。 ・USBメモリーを持参すること。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な最低出席回数は、10回以上。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
60%	15%	0%	0%	25%	0%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
記述統計についての理解	度数分布表とヒストグラムを作成し、表から平均値や分散、標準偏差も求めることができた。	与えられた統計データの平均値や分散、標準偏差を求める方法を理解できた。	平均値などの代表値や、分散、標準偏差などの散布度について理解できた。	度数分布表を作成できた。	度数分布表を作成できなかった。
確率と確率分布についての理解	連続的な確率分布である正規分布の特徴について理解し、正規分布表を用いて確率を求めることができた。	離散的な確率変数の場合に、確率変数の平均値と分散を計算できた。	確率変数の平均値と分散の考え方について理解できた。	確率変数と確率分布の考え方を理解できた。	確率変数と確率分布の考え方を理解できなかった。
標本分布についての理解	標本比率分布やカイ2乗分布、t分布、F分布などの標本分布の特徴を理解できた。	大数の法則や中心極限定理を理解し、標本平均の分布の特徴を理解できた。	データの標準化について理解できた。	標本分布という概念について理解できた。	標本分布という概念について理解できなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『身につく統計学』	伊藤正義/伊藤紀	森北出版	2018	9784627082113	
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	経営学科・1年		
開講時期	3Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	統計学入門 (M-1年) (科目ナンバリング: STS031015)				
授業担当者 (所属・職名)	伊藤 裕康 (建築学科・教授)	研究室所在	2号館 8階		
単位数	2 (単位認定責任者: 伊藤 裕康)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習 (所要時間)	事後学習 (所要時間)
1	シラバスの説明/データの整理について	シラバスと教科書をよく読み、専門用語の意味を予習すること (90分)	専門用語の意味と統計処理の復習をすること (90分)
2	度数分布表の作成	専門用語の意味を予習すること (90分)	専門用語の意味と統計処理の復習をすること (90分)
3	相対度数とヒストグラム	専門用語の意味を予習すること (90分)	専門用語の意味と統計処理の復習をすること (90分)
4	データの平均値の求め方	専門用語の意味を予習すること (90分)	専門用語の意味と統計処理の復習をすること (90分)
5	中央値や四分位数の求め方	専門用語の意味を予習すること (90分)	専門用語の意味と統計処理の復習をすること (90分)
6	分散と標準偏差	専門用語の意味を予習すること (90分)	専門用語の意味と統計処理の復習をすること (90分)
7	相関係数と回帰直線	専門用語の意味を予習すること (90分)	専門用語の意味と統計処理の復習をすること (90分)
8	演習問題 (度数分布表・平均値・分散・標準偏差)	専門用語の意味を予習すること (90分)	専門用語の意味と統計処理の復習をすること (90分)
9	確率の考え方	専門用語の意味を予習すること (90分)	専門用語の意味と統計処理の復習をすること (90分)
10	確率変数と確率分布	専門用語の意味を予習すること (90分)	専門用語の意味と統計処理の復習をすること (90分)
11	確率変数の平均値と分散	専門用語の意味を予習すること (90分)	専門用語の意味と統計処理の復習をすること (90分)
12	正規分布と標準化について	専門用語の意味を予習すること (90分)	専門用語の意味と統計処理の復習をすること (90分)
13	標本平均の分布と中心極限定理について	専門用語の意味を予習すること (90分)	専門用語の意味と統計処理の復習をすること (90分)
14	標本比率分布とカイ2乗分布	専門用語の意味を予習すること (90分)	専門用語の意味と統計処理の復習をすること (90分)
15	t分布とF分布	専門用語の意味を予習すること (90分)	専門用語の意味と統計処理の復習をすること (90分)
16	定期試験 (60分の試験終了後、残りの30分で解説を行う)	試験範囲について復習すること (90分)	試験内容について復習すること (90分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習 (所要時間)	事後学習 (所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	社会福祉学科・1年、デザイン学科・1年、建		
開講時期	3Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	統計学入門 (SDA-1年 (科目ナンバリング: STS031015))				
授業担当者 (所属・職名)	伊藤 裕康 (建築学科・教授)		研究室所在	2号館 8階	
単位数	2 (単位認定責任者: 伊藤 裕康)		CAP制		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標

世界の経済や社会の問題解決など、目的に応じた調査や実験が広く行われているが、その調査データには“ばらつき”が存在する。この“ばらつき”の大きさを分析し、単なる誤差とそうではない部分とに区分し、データから有益な情報を導き出すための統計的手法について、記述統計を中心とした統計学の基礎を学ぶ。

授業の位置づけ

社会福祉学科のDP「1(2)」、「1(3)」、「2(1)」に対応する。
 デザイン学科のDP「1(1)」、「1(2)」、「2(1)」に対応する。
 建築学科のDP「1(2)」、「2(1)」に対応する。

到達目標

記述統計において、集めたデータを分析するための度数分布表を作成することができ、確率変数や標本分布の考え方を理解できる。

授業全体の内容と概要

記述統計は、度数分布表やヒストグラムの作成と平均値、分散、標準偏差などの特性値の理解と導出を中心に行う。また、確率変数や確率分布の考え方を学び、正規分布などの標準化や標本分布の特徴について学ぶ。授業は、コンピュータ室において表計算ソフトExcelを活用してデータ処理を行う。統計学の専門用語が多く出てくるため、理解するには時間がかかるが、多くの練習問題に触れることで処理手順と専門用語の意味を理解してもらおう。

授業の方法

授業は、板書および教員のパソコン画面を大型ディスプレイに表示して実施する。演習問題は、必要な統計的処理の流れを説明した後に、表計算ソフトExcelを使って実際に練習問題を行う。学生もそれぞれのパソコン上で同じデータ処理を行う。一つのデータ処理をするたびに机間巡視を行い、学生の作業状況および理解程度を確認する。適時、演習問題を与えて学生にデータ処理を行わせた後、授業内で解答を呈示してフィードバックする。

アクティブラーニングの実施方法

プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

- ・使用するコンピュータ室のパソコン台数から、受講者数を46名以下に制限する。
- ・USBメモリーを持参すること。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件

単位認定に必要な最低出席回数は、10回以上。

評価方法

定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
60%	15%	0%	0%	25%	0%

ルーブリック

評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
記述統計についての理解	度数分布表とヒストグラムを作成し、表から平均値や分散、標準偏差も求めることができた。	与えられた統計データの平均値や分散、標準偏差を求める方法を理解できた。	平均値などの代表値や、分散、標準偏差などの散布度について理解できた。	度数分布表を作成できた。	度数分布表を作成できなかった。
確率と確率分布についての理解	連続的な確率分布である正規分布の特徴について理解し、正規分布表を用いて確率を求めることができた。	離散的な確率変数の場合に、確率変数の平均値と分散を計算できた。	確率変数の平均値と分散の考え方について理解できた。	確率変数と確率分布の考え方を理解できた。	確率変数と確率分布の考え方を理解できなかった。
標本分布についての理解	標本比率分布やカイ2乗分布、t分布、F分布などの標本分布の特徴を理解できた。	大数の法則や中心極限定理を理解し、標本平均の分布の特徴を理解できた。	データの標準化について理解できた。	標本分布という概念について理解できた。	標本分布という概念について理解できなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書

No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『身につく統計学』	伊藤正義/伊藤紀	森北出版	2018	9784627082113	
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等

No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	社会福祉学科・1年、デザイン学科・1年、建		
開講時期	3Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	統計学入門 (SDA-1年 (科目ナンバリング : STS031015))				
授業担当者 (所属・職名)	伊藤 裕康 (建築学科・教授)	研究室所在	2号館 8階		
単位数	2 (単位認定責任者 : 伊藤 裕康)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習 (所要時間)	事後学習 (所要時間)
1	シラバスの説明 / データの整理について	シラバスと教科書をよく読み、専門用語の意味を予習すること (90分)	専門用語の意味と統計処理の復習をすること (90分)
2	度数分布表の作成	専門用語の意味を予習すること (90分)	専門用語の意味と統計処理の復習をすること (90分)
3	相対度数とヒストグラム	専門用語の意味を予習すること (90分)	専門用語の意味と統計処理の復習をすること (90分)
4	データの平均値の求め方	専門用語の意味を予習すること (90分)	専門用語の意味と統計処理の復習をすること (90分)
5	中央値や四分位数の求め方	専門用語の意味を予習すること (90分)	専門用語の意味と統計処理の復習をすること (90分)
6	分散と標準偏差	専門用語の意味を予習すること (90分)	専門用語の意味と統計処理の復習をすること (90分)
7	相関係数と回帰直線	専門用語の意味を予習すること (90分)	専門用語の意味と統計処理の復習をすること (90分)
8	演習問題 (度数分布表・平均値・分散・標準偏差)	専門用語の意味を予習すること (90分)	専門用語の意味と統計処理の復習をすること (90分)
9	確率の考え方	専門用語の意味を予習すること (90分)	専門用語の意味と統計処理の復習をすること (90分)
10	確率変数と確率分布	専門用語の意味を予習すること (90分)	専門用語の意味と統計処理の復習をすること (90分)
11	確率変数の平均値と分散	専門用語の意味を予習すること (90分)	専門用語の意味と統計処理の復習をすること (90分)
12	正規分布と標準化について	専門用語の意味を予習すること (90分)	専門用語の意味と統計処理の復習をすること (90分)
13	標本平均の分布と中心極限定理について	専門用語の意味を予習すること (90分)	専門用語の意味と統計処理の復習をすること (90分)
14	標本比率分布とカイ2乗分布	専門用語の意味を予習すること (90分)	専門用語の意味と統計処理の復習をすること (90分)
15	t分布とF分布	専門用語の意味を予習すること (90分)	専門用語の意味と統計処理の復習をすること (90分)
16	定期試験 (60分の試験終了後、残りの30分で解説を行う)	試験範囲について復習すること (90分)	試験内容について復習すること (90分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習 (所要時間)	事後学習 (所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	経営学科・2年		
開講時期	3Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	統計学入門 (M-2年) (科目ナンバリング: STS031015)				
授業担当者 (所属・職名)	伊藤 裕康 (建築学科・教授)	研究室所在	2号館 8階		
単位数	2 (単位認定責任者: 伊藤 裕康)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
世界の経済や社会の問題解決など、目的に応じた調査や実験が広く行われているが、その調査データには“ばらつき”が存在する。この“ばらつき”の大きさを分析し、単なる誤差とそうではない部分とに区分し、データから有益な情報を導き出すための統計的手法について、記述統計と推測統計の基礎を学ぶ。

授業の位置づけ
経営学科のDP「1(2)」、「2(1)」に対応する。

到達目標
記述統計では、集めたデータを分析するための度数分布表を作成することができる。推測統計では、推定手法と検定手法を理解し、それぞれの考え方を説明できる。

授業全体の内容と概要
記述統計と推測統計の基礎について学ぶ。記述統計は、度数分布表の作成と平均値、分散、標準偏差などの特性値の理解と導出を中心に行う。推測統計は推定手法および検定手法の考え方と処理手順について理解する。授業は、コンピュータ室において表計算ソフトExcelを活用してデータ処理を行う。統計学の専門用語が多く出てくるため、理解するには時間がかかるが、多くの練習問題に触れることで処理手順と専門用語の意味を理解してもらう。

授業の方法
授業は、板書および教員のパソコン画面を大型ディスプレイに表示して実施する。必要な統計的処理の流れを説明した後、表計算ソフトExcelを使って実際に練習問題を行う。学生もそれぞれのパソコン上で同じデータ処理を行う。一つのデータ処理をするたびに机間巡視を行い、学生の作業状況および理解程度を確認する。適時、演習問題を与えて学生にデータ処理を行わせ、授業内で解答を提示してフィードバックする。

アクティブラーニングの実施方法												
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>グループワーク</td> <td>フィールドワーク</td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td>ロールプレイ</td> <td>調査学習</td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td>実験・実習・実技</td> <td>双方向授業</td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL	模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業	ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL									
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業									
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)									

履修上の注意事項
・使用するコンピュータ室のパソコン台数から、受講者数を46名以下に制限する。 ・USBメモリーを持参すること。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
単位認定に必要な最低出席回数は、10回以上。												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>60%</td> <td>15%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>25%</td> <td>0%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	60%	15%	0%	0%	25%	0%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
60%	15%	0%	0%	25%	0%							

ルーブリック																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>記述統計についての理解</td> <td>度数分布表とヒストグラムを作成し、表から平均値や分散、標準偏差も求めることができた。</td> <td>与えられた統計データの平均値や分散、標準偏差を求める方法を理解できた。</td> <td>平均値などの代表値や、分散、標準偏差などの散布度について理解できた。</td> <td>度数分布表を作成できた。</td> <td>度数分布表を作成できなかった。</td> </tr> <tr> <td>推定の考え方についての理解</td> <td>与えられた条件から推定に用いる確率分布を選ぶことができ、区間推定の信頼区間を導出することもできた。</td> <td>信頼係数に対応する限界値と信頼限界の幅を導出する方法を理解できた。</td> <td>与えられた統計データの条件から推定に用いる確率分布を選ぶことができた。</td> <td>推定手法の考え方を理解できた。</td> <td>推定手法の考え方を理解できなかった。</td> </tr> <tr> <td>検定の考え方についての理解</td> <td>限界値と実現値を計算して、帰無仮説が棄却されるかどうかを判断できた。</td> <td>有意水準に対応する限界値と、検定統計量の実現値を求める方法を理解できた。</td> <td>帰無仮説を検定するための統計量の確率分布を正しく定めることができた。</td> <td>検定手法の考え方を理解できた。</td> <td>検定手法の考え方を理解できなかった。</td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	記述統計についての理解	度数分布表とヒストグラムを作成し、表から平均値や分散、標準偏差も求めることができた。	与えられた統計データの平均値や分散、標準偏差を求める方法を理解できた。	平均値などの代表値や、分散、標準偏差などの散布度について理解できた。	度数分布表を作成できた。	度数分布表を作成できなかった。	推定の考え方についての理解	与えられた条件から推定に用いる確率分布を選ぶことができ、区間推定の信頼区間を導出することもできた。	信頼係数に対応する限界値と信頼限界の幅を導出する方法を理解できた。	与えられた統計データの条件から推定に用いる確率分布を選ぶことができた。	推定手法の考え方を理解できた。	推定手法の考え方を理解できなかった。	検定の考え方についての理解	限界値と実現値を計算して、帰無仮説が棄却されるかどうかを判断できた。	有意水準に対応する限界値と、検定統計量の実現値を求める方法を理解できた。	帰無仮説を検定するための統計量の確率分布を正しく定めることができた。	検定手法の考え方を理解できた。	検定手法の考え方を理解できなかった。
評価項目		評価基準																											
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																								
記述統計についての理解	度数分布表とヒストグラムを作成し、表から平均値や分散、標準偏差も求めることができた。	与えられた統計データの平均値や分散、標準偏差を求める方法を理解できた。	平均値などの代表値や、分散、標準偏差などの散布度について理解できた。	度数分布表を作成できた。	度数分布表を作成できなかった。																								
推定の考え方についての理解	与えられた条件から推定に用いる確率分布を選ぶことができ、区間推定の信頼区間を導出することもできた。	信頼係数に対応する限界値と信頼限界の幅を導出する方法を理解できた。	与えられた統計データの条件から推定に用いる確率分布を選ぶことができた。	推定手法の考え方を理解できた。	推定手法の考え方を理解できなかった。																								
検定の考え方についての理解	限界値と実現値を計算して、帰無仮説が棄却されるかどうかを判断できた。	有意水準に対応する限界値と、検定統計量の実現値を求める方法を理解できた。	帰無仮説を検定するための統計量の確率分布を正しく定めることができた。	検定手法の考え方を理解できた。	検定手法の考え方を理解できなかった。																								

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>『身につく統計学』</td> <td>伊藤正義/伊藤紀</td> <td>森北出版</td> <td>2018</td> <td>9784627082113</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1	『身につく統計学』	伊藤正義/伊藤紀	森北出版	2018	9784627082113		2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1	『身につく統計学』	伊藤正義/伊藤紀	森北出版	2018	9784627082113																																					
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	経営学科・2年		
開講時期	3Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	統計学入門 (M-2年 (科目ナンバリング: STS031015))				
授業担当者 (所属・職名)	伊藤 裕康 (建築学科・教授)		研究室所在	2号館 8階	
単位数	2 (単位認定責任者: 伊藤 裕康)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習 (所要時間)	事後学習 (所要時間)
1	シラバスの説明/データの整理について	シラバスと教科書をよく読み、専門用語の意味を予習すること (90分)	専門用語の意味と統計処理の復習をすること (90分)
2	度数分布表の作成	専門用語の意味を予習すること (90分)	専門用語の意味と統計処理の復習をすること (90分)
3	相対度数とヒストグラム	専門用語の意味を予習すること (90分)	専門用語の意味と統計処理の復習をすること (90分)
4	平均値や中央値の求め方	専門用語の意味を予習すること (90分)	専門用語の意味と統計処理の復習をすること (90分)
5	分散と標準偏差	専門用語の意味を予習すること (90分)	専門用語の意味と統計処理の復習をすること (90分)
6	相関係数と回帰直線	専門用語の意味を予習すること (90分)	専門用語の意味と統計処理の復習をすること (90分)
7	演習問題 (度数分布表・平均値・分散・標準偏差)	専門用語の意味を予習すること (90分)	専門用語の意味と統計処理の復習をすること (90分)
8	正規分布と標準化について	専門用語の意味を予習すること (90分)	専門用語の意味と統計処理の復習をすること (90分)
9	推定の考え方と手順	専門用語の意味を予習すること (90分)	専門用語の意味と統計処理の復習をすること (90分)
10	母平均の推定	専門用語の意味を予習すること (90分)	専門用語の意味と統計処理の復習をすること (90分)
11	母分散の推定	専門用語の意味を予習すること (90分)	専門用語の意味と統計処理の復習をすること (90分)
12	検定の考え方と手順	専門用語の意味を予習すること (90分)	専門用語の意味と統計処理の復習をすること (90分)
13	母平均の検定	専門用語の意味を予習すること (90分)	専門用語の意味と統計処理の復習をすること (90分)
14	母平均の差の検定	専門用語の意味を予習すること (90分)	専門用語の意味と統計処理の復習をすること (90分)
15	分散比の検定	専門用語の意味を予習すること (90分)	専門用語の意味と統計処理の復習をすること (90分)
16	定期試験 (60分の試験終了後、残りの30分で解説を行う)	試験範囲について復習すること (90分)	試験内容について復習すること (90分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習 (所要時間)	事後学習 (所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	社会福祉学科・2年、デザイン学科・2年、建		
開講時期	3 Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	統計学入門 (SDA-2年 (科目ナンバリング : STS031015))				
授業担当者 (所属・職名)	伊藤 裕康 (建築学科・教授)		研究室所在	2号館 8階	
単位数	2 (単位認定責任者 : 伊藤 裕康)		CAP制		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
世界の経済や社会の問題解決など、目的に応じた調査や実験が広く行われているが、その調査データには“ばらつき”が存在する。この“ばらつき”の大きさを分析し、単なる誤差とそうではない部分とに区分し、データから有益な情報を導き出すための統計的手法について、記述統計と推測統計の基礎を学ぶ。

授業の位置づけ
社会福祉学科のDP「1(2)」、「1(3)」、「2(1)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(1)」、「1(2)」、「2(1)」に対応する。 建築学科のDP「1(2)」、「2(1)」に対応する。

到達目標
記述統計では、集めたデータを分析するための度数分布表を作成することができる。推測統計では、推定手法と検定手法を理解し、それぞれの考え方を説明できる。

授業全体の内容と概要
記述統計と推測統計の基礎について学ぶ。記述統計は、度数分布表の作成と平均値、分散、標準偏差などの特性値の理解と導出を中心に行う。推測統計は推定手法および検定手法の考え方と処理手順について理解する。授業は、コンピュータ室において表計算ソフトExcelを活用してデータ処理を行う。統計学の専門用語が多く出てくるため、理解するには時間がかかるが、多くの練習問題に触れることで処理手順と専門用語の意味を理解してもらう。

授業の方法
授業は、板書および教員のパソコン画面を大型ディスプレイに表示して実施する。必要な統計的処理の流れを説明した後、表計算ソフトExcelを使って実際に練習問題を行う。学生もそれぞれのパソコン上で同じデータ処理を行う。一つのデータ処理をするたびに机間巡視を行い、学生の作業状況および理解程度を確認する。適時、演習問題を与えて学生にデータ処理を行わせ、授業内で解答を提示してフィードバックする。

アクティブラーニングの実施方法							
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項
・使用するコンピュータ室のパソコン台数から、受講者数を46名以下に制限する。 ・USBメモリーを持参すること。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な最低出席回数は、10回以上。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
60%	15%	0%	0%	25%	0%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
記述統計についての理解	度数分布表とヒストグラムを作成し、表から平均値や分散、標準偏差も求めることができた。	与えられた統計データの平均値や分散、標準偏差を求める方法を理解できた。	平均値などの代表値や、分散、標準偏差などの散布度について理解できた。	度数分布表を作成できた。	度数分布表を作成できなかった。
推定の考え方についての理解	与えられた条件から推定に用いる確率分布を選ぶことができ、区間推定の信頼区間を導出することもできた。	信頼係数に対応する限界値と信頼限界の幅を導出する方法を理解できた。	与えられた統計データの条件から推定に用いる確率分布を選ぶことができた。	推定手法の考え方を理解できた。	推定手法の考え方を理解できなかった。
検定の考え方についての理解	限界値と実現値を計算して、帰無仮説が棄却されるかどうかを判断できた。	有意水準に対応する限界値と、検定統計量の実現値を求める方法を理解できた。	帰無仮説を検定するための統計量の確率分布を正しく定めることができた。	検定手法の考え方を理解できた。	検定手法の考え方を理解できなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『身につく統計学』	伊藤正義/伊藤紀	森北出版	2018	9784627082113	
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	社会福祉学科・2年、デザイン学科・2年、建		
開講時期	3Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	統計学入門 (SDA-2年 (科目ナンバリング : STS031015))				
授業担当者 (所属・職名)	伊藤 裕康 (建築学科・教授)	研究室所在	2号館 8階		
単位数	2 (単位認定責任者 : 伊藤 裕康)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習 (所要時間)	事後学習 (所要時間)
1	シラバスの説明 / データの整理について	シラバスと教科書をよく読み、専門用語の意味を予習すること (90分)	専門用語の意味と統計処理の復習をすること (90分)
2	度数分布表の作成	専門用語の意味を予習すること (90分)	専門用語の意味と統計処理の復習をすること (90分)
3	相対度数とヒストグラム	専門用語の意味を予習すること (90分)	専門用語の意味と統計処理の復習をすること (90分)
4	平均値や中央値の求め方	専門用語の意味を予習すること (90分)	専門用語の意味と統計処理の復習をすること (90分)
5	分散と標準偏差	専門用語の意味を予習すること (90分)	専門用語の意味と統計処理の復習をすること (90分)
6	相関係数と回帰直線	専門用語の意味を予習すること (90分)	専門用語の意味と統計処理の復習をすること (90分)
7	演習問題 (度数分布表・平均値・分散・標準偏差)	専門用語の意味を予習すること (90分)	専門用語の意味と統計処理の復習をすること (90分)
8	正規分布と標準化について	専門用語の意味を予習すること (90分)	専門用語の意味と統計処理の復習をすること (90分)
9	推定の考え方と手順	専門用語の意味を予習すること (90分)	専門用語の意味と統計処理の復習をすること (90分)
10	母平均の推定	専門用語の意味を予習すること (90分)	専門用語の意味と統計処理の復習をすること (90分)
11	母分散の推定	専門用語の意味を予習すること (90分)	専門用語の意味と統計処理の復習をすること (90分)
12	検定の考え方と手順	専門用語の意味を予習すること (90分)	専門用語の意味と統計処理の復習をすること (90分)
13	母平均の検定	専門用語の意味を予習すること (90分)	専門用語の意味と統計処理の復習をすること (90分)
14	母平均の差の検定	専門用語の意味を予習すること (90分)	専門用語の意味と統計処理の復習をすること (90分)
15	分散比の検定	専門用語の意味を予習すること (90分)	専門用語の意味と統計処理の復習をすること (90分)
16	定期試験 (60分の試験終了後、残りの30分で解説を行う)	試験範囲について復習すること (90分)	試験内容について復習すること (90分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習 (所要時間)	事後学習 (所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	3Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	環境学入門 (科目ナンバリング:)				
授業担当者(所属・職名)	吉田 淳一(経営学科・非常勤講師)	研究室所在	1号館1階非常勤講師室		
単位数	2 (単位認定責任者: 吉田 淳一)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

<p>人間と環境、人口問題、食糧問題、我々を取り巻く種々の環境問題(大気汚染、水質汚濁、廃棄物等)、エネルギー資源と環境問題、環境保全などについて幅広く学習することによって、環境学の基礎的思考力及び環境問題の現状を理解し、将来に向けた課題を考え、自分なりの考えを見出すことにより環境に関する諸課題に対して積極的に取り組むための姿勢を学ぶ。</p>

<p>履修目標</p>

<p>授業の位置づけ</p> <p>経営学部経営学科のDP「1(1)」、「1(2)」、「2(1)」に対応する。 社会福祉学部社会福祉学科のDP「1(2)」、「1(4)」、「2(1)」に対応する。 芸術学部デザイン学科のDP「1(1)」、「2(1)」に対応する。 美術学部建築学科のDP「1(1)」、「2(1)」に対応する。</p>
--

<p>到達目標</p> <p>我々を取り巻く種々の環境に関する課題(身の周りの環境問題、地球規模の環境問題、日本における環境問題、予測される将来の環境関連の課題等)の本質を理解し説明するとともに、それらの環境課題に対して今自分は何を為すべきか、また何が出来るかについて具体的に提案することができる。</p>

<p>授業全体の内容と概要</p> <p>環境の定義、環境負荷、人口増加と経済活動の増大に伴う自然環境の変化と課題、日本における環境問題(大気汚染、水質汚濁、食料、廃棄物等)の概要、日本における主なエネルギー資源とその問題点、新しいエネルギー資源の開発、および環境保全の在り方と問題点について、講義・文献調査・グループディスカッションを組み合わせて進める。</p>
--

<p>授業の方法</p> <p>プリントを用いて、我々を取り巻く種々の環境問題(身近な環境問題、日本における環境問題、地球規模の環境問題、エネルギー問題など)の概要を講義形式で説明する。また、講義内容について自らの知識として定着が図れるよう、文献調査、レポート作成、グループディスカッション及びプレゼンテーションを実施する。講義中に不明な点はフィードバックシートに記入して提出するとともに、自分で書籍等で調査して予習・復習を行う。また、グループディスカッション課題については、必要な調査を行い相互に意見交換して、グループとしての見解をまとめて発表資料及び概要説明資料としてまとめ、プレゼンテーションすることにより受講者全員でディスカッションを行う。</p>
--

<p>アクティブラーニングの実施方法</p> <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>プレゼンテーション</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>グループワーク</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>フィールドワーク</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>模擬授業</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>ロールプレイ</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>調査学習</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>ディスカッション</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>実験・実習・実技</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>双方向授業</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/>	プレゼンテーション	<input type="checkbox"/>	グループワーク	<input type="checkbox"/>	フィールドワーク	<input type="checkbox"/>	PBL	<input type="checkbox"/>	模擬授業	<input type="checkbox"/>	ロールプレイ	<input type="checkbox"/>	調査学習	<input type="checkbox"/>	反転授業	<input type="checkbox"/>	ディスカッション	<input type="checkbox"/>	実験・実習・実技	<input type="checkbox"/>	双方向授業	<input type="checkbox"/>	その他(授業の方法参照)
<input type="checkbox"/>	プレゼンテーション	<input type="checkbox"/>	グループワーク	<input type="checkbox"/>	フィールドワーク	<input type="checkbox"/>	PBL																	
<input type="checkbox"/>	模擬授業	<input type="checkbox"/>	ロールプレイ	<input type="checkbox"/>	調査学習	<input type="checkbox"/>	反転授業																	
<input type="checkbox"/>	ディスカッション	<input type="checkbox"/>	実験・実習・実技	<input type="checkbox"/>	双方向授業	<input type="checkbox"/>	その他(授業の方法参照)																	

<p>履修上の注意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> レポート課題(グループディスカッション課題を含む)の進め方等については、その都度指示する。 毎回フィードバックシートを配布するので、不明な点や要望事項などを記入して提出する。 フィードバックシートを活用して、授業内容を自ら積極的に調べる姿勢で授業に臨むこと。 自分が興味のある事項を見出し、積極的に調べること。
--

<p>資格指定科目</p>

評価方法・基準

<p>評価前提条件</p> <p>単位認定に必要な最低出席回数は、11回以上。定期試験(期末試験)は行わないが、数回のレポート課題(グループディスカッション課題を含む)に対するレポート内容の充実度、講義中に行う復習課題(中間テスト)の結果、フィードバックシートにおける主体性等を総合して評価する。</p>												
<p>評価方法</p> <table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>75%</td> <td>0%</td> <td>20%</td> <td>5%</td> <td>0%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	75%	0%	20%	5%	0%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	75%	0%	20%	5%	0%							

<p>ルーブリック</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>世界人口の増加と環境問題の関係に関する理解</td> <td>世界人口の増加と関連する環境問題について、現状から予想される複数の将来の課題が定量的をもって具体的に例示され、かつその課題の解決方法及び実施効果が定量的に説明できている。</td> <td>世界人口の増加と関連する環境問題について、現状から予想される複数の将来の課題が定量的をもって具体的に例示され、かつその課題の解決方法及び実施効果が定量的に説明できている。</td> <td>世界人口の増加と関連する環境問題について、現状から予想される将来の課題の一部が例示され、かつその課題の解決方法が実施効果とともに定量的に説明できている。</td> <td>世界人口の増加と関連する環境問題について、現状から予想される将来の課題の一部が例示され、かつその課題の解決方法が定量的に説明できている。</td> <td>世界人口の増加と関連する環境問題について、現状から予想される将来の課題が例示されていない。又は例示されていても解決方法が抽象的である。</td> </tr> <tr> <td>地球温暖化問題に関する理解</td> <td>地球温暖化に対する対策について、自分自身を取り組むものと社会全体が取り組むべき複数の対策を具体的に挙げ、明確な理由とともにそれがもたらす効果と課題について、定量的に説明されている。</td> <td>地球温暖化に対する対策について、自分自身を取り組む複数の対策を具体的に挙げ、明確な理由とともにそれがもたらす効果と課題について、定量的に説明されている。</td> <td>地球温暖化に対する対策について、自分自身を取り組む複数の対策を具体的に挙げ、明確な理由とともにそれがもたらす効果と課題について、定量的に説明されている。</td> <td>地球温暖化に対する対策について、自分自身を取り組む複数の対策を具体的に挙げ、明確な理由とともにそれがもたらす効果と課題について、定量的に説明されている。</td> <td>地球温暖化に対する対策について、自分自身を取り組む対策が一般的で、それがもたらす効果や課題についても、説明が抽象的である。</td> </tr> <tr> <td>日本のエネルギー問題に関する理解</td> <td>日本のエネルギー自給率向上のために必要な対策とそれを実行するための課題について、多面的な観点に基づいて分析を行い、自分なりの提案が説明されている。</td> <td>日本のエネルギー自給率向上のために必要な対策とそれを実行するための課題について、定量的な分析が行われ、それを基にした自分なりの提案が説明されている。</td> <td>日本のエネルギー自給率向上のために必要な対策とそれを実行するための課題について、定性的な分析を基に、一般的な提案が説明されている。</td> <td>日本のエネルギー自給率向上のために必要な対策とそれを実行するための課題について、現状調査の結果がまとめられている。</td> <td>日本のエネルギー自給率向上のために必要な対策とそれを実行するための課題について、現状調査や分析ができていない。</td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	世界人口の増加と環境問題の関係に関する理解	世界人口の増加と関連する環境問題について、現状から予想される複数の将来の課題が定量的をもって具体的に例示され、かつその課題の解決方法及び実施効果が定量的に説明できている。	世界人口の増加と関連する環境問題について、現状から予想される複数の将来の課題が定量的をもって具体的に例示され、かつその課題の解決方法及び実施効果が定量的に説明できている。	世界人口の増加と関連する環境問題について、現状から予想される将来の課題の一部が例示され、かつその課題の解決方法が実施効果とともに定量的に説明できている。	世界人口の増加と関連する環境問題について、現状から予想される将来の課題の一部が例示され、かつその課題の解決方法が定量的に説明できている。	世界人口の増加と関連する環境問題について、現状から予想される将来の課題が例示されていない。又は例示されていても解決方法が抽象的である。	地球温暖化問題に関する理解	地球温暖化に対する対策について、自分自身を取り組むものと社会全体が取り組むべき複数の対策を具体的に挙げ、明確な理由とともにそれがもたらす効果と課題について、定量的に説明されている。	地球温暖化に対する対策について、自分自身を取り組む複数の対策を具体的に挙げ、明確な理由とともにそれがもたらす効果と課題について、定量的に説明されている。	地球温暖化に対する対策について、自分自身を取り組む複数の対策を具体的に挙げ、明確な理由とともにそれがもたらす効果と課題について、定量的に説明されている。	地球温暖化に対する対策について、自分自身を取り組む複数の対策を具体的に挙げ、明確な理由とともにそれがもたらす効果と課題について、定量的に説明されている。	地球温暖化に対する対策について、自分自身を取り組む対策が一般的で、それがもたらす効果や課題についても、説明が抽象的である。	日本のエネルギー問題に関する理解	日本のエネルギー自給率向上のために必要な対策とそれを実行するための課題について、多面的な観点に基づいて分析を行い、自分なりの提案が説明されている。	日本のエネルギー自給率向上のために必要な対策とそれを実行するための課題について、定量的な分析が行われ、それを基にした自分なりの提案が説明されている。	日本のエネルギー自給率向上のために必要な対策とそれを実行するための課題について、定性的な分析を基に、一般的な提案が説明されている。	日本のエネルギー自給率向上のために必要な対策とそれを実行するための課題について、現状調査の結果がまとめられている。	日本のエネルギー自給率向上のために必要な対策とそれを実行するための課題について、現状調査や分析ができていない。
評価項目		評価基準																											
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																								
世界人口の増加と環境問題の関係に関する理解	世界人口の増加と関連する環境問題について、現状から予想される複数の将来の課題が定量的をもって具体的に例示され、かつその課題の解決方法及び実施効果が定量的に説明できている。	世界人口の増加と関連する環境問題について、現状から予想される複数の将来の課題が定量的をもって具体的に例示され、かつその課題の解決方法及び実施効果が定量的に説明できている。	世界人口の増加と関連する環境問題について、現状から予想される将来の課題の一部が例示され、かつその課題の解決方法が実施効果とともに定量的に説明できている。	世界人口の増加と関連する環境問題について、現状から予想される将来の課題の一部が例示され、かつその課題の解決方法が定量的に説明できている。	世界人口の増加と関連する環境問題について、現状から予想される将来の課題が例示されていない。又は例示されていても解決方法が抽象的である。																								
地球温暖化問題に関する理解	地球温暖化に対する対策について、自分自身を取り組むものと社会全体が取り組むべき複数の対策を具体的に挙げ、明確な理由とともにそれがもたらす効果と課題について、定量的に説明されている。	地球温暖化に対する対策について、自分自身を取り組む複数の対策を具体的に挙げ、明確な理由とともにそれがもたらす効果と課題について、定量的に説明されている。	地球温暖化に対する対策について、自分自身を取り組む複数の対策を具体的に挙げ、明確な理由とともにそれがもたらす効果と課題について、定量的に説明されている。	地球温暖化に対する対策について、自分自身を取り組む複数の対策を具体的に挙げ、明確な理由とともにそれがもたらす効果と課題について、定量的に説明されている。	地球温暖化に対する対策について、自分自身を取り組む対策が一般的で、それがもたらす効果や課題についても、説明が抽象的である。																								
日本のエネルギー問題に関する理解	日本のエネルギー自給率向上のために必要な対策とそれを実行するための課題について、多面的な観点に基づいて分析を行い、自分なりの提案が説明されている。	日本のエネルギー自給率向上のために必要な対策とそれを実行するための課題について、定量的な分析が行われ、それを基にした自分なりの提案が説明されている。	日本のエネルギー自給率向上のために必要な対策とそれを実行するための課題について、定性的な分析を基に、一般的な提案が説明されている。	日本のエネルギー自給率向上のために必要な対策とそれを実行するための課題について、現状調査の結果がまとめられている。	日本のエネルギー自給率向上のために必要な対策とそれを実行するための課題について、現状調査や分析ができていない。																								

教科書・参考文献・資料等

<p>教科書</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

<p>参考文献・資料等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>『文系のための環境科学入門』</td> <td>藤倉良他</td> <td>有斐閣</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>『エコエコノミー時代の地球を語る』</td> <td>レスター・ブラウン</td> <td>家の光協会</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>『地球温暖化』</td> <td>明日香壽川</td> <td>岩波書店</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>『持続可能な未来のために』</td> <td>吉田和文他</td> <td>北海道大学</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1	『文系のための環境科学入門』	藤倉良他	有斐閣				2	『エコエコノミー時代の地球を語る』	レスター・ブラウン	家の光協会				3	『地球温暖化』	明日香壽川	岩波書店				4	『持続可能な未来のために』	吉田和文他	北海道大学				5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1	『文系のための環境科学入門』	藤倉良他	有斐閣																																							
2	『エコエコノミー時代の地球を語る』	レスター・ブラウン	家の光協会																																							
3	『地球温暖化』	明日香壽川	岩波書店																																							
4	『持続可能な未来のために』	吉田和文他	北海道大学																																							
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	3Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	環境学入門 (科目ナンバリング:)				
授業担当者(所属・職名)	吉田 淳一(経営学科・非常勤講師)	研究室所在	1号館1階非常勤講師室		
単位数	2 (単位認定責任者: 吉田 淳一)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間			
回	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	シラバスの説明。人間と環境の関係について。環境学とは。環境負荷とは。	環境の定義を調べる(90分)。	環境の定義の確認する(90分)。
2	人間と環境：我々の活動と環境	環境問題の概要を調べる(90分)。	日本における環境問題の概要を覚える(90分)。
3	地球規模の環境問題：人口増加と食糧問題(人口の急激な増加)	世界人口の変遷と適正人口について調べる(90分)。	世界人口と適正人口のギャップについて考える(90分)。
4	地球規模の環境問題：人口増加と食糧問題(慢性的な飢餓状態に陥っている発展途上国、フードロス)	発展途上国における食糧事情について調べる(90分)。	発展途上国における食糧問題の解決策について考える(90分)。
5	地球規模の環境問題：人口増加と食糧問題(人口問題・貧困対策)	人口問題と貧困対策について調べる(90分)。	人口問題と貧困対策について考える(90分)。
6	地球規模の環境問題：食料危機と国際問題(現状・課題及び対策、グループディスカッション、レポート作成)	食料危機について調べる(90分)。	食料危機対策について考える(90分)。
7	地球規模の環境問題：食料危機と国際問題(プレゼンテーション、全体討論)	食料危機の解決策について調べてまとめる(90分)。	他グループの提示した解決策について考える(90分)。
8	地球規模の環境問題：地球温暖化問題(現状と将来)	地球温暖化とは何かについて調べる(90分)。	地球温暖化における本質の問題点について考える(90分)。
9	地球規模の環境問題：温室効果ガス(国際的及び日本の対策、現状と課題)	温室効果ガスの種類について調べる(90分)。	国際的取組みの現状と将来について考える(90分)。
10	地球規模の環境問題：地球温暖化対策(調査)	温暖化対策の現状について調べる(90分)。	温暖化対策を考える(90分)。
11	日本における環境問題：大気、水質、廃棄物、環境保全(グループディスカッション、レポート作成)	日本の環境問題の現状について調べる(90分)。	日本の環境問題への対策を考える(90分)。
12	日本のエネルギー資源と環境問題：エネルギー資源の需給状況と問題点	エネルギー資源の種類と化石燃料の問題点について調べる(90分)。	エネルギー資源の種類と化石燃料の問題点を理解する(90分)。
13	日本のエネルギー資源と環境問題：新エネルギー	新エネルギーの種類と問題点について調べる(90分)。	新エネルギーの現状と課題点について確認する(90分)。
14	日本のエネルギー資源と環境問題：エネルギー問題(解決策の調査・検討、グループディスカッション、レポート作成)	エネルギー問題の解決策について調べる(90分)。	エネルギー問題の解決策について考える(90分)。
15	日本のエネルギー資源と環境問題：エネルギー問題(解決策の提案、プレゼンテーション、全体討論)	エネルギー問題の解決策について提案をまとめる(90分)。	他グループの提示した解決策について考える(90分)。
16	課題に対する総まとめと解説	講義全体を通して質問事項をまとめておくこと(90分)。	解説・フィードバックを受けて講義全体の理解を深めること(90分)。

各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間			
回	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	経営学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	情報基礎演習 (M- (科目ナンバリング: S0F041018))				
授業担当者(所属・職名)	由水 伸(経営学科・教授)・近澤 潤(経営学科・専任講師)		研究室所在	1号館2階(由水)・1号館2階(近澤)	
単位数	1 (単位認定責任者: 由水 伸)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	企業での情報システム開発の経験を持つ教員が、その実務経験を活かして実社会に必要な知識を交えて講義を行う。		

概要

履修目標
インターネットの基本を理解し、セキュリティやマナーに配慮した利用法を学ぶ。インターネットやマスコミから得られる情報について鵜呑みにせず、真偽確認をして、正しく理解する。インターネット上のコンテンツについて知的財産権に配慮しつつ、効果的な利用法を学ぶ。コンピューターを使ったデータ処理(文書処理)について訓練を積み、総合的な対応力を養う。

授業の位置づけ
経営学科のDP「1(1)」、「1(2)」、「2(1)」に対応する。

到達目標
インターネット上のマナーを理解して各種のネットワーク上のサービスを利用できる。コンピューターを使って定型文書・レポートが作成できる。

授業全体の内容と概要
インターネット上の各種サービスの利用方法と注意事項を学ぶ。コンピューターによる文書処理(ワープロ)の基本技術を実習を通して学ぶ。

授業の方法
前半は、大学の情報システムの説明とインターネット利用時のセキュリティやマナー、知的財産権保護の学習を講義と実習を交えて行う。後半は、ワードを利用した文書作成の演習(個人・グループワーク)を行う。なお、グループワークを行う際には、第1回授業で実施するスキルチェックの結果を踏まえ、グループを編成する。

アクティブラーニングの実施方法							
	プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業
○	ディスカッション	○	実験・実習・実技	○	双方向授業		その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項
14回目に全課題の確認を行うので必ず保存しておくこと。作成した課題には合格印が押されているので、出席及び課題成果の原本となる。単位が認定されるまではファイルに閉じて各自保持しておくこと。自分で所有するノートPCを持ち込んで受講しても構わないが、授業に必要な設定は予め済ませておくこと(オリエンテーションにて説明)。

資格指定科目
教職課程(全教科)必修科目

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な最低出席回数は、13回以上。また、30分以上の遅刻は欠席と見なす。S評価は原則として全出席者に限る。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
50%	0%	50%	0%	0%	0%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあたるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
情報を持つ特性やその表現方法を理解し、デジタル化されたテキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの作成・編集や保管ができる。	情報の特性や効果的な表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの効果的な活用方法や工夫について説明するマニュアルを作成できた。	情報の特性や表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの重要なポイントを明確にして説明できた。	情報の特性や表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータを活用できた。	情報とは何かを説明でき、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータを利用できた。	デジタル化されたデータの取り扱いをコンピューターで扱うことができなかった。
定形化されたフォームの文書を想定し、図表を取り入れた、論理的で説得力のある文章、レポート、ビジネス書類を作成できる。	問題、課題の特性や主張点を明確にして、その作成目的に対応する論理を構成して文章や図表を配置し、論点が明確で説得力のある文書を、ワードで作成することができた。	問題、課題の特性や主張点を明確にして、その作成目的に対応する論理を構成して文章や図表を配置し、形式的に美しい文書を、ワードで作成することができた。	問題、課題の特性を理解し、論理を構成して文章や図表を配置し、形式を整えた文書を、ワードで作成することができた。	文章や図表を配置した、定型的な文書を、ワードで作成することができた。	文章や図表を配置した、定型的な文書を、ワードで作成することができなかった。
マスメディアやインターネット上の情報コミュニケーション手段について、その特性や社会的役割・影響を理解した上で正しく利用できる。	マスメディアやインターネット上の情報コミュニケーション手段について、種類、特性、影響力や利用上の注意点を説明するマニュアルを作成できた。	マスメディアやインターネット上の情報コミュニケーション手段について、種類、特性、影響力や利用上の注意点を説明できた。	マスメディアやインターネット上の情報コミュニケーション手段について、種類、特性、影響力や利用上の注意点を理解した上で利用できた。	マスメディアやインターネット上の情報コミュニケーション手段について、利用上の注意点を理解した上で利用できた。	マスメディアやインターネット上の情報コミュニケーション手段について、利用上の注意点を理解できなかった。
マスメディアやインターネット上で発信された情報の意図と真偽を見極め、価値を客観的に見極めた上で情報を有効に活用できる。	マスメディアやインターネット上の情報について、出所と信憑性を評価した上で意味を解釈し、情報を責任を持って有効活用するためのメディアリテラシーマニュアルを作成できた。	マスメディアやインターネット上の情報について、出所と信憑性を評価した上で意味を解釈し、情報を責任を持って有効活用するためのメディアリテラシーについて説明できた。	マスメディアやインターネット上の情報について、出所と信憑性を評価した上で意味を解釈し、情報を責任を持って有効活用することができた。	マスメディアやインターネット上の情報について、出所と信憑性を評価した上で利用することができた。	マスメディアやインターネット上の情報について、出所と信憑性を評価した上で利用することの重要を理解できなかった。
デジタル化された情報をインターネットによって発信することの可能性やリスク、著作権、個人情報保護、プライバシー等の保護の重要性について資料を作成できている。	情報通信社会の発展とリスク、デジタル化された情報の著作権や個人情報、プライバシー等の保護の重要性について資料を作成できた。	情報通信社会の発展とリスク、デジタル化された情報の著作権や個人情報、プライバシー等の保護の重要性について説明できた。	情報通信社会の発展とリスク、デジタル化された情報の著作権や個人情報、プライバシー等の保護の重要性について理解できた。	デジタル化された情報の著作権や個人情報、プライバシー等の保護の重要性について理解できた。	デジタル化された情報の著作権や個人情報、プライバシー等の保護について理解ができなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	経営学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	情報基礎演習 (M- (科目ナンバリング: SOF041018))				
授業担当者(所属・職名)	由水 伸(経営学科・教授)・近澤 潤(経営学科・専任講師)		研究室所在	1号館2階(由水)・1号館2階(近澤)	
単位数	1 (単位認定責任者: 由水 伸)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり 左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容 企業での情報システム開発の経験を持つ教員が、その実務経験を活かして実社会に必要な知識を交えて講義を行う。				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	【オリエンテーション】 シラバス説明、実習機種の取り扱いに関する注意、PCアカウント設定、スキルチェック	シラバスの確認 プリント保管用ファイルの準備(45分)	配布資料の復習(45分)
2	【メディアリテラシー】 インターネット利用上のマナーと注意点(コミュニケーション、SNS利用、スマートフォン)	インターネットの利用方法について、調べ、まとめ(45分)	インターネット利用上のマナーと注意の復習(45分)
3	【メディアリテラシー】 知的財産権と正しい利用法、ネット検索とデマ、誤情報や詐欺情報、マルウェア、個人情報、詐欺	知的財産権とは何か調べる(45分)	知的財産権の復習(45分)
4	【文書処理(基礎)】 ワードの基本操作(キーボードショートカット)、Lesson1・2(短文練習:文字・英字入力)	文字、英字入力について調べる(45分)	Lesson1・2 授業課題の復習(45分)
5	【文書処理(基礎)】 Lesson3・4(長文練習:日本語入力)	日本語入力について調べる(45分)	Lesson3・4 授業課題の復習(45分)
6	【文書処理(応用)】 グループワーク インターネットを使用して情報を収集し、メディアリテラシーに関するテーマについてレポートをグループで作成する	レポートの作り方について調べる(45分)	レポートの作り方についてまとめる(45分)
7	【文書処理(基礎)】 Lesson5(会議案内文書:字配置と装飾)	字配列・装飾について調べる(45分)	授業課題Lesson5の復習(45分)
8	【文書処理(基礎)】 Lesson6・7(議事録・報告書:インデント)	インデントについて調べる(45分)	授業課題Lesson6・7の復習(45分)
9	【文書処理(応用)】 グループワーク これまでの文書処理に関する基礎知識・操作をもとに、会議報告書をグループで作成する	授業課題Lesson1-7の復習(45分)	グループワーク課題を1人で取り組む(45分)
10	【文書処理(基礎)】 Lesson8(業務書:タブ・表組)	タブについて調べる(45分)	授業課題Lesson8の復習(45分)
11	【文書処理(基礎)】 Lesson9(見積書:タブ・表組)	表組について調べる(45分)	授業課題Lesson9の復習(45分)
12	【文書処理(基礎)】 Lesson10(セミナー案内)	授業課題Lesson8-10の復習(45分)	授業課題Lesson10の復習(45分)
13	【文書処理(基礎)】 画像や表・グラフを用いたビジュアルを重視した文書の作成	画像の挿入方法について調べる(45分)	画像やグラフの操作方法の復習(45分)
14	【文書処理(応用)】 グループワーク これまでの文書処理に関する基礎知識・操作をもとに、イベント案内文書をグループで作成する	授業課題Lesson1-10の復習(45分)	グループワーク課題を1人で取り組む(45分)
15	【文書処理(総合演習)】 グループワーク 応用的な課題について、前半:個人作成、後半:グループにて答え合わせ	授業課題Lesson1-10の復習(45分)	間違えた箇所を重点的に復習(45分)
16	定期試験(60分) 解説(30分)	授業課題Lesson1-10の復習(45分)	総復習(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	経営学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	情報基礎演習 (M- (科目ナンバリング: S0F041018))				
授業担当者(所属・職名)	由水 伸(経営学科・教授)・近澤 潤(経営学科・専任講師)		研究室所在	1号館2階(由水)・1号館2階(近澤)	
単位数	1 (単位認定責任者: 由水 伸)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	企業での情報システム開発の経験を持つ教員が、その実務経験を活かして実社会に必要な知識を交えて講義を行う。		

概要

履修目標	インターネットの基本を理解し、セキュリティやマナーに配慮した利用法を学ぶ。インターネットやマスコミから得られる情報について鑑みせず、真偽確認をして、正しく理解する。インターネット上のコンテンツについて知的財産権に配慮しつつ、効果的な利用法を学ぶ。コンピューターを使ったデータ処理(文書処理)について訓練を積み、総合的な対応力を養う。																								
授業の位置づけ	経営学科のDP「1(1)」、「1(2)」、「2(1)」に対応する。																								
到達目標	インターネット上のマナーを理解して各種のネットワーク上のサービスを利用できる。コンピューターを使って定型文書・レポートが作成できる。																								
授業全体の内容と概要	インターネット上の各種サービスの利用方法と注意事項を学ぶ。コンピューターによる文書処理(ワープロ)の基本技術を実習を通して学ぶ。																								
授業の方法	前半は、大学の情報システムの説明とインターネット利用時のセキュリティやマナー、知的財産権保護の学習を講義と実習を交えて行う。後半は、ワードを利用した文書作成の演習(個人・グループワーク)を行う。なお、グループワークを行う際には、第1回授業で実施するスキルチェックの結果を踏まえ、グループを編成する。																								
アクティブラーニングの実施方法	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td>○</td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>ディスカッション</td> <td>○</td> <td>実験・実習・実技</td> <td>○</td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業	○	ディスカッション	○	実験・実習・実技	○	双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL																		
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																		
○	ディスカッション	○	実験・実習・実技	○	双方向授業		その他(授業の方法参照)																		
履修上の注意事項	14回目に全課題の確認を行うので必ず保存しておくこと。作成した課題には合格印が押されているので、出席及び課題成果の原本となる。単位が認定されるまではファイルに閉じて各自保持しておくこと。自分で所有するノートPCを持ち込んで受講しても構わないが、授業に必要な設定は予め済ませておくこと(オリエンテーションにて説明)。																								
資格指定科目	教職課程(全教科)必修科目																								

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な最低出席回数は、13回以上。また、30分以上の遅刻は欠席と見なす。S評価は原則として全出席者に限る。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
50%	0%	50%	0%	0%	0%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあたるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
情報を持つ特性やその表現方法を理解し、デジタル化されたテキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの作成・編集や保管ができる。	情報の特性や効果的な表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの効果的な活用方法や工夫について説明するマニュアルを作成できた。	情報の特性や表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの重要なポイントを明確にして説明できた。	情報の特性や表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータを活用できた。	情報とは何かを説明でき、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータを利用できた。	デジタル化されたデータの取り扱いをコンピューターで扱うことができなかった。
定形化されたフォームの文書を想定し、図表を取り入れた、論理的で説得力のある文章、レポート、ビジネス書類を作成できる。	問題、課題の特性や主張点を明確にして、その作成目的に対応する論理を構成して文章や図表を配置し、論点が明確で説得力のある文書を、ワードで作成することができた。	問題、課題の特性や主張点を明確にして、その作成目的に対応する論理を構成して文章や図表を配置し、形式的に美しい文書を、ワードで作成することができた。	問題、課題の特性を理解し、論理を構成して文章や図表を配置し、形式を整えた文書を、ワードで作成することができた。	文章や図表を配置した、定型的な文書を、ワードで作成することができた。	文章や図表を配置した、定型的な文書を、ワードで作成することができなかった。
マスメディアやインターネット上の情報コミュニケーション手段について、その特性や社会的役割・影響を理解した上で正しく利用できる。	マスメディアやインターネット上の情報コミュニケーション手段について、種類、特性、影響力や利用上の注意点を説明するマニュアルを作成できた。	マスメディアやインターネット上の情報コミュニケーション手段について、種類、特性、影響力や利用上の注意点を説明できた。	マスメディアやインターネット上の情報コミュニケーション手段について、種類、特性、影響力や利用上の注意点を理解した上で利用できた。	マスメディアやインターネット上の情報コミュニケーション手段について、利用上の注意点を理解した上で利用できた。	マスメディアやインターネット上の情報コミュニケーション手段について、利用上の注意点を理解できなかった。
マスメディアやインターネット上で発信された情報の意図と真偽を見極め、価値を客観的に見極めた上で情報を有効に活用できる。	マスメディアやインターネット上の情報について、出所と信憑性を評価した上で意味を解釈し、情報を責任を持って有効活用するためのメディアリテラシーマニュアルを作成できた。	マスメディアやインターネット上の情報について、出所と信憑性を評価した上で意味を解釈し、情報を責任を持って有効活用するためのメディアリテラシーについて説明できた。	マスメディアやインターネット上の情報について、出所と信憑性を評価した上で意味を解釈し、情報を責任を持って有効活用することができた。	マスメディアやインターネット上の情報について、出所と信憑性を評価した上で利用することができた。	マスメディアやインターネット上の情報について、出所と信憑性を評価した上で利用することの重要を理解できなかった。
デジタル化された情報をインターネットによって発信することの可能性やリスク、著作権、個人情報保護、プライバシー等の保護の重要性について資料を作成できている。	情報通信社会の発展とリスク、デジタル化された情報の著作権や個人情報、プライバシー等の保護の重要性について資料を作成できた。	情報通信社会の発展とリスク、デジタル化された情報の著作権や個人情報、プライバシー等の保護の重要性について説明できた。	情報通信社会の発展とリスク、デジタル化された情報の著作権や個人情報、プライバシー等の保護の重要性について理解できた。	デジタル化された情報の著作権や個人情報、プライバシー等の保護の重要性について理解できた。	デジタル化された情報の著作権や個人情報、プライバシー等の保護について理解ができなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	経営学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	情報基礎演習 (M- (科目ナンバリング: SOF041018))				
授業担当者(所属・職名)	由水 伸(経営学科・教授)・近澤 潤(経営学科・専任講師)		研究室所在	1号館2階(由水)・1号館2階(近澤)	
単位数	1 (単位認定責任者: 由水 伸)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容 企業での情報システム開発の経験を持つ教員が、その実務経験を活かして実社会に必要な知識を交えて講義を行う。			

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	【オリエンテーション】 シラバス説明、実習機種の取り扱いに関する注意、PCアカウント設定、スキルチェック	シラバスの確認 プリント保管用ファイルの準備(45分)	配布資料の復習(45分)
2	【メディアリテラシー】 インターネット利用上のマナーと注意点(コミュニケーション、SNS利用、スマートフォン)	インターネットの利用方法について、調べ、まとめ(45分)	インターネット利用上のマナーと注意の復習(45分)
3	【メディアリテラシー】 知的財産権と正しい利用法、ネット検索とデマ、誤情報や詐欺情報、マルウェア、個人情報、詐欺	知的財産権とは何か調べる(45分)	知的財産権の復習(45分)
4	【文書処理(基礎)】 ワードの基本操作(キーボードショートカット)、Lesson1・2(短文練習:文字・英字入力)	文字、英字入力について調べる(45分)	Lesson1・2 授業課題の復習(45分)
5	【文書処理(基礎)】 Lesson3・4(長文練習:日本語入力)	日本語入力について調べる(45分)	Lesson3・4 授業課題の復習(45分)
6	【文書処理(応用)】 グループワーク インターネットを使用して情報を収集し、メディアリテラシーに関するテーマについてレポートをグループで作成する	レポートの作り方について調べる(45分)	レポートの作り方についてまとめる(45分)
7	【文書処理(基礎)】 Lesson5(会議案内文書:字配置と装飾)	字配列・装飾について調べる(45分)	授業課題Lesson5の復習(45分)
8	【文書処理(基礎)】 Lesson6・7(議事録・報告書:インデント)	インデントについて調べる(45分)	授業課題Lesson6・7の復習(45分)
9	【文書処理(応用)】 グループワーク これまでの文書処理に関する基礎知識・操作をもとに、会議報告書をグループで作成する	授業課題Lesson1-7の復習(45分)	グループワーク課題を1人で取り組む(45分)
10	【文書処理(基礎)】 Lesson8(業務書:タブ・表組)	タブについて調べる(45分)	授業課題Lesson8の復習(45分)
11	【文書処理(基礎)】 Lesson9(見積書:タブ・表組)	表組について調べる(45分)	授業課題Lesson9の復習(45分)
12	【文書処理(基礎)】 Lesson10(セミナー案内)	授業課題Lesson8-10の復習(45分)	授業課題Lesson10の復習(45分)
13	【文書処理(基礎)】 画像や表・グラフを用いたビジュアルを重視した文書の作成	画像の挿入方法について調べる(45分)	画像やグラフの操作方法の復習(45分)
14	【文書処理(応用)】 グループワーク これまでの文書処理に関する基礎知識・操作をもとに、イベント案内文書をグループで作成する	授業課題Lesson1-10の復習(45分)	グループワーク課題を1人で取り組む(45分)
15	【文書処理(総合演習)】 グループワーク 応用的な課題について、前半:個人作成、後半:グループにて答え合わせ	授業課題Lesson1-10の復習(45分)	間違えた箇所を重点的に復習(45分)
16	定期試験(60分) 解説(30分)	授業課題Lesson1-10の復習(45分)	総復習(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	経営学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	情報基礎演習 (M- (科目ナンバリング: S0F041018))				
授業担当者(所属・職名)	由水 伸(経営学科・教授)・近澤 潤(経営学科・専任講師)		研究室所在	1号館2階(由水)・1号館2階(近澤)	
単位数	1 (単位認定責任者: 由水 伸)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	企業での情報システム開発の経験を持つ教員が、その実務経験を活かして実社会に必要な知識を交えて講義を行う。		

概要

履修目標
インターネットの基本を理解し、セキュリティやマナーに配慮した利用法を学ぶ。インターネットやマスコミから得られる情報について鑑みせず、真偽確認をして、正しく理解する。インターネット上のコンテンツについて知的財産権に配慮しつつ、効果的な利用法を学ぶ。コンピューターを使ったデータ処理(文書処理)について訓練を積み、総合的な対応力を養う。

授業の位置づけ
経営学科のDP「1(1)」、「1(2)」、「2(1)」に対応する。

到達目標
インターネット上のマナーを理解して各種のネットワーク上のサービスを利用できる。コンピューターを使って定型文書・レポートが作成できる。

授業全体の内容と概要
インターネット上の各種サービスの利用方法と注意事項を学ぶ。コンピューターによる文書処理(ワープロ)の基本技術を実習を通して学ぶ。

授業の方法
前半は、大学の情報システムの説明とインターネット利用時のセキュリティやマナー、知的財産権保護の学習を講義と実習を交えて行う。後半は、ワードを利用した文書作成の演習(個人・グループワーク)を行う。なお、グループワークを行う際には、第1回授業で実施するスキルチェックの結果を踏まえ、グループを編成する。

アクティブラーニングの実施方法							
	プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		P B L
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業
○	ディスカッション	○	実験・実習・実技	○	双方向授業		その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項
14回目に全課題の確認を行うので必ず保存しておくこと。作成した課題には合格印が押されているので、出席及び課題成果の原本となる。単位が認定されるまではファイルに閉じて各自保持しておくこと。自分で所有するノートPCを持ち込んで受講しても構わないが、授業に必要な設定は予め済ませておくこと(オリエンテーションにて説明)。

資格指定科目
教職課程(全教科)必修科目

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な最低出席回数は、13回以上。また、30分以上の遅刻は欠席と見なす。S評価は原則として全出席者に限る。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
50%	0%	50%	0%	0%	0%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあたるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
情報を持つ特性やその表現方法を理解し、デジタル化されたテキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの作成・編集や保管ができる。	情報の特性や効果的な表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの効果的な活用方法や工夫について説明するマニュアルを作成できた。	情報の特性や表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの重要なポイントを明確にして説明できた。	情報の特性や表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータを活用できた。	情報とは何かを説明でき、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータを利用できた。	デジタル化されたデータの取り扱いをコンピューターで扱うことができなかった。
定形化されたフォームの文書を想定し、図表を取り入れた、論理的で説得力のある文章、レポート、ビジネス書類を作成できる。	問題、課題の特性や主張点を明確にして、その作成目的に対応する論理を構成して文章や図表を配置し、論点が明確で説得力のある文書を、ワードで作成することができた。	問題、課題の特性や主張点を明確にして、その作成目的に対応する論理を構成して文章や図表を配置し、形式的に美しい文書を、ワードで作成することができた。	文章や図表を配置した、定型的な文書を、ワードで作成することができた。	文章や図表を配置した、定型的な文書を、ワードで作成することができなかった。	
マスメディアやインターネット上の情報コミュニケーション手段について、その特性や社会的役割・影響を理解した上で正しく利用できる。	マスメディアやインターネット上の情報コミュニケーション手段について、種類、特性、影響力や利用上の注意点を説明するマニュアルを作成できた。	マスメディアやインターネット上の情報コミュニケーション手段について、種類、特性、影響力や利用上の注意点を説明できた。	マスメディアやインターネット上の情報コミュニケーション手段について、種類、特性、影響力や利用上の注意点を理解した上で利用できた。	マスメディアやインターネット上の情報コミュニケーション手段について、利用上の注意点を理解できなかった。	
マスメディアやインターネット上で発信された情報の意図と真偽を見極め、価値を客観的に見極めた上で情報を有効に活用できる。	マスメディアやインターネット上の情報について、出所と信憑性を評価した上で意味を解釈し、情報を責任を持って有効活用するためのメディアリテラシーマニュアルを作成できた。	マスメディアやインターネット上の情報について、出所と信憑性を評価した上で意味を解釈し、情報を責任を持って有効活用することができた。	マスメディアやインターネット上の情報について、出所と信憑性を評価した上で利用することができた。	マスメディアやインターネット上の情報について、出所と信憑性を評価した上で利用することの重要を理解できなかった。	
デジタル化された情報をインターネットによって発信することの可能性やリスク、著作権、個人情報保護、プライバシー等の保護の重要性について理解している。	情報通信社会の発展とリスク、デジタル化された情報の著作権や個人情報、プライバシー等の保護の重要性について資料を作成できた。	情報通信社会の発展とリスク、デジタル化された情報の著作権や個人情報、プライバシー等の保護の重要性について説明できた。	情報通信社会の発展とリスク、デジタル化された情報の著作権や個人情報、プライバシー等の保護の重要性について理解できた。	デジタル化された情報の著作権や個人情報、プライバシー等の保護について理解できなかった。	

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	経営学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	情報基礎演習 (M- (科目ナンバリング: SOF041018))				
授業担当者(所属・職名)	由水 伸(経営学科・教授)・近澤 潤(経営学科・専任講師)		研究室所在	1号館2階(由水)・1号館2階(近澤)	
単位数	1 (単位認定責任者: 由水 伸)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容 企業での情報システム開発の経験を持つ教員が、その実務経験を活かして実社会に必要な知識を交えて講義を行う。			

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	[オリエンテーション] シラバス説明、実習機種の取り扱いに関する注意、PCアカウント設定、スキルチェック	シラバスの確認 プリント保管用ファイルの準備(45分)	配布資料の復習(45分)
2	[メディアリテラシー] インターネット利用上のマナーと注意点(コミュニケーション、SNS利用、スマートフォン)	インターネットの利用方法について、調べ、まとめ(45分)	インターネット利用上のマナーと注意の復習(45分)
3	[メディアリテラシー] 知的財産権と正しい利用法、ネット検索とデマ、誤情報や詐欺情報、マルウェア、個人情報、詐欺	知的財産権とは何か調べる(45分)	知的財産権の復習(45分)
4	[文書処理(基礎)] ワードの基本操作(キーボードショートカット)、Lesson1・2(短文練習:文字・英字入力)	文字、英字入力について調べる(45分)	Lesson1・2 授業課題の復習(45分)
5	[文書処理(基礎)] Lesson3・4(長文練習:日本語入力)	日本語入力について調べる(45分)	Lesson3・4 授業課題の復習(45分)
6	[文書処理(応用)] グループワーク インターネットを使用して情報を収集し、メディアリテラシーに関するテーマについてレポートをグ	レポートの作り方について調べる(45分)	レポートの作り方についてまとめる(45分)
7	[文書処理(基礎)] Lesson5(会議案内文書:字配置と装飾)	字配列・装飾について調べる(45分)	授業課題Lesson5の復習(45分)
8	[文書処理(基礎)] Lesson6・7(議事録・報告書:インデント)	インデントについて調べる(45分)	授業課題Lesson6・7の復習(45分)
9	[文書処理(応用)] グループワーク これまでの文書処理に関する基礎知識・操作をもとに、会議報告書をグループで作成する	授業課題Lesson1-7の復習(45分)	グループワーク課題を1人で取り組む(45分)
10	[文書処理(基礎)] Lesson8(業務書:タブ・表組)	タブについて調べる(45分)	授業課題Lesson8の復習(45分)
11	[文書処理(基礎)] Lesson9(見積書:タブ・表組)	表組について調べる(45分)	授業課題Lesson9の復習(45分)
12	[文書処理(基礎)] Lesson10(セミナー案内)	授業課題Lesson8-10の復習(45分)	授業課題Lesson10の復習(45分)
13	[文書処理(基礎)] 画像や表・グラフを用いたビジュアルを重視した文書の作成	画像の挿入方法について調べる(45分)	画像やグラフの操作方法の復習(45分)
14	[文書処理(応用)] グループワーク これまでの文書処理に関する基礎知識・操作をもとに、イベント案内文書をグループで作成する	授業課題Lesson1-10の復習(45分)	グループワーク課題を1人で取り組む(45分)
15	[文書処理(総合演習)] グループワーク 応用的な課題について、前半:個人作成、後半:グループにて答え合わせ	授業課題Lesson1-10の復習(45分)	間違えた箇所を重点的に復習(45分)
16	定期試験(60分) 解説(30分)	授業課題Lesson1-10の復習(45分)	総復習(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	経営学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	情報基礎演習 (M- (科目ナンバリング: S0F041018))				
授業担当者(所属・職名)	由水 伸(経営学科・教授)・近澤 潤(経営学科・専任講師)		研究室所在	1号館2階(由水)・1号館2階(近澤)	
単位数	1 (単位認定責任者: 由水 伸)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	企業での情報システム開発の経験を持つ教員が、その実務経験を活かして実社会に必要な知識を交えて講義を行う。		

概要

履修目標
インターネットの基本を理解し、セキュリティやマナーに配慮した利用法を学ぶ。インターネットやマスコミから得られる情報について鵜呑みにせず、真偽確認をして、正しく理解する。インターネット上のコンテンツについて知的財産権に配慮しつつ、効果的な利用法を学ぶ。コンピューターを使ったデータ処理(文書処理)について訓練を積み、総合的な対応力を養う。

授業の位置づけ
経営学科のDP「1(1)」、「1(2)」、「2(1)」に対応する。

到達目標
インターネット上のマナーを理解して各種のネットワーク上のサービスを利用できる。コンピューターを使って定型文書・レポートが作成できる。

授業全体の内容と概要
インターネット上の各種サービスの利用方法と注意事項を学ぶ。コンピューターによる文書処理(ワープロ)の基本技術を実習を通して学ぶ。

授業の方法
前半は、大学の情報システムの説明とインターネット利用時のセキュリティやマナー、知的財産権保護の学習を講義と実習を交えて行う。後半は、ワードを利用した文書作成の演習(個人・グループワーク)を行う。なお、グループワークを行う際には、第1回授業で実施するスキルチェックの結果を踏まえ、グループを編成する。

アクティブラーニングの実施方法							
	プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業
○	ディスカッション	○	実験・実習・実技	○	双方向授業		その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項
14回目に全課題の確認を行うので必ず保存しておくこと。作成した課題には合格印が押されているので、出席及び課題成果の原本となる。単位が認定されるまではファイルに閉じて各自保持しておくこと。自分で所有するノートPCを持ち込んで受講しても構わないが、授業に必要な設定は予め済ませておくこと(オリエンテーションにて説明)。

資格指定科目
教職課程(全教科)必修科目

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な最低出席回数は、13回以上。また、30分以上の遅刻は欠席と見なす。S評価は原則として全出席者に限る。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
50%	0%	50%	0%	0%	0%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあたるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
情報を持つ特性やその表現方法を理解し、デジタル化されたテキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの作成・編集や保管ができる。	情報の特性や効果的な表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの効果的な活用方法や工夫について説明するマニュアルを作成できた。	情報の特性や表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの重要なポイントを明確にして説明できた。	情報の特性や表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータを活用できた。	情報とは何かを説明でき、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータを利用できた。	デジタル化されたデータの取り扱いをコンピューターで扱うことができなかった。
定形化されたフォームの文書を想定し、図表を取り入れた、論理的で説得力のある文章、レポート、ビジネス書類を作成できる。	問題、課題の特性や主張点を明確にして、その作成目的に対応する論理を構成して文章や図表を配置し、論点が明確で説得力のある文書を、ワードで作成することができた。	問題、課題の特性や主張点を明確にして、その作成目的に対応する論理を構成して文章や図表を配置し、形式的に美しい文書を、ワードで作成することができた。	問題、課題の特性を理解し、論理を構成して文章や図表を配置し、形式を整えた文書を、ワードで作成することができた。	文章や図表を配置した、定型的な文書を、ワードで作成することができた。	文章や図表を配置した、定型的な文書を、ワードで作成することができなかった。
マスメディアやインターネット上の情報コミュニケーション手段について、その特性や社会的役割・影響を理解した上で正しく利用できる。	マスメディアやインターネット上の情報コミュニケーション手段について、種類、特性、影響力や利用上の注意点を説明するマニュアルを作成できた。	マスメディアやインターネット上の情報コミュニケーション手段について、種類、特性、影響力や利用上の注意点を説明できた。	マスメディアやインターネット上の情報コミュニケーション手段について、種類、特性、影響力や利用上の注意点を理解した上で利用できた。	マスメディアやインターネット上の情報コミュニケーション手段について、利用上の注意点を理解した上で利用できた。	マスメディアやインターネット上の情報コミュニケーション手段について、利用上の注意点を理解できなかった。
マスメディアやインターネット上で発信された情報の意図と真偽を見極め、価値を客観的に見極めた上で情報を有効に活用できる。	マスメディアやインターネット上の情報について、出所と信憑性を評価した上で意味を解釈し、情報を責任を持って有効活用するためのメディアリテラシーマニュアルを作成できた。	マスメディアやインターネット上の情報について、出所と信憑性を評価した上で意味を解釈し、情報を責任を持って有効活用するためのメディアリテラシーについて説明できた。	マスメディアやインターネット上の情報について、出所と信憑性を評価した上で意味を解釈し、情報を責任を持って有効活用することができた。	マスメディアやインターネット上の情報について、出所と信憑性を評価した上で利用することができた。	マスメディアやインターネット上の情報について、出所と信憑性を評価した上で利用することの重要を理解できなかった。
デジタル化された情報をインターネットによって発信することの可能性やリスク、著作権、個人情報保護、プライバシー等の保護の重要性について理解している。	情報通信社会の発展とリスク、デジタル化された情報の著作権や個人情報、プライバシー等の保護の重要性について資料を作成できた。	情報通信社会の発展とリスク、デジタル化された情報の著作権や個人情報、プライバシー等の保護の重要性について説明できた。	情報通信社会の発展とリスク、デジタル化された情報の著作権や個人情報、プライバシー等の保護の重要性について理解できた。	デジタル化された情報の著作権や個人情報、プライバシー等の保護の重要性について理解できた。	デジタル化された情報の著作権や個人情報、プライバシー等の保護について理解できなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	経営学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	情報基礎演習 (M- (科目ナンバリング: SOF041018))				
授業担当者(所属・職名)	由水 伸(経営学科・教授)・近澤 潤(経営学科・専任講師)		研究室所在	1号館2階(由水)・1号館2階(近澤)	
単位数	1 (単位認定責任者: 由水 伸)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容 企業での情報システム開発の経験を持つ教員が、その実務経験を活かして実社会に必要な知識を交えて講義を行う。			

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	[オリエンテーション] シラバス説明、実習機種の取り扱いに関する注意、PCアカウント設定、スキルチェック	シラバスの確認 プリント保管用ファイルの準備(45分)	配布資料の復習(45分)
2	[メディアリテラシー] インターネット利用上のマナーと注意点(コミュニケーション、SNS利用、スマートフォン)	インターネットの利用方法について、調べ、まとめ(45分)	インターネット利用上のマナーと注意の復習(45分)
3	[メディアリテラシー] 知的財産権と正しい利用法、ネット検索とデマ、誤情報や詐欺情報、マルウェア、個人情報、詐欺	知的財産権とは何か調べる(45分)	知的財産権の復習(45分)
4	[文書処理(基礎)] ワードの基本操作(キーボードショートカット)、Lesson1・2(短文練習:文字・英字入力)	文字、英字入力について調べる(45分)	Lesson1・2 授業課題の復習(45分)
5	[文書処理(基礎)] Lesson3・4(長文練習:日本語入力)	日本語入力について調べる(45分)	Lesson3・4 授業課題の復習(45分)
6	[文書処理(応用)] グループワーク インターネットを使用して情報を収集し、メディアリテラシーに関するテーマについてレポートをグループで作成する	レポートの作り方について調べる(45分)	レポートの作り方についてまとめる(45分)
7	[文書処理(基礎)] Lesson5(会議案内文書:字配置と装飾)	字配列・装飾について調べる(45分)	授業課題Lesson5の復習(45分)
8	[文書処理(基礎)] Lesson6・7(議事録・報告書:インデント)	インデントについて調べる(45分)	授業課題Lesson6・7の復習(45分)
9	[文書処理(応用)] グループワーク これまでの文書処理に関する基礎知識・操作をもとに、会議報告書をグループで作成する	授業課題Lesson1-7の復習(45分)	グループワーク課題を1人で取り組む(45分)
10	[文書処理(基礎)] Lesson8(表組:タブ・表組)	タブについて調べる(45分)	授業課題Lesson8の復習(45分)
11	[文書処理(基礎)] Lesson9(見直し:タブ・表組)	表組について調べる(45分)	授業課題Lesson9の復習(45分)
12	[文書処理(基礎)] Lesson10(セミナー案内)	授業課題Lesson8-10の復習(45分)	授業課題Lesson10の復習(45分)
13	[文書処理(基礎)] 画像や表・グラフを用いたビジュアルを重視した文書の作成	画像の挿入方法について調べる(45分)	画像やグラフの操作方法の復習(45分)
14	[文書処理(応用)] グループワーク これまでの文書処理に関する基礎知識・操作をもとに、イベント案内文書をグループで作成する	授業課題Lesson1-10の復習(45分)	グループワーク課題を1人で取り組む(45分)
15	[文書処理(総合演習)] グループワーク 応用的な課題について、前半:個人作成、後半:グループにて答え合わせ	授業課題Lesson1-10の復習(45分)	間違えた箇所を重点的に復習(45分)
16	定期試験(60分) 解説(30分)	授業課題Lesson1-10の復習(45分)	総復習(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	社会福祉学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	情報基礎演習 (S- (科目ナンバリング: S0F041018))				
授業担当者(所属・職名)	近澤 潤 (経営学科・専任講師)	研究室所在	1号館2階(近澤)		
単位数	1 (単位認定責任者: 近澤 潤)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	民間企業での実務経験を活かし、実社会に必要なPC操作技術について、実際の事例を交えて解説・教授する。		

概要

履修目標
インターネットの基本を理解し、セキュリティやマナーに配慮した利用法を学ぶ。インターネットやマスコミから得られる情報について鵜呑みにせず、真偽確認をして、正しく理解する。インターネット上のコンテンツについて知的財産権に配慮しつつ、効果的な利用法を学ぶ。コンピューターを使ったデータ処理(文書処理)について訓練を積み、総合的な対応力を養う。

授業の位置づけ
社会福祉学科のDP「1(3)」、「2(1)」に対応する。

到達目標
インターネット上のマナーを理解して各種のネットワーク上のサービスを利用できる。コンピューターを使って定型文書・レポートが作成できる。

授業全体の内容と概要
インターネット上の各種サービスの利用方法と注意事項を学ぶ。コンピューターによる文書処理(ワープロ)の基本技術を実習を通して学ぶ。

授業の方法
前半は、大学の情報システムの説明とインターネット利用時のセキュリティやマナー、知的財産権保護の学習を講義と実習を交えて行う。後半は、ワードを利用した文書作成の演習(個人・グループワーク)を行う。なお、グループワークを行う際には、第1回授業で実施するスキルチェックの結果を踏まえ、グループを編成する。

アクティブラーニングの実施方法							
	プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業
○	ディスカッション	○	実験・実習・実技	○	双方向授業		その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項
14回目に全課題の確認を行うので必ず保存しておくこと。作成した課題には合格印が押されているので、出席及び課題成果の原本となる。単位が認定されるまではファイルに閉じて各自保持しておくこと。自分で所有するノートPCを持ち込んで受講しても構わないが、授業に必要な設定は予め済ませておくこと(オリエンテーションにて説明)。

資格指定科目
教職課程(全教科)必修科目

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な最低出席回数は、13回以上。また、30分以上の遅刻は欠席と見なす。S評価は原則として全出席者に限る。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
50%	0%	50%	0%	0%	0%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
情報を持つ特性やその表現方法を理解し、デジタル化されたテキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの作成・編集や保管ができる。	情報の特性や効果的な表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの効果的な活用方法や工夫について説明するマニュアルを作成できた。	情報の特性や表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの重要なポイントを明確にして説明できた。	情報の特性や表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータを活用できた。	情報とは何かを説明でき、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータを利用できた。	デジタル化されたデータの取り扱いをコンピューターで扱うことができなかった。
定形化されたフォームの文書を想定し、図表を取り入れた、論理的で説得力のある文章、レポート、ビジネス書類を作成できる。	問題、課題の特性や主張点を明確にして、その作成目的に対応する論理を構成して文章や図表を配置し、論点が明確で説得力のある文書で、ワードで作成することができた。	問題、課題の特性や主張点を明確にして、その作成目的に対応する論理を構成して文章や図表を配置し、形式的に美しい文書を、ワードで作成することができた。	問題、課題の特性を理解し、論理を構成して文章や図表を配置し、形式を整えた文書で、ワードで作成することができた。	文章や図表を配置した、定型的な文書を、ワードで作成することができた。	文章や図表を配置した、定型的な文書を、ワードで作成することができなかった。
マスメディアやインターネット上の情報コミュニケーション手段について、その特性や社会的役割・影響を理解した上で正しく利用できる。	マスメディアやインターネット上の情報コミュニケーション手段について、種類、特性、影響力や利用上の注意点を説明するマニュアルを作成できた。	マスメディアやインターネット上の情報コミュニケーション手段について、種類、特性、影響力や利用上の注意点を説明できた。	マスメディアやインターネット上の情報コミュニケーション手段について、種類、特性、影響力や利用上の注意点を理解した上で利用できた。	マスメディアやインターネット上の情報コミュニケーション手段について、利用上の注意点を理解した上で利用できた。	マスメディアやインターネット上の情報コミュニケーション手段について、利用上の注意点を理解できなかった。
マスメディアやインターネット上で発信された情報の意図と真偽を見極め、価値を客観的に見極めた上で情報を有効に活用できる。	マスメディアやインターネット上の情報について、出所と信憑性を評価した上で意味を解釈し、情報を責任を持って有効活用するためのメディアリテラシーマニュアルを作成できた。	マスメディアやインターネット上の情報について、出所と信憑性を評価した上で意味を解釈し、情報を責任を持って有効活用することができた。	マスメディアやインターネット上の情報について、出所と信憑性を評価した上で意味を解釈し、情報を責任を持って有効活用することができた。	マスメディアやインターネット上の情報について、出所と信憑性を評価した上で利用することができた。	マスメディアやインターネット上の情報について、出所と信憑性を評価した上で利用することの重要を理解できなかった。
デジタル化された情報をインターネットによって発信することの可能性やリスク、著作権、個人情報保護、プライバシー等の保護の重要性について資料を作成できている。	情報通信社会の発展とリスク、デジタル化された情報の著作権や個人情報、プライバシー等の保護の重要性について資料を作成できた。	情報通信社会の発展とリスク、デジタル化された情報の著作権や個人情報、プライバシー等の保護の重要性について説明できた。	情報通信社会の発展とリスク、デジタル化された情報の著作権や個人情報、プライバシー等の保護の重要性について理解できた。	デジタル化された情報の著作権や個人情報、プライバシー等の保護の重要性について理解できた。	デジタル化された情報の著作権や個人情報、プライバシー等の保護について理解ができなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	社会福祉学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	情報基礎演習 (S- (科目ナンバリング: SOF041018))				
授業担当者(所属・職名)	近澤 潤(経営学科・専任講師)	研究室所在	1号館2階(近澤)		
単位数	1 (単位認定責任者: 近澤 潤)		CAP制		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容 民間企業での実務経験を活かし、実社会に必要なPC操作技術について、実際の事例を交えて解説・教授する。			

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	【オリエンテーション】 シラバス説明、実習機種の取り扱いに関する注意、PCアカウント設定、スキルチェック	シラバスの確認 プリント保管用ファイルの準備(45分)	配布資料の復習(45分)
2	【メディアリテラシー】 インターネット利用上のマナーと注意点(コミュニケーション、SNS利用、スマートフォン)	インターネットの利用方法について、調べ、まとめ あぐ(45分)	インターネット利用上のマナーと注意の復習 (45分)
3	【メディアリテラシー】 知的財産権と正しい利用法、ネット検索とデマ、誤情報や詐欺情報、マルウェア、個人情報、詐欺	知的財産権とは何か調べる(45分)	知的財産権の復習(45分)
4	【文書処理(基礎)】 ワードの基本操作(キーボードショートカット)、Lesson1・2(短文練習:文字・英字入力)	文字、英字入力について調べる(45分)	Lesson1・2 授業課題の復習(45分)
5	【文書処理(基礎)】 Lesson3・4(長文練習:日本語入力)	日本語入力について調べる(45分)	Lesson3・4 授業課題の復習(45分)
6	【文書処理(応用)】 グループワーク インターネットを使用して情報を収集し、メディアリテラシーに関するテーマについてレポートをグ	レポートの作り方について調べる(45分)	レポートの作り方についてまとめる(45分)
7	【文書処理(基礎)】 Lesson5(会議案内文書:字配置と装飾)	字配列・装飾について調べる(45分)	授業課題Lesson5の復習(45分)
8	【文書処理(基礎)】 Lesson6・7(議事録・報告書:インデント)	インデントについて調べる(45分)	授業課題Lesson6・7の復習(45分)
9	【文書処理(応用)】 グループワーク これまでの文書処理に関する基礎知識・操作をもとに、会議報告書をグループで作成する	授業課題Lesson1-7の復習(45分)	グループワーク課題を1人で取り組む(45分)
10	【文書処理(基礎)】 Lesson8(業務書:タブ・表組)	タブについて調べる(45分)	授業課題Lesson8の復習(45分)
11	【文書処理(基礎)】 Lesson9(見積書:タブ・表組)	表組について調べる(45分)	授業課題Lesson9の復習(45分)
12	【文書処理(基礎)】 Lesson10(セミナー案内)	授業課題Lesson8-10の復習(45分)	授業課題Lesson10の復習(45分)
13	【文書処理(基礎)】 画像や表・グラフを用いたビジュアルを重視した文書の作成	画像の挿入方法について調べる(45分)	画像やグラフの操作方法の復習(45分)
14	【文書処理(応用)】 グループワーク これまでの文書処理に関する基礎知識・操作をもとに、イベント案内文書をグループで作成する	授業課題Lesson1-10の復習(45分)	グループワーク課題を1人で取り組む(45分)
15	【文書処理(総合演習)】 グループワーク 応用的な課題について、前半:個人作成、後半:グループにて答え合わせ	授業課題Lesson1-10の復習(45分)	間違えた箇所を重点的に復習(45分)
16	定期試験(60分) 解説(30分)	授業課題Lesson1-10の復習(45分)	総復習(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	デザイン学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	情報基礎演習 (D- (科目ナンバリング: S0F041018))				
授業担当者(所属・職名)	由水 伸(経営学科・教授)・近澤 潤(経営学科・専任講師)		研究室所在	1号館2階(由水)・1号館2階(近澤)	
単位数	1 (単位認定責任者: 近澤 潤)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	民間企業での実務経験を活かし、実社会に必要なPC操作技術について、実際の事例を交えて解説・教授する。		

概要

履修目標
インターネットの基本を理解し、セキュリティやマナーに配慮した利用法を学ぶ。インターネットやマスコミから得られる情報について鵜呑みにせず、真偽確認をして、正しく理解する。インターネット上のコンテンツについて知的財産権に配慮しつつ、効果的な利用法を学ぶ。コンピューターを使ったデータ処理(文書処理)について訓練を積み、総合的な対応力を養う。

授業の位置づけ
デザイン学科のDP「1(1)」、「2(1)」に対応する。

到達目標
インターネット上のマナーを理解して各種のネットワーク上のサービスを利用できる。コンピューターを使って定型文書・レポートが作成できる。

授業全体の内容と概要
インターネット上の各種サービスの利用方法と注意事項を学ぶ。コンピューターによる文書処理(ワープロ)の基本技術を実習を通して学ぶ。

授業の方法
前半は、大学の情報システムの説明とインターネット利用時のセキュリティやマナー、知的財産権保護の学習を講義と実習を交えて行う。後半は、ワードを利用した文書作成の演習(個人・グループワーク)を行う。なお、グループワークを行う際には、第1回授業で実施するスキルチェックの結果を踏まえ、グループを編成する。

アクティブラーニングの実施方法							
	プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業
○	ディスカッション	○	実験・実習・実技	○	双方向授業		その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項
14回目に全課題の確認を行うので必ず保存しておくこと。作成した課題には合格印が押されているので、出席及び課題成果の原本となる。単位が認定されるまではファイルに閉じて各自保持しておくこと。自分で所有するノートPCを持ち込んで受講しても構わないが、授業に必要な設定は予め済ませておくこと(オリエンテーションにて説明)。

資格指定科目
教職課程(全教科)必修科目

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な最低出席回数は、13回以上。また、30分以上の遅刻は欠席と見なす。S評価は原則として全出席者に限る。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
50%	0%	50%	0%	0%	0%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあたるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
情報を持つ特性やその表現方法を理解し、デジタル化されたテキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの作成・編集や保管ができる。	情報の特性や効果的な表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの効果的な活用方法や工夫について説明するマニュアルを作成できた。	情報の特性や表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの重要なポイントを明確にして説明できた。	情報の特性や表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータを活用できた。	情報とは何かを説明でき、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータを利用できた。	デジタル化されたデータの取り扱いをコンピューターで扱うことができなかった。
定形化されたフォームの文書を想定し、図表を取り入れた、論理的で説得力のある文章、レポート、ビジネス書類を作成できる。	問題、課題の特性や主張点を明確にして、その作成目的に対応する論理を構成して文章や図表を配置し、論点が明確で説得力のある文書で、ワードで作成することができた。	問題、課題の特性や主張点を明確にして、その作成目的に対応する論理を構成して文章や図表を配置し、形式的に美しい文書を、ワードで作成することができた。	文章や図表を配置した、定型的な文書を、ワードで作成することができた。	文章や図表を配置した、定型的な文書を、ワードで作成することができなかった。	
マスメディアやインターネット上の情報コミュニケーション手段について、その特性や社会的役割・影響を理解した上で正しく利用できる。	マスメディアやインターネット上の情報コミュニケーション手段について、種類、特性、影響力や利用上の注意点を説明するマニュアルを作成できた。	マスメディアやインターネット上の情報コミュニケーション手段について、種類、特性、影響力や利用上の注意点を説明できた。	マスメディアやインターネット上の情報コミュニケーション手段について、種類、特性、影響力や利用上の注意点を理解した上で利用できた。	マスメディアやインターネット上の情報コミュニケーション手段について、利用上の注意点を理解できなかった。	
マスメディアやインターネット上で発信された情報の意図と真偽を見極め、価値を客観的に見極めた上で情報を有効に活用できる。	マスメディアやインターネット上の情報について、出所と信憑性を評価した上で意味を解釈し、情報を責任を持って有効活用するためのメディアリテラシーマニュアルを作成できた。	マスメディアやインターネット上の情報について、出所と信憑性を評価した上で意味を解釈し、情報を責任を持って有効活用することができた。	マスメディアやインターネット上の情報について、出所と信憑性を評価した上で利用することができた。	マスメディアやインターネット上の情報について、出所と信憑性を評価した上で利用することの重要を理解できなかった。	
デジタル化された情報をインターネットによって発信することの可能性やリスク、著作権、個人情報保護、プライバシー等の保護の重要性について資料を作成できている。	情報通信社会の発展とリスク、デジタル化された情報の著作権や個人情報保護、プライバシー等の保護の重要性について資料を作成できた。	情報通信社会の発展とリスク、デジタル化された情報の著作権や個人情報保護、プライバシー等の保護の重要性について説明できた。	情報通信社会の発展とリスク、デジタル化された情報の著作権や個人情報保護、プライバシー等の保護の重要性について理解できた。	デジタル化された情報の著作権や個人情報保護、プライバシー等の保護について理解できなかった。	

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	デザイン学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	情報基礎演習 (D- (科目ナンバリング: SOF041018))				
授業担当者(所属・職名)	由水 伸(経営学科・教授)・近澤 潤(経営学科・専任講師)		研究室所在	1号館2階(由水)・1号館2階(近澤)	
単位数	1 (単位認定責任者: 近澤 潤)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容 民間企業での実務経験を活かし、実社会に必要なPC操作技術について、実際の事例を交えて解説・教授する。			

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	[オリエンテーション] シラバス説明、実習機種の取り扱いに関する注意、PCアカウント設定、スキルチェック	シラバスの確認 プリント保管用ファイルの準備(45分)	配布資料の復習(45分)
2	[メディアリテラシー] インターネット利用上のマナーと注意点(コミュニケーション、SNS利用、スマートフォン)	インターネットの利用方法について、調べ、まとめ(45分)	インターネット利用上のマナーと注意点の復習(45分)
3	[メディアリテラシー] 知的財産権と正しい利用法、ネット検索とデマ、誤情報や詐欺情報、マルウェア、個人情報、詐欺	知的財産権とは何か調べる(45分)	知的財産権の復習(45分)
4	[文書処理(基礎)] ワードの基本操作(キーボードショートカット)、Lesson1・2(短文練習:文字・英字入力)	文字、英字入力について調べる(45分)	Lesson1・2 授業課題の復習(45分)
5	[文書処理(基礎)] Lesson3・4(長文練習:日本語入力)	日本語入力について調べる(45分)	Lesson3・4 授業課題の復習(45分)
6	[文書処理(応用)] グループワーク インターネットを使用して情報を収集し、メディアリテラシーに関するテーマについてレポートをグループで作成する	レポートの作り方について調べる(45分)	レポートの作り方についてまとめる(45分)
7	[文書処理(基礎)] Lesson5(会議案内文書:字配置と装飾)	字配列・装飾について調べる(45分)	授業課題Lesson5の復習(45分)
8	[文書処理(基礎)] Lesson6・7(議事録・報告書:インデント)	インデントについて調べる(45分)	授業課題Lesson6・7の復習(45分)
9	[文書処理(応用)] グループワーク これまでの文書処理に関する基礎知識・操作をもとに、会議報告書をグループで作成する	授業課題Lesson1-7の復習(45分)	グループワーク課題を1人で取り組む(45分)
10	[文書処理(基礎)] Lesson8(業務書:タブ・表組)	タブについて調べる(45分)	授業課題Lesson8の復習(45分)
11	[文書処理(基礎)] Lesson9(見積書:タブ・表組)	表組について調べる(45分)	授業課題Lesson9の復習(45分)
12	[文書処理(基礎)] Lesson10(セミナー案内)	授業課題Lesson8-10の復習(45分)	授業課題Lesson10の復習(45分)
13	[文書処理(基礎)] 画像や表・グラフを用いたビジュアルを重視した文書の作成	画像の挿入方法について調べる(45分)	画像やグラフの操作方法の復習(45分)
14	[文書処理(応用)] グループワーク これまでの文書処理に関する基礎知識・操作をもとに、イベント案内文書をグループで作成する	授業課題Lesson1-10の復習(45分)	グループワーク課題を1人で取り組む(45分)
15	[文書処理(総合演習)] グループワーク 応用的な課題について、前半:個人作成、後半:グループにて答え合わせ	授業課題Lesson1-10の復習(45分)	間違えた箇所を重点的に復習(45分)
16	定期試験(60分) 解説(30分)	授業課題Lesson1-10の復習(45分)	総復習(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	建築学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	情報基礎演習 (A- (科目ナンバリング:))				
授業担当者(所属・職名)	由水 伸(経営学科・教授)・近澤 潤(経営学科・専任講師)・向井 正伸		研究室所在	1号館2階(由水)・1号館2階(近澤)・2号館7階(向)	
単位数	(単位認定責任者: 近澤 潤)		CAP制		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	民間企業での実務経験を活かし、実社会に必要なPC操作技術について、実際の事例を交えて解説・教授する。		

概要

履修目標
インターネットの基本を理解し、セキュリティやマナーに配慮した利用法を学ぶ。インターネットやマスコミから得られる情報について鵜呑みにせず、真偽確認をして、正しく理解する。インターネット上のコンテンツについて知的財産権に配慮しつつ、効果的な利用法を学ぶ。コンピューターを使ったデータ処理(文書処理)について訓練を積み、総合的な対応力を養う。

授業の位置づけ
建築学科のDP「1(2)」、「2(5)」に対応する。

到達目標
インターネット上のマナーを理解して各種のネットワーク上のサービスを利用できる。コンピューターを使って定型文書・レポートが作成できる。

授業全体の内容と概要
インターネット上の各種サービスの利用方法と注意事項を学ぶ。コンピューターによる文書処理(ワープロ)の基本技術を実習を通して学ぶ。

授業の方法
前半は、大学の情報システムの説明とインターネット利用時のセキュリティやマナー、知的財産権保護の学習を講義と実習を交えて行う。後半は、ワードを利用した文書作成の演習(個人・グループワーク)を行う。なお、グループワークを行う際には、第1回授業で実施するスキルチェックの結果を踏まえ、グループを編成する。

アクティブラーニングの実施方法						
	プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク	PBL
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習	反転授業
○	ディスカッション	○	実験・実習・実技	○	双方向授業	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項
14回目に全課題の確認を行うので必ず保存しておくこと。作成した課題には合格印が押されているので、出席及び課題成果の原本となる。単位が認定されるまではファイルに閉じて各自保持しておくこと。自分で所有するノートPCを持ち込んで受講しても構わないが、授業に必要な設定は予め済ませておくこと(オリエンテーションにて説明)。

資格指定科目
教職課程(全教科)必修科目

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な最低出席回数は、13回以上。また、30分以上の遅刻は欠席と見なす。S評価は原則として全出席者に限る。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
50%	0%	50%	0%	0%	0%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあたるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
情報を持つ特性やその表現方法を理解し、デジタル化されたテキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの作成・編集や保管ができる。	情報の特性や効果的な表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの効果的な活用方法や工夫について説明するマニュアルを作成できた。	情報の特性や表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの重要なポイントを明確にして説明できた。	情報の特性や表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータを活用できた。	情報とは何かを説明でき、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータを利用できた。	デジタル化されたデータの取り扱いをコンピューターで扱うことができなかった。
定形化されたフォームの文書を想定し、図表を取り入れた、論理的で説得力のある文章、レポート、ビジネス書類を作成できる。	問題、課題の特性や主張点を明確にして、その作成目的に対応する論理を構成して文章や図表を配置し、論点が明確で説得力のある文書を、ワードで作成することができた。	問題、課題の特性や主張点を明確にして、その作成目的に対応する論理を構成して文章や図表を配置し、形式的に美しい文書を、ワードで作成することができた。	問題、課題の特性を理解し、論理を構成して文章や図表を配置し、形式を整えた文書を、ワードで作成することができた。	文章や図表を配置した、定型的な文書を、ワードで作成することができた。	文章や図表を配置した、定型的な文書を、ワードで作成することができなかった。
マスメディアやインターネット上の情報コミュニケーション手段について、その特性や社会的役割・影響を理解した上で正しく利用できる。	マスメディアやインターネット上の情報コミュニケーション手段について、種類、特性、影響力や利用上の注意点を説明するマニュアルを作成できた。	マスメディアやインターネット上の情報コミュニケーション手段について、種類、特性、影響力や利用上の注意点を説明できた。	マスメディアやインターネット上の情報コミュニケーション手段について、種類、特性、影響力や利用上の注意点を理解した上で利用できた。	マスメディアやインターネット上の情報コミュニケーション手段について、利用上の注意点を理解した上で利用できた。	マスメディアやインターネット上の情報コミュニケーション手段について、利用上の注意点を理解できなかった。
マスメディアやインターネット上で発信された情報の意図と真偽を見極め、価値を客観的に見極めた上で情報を有効に活用できる。	マスメディアやインターネット上の情報について、出所と信憑性を評価した上で意味を解釈し、情報を責任を持って有効活用するためのメディアリテラシーマニュアルを作成できた。	マスメディアやインターネット上の情報について、出所と信憑性を評価した上で意味を解釈し、情報を責任を持って有効活用することができた。	マスメディアやインターネット上の情報について、出所と信憑性を評価した上で意味を解釈し、情報を責任を持って有効活用することができた。	マスメディアやインターネット上の情報について、出所と信憑性を評価した上で利用することができた。	マスメディアやインターネット上の情報について、出所と信憑性を評価した上で利用することの重要を理解できなかった。
デジタル化された情報をインターネットによって発信することの可能性やリスク、著作権、個人情報保護、プライバシー等の保護の重要性について資料を作成できている。	情報通信社会の発展とリスク、デジタル化された情報の著作権や個人情報、プライバシー等の保護の重要性について資料を作成できた。	情報通信社会の発展とリスク、デジタル化された情報の著作権や個人情報、プライバシー等の保護の重要性について説明できた。	情報通信社会の発展とリスク、デジタル化された情報の著作権や個人情報、プライバシー等の保護の重要性について理解できた。	デジタル化された情報の著作権や個人情報、プライバシー等の保護の重要性について理解できた。	デジタル化された情報の著作権や個人情報、プライバシー等の保護について理解ができなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	建築学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	情報基礎演習 (A- (科目ナンバリング:))				
授業担当者(所属・職名)	由水 伸(経営学科・教授)・近澤 潤(経営学科・専任講師)・向井 正伸	研究室所在	1号館2階(由水)・1号館2階(近澤)・2号館7階(向)		
単位数	(単位認定責任者: 近澤 潤)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	民間企業での実務経験を活かし、実社会に必要なPC操作技術について、実際の事例を交えて解説・教授する。		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	[オリエンテーション] シラバス説明、実習機種の取り扱いに関する注意、PCアカウント設定、スキルチェック	シラバスの確認 プリント保管用ファイルの準備(45分)	配布資料の復習(45分)
2	[メディアリテラシー] インターネット利用上のマナーと注意点(コミュニケーション、SNS利用、スマートフォン)	インターネットの利用方法について、調べ、まとめ(45分)	インターネット利用上のマナーと注意の復習(45分)
3	[メディアリテラシー] 知的財産権と正しい利用法、ネット検索とデマ、誤情報や詐欺情報、マルウェア、個人情報、詐欺	知的財産権とは何か調べる(45分)	知的財産権の復習(45分)
4	[文書処理(基礎)] ワードの基本操作(キーボードショートカット)、Lesson1・2(短文練習:文字・英字入力)	文字、英字入力について調べる(45分)	Lesson1・2 授業課題の復習(45分)
5	[文書処理(基礎)] Lesson3・4(長文練習:日本語入力)	日本語入力について調べる(45分)	Lesson3・4 授業課題の復習(45分)
6	[文書処理(応用)] グループワーク インターネットを使用して情報を収集し、メディアリテラシーに関するテーマについてレポートをグループで作成する	レポートの作り方について調べる(45分)	レポートの作り方についてまとめる(45分)
7	[文書処理(基礎)] Lesson5(会議案内文書:字配置と装飾)	字配列・装飾について調べる(45分)	授業課題Lesson5の復習(45分)
8	[文書処理(基礎)] Lesson6・7(議事録・報告書:インデント)	インデントについて調べる(45分)	授業課題Lesson6・7の復習(45分)
9	[文書処理(応用)] グループワーク これまでの文書処理に関する基礎知識・操作をもとに、会議報告書をグループで作成する	授業課題Lesson1-7の復習(45分)	グループワーク課題を1人で取り組む(45分)
10	[文書処理(基礎)] Lesson8(業務書:タブ・表組)	タブについて調べる(45分)	授業課題Lesson8の復習(45分)
11	[文書処理(基礎)] Lesson9(見積書:タブ・表組)	表組について調べる(45分)	授業課題Lesson9の復習(45分)
12	[文書処理(基礎)] Lesson10(セミナー案内)	授業課題Lesson8-10の復習(45分)	授業課題Lesson10の復習(45分)
13	[文書処理(基礎)] 画像や表・グラフを用いたビジュアルを重視した文書の作成	画像の挿入方法について調べる(45分)	画像やグラフの操作方法の復習(45分)
14	[文書処理(応用)] グループワーク これまでの文書処理に関する基礎知識・操作をもとに、イベント案内文書をグループで作成する	授業課題Lesson1-10の復習(45分)	グループワーク課題を1人で取り組む(45分)
15	[文書処理(総合演習)] グループワーク 応用的な課題について、前半:個人作成、後半:グループにて答え合わせ	授業課題Lesson1-10の復習(45分)	間違えた箇所を重点的に復習(45分)
16	定期試験(60分) 解説(30分)	授業課題Lesson1-10の復習(45分)	総復習(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	社会福祉学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	情報基礎演習 (S- (科目ナンバリング: S0F041018))				
授業担当者(所属・職名)	近澤 潤 (経営学科・専任講師)	研究室所在	1号館2階(近澤)		
単位数	1 (単位認定責任者: 近澤 潤)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	民間企業での実務経験を活かし、実社会に必要なPC操作技術について、実際の事例を交えて解説・教授する。		

概要

履修目標
インターネットの基本を理解し、セキュリティやマナーに配慮した利用法を学ぶ。インターネットやマスコミから得られる情報について鵜呑みにせず、真偽確認をして、正しく理解する。インターネット上のコンテンツについて知的財産権に配慮しつつ、効果的な利用法を学ぶ。コンピューターを使ったデータ処理(文書処理)について訓練を積み、総合的な対応力を養う。

授業の位置づけ
社会福祉学科のDP「1(3)」、「2(1)」に対応する。

到達目標
インターネット上のマナーを理解して各種のネットワーク上のサービスを利用できる。コンピューターを使って定型文書・レポートが作成できる。

授業全体の内容と概要
インターネット上の各種サービスの利用方法と注意事項を学ぶ。コンピューターによる文書処理(ワープロ)の基本技術を実習を通して学ぶ。

授業の方法
前半は、大学の情報システムの説明とインターネット利用時のセキュリティやマナー、知的財産権保護の学習を講義と実習を交えて行う。後半は、ワードを利用した文書作成の演習(個人・グループワーク)を行う。なお、グループワークを行う際には、第1回授業で実施するスキルチェックの結果を踏まえ、グループを編成する。

アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td>○</td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>ディスカッション</td> <td>○</td> <td>実験・実習・実技</td> <td>○</td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業	○	ディスカッション	○	実験・実習・実技	○	双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
○	ディスカッション	○	実験・実習・実技	○	双方向授業		その他(授業の方法参照)																	

履修上の注意事項
14回目に全課題の確認を行うので必ず保存しておくこと。作成した課題には合格印が押されているので、出席及び課題成果の原本となる。単位が認定されるまではファイルに閉じて各自保持しておくこと。自分で所有するノートPCを持ち込んで受講しても構わないが、授業に必要な設定は予め済ませておくこと(オリエンテーションにて説明)。

資格指定科目
教職課程(全教科)必修科目

評価方法・基準

評価前提条件												
単位認定に必要な最低出席回数は、13回以上。また、30分以上の遅刻は欠席と見なす。S評価は原則として全出席者に限る。												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>50%</td> <td>0%</td> <td>50%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	50%	0%	50%	0%	0%	0%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
50%	0%	50%	0%	0%	0%							

ルーブリック																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>情報を持つ特性やその表現方法を理解し、デジタル化されたテキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの作成・編集や保管ができる。</td> <td>情報の特性や効果的な表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの作成・編集や保管ができる。</td> <td>情報の特性や表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの重要なポイントを活用方法や工夫について説明するマニュアルを作成できた。</td> <td>情報の特性や表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータを活用できた。</td> <td>情報とは何かを説明でき、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータを利用できた。</td> <td>デジタル化されたデータの取り扱いをコンピューターで扱うことができなかった。</td> </tr> <tr> <td>定形化されたフォームの文書を想定し、図表を取り入れた、論理的で説得力のある文章、レポート、ビジネス書類を作成できる。</td> <td>問題、課題の特性や主張点を明確にして、その作成目的に対応する論理を構成して文章や図表を配置し、論点が明確で説得力のある文書で、ワードで作成することができた。</td> <td>問題、課題の特性や主張点を明確にして、その作成目的に対応する論理を構成して文章や図表を配置し、形式的に美しい文書を、ワードで作成することができた。</td> <td>問題、課題の特性を理解し、論理を構成して文章や図表を配置し、形式を整えた文書で、ワードで作成することができた。</td> <td>文章や図表を配置した、定型的な文書を、ワードで作成することができた。</td> <td>文章や図表を配置した、定型的な文書を、ワードで作成することができなかった。</td> </tr> <tr> <td>マスメディアやインターネット上の情報コミュニケーション手段について、その特性や社会的役割・影響を理解した上で正しく利用できる。</td> <td>マスメディアやインターネット上の情報コミュニケーション手段について、種類、特性、影響力や利用上の注意点を説明するマニュアルを作成できた。</td> <td>マスメディアやインターネット上の情報コミュニケーション手段について、種類、特性、影響力や利用上の注意点を説明できた。</td> <td>マスメディアやインターネット上の情報コミュニケーション手段について、種類、特性、影響力や利用上の注意点を理解した上で利用できた。</td> <td>マスメディアやインターネット上の情報コミュニケーション手段について、利用上の注意点を理解した上で利用できた。</td> <td>マスメディアやインターネット上の情報コミュニケーション手段について、利用上の注意点を理解できなかった。</td> </tr> <tr> <td>マスメディアやインターネット上で発信された情報の意図と真偽を見極め、価値を客観的に見極めた上で情報を有効に活用できる。</td> <td>マスメディアやインターネット上の情報について、出所と信頼性を評価した上で意味を解釈し、情報を責任を持って有効活用するためのメディアリテラシーマニュアルを作成できた。</td> <td>マスメディアやインターネット上の情報について、出所と信頼性を評価した上で意味を解釈し、情報を責任を持って有効活用するためのメディアリテラシーについて説明できた。</td> <td>マスメディアやインターネット上の情報について、出所と信頼性を評価した上で意味を解釈し、情報を責任を持って有効活用することができた。</td> <td>マスメディアやインターネット上の情報について、出所と信頼性を評価した上で利用することができた。</td> <td>マスメディアやインターネット上の情報について、出所と信頼性を評価した上で利用することの重要を理解できなかった。</td> </tr> <tr> <td>デジタル化された情報をインターネットによって発信することの可能性やリスク、著作権、個人情報保護、プライバシー等の保護の重要性について資料を作成できている。</td> <td>情報通信社会の発展とリスク、デジタル化された情報の著作権や個人情報、プライバシー等の保護の重要性について資料を作成できた。</td> <td>情報通信社会の発展とリスク、デジタル化された情報の著作権や個人情報、プライバシー等の保護の重要性について説明できた。</td> <td>情報通信社会の発展とリスク、デジタル化された情報の著作権や個人情報、プライバシー等の保護の重要性について理解できた。</td> <td>デジタル化された情報の著作権や個人情報、プライバシー等の保護の重要性について理解できた。</td> <td>デジタル化された情報の著作権や個人情報、プライバシー等の保護について理解ができなかった。</td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	情報を持つ特性やその表現方法を理解し、デジタル化されたテキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの作成・編集や保管ができる。	情報の特性や効果的な表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの作成・編集や保管ができる。	情報の特性や表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの重要なポイントを活用方法や工夫について説明するマニュアルを作成できた。	情報の特性や表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータを活用できた。	情報とは何かを説明でき、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータを利用できた。	デジタル化されたデータの取り扱いをコンピューターで扱うことができなかった。	定形化されたフォームの文書を想定し、図表を取り入れた、論理的で説得力のある文章、レポート、ビジネス書類を作成できる。	問題、課題の特性や主張点を明確にして、その作成目的に対応する論理を構成して文章や図表を配置し、論点が明確で説得力のある文書で、ワードで作成することができた。	問題、課題の特性や主張点を明確にして、その作成目的に対応する論理を構成して文章や図表を配置し、形式的に美しい文書を、ワードで作成することができた。	問題、課題の特性を理解し、論理を構成して文章や図表を配置し、形式を整えた文書で、ワードで作成することができた。	文章や図表を配置した、定型的な文書を、ワードで作成することができた。	文章や図表を配置した、定型的な文書を、ワードで作成することができなかった。	マスメディアやインターネット上の情報コミュニケーション手段について、その特性や社会的役割・影響を理解した上で正しく利用できる。	マスメディアやインターネット上の情報コミュニケーション手段について、種類、特性、影響力や利用上の注意点を説明するマニュアルを作成できた。	マスメディアやインターネット上の情報コミュニケーション手段について、種類、特性、影響力や利用上の注意点を説明できた。	マスメディアやインターネット上の情報コミュニケーション手段について、種類、特性、影響力や利用上の注意点を理解した上で利用できた。	マスメディアやインターネット上の情報コミュニケーション手段について、利用上の注意点を理解した上で利用できた。	マスメディアやインターネット上の情報コミュニケーション手段について、利用上の注意点を理解できなかった。	マスメディアやインターネット上で発信された情報の意図と真偽を見極め、価値を客観的に見極めた上で情報を有効に活用できる。	マスメディアやインターネット上の情報について、出所と信頼性を評価した上で意味を解釈し、情報を責任を持って有効活用するためのメディアリテラシーマニュアルを作成できた。	マスメディアやインターネット上の情報について、出所と信頼性を評価した上で意味を解釈し、情報を責任を持って有効活用するためのメディアリテラシーについて説明できた。	マスメディアやインターネット上の情報について、出所と信頼性を評価した上で意味を解釈し、情報を責任を持って有効活用することができた。	マスメディアやインターネット上の情報について、出所と信頼性を評価した上で利用することができた。	マスメディアやインターネット上の情報について、出所と信頼性を評価した上で利用することの重要を理解できなかった。	デジタル化された情報をインターネットによって発信することの可能性やリスク、著作権、個人情報保護、プライバシー等の保護の重要性について資料を作成できている。	情報通信社会の発展とリスク、デジタル化された情報の著作権や個人情報、プライバシー等の保護の重要性について資料を作成できた。	情報通信社会の発展とリスク、デジタル化された情報の著作権や個人情報、プライバシー等の保護の重要性について説明できた。	情報通信社会の発展とリスク、デジタル化された情報の著作権や個人情報、プライバシー等の保護の重要性について理解できた。	デジタル化された情報の著作権や個人情報、プライバシー等の保護の重要性について理解できた。	デジタル化された情報の著作権や個人情報、プライバシー等の保護について理解ができなかった。
評価項目		評価基準																																							
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
情報を持つ特性やその表現方法を理解し、デジタル化されたテキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの作成・編集や保管ができる。	情報の特性や効果的な表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの作成・編集や保管ができる。	情報の特性や表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの重要なポイントを活用方法や工夫について説明するマニュアルを作成できた。	情報の特性や表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータを活用できた。	情報とは何かを説明でき、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータを利用できた。	デジタル化されたデータの取り扱いをコンピューターで扱うことができなかった。																																				
定形化されたフォームの文書を想定し、図表を取り入れた、論理的で説得力のある文章、レポート、ビジネス書類を作成できる。	問題、課題の特性や主張点を明確にして、その作成目的に対応する論理を構成して文章や図表を配置し、論点が明確で説得力のある文書で、ワードで作成することができた。	問題、課題の特性や主張点を明確にして、その作成目的に対応する論理を構成して文章や図表を配置し、形式的に美しい文書を、ワードで作成することができた。	問題、課題の特性を理解し、論理を構成して文章や図表を配置し、形式を整えた文書で、ワードで作成することができた。	文章や図表を配置した、定型的な文書を、ワードで作成することができた。	文章や図表を配置した、定型的な文書を、ワードで作成することができなかった。																																				
マスメディアやインターネット上の情報コミュニケーション手段について、その特性や社会的役割・影響を理解した上で正しく利用できる。	マスメディアやインターネット上の情報コミュニケーション手段について、種類、特性、影響力や利用上の注意点を説明するマニュアルを作成できた。	マスメディアやインターネット上の情報コミュニケーション手段について、種類、特性、影響力や利用上の注意点を説明できた。	マスメディアやインターネット上の情報コミュニケーション手段について、種類、特性、影響力や利用上の注意点を理解した上で利用できた。	マスメディアやインターネット上の情報コミュニケーション手段について、利用上の注意点を理解した上で利用できた。	マスメディアやインターネット上の情報コミュニケーション手段について、利用上の注意点を理解できなかった。																																				
マスメディアやインターネット上で発信された情報の意図と真偽を見極め、価値を客観的に見極めた上で情報を有効に活用できる。	マスメディアやインターネット上の情報について、出所と信頼性を評価した上で意味を解釈し、情報を責任を持って有効活用するためのメディアリテラシーマニュアルを作成できた。	マスメディアやインターネット上の情報について、出所と信頼性を評価した上で意味を解釈し、情報を責任を持って有効活用するためのメディアリテラシーについて説明できた。	マスメディアやインターネット上の情報について、出所と信頼性を評価した上で意味を解釈し、情報を責任を持って有効活用することができた。	マスメディアやインターネット上の情報について、出所と信頼性を評価した上で利用することができた。	マスメディアやインターネット上の情報について、出所と信頼性を評価した上で利用することの重要を理解できなかった。																																				
デジタル化された情報をインターネットによって発信することの可能性やリスク、著作権、個人情報保護、プライバシー等の保護の重要性について資料を作成できている。	情報通信社会の発展とリスク、デジタル化された情報の著作権や個人情報、プライバシー等の保護の重要性について資料を作成できた。	情報通信社会の発展とリスク、デジタル化された情報の著作権や個人情報、プライバシー等の保護の重要性について説明できた。	情報通信社会の発展とリスク、デジタル化された情報の著作権や個人情報、プライバシー等の保護の重要性について理解できた。	デジタル化された情報の著作権や個人情報、プライバシー等の保護の重要性について理解できた。	デジタル化された情報の著作権や個人情報、プライバシー等の保護について理解ができなかった。																																				

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	社会福祉学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	情報基礎演習 (S- (科目ナンバリング: SOF041018))				
授業担当者(所属・職名)	近澤 潤(経営学科・専任講師)	研究室所在	1号館2階(近澤)		
単位数	1 (単位認定責任者: 近澤 潤)		CAP制		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	民間企業での実務経験を活かし、実社会に必要なPC操作技術について、実際の事例を交えて解説・教授する。		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	【オリエンテーション】 シラバス説明、実習機種の取り扱いに関する注意、PCアカウント設定、スキルチェック	シラバスの確認 プリント保管用ファイルの準備(45分)	配布資料の復習(45分)
2	【メディアリテラシー】 インターネット利用上のマナーと注意点(コミュニケーション、SNS利用、スマートフォン)	インターネットの利用方法について、調べ、まとめ あぐ(45分)	インターネット利用上のマナーと注意の復習 (45分)
3	【メディアリテラシー】 知的財産権と正しい利用法、ネット検索とデマ、誤情報や詐欺情報、マルウェア、個人情報、詐欺	知的財産権とは何か調べる(45分)	知的財産権の復習(45分)
4	【文書処理(基礎)】 ワードの基本操作(キーボードショートカット)、Lesson1・2(短文練習:文字・英字入力)	文字、英字入力について調べる(45分)	Lesson1・2 授業課題の復習(45分)
5	【文書処理(基礎)】 Lesson3・4(長文練習:日本語入力)	日本語入力について調べる(45分)	Lesson3・4 授業課題の復習(45分)
6	【文書処理(応用)】 グループワーク インターネットを使用して情報を収集し、メディアリテラシーに関するテーマについてレポートをグ	レポートの作り方について調べる(45分)	レポートの作り方についてまとめる(45分)
7	【文書処理(基礎)】 Lesson5(会議案内文書:字配置と装飾)	字配列・装飾について調べる(45分)	授業課題Lesson5の復習(45分)
8	【文書処理(基礎)】 Lesson6・7(議事録・報告書:インデント)	インデントについて調べる(45分)	授業課題Lesson6・7の復習(45分)
9	【文書処理(応用)】 グループワーク これまでの文書処理に関する基礎知識・操作をもとに、会議報告書をグループで作成する	授業課題Lesson1-7の復習(45分)	グループワーク課題を1人で取り組む(45分)
10	【文書処理(基礎)】 Lesson8(業務書:タブ・表組)	タブについて調べる(45分)	授業課題Lesson8の復習(45分)
11	【文書処理(基礎)】 Lesson9(見積書:タブ・表組)	表組について調べる(45分)	授業課題Lesson9の復習(45分)
12	【文書処理(基礎)】 Lesson10(セミナー案内)	授業課題Lesson8-10の復習(45分)	授業課題Lesson10の復習(45分)
13	【文書処理(基礎)】 画像や表・グラフを用いたビジュアルを重視した文書の作成	画像の挿入方法について調べる(45分)	画像やグラフの操作方法の復習(45分)
14	【文書処理(応用)】 グループワーク これまでの文書処理に関する基礎知識・操作をもとに、イベント案内文書をグループで作成する	授業課題Lesson1-10の復習(45分)	グループワーク課題を1人で取り組む(45分)
15	【文書処理(総合演習)】 グループワーク 応用的な課題について、前半:個人作成、後半:グループにて答え合わせ	授業課題Lesson1-10の復習(45分)	間違えた箇所を重点的に復習(45分)
16	定期試験(60分) 解説(30分)	授業課題Lesson1-10の復習(45分)	総復習(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	デザイン学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	情報基礎演習 (D- (科目ナンバリング: S0F041018))				
授業担当者(所属・職名)	由水 伸(経営学科・教授)・近澤 潤(経営学科・専任講師)		研究室所在	1号館2階(由水)・1号館2階(近澤)	
単位数	1 (単位認定責任者: 近澤 潤)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	民間企業での実務経験を活かし、実社会に必要なPC操作技術について、実際の事例を交えて解説・教授する。		

概要

履修目標
インターネットの基本を理解し、セキュリティやマナーに配慮した利用法を学ぶ。インターネットやマスコミから得られる情報について鵜呑みにせず、真偽確認をして、正しく理解する。インターネット上のコンテンツについて知的財産権に配慮しつつ、効果的な利用法を学ぶ。コンピューターを使ったデータ処理(文書処理)について訓練を積み、総合的な対応力を養う。

授業の位置づけ
デザイン学科のDP「1(1)」、「2(1)」に対応する。

到達目標
インターネット上のマナーを理解して各種のネットワーク上のサービスを利用できる。コンピューターを使って定型文書・レポートが作成できる。

授業全体の内容と概要
インターネット上の各種サービスの利用方法と注意事項を学ぶ。コンピューターによる文書処理(ワープロ)の基本技術を実習を通して学ぶ。

授業の方法
前半は、大学の情報システムの説明とインターネット利用時のセキュリティやマナー、知的財産権保護の学習を講義と実習を交えて行う。後半は、ワードを利用した文書作成の演習(個人・グループワーク)を行う。なお、グループワークを行う際には、第1回授業で実施するスキルチェックの結果を踏まえ、グループを編成する。

アクティブラーニングの実施方法							
	プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業
○	ディスカッション	○	実験・実習・実技	○	双方向授業		その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項
14回目に全課題の確認を行うので必ず保存しておくこと。作成した課題には合格印が押されているので、出席及び課題成果の原本となる。単位が認定されるまではファイルに閉じて各自保持しておくこと。自分で所有するノートPCを持ち込んで受講しても構わないが、授業に必要な設定は予め済ませておくこと(オリエンテーションにて説明)。

資格指定科目
教職課程(全教科)必修科目

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な最低出席回数は、13回以上。また、30分以上の遅刻は欠席と見なす。S評価は原則として全出席者に限る。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
50%	0%	50%	0%	0%	0%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
情報を持つ特性やその表現方法を理解し、デジタル化されたテキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの作成・編集や保管ができる。	情報の特性や効果的な表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの効果的な活用方法や工夫について説明するマニュアルを作成できた。	情報の特性や表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの重要なポイントを明確にして説明できた。	情報の特性や表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータを活用できた。	情報とは何かを説明でき、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータを利用できた。	デジタル化されたデータの取り扱いをコンピューターで扱うことができなかった。
定形化されたフォームの文書を想定し、図表を取り入れた、論理的で説得力のある文章、レポート、ビジネス書類を作成できる。	問題、課題の特性や主張点を明確にして、その作成目的に対応する論理を構成して文書や図表を配置し、論点が明確で説得力のある文書を、ワードで作成することができた。	問題、課題の特性や主張点を明確にして、その作成目的に対応する論理を構成して文書や図表を配置し、形式的に美しい文書を、ワードで作成することができた。	文章や図表を配置した、定型的な文書を、ワードで作成することができた。	文章や図表を配置した、定型的な文書を、ワードで作成することができなかった。	
マスメディアやインターネット上の情報コミュニケーション手段について、その特性や社会的役割・影響を理解した上で正しく利用できる。	マスメディアやインターネット上の情報コミュニケーション手段について、種類、特性、影響力や利用上の注意点を説明するマニュアルを作成できた。	マスメディアやインターネット上の情報コミュニケーション手段について、種類、特性、影響力や利用上の注意点を説明できた。	マスメディアやインターネット上の情報コミュニケーション手段について、種類、特性、影響力や利用上の注意点を理解した上で利用できた。	マスメディアやインターネット上の情報コミュニケーション手段について、利用上の注意点を理解できなかった。	
マスメディアやインターネット上で発信された情報の意図と真偽を見極め、価値を客観的に見極めた上で情報を有効に活用できる。	マスメディアやインターネット上の情報について、出所と信憑性を評価した上で意味を解釈し、情報を責任を持って有効活用するためのメディアリテラシーマニュアルを作成できた。	マスメディアやインターネット上の情報について、出所と信憑性を評価した上で意味を解釈し、情報を責任を持って有効活用することができた。	マスメディアやインターネット上の情報について、出所と信憑性を評価した上で利用することができた。	マスメディアやインターネット上の情報について、出所と信憑性を評価した上で利用することの重要を理解できなかった。	
デジタル化された情報をインターネットによって発信することの可能性やリスク、著作権、個人情報保護、プライバシー等の保護の重要性について資料を作成できている。	情報通信社会の発展とリスク、デジタル化された情報の著作権や個人情報、プライバシー等の保護の重要性について資料を作成できた。	情報通信社会の発展とリスク、デジタル化された情報の著作権や個人情報、プライバシー等の保護の重要性について説明できた。	情報通信社会の発展とリスク、デジタル化された情報の著作権や個人情報、プライバシー等の保護の重要性について理解できた。	デジタル化された情報の著作権や個人情報、プライバシー等の保護について理解できなかった。	

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	デザイン学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	情報基礎演習 (D- (科目ナンバリング: SOF041018))				
授業担当者(所属・職名)	由水 伸(経営学科・教授)・近澤 潤(経営学科・専任講師)		研究室所在	1号館2階(由水)・1号館2階(近澤)	
単位数	1 (単位認定責任者: 近澤 潤)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容 民間企業での実務経験を活かし、実社会に必要なPC操作技術について、実際の事例を交えて解説・教授する。			

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	[オリエンテーション] シラバス説明、実習機種の取り扱いに関する注意、PCアカウント設定、スキルチェック	シラバスの確認 プリント保管用ファイルの準備(45分)	配布資料の復習(45分)
2	[メディアリテラシー] インターネット利用上のマナーと注意点(コミュニケーション、SNS利用、スマートフォン)	インターネットの利用方法について、調べ、まとめ(45分)	インターネット利用上のマナーと注意点の復習(45分)
3	[メディアリテラシー] 知的財産権と正しい利用法、ネット検索とデマ、誤情報や詐欺情報、マルウェア、個人情報、詐欺	知的財産権とは何か調べる(45分)	知的財産権の復習(45分)
4	[文書処理(基礎)] ワードの基本操作(キーボードショートカット)、Lesson1・2(短文練習:文字・英字入力)	文字、英字入力について調べる(45分)	Lesson1・2 授業課題の復習(45分)
5	[文書処理(基礎)] Lesson3・4(長文練習:日本語入力)	日本語入力について調べる(45分)	Lesson3・4 授業課題の復習(45分)
6	[文書処理(応用)] グループワーク インターネットを使用して情報を収集し、メディアリテラシーに関するテーマについてレポートをグループで作成する	レポートの作り方について調べる(45分)	レポートの作り方についてまとめる(45分)
7	[文書処理(基礎)] Lesson5(会議案内文書:字配置と装飾)	字配列・装飾について調べる(45分)	授業課題Lesson5の復習(45分)
8	[文書処理(基礎)] Lesson6・7(議事録・報告書:インデント)	インデントについて調べる(45分)	授業課題Lesson6・7の復習(45分)
9	[文書処理(応用)] グループワーク これまでの文書処理に関する基礎知識・操作をもとに、会議報告書をグループで作成する	授業課題Lesson1-7の復習(45分)	グループワーク課題を1人で取り組む(45分)
10	[文書処理(基礎)] Lesson8(表組:タブ・表組)	タブについて調べる(45分)	授業課題Lesson8の復習(45分)
11	[文書処理(基礎)] Lesson9(見直し:タブ・表組)	表組について調べる(45分)	授業課題Lesson9の復習(45分)
12	[文書処理(基礎)] Lesson10(セミナー案内)	授業課題Lesson8-10の復習(45分)	授業課題Lesson10の復習(45分)
13	[文書処理(基礎)] 画像や表・グラフを用いたビジュアルを重視した文書の作成	画像の挿入方法について調べる(45分)	画像やグラフの操作方法の復習(45分)
14	[文書処理(応用)] グループワーク これまでの文書処理に関する基礎知識・操作をもとに、イベント案内文書をグループで作成する	授業課題Lesson1-10の復習(45分)	グループワーク課題を1人で取り組む(45分)
15	[文書処理(総合演習)] グループワーク 応用的な課題について、前半:個人作成、後半:グループにて答え合わせ	授業課題Lesson1-10の復習(45分)	間違えた箇所を重点的に復習(45分)
16	定期試験(60分) 解説(30分)	授業課題Lesson1-10の復習(45分)	総復習(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目		対象学科・配当	経営学科・1年		
開講時期	後期		授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	情報基礎演習 (M- (科目ナンバリング: S0F041019))					
授業担当者(所属・職名)	由水 伸(経営学科・教授)・近澤 潤(経営学科・専任講師)		研究室所在	1号館2階(由水)・1号館2階(近澤)		
単位数	1 (単位認定責任者: 由水 伸)		CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	企業での情報システム開発の経験を持つ教員が、その実務経験を活かして実社会に必要な知識を交えて講義を行う。			

概要

履修目標	データ処理をコンピューター(表計算ソフト)で行い、文字・数値データを扱うための総合的な力を養う。プレゼンテーションツールの利用により、視覚に訴える効果的な発表方法を学ぶ。 ・エクセルを使ったデータ処理技術を修得する。 ・パワーポイントを使ったプレゼンテーション技術を修得する。							
授業の位置づけ	経営学科のDP「1(1)」、「1(2)」、「2(1)」に対応する。							
到達目標	コンピューターを使って、表組みされた書類の数値計算や文字列操作、グラフ作成ができる。レポートなどの内容をコンピューターのプレゼンテーションツールを利用して発表することができる。							
授業全体の内容と概要	表計算ソフト(エクセル)を使った数値計算、データ管理、分析等を課題作成を通して学ぶ。プレゼンテーションではスライド作成ソフト(パワーポイント)の利用方法、発表手法を講義と実技を通して学ぶ。							
授業の方法	前半は、プレゼンテーションの概要や方法について解説した後、提示したテーマについてパワーポイントを用いたプレゼンテーションを行う(グループワーク)。後半は、エクセルを使用した表データの取り扱いについて、演習(個人・グループワーク)を行う。なお、グループワークを行う際には、第1回授業で実施するスキルチェックの結果を踏まえ、グループを編成する。							
アクティブラーニングの実施方法	<input type="checkbox"/>	プレゼンテーション	<input type="checkbox"/>	グループワーク	<input type="checkbox"/>	フィールドワーク	<input type="checkbox"/>	PBL
	<input type="checkbox"/>	模擬授業	<input type="checkbox"/>	ロールプレイ	<input type="checkbox"/>	調査学習	<input type="checkbox"/>	反転授業
	<input type="checkbox"/>	ディスカッション	<input type="checkbox"/>	実験・実習・実技	<input type="checkbox"/>	双方向授業	<input type="checkbox"/>	その他(授業の方法参照)
履修上の注意事項	14回目に全課題の確認を行うので必ず保存しておくこと。作成した課題には合格印が押されているので、出席及び課題成果の原本となる。単位が認定されるまではファイルに閉じて各自保持しておくこと。百分で所有するノートPCを持ち込んで受講しても構わないが、授業に必要な設定は予め済ませておくこと(オリエンテーションにて説明)。							
資格指定科目	教職課程(全教科)必修科目							

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な最低出席回数は、13回以上。また、30分以上の遅刻は欠席と見なす。S評価は原則として全回出席者に限る。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
50%	0%	50%	0%	0%	0%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
情報を持つ特性やその表現方法を理解し、デジタル化されたテキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの作成・編集や保管ができる。	情報の特性や効果的な表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの効果的な活用方法や工夫について説明するマニュアルを作成できた。	情報の特性や表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの重要なポイントを明確にして説明できた。	情報の特性や表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータを活用できた。	情報とは何かを説明でき、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータを利用できた。	デジタル化されたデータの取り扱いをコンピューターで扱うことができなかった。
課題解決のために必要な情報を収集し、論理的に構成し、資料を添えて一定期間内に発表する	課題についての調査、発表物の論理的構成、資料提示が十分されており、一定期間内で発表が行えたほか、他者への指導もできた。	課題についての調査、発表物の論理的構成、資料提示が十分されており、一定期間内に発表が行えた。	課題についての調査、発表物の論理的構成、資料提示がされており、一定期間内に発表が行えた。	課題についての調査、発表物の論理的構成、資料提示がされており、発表も行えた。	課題についての調査、発表物の論理的構成、資料提示の全てが不十分であり、発表もうまくできなかった。
コミュニケーションの本質を理解し、チームでの効果的なプレゼンテーションができる。	多人数の前で、聞き手のニーズに対応した説得力のあるプレゼンテーションができた。	多人数の前で、聞き手のニーズに対応したプレゼンテーションができた。	多人数の前で、堂々とプレゼンテーションを行えた。	多人数の前で、プレゼンテーションを行えた。	多人数の前でのプレゼンテーションができなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	経営学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	情報基礎演習 (M- (科目ナンバリング: SOF041019))				
授業担当者(所属・職名)	由水 伸(経営学科・教授)・近澤 潤(経営学科・専任講師)		研究室所在	1号館2階(由水)・1号館2階(近澤)	
単位数	1 (単位認定責任者: 由水 伸)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容を企業での情報システム開発の経験を持つ教員が、その実務経験を活かして実社会に必要な知識を交えて講義を行う。			

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	【オリエンテーション・プレゼンテーション(基礎)】 シラバス説明、スキルチェック、プレゼンテーション	シラバスの確認 プリント保管用ファイルの準備(45分)	配布資料の復習(45分)
2	【プレゼンテーション(基礎)】 基本知識・操作	パワーポイントの概要について調べる(45分)	基礎知識・操作の復習(45分)
3	【プレゼンテーション(基礎)】 基本知識・操作	パワーポイントの活用方法について調べる(45分)	基礎知識・操作の復習(45分)
4	【プレゼンテーション(応用)】 グループワーク 提示したテーマについてプレゼンテーションを行う	これまでの情報をノートにまとめる(45分)	グループで話し合った内容をまとめる(45分)
5	【プレゼンテーション(応用)】 グループワーク 提示したテーマについてプレゼンテーションを行う	必要な情報を収集し、まとめる(45分)	グループで話し合った内容をまとめる(45分)
6	【プレゼンテーション発表会・講評】 各グループで全体に対しプレゼンテーションを行う	プレゼンテーションの準備をする(45分)	グループの良い点・改善点をまとめる(45分)
7	【表計算(基礎)】 Lesson1(簡単な表:文字、数値の配置、表の罫線、複写と移動、ファイルの保存)	エクセルの概要について調べる(45分)	授業課題Lesson1の復習(45分)
8	【表計算(基礎)】 Lesson2(実用的な表:計算式と関数、セルの幅と高さの変更)	計算式と関数について調べる(45分)	授業課題Lesson2・3の復習(45分)
9	【表計算(応用)】 グループワーク Lesson4(売上一覧表:%表示、複雑な罫線)	%表示と罫線の設定方法について調べる(45分)	授業課題Lesson4・5の復習(45分)
10	【表計算(基礎)】 Lesson6(縦棒グラフ)・Lesson7(円グラフ)	グラフの作成方法について調べる(45分)	授業課題Lesson6・7の復習(45分)
11	【表計算(基礎)】 Lesson8(成績処理:セルの結合) Lesson9(文字列関数:文字列の操作)	文字列関数について調べる(45分)	授業課題Lesson8・9の復習(45分)
12	【表計算(基礎)】 Lesson10(成績判定:IF関数) その他関数	IF関数について調べる(45分)	学んだ関数の復習(45分)
13	【Excelマクロ入門】 マクロの記録と実行	マクロについて調べる(45分)	マクロの活用方法について考える(45分)
14	【表計算(応用)】 グループワーク これまでの文書処理に関する基礎知識・操作をもとに、イベント案内文書をグループで作成する	授業課題Lesson1~10の復習(45分)	グループワーク課題を1人で取り組む(45分)
15	【表計算(総合演習)】 グループワーク 応用的な課題について、前半:個人作成、後半:グループにて答え合わせ	授業課題Lesson1~10の復習(45分)	間違えた箇所を重点的に復習(45分)
16	定期試験(60分)解説(30分)	授業課題Lesson1~10の復習(45分)	総復習(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目		対象学科・配当	経営学科・1年		
開講時期	後期		授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	情報基礎演習 (M- (科目ナンバリング: S0F041019))					
授業担当者(所属・職名)	由水 伸(経営学科・教授)・近澤 潤(経営学科・専任講師)		研究室所在	1号館2階(由水)・1号館2階(近澤)		
単位数	1 (単位認定責任者: 由水 伸)		CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	企業での情報システム開発の経験を持つ教員が、その実務経験を活かして実社会に必要な知識を交えて講義を行う。			

概要

履修目標	データ処理をコンピューター(表計算ソフト)で行い、文字・数値データを扱うための総合的な力を養う。プレゼンテーションツールの利用により、視覚に訴える効果的な発表方法を学ぶ。 ・エクセルを使ったデータ処理技術を修得する。 ・パワーポイントを使ったプレゼンテーション技術を修得する。							
授業の位置づけ	経営学科のDP「1(1)」、「2(1)」、「2(1)」に対応する。							
到達目標	コンピューターを使って、表組みされた書類の数値計算や文字列操作、グラフ作成ができる。レポートなどの内容をコンピューターのプレゼンテーションツールを利用して発表することができる。							
授業全体の内容と概要	表計算ソフト(エクセル)を使った数値計算、データ管理、分析等を課題作成を通して学ぶ。プレゼンテーションではスライド作成ソフト(パワーポイント)の利用方法、発表手法を講義と実技を通して学ぶ。							
授業の方法	前半は、プレゼンテーションの概要や方法について解説した後、提示したテーマについてパワーポイントを用いたプレゼンテーションを行う(グループワーク)。後半は、エクセルを使用した表データの取り扱いについて、演習(個人・グループワーク)を行う。なお、グループワークを行う際には、第1回授業で実施するスキルチェックの結果を踏まえ、グループを編成する。							
アクティブラーニングの実施方法	<input type="checkbox"/>	プレゼンテーション	<input type="checkbox"/>	グループワーク	<input type="checkbox"/>	フィールドワーク	<input type="checkbox"/>	PBL
	<input type="checkbox"/>	模擬授業	<input type="checkbox"/>	ロールプレイ	<input type="checkbox"/>	調査学習	<input type="checkbox"/>	反転授業
	<input type="checkbox"/>	ディスカッション	<input type="checkbox"/>	実験・実習・実技	<input type="checkbox"/>	双方向授業	<input type="checkbox"/>	その他(授業の方法参照)
履修上の注意事項	14回目に全課題の確認を行うので必ず保存しておくこと。作成した課題には合格印が押されているので、出席及び課題成果の原本となる。単位が認定されるまではファイルに閉じて各自保持しておくこと。百分で所有するノートPCを持ち込んで受講しても構わないが、授業に必要な設定は予め済ませておくこと(オリエンテーションにて説明)。							
資格指定科目	教職課程(全教科)必修科目							

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な最低出席回数は、13回以上。また、30分以上の遅刻は欠席と見なす。5評価は原則として全回出席者に限る。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
50%	0%	50%	0%	0%	0%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
情報を持つ特性やその表現方法を理解し、デジタル化されたテキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの作成・編集や保管ができる。	情報の特性や効果的な表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの効果的な活用方法や工夫について説明するマニュアルを作成できた。	情報の特性や表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの重要なポイントを明確にして説明できた。	情報の特性や表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータを活用できた。	情報とは何かを説明でき、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータを利用できた。	デジタル化されたデータの取り扱いをコンピューターで扱うことができなかった。
課題解決のために必要な情報を収集し、論理的に構成し、資料を添えて一定期間内に発表する	課題についての調査、発表物の論理的構成、資料提示が十分されており、一定期間内で発表が行えたほか、他者への指導もできた。	課題についての調査、発表物の論理的構成、資料提示が十分されており、一定期間内に発表が行えた。	課題についての調査、発表物の論理的構成、資料提示がされており、一定期間内に発表が行えた。	課題についての調査、発表物の論理的構成、資料提示がされており、発表も行えた。	課題についての調査、発表物の論理的構成、資料提示の全てが不十分であり、発表もうまくできなかった。
コミュニケーションの本質を理解し、チームでの効果的なプレゼンテーションができる。	多人数の前で、聞き手のニーズに対応した説得力のあるプレゼンテーションができた。	多人数の前で、聞き手のニーズに対応したプレゼンテーションができた。	多人数の前で、堂々とプレゼンテーションを行えた。	多人数の前で、プレゼンテーションを行えた。	多人数の前でのプレゼンテーションができなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	経営学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	情報基礎演習 (M- (科目ナンバリング: SOF041019))				
授業担当者(所属・職名)	由水 伸(経営学科・教授)・近澤 潤(経営学科・専任講師)		研究室所在	1号館2階(由水)・1号館2階(近澤)	
単位数	1 (単位認定責任者: 由水 伸)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容を企業での情報システム開発の経験を持つ教員が、その実務経験を活かして実社会に必要な知識を交えて講義を行う。			

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	【オリエンテーション・プレゼンテーション(基礎)】 シラバス説明、スキルチェック、プレゼンテーション	シラバスの確認 プリント保管用ファイルの準備(45分)	配布資料の復習(45分)
2	【プレゼンテーション(基礎)】 基本知識・操作	パワーポイントの概要について調べる(45分)	基礎知識・操作の復習(45分)
3	【プレゼンテーション(基礎)】 基本知識・操作	パワーポイントの活用方法について調べる(45分)	基礎知識・操作の復習(45分)
4	【プレゼンテーション(応用)】 グループワーク 提示したテーマについてプレゼンテーションを行う	これまでの情報をノートにまとめる(45分)	グループで話し合った内容をまとめる(45分)
5	【プレゼンテーション(応用)】 グループワーク 提示したテーマについてプレゼンテーションを行う	必要な情報を収集し、まとめる(45分)	グループで話し合った内容をまとめる(45分)
6	【プレゼンテーション発表会・講評】 各グループで全体に対しプレゼンテーションを行う	プレゼンテーションの準備をする(45分)	グループの良い点・改善点をまとめる(45分)
7	【表計算(基礎)】 Lesson1(簡単な表:文字、数値の配置、表の罫線、複写と移動、ファイルの保存)	エクセルの概要について調べる(45分)	授業課題Lesson1の復習(45分)
8	【表計算(基礎)】 Lesson2(実用的な表:計算式と関数、セルの幅と高さの変更)	計算式と関数について調べる(45分)	授業課題Lesson2・3の復習(45分)
9	【表計算(応用)】 グループワーク Lesson4(売上一覧表:%表示、複雑な罫線)	%表示と罫線の設定方法について調べる(45分)	授業課題Lesson4・5の復習(45分)
10	【表計算(基礎)】 Lesson6(縦棒グラフ)・Lesson7(円グラフ)	グラフの作成方法について調べる(45分)	授業課題Lesson6・7の復習(45分)
11	【表計算(基礎)】 Lesson8(成績処理:セルの結合)・Lesson9(文字列関数:文字列の操作)	文字列関数について調べる(45分)	授業課題Lesson8・9の復習(45分)
12	【表計算(基礎)】 Lesson10(成績判定:IF関数) その他関数	IF関数について調べる(45分)	学んだ関数の復習(45分)
13	【Excelマクロ入門】 マクロの記録と実行	マクロについて調べる(45分)	マクロの活用方法について考える(45分)
14	【表計算(応用)】 グループワーク これまでの文書処理に関する基礎知識・操作をもとに、イベント案内文書をグループで作成する	授業課題Lesson1~10の復習(45分)	グループワーク課題を1人で取り組む(45分)
15	【表計算(総合演習)】 グループワーク 応用的な課題について、前半:個人作成、後半:グループにて答え合わせ	授業課題Lesson1~10の復習(45分)	間違えた箇所を重点的に復習(45分)
16	定期試験(60分)解説(30分)	授業課題Lesson1~10の復習(45分)	総復習(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	経営学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	情報基礎演習 (M- (科目ナンバリング: S0F041019))				
授業担当者(所属・職名)	由水 伸 (経営学科・教授)・近澤 潤 (経営学科・専任講師)	研究室所在	1号館2階(由水)・1号館2階(近澤)		
単位数	1 (単位認定責任者: 由水 伸)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	企業での情報システム開発の経験を持つ教員が、その実務経験を活かして実社会に必要な知識を交えて講義を行う。		

概要

履修目標

データ処理をコンピューター(表計算ソフト)で行い、文字・数値データを扱うための総合的な力を養う。プレゼンテーションツールの利用により、視覚に訴える効果的な発表方法を学ぶ。
 ・エクセルを使ったデータ処理技術を修得する。
 ・パワーポイントを使ったプレゼンテーション技術を修得する。

授業の位置づけ

経営学科のDP「1(1)」、「2(1)」、「2(1)」に対応する。

到達目標

コンピューターを使って、表組みされた書類の数値計算や文字列操作、グラフ作成ができる。レポートなどの内容をコンピューターのプレゼンテーションツールを利用して発表することができる。

授業全体の内容と概要

表計算ソフト(エクセル)を使った数値計算、データ管理、分析等を課題作成を通して学ぶ。プレゼンテーションではスライド作成ソフト(パワーポイント)の利用方法、発表手法を講義と実技を通して学ぶ。

授業の方法

前半は、プレゼンテーションの概要や方法について解説した後、提示したテーマについてパワーポイントを用いたプレゼンテーションを行う(グループワーク)。後半は、エクセルを使用した表データの取り扱いについて、演習(個人・グループワーク)を行う。なお、グループワークを行う際には、第1回授業で実施するスキルチェックの結果を踏まえ、グループを編成する。

アクティブラーニングの実施方法

<input type="checkbox"/>	プレゼンテーション	<input type="checkbox"/>	グループワーク	<input type="checkbox"/>	フィールドワーク	<input type="checkbox"/>	PBL
<input type="checkbox"/>	模擬授業	<input type="checkbox"/>	ロールプレイ	<input type="checkbox"/>	調査学習	<input type="checkbox"/>	反転授業
<input type="checkbox"/>	ディスカッション	<input type="checkbox"/>	実験・実習・実技	<input type="checkbox"/>	双方向授業	<input type="checkbox"/>	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

14回目に全課題の確認を行うので必ず保存しておくこと。作成した課題には合格印が押されているので、出席及び課題成果の原本となる。単位が認定されるまではファイルに閉じて各自保持しておくこと。目分ですべてのノートPCを持ち込んで受講しても構わないが、授業に必要な設定は予め済ませておくこと(オリエンテーションにて説明)。

資格指定科目

教職課程(全教科)必修科目

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な最低出席回数は、13回以上。また、30分以上の遅刻は欠席と見なす。5評価は原則として全回出席者に限る。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
50%	0%	50%	0%	0%	0%

ルーブリック

評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
情報を持つ特性やその表現方法を理解し、デジタル化されたテキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの作成・編集や保管ができる。	情報の特性や効果的な表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの効果的な活用方法や工夫について説明するマニュアルを作成できた。	情報の特性や表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの重要なポイントを明確にして説明できた。	情報の特性や表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータを活用できた。	情報とは何かを説明でき、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータを利用できた。	デジタル化されたデータの取り扱いをコンピューターで扱うことができなかった。
課題解決のために必要な情報を収集し、論理的に構成し、資料を添えて一定期間内に発表する	課題についての調査、発表物の論理的構成、資料提示が十分されており、一定期間内で発表が行えたほか、他者への指導もできた。	課題についての調査、発表物の論理的構成、資料提示が十分されており、一定期間内に発表が行えた。	課題についての調査、発表物の論理的構成、資料提示がされており、一定期間内に発表が行えた。	課題についての調査、発表物の論理的構成、資料提示がされており、発表も行えた。	課題についての調査、発表物の論理的構成、資料提示の全てが不十分であり、発表もうまくできなかった。
コミュニケーションの本質を理解し、グループでの効果的なプレゼンテーションができる。	多人数の前で、聞き手のニーズに対応した説得力のあるプレゼンテーションができた。	多人数の前で、聞き手のニーズに対応したプレゼンテーションができた。	多人数の前で、堂々とプレゼンテーションを行えた。	多人数の前で、プレゼンテーションを行えた。	多人数の前でのプレゼンテーションができなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等

No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	経営学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	情報基礎演習 (M- (科目ナンバリング: SOF041019))				
授業担当者(所属・職名)	由水 伸(経営学科・教授)・近澤 潤(経営学科・専任講師)		研究室所在	1号館2階(由水)・1号館2階(近澤)	
単位数	1 (単位認定責任者: 由水 伸)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容を企業での情報システム開発の経験を持つ教員が、その実務経験を活かして実社会に必要な知識を交えて講義を行う。			

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	【オリエンテーション・プレゼンテーション(基礎)】 シラバス説明、スキルチェック、プレゼンテーション	シラバスの確認 プリント保管用ファイルの準備(45分)	配布資料の復習(45分)
2	【プレゼンテーション(基礎)】 基本知識・操作	パワーポイントの概要について調べる(45分)	基礎知識・操作の復習(45分)
3	【プレゼンテーション(基礎)】 基本知識・操作	パワーポイントの活用方法について調べる(45分)	基礎知識・操作の復習(45分)
4	【プレゼンテーション(応用)】 グループワーク 提示したテーマについてプレゼンテーションを行う	これまでの情報をノートにまとめる(45分)	グループで話し合った内容をまとめる(45分)
5	【プレゼンテーション(応用)】 グループワーク 提示したテーマについてプレゼンテーションを行う	必要な情報を収集し、まとめる(45分)	グループで話し合った内容をまとめる(45分)
6	【プレゼンテーション発表会・講評】 各グループで全体に対しプレゼンテーションを行う	プレゼンテーションの準備をする(45分)	グループの良い点・改善点をまとめる(45分)
7	【表計算(基礎)】 Lesson1(簡単な表:文字、数値の配置、表の罫線、複写と移動、ファイルの保存)	エクセルの概要について調べる(45分)	授業課題Lesson1の復習(45分)
8	【表計算(基礎)】 Lesson2(実用的な表:計算式と関数、セルの幅と高さの変更)	計算式と関数について調べる(45分)	授業課題Lesson2・3の復習(45分)
9	【表計算(応用)】 グループワーク Lesson4(売上一覧表:%表示、複雑な罫線)	%表示と罫線の設定方法について調べる(45分)	授業課題Lesson4・5の復習(45分)
10	【表計算(基礎)】 Lesson6(縦棒グラフ)・Lesson7(円グラフ)	グラフの作成方法について調べる(45分)	授業課題Lesson6・7の復習(45分)
11	【表計算(基礎)】 Lesson8(成績処理:セルの結合) Lesson9(文字列関数:文字列の操作)	文字列関数について調べる(45分)	授業課題Lesson8・9の復習(45分)
12	【表計算(基礎)】 Lesson10(成績判定:IF関数) その他関数	IF関数について調べる(45分)	学んだ関数の復習(45分)
13	【Excelマクロ入門】 マクロの記録と実行	マクロについて調べる(45分)	マクロの活用方法について考える(45分)
14	【表計算(応用)】 グループワーク これまでの文書処理に関する基礎知識・操作をもとに、イベント案内文書をグループで作成する	授業課題Lesson1~10の復習(45分)	グループワーク課題を1人で取り組む(45分)
15	【表計算(総合演習)】 グループワーク 応用的な課題について、前半:個人作成、後半:グループにて答え合わせ	授業課題Lesson1~10の復習(45分)	間違えた箇所を重点的に復習(45分)
16	定期試験(60分)解説(30分)	授業課題Lesson1~10の復習(45分)	総復習(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	経営学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	情報基礎演習 (M- (科目ナンバリング: S0F041019))				
授業担当者(所属・職名)	由水 伸 (経営学科・教授)・近澤 潤 (経営学科・専任講師)	研究室所在	1号館2階(由水)・1号館2階(近澤)		
単位数	1 (単位認定責任者: 由水 伸)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	企業での情報システム開発の経験を持つ教員が、その実務経験を活かして実社会に必要な知識を交えて講義を行う。		

概要

履修目標
データ処理をコンピューター(表計算ソフト)で行い、文字・数値データを扱うための総合的な力を養う。プレゼンテーションツールの利用により、視覚に訴える効果的な発表方法を学ぶ。 ・エクセルを使ったデータ処理技術を修得する。 ・パワーポイントを使ったプレゼンテーション技術を修得する。

授業の位置づけ
経営学科のDP「1(1)」、「2(1)」に対応する。
到達目標
コンピューターを使って、表組みされた書類の数値計算や文字列操作、グラフ作成ができる。レポートなどの内容をコンピューターのプレゼンテーションツールを利用して発表することができる。

授業全体の内容と概要
表計算ソフト(エクセル)を使った数値計算、データ管理、分析等を課題作成を通して学ぶ。プレゼンテーションではスライド作成ソフト(パワーポイント)の利用方法、発表手法を講義と実技を通して学ぶ。

授業の方法
前半は、プレゼンテーションの概要や方法について解説した後、提示したテーマについてパワーポイントを用いたプレゼンテーションを行う(グループワーク)。後半は、エクセルを使用した表データの取り扱いについて、演習(個人・グループワーク)を行う。なお、グループワークを行う際には、第1回授業で実施するスキルチェックの結果を踏まえ、グループを編成する。

アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>プレゼンテーション</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>グループワーク</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>フィールドワーク</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>模擬授業</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>ロールプレイ</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>調査学習</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>ディスカッション</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>実験・実習・実技</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>双方向授業</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/>	プレゼンテーション	<input type="checkbox"/>	グループワーク	<input type="checkbox"/>	フィールドワーク	<input type="checkbox"/>	PBL	<input type="checkbox"/>	模擬授業	<input type="checkbox"/>	ロールプレイ	<input type="checkbox"/>	調査学習	<input type="checkbox"/>	反転授業	<input type="checkbox"/>	ディスカッション	<input type="checkbox"/>	実験・実習・実技	<input type="checkbox"/>	双方向授業	<input type="checkbox"/>	その他(授業の方法参照)
<input type="checkbox"/>	プレゼンテーション	<input type="checkbox"/>	グループワーク	<input type="checkbox"/>	フィールドワーク	<input type="checkbox"/>	PBL																	
<input type="checkbox"/>	模擬授業	<input type="checkbox"/>	ロールプレイ	<input type="checkbox"/>	調査学習	<input type="checkbox"/>	反転授業																	
<input type="checkbox"/>	ディスカッション	<input type="checkbox"/>	実験・実習・実技	<input type="checkbox"/>	双方向授業	<input type="checkbox"/>	その他(授業の方法参照)																	

履修上の注意事項
14回目に全課題の確認を行うので必ず保存しておくこと。作成した課題には合格印が押されているので、出席及び課題成果の原本となる。単位が認定されるまではファイルに閉じて各自保持しておくこと。百分で所有するノートPCを持ち込んで受講しても構わないが、授業に必要な設定は予め済ませておくこと(オリエンテーションにて説明)。

資格指定科目
教職課程(全教科)必修科目

評価方法・基準

評価前提条件												
単位認定に必要な最低出席回数は、13回以上。また、30分以上の遅刻は欠席と見なす。S評価は原則として全回出席者に限る。												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>50%</td> <td>0%</td> <td>50%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	50%	0%	50%	0%	0%	0%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
50%	0%	50%	0%	0%	0%							

ルーブリック																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>情報を持つ特性やその表現方法を理解し、デジタル化されたテキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの作成・編集や保管ができる。</td> <td>情報の特性や効果的な表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの効果的な活用方法や工夫について説明するマニュアルを作成できた。</td> <td>情報の特性や表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの重要なポイントを明確にして説明できた。</td> <td>情報の特性や表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータを活用できた。</td> <td>情報とは何かを説明でき、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータを利用できた。</td> <td>デジタル化されたデータの取り扱いをコンピューターで扱うことができなかった。</td> </tr> <tr> <td>課題解決のために必要な情報を収集し、論理的に構成し、資料を添えて一定期間内に発表する</td> <td>課題についての調査、発表物の論理的構成、資料提示が十分されており、一定期間内で発表が行えたほか、他者への指導もできた。</td> <td>課題についての調査、発表物の論理的構成、資料提示が十分されており、一定期間内に発表が行えた。</td> <td>課題についての調査、発表物の論理的構成、資料提示がされており、一定期間内に発表が行えた。</td> <td>課題についての調査、発表物の論理的構成、資料提示がされており、発表も行えた。</td> <td>課題についての調査、発表物の論理的構成、資料提示の全てが不十分であり、発表もうまくできなかった。</td> </tr> <tr> <td>コミュニケーションの本質を理解し、グループでの効果的なプレゼンテーションができる。</td> <td>多人数の前で、聞き手のニーズに対応した説得力のあるプレゼンテーションができた。</td> <td>多人数の前で、聞き手のニーズに対応したプレゼンテーションができた。</td> <td>多人数の前で、堂々とプレゼンテーションを行えた。</td> <td>多人数の前で、プレゼンテーションを行えた。</td> <td>多人数の前でのプレゼンテーションができなかった。</td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	情報を持つ特性やその表現方法を理解し、デジタル化されたテキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの作成・編集や保管ができる。	情報の特性や効果的な表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの効果的な活用方法や工夫について説明するマニュアルを作成できた。	情報の特性や表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの重要なポイントを明確にして説明できた。	情報の特性や表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータを活用できた。	情報とは何かを説明でき、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータを利用できた。	デジタル化されたデータの取り扱いをコンピューターで扱うことができなかった。	課題解決のために必要な情報を収集し、論理的に構成し、資料を添えて一定期間内に発表する	課題についての調査、発表物の論理的構成、資料提示が十分されており、一定期間内で発表が行えたほか、他者への指導もできた。	課題についての調査、発表物の論理的構成、資料提示が十分されており、一定期間内に発表が行えた。	課題についての調査、発表物の論理的構成、資料提示がされており、一定期間内に発表が行えた。	課題についての調査、発表物の論理的構成、資料提示がされており、発表も行えた。	課題についての調査、発表物の論理的構成、資料提示の全てが不十分であり、発表もうまくできなかった。	コミュニケーションの本質を理解し、グループでの効果的なプレゼンテーションができる。	多人数の前で、聞き手のニーズに対応した説得力のあるプレゼンテーションができた。	多人数の前で、聞き手のニーズに対応したプレゼンテーションができた。	多人数の前で、堂々とプレゼンテーションを行えた。	多人数の前で、プレゼンテーションを行えた。	多人数の前でのプレゼンテーションができなかった。
評価項目		評価基準																											
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																								
情報を持つ特性やその表現方法を理解し、デジタル化されたテキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの作成・編集や保管ができる。	情報の特性や効果的な表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの効果的な活用方法や工夫について説明するマニュアルを作成できた。	情報の特性や表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの重要なポイントを明確にして説明できた。	情報の特性や表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータを活用できた。	情報とは何かを説明でき、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータを利用できた。	デジタル化されたデータの取り扱いをコンピューターで扱うことができなかった。																								
課題解決のために必要な情報を収集し、論理的に構成し、資料を添えて一定期間内に発表する	課題についての調査、発表物の論理的構成、資料提示が十分されており、一定期間内で発表が行えたほか、他者への指導もできた。	課題についての調査、発表物の論理的構成、資料提示が十分されており、一定期間内に発表が行えた。	課題についての調査、発表物の論理的構成、資料提示がされており、一定期間内に発表が行えた。	課題についての調査、発表物の論理的構成、資料提示がされており、発表も行えた。	課題についての調査、発表物の論理的構成、資料提示の全てが不十分であり、発表もうまくできなかった。																								
コミュニケーションの本質を理解し、グループでの効果的なプレゼンテーションができる。	多人数の前で、聞き手のニーズに対応した説得力のあるプレゼンテーションができた。	多人数の前で、聞き手のニーズに対応したプレゼンテーションができた。	多人数の前で、堂々とプレゼンテーションを行えた。	多人数の前で、プレゼンテーションを行えた。	多人数の前でのプレゼンテーションができなかった。																								

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	経営学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	情報基礎演習 (M- (科目ナンバリング: SOF041019))				
授業担当者(所属・職名)	由水 伸(経営学科・教授)・近澤 潤(経営学科・専任講師)		研究室所在	1号館2階(由水)・1号館2階(近澤)	
単位数	1 (単位認定責任者: 由水 伸)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容を企業での情報システム開発の経験を持つ教員が、その実務経験を活かして実社会に必要な知識を交えて講義を行う。			

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	【オリエンテーション・プレゼンテーション(基礎)】 シラバス説明、スキルチェック、プレゼンテーション	シラバスの確認 プリント保管用ファイルの準備(45分)	配布資料の復習(45分)
2	【プレゼンテーション(基礎)】 基本知識・操作	パワーポイントの概要について調べる(45分)	基礎知識・操作の復習(45分)
3	【プレゼンテーション(基礎)】 基本知識・操作	パワーポイントの活用方法について調べる(45分)	基礎知識・操作の復習(45分)
4	【プレゼンテーション(応用)】 グループワーク 提示したテーマについてプレゼンテーションを行う	これまでの情報をノートにまとめる(45分)	グループで話し合った内容をまとめる(45分)
5	【プレゼンテーション(応用)】 グループワーク 提示したテーマについてプレゼンテーションを行う	必要な情報を収集し、まとめる(45分)	グループで話し合った内容をまとめる(45分)
6	【プレゼンテーション発表会・講評】 各グループで全体に対しプレゼンテーションを行う	プレゼンテーションの準備をする(45分)	グループの良い点・改善点をまとめる(45分)
7	【表計算(基礎)】 Lesson1(簡単な表:文字、数値の配置、表の罫線、複写と移動、ファイルの保存)	エクセルの概要について調べる(45分)	授業課題Lesson1の復習(45分)
8	【表計算(基礎)】 Lesson2(実用的な表:計算式と関数、セルの幅と高さの変更)	計算式と関数について調べる(45分)	授業課題Lesson2・3の復習(45分)
9	【表計算(応用)】 グループワーク Lesson4(売上一覧表:%表示、複雑な罫線)	%表示と罫線の設定方法について調べる(45分)	授業課題Lesson4・5の復習(45分)
10	【表計算(基礎)】 Lesson6(縦棒グラフ)・Lesson7(円グラフ)	グラフの作成方法について調べる(45分)	授業課題Lesson6・7の復習(45分)
11	【表計算(基礎)】 Lesson8(成績処理:セルの結合)・Lesson9(文字列関数:文字列の操作)	文字列関数について調べる(45分)	授業課題Lesson8・9の復習(45分)
12	【表計算(基礎)】 Lesson10(成績判定:IF関数) その他関数	IF関数について調べる(45分)	学んだ関数の復習(45分)
13	【Excelマクロ入門】 マクロの記録と実行	マクロについて調べる(45分)	マクロの活用方法について考える(45分)
14	【表計算(応用)】 グループワーク これまでの文書処理に関する基礎知識・操作をもとに、イベント案内文書をグループで作成する	授業課題Lesson1~10の復習(45分)	グループワーク課題を1人で取り組む(45分)
15	【表計算(総合演習)】 グループワーク 応用的な課題について、前半:個人作成、後半:グループにて答え合わせ	授業課題Lesson1~10の復習(45分)	間違えた箇所を重点的に復習(45分)
16	定期試験(60分)解説(30分)	授業課題Lesson1~10の復習(45分)	総復習(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目		対象学科・配当	社会福祉学科・1年		
開講時期	後期		授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	情報基礎演習 (S- (科目ナンバリング: S0F041019))					
授業担当者(所属・職名)	近澤 潤(経営学科・専任講師)		研究室所在	1号館2階(近澤)		
単位数	1 (単位認定責任者: 近澤 潤)		CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	民間企業での実務経験を活かし、実社会に必要なPC操作技術について、実際の事例を交えて解説・教授する。			

概要

履修目標	<p>データ処理をコンピューター(表計算ソフト)で行い、文字・数値データを扱うための総合的な力を養う。プレゼンテーションツールの利用により、視覚に訴える効果的な発表方法を学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エクセルを使ったデータ処理技術を修得する。 ・パワーポイントを使ったプレゼンテーション技術を修得する。 																								
授業の位置づけ	<p>社会福祉学科のDP「1(3)」、「2(1)」に対応する。</p>																								
到達目標	<p>コンピューターを使って、表組みされた書類の数値計算や文字列操作、グラフ作成ができる。レポートなどの内容をコンピューターのプレゼンテーションツールを利用して発表することができる。</p>																								
授業全体の内容と概要	<p>表計算ソフト(エクセル)を使った数値計算、データ管理、分析等を課題作成を通して学ぶ。プレゼンテーションではスライド作成ソフト(パワーポイント)の利用方法、発表手法を講義と実技を通して学ぶ。</p>																								
授業の方法	<p>前半は、プレゼンテーションの概要や方法について解説した後、提示したテーマについてパワーポイントを用いたプレゼンテーションを行う(グループワーク)。後半は、エクセルを使用した表データの取り扱いについて、演習(個人・グループワーク)を行う。なお、グループワークを行う際には、第1回授業で実施するスキルチェックの結果を踏まえ、グループを編成する。</p>																								
アクティブラーニングの実施方法	<table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>プレゼンテーション</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>グループワーク</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>フィールドワーク</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>模擬授業</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>ロールプレイ</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>調査学習</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>ディスカッション</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>実験・実習・実技</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>双方向授業</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/>	プレゼンテーション	<input type="checkbox"/>	グループワーク	<input type="checkbox"/>	フィールドワーク	<input type="checkbox"/>	PBL	<input type="checkbox"/>	模擬授業	<input type="checkbox"/>	ロールプレイ	<input type="checkbox"/>	調査学習	<input type="checkbox"/>	反転授業	<input type="checkbox"/>	ディスカッション	<input type="checkbox"/>	実験・実習・実技	<input type="checkbox"/>	双方向授業	<input type="checkbox"/>	その他(授業の方法参照)
<input type="checkbox"/>	プレゼンテーション	<input type="checkbox"/>	グループワーク	<input type="checkbox"/>	フィールドワーク	<input type="checkbox"/>	PBL																		
<input type="checkbox"/>	模擬授業	<input type="checkbox"/>	ロールプレイ	<input type="checkbox"/>	調査学習	<input type="checkbox"/>	反転授業																		
<input type="checkbox"/>	ディスカッション	<input type="checkbox"/>	実験・実習・実技	<input type="checkbox"/>	双方向授業	<input type="checkbox"/>	その他(授業の方法参照)																		
履修上の注意事項	<p>14回目に全課題の確認を行うので必ず保存しておくこと。作成した課題には合格印が押されているので、出席及び課題成果の原本となる。単位が認定されるまではファイルに閉じて各自保持しておくこと。百分で所有するノートPCを持ち込んで受講しても構わないが、授業に必要な設定は予め済ませておくこと(オリエンテーションにて説明)。</p>																								
資格指定科目	<p>教職課程(全教科)必修科目</p>																								

評価方法・基準

評価前提条件					
<p>単位認定に必要な最低出席回数は、13回以上。また、30分以上の遅刻は欠席と見なす。S評価は原則として全回出席者に限る。</p>					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
50%	0%	50%	0%	0%	0%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
情報を持つ特性やその表現方法を理解し、デジタル化されたテキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの作成・編集や保管ができる。	情報の特性や効果的な表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの効果的な活用方法や工夫について説明するマニュアルを作成できた。	情報の特性や表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの重要なポイントを明確にして説明できた。	情報の特性や表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータを活用できた。	情報とは何かを説明でき、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータを利用できた。	デジタル化されたデータの取り扱いをコンピューターで扱うことができなかった。
課題解決のために必要な情報を収集し、論理的に構成し、資料を添えて一定期間内に発表する	課題についての調査、発表物の論理的構成、資料提示が十分されており、一定期間内で発表が行えたほか、他者への指導もできた。	課題についての調査、発表物の論理的構成、資料提示が十分されており、一定期間内に発表が行えた。	課題についての調査、発表物の論理的構成、資料提示が十分されており、一定期間内に発表が行えた。	課題についての調査、発表物の論理的構成、資料提示が十分であり、発表も行った。	課題についての調査、発表物の論理的構成、資料提示の全てが不十分であり、発表もうまくできなかった。
コミュニケーションの本質を理解し、グループでの効果的なプレゼンテーションができる。	多人数の前で、聞き手のニーズに対応した説得力のあるプレゼンテーションができた。	多人数の前で、聞き手のニーズに対応したプレゼンテーションができた。	多人数の前で、堂々とプレゼンテーションを行った。	多人数の前で、プレゼンテーションを行った。	多人数の前でのプレゼンテーションができなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	社会福祉学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	情報基礎演習 (S- (科目ナンバリング: SOF041019))				
授業担当者(所属・職名)	近澤 潤 (経営学科・専任講師)	研究室所在	1号館2階(近澤)		
単位数	1 (単位認定責任者: 近澤 潤)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	民間企業での実務経験を活かし、実社会に必要なPC操作技術について、実際の事例を交えて解説・教授する。		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	【オリエンテーション・プレゼンテーション(基礎)】 シラバス説明、スキルチェック、プレゼンテーション	シラバスの確認 プリント保管用ファイルの準備(45分)	配布資料の復習(45分)
2	【プレゼンテーション(基礎)】 基本知識・操作	パワーポイントの概要について調べる(45分)	基礎知識・操作の復習(45分)
3	【プレゼンテーション(基礎)】 基本知識・操作	パワーポイントの活用方法について調べる(45分)	基礎知識・操作の復習(45分)
4	【プレゼンテーション(応用)】 グループワーク 提示したテーマについてプレゼンテーションを行う	これまでの情報をノートにまとめる(45分)	グループで話し合った内容をまとめる(45分)
5	【プレゼンテーション(応用)】 グループワーク 提示したテーマについてプレゼンテーションを行う	必要な情報を収集し、まとめる(45分)	グループで話し合った内容をまとめる(45分)
6	【プレゼンテーション発表会・講評】 各グループで全体に対しプレゼンテーションを行う	プレゼンテーションの準備をする(45分)	グループの良い点・改善点をまとめる(45分)
7	【表計算(基礎)】 Lesson1(簡単な表:文字、数値の配置、表の罫線、複写と移動、ファイルの保存)	エクセルの概要について調べる(45分)	授業課題Lesson1の復習(45分)
8	【表計算(基礎)】 Lesson2(実用的な表:計算式と関数、セルの幅と高さの変更)	計算式と関数について調べる(45分)	授業課題Lesson2・3の復習(45分)
9	【表計算(応用)】 グループワーク Lesson4(売上一覧表:%表示、複雑な罫線)	%表示と罫線の設定方法について調べる(45分)	授業課題Lesson4・5の復習(45分)
10	【表計算(基礎)】 Lesson6(縦棒グラフ)・Lesson7(円グラフ)	グラフの作成方法について調べる(45分)	授業課題Lesson6・7の復習(45分)
11	【表計算(基礎)】 Lesson8(成績処理:セルの結合) Lesson9(文字列関数:文字列の操作)	文字列関数について調べる(45分)	授業課題Lesson8・9の復習(45分)
12	【表計算(基礎)】 Lesson10(成績判定:IF関数) その他関数	IF関数について調べる(45分)	学んだ関数の復習(45分)
13	【Excelマクロ入門】 マクロの記録と実行	マクロについて調べる(45分)	マクロの活用方法について考える(45分)
14	【表計算(応用)】 グループワーク これまでの文書処理に関する基礎知識・操作をもとに、イベント案内文書をグループで作成する	授業課題Lesson1~10の復習(45分)	グループワーク課題を1人で取り組む(45分)
15	【表計算(総合演習)】 グループワーク 応用的な課題について、前半:個人作成、後半:グループにて答え合わせ	授業課題Lesson1~10の復習(45分)	間違えた箇所を重点的に復習(45分)
16	定期試験(60分) 解説(30分)	授業課題Lesson1~10の復習(45分)	総復習(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	デザイン学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	情報基礎演習 (D- (科目ナンバリング: S0F041019))				
授業担当者(所属・職名)	由水 伸 (経営学科・教授)・近澤 潤 (経営学科・専任講師)	研究室所在	1号館2階(由水)・1号館2階(近澤)		
単位数	1 (単位認定責任者: 近澤 潤)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	民間企業での実務経験を活かし、実社会に必要なPC操作技術について、実際の事例を交えて解説・教授する。		

概要

履修目標	データ処理をコンピューター(表計算ソフト)で行い、文字・数値データを扱うための総合的な力を養う。プレゼンテーションツールの利用により、視覚に訴える効果的な発表方法を学ぶ。 ・エクセルを使ったデータ処理技術を修得する。 ・パワーポイントを使ったプレゼンテーション技術を修得する。																								
授業の位置づけ	デザイン学科のDP「1(1)」、「2(1)」に対応する。																								
到達目標	コンピューターを使って、表組みされた書類の数値計算や文字列操作、グラフ作成ができる。レポートなどの内容をコンピューターのプレゼンテーションツールを利用して発表することができる。																								
授業全体の内容と概要	表計算ソフト(エクセル)を使った数値計算、データ管理、分析等を課題作成を通して学ぶ。プレゼンテーションではスライド作成ソフト(パワーポイント)の利用方法、発表手法を講義と実技を通して学ぶ。																								
授業の方法	前半は、プレゼンテーションの概要や方法について解説した後、提示したテーマについてパワーポイントを用いたプレゼンテーションを行う(グループワーク)。後半は、エクセルを使用した表データの取り扱いについて、演習(個人・グループワーク)を行う。なお、グループワークを行う際には、第1回授業で実施するスキルチェックの結果を踏まえ、グループを編成する。																								
アクティブラーニングの実施方法	<table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>プレゼンテーション</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>グループワーク</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>フィールドワーク</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>模擬授業</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>ロールプレイ</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>調査学習</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>ディスカッション</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>実験・実習・実技</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>双方向授業</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/>	プレゼンテーション	<input type="checkbox"/>	グループワーク	<input type="checkbox"/>	フィールドワーク	<input type="checkbox"/>	PBL	<input type="checkbox"/>	模擬授業	<input type="checkbox"/>	ロールプレイ	<input type="checkbox"/>	調査学習	<input type="checkbox"/>	反転授業	<input type="checkbox"/>	ディスカッション	<input type="checkbox"/>	実験・実習・実技	<input type="checkbox"/>	双方向授業	<input type="checkbox"/>	その他(授業の方法参照)
<input type="checkbox"/>	プレゼンテーション	<input type="checkbox"/>	グループワーク	<input type="checkbox"/>	フィールドワーク	<input type="checkbox"/>	PBL																		
<input type="checkbox"/>	模擬授業	<input type="checkbox"/>	ロールプレイ	<input type="checkbox"/>	調査学習	<input type="checkbox"/>	反転授業																		
<input type="checkbox"/>	ディスカッション	<input type="checkbox"/>	実験・実習・実技	<input type="checkbox"/>	双方向授業	<input type="checkbox"/>	その他(授業の方法参照)																		
履修上の注意事項	14回目に全課題の確認を行うので必ず保存しておくこと。作成した課題には合格印が押されているので、出席及び課題成果の原本となる。単位が認定されるまではファイルに閉じて各自保持しておくこと。百分で所有するノートPCを持ち込んで受講しても構わないが、授業に必要な設定は予め済ませておくこと(オリエンテーションにて説明)。																								
資格指定科目	教職課程(全教科)必修科目																								

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な最低出席回数は、13回以上。また、30分以上の遅刻は欠席と見なす。5評価は原則として全出席者に限る。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
50%	0%	50%	0%	0%	0%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
情報を持つ特性やその表現方法を理解し、デジタル化されたテキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの作成・編集や保管ができる。	情報の特性や効果的な表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの効果的な活用方法や工夫について説明するマニュアルを作成できた。	情報の特性や表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの重要なポイントを明確にして説明できた。	情報の特性や表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータを活用できた。	情報とは何かを説明でき、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータを利用できた。	デジタル化されたデータの取り扱いをコンピューターで扱うことができなかった。
課題解決のために必要な情報を収集し、論理的に構成し、資料を添えて一定期間内に発表する	課題についての調査、発表物の論理的構成、資料提示が十分されており、一定期間内で発表が行えたほか、他者への指導もできた。	課題についての調査、発表物の論理的構成、資料提示が十分されており、一定期間内に発表が行えた。	課題についての調査、発表物の論理的構成、資料提示が十分されており、一定期間内に発表が行えた。	課題についての調査、発表物の論理的構成、資料提示が十分であり、発表も行った。	課題についての調査、発表物の論理的構成、資料提示の全てが不十分であり、発表もうまくできなかった。
コミュニケーションの本質を理解し、チームの前で効果的にプレゼンテーションができる。	多人数の前で、聞き手のニーズに対応した説得力のあるプレゼンテーションができた。	多人数の前で、聞き手のニーズに対応したプレゼンテーションができた。	多人数の前で、堂々とプレゼンテーションを行った。	多人数の前で、プレゼンテーションを行った。	多人数の前でのプレゼンテーションができなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	デザイン学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	情報基礎演習 (D- (科目ナンバリング: SOF041019))				
授業担当者(所属・職名)	由水 伸(経営学科・教授)・近澤 潤(経営学科・専任講師)		研究室所在	1号館2階(由水)・1号館2階(近澤)	
単位数	1 (単位認定責任者: 近澤 潤)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容 民間企業での実務経験を活かし、実社会で必要なPC操作技術について、実際の事例を交えて解説・教授する。			

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	【オリエンテーション・プレゼンテーション(基礎)】 シラバス説明、スキルチェック、プレゼンテーション	シラバスの確認 プリント保管用ファイルの準備(45分)	配布資料の復習(45分)
2	【プレゼンテーション(基礎)】 基本知識・操作	パワーポイントの概要について調べる(45分)	基礎知識・操作の復習(45分)
3	【プレゼンテーション(基礎)】 基本知識・操作	パワーポイントの活用方法について調べる(45分)	基礎知識・操作の復習(45分)
4	【プレゼンテーション(応用)】 グループワーク 提示したテーマについてプレゼンテーションを行う	これまでの情報をノートにまとめる(45分)	グループで話し合った内容をまとめる(45分)
5	【プレゼンテーション(応用)】 グループワーク 提示したテーマについてプレゼンテーションを行う	必要な情報を収集し、まとめる(45分)	グループで話し合った内容をまとめる(45分)
6	【プレゼンテーション発表会・講評】 各グループで全体に対しプレゼンテーションを行う	プレゼンテーションの準備をする(45分)	グループの良い点・改善点をまとめる(45分)
7	【表計算(基礎)】 Lesson1(簡単な表:文字、数値の配置、表の罫線、複写と移動、ファイルの保存)	エクセルの概要について調べる(45分)	授業課題Lesson1の復習(45分)
8	【表計算(基礎)】 Lesson2(実用的な表:計算式と関数、セルの幅と高さの変更)	計算式と関数について調べる(45分)	授業課題Lesson2・3の復習(45分)
9	【表計算(応用)】 グループワーク Lesson4(売上一覧表:%表示、複雑な罫線)	%表示と罫線の設定方法について調べる(45分)	授業課題Lesson4・5の復習(45分)
10	【表計算(基礎)】 Lesson6(縦棒グラフ)・Lesson7(円グラフ)	グラフの作成方法について調べる(45分)	授業課題Lesson6・7の復習(45分)
11	【表計算(基礎)】 Lesson8(成績処理:セルの結合) Lesson9(文字列関数:文字列の操作)	文字列関数について調べる(45分)	授業課題Lesson8・9の復習(45分)
12	【表計算(基礎)】 Lesson10(成績判定:IF関数) その他関数	IF関数について調べる(45分)	学んだ関数の復習(45分)
13	【Excelマクロ入門】 マクロの記録と実行	マクロについて調べる(45分)	マクロの活用方法について考える(45分)
14	【表計算(応用)】 グループワーク これまでの文書処理に関する基礎知識・操作をもとに、イベント案内文書をグループで作成する	授業課題Lesson1~10の復習(45分)	グループワーク課題を1人で取り組む(45分)
15	【表計算(総合演習)】 グループワーク 応用的な課題について、前半:個人作成、後半:グループにて答え合わせ	授業課題Lesson1~10の復習(45分)	間違えた箇所を重点的に復習(45分)
16	定期試験(60分)解説(30分)	授業課題Lesson1~10の復習(45分)	総復習(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目		対象学科・配当	建築学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修	
科目名称	情報基礎演習 (A- (科目ナンバリング: S0F041019))					
授業担当者(所属・職名)	由水 伸(経営学科・教授)・近澤 潤(経営学科・専任講師)・向井 正伸		研究室所在	1号館2階(由水)・1号館2階(近澤)・2号館7階(向)		
単位数	1 (単位認定責任者: 近澤 潤)	CAP制				
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	企業での情報システム開発の経験を持つ教員が、その実務経験を活かして実社会に必要な知識を交えて講義を行う。			

概要

履修目標	データ処理をコンピューター(表計算ソフト)で行い、文字・数値データを扱うための総合的な力を養う。プレゼンテーションツールの利用により、視覚に訴える効果的な発表方法を学ぶ。 ・エクセルを使ったデータ処理技術を修得する。 ・パワーポイントを使ったプレゼンテーション技術を修得する。																								
授業の位置づけ	建築学科のDP「1(2)」、「2(5)」に対応する。																								
到達目標	コンピューターを使って、表組みされた書類の数値計算や文字列操作、グラフ作成ができる。レポートなどの内容をコンピューターのプレゼンテーションツールを利用して発表することができる。																								
授業全体の内容と概要	表計算ソフト(エクセル)を使った数値計算、データ管理、分析等を課題作成を通して学ぶ。プレゼンテーションではスライド作成ソフト(パワーポイント)の利用方法、発表手法を講義と実技を通して学ぶ。																								
授業の方法	前半は、プレゼンテーションの概要や方法について解説した後、提示したテーマについてパワーポイントを用いたプレゼンテーションを行う(グループワーク)。後半は、エクセルを使用した表データの取り扱いについて、演習(個人・グループワーク)を行う。なお、グループワークを行う際には、第1回授業で実施するスキルチェックの結果を踏まえ、グループを編成する。																								
アクティブラーニングの実施方法	<table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>プレゼンテーション</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>グループワーク</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>フィールドワーク</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>模擬授業</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>ロールプレイ</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>調査学習</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>ディスカッション</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>実験・実習・実技</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>双方向授業</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/>	プレゼンテーション	<input type="checkbox"/>	グループワーク	<input type="checkbox"/>	フィールドワーク	<input type="checkbox"/>	PBL	<input type="checkbox"/>	模擬授業	<input type="checkbox"/>	ロールプレイ	<input type="checkbox"/>	調査学習	<input type="checkbox"/>	反転授業	<input type="checkbox"/>	ディスカッション	<input type="checkbox"/>	実験・実習・実技	<input type="checkbox"/>	双方向授業	<input type="checkbox"/>	その他(授業の方法参照)
<input type="checkbox"/>	プレゼンテーション	<input type="checkbox"/>	グループワーク	<input type="checkbox"/>	フィールドワーク	<input type="checkbox"/>	PBL																		
<input type="checkbox"/>	模擬授業	<input type="checkbox"/>	ロールプレイ	<input type="checkbox"/>	調査学習	<input type="checkbox"/>	反転授業																		
<input type="checkbox"/>	ディスカッション	<input type="checkbox"/>	実験・実習・実技	<input type="checkbox"/>	双方向授業	<input type="checkbox"/>	その他(授業の方法参照)																		
履修上の注意事項	14回目に全課題の確認を行うので必ず保存しておくこと。作成した課題には合格印が押されているので、出席及び課題成果の原本となる。単位が認定されるまではファイルに閉じて各自保持しておくこと。百分で所有するノートPCを持ち込んで受講しても構わないが、授業に必要な設定は予め済ませておくこと(オリエンテーションにて説明)。																								
資格指定科目	教職課程(全教科)必修科目																								

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な最低出席回数は、13回以上。また、30分以上の遅刻は欠席と見なす。5評価は原則として全出席者に限る。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
50%	0%	50%	0%	0%	0%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
情報を持つ特性やその表現方法を理解し、デジタル化されたテキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの作成・編集や保管ができる。	情報の特性や効果的な表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの効果的な活用方法や工夫について説明するマニュアルを作成できた。	情報の特性や表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの重要なポイントを明確にして説明できた。	情報の特性や表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータを活用できた。	情報とは何かを説明でき、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータを利用できた。	デジタル化されたデータの取り扱いをコンピューターで扱うことができなかった。
課題解決のために必要な情報を収集し、論理的に構成し、資料を添えて一定時間内に発表する	課題についての調査、発表物の論理的構成、資料提示が十分されており、一定時間内で発表が行えたほか、他者への指導もできた。	課題についての調査、発表物の論理的構成、資料提示が十分されており、一定時間内に発表が行えた。	課題についての調査、発表物の論理的構成、資料提示がされており、一定時間内に発表が行えた。	課題についての調査、発表物の論理的構成、資料提示がされており、発表も行えた。	課題についての調査、発表物の論理的構成、資料提示の全てが不十分であり、発表もうまくできなかった。
コミュニケーションの本質を理解し、グループでの効果的なプレゼンテーションができる。	多人数の前で、聞き手のニーズに対応した説得力のあるプレゼンテーションができた。	多人数の前で、聞き手のニーズに対応したプレゼンテーションができた。	多人数の前で、堂々とプレゼンテーションを行えた。	多人数の前で、プレゼンテーションを行えた。	多人数の前でのプレゼンテーションができなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	建築学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	情報基礎演習 (A- (科目ナンバリング: SOF041019))				
授業担当者(所属・職名)	由水 伸(経営学科・教授)・近澤 潤(経営学科・専任講師)・向井 正伸		研究室所在	1号館2階(由水)・1号館2階(近澤)・2号館7階(向)	
単位数	1 (単位認定責任者: 近澤 潤)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	企業での情報システム開発の経験を持つ教員が、その実務経験を活かして実社会に必要な知識を交えて講義を行う。		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	【オリエンテーション・プレゼンテーション(基礎)】 シラバス説明、スキルチェック、プレゼンテーション	シラバスの確認 プリント保管用ファイルの準備(45分)	配布資料の復習(45分)
2	【プレゼンテーション(基礎)】 基本知識・操作	パワーポイントの概要について調べる(45分)	基礎知識・操作の復習(45分)
3	【プレゼンテーション(基礎)】 基本知識・操作	パワーポイントの活用方法について調べる(45分)	基礎知識・操作の復習(45分)
4	【プレゼンテーション(応用)】 グループワーク 提示したテーマについてプレゼンテーションを行う	これまでの情報をノートにまとめる(45分)	グループで話し合った内容をまとめる(45分)
5	【プレゼンテーション(応用)】 グループワーク 提示したテーマについてプレゼンテーションを行う	必要な情報を収集し、まとめる(45分)	グループで話し合った内容をまとめる(45分)
6	【プレゼンテーション発表会・講評】 各グループで全体に対しプレゼンテーションを行う	プレゼンテーションの準備をする(45分)	グループの良い点・改善点をまとめる(45分)
7	【表計算(基礎)】 Lesson1(簡単な表:文字、数値の配置、表の罫線、複写と移動、ファイルの保存)	エクセルの概要について調べる(45分)	授業課題Lesson1の復習(45分)
8	【表計算(基礎)】 Lesson2(実用的な表:計算式と関数、セルの幅と高さの変更)	計算式と関数について調べる(45分)	授業課題Lesson2・3の復習(45分)
9	【表計算(応用)】 グループワーク Lesson4(売上一覧表:%表示、複雑な罫線)	%表示と罫線の設定方法について調べる(45分)	授業課題Lesson4・5の復習(45分)
10	【表計算(基礎)】 Lesson6(縦棒グラフ)・Lesson7(円グラフ)	グラフの作成方法について調べる(45分)	授業課題Lesson6・7の復習(45分)
11	【表計算(基礎)】 Lesson8(成績処理:セルの結合) Lesson9(文字列関数:文字列の操作)	文字列関数について調べる(45分)	授業課題Lesson8・9の復習(45分)
12	【表計算(基礎)】 Lesson10(成績判定:IF関数) その他関数	IF関数について調べる(45分)	学んだ関数の復習(45分)
13	【Excelマクロ入門】 マクロの記録と実行	マクロについて調べる(45分)	マクロの活用方法について考える(45分)
14	【表計算(応用)】 グループワーク これまでの文書処理に関する基礎知識・操作をもとに、イベント案内文書をグループで作成する	授業課題Lesson1~10の復習(45分)	グループワーク課題を1人で取り組む(45分)
15	【表計算(総合演習)】 グループワーク 応用的な課題について、前半:個人作成、後半:グループにて答え合わせ	授業課題Lesson1~10の復習(45分)	間違えた箇所を重点的に復習(45分)
16	定期試験(60分) 解説(30分)	授業課題Lesson1~10の復習(45分)	総復習(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目		対象学科・配当	社会福祉学科・1年		
開講時期	後期		授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	情報基礎演習 (S- (科目ナンバリング: S0F041019))					
授業担当者(所属・職名)	近澤 潤 (経営学科・専任講師)		研究室所在	1号館2階(近澤)		
単位数	1 (単位認定責任者: 近澤 潤)		CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	民間企業での実務経験を活かし、実社会に必要なPC操作技術について、実際の事例を交えて解説・教授する。			

概要

履修目標
<p>データ処理をコンピューター(表計算ソフト)で行い、文字・数値データを扱うための総合的な力を養う。プレゼンテーションツールの利用により、視覚に訴える効果的な発表方法を学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エクセルを使ったデータ処理技術を修得する。 ・パワーポイントを使ったプレゼンテーション技術を修得する。

授業の位置づけ
社会福祉学科のDP「1(3)」、「2(1)」に対応する。

到達目標
<p>コンピューターを使って、表組みされた書類の数値計算や文字列操作、グラフ作成ができる。レポートなどの内容をコンピューターのプレゼンテーションツールを利用して発表することができる。</p>

授業全体の内容と概要
<p>表計算ソフト(エクセル)を使った数値計算、データ管理、分析等を課題作成を通して学ぶ。プレゼンテーションではスライド作成ソフト(パワーポイント)の利用方法、発表手法を講義と実技を通して学ぶ。</p>

授業の方法
<p>前半は、プレゼンテーションの概要や方法について解説した後、提示したテーマについてパワーポイントを用いたプレゼンテーションを行う(グループワーク)。後半は、エクセルを使用した表データの取り扱いについて、演習(個人・グループワーク)を行う。なお、グループワークを行う際には、第1回授業で実施するスキルチェックの結果を踏まえ、グループを編成する。</p>

アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>プレゼンテーション</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>グループワーク</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>フィールドワーク</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>模擬授業</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>ロールプレイ</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>調査学習</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>ディスカッション</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>実験・実習・実技</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>双方向授業</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/>	プレゼンテーション	<input type="checkbox"/>	グループワーク	<input type="checkbox"/>	フィールドワーク	<input type="checkbox"/>	PBL	<input type="checkbox"/>	模擬授業	<input type="checkbox"/>	ロールプレイ	<input type="checkbox"/>	調査学習	<input type="checkbox"/>	反転授業	<input type="checkbox"/>	ディスカッション	<input type="checkbox"/>	実験・実習・実技	<input type="checkbox"/>	双方向授業	<input type="checkbox"/>	その他(授業の方法参照)
<input type="checkbox"/>	プレゼンテーション	<input type="checkbox"/>	グループワーク	<input type="checkbox"/>	フィールドワーク	<input type="checkbox"/>	PBL																	
<input type="checkbox"/>	模擬授業	<input type="checkbox"/>	ロールプレイ	<input type="checkbox"/>	調査学習	<input type="checkbox"/>	反転授業																	
<input type="checkbox"/>	ディスカッション	<input type="checkbox"/>	実験・実習・実技	<input type="checkbox"/>	双方向授業	<input type="checkbox"/>	その他(授業の方法参照)																	

履修上の注意事項
<p>14回目に全課題の確認を行うので必ず保存しておくこと。作成した課題には合格印が押されているので、出席及び課題成果の原本となる。単位が認定されるまではファイルに閉じて各自保持しておくこと。百分で所有するノートPCを持ち込んで受講しても構わないが、授業に必要な設定は予め済ませておくこと(オリエンテーションにて説明)。</p>

資格指定科目
教職課程(全教科)必修科目

評価方法・基準

評価前提条件												
<p>単位認定に必要な最低出席回数は、13回以上。また、30分以上の遅刻は欠席と見なす。S評価は原則として全回出席者に限る。</p>												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>50%</td> <td>0%</td> <td>50%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	50%	0%	50%	0%	0%	0%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
50%	0%	50%	0%	0%	0%							

ルーブリック																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>情報を持つ特性やその表現方法を理解し、デジタル化されたテキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの作成・編集や保管ができる。</td> <td>情報の特性や効果的な表現方法を理解し、デジタル化されたテキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの活用方法や工夫について説明するマニュアルを作成できた。</td> <td>情報の特性や表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの重要なポイントを明確にして説明できた。</td> <td>情報の特性や表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータを活用できた。</td> <td>情報とは何かを説明でき、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータを利用できた。</td> <td>デジタル化されたデータの取り扱いをコンピューターで扱うことができなかった。</td> </tr> <tr> <td>課題解決のために必要な情報を収集し、論理的に構成し、資料を添えて一定期間内に発表する</td> <td>課題についての調査、発表物の論理的構成、資料提示が十分されており、一定期間内で発表が行えたほか、他者への指導もできた。</td> <td>課題についての調査、発表物の論理的構成、資料提示が十分されており、一定期間内に発表が行えた。</td> <td>課題についての調査、発表物の論理的構成、資料提示がされており、一定期間内に発表が行えた。</td> <td>課題についての調査、発表物の論理的構成、資料提示がされており、発表も行えた。</td> <td>課題についての調査、発表物の論理的構成、資料提示の全てが不十分であり、発表もうまくできなかった。</td> </tr> <tr> <td>コミュニケーションの本質を理解し、チームでの効果的なプレゼンテーションができる。</td> <td>多人数の前で、聞き手のニーズに対応した説得力のあるプレゼンテーションができた。</td> <td>多人数の前で、聞き手のニーズに対応したプレゼンテーションができた。</td> <td>多人数の前で、堂々とプレゼンテーションを行えた。</td> <td>多人数の前で、プレゼンテーションを行えた。</td> <td>多人数の前でのプレゼンテーションができなかった。</td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	情報を持つ特性やその表現方法を理解し、デジタル化されたテキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの作成・編集や保管ができる。	情報の特性や効果的な表現方法を理解し、デジタル化されたテキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの活用方法や工夫について説明するマニュアルを作成できた。	情報の特性や表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの重要なポイントを明確にして説明できた。	情報の特性や表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータを活用できた。	情報とは何かを説明でき、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータを利用できた。	デジタル化されたデータの取り扱いをコンピューターで扱うことができなかった。	課題解決のために必要な情報を収集し、論理的に構成し、資料を添えて一定期間内に発表する	課題についての調査、発表物の論理的構成、資料提示が十分されており、一定期間内で発表が行えたほか、他者への指導もできた。	課題についての調査、発表物の論理的構成、資料提示が十分されており、一定期間内に発表が行えた。	課題についての調査、発表物の論理的構成、資料提示がされており、一定期間内に発表が行えた。	課題についての調査、発表物の論理的構成、資料提示がされており、発表も行えた。	課題についての調査、発表物の論理的構成、資料提示の全てが不十分であり、発表もうまくできなかった。	コミュニケーションの本質を理解し、チームでの効果的なプレゼンテーションができる。	多人数の前で、聞き手のニーズに対応した説得力のあるプレゼンテーションができた。	多人数の前で、聞き手のニーズに対応したプレゼンテーションができた。	多人数の前で、堂々とプレゼンテーションを行えた。	多人数の前で、プレゼンテーションを行えた。	多人数の前でのプレゼンテーションができなかった。
評価項目		評価基準																											
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																								
情報を持つ特性やその表現方法を理解し、デジタル化されたテキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの作成・編集や保管ができる。	情報の特性や効果的な表現方法を理解し、デジタル化されたテキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの活用方法や工夫について説明するマニュアルを作成できた。	情報の特性や表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの重要なポイントを明確にして説明できた。	情報の特性や表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータを活用できた。	情報とは何かを説明でき、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータを利用できた。	デジタル化されたデータの取り扱いをコンピューターで扱うことができなかった。																								
課題解決のために必要な情報を収集し、論理的に構成し、資料を添えて一定期間内に発表する	課題についての調査、発表物の論理的構成、資料提示が十分されており、一定期間内で発表が行えたほか、他者への指導もできた。	課題についての調査、発表物の論理的構成、資料提示が十分されており、一定期間内に発表が行えた。	課題についての調査、発表物の論理的構成、資料提示がされており、一定期間内に発表が行えた。	課題についての調査、発表物の論理的構成、資料提示がされており、発表も行えた。	課題についての調査、発表物の論理的構成、資料提示の全てが不十分であり、発表もうまくできなかった。																								
コミュニケーションの本質を理解し、チームでの効果的なプレゼンテーションができる。	多人数の前で、聞き手のニーズに対応した説得力のあるプレゼンテーションができた。	多人数の前で、聞き手のニーズに対応したプレゼンテーションができた。	多人数の前で、堂々とプレゼンテーションを行えた。	多人数の前で、プレゼンテーションを行えた。	多人数の前でのプレゼンテーションができなかった。																								

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	社会福祉学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	情報基礎演習 (S- (科目ナンバリング: SOF041019))				
授業担当者(所属・職名)	近澤 潤 (経営学科・専任講師)	研究室所在	1号館2階(近澤)		
単位数	1 (単位認定責任者: 近澤 潤)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	民間企業での実務経験を活かし、実社会で必要なPC操作技術について、実際の事例を交えて解説・教授する。		

授業計画

各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間			
回	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	【オリエンテーション・プレゼンテーション(基礎)】 シラバス説明、スキルチェック、プレゼンテーション	シラバスの確認 プリント保管用ファイルの準備(45分)	配布資料の復習(45分)
2	【プレゼンテーション(基礎)】 基本知識・操作	パワーポイントの概要について調べる(45分)	基礎知識・操作の復習(45分)
3	【プレゼンテーション(基礎)】 基本知識・操作	パワーポイントの活用方法について調べる(45分)	基礎知識・操作の復習(45分)
4	【プレゼンテーション(応用)】 グループワーク 提示したテーマについてプレゼンテーションを行う	これまでの情報をノートにまとめる(45分)	グループで話し合った内容をまとめる(45分)
5	【プレゼンテーション(応用)】 グループワーク 提示したテーマについてプレゼンテーションを行う	必要な情報を収集し、まとめる(45分)	グループで話し合った内容をまとめる(45分)
6	【プレゼンテーション発表会・講評】 各グループで全体に対しプレゼンテーションを行う	プレゼンテーションの準備をする(45分)	グループの良い点・改善点をまとめる(45分)
7	【表計算(基礎)】 Lesson1(簡単な表:文字、数値の配置、表の罫線、複写と移動、ファイルの保存)	エクセルの概要について調べる(45分)	授業課題Lesson1の復習(45分)
8	【表計算(基礎)】 Lesson2(実用的な表:計算式と関数、セルの幅と高さの変更)	計算式と関数について調べる(45分)	授業課題Lesson2・3の復習(45分)
9	【表計算(応用)】 グループワーク Lesson4(売上一覧表:%表示、複雑な罫線)	%表示と罫線の設定方法について調べる(45分)	授業課題Lesson4・5の復習(45分)
10	【表計算(基礎)】 Lesson6(縦棒グラフ)・Lesson7(円グラフ)	グラフの作成方法について調べる(45分)	授業課題Lesson6・7の復習(45分)
11	【表計算(基礎)】 Lesson8(成績処理:セルの結合) Lesson9(文字列関数:文字列の操作)	文字列関数について調べる(45分)	授業課題Lesson8・9の復習(45分)
12	【表計算(基礎)】 Lesson10(成績判定:IF関数) その他関数	IF関数について調べる(45分)	学んだ関数の復習(45分)
13	【Excelマクロ入門】 マクロの記録と実行	マクロについて調べる(45分)	マクロの活用方法について考える(45分)
14	【表計算(応用)】 グループワーク これまでの文書処理に関する基礎知識・操作をもとに、イベント案内文書をグループで作成する	授業課題Lesson1~10の復習(45分)	グループワーク課題を1人で取り組む(45分)
15	【表計算(総合演習)】 グループワーク 応用的な課題について、前半:個人作成、後半:グループにて答え合わせ	授業課題Lesson1~10の復習(45分)	間違えた箇所を重点的に復習(45分)
16	定期試験(60分) 解説(30分)	授業課題Lesson1~10の復習(45分)	総復習(45分)

各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間			
回	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	デザイン学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	情報基礎演習 (D- (科目ナンバリング: S0F041019))				
授業担当者(所属・職名)	由水 伸 (経営学科・教授)・近澤 潤 (経営学科・専任講師)	研究室所在	1号館2階(由水)・1号館2階(近澤)		
単位数	1 (単位認定責任者: 近澤 潤)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	民間企業での実務経験を活かし、実社会に必要なPC操作技術について、実際の事例を交えて解説・教授する。		

概要

履修目標	データ処理をコンピューター(表計算ソフト)で行い、文字・数値データを扱うための総合的な力を養う。プレゼンテーションツールの利用により、視覚に訴える効果的な発表方法を学ぶ。 ・エクセルを使ったデータ処理技術を修得する。 ・パワーポイントを使ったプレゼンテーション技術を修得する。																								
授業の位置づけ	デザイン学科のDP「1(1)」、「2(1)」に対応する。																								
到達目標	コンピューターを使って、表組みされた書類の数値計算や文字列操作、グラフ作成ができる。レポートなどの内容をコンピューターのプレゼンテーションツールを利用して発表することができる。																								
授業全体の内容と概要	表計算ソフト(エクセル)を使った数値計算、データ管理、分析等を課題作成を通して学ぶ。プレゼンテーションではスライド作成ソフト(パワーポイント)の利用方法、発表手法を講義と実技を通して学ぶ。																								
授業の方法	前半は、プレゼンテーションの概要や方法について解説した後、提示したテーマについてパワーポイントを用いたプレゼンテーションを行う(グループワーク)。後半は、エクセルを使用した表データの取り扱いについて、演習(個人・グループワーク)を行う。なお、グループワークを行う際には、第1回授業で実施するスキルチェックの結果を踏まえ、グループを編成する。																								
アクティブラーニングの実施方法	<table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>プレゼンテーション</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>グループワーク</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>フィールドワーク</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>模擬授業</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>ロールプレイ</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>調査学習</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>ディスカッション</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>実験・実習・実技</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>双方向授業</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/>	プレゼンテーション	<input type="checkbox"/>	グループワーク	<input type="checkbox"/>	フィールドワーク	<input type="checkbox"/>	PBL	<input type="checkbox"/>	模擬授業	<input type="checkbox"/>	ロールプレイ	<input type="checkbox"/>	調査学習	<input type="checkbox"/>	反転授業	<input type="checkbox"/>	ディスカッション	<input type="checkbox"/>	実験・実習・実技	<input type="checkbox"/>	双方向授業	<input type="checkbox"/>	その他(授業の方法参照)
<input type="checkbox"/>	プレゼンテーション	<input type="checkbox"/>	グループワーク	<input type="checkbox"/>	フィールドワーク	<input type="checkbox"/>	PBL																		
<input type="checkbox"/>	模擬授業	<input type="checkbox"/>	ロールプレイ	<input type="checkbox"/>	調査学習	<input type="checkbox"/>	反転授業																		
<input type="checkbox"/>	ディスカッション	<input type="checkbox"/>	実験・実習・実技	<input type="checkbox"/>	双方向授業	<input type="checkbox"/>	その他(授業の方法参照)																		
履修上の注意事項	14回目に全課題の確認を行うので必ず保存しておくこと。作成した課題には合格印が押されているので、出席及び課題成果の原本となる。単位が認定されるまではファイルに閉じて各自保持しておくこと。自分で所有するノートPCを持ち込んで受講しても構わないが、授業に必要な設定は予め済ませておくこと(オリエンテーションにて説明)。																								
資格指定科目	教職課程(全教科)必修科目																								

評価方法・基準

評価前提条件	単位認定に必要な最低出席回数は、13回以上。また、30分以上の遅刻は欠席と見なす。5評価は原則として全出席者に限る。					
評価方法	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
	50%	0%	50%	0%	0%	0%

ルーブリック	評価基準				
評価項目	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
情報を持つ特性やその表現方法を理解し、デジタル化されたテキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの作成・編集や保管ができる。	情報の特性や効果的な表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの効果的な活用方法や工夫について説明するマニュアルを作成できた。	情報の特性や表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータの重要なポイントを明確にして説明できた。	情報の特性や表現方法を理解し、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータを活用できた。	情報とは何かを説明でき、テキスト、画像、動画、音声などのデジタルデータを利用できた。	デジタル化されたデータの取り扱いをコンピューターで扱うことができなかった。
課題解決のために必要な情報を収集し、論理的に構成し、資料を添えて一定期間内に発表する	課題についての調査、発表物の論理的構成、資料提示が十分されており、一定期間内で発表が行えたほか、他者への指導もできた。	課題についての調査、発表物の論理的構成、資料提示が十分されており、一定期間内に発表が行えた。	課題についての調査、発表物の論理的構成、資料提示が十分されており、一定期間内に発表が行えた。	課題についての調査、発表物の論理的構成、資料提示が十分であり、発表も行った。	課題についての調査、発表物の論理的構成、資料提示の全てが不十分であり、発表もうまくできなかった。
コミュニケーションの本質を理解し、チームの前で効果的にプレゼンテーションができる。	多人数の前で、聞き手のニーズに対応した説得力のあるプレゼンテーションができた。	多人数の前で、聞き手のニーズに対応したプレゼンテーションができた。	多人数の前で、堂々とプレゼンテーションを行った。	多人数の前で、プレゼンテーションを行った。	多人数の前でのプレゼンテーションができなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書	No 書籍名 著者 出版社 出版年 ISBN 備考					
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等

参考文献・資料等	No 書籍名 著者 出版社 出版年 ISBN 備考					
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	デザイン学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	情報基礎演習 (D- (科目ナンバリング: SOF041019))				
授業担当者(所属・職名)	由水 伸(経営学科・教授)・近澤 潤(経営学科・専任講師)		研究室所在	1号館2階(由水)・1号館2階(近澤)	
単位数	1 (単位認定責任者: 近澤 潤)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容 民間企業での実務経験を活かし、実社会に必要なPC操作技術について、実際の事例を交えて解説・教授する。			

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	【オリエンテーション・プレゼンテーション(基礎)】 シラバス説明、スキルチェック、プレゼンテーション	シラバスの確認 プリント保管用ファイルの準備(45分)	配布資料の復習(45分)
2	【プレゼンテーション(基礎)】 基本知識・操作	パワーポイントの概要について調べる(45分)	基礎知識・操作の復習(45分)
3	【プレゼンテーション(基礎)】 基本知識・操作	パワーポイントの活用方法について調べる(45分)	基礎知識・操作の復習(45分)
4	【プレゼンテーション(応用)】 グループワーク 提示したテーマについてプレゼンテーションを行う	これまでの情報をノートにまとめる(45分)	グループで話し合った内容をまとめる(45分)
5	【プレゼンテーション(応用)】 グループワーク 提示したテーマについてプレゼンテーションを行う	必要な情報を収集し、まとめる(45分)	グループで話し合った内容をまとめる(45分)
6	【プレゼンテーション発表会・講評】 各グループで全体に対しプレゼンテーションを行う	プレゼンテーションの準備をする(45分)	グループの良い点・改善点をまとめる(45分)
7	【表計算(基礎)】 Lesson1(簡単な表:文字、数値の配置、表の罫線、複写と移動、ファイルの保存)	エクセルの概要について調べる(45分)	授業課題Lesson1の復習(45分)
8	【表計算(基礎)】 Lesson2(実用的な表:計算式と関数、セルの幅と高さの変更)	計算式と関数について調べる(45分)	授業課題Lesson2・3の復習(45分)
9	【表計算(応用)】 グループワーク Lesson4(売上一覧表:%表示、複雑な罫線)	%表示と罫線の設定方法について調べる(45分)	授業課題Lesson4・5の復習(45分)
10	【表計算(基礎)】 Lesson6(縦棒グラフ)・Lesson7(円グラフ)	グラフの作成方法について調べる(45分)	授業課題Lesson6・7の復習(45分)
11	【表計算(基礎)】 Lesson8(成績処理:セルの結合) Lesson9(文字列関数:文字列の操作)	文字列関数について調べる(45分)	授業課題Lesson8・9の復習(45分)
12	【表計算(基礎)】 Lesson10(成績判定:IF関数) その他関数	IF関数について調べる(45分)	学んだ関数の復習(45分)
13	【Excelマクロ入門】 マクロの記録と実行	マクロについて調べる(45分)	マクロの活用方法について考える(45分)
14	【表計算(応用)】 グループワーク これまでの文書処理に関する基礎知識・操作をもとに、イベント案内文書をグループで作成する	授業課題Lesson1~10の復習(45分)	グループワーク課題を1人で取り組む(45分)
15	【表計算(総合演習)】 グループワーク 応用的な課題について、前半:個人作成、後半:グループにて答え合わせ	授業課題Lesson1~10の復習(45分)	間違えた箇所を重点的に復習(45分)
16	定期試験(60分) 解説(30分)	授業課題Lesson1~10の復習(45分)	総復習(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	経営学科・1年		
開講時期	2Q	授業形態	講義	必修・選択	必修
科目名称	基礎英語 (M-1) (科目ナンバリング: ENL051020)				
授業担当者(所属・職名)	信濃 吉彦(経営学科・教授)	研究室所在	2号館6階		
単位数	2 (単位認定責任者: 信濃 吉彦)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
国際化が高度に進行した現代において、国際共通言語としての英語の基礎を構造的に理解することを目指す。具体的には翻訳アプリが身近でない状態でも基本的なコミュニケーションを行うことができる土台(基礎的文法理解)を構築することができる。

授業の位置づけ
経営学科のDP「1(1)」、「1(4)」、「2(1)」に対応する。

到達目標
「辞書さえあれば英語は大丈夫!」といった自信を持つことができる。

授業全体の内容と概要
品詞(特に動詞と名詞)を中心とした言語構造(5文型)と様々な場面における基礎会話を身につける。

授業の方法
講義形式で授業を行い教科書やハンドアウトを利用して英語の構造について学習しながら指定アプリを活用して単語数や日常表現を増やす活動を行う。
指定翻訳アプリ: VoiceTra
<VoiceTra(ボイストラ)はNICT(エヌアイシーティ: 国立研究開発法人情報通信研究機構)が、言葉の壁の克服を目指して開発したスマートフォン用の無料多言語音声翻訳アプリです。>

アクティブラーニングの実施方法

	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL
	模擬授業		ロールプレイ	○	調査学習		反転授業
○	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項
平常点を重視する。平常点とは出席・授業参加度・授業記録の整理のことを指す。遅刻は2.0分までとし2回の遅刻を以って欠席1回とする。特別な理由のない2.0分以上の遅刻は欠席扱いとする。また中間試験の代わりに英語に関するレポートを実施し採用する。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件
講義による授業形態を採る。教科書・ノート・筆記具を持ってこない学生は欠席とする。また、教科書のない学生は評価の対象としない。12回の出席を基準とし10回の出席を確保できないものは再履修とする。
平常点にはノートチェックと授業参加度を含む。前向きな課題の提出には、加点する。

評価方法

定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
60%	0%	10%	10%	20%	0%

ルーブリック

評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
知識・技能	定期試験で90点以上の得点を挙げた。	定期試験で80点以上の得点を挙げた。	定期試験で70点以上の得点を挙げた。	定期試験で60点以上の得点を挙げた。	定期試験で60点をクリアすることができなかった。
思考力・判断力・表現力	積極的に課題に取り組み、実際の場面で必要となる読解・表現に取り組み、十分なコミュニケーション能力を獲得するための土台がほぼ完成をみた。	与えられた課題に取り組み、自分が出会う場面を想定しコミュニケーションをとる土台が出来つつある。	与えられた課題に取り組み、日々の生活で使用頻度の高い語彙を調べたり辞書を有効に活用してコミュニケーションの土台づくりの努力が見られた。	与えられた課題に取り組み、語彙力をつける努力は認められるがなかなか定着していない。	課題への取り組みが不十分で、語彙力の進歩が見られず、翻訳アプリがないと何もしない。
主体性	自分のみならず周囲の学生も巻き込みながら課題解決に取り組み、余った時間をさらなる語彙力・表現力の充実に振り分けている。	授業中の質問が多く、学習方法や調査結果などの相談も常であり国際言語習得に関して前向きで、努力が見られる。	積極性は乏しいものの、不明点を質問するなど前向きな姿勢がつかがわれる。	何とか課題はこなすものの、不明点を質問したりすることはなく、ノートも板書	自分から進んで国際言語を身につけようとする姿勢が見られない。

教科書・参考文献・資料等

教科書

No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『Mr. Evineの中学英文法を修了するドリル』	Evine (恵比寿 大輔)	アルク	2019	978-4-574-1222-4	
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等

No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	経営学科・1年		
開講時期	2Q	授業形態	講義	必修・選択	必修
科目名称	基礎英語 (M-1) (科目ナンバリング: ENL051020)				
授業担当者(所属・職名)	信濃 吉彦(経営学科・教授)	研究室所在	2号館6階		
単位数	2 (単位認定責任者: 信濃 吉彦)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	オリエンテーション: シラバスの説明	専用のノートを準備する(90分)	自分の弱点確認(90分)
2	英語とは何か。身の回りにあるものを英語で言えますか? 名詞って? 主部と述部	テキストの指定範囲を読む(90分)	ノートの作成。課題・宿題(90分)
3	自動詞と他動詞, 英文と日本語における構造の違い	テキストの指定範囲を読む(90分)	ノートの作成。課題・宿題(90分)
4	Be動詞(連結動詞と存在動詞)	テキストの指定範囲を読む(90分)	ノートの作成。課題・宿題(90分)
5	SVC文型(1) be動詞型の連結動詞と一般動詞型の連結動詞	テキストの指定範囲を読む(90分)	ノートの作成。課題・宿題(90分)
6	SVC文型(2)	テキストの指定範囲を読む(90分)	ノートの作成。課題・宿題(90分)
7	SV文型 存在文と存在動詞	テキストの指定範囲を読む(90分)	ノートの作成。課題・宿題(90分)
8	SVO文型	テキストの指定範囲を読む(90分)	ノートの作成。課題・宿題(90分)
9	SVOC文型と授受動詞・使役動詞	テキストの指定範囲を読む(90分)	ノートの作成。課題・宿題(90分)
10	SVOC文型	テキストの指定範囲を読む(90分)	ノートの作成。課題・宿題(90分)
11	基本時制・句と節	テキストの指定範囲を読む(90分)	ノートの作成。課題・宿題(90分)
12	進行形と完了形	テキストの指定範囲を読む(90分)	ノートの作成。課題・宿題(90分)
13	5文型のおさらい 動名詞と不定詞	テキストの指定範囲を読む(90分)	ノートの作成。課題・宿題(90分)
14	日常表現	テキストの指定範囲を読む(90分)	ノートの作成。課題・宿題(90分)
15	レビューと慣用句	テキストの指定範囲を読む(90分)	期末試験に備える(90分)
16	試験(60分)及び授業総評(30分)	試験準備(150分)	授業内容の振り返り(90分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	経営学科・1年		
開講時期	2Q	授業形態	講義	必修・選択	必修
科目名称	基礎英語 (M-2) (科目ナンバリング: ENL051020)				
授業担当者(所属・職名)	岡島 徳昭(経営学科・特任教授)	研究室所在	1号館3階		
単位数	2 (単位認定責任者: 岡島 徳昭)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標

文法、読解、作文などの演習をとおし英語の運用能力を向上させるとともに、異文化理解を深め、総合的なコミュニケーション能力を身につける。

授業の位置づけ

経営学科のDP「1(2)」、「2(1)」に対応する。

到達目標

基礎的文法や構文を復習し、英文読解、作文力を身につけ、同時に英語によるコミュニケーション能力を高める。

授業全体の内容と概要

英文を読み読解力、語彙力を培う。文法、構文の復習を通し、英語運用能力の向上を図る。

授業の方法

板書、CDを用い、「聞く」「書く」「話す」「読む」の4技能向上を目指し、学生参加型授業を展開する。中間テスト、定期試験に対する答え合わせ等のフィードバックを実施する。

アクティブラーニングの実施方法

	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

出席重視、テキスト・辞書持参

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件					
成績評価には10回以上の出席が必要。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
40%	0%	0%	40%	20%	0%

ルーブリック

評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
知識・技能(発音・語彙・文法・読解等)	定期試験・中間試験で9割以上、文法・語彙に誤りがなく正確に理解していた。	定期試験・中間試験で8割以上、文法・語彙に誤りがほとんどなく大体理解できた。	定期試験・中間試験で7割以上、文法・語彙に若干誤りがあるが理解していた。	定期試験・中間試験で6割以上、文法・語彙に誤りがあり理解できない部分があった。	定期試験・中間試験で6割以下、文法・語彙に誤りが多く理解に問題があった。
思考力・判断力・表現力	表現方法が適切であり誤りがほとんどなかった。	表現方法はほぼ適切で、小さな誤りが若干ある程度だった。	誤りがあるが、表現方法において誤解を生じるほどの大きな誤りはなかった。	表現方法に誤りがあり、自分の意思を伝えることに支障をきたす点があった。	表現方法に誤りが目立ち、自分の意思が伝わらなかった。
参加型授業への取り組み姿勢	大いに意欲・関心・興味を持って授業に参加していた。クラスでの発表も多く積極的だった。	意欲・関心・興味を持って授業に参加していた。クラスでの発表に努め積極的だった。	ある程度意欲・関心・興味を持って授業に参加していた。やや積極的だった。	あまり意欲・関心・興味を感じられなかった。無難に授業を消化していた。やや積極性に欠けていた。	全く意欲・関心・興味を感じられなかった。遅刻・欠席が目立った。積極性に欠けていた。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『英検準2級 合格への道』	坂部俊行, 岡島徳昭 他	南雲堂	2011	978-4-523	
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等

No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	経営学科・1年		
開講時期	2Q	授業形態	講義	必修・選択	必修
科目名称	基礎英語 (M-2) (科目ナンバリング: ENL051020)				
授業担当者(所属・職名)	岡島 徳昭(経営学科・特任教授)	研究室所在	1号館3階		
単位数	2 (単位認定責任者: 岡島 徳昭)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	授業の進め方, 採点に関すること, その他授業に関するガイダンス。(シラバスの説明) Practice Test	シラバスを読むこと。(90分)	授業中に学んだことを復習。(90分)
2	Lesson 1 語句空所補充 読解の基礎練習 E-mail	指示されたリーディングアサシメントと単語学習。(90分)	授業中に学んだことを復習。(90分)
3	Lesson 1 語句空所補充 読解の基礎練習 E-mail	指示されたリーディングアサシメントと単語学習。(90分)	授業中に学んだことを復習。(90分)
4	Lesson 2 語句空所補充 読解の基礎練習 A Large Family	指示されたリーディングアサシメントと単語学習。(90分)	授業中に学んだことを復習。(90分)
5	Lesson 2 語句空所補充 読解の基礎練習 A Large Family	指示されたリーディングアサシメントと単語学習。(90分)	授業中に学んだことを復習。(90分)
6	Lesson 3 語句空所補充 読解の基礎練習 Robots that Appear	指示されたリーディングアサシメントと単語学習。(90分)	授業中に学んだことを復習。(90分)
7	Lesson 3 語句空所補充 読解の基礎練習 Robots that Appear	指示されたリーディングアサシメントと単語学習。(90分)	授業中に学んだことを復習。(90分)
8	中間テスト	試験の準備学習。(90分)	試験の復習。(90分)
9	Lesson 4 語句空所補充 読解の基礎練習 Lighthouse Homes	指示されたリーディングアサシメントと単語学習。(90分)	授業中に学んだことを復習。(90分)
10	Lesson 4 語句空所補充 読解の基礎練習 Lighthouse Homes	指示されたリーディングアサシメントと単語学習。(90分)	授業中に学んだことを復習。(90分)
11	Lesson 5 語句空所補充 読解の基礎練習 E-mail	指示されたリーディングアサシメントと単語学習。(90分)	授業中に学んだことを復習。(90分)
12	Lesson 5 語句空所補充 読解の基礎練習 E-mail	指示されたリーディングアサシメントと単語学習。(90分)	授業中に学んだことを復習。(90分)
13	Lesson 6 語句空所補充 読解の基礎練習 Virtual Reality	指示されたリーディングアサシメントと単語学習。(90分)	授業中に学んだことを復習。(90分)
14	Lesson 6 語句空所補充 読解の基礎練習 Virtual Reality	指示されたリーディングアサシメントと単語学習。(90分)	授業中に学んだことを復習。(90分)
15	全体復習 Simulation Test (P7 4-5)	指示されたリーディングアサシメントと単語学習。(90分)	授業中に学んだことを復習。(90分)
16	総合評価 定期試験 60分、解説 30分	指示されたリーディングアサシメントと単語学習。(90分)	授業中に学んだことを復習。(90分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	経営学科・1年		
開講時期	2Q	授業形態	講義	必修・選択	必修
科目名称	基礎英語 (M-3) (科目ナンバリング: ENL051020)				
授業担当者(所属・職名)	石田 暁子(非常勤講師)	研究室所在	1号館1階非常勤講師室		
単位数	2 (単位認定責任者: 石田 暁子)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標	英文法の基本を理解し、練習問題による練習を通して発音と共に身につける。自ら英語で発信できるようになる。				
授業の位置づけ	経営学科のDP「1(2)」、「2(1)」に対応する。				
到達目標	8身近な英語の語彙を覚え、文法の基礎を理解する。英文を読むことができる。				
授業全体の内容と概要	英文法の解説、練習問題、リーディングの構成で、簡単な事柄からより高度な内容へと段階的に学んでいく。				
授業の方法	講義形式で、最重要事項を板書することによって注意を促し、じっくりと確実に反復学習を進める。発音練習にも力を入れる。各自の理解度を高めるため、授業では毎回できるだけ多くの学生を指名し、解答を聞く。テキストのリーディングパートについては必ず予習で翻訳しておくことを課題とする。学生は授業で自分の訳に間違いがないかどうかを確認し、最後にまとめたものを教員が最終チェックして返却する。これも評価の対象となる。				
アクティブラーニングの実施方法	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL	
	模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業	
	ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)	
履修上の注意事項	教科書を必ず用意すること。同じ名称のクラスが複数あるので、自分のクラスを間違えないよう、確認の上、履修登録すること。教科書も異なるので購入時に注意が必要。				
資格指定科目					

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な出席回数は、10回以上。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
40%	0%	30%	0%	30%	0%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
英文法の理解度	授業の範囲を超え、関連事項への興味があった。また自分から発信する意欲が見られる。	授業内容をほぼ理解している。	基本的な文法事項の理解はできていたが、より複雑な事項になると不安がある。	基本的な事項のみ理解できている。	基本的な事項が身についていない。
練習問題や発音練習の参加度	積極的に参加し、授業の進行に貢献していた。	説明をよく聞き、発音練習や練習問題にも真剣に取り組んだ。ミス指摘された際、自分で訂正することができ、向上が認められた。	発音練習や練習問題に真剣に取り組んだ。	自分の力で問題を解くことをあきらめてしまっていたが、解答を聞いた後に理解しようとする努力がみられた。	授業中の活動に集中できなかった。
課題(英文和訳)への取り組み	予め語や語句の意味を調べ、英文の訳を試みた。疑問点を自覚した上で授業に臨み、解決することができた。	予習にきめ細かさはないが、ほぼ満足な訳ができた。	毎回予習をせず、復習によって挽回を図ることもあった。	復習だけのことが多く、課題は提出したが、期限を守ることができなかった。	課題を提出しなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『英文法の基礎理解』	高橋 哲徳 他	朝日出版社	2017	978-4-255-	
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『英和辞典』					
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	経営学科・1年		
開講時期	2Q	授業形態	講義	必修・選択	必修
科目名称	基礎英語 (M-3) (科目ナンバリング: ENL051020)				
授業担当者(所属・職名)	石田 暁子(非常勤講師)	研究室所在	1号館1階非常勤講師室		
単位数	2 (単位認定責任者: 石田 暁子)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	シラバスの説明 be動詞の種類・意味・否定文・疑問文	テキストp.2-5予習(90分)	授業内容復習(90分)
2	Reading Practice 英文の日本語訳	テキストp.6 予習(90分)	授業内容復習(90分)
3	一般動詞の種類・語形変化・否定文・疑問文	テキストp.8-11 予習(90分)	授業内容復習(90分)
4	Reading Practice 英文の日本語訳	テキストp.12 予習(90分)	授業内容復習(90分)
5	疑問詞を用いた疑問文の作り方	テキストp.14-16 予習(90分)	授業内容復習(90分)
6	Reading Practice 英文の日本語訳	テキストp.17予習(90分)	授業内容復習(90分)
7	進行形の基本・否定文・疑問文	テキストp.19-21 予習(90分)	授業内容復習(90分)
8	Reading Practice 英文の日本語訳	テキストp.22 予習(90分)	授業内容復習(90分)
9	未来形の表現・否定文・疑問文	テキストp.24-26 予習(90分)	授業内容復習(90分)
10	Reading Practice 英文の日本語訳	テキストp.27 予習(90分)	授業内容復習(90分)
11	完了形の種類・基本・用法・否定文・疑問文	テキストp.29-34 予習(90分)	授業内容復習(90分)
12	Reading Practice 英文の日本語訳	テキストp.35 予習(90分)	授業内容復習(90分)
13	基本的な前置詞と代名詞の格変化	テキストp.36-39 予習(90分)	授業内容復習(90分)
14	Reading Practice 英文の日本語訳	テキストp.40 予習(90分)	授業内容復習(90分)
15	総復習・要点整理	期末試験準備(90分)	期末試験準備(90分)
16	期末試験(60分)・解説(30分)	期末試験準備(90分)	期末試験内容復習(90分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	経営学科・1年		
開講時期	2Q	授業形態	講義	必修・選択	必修
科目名称	基礎英語 (M-4) (科目ナンバリング: ENL051020)				
授業担当者(所属・職名)	井坂 肇(経営学科・助教)		研究室所在	1号館3階	
単位数	2 (単位認定責任者: 井坂 肇)		CAP制		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標	英文法の基本を理解し、練習問題による練習を通して英語の運用・使い方の基礎を身につける。自ら英語で発信できるようになる。																					
授業の位置づけ	経営学科のDP「1(2)」、「2(1)」に対応する。																					
到達目標	身近な英語の語彙・イディオムを習得し、英文法の基礎を理解できる。また、平素な英文の読解ができ、簡単な英文の作成ができるようになる。																					
授業全体の内容と概要	所定のテキストに基づき、文法事項の解説を加えながら、各項目の練習問題を解き文法事項の定着を図る。																					
授業の方法	講義形式で授業を行い、教科書やパワーポイントを使用しながら、じっくりと確実に反復学習を進める。文法事項の定着を図るため、小テストを行ったり復習用のプリントを配布する。英文の暗記によって英語で発信する力の向上を狙う。グループで課題に取り組み時間を設ける。																					
アクティブラーニングの実施方法	<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>○</td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL																
模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																
ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																
履修上の注意事項	15分以上の遅刻は欠席とみなす。遅刻2回で欠席1回とする。授業には必ずテキストを持参すること。																					
資格指定科目																						

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な出席回数は、10回以上。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
60%	0%	20%	0%	20%	0%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
定期試験	定期試験で90点以上の得点を上げた。	定期試験で80点以上の得点を上げた。	定期試験で70点以上の得点を上げた。	定期試験で60点以上の得点を上げた。	定期試験で60点をクリアすることができなかった。
英文法の理解度	基礎的な英文をしっかりと書くことができた。	基礎的な英文をほぼ正確に書くことができた。	基礎的な短い英文を大体書けた。	指示によって、基礎的な短い英文を書けた。	指示によって、基礎的な短い英文を書くことができなかった。
授業に対する取り組み	与えられた課題に積極的に取り組んだ。積極性や協同性に関しては期待されるレベルを大きく超えることができた。	与えられた課題に積極的に取り組んだ。積極性や協同性に関しては期待されるレベルを十分に達成することができた。	与えられた課題に積極的に取り組んだ。積極性や協同性に関しては期待されるレベルを達成することができた。	与えられた課題に積極的に取り組んだ。積極性や協同性に関しては最低限容認できるレベルにとどまった。	与えられた課題に取り組まなかった。積極性や協同性に関しては期待される最低限のレベルに到達することができなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『総合英語 FACTBOOK これからの英文法』	大西 泰斗 他	桐原書店	2017	978-4-342-	
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『総合英語 FACTBOOK 例文完全マスター』	大西 泰斗 他	桐原書店	2019	978-4-342-	
2	『英語表現 WORD SENSE』	大西 泰斗 他	桐原書店	2018	978-4-342-	
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	経営学科・1年		
開講時期	2Q	授業形態	講義	必修・選択	必修
科目名称	基礎英語 (M-4) (科目ナンバリング: ENL051020)				
授業担当者(所属・職名)	井坂 肇(経営学科・助教)		研究室所在	1号館3階	
単位数	2 (単位認定責任者: 井坂 肇)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	シラバスの説明 Chapter 1 主語・動詞・基本文型 1	Chapter 1 の予習 (90分)	授業内容復習 (90分)
2	Chapter 1 主語・動詞・基本文型 2	Chapter 1 の予習 (90分)	授業内容復習 (90分)
3	Chapter 2 時を表す表現 1	Chapter 2 の予習 (90分)	授業内容復習 (90分)
4	Chapter 2 時を表す表現 2	Chapter 2 の予習 (90分)	授業内容復習 (90分)
5	Chapter 3 助動詞 1	Chapter 3 の予習 (90分)	授業内容復習 (90分)
6	Chapter 3 助動詞 2	Chapter 3 の予習 (90分)	授業内容復習 (90分)
7	Chapter 4 受動態	Chapter 4 の予習 予習(90分)	授業内容復習 (90分)
8	Chapter 1～4の復習	Chapter 1～4の予習(90分)	授業内容復習 (90分)
9	Chapter 5 不定詞 1	Chapter 5 の予習 (90分)	授業内容復習 (90分)
10	Chapter 5 不定詞 2	Chapter 5 の予習 (90分)	授業内容復習 (90分)
11	Chapter 6 動名詞	Chapter 6 の予習 (90分)	授業内容復習 (90分)
12	Chapter 7 分詞	Chapter 7 の予習 (90分)	授業内容復習 (90分)
13	Chapter 8 比較 1	Chapter 8 の予習 (90分)	授業内容復習 (90分)
14	Chapter 8 比較 2	Chapter 8 の予習 (90分)	授業内容復習 (90分)
15	Chapter 5～8の復習 総復習・要点整理	Chapter 5～8の予習(90分)	期末試験準備 (90分)
16	期末試験(60分)・解説(30分)	期末試験準備 (90分)	期末試験内容復習 (90分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	社会福祉学科・1年、デザイン学科・1年、建		
開講時期	1Q	授業形態	講義	必修・選択	必修
科目名称	基礎英語 (SDA-1) (科目ナンバリング: ENL051020)				
授業担当者(所属・職名)	西崎 毅(社会福祉学科・特任教授)	研究室所在	2号館6階		
単位数	2 (単位認定責任者: 西崎 毅)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	高等学校の英語科教員、英語教育改革に係る指導行政担当者としての経験及び国際交流に関する実務経験を活用し、英語の基礎事項を講義する。		

概要

履修目標
英語の統語構造を理解するとともに、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付ける。目的や場面、状況などに応じて情報や考えなどを理解し、表現し、伝えあうことができる力を身に付ける。主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付ける。

授業の位置づけ
社会福祉学科のDP「1(2)と(3)」、「2(1)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(1)と(2)」、「2(1)」に対応する。 建築学科のDP「1(1)」、「2(1)」に対応する。

到達目標
英語の5つの文型についてその概要を理解できる。 修飾語・句・節についてその概要を理解できる。 英語で簡単な説明を行うことができる。英語を読んだり聞いたりしてその概要を理解することができる。

授業全体の内容と概要
英語がどのような構造で成立しているのか、その法則性はどのようにになっているのかについて理解し、相手が発する英語を理解したり、自分の考えを英語で表現したりすることができる能力を育成するために必要な事項を説明するとともに、知識や技能の定着のための演習を行う。英語の四技能をバランスよく育成するため、リスニングの演習や発表活動等を行う。学修集団の英語への興味・関心・習熟度等により、シラバスに記載した学修内容を再構成する場合がある。

授業の方法
授業は原則として英語で行うほか、毎回リスニング演習を行う。一方的な講義とならないよう、学生による発表やグループ活動を行う。学生の理解に資するよう、プリントや教材提示装置を活用して説明を行う。学修内容の確実な定着を図るため、毎時間質問の時間を設定する。課題や発表に対しては口頭及びコメントにて評価のフィードバックを行う。要望については口頭及びメール等で対応する。

アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	

履修上の注意事項
○講義の前後に行う学修課題を課すので真刻に取り組むこと。 プリント類は、ファイル等に綴って適切に管理し、学修に役立てること。 欠席した場合は、Microsoft Teams上に格納したファイルを活用しプリント等を入力すること。 講義中の私語・居眠り等は厳に慎むこと。 講義中のスマートフォン等の使用は英語の検索など英語学習に関わるものに限定する。 講義開始のチャイム後、教員入室以降の入室は、すべて「遅刻」の扱いとする。 講義開始時間までに用便を済ませておくこと。 30分以上の「遅刻」は、「欠席」扱いとする。 受講姿勢及び課題の実施状況はすべて点数化・集積し、評価に活用する。 S評価は全体の10%、S評価とA評価を合わせて40%以内となっている。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
単位認定に必要な最低出席回数は11回。												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <td>定期試験</td> <td>レポート</td> <td>課題・作品</td> <td>中間テスト</td> <td>平常点</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>60%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>40%</td> <td>0%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	60%	0%	0%	0%	40%	0%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
60%	0%	0%	0%	40%	0%							

ルーブリック																													
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間に差を有している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> <tr> <td>知識・技能</td> <td>定期試験で9割以上の得点を上げた。</td> <td>定期試験で8割以上の得点を上げた。</td> <td>定期試験で7割以上の得点を上げた。</td> <td>定期試験で6割以上の得点を上げた。</td> <td>定期試験で得点が6割に満たなかった。</td> </tr> <tr> <td>思考力・判断力・表現力等</td> <td>与えられた課題に積極的に取り組んだ。英語を使用したコミュニケーションに関して求められるレベルを大きく超えることができた。</td> <td>与えられた課題に取り組んだ。英語を使用したコミュニケーションに関して期待されるレベルを十分に達成することができた。</td> <td>与えられた課題に取り組んだ。英語を使用したコミュニケーションに関して期待されるレベルを達成することができた。</td> <td>与えられた課題に取り組んだ。英語を使用したコミュニケーションに関しては最低限期待されるレベルにとどまった。</td> <td>与えられた課題に取り組まなかった。英語を使用したコミュニケーションに関して期待される最低限のレベルに到達することができなかった。</td> </tr> <tr> <td>主体性・協働性</td> <td>与えられた課題に積極的に取り組んだ。積極性や協働性に関しては期待されるレベルを大きく超えることができた。</td> <td>与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関して期待されるレベルを十分に達成することができた。</td> <td>与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関して期待されるレベルを達成することができた。</td> <td>与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関しては最低限期待されるレベルにとどまった。</td> <td>与えられた課題に取り組まなかった。積極性や協働性に関して期待される最低限のレベルに到達することができなかった。</td> </tr> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間に差を有している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	知識・技能	定期試験で9割以上の得点を上げた。	定期試験で8割以上の得点を上げた。	定期試験で7割以上の得点を上げた。	定期試験で6割以上の得点を上げた。	定期試験で得点が6割に満たなかった。	思考力・判断力・表現力等	与えられた課題に積極的に取り組んだ。英語を使用したコミュニケーションに関して求められるレベルを大きく超えることができた。	与えられた課題に取り組んだ。英語を使用したコミュニケーションに関して期待されるレベルを十分に達成することができた。	与えられた課題に取り組んだ。英語を使用したコミュニケーションに関して期待されるレベルを達成することができた。	与えられた課題に取り組んだ。英語を使用したコミュニケーションに関しては最低限期待されるレベルにとどまった。	与えられた課題に取り組まなかった。英語を使用したコミュニケーションに関して期待される最低限のレベルに到達することができなかった。	主体性・協働性	与えられた課題に積極的に取り組んだ。積極性や協働性に関しては期待されるレベルを大きく超えることができた。	与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関して期待されるレベルを十分に達成することができた。	与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関して期待されるレベルを達成することができた。	与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関しては最低限期待されるレベルにとどまった。	与えられた課題に取り組まなかった。積極性や協働性に関して期待される最低限のレベルに到達することができなかった。
評価項目		評価基準																											
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間に差を有している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																								
知識・技能	定期試験で9割以上の得点を上げた。	定期試験で8割以上の得点を上げた。	定期試験で7割以上の得点を上げた。	定期試験で6割以上の得点を上げた。	定期試験で得点が6割に満たなかった。																								
思考力・判断力・表現力等	与えられた課題に積極的に取り組んだ。英語を使用したコミュニケーションに関して求められるレベルを大きく超えることができた。	与えられた課題に取り組んだ。英語を使用したコミュニケーションに関して期待されるレベルを十分に達成することができた。	与えられた課題に取り組んだ。英語を使用したコミュニケーションに関して期待されるレベルを達成することができた。	与えられた課題に取り組んだ。英語を使用したコミュニケーションに関しては最低限期待されるレベルにとどまった。	与えられた課題に取り組まなかった。英語を使用したコミュニケーションに関して期待される最低限のレベルに到達することができなかった。																								
主体性・協働性	与えられた課題に積極的に取り組んだ。積極性や協働性に関しては期待されるレベルを大きく超えることができた。	与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関して期待されるレベルを十分に達成することができた。	与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関して期待されるレベルを達成することができた。	与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関しては最低限期待されるレベルにとどまった。	与えられた課題に取り組まなかった。積極性や協働性に関して期待される最低限のレベルに到達することができなかった。																								

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td>『英文法から学ぶ基本英語Polish Up Your English』</td> <td>登美 博之 / Bill Benfield</td> <td>成美堂</td> <td>2015</td> <td>9784791900701</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>『リスニング教材は別途購入案内する。』</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1	『英文法から学ぶ基本英語Polish Up Your English』	登美 博之 / Bill Benfield	成美堂	2015	9784791900701		2	『リスニング教材は別途購入案内する。』						3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1	『英文法から学ぶ基本英語Polish Up Your English』	登美 博之 / Bill Benfield	成美堂	2015	9784791900701																																					
2	『リスニング教材は別途購入案内する。』																																									
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	社会福祉学科・1年、デザイン学科・1年、建		
開講時期	1Q	授業形態	講義	必修・選択	必修
科目名称	基礎英語 (SDA-1) (科目ナンバリング: ENL051020)				
授業担当者(所属・職名)	西崎 毅(社会福祉学科・特任教授)	研究室所在	2号館6階		
単位数	2 (単位認定責任者: 西崎 毅)		CAP制		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	高等学校の英語科教員、英語教育改革に係る指導行政担当者としての経験及び国際交流に関する実務経験を活用し、英語の基礎事項を講義する。		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	オリエンテーション(シラバス説明を含む) 文の構造(動詞と5文型)	英語についての自己の課題を考えておくこと。 (90分)	本時に課された事後課題を行い次時に提出すること。 (90分)
2	文型(S+V)、文型(S+V+C)、文型(S+V+O) リスニング演習	前時に課された事前課題を行い提出すること。 (90分)	本時に課された事後課題を行い次時に提出すること。 (90分)
3	文型と修飾語句(形容詞、副詞) リスニング演習	前時に課された事前課題を行い提出すること。 (90分)	本時に課された事後課題を行い次時に提出すること。 (90分)
4	文型(S+V+O)、文型(S+V+O+C) リスニング演習	前時に課された事前課題を行い提出すること。 (90分)	本時に課された事後課題を行い次時に提出すること。 (90分)
5	5文型の総復習 リスニング演習	前時に課された事前課題を行い提出すること。 (90分)	本時に課された事後課題を行い次時に提出すること。 (90分)
6	文の要素と名詞相当語・句・節 リスニング演習	前時に課された事前課題を行い提出すること。 (90分)	本時に課された事後課題を行い次時に提出すること。 (90分)
7	文の要素と名詞相当語・句・節 リスニング演習	前時に課された事前課題を行い提出すること。 (90分)	本時に課された事後課題を行い次時に提出すること。 (90分)
8	文の要素と名詞相当語・句・節 リスニング演習・英語による発表	前時に課された事前課題を行い提出すること。 (90分)	本時に課された事後課題を行い次時に提出すること。 (90分)
9	文の要素と形容詞相当語・句・節 リスニング演習・英語による発表	前時に課された事前課題を行い提出すること。 (90分)	本時に課された事後課題を行い次時に提出すること。 (90分)
10	文の要素と形容詞相当語・句・節 リスニング演習・英語による発表	前時に課された事前課題を行い提出すること。 (90分)	本時に課された事後課題を行い次時に提出すること。 (90分)
11	文の要素と形容詞相当語・句・節 リスニング演習・英語による発表	前時に課された事前課題を行い提出すること。 (90分)	本時に課された事後課題を行い次時に提出すること。 (90分)
12	文の要素と副詞相当語・句・節 リスニング演習・英語による発表	前時に課された事前課題を行い提出すること。 (90分)	本時に課された事後課題を行い次時に提出すること。 (90分)
13	文の要素と副詞相当語・句・節 リスニング演習・英語による発表	前時に課された事前課題を行い提出すること。 (90分)	本時に課された事後課題を行い次時に提出すること。 (90分)
14	文の要素と副詞相当語・句・節 リスニング演習・英語による発表	前時に課された事前課題を行い提出すること。 (90分)	本時に課された事後課題を行い次時に提出すること。 (90分)
15	文の構造の総復習 リスニング演習・英語による発表	前時に課された事前課題を行い提出すること。 (90分)	前回までの学修内容を復習すること、(90分)
16	60分の試験終了後、残りの30分で解説を行う。	前回までの学修内容を復習すること、(90分)	試験結果を参考に自らの学修姿勢を評価する、 (90分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	社会福祉学科・1年、デザイン学科・1年、建		
開講時期	1Q	授業形態	講義	必修・選択	必修
科目名称	基礎英語 (SDA-2) (科目ナンバリング: ENL051020)				
授業担当者(所属・職名)	宮嶋 達也(デザイン学科・准教授)	研究室所在	2号館4階		
単位数	2 (単位認定責任者: 宮嶋 達也)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
グローバル化に対応するため「外国語」を学ぶための科目であり、基本的な文法やリスニングなどの知識に絞って学習していきます。文法ベースで初級から徐々に積み上げることで、最終的にはコミュニケーションに生かせる力をしっかりと身につけていき、実用的なコミュニケーションの場面にふさわしい基本的な語彙や表現を用いることができる。

授業の位置づけ
デザイン学科のDP「1(1)」、「(3)」、「2(1)」、「(3)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(2)」、「2(1)」に対応する。 建築学科のDP「1(1)」、「2(1)」、「(3)」に対応する。

到達目標
文法やリスニングを中心にやさしい英語で書かれた英文での練習を通して、英語の文がどのような構成要素から成り立っているのかを明確に把握する。リスニングに最低限必要な語彙力、文法力を身につけて、スピーキング、ライティングなどのアウトプットへの発展を意識して、バランスのとれた4技能の習得を目指す。

授業全体の内容と概要
リスニング(音声インプット)を中心に基本的な英語コミュニケーション能力を身につけることを目的とします。英語リスニングに最低限必要な語彙力や文法力を身につけながら、リスニングの訓練に取り組みます。英語を聴きながら、常に意味と文法を意識して聴くよう練習する。教材中の表現を利用したコミュニケーション演習も行う。

授業の方法
授業では視聴覚メディアを活用し、英語によるコミュニケーションへ接続するための運用能力を身に付けることを目的とする。テキストの練習問題を解き、疑問点などは個々に対応、或いはクラス全体への解答を解説し学生へのフィードバックを行う。授業中の発表やペアやグループワーク、ロールプレイでの活動を取り入れるので積極的に授業に参加してください。授業外でも普段から英語の音声を聞く習慣をつけ、音声による英語のインプットを心がける。

アクティブラーニングの実施方法																					
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>○</td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td>○</td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL	模擬授業	○	ロールプレイ		調査学習		反転授業	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL															
模擬授業	○	ロールプレイ		調査学習		反転授業															
ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)															

履修上の注意事項
15分以上の遅刻は欠席とみなします。遅刻2回で欠席1回とします。授業には必ずテキスト、辞書を持参すること。テキストを忘れ、授業前に申し出ない場合は欠席扱いとする。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
単位認定の必要となる最低出席回数は10回以上とする。												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>50%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>30%</td> <td>20%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	50%	0%	0%	0%	30%	20%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
50%	0%	0%	0%	30%	20%							

ルーブリック																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>理解度</td> <td>授業内容を学修が認められる</td> <td>授業内容を十分に理解している</td> <td>授業内容を理解している</td> <td>授業内容の理解に不足がある</td> <td>授業内容を理解していない</td> </tr> <tr> <td>英語表現能力(スピーキング)</td> <td>優れた創造的表現を行うことができる</td> <td>文献等を参考としながら、創造的表現を行うことができる</td> <td>自在に定型的表現を行うことができる</td> <td>与えられた条件を満たした最低限度の表現を行うことができる</td> <td>与えられた条件を満たした最低限度の表現を行うことができない</td> </tr> <tr> <td>積極性</td> <td>授業全体の流れを理解し、質問・問題提起により授業展開に貢献する</td> <td>授業全体の流れを理解し、発問に対して積極的に応じる</td> <td>発問に対して、指名されれば正しく応じることができる</td> <td>授業に集中して理解しようとする態度が見られる</td> <td>授業に集中できず、授業放棄の態度が見られる</td> </tr> <tr> <td>事前・事後学修</td> <td>自ら進んで学修範囲を超えて調べている</td> <td>学修範囲を十分に調べて、授業内容を他人に説明できる</td> <td>学修範囲の理解に曖昧な点がある</td> <td>指示された範囲の事前・事後学修はするが、理解が不十分である</td> <td>指示された範囲の事前・事後学修をほとんどせず理解が不十分である。</td> </tr> <tr> <td>リスニング技能</td> <td>授業内で取り扱った単語・表現を完璧に習得し、リスニング技能を問題なく正確に運用できる</td> <td>授業内で取り扱った単語・表現の大部分を習得し、リスニング技能を正確に運用できる。</td> <td>授業内で取り扱った単語・表現の大部分を習得し、リスニング技能をほぼ正確に運用できる。</td> <td>授業内で取り扱った単語・表現を部分的に習得しているが、リスニング技能の運用に不適切な部分が見受けられる。</td> <td>授業内で取り扱った単語・表現の習得が不十分であり、リスニング技能の運用に不正確さが目立つ。</td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	理解度	授業内容を学修が認められる	授業内容を十分に理解している	授業内容を理解している	授業内容の理解に不足がある	授業内容を理解していない	英語表現能力(スピーキング)	優れた創造的表現を行うことができる	文献等を参考としながら、創造的表現を行うことができる	自在に定型的表現を行うことができる	与えられた条件を満たした最低限度の表現を行うことができる	与えられた条件を満たした最低限度の表現を行うことができない	積極性	授業全体の流れを理解し、質問・問題提起により授業展開に貢献する	授業全体の流れを理解し、発問に対して積極的に応じる	発問に対して、指名されれば正しく応じることができる	授業に集中して理解しようとする態度が見られる	授業に集中できず、授業放棄の態度が見られる	事前・事後学修	自ら進んで学修範囲を超えて調べている	学修範囲を十分に調べて、授業内容を他人に説明できる	学修範囲の理解に曖昧な点がある	指示された範囲の事前・事後学修はするが、理解が不十分である	指示された範囲の事前・事後学修をほとんどせず理解が不十分である。	リスニング技能	授業内で取り扱った単語・表現を完璧に習得し、リスニング技能を問題なく正確に運用できる	授業内で取り扱った単語・表現の大部分を習得し、リスニング技能を正確に運用できる。	授業内で取り扱った単語・表現の大部分を習得し、リスニング技能をほぼ正確に運用できる。	授業内で取り扱った単語・表現を部分的に習得しているが、リスニング技能の運用に不適切な部分が見受けられる。	授業内で取り扱った単語・表現の習得が不十分であり、リスニング技能の運用に不正確さが目立つ。
評価項目		評価基準																																							
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
理解度	授業内容を学修が認められる	授業内容を十分に理解している	授業内容を理解している	授業内容の理解に不足がある	授業内容を理解していない																																				
英語表現能力(スピーキング)	優れた創造的表現を行うことができる	文献等を参考としながら、創造的表現を行うことができる	自在に定型的表現を行うことができる	与えられた条件を満たした最低限度の表現を行うことができる	与えられた条件を満たした最低限度の表現を行うことができない																																				
積極性	授業全体の流れを理解し、質問・問題提起により授業展開に貢献する	授業全体の流れを理解し、発問に対して積極的に応じる	発問に対して、指名されれば正しく応じることができる	授業に集中して理解しようとする態度が見られる	授業に集中できず、授業放棄の態度が見られる																																				
事前・事後学修	自ら進んで学修範囲を超えて調べている	学修範囲を十分に調べて、授業内容を他人に説明できる	学修範囲の理解に曖昧な点がある	指示された範囲の事前・事後学修はするが、理解が不十分である	指示された範囲の事前・事後学修をほとんどせず理解が不十分である。																																				
リスニング技能	授業内で取り扱った単語・表現を完璧に習得し、リスニング技能を問題なく正確に運用できる	授業内で取り扱った単語・表現の大部分を習得し、リスニング技能を正確に運用できる。	授業内で取り扱った単語・表現の大部分を習得し、リスニング技能をほぼ正確に運用できる。	授業内で取り扱った単語・表現を部分的に習得しているが、リスニング技能の運用に不適切な部分が見受けられる。	授業内で取り扱った単語・表現の習得が不十分であり、リスニング技能の運用に不正確さが目立つ。																																				

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>『Live Escalate Base camp』</td> <td>Teruhiko Kadoyama</td> <td>成美堂</td> <td>2021</td> <td>9784791972210</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1	『Live Escalate Base camp』	Teruhiko Kadoyama	成美堂	2021	9784791972210		2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1	『Live Escalate Base camp』	Teruhiko Kadoyama	成美堂	2021	9784791972210																																					
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	社会福祉学科・1年、デザイン学科・1年、建		
開講時期	1Q	授業形態	講義	必修・選択	必修
科目名称	基礎英語 (SDA-2) (科目ナンバリング: ENL051020)				
授業担当者(所属・職名)	宮嶋 達也(デザイン学科・准教授)	研究室所在	2号館4階		
単位数	2 (単位認定責任者: 宮嶋 達也)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	オリエンテーション 英語で自己紹介文作成 シラバスの説明	シラバスを参照しながらテキスト内容を理解する。(90分)	授業各回のテーマを理解しておくこと。(90分)
2	5文型(1)	次回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習する。(90分)
3	5文型(2)	次回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習する。(90分)
4	U1 Meeting New People ・Talking about where people are from ・Introducing different greetings from	次回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習する。(90分)
5	U2 School Life ・Exchanging personal information ・Introducing how a flipped classroom is	次回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習する。(90分)
6	Present Simple Be Verbs Present Simple Base Verbs Wh- Questions	次回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習する。(90分)
7	助動詞(1)	次回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習する。(90分)
8	助動詞(2)	次回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習する。(90分)
9	U3 Seeing a Doctor ・Describing symptoms of illnesses	次回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習する。(90分)
10	U4 Expressing Yourself ・Expressing feelings and emotions ・Introducing a psychology test about colors	次回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習する。(90分)
11	Past Simple Be Verbs Past Simple Base Verbs Tense Comparison	次回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習する。(90分)
12	U5 Getting Around ・Describing modes of transportation ・Discussing how we should use priority seats	次回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習する。(90分)
13	U6 Talking about the Time ・Practicing having telephone conversations	次回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習する。(90分)
14	Infinitives and Gerunds Transportation Preposition Past Continuous	次回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習する。(90分)
15	Review 1	次回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習する。(90分)
16	Final Exam. 60分の試験終了後、残りの30分で解説。	試験範囲の復習。(90分)	授業で説明を受けた解説を復習。(90分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	社会福祉学科・1年、デザイン学科・1年、建築		
開講時期	1Q	授業形態	講義	必修・選択	必修
科目名称	基礎英語 (SDA-3) (科目ナンバリング: ENL051020)				
授業担当者(所属・職名)	横田 肇 (社会福祉学科・准教授)	研究室所在	2号館7階		
単位数	2 (単位認定責任者: 横田 肇)	CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標	学生が英語の基本的な文法を習得し、英語の運用・使い方の基礎を身につける。合わせて、グローバル化の中でのコミュニケーションの基礎を学ぶ。
------	---

授業の位置づけ	社会福祉学科のDP「1(2)と(3)」、「2(1)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(1)と(2)」、「2(1)と(3)」に対応する。 建築学科のDP「1(1)」、「2(1)と(3)」に対応する。
---------	--

到達目標	学生が英語の語彙・イディオムの習得、英文法・運用の基礎的理解と習得ができている。また、平易な英文の読解ができ、簡単な英文の作成ができるようになる。
------	---

授業全体の内容と概要	毎回、所定のテキストに基づき、英文法の各項目の練習問題を解き、合わせて、関連する読解、作文の練習問題を解く。同時に、必要最小限の説明を加えていく。
------------	---

授業の方法	毎回、所定のテキストに即し、パワーポイントと板書等により各項目の全体的な説明(一言)を行う。その後、個人・グループワークによる練習問題の解答を行う。解答の終了後にグループごと、個人ごとに課題の提出を求める。授業の最後にその回と前回の課題へのフィードバック(コメント)と課外学習(宿題)についての指示を行う。
-------	---

アクティブラーニングの実施方法	<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>○</td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>○ ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td>○</td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業	○ ディスカッション		実験・実習・実技	○	双方向授業		その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL																
模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																
○ ディスカッション		実験・実習・実技	○	双方向授業		その他(授業の方法参照)																

履修上の注意事項	欠席、遅刻をしないように留意する。
----------	-------------------

資格指定科目	
--------	--

評価方法・基準

評価前提条件	単位認定に必要な最低出席回数は11回以上。					
評価方法	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
	60%	0%	0%	20%	20%	0%

ルーブリック	評価基準				
評価項目	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
英文法の基礎力	英文法の基礎的な理解が完全にでき、十分な応用力がついた。	英文法の基礎的な理解がほぼでき、いくらか応用できる力がついた。	英文法の基礎的な理解が大体できた。	英文法の必要最小限の基礎的な理解ができた。	英文法の必要最小限の基礎的な理解ができなかった。
英文読解の能力	テキスト内の英文が正確・完全に読解でき、十分に活用することができた。	テキストの英文がほぼ理解でき、いくらか応用できた。	テキストの英文の基礎的な部分が大体理解できた。	指示によって、テキストの英文の基礎的な部分が大体理解できた。	指示によって、テキストの英文の基礎的な部分の理解ができなかった。
英作文の能力	基礎的な英文を正確にしっかりと書くことができた。	基礎的な英文をほぼ正確に書くことができた。	基礎的な短い英文を大体書けた。	指示によって、基礎的な短い英文を書けた。	指示によって、基礎的な短い英文を書くことができなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	Simply Grammar 改訂版	K.Saito	南雲堂	2017	978-4-523-17831-6	
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						適宜指示
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	社会福祉学科・1年、デザイン学科・1年、建築		
開講時期	1Q	授業形態	講義	必修・選択	必修
科目名称	基礎英語 (SDA-3) (科目ナンバリング: ENL051020)				
授業担当者(所属・職名)	横田 肇 (社会福祉学科・准教授)	研究室所在	2号館7階		
単位数	2 (単位認定責任者: 横田 肇)	CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習 (所要時間)	事後学習 (所要時間)
1	シラバスの説明。ガイダンス。	シラバスを読んでおく。(90分)	アルファベットの基礎について調べる。(90分)
2	英文法と英語の運用について(1)発音の基礎、単語の成り立ち、アルファベットの基礎	アルファベットの基礎について調べる(90分)	アルファベットの基礎について調べる(90分)
3	英文法と英語の運用について(2)be動詞の使い方	教科書Unit1 説明文の予習(90分)	授業内容の復習(90分)
4	英文法と英語の運用について(3)be動詞の使い方	Unit1 練習問題の予習(90分)	Unit1 練習問題の復習(90分)
5	英文法と英語の運用について(4)be動詞の使い方	Unit1 練習問題の予習(90分)	Unit1 練習問題の復習(90分)
6	英文法と英語の運用について(5)一般動詞の使い方	Unit2 説明文の予習(90分)	Unit2 説明文の復習(90分)
7	英文法と英語の運用について(6)一般動詞の使い方	Unit2 練習問題の予習(90分)	Unit2 練習問題の復習(90分)
8	英文法と英語の運用について(7)一般動詞の使い方	Unit2 練習問題の予習(90分)	Unit2 練習問題の復習(90分)
9	英文法と英語の運用について(8)一般動詞の使い方	Unit2 練習問題の予習(90分)	Unit2 練習問題の復習(90分)
10	英文法と英語の運用について(9)動詞の使い方の注意すべき点	Unit1・2 全体の確認(90分)	Unit1・2 全体の確認(90分)
11	英文法と英語の運用について(10)動詞の使い方の注意すべき点	Unit1・2 全体の確認(90分)	Unit1・2 全体の確認(90分)
12	英文法と英語の運用について(11)英文の構造の注意すべき点	Unit1・2 全体の確認(90分)	Unit1・2 全体の確認(90分)
13	英文法と英語の運用について(12)英文の構造の注意すべき点	配布資料の予習(90分)	配布資料の復習(90分)
14	英文法と英語の運用について(13)英文の構造の注意すべき点	配布資料の予習(90分)	配布資料の復習(90分)
15	総復習(既習事項の復習)	配布資料の予習(90分)	配布資料の復習(90分)
16	定期試験。60分の試験終了後、30分で解説を行う。	Unit1・2 全体、配布資料の確認(90分)	Unit1・2 全体、配布資料の確認(90分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習 (所要時間)	事後学習 (所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	1 Q	授業形態	講義	必修・選択	
科目名称	基礎英語 (SDA-4) (科目ナンバリング: ENL051020)				
授業担当者(所属・職名)			研究室所在		
単位数	2 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標																								
授業の位置づけ																								
到達目標																								
授業全体の内容と概要																								
授業の方法																								
アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>P B L</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		P B L		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		P B L																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	
履修上の注意事項																								
資格指定科目																								

評価方法・基準

評価前提条件					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	1Q	授業形態	講義 必修・選択
科目名称	基礎英語 (SDA-4) (科目ナンバリング: ENL051020)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	2 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	1 Q	授業形態	講義	必修・選択	
科目名称	基礎英語 (SDA-5) (科目ナンバリング: ENL051020)				
授業担当者(所属・職名)		研究室所在			
単位数	2 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目		左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

概要

履修目標																								
授業の位置づけ																								
到達目標																								
授業全体の内容と概要																								
授業の方法																								
アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>P B L</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		P B L		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		P B L																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	
履修上の注意事項																								
資格指定科目																								

評価方法・基準

評価前提条件					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	1Q	授業形態	講義 必修・選択
科目名称	基礎英語 (SDA-5) (科目ナンバリング: ENL051020)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	2 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	後期	授業形態	講義	必修・選択	
科目名称	基礎英語（遠隔留学）（科目ナンバリング：ENL051020）				
授業担当者（所属・職名）		研究室所在			
単位数	2	（単位認定責任者：）	CAP制		
実務経験のある教員の授業科目		左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

概要

履修目標																								
授業の位置づけ																								
到達目標																								
授業全体の内容と概要																								
授業の方法																								
アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他（授業の方法参照）</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他（授業の方法参照）
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他（授業の方法参照）																	
履修上の注意事項																								
資格指定科目																								

評価方法・基準

評価前提条件					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当		
開講時期	後期	授業形態	講義	必修・選択
科目名称	基礎英語（遠隔留学（科目ナンバリング：ENL051020））			
授業担当者（所属・職名）		研究室所在		
単位数	2（単位認定責任者：）	CAP制		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習（所要時間）	事後学習（所要時間）
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習（所要時間）	事後学習（所要時間）
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	社会福祉学科・1年、デザイン学科・1年、建		
開講時期	1Q	授業形態		必修・選択	必修
科目名称	基礎英語 (SDA-6) (科目ナンバリング:)				
授業担当者(所属・職名)	井坂 肇(経営学科・助教)		研究室所在	1号館3階	
単位数	(単位認定責任者: 井坂 肇)		CAP制		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標

英文法の基本を理解し、練習問題による練習を通して英語の運用・使い方の基礎を身につける。自ら英語で発信できるようになる。

授業の位置づけ

社会福祉学科のDP「1(2)」、「1(3)」、「2(1)」に対応する。
デザイン学科のDP「1(1)」、「1(2)」、「2(1)」に対応する。
建築学科のDP「1(1)」、「2(1)」に対応する。

到達目標
身近な英語の語彙・イディオムを習得し、英文法の基礎を理解できる。また、平素な英文の読解ができ、簡単な英文の作成ができるようになる。

授業全体の内容と概要

所定のテキストに基づき、文法事項の解説を加えながら、各項目の練習問題を解き文法事項の定着を図る。

授業の方法

講義形式で授業を行い、教科書やパワーポイントを使用しながら、じっくりと確実に反復学習を進める。文法事項の定着を図るため、小テストを行ったり復習用のプリントを配布する。英文の暗記によって英語で発信する力の向上を狙う。グループで課題に取り組み時間を設ける。

アクティブラーニングの実施方法

	プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

15分以上の遅刻は欠席とみなす。遅刻2回で欠席1回とする。授業には必ずテキストを持参すること。

資格指定科目

資格指定科目							

評価方法・基準

評価前提条件

単位認定に必要な最低出席回数は、10回以上

評価方法

定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
60%	0%	20%	0%	20%	0%

ルーブリック

評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
知識・技能	定期試験で90点以上の得点を上げた。	定期試験で80点以上の得点を上げた。	定期試験で70点以上の得点を上げた。	定期試験で60点以上の得点を上げた。	定期試験で60点をクリアすることができなかった。
思考力・判断力・表現力	基礎的な英文をしっかりと書くことができた。	基礎的な英文をほぼ正確に書くことができた。	基礎的な短い英文を大体書けた。	指示によって、基礎的な短い英文を書けた。	指示によって、基礎的な短い英文を書くことができなかった。
主体性・協働性	与えられた課題に積極的に取り組んだ。積極性や協働性に関しては期待されるレベルを大きく超えることができた。	与えられた課題に積極的に取り組んだ。積極性や協働性に関しては期待されるレベルを十分に達成することができた。	与えられた課題に積極的に取り組んだ。積極性や協働性に関しては期待されるレベルを達成することができた。	与えられた課題に積極的に取り組んだ。積極性や協働性に関しては最低限内容認めるレベルにとどまった。	与えられた課題に取り組みなかった。積極性や協働性に関して期待される最低限のレベルに到達することができなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『総合英語 FACTBOOK これからの英文法』	大西 泰斗 他	桐原書店	2017年	978-4-342-20522-4	
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等

No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『総合英語 FACTBOOK 例文完全マスター』	大西 泰斗 他	桐原書店	2019年	978-4-342-20527-9	
2	『英語表現 WORD SENSE』	大西 泰斗 他	桐原書店	2018年	978-4-342-20532-3	
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	社会福祉学科・1年、デザイン学科・1年、建		
開講時期	1Q	授業形態		必修・選択	必修
科目名称	基礎英語 (SDA-6) (科目ナンバリング:)				
授業担当者(所属・職名)	井坂 肇(経営学科・助教)		研究室所在	1号館3階	
単位数	(単位認定責任者: 井坂 肇)		CAP制		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	シラバスの説明 Chapter 1 主語・動詞・基本文型 1	Chapter 1 の予習 (90分)	授業内容復習 (90分)
2	Chapter 1 主語・動詞・基本文型 2	Chapter 1 の予習 (90分)	授業内容復習 (90分)
3	Chapter 2 時を表す表現 1	Chapter 2 の予習 (90分)	授業内容復習 (90分)
4	Chapter 2 時を表す表現 2	Chapter 2 の予習 (90分)	授業内容復習 (90分)
5	Chapter 3 助動詞 1	Chapter 3 の予習 (90分)	授業内容復習 (90分)
6	Chapter 3 助動詞 2	Chapter 3 の予習 (90分)	授業内容復習 (90分)
7	Chapter 4 受動態	Chapter 4 の予習 予習(90分)	授業内容復習 (90分)
8	Chapter 1～4の復習	Chapter 1～4の予習(90分)	授業内容復習 (90分)
9	Chapter 5 不定詞 1	Chapter 5 の予習 (90分)	授業内容復習 (90分)
10	Chapter 5 不定詞 2	Chapter 5 の予習 (90分)	授業内容復習 (90分)
11	Chapter 6 動名詞	Chapter 6 の予習 (90分)	授業内容復習 (90分)
12	Chapter 7 分詞	Chapter 7 の予習 (90分)	授業内容復習 (90分)
13	Chapter 8 比較 1	Chapter 8 の予習 (90分)	授業内容復習 (90分)
14	Chapter 8 比較 2	Chapter 8 の予習 (90分)	授業内容復習 (90分)
15	Chapter 5～8の復習 総復習・要点整理	Chapter 5～8の予習(90分)	期末試験準備 (90分)
16	期末試験(60分)・解説(30分)	期末試験準備 (90分)	期末試験内容復習 (90分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	経営学科・1年		
開講時期	4Q	授業形態	講義	必修・選択	必修
科目名称	基礎英語 (M-1) (科目ナンバリング: ENL051021)				
授業担当者(所属・職名)	信濃 吉彦(経営学科・教授)	研究室所在	2号館6階		
単位数	2 (単位認定責任者: 信濃 吉彦)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
国際化が高度に進行した現代において、国際共通言語としての英語の基礎運用を場面ごとに理解することを目的とする。具体的には翻訳アプリを併用しながら基本的なコミュニケーションを行うことができる土台(基礎会話および提携表現)を構築する。

授業の位置づけ
経営学科のDP「1(1)」、「1(4)」、「2(1)」に対応する。

到達目標
基礎英語の内容をさらに深め、「辞書さえあれば英語は大丈夫!」といった自信を持つことができる。加えて、会話力へ繋がる文法事項・表現方法を習得することができる。

授業全体の内容と概要
場面における会話の運用や日常の基礎表現を英語で行うことができるようVoiceTraを併用しながら、学習する。

授業の方法
講義形式で授業を行い、教科書やハンドアウトを利用し英語の構成について学習しながら指定アプリを活用して単語数や日常表現を増やす活動を行ってもらおう。指定翻訳アプリ: VoiceTra <VoiceTra(ボイストラ)はNICT(エヌアイシーティ: 国立研究開発法人情報通信研究機構)が、言葉の壁の克服を目指して開発したスマートフォン用の無料多言語音声翻訳アプリです。>

アクティブラーニングの実施方法						
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク	PBL
	模擬授業		ロールプレイ	○	調査学習	反転授業
○	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項
平常点を重視する。遅刻は20分までとし2回の遅刻を以って欠席1回とする。特別な理由のない20分以上の遅刻は欠席扱いとする。また中間試験の代わりに英文日記を課し、採用する。前向きな課題の提出には、加点する。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件					
講義による授業形態を採る。教科書・ノート・筆記具を持ってこない学生は欠席とする。また、教科書のない学生は評価の対象としない。12回の出席を基準とし10回の出席を確保できないものは再履修とする。平常点にはノートチェックと授業参加度を含む。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
50%	0%	20%	10%	20%	0%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
知識・技能	定期試験で90点以上の得点を挙げた。	定期試験で80点以上の得点を挙げた。	定期試験で70点以上の得点を挙げた。	定期試験で60点以上の得点を挙げた。	定期試験で60点をクリアすることができなかった。
思考力・判断力・表現力	積極的に課題に取り組み、実際の場面で必要となる読解・表現に取り組み、十分なコミュニケーション能力を獲得するための土台がほぼ完成している。	与えられた課題に取り組み、自分が出会う場面を想定しコミュニケーションをとる土台が出来つつある。	与えられた課題に取り組み、日々の生活で使用頻度の高い言葉を調べたり辞書を有効に活用してコミュニケーションの土台づくりの努力が見られる。	与えられた課題に取り組み、語彙力をつける努力は認められるがなかなか定着していないが、辞書を使うことはできる。	課題への取り組みが不十分で、語彙力の進歩が見られず、翻訳アプリがないと何もしない。
主体性	自分のみならず周囲の学生も巻き込みながら課題解決に取り組み、余った時間をさらなる語彙力・表現力の充実に振り分けている。	授業中の質問が多く、学習方法や調査結果などの相談も常であり国際言語習得に関して前向きで、努力が見られる。	積極性は乏しいものの、不明点を質問するなど前向きな姿勢がつかがわれる。	何とか課題はこなすものの、不明点を質問したりすることはなく、ノートも板書	自分から進んで国際言語を身につけようとする姿勢が見られない。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『Mr. Evineの中学英文法を修了するドリル』	Evine(恵比寿 大輔)	アルク	2019	978-4-7574-1222-4	
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	経営学科・1年		
開講時期	4 Q	授業形態	講義	必修・選択	必修
科目名称	基礎英語 (M-1) (科目ナンバリング: ENL051021)				
授業担当者(所属・職名)	信濃 吉彦(経営学科・教授)	研究室所在	2号館6階		
単位数	2 (単位認定責任者: 信濃 吉彦)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	オリエンテーション: シラバスの説明	専用のノートを準備する(90分)	自分の弱点確認(90分)
2	英語とは何か。	テキストの指定範囲を読む(90分)	ノートの作成。課題・宿題(90分)
3	英語 の総復習(自動詞と他動詞)	テキストの指定範囲を読む(90分)	ノートの作成。課題・宿題(90分)
4	日常表現(1)	テキストの指定範囲を読む(90分)	ノートの作成。課題・宿題(90分)
5	日常表現(2)	テキストの指定範囲を読む(90分)	ノートの作成。課題・宿題(90分)
6	日常表現(3)	テキストの指定範囲を読む(90分)	ノートの作成。課題・宿題(90分)
7	受身って何?(能動態と受動態)	テキストの指定範囲を読む(90分)	ノートの作成。課題・宿題(90分)
8	助動詞	テキストの指定範囲を読む(90分)	ノートの作成。課題・宿題(90分)
9	近接未来と近接過去	テキストの指定範囲を読む(90分)	ノートの作成。課題・宿題(90分)
10	基礎会話(1)	テキストの指定範囲を読む(90分)	ノートの作成。課題・宿題(90分)
11	基礎会話(2)	テキストの指定範囲を読む(90分)	ノートの作成。課題・宿題(90分)
12	関係詞(名詞の修飾あれこれ)	テキストの指定範囲を読む(90分)	ノートの作成。課題・宿題(90分)
13	分詞と不定詞	テキストの指定範囲を読む(90分)	ノートの作成。課題・宿題(90分)
14	基礎会話(3)	テキストの指定範囲を読む(90分)	ノートの作成。課題・宿題(90分)
15	レビューと慣用句	テキストの指定範囲を読む(90分)	期末試験に備える(90分)
16	試験(60分)及び授業総評(30分)	試験準備(150分)	授業内容の振り返り(90分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	経営学科・1年		
開講時期	4Q	授業形態	講義	必修・選択	必修
科目名称	基礎英語 (M-2) (科目ナンバリング: ENL051021)				
授業担当者(所属・職名)	岡島 徳昭(経営学科・特任教授)	研究室所在	1号館3階		
単位数	2 (単位認定責任者: 岡島 徳昭)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標	文法、読解、作文などの演習をとおし、英語の運用能力を向上させるとともに、異文化理解を深め、総合的なコミュニケーション能力を身につける。												
授業の位置づけ	経営学科のDP 「1(2)」、「2(1)」に対応する。												
到達目標	基礎的文法や構文を復習し、英文読解、作文力を身につけ、同時に英語によるコミュニケーション能力を高める。												
授業全体の内容と概要	英文を読み読解力、語彙力を培う。文法、構文の復習をとおし、英語運用能力の向上を図る。												
授業の方法	板書、CDを用い、「聞く」「書く」「話す」「読む」の4技能向上を目指し、学生参加型授業を展開する。中間テスト、定期試験に対する答え合わせ等のフィードバックを実施する。												
アクティブラーニングの実施方法	<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>グループワーク</td> <td>フィールドワーク</td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td>ロールプレイ</td> <td>調査学習</td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td>実験・実習・実技</td> <td>双方向授業</td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL	模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業	ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL										
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業										
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)										
履修上の注意事項	出席重視、テキスト・辞書持参												
資格指定科目													

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な最低出席回数は、10回以上。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
40%	0%	0%	40%	20%	0%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
知識・技能(発音・語彙・文法・読解等)	定期試験・中間試験で9割以上、文法・語彙に誤りがなく正確に理解していた。	定期試験・中間試験で8割以上、文法・語彙に誤りがほとんどなく大体理解できた。	定期試験・中間試験で7割以上、文法・語彙に若干誤りがあるが理解していた。	定期試験・中間試験で6割以上、文法・語彙に誤りがあり理解できない部分があった。	定期試験・中間試験で6割以下、文法・語彙に誤りが多く理解に問題があった。
思考力・判断力・表現力	表現方法が適切であり誤りがほとんどなかった。	表現方法はほぼ適切で、小さな誤りが若干ある程度だった。	誤りがあるが、表現方法において誤解を生じるほどの大きな誤りはなかった。	表現方法に誤りがあり、自分の意思を伝えることに支障をきたす点があった。	表現方法に誤りが目立ち、自分の意思が伝わらなかった。
参加型授業への取り組み姿勢	大いに意欲・関心・興味を持って授業に参加していた。クラスでの発表も多く積極的だった。	意欲・関心・興味を持って授業に参加していた。クラスでの発表に努め積極的だった。	ある程度意欲・関心・興味を持って授業に参加していた。やや積極的だった。	あまり意欲・関心・興味を感じられなかった。無難に授業を消化していた。やや積極性に欠けた。	全く意欲・関心・興味を感じられなかった。遅刻・欠席が目立った。積極性に欠けた。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『英検準2級 合格への道』	坂部俊行、岡島徳昭 他	南雲堂	2011	978-4-523	
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	経営学科・1年		
開講時期	4 Q	授業形態	講義	必修・選択	必修
科目名称	基礎英語 (M-2) (科目ナンバリング: ENL051021)				
授業担当者(所属・職名)	岡島 徳昭(経営学科・特任教授)	研究室所在	1号館3階		
単位数	2 (単位認定責任者: 岡島 徳昭)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	授業の進め方、採点に関すること、その他授業に関するガイダンス。(シラバスの説明)	シラバスを読むこと。(90分)	授業中に学んだことを復習。(90分)
2	Lesson 7 語句空所補充 読解の基礎練習 Choosing a Pet	リーディングアサシメントと単語学習。(90分)	授業中に学んだことを復習。(90分)
3	Lesson 7 語句空所補充 読解の基礎練習 Choosing a Pet	リーディングアサシメントと単語学習。(90分)	授業中に学んだことを復習。(90分)
4	Lesson 8 語句空所補充 読解の基礎練習 E-mail	リーディングアサシメントと単語学習。(90分)	授業中に学んだことを復習。(90分)
5	Lesson 8 語句空所補充 読解の基礎練習 E-mail	リーディングアサシメントと単語学習。(90分)	授業中に学んだことを復習。(90分)
6	Lesson 9 Relation- 語句空所補充 読解の基礎練習 Gaming and	リーディングアサシメントと単語学習。(90分)	授業中に学んだことを復習。(90分)
7	Lesson 9 Relation- 語句空所補充 読解の基礎練習 Gaming and	リーディングアサシメントと単語学習。(90分)	授業中に学んだことを復習。(90分)
8	中間テスト	試験の準備学習。(90分)	試験の復習。(90分)
9	Lesson 10 Birth 語句空所補充 読解の基礎練習 Music before	リーディングアサシメントと単語学習。(90分)	授業中に学んだことを復習。(90分)
10	Lesson 10 Birth 語句空所補充 読解の基礎練習 Music before	リーディングアサシメントと単語学習。(90分)	授業中に学んだことを復習。(90分)
11	Lesson 11 語句空所補充 読解の基礎練習 E-mail	リーディングアサシメントと単語学習。(90分)	授業中に学んだことを復習。(90分)
12	Lesson 11 語句空所補充 読解の基礎練習 E-mail	リーディングアサシメントと単語学習。(90分)	授業中に学んだことを復習。(90分)
13	Lesson 12 語句空所補充 読解の基礎練習 Crayola Crayo	リーディングアサシメントと単語学習。(90分)	授業中に学んだことを復習。(90分)
14	Lesson 12 語句空所補充 読解の基礎練習 Crayola Crayo	リーディングアサシメントと単語学習。(90分)	授業中に学んだことを復習。(90分)
15	全体復習 Simulation Test (P-76)	リーディングアサシメントと単語学習。(90分)	授業中に学んだことを復習。(90分)
16	総合評価 定期試験60分、解説30分	リーディングアサシメントと単語学習。(90分)	授業中に学んだことを復習。(90分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	経営学科・1年		
開講時期	4Q	授業形態	講義	必修・選択	必修
科目名称	基礎英語 (M-3) (科目ナンバリング: ENL051021)				
授業担当者(所属・職名)	石田 暁子(非常勤講師)	研究室所在	1号館1階非常勤講師室		
単位数	2 (単位認定責任者: 石田 暁子)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標	英文法の基本を理解し、練習問題による練習を通して発音と共に身につける。自ら英語で発信できるようになる。
------	---

授業の位置づけ	経営学科のDP「1(2)」「2(1)」に対応する。
---------	---------------------------

到達目標	身近な英語の語彙を覚え、文法の基礎を理解する。英文を読むことができる。
------	-------------------------------------

授業全体の内容と概要	英文法の解説、練習問題、リーディングの構成で、簡単な事柄からより高度な内容へと段階的に学んでいく。
------------	---

授業の方法	講義形式で、最重要事項は板書によって注意を促し、じっくりと確実に反復学習を進める。発音練習にも力を入れる。各自の理解度を知るため、授業では毎回できるだけ多くの学生を指名し、解答を聞く。テキストのリーディングパートについては必ず予習で翻訳しておくことを課題とし、学生は授業で自分の訳に間違いがないかどうかを確認する。最後にまとめたものを教員が最終チェックして返却する。これも評価の対象となる。
-------	---

アクティブラーニングの実施方法						
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク	PBL
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習	反転授業
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項	教科書は、前期の「基礎英語」と同じものを継続して使用する。一回目の授業から持参すること。
----------	--

資格指定科目	
--------	--

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な出席回数は、10回以上。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
40%	0%	30%	0%	30%	0%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
英文法の理解度	授業の範囲を超え、関連事項への興味があった。また自分から発信する意欲が見られる。	授業内容をほぼ理解している。	基本的な文法事項の理解はできていたが、より複雑な事項になると不安がある。	基本的な事項のみ理解できている。	基本的な事項が身につけていない。
練習問題や発音練習の参加度	積極的に参加し、授業の進行に貢献していた。	説明をよく聞き、発音練習や練習問題にも真剣に取り組んだ。ミスを指摘された際、自分で訂正することができ、向上が認められた。	発音練習や練習問題に真剣に取り組んだ。	自分の力で問題を解くことをあきらめてしまっていたが、解答を聞いた後に理解しようとする努力がみられた。	授業中の活動に集中できなかった。
課題(英文和訳)への取り組み	予め語や語句の意味を調べ、英文の訳を試みた。疑問点を自覚した上で授業に臨み、解決することができた。	予習にきめ細かさはないが、ほぼ満足な訳ができた。	毎回予習をせず、復習によって挽回を図ることもあった。	復習だけのことが多く、課題は提出したが、期限を守ることができなかった。	課題を提出しなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『英文法の基礎理解』	高橋 哲徳 他	朝日出版社	2017	978-4-255	
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『英和辞典』					
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	経営学科・1年		
開講時期	4 Q	授業形態	講義	必修・選択	必修
科目名称	基礎英語 (M-3) (科目ナンバリング: ENL051021)				
授業担当者(所属・職名)	石田 暁子(非常勤講師)		研究室所在	1号館1階非常勤講師室	
単位数	2 (単位認定責任者: 石田 暁子)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	シラバスの説明 比較の表現	テキストp.42-45 予習(90分)	授業内容復習 (90分)
2	Reading Practice 英文の日本語訳	テキストp.46 予習 (90分)	授業内容復習 (90分)
3	助動詞の基本的用法・過去形	テキストp.47-49 予習(90分)	授業内容復習 (90分)
4	Reading Practice 英文の日本語訳	テキストp.50 予習 (90分)	授業内容復習 (90分)
5	受動態	テキストp.51-53 予習(90分)	授業内容復習 (90分)
6	Reading Practice 英文の日本語訳	テキストp.54予習 (90分)	授業内容復習 (90分)
7	現在分詞と過去分詞の用法	テキストp.55-58 予習(90分)	授業内容復習 (90分)
8	Reading Practice 英文の日本語訳	テキストp.59 予習 (90分)	授業内容復習 (90分)
9	不定詞の基本と用法	テキストp.61-64 予習(90分)	授業内容復習 (90分)
10	Reading Practice 英文の日本語訳	テキストp.65 予習 (90分)	授業内容復習 (90分)
11	動名詞の基本と用法	テキストp.67-70 予習(90分)	授業内容復習 (90分)
12	Reading Practice 英文の日本語訳	テキストp.71 予習 (90分)	授業内容復習 (90分)
13	接続詞の種類・時制の一致	テキストp.73-76 予習(90分)	授業内容復習 (90分)
14	Reading Practice 英文の日本語訳	テキストp.77 予習 (90分)	授業内容復習 (90分)
15	総復習・要点整理	期末試験準備 (90分)	期末試験準備 (90分)
16	期末試験(60分)・解説(30分)	期末試験準備 (90分)	期末試験内容復習 (90分)

回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	経営学科・1年		
開講時期	3Q	授業形態	講義	必修・選択	必修
科目名称	基礎英語 (M-4) (科目ナンバリング: ENL051021)				
授業担当者(所属・職名)	井坂 肇(経営学科・助教)		研究室所在	1号館3階	
単位数	2 (単位認定責任者: 井坂 肇)		CAP制		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標																					
英文法の基本を理解し、練習問題による練習を通して英語の運用・使い方の基礎を身につける。自ら英語で発信できるようになる。																					
授業の位置づけ																					
経営学科のDP「1(2)」、「2(1)」に対応する。																					
到達目標																					
身近な英語の語彙・イディオムを習得し、英文法の基礎を理解できる。また、平素な英文の読解ができ、簡単な英文の作成ができるようになる。																					
授業全体の内容と概要																					
所定のテキストに基づき、文法事項の解説を加えながら、各項目の練習問題を解き文法事項の定着を図る。																					
授業の方法																					
講義形式で授業を行い、教科書やパワーポイントを使用しながら、じっくりと確実に反復学習を進める。文法事項の定着を図るため、小テストを行ったり復習用のプリントを配布する。英文の暗記によって英語で発信する力の向上を狙う。グループで課題に取り組む時間を設ける。																					
アクティブラーニングの実施方法																					
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>○</td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL															
模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業															
ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)															
履修上の注意事項																					
15分以上の遅刻は欠席とみなす。遅刻2回で欠席1回とする。授業には必ずテキストを持参すること。																					
資格指定科目																					

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な出席回数は、10回以上。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
60%	0%	20%	0%	20%	0%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
定期試験	定期試験で90点以上の得点を上げた。	定期試験で80点以上の得点を上げた。	定期試験で70点以上の得点を上げた。	定期試験で60点以上の得点を上げた。	定期試験で60点をクリアすることができなかった。
英文法の理解度	基礎的な英文をしっかりと書くことができた。	基礎的な英文をほぼ正確に書くことができた。	基礎的な短い英文を大体書けた。	指示によって、基礎的な短い英文を書けた。	指示によって、基礎的な短い英文を書くことができなかった。
授業に対する取り組み	与えられた課題に積極的に取り組んだ。積極性や協同性に関しては期待されるレベルを大きく超えることができた。	与えられた課題に積極的に取り組んだ。積極性や協同性に関しては期待されるレベルを十分に達成することができた。	与えられた課題に積極的に取り組んだ。積極性や協同性に関しては期待されるレベルを達成することができた。	与えられた課題に積極的に取り組んだ。積極性や協同性に関しては最低限容認できるレベルにとどまった。	与えられた課題に取り組まなかった。積極性や協同性に関しては期待される最低限のレベルに到達することができなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『総合英語 FACTBOOK これからの英文法』	大西 泰斗 他	桐原書店	2017	978-4-342-	
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『総合英語 FACTBOOK 例文完全マスター』	大西 泰斗 他	桐原書店	2019	978-4-342-	
2	『英語表現 WORD SENSE』	大西 泰斗 他	桐原書店	2018	978-4-342-	
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	経営学科・1年		
開講時期	3Q	授業形態	講義	必修・選択	必修
科目名称	基礎英語 (M-4) (科目ナンバリング: ENL051021)				
授業担当者(所属・職名)	井坂 肇(経営学科・助教)		研究室所在	1号館3階	
単位数	2 (単位認定責任者: 井坂 肇)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	シラバスの説明 Chapter 9 関係詞1	Chapter 9の予習 (90分)	授業内容復習 (90分)
2	Chapter 9 関係詞2	Chapter 9の予習 (90分)	授業内容復習 (90分)
3	Chapter 10 仮定法1	Chapter 10の予習 (90分)	授業内容復習 (90分)
4	Chapter 10 仮定法2	Chapter10の予習 (90分)	授業内容復習 (90分)
5	Chapter11 否定1	Chapter 11の予習 (90分)	授業内容復習 (90分)
6	Chapter 11 否定2	Chapter 11の予習 (90分)	授業内容復習 (90分)
7	Chapter 12 疑問詞・疑問文	Chapter 12の予習 (90分)	授業内容復習 (90分)
8	Chapter 9～12の復習	Chapter 9～12の予習(90分)	授業内容復習 (90分)
9	Chapter 13 強調・倒置・省略・話法など	Chapter 13の予習 (90分)	授業内容復習 (90分)
10	Chapter 14 名詞	Chapter 14の予習 (90分)	授業内容復習 (90分)
11	Chapter 15 形容詞	Chapter 15の予習 (90分)	授業内容復習 (90分)
12	Chapter 16 副詞	Chapter 16の予習 (90分)	授業内容復習 (90分)
13	Chapter 17 前置詞	Chapter 17の予習 (90分)	授業内容復習 (90分)
14	Chapter 18 接続詞	Chapter 18の予習 (90分)	授業内容復習 (90分)
15	Chapter 14～18の復習 総復習・要点整理	Chapter 14～18の予習(90分)	期末試験準備 (90分)
16	期末試験(60分)・解説(30分)	期末試験準備 (90分)	期末試験内容復習 (90分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	社会福祉学科・1年、デザイン学科・1年、建		
開講時期	3Q	授業形態	講義	必修・選択	必修
科目名称	基礎英語 (SDA-1) (科目ナンバリング: ENL051021)				
授業担当者(所属・職名)	西崎 毅(社会福祉学科・特任教授)	研究室所在	2号館6階		
単位数	2 (単位認定責任者: 西崎 毅)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	高等学校の英語科教諭、英語教育改革に係る指導行政担当者としての経験及び国際交流に関する実務経験を活用し、英語の基礎事項を講義する。		

概要

履修目標
英語の統語構造を理解するとともに、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付ける。目的や場面、状況などに応じて情報や考えなどを理解し、表現し、伝えあうことができる力を身に付ける。主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付ける。

授業の位置づけ
社会福祉学科のDP「1(2)と(3)」、「2(1)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(2)と(3)」、「2(1)」に対応する。 建築学科のDP「1(1)」、「2(1)」に対応する。

到達目標
英語の5つの文型についてその概要を理解できる。 修飾語・句・節についてその概要を理解できる。 英語で簡単な説明を行うことができる。英語を読んだり聞いたりしてその概要を理解することができる。

授業全体の内容と概要
英語がどのような構造で成立しているのか、その法則性はどのようになっているのかについて理解し、相手が発する英語を理解したり、自分の考えを英語で表現したりすることができる能力を育成するために必要な事項を説明するとともに、知識や技能の定着のための演習を行う。英語の四技能をバランスよく育成するため、リスニングの演習や発表活動等を行う。学修集団の英語への興味・関心・習熟度等により、シラバスに記載した学修内容を再構成する場合がある。

授業の方法
授業は原則として英語で行うほか、毎回リスニング演習を行う。一方的な講義とならないよう、学生による発表やグループ活動を行う。学生の理解に資するよう、プリントや教材提示装置を活用して説明を行う。学修内容の確実な定着を図るため、毎時間質問の時間を設定する。課題や発表に対しては口頭及びコメントにて評価のフィードバックを行う。要望については口頭及びメール等で対応する。

アクティブラーニングの実施方法												
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>グループワーク</td> <td>フィールドワーク</td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td>ロールプレイ</td> <td>調査学習</td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td>実験・実習・実技</td> <td>双方向授業</td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL	模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業	ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL									
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業									
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)									

履修上の注意事項
○講義の前に行う学修課題を課すので真剣に取り組むこと。 プリント類は、ファイル等に綴って適切に管理し、学修に役立てること。 欠席した場合は、Microsoft Teams上に格納したファイルを活用しプリント等を入力すること。 講義中の私語・居眠り等は厳に慎むこと。 講義中のスマートフォン等の使用は英語の検索など英語学習に関わるものに限定する。 講義開始のチャイム後、教員入室以降の入室は、すべて「遅刻」の扱いとする。 講義開始時間までに用便を済ませておくこと。 30分以上の「遅刻」は、「欠席」扱いとする。 受講姿勢及び課題の実施状況はすべて点数化・集積し、評価に活用する。 S評価は全体の10%、S評価とA評価を合わせて40%以内となっている。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
単位認定に必要な最低出席回数は11回。												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>60%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>40%</td> <td>0%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	60%	0%	0%	0%	40%	0%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
60%	0%	0%	0%	40%	0%							

ルーブリック																													
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間に差があるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> <tr> <td>知識・技能</td> <td>定期試験で9割以上の得点を上げた。</td> <td>定期試験で8割以上の得点を上げた。</td> <td>定期試験で7割以上の得点を上げた。</td> <td>定期試験で6割以上の得点を上げた。</td> <td>定期試験で得点が6割に満たなかった。</td> </tr> <tr> <td>思考力・判断力・表現力等</td> <td>与えられた課題に積極的に取り組んだ。英語を使用したコミュニケーションに関して求められるレベルを大きく超えることができた。</td> <td>与えられた課題に取り組んだ。英語を使用したコミュニケーションに関して期待されるレベルを十分に達成することができた。</td> <td>与えられた課題に取り組んだ。英語を使用したコミュニケーションに関して期待されるレベルを達成することができた。</td> <td>与えられた課題に取り組んだ。英語を使用したコミュニケーションに関しては最低限期待できるレベルにとどまった。</td> <td>与えられた課題に取り組まなかった。英語を使用したコミュニケーションに関して期待される最低限のレベルに到達することができなかった。</td> </tr> <tr> <td>主体性・多様性・協働性</td> <td>与えられた課題に積極的に取り組んだ。積極性や協働性に関しては期待されるレベルを大きく超えることができた。</td> <td>与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関して期待されるレベルを十分に達成することができた。</td> <td>与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関して期待されるレベルを達成することができた。</td> <td>与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関しては最低限期待できるレベルにとどまった。</td> <td>与えられた課題に取り組まなかった。積極性や協働性に関して期待される最低限のレベルに到達することができなかった。</td> </tr> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間に差があるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	知識・技能	定期試験で9割以上の得点を上げた。	定期試験で8割以上の得点を上げた。	定期試験で7割以上の得点を上げた。	定期試験で6割以上の得点を上げた。	定期試験で得点が6割に満たなかった。	思考力・判断力・表現力等	与えられた課題に積極的に取り組んだ。英語を使用したコミュニケーションに関して求められるレベルを大きく超えることができた。	与えられた課題に取り組んだ。英語を使用したコミュニケーションに関して期待されるレベルを十分に達成することができた。	与えられた課題に取り組んだ。英語を使用したコミュニケーションに関して期待されるレベルを達成することができた。	与えられた課題に取り組んだ。英語を使用したコミュニケーションに関しては最低限期待できるレベルにとどまった。	与えられた課題に取り組まなかった。英語を使用したコミュニケーションに関して期待される最低限のレベルに到達することができなかった。	主体性・多様性・協働性	与えられた課題に積極的に取り組んだ。積極性や協働性に関しては期待されるレベルを大きく超えることができた。	与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関して期待されるレベルを十分に達成することができた。	与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関して期待されるレベルを達成することができた。	与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関しては最低限期待できるレベルにとどまった。	与えられた課題に取り組まなかった。積極性や協働性に関して期待される最低限のレベルに到達することができなかった。
評価項目		評価基準																											
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間に差があるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																								
知識・技能	定期試験で9割以上の得点を上げた。	定期試験で8割以上の得点を上げた。	定期試験で7割以上の得点を上げた。	定期試験で6割以上の得点を上げた。	定期試験で得点が6割に満たなかった。																								
思考力・判断力・表現力等	与えられた課題に積極的に取り組んだ。英語を使用したコミュニケーションに関して求められるレベルを大きく超えることができた。	与えられた課題に取り組んだ。英語を使用したコミュニケーションに関して期待されるレベルを十分に達成することができた。	与えられた課題に取り組んだ。英語を使用したコミュニケーションに関して期待されるレベルを達成することができた。	与えられた課題に取り組んだ。英語を使用したコミュニケーションに関しては最低限期待できるレベルにとどまった。	与えられた課題に取り組まなかった。英語を使用したコミュニケーションに関して期待される最低限のレベルに到達することができなかった。																								
主体性・多様性・協働性	与えられた課題に積極的に取り組んだ。積極性や協働性に関しては期待されるレベルを大きく超えることができた。	与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関して期待されるレベルを十分に達成することができた。	与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関して期待されるレベルを達成することができた。	与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関しては最低限期待できるレベルにとどまった。	与えられた課題に取り組まなかった。積極性や協働性に関して期待される最低限のレベルに到達することができなかった。																								

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td>『基礎英語』で使用したテキストを継続使用する。</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1	『基礎英語』で使用したテキストを継続使用する。						2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1	『基礎英語』で使用したテキストを継続使用する。																																									
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	社会福祉学科・1年、デザイン学科・1年、建		
開講時期	3Q	授業形態	講義	必修・選択	必修
科目名称	基礎英語 (SDA-1) (科目ナンバリング: ENL051021)				
授業担当者(所属・職名)	西崎 毅(社会福祉学科・特任教授)	研究室所在	2号館6階		
単位数	2 (単位認定責任者: 西崎 毅)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	高等学校の英語科教諭、英語教育改革に係る指導行政担当者としての経験及び国際交流に関する実務経験を活用し、英語の基礎事項を講義する。		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	オリエンテーション(シラバスの説明含む) 5文型の復習 リスニング・リーディング活動	英語についての自己の課題を考えておくこと。(90分)	本時に課された事後課題を行い次時に提出すること。(90分)
2	5文型の復習 リスニング・リーディング活動	前時に課された事前課題を行い提出すること。(90分)	本時に課された事後課題を行い次時に提出すること。(90分)
3	5文型の復習 リスニング・リーディング活動	前時に課された事前課題を行い提出すること。(90分)	本時に課された事後課題を行い次時に提出すること。(90分)
4	準動詞 リスニング・リーディング活動	前時に課された事前課題を行い提出すること。(90分)	本時に課された事後課題を行い次時に提出すること。(90分)
5	準動詞 リスニング・リーディング活動	前時に課された事前課題を行い提出すること。(90分)	本時に課された事後課題を行い次時に提出すること。(90分)
6	準動詞 リスニング・リーディング・パフォーマンス活動	前時に課された事前課題を行い提出すること。(90分)	本時に課された事後課題を行い次時に提出すること。(90分)
7	準動詞 リスニング・リーディング・パフォーマンス活動	前時に課された事前課題を行い提出すること。(90分)	本時に課された事後課題を行い次時に提出すること。(90分)
8	接続詞 リスニング・リーディング・パフォーマンス活動	前時に課された事前課題を行い提出すること。(90分)	本時に課された事後課題を行い次時に提出すること。(90分)
9	接続詞 リスニング・リーディング・パフォーマンス活動	前時に課された事前課題を行い提出すること。(90分)	本時に課された事後課題を行い次時に提出すること。(90分)
10	接続詞 リスニング・リーディング・パフォーマンス活動	前時に課された事前課題を行い提出すること。(90分)	本時に課された事後課題を行い次時に提出すること。(90分)
11	接続詞 リスニング・リーディング・パフォーマンス活動	前時に課された事前課題を行い提出すること。(90分)	事後課題を行い次時に提出すること。(90分)
12	関係詞 リスニング・リーディング・パフォーマンス活動	前時に課された事前課題を行い提出すること。(90分)	本時に課された事後課題を行い次時に提出すること。(90分)
13	関係詞 リスニング・リーディング・パフォーマンス活動	前時に課された事前課題を行い提出すること。(90分)	本時に課された事後課題を行い次時に提出すること。(90分)
14	関係詞 リスニング・リーディング・パフォーマンス活動	前時に課された事前課題を行い提出すること。(90分)	本時に課された事後課題を行い次時に提出すること。(90分)
15	関係詞 リスニング・リーディング・パフォーマンス活動	前時に課された事前課題を行い提出すること。(90分)	前回までの学修内容を復習すること。(90分)
16	60分の試験終了後、残りの30分で解説を行う。	前回までの学修内容を復習すること。(90分)	試験結果を参考に自らの学修姿勢を評価すること。(90分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	社会福祉学科・1年、デザイン学科・1年、建		
開講時期	3Q	授業形態	講義	必修・選択	必修
科目名称	基礎英語 (SDA-2) (科目ナンバリング: ENL051021)				
授業担当者(所属・職名)	宮嶋 達也(デザイン学科・准教授)	研究室所在	2号館4階		
単位数	2 (単位認定責任者: 宮嶋 達也)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
グローバル化に対応するため「外国語」を学ぶための科目であり、基本的な文法やリスニングなどの知識に絞って学習していきます。文法ベースで初級から徐々に積み上げることで、最終的にはコミュニケーションに生かせる力をしっかりと身につけていき、実用的なコミュニケーションの場面にふさわしい基本的な語彙や表現を用いることができます。

授業の位置づけ
デザイン学科のDP「1(1)」、「(3)」、「2(1)」、「(3)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(2)」、「2(1)」に対応する。 建築学科のDP「1(1)」、「2(1)」、「(3)」に対応する。

到達目標
文法やリスニングを中心にやさしい英語で書かれた英文での練習を通して、英語の文がどのような構成要素から成り立っているのかを明確に把握する。リスニングに最低限必要な語彙力、文法力を身につけて、スピーキング、ライティングなどのアウトプットへの発展を意識して、バランスのとれた4技能の習得を目指す。

授業全体の内容と概要
リスニング(音声インプット)を中心に基本的な英語コミュニケーション能力を身につけることを目的とします。英語リスニングに最低限必要な語彙力や文法力を身につけながら、リスニングの訓練に取り組みます。英語を聴きながら、常に意味と文法を意識して聴くよう練習する。教材中の表現を利用したコミュニケーション演習も行う。

授業の方法
授業では視聴覚メディアを活用し、英語によるコミュニケーションへ接続するための運用能力を身に付けることを目的とする。テキストの練習問題を解き、疑問点などは個々に対応、或いはクラス全体への解答を解説し学生へのフィードバックを行う。授業中の発表やペアやグループワーク、ロールプレイでの活動を取り入れるので積極的に授業に参加してください。授業外でも普段から英語の音声を聞く習慣をつけ、音声による英語のインプットを心がける。

アクティブラーニングの実施方法																					
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>○</td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td>○</td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL	模擬授業	○	ロールプレイ		調査学習		反転授業	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL															
模擬授業	○	ロールプレイ		調査学習		反転授業															
ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)															

履修上の注意事項
15分以上の遅刻は欠席とみなします。遅刻2回で欠席1回とします。授業には必ずテキスト、辞書を持参すること。テキストを忘れ、授業前に申し出ない場合は欠席扱いとする。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
単位認定の必要となる最低出席回数は10回以上とする。												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>50%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>30%</td> <td>20%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	50%	0%	0%	0%	30%	20%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
50%	0%	0%	0%	30%	20%							

ルーブリック																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>理解度</td> <td>授業内容を超えた学修が認められる</td> <td>授業内容を十分に理解している</td> <td>授業内容を理解している</td> <td>授業内容の理解に不足がある</td> <td>授業内容を理解していない</td> </tr> <tr> <td>英語表現能力(スピーキング)</td> <td>優れた創造的表現を行うことができる</td> <td>文献等を参考としながら、創造的表現を行うことができる</td> <td>自在に定型的表現を行うことができる</td> <td>与えられた条件を満たした最低限度の表現を行うことができる</td> <td>与えられた条件を満たした最低限度の表現を行うことができない</td> </tr> <tr> <td>積極性</td> <td>授業全体の流れを理解し、質問・問題提起により授業展開に貢献する</td> <td>授業全体の流れを理解し、発問に対して積極的に応じる</td> <td>発問に対して、指名されれば正しく応じることができる</td> <td>授業に集中して理解しようとする態度が見られる</td> <td>授業に集中できず、授業放棄の態度が見られる</td> </tr> <tr> <td>事前・事後学修</td> <td>自ら進んで学修範囲を超えて調べている</td> <td>学修範囲を十分に調べて、授業内容を他人に説明できる</td> <td>学修範囲の理解に曖昧な点がある</td> <td>指示された範囲の事前・事後学修はするが、理解が不十分である</td> <td>指示された範囲の事前・事後学修をほとんどせず理解が不十分である。</td> </tr> <tr> <td>リスニング技能</td> <td>授業内で取り扱った単語・表現を完璧に習得し、リスニング技能を問題なく正確に運用できる</td> <td>授業内で取り扱った単語・表現の大部分を習得し、リスニング技能を正確に運用できる。</td> <td>授業内で取り扱った単語・表現の大部分を習得し、リスニング技能をほぼ正確に運用できる。</td> <td>授業内で取り扱った単語・表現を部分的に習得しているが、リスニング技能の運用に不適切な部分が見受けられる。</td> <td>授業内で取り扱った単語・表現の習得が不十分であり、リスニング技能の運用に不正確さが目立つ。</td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	理解度	授業内容を超えた学修が認められる	授業内容を十分に理解している	授業内容を理解している	授業内容の理解に不足がある	授業内容を理解していない	英語表現能力(スピーキング)	優れた創造的表現を行うことができる	文献等を参考としながら、創造的表現を行うことができる	自在に定型的表現を行うことができる	与えられた条件を満たした最低限度の表現を行うことができる	与えられた条件を満たした最低限度の表現を行うことができない	積極性	授業全体の流れを理解し、質問・問題提起により授業展開に貢献する	授業全体の流れを理解し、発問に対して積極的に応じる	発問に対して、指名されれば正しく応じることができる	授業に集中して理解しようとする態度が見られる	授業に集中できず、授業放棄の態度が見られる	事前・事後学修	自ら進んで学修範囲を超えて調べている	学修範囲を十分に調べて、授業内容を他人に説明できる	学修範囲の理解に曖昧な点がある	指示された範囲の事前・事後学修はするが、理解が不十分である	指示された範囲の事前・事後学修をほとんどせず理解が不十分である。	リスニング技能	授業内で取り扱った単語・表現を完璧に習得し、リスニング技能を問題なく正確に運用できる	授業内で取り扱った単語・表現の大部分を習得し、リスニング技能を正確に運用できる。	授業内で取り扱った単語・表現の大部分を習得し、リスニング技能をほぼ正確に運用できる。	授業内で取り扱った単語・表現を部分的に習得しているが、リスニング技能の運用に不適切な部分が見受けられる。	授業内で取り扱った単語・表現の習得が不十分であり、リスニング技能の運用に不正確さが目立つ。
評価項目		評価基準																																							
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
理解度	授業内容を超えた学修が認められる	授業内容を十分に理解している	授業内容を理解している	授業内容の理解に不足がある	授業内容を理解していない																																				
英語表現能力(スピーキング)	優れた創造的表現を行うことができる	文献等を参考としながら、創造的表現を行うことができる	自在に定型的表現を行うことができる	与えられた条件を満たした最低限度の表現を行うことができる	与えられた条件を満たした最低限度の表現を行うことができない																																				
積極性	授業全体の流れを理解し、質問・問題提起により授業展開に貢献する	授業全体の流れを理解し、発問に対して積極的に応じる	発問に対して、指名されれば正しく応じることができる	授業に集中して理解しようとする態度が見られる	授業に集中できず、授業放棄の態度が見られる																																				
事前・事後学修	自ら進んで学修範囲を超えて調べている	学修範囲を十分に調べて、授業内容を他人に説明できる	学修範囲の理解に曖昧な点がある	指示された範囲の事前・事後学修はするが、理解が不十分である	指示された範囲の事前・事後学修をほとんどせず理解が不十分である。																																				
リスニング技能	授業内で取り扱った単語・表現を完璧に習得し、リスニング技能を問題なく正確に運用できる	授業内で取り扱った単語・表現の大部分を習得し、リスニング技能を正確に運用できる。	授業内で取り扱った単語・表現の大部分を習得し、リスニング技能をほぼ正確に運用できる。	授業内で取り扱った単語・表現を部分的に習得しているが、リスニング技能の運用に不適切な部分が見受けられる。	授業内で取り扱った単語・表現の習得が不十分であり、リスニング技能の運用に不正確さが目立つ。																																				

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>『Live Escalate Base camp』</td> <td>Teruhiko Kadoyama</td> <td>成美堂</td> <td>2021</td> <td>9784791972210</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1	『Live Escalate Base camp』	Teruhiko Kadoyama	成美堂	2021	9784791972210		2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1	『Live Escalate Base camp』	Teruhiko Kadoyama	成美堂	2021	9784791972210																																					
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	社会福祉学科・1年、デザイン学科・1年、建		
開講時期	3 Q	授業形態	講義	必修・選択	必修
科目名称	基礎英語 (SDA-2) (科目ナンバリング: ENL051021)				
授業担当者(所属・職名)	宮嶋 達也(デザイン学科・准教授)	研究室所在	2号館4階		
単位数	2 (単位認定責任者: 宮嶋 達也)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	U7 Eating Out ・Practicing how to order a meal in a restaurant	シラバスを参照しながらテキスト内容を理解する。(90分)	授業各回のテーマを理解しておくこと。(90分)
2	U8 At the Supermarket ・ Giving directions	今回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習する。(90分)
3	Future Tense Be Going To Modal Verbs	今回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習する。(90分)
4	関係詞(1)	今回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習する。(90分)
5	関係詞(2)	今回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習する。(90分)
6	U9 Hobbies Talking about what people do in their free time	今回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習する。(90分)
7	U10 Shop Till You Drop Introducing clothes and accessories Talking about the benefits of online shopping	今回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習する。(90分)
8	Linking Verbs Possessive Pronouns Passive Voice	今回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習する。(90分)
9	完了形(1)	今回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習する。(90分)
10	完了形(2)	今回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習する。(90分)
11	U11 Going on Vacation ・Talking about trip plans	今回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習する。(90分)
12	U12 Sports ・Talking about one's favorite sports	今回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習する。(90分)
13	Quantity Pronouns Indefinite Pronouns Comparative and Superlative	今回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習する。(90分)
14	不定詞・動名詞(1)	今回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習する。(90分)
15	Review 2	今回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習する。(90分)
16	Final Exam. 60分の試験終了後、残りの30分で解説。	試験範囲の復習。(90分)	授業で説明を受けた解説を復習。(90分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	社会福祉学科・1年、デザイン学科・1年、建築		
開講時期	3 Q	授業形態	講義	必修・選択	必修
科目名称	基礎英語 (SDA-3) (科目ナンバリング: ENL051021)				
授業担当者(所属・職名)	横田 肇 (社会福祉学科・准教授)	研究室所在	2号館7階		
単位数	2 (単位認定責任者: 横田 肇)	CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標	学生が英語の基本的な文法を習得し、英語の運用・使い方の基礎を理解する。合わせて、グローバル化の中でのコミュニケーションについて理解する。																					
授業の位置づけ	社会福祉学科のDP「1(2)と(3)と(5)」、「2(1)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(1)」、「2(1)と(3)」に対応する。 建築学科のDP「1(1)」、「2(1)と(3)」に対応する。																					
到達目標	学生が英語の語彙・イディオムの習得、英文法・運用の基礎的理解と習得ができています。また、平易な英文の読解ができ、簡単な英文の作成ができる能力を身に付けています。																					
授業全体の内容と概要	毎回、テキストに即し、英文法の各項目の練習問題を解き、合わせて関連する読解、作文の練習問題を解く。同時に、必要最小限の説明を加えていく。																					
授業の方法	毎回、テキストに即し、パワーポイントと板書、配布資料により各項目の全体的な説明(一言)を行ない、その後、個人・グループワークによる練習問題(課題)の解答を行う。解答後にグループごと、個人ごとに課題の提出を求める。授業の最後にその回と前回の課題へのフィードバック(コメント)と課外学習(宿題)についての指示を行う。																					
アクティブラーニングの実施方法	<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>○</td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>○ ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td>○</td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業	○ ディスカッション		実験・実習・実技	○	双方向授業		その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL																
模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																
○ ディスカッション		実験・実習・実技	○	双方向授業		その他(授業の方法参照)																
履修上の注意事項	欠席、遅刻をしないように留意する。																					
資格指定科目																						

評価方法・基準

評価前提条件	単位認定に必要な最低出席回数は11回以上。					
評価方法	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
	60%	0%	0%	20%	20%	0%

ルーブリック	評価基準				
評価項目	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
英文法の基礎力	英文法の基礎が完全に理解できており、十分に活用することができた。	英文法の基礎がほぼ理解できており、ある程度活用することができた。	英文法の基礎が大体理解できた。	指示によって英文法の基礎の必要最低限の部分が理解できた。	指示によって英文法の基礎の必要最低限の部分が理解できなかった。
英文読解の能力	テキスト内の英文が完全に理解でき、十分に活用することができた。	テキスト内の英文がほぼ理解でき、ある程度活用することができた。	テキスト内の英文の基礎的な部分が理解できた。	指示によってテキスト内の英文の基礎的な部分が理解できた。	指示によってテキスト内の英文の基礎的な部分が理解できなかった。
英作文の能力	基礎的な英文を正確にしっかりと書くことができた。	基礎的な英文をほぼ正確に書くことができた。	基礎的な短い英文を大体書けた。	指示によって基礎的な短い英文を書けた。	指示によって基礎的な短い英文を書けなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『Simply Grammar 改訂版』	K.Saito	南雲堂	2017	978-4-523-17831-6	
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						適宜指示
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	社会福祉学科・1年、デザイン学科・1年、建築		
開講時期	3Q	授業形態	講義	必修・選択	必修
科目名称	基礎英語 (SDA-3) (科目ナンバリング: ENL051021)				
授業担当者(所属・職名)	横田 肇 (社会福祉学科・准教授)	研究室所在	2号館7階		
単位数	2 (単位認定責任者: 横田 肇)	CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	シラバスの説明 ガイダンス	シラバスを読んでおく(90分)	Unit 3 練習問題の予習(90分)
2	英文法と英語の運用について(1) 未来形	Unit 3 練習問題の予習(90分)	Unit 3 練習問題の復習(90分)
3	英文法と英語の運用について(2) 未来形	Unit 3 練習問題の予習(90分)	Unit 3 練習問題の復習(90分)
4	英文法と英語の運用について(3) 助動詞	Unit 4 練習問題の予習(90分)	Unit 4 練習問題の復習(90分)
5	英文法と英語の運用について(4) 助動詞	Unit 4 練習問題の予習(90分)	Unit 4 練習問題の復習(90分)
6	英文法と英語の運用について(5) 冠詞	Unit 5 練習問題の予習(90分)	Unit 5 練習問題の復習(90分)
7	英文法と英語の運用について(6) 冠詞	Unit 5 練習問題の予習(90分)	Unit 5 練習問題の復習(90分)
8	英文法と英語の運用について(7) 代名詞	Unit 6 練習問題の予習(90分)	Unit 6 練習問題の復習(90分)
9	英文法と英語の運用について(8) 前置詞	Unit 7 練習問題の予習(90分)	Unit 7 演習問題の復習(90分)
10	英文法と英語の運用について(9) 前置詞	Unit 7 練習問題の予習(90分)	Unit 7 練習問題の復習(90分)
11	英文法と英語の運用について(10) 接続詞	Unit 8 説明文の予習(90分)	Unit 8 練習問題の復習(90分)
12	英文法と英語の運用について(11) 進行形	Unit 9 説明文の予習(90分)	Unit 9 練習問題の復習(90分)
13	英文法と英語の運用について(12) 受動態	Unit 10 説明文の予習(90分)	Unit 10 練習問題の復習(90分)
14	英文法と英語の運用について(13) 完了形	Unit 11 説明文の予習(90分)	Unit 11 練習問題の復習(90分)
15	英文法と英語の運用について(14) 完了形	Unit 11 練習問題の予習(90分)	Unit 11 全体の復習(90分)
16	定期試験 60分の試験終了後、30分で解説を行う	既習事項の復習(90分)	既習事項の復習(90分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	3 Q	授業形態	講義	必修・選択	
科目名称	基礎英語 (SDA-4) (科目ナンバリング: ENL051021)				
授業担当者(所属・職名)		研究室所在			
単位数	2 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目		左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

概要

履修目標																								
授業の位置づけ																								
到達目標																								
授業全体の内容と概要																								
授業の方法																								
アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	
履修上の注意事項																								
資格指定科目																								

評価方法・基準

評価前提条件					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	3 Q	授業形態	講義	必修・選択	
科目名称	基礎英語 (SDA-4) (科目ナンバリング: ENL051021)				
授業担当者(所属・職名)			研究室所在		
単位数	2 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	3 Q	授業形態	講義	必修・選択	
科目名称	基礎英語 (SDA-5) (科目ナンバリング: ENL051021)				
授業担当者(所属・職名)		研究室所在			
単位数	2 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目		左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

概要

履修目標																								
授業の位置づけ																								
到達目標																								
授業全体の内容と概要																								
授業の方法																								
アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>P B L</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		P B L		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		P B L																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	
履修上の注意事項																								
資格指定科目																								

評価方法・基準

評価前提条件					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	3 Q	授業形態	講義 必修・選択
科目名称	基礎英語 (SDA-5) (科目ナンバリング: ENL051021)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	2 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	後期	授業形態	講義	必修・選択	
科目名称	基礎英語（遠隔留学（科目ナンバリング：ENL051021））				
授業担当者（所属・職名）		研究室所在			
単位数	2（単位認定責任者：）	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目		左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

概要

履修目標																								
授業の位置づけ																								
到達目標																								
授業全体の内容と概要																								
授業の方法																								
アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他（授業の方法参照）</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他（授業の方法参照）
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他（授業の方法参照）																	
履修上の注意事項																								
資格指定科目																								

評価方法・基準

評価前提条件					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	後期	授業形態	講義	必修・選択	
科目名称	基礎英語（遠隔留学（科目ナンバリング：ENL051021））				
授業担当者（所属・職名）		研究室所在			
単位数	2	（単位認定責任者：）	CAP制		
実務経験のある教員の授業科目		左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習（所要時間）	事後学習（所要時間）
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習（所要時間）	事後学習（所要時間）
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	社会福祉学科・1年、デザイン学科・1年、建築		
開講時期	3 Q	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎英語 (SDA-6) (科目ナンバリング:)				
授業担当者(所属・職名)	井坂 肇(経営学科・助教)	研究室所在	1号館3階		
単位数	(単位認定責任者: 井坂 肇)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標

英文法の基本を理解し、練習問題による練習を通して英語の運用・使い方の基礎を身につける。自ら英語で発信できるようになる。

授業の位置づけ

社会福祉学科のDP「1(2)」、「1(3)」、「2(1)」に対応する。
デザイン学科のDP「1(1)」、「1(2)」、「2(1)」に対応する。
建築学科のDP「1(1)」、「2(1)」に対応する。

到達目標
身近な英語の語彙・イディオムを習得し、英文法の基礎を理解できる。また、平素な英文の読解ができ、簡単な英文の作成ができるようになる。

授業全体の内容と概要

所定のテキストに基づき、文法事項の解説を加えながら、各項目の練習問題を解き文法事項の定着を図る。

授業の方法

講義形式で授業を行い、教科書やパワーポイントを使用しながら、じっくりと確実に反復学習を進める。文法事項の定着を図るため、小テストを行ったり復習用のプリントを配布する。英文の暗記によって英語で発信する力の向上を狙う。グループで課題に取り組み時間を設ける。

アクティブラーニングの実施方法

プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL
模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業
ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

15分以上の遅刻は欠席とみなす。遅刻2回で欠席1回とする。授業には必ずテキストを持参すること。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な最低出席回数は、10回以上					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
60%	0%	20%	0%	20%	0%

ルーブリック

評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
知識・技能	定期試験で90点以上の得点を上げた。	定期試験で80点以上の得点を上げた。	定期試験で70点以上の得点を上げた。	定期試験で60点以上の得点を上げた。	定期試験で60点をクリアすることができなかった。
思考力・判断力・表現力	基礎的な英文をしっかりと書くことができた。	基礎的な英文をほぼ正確に書くことができた。	基礎的な短い英文を大体書けた。	指示によって、基礎的な短い英文を書けた。	指示によって、基礎的な短い英文を書くことができなかった。
主体性・協働性	与えられた課題に積極的に取り組んだ。積極性や協働性に関しては期待されるレベルを大きく超えることができた。	与えられた課題に積極的に取り組んだ。積極性や協働性に関しては期待されるレベルを十分に達成することができた。	与えられた課題に積極的に取り組んだ。積極性や協働性に関しては期待されるレベルを達成することができた。	与えられた課題に積極的に取り組んだ。積極性や協働性に関しては最低限内容に達するレベルにとどまった。	与えられた課題に取り組まなかった。積極性や協働性に関して期待されるレベルに到達することができなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『総合英語 FACTBOOK これからの英文法』	大西 泰斗 他	桐原書店	2017年	978-4-342-20522-4	
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等

No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『総合英語 FACTBOOK 例文完全マスター』	大西 泰斗 他	桐原書店	2019年	978-4-342-20527-9	
2	『英語表現 WORD SENSE』	大西 泰斗 他	桐原書店	2018年	978-4-342-20532-3	
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	社会福祉学科・1年、デザイン学科・1年、建築		
開講時期	3Q	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎英語 (SDA-6) (科目ナンバリング:)				
授業担当者(所属・職名)	井坂 肇(経営学科・助教)	研究室所在	1号館3階		
単位数	(単位認定責任者: 井坂 肇)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	シラバスの説明 Chapter 9 関係詞1	Chapter 9の予習 (90分)	授業内容復習 (90分)
2	Chapter 9 関係詞2	Chapter 9の予習 (90分)	授業内容復習 (90分)
3	Chapter 10 仮定法1	Chapter 10の予習 (90分)	授業内容復習 (90分)
4	Chapter 10 仮定法2	Chapter10の予習 (90分)	授業内容復習 (90分)
5	Chapter11 否定1	Chapter 11の予習 (90分)	授業内容復習 (90分)
6	Chapter 11 否定2	Chapter 11の予習 (90分)	授業内容復習 (90分)
7	Chapter 12 疑問詞・疑問文	Chapter 12の予習 (90分)	授業内容復習 (90分)
8	Chapter 9～12の復習	Chapter 9～12の予習(90分)	授業内容復習 (90分)
9	Chapter 13 強調・倒置・省略・話法など	Chapter 13の予習 (90分)	授業内容復習 (90分)
10	Chapter 14 名詞	Chapter 14の予習 (90分)	授業内容復習 (90分)
11	Chapter 15 形容詞	Chapter 15の予習 (90分)	授業内容復習 (90分)
12	Chapter 16 副詞	Chapter 16の予習 (90分)	授業内容復習 (90分)
13	Chapter 17 前置詞	Chapter 17の予習 (90分)	授業内容復習 (90分)
14	Chapter 18 接続詞	Chapter 18の予習 (90分)	授業内容復習 (90分)
15	Chapter 14～18の復習 総復習・要点整理	Chapter 14～18の予習(90分)	期末試験準備 (90分)
16	期末試験(60分)・解説(30分)	期末試験準備 (90分)	期末試験内容復習 (90分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	経営学科・2年		
開講時期	2Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	英語入門 (M) (科目ナンバリング: ENL052022)				
授業担当者(所属・職名)	石田 暁子(非常勤講師)		研究室所在	1号館1階非常勤講師室	
単位数	2 (単位認定責任者: 石田 暁子)		CAP制		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
英文法の基本を身に付けし、ビジネスでも使われるものを含め、理解できる語彙を増やす。音声変化に慣れることにより、リスニングの能力をつける。

授業の位置づけ
経営学科のDP「1(2)」、「2(1)」に対応する。

到達目標
今後の英語学習の土台となるよう、語彙、文法、発音面での英語の基本を身に付ける。

授業全体の内容と概要
各ユニットはリーディング、文法、リスニングの3つのセクションで構成されている。ビジネスに関する内容を取り上げているため、「ビジネス英語」への橋渡しにもなっている。

授業の方法
講義形式で、最重要事項は板書によって注意を促し、じっくりと確実に反復学習を進める。発音練習にも力を入れる。各自の理解度を知るため、授業では毎回できるだけ多くの学生を指名し、解答を聞く。テキストのリーディングパートについては、必ず予習で翻訳してくることを課題とする。学生は授業で自分の訳に間違いがないかどうかを確認し、最後にまとめたものを教員が最終チェックして返却する。これも評価の対象となる。

アクティブラーニングの実施方法						
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク	PBL
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習	反転授業
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項
教科書を必ず用意し、予習をしてこよう。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な出席回数は、10回以上。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
40%	0%	30%	0%	30%	0%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
授業内容(語彙・文法・音声変化等)の理解度	授業の範囲を超え、関連事項への興味があった。また、自分から発信する意欲が見られる。	授業内容をほぼ理解している。	基本的な語彙や文法事項の理解はできているが、長文の理解にやや不安がある。音声変化を理解し、発音できる。	基本的な事項のみ理解できている。音声変化については、注意をすすと訂正できる。	基本的な事項が身につけていない。
練習問題や発音練習の参加度	積極的に参加し、授業の進行に貢献していた。	説明をよく聞き、発音練習や練習問題にも真剣に取り組んだ。ミス指摘された際、自分で訂正することができ、意欲が認められた。	発音練習や練習問題に真剣に取り組んだ。	自分の力で問題を解くことをあきらめてしまっていたが、解答を聞いた後に理解しようとする努力がみられた。	授業中の活動に集中できなかった。
課題(英文翻訳)への取り組み	予め語や文句の意味を調べ、場面にふさわしい英文の訳ができる。疑問点を自覚した上で授業に臨み、解決することができた。	予習にきめ細かさはないが、ほぼ満足な訳ができた。	毎回予習をせず、復習によって挽回を図ることもあった。	復習だけのことが多く、課題は提出したが、期限を守ることができなかった。	課題を提出しなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『Good Choice! 新入社員ショウタと学ぶ大学基礎英語』	津村 修志 他	金星堂	2017	978-4-7647-	
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『英和辞典』					
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	経営学科・2年		
開講時期	2Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	英語入門 (M) (科目ナンバリング: ENL052022)				
授業担当者(所属・職名)	石田 暁子(非常勤講師)		研究室所在	1号館1階非常勤講師室	
単位数	2 (単位認定責任者: 石田 暁子)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	シラバスの説明 be 動詞の変化・役割	テキストp.9-12 予習(90分)	授業内容復習 (90分)
2	つながる音	テキストp.13-14 予習(90分)	授業内容復習 (90分)
3	be 動詞 否定・疑問文	テキストp.15-18 予習(90分)	授業内容復習 (90分)
4	聞こえなくなる[t]の音	テキストp.19-20 予習(90分)	授業内容復習 (90分)
5	一般動詞現在形	テキストp.21-24 予習(90分)	授業内容復習 (90分)
6	聞こえなくなる[k]の音	テキストp.25-26 予習(90分)	授業内容復習 (90分)
7	一般動詞 否定・疑問文	テキストp.27-30 予習(90分)	授業内容復習 (90分)
8	聞こえなくなる[d]の音	テキストp.31-32 予習(90分)	授業内容復習 (90分)
9	3人称単数現在	テキストp.33-36 予習(90分)	授業内容復習 (90分)
10	つながる音	テキストp.37-38 予習(90分)	授業内容復習 (90分)
11	3人称単数現在 否定・疑問文	テキストp.39-42 予習(90分)	授業内容復習 (90分)
12	[sh]や[s]の音	テキストp.43-44 予習(90分)	授業内容復習 (90分)
13	代名詞	テキストp.45-48 予習(90分)	授業内容復習 (90分)
14	主語+be動詞の短縮形の音	テキストp.49-50 予習(90分)	授業内容復習 (90分)
15	総復習・要点整理	期末試験準備 (90分)	期末試験準備 (90分)
16	期末試験(60分)・解説(30分)	期末試験準備 (90分)	期末試験内容復習 (90分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	社会福祉学科・2年		
開講時期	2Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	英語入門 (S) (科目ナンバリング: ENL052022)				
授業担当者(所属・職名)	横田 肇 (社会福祉学科・准教授)	研究室所在	2号館7階		
単位数	2 (単位認定責任者: 横田 肇)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
<p>学生に英文法、読解、作文、会話の基礎的な知識と運用方法を身に付ける。合わせて、平易な英文の読解と作文の能力を身に付ける。なお、この科目はグローバル化に対応するための一助として「外国語」を学ぶための科目である。</p>

授業の位置づけ
<p>社会福祉学科のDP「1(2)と(3)」、「2(1)」に対応する。</p>

到達目標
<p>受講者において、英文法、読解、作文、会話の基礎的な知識と運用能力の習得ができていること。特に、基礎的な英文法の知識が身に付いていること、基礎的な英文の読解力が身に付いていること。</p>

授業全体の内容と概要
<p>毎回、英文法、読解、作文、会話の練習問題を解いてもらう。合わせて、適宜、必要最小限の補足説明を行なう。授業の最後にその回の内容についてのまとめと質問への回答(フィードバック)を行う。</p>

授業の方法
<p>毎回、所定のテキストに沿って、1)その回の説明を行ない、2)英文法、読解、作文、会話の練習問題を解いてもらい、3)その後には解答と説明を行なう。解答と説明は、適宜、口頭と板書、パワーポイントを使って行う。授業の最後にまとめと質問の時間(フィードバック)を設ける。</p>

アクティブラーニングの実施方法												
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>グループワーク</td> <td>フィールドワーク</td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td>ロールプレイ</td> <td>調査学習</td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td>実験・実習・実技</td> <td>双方向授業</td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL	模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業	ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL									
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業									
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)									

履修上の注意事項
<p>欠席と遅刻をしないように留意する。</p>

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
<p>単位認定に必要な最低出席回数は11回以上。</p>												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>60%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>40%</td> <td>0%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	60%	0%	0%	0%	40%	0%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
60%	0%	0%	0%	40%	0%							

ルーブリック																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>英文法の基礎的事項の理解</td> <td>テキストの説明が完全に理解されており、テキストの問題がほぼ完全に解けた。</td> <td>テキストの説明がほぼ理解されており、テキストの問題がほぼ解けた。</td> <td>テキストの説明の主要な部分が理解されており、テキストの問題が大体解けた。</td> <td>英文法の初歩がほぼ理解されており、テキストの問題の基本的な部分が解けた。</td> <td>英文法の初歩が理解されておらず、テキストの問題が全く解けなかった。</td> </tr> <tr> <td>英文読解・作文の理解</td> <td>テキストの英文が完全に読解でき、基本的な英文がしっかり書けた。</td> <td>テキストの英文がほぼ読解でき、基本的な英文が大体書けた。</td> <td>テキストの英文が大体読解でき、簡単な英文が書けた。</td> <td>テキストの英文の主要な部分が理解でき、単純な英文が書けた。</td> <td>テキストの英文が全く理解できず、単純な英文が書けなかった。</td> </tr> <tr> <td>英会話の能力</td> <td>テキストの英会話文が完全に理解でき、応用的な展開がしっかりできた。</td> <td>テキストの英会話文がほぼ理解でき、応用ができた。</td> <td>テキストの英会話文が大体理解でき、若干応用ができた。</td> <td>テキストの英会話文の主要な部分が理解できた。</td> <td>テキストの英会話文が全く理解できなかった。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	英文法の基礎的事項の理解	テキストの説明が完全に理解されており、テキストの問題がほぼ完全に解けた。	テキストの説明がほぼ理解されており、テキストの問題がほぼ解けた。	テキストの説明の主要な部分が理解されており、テキストの問題が大体解けた。	英文法の初歩がほぼ理解されており、テキストの問題の基本的な部分が解けた。	英文法の初歩が理解されておらず、テキストの問題が全く解けなかった。	英文読解・作文の理解	テキストの英文が完全に読解でき、基本的な英文がしっかり書けた。	テキストの英文がほぼ読解でき、基本的な英文が大体書けた。	テキストの英文が大体読解でき、簡単な英文が書けた。	テキストの英文の主要な部分が理解でき、単純な英文が書けた。	テキストの英文が全く理解できず、単純な英文が書けなかった。	英会話の能力	テキストの英会話文が完全に理解でき、応用的な展開がしっかりできた。	テキストの英会話文がほぼ理解でき、応用ができた。	テキストの英会話文が大体理解でき、若干応用ができた。	テキストの英会話文の主要な部分が理解できた。	テキストの英会話文が全く理解できなかった。												
評価項目		評価基準																																							
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
英文法の基礎的事項の理解	テキストの説明が完全に理解されており、テキストの問題がほぼ完全に解けた。	テキストの説明がほぼ理解されており、テキストの問題がほぼ解けた。	テキストの説明の主要な部分が理解されており、テキストの問題が大体解けた。	英文法の初歩がほぼ理解されており、テキストの問題の基本的な部分が解けた。	英文法の初歩が理解されておらず、テキストの問題が全く解けなかった。																																				
英文読解・作文の理解	テキストの英文が完全に読解でき、基本的な英文がしっかり書けた。	テキストの英文がほぼ読解でき、基本的な英文が大体書けた。	テキストの英文が大体読解でき、簡単な英文が書けた。	テキストの英文の主要な部分が理解でき、単純な英文が書けた。	テキストの英文が全く理解できず、単純な英文が書けなかった。																																				
英会話の能力	テキストの英会話文が完全に理解でき、応用的な展開がしっかりできた。	テキストの英会話文がほぼ理解でき、応用ができた。	テキストの英会話文が大体理解でき、若干応用ができた。	テキストの英会話文の主要な部分が理解できた。	テキストの英会話文が全く理解できなかった。																																				

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>『English! Once More!』</td> <td>Y.Aiko, 他</td> <td>朝日出版社</td> <td>2018</td> <td>978-4-255-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1	『English! Once More!』	Y.Aiko, 他	朝日出版社	2018	978-4-255-		2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1	『English! Once More!』	Y.Aiko, 他	朝日出版社	2018	978-4-255-																																					
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>適宜指示。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1						適宜指示。	2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1						適宜指示。																																				
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	社会福祉学科・2年		
開講時期	2Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	英語入門 (S) (科目ナンバリング: ENL052022)				
授業担当者(所属・職名)	横田 肇 (社会福祉学科・准教授)	研究室所在	2号館7階		
単位数	2 (単位認定責任者: 横田 肇)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	シラバスの説明、ガイダンス。	シラバスを読む。	Unit1の予習(90分)
2	Unit1: be動詞の使い方(1)	Unit1の予習(90分)	Unit1の復習(90分)
3	Unit1: be動詞の使い方(2)	Unit1の予習(90分)	Unit1の復習(90分)
4	Unit2: 一般動詞現在形の使い方(1)	Unit2の予習(90分)	Unit2の復習(90分)
5	Unit2: 一般動詞現在形の使い方(2)	Unit2の予習(90分)	Unit2の復習(90分)
6	Unit3: 過去形の使い方(1)	Unit3の予習(90分)	Unit3の復習(90分)
7	Unit3: 過去形の使い方(2)	Unit3の予習(90分)	Unit3の復習(90分)
8	Unit4: 現在進行形の使い方(1)	Unit4の予習(90分)	Unit4の復習(90分)
9	Unit4: 現在進行形の使い方(2)	Unit4の予習(90分)	Unit4の復習(90分)
10	Unit5: 未来形の使い方(1)	Unit5の予習(90分)	Unit5の復習(90分)
11	Unit5: 未来形の使い方(2)	Unit5の予習(90分)	Unit5の復習(90分)
12	Unit6: 助動詞の使い方(1)	Unit6の予習(90分)	Unit6の復習(90分)
13	Unit6: 助動詞の使い方(2)	Unit6の予習(90分)	Unit6の復習(90分)
14	Unit6: 助動詞の使い方(3)	Unit6の予習(90分)	Unit6の復習(90分)
15	既習事項のまとめ	Unit1から6を通読する。(90分)	Unit1から6を通読する。(90分)
16	60分の試験終了後、残りの30分で解説を行う。	Unit1から6を通読する。(90分)	Unit1から6を通読する。(90分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	デザイン学科・2年、建築学科・2年		
開講時期	2Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	英語入門 (D・A) (科目ナンバリング: ENL052022)				
授業担当者(所属・職名)	宮嶋 達也(デザイン学科・准教授)		研究室所在	2号館4階	
単位数	2 (単位認定責任者: 宮嶋 達也)		CAP制		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
グローバル化に対応するため「外国語」を学ぶための科目であり、海外旅行に必要な実践的な英語力を学び、英語での明確な発音を身につけることができる。最終的には、海外旅行中の様々な場面で相手とコミュニケーションする能力を身につける。

授業の位置づけ
デザイン学科のDP「1(1)」、「(3)」、「2(1)」、「(3)」に対応する。 建築学科のDP「1(1)」、「2(1)」、「(3)」に対応する。

到達目標
海外旅行に必要な英語表現を学び、コミュニケーション活動を通じて定着させることで、基本的な個人海外旅行ができる能力を養う。また、日本と海外の観光地に関する知識と基本情報を英語で説明できる力を養う。

授業全体の内容と概要
リスニングや対話練習(ペアワーク)などのエクササイズを通して、空港、レストランやホテルなどで役立つ英語表現を体得する。授業では、学生ができるだけ多く英語で話すことに時間をあてる。

授業の方法
テキストのリスニングや対話練習などのエクササイズを解き、疑問点などは個々に対応、或いはクラス全体への解答を解説し学生へのフィードバックを行う。個々の発表やペアでのロールプレイ、グループワークなど多く取り入れるので積極的に授業に参加する。

アクティブラーニングの実施方法							
	プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL
	模擬授業	○	ロールプレイ		調査学習		反転授業
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項
15分以上の遅刻は欠席とみなします。遅刻2回で欠席1回とします。授業には必ずテキスト、辞書を持参すること。テキストを忘れ、授業前に申し出ない場合は欠席扱いとする。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定の必要となる最低出席回数は10回以上。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
50%	0%	20%	0%	20%	10%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
理解度	授業内容を超えた学修が認められる	授業内容を十分に理解している	授業内容を理解している	授業内容の理解に不足がある	授業内容を理解していない
英語表現能力(スピーキング)	授業内で取り扱った表現を完璧に習得し、英語で表現を問題なく正確に運用できる	授業内で取り扱った表現を習得し、英語で表現を運用できる	授業内で取り扱った定型的表現を使い英語を運用できる	与えられた条件下で最低限度の英語表現を行うことができる	与えられた条件下で最低限度の英語表現を行うことができない
積極性	授業全体の流れを理解し、質問・問題提起により授業展開に貢献する	授業全体の流れを理解し、発問に対して積極的に応じる	発問に対して、指名されれば正しく応じることができる	授業に集中して理解しようとする態度が見られる	授業に集中できず、授業放棄の態度が見られる
事前・事後学修	自ら進んで学修範囲を超えて調べている	学修範囲を十分に調べて、授業内容を他人に説明できる	学修範囲の理解に曖昧な点がある	指示された範囲の事前・事後学修はするが、理解が不十分である	指示された範囲の事前・事後学修をほとんどせず理解が不十分である。
リスニング技能	授業内で取り扱った単語・表現を完璧に習得し、リスニング技能を問題なく正確に運用できる	授業内で取り扱った単語・表現の大部分を習得し、リスニング技能を正確に運用できる	授業内で取り扱った単語・表現の大部分を習得し、リスニング技能をほぼ正確に運用できる	授業内で取り扱った単語・表現を部分的に習得しているが、リスニング技能の運用に不適切な部分が見受けられる。	授業内で取り扱った単語・表現の習得が不十分であり、リスニング技能の運用に不正確さが目立つ。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『Encounters Abroad』	Michael P. Critchley	南雲堂	2018	978-4-523-17539-1	
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	デザイン学科・2年、建築学科・2年		
開講時期	2Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	英語入門 (D・A) (科目ナンバリング: ENL052022)				
授業担当者(所属・職名)	宮嶋 達也(デザイン学科・准教授)	研究室所在	2号館4階		
単位数	2 (単位認定責任者: 宮嶋 達也)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	オリエンテーション 英語で自己紹介文作成 シラバスの説明	シラバスを参照しながらテキスト内容を理解する。(90分)	授業各回のテーマを理解しておくこと。(90分)
2	In flight(1): Unit 1 Where are you heading? 1: 英語で自己紹介 Unit1. p8-10	今回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習する。(90分)
3	In flight(1): Unit 1 Where are you heading? 2: 旅の計画を説明 Unit1. p11-15	今回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習する。(90分)
4	Immigration(1): Unit 2 May I see your passport? 3: 空港で使用する英語	今回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習する。(90分)
5	Immigration(1): Unit 2 May I see your passport? 4: 到着カードの記入	今回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習する。(90分)
6	Assessment Role Play Unit 1&2	今回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習する。(90分)
7	Public Transportation(1): Unit 3 Where to? 5: タクシー Unit3. p24-26	今回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習する。(90分)
8	Public Transportation(1): Unit 3 Where to? 6: 支払いの場面 Unit3. p25-31	今回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習する。(90分)
9	Accommodation(1): Unit 4 I Asked for A Double 7: ホテルの予約 Unit4. p32-35	今回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習する。(90分)
10	Accommodation(1): Unit 4 I Asked for A Double 8: ホテルのチェックイン Unit4. p36-39	今回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習する。(90分)
11	Assessment Role Play Unit 3&4	今回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習する。(90分)
12	Sightseeing Plan(1): Unit 5 What Would You Suggest? 9: 観光場所を決める	今回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習する。(90分)
13	Sightseeing Plan(1): Unit 5 What Would You Suggest? 10: 観光地の情報を得る	今回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習する。(90分)
14	Car Rental(1): Unit 6 Here Are Your Keys 11: レンタカー Unit6. p50-53	今回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習する。(90分)
15	まとめ Unit1-7までの会話表現を覚えたかの確認を行う。	今回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習する。(90分)
16	Final Exam. 60分の試験終了後、残りの30分で解説。	試験範囲の復習。(90分)	授業で説明を受けた解説を復習。(90分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	経営学科・2年		
開講時期	4Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	英語入門 (M) (科目ナンバリング: ENL052023)				
授業担当者(所属・職名)	石田 暁子(非常勤講師)	研究室所在	1号館1階非常勤講師室		
単位数	2 (単位認定責任者: 石田 暁子)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標	英文法の基本を身に付けし、ビジネスでも使われるものを含め、理解できる語彙を増やす。音声変化に慣れることにより、リスニングの能力をつける。
------	--

授業の位置づけ	経営学科のDP「1(2)」、「2(1)」に対応する。
---------	----------------------------

到達目標	今後の英語学習の土台となるよう、語彙、文法、発音面での英語の基本を身に付ける。
------	---

授業全体の内容と概要	各ユニットはリーディング、文法、リスニングの3つのセクションで構成されている。ビジネスに関する内容を取り上げているため、「ビジネス英語」への橋渡しにもなっている。
------------	---

授業の方法	講義形式で、最重要事項は板書によって注意を促し、じっくりと確実に反復学習を進める。発音練習にも力を入れる。各自の理解度を知るため、授業では毎回できるだけ多くの学生を指名し、解答を聞く。テキストのリーディングパートについては必ず予習で翻訳していただくことを課題とし、最後にまとめたものを教員が最終チェックして返却する。これも評価の対象となる。
-------	--

アクティブラーニングの実施方法						
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク	PBL
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習	反転授業
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項	教科書を必ず用意し、予習をしていただくこと。前期開講「英語入門」からの継続のため、「英語入門」を履修済みであることが望ましい。教科書も同じものを使用する。
----------	---

資格指定科目	
--------	--

評価方法・基準

評価前提条件	単位認定に必要な出席回数は、10回以上。					
評価方法	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
	40%	0%	30%	0%	30%	0%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
授業(語彙・文法・音声変化)の理解度	授業の範囲を超え、関連事項への興味があった。また、自分から発信する意欲が見られる。	授業内容をほぼ理解している。	基本的な語彙や文法事項の理解はできているが、長文の理解にやや不安がある。音声変化を理解し、発音できる。	基本的な事項のみ理解できている。音声変化については、注意をすることで訂正できる。	基本的な事項が身につけていない。
発音練習・練習問題の参加度	積極的に参加し、授業の進行に貢献していた。	説明をよく聞き、発音練習や練習問題にも真剣に取り組んだ。ミス指摘された際、自分で訂正することができ、意欲が認められた。	発音練習や練習問題に真剣に取り組んだ。	自分の力で問題を解くことをあきらめてしまっていたが、解答を聞いた後に理解しようとする努力がみられた。	授業中の活動に集中できなかった。
課題(英文翻訳)の取り組み	予め語や文句の意味を調べ、場面にふさわしい英文の訳ができる。疑問点を自覚した上で授業に臨み、解決することができた。	予習にきめ細かさはないが、ほぼ満足な訳ができた。	毎回予習をせず、復習によって挽回を図ることもあった。	復習だけのことが多く、課題は提出したが、期限を守ることができなかった。	課題を提出しなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『Good Choice! 新入社員ショウタと学ぶ大学基礎英語』	津村 修志 他	金星堂	2017	978-4-7647-	
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『英和辞典』					
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	経営学科・2年		
開講時期	4Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	英語入門 (M) (科目ナンバリング: ENL052023)				
授業担当者(所属・職名)	石田 暁子(非常勤講師)		研究室所在	1号館1階非常勤講師室	
単位数	2 (単位認定責任者: 石田 暁子)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間			
回	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	シラバスの説明 助動詞	テキストp.51-54 予習(90分)	授業内容復習 (90分)
2	will の短縮形の音	テキストp.55-56 予習(90分)	授業内容復習 (90分)
3	WH 疑問文	テキストp.57-60 予習(90分)	授業内容復習 (90分)
4	疑問文のイントネーション	テキストp.61-62 予習(90分)	授業内容復習 (90分)
5	可算名詞・不可算名詞	テキストp.63-66 予習(90分)	授業内容復習 (90分)
6	名詞の複数形の語尾の音	テキストp.67-68 予習(90分)	授業内容復習 (90分)
7	現在進行形	テキストp.69-72 予習(90分)	授業内容復習 (90分)
8	弱音の[a]や[ə]の音	テキストp.73-74 予習(90分)	授業内容復習 (90分)
9	there is, there are	テキストp.75-78 予習(90分)	授業内容復習 (90分)
10	数字の後の[θ]の音	テキストp.79-80 予習(90分)	授業内容復習 (90分)
11	動詞の過去形	テキストp.81-84 予習(90分)	授業内容復習 (90分)
12	過去形の語尾の音	テキストp.85-86 予習(90分)	授業内容復習 (90分)
13	過去形 否定・疑問文	テキストp.87-90 予習(90分)	授業内容復習 (90分)
14	つながる音	テキストp.91-92 予習(90分)	授業内容復習 (90分)
15	総復習・要点整理	期末試験準備 (90分)	期末試験準備 (90分)
16	期末試験(60分)・解説(30分)	期末試験準備 (90分)	期末試験内容復習 (90分)

各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間			
回	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	社会福祉学科・2年		
開講時期	4Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	英語入門 (S) (科目ナンバリング: ENL052023)				
授業担当者(所属・職名)	横田 肇 (社会福祉学科・准教授)	研究室所在	2号館7階		
単位数	2 (単位認定責任者: 横田 肇)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標

受講者に英文法、読解、作文、会話の基礎的な知識と運用方法が身に付く。合わせて、平易な英文の読解と作文の能力が身に付く。

授業の位置づけ

社会福祉学科のDP「1(2)と(3)」、「2(1)」に対応する。

到達目標

受講者において、英文法、読解、作文、会話の基礎的な知識と運用能力の習得ができている。特に英文法の基礎的な知識が身に付いており、基礎的な読解力が身に付いている。

授業全体の内容と概要

この科目はグローバル化に対応するための一助として「外国語」を学ぶための科目である。毎回、英文法、読解、作文、会話の練習問題を解いてもらう。合わせて、適宜、必要最小限の補足説明を行なう。授業の最後にその回の内容についてのまとめと質問への回答(フィードバック)を行う。

授業の方法

毎回、所定のテキストに沿って、1)その回の説明、2)英文法、読解、作文、会話の練習問題を解いてもらい、3)その後には解答と説明を行なう。解答と説明は、適宜、口頭と板書、パワーポイントを使って行う。授業の最後にまとめと質問の時間(フィードバック)を設ける。

アクティブラーニングの実施方法

	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

欠席、遅刻をしないように留意する。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件					
単位取得に必要な最低出席回数は11回以上。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
60%	0%	0%	0%	40%	0%

ルーブリック

評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
英文法の理解	テキストの説明が完全に理解されており、テキストの問題がほとんど解けた。	テキストの説明がほぼ理解されており、テキストの問題が大体解けた。	テキストの説明が大体理解されており、テキストの問題の主要な部分が解けた。	英文法の初歩が理解されており、テキストの問題がいくらか解けた。	英文法の初歩が理解されていなかった。
英文読解・作文の能力	テキストの英文が完全に理解され、基本的な英文がしっかりと書けた。	テキストの英文がほぼ理解され、基本的な英文が書けた。	テキストの英文が大体わかり、単純な英文が書けた。	簡単な英文が大体わかり、単純な英文が大体書けた。	簡単な英文がわからず、単純な英文が書けなかった。
英会話の能力	テキストの英会話文が完全に理解されており、応用的な展開ができた。	テキストの英会話文がほぼ理解され、応用ができた。	テキストの英会話文が大体わかり、若干の応用ができた。	簡単な英会話文が理解でき、少し応用ができた。	簡単な英会話文が理解できなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『English Once More!』	Y.Aiko、他	朝日出版社			
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等

No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						適宜指示する
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	社会福祉学科・2年		
開講時期	4Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	英語入門 (S) (科目ナンバリング: ENL052023)				
授業担当者(所属・職名)	横田 肇(社会福祉学科・准教授)	研究室所在	2号館7階		
単位数	2 (単位認定責任者: 横田 肇)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	シラバスの説明、ガイダンス。	シラバスを読む。(90分)	Unit7の予習(90分)
2	Unit7: 名詞・冠詞の使い方(1)	Unit7の予習(90分)	Unit7の復習(90分)
3	Unit7: 名詞・冠詞の使い方(2)	Unit7の予習(90分)	Unit7の復習(90分)
4	Unit8: 代名詞の使い方(1)	Unit8の予習(90分)	Unit8の復習(90分)
5	Unit8: 代名詞の使い方(2)	Unit8の予習(90分)	Unit8の復習(90分)
6	Unit9: 形容詞の使い方(1)	Unit9の予習(90分)	Unit9の復習(90分)
7	Unit9: 形容詞の使い方(2)	Unit9の予習(90分)	Unit9の復習(90分)
8	Unit10: 副詞の使い方(1)	Unit10の予習(90分)	Unit10の復習(90分)
9	Unit10: 副詞の使い方(2)	Unit10の予習(90分)	Unit10の復習(90分)
10	Unit11: 比較の使い方(1)	Unit11の予習(90分)	Unit11の復習(90分)
11	Unit11: 比較の使い方(2)	Unit11の予習(90分)	Unit11の復習(90分)
12	Unit12: 前置詞の使い方(1)	Unit12の予習(90分)	Unit12の復習(90分)
13	Unit12: 前置詞の使い方(2)	Unit12の予習(90分)	Unit12の復習(90分)
14	Unit13: 受動態の使い方	Unit13の予習(90分)	Unit13の復習(90分)
15	Unit14: 現在完了形の使い方	Unit14の予習(90分)	Unit14の復習(90分)
16	60分の試験終了後、残りの30分で解説を行う。	Unit7から14を通読する(90分)	Unit7から14を通読する(90分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	デザイン学科・2年、建築学科・2年		
開講時期	4Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	英語入門 (D・A) (科目ナンバリング: ENL052023)				
授業担当者(所属・職名)	宮嶋 達也(デザイン学科・准教授)	研究室所在	2号館4階		
単位数	2 (単位認定責任者: 宮嶋 達也)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
グローバル化に対応するため「外国語」を学ぶための科目であり、海外旅行に必要な実践的な英語力を学び、英語での明確な発音を身につけることができる。最終的には、海外旅行中の様々な場面で相手とコミュニケーションする能力が身につける。

授業の位置づけ
デザイン学科のDP「1(1)」、「(3)」、「2(1)」、「(3)」に対応する。 建築学科のDP「1(1)」、「2(1)」、「(3)」に対応する。

到達目標
海外旅行に必要な英語表現を学び、コミュニケーション活動を通じて定着させることで、基本的な個人海外旅行ができる能力を養う。また、日本と海外の観光地に関する知識と基本情報を英語で説明できる力を養う。

授業全体の内容と概要
リスニングや対話練習(ペアワーク)などのエクササイズを通して、空港、レストランやホテルなどで役立つ英語表現を体得する。授業では、学生ができるだけ多く英語で話すことに時間をあてる。

授業の方法
テキストのリスニングや対話練習などのエクササイズを解き、疑問点などは個々に対応、或いはクラス全体への解答を解説し学生へのフィードバックを行う。個々の発表やペアでのロールプレイ、グループワークなど多く取り入れるので積極的に授業に参加する。

アクティブラーニングの実施方法						
	プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク	PBL
	模擬授業	○	ロールプレイ		調査学習	反転授業
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項
15分以上の遅刻は欠席とみなします。遅刻2回で欠席1回とします。授業には必ずテキスト、辞書を持参すること。テキストを忘れ、授業前に申し出ない場合は欠席扱いとする。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定の必要となる最低出席回数は10回以上。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
50%	0%	20%	0%	20%	10%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
理解度	授業内容を学んだ学修が認められる	授業内容を十分に理解している	授業内容を理解している	授業内容の理解に不足がある	授業内容を理解していない
英語表現能力(スピーキング)	授業内で取り扱った表現を完璧に習得し、英語で表現を問題なく正確に運用できる	授業内で取り扱った表現を習得し、英語で表現を運用できる	授業内で取り扱った定型的表現を使い英語を運用できる	与えられた条件下で最低限の英語表現を行うことができる	与えられた条件下で最低限の英語表現を行うことができない
積極性	授業全体の流れを理解し、質問・問題提起により授業展開に貢献する	授業全体の流れを理解し、発問に対して積極的に応じる	発問に対して、指名されれば正しく応じることができる	授業に集中して理解しようとする態度が見られる	授業に集中できず、授業放棄の態度が見られる
事前・事後学修	自ら進んで学修範囲を超えて調べている	学修範囲を十分に調べて、授業内容を他人に説明できる	学修範囲の理解に曖昧な点がある	指示された範囲の事前・事後学修はするが、理解が不十分である	指示された範囲の事前・事後学修をほとんどせず理解が不十分である
リスニング技能	授業内で取り扱った単語・表現を完璧に習得し、リスニング技能を問題なく正確に運用できる	授業内で取り扱った単語・表現の大部分を習得し、リスニング技能を正確に運用できる	授業内で取り扱った単語・表現の大部分を習得し、リスニング技能をほぼ正確に運用できる	授業内で取り扱った単語・表現を部分的に習得しているが、リスニング技能の運用に不適切な部分が見受けられる	授業内で取り扱った単語・表現の習得が不十分であり、リスニング技能の運用に不正確さが目立つ。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『Encounters Abroad』	Michael P. Critchley	南雲堂	2018	978-4-523-17539-1	
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	デザイン学科・2年、建築学科・2年		
開講時期	4Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	英語入門 (D・A) (科目ナンバリング: ENL052023)				
授業担当者(所属・職名)	宮嶋 達也(デザイン学科・准教授)	研究室所在	2号館4階		
単位数	2 (単位認定責任者: 宮嶋 達也)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間			
回	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	シラバスの説明 Car Rental(1): Unit 6 Here Are Your Keys 12: レンタル契約	シラバスを参照しながらテキスト内容を理解する。(90分)	授業各回のテーマを理解しておくこと。(90分)
2	Assessment Role Play Unit 5&6	今回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習すること。(90分)
3	Directions(1): Unit 7 Turn Left at the Light 13: 道案内 Unit7_58-61	今回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習すること。(90分)
4	Directions(1): Unit 7 Turn Left at the Light 14: 道案内 Unit7_62-65	今回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習すること。(90分)
5	Shopping(1): Unit 8 How Much Is This? 15: 買い物 Unit8_p66-69	今回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習すること。(90分)
6	Shopping(1): Unit 8 How Much Is This? 16: 値段交渉 Unit8_p70-73	今回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習すること。(90分)
7	Assessment Role Play Unit 7&8	今回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習すること。(90分)
8	Telephone Call(1): Unit 9 Are You Free Tomorrow? 17: 電話での道案内	今回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習すること。(90分)
9	Telephone Call(1): Unit 9 Are You Free Tomorrow? 18: 会う約束	今回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習すること。(90分)
10	Eating Out(1): Unit 10 I'll Have the Steak 19: レストランで注文 Unit10_p82-85	今回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習すること。(90分)
11	Eating Out(1): Unit 10 I'll Have the Steak 20: 料理についてのコメント Unit10_p86-89	今回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習すること。(90分)
12	Assessment Role Play Unit 9&10	今回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習すること。(90分)
13	22: 行きたい国について調査 自分が行きたい国について調査する。	今回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習すること。(90分)
14	23: 行きたい国の1日旅行プラン 行きたい国の1日の旅行プランを英語で作成。	今回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習すること。(90分)
15	まとめ Unit6-10で学んだ英語表現が身についたかの確認をする。	今回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習すること。(90分)
16	Final Exam. 60分の試験終了後、残りの30分で解説。	試験範囲の復習。(90分)	授業で説明を受けた解説を復習。(90分)

授業計画			
回	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目		対象学科・配当	経営学科・3年		
開講時期	1Q		授業形態	講義	必修・選択	選択必修
科目名称	ドイツ語入門 (M) (科目ナンバリング: GER051024)					
授業担当者(所属・職名)	河田 一郎 (経営学科・准教授)		研究室所在	2号館8階		
単位数	2 (単位認定責任者: 河田 一郎)		CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	大学入試センターの問題作成委員としての経験を活かして、ドイツ語教育にかかわる指導を行う。			

概要

履修目標

ドイツ語の初級文法と簡単な会話をマスターする。グローバル化に対応するため「外国語」を学ぶための科目である。

授業の位置づけ

経営学科のDP「1(2)」、「2(1)」に対応する。

到達目標

ドイツ語検定試験5級合格のための基礎を固める。観光・留学などドイツ語圏で困らない程度の日常会話を身につける。

授業全体の内容と概要

ドイツと言えば、クラシック音楽である。クラシックをBGMに用いたリラックスした学習環境の中で、ドイツ語の文法と会話を学修する。

授業の方法

授業では板書をしながら、ドイツ語の文法・文化を紹介する。ドイツのDVD等も見て講義形式で行う。また、適宜確認テストを実施し、フィードバックとして解説を丁寧に行う。

アクティブラーニングの実施方法

プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL
模擬授業	○	ロールプレイ		調査学習		反転授業
ディスカッション		実験・実習・実技	○	双方向授業		その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

新しいことばかりなので、とにかく授業に参加すること。ドイツ語検定試験受験希望者には特別講義を行なう。再試験の評価は内容の理解度を重視する。

資格指定科目

1
2
3
4
5

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な最低出席回数は、10回以上。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
60%	0%	0%	0%	40%	0%

ルーブリック

評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
ドイツ語の初級文法について説明及び語形変化等の活用をすることができる。	学修した知識を確実に修得し、求められるレベルを大きく超えた。	学修した知識を確実に修得した。	学修した知識をほぼ修得した。	学修した知識を修得したが、最低限容認できるレベルにとどまった。	学修した知識を修得できなかった。
基礎的な文法を用いて、平易なドイツ語の文章を書き翻訳をすることができる。	与えられた課題に積極的に取り組み、求められるレベルを大きく超えた。	与えられた課題に取り組み、求められるレベルを達成した。	与えられた課題に取り組み、求められるレベルをほぼ達成した。	与えられた課題に取り組みしたが、最低限容認できるレベルにとどまった。	与えられた課題に真面目に取り組みなかった。
ドイツ語の基本的な語彙を修得し、発音が正確にできる。	学修した知識を確実に修得し、求められるレベルを大きく超えた。	学修した知識を確実に修得した。	学修した知識をほぼ修得した。	学修した知識を修得したが、最低限容認できるレベルにとどまった。	学修した知識を修得できなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『気分はドイツ(改訂版)』	浜辺・黒瀬ほか	三修社	2021	9784384123012	
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等

No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	経営学科・3年		
開講時期	1Q	授業形態	講義	必修・選択	選択必修
科目名称	ドイツ語入門 (M) (科目ナンバリング: GER051024)				
授業担当者(所属・職名)	河田 一郎(経営学科・准教授)	研究室所在	2号館8階		
単位数	2 (単位認定責任者: 河田 一郎)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	大学入試センターの問題作成委員としての経験を活かして、ドイツ語教育にかかわる指導を行う。		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	[ガイダンス] 授業の進め方・シラバスの説明。	シラバスの内容を確認すること。(90分)	授業の内容を復習しておくこと。(90分)
2	[ドイツ語の発音について] 発音問題の基本的な発音、ドイツ語特有な発音について学習する。	前回の授業内容を確認すること。(90分)	授業の内容を復習しておくこと。(90分)
3	[ドイツ語の動詞について] 動詞の変化について学び、人称変化させることができる。	前回の授業内容を確認すること。(90分)	授業の内容を復習しておくこと。(90分)
4	[不規則変化動詞について] 不規則変化動詞の変化について学び、人称変化させることができる。	前回の授業内容を確認すること。(90分)	授業の内容を復習しておくこと。(90分)
5	[seinとhabenについて] seinとhabenについて学び、格変化させることができる。	前回の授業内容を確認すること。(90分)	授業の内容を復習しておくこと。(90分)
6	[名詞と冠詞について] 名詞と冠詞について学び、格変化させることができる。	前回の授業内容を確認すること。(90分)	授業の内容を復習しておくこと。(90分)
7	[名詞の複数形について] ドイツ語の名詞の複数形について学び、格変化させることができる。	前回の授業内容を確認すること。(90分)	授業の内容を復習しておくこと。(90分)
8	[特殊な動詞の変化について] 特殊な動詞の変化について学び、人称変化させることができる。	前回の授業内容を確認すること。(90分)	授業の内容を復習しておくこと。(90分)
9	[定冠詞類について] ドイツ語の定冠詞類とはどのような変化をするのかを学び、変化させることができる。	前回の授業内容を確認すること。(90分)	授業の内容を復習しておくこと。(90分)
10	[不定冠詞類について] ドイツ語の不定冠詞類とはどのような変化をするのかを学び、変化させることができる。	前回の授業内容を確認すること。(90分)	授業の内容を復習しておくこと。(90分)
11	[前置詞について] ドイツ語の前置詞について学び、英語との違いを理解する。	前回の授業内容を確認すること。(90分)	授業の内容を復習しておくこと。(90分)
12	[3・4格支配の前置詞について] 3・4格支配の前置詞について学び、3格と4格の違いを理解する。	前回の授業内容を確認すること。(90分)	授業の内容を復習しておくこと。(90分)
13	[接続詞について] ドイツ語の接続詞の特徴を学び、文章を書き換えることができる。	前回の授業内容を確認すること。(90分)	授業の内容を復習しておくこと。(90分)
14	[ヒアリング練習] ヒアリングに関するポイントを学ぶ。	前回の授業内容を確認すること。(90分)	授業の内容を復習しておくこと。(90分)
15	[前期学修内容の復習] 前期で学んだ文法項目をチェックする。	前回の授業内容を確認すること。(90分)	授業の内容を復習しておくこと。(90分)
16	[定期試験および解説] 60分の試験終了後、残りの30分で解説を行う。	試験に向け全体を復習すること。(90分)	試験および解説を受けて講義全体を復習すること。(90分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	社会福祉学科・3年、デザイン学科・3年、建		
開講時期	1Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	ドイツ語入門 (科目ナンバリング: GER051024)				
授業担当者(所属・職名)	河田 一郎 (経営学科・准教授)		研究室所在	2号館8階	
単位数	2 (単位認定責任者: 河田 一郎)		CAP制		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	大学入試センターの問題作成委員としての経験を活かしてドイツ語教育にかかわる指導を行う。		

概要

履修目標	ドイツ語の初級文法と簡単な会話をマスターする。																					
授業の位置づけ	社会福祉学科のDP「1(2)」、「2(1)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(1)」、「2(1)」、「2(3)」に対応する。 建築学科のDP「1(1)」、「2(1)」、「2(3)」に対応する。																					
到達目標	ドイツ語検定試験5級合格のための基礎を固め、観光・留学などドイツ語圏で困らない程度の日常会話を身につけることができる。																					
授業全体の内容と概要	グローバル化に対応するため「外国語」を学ぶための科目である。ドイツと言えば、クラシック音楽である。クラシックをBGMに用いたリラックスした学習環境の中で、ドイツ語の文法と会話を学修する。																					
授業の方法	授業では板書をしながら、ドイツ語の文法・文化を紹介し、ドイツのDVD等も見て講義形式で行う(グループワーク・ロールプレイ含む)。また、適宜確認テストを実施し、フィードバックとして解説を丁寧に行う。																					
アクティブラーニングの実施方法	<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>○</td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td>○</td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td>○</td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL	模擬授業	○	ロールプレイ		調査学習		反転授業	ディスカッション		実験・実習・実技	○	双方向授業		その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL																
模擬授業	○	ロールプレイ		調査学習		反転授業																
ディスカッション		実験・実習・実技	○	双方向授業		その他(授業の方法参照)																
履修上の注意事項	新しいことばかりなので、とにかく授業に参加すること。ドイツ語検定試験受験希望者には特別講義を行なう。再試験の評価は内容の理解度を重視する。																					
資格指定科目																						

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な最低出席回数は、10回以上。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
60%	0%	0%	0%	40%	0%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
ドイツ語の初級文法について説明及び語形変化等の活用をすることができる。	学習した知識を確実に修得し、求められるレベルを大きく超えた。	学習した知識を確実に修得した。	学習した知識をほぼ修得した。	学習した知識を修得したが、最低限容認できるレベルにとどまった。	学習した知識を修得できなかった。
基礎的な文法を用いて平易なドイツ語の文章を書き翻訳をすることができる。	与えられた課題に積極的に取り組み、求められるレベルを大きく超えた。	与えられた課題に取り組み求められるレベルを達成した。	与えられた課題に取り組み求められるレベルをほぼ達成した。	与えられた課題に取り組みだが、最低限容認できるレベルにとどまった。	与えられた課題に取り組みこともなく、最低限容認できるレベルにも到達できなかった。
ドイツ語の基本的な語彙を修得し、発音が正確にできる。	学習した知識を確実に修得し、求められるレベルを大きく超えた。	学習した知識を確実に修得した。	学習した知識をほぼ修得した。	学習した知識を修得したが、最低限容認できるレベルにとどまった。	学習した知識を修得できなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『気分はドイツ(改訂版)』	浜辺・黒瀬	三修社	2021	9784384123012	
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	社会福祉学科・3年、デザイン学科・3年、建		
開講時期	1Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	ドイツ語入門 (科目ナンバリング: GER051024)				
授業担当者(所属・職名)	河田 一郎(経営学科・准教授)		研究室所在	2号館8階	
単位数	2 (単位認定責任者: 河田 一郎)		CAP制		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	大学入試センターの問題作成委員としての経験を活かしてドイツ語教育にかかわる指導を行う。		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	【ガイダンス】授業の進め方・シラバスの説明。	シラバスの内容確認すること。(90分)	授業の内容を復習しておくこと。(90分)
2	【ドイツ語の発音について】発音問題の基本的な発音、ドイツ語特有な発音について学習する。	前回の授業内容を確認すること。(90分)	授業の内容を復習しておくこと。(90分)
3	【ドイツ語の動詞について】動詞の変化について学び、人称変化させることができる。	前回の授業内容を確認すること。(90分)	授業の内容を復習しておくこと。(90分)
4	【不規則変化動詞について】不規則変化動詞の変化について学び、人称変化させることができる。	前回の授業内容を確認すること。(90分)	授業の内容を復習しておくこと。(90分)
5	【seinとhabenについて】seinとhabenについて学び、格変化させることができる。	前回の授業内容を確認すること。(90分)	授業の内容を復習しておくこと。(90分)
6	【名詞と冠詞について】名詞と冠詞について学び、格変化させることができる。	前回の授業内容を確認すること。(90分)	授業の内容を復習しておくこと。(90分)
7	【名詞の複数形について】ドイツ語の名詞の複数形について学び、格変化させることができる。	前回の授業内容を確認すること。(90分)	授業の内容を復習しておくこと。(90分)
8	【特殊な動詞の変化について】特殊な動詞の変化について学び、人称変化させることができる。	前回の授業内容を確認すること。(90分)	授業の内容を復習しておくこと。(90分)
9	【定冠詞類について】ドイツ語の定冠詞類とはどのような変化をするのかを学び、変化させることができる。	前回の授業内容を確認すること。(90分)	授業の内容を復習しておくこと。(90分)
10	【不定冠詞類について】ドイツ語の不定冠詞類とはどのような変化をするのかを学び、変化させることができる。	前回の授業内容を確認すること。(90分)	授業の内容を復習しておくこと。(90分)
11	【前置詞について】ドイツ語の前置詞について学び、英語との違いを理解する。	前回の授業内容を確認すること。(90分)	授業の内容を復習しておくこと。(90分)
12	【3・4格支配の前置詞について】3・4格支配の前置詞について学び、3格と4格の違いを理解する。	前回の授業内容を確認すること。(90分)	授業の内容を復習しておくこと。(90分)
13	【接続詞について】ドイツ語の接続詞の特徴を学び、文章を書き換えることができる。	前回の授業内容を確認すること。(90分)	授業の内容を復習しておくこと。(90分)
14	【ヒアリング練習】ヒアリングに関するポイントを学ぶ。	前回の授業内容を確認すること。(90分)	授業の内容を復習しておくこと。(90分)
15	【前期学修内容の復習】前期で学んだ文法項目をチェックする。	前回の授業内容を確認すること。(90分)	授業の内容を復習しておくこと。(90分)
16	【定期試験および解説】60分の試験後、残りの30分で解説を行う。	試験に向け全体を復習すること。(90分)	試験および解説を受けて講義全体を復習すること。(90分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目		対象学科・配当	経営学科・3年		
開講時期	4Q		授業形態	講義	必修・選択	選択必修
科目名称	ドイツ語入門 (M) (科目ナンバリング: GER051025)					
授業担当者(所属・職名)	河田 一郎(経営学科・准教授)		研究室所在	2号館8階		
単位数	2 (単位認定責任者: 河田 一郎)		CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	大学入試センターの問題作成委員としての経験を活かしてドイツ語教育にかかわる指導を行う。			

概要

履修目標	ドイツ語の初級文法と簡単な会話をマスターする。グローバル化に対応するため「外国語」を学ぶための科目である。					
授業の位置づけ	経営学科のDP「1(2)」、「2(1)」に対応する。					
到達目標	ドイツ語検定試験5級合格のための基礎を固める。観光・留学などドイツ語圏で困らない程度の日常会話を身につける。					
授業全体の内容と概要	ドイツと言えば、クラシック音楽である。クラシックをBGMに用いたリラックスした学習環境の中で、ドイツ語の文法と会話を学修する。					
授業の方法	授業では板書をしながら、ドイツ語の文法・文化を紹介する。ドイツのDVD等も見て講義形式で行う。また、適宜確認テストを実施し、フィードバックとして解説を丁寧に行う。					
アクティブラーニングの実施方法	プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク	PBL
	模擬授業	○	ロールプレイ		調査学習	反転授業
	ディスカッション		実験・実習・実技	○	双方向授業	その他(授業の方法参照)
履修上の注意事項	新しいことばかりなので、とにかく授業に参加すること。ドイツ語検定試験受験希望者には特別講義を行なう。再試験の評価は内容の理解度を重視する。					
資格指定科目						

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な最低出席回数は、10回以上。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
60%	0%	0%	0%	40%	0%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
ドイツ語の初級文法について説明及び語形変化等の活用をすることができる。	学修した知識を確実に修得し、求められるレベルを大きく超えた。	学修した知識を確実に修得した。	学修した知識をほぼ修得した。	学修した知識を修得したが、最低限容認できるレベルにとどまった。	学修した知識を修得できなかった。
基礎的な文法を用いて、平易なドイツ語の文章を書き翻訳をすることができる。	与えられた課題に積極的に取り組み、求められるレベルを大きく超えた。	与えられた課題に取り組み、求められるレベルを達成した。	与えられた課題に取り組み、求められるレベルをほぼ達成した。	与えられた課題に取り組みしたが、最低限容認できるレベルにとどまった。	与えられた課題に真面目に取り組まなかった。
ドイツ語の基本的な語彙を修得し、発音が正確にできる。	学修した知識を確実に修得し、求められるレベルを大きく超えた。	学修した知識を確実に修得した。	学修した知識をほぼ修得した。	学修した知識を修得したが、最低限容認できるレベルにとどまった。	学修した知識を修得できなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『気分はドイツ(改訂版)』	浜辺・黒瀬ほか	三修社	2021	9784384123012	
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	経営学科・3年		
開講時期	4Q	授業形態	講義	必修・選択	選択必修
科目名称	ドイツ語入門 (M) (科目ナンバリング: GER051025)				
授業担当者(所属・職名)	河田 一郎(経営学科・准教授)	研究室所在	2号館8階		
単位数	2 (単位認定責任者: 河田 一郎)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり 左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	大学入試センターの問題作成委員としての経験を活かしてドイツ語教育にかかわる指導を行う。			

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	【ガイダンス】 授業の進め方・シラバスの説明。	シラバスの内容確認すること。(90分)	授業の内容を復習しておくこと。(90分)
2	【話法の助動詞について】 話法の助動詞の用法について学び、置き換えができるようにする。	前回の授業内容を確認すること。(90分)	授業の内容を復習しておくこと。(90分)
3	【話法の助動詞の用法について】 話法の助動詞の用法について学び、置き換えができるようにする。	前回の授業内容を確認すること。(90分)	授業の内容を復習しておくこと。(90分)
4	【ヒアリング練習】 ヒアリング問題に関する対策を学ぶ。	前回の授業内容を確認すること。(90分)	授業の内容を復習しておくこと。(90分)
5	【形容詞について】 ドイツ語の形容詞の用法について学び、変化させることができる。	前回の授業内容を確認すること。(90分)	授業の内容を復習しておくこと。(90分)
6	【形容詞の比較・副詞的用法について】 比較・副詞的用法を学び、変化させることができる。	前回の授業内容を確認すること。(90分)	授業の内容を復習しておくこと。(90分)
7	【分離動詞について】 分離動詞について学び、作文することができる。	前回の授業内容を確認すること。(90分)	授業の内容を復習しておくこと。(90分)
8	【動詞の3基本形について】 動詞の3基本形について学び、変化させることができる。	前回の授業内容を確認すること。(90分)	授業の内容を復習しておくこと。(90分)
9	【過去形の変化について】 過去形の変化について学び、人称変化させることができる。	前回の授業内容を確認すること。(90分)	授業の内容を復習しておくこと。(90分)
10	【完了形について】 ドイツ語の現在完了形について学び、作文することができる。	前回の授業内容を確認すること。(90分)	授業の内容を復習しておくこと。(90分)
11	【完了形の用法について】 完了形の用法について学び、英語との違いを理解する。	前回の授業内容を確認すること。(90分)	授業の内容を復習しておくこと。(90分)
12	【関係代名詞について】 関係代名詞について学び、作文することができる。	前回の授業内容を確認すること。(90分)	授業の内容を復習しておくこと。(90分)
13	【受動態について】 受動態について学び、作文することができる。	前回の授業内容を確認すること。(90分)	授業の内容を復習しておくこと。(90分)
14	【zu不定詞について】 不定詞について学び、和訳することができる。	前回の授業内容を確認すること。(90分)	授業の内容を復習しておくこと。(90分)
15	【接続法について】 接続法について学び、用法を理解する。	前回の授業内容を確認すること。(90分)	授業の内容を復習しておくこと。(90分)
16	【定期試験および解説】 60分の試験終了後、残りの30分で解説を行う。	試験向け全体を復習すること。(90分)	試験および解説を受けて講義全体を復習すること。(90分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	社会福祉学科・3年、デザイン学科・3年、建		
開講時期	4 Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	ドイツ語入門 (科目ナンバリング: GER051025)				
授業担当者(所属・職名)	河田 一郎 (経営学科・准教授)		研究室所在	2号館8階	
単位数	2 (単位認定責任者: 河田 一郎)		CAP制		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	大学入試センターの問題作成委員としての経験を活かしてドイツ語教育にかかわる指導を行う。		

概要

履修目標

ドイツ語の初級文法と簡単な会話をマスターする。グローバル化に対応するため「外国語」を学ぶための科目である。

授業の位置づけ

社会福祉学科のDP「1(2)」、「2(1)」に対応する。
 デザイン学科のDP「1(1)」、「2(1)」、「2(3)」に対応する。
 建築学科のDP「1(1)」、「2(1)」、「2(3)」に対応する。

到達目標

ドイツ語検定試験5級合格のための基礎を固める。観光・留学などドイツ語圏で困らない程度の日常会話を身につける。

授業全体の内容と概要

ドイツと言えば、クラシック音楽である。クラシックをBGMに用いたリラックスした学習環境の中で、ドイツ語の文法と会話を学修する。

授業の方法

授業では板書をしながら、ドイツ語の文法・文化を紹介する。ドイツのDVD等も見て講義形式で行う。また、適宜確認テストを実施し、フィードバックとして解説を丁寧に行う。

アクティブラーニングの実施方法

プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL
模擬授業	○	ロールプレイ		調査学習		反転授業
ディスカッション		実験・実習・実技	○	双方向授業		その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

新しいことばかりなので、とにかく授業に参加すること。ドイツ語検定試験受験希望者には特別講義を行なう。再試験の評価は内容の理解度を重視する。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な最低出席回数は、10回以上。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
60%	0%	0%	0%	40%	0%

ルーブリック

評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
ドイツ語の初級文法について説明及び語形変化等の活用をすることができる。	学修した知識を確実に修得し、求められるレベルを大きく超えた。	学修した知識を確実に修得した。	学修した知識をほぼ修得した。	学修した知識を修得したが、最低限容認できるレベルにとどまった。	学修した知識を修得できなかった。
基礎的な文法を用いて平易なドイツ語の文章を書き翻訳することができる。	与えられた課題に積極的に取り組み、求められるレベルを大きく超えた。	与えられた課題に取り組み、求められるレベルを達成した。	与えられた課題に取り組み、求められるレベルをほぼ達成した。	与えられた課題に取り組みしたが、最低限容認できるレベルにとどまった。	与えられた課題に真面目に取り組まなかった。
ドイツ語の基本的な語彙を修得し、発音が正確にできる。	学修した知識を確実に修得し、求められるレベルを大きく超えた。	学修した知識を確実に修得した。	学修した知識をほぼ修得した。	学修した知識を修得したが、最低限容認できるレベルにとどまった。	学修した知識を修得できなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『気分はドイツ(改訂版)』	浜辺・黒瀬	三修社	2021	9784384123012	
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等

No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	社会福祉学科・3年、デザイン学科・3年、建		
開講時期	4Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	ドイツ語入門 (科目ナンバリング: GER051025)				
授業担当者(所属・職名)	河田 一郎(経営学科・准教授)	研究室所在	2号館8階		
単位数	2 (単位認定責任者: 河田 一郎)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	大学入試センターの問題作成委員としての経験を活かしてドイツ語教育にかかわる指導を行う。		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	【ガイダンス】 授業の進め方・シラバスの説明。	シラバスの内容を確認すること。(90分)	授業の内容を復習しておくこと。(90分)
2	【話法の助動詞について】 話法の助動詞の用法について学び、置き換えができるようにする。	前回の授業内容を確認すること。(90分)	授業の内容を復習しておくこと。(90分)
3	【話法の助動詞の用法について】 話法の助動詞の用法について学び、置き換えができるようにする。	前回の授業内容を確認すること。(90分)	授業の内容を復習しておくこと。(90分)
4	【ヒアリング練習】 ヒアリング問題に関する対策を学ぶ。	前回の授業内容を確認すること。(90分)	授業の内容を復習しておくこと。(90分)
5	【形容詞について】 ドイツ語の形容詞の用法について学び、変化させることができる。	前回の授業内容を確認すること。(90分)	授業の内容を復習しておくこと。(90分)
6	【形容詞の比較・副詞的用法について】 比較・副詞的用法を学び、変化させることができる。	前回の授業内容を確認すること。(90分)	授業の内容を復習しておくこと。(90分)
7	【分離動詞について】 分離動詞について学び、作文することができる。	前回の授業内容を確認すること。(90分)	授業の内容を復習しておくこと。(90分)
8	【動詞の3基本形について】 動詞の3基本形について学び、変化させることができる。	前回の授業内容を確認すること。(90分)	授業の内容を復習しておくこと。(90分)
9	【過去形の変化について】 過去形の変化について学び、人称変化させることができる。	前回の授業内容を確認すること。(90分)	授業の内容を復習しておくこと。(90分)
10	【完了形について】 ドイツ語の現在完了形について学び、作文することができる。	前回の授業内容を確認すること。(90分)	授業の内容を復習しておくこと。(90分)
11	【完了形の用法について】 完了形の用法について学び、英語との違いを理解する。	前回の授業内容を確認すること。(90分)	授業の内容を復習しておくこと。(90分)
12	【関係代名詞について】 関係代名詞について学び、作文することができる。	前回の授業内容を確認すること。(90分)	授業の内容を復習しておくこと。(90分)
13	【受動態について】 受動態について学び、作文することができる。	前回の授業内容を確認すること。(90分)	授業の内容を復習しておくこと。(90分)
14	【zu不定詞について】 不定詞について学び、和訳することができる。	前回の授業内容を確認すること。(90分)	授業の内容を復習しておくこと。(90分)
15	【接続法について】 接続法について学び、用法を理解する。	前回の授業内容を確認すること。(90分)	授業の内容を復習しておくこと。(90分)
16	【定期試験および解説】 60分の試験終了後、残りの30分で解説を行う。	試験に向け全体を復習すること。(90分)	試験および解説を受けて講義全体を復習すること。(90分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・3年		
開講時期	2Q	授業形態	講義	必修・選択	選択必修
科目名称	中国語入門 (科目ナンバリング: CHI051026)				
授業担当者(所属・職名)	村山 豊 (経営学科・非常勤講師)	研究室所在	1号館1階 非常勤講師室		
単位数	2 (単位認定責任者: 村山 豊)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標	中国人と簡単な会話を交わすことができるようになる。中国語検定HSK1級程度のレベルに到達する。(中国語検定HSKは中国政府公認の資格で初級レベル1級から上級レベル6級まで6段階に分かれている。)				
授業の位置づけ	経営学科のDP「1(1)」、「2(2)」、「2(1)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(2)」、「2(1)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(1)」、「2(1)」に対応する。 建築学科のDP「1(1)」、「2(1)」に対応する。				
到達目標	中国語の発音・文法とあいさつ・簡単な会話をマスターする。中国語を通して、中国人の礼節・習慣なども理解できる。				
授業全体の内容と概要	初めて中国語を学習する学生のために、日常会話と文法を結び付けて学習することで、コミュニケーション能力を身につけられるようにする。				
授業の方法	板書により、「発音」・「挨拶」・「基本文」・「会話文」・「入れ替え練習と応用」・「新出単語」・「文法」・「練習」と段階的に講義形式で授業を進める。中国語の学習を通して、中国の文化や歴史なども理解しやすいように講義する。また、復習を重視し、適宜簡単な確認テストを実施する。課題に対して解説を加えてフィードバックをする。				
アクティブラーニングの実施方法	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL	
	模擬授業	○	ロールプレイ	調査学習	反転授業
	○	ディスカッション	実験・実習・実技	○	双方向授業
	その他(授業の方法参照)				
履修上の注意事項	発音が特に難しいので、必ず授業に参加し、正確な発音と聴力を身につけるように努力し、ピンインと簡体字を覚え書きできるようにしなければならない。				
資格指定科目					

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な最低出席回数は、10回以上					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
60%	10%	10%	0%	20%	%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
知識・技能(発音・文字読解・文法・読解等)	定期試験で9割以上、語彙・文法の誤りがなく正確に理解していた。	定期試験で8割以上、語彙・文法の誤りがほとんどなく大體理解していた。	定期試験で7割以上、語彙・文法の誤りが若干あるが問題なく理解していた。	定期試験で6割以上、語彙・文法の誤りが若干あつて理解できていない部分があつた。	定期試験で6割未満、理解を妨げる語彙・文法の誤りがあつた。
思考力・判断力・表現力(聴解・会話・プレゼン等)	表現方法が適切であり、誤りがなかった。	表現方法が適切であり、誤りがほとんどなかった。	表現方法が適切であり、誤りが少しあつた。	表現方法に誤りがあり、自分の意見を伝えるのに支障をきたす点があつた。	表現方法に誤りが目立ち、自分の意見が伝わらなかつた。
主体性・多様性・協働性	与えられた課題に積極的に取り組み、多様な表現や協働性に関してレベル以上に達した。	与えられた課題に取り組み、多様な表現や協働性に関して一定のレベルに達した。	与えられた課題に取り組んだが、多様な表現や協働性に関して求められるレベルに達しなかつた。	与えられた課題に取り組んだが、多様な表現や協働性に関して最低限確認できるレベルにとどまつた。	与えられた課題に取り組みなかつた。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『P P「中国語会話301」(上)』	康玉華・来思平	語文研究者	2015	9784931315601	
2						
3						
4						
5						
参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『超入門!書いて覚える中国語ドリル』	王ていてい	ナツメ社	2020	9784816364921	
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・3年		
開講時期	2Q	授業形態	講義	必修・選択	選択必修
科目名称	中国語入門 (科目ナンバリング: CHI051026)				
授業担当者(所属・職名)	村山 豊(経営学科・非常勤講師)	研究室所在	1号館1階 非常勤講師室		
単位数	2 (単位認定責任者: 村山 豊)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	講義ガイダンス: 中国語について(シラバスの説明)	シラバスの内容確認(90分)	授業の内容確認(90分)
2	発音: 子音・母音(1)、表音文字(1)、声調、軽声 第1課 挨拶(一) こんにちは	前回の授業内容確認(90分)	授業の内容確認・練習問題(90分)
3	発音: 子音・母音(2)、表音文字(2)、声調、軽声 第2課 挨拶(二) お変わりありませんか	前回の授業内容確認(90分)	授業の内容確認・練習問題(90分)
4	発音: 母音(3)、表音文字(3)、巻舌音化 第3課 挨拶(三) お仕事はお忙しいですか	前回の授業内容確認(90分)	授業の内容確認・練習問題(90分)
5	文法: 「 <u>ma</u> 」を用いる疑問文、形容詞述語文 第4課 初めて会う(一) お名前は何かとおっしゃいますか	前回の授業内容確認(90分)	授業の内容確認・練習問題(90分)
6	文法: 動詞述語文、所属・所有関係を表す連体修飾語 第5課 初めて会う(二) ちょっとご紹介します	前回の授業内容確認(90分)	授業の内容確認・練習問題(90分)
7	復習一 会話・発音・声調の聞き取り練習	前回の授業内容確認(90分)	授業の内容確認・練習問題(90分)
8	文法: 名詞述語文、年月日曜日の表し方、どうですか? 第6課 尋ねる(一) 誕生日は何月何日ですか	前回の授業内容確認(90分)	授業の内容確認・練習問題(90分)
9	文法: 「有」文、前置詞構造 第7課 尋ねる(二) ご家族は何人ですか	前回の授業内容確認(90分)	授業の内容確認・練習問題(90分)
10	文法: 時間の読み方、時間詞 第8課 尋ねる(三) 今何時ですか	前回の授業内容確認(90分)	授業の内容確認・練習問題(90分)
11	文法: 連動文、連用修飾語 第9課 尋ねる(四) お住まいはどこですか	前回の授業内容確認(90分)	授業の内容確認・練習問題(90分)
12	文法: 方位詞、反復疑問文 第10課 尋ねる(五) 郵便局はどこですか	前回の授業内容確認(90分)	授業の内容確認・練習問題(90分)
13	復習二 会話の聞き取り練習と文法の復習、会話練習と短文の読み方練習	前回の授業内容確認(90分)	授業の内容確認・練習問題(90分)
14	総復習 発音・文法の復習と中国語で自己紹介をして、質問に答える	前回の授業内容確認(90分)	授業の内容確認・練習問題(90分)
15	総復習 会話・読み方の復習と中国語で自分の家族のことを話す	前回の授業内容確認(90分)	授業の内容確認・練習問題(90分)
16	定期試験、解説(60分+30分)	定期試験の準備をする(90分)	試験内容の復習をする(90分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	4Q	授業形態	講義	必修・選択	選択必修
科目名称	中国語入門 (科目ナンバリング: CHI051027)				
授業担当者(所属・職名)	村山 豊 (経営学科・非常勤講師)	研究室所在	1号館1階 非常勤講師室		
単位数	2 (単位認定責任者: 村山 豊)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標	中国語で中国人と簡単な交流ができ、中国の協定校と交換留学ができるように、中国語検定HSK2級程度のレベルを目指す。(中国語検定HSKは中国政府公認の資格で初級レベル1級から上級レベル6級まで6段階に分かれている。)				
授業の位置づけ	経営学科のDP「1(1)」、「2(2)」、「2(1)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(2)」、「2(1)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(1)」、「2(1)」に対応する。 建築学科のDP「1(1)」、「2(1)」に対応する。				
到達目標	中国語を通して、中国の文化を理解し日中友好に寄与することができる。				
授業全体の内容と概要	初めて中国語を学習する学生のために、日常会話と文法を結び付けて学習することで、コミュニケーション能力を身につけられるようにする。				
授業の方法	板書により、「発音」、「挨拶」、「基本文」、「会話文」、「入れ替え練習と応用」、「進出単語」、「文法」、「練習」と段階的に講義形式で授業を進める。中国語の学習を通して、中国の文化や歴史等も理解しやすいように講義する。また、復習を重視し、適宜簡単な確認テストを実施する。課題に対して解説を加えてフィードバックする。				
アクティブラーニングの実施方法	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL	
	模擬授業	○	ロールプレイ	調査学習	反転授業
	○	ディスカッション	実験・実習・実技	○	双方向授業
	その他(授業の方法参照)				
履修上の注意事項	会話を特に重視したいので、聞き取った中国語を中国語で理解し、すぐに反応して中国語で答えられる能力を身につけるよう努力すること。				
資格指定科目					

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な最低出席回数は、10回以上					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
60%	10%	10%	0%	20%	0%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
知識・技能(発音・文字読解・文法・読解等)	定期試験で9割以上、語彙・文法の誤りがなく正確に理解している。	定期試験で8割以上、語彙・文法の誤りがほとんどなく大體理解している。	定期試験で7割以上、語彙・文法の誤りが若干あるが問題なく理解している。	定期試験で6割以上、語彙・文法の誤りが若干あつて理解できていない部分がある。	定期試験で6割未満、理解を妨げる語彙・文法の誤りがある。
思考力・判断力・表現力(聴解・会話・プレゼン等)	表現方法が適切であり、誤りがない。	表現方法が適切であり、誤りがほとんどない。	誤りが多少あるが、表現方法が適切である。	表現方法に誤りがあり、自分の意見を伝えるのに支障をきたす点がある。	表現方法に誤りが目立ち、自分の意見が伝わらない。
主体性・多様性・協働性	与えられた課題に積極的に取り組み、多様な表現や協働性に関してレベル以上に達した。	与えられた課題に取り組み、多様な表現や協働性に関して一定のレベルに達した。	与えられた課題に取り組んだが、多様な表現や協働性に関して求められるレベルに達しなかった。	与えられた課題に取り組んだが、多様な表現や協働性に関して求められるレベルにとどまった。	与えられた課題に取り組みなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『中国語会話301』(上) a a	康玉華・来思平	語文研究社	2015	9784931315501	
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『超入門!書いて覚える中国語ドリル』a	王ていてい	ナツメ社	2020	9784816364921	
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	4Q	授業形態	講義	必修・選択	選択必修
科目名称	中国語入門 (科目ナンバリング: CHI051027)				
授業担当者(所属・職名)	村山 豊(経営学科・非常勤講師)	研究室所在	1号館1階 非常勤講師室		
単位数	2 (単位認定責任者: 村山 豊)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	講義ガイダンス: シラバスの説明、中国語について	シラバスの内容確認(90分)	授業の内容確認(90分)
2	文法: 語気助詞「了」(1)、重ね型動詞第11課 必要(一)みかんを売りたいです	前回の授業内容確認(90分)	授業の内容確認・練習問題(90分)
3	文法: 主述述語文、能願助詞第12課 必要(二)セーターを売りたいです	前回の授業内容確認(90分)	授業の内容確認・練習問題(90分)
4	文法: 二重目的語文、能動助詞「会」第13課 必要(三)乗り換えが必要です。	前回の授業内容確認(90分)	授業の内容確認・練習問題(90分)
5	文法: 兼語文、語気助詞「了」(2)第14課 必要(四)両替に行きたいです	前回の授業内容確認(90分)	授業の内容確認・練習問題(90分)
6	文法: 結果補語、前置詞「給」第15課 必要(五)写真を撮りたいです	前回の授業内容確認(90分)	授業の内容確認・練習問題(90分)
7	復習三 長い会話の聞き取り練習、能願動詞のまとめ、会話練習と短文の読み方練習	前回の授業内容確認(90分)	授業の内容確認・練習問題(90分)
8	文法: 動態助詞「過」、無主語文、「まだ...していません」第16課 約束(一)京劇を見たことがありますか	前回の授業内容確認(90分)	授業の内容確認・練習問題(90分)
9	文法: 選択疑問文、連動文、方向補語(1)第17課 約束(二)動物園に行きます	前回の授業内容確認(90分)	授業の内容確認・練習問題(90分)
10	文法: 文型「要...了」、文型「是...的」第18課 迎える(一)道中お疲れ様でした	前回の授業内容確認(90分)	授業の内容確認・練習問題(90分)
11	文法: 「从」、「在」の目的語、動量補語第19課 迎える(二)歓迎いたします	前回の授業内容確認(90分)	授業の内容確認・練習問題(90分)
12	文法: 程度補語、程度補語と目的語第20課 招待する 私たちの友情のために乾杯	前回の授業内容確認(90分)	授業の内容確認・練習問題(90分)
13	復習四 空港・ホテルでの会話の聞き取り練習と文法の復習、会話練習と短文の閲読	前回の授業内容確認(90分)	授業の内容確認・練習問題(90分)
14	総復習 発音・文法の復習と中国語で自分の出身地・出身校を紹介して、質問に答える	前回の授業内容確認(90分)	授業の内容確認・練習問題(90分)
15	総復習 会話・読み方の復習をして、中国語で北海道や日本のことを説明する	前回の授業内容確認(90分)	授業の内容確認・練習問題(90分)
16	定期試験、解説(60分+30分)	定期試験の準備をする(90分)	試験の復習をする(90分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	専門科目	対象学科・配当	経営学科・3年		
開講時期	4Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	外国語コミュニケーション(M) (科目ナンバリング: ENL052028)				
授業担当者(所属・職名)	岡島 徳昭(経営学科・特任教授)	研究室所在	1号館3階		
単位数	2 (単位認定責任者: 岡島 徳昭)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標												
英文を読み、個々の単語の発音練習を行う。基本的文法事項を復習し、作文練習、会話練習を行い、英語運用能力を身につける。												
授業の位置づけ												
経営学科のDP 「1(2)」、「2(2)」に対応する。												
到達目標												
英語の発音を修得する。基本的文法事項を理解し、簡単な作文と会話ができる。												
授業全体の内容と概要												
英文を読み、発音を確認し、基本的表現や文型を学び、英語の運用能力の向上を目指す。												
授業の方法												
板書、CDを用い英語運用能力の向上を計り、学生参加型授業を行う。 中間テスト、定期試験の答え合わせ等のフィードバックを実施する。												
アクティブラーニングの実施方法												
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>グループワーク</td> <td>フィールドワーク</td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td>ロールプレイ</td> <td>調査学習</td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td>実験・実習・実技</td> <td>双方向授業</td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL	模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業	ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL									
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業									
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)									
履修上の注意事項												
平常点重視、テキスト・辞書持参												
資格指定科目												
教職課程(全教科)選択科目												

評価方法・基準

評価前提条件					
成績評価には10回以上の出席が必要。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
40%	0%	0%	40%	20%	0%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
知識・技能(発音・語彙・文法・読解等)	定期試験・中間試験で9割以上、文法・語彙に誤りがなく正確に理解していた。	定期試験・中間試験で8割以上、文法・語彙に誤りがほとんどなく大体理解できていた。	定期試験・中間試験で7割以上、文法・語彙に若干誤りがあるが理解していた。	定期試験・中間試験で6割以上、文法・語彙に誤りがあり理解できていない部分が多かった。	定期試験・中間試験で6割以下、文法・語彙に誤りが多く理解に問題があった。
思考力・判断力・表現力	表現方法が適切であり誤りがほとんどなかった。	表現方法はほぼ適切で、小さな誤りが若干ある程度だった。	誤りがあるが、表現方法において誤解を生じるほどの大きな誤りはなかった。	表現方法に誤りがあり、自分の意思を伝えることに支障を少しきたす点があった。	表現方法に誤りが目立ち、自分の意思を伝えることができなかった。
参加型授業への取り組み姿勢	大いに意欲・関心・興味を持って授業に参加していた。クラスでの発表も多く積極的だった。	意欲・関心・興味を持って授業に参加していた。クラスでの発表に努め積極的だった。	ある程度意欲・関心・興味を持って授業に参加していた。やや積極的だった。	あまり意欲・関心・興味を感じられなかった。無難に授業を消化していた。やや積極性に欠けていた。	全く意欲・関心・興味を感じられなかった。遅刻・欠席が目立った。積極性に欠けていた。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『Practical English Indicator 1』	テリー・オブライエン, 三原 京 他	南雲堂	2018	978-4-523	
2						
3						
4						
5						
参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	専門科目	対象学科・配当	経営学科・3年		
開講時期	4Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	外国語コミュニケーション(M) (科目ナンバリング: ENL052028)				
授業担当者(所属・職名)	岡島 徳昭(経営学科・特任教授)	研究室所在	1号館3階		
単位数	2 (単位認定責任者: 岡島 徳昭)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	授業の進め方 採点に関するガイダンス。(シラバスの説明) Unit 1 The Royal Family	シラバスを読むこと。(90分)	授業中に学んだことを復習する。(90分)
2	Unit 2 The Beatles Past tense 復習	リーディングアサシメント及び語彙の学習。(90分)	授業中に学んだことを復習する。(90分)
3	Unit 3 Very Cold Progressive forms 復習	リーディングアサシメント及び語彙の学習。(90分)	授業中に学んだことを復習する。(90分)
4	Unit 4 Euro Money Auxiliary verbs 復習	リーディングアサシメント及び語彙の学習。(90分)	授業中に学んだことを復習する。(90分)
5	Unit 5 To Your Health Perfect tense 復習	リーディングアサシメント及び語彙の学習。(90分)	授業中に学んだことを復習する。(90分)
6	Unit 6 Recycling Articles, pronouns 復習	リーディングアサシメント及び語彙の学習。(90分)	授業中に学んだことを復習する。(90分)
7	Unit 7 The UK Nouns: countable, uncountable	リーディングアサシメント及び語彙の学習。(90分)	授業中に学んだことを復習する。(90分)
8	中間テスト	リーディングアサシメント及び語彙の学習。(90分)	授業中に学んだことを復習する。(90分)
9	Unit 8 A Quiet Life Adjectives, adverbs 復習	リーディングアサシメント及び語彙の学習。(90分)	授業中に学んだことを復習する。(90分)
10	Unit 9 My Company Comparisons 復習	リーディングアサシメント及び語彙の学習。(90分)	授業中に学んだことを復習する。(90分)
11	Unit 10 Advertising Infinitives, conjunctions 復習	リーディングアサシメント及び語彙の学習。(90分)	授業中に学んだことを復習する。(90分)
12	Unit 11 Business Trips Prepositions, conjunctions 復習	リーディングアサシメント及び語彙の学習。(90分)	授業中に学んだことを復習する。(90分)
13	Unit 12 Get It Cleaned Causative verbs, perceptive	リーディングアサシメント及び語彙の学習。(90分)	授業中に学んだことを復習する。(90分)
14	Unit 13 A Storm Passive voice 復習	リーディングアサシメント及び語彙の学習。(90分)	授業中に学んだことを復習する。(90分)
15	Unit 14 The Media Relativesの復習	リーディングアサシメント及び語彙の学習。(90分)	授業中に学んだことを復習する。(90分)
16	総合評価 定期試験60分、解説30分	リーディングアサシメント及び語彙の学習。(90分)	授業中に学んだことを復習する。(90分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	社会福祉学科・3年		
開講時期	4Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	外国語コミュニケーション(S) (科目ナンバリング: ENL052028)				
授業担当者(所属・職名)	信濃 吉彦(経営学科・教授)	研究室所在	2号館6階		
単位数	2 (単位認定責任者: 信濃 吉彦)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
身近な話題を中心とした日常生活の様々な場面を想定し、テキストに沿った文法整理から、会話、発音、語彙を総合的に学習することによってコミュニケーションツールとしての英語運用能力を身につける。

授業の位置づけ
社会福祉学科のDP「1(2)」、「1(6)」、「2(4)」に対応する。

到達目標
簡単な日常会話や場面表現に関して用いられる英文の文法解釈において、文型を理解したうえでコミュニケーションツールとして基礎的な英語運用能力を身につけることができる。

授業全体の内容と概要
文法、語彙、会話表現の向上をはかり、自分が表現したいことを相手に伝えられるようコミュニケーションスキルの基礎を習得する。

授業の方法
本講座は講義形式で授業を行い、教科書やハンドアウトを利用し英語の構造について学習しながら指定アプリを活用して単語数や日常表現を増やす活動を行ってもらう。レポート、試験などの解説のフィードバックを実施する。 指定翻訳アプリ: VoiceTra VoiceTra(ボイストラ)はNICT(エヌアイシーティ: 国立研究開発法人情報通信研究機構)が、言葉の壁の克服を目指して開発したスマートフォン用の無料多言語音声翻訳アプリです。>

アクティブラーニングの実施方法						
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク	PBL
	模擬授業		ロールプレイ	○	調査学習	反転授業
○	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項
出席を重視する。遅刻は20分までとし2回の遅刻を以って欠席1回とする。特別な理由のない20分以上の遅刻は欠席扱いとする。また、中間試験として文型理解度確認テストを実施する。加えて英文日記を1回提出し、レポートとして採用する。

資格指定科目
教職課程(全教科) 選択科目 保育士養成課程

評価方法・基準

評価前提条件					
講義による授業形態を採る。教科書・ノート・筆記具を持ってこない学生は欠席とする。また、教科書のない学生は評価の対象としない。12回の出席を基準とし10回の出席を確保できないものは再履修とする。 平常点にはノートチェックと授業参加度を含み、前向きな課題の提出には、加点する。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
50%	10%	10%	10%	20%	0%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
知識・技能	定期試験で90点以上の得点を挙げた。	定期試験で80点以上の得点を挙げた。	定期試験で70点以上の得点を挙げた。	定期試験で60点以上の得点を挙げた。	定期試験で60点をクリアすることができなかった。
思考力・判断力・表現力	積極的に課題に取り組み、実際の場面で必要となる語彙・表現に取り組み、十分なコミュニケーション能力を獲得するための土台がほぼ完成している。	与えられた課題に取り組み、自分が出会う場面を想定し、コミュニケーションをとる土台が出来つつある。	与えられた課題に取り組み、日々の生活で使用頻度の高い語彙を調べだし辞書を有効に活用してコミュニケーションの土台づくりの努力が見られる。	与えられた課題に取り組み、語彙力をつける努力は認められるがなかなか定着してはいない。辞書を使うことはできる。	課題への取り組みが不十分で、語彙力の進歩が見られず、翻訳アプリがないと何もしない。
主体性	自分のみならず周囲の学生も巻き込みながら課題解決に取り組み、余った時間をさらにさらなる語彙力・表現力の充実に振り分けている。	授業中の質問が多く、学習方法や調査結果などの相談も常であり国際言語習得に関して前向きで、努力が窺える。	積極性は乏しいものの、不明点を質問するなど前向きな姿勢がつかがわれる。	何とか課題はこなすものの、不明点を質問したりすることはなく、ノートも板書範囲を超えない。	自分から進んで国際言語を身につけようとする姿勢が見られない。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	Practical new approach to understanding English grammar	Naoya Fujita	朝日出版社	2014	978-4-255-15479-4	
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	社会福祉学科・3年		
開講時期	4Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	外国語コミュニケーション(S) (科目ナンバリング: ENL052028)				
授業担当者(所属・職名)	信濃 吉彦(経営学科・教授)	研究室所在	2号館6階		
単位数	2 (単位認定責任者: 信濃 吉彦)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	オリエンテーション: シラバスの説明	専用のノートを準備する(90分)	自分の弱点確認(90分)
2	動詞(be動詞, 自動詞, 他動詞)	テキストの指定範囲を読む(90分)	ノートの作成。課題・宿題(90分)
3	Chapter1と基礎文法	テキストの指定範囲を読む(90分)	ノートの作成。課題・宿題(90分)
4	Chapter2と基礎文法	テキストの指定範囲を読む(90分)	ノートの作成。課題・宿題(90分)
5	Chapter3とオーストラリア文化談	テキストの指定範囲を読む(90分)	ノートの作成。課題・宿題(90分)
6	Chapter4と基礎文法	テキストの指定範囲を読む(90分)	ノートの作成。課題・宿題(90分)
7	Chapter5と基礎文法	テキストの指定範囲を読む(90分)	ノートの作成。課題・宿題(90分)
8	Chapter6 アメリカ文化談	テキストの指定範囲を読む(90分)	ノートの作成。課題・宿題(90分)
9	Chapter7 アメリカ文化談	テキストの指定範囲を読む(90分)	ノートの作成。課題・宿題(90分)
10	Chapter14 アメリカ文化談	テキストの指定範囲を読む(90分)	ノートの作成。課題・宿題(90分)
11	Chapter15	テキストの指定範囲を読む(90分)	ノートの作成。課題・宿題(90分)
12	Chapter16	テキストの指定範囲を読む(90分)	ノートの作成。課題・宿題(90分)
13	Chapter17	テキストの指定範囲を読む(90分)	ノートの作成。課題・宿題(90分)
14	Chapter13 アメリカ文化談	テキストの指定範囲を読む(90分)	ノートの作成。課題・宿題(90分)
15	総まとめ & Review	テキストの指定範囲を読む(90分)	期末試験に備える(90分)
16	試験(60分)及び授業総評(30分)	試験準備(150分)	授業内容の振り返り(90分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	デザイン学科・3年、建築学科・3年		
開講時期	4Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	外国語コミュニケーション (科目ナンバリング: ENL052028)				
授業担当者(所属・職名)	宮嶋 達也(デザイン学科・准教授)	研究室所在	2号館4階		
単位数	2 (単位認定責任者: 宮嶋 達也)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
グローバル化に対応するため「外国語」を学ぶための科目であり、英語で外国人と最低限のコミュニケーションができるよう実際に使える英語を身につける。また、日本と外国の習慣や文化、考え方の違いについて理解を深める。

授業の位置づけ
デザイン学科のDP「1(1)」、「(3)」、「2(1)」、「(3)」に対応する。 建築学科のDP「1(1)」、「2(1)」、「(3)」に対応する。

到達目標
会話表現の向上をはかり、自分が表現したいことを最低限相手に伝えられるように、コミュニケーションスキルを習得することができる。

授業全体の内容と概要
身近なトピックや日本の伝統文化・習慣を扱ったダイアログを通して「聞く・読む」から「話す・書く」へとつなぐ技能統合を重視した英語運用能力育成を目的とし、口語表現などを学習し、会話でよく使用される重要な表現を想定し相手の気持ちを読み取り、相手に自分の気持ちを伝えるコミュニケーションを学ぶことができる。

授業の方法
授業では視聴覚メディアを活用し、講義形式で行う。リスニングで単語の発音をインプットし、リーディングでは英文を声に出して読むアウトプットの作業を行う。また、テキストの練習問題を解き疑問点などは個々に対応、或いはクラス全体への解答を解説し学生へのフィードバックを行う。ペアでのロールプレイ、グループワークなど多く取り入れるので積極的に授業に参加する。

アクティブラーニングの実施方法																					
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>○</td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td>○</td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL	模擬授業	○	ロールプレイ		調査学習		反転授業	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL															
模擬授業	○	ロールプレイ		調査学習		反転授業															
ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)															

履修上の注意事項
15分以上の遅刻は欠席とみなします。遅刻2回で欠席1回。授業には必ずテキスト、辞書を持参すること。テキストを忘れ、授業前に申し出ない場合は欠席扱いとする。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
単位認定に必要な最低出席回数は10回以上。												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>50%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>20%</td> <td>30%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	50%	0%	0%	0%	20%	30%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
50%	0%	0%	0%	20%	30%							

ルーブリック																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>理解度</td> <td>授業内容を超えた学修が認められる。</td> <td>授業内容をほぼ理解している。</td> <td>到達目標に達している。</td> <td>到達目標を理解しているが、授業内容の理解に少し不足がある。</td> <td>到達目標に達していない。</td> </tr> <tr> <td>英語表現能力</td> <td>英語で優れた表現を行うことができる。</td> <td>英語で表現を行うことができる。</td> <td>英語で表現を一定程度行うことができる。</td> <td>英語で与えられた条件を満たした最低限度の表現を行うことができる。</td> <td>英語で与えられた条件を満たした最低限度の表現を行うことができない。</td> </tr> <tr> <td>積極性</td> <td>授業全体の流れを理解し、質問・問題提起により授業展開に貢献する。</td> <td>授業全体の流れを理解し、発問に対して積極的に応じる。</td> <td>発問に対して、指名されれば正しく応じることができる。</td> <td>授業に集中して理解しようとする態度が見られる。</td> <td>授業に集中できず、授業放棄の態度が見られる。</td> </tr> <tr> <td>事前・事後学修</td> <td>自ら進んで学修範囲を超えて調べている。</td> <td>学修範囲を十分に調べて、授業内容を他人に説明できる。</td> <td>学修範囲を調べている。</td> <td>指示された範囲の事前・事後学修はするが、理解が不十分である。</td> <td>指示された範囲の事前・事後学修が不十分である。</td> </tr> <tr> <td>リスニング・スピーキング</td> <td>授業内で取り扱った単語・表現を完璧に習得し、リスニング・スピーキングの2技能を問題なく正確に運用できる。</td> <td>授業内で取り扱った単語・表現の大部分を習得し、リスニング・スピーキングの2技能を正確に運用できる。</td> <td>授業内で取り扱った単語・表現の大部分を習得し、リスニング・スピーキングの2技能をほぼ正確に運用できる。</td> <td>授業内で取り扱った単語・表現を部分的に習得しているが、リスニング・スピーキングの2技能の運用に不十分な部分が見受けられる。</td> <td>授業内で取り扱った単語・表現の習得が不十分であり、リスニング・スピーキングの2技能の運用に不正確さが目立つ。</td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	理解度	授業内容を超えた学修が認められる。	授業内容をほぼ理解している。	到達目標に達している。	到達目標を理解しているが、授業内容の理解に少し不足がある。	到達目標に達していない。	英語表現能力	英語で優れた表現を行うことができる。	英語で表現を行うことができる。	英語で表現を一定程度行うことができる。	英語で与えられた条件を満たした最低限度の表現を行うことができる。	英語で与えられた条件を満たした最低限度の表現を行うことができない。	積極性	授業全体の流れを理解し、質問・問題提起により授業展開に貢献する。	授業全体の流れを理解し、発問に対して積極的に応じる。	発問に対して、指名されれば正しく応じることができる。	授業に集中して理解しようとする態度が見られる。	授業に集中できず、授業放棄の態度が見られる。	事前・事後学修	自ら進んで学修範囲を超えて調べている。	学修範囲を十分に調べて、授業内容を他人に説明できる。	学修範囲を調べている。	指示された範囲の事前・事後学修はするが、理解が不十分である。	指示された範囲の事前・事後学修が不十分である。	リスニング・スピーキング	授業内で取り扱った単語・表現を完璧に習得し、リスニング・スピーキングの2技能を問題なく正確に運用できる。	授業内で取り扱った単語・表現の大部分を習得し、リスニング・スピーキングの2技能を正確に運用できる。	授業内で取り扱った単語・表現の大部分を習得し、リスニング・スピーキングの2技能をほぼ正確に運用できる。	授業内で取り扱った単語・表現を部分的に習得しているが、リスニング・スピーキングの2技能の運用に不十分な部分が見受けられる。	授業内で取り扱った単語・表現の習得が不十分であり、リスニング・スピーキングの2技能の運用に不正確さが目立つ。
評価項目		評価基準																																							
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
理解度	授業内容を超えた学修が認められる。	授業内容をほぼ理解している。	到達目標に達している。	到達目標を理解しているが、授業内容の理解に少し不足がある。	到達目標に達していない。																																				
英語表現能力	英語で優れた表現を行うことができる。	英語で表現を行うことができる。	英語で表現を一定程度行うことができる。	英語で与えられた条件を満たした最低限度の表現を行うことができる。	英語で与えられた条件を満たした最低限度の表現を行うことができない。																																				
積極性	授業全体の流れを理解し、質問・問題提起により授業展開に貢献する。	授業全体の流れを理解し、発問に対して積極的に応じる。	発問に対して、指名されれば正しく応じることができる。	授業に集中して理解しようとする態度が見られる。	授業に集中できず、授業放棄の態度が見られる。																																				
事前・事後学修	自ら進んで学修範囲を超えて調べている。	学修範囲を十分に調べて、授業内容を他人に説明できる。	学修範囲を調べている。	指示された範囲の事前・事後学修はするが、理解が不十分である。	指示された範囲の事前・事後学修が不十分である。																																				
リスニング・スピーキング	授業内で取り扱った単語・表現を完璧に習得し、リスニング・スピーキングの2技能を問題なく正確に運用できる。	授業内で取り扱った単語・表現の大部分を習得し、リスニング・スピーキングの2技能を正確に運用できる。	授業内で取り扱った単語・表現の大部分を習得し、リスニング・スピーキングの2技能をほぼ正確に運用できる。	授業内で取り扱った単語・表現を部分的に習得しているが、リスニング・スピーキングの2技能の運用に不十分な部分が見受けられる。	授業内で取り扱った単語・表現の習得が不十分であり、リスニング・スピーキングの2技能の運用に不正確さが目立つ。																																				

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>WELCOME TO NIPPON! < Building International Friendships ></td> <td>田地野 彰</td> <td>朝日出版社</td> <td>2018</td> <td>978-4-255-15613-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1	WELCOME TO NIPPON! < Building International Friendships >	田地野 彰	朝日出版社	2018	978-4-255-15613-2		2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1	WELCOME TO NIPPON! < Building International Friendships >	田地野 彰	朝日出版社	2018	978-4-255-15613-2																																					
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	デザイン学科・3年、建築学科・3年		
開講時期	4 Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	外国語コミュニケーション (科目ナンバリング: ENL052028)				
授業担当者(所属・職名)	宮嶋 達也(デザイン学科・准教授)	研究室所在	2号館4階		
単位数	2 (単位認定責任者: 宮嶋 達也)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	シラバスの説明 Giving Directions and Helping 道案内で使える英語表現	シラバスを参照しながらテキスト内容を理解する。 (90分)	授業各回のテーマを理解しておくこと。(90分)
2	Talking about Yourself 自己紹介で使える英語表現	今回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習する。(90分)
3	Host Family 留学生などを迎える時に使える英語表現	今回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習する。(90分)
4	Commuting by Train 電車の乗換説明に使える英語表現	今回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習する。(90分)
5	Taking Classes 物事の描写に使える英語表現(1)	今回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習する。(90分)
6	Talking with a Teacher 寝る時に使える英語表現	今回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習する。(90分)
7	Finding Friends 自分の趣味や好みを伝える英語表現	今回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習する。(90分)
8	Potluck パーティーなどの集まりで使える英語表現	今回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習する。(90分)
9	Sumo 物事の描写に使える英語表現(2)	今回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習する。(90分)
10	Four Seasons 好きな季節の説明に使える英語表現	今回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習する。(90分)
11	Green Tea 物事の描写に使える英語表現(3)	今回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習する。(90分)
12	Japanese Food 料理の説明に使える英語表現	今回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習する。(90分)
13	Part-time Jobs アルバイト先で使える英語表現	今回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習する。(90分)
14	Shopping at a Clothing Shop 買い物で使える英語表現	今回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習する。(90分)
15	Asakusa オススメの場所を紹介する英語表現	今回の授業範囲を予習し、単語の意味を調べておくこと。(90分)	授業で説明を受けたポイントをもう一度復習する。(90分)
16	定期試験(60分)及び解説とフィードバック(30分)。	試験での疑問点などは前もって質問できるように準備しておく。	間違えた箇所をもう一度復習し理解する。

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年（留学生対象）		
開講時期	2Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	日本語（留学生）（科目ナンバリング：JLN051031）				
授業担当者（所属・職名）	高橋 真弥（国際交流センター・センター員）	研究室所在	1号館1階非常勤講師室		
単位数	2（単位認定責任者：高橋 真弥）	CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
日常生活はもちろん、大学の授業が理解できる日本語能力や就職活動時に必要となる日本語レベルの習得を目指す。本講義は留学生の日本語能力の定着や大学入前の知識の復習を中心とするものとし、授業内容のレベルはN3-N2に相当する。

授業の位置づけ
経営学科のDPの「1(1)」、「2(1)」に対応する。 社会福祉学科のDPの「1(2)」、「3」、「4」、「5」、「6」、「7）」、「2(1)」に対応する。 デザイン学科のDPの「1(2)」、「2(1)」に対応する。 建築学科のDPの「1(1)」、「3)」、「2(1)」、「3)」に対応する。

到達目標
テーマやシチュエーションに沿った語彙・重要表現を習得し、正しく使うことができる。作文や発表などを通して、自分の意見を述べるができる。

授業全体の内容と概要
参考文献を使用して授業を行うが、日本語教材以外ではニュースや新聞、チラシ、掲示物など、日本で実際に目にするものを参考資料として使用し、実際に使われている言葉の中から語彙を身につけていく。

授業の方法
教科書の購入はなく、授業内で使用する教材は担当教員が準備する。講義形式で授業を行い、参考資料の読解や練習問題を解きながら日本語能力を上げていく。問題解答時やシチュエーションに合わせたロールプレイ、テーマに沿ったディスカッションでは、積極的に学生に発言させ、学生主体の授業進行とする。

アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>プレゼンテーション</td> <td>○</td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td>○</td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td>○</td> <td>その他（授業の方法参照）</td> </tr> </table>	○	プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業	○	ロールプレイ		調査学習		反転授業	○	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業	○	その他（授業の方法参照）
○	プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業	○	ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
○	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業	○	その他（授業の方法参照）																	

履修上の注意事項
遅刻、欠席をしないこと。30分の遅刻は欠席とみなす。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
全授業回数16回のうち、単位認定に必要な最低出席回数は10回以上とする。授業最終日（16回目）に期末試験を行う。また、授業中にも小テストを行う。												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>50%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>20%</td> <td>30%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	50%	0%	0%	0%	20%	30%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
50%	0%	0%	0%	20%	30%							

ルーブリック																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本語の知識・技能</td> <td>学修した知識・技能を確実に修得するとともに、それらに関連した知識・技能についても獲得した。</td> <td>学修した知識・技能を確実に修得した。</td> <td>学修した知識・技能のすべてを修得することはできなかった。</td> <td>学修した知識・技能を修得したが最低限容認できるレベルにとどまった。</td> <td>学修に真面目に取り組みなかった。</td> </tr> <tr> <td>思考力・判断力・日本語の表現力等</td> <td>与えられた課題に積極的に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関しては求められるレベルを大きく超えた。</td> <td>与えられた課題に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関しては、求められるレベルを達成した。</td> <td>与えられた課題に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関しては、求められるレベルには達しなかった。</td> <td>与えられた課題に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関しては最低限容認できるレベルにとどまった。</td> <td>与えられた課題に真面目に取り組まなかった。</td> </tr> <tr> <td>主体性・多様性・協働性</td> <td>与えられた課題に積極的に取り組んだ。積極性や協働性に関しては求められるレベルを大きく超えた。</td> <td>与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関しては、求められるレベルを達成した。</td> <td>与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関しては、求められるレベルには達しなかった。</td> <td>与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関しては最低限容認できるレベルにとどまった。</td> <td>与えられた課題に真面目に取り組まなかった。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	日本語の知識・技能	学修した知識・技能を確実に修得するとともに、それらに関連した知識・技能についても獲得した。	学修した知識・技能を確実に修得した。	学修した知識・技能のすべてを修得することはできなかった。	学修した知識・技能を修得したが最低限容認できるレベルにとどまった。	学修に真面目に取り組みなかった。	思考力・判断力・日本語の表現力等	与えられた課題に積極的に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関しては求められるレベルを大きく超えた。	与えられた課題に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関しては、求められるレベルを達成した。	与えられた課題に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関しては、求められるレベルには達しなかった。	与えられた課題に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関しては最低限容認できるレベルにとどまった。	与えられた課題に真面目に取り組まなかった。	主体性・多様性・協働性	与えられた課題に積極的に取り組んだ。積極性や協働性に関しては求められるレベルを大きく超えた。	与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関しては、求められるレベルを達成した。	与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関しては、求められるレベルには達しなかった。	与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関しては最低限容認できるレベルにとどまった。	与えられた課題に真面目に取り組まなかった。												
評価項目		評価基準																																							
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
日本語の知識・技能	学修した知識・技能を確実に修得するとともに、それらに関連した知識・技能についても獲得した。	学修した知識・技能を確実に修得した。	学修した知識・技能のすべてを修得することはできなかった。	学修した知識・技能を修得したが最低限容認できるレベルにとどまった。	学修に真面目に取り組みなかった。																																				
思考力・判断力・日本語の表現力等	与えられた課題に積極的に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関しては求められるレベルを大きく超えた。	与えられた課題に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関しては、求められるレベルを達成した。	与えられた課題に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関しては、求められるレベルには達しなかった。	与えられた課題に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関しては最低限容認できるレベルにとどまった。	与えられた課題に真面目に取り組まなかった。																																				
主体性・多様性・協働性	与えられた課題に積極的に取り組んだ。積極性や協働性に関しては求められるレベルを大きく超えた。	与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関しては、求められるレベルを達成した。	与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関しては、求められるレベルには達しなかった。	与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関しては最低限容認できるレベルにとどまった。	与えられた課題に真面目に取り組まなかった。																																				

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>『日本語総まとめ N3 語彙』</td> <td>佐々木仁子・松本紀子</td> <td>株式会社アスク出版</td> <td>2010年</td> <td>978-4-87217-</td> <td>購入の必要なし</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>『日本語総まとめ N3 読解』</td> <td>佐々木仁子・松本紀子</td> <td>株式会社アスク出版</td> <td>2010年</td> <td>978-4-87217-</td> <td>購入の必要なし</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>『日本語総まとめ N3 文法』</td> <td>佐々木仁子・松本紀子</td> <td>株式会社アスク出版</td> <td>2010年</td> <td>978-4-87217-</td> <td>購入の必要なし</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1	『日本語総まとめ N3 語彙』	佐々木仁子・松本紀子	株式会社アスク出版	2010年	978-4-87217-	購入の必要なし	2	『日本語総まとめ N3 読解』	佐々木仁子・松本紀子	株式会社アスク出版	2010年	978-4-87217-	購入の必要なし	3	『日本語総まとめ N3 文法』	佐々木仁子・松本紀子	株式会社アスク出版	2010年	978-4-87217-	購入の必要なし	4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1	『日本語総まとめ N3 語彙』	佐々木仁子・松本紀子	株式会社アスク出版	2010年	978-4-87217-	購入の必要なし																																				
2	『日本語総まとめ N3 読解』	佐々木仁子・松本紀子	株式会社アスク出版	2010年	978-4-87217-	購入の必要なし																																				
3	『日本語総まとめ N3 文法』	佐々木仁子・松本紀子	株式会社アスク出版	2010年	978-4-87217-	購入の必要なし																																				
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年（留学生対象）		
開講時期	2Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	日本語（留学生）（科目ナンバリング：JLN051031）				
授業担当者（所属・職名）	高橋 真弥（国際交流センター・センター員）	研究室所在	1号館1階非常勤講師室		
単位数	2（単位認定責任者：高橋 真弥）	CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習（所要時間）	事後学習（所要時間）
1	オリエンテーション（シラバスの説明）・プレテスト	シラバスを読む（90分）	授業内容復習（90分）
2	プレテストの解答・レベルチェック	資料の確認（90分）	授業内容復習（90分）
3	語彙（類似語）	資料の確認（90分）	授業内容復習（90分）
4	語彙（オノマトペ）	資料の確認（90分）	授業内容復習（90分）
5	語彙（様子）	資料の確認（90分）	授業内容復習（90分）
6	語彙（表現）	資料の確認（90分）	授業内容復習（90分）
7	実践（レストラン）	資料の確認（90分）	授業内容復習（90分）
8	実践（銀行）	資料の確認（90分）	授業内容復習（90分）
9	実践（支払い）	資料の確認（90分）	授業内容復習（90分）
10	読解（エッセイ・チラシ・ニュース・掲示物など）	資料の確認（90分）	授業内容復習（90分）
11	読解（エッセイ・チラシ・ニュース・掲示物など）	資料の確認（90分）	授業内容復習（90分）
12	読解（エッセイ・チラシ・ニュース・掲示物など）	資料の確認（90分）	授業内容復習（90分）
13	読解（エッセイ・チラシ・ニュース・掲示物など）	資料の確認（90分）	授業内容復習（90分）
14	読解（エッセイ・チラシ・ニュース・掲示物など）	資料の確認（90分）	授業内容復習（90分）
15	総括	資料の確認（90分）	授業内容復習（90分）
16	期末試験（60分）・解説（30分）	期末試験準備（90分）	講義全体の復習（90分）

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習（所要時間）	事後学習（所要時間）
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・3年（留学生対象）		
開講時期	2Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	上級日本語（留学）（科目ナンバリング：JLN053035）				
授業担当者（所属・職名）	竜野 征一郎（経営学科・非常勤講師）	研究室所在	1号館1階非常勤講師室		
単位数	2（単位認定責任者：竜野 征一郎）		CAP制		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
<p>教養力と語学力を幅広く身に付け、日本における実社会で活躍するための高度な日本語スキルを修得する。それぞれの場面に合った日本語の表現方法を学び、円滑な会話やコミュニケーションに必要な能力を身に付けることができる。</p>

授業の位置づけ
<p>経営学科のDP「1(2)」、「2(1)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(2)」、「2(1)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(1)」、「2(1)」に対応する。 建築学科のDP「1(1)」、「2(1)」に対応する。</p>

到達目標
<p>様々な文章を読み、ディスカッションや発表などの活動を通して、総合的な日本語運用能力を身に付ける。</p>

授業全体の内容と概要
<p>様々な文章を読み、内容および日本語の表現について理解を深めるとともに、ディスカッションや発表などの活動を行うために必要な表現・構成についても学習を行う。日本語能力試験N2からN1レベル相当の内容を取り扱う。</p>

授業の方法
<p>授業では主にプリントなどを用いながら、ディスカッションや発表などを学習活動に取り入れて講義を行う。指定された課題を作成してもらったほか、レポート作成など、自主的に行い、提出したものがあれば評価の対象とする。また、受講者数に応じてグループワークおよびグループ発表を行う場合がある。</p>

アクティブラーニングの実施方法																					
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模範授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他（授業の方法参照）</td> </tr> </table>	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL	模範授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他（授業の方法参照）
プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL															
模範授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業															
ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他（授業の方法参照）															

履修上の注意事項
<p>受講対象者は留学生とする。受講者の発表や意見交換に向けて、資料の用意や課題作文など積極的に取り組むこと。また、事前に配布される資料には必ず目を通しておくこと。</p>

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
<p>単位認定に必要な最低出席回数は、11回以上。出席状況、課題提出、発表能力、試験、授業への参加態度など総合的に判断する。</p>												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>30%</td> <td>50%</td> <td>0%</td> <td>15%</td> <td>5%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	30%	50%	0%	15%	5%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	30%	50%	0%	15%	5%							

ルーブリック																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>文章理解</td> <td>テキストに関する一般的な背景知識および具体的な関連情報を活用しながら、筆者の主張についてより複雑な推論を行うことができた。</td> <td>筆者の主張について、一般的な背景知識も考慮しながら基礎的な推論を行うことができた。</td> <td>テキストの内容を理解し、その構造や特徴、筆者の主張についても理解できた。</td> <td>テキストの内容を理解し、別の言葉で説明したり、要約することができた。</td> <td>テキストの内容について、理解できなかった。</td> </tr> <tr> <td>日本語表現</td> <td>クラス内で用いられた日本語表現について、意味や使用場面について理解し、発表や課題作文内で実際に用いることができた。</td> <td>クラス内で用いられた日本語表現について、意味や使用場面について理解し、適切に使用することができた。</td> <td>クラス内で用いられた日本語表現について、それぞれの表現の意味を理解し、各日本語表現の使用場面が理解できた。</td> <td>クラス内で用いられた日本語表現について、それぞれの表現の意味を理解できた。</td> <td>クラス内で用いられた日本語表現について、理解できなかった。</td> </tr> <tr> <td>発表</td> <td>聞き手に配慮された多様な資料を用いた、主張内容が明確な発表を行うことができた。適切な引用により、内容に具体性があり、説得力があった。</td> <td>聞き手に配慮された多様な資料を用いた、主張内容が明確な発表を行うことができた。また、主張内容が資料と一貫性のあるものだった。</td> <td>適切な資料を用いながら、主張内容が明確な発表を行うことができた。</td> <td>主張内容について、関連性のある資料を用いながら、理解可能な発表を行うことができた。</td> <td>話し方や発表資料が適切でなく、主張が理解できなかった。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	文章理解	テキストに関する一般的な背景知識および具体的な関連情報を活用しながら、筆者の主張についてより複雑な推論を行うことができた。	筆者の主張について、一般的な背景知識も考慮しながら基礎的な推論を行うことができた。	テキストの内容を理解し、その構造や特徴、筆者の主張についても理解できた。	テキストの内容を理解し、別の言葉で説明したり、要約することができた。	テキストの内容について、理解できなかった。	日本語表現	クラス内で用いられた日本語表現について、意味や使用場面について理解し、発表や課題作文内で実際に用いることができた。	クラス内で用いられた日本語表現について、意味や使用場面について理解し、適切に使用することができた。	クラス内で用いられた日本語表現について、それぞれの表現の意味を理解し、各日本語表現の使用場面が理解できた。	クラス内で用いられた日本語表現について、それぞれの表現の意味を理解できた。	クラス内で用いられた日本語表現について、理解できなかった。	発表	聞き手に配慮された多様な資料を用いた、主張内容が明確な発表を行うことができた。適切な引用により、内容に具体性があり、説得力があった。	聞き手に配慮された多様な資料を用いた、主張内容が明確な発表を行うことができた。また、主張内容が資料と一貫性のあるものだった。	適切な資料を用いながら、主張内容が明確な発表を行うことができた。	主張内容について、関連性のある資料を用いながら、理解可能な発表を行うことができた。	話し方や発表資料が適切でなく、主張が理解できなかった。												
評価項目		評価基準																																							
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
文章理解	テキストに関する一般的な背景知識および具体的な関連情報を活用しながら、筆者の主張についてより複雑な推論を行うことができた。	筆者の主張について、一般的な背景知識も考慮しながら基礎的な推論を行うことができた。	テキストの内容を理解し、その構造や特徴、筆者の主張についても理解できた。	テキストの内容を理解し、別の言葉で説明したり、要約することができた。	テキストの内容について、理解できなかった。																																				
日本語表現	クラス内で用いられた日本語表現について、意味や使用場面について理解し、発表や課題作文内で実際に用いることができた。	クラス内で用いられた日本語表現について、意味や使用場面について理解し、適切に使用することができた。	クラス内で用いられた日本語表現について、それぞれの表現の意味を理解し、各日本語表現の使用場面が理解できた。	クラス内で用いられた日本語表現について、それぞれの表現の意味を理解できた。	クラス内で用いられた日本語表現について、理解できなかった。																																				
発表	聞き手に配慮された多様な資料を用いた、主張内容が明確な発表を行うことができた。適切な引用により、内容に具体性があり、説得力があった。	聞き手に配慮された多様な資料を用いた、主張内容が明確な発表を行うことができた。また、主張内容が資料と一貫性のあるものだった。	適切な資料を用いながら、主張内容が明確な発表を行うことができた。	主張内容について、関連性のある資料を用いながら、理解可能な発表を行うことができた。	話し方や発表資料が適切でなく、主張が理解できなかった。																																				

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>『学生の能力と興味に応じて教材を指定・作成する。』</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1	『学生の能力と興味に応じて教材を指定・作成する。』						2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1	『学生の能力と興味に応じて教材を指定・作成する。』																																									
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>『参考図書・文献類は授業中にプリント等を用い随時紹介する。』</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1	『参考図書・文献類は授業中にプリント等を用い随時紹介する。』						2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1	『参考図書・文献類は授業中にプリント等を用い随時紹介する。』																																									
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・3年（留学生対象）		
開講時期	2Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	上級日本語（留学）（科目ナンバリング：JLN053035）				
授業担当者（所属・職名）	竜野 征一郎（経営学科・非常勤講師）	研究室所在	1号館1階非常勤講師室		
単位数	2（単位認定責任者：竜野 征一郎）	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習（所要時間）	事後学習（所要時間）
1	オリエンテーション（シラバスの説明および今期の授業目的と進め方について解説・プレースメントテスト・実力確認を含む）	シラバスを熟読し、本講義について理解しておくこと（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
2	上級表現練習（1）トピック 1回目	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
3	上級表現練習（2）トピック 2回目	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
4	上級表現練習（3）トピック 3回目	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
5	上級表現練習（4）トピック 1回目	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
6	上級表現練習（5）トピック 2回目	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
7	上級表現練習（6）トピック 3回目	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
8	上級表現練習（7）トピック 1回目	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
9	上級表現練習（8）トピック 2回目	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
10	上級表現練習（9）トピック 3回目	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
11	上級表現練習（10）発表の構成	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
12	上級表現練習（11）発表の方法	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
13	上級表現練習（12）発表と質疑応答	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
14	上級表現練習（13）発表と質疑応答	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
15	上級表現練習（14）まとめ	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
16	解説およびフィードバック	講義全体の内容についてふりかえりを行うこと（90分）	解説およびフィードバックを受け、講義に関してより理解を深めること（90分）

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習（所要時間）	事後学習（所要時間）
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・3年（留学生対象）		
開講時期	4Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	上級日本語（留学（科目ナンバリング：JLN053036））				
授業担当者（所属・職名）	竜野 征一郎（経営学科・非常勤講師）	研究室所在	1号館1階非常勤講師室		
単位数	2（単位認定責任者：竜野 征一郎）	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
<p>教養力と語学力を幅広く身に付け、日本における実社会で活躍するための高度な日本語スキルを修得する。それぞれの場面に合った日本語の表現方法を学び、円滑な会話やコミュニケーションに必要な能力を伸ばす。</p>

授業の位置づけ
<p>経営学科のDP「1(2)」、「2(1)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(2)」、「2(1)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(1)」、「2(1)」に対応する。 建築学科のDP「1(1)」、「2(1)」に対応する。</p>

到達目標
<p>様々な文章を読み、ディスカッションや発表などの活動を通して、総合的な日本語運用能力を身に付ける。</p>
授業全体の内容と概要
<p>様々な文章を読み、内容および日本語の表現について理解を深めるとともに、ディスカッションや発表などの活動を行うために必要な表現・構成についても学習を行う。日本語能力試験N2からN1レベル相当の内容を取り扱う。</p>

授業の方法
<p>授業では主にプリントなどを用いながら、ディスカッションや発表などを学習活動に取り入れて講義を行う。指定された課題を作成してもらったほか、レポート作成など、自主的に行い、提出したものがあれば評価の対象とする。また、受講者数に応じてグループワークおよびグループ発表を行う場合がある。</p>

アクティブラーニングの実施方法																					
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模範授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他（授業の方法参照）</td> </tr> </table>	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL	模範授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他（授業の方法参照）
プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL															
模範授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業															
ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他（授業の方法参照）															

履修上の注意事項
<p>受講対象者は留学生とする。前期に開講される上級日本語を受講していることを前提とする。受講者の発表や意見交換に向けて、資料の用意や課題作文など積極的に取り組むこと。また、事前に配布される資料には必ず目を通しておくこと。</p>

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
<p>単位認定に必要な最低出席回数は、11回以上。出席状況、課題提出、発表能力、試験、授業への参加態度など総合的に判断する。</p>												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>30%</td> <td>50%</td> <td>0%</td> <td>15%</td> <td>5%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	30%	50%	0%	15%	5%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	30%	50%	0%	15%	5%							

ルーブリック																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>文章理解</td> <td>テキストに関する一般的な背景知識および具体的な関連情報を活用しながら、筆者の主張についてより複雑な推論を行うことができた。</td> <td>筆者の主張について、一般的な背景知識も考慮しながら基礎的な推論を行うことができた。</td> <td>テキストの内容を理解し、その構造や特徴、筆者の主張についても理解できた。</td> <td>テキストの内容を理解し、別の言葉で説明したり、要約することができた。</td> <td>テキストの内容について、理解できなかった。</td> </tr> <tr> <td>日本語表現</td> <td>クラス内で用いられた日本語表現について、意味や使用場面について理解し、発表や課題作文内で実際に用いることができた。</td> <td>クラス内で用いられた日本語表現について、意味や使用場面について理解し、適切に使用することができた。</td> <td>クラス内で用いられた日本語表現について、それぞれの表現の意味を理解し、各日本語表現の使用場面が理解できた。</td> <td>クラス内で用いられた日本語表現について、それぞれの表現の意味を理解できた。</td> <td>クラス内で用いられた日本語表現について、理解できなかった。</td> </tr> <tr> <td>発表</td> <td>聞き手に配慮された多様な資料を用いた、主張内容が明確な発表を行うことができた。適切な引用により、内容に具体性があり、説得力があった。</td> <td>聞き手に配慮された多様な資料を用いた、主張内容が明確な発表を行うことができた。また、主張内容が資料と一貫性のあるものだった。</td> <td>適切な資料を用いながら、主張内容が明確な発表を行うことができた。</td> <td>主張内容について、関連性のある資料を用いながら、理解可能な発表を行うことができた。</td> <td>話し方や発表資料が適切でなく、主張が理解できなかった。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	文章理解	テキストに関する一般的な背景知識および具体的な関連情報を活用しながら、筆者の主張についてより複雑な推論を行うことができた。	筆者の主張について、一般的な背景知識も考慮しながら基礎的な推論を行うことができた。	テキストの内容を理解し、その構造や特徴、筆者の主張についても理解できた。	テキストの内容を理解し、別の言葉で説明したり、要約することができた。	テキストの内容について、理解できなかった。	日本語表現	クラス内で用いられた日本語表現について、意味や使用場面について理解し、発表や課題作文内で実際に用いることができた。	クラス内で用いられた日本語表現について、意味や使用場面について理解し、適切に使用することができた。	クラス内で用いられた日本語表現について、それぞれの表現の意味を理解し、各日本語表現の使用場面が理解できた。	クラス内で用いられた日本語表現について、それぞれの表現の意味を理解できた。	クラス内で用いられた日本語表現について、理解できなかった。	発表	聞き手に配慮された多様な資料を用いた、主張内容が明確な発表を行うことができた。適切な引用により、内容に具体性があり、説得力があった。	聞き手に配慮された多様な資料を用いた、主張内容が明確な発表を行うことができた。また、主張内容が資料と一貫性のあるものだった。	適切な資料を用いながら、主張内容が明確な発表を行うことができた。	主張内容について、関連性のある資料を用いながら、理解可能な発表を行うことができた。	話し方や発表資料が適切でなく、主張が理解できなかった。												
評価項目		評価基準																																							
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
文章理解	テキストに関する一般的な背景知識および具体的な関連情報を活用しながら、筆者の主張についてより複雑な推論を行うことができた。	筆者の主張について、一般的な背景知識も考慮しながら基礎的な推論を行うことができた。	テキストの内容を理解し、その構造や特徴、筆者の主張についても理解できた。	テキストの内容を理解し、別の言葉で説明したり、要約することができた。	テキストの内容について、理解できなかった。																																				
日本語表現	クラス内で用いられた日本語表現について、意味や使用場面について理解し、発表や課題作文内で実際に用いることができた。	クラス内で用いられた日本語表現について、意味や使用場面について理解し、適切に使用することができた。	クラス内で用いられた日本語表現について、それぞれの表現の意味を理解し、各日本語表現の使用場面が理解できた。	クラス内で用いられた日本語表現について、それぞれの表現の意味を理解できた。	クラス内で用いられた日本語表現について、理解できなかった。																																				
発表	聞き手に配慮された多様な資料を用いた、主張内容が明確な発表を行うことができた。適切な引用により、内容に具体性があり、説得力があった。	聞き手に配慮された多様な資料を用いた、主張内容が明確な発表を行うことができた。また、主張内容が資料と一貫性のあるものだった。	適切な資料を用いながら、主張内容が明確な発表を行うことができた。	主張内容について、関連性のある資料を用いながら、理解可能な発表を行うことができた。	話し方や発表資料が適切でなく、主張が理解できなかった。																																				

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>『学生の能力と興味に応じて教材を指定・作成する。』</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1	『学生の能力と興味に応じて教材を指定・作成する。』						2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1	『学生の能力と興味に応じて教材を指定・作成する。』																																									
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>『参考図書・文献類は授業中にプリント等を用い随時紹介する。』</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1	『参考図書・文献類は授業中にプリント等を用い随時紹介する。』						2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1	『参考図書・文献類は授業中にプリント等を用い随時紹介する。』																																									
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・3年（留学生対象）		
開講時期	4Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	上級日本語（留学）（科目ナンバリング：JLN053036）				
授業担当者（所属・職名）	竜野 征一郎（経営学科・非常勤講師）	研究室所在	1号館1階非常勤講師室		
単位数	2（単位認定責任者：竜野 征一郎）	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間			
回	学習内容	準備学習（所要時間）	事後学習（所要時間）
1	オリエンテーション（シラバスの説明および今期の授業目的と進め方について解説・プレースメントテスト・実力確認を含む）	シラバスを熟読し、本講義について理解しておくこと（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
2	上級表現練習（1）トピック 1回目	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
3	上級表現練習（2）トピック 2回目	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
4	上級表現練習（3）トピック 3回目	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
5	上級表現練習（4）トピック 1回目	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
6	上級表現練習（5）トピック 2回目	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
7	上級表現練習（6）トピック 3回目	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
8	上級表現練習（7）トピック 1回目	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
9	上級表現練習（8）トピック 2回目	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
10	上級表現練習（9）トピック 3回目	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
11	上級表現練習（10）トピック 1回目	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
12	上級表現練習（11）トピック 2回目	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
13	上級表現練習（12）トピック 3回目	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
14	上級表現練習（13）発表と質疑応答	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
15	上級表現練習（14）まとめ	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
16	解説およびフィードバック	講義全体の内容についてふりかえりを行うこと（90分）	解説およびフィードバックを受け、講義に関してより理解を深めること（90分）

授業計画			
回	学習内容	準備学習（所要時間）	事後学習（所要時間）
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・4年（留学生対象）		
開講時期	1Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	上級日本語（留学（科目ナンバリング：JLN054037））				
授業担当者（所属・職名）	竜野 征一郎（経営学科・非常勤講師）	研究室所在	1号館1階非常勤講師室		
単位数	2（単位認定責任者：竜野 征一郎）	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
<p>教養力と語学力を幅広く身に付け、日本における実社会で活躍するための高度な日本語スキルを修得する。それぞれの場面に合った日本語の表現方法を学び、円滑な会話やコミュニケーションに必要な能力を伸ばす。</p>

授業の位置づけ
<p>経営学科のDP「1(2)」、「2(1)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(2)」、「2(1)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(1)」、「2(1)」に対応する。 建築学科のDP「1(1)」、「2(1)」に対応する。</p>

到達目標
<p>様々な文章を読み、ディスカッションや発表などの活動を通して、総合的な日本語運用能力を身に付ける。</p>
授業全体の内容と概要
<p>様々な文章を読み、内容および日本語の表現について理解を深めるとともに、ディスカッションや発表などの活動を行うために必要な表現・構成についても学習を行う。日本語能力試験N1レベル相当以上の内容を取り扱う。</p>

授業の方法
<p>授業では主にプリントなどを用いながら、ディスカッションや発表などを学習活動に取り入れて講義を行う。指定された課題を作成してもらったほか、レポート作成など、自主的に行い、提出したものがあれば評価の対象とする。また、受講者数に応じてグループワークおよびグループ発表を行う場合がある。</p>

アクティブラーニングの実施方法												
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>グループワーク</td> <td>フィールドワーク</td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模範授業</td> <td>ロールプレイ</td> <td>調査学習</td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td>実験・実習・実技</td> <td>双方向授業</td> <td>その他（授業の方法参照）</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL	模範授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業	ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他（授業の方法参照）
プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL									
模範授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業									
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他（授業の方法参照）									

履修上の注意事項
<p>受講対象者は留学生とする。受講者の発表や意見交換に向けて、資料の用意や課題作文など積極的に取り組むこと。また、事前に配布される資料には必ず目を通しておくこと。</p>

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
<p>単位認定に必要な最低出席回数は、11回以上。出席状況、課題提出、発表能力、試験、授業への参加態度など総合的に判断する。</p>												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>30%</td> <td>50%</td> <td>0%</td> <td>15%</td> <td>5%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	30%	50%	0%	15%	5%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	30%	50%	0%	15%	5%							

ルーブリック																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>文章理解</td> <td>テキストに関する一般的な背景知識および具体的な関連情報を活用しながら、筆者の主張についてより複雑な推論を行うことができた。</td> <td>筆者の主張について、一般的な背景知識も考慮しながら基礎的な推論を行うことができた。</td> <td>テキストの内容を理解し、その構造や特徴、筆者の主張についても理解できた。</td> <td>テキストの内容を理解し、別の言葉で説明したり、要約することができた。</td> <td>テキストの内容について、理解できなかった。</td> </tr> <tr> <td>日本語表現</td> <td>クラス内で用いられた日本語表現について、意味や使用場面について理解し、発表や課題作文内で実際に用いることができた。</td> <td>クラス内で用いられた日本語表現について、意味や使用場面について理解し、適切に使用することができた。</td> <td>クラス内で用いられた日本語表現について、それぞれの表現の意味を理解し、各日本語表現の使用場面が理解できた。</td> <td>クラス内で用いられた日本語表現について、それぞれの表現の意味を理解できた。</td> <td>クラス内で用いられた日本語表現について、理解できなかった。</td> </tr> <tr> <td>発表</td> <td>聞き手に配慮された多様な資料を用いた、主張内容が明確な発表を行うことができた。適切な引用により、内容に具体性があり、説得力があった。</td> <td>聞き手に配慮された多様な資料を用いた、主張内容が明確な発表を行うことができた。また、主張内容が資料と一貫性のあるものだった。</td> <td>適切な資料を用いながら、主張内容が明確な発表を行うことができた。</td> <td>主張内容について、関連性のある資料を用いながら、理解可能な発表を行うことができた。</td> <td>話し方や発表資料が適切でなく、主張が理解できなかった。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	文章理解	テキストに関する一般的な背景知識および具体的な関連情報を活用しながら、筆者の主張についてより複雑な推論を行うことができた。	筆者の主張について、一般的な背景知識も考慮しながら基礎的な推論を行うことができた。	テキストの内容を理解し、その構造や特徴、筆者の主張についても理解できた。	テキストの内容を理解し、別の言葉で説明したり、要約することができた。	テキストの内容について、理解できなかった。	日本語表現	クラス内で用いられた日本語表現について、意味や使用場面について理解し、発表や課題作文内で実際に用いることができた。	クラス内で用いられた日本語表現について、意味や使用場面について理解し、適切に使用することができた。	クラス内で用いられた日本語表現について、それぞれの表現の意味を理解し、各日本語表現の使用場面が理解できた。	クラス内で用いられた日本語表現について、それぞれの表現の意味を理解できた。	クラス内で用いられた日本語表現について、理解できなかった。	発表	聞き手に配慮された多様な資料を用いた、主張内容が明確な発表を行うことができた。適切な引用により、内容に具体性があり、説得力があった。	聞き手に配慮された多様な資料を用いた、主張内容が明確な発表を行うことができた。また、主張内容が資料と一貫性のあるものだった。	適切な資料を用いながら、主張内容が明確な発表を行うことができた。	主張内容について、関連性のある資料を用いながら、理解可能な発表を行うことができた。	話し方や発表資料が適切でなく、主張が理解できなかった。												
評価項目		評価基準																																							
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
文章理解	テキストに関する一般的な背景知識および具体的な関連情報を活用しながら、筆者の主張についてより複雑な推論を行うことができた。	筆者の主張について、一般的な背景知識も考慮しながら基礎的な推論を行うことができた。	テキストの内容を理解し、その構造や特徴、筆者の主張についても理解できた。	テキストの内容を理解し、別の言葉で説明したり、要約することができた。	テキストの内容について、理解できなかった。																																				
日本語表現	クラス内で用いられた日本語表現について、意味や使用場面について理解し、発表や課題作文内で実際に用いることができた。	クラス内で用いられた日本語表現について、意味や使用場面について理解し、適切に使用することができた。	クラス内で用いられた日本語表現について、それぞれの表現の意味を理解し、各日本語表現の使用場面が理解できた。	クラス内で用いられた日本語表現について、それぞれの表現の意味を理解できた。	クラス内で用いられた日本語表現について、理解できなかった。																																				
発表	聞き手に配慮された多様な資料を用いた、主張内容が明確な発表を行うことができた。適切な引用により、内容に具体性があり、説得力があった。	聞き手に配慮された多様な資料を用いた、主張内容が明確な発表を行うことができた。また、主張内容が資料と一貫性のあるものだった。	適切な資料を用いながら、主張内容が明確な発表を行うことができた。	主張内容について、関連性のある資料を用いながら、理解可能な発表を行うことができた。	話し方や発表資料が適切でなく、主張が理解できなかった。																																				

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>『学生の能力と興味に応じて教材を指定・作成する。』</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1	『学生の能力と興味に応じて教材を指定・作成する。』						2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1	『学生の能力と興味に応じて教材を指定・作成する。』																																									
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>『参考図書・文献類は授業中にプリント等を用い随時紹介する。』</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1	『参考図書・文献類は授業中にプリント等を用い随時紹介する。』						2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1	『参考図書・文献類は授業中にプリント等を用い随時紹介する。』																																									
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・4年（留学生対象）		
開講時期	1Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	上級日本語（留学（科目ナンバリング：JLN054037））				
授業担当者（所属・職名）	竜野 征一郎（経営学科・非常勤講師）	研究室所在	1号館1階非常勤講師室		
単位数	2（単位認定責任者：竜野 征一郎）	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間			
回	学習内容	準備学習（所要時間）	事後学習（所要時間）
1	オリエンテーション（シラバスの説明および今期の授業目的と進め方について解説・プレースメントテスト・実力確認を含む）	シラバスを熟読し、本講義について理解しておくこと（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
2	上級表現練習（1）トピック 1回目	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
3	上級表現練習（2）トピック 2回目	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
4	上級表現練習（3）トピック 3回目	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
5	上級表現練習（4）トピック 4回目	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
6	上級表現練習（5）トピック 1回目	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
7	上級表現練習（6）トピック 2回目	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
8	上級表現練習（7）トピック 3回目	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
9	上級表現練習（8）トピック 4回目	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
10	上級表現練習（9）トピック 1回目	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
11	上級表現練習（10）トピック 2回目	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
12	上級表現練習（11）トピック 3回目	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
13	上級表現練習（12）トピック 4回目	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
14	上級表現練習（13）発表と質疑応答	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
15	上級表現練習（14）まとめ	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
16	解説およびフィードバック	講義全体の内容についてふりかえりを行うこと（90分）	解説およびフィードバックを受け、講義に関してより理解を深めること（90分）

各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間			
回	学習内容	準備学習（所要時間）	事後学習（所要時間）
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・4年（留学生対象）		
開講時期	3Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	上級日本語（留学）（科目ナンバリング：JLN054038）				
授業担当者（所属・職名）	竜野 征一郎（経営学科・非常勤講師）	研究室所在	1号館1階非常勤講師室		
単位数	2（単位認定責任者：竜野 征一郎）		CAP制		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
<p>教養力と語学力を幅広く身に付け、日本における実社会で活躍するための高度な日本語スキルを修得する。それぞれの場面に合った日本語の表現方法を学び、円滑な会話やコミュニケーションに必要な能力を身に付ける。</p>

授業の位置づけ
<p>経営学科のDP「1(2)」、「2(1)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(2)」、「2(1)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(1)」、「2(1)」に対応する。 建築学科のDP「1(1)」、「2(1)」に対応する。</p>

到達目標
<p>様々な文章を読み、ディスカッションや発表などの活動を通して、総合的な日本語運用能力を身に付ける。</p>
授業全体の内容と概要
<p>様々な文章を読み、内容および日本語の表現について理解を深めるとともに、ディスカッションや発表などの活動を行うために必要な表現・構成についても学習を行う。日本語能力試験N1レベル相当以上の内容を取り扱う。</p>

授業の方法
<p>授業では主にプリントなどを用いながら、ディスカッションや発表などを学習活動に取り入れて講義を行う。指定された課題を作成してもらったほか、レポート作成など、自主的に行い、提出したものがあれば評価の対象とする。また、受講者数に応じてグループワークおよびグループ発表を行う場合がある。</p>

アクティブラーニングの実施方法												
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>グループワーク</td> <td>フィールドワーク</td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td>ロールプレイ</td> <td>調査学習</td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td>実験・実習・実技</td> <td>双方向授業</td> <td>その他（授業の方法参照）</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL	模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業	ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他（授業の方法参照）
プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL									
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業									
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他（授業の方法参照）									

履修上の注意事項
<p>受講対象者は留学生とする。前期に開講される上級日本語を受講していることを前提とする。受講者の発表や意見交換に向けて、資料の用意や課題作文など積極的に取り組むこと。また、事前に配布される資料には必ず目を通しておくこと。</p>

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
<p>単位認定に必要な最低出席回数は、11回以上。出席状況、課題提出、発表能力、試験、授業への参加態度など総合的に判断する。</p>												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>30%</td> <td>50%</td> <td>0%</td> <td>15%</td> <td>5%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	30%	50%	0%	15%	5%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	30%	50%	0%	15%	5%							

ルーブリック																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>文章理解</td> <td>テキストに関する一般的な背景知識および具体的な関連情報を活用しながら、筆者の主張についてより複雑な推論を行うことができた。</td> <td>筆者の主張について、一般的な背景知識も考慮しながら基礎的な推論を行うことができた。</td> <td>テキストの内容を理解し、その構造や特徴、筆者の主張についても理解できた。</td> <td>テキストの内容を理解し、別の言葉で説明したり、要約することができた。</td> <td>テキストの内容について、理解できなかった。</td> </tr> <tr> <td>日本語表現</td> <td>クラス内で用いられた日本語表現について、意味や使用場面について理解し、発表や課題作文内で実際に用いることができた。</td> <td>クラス内で用いられた日本語表現について、意味や使用場面について理解し、適切に使用することができた。</td> <td>クラス内で用いられた日本語表現について、それぞれの表現の意味を理解し、各日本語表現の使用場面が理解できた。</td> <td>クラス内で用いられた日本語表現について、それぞれの表現の意味を理解できた。</td> <td>クラス内で用いられた日本語表現について、理解できなかった。</td> </tr> <tr> <td>発表</td> <td>聞き手に配慮された多様な資料を用いた、主張内容が明確な発表を行うことができた。適切な引用により、内容に具体性があり、説得力があった。</td> <td>聞き手に配慮された多様な資料を用いた、主張内容が明確な発表を行うことができた。また、主張内容が資料と一貫性のあるものだった。</td> <td>適切な資料を用いながら、主張内容が明確な発表を行うことができた。</td> <td>主張内容について、関連性のある資料を用いながら、理解可能な発表を行うことができた。</td> <td>話し方や発表資料が適切でなく、主張が理解できなかった。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	文章理解	テキストに関する一般的な背景知識および具体的な関連情報を活用しながら、筆者の主張についてより複雑な推論を行うことができた。	筆者の主張について、一般的な背景知識も考慮しながら基礎的な推論を行うことができた。	テキストの内容を理解し、その構造や特徴、筆者の主張についても理解できた。	テキストの内容を理解し、別の言葉で説明したり、要約することができた。	テキストの内容について、理解できなかった。	日本語表現	クラス内で用いられた日本語表現について、意味や使用場面について理解し、発表や課題作文内で実際に用いることができた。	クラス内で用いられた日本語表現について、意味や使用場面について理解し、適切に使用することができた。	クラス内で用いられた日本語表現について、それぞれの表現の意味を理解し、各日本語表現の使用場面が理解できた。	クラス内で用いられた日本語表現について、それぞれの表現の意味を理解できた。	クラス内で用いられた日本語表現について、理解できなかった。	発表	聞き手に配慮された多様な資料を用いた、主張内容が明確な発表を行うことができた。適切な引用により、内容に具体性があり、説得力があった。	聞き手に配慮された多様な資料を用いた、主張内容が明確な発表を行うことができた。また、主張内容が資料と一貫性のあるものだった。	適切な資料を用いながら、主張内容が明確な発表を行うことができた。	主張内容について、関連性のある資料を用いながら、理解可能な発表を行うことができた。	話し方や発表資料が適切でなく、主張が理解できなかった。												
評価項目		評価基準																																							
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
文章理解	テキストに関する一般的な背景知識および具体的な関連情報を活用しながら、筆者の主張についてより複雑な推論を行うことができた。	筆者の主張について、一般的な背景知識も考慮しながら基礎的な推論を行うことができた。	テキストの内容を理解し、その構造や特徴、筆者の主張についても理解できた。	テキストの内容を理解し、別の言葉で説明したり、要約することができた。	テキストの内容について、理解できなかった。																																				
日本語表現	クラス内で用いられた日本語表現について、意味や使用場面について理解し、発表や課題作文内で実際に用いることができた。	クラス内で用いられた日本語表現について、意味や使用場面について理解し、適切に使用することができた。	クラス内で用いられた日本語表現について、それぞれの表現の意味を理解し、各日本語表現の使用場面が理解できた。	クラス内で用いられた日本語表現について、それぞれの表現の意味を理解できた。	クラス内で用いられた日本語表現について、理解できなかった。																																				
発表	聞き手に配慮された多様な資料を用いた、主張内容が明確な発表を行うことができた。適切な引用により、内容に具体性があり、説得力があった。	聞き手に配慮された多様な資料を用いた、主張内容が明確な発表を行うことができた。また、主張内容が資料と一貫性のあるものだった。	適切な資料を用いながら、主張内容が明確な発表を行うことができた。	主張内容について、関連性のある資料を用いながら、理解可能な発表を行うことができた。	話し方や発表資料が適切でなく、主張が理解できなかった。																																				

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>『学生の能力と興味に応じて教材を指定・作成する。』</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1	『学生の能力と興味に応じて教材を指定・作成する。』						2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1	『学生の能力と興味に応じて教材を指定・作成する。』																																									
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>『参考図書・文献類は授業中にプリント等を用い随時紹介する。』</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1	『参考図書・文献類は授業中にプリント等を用い随時紹介する。』						2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1	『参考図書・文献類は授業中にプリント等を用い随時紹介する。』																																									
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・4年（留学生対象）		
開講時期	3Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	上級日本語（留学（科目ナンバリング：JLN054038））				
授業担当者（所属・職名）	竜野 征一郎（経営学科・非常勤講師）	研究室所在	1号館1階非常勤講師室		
単位数	2（単位認定責任者：竜野 征一郎）	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間			
回	学習内容	準備学習（所要時間）	事後学習（所要時間）
1	オリエンテーション（シラバスの説明および今期の授業目的と進め方について解説・プレースメントテスト・実力確認を含む）	シラバスを熟読し、本講義について理解しておくこと（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと授業では主にプリントなどを用いながら、ディスカッションや発表などを学習活動に取り入れて講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
2	上級表現練習（1）トピック 1回目	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
3	上級表現練習（2）トピック 2回目	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
4	上級表現練習（3）トピック 3回目	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
5	上級表現練習（4）トピック 4回目	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
6	上級表現練習（5）トピック 1回目	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
7	上級表現練習（6）トピック 2回目	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
8	上級表現練習（7）トピック 3回目	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
9	上級表現練習（8）トピック 4回目	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
10	上級表現練習（9）トピック 1回目	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
11	上級表現練習（10）トピック 2回目	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
12	上級表現練習（11）トピック 3回目	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
13	上級表現練習（12）トピック 4回目	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
14	上級表現練習（13）発表と質疑応答	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
15	上級表現練習（14）まとめ	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
16	解説およびフィードバック	講義全体の内容についてふりかえりを行うこと（90分）	解説およびフィードバックを受け、講義に関してより理解を深めること（90分）

各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間			
回	学習内容	準備学習（所要時間）	事後学習（所要時間）
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年(留学生対象)		
開講時期	4Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	日本語 (留学生) (科目ナンバリング: JLN051032)				
授業担当者(所属・職名)	佐藤恵利(国際交流センター・センター員)		研究室所在	1号館1階非常勤講師室	
単位数	2 (単位認定責任者: 佐藤 恵利)		CAP制	○	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
<p>教養力と語学力を身に付け、日本における実社会で活躍するための高度な日本語スキルを習得する。講義聴解や資料読解を通して「日本語」よりレベルの高い文章や資料を読み込む力を習得し、適切な文章表現ができるようになる。また新聞やインターネットなどの記事を取り上げ、新聞で使用される語彙、文末表現、慣用語表現などを身に付け、日本語中級中期(日本語能力検定N2レベル)と同等の日本語能力を身に付ける。</p>

授業の位置づけ
<p>経営学科のDP「1(1)、(2)、(4)」、「2(1)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(2)、(3)、(4)、(5)、(6)、(7)」、「2(1)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(2)、(3)」、「2(1)」に対応する。 建築学科のDP「1(1)、(3)」、「2(1)」に対応する。</p>

到達目標
<p>読解力、文章表現力、意見の発表と他者の意見を聞く能力、ディスカッション能力の習得。グラフ・表・文献などの読み取り、意見交換の力を養う。</p>
主体的に日本語学習に取り組む態度
<p>毎回の授業に参加し授業に意欲的、活動にも積極的に参加している。発言も多かった。</p>

授業全体の内容と概要
<p>資料や参考図書を使用し、日本語能力試験N2と同等の日本語能力を身に付ける。また、授業を通し「聞く・話す・読む・書く」の4技能の向上を目指す。</p>

授業の方法
<p>授業は参考資料、参考図書を使用し、中級中期の日本語を学習する。授業形態は講義だが、読解、聴解、作文、発表、グループワークなどもあり、学生が主体的に活動することも多い。また、場面を考えたロールプレイやディスカッションも授業内で行う。評価はレポートと定期試験で判断するが、授業内に出される課題も評価対象となる。レポートはテーマ、内容、正確さ、長さ、表現力の5項目で評価する。「内容」の項目は特に重要で、自分の言葉でわかりやすく表現できているかを評価する。「正確さ」では文法や文字表記の誤りを提示するので、各自でフィードバックすること。定期試験は授業で学んだ内容を基に文法、聴解、読解、文章表現などの項目で評価する。定期テストも評価後は各自でフィードバックすること。</p>

アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>プレゼンテーション</td> <td>○</td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td>○</td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td>○</td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	○	プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業	○	ロールプレイ		調査学習		反転授業	○	ディスカッション		実験・実習・実技	○	双方向授業		その他(授業の方法参照)
○	プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業	○	ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
○	ディスカッション		実験・実習・実技	○	双方向授業		その他(授業の方法参照)																	

履修上の注意事項
<p>授業中は母語の使用は原則禁止とする。母語話者同士の会話もすべて日本語で行うこと。また、授業中の携帯電話、辞書の使用は原則禁止とする。集中して教師の講義を聞き、わからなかったら教師に質問すること。 平常点が評価に大きく影響する。授業中は真面目に取り組み、「日本語で表現できない」と思わずなんでもチャレンジすることが求められる。また、全講義内容をもとに定期試験を行う。一日でも休むと講義内容が分からなくなってしまうので、出席すること。日本語 はまだ日本語能力検定N2レベルまで達してあらず、日本語能力レベルの向上を目指すクラスである。自身の日本語能力レベルを確認し、履修すること。</p>

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
<p>単位認定に必要な最低出席回数は、10回である。 16回目の授業で定期試験を行う。 出席、授業態度、レポート、定期テストで評価する。</p>												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>40%</td> <td>0%</td> <td>30%</td> <td>0%</td> <td>30%</td> <td>0%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	40%	0%	30%	0%	30%	0%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
40%	0%	30%	0%	30%	0%							

ルーブリック																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本語の知識・技能</td> <td>正しい文法を習得し、場面に合わせた文法の使い分けを理解することができた。</td> <td>正しい文法を習得しているが、場面に合わせた文法の使い分けをおおむね理解することができた。</td> <td>正しい文法を習得しているが、場面に合わせた文法の使い分けを一定程度理解することができた。</td> <td>正しい文法を習得できた。</td> <td>正しい文法を習得できなかった。</td> </tr> <tr> <td>思考力、判断力、日本語での表現力</td> <td>自身で考え、自分の言葉で表現できる。表現の内容が分かりやすく、文法の間違いがほとんどない。声の大きさ、発音もよかった。</td> <td>自身で考え、自分の言葉で(日本語)表現でき、内容が分かりやすかった。</td> <td>自身で考え、自分の言葉で(日本語)表現できた。</td> <td>日本語での表現ができた。</td> <td>日本語での表現ができなかった。</td> </tr> <tr> <td>主体的に日本語学習に取り組む態度</td> <td>毎回の授業に参加し授業に意欲的、活動にも積極的に参加している。発言も多かった。</td> <td>毎回の授業に参加し、授業に対し真面目に取り組んでいる。積極的に活動に参加していた。</td> <td>毎回の授業に参加し、授業に対し意欲的で真面目に取り組んでいる。積極性は弱かった。</td> <td>最低出席日数分授業に参加しており、授業に意欲的であった。</td> <td>最低出席日数分授業に参加してあらず、授業態度も同じであった。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	日本語の知識・技能	正しい文法を習得し、場面に合わせた文法の使い分けを理解することができた。	正しい文法を習得しているが、場面に合わせた文法の使い分けをおおむね理解することができた。	正しい文法を習得しているが、場面に合わせた文法の使い分けを一定程度理解することができた。	正しい文法を習得できた。	正しい文法を習得できなかった。	思考力、判断力、日本語での表現力	自身で考え、自分の言葉で表現できる。表現の内容が分かりやすく、文法の間違いがほとんどない。声の大きさ、発音もよかった。	自身で考え、自分の言葉で(日本語)表現でき、内容が分かりやすかった。	自身で考え、自分の言葉で(日本語)表現できた。	日本語での表現ができた。	日本語での表現ができなかった。	主体的に日本語学習に取り組む態度	毎回の授業に参加し授業に意欲的、活動にも積極的に参加している。発言も多かった。	毎回の授業に参加し、授業に対し真面目に取り組んでいる。積極的に活動に参加していた。	毎回の授業に参加し、授業に対し意欲的で真面目に取り組んでいる。積極性は弱かった。	最低出席日数分授業に参加しており、授業に意欲的であった。	最低出席日数分授業に参加してあらず、授業態度も同じであった。												
評価項目		評価基準																																							
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
日本語の知識・技能	正しい文法を習得し、場面に合わせた文法の使い分けを理解することができた。	正しい文法を習得しているが、場面に合わせた文法の使い分けをおおむね理解することができた。	正しい文法を習得しているが、場面に合わせた文法の使い分けを一定程度理解することができた。	正しい文法を習得できた。	正しい文法を習得できなかった。																																				
思考力、判断力、日本語での表現力	自身で考え、自分の言葉で表現できる。表現の内容が分かりやすく、文法の間違いがほとんどない。声の大きさ、発音もよかった。	自身で考え、自分の言葉で(日本語)表現でき、内容が分かりやすかった。	自身で考え、自分の言葉で(日本語)表現できた。	日本語での表現ができた。	日本語での表現ができなかった。																																				
主体的に日本語学習に取り組む態度	毎回の授業に参加し授業に意欲的、活動にも積極的に参加している。発言も多かった。	毎回の授業に参加し、授業に対し真面目に取り組んでいる。積極的に活動に参加していた。	毎回の授業に参加し、授業に対し意欲的で真面目に取り組んでいる。積極性は弱かった。	最低出席日数分授業に参加しており、授業に意欲的であった。	最低出席日数分授業に参加してあらず、授業態度も同じであった。																																				

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>『中級を学ぼう日本語の文型と表現 8 2 中級中期』</td> <td>平井悦子・三輪さち子</td> <td>スリーエーネットワーク</td> <td>2009年</td> <td>978-4-88319-</td> <td>日本語と同じ教科書を使用。日本語</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1	『中級を学ぼう日本語の文型と表現 8 2 中級中期』	平井悦子・三輪さち子	スリーエーネットワーク	2009年	978-4-88319-	日本語と同じ教科書を使用。日本語	2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1	『中級を学ぼう日本語の文型と表現 8 2 中級中期』	平井悦子・三輪さち子	スリーエーネットワーク	2009年	978-4-88319-	日本語と同じ教科書を使用。日本語																																				
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年(留学生対象)		
開講時期	4Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	日本語 (留学生) (科目ナンバリング: JLN051032)				
授業担当者(所属・職名)	佐藤恵利(国際交流センター・センター員)	研究室所在	1号館1階非常勤講師室		
単位数	2 (単位認定責任者: 佐藤 恵利)	CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	オリエンテーション(今期の授業目的と進め方・シラバスの説明) プレテスト	シラバスを熟読し、本講義について理解しておくこと(90分)	講義内容を深め、指定された課題を作成すること(90分)
2	教科書、参考資料の内容読み取り、文法理解、聴解、文章表現、発表	教科書、参考資料を読み、授業の準備をする(90分)	講義内容を深め、指定された課題を作成すること(90分)
3	教科書、参考資料の内容読み取り、文法理解、聴解、文章表現、発表	教科書、参考資料を読み、授業の準備をする(90分)	講義内容を深め、指定された課題を作成すること(90分)
4	教科書、参考資料の内容読み取り、文法理解、聴解、文章表現、発表	教科書、参考資料を読み、授業の準備をする(90分)	講義内容を深め、指定された課題を作成すること(90分)
5	教科書、参考資料の内容読み取り、文法理解、聴解、文章表現、発表	教科書、参考資料を読み、授業の準備をする(90分)	講義内容を深め、指定された課題を作成すること(90分)
6	教科書、参考資料の内容読み取り、文法理解、聴解、文章表現、発表	教科書、参考資料を読み、授業の準備をする(90分)	講義内容を深め、指定された課題を作成すること(90分)
7	教科書、参考資料の内容読み取り、文法理解、聴解、文章表現、発表	教科書、参考資料を読み、授業の準備をする(90分)	講義内容を深め、指定された課題を作成すること(90分)
8	教科書、参考資料の内容読み取り、文法理解、聴解、文章表現、発表	教科書、参考資料を読み、授業の準備をする(90分)	講義内容を深め、指定された課題を作成すること(90分)
9	教科書、参考資料の内容読み取り、文法理解、聴解、文章表現、発表	教科書、参考資料を読み、授業の準備をする(90分)	講義内容を深め、指定された課題を作成すること(90分)
10	教科書、参考資料の内容読み取り、文法理解、聴解、文章表現、発表	教科書、参考資料を読み、授業の準備をする(90分)	講義内容を深め、指定された課題を作成すること(90分)
11	教科書、参考資料の内容読み取り、文法理解、聴解、文章表現、発表	教科書、参考資料を読み、授業の準備をする(90分)	講義内容を深め、指定された課題を作成すること(90分)
12	教科書、参考資料の内容読み取り、文法理解、聴解、文章表現、発表	教科書、参考資料を読み、授業の準備をする(90分)	講義内容を深め、指定された課題を作成すること(90分)
13	教科書、参考資料の内容読み取り、文法理解、聴解、文章表現、発表	教科書、参考資料を読み、授業の準備をする(90分)	講義内容を深め、指定された課題を作成すること(90分)
14	教科書、参考資料の内容読み取り、文法理解、聴解、文章表現、発表	教科書、参考資料を読み、授業の準備をする(90分)	講義内容を深め、指定された課題を作成すること(90分)
15	総括(授業の内容を復習)レポート提出	教科書、参考資料を読み、授業の準備をする(90分)	講義内容を深め、指定された課題を作成すること(90分)
16	定期試験実施(60分)と解説	試験に向けて講義の復習を行うこと(90分)	解説を受けて、試験及び講義全体の復習を行うこと(90分)

回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年(留学生対象)		
開講時期	2Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	日本語 (留学生) (科目ナンバリング: JLN052033)				
授業担当者(所属・職名)	佐藤 恵利 (国際交流センター・センター員)	研究室所在	1号館1階非常勤講師室		
単位数	2 (単位認定責任者: 佐藤恵利)	CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	日本語		

概要

<p>履修目標</p> <p>教養力と語学力を身に付け、日本における実社会で活躍するための高度な日本語スキルを習得する。講義聴解や資料読解を通して「日本語」よりレベルの高い文章や資料を読み込む力を習得し、適切な文章表現ができるようになる。また新聞やインターネットなどの記事を取り上げ、新聞で使用される語彙、文末表現、慣用語表現などを身に付け、日本語中級中期(日本語能力検定試験N2レベル)と同等の日本語能力を身に付ける。</p>

<p>授業の位置づけ</p> <p>経営学科のDP「1(1)、(2)、(4)」、「2(1)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(2)、(3)」、「4)、(5)、(6)、(7)」、「2(1)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(2)、(3)」、「2(1)」に対応する。 建築学科のDP「1(1)、(3)」、「2(1)」に対応する。</p>
--

<p>到達目標</p> <p>読解力、文章表現力、意見の発表と他者の意見を聞く能力、ディスカッション能力の習得。グラフ・表・文獻などの読み取り、意見交換の力を養う。</p>

<p>授業全体の内容と概要</p> <p>資料や参考図書を使用し、日本語能力試験N2と同等の日本語能力を身に付ける。。また、授業を通し「聞く・話す・読む・書く」の4技能の向上を目指す。</p>

<p>授業の方法</p> <p>授業は参考資料、参考図書を使用し、中級中期の日本語を学習する。授業形態は講義だが、読解、聴解、作文、発表、グループワークなどもあり、学生が主体的に活動することも多い。また、場面を考えたロールプレイやディスカッションも授業内で行う。評価はレポートと定期試験で判断するが、授業内に出される課題も評価対象となる。レポートはテーマ、内容、正確さ、長さ、表現力の5項目で評価する。「内容」の項目は特に重要で、自分の言葉でわかりやすく表現できているかを評価する。「正確さ」では文法や文字表記の誤りを提示するので、各自でフィードバックすること。定期試験は授業で学んだ内容を基に文法、聴解、読解、文章表現などの項目で評価する。定期テストも評価後は各自でフィードバックすること。</p>

アクティブラーニングの実施方法					
○	プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク
	模擬授業	○	ロールプレイ		調査学習
○	ディスカッション		実験・実習・実技	○	双方向授業
					その他(授業の方法参照)

<p>履修上の注意事項</p> <p>授業中は母語の使用は原則禁止とする。母語話者同士の会話もすべて日本語で行うこと。また、授業中の携帯電話、辞書の使用は原則禁止とする。集中して教師の講義を聞き、わからなかったら教師に質問すること。 平常点が評価に大きく影響する。授業中は真面目に取り組み、「日本語で表現できない」と思わずなんでもチャレンジすることが求められる。また、全講義内容をもとに定期試験を行う。一日でも休むと講義内容が分からなくなってしまうので、出席すること。日本語 はまた日本語能力検定N2レベルまで達してあらず、日本語レベルの向上を目指すクラスである。自身の日本語レベルを確認し、履修すること。日本語 を履修後受講するのが望ましい。</p>
--

<p>資格指定科目</p>

評価方法・基準

評価前提条件					
<p>単位認定に必要な最低出席回数は、10回である。 ↓ 6回目の授業で定期試験を行う。 出席、授業態度、レポート、定期テストで評価する。</p>					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
40%	0%	30%	0%	30%	0%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
日本語の知識・技能	正しい文法を習得し、場面に合わせた文法の使い分けを理解することができた。	正しい文法を習得しているが、場面に合わせた文法の使い分けをおおむね理解することができた。	正しい文法を習得しているが、場面に合わせた文法の使い分けを一定程度理解することができた。	正しい文法を習得できた。	正しい文法を習得できなかった。
思考力、判断力、日本語での表現力	自身で考え、自分の言葉で表現できる。表現の内容が分かりやすく、文法の間違いがほとんどない。声の大きさ、発音もよかった。	自身で考え、自分の言葉で(日本語)表現でき、内容が分かりやすかった。	自身で考え、自分の言葉で(日本語)表現できた。	日本語での表現ができた。	日本語での表現ができなかった。
主体的に日本語学習に取り組む態度	毎回の授業に参加し授業に意欲的で、活動にも積極的に参加している。発言も多かった。	毎回の授業に参加し、授業に対し真面目に取り組んでいた。	毎回の授業に参加し、授業に対し意欲的で真面目に取り組んでいた。積極性は弱かった。	最低出席日数分授業に参加しており、授業に積極的であった。	最低出席日数分授業に参加してあらず、授業態度も同じであった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	中級を学ぼう日本語の文型と表現 8 2 中級中期	平井悦子・三輪さち子	スリーエネットワーク	2009年	978-4-88319-	日本語と同じ教科書を使用。日本後
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年(留学生対象)		
開講時期	2Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	日本語 (留学生) (科目ナンバリング: JLN052033)				
授業担当者(所属・職名)	佐藤 恵利(国際交流センター・センター員)	研究室所在	1号館1階非常勤講師室		
単位数	2 (単位認定責任者: 佐藤恵利)	CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	日本語		

授業計画

回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	オリエンテーション(今期の授業目的と進め方・シラバスの説明) プレテスト	シラバスを熟読し、本講義について理解しておくこと(90分)	講義内容を深め、指定された課題を作成すること(90分)
2	教科書、参考資料の内容読み取り、文法理解、聴解、文章表現、発表	教科書、参考資料を読み、授業の準備をする(90分)	講義内容を深め、指定された課題を作成すること(90分)
3	教科書、参考資料の内容読み取り、文法理解、聴解、文章表現、発表	教科書、参考資料を読み、授業の準備をする(90分)	講義内容を深め、指定された課題を作成すること(90分)
4	教科書、参考資料の内容読み取り、文法理解、聴解、文章表現、発表	教科書、参考資料を読み、授業の準備をする(90分)	講義内容を深め、指定された課題を作成すること(90分)
5	教科書、参考資料の内容読み取り、文法理解、聴解、文章表現、発表	教科書、参考資料を読み、授業の準備をする(90分)	講義内容を深め、指定された課題を作成すること(90分)
6	教科書、参考資料の内容読み取り、文法理解、聴解、文章表現、発表	教科書、参考資料を読み、授業の準備をする(90分)	講義内容を深め、指定された課題を作成すること(90分)
7	教科書、参考資料の内容読み取り、文法理解、聴解、文章表現、発表	教科書、参考資料を読み、授業の準備をする(90分)	講義内容を深め、指定された課題を作成すること(90分)
8	教科書、参考資料の内容読み取り、文法理解、聴解、文章表現、発表	教科書、参考資料を読み、授業の準備をする(90分)	講義内容を深め、指定された課題を作成すること(90分)
9	教科書、参考資料の内容読み取り、文法理解、聴解、文章表現、発表	教科書、参考資料を読み、授業の準備をする(90分)	講義内容を深め、指定された課題を作成すること(90分)
10	教科書、参考資料の内容読み取り、文法理解、聴解、文章表現、発表	教科書、参考資料を読み、授業の準備をする(90分)	講義内容を深め、指定された課題を作成すること(90分)
11	教科書、参考資料の内容読み取り、文法理解、聴解、文章表現、発表	教科書、参考資料を読み、授業の準備をする(90分)	講義内容を深め、指定された課題を作成すること(90分)
12	教科書、参考資料の内容読み取り、文法理解、聴解、文章表現、発表	教科書、参考資料を読み、授業の準備をする(90分)	講義内容を深め、指定された課題を作成すること(90分)
13	教科書、参考資料の内容読み取り、文法理解、聴解、文章表現、発表	教科書、参考資料を読み、授業の準備をする(90分)	講義内容を深め、指定された課題を作成すること(90分)
14	教科書、参考資料の内容読み取り、文法理解、聴解、文章表現、発表	教科書、参考資料を読み、授業の準備をする(90分)	講義内容を深め、指定された課題を作成すること(90分)
15	総括(授業の内容を復習)レポート提出	教科書、参考資料を読み、授業の準備をする(90分)	講義内容を深め、指定された課題を作成すること(90分)
16	定期試験実施(60分)と解説	試験に向けて講義の復習を行うこと(90分)	解説を受けて、試験及び講義全体の復習を行うこと(90分)

回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目		対象学科・配当	全学科・2年（留学生対象）		
開講時期	4Q		授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	日本語（留学生）（科目ナンバリング：JNL052034）					
授業担当者（所属・職名）	佐藤 恵利（国際交流センター・センター員）		研究室所在	1号館1階非常勤講師室		
単位数	2（単位認定責任者：佐藤 恵利）		CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	日本語			

概要

履修目標

教養力と語学力を身に付け、日本における実社会で活躍するための高度な日本語スキルを習得する。講義聴解や資料読解を通して「日本語」よりレベルの高い文章や資料を読み込む力を習得し、適切な文章表現ができるようになる。また新聞やインターネットなどの記事を取り上げ、新聞で使用される語彙、文末表現、慣用表現などを身に付け、日本語能力試験N2が合格できる程度の日本語能力を身に付ける。

授業の位置づけ

経営学科のDP「1(1)」、「1(2)」、「1(4)」、「2(1)」に対応する。
 社会福祉学科のDP「1(2)」、「1(3)」、「1(4)」、「1(5)」、「1(6)」、「1(7)」、「2(1)」に対応する。
 デザイン学科のDP「1(2)」、「1(3)」、「2(1)」に対応する。
 建築学科のDP「1(1)」、「1(3)」、「2(1)」に対応する。

到達目標

読解力、文章表現力、意見の発表と他者の意見を聞く能力、ディスカッション能力の習得。グラフ・表・文献などの読み取り、意見交換の力を養う。

授業全体の内容と概要

資料や参考図書を使用し、初中級レベルの文法の確認をする。また、授業を通し「聞く・話す・読む・書く」の4技能の向上を目指す。

授業の方法

授業は参考資料、参考図書を使用しN2レベルの文法、読解、聴解を中心に復習を行う。授業形態は講義だが、読解、聴解、作文、発表、グループワークなどもあり、学生が主体的に活動することも多い。また、場面を考えてのロールプレイやディスカッションも授業内で行う。評価はレポートと定期試験で判断するが、授業内に出される課題も評価対象となる。レポートはテーマ、内容、正確さ、長さ、表現力の5項目で評価する。「内容」の項目は特に重要で、自分の言葉でわかりやすく表現できているかを評価する。「正確さ」では文法や文字表記の誤りを提示するので、各自でフィードバックすること。定期試験は授業で学んだ内容を基に文法、聴解、読解、文章表現などの項目で評価する。定期テストも評価後は各自でフィードバックすること。

アクティブラーニングの実施方法

<input type="checkbox"/>	プレゼンテーション	<input type="checkbox"/>	グループワーク	<input type="checkbox"/>	フィールドワーク	<input type="checkbox"/>	PBL
<input type="checkbox"/>	模擬授業	<input type="checkbox"/>	ロールプレイ	<input type="checkbox"/>	調査学習	<input type="checkbox"/>	反転授業
<input type="checkbox"/>	ディスカッション	<input type="checkbox"/>	実験・実習・実技	<input type="checkbox"/>	双方向授業	<input type="checkbox"/>	その他（授業の方法参照）

履修上の注意事項

授業中は母語の使用は原則禁止とする。母語話者同士の会話もすべて日本語で行うこと。また、授業中の携帯電話、辞書の使用は原則禁止とする。集中して教師の講義を聞き、わからなかったら教師に質問すること。
 平常点が評価に大きく影響する。授業中は真面目に取り組み、「日本語で表現できない」と思わずなんでもチャレンジすることが求められる。また、全講義内容をもとに定期試験を行う。一日でも休むと講義内容が分からなくなってしまうので、出席すること。日本語は日本語能力検定N2レベルの試験対策を中心に行うN2レベルの文法の基礎が身につけていること、や自身の日本語レベルを確認し、履修すること。日本語を履修後受講するのが望ましい。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件

単位認定に必要となる最低出席回数は、10回である。
 ↓6回目の授業で定期試験を行う
 出席、授業態度、定期テストで評価する。授業内で出される課題（作文）は課題・作品の評価に加算されるので必ず提出すること

評価方法

定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
40%	0%	30%	0%	30%	0%

ルーブリック

評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
日本語の知識・技能	正しい文法を習得し、場面に合わせた文法の使い分けを理解することができる。	正しい文法を習得しているが、場面に合わせた文法の使い分けをおおむね理解することができる。	正しい文法を習得しているが、場面に合わせた文法の使い分けを一定程度理解することができる。	正しい文法を習得できた。	正しい文法を習得できなかった。
思考力、判断力、日本語での表現力	自身で考え、自分の言葉で表現できる。表現の内容が分かりやすく、文法の間違いがほとんどない。声の大きさ、発音もよい。	自身で考え、自分の言葉で表現できる。表現のおおむね内容が分かりやすい。声の大きさ、発音が良い。	自身で考え、自分の言葉で表現できる。表現の一定的内容が分かりやすい。	自身で考え、自分の言葉で表現できる。表現の内容が分かりやすい。	他者任せで、自身で考え、自分の言葉で表現しようという姿勢が見られない。文法、発音に問題がある。
主体的に日本語学習に取り組む態度	毎回の授業に参加し授業に意欲的で、活動にも積極的に参加している。	毎回の授業に参加し授業に意欲的で、活動にもおおむね積極的に参加している。	毎回の授業に参加し授業に意欲的で、活動にも一定の積極的に参加している。	最低出席日数分授業に参加しており、授業に対し真面目に取り組んでいるが、授業内の活動に対し消極的である。	最低出席日数分授業に参加してあらず、授業態度も同じく消極的である。

教科書・参考文献・資料等

教科書

No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等

No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						必要に応じ適宜配布
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年（留学生対象）		
開講時期	4Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	日本語（留学生）（科目ナンバリング：JNL052034）				
授業担当者（所属・職名）	佐藤 恵利（国際交流センター・センター員）	研究室所在	1号館1階非常勤講師室		
単位数	2（単位認定責任者：佐藤 恵利）	CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	日本語		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習（所要時間）	事後学習（所要時間）
1	オリエンテーション（今期の授業目的と進め方、シラバスの説明） プレスマインドテスト	シラバスを熟読し、本講義について理解しておくこと（90分）	講義内容を深め、指定された課題を作成すること（90分）
2	文法・読解・聴解・文章表現・文字・語彙	参考資料を読み、授業の準備をする（90分）	講義内容を深め、指定された課題を作成すること（90分）
3	文法・読解・聴解・文章表現・文字・語彙	参考資料を読み、授業の準備をする（90分）	講義内容を深め、指定された課題を作成すること（90分）
4	文法・読解・聴解・文章表現・文字・語彙	参考資料を読み、授業の準備をする（90分）	講義内容を深め、指定された課題を作成すること（90分）
5	文法・読解・聴解・文章表現・文字・語彙	参考資料を読み、授業の準備をする（90分）	講義内容を深め、指定された課題を作成すること（90分）
6	文法・読解・聴解・文章表現・文字・語彙	参考資料を読み、授業の準備をする（90分）	講義内容を深め、指定された課題を作成すること（90分）
7	文法・読解・聴解・文章表現・文字・語彙	参考資料を読み、授業の準備をする（90分）	講義内容を深め、指定された課題を作成すること（90分）
8	文法・読解・聴解・文章表現・文字・語彙	参考資料を読み、授業の準備をする（90分）	講義内容を深め、指定された課題を作成すること（90分）
9	文法・読解・聴解・文章表現・文字・語彙	参考資料を読み、授業の準備をする（90分）	講義内容を深め、指定された課題を作成すること（90分）
10	文法・読解・聴解・文章表現・文字・語彙	参考資料を読み、授業の準備をする（90分）	講義内容を深め、指定された課題を作成すること（90分）
11	文法・読解・聴解・文章表現・文字・語彙	参考資料を読み、授業の準備をする（90分）	講義内容を深め、指定された課題を作成すること（90分）
12	文法・読解・聴解・文章表現・文字・語彙	参考資料を読み、授業の準備をする（90分）	講義内容を深め、指定された課題を作成すること（90分）
13	文法・読解・聴解・文章表現・文字・語彙	参考資料を読み、授業の準備をする（90分）	講義内容を深め、指定された課題を作成すること（90分）
14	文法・読解・聴解・文章表現・文字・語彙	参考資料を読み、授業の準備をする（90分）	講義内容を深め、指定された課題を作成すること（90分）
15	総括（授業の内容を復習）	参考資料を読み、授業の準備をする（90分）	講義内容を深め、指定された課題を作成すること（90分）
16	定期試験実施（60分）と解説	試験に向けて講義の復習を行うこと（90分）	解説を受けて、試験及び講義全体の復習を行うこと（90分）

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習（所要時間）	事後学習（所要時間）
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目		対象学科・配当	前期		
開講時期	前期		授業形態	実技	必修・選択	必修
科目名称	スポ - ツ総合 (M-A1) (科目ナンバリング: HSS061039)					
授業担当者 (所属・職名)	中川 純二 (経営学科・准教授)		研究室所在	1号館2階		
単位数	1	(単位認定責任者: 中川 純二)	CAP制	x		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	学校現場における教員経験がある教員がその経験を活かして、高齢化社会を迎えた現在、将来に向けて健康で豊かな生活を営んでいくための生涯スポーツの基礎を指導する。			

概要

履修目標
生涯を健康で有意義に過ごすため、健康と体力を保持増進するとともに、身体活動を通して社会性や協調性を養い、高齢化社会を迎えた現在、将来に向け健康で豊かな生活を営んでいくための生涯スポーツの基礎を養い必要な知識を身に付ける。

授業の位置づけ
経営学科のDP「1(1)」、「1(2)」、「2(1)」に対応する。

到達目標
地域や職域に於けるスポーツ・レクリエーション活動を実践し、競技の特性やルールを学び理解することができる。

授業全体の内容と概要
各種目の基本技術の習得及びルールを学び、ゲーム中心に授業を進める。

授業の方法
授業形態は実技であり、各種目の特性を考慮し基本的な動作やルールを理解させ怪我に注意を払いながらゲーム運営ができるように配慮していく。また授業の中で種目ごとに理解されているか確認の実技試験を実施する。

アクティブラーニングの実施方法												
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>グループワーク</td> <td>フィールドワーク</td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td>ロールプレイ</td> <td>調査学習</td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td>実験・実習・実技</td> <td>双方向授業</td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL	模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業	ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL									
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業									
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)									

履修上の注意事項
ジャージ、屋内運動靴を必ず用意する。アクセサリ(時計、指輪、ピアス等)は全て外す。携帯電話の電源は必ず切る。貴重品・多額の現金は持参しない。爪・髪の毛等は清潔にその他注意事項の詳細は授業ガイダンスで指示する。 *健康上の理由で医師から運動を停止されている者は、申し出の上指示を受けること。

資格指定科目
教職課程(全教科)必修科目

評価方法・基準

評価前提条件												
単位認定に必要となる最低出席回数は、11回以上。 男女差、年齢差によって評価を考慮していく。												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>40%</td> <td>50%</td> <td>10%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	0%	0%	40%	50%	10%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	0%	0%	40%	50%	10%							

ルーブリック																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>関心・意欲・態度・判断</td> <td>自ら進んで行動や役割を果たすことが出来、とても意欲的に取り組み、且つ安全に細心の注意を払うことができた。</td> <td>積極的に行動や役割を果たすことができ、意欲的に取り組み、安全に注意を払うことができた。</td> <td>行動の仕方を守り役割を果たすことができ、普通に取り組み安全に注意を払うことができた。</td> <td>行動の仕方を守らず役割を果たしていないときがあったが安全に注意を払うことができた。</td> <td>行動の仕方を守らず役割を果たさなく意欲も全くなく安全に注意を払うことができなかった。</td> </tr> <tr> <td>各運動技能</td> <td>各種の運動技能に優れ充分にできた。</td> <td>各種の運動技能が7割程度できた。</td> <td>各種の運動技能が5割程度できた。</td> <td>各種の運動技能が3割程度できた。</td> <td>各種の運動技能が全くできなかった。</td> </tr> <tr> <td>知識・理解(ルール、審判、運営の仕方)</td> <td>ルールを完全にマスターし審判やゲーム運営の仕方について状況や場面に応じて理解することができた。</td> <td>ルールをある程度マスターし審判やゲーム運営の仕方について応用的に理解することができた。</td> <td>ルールを最低限マスターし審判やゲーム運営の仕方について理解することができた。</td> <td>ルールを最低限マスターし審判やゲーム運営の仕方について部分的に理解することができた。</td> <td>ルールを全くマスターしてあらず審判やゲーム運営の仕方について理解ができなかった。</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>各学部、学科や男女差、年齢差によって評価を考慮していく。</td> <td>各学部、学科や男女差、年齢差によって評価を考慮していく。</td> <td>各学部、学科や男女差、年齢差によって評価を考慮していく。</td> <td>各学部、学科や男女差、年齢差によって評価を考慮していく。</td> <td>各学部、学科や男女差、年齢差によって評価を考慮していく。</td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	関心・意欲・態度・判断	自ら進んで行動や役割を果たすことが出来、とても意欲的に取り組み、且つ安全に細心の注意を払うことができた。	積極的に行動や役割を果たすことができ、意欲的に取り組み、安全に注意を払うことができた。	行動の仕方を守り役割を果たすことができ、普通に取り組み安全に注意を払うことができた。	行動の仕方を守らず役割を果たしていないときがあったが安全に注意を払うことができた。	行動の仕方を守らず役割を果たさなく意欲も全くなく安全に注意を払うことができなかった。	各運動技能	各種の運動技能に優れ充分にできた。	各種の運動技能が7割程度できた。	各種の運動技能が5割程度できた。	各種の運動技能が3割程度できた。	各種の運動技能が全くできなかった。	知識・理解(ルール、審判、運営の仕方)	ルールを完全にマスターし審判やゲーム運営の仕方について状況や場面に応じて理解することができた。	ルールをある程度マスターし審判やゲーム運営の仕方について応用的に理解することができた。	ルールを最低限マスターし審判やゲーム運営の仕方について理解することができた。	ルールを最低限マスターし審判やゲーム運営の仕方について部分的に理解することができた。	ルールを全くマスターしてあらず審判やゲーム運営の仕方について理解ができなかった。	その他	各学部、学科や男女差、年齢差によって評価を考慮していく。	各学部、学科や男女差、年齢差によって評価を考慮していく。	各学部、学科や男女差、年齢差によって評価を考慮していく。	各学部、学科や男女差、年齢差によって評価を考慮していく。	各学部、学科や男女差、年齢差によって評価を考慮していく。
評価項目		評価基準																																	
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																														
関心・意欲・態度・判断	自ら進んで行動や役割を果たすことが出来、とても意欲的に取り組み、且つ安全に細心の注意を払うことができた。	積極的に行動や役割を果たすことができ、意欲的に取り組み、安全に注意を払うことができた。	行動の仕方を守り役割を果たすことができ、普通に取り組み安全に注意を払うことができた。	行動の仕方を守らず役割を果たしていないときがあったが安全に注意を払うことができた。	行動の仕方を守らず役割を果たさなく意欲も全くなく安全に注意を払うことができなかった。																														
各運動技能	各種の運動技能に優れ充分にできた。	各種の運動技能が7割程度できた。	各種の運動技能が5割程度できた。	各種の運動技能が3割程度できた。	各種の運動技能が全くできなかった。																														
知識・理解(ルール、審判、運営の仕方)	ルールを完全にマスターし審判やゲーム運営の仕方について状況や場面に応じて理解することができた。	ルールをある程度マスターし審判やゲーム運営の仕方について応用的に理解することができた。	ルールを最低限マスターし審判やゲーム運営の仕方について理解することができた。	ルールを最低限マスターし審判やゲーム運営の仕方について部分的に理解することができた。	ルールを全くマスターしてあらず審判やゲーム運営の仕方について理解ができなかった。																														
その他	各学部、学科や男女差、年齢差によって評価を考慮していく。	各学部、学科や男女差、年齢差によって評価を考慮していく。	各学部、学科や男女差、年齢差によって評価を考慮していく。	各学部、学科や男女差、年齢差によって評価を考慮していく。	各学部、学科や男女差、年齢差によって評価を考慮していく。																														

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>『アクティブスポーツ・ツ総合版』</td> <td>文部科学省</td> <td>大修館書店</td> <td>2019</td> <td>4469365603</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1	『アクティブスポーツ・ツ総合版』	文部科学省	大修館書店	2019	4469365603		2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1	『アクティブスポーツ・ツ総合版』	文部科学省	大修館書店	2019	4469365603																																					
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	前期		
開講時期	前期	授業形態	実技	必修・選択	必修
科目名称	ｽﾎﾟｰﾂ総合 (M-A1) (科目ナンバリング: HSS061039)				
授業担当者(所属・職名)	中川 純二 (経営学科・准教授)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 中川 純二)	CAP制	x		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり 左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	学校現場における教員経験がある教員がその経験を活かして、高齢化社会を迎えた現在、将来に向けて健康で豊かな生活を営んでいくための生涯スポーツの基礎を指導する。			

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習 (所要時間)	事後学習 (所要時間)
1	ガイダンス (シラバスの説明)	事前にシラバスを読んで確認しておく (45分)	ガイダンスの内容を理解しておく (45分)
2	体力測定	健康に留意し体調を整えておく (45分)	身体のケアを怠らない (45分)
3	体力測定	健康に留意し体調を整えておく (45分)	身体のケアを怠らない (45分)
4	ボ・ルゲーム/ネット型 (卓球、バトミントン、バレーボール、ミニバレー) 基本動作と審判法、ゲーム運営	種目の特性について理解しておく (45分)	次回の授業の為にルールを理解しておく (45分)
5	ボ・ルゲーム/ネット型 (卓球、バトミントン、バレーボール、ミニバレー) ゲーム	ゲーム運営について確認しておく (45分)	ゲーム運営について理解しておく (45分)
6	ボ・ルゲーム/ネット型 (卓球、バトミントン、バレーボール、ミニバレー) ゲーム	ゲーム運営について確認しておく (45分)	ゲーム運営について理解しておく (45分)
7	ボ・ルゲーム/ネット型 (卓球、バトミントン、バレーボール、ミニバレー) ゲーム	ゲーム運営について確認しておく (45分)	ゲーム運営について理解しておく (45分)
8	ボ・ルゲーム/ネット型 (卓球、バトミントン、バレーボール、ミニバレー) ゲーム	ゲーム運営について確認しておく (45分)	ゲーム運営について理解しておく (45分)
9	ボ・ルゲーム/ネット型 (卓球、バトミントン、バレーボール、ミニバレー) ゲーム	ゲーム運営について確認しておく (45分)	ゲーム運営について理解しておく (45分)
10	ボ・ルゲーム/ゴール型 (バスケットボール、フットサル、アルティメット) 基本動作と審判法、ゲーム運営	種目の特性について理解しておく (45分)	次回の授業の為にルールを理解しておく (45分)
11	ボ・ルゲーム/ゴール型 (バスケットボール、フットサル、アルティメット) ゲーム	ゲーム運営について確認しておく (45分)	ゲーム運営について理解しておく (45分)
12	ボ・ルゲーム/ゴール型 (バスケットボール、フットサル、アルティメット) ゲーム	ゲーム運営について確認しておく (45分)	ゲーム運営について理解しておく (45分)
13	ボ・ルゲーム/ゴール型 (バスケットボール、フットサル、アルティメット) ゲーム	ゲーム運営について確認しておく (45分)	ゲーム運営について理解しておく (45分)
14	ボ・ルゲーム/ゴール型 (バスケットボール、フットサル、アルティメット) ゲーム	ゲーム運営について確認しておく (45分)	ゲーム運営について理解しておく (45分)
15	ボ・ルゲーム/ゴール型 (バスケットボール、フットサル、アルティメット) ゲーム	ゲーム運営について確認しておく (45分)	ゲーム運営について理解しておく (45分)
16	まとめ	種目の特性やルールについて理解しておく (45分)	生涯スポーツとしての基礎を理解する (45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習 (所要時間)	事後学習 (所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目		対象学科・配当	経営学科・1年		
開講時期	前期		授業形態	実技	必修・選択	必修
科目名称	スポ°-ツ総合 (M-B2) (科目ナンバリング: HSS061039)					
授業担当者 (所属・職名)	石井 祐治 (経営学科・特任講師)		研究室所在	1号館 2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 佐藤 和裕)		CAP制	x		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	学校現場における教員経験がある教員がその経験を活かして、高齢化社会を迎えた現在、将来に向け健康で豊かな生活を営んでいくための生涯スポーツの基礎を指導する。			

概要

履修目標
生涯を健康で有意義に過ごすため、健康と体力を保持増進するとともに、身体活動を通して社会性や協調性を養い、高齢化社会を迎えた現在、将来に向け健康で豊かな生活を営んでいくための生涯スポーツの基礎を養い必要な知識を身につける。

授業の位置づけ
経営学科のDP「1(1)」、「1(2)」、「2(1)」に対応する。

到達目標
地域や職域に於けるスポーツ・レクリエーション活動を実践し、競技の特性やルールを学び理解することができる。

授業全体の内容と概要
各種目の基本技術の習得及びルールを学び、ゲーム中心に授業を進める。

授業の方法
授業形態は実技であり、各種目の特性を考慮し基礎的な動作やルールを理解させ怪我に注意を払いながらゲーム運営ができるように配慮していく。また授業の中で種目ごとに理解されているか確認の実技試験を実施する。

アクティブラーニングの実施方法						
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク	PBL
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習	反転授業
	ディスカッション	○	実験・実習・実技		双方向授業	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項
ジャージ・屋内運動靴を必ず用意する。アクセサリ(時計、指輪、ピアス等)は全て外す。携帯電話の電源は必ず切る。貴重品・多額の現金は持参しない。爪・髪の毛等は清潔にその他注意事項の詳細は授業ガイダンスで指示する。 健康上の理由で医師から運動を停止されている者は、申し出の上指示を受けること。

資格指定科目
教職課程(全教科)必修科目

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な最低出席回数は、11回以上。男女差、年齢差によって評価を考慮していく。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	0%	0%	40%	50%	10%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
関心・意欲・態度・判断	自ら進んで行動や役割を果たすことができ、とても意欲的に取り組み、且つ安全に細心の注意を払うことができた。	積極的に行動や役割を果たすことができ、意欲的に取り組み、安全に注意を払うことができた。	行動の仕方を守り役割を果たすことができ、普通に取り組み安全に注意を払うことができた。	行動の仕方を守らず役割を果たしていないときがあったが安全に注意を払うことができた。	行動の仕方を守らず役割を果たさなく意欲も全くなく安全に注意を払うことができなかった。
各運動技能	各種目の運動技能に優れ十分にできた。	各種目の運動技能が7割程度できた。	各種目の運動技能が5割程度できた。	各種目の運動技能が3割程度できた。	各種目の運動技能が全くできなかった。
知識・理解(ルール、審判、運営の仕方)	ルールを完全にマスターし審判やゲーム運営の仕方について状況や場面に応じて理解することができた。	ルールをある程度マスターし審判やゲーム運営の仕方について応用的に理解することができた。	ルールを最低限マスターし審判やゲーム運営の仕方について理解することができた。	ルールを最低限マスターし審判やゲーム運営の仕方について部分的に理解することができた。	ルールを全くマスターしてあらず審判やゲーム運営の仕方について理解ができなかった。
その他	各学部、学科や男女差、年齢差によって評価を考慮していく。	各学部、学科や男女差、年齢差によって評価を考慮していく。	各学部、学科や男女差、年齢差によって評価を考慮していく。	各学部、学科や男女差、年齢差によって評価を考慮していく。	各学部、学科や男女差、年齢差によって評価を考慮していく。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『アクティブスポーツ総合版』	文部科学省	大修館書店	2019	4469365603	
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	経営学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	実技	必修・選択	必修
科目名称	ｽﾎﾟｰﾂ総合 (M-B2) (科目ナンバリング: HSS061039)				
授業担当者(所属・職名)	石井 祐治 (経営学科・特任講師)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 佐藤 和裕)	CAP制	x		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	学校現場における教員経験がある教員がその経験を活かして、高齢化社会を迎えた現在、将来に向け健康で豊かな生活を営んでいくための生涯スポーツの基礎を指導する。		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習 (所要時間)	事後学習 (所要時間)
1	ガイダンス (シラバスの説明)	事前にシラバスを読んで確認しておく (45分)	ガイダンスの内容を理解しておく (45分)
2	体力測定	健康に留意し体調を整えておく (45分)	身体のケアを怠らない (45分)
3	体力測定	健康に留意し体調を整えておく (45分)	身体のケアを怠らない (45分)
4	ボールゲーム/ネット型 (卓球、バドミントン、バレーボール、ミニバレー) 基礎動作と審判法、ゲーム運営	種目の特性について理解しておく (45分)	次回の授業の為にルールを理解しておく (45分)
5	ボールゲーム/ネット型 (卓球、バドミントン、バレーボール、ミニバレー) ゲーム	ゲーム運営について確認しておく (45分)	ゲーム運営について理解しておく (45分)
6	ボールゲーム/ネット型 (卓球、バドミントン、バレーボール、ミニバレー) ゲーム	ゲーム運営について確認しておく (45分)	ゲーム運営について理解しておく (45分)
7	ボールゲーム/ネット型 (卓球、バドミントン、バレーボール、ミニバレー) ゲーム	ゲーム運営について確認しておく (45分)	ゲーム運営について理解しておく (45分)
8	ボールゲーム/ネット型 (卓球、バドミントン、バレーボール、ミニバレー) ゲーム	ゲーム運営について確認しておく (45分)	ゲーム運営について理解しておく (45分)
9	ボールゲーム/ネット型 (卓球、バドミントン、バレーボール、ミニバレー) ゲーム	ゲーム運営について確認しておく (45分)	ゲーム運営について理解しておく (45分)
10	ボールゲーム/ゴール型 (バスケットボール、フットサル、アルティメット) 基礎動作と審判法、ゲーム運営	種目の特性について理解しておく (45分)	次回の授業の為にルールを理解しておく (45分)
11	ボールゲーム/ゴール型 (バスケットボール、フットサル、アルティメット) ゲーム	ゲーム運営について確認しておく (45分)	ゲーム運営について理解しておく (45分)
12	ボールゲーム/ゴール型 (バスケットボール、フットサル、アルティメット) ゲーム	ゲーム運営について確認しておく (45分)	ゲーム運営について理解しておく (45分)
13	ボールゲーム/ゴール型 (バスケットボール、フットサル、アルティメット) ゲーム	ゲーム運営について確認しておく (45分)	ゲーム運営について理解しておく (45分)
14	ボールゲーム/ゴール型 (バスケットボール、フットサル、アルティメット) ゲーム	ゲーム運営について確認しておく (45分)	ゲーム運営について理解しておく (45分)
15	ボールゲーム/ゴール型 (バスケットボール、フットサル、アルティメット) ゲーム	ゲーム運営について確認しておく (45分)	ゲーム運営について理解しておく (45分)
16	まとめ	種目の特性やルールについて理解しておく (45分)	生涯スポーツとしての基礎を理解する (45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習 (所要時間)	事後学習 (所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目		対象学科・配当	経営学科・1年		
開講時期	前期		授業形態	実技	必修・選択	必修
科目名称	スポ°-ツ総合 (M-C3) (科目ナンバリング: HSS061039)					
授業担当者 (所属・職名)	佐藤 和裕 (経営学科・准教授)		研究室所在	1号館 2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 佐藤 和裕)		CAP制	x		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	学校現場における教員経験がある教員がその経験を活かして、高齢化社会を迎えた現在、将来に向け健康で豊かな生活を営んでいくための生涯スポーツの基礎を指導する。			

概要

履修目標	生涯を健康で有意義に過ごすため、健康と体力を保持増進するとともに、身体活動を通して社会性や協調性を養い、高齢化社会を迎えた現在、将来に向け健康で豊かな生活を営んでいくための生涯スポーツの基礎を養い必要な知識を身につける。
------	--

授業の位置づけ	経営学科のDP「1(1)」、「1(2)」、「2(1)」に対応する。
---------	-----------------------------------

到達目標	地域や職域に於けるスポーツ・レクリエーション活動を実践し、競技の特性やルールを学び理解することができる。
------	--

授業全体の内容と概要	各種目の基本技術の習得及びルールを学び、ゲーム中心に授業を進める。
------------	-----------------------------------

授業の方法	授業形態は実技であり、各種目の特性を考慮し基礎的な動作やルールを理解させ怪我に注意を払いながらゲーム運営ができるように配慮していく。また授業の中で種目ごとに理解されているか確認の実技試験を実施する。
-------	---

アクティブラーニングの実施方法						
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク	PBL
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習	反転授業
	ディスカッション	○	実験・実習・実技		双方向授業	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項	ジャージ・屋内運動靴を必ず用意する。アクセサリ(時計、指輪、ピアス等)は全て外す。携帯電話の電源は必ず切る。貴重品・多額の現金は持参しない。爪・髪の毛等は清潔にその他注意事項の詳細は授業ガイダンスで指示する。 健康上の理由で医師から運動を停止されている者は、申し出の上指示を受けること。
----------	--

資格指定科目	教職課程(全教科)必修科目
--------	---------------

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な最低出席回数は、11回以上。男女差、年齢差によって評価を考慮していく。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	0%	0%	40%	50%	10%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
関心・意欲・態度・判断	自ら進んで行動や役割を果たすことができ、とても意欲的に取り組み、且つ安全に細心の注意を払うことができた。	積極的に行動や役割を果たすことができ、意欲的に取り組み、安全に注意を払うことができた。	行動の仕方を守り役割を果たすことができ、普通に取り組み安全に注意を払うことができた。	行動の仕方を守らず役割を果たしていないときがあったが安全に注意を払うことができた。	行動の仕方を守らず役割を果たさなく意欲も全くなく安全に注意を払うことができなかった。
各運動技能	各種目の運動技能に優れ十分にできた。	各種目の運動技能が7割程度できた。	各種目の運動技能が5割程度できた。	各種目の運動技能が3割程度できた。	各種目の運動技能が全くできなかった。
知識・理解(ルール、審判、運営の仕方)	ルールを完全にマスターし審判やゲーム運営の仕方について状況や場面に応じて理解することができた。	ルールをある程度マスターし審判やゲーム運営の仕方について応用的に理解することができた。	ルールを最低限マスターし審判やゲーム運営の仕方について理解することができた。	ルールを最低限マスターし審判やゲーム運営の仕方について部分的に理解することができた。	ルールを全くマスターしておらず審判やゲーム運営の仕方について理解ができなかった。
その他	各学部、学科や男女差、年齢差によって評価を考慮していく。	各学部、学科や男女差、年齢差によって評価を考慮していく。	各学部、学科や男女差、年齢差によって評価を考慮していく。	各学部、学科や男女差、年齢差によって評価を考慮していく。	各学部、学科や男女差、年齢差によって評価を考慮していく。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『アクティブスポーツ総合版』	文部科学省	大修館書店	2019	4469365603	
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	経営学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	実技	必修・選択	必修
科目名称	ｽﾎﾟｰﾂ総合 (M-C3) (科目ナンバリング: HSS061039)				
授業担当者 (所属・職名)	佐藤 和裕 (経営学科・准教授)	研究室所在	1号館 2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 佐藤 和裕)	CAP制	x		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	学校現場における教員経験がある教員がその経験を活かして、高齢化社会を迎えた現在、将来に向け健康で豊かな生活を営んでいくための生涯スポーツの基礎を指導する。		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習 (所要時間)	事後学習 (所要時間)
1	ガイダンス (シラバスの説明)	事前にシラバスを読んで確認しておく (45分)	ガイダンスの内容を理解しておく (45分)
2	体力測定	健康に留意し体調を整えておく (45分)	身体のケアを怠らない (45分)
3	体力測定	健康に留意し体調を整えておく (45分)	身体のケアを怠らない (45分)
4	ボールゲーム/ネット型 (卓球、バドミントン、バレーボール、ミニバレー) 基礎動作と審判法、ゲーム運営	種目の特性について理解しておく (45分)	次回の授業の為にルールを理解しておく (45分)
5	ボールゲーム/ネット型 (卓球、バドミントン、バレーボール、ミニバレー) ゲーム	ゲーム運営について確認しておく (45分)	ゲーム運営について理解しておく (45分)
6	ボールゲーム/ネット型 (卓球、バドミントン、バレーボール、ミニバレー) ゲーム	ゲーム運営について確認しておく (45分)	ゲーム運営について理解しておく (45分)
7	ボールゲーム/ネット型 (卓球、バドミントン、バレーボール、ミニバレー) ゲーム	ゲーム運営について確認しておく (45分)	ゲーム運営について理解しておく (45分)
8	ボールゲーム/ネット型 (卓球、バドミントン、バレーボール、ミニバレー) ゲーム	ゲーム運営について確認しておく (45分)	ゲーム運営について理解しておく (45分)
9	ボールゲーム/ネット型 (卓球、バドミントン、バレーボール、ミニバレー) ゲーム	ゲーム運営について確認しておく (45分)	ゲーム運営について理解しておく (45分)
10	ボールゲーム/ゴール型 (バスケットボール、フットサル、アルティメット) 基礎動作と審判法、ゲーム運営	種目の特性について理解しておく (45分)	次回の授業の為にルールを理解しておく (45分)
11	ボールゲーム/ゴール型 (バスケットボール、フットサル、アルティメット) ゲーム	ゲーム運営について確認しておく (45分)	ゲーム運営について理解しておく (45分)
12	ボールゲーム/ゴール型 (バスケットボール、フットサル、アルティメット) ゲーム	ゲーム運営について確認しておく (45分)	ゲーム運営について理解しておく (45分)
13	ボールゲーム/ゴール型 (バスケットボール、フットサル、アルティメット) ゲーム	ゲーム運営について確認しておく (45分)	ゲーム運営について理解しておく (45分)
14	ボールゲーム/ゴール型 (バスケットボール、フットサル、アルティメット) ゲーム	ゲーム運営について確認しておく (45分)	ゲーム運営について理解しておく (45分)
15	ボールゲーム/ゴール型 (バスケットボール、フットサル、アルティメット) ゲーム	ゲーム運営について確認しておく (45分)	ゲーム運営について理解しておく (45分)
16	まとめ	種目の特性やルールについて理解しておく (45分)	生涯スポーツとしての基礎を理解する (45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習 (所要時間)	事後学習 (所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	社会福祉学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	実技	必修・選択	必修
科目名称	スポ-ツ総合(S-A1) (科目ナンバリング:HSS061039)				
授業担当者(所属・職名)	三嶋 康嗣(経営学科・専任講師)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 三嶋 康嗣)	CAP制	x		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	学校現場における教員経験がある教員がその経験を活かして、生涯スポーツの基礎を指導する。		

概要

履修目標
生涯を健康で有意義に過ごすため、健康と体力を保持増進するとともに、身体活動をおと社会性や協調性を養い、高齢化社会を迎えた現在、将来に向け健康で豊かな生活を営んでいくための生涯スポーツの基礎を学ぶ。

授業の位置づけ
社会福祉学科のDP「1(2)」、「(6)」、「2(1)」に対応する。

到達目標
地域や職域に於けるスポーツ・レクリエーション活動を実践し、競技の特性やルールを学び理解することができる。

授業全体の内容と概要
各種目の基本技術を考慮し基礎的な動作やルールを学び、ゲーム中心に授業を進める。

授業の方法
各種目の特性を考慮し基礎的な動作やルールを理解させ怪我に注意を払いながらゲーム運営ができるように配慮していく。また授業の中で種目ごとに理解されているのか確認の実技試験を実施する。

アクティブラーニングの実施方法												
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>グループワーク</td> <td>フィールドワーク</td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td>ロールプレイ</td> <td>調査学習</td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td>実験・実習・実技</td> <td>双方向授業</td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL	模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業	ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL									
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業									
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)									

履修上の注意事項
1 ジャージ・屋内運動靴を必ず用意する。 2 アクセサリー(時計、指輪、ピアス等)は全て外す。 3 携帯電話の電源は必ず切る。 4 貴重品・多額の現金は持参しない。 5 爪・髪の毛等は清潔にその他注意事項の詳細は授業ガイダンスで支持する。 *健康上の理由で医師から運動を停止されている者は、申し出の上指示を受けること。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
単位認定に必要な最低出席回数は、11回以上。男女差、年齢差によって評価を考慮していく。												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>40%</td> <td>50%</td> <td>10%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	0%	0%	40%	50%	10%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	0%	0%	40%	50%	10%							

ルーブリック																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スポーツに関する関心・意欲・態度・判断</td> <td>自ら進んで行動や役割を果たすことができ、とても意欲的に取り組み、目づ安全に細心の注意を払うことができた。</td> <td>積極的に行動や役割を果たすことができ、意欲的に取り組み、安全に注意を払うことができた。</td> <td>行動の仕方を守り役割をおおむね果たすことができ、普通に取り組み安全に注意を払っていた。</td> <td>行動の仕方を守り役割を果たすことができ、普通に取り組み安全に注意を払っていた。</td> <td>行動の仕方を守らず役割を果たさなく意欲も全くなく安全に注意を配っていなかった。</td> </tr> <tr> <td>各運動技能</td> <td>各種目の運動技能に優れ十分にできた。</td> <td>各種目の運動技能が7割程度できた。</td> <td>各種目の運動技能が5割程度できた。</td> <td>各種目の運動技能が3割程度できた。</td> <td>各種目の運動技能が全くできなくやる気がなかった。</td> </tr> <tr> <td>知識・理解(ルール、審判、運営の仕方)</td> <td>ルールを完全にマスターし審判やゲーム運営のしかたについて状況や場面に応じて理解することができた。</td> <td>ルールをおおむねマスターし審判やゲーム運営のしかたについて応用的に理解することができた。</td> <td>ルールを一定のマスターし審判やゲーム運営のしかたについて理解することができた。</td> <td>ルールを一定のマスターし審判やゲーム運営のしかたについて理解することができた。</td> <td>ルールを全くマスターしておらず審判やゲーム運営のしかたについて理解できていなかった。</td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	スポーツに関する関心・意欲・態度・判断	自ら進んで行動や役割を果たすことができ、とても意欲的に取り組み、目づ安全に細心の注意を払うことができた。	積極的に行動や役割を果たすことができ、意欲的に取り組み、安全に注意を払うことができた。	行動の仕方を守り役割をおおむね果たすことができ、普通に取り組み安全に注意を払っていた。	行動の仕方を守り役割を果たすことができ、普通に取り組み安全に注意を払っていた。	行動の仕方を守らず役割を果たさなく意欲も全くなく安全に注意を配っていなかった。	各運動技能	各種目の運動技能に優れ十分にできた。	各種目の運動技能が7割程度できた。	各種目の運動技能が5割程度できた。	各種目の運動技能が3割程度できた。	各種目の運動技能が全くできなくやる気がなかった。	知識・理解(ルール、審判、運営の仕方)	ルールを完全にマスターし審判やゲーム運営のしかたについて状況や場面に応じて理解することができた。	ルールをおおむねマスターし審判やゲーム運営のしかたについて応用的に理解することができた。	ルールを一定のマスターし審判やゲーム運営のしかたについて理解することができた。	ルールを一定のマスターし審判やゲーム運営のしかたについて理解することができた。	ルールを全くマスターしておらず審判やゲーム運営のしかたについて理解できていなかった。
評価項目		評価基準																											
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																								
スポーツに関する関心・意欲・態度・判断	自ら進んで行動や役割を果たすことができ、とても意欲的に取り組み、目づ安全に細心の注意を払うことができた。	積極的に行動や役割を果たすことができ、意欲的に取り組み、安全に注意を払うことができた。	行動の仕方を守り役割をおおむね果たすことができ、普通に取り組み安全に注意を払っていた。	行動の仕方を守り役割を果たすことができ、普通に取り組み安全に注意を払っていた。	行動の仕方を守らず役割を果たさなく意欲も全くなく安全に注意を配っていなかった。																								
各運動技能	各種目の運動技能に優れ十分にできた。	各種目の運動技能が7割程度できた。	各種目の運動技能が5割程度できた。	各種目の運動技能が3割程度できた。	各種目の運動技能が全くできなくやる気がなかった。																								
知識・理解(ルール、審判、運営の仕方)	ルールを完全にマスターし審判やゲーム運営のしかたについて状況や場面に応じて理解することができた。	ルールをおおむねマスターし審判やゲーム運営のしかたについて応用的に理解することができた。	ルールを一定のマスターし審判やゲーム運営のしかたについて理解することができた。	ルールを一定のマスターし審判やゲーム運営のしかたについて理解することができた。	ルールを全くマスターしておらず審判やゲーム運営のしかたについて理解できていなかった。																								

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td>『アクティブスポーツ総合版』</td> <td>大修館書店編集部</td> <td>大修館書店</td> <td>2019</td> <td>9784469365603</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1	『アクティブスポーツ総合版』	大修館書店編集部	大修館書店	2019	9784469365603		2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1	『アクティブスポーツ総合版』	大修館書店編集部	大修館書店	2019	9784469365603																																					
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	社会福祉学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	実技	必修・選択	必修
科目名称	ｽﾎﾟｰﾂ総合 (S-A1) (科目ナンバリング: HSS061039)				
授業担当者(所属・職名)	三嶋 康嗣(経営学科・専任講師)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 三嶋 康嗣)	CAP制	x		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	学校現場における教員経験がある教員がその経験を活かして、生涯スポーツの基礎を指導する。		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	シラバスの説明 ガイダンス	事前にシラバスを読んで認識しておく(45分)	ガイダンスの内容を理解しておく(45分)
2	体力測定	健康に留意し体調を整えておく(45分)	身体のケアを怠らない(45分)
3	体力測定	健康に留意し体調を整えておく(45分)	身体のケアを怠らない(45分)
4	ボールゲーム/ネット型(卓球, バドミントン, バレーボール, ミニバレー)基礎動作と審判法, ゲーム運営	種目の特性について理解しておく(45分)	次回の授業の為にルールを理解しておく(45分)
5	ボールゲーム/ネット型(卓球, バドミントン, バレーボール, ミニバレー)ゲーム	ゲーム運営について確認しておく(45分)	ゲーム運営について理解しておく(45分)
6	ボールゲーム/ネット型(卓球, バドミントン, バレーボール, ミニバレー)ゲーム	ゲーム運営について確認しておく(45分)	ゲーム運営について理解しておく(45分)
7	ボールゲーム/ネット型(卓球, バドミントン, バレーボール, ミニバレー)ゲーム	ゲーム運営について確認しておく(45分)	ゲーム運営について理解しておく(45分)
8	ボールゲーム/ネット型(卓球, バドミントン, バレーボール, ミニバレー)ゲーム	ゲーム運営について確認しておく(45分)	ゲーム運営について理解しておく(45分)
9	ボールゲーム/ネット型(卓球, バドミントン, バレーボール, ミニバレー)ゲーム	ゲーム運営について確認しておく(45分)	ゲーム運営について理解しておく(45分)
10	ボールゲーム/ゴール型(バスケットボール, フットサル, アルティメット)基礎動作と審判法, ゲーム運営	種目の特性について理解しておく(45分)	次回の授業の為にルールを理解しておく(45分)
11	ボールゲーム/ゴール型(バスケットボール, フットサル, アルティメット)ゲーム	ゲーム運営について確認しておく(45分)	ゲーム運営について理解しておく(45分)
12	ボールゲーム/ゴール型(バスケットボール, フットサル, アルティメット)ゲーム	ゲーム運営について確認しておく(45分)	ゲーム運営について理解しておく(45分)
13	ボールゲーム/ゴール型(バスケットボール, フットサル, アルティメット)ゲーム	ゲーム運営について確認しておく(45分)	ゲーム運営について理解しておく(45分)
14	ボールゲーム/ゴール型(バスケットボール, フットサル, アルティメット)ゲーム	ゲーム運営について確認しておく(45分)	ゲーム運営について理解しておく(45分)
15	ボールゲーム/ゴール型(バスケットボール, フットサル, アルティメット)ゲーム	ゲーム運営について確認しておく(45分)	ゲーム運営について理解しておく(45分)
16	まとめ	種目の特性やルールについて理解しておく(45分)	生涯スポーツとしての基礎を理解する(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	デザイン学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	実技	必修・選択	必修
科目名称	スポ-ツ総合(D-A1) (科目ナンバリング:HSS061039)				
授業担当者(所属・職名)	三嶋 康嗣(経営学科・専任講師)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 三嶋 康嗣)	CAP制	x		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	学校現場における教員経験がある教員がその経験を活かし、高齢化社会を迎えた現在、将来に向け健康で豊かな生活を営んでいくための生涯スポーツの基礎を指導する。		

概要

履修目標
生涯を健康で有意義に過ごすため、健康と体力を保持増進するとともに、身体活動を通して社会性や協調性を養い、高齢化社会を迎えた現在、将来に向け健康で豊かな生活を営んでいくための生涯スポーツの基礎を養い必要な知識を身につける。

授業の位置づけ
デザイン学科のDP「1(1)」、「1(2)」、「2(3)」に対応する。

到達目標
地域や職域におけるスポーツ・レクリエーション活動に実践できるよう、競技の特性やルールを学び理解できる。

授業全体の内容と概要
各種目の基本技術の習得及びルールを学び、ゲーム中心に授業を進める。

授業の方法
種目の特性を考慮し基礎的な動作やルールを理解させ怪我に注意を払いながらゲーム運営ができるように配慮していく。また授業の中で種目ごとに理解されているか確認の実技試験を実施する。

アクティブラーニングの実施方法																					
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td>○</td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業	ディスカッション	○	実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL															
模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業															
ディスカッション	○	実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)															

履修上の注意事項
1 ジャージ・屋内運動靴を必ず用意する。2 アクセサリー(時計、指輪、ピアス等)は全て外す。3 携帯電話の電源は必ず切る。4 貴重品・多額の現金は持参しない。5 爪・髪の毛等は清潔にその他注意事項の詳細は授業ガイダンスで指示する。 健康上の理由で医師から運動を停止されている者は、申し出の上指示を受けること。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
単位認定に必要な最低出席回数は、11回以上。												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>40%</td> <td>50%</td> <td>10%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	0%	0%	40%	50%	10%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	0%	0%	40%	50%	10%							

ルーブリック																													
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> <tr> <td>関心・意欲・態度・判断</td> <td>自ら進んで行動や役割を果たすことができ、とても意欲的に取り組み、かつ安全に細心の注意を払うことができた。</td> <td>積極的に行動や役割を果たすことができ、意欲的に取り組み、安全に注意を払うことができた。</td> <td>行動の仕方を守り役割を果たすことができ、普通に組み安全に注意を払っていた。</td> <td>行動の仕方を守らず役割を果たさそうとしない時があり、意欲もない時があり安全に注意を配っていないかった。</td> <td>行動の仕方を守らず役割を果たさなく意欲も全くなく、安全に注意を配っていないかった。</td> </tr> <tr> <td>各運動技能</td> <td>各種目の運動技能に優れ十分にできていた。</td> <td>各種目の運動技能が7割程度できた。</td> <td>各種目の運動技能が5割程度できた。</td> <td>各種目の運動技能が3割程度できた。</td> <td>各種目の運動技能が全くできなくやる気がなかった。</td> </tr> <tr> <td>知識・理解(ルール、審判、運営の仕方)</td> <td>ルールを完全にマスターし審判やゲーム運営の仕方について状況や場面に応じて理解することができた。</td> <td>ルールをある程度マスターし審判やゲーム運営の仕方について応用的に理解することができた。</td> <td>ルールを最低限マスターし審判やゲーム運営の仕方について理解することができた。</td> <td>ルールほとんどにマスターしてあらず審判やゲーム運営の仕方について部分的な理解に留まっていた。</td> <td>ルールをまったくマスターしてあらず審判やゲーム運営の仕方について理解できていなかった。</td> </tr> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	関心・意欲・態度・判断	自ら進んで行動や役割を果たすことができ、とても意欲的に取り組み、かつ安全に細心の注意を払うことができた。	積極的に行動や役割を果たすことができ、意欲的に取り組み、安全に注意を払うことができた。	行動の仕方を守り役割を果たすことができ、普通に組み安全に注意を払っていた。	行動の仕方を守らず役割を果たさそうとしない時があり、意欲もない時があり安全に注意を配っていないかった。	行動の仕方を守らず役割を果たさなく意欲も全くなく、安全に注意を配っていないかった。	各運動技能	各種目の運動技能に優れ十分にできていた。	各種目の運動技能が7割程度できた。	各種目の運動技能が5割程度できた。	各種目の運動技能が3割程度できた。	各種目の運動技能が全くできなくやる気がなかった。	知識・理解(ルール、審判、運営の仕方)	ルールを完全にマスターし審判やゲーム運営の仕方について状況や場面に応じて理解することができた。	ルールをある程度マスターし審判やゲーム運営の仕方について応用的に理解することができた。	ルールを最低限マスターし審判やゲーム運営の仕方について理解することができた。	ルールほとんどにマスターしてあらず審判やゲーム運営の仕方について部分的な理解に留まっていた。	ルールをまったくマスターしてあらず審判やゲーム運営の仕方について理解できていなかった。
評価項目		評価基準																											
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																								
関心・意欲・態度・判断	自ら進んで行動や役割を果たすことができ、とても意欲的に取り組み、かつ安全に細心の注意を払うことができた。	積極的に行動や役割を果たすことができ、意欲的に取り組み、安全に注意を払うことができた。	行動の仕方を守り役割を果たすことができ、普通に組み安全に注意を払っていた。	行動の仕方を守らず役割を果たさそうとしない時があり、意欲もない時があり安全に注意を配っていないかった。	行動の仕方を守らず役割を果たさなく意欲も全くなく、安全に注意を配っていないかった。																								
各運動技能	各種目の運動技能に優れ十分にできていた。	各種目の運動技能が7割程度できた。	各種目の運動技能が5割程度できた。	各種目の運動技能が3割程度できた。	各種目の運動技能が全くできなくやる気がなかった。																								
知識・理解(ルール、審判、運営の仕方)	ルールを完全にマスターし審判やゲーム運営の仕方について状況や場面に応じて理解することができた。	ルールをある程度マスターし審判やゲーム運営の仕方について応用的に理解することができた。	ルールを最低限マスターし審判やゲーム運営の仕方について理解することができた。	ルールほとんどにマスターしてあらず審判やゲーム運営の仕方について部分的な理解に留まっていた。	ルールをまったくマスターしてあらず審判やゲーム運営の仕方について理解できていなかった。																								

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	デザイン学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	実技	必修・選択	必修
科目名称	ｽﾎﾟｰﾂ総合 (D-A1) (科目ナンバリング: HSS061039)				
授業担当者(所属・職名)	三嶋 康嗣 (経営学科・専任講師)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 三嶋 康嗣)	CAP制	x		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	学校現場における教員経験がある教員がその経験を活かし、高齢化社会を迎えた現在、将来に向け健康で豊かな生活を営んでいくための生涯スポーツの基礎を指導する。		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習 (所要時間)	事後学習 (所要時間)
1	ガイダンス(シラバス説明)。	事前にシラバスを読んで確認しておく(45分)	ガイダンスの内容を理解しておく(45分)
2	体力測定	健康に留意し体調を整えておく(45分)	身体のケアを怠らない(45分)
3	体力測定	健康に留意し体調を整えておく(45分)	身体のケアを怠らない(45分)
4	ボールゲーム/ネット型(卓球・バドミントン・バレーボール・ミニバレー)基礎動作と審判法,ゲーム運営	種目の特性について理解しておく(45分)	次回の授業の為にルールを理解しておく(45分)
5	ボールゲーム/ネット型(卓球・バドミントン・バレーボール・ミニバレー)	ゲーム運営について確認しておく(45分)	ゲーム運営について理解しておく(45分)
6	ボールゲーム/ネット型(卓球・バドミントン・バレーボール・ミニバレー)	ゲーム運営について確認しておく(45分)	ゲーム運営について理解しておく(45分)
7	ボールゲーム/ネット型(卓球・バドミントン・バレーボール・ミニバレー)	ゲーム運営について確認しておく(45分)	ゲーム運営について理解しておく(45分)
8	ボールゲーム/ネット型(卓球・バドミントン・バレーボール・ミニバレー)基礎動作と審判法,ゲーム運営	ゲーム運営について確認しておく(45分)	ゲーム運営について理解しておく(45分)
9	ボールゲーム/ネット型(卓球・バドミントン・バレーボール・ミニバレー)	ゲーム運営について確認しておく(45分)	ゲーム運営について理解しておく(45分)
10	ボールゲーム/ゴール型(バスケットボール・フットサル・アルティメット)基礎動作と審判法,ゲーム運営	種目の特性について理解しておく(45分)	次回の授業の為にルールを理解しておく(45分)
11	ボールゲーム/ゴール型(バスケットボール・フットサル・アルティメット)	ゲーム運営について確認しておく(45分)	ゲーム運営について理解しておく(45分)
12	ボールゲーム/ゴール型(バスケットボール・フットサル・アルティメット)	ゲーム運営について確認しておく(45分)	ゲーム運営について理解しておく(45分)
13	ボールゲーム/ゴール型(バスケットボール・フットサル・アルティメット)	ゲーム運営について確認しておく(45分)	ゲーム運営について理解しておく(45分)
14	ボールゲーム/ゴール型(バスケットボール・フットサル・アルティメット)	ゲーム運営について確認しておく(45分)	ゲーム運営について理解しておく(45分)
15	ボールゲーム/ゴール型(バスケットボール・フットサル・アルティメット)	ゲーム運営について確認しておく(45分)	ゲーム運営について理解しておく(45分)
16	まとめ。	種目の特性やルールについて理解しておく(45分)	生涯スポーツとしての基礎を理解する(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習 (所要時間)	事後学習 (所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	デザイン学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	実技	必修・選択	必修
科目名称	ｽﾎｰﾂ総合 (A-1) (科目ナンバリング: HSS061039)				
授業担当者(所属・職名)	小山 尋明 (建築学科・准教授)	研究室所在	1号館4階		
単位数	1 (単位認定責任者: 小山 尋明)	CAP制	x		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	学校現場における教員経験がある教員がその経験を活かし、高齢化社会を迎えた現在、将来に向け健康で豊かな生活を営んでいくための生涯スポーツの基礎を指導する。		

概要

履修目標
生涯を健康で有意義に過ごすため、健康と体力を保持増進するとともに、身体活動を通して社会性や協調性を養い、高齢化社会を迎えた現在、将来に向け健康で豊かな生活を営んでいくための生涯スポーツの基礎を養い必要な知識を身につける。

授業の位置づけ
デザイン学科のDP「1(1)」、「1(2)」、「2(3)」、「2(5)」に対応する。

到達目標
地域や職域におけるスポーツ・レクリエーション活動に実践できるよう、競技の特性やルールを学び理解できる。

授業全体の内容と概要
各種目の基本技術の習得及びルールを学び、ゲーム中心に授業を進める。

授業の方法
種目の特性を考慮し基礎的な動作やルールを理解させ怪我に注意を払いながらゲーム運営ができるように配慮していく。また授業の中で種目ごとに理解されているか確認の実技試験を実施する。

アクティブラーニングの実施方法						
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク	PBL
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習	反転授業
	ディスカッション	○	実験・実習・実技		双方向授業	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項
1 ジャージ・屋内運動靴を必ず用意する。2 アクセサリー(時計、指輪、ピアス等)は全て外す。3 携帯電話の電源は必ず切る。4 貴重品・多額の現金は持参しない。5 爪・髪の毛等は清潔にその他注意事項の詳細は授業ガイダンスで指示する。健康上の理由で医師から運動を停止されている者は、申し出の上指示を受けること。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な最低出席回数は、10回以上。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	0%	0%	40%	50%	10%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
関心・意欲・態度・判断	自ら進んで行動や役割を果たすことができ、とても意欲的に取り組み、かつ安全に細心の注意を払うことができた。	積極的に行動や役割を果たすことができ、意欲的に取り組み、安全に注意を払うことができた。	行動の仕方を守り役割を果たすことができ、普通に組み安全に注意を払っていた。	行動の仕方を守らず役割を果たさそうとしない時があり、意欲もない時があり安全に注意を配っていないかった。	行動の仕方を守らず役割を果たさなく意欲も全くなく、安全に注意を配っていないかった。
各運動技能	各種目の運動技能に優れ十分にできていた。	各種目の運動技能が7割程度できた。	各種目の運動技能が5割程度できた。	各種目の運動技能が3割程度できた。	各種目の運動技能が全くできなくやる気がなかった。
知識・理解(ルール、審判、運営の仕方)	ルールを完全にマスターし審判やゲーム運営の仕方について状況や場面に応じて理解することができた。	ルールをある程度マスターし審判やゲーム運営の仕方について応用的に理解することができた。	ルールを最低限マスターし審判やゲーム運営の仕方について理解することができた。	ルールほとんどにマスターしてあらず審判やゲーム運営の仕方について部分的な理解に留まっていた。	ルールをまったくマスターしてあらず審判やゲーム運営の仕方について理解できていなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	デザイン学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	実技	必修・選択	必修
科目名称	スポーツ総合(A-1) (科目ナンバリング:HSS061039)				
授業担当者(所属・職名)	小山 尋明(建築学科・准教授)	研究室所在	1号館4階		
単位数	1 (単位認定責任者: 小山 尋明)	CAP制	x		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	学校現場における教員経験がある教員がその経験を活かして、高齢化社会を迎えた現在、将来に向け健康で豊かな生活を営んでいくための生涯スポーツの基礎を指導する。		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	ガイダンス(シラバス説明)	事前にシラバスを読んで確認しておく(45分)	ガイダンスの内容を理解しておく(45分)
2	体力測定	健康に留意し体調を整えておく(45分)	身体のケアを怠らない(45分)
3	体力測定	健康に留意し体調を整えておく(45分)	身体のケアを怠らない(45分)
4	ボールゲーム/ネット型(卓球・バドミントン・バレーボール・ミニバレー)基礎動作と審判法,ゲーム運営	種目の特性について理解しておく(45分)	次回の授業の為にルールを理解しておく(45分)
5	ボールゲーム/ネット型(卓球・バドミントン・バレーボール・ミニバレー)	ゲーム運営について確認しておく(45分)	ゲーム運営について理解しておく(45分)
6	ボールゲーム/ネット型(卓球・バドミントン・バレーボール・ミニバレー)	ゲーム運営について確認しておく(45分)	ゲーム運営について理解しておく(45分)
7	ボールゲーム/ネット型(卓球・バドミントン・バレーボール・ミニバレー)	ゲーム運営について確認しておく(45分)	ゲーム運営について理解しておく(45分)
8	ボールゲーム/ネット型(卓球・バドミントン・バレーボール・ミニバレー)基礎動作と審判法,ゲーム運営	ゲーム運営について確認しておく(45分)	ゲーム運営について理解しておく(45分)
9	ボールゲーム/ネット型(卓球・バドミントン・バレーボール・ミニバレー)	ゲーム運営について確認しておく(45分)	ゲーム運営について理解しておく(45分)
10	ボールゲーム/ゴール型(バスケットボール・フットサル・アルティメット)基礎動作と審判法,ゲーム運営	種目の特性について理解しておく(45分)	次回の授業の為にルールを理解しておく(45分)
11	ボールゲーム/ゴール型(バスケットボール・フットサル・アルティメット)	ゲーム運営について確認しておく(45分)	ゲーム運営について理解しておく(45分)
12	ボールゲーム/ゴール型(バスケットボール・フットサル・アルティメット)	ゲーム運営について確認しておく(45分)	ゲーム運営について理解しておく(45分)
13	ボールゲーム/ゴール型(バスケットボール・フットサル・アルティメット)	ゲーム運営について確認しておく(45分)	ゲーム運営について理解しておく(45分)
14	ボールゲーム/ゴール型(バスケットボール・フットサル・アルティメット)	ゲーム運営について確認しておく(45分)	ゲーム運営について理解しておく(45分)
15	ボールゲーム/ゴール型(バスケットボール・フットサル・アルティメット)	ゲーム運営について確認しておく(45分)	ゲーム運営について理解しておく(45分)
16	まとめ	種目の特性やルールについて理解しておく(45分)	生涯スポーツとしての基礎を理解する(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	社会福祉学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	実技	必修・選択	必修
科目名称	スポーツ総合 (S-B1) (科目ナンバリング: HSS061039)				
授業担当者 (所属・職名)	市原 英 (経営学科・専任講師)	研究室所在	2号館7階		
単位数	1 (単位認定責任者: 市原 英)	CAP制	x		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
生涯を健康で有意義に過ごすため、健康と体力を保持増進するとともに、身体活動をおと社会性や協調性を養い、高齢化社会を迎えた現在、将来に向け健康で豊かな生活を営んでいくための生涯スポーツの基礎を学ぶ。

授業の位置づけ
社会福祉学科のDP「1(2)、(6)」「2(1)」に対応する。

到達目標
地域や職域に於けるスポーツ・レクリエーション活動を実践し、競技の特性やルールを学び理解することができる。

授業全体の内容と概要
各種目の基本技術を考慮し基礎的な動作やルールを学び、ゲーム中心に授業を進める。

授業の方法
各種目の特性を考慮し基礎的な動作やルールを理解させ怪我に注意を払いながらゲーム運営ができるように配慮していく。また授業の中で種目ごとに理解されているのか確認の実技試験を実施する。

アクティブラーニングの実施方法												
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>グループワーク</td> <td>フィールドワーク</td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td>ロールプレイ</td> <td>調査学習</td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td>実験・実習・実技</td> <td>双方向授業</td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL	模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業	ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL									
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業									
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)									

履修上の注意事項
1 ジャージ・屋内運動靴を必ず用意する。 2 アクセサリー(時計、指輪、ピアス等)は全て外す。 3 携帯電話の電源は必ず切る。 4 貴重品・多額の現金は持参しない。 5 爪・髪の毛等は清潔にその他注意事項の詳細は授業ガイダンスで支持する。 *健康上の理由で医師から運動を停止されている者は、申し出の上指示を受けること。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
単位認定に必要な最低出席回数は、11回以上。男女差、年齢差によって評価を考慮していく。												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>40%</td> <td>50%</td> <td>10%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	0%	0%	40%	50%	10%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	0%	0%	40%	50%	10%							

ルーブリック																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スポーツに関する関心・意欲・態度・判断</td> <td>自ら進んで行動や役割を果たすことができ、とても意欲的に取り組み、目づ安全に細心の注意を払うことができた。</td> <td>積極的に行動や役割を果たすことができ、意欲的に取り組み、安全に注意を払うことができた。</td> <td>行動の仕方を守り役割をおおむね果たすことができ、普通に取り組み安全に注意を払うことができた。</td> <td>行動の仕方を守り役割を果たすことができ、普通に取り組み安全に注意を払うことができた。</td> <td>行動の仕方を守らず役割を果たさず意欲もなく安全に注意を払えなかった。</td> </tr> <tr> <td>各運動技能</td> <td>各種目の運動技能に優れ十分にできた。</td> <td>各種目の運動技能が7割程度できた。</td> <td>各種目の運動技能が5割程度できた。</td> <td>各種目の運動技能が3割程度できた。</td> <td>各種目の運動技能が全くできず、意欲もなかった。</td> </tr> <tr> <td>知識・理解(ルール、審判、運営の仕方)</td> <td>ルールを完全にマスターし審判やゲーム運営のしかたについて状況や場面に応じて理解することができた。</td> <td>ルールをおおむねマスターし審判やゲーム運営のしかたについて応用的に理解することができた。</td> <td>ルールを一定のマスターし審判やゲーム運営のしかたについて概ね理解することができた。</td> <td>ルールを一定のマスターし審判やゲーム運営のしかたについて部分的に理解することができた。</td> <td>ルールを全くマスターしてならず審判やゲーム運営のしかたについて理解できてなかった。</td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	スポーツに関する関心・意欲・態度・判断	自ら進んで行動や役割を果たすことができ、とても意欲的に取り組み、目づ安全に細心の注意を払うことができた。	積極的に行動や役割を果たすことができ、意欲的に取り組み、安全に注意を払うことができた。	行動の仕方を守り役割をおおむね果たすことができ、普通に取り組み安全に注意を払うことができた。	行動の仕方を守り役割を果たすことができ、普通に取り組み安全に注意を払うことができた。	行動の仕方を守らず役割を果たさず意欲もなく安全に注意を払えなかった。	各運動技能	各種目の運動技能に優れ十分にできた。	各種目の運動技能が7割程度できた。	各種目の運動技能が5割程度できた。	各種目の運動技能が3割程度できた。	各種目の運動技能が全くできず、意欲もなかった。	知識・理解(ルール、審判、運営の仕方)	ルールを完全にマスターし審判やゲーム運営のしかたについて状況や場面に応じて理解することができた。	ルールをおおむねマスターし審判やゲーム運営のしかたについて応用的に理解することができた。	ルールを一定のマスターし審判やゲーム運営のしかたについて概ね理解することができた。	ルールを一定のマスターし審判やゲーム運営のしかたについて部分的に理解することができた。	ルールを全くマスターしてならず審判やゲーム運営のしかたについて理解できてなかった。
評価項目		評価基準																											
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																								
スポーツに関する関心・意欲・態度・判断	自ら進んで行動や役割を果たすことができ、とても意欲的に取り組み、目づ安全に細心の注意を払うことができた。	積極的に行動や役割を果たすことができ、意欲的に取り組み、安全に注意を払うことができた。	行動の仕方を守り役割をおおむね果たすことができ、普通に取り組み安全に注意を払うことができた。	行動の仕方を守り役割を果たすことができ、普通に取り組み安全に注意を払うことができた。	行動の仕方を守らず役割を果たさず意欲もなく安全に注意を払えなかった。																								
各運動技能	各種目の運動技能に優れ十分にできた。	各種目の運動技能が7割程度できた。	各種目の運動技能が5割程度できた。	各種目の運動技能が3割程度できた。	各種目の運動技能が全くできず、意欲もなかった。																								
知識・理解(ルール、審判、運営の仕方)	ルールを完全にマスターし審判やゲーム運営のしかたについて状況や場面に応じて理解することができた。	ルールをおおむねマスターし審判やゲーム運営のしかたについて応用的に理解することができた。	ルールを一定のマスターし審判やゲーム運営のしかたについて概ね理解することができた。	ルールを一定のマスターし審判やゲーム運営のしかたについて部分的に理解することができた。	ルールを全くマスターしてならず審判やゲーム運営のしかたについて理解できてなかった。																								

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td>『アクティブスポーツ総合版』</td> <td>大修館書店編集部</td> <td>大修館書店</td> <td>2019</td> <td>9784469365603</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1	『アクティブスポーツ総合版』	大修館書店編集部	大修館書店	2019	9784469365603		2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1	『アクティブスポーツ総合版』	大修館書店編集部	大修館書店	2019	9784469365603																																					
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	社会福祉学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	実技	必修・選択	必修
科目名称	ｽﾎﾟｰﾂ総合 (S-B1) (科目ナンバリング: HSS061039)				
授業担当者(所属・職名)	市原 英 (経営学科・専任講師)	研究室所在	2号館7階		
単位数	1 (単位認定責任者: 市原 英)	CAP制	x		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習 (所要時間)	事後学習 (所要時間)
1	シラバスの説明 ガイダンス	事前にシラバスを読んで認識しておく (45分)	ガイダンスの内容を理解しておく (45分)
2	体力測定	健康に留意し体調を整えておく (45分)	身体のケアを怠らない (45分)
3	体力測定	健康に留意し体調を整えておく (45分)	身体のケアを怠らない (45分)
4	ボールゲーム/ネット型 (卓球, バドミントン, バレーボール, ミニバレー) 基礎動作と審判法, ゲーム運営	種目の特性について理解しておく (45分)	次回の授業の為にルールを理解しておく (45分)
5	ボールゲーム/ネット型 (卓球, バドミントン, バレーボール, ミニバレー) ゲーム	ゲーム運営について確認しておく (45分)	ゲーム運営について理解しておく (45分)
6	ボールゲーム/ネット型 (卓球, バドミントン, バレーボール, ミニバレー) ゲーム	ゲーム運営について確認しておく (45分)	ゲーム運営について理解しておく (45分)
7	ボールゲーム/ネット型 (卓球, バドミントン, バレーボール, ミニバレー) ゲーム	ゲーム運営について確認しておく (45分)	ゲーム運営について理解しておく (45分)
8	ボールゲーム/ネット型 (卓球, バドミントン, バレーボール, ミニバレー) ゲーム	ゲーム運営について確認しておく (45分)	ゲーム運営について理解しておく (45分)
9	ボールゲーム/ネット型 (卓球, バドミントン, バレーボール, ミニバレー) ゲーム	ゲーム運営について確認しておく (45分)	ゲーム運営について理解しておく (45分)
10	ボールゲーム/ゴール型 (バスケットボール, フットサル, アルティメット) 基礎動作と審判法, ゲーム運営	種目の特性について理解しておく (45分)	次回の授業の為にルールを理解しておく (45分)
11	ボールゲーム/ゴール型 (バスケットボール, フットサル, アルティメット) ゲーム	ゲーム運営について確認しておく (45分)	ゲーム運営について理解しておく (45分)
12	ボールゲーム/ゴール型 (バスケットボール, フットサル, アルティメット) ゲーム	ゲーム運営について確認しておく (45分)	ゲーム運営について理解しておく (45分)
13	ボールゲーム/ゴール型 (バスケットボール, フットサル, アルティメット) ゲーム	ゲーム運営について確認しておく (45分)	ゲーム運営について理解しておく (45分)
14	ボールゲーム/ゴール型 (バスケットボール, フットサル, アルティメット) ゲーム	ゲーム運営について確認しておく (45分)	ゲーム運営について理解しておく (45分)
15	ボールゲーム/ゴール型 (バスケットボール, フットサル, アルティメット) ゲーム	ゲーム運営について確認しておく (45分)	ゲーム運営について理解しておく (45分)
16	まとめ	種目の特性やルールについて理解しておく (45分)	生涯スポーツとしての基礎を理解する (45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習 (所要時間)	事後学習 (所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	前期	授業形態	実技	必修・選択	
科目名称	スポーツ総合 (D-B1) (科目ナンバリング: HSS061039)				
授業担当者 (所属・職名)		研究室所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目		左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

概要

履修目標																								
授業の位置づけ																								
到達目標																								
授業全体の内容と概要																								
授業の方法																								
アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他 (授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他 (授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他 (授業の方法参照)																	
履修上の注意事項																								
資格指定科目																								

評価方法・基準

評価前条件					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当		
開講時期	前期	授業形態	実技	必修・選択
科目名称	ｽﾎﾟｰﾂ総合 (D-B1) (科目ナンバリング: HSS061039)			
授業担当者 (所属・職名)		研究室所在		
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習 (所要時間)	事後学習 (所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習 (所要時間)	事後学習 (所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目		対象学科・配当	経営学科・1年		
開講時期	前期		授業形態	実技	必修・選択	必修
科目名称	スポーツ総合(遠隔留学生 (科目ナンバリング:HSS061039))					
授業担当者(所属・職名)	佐藤 和裕(経営学科・准教授)、石井 祐治(経営学科・特任講師)		研究室所在	1号館2階		
単位数	1	(単位認定責任者: 佐藤 和裕)	CAP制	x		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	学校現場における教員経験がある教員がその経験を活かして、高齢化社会を迎えた現在、将来に向け健康で豊かな生活を営んでいくための生涯スポーツの基礎を指導する。			

概要

履修目標
生涯を健康で有意義に過ごすため、健康と体力を保持増進するとともに、身体活動を通して社会性や協調性を養い、高齢化社会を迎えた現在、将来に向け健康で豊かな生活を営んでいくための生涯スポーツの基礎を養い必要な知識を身につける。

授業の位置づけ
経営学科のDP<学修目標>の1.と2.<履修すべき科目と単位>の1.に対応する。

到達目標
地域や職域に於けるスポーツ・レクリエーション活動を実践し、競技の特性やルールを学び理解することができる。

授業全体の内容と概要
各種目の基本技術の習得及びルールを学び、ゲーム中心に授業を進める。

授業の方法
授業形態は実技であり、各種目の特性を考慮し基礎的な動作やルールを理解させ怪我に注意を払いながらゲーム運営ができるように配慮していく。また授業の中で種目ごとに理解されているか確認の実技試験を実施する。

アクティブラーニングの実施方法						
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク	PBL
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習	反転授業
	ディスカッション	○	実験・実習・実技		双方向授業	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項
ジャージ・屋内運動靴を必ず用意する。アクセサリ(時計、指輪、ピアス等)は全て外す。携帯電話の電源は必ず切る。貴重品・多額の現金は持参しない。爪・髪の毛等は清潔にその他注意事項の詳細は授業ガイダンスで指示する。 健康上の理由で医師から運動を停止されている者は、申し出の上指示を受けること。

資格指定科目
教職課程(全教科)必修科目

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な最低出席回数は、11回以上。男女差、年齢差によって評価を考慮していく。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	0%	0%	40%	50%	10%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
関心・意欲・態度・判断	自ら進んで行動や役割を果たすことができ、とても意欲的に取り組み、且つ安全に細心の注意を払うことができる。	積極的に行動や役割を果たすことができ、意欲的に取り組み、安全に注意を払うことができる。	行動の仕方を守り役割を果たすことができ、普通に組み安全に注意を払っている。	行動の仕方を守らず役割を果たさそうとしないときがあり、意欲もないときもあり安全に注意を配っていない。	行動の仕方を守らず役割を果たさなく意欲も全くなく安全に注意を配っていない。
各運動技能	各種目の運動技能に優れ十分にできている。	各種目の運動技能が7割程度できる。	各種目の運動技能が5割程度できる。	各種目の運動技能が3割程度しかできない。	各種目の運動技能が全くできない。
知識・理解(ルール、審判、運営の仕方)	ルールを完全にマスターし審判やゲーム運営の仕方について状況や場面に応じて理解することができる。	ルールをある程度マスターし審判やゲーム運営の仕方について応用的に理解することができる。	ルールを最低限マスターし審判やゲーム運営の仕方について理解することができる。	ルールをほとんどマスターしてあらず審判やゲーム運営の仕方について部分的な理解に留まっている。	ルールを全くマスターしてあらず審判やゲーム運営の仕方について理解できていない。
その他	各学部、学科や男女差、年齢差によって評価を考慮していく。	各学部、学科や男女差、年齢差によって評価を考慮していく。	各学部、学科や男女差、年齢差によって評価を考慮していく。	各学部、学科や男女差、年齢差によって評価を考慮していく。	各学部、学科や男女差、年齢差によって評価を考慮していく。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『アクティブスポーツ総合版』	文部科学省	大修館書店	2019	4469365603	
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	経営学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	実技	必修・選択	必修
科目名称	体育総合(遠隔留学生) (科目ナンバリング:HSS061039)				
授業担当者(所属・職名)	佐藤 和裕(経営学科・准教授)、石井 祐治(経営学科・特任講師)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 佐藤 和裕)	CAP制	x		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	学校現場における教員経験がある教員がその経験を活かして、高齢化社会を迎えた現在、将来に向け健康で豊かな生活を営んでいくための生涯スポーツの基礎を指導する。		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	ガイダンス(シラバスの説明)	事前にシラバスを読んで確認しておく(45分)	ガイダンスの内容を理解しておく(45分)
2	体力測定	健康に留意し体調を整えておく(45分)	身体のケアを怠らない(45分)
3	体力測定	健康に留意し体調を整えておく(45分)	身体のケアを怠らない(45分)
4	ボールゲーム/ネット型(卓球、バドミントン、バレーボール、ミニバレー)基礎動作と審判法、ゲーム運営	種目の特性について理解しておく(45分)	次回の授業の為にルールを理解しておく(45分)
5	ボールゲーム/ネット型(卓球、バドミントン、バレーボール、ミニバレー)ゲーム	ゲーム運営について確認しておく(45分)	ゲーム運営について理解しておく(45分)
6	ボールゲーム/ネット型(卓球、バドミントン、バレーボール、ミニバレー)ゲーム	ゲーム運営について確認しておく(45分)	ゲーム運営について理解しておく(45分)
7	ボールゲーム/ネット型(卓球、バドミントン、バレーボール、ミニバレー)ゲーム	ゲーム運営について確認しておく(45分)	ゲーム運営について理解しておく(45分)
8	ボールゲーム/ネット型(卓球、バドミントン、バレーボール、ミニバレー)ゲーム	ゲーム運営について確認しておく(45分)	ゲーム運営について理解しておく(45分)
9	ボールゲーム/ネット型(卓球、バドミントン、バレーボール、ミニバレー)ゲーム	ゲーム運営について確認しておく(45分)	ゲーム運営について理解しておく(45分)
10	ボールゲーム/ゴール型(バスケットボール、フットサル、アルティメット)基礎動作と審判法、ゲーム運営	種目の特性について理解しておく(45分)	次回の授業の為にルールを理解しておく(45分)
11	ボールゲーム/ゴール型(バスケットボール、フットサル、アルティメット)ゲーム	ゲーム運営について確認しておく(45分)	ゲーム運営について理解しておく(45分)
12	ボールゲーム/ゴール型(バスケットボール、フットサル、アルティメット)ゲーム	ゲーム運営について確認しておく(45分)	ゲーム運営について理解しておく(45分)
13	ボールゲーム/ゴール型(バスケットボール、フットサル、アルティメット)ゲーム	ゲーム運営について確認しておく(45分)	ゲーム運営について理解しておく(45分)
14	ボールゲーム/ゴール型(バスケットボール、フットサル、アルティメット)ゲーム	ゲーム運営について確認しておく(45分)	ゲーム運営について理解しておく(45分)
15	ボールゲーム/ゴール型(バスケットボール、フットサル、アルティメット)ゲーム	ゲーム運営について確認しておく(45分)	ゲーム運営について理解しておく(45分)
16	まとめ	種目の特性やルールについて理解しておく(45分)	生涯スポーツとしての基礎を理解する(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目		対象学科・配当	経営学科・1年		
開講時期	3Q		授業形態	講義	必修・選択	必修
科目名称	健康科学 (M) (科目ナンバリング: HSS061040)					
授業担当者 (所属・職名)	米野 宏 (経営学科・准教授)、中川純二 (経営学科・准教授)、石井祐治 (経営学科・准教授)		研究室所在	1号館3階		
単位数	2	(単位認定責任者: 米野 宏)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	教育機関において、二十数年間にわたり健康・体育・スポーツをテーマに授業を担当した経験を活かし講義する。			

概要

履修目標
生涯教育の一環として、健康やスポーツについての基礎的かつ科学的知識を深めさせるとともに、将来の社会生活における健全な生活実践へ向けての望ましい健康観を確立し、豊かな人間性の育成に役立てる。

授業の位置づけ
経営学科のDP「1(1)」、「1(2)」、「2(1)」に対応する。

到達目標
人間の健康や体力の向上に向けて、科学的な知識を身につける。自らの健康問題やスポーツ活動に一層深い関心を持って、生涯の健康づくりに留意できるようにする。

授業全体の内容と概要
授業の序盤は、健康観の変遷や健康の定義について、および体力の概念について概説する。中盤は、運動と身体、栄養と身体について概説する。終盤は生活習慣病や薬物依存などの現代における健康問題について概説する。

授業の方法
3名の教員がオムニバス形式で行う。各教員ともパワーポイントや板書による講義形式で行うが、進展に応じ、質問やビデオ視聴などで理解を深めさせる。各教員が担当したテーマにおいて小テストも実施する。小テストの実施方法や評価等については各教員から改めて連絡する。

アクティブラーニングの実施方法						
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク	PBL
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習	反転授業
	ディスカッション		実験・実習・実技	○	双方向授業	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項
授業に関係のない私語は慎むとともに、スマホ、携帯電話等の電源は必ず切ること。授業の習熟度を判断するために小テストを提示するので、欠席しないようにすること。

資格指定科目
教職課程(全教科)必修科目

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な出席回数は、11回以上。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	0%	0%	30%	60%	10%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
健康および体力に対する概念の理解	WHOの健康の概念以外にも深い理解があった。さらに人間の健康観において歴史的变化も理解していた。体力の概念についても免疫や筋について深い知識を持っていた。	WHOの健康の概念以外にも深い理解があった。体力についても構成要素以外の知識もあり行動体力、防衛体力について深い理解があった。	WHOの健康の概念以外にも深い理解がさあつた。体力についても構成要素以外の知識があった。	WHOの健康概念や体力の構成要素については理解した。	人間の健康観や体力についての知識や理解力がほとんど欠けていた。
運動及び栄養に関する知識と理解	健康な生活における運動および栄養に関する専門的な知識が得られた。	健康な生活における運動および栄養に関する知識が比較的豊かであり、実践する上での処方も理解できた。	健康な生活における運動および栄養に関する知識が比較的豊かになった。	健康な生活における運動および栄養に関する基本的な知識がえられた。	健康な生活における運動および栄養に関する知識や関心がほとんど得られなかった。
現代の健康問題に対する知識と関心	生活習慣病や薬物、飲酒などの健康問題に対して、専門的な深い知識があり予防に対する関心や意識も強くなった。	生活習慣病や薬物、飲酒などの健康問題に対して、比較的深い知識があり予防に対する関心や意識も強くなった。	生活習慣病や薬物、飲酒などの健康問題に対する基本的な知識があり予防に対する関心や意識もえられた。	生活習慣病や薬物、飲酒などの健康問題に対する基本的な知識は得られた。	生活習慣病や薬物、飲酒などの健康問題に対する知識、意識、関心がほとんど得られなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『大学生のための健康科学』	道都大学体育教員共著	三和書房	1993	4-7833-0613-3	
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	経営学科・1年		
開講時期	3Q	授業形態	講義	必修・選択	必修
科目名称	健康科学(M) (科目ナンバリング: HSS061040)				
授業担当者(所属・職名)	米野 宏(経営学科・准教授)、中川純二(経営学科・准教授)、石井祐治(経営学科・准教授)		研究室所在	1号館3階	
単位数	2	(単位認定責任者: 米野 宏)	CAP制		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容を教育機関において、二十数年間にわたり健康・体育・スポーツをテーマに授業を担当した経験を活かし講義する。			

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	ガイダンス、健康の概念 シラバスの説明	事前にシラバスを読んで確認する。(90分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(90分)
2	体力の概念	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(90分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(90分)
3	運動と健康(運動と身体変化)	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(90分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(90分)
4	運動と健康(運動の効果)	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(90分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(90分)
5	運動と健康(運動処方)、小テスト	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(90分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(90分)
6	栄養と生活(栄養素)	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(90分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(90分)
7	栄養と生活(食生活)	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(90分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(90分)
8	運動と身体(トレーニングの原理・原則)	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(90分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(90分)
9	運動と身体(運動とエネルギー)	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(90分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(90分)
10	運動と身体(スポーツと怪我)、小テスト	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(90分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(90分)
11	救急処置(救急処置の原則)	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(90分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(90分)
12	救急処置(救急蘇生)	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(90分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(90分)
13	健康問題(生活習慣病)	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(90分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(90分)
14	健康問題(薬物、喫煙)	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(90分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(90分)
15	健康問題(アルコール)、小テスト	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(90分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(90分)
16	まとめ	ノートに記載された内容を再度復習し、理解する。(90分)	解説の内容を確認する。(90分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	社会福祉学科・1年		
開講時期	4Q	授業形態	講義	必修・選択	必修
科目名称	健康科学 (S) (科目ナンバリング: HSS061040)				
授業担当者 (所属・職名)	尾西 則昭 (社会福祉学科・特任教授)	研究室所在	1号館2階		
単位数	2 (単位認定責任者: 尾西 則昭)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	本学および専門学校において、健康科学の授業を担当した経験を活かして指導する。		

概要

履修目標

生涯学習の一環として、健康やスポーツについての基礎的かつ科学的知識を深めさせるとともに、将来の社会生活における健全な生活実践へ向けての望ましい健康観を確立し、豊かな人間性の育成に役立て指導する。

授業の位置づけ

社会福祉学科のDP「1(2)」、「2(1)」に対応する。

到達目標

人間の健康や体力の向上に向けて、科学的な知識を身につける。自らの健康問題やスポーツ活動に一層深い関心を持って、生涯の健康づくりに留意できる。

授業全体の内容と概要

授業の序盤は、健康観の変遷や健康の定義について、および体力の概念について概説する。中盤は、運動と身体、栄養と身体、について概説する。終盤は生活習慣病や薬物依存などの現代における健康問題について概説する。

授業の方法

授業は板書及び配布資料で実施し、資料にて説明した後、グループワークにてグループ発表(全2回)レポートにはコメントにてフィードバックする。フィードバックとして回収後、回答を解説を行う。

アクティブラーニングの実施方法

	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

得意・不得意等あると思いますが、積極的に取り組むことを期待します。20分以上の遅刻は欠席とみなします。遅刻3回で1回の欠席とみなします。授業に臨む際に求められる態度・姿勢・授業に集中して聞く。他の履修者の迷惑になるので授業中の私語は慎んでください。目に余るときには退室を命じる場合があります。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な最低出席回数11回以上					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	0%	0%	40%	50%	10%

ルーブリック

評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
健康および体力に対する概念の理解	WHOの健康の概念以外にも深い理解がされている。さらに人間の健康観において歴史の変遷も理解している。体力の概念についても免疫や筋について深い知識をすべて理解できた。	WHOの健康の概念以外にも深い理解がされている。体力についても構成要素以外に衛生力について深い理解ができた。	WHOの健康の概念以外にも深い理解がされている。体力についても構成要素以外に理解ができた。	WHOの健康の概念や体力構成要素については理解できた。	人間の健康観や体力についての知識や理解力がほとんどできなかった。
運動及び栄養に関する知識と理解	健康な生活における運動および栄養に関する専門的な知識が理解できた。	健康な生活における運動および栄養に関する知識が比較的豊かであり、実践する上での処方も理解してきた。	健康な生活における運動および栄養に関する知識が比較的解理解できた。	健康な生活における運動および栄養に関する基本的な知識が理解できた。	健康な生活における運動および栄養に関する知識や関心がほとんどできなかった。
現代の健康問題に対する知識と関心	生活習慣病や薬物、飲酒などの健康問題に対して、専門的な深い知識があり予防に対する関心や意識に対する理解ができた。	生活習慣病や薬物、飲酒などの健康問題に対して、比較的深い知識があり予防に対する関心や意識も理解できた。	生活習慣病や薬物、飲酒などの健康問題に対する基本的な知識があり予防に対する関心や意識も理解できた。	生活習慣病や薬物、飲酒などの健康問題に対する基本的な知識が理解できた。	生活習慣病や薬物、飲酒などの健康問題に対する知識、意識、関心がほとんどできなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『使用しない』					
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等

No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『大学生のための健康科学』	道都大学体育教員共著	三和書房	1993年	4-7833-0613-3	
2	『資料配布』					
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	社会福祉学科・1年		
開講時期	4Q	授業形態	講義	必修・選択	必修
科目名称	健康科学(S) (科目ナンバリング:HSS061040)				
授業担当者(所属・職名)	尾西 則昭(社会福祉学科・特任教授)	研究室所在	1号館2階		
単位数	2 (単位認定責任者: 尾西 則昭)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容 <small>本学および専門学校において、健康科学の授業を担当した経験を活かして指導する。</small>			

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	ガイダンス 「シラバスの説明」 健康の概念	事前にシラバスを読んで確認する。(90分)	ノート記載された内容を復習し、理解する。(90分)
2	体力の概念	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(90分)	ノート記載された内容を復習し、理解する。(90分)
3	運動と健康(運動と身体変化)	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(90分)	ノート記載された内容を復習し、理解する。(90分)
4	運動と健康(運動の効果)	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(90分)	ノート記載された内容を復習し、理解する。(90分)
5	運動と健康(運動処方)、	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(90分)	ノート記載された内容を復習し、理解する。(90分)
6	栄養と生活(栄養素) 小テスト	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(90分)	ノート記載された内容を復習し、理解する。(90分)
7	栄養と生活(食生活)	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(90分)	ノート記載された内容を復習し、理解する。(90分)
8	運動と身体(トレーニングの原理・原則)	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(90分)	ノート記載された内容を復習し、理解する。(90分)
9	運動と身体(運動とエネルギー)	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(90分)	ノート記載された内容を復習し、理解する。(90分)
10	運動と身体(スポーツと怪我)、小テスト	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(90分)	ノート記載された内容を復習し、理解する。(90分)
11	救急処置救急処置の原則	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(90分)	ノート記載された内容を復習し、理解する。(90分)
12	救急処置(救急蘇生)	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(90分)	ノート記載された内容を復習し、理解する。(90分)
13	健康問題(生活習慣病)	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(90分)	ノート記載された内容を復習し、理解する。(90分)
14	健康問題(薬物・喫煙)	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(90分)	ノート記載された内容を復習し、理解する。(90分)
15	健康問題(アルコール)	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(90分)	ノート記載された内容を復習し、理解する。(90分)
16	小テスト、まとめ	ノートに記載された内容を再度復習し、理解する。(90分)	解説の内容を確認する。(90分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	デザイン学科・1年		
開講時期	4Q	授業形態	講義	必修・選択	必修
科目名称	健康科学(D) (科目ナンバリング:HSS061040)				
授業担当者(所属・職名)	小山 尋明(建築学科・准教授)、佐藤和裕(経営学科・准教授)、三嶋 康	研究室所在	1号館4階		
単位数	2 (単位認定責任者: 小山 尋明)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	学校現場における教員経験がある教員がその経験を活かして、スポーツや健康についての基礎的な科学的知識を深め、将来の社会生活における健全な生活実践へ向けて、望ましい健康観を指導する。		

概要

履修目標
生涯教育の一環として、スポーツや健康についての基礎的な科学的知識を深めさせるとともに、将来の社会生活における健全な生活実践へ向けて、望ましい健康観を確立し、豊かな人間性を育成する。

授業の位置づけ
デザイン学科のDP「1(1)」、「2(1)」に対応する。

到達目標
人間の健康や体力の向上に向けて、科学的な知識を身につける。自らの健康問題やスポーツ活動に一層深い関心を持って、生涯の健康作りに留意できる。

授業全体の内容と概要
授業の進展に応じ、ビデオを利用しながら理解を確実なものにする。また、救急蘇生法の時間には、正しい救急蘇生についての知識を身につけることが、人を救うことに繋がることを念頭に置き、実際に体育館において3時間の普通救命講習会を実施する。

授業の方法
授業では、プリントを活用しながら様々な事例を踏まえ紹介し、スポーツ障害対処法(心肺蘇生法・状況別の心肺蘇生法・患者の運搬法など)のビデオなどを利用し講義形式で行う。また、小テストを時間内に数回行いフィードバックとして回収後、回答の解説を行う。救急救命士数名による普通救命講習会も実施する。

アクティブラーニングの実施方法						
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク	PBL
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習	反転授業
	ディスカッション	○	実験・実習・実技	○	双方向授業	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項
授業に関係ない私語は慎むとともに、携帯電話等の電源は必ず切ること。出席は重視しますので、特に、授業の習熟度を判断するために小テストを提示するので、欠席しないようにすること。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な最低出席回数は、11回以上。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	0%	0%	30%	60%	10%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
健康及び体力に対する概念の理解	WHOの健康の概念以外にも深い理解がなされていた。さらに人間の健康観において歴史の変遷も理解していた。体力の概念についても免疫や菌について深い知識を持っていた。	WHOの健康の概念以外にも深い理解がなされていた。体力についても構成要素以外の知識もあり行動体力、防衛体力についても深い理解があった。	WHOの健康の概念以外にも深い理解がなされていた。体力についても構成要素以外の知識があった。	WHOの健康の概念や体力の構成要素については理解していた。	人間の健康観や体力についての知識や理解力がほとんど欠けていた。
運動及び栄養に関する知識と理解	健康な生活における運動及び栄養に関する専門的な知識が備わっていた。	健康な生活における運動及び栄養に関する知識が比較的豊かであり、実践する上での処方も理解していた。	健康な生活における運動及び栄養に関する知識が比較的豊かであった。	健康な生活における運動及び栄養に関する基本的な知識があった。	健康な生活における運動及び栄養に関する知識や関心がほとんど欠けていた。
現代の健康問題に対する知識と関心	生活習慣病や薬物、飲酒などの健康問題に対して、専門的に深い知識があり予防に対する関心や意識も強かった。	生活習慣病や薬物、飲酒などの健康問題に対して、比較的深い知識があり予防に対する関心や意識も強かった。	生活習慣病や薬物、飲酒などの健康問題に対する基本的な知識があり予防に対する関心や意識もあった。	生活習慣病や薬物、飲酒などの健康問題に対する基本的な知識はあった。	生活習慣病や薬物、飲酒などの健康問題に対する知識は、意識、関心がほとんど欠けていた。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	デザイン学科・1年		
開講時期	4Q	授業形態	講義	必修・選択	必修
科目名称	健康科学(D) (科目ナンバリング: HSS061040)				
授業担当者(所属・職名)	小山 尋明(建築学科・准教授)、佐藤和裕(経営学科・准教授)、三嶋 康	研究室所在	1号館4階		
単位数	2 (単位認定責任者: 小山 尋明)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	学校現場における教員経験がある教員がその経験を活かして、スポーツや健康についての基礎的な科学的知識を深め、将来の社会生活における健全な生活実践へ向けて、望ましい健康観を指導する。		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	ガイダンス(シラバス説明)。	事前にシラバスを読んで確認しておく(90分)	ガイダンスの内容を理解しておく(90分)
2	健康 (健康の定義・健康の把握。)	自分のある一日の活動状況を考えておく(90分)	専門用語の意味を理解しておくこと(90分)
3	体力 (体力の定義・体力と健康の関係。)	自分のある一日の活動状況を考えておく(90分)	専門用語の意味を理解しておくこと(90分)
4	発育・発達 (発育・発達の意味 運動能力の発達。)	身体の発育・発達のプロセスを考えておく(90分)	専門用語の意味を理解しておくこと(90分)
5	栄養と生活 (人間と栄養。)	栄養素の種類と人体の構成成分を調べておく(90分)	専門用語の意味を理解しておくこと(90分)
6	栄養と生活 (食生活・エネルギー代謝。)	自分のある一日の食物摂取の内容を記しておく(90分)	専門用語の意味を理解しておくこと(90分)
7	栄養と生活 (生活習慣病。)	生活習慣病の原因となる食習慣について調べておく(90分)	専門用語の意味を理解しておくこと(90分)
8	運動と身体 (ウォーキング・ランニング・ジョギング。身体の構造。)	運動がどうして健康に繋がるか考えておく(90分)	専門用語の意味を理解しておくこと(90分)
9	運動と身体 (運動のエネルギー。運動と酸素。)	呼吸・循環系トレーニングの生理学的効果を考えておく(90分)	専門用語の意味を理解しておくこと(90分)
10	運動と身体 (生活環境の変化と身体活動。運動の効果)	生活環境を中心に環境と健康との関係を調べておく(90分)	専門用語の意味を理解しておくこと(90分)
11	運動と身体 (スポーツ外傷とスポーツ障害。)	運動によって慢性的に起こる怪我を考えておく(90分)	専門用語の意味を理解しておくこと(90分)
12	救急処置 (救急処置の原則。)	応急処置が直ちに必要な例と注意点を調べておく(90分)	専門用語の意味を理解しておくこと(90分)
13	救急処置 (R I C E処置。)	R I C E処置で対応できる怪我を調べておく(90分)	専門用語の意味を理解しておくこと(90分)
14	救急処置 (救急蘇生法。)	自動体外式除細動器の使用方を調べておく(90分)	専門用語の意味を理解しておくこと(90分)
15	救急処置 (救急蘇生法・応急手当。)	急病・急な症状及び怪我・事故などの応急手当を調べておく(90分)	専門用語の意味を理解しておくこと(90分)
16	まとめ。	ノート・プリントで講義内容を確認し、理解を深めておくこと(90分)	専門用語の意味を理解しておくこと(90分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	建築学科・1年		
開講時期	4Q	授業形態	講義	必修・選択	必修
科目名称	健康科学(A) (科目ナンバリング:HSS061040)				
授業担当者(所属・職名)	小山 尋明(建築学科・准教授)、佐藤和裕(経営学科・准教授)、三嶋 康	研究室所在	1号館4階		
単位数	2 (単位認定責任者: 小山 尋明)	CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	学校現場における教員経験がある教員がその経験を活かして、スポーツや健康についての基礎的な科学的知識を深め、将来の社会生活における健全な生活実践へ向けて、望ましい健康観を指導する。		

概要

履修目標	生涯教育の一環として、スポーツや健康についての基礎的な科学的知識を深めさせるとともに、将来の社会生活における健全な生活実践へ向けて、望ましい健康観を確立し、豊かな人間性を育成する。
------	--

授業の位置づけ	建築学科のDP「1(1)」、「2(1)」、「1(2)」、「2(1)」に対応する。
---------	--

到達目標	人間の健康や体力の向上に向けて、科学的な知識を身につける。自らの健康問題やスポーツ活動に一層深い関心を持って、生涯の健康作りに留意できる。
------	---

授業全体の内容と概要	授業の進展に応じ、ビデオを利用しながら理解を確実なものにする。また、救急蘇生の時間には、正しい救急蘇生についての知識を身につけることが、人を救うことに繋がることを念頭に置き、実際に体育館において3時間の普通救命講習会を実施する。
------------	--

授業の方法	授業では、プリントを活用しながら様々な事例を踏まえ紹介し、スポーツ障害対処法(心肺蘇生法・状況別の心肺蘇生法・患者の運搬法など)のビデオなどを利用し講義形式で行う。また、小テストを時間内に数回行いフィードバックとして回収後、回答の解説を行う。救急救命士数名による普通救命講習会も実施する。
-------	--

アクティブラーニングの実施方法						
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク	PBL
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習	反転授業
	ディスカッション	○	実験・実習・実技	○	双方向授業	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項	授業に関係ない私語は慎むとともに、携帯電話等の電源は必ず切ること。出席は重視しますので、特に、授業の習熟度を判断するために小テストを提示するので、欠席しないようにすること。
----------	--

資格指定科目	
--------	--

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な最低出席回数は、11回以上。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	0%	0%	30%	60%	10%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
健康及び体力に対する概念の理解	WHOの健康の概念以外にも深い理解がなされていた。さらに人間の健康観において歴史の変遷も理解していた。体力の概念についても免疫や菌について深い知識を持っていた。	WHOの健康の概念以外にも深い理解がなされていた。体力についても構成要素以外の知識もあり行動体力、防衛体力についても深い理解があった。	WHOの健康の概念以外にも深い理解がなされていた。体力についても構成要素以外の知識があった。	WHOの健康の概念や体力の構成要素については理解していた。	人間の健康観や体力についての知識や理解力がほとんど欠けていた。
運動及び栄養に関する知識と理解	健康な生活における運動及び栄養に関する専門的な知識が備わっていた。	健康な生活における運動及び栄養に関する知識が比較的豊かであり、実践する上での処方も理解していた。	健康な生活における運動及び栄養に関する知識が比較的豊かであった。	健康な生活における運動及び栄養に関する基本的な知識があった。	健康な生活における運動及び栄養に関する知識や関心がほとんど欠けていた。
現代の健康問題に対する知識と関心	生活習慣病や薬物、飲酒などの健康問題に対して、専門的に深い知識があり予防に対する関心や意識も強かった。	生活習慣病や薬物、飲酒などの健康問題に対して、比較的深い知識があり予防に対する関心や意識も強かった。	生活習慣病や薬物、飲酒などの健康問題に対する基本的な知識があり予防に対する関心や意識もあった。	生活習慣病や薬物、飲酒などの健康問題に対する基本的な知識はあった。	生活習慣病や薬物、飲酒などの健康問題に対する知識は、意識、関心がほとんど欠けていた。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	建築学科・1年		
開講時期	4Q	授業形態	講義	必修・選択	必修
科目名称	健康科学(A) (科目ナンバリング:HSS061040)				
授業担当者(所属・職名)	小山 尋明(建築学科・准教授)、佐藤和裕(経営学科・准教授)、三嶋 康	研究室所在	1号館4階		
単位数	2 (単位認定責任者: 小山 尋明)	CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	学校現場における教員経験がある教員がその経験を活かして、スポーツや健康についての基礎的な科学的知識を深め、将来の社会生活における健全な生活実践へ向けて、望ましい健康観を指導する。		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	ガイダンス(シラバス説明。)	事前にシラバスを読んで確認しておく(90分)	ガイダンスの内容を理解しておく(90分)
2	健康(健康の定義・健康の把握。)	自分のある一日の活動状況を考えておく(90分)	専門用語の意味を理解しておくこと(90分)
3	体力(体力の定義・体力と健康の関係。)	自分のある一日の活動状況を考えておく(90分)	専門用語の意味を理解しておくこと(90分)
4	発育・発達(発育・発達の意味 運動能力の発達。)	身体の発育・発達のプロセスを考えておく(90分)	専門用語の意味を理解しておくこと(90分)
5	栄養と生活(人間と栄養。)	栄養素の種類と人体の構成成分を調べておく(90分)	専門用語の意味を理解しておくこと(90分)
6	栄養と生活(食生活・エネルギー代謝。)	自分のある一日の食物摂取の内容を記しておく(90分)	専門用語の意味を理解しておくこと(90分)
7	栄養と生活(生活習慣病。)	生活習慣病の原因となる食習慣について調べておく(90分)	専門用語の意味を理解しておくこと(90分)
8	運動と身体(ウォーミングアップ・クーリングダウン。身体の構造。)	運動がどうして健康に繋がるか考えておく(90分)	専門用語の意味を理解しておくこと(90分)
9	運動と身体(運動のエネルギー。運動と酸素。)	呼吸・循環器系トレーニングの生理学的効果を考えておく(90分)	専門用語の意味を理解しておくこと(90分)
10	運動と身体(生活環境の変化と身体活動。運動の効果)	生活環境を中心に環境と健康との関係を調べておく(90分)	専門用語の意味を理解しておくこと(90分)
11	運動と身体(スポーツ外傷とスポーツ障害。)	運動によって慢性的に起こる怪我を考えておく(90分)	専門用語の意味を理解しておくこと(90分)
12	救急処置(救急処置の原則。)	応急処置が直ちに必要な例と注意点を調べておく(90分)	専門用語の意味を理解しておくこと(90分)
13	救急処置(RICE処置。)	RICE処置で対応できる怪我を調べておく(90分)	専門用語の意味を理解しておくこと(90分)
14	救急処置(救急蘇生法。)	自動体外式除細動器の使用方を調べておく(90分)	専門用語の意味を理解しておくこと(90分)
15	救急処置(救急蘇生法・応急手当。)	急病・急な症状及び怪我・事故などの応急手当を調べておく(90分)	専門用語の意味を理解しておくこと(90分)
16	まとめ。	ノート・プリントで講義内容を確認し、理解を深めておくこと(90分)	専門用語の意味を理解しておくこと(90分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	4 Q	授業形態	講義	必修・選択	
科目名称	健康科学(遠隔留学) (科目ナンバリング: HSS061040)				
授業担当者(所属・職名)		研究室所在			
単位数	2 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目		左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

概要

履修目標																								
授業の位置づけ																								
到達目標																								
授業全体の内容と概要																								
授業の方法																								
アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>P B L</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		P B L		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		P B L																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	
履修上の注意事項																								
資格指定科目																								

評価方法・基準

評価前提条件					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	4 Q	授業形態	講義 必修・選択
科目名称	健康科学(遠隔留学) (科目ナンバリング:HSS061040)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	2 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	4 Q	授業形態	講義	必修・選択	
科目名称	健康科学 (D-B) (科目ナンバリング: HSS061040)				
授業担当者 (所属・職名)			研究室所在		
単位数	2 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標																								
授業の位置づけ																								
到達目標																								
授業全体の内容と概要																								
授業の方法																								
アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>P B L</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他 (授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		P B L		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他 (授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		P B L																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他 (授業の方法参照)																	
履修上の注意事項																								
資格指定科目																								

評価方法・基準

評価前提条件					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	4 Q	授業形態	講義 必修・選択
科目名称	健康科学 (D-B) (科目ナンバリング: HSS061040)		
授業担当者 (所属・職名)		研究室所在	
単位数	2 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習 (所要時間)	事後学習 (所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習 (所要時間)	事後学習 (所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS071043)				
授業担当者(所属・職名)	河田 一郎(経営学科・准教授)	研究室所在	2号館8階		
単位数	1 (単位認定責任者: 河田 一郎)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	大学入試センターの問題作成委員としての経験を活かしてドイツ語教育にかかわる指導を行う。		

概要

履修目標
建築・絵画・音楽などウィーン文化を考察し、ウィーンでの研修(希望者のみ)の準備を行う。また、このゼミナールでは就職活動時に必要になるスキルの修得を早い段階から始める。キャンパス・ライブを謳歌しつつ、自由な発想の展開、自己実現などをテーマに学びを広げる。

授業の位置づけ
経営学科のDP「1(2)」、「1(4)」、「1(5)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(2)」、「1(3)」、「1(6)」、「1(7)」、「2(1)」、「2(4)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(1)」、「1(2)」、「1(3)」、「2(1)」、「2(5)」に対応する。 建築学科のDP「1(1)」、「2(1)」、「2(5)」に対応する。

到達目標
ドイツ語圏への旅行、留学の際に困らない程度の日常会話を身につける。

授業全体の内容と概要
ウィーンといえば、クラシック音楽である。毎回、クラシック音楽をBGMに、ゆったりとしたペースで授業を行う。ウィーンの世界文化・見どころについてプリントを配布し、説明を行う。各自のテーマが決まった時点で、少しずつテーマについて調べ、ゼミ終了時にレポートを提出してもらう。

授業の方法
授業では板書をしながら、ドイツ語の文法・文化を紹介する。ドイツのDVD等も見て講義形式で行う。また、適宜確認テストを実施し、フィードバックとして解説を丁寧に行う。

アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td>○</td> <td>ロールプレイ</td> <td>○</td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td>○</td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	○	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業	○	ロールプレイ	○	調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技	○	双方向授業		その他(授業の方法参照)
○	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業	○	ロールプレイ	○	調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技	○	双方向授業		その他(授業の方法参照)																	

履修上の注意事項
ウィーンを含めたヨーロッパの絵画、建築、音楽等に興味のある学生であればだれでも受講可能。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
単位認定に必要な出席回数は、13回以上。												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>20%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>80%</td> <td>0%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	20%	0%	0%	80%	0%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	20%	0%	0%	80%	0%							

ルーブリック																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ドイツ語等の知識・技能</td> <td>学修した知識・技能を確実に修得し、求められるレベルを大きく超えた。</td> <td>学修した知識・技能を確実に修得した。</td> <td>学修した知識・技能をほぼ修得した。</td> <td>学修した知識・技能を修得したが、最低限容認できるレベルにとどまった。</td> <td>学修した知識・技能を修得できなかった。</td> </tr> <tr> <td>思考力・判断力・表現力</td> <td>与えられた課題に積極的に取り組み、求められるレベルを大きく超えた。</td> <td>与えられた課題に取り組み求められるレベルを達成した。</td> <td>与えられた課題に取り組み求められるレベルをほぼ達成した。</td> <td>与えられた課題に取り組みしたが、最低限容認できるレベルにとどまった。</td> <td>与えられた課題に真面目に取り組まなかった。</td> </tr> <tr> <td>主体性・多様性・協働性</td> <td>与えられた課題には積極的に取り組んだ。理解力やプレゼンテーション能力は求められるレベルを大きく超えた。</td> <td>与えられた課題に取り組んだ。理解力やプレゼンテーション能力は求められるレベルを達成した。</td> <td>与えられた課題に取り組み求められるレベルをほぼ達成した。</td> <td>与えられた課題に取り組んだが、最低限容認できるレベルにとどまった。</td> <td>与えられた課題に真面目に取り組まなかった。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	ドイツ語等の知識・技能	学修した知識・技能を確実に修得し、求められるレベルを大きく超えた。	学修した知識・技能を確実に修得した。	学修した知識・技能をほぼ修得した。	学修した知識・技能を修得したが、最低限容認できるレベルにとどまった。	学修した知識・技能を修得できなかった。	思考力・判断力・表現力	与えられた課題に積極的に取り組み、求められるレベルを大きく超えた。	与えられた課題に取り組み求められるレベルを達成した。	与えられた課題に取り組み求められるレベルをほぼ達成した。	与えられた課題に取り組みしたが、最低限容認できるレベルにとどまった。	与えられた課題に真面目に取り組まなかった。	主体性・多様性・協働性	与えられた課題には積極的に取り組んだ。理解力やプレゼンテーション能力は求められるレベルを大きく超えた。	与えられた課題に取り組んだ。理解力やプレゼンテーション能力は求められるレベルを達成した。	与えられた課題に取り組み求められるレベルをほぼ達成した。	与えられた課題に取り組んだが、最低限容認できるレベルにとどまった。	与えられた課題に真面目に取り組まなかった。												
評価項目		評価基準																																							
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
ドイツ語等の知識・技能	学修した知識・技能を確実に修得し、求められるレベルを大きく超えた。	学修した知識・技能を確実に修得した。	学修した知識・技能をほぼ修得した。	学修した知識・技能を修得したが、最低限容認できるレベルにとどまった。	学修した知識・技能を修得できなかった。																																				
思考力・判断力・表現力	与えられた課題に積極的に取り組み、求められるレベルを大きく超えた。	与えられた課題に取り組み求められるレベルを達成した。	与えられた課題に取り組み求められるレベルをほぼ達成した。	与えられた課題に取り組みしたが、最低限容認できるレベルにとどまった。	与えられた課題に真面目に取り組まなかった。																																				
主体性・多様性・協働性	与えられた課題には積極的に取り組んだ。理解力やプレゼンテーション能力は求められるレベルを大きく超えた。	与えられた課題に取り組んだ。理解力やプレゼンテーション能力は求められるレベルを達成した。	与えられた課題に取り組み求められるレベルをほぼ達成した。	与えられた課題に取り組んだが、最低限容認できるレベルにとどまった。	与えられた課題に真面目に取り組まなかった。																																				

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナル A (科目ナンバリング: BAS071043)				
授業担当者(所属・職名)	河田 一郎(経営学科・准教授)		研究室所在	2号館8階	
単位数	1 (単位認定責任者: 河田 一郎)		CAP制		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容 大学入試センターの問題作成委員としての経験を活かしてドイツ語教育にかかわる指導を行う。			

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	[ガイダンス] 授業の進め方・シラバスの説明。	シラバスの内容確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
2	[ウィーン文化・生活について]	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
3	[シェーンブルン宮殿について]	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
4	[美術史美術館について]	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
5	[ベルヴェデーレ宮殿について]	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
6	[シュテファン教会について]	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
7	[ウィーン大学について]	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
8	[楽友協会について]	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
9	[ウィーンの音楽について]	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
10	[モーツァルトについて]	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
11	[ベートーヴェンについて]	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
12	[シューベルトについて]	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
13	[ウィーンの建築について]	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
14	[セセッションについて]	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
15	[ユーгентシュティールについて]	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
16	[フンデルトバッサーについて]	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎セミナー A (科目ナンバリング: BAS071043)				
授業担当者(所属・職名)	戸佐 晃一(経営学科・准教授)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 戸佐 晃一)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
本授業では、体力・形態測定を実施することで自己の体力を把握し足りない体力の強化に向けて、様々なトレーニング方法の基本的な理論と実践方法について学習する。また、生涯にわたって運動習慣を継続することで高齢になっても健康で長寿であることを目的とする。

授業の位置づけ
経営学科のDP「1(1)」、「1(2)」、「2(1)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(2)」、「1(3)」、「1(4)」、「1(5)」、「1(6)」、「1(7)」、「2(4)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(2)」、「1(3)」、「2(5)」に対応する。 建築学科のDP「1(2)」、「1(3)」、「2(5)」に対応する。

到達目標
各自、無理のない体力目標を設定し、様々なトレーニング方法の基本を理解し実践できることを目標とする。 生涯を通じて定期的に運動する習慣を養う。

授業全体の内容と概要
体力測定、形態測定により自分の体の状態を知る。 様々な種類のトレーニングに関する基本理論を学び、正しいトレーニングの方法を学習する。

授業の方法
体育館、ウエイトトレーニング場を中心に授業を行う。授業の中で基本的なトレーニングをグループワークで実践することで、互いが課題の発見や指摘をし合い、ディスカッションを通して正しい技術を習得できるように進めていく。レポートなどの解説のフィードバックを実施する。

アクティブラーニングの実施方法						
	プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク	PBL
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習	反転授業
○	ディスカッション	○	実験・実習・実技		双方向授業	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項
競技経験があり体力があること。遅刻は2回につき1回欠席とする。運動着、飲料水、上靴、タオルの用意。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な最低出席回数は、13回以上					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	30%	30%	0%	40%	0%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
トレーニングの理解	トレーニングの原理、原則を良く理解している	トレーニングの原理、原則をほぼ理解している	トレーニングの原理、原則をある程度理解している	トレーニングの原理、原則を理解している	トレーニングの原理、原則を理解していない
トレーニングの種類	トレーニングの種類を良く理解している	トレーニングの種類をほぼ理解している	トレーニングの種類をある程度理解している	トレーニングの種類を理解している	トレーニングの種類を理解していない
基本トレーニングの実践	基本トレーニングの実践が良くできている	基本トレーニングの実践がほぼできている	基本トレーニングの実践がある程度できている	基本トレーニングの実践ができている	基本トレーニングの実践ができない

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS071043)				
授業担当者(所属・職名)	戸佐 晃一(経営学科・准教授)		研究室所在	1号館2階	
単位数	1 (単位認定責任者: 戸佐 晃一)		CAP制		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	ガイダンス シラバスの説明	事前にシラバスを読んで確認しておく(45分)	ガイダンス内容を理解しておく(45分)
2	トレーニングの理解	トレーニングの原理・原則を確認しておく(45分)	トレーニングの原理・原則を理解しておく(45分)
3	トレーニングの理解	トレーニングの原理・原則を確認しておく(45分)	トレーニングの原理・原則を理解しておく(45分)
4	トレーニングの理解	トレーニングの原理・原則を確認しておく(45分)	トレーニングの原理・原則を理解しておく(45分)
5	トレーニングの理解	トレーニングの原理・原則を確認しておく(45分)	トレーニングの原理・原則を理解しておく(45分)
6	トレーニングの理解	トレーニングの原理・原則を確認しておく(45分)	トレーニングの原理・原則を理解しておく(45分)
7	体力測定	体力測定種目の確認をしておく(45分)	体力測定の結果を理解しておく(45分)
8	形態測定	形態測定種目の確認をしておく(45分)	(45分)(45)
9	トレーニングの種類	トレーニングの種類を確認しておく(45分)	トレーニングの種類を理解しておく(45分)
10	トレーニングの種類	トレーニングの種類を確認しておく(45分)	トレーニングの種類を理解しておく(45分)
11	トレーニングの種類	トレーニングの種類を確認しておく(45分)	トレーニングの種類を理解しておく(45分)
12	基本トレーニングの実践	実践するトレーニングを確認しておく(45分)	トレーニングの実践を理解しておく(45分)
13	基本トレーニングの実践	実践するトレーニングを確認しておく(45分)	トレーニングの実践を理解しておく(45分)
14	基本トレーニングの実践	実践するトレーニングを確認しておく(45分)	トレーニングの実践を理解しておく(45分)
15	まとめ	基本的なトレーニングを確認しておく(45分)	学習内容を復習し理解しておく(45分)
16	フィードバック	授業内容を振り返り確認しておく(45分)	学習内容を復習し理解しておく(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS071043)				
授業担当者(所属・職名)	米野 宏(経営学科・准教授)	研究室所在	1号館3階		
単位数	1 (単位認定責任者: 米野 宏)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	教育機関における体育・健康・スポーツ関係の授業経験を活かし、学生の教養の基礎を指導する。		

概要

履修目標	大学での勉強を進めるにあたり、必要となる文章読解力のほか、コミュニケーション能力、ディスカッション能力、プレゼンテーション能力の向上をはかる。
------	---

授業の位置づけ	経営学科の「1(4)」、(5)」、「2(3)」に対応する。 社会福祉学科の「1(2)」、(3)」、「4)」、「(5)」、「(6)」、「(7)」、「2(4)」に対応する。 デザイン学科の「1(2)」、「(3)」、「2(5)」に対応する。 建築学科の「1(2)」、「(3)」、「2(5)」に対応する。
---------	---

到達目標	自分でテーマを設定し、文章にまとめることができる。 グループ内でのコミュニケーションを図ることができ、リーダーシップを発揮できる。 テーマに基づきプレゼンテーションをすることができる。
------	--

授業全体の内容と概要	授業の前半は、小論文・レポートを作成し発表する。また、発表に対して討議したり、ディスカッションを行う。 後半は、特定のテーマでプレゼンテーションを行い、質疑応答やディスカッションも行う。 入前で話すための準備をし、解り易く、興味深い内容を考える。
------------	---

授業の方法	小論文、レポートの書き方については、板書または資料にて説明する。提出されたレポートについては、添削及び内容の評価とともにフィードバックする。 グループディスカッションやプレゼンテーションの題材として、新聞やインターネットによるニュース等を提供しながら実施する。プレゼンテーションの方法については、授業のなかで学びとともに説明する。
-------	--

アクティブラーニングの実施方法							
<input type="checkbox"/>	プレゼンテーション	<input type="checkbox"/>	グループワーク	<input type="checkbox"/>	フィールドワーク	<input type="checkbox"/>	PBL
<input type="checkbox"/>	模擬授業	<input type="checkbox"/>	ロールプレイ	<input type="checkbox"/>	調査学習	<input type="checkbox"/>	反転授業
<input type="checkbox"/>	ディスカッション	<input type="checkbox"/>	実験・実習・実技	<input type="checkbox"/>	双方向授業	<input type="checkbox"/>	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項	20分以上の遅刻は、欠席扱いとする。 対話する機会が多いので、積極的な発言や能動的な授業態度で臨むこと。
----------	---

資格指定科目	
--------	--

評価方法・基準

評価前提条件	単位認定に必要な最低出席回数は、13回以上。					
評価方法	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
	0%	10%	10%	0%	70%	10%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
コミュニケーション能力	仲間とのコミュニケーションを図る方法がとて巧みにおこなえた。	仲間とコミュニケーションを図ることが比較的巧みであった。	仲間とコミュニケーションを図ることが普通にできた。	仲間とコミュニケーションを図ることが上手ではないが努力した。	仲間とコミュニケーションを図ることがとても苦手であった。
ディスカッション能力	討議の中で、対話を巧みにでき、リーダーシップも取られた。	討議の中で、対話を巧みにでき、リーダーシップも取れなかった。	討議の中で、対話を巧みにできたが、リーダーシップをとるまではいかなかった。	討議の中で、対話をするのが普通にできた。	討議の中で、対話することが苦手で、ほとんど受け身であった。
プレゼンテーション能力	パワーポイント等を巧みに使い、解り易く、興味深い内容でプレゼンテーションを行った。	パワーポイント等を使い、比較的解り易く、興味深い内容でプレゼンテーションを行った。	パワーポイント等を使い、解り易くプレゼンテーションを行った。	パワーポイント等を使い、プレゼンテーションを行ったが、多少伝わらなかつた。	プレゼンテーションの準備がほとんどできていなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナル A (科目ナンバリング: BAS071043)				
授業担当者(所属・職名)	米野 宏(経営学科・准教授)		研究室所在	1号館3階	
単位数	1 (単位認定責任者: 米野 宏)		CAP制		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容 教育機関における体育・健康・スポーツ関係の授業経験を活かし、学生の教養の基礎を指導する。			

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	ガイダンス(シラバスの説明)	事前にシラバスを読んで確認する。(45分)	注意事項を確認する。(45分)
2	レポートの作成(スポーツと私)	シラバスを読んで確認と準備をする。(45分)	ノートに記載された内容を復習する。(45分)
3	発表と意見交換 1	シラバスを読んで確認と準備をする。(45分)	ノートに記載された内容を復習する。(45分)
4	発表と意見交換 2	シラバスを読んで確認と準備をする。(45分)	ノートに記載された内容を復習する。(45分)
5	発表と意見交換 3	シラバスを読んで確認と準備をする。(45分)	ノートに記載された内容を復習する。(45分)
6	ニューススポーツを考える(屋外競技)	シラバスを読んで確認と準備をする。(45分)	ノートに記載された内容を復習する。(45分)
7	ニューススポーツを考える(屋内競技)	シラバスを読んで確認と準備をする。(45分)	ノートに記載された内容を復習する。(45分)
8	プレゼンテーションの準備 1(グループに分かれて)	シラバスを読んで確認と準備をする。(45分)	ノートに記載された内容を復習する。(45分)
9	プレゼンテーションの準備 2(グループに分かれて)	シラバスを読んで確認と準備をする。(45分)	ノートに記載された内容を復習する。(45分)
10	プレゼンテーション(屋外競技) 1	シラバスを読んで確認と準備をする。(45分)	ノートに記載された内容を復習する。(45分)
11	プレゼンテーション(屋外競技) 2	シラバスを読んで確認と準備をする。(45分)	ノートに記載された内容を復習する。(45分)
12	プレゼンテーション(屋外競技) 3	シラバスを読んで確認と準備をする。(45分)	ノートに記載された内容を復習する。(45分)
13	プレゼンテーション(屋内競技) 1	シラバスを読んで確認と準備をする。(45分)	ノートに記載された内容を復習する。(45分)
14	プレゼンテーション(屋内競技) 2	シラバスを読んで確認と準備をする。(45分)	ノートに記載された内容を復習する。(45分)
15	プレゼンテーション(屋内競技) 3	シラバスを読んで確認と準備をする。(45分)	ノートに記載された内容を復習する。(45分)
16	ふりかえり	ノートに記載された内容を再度確認する。(45分)	評価等の内容を確認を確認する。(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS071043)				
授業担当者(所属・職名)	佐藤 和裕 (経営学科・准教授)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 佐藤 和裕)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり 左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	学校現場における教員経験がある教員がその経験を活かして、将来に向け健康で豊かな生活を営んでいくための基礎を指導する。			

概要

履修目標
 競技スポーツ及び、健康のための基礎的トレーニングを学び、個人に必要なトレーニングを自ら実践出来るようにする。また、学生と教員双方の人間関係を構築しコミュニケーション能力を高め、併せて快適な学生生活及び基本的な生活習慣を身につける。

授業の位置づけ
 経営学科のDP「1(1)」、「2(1)」、「3」に対応する。
 社会福祉学科のDP「1(2)」、「4」に対応する。
 デザイン学科のDP「1(1)」、「2(5)」に対応する。
 建築学科のDP「1(1)」、「2(3)」に対応する。

到達目標
 競技及び個人の特性を理解し、自らの競技スポーツや健康に一層深い関心を持って、安全にトレーニングすることができる。

授業全体の内容と概要
 競技スポーツ又は、健康のために必要な基礎的トレーニングを実践し、自らの競技力向上と健康の保持増進のために必要なトレーニングを見つけ出し実践する。

授業の方法
 授業は配布資料で実施し、トレーニングなどのDVDも活用しながら講義形式で行う。授業によってはグループワークで思考・考察・発表を行い学習していく。レポートにはコメントにてフィードバックする。さらに、実技に関しては基礎的なトレーニングの特性を理解し学習したことを実際に怪我に注意を払いながら実施していく。

アクティブラーニングの実施方法

プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL
模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業
ディスカッション	○	実験・実習・実技	○	双方向授業		その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項
 ラグビー部に所属の学生を対象とする。基本的にジャージや屋内運動靴を必ず用意する。注意事項の詳細はガイダンスで指示する。健康上の理由で医師から運動を停止されている者は、申し出の上指示を受けること。

資格指定科目

1	
2	
3	
4	
5	

評価方法・基準

評価前提条件
 単位認定に必要な最低出席回数は、13回以上。

評価方法

定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	30%	0%	0%	50%	20%

ルーブリック

評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
関心・意欲・態度	自ら進んで行動や役割を果たすことができ、とても意欲的に取り組み、且つ安全に細心の注意を払うことができた。	積極的に行動や役割を果たすことができ、意欲的に取り組み、安全に注意を払うことができた。	行動の仕方を守り役割を果たすことができ、普通に取り組み安全に注意を払うことができた。	行動の仕方を守らず役割を果たしていないときがあったが、安全に注意を払うことができた。	行動の仕方を守らず役割を果たさなく意欲もまったくなく、安全に注意を払うことができなかった。
知識・理解	トレーニングの基礎的知識を持ち、それぞれの領域が持つ見方について説明することができ、実践的に活用できた。	トレーニングの基礎的知識を持ち、多様な領域からの見解を深く理解できていて適切に活用できた。	トレーニングの基礎的知識の見解を一定程度理解できていて、活用できた。	トレーニングの基礎的知識の見解をあまり深く理解できていないが、活用できた。	トレーニングの基礎的知識の見解をまったく理解できていなく、その獲得・修得に取り組むことができなかった。
計画・実行	達成目標を設定し、創造的思考を持って趣味的計画を立て、その計画に沿って実行できた。	達成目標を設定した計画を立てることができ、計画に沿って7割程度できた。	達成目標を設定し、計画を立てて5割程度できた。	達成目標が曖昧ではあったが、計画を立てて3割程度できた。	計画を立てることができなく、達成目標もなく、まったくできなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書

No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等

No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎セミナー A (科目ナンバリング: BAS071043)				
授業担当者(所属・職名)	佐藤 和裕 (経営学科・准教授)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 佐藤 和裕)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	学校現場における教員経験がある教員がその経験を活かして、将来に向け健康で豊かな生活を営んでいくための基礎を指導する。		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	ガイダンス(シラバスの説明)	事前にシラバスを読んで確認しておく(45分)	ガイダンスの内容を理解しておく(45分)
2	基礎トレーニングの理解と習得	基礎トレーニングについて確認しておく(45分)	基礎トレーニングを理解しておく(45分)
3	基礎トレーニングの理解と習得	基礎トレーニングについて確認しておく(45分)	基礎トレーニングを理解しておく(45分)
4	基礎トレーニングの理解と習得	基礎トレーニングについて確認しておく(45分)	基礎トレーニングを理解しておく(45分)
5	基礎トレーニングの理解と習得	基礎トレーニングについて確認しておく(45分)	基礎トレーニングを理解しておく(45分)
6	基礎トレーニングの理解と習得	基礎トレーニングについて確認しておく(45分)	基礎トレーニングを理解しておく(45分)
7	基礎トレーニングの理解と習得	基礎トレーニングについて確認しておく(45分)	基礎トレーニングを理解しておく(45分)
8	基礎トレーニングの理解と習得	基礎トレーニングについて確認しておく(45分)	基礎トレーニングを理解しておく(45分)
9	基礎トレーニングの実践	健康に留意し体調を整えておく(45分)	身体のケアを怠らない(45分)
10	基礎トレーニングの実践	健康に留意し体調を整えておく(45分)	身体のケアを怠らない(45分)
11	基礎トレーニングの実践	健康に留意し体調を整えておく(45分)	身体のケアを怠らない(45分)
12	基礎トレーニングの実践	健康に留意し体調を整えておく(45分)	身体のケアを怠らない(45分)
13	基礎トレーニングの実践	健康に留意し体調を整えておく(45分)	身体のケアを怠らない(45分)
14	基礎トレーニングの実践	健康に留意し体調を整えておく(45分)	身体のケアを怠らない(45分)
15	基礎トレーニングの実践	健康に留意し体調を整えておく(45分)	身体のケアを怠らない(45分)
16	まとめ	生涯スポーツとしての特性を理解しておく(45分)	生涯スポーツとしての基礎を理解する(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS071043)				
授業担当者(所属・職名)	伴 秀実(経営学科・特任教授)	研究室所在	1号館3階		
単位数	1 (単位認定責任者: 伴 秀実)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	企業における様々な経験を活かして、学生が身に着けるべき内容を解説する。		

概要

履修目標	「経営学」を本格的に勉強したい学生を対象に、理論と実践を融合させ、経営学のエッセンシャルを身に付ける。																								
授業の位置づけ	経営学科のDP「1(1)」、「1(2)」、「2(1)」に対応する。																								
到達目標	基礎的な経営学のフレームワーク理論と実践を理解する。																								
授業全体の内容と概要	経営学のフレームワーク理論と実践を理解してもらう。																								
授業の方法	各回の授業の中で、テーマに沿った議論を行い、きちんとした理論の展開を口頭でも文章でもできるように訓練することを旨とする。ディスカッションで得た内容を忘れないようにデータベース化し、フィードバックに関しては個々に行ったり全体に対して行うなど毎回趣向を凝らす。																								
アクティブラーニングの実施方法	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td>○</td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ	○	調査学習		反転授業	○	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																		
	模擬授業		ロールプレイ	○	調査学習		反転授業																		
○	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																		
履修上の注意事項	参考文献として「日経ビジネス」を利用する。																								
資格指定科目																									

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な最低出席回数は、13回以上。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	50%	50%	0%	0%	0%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
知識・技能	知識・技能を得るために十分積極的に活動した。	知識・技能を得るための活動は、やや積極性を欠くものの十分な姿勢を見せた。	知識・技能を得るための通常の活動は、ある程度こなすことができた。	知識・技能を得るための最低限の活動を行った。	知識・技能を得るための最低限の活動が見られなかった。
思考力・判断力・表現力	積極的に授業に取り組み、経営学部生として実社会で対応し得る様々なスキルを学び、経営学部において学んだ内容を以って社会に貢献するための努力をしていた。	各回の授業に真摯に取り組み、経営学部生として十分な実践力の獲得に向けた理解が深まりつつあった。	各回の授業に取り組み、考え方や問題解決に対する努力が見られた。	授業にまじめに取り組み、経営学部生としての日常活動を実社会につなげるための努力は認められるがなかなか定着していなかった。	授業への取り組みが不十分で、本学経営学部生としての知識の獲得に対する前向きな姿勢が見られなかった。
主体性	自分のみならず周囲の学生も巻き込みながら授業に取り組み、余った時間をさらなる研究・理解に振り分け本学経営学部生としての自覚が出来上がっていた。	授業中の質問が多く、与えられた問題解決への相談も常であり経営学部生としての活動を実社会で生かすことに關して前向きで、努力が窺えた。	積極性は乏しいものの、不明点を質問するなど前向きな姿勢が窺えた。	何とか授業はこなすものの、不明点を質問したりすることはなく、日々の活動も受動的であった。	自分から進んで経営学部生としての内容を身につけようとする姿勢が見られなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『日経ビジネス』		日経BP			
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS071043)				
授業担当者(所属・職名)	伴 秀実(経営学科・特任教授)		研究室所在	1号館3階	
単位数	1 (単位認定責任者: 伴 秀実)		CAP制		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	企業における様々な経験を活かして、学生が身に着けるべき内容を解説する。		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	オリエンテーション シラバスの解説	授業への参加の心構えを考える。(45分)	授業振り返りを行い弱点を改善するため知らないチームを調べ理解する。(45分)
2	経営学のフレームワーク(基本)	指定された内容の準備完了を確認する。(45分)	授業の振り返りを行う。(45分)
3	経営学のフレームワーク(リーダーシップ)	指定された内容の準備完了を確認する。(45分)	授業の振り返りを行う。(45分)
4	経営学のフレームワーク(リーダーシップ)	指定された内容の準備完了を確認する。(45分)	授業の振り返りを行う。(45分)
5	経営学のフレームワーク(マネージメント)	指定された内容の準備完了を確認する。(45分)	授業の振り返りを行う。(45分)
6	経営学のフレームワーク(マネージメント)	指定された内容の準備完了を確認する。(45分)	授業の振り返りを行う。(45分)
7	経営学のフレームワーク(マネージメント)	指定された内容の準備完了を確認する。(45分)	授業の振り返りを行う。(45分)
8	経営学のフレームワーク(レポート課題)	指定された内容の準備完了を確認する。(45分)	授業の振り返りを行う。(45分)
9	経営学のフレームワーク(競争戦略)	指定された内容の準備完了を確認する。(45分)	授業の振り返りを行う。(45分)
10	経営学のフレームワーク(競争戦略)	指定された内容の準備完了を確認する。(45分)	授業の振り返りを行う。(45分)
11	経営学のフレームワーク(マーケティング)	指定された内容の準備完了を確認する。(45分)	授業の振り返りを行う。(45分)
12	経営学のフレームワーク(マーケティング)	指定された内容の準備完了を確認する。(45分)	授業の振り返りを行う。(45分)
13	経営学のフレームワーク(レポート課題)	指定された内容の準備完了を確認する。(45分)	授業の振り返りを行う。(45分)
14	課題プレゼン	指定された内容の準備完了を確認する。(45分)	授業の振り返りを行う。(45分)
15	課題プレゼン	指定された内容の準備完了を確認する。(45分)	授業の振り返りを行う。(45分)
16	前期ゼミ活動総括	指定された内容の準備完了を確認する。(45分)	前期全体の振り返りを行う。(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS071043)				
授業担当者(所属・職名)	中川 純二(経営学科・准教授)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 中川 純二)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり 左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	学校現場における教員経験がある教員がその経験を活かして、将来に向け健康で豊かな生活を営んでいくための基礎を指導する。			

概要

履修目標

余暇時間の増大や高齢化が進む中で、自分自身の人生をより豊かで充実したものにするために、スポーツは非常に重要な役割を果たすと考えられる。本授業では、トレーニングの理論と実践を通じ、生涯にわたって定期的に体を動かす習慣を養うことを目的とする。

授業の位置づけ

経営学科のDP「1(1)」、「1(3)」、「2(2)」に対応する。
 社会福祉学科のDP「1(2)」、「1(4)」、「2(4)」に対応する。
 デザイン学科のDP「1(1)」、「2(3)」に対応する。
 建築学科のDP「1(1)」、「2(3)」に対応する。

到達目標

栄養、運動、休養に関する基礎的知識を身につける。
 自らの体力、自様に応じたトレーニングプログラムを組み立てる。
 生涯を通じて定期的に運動する習慣を養う。

授業全体の内容と概要

体力測定、形態測定により自分の体の状態を知る。
 正しいトレーニング理論を学び、体を動かす重要性、楽しさを学ぶ。

授業の方法

授業はトレーニングの実践が中心となるが、トレーニング方法についてグループで研究を行い、各自に適しているトレーニング方法を継続的に実践できるよう実施していく。

アクティブラーニングの実施方法

プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL
模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業
ディスカッション	○	実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

柔道部に所属の学生を対象とする。体育館・ウエイトトレーニング場を中心に授業を行うので、ジャージ・屋内用トレーニングシューズを用意すること。
 怪我や健康上の理由がある者は、事前に申し出ること。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件

単位認定に必要な最低出席回数は、11回以上

評価方法

定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	10%	0%	0%	60%	30%

ルーブリック

評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
関心・意欲・態度	自ら進んで行動や役割を果たすことができ、何事にも意欲的に取り組み、かつ安全に細心の注意を払うことができた。	積極的に行動や役割を果たすことができ、意欲的に取り組み、安全に注意を払うことができた。	行動の仕方を守り、役割を果たすことができ、指示通り取り組み安全に注意を払っていた。	行動の仕方を守らず役割を果たさそうしない時があり、意欲もなく安全に注意を払っていないかった。	行動の仕方を守らず役割を果たせず、意欲もまったくなく、安全に配慮ができなかった。
知識・理解	トレーニングの基礎知識を十分持ち、それぞれの領域においても十分理解し、実践的に活用できた。	トレーニングの基礎知識を持ち、各領域においても深く理解し、適切に活用できた。	トレーニングの基礎知識がある程度理解し、活用することができた。	トレーニングの基礎知識が少なく、活用することができなかった。	トレーニングの基礎知識が全くなく、取り組みが全くなかった。
計画・実行	達成目標を設定することができ、達成目標以上のトレーニングを実施することができた。	達成目標を設定し、達成目標が達成できるよう努力することができた。	達成目標を設定し、5割程度達成することができた。	達成目標の設定が明確でなく、3割程度しか達成することができなかった。	達成目標を設定出来ず、ほとんどトレーニングを行っていないかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書

No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等

No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS071043)				
授業担当者(所属・職名)	中川 純二(経営学科・准教授)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 中川 純二)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	学校現場における教員経験がある教員がその経験を活かして、将来に向け健康で豊かな生活を営んでいくための基礎を指導する。		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	オリエンテーション(シラバスの説明)	事前にシラバスを読んで確認しておく(45分)	ガイダンスの内容を理解しておく(45分)
2	施設及び用具の使用・形態測定	用具の使用方法を確認しておく(45分)	今日の内容を理解する(45分)
3	体力測定	体力測定の方法を確認しておく(45分)	体力測定の方法を理解しておく(45分)
4	体力測定	体力測定の方法を確認しておく(45分)	体力測定の方法を理解しておく(45分)
5	トレーニングの基本原則	トレーニングの基本原則を確認しておく(45分)	トレーニングの基本原則を理解しておく(45分)
6	最大挙上重量測定1	最大挙上重量測定の方法を確認しておく(45分)	最大挙上重量測定の方法を確認しておく(45分)
7	最大挙上重量測定2	最大挙上重量測定の方法を確認しておく(45分)	最大挙上重量測定の方法を理解しておく(45分)
8	トレーニングプログラムの組み方及び各自の能力に合わせたトレーニング1	トレーニングプログラムの組み方を確認しておく(45分)	トレーニングプログラムの組み方を理解しておく(45分)
9	トレーニングプログラムの組み方及び各自の能力に合わせたトレーニング2	トレーニングプログラムの組み方を確認しておく(45分)	トレーニングプログラムの組み方を理解しておく(45分)
10	トレーニングプログラムの組み方及び各自の能力に合わせたトレーニング3	トレーニングプログラムの組み方を確認しておく(45分)	トレーニングプログラムの組み方を理解しておく(45分)
11	トレーニングプログラムの組み方及び各自の能力に合わせたトレーニング4	各自の能力に合わせたプログラムを研究すること(45分)	各自の能力に合わせたプログラムを実践できるよう考えること(45分)
12	トレーニングプログラムの組み方及び各自の能力に合わせたトレーニング5	各自の能力に合わせたプログラムを研究すること(45分)	各自の能力に合わせたプログラムを実践できるよう考えること(45分)
13	バランスボール・自重・徒手抵抗(パートナー)などを用いたトレーニング1	バランスボール・自重・徒手抵抗の方法を確認しておく(45分)	バランスボール・自重・徒手抵抗の方法を理解しておく(45分)
14	バランスボール・自重・徒手抵抗(パートナー)などを用いたトレーニング2	バランスボール・自重・徒手抵抗の方法を確認しておく(45分)	バランスボール・自重・徒手抵抗の方法を理解しておく(45分)
15	最大挙上重量測定3	最大挙上重量測定の方法を確認しておく(45分)	最大挙上重量測定の方法を理解しておく(45分)
16	まとめ	生涯トレーニングの特性を理解しておく(45分)	生涯トレーニングの特性を理解する(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS071043)				
授業担当者(所属・職名)	三嶋 康嗣(経営学科・専任講師)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 三嶋 康嗣)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	学校現場における教員経験のある教員がその経験を活かして、目的に応じた運動の特性、楽しさを学ぶ。		

概要

履修目標	現代社会における健康の位置づけを考え、運動が生産にわたりそれへどう寄与するかを学ぶ。からだの構造の基礎的知識を身につけることによって、合理的にパフォーマンスの向上をはかる。												
授業の位置づけ	経営学科のDP「1(1)、(2)」、「2(1)、(3)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(2)、(4)」、「2(4)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(1)」、「2(5)」に対応する。 建築学科のDP「1(1)」、「2(3)」に対応する。												
到達目標	骨・筋を中心にからだの構造に関する基礎知識を身につけることができる。 トレーニングの目的を理解することができる。												
授業全体の内容と概要	目的に応じた運動の特性、楽しさを学ぶ。												
授業の方法	骨・筋を中心にからだの構造に関する基礎知識を身につけ、トレーニングルームにてトレーニングを実践しながらその目的を理解していく。トレーニングの経過を観察記録し、各自記録結果をパワーポイント等にまとめ、グループワーク等で思考・考察、意見交換、討論、発表等一連の活動を行い学習する。												
アクティブラーニングの実施方法	<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>グループワーク</td> <td>フィールドワーク</td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td>ロールプレイ</td> <td>調査学習</td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td>実験・実習・実技</td> <td>双方向授業</td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL	模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業	ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL										
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業										
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)										
履修上の注意事項	研究室、体育館、トレーニング場で授業を行う。 からだを動かすのに適した服装とする。(ジャージ等)												
資格指定科目													

評価方法・基準

評価前提条件	単位認定に必要な最低出席回数, 13回以上。					
評価方法	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
	0%	30%	0%	0%	0%	70%

ルーブリック	評価基準				
評価項目	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
関心・意欲・態度	自ら進んで行動や役割を果すことができ、とても意欲的に取り組み、目づ安全に細心の注意を払うことができた。	積極的に行動や役割を果すことができ、意欲的に取り組み、安全に注意を払うことができた。	行動の仕方を守り役割を果すことができ、普通に取り組み安全に注意を払っていた。	行動の仕方を守らず役割を果そうとしないときがあり、意欲もなく安全に注意を払っていないかった。	行動の仕方を守らず役割を果さなく意欲もまったくなく、安全に注意を払っていないかった。
知識・理解	からだの構造を理解し、運動との結びつきに及んでいた。	からだの構造を理解していた。	からだの構造を概ね理解していた。	からだの構造をある程度理解していた。	からだの構造を理解していなかった。
計画・実行	計画を立てることができた。その計画に沿って実行でき、達成目標がほぼ全てクリアされていた。	計画を立てることができた。達成目標は7割程度であった。	計画を立てることができた。達成目標は5割程度であった。	計画を立てることができた。達成目標は3割程度であった。	計画を立てることができない。達成目標が設定されていないため行動がみられなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						
参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS071043)				
授業担当者(所属・職名)	三嶋 康嗣(経営学科・専任講師)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 三嶋 康嗣)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	学校現場における教員経験のある教員がその経験を活かして、目的に応じた運動の特性、楽しさを学ぶ。		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	オリエンテーション(シラバスの説明)	事前にシラバスを読んで確認しておく(45分)	オリエンテーションの内容を理解しておく(45分)
2	からだの構造(総論)	からだの構造について調べておく(45分)	からだの構造について理解しておく(45分)
3	からだの構造(骨・上肢)	からだの構造(骨・上肢)について調べておく(45分)	からだの構造(骨・上肢)について理解しておく(45分)
4	からだの構造(骨・頭部及び体幹)	からだの構造(骨・頭部及び体幹)について調べておく(45分)	からだの構造(骨・頭部及び体幹)について理解しておく(45分)
5	からだの構造(骨・下肢)	からだの構造(骨・下肢)について調べておく(45分)	からだの構造(骨・下肢)について理解しておく(45分)
6	からだの構造(筋・上肢)	からだの構造(筋・上肢)について調べておく(45分)	からだの構造(筋・上肢)について理解しておく(45分)
7	からだの構造(筋・頭部及び体幹)	からだの構造(筋・頭部及び体幹)について調べておく(45分)	からだの構造(筋・頭部及び体幹)について理解しておく(45分)
8	からだの構造(筋・下肢)	からだの構造(筋・下肢)について調べておく(45分)	からだの構造(筋・下肢)について理解しておく(45分)
9	からだの構造(まとめ)	からだの構造(まとめ)について調べておく(45分)	からだの構造(まとめ)について理解しておく(45分)
10	トレーニング実技(ウエイトトレーニング・上肢)	体調を整(45分)えておく	トレーニング後の変化を観察しておく(45分)
11	トレーニング実技(ウエイトトレーニング・頭部及び体幹)	体調を整え(45分)ておく	トレーニング後の変化を観察しておく(45分)
12	トレーニング実技(ウエイトトレーニング・下肢)	体調を整(45分)えておく	トレーニング後の変化を観察しておく(45分)
13	トレーニング実技(ウエイトトレーニング・上肢)	体調を整え(45分)ておく	トレーニング後の変化を観察しておく(45分)
14	トレーニング実技(ウエイトトレーニング・頭部及び体幹)	体調を整え(45分)ておく	トレーニング後の変化を観察しておく(45分)
15	トレーニング実技(ウエイトトレーニング・下肢)	体調を整(45分)えておく	トレーニング後の変化を観察しておく(45分)
16	まとめ	トレーニングの実施内容と効果をまとめておく(45分)	トレーニングの効果を確(45分)認しておく

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS071043)				
授業担当者(所属・職名)	井坂 肇(経営学科・助教)	研究室所在	1号館3階		
単位数	1 (単位認定責任者: 井坂 肇)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標	狙った試合で最高のパフォーマンスを発揮するための方法を理解する。							
授業の位置づけ	経営学科のDP「1(1)と(2)」、「2(1)と(3)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(2)と(4)」、「1(4)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(1)」、「2(5)」に対応する。 建築学科のDP「1(1)」、「2(3)」に対応する。							
到達目標	ピーキングとテーパリングについて理解できる。 課題解決のために他者と討議することができる。 ピーキングを実践することができる。							
授業全体の内容と概要	狙った試合で最高のパフォーマンスを発揮するために、科学的なエビデンスに基づいた情報を理解する。計画を立て実行しパフォーマンスの向上を確認する。							
授業の方法	プリントや資料を配布する。 グループワークやディスカッションを行いながら既存のトレーニング方法について考察し、プレゼンテーションを行い他者と共有する機会を設ける。 実際に体を動かしその成果を見る。							
アクティブラーニングの実施方法	<input type="checkbox"/>	プレゼンテーション	<input type="checkbox"/>	グループワーク	<input type="checkbox"/>	フィールドワーク	<input type="checkbox"/>	PBL
	<input type="checkbox"/>	模擬授業	<input type="checkbox"/>	ロールプレイ	<input type="checkbox"/>	調査学習	<input type="checkbox"/>	反転授業
	<input type="checkbox"/>	ディスカッション	<input type="checkbox"/>	実験・実習・実技	<input type="checkbox"/>	双方向授業	<input type="checkbox"/>	その他(授業の方法参照)
履修上の注意事項	硬式野球部優先							
資格指定科目								

評価方法・基準

評価前提条件	単位認定に必要な最低出席回数は、13回以上					
評価方法	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
	0%	0%	0%	0%	60%	40%

評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
ピーキングとテーパリングの理解	ピーキングとテーパリングの定義を説明できると共にピーキングとテーパリングを構成する様々な要素について調べ、まとめている。また様々なケースにおいて採用されたピーキングの方法について意見を持っている。	ピーキングとテーパリングの定義を説明できると共にピーキングとテーパリングを構成する様々な要素について調べ、まとめている。	ピーキングとテーパリングの定義を説明できると共にピーキングとテーパリングを構成する様々な要素について調べている。	ピーキングとテーパリングの定義を明できる。	ピーキングとテーパリングの定義を説明できない。
他者との討議	他者と討議しながら解決のための具体策を提示的ると共に、意見を集約してまとめることができる。さらには新たな課題を自ら発見し、他者との討議の場を生み出すことができる。	他者と討議しながら解決のための具体策を提示的ると共に、意見を集約してまとめることができる。	他者と討議しながら解決のための具体策を提示できる。	他者と討議できる。	他者と討議できない。
ピーキングの実践	ピーキングを実践し、成果と原因を把握し、改善のための新たな計画を立てている。さらには周りに対してアドバイスができる。	ピーキングを実践し、成果と原因を把握でき、改善のための新たな計画を立てている。	ピーキングを実践し、成果と原因を把握できている。	ピーキングを実践している。	ピーキングを実践していない。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『ピーキングのためのテーパリング』	河森 直紀	ナッブ	2018	978-4905168539	
2	『スポーツ栄養学: 科学の基礎から「なぜ?」に「こたえる」』	寺田 新	東京大学出版会	2017	978-4130527064	
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS071043)				
授業担当者(所属・職名)	井坂 肇(経営学科・助教)	研究室所在	1号館3階		
単位数	1 (単位認定責任者: 井坂 肇)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	ガイダンス: シラバスの説明	事前にシラバスを読んで確認しておく(45分)	シラバスの内容を理解しておく(45分)
2	ピーキングとテーパリングの理解と習得1: テーパリングとピーキングの定義	学習内容に関連する事柄について調べておく(45分)	学習内容について振り返りまとめておく(45分)
3	ピーキングとテーパリングの理解と習得2: 適切なテーパリングがもたらすパフォーマンス	学習内容に関連する事柄について調べておく(45分)	学習内容について振り返りまとめておく(45分)
4	ピーキングとテーパリングの理解と習得3: 超回復理論とフィットネス-疲労理論	学習内容に関連する事柄について調べておく(45分)	学習内容について振り返りまとめておく(45分)
5	ピーキングとテーパリングの理解と習得4: テーパリングがピーキングにつながるメカニズム	学習内容に関連する事柄について調べておく(45分)	学習内容について振り返りまとめておく(45分)
6	ピーキングとテーパリングの理解と習得5: テーパリングの実際	学習内容に関連する事柄について調べておく(45分)	学習内容について振り返りまとめておく(45分)
7	ピーキングとテーパリングの理解と習得6: テーパリング以外のピーキング手法	学習内容に関連する事柄について調べておく(45分)	学習内容について振り返りまとめておく(45分)
8	ピーキングとテーパリングの確認	学習内容に関連する事柄について調べておく(45分)	学習内容について振り返りまとめておく(45分)
9	ピーキングとテーパリングの実践1: 目的とする試合へのピーキング計画の作成	学習内容に関連する事柄について調べておく(45分)	学習内容について振り返りまとめておく(45分)
10	ピーキングとテーパリングの実践2: パフォーマンスの目標設定、現状分析	学習内容に関連する事柄について調べておく(45分)	学習内容について振り返りまとめておく(45分)
11	ピーキングとテーパリングの実践3: エクササイズを選択	学習内容に関連する事柄について調べておく(45分)	学習内容について振り返りまとめておく(45分)
12	ピーキングとテーパリングの実践4: 疲労を構成する要素	学習内容に関連する事柄について調べておく(45分)	学習内容について振り返りまとめておく(45分)
13	ピーキングとテーパリングの実践5: 摂取すべき栄養とタイミング	学習内容に関連する事柄について調べておく(45分)	学習内容について振り返りまとめておく(45分)
14	ピーキングとテーパリングの実践6: サプリメントとその効果について	学習内容に関連する事柄について調べておく(45分)	学習内容について振り返りまとめておく(45分)
15	ピーキングとテーパリングの実践7: 生活環境について	学習内容に関連する事柄について調べておく(45分)	学習内容について振り返りまとめておく(45分)
16	まとめ	講義全体を振り返り質問事項をまとめておく(45分)	学習内容について振り返りまとめておく(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS071043)				
授業担当者(所属・職名)	近澤 潤 (経営学科・専任講師)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 近澤 潤)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり 左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	民間企業での実務経験を活かし、現実感のある体験や事例を紹介することで、社会人として必要なスキルの重要性を訴求し、その習得を促す。			

概要

履修目標
グループワークを基本とした様々な演習課題や事例研究、学内外のプロジェクト活動を通して「前に踏み出す力」(主体性・働きかけ力・実行力)・「考え抜く力」(課題発見力・計画力・創造力)・「チームで働く力」(発信力・傾聴力・柔軟性・状況把握力・規律性・ストレスコントロール力)を修得する。

授業の位置づけ
経営学科のDP「1(4)、(5)」、「2(3)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(3)、1(4)、(5)」、「2(6)、(7)」、「2(4)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(2)」、「1(3)」、「2(5)」に対応する。 建築学科のDP「1(2)、(3)」、「2(5)」に対応する。

到達目標
失敗を恐れず、自分にとって困難な場面においても打開することを諦めず、最後まで前向きに取り組むことができる。 物事を多角的に分析し、発見した課題に対してどのように解決するかを考え抜くことができる。 グループの一員であることの自覚を踏まえ、多様な価値観を持つ人たちの意見を拒絶せず、柔軟な視点で物事を把握、適切な意見の発信を行うことで、グループメンバーとの良好な関係性を構築できる。

授業全体の内容と概要
グループワークを基本とし、様々な演習課題や事例研究、学内外のプロジェクト活動を通して「チームで働く意義」「チームで働く難しさ」「円滑なコミュニケーションの重要性」について体感してもらい、グループワークの成果物として「レポート」・「プレゼンテーション」・「デザイン制作物(ポスター・チラシ・Webサイトデザイン・ムービー)」などのいずれかを、グループ単位で制作・発表する。

授業の方法
グループで取り組む演習課題や事例研究、学内外のプロジェクト活動開始時点では、その目的や最終目標、背景などについて資料等を提示しながら説明する。その後は、各グループでディスカッション等を行いながら、企画・計画の立案、目標設定、予算作成、調査、制作、発表、自己評価、改善、発表といったPDCサイクルを軸とする一連の工程を行う。取り組み場面では、都度アドバイスやフィードバックを行い、各グループが円滑に進むよう最低限サポートする。

アクティブラーニングの実施方法															
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td>グループワーク</td> <td>フィールドワーク</td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td>ロールプレイ</td> <td>調査学習</td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td>実験・実習・実技</td> <td>双方向授業</td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL		模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業		ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL											
	模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業											
	ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)											

履修上の注意事項
所属学科の制限は設けない。また、課題制作(デザイン制作)を行う場合は、全学科対応できるよう考慮した内容とする。評価については、チームでの取り組みの姿勢や態度を重視する(取り組んだ結果、失敗したとしても減点せず、取り組みのプロセスについて評価する)。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
単位認定に必要な最低出席回数は、13回以上とする。												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>30%</td> <td>0%</td> <td>70%</td> <td>0%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	0%	30%	0%	70%	0%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	0%	30%	0%	70%	0%							

ルーブリック																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあたるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前に踏み出す力</td> <td>一定の行動について、主体的に取り組み、周囲に働きかけて巻き込むことができた。</td> <td>一定の行動について、主体的に取り組み、周囲に働きかけて巻き込むことができた。</td> <td>一定の行動について、主体的に取り組み、少ないながらも周囲に働きかけて巻き込むことができた。</td> <td>一定の行動について主体的に取り組みすることができた。</td> <td>ほぼ全ての行動について主体的に取り組むことができなかった。</td> </tr> <tr> <td>考え抜く力</td> <td>課題を発見し、見出した解決策の実行に向けた具体的なプロセスを考えることができた。</td> <td>課題を発見し、見出した解決策の実行に向けた具体的なプロセスを考えることができた。</td> <td>課題を発見し、解決策を見出すことができた。</td> <td>課題を発見することができた。</td> <td>課題を発見することができなかった。</td> </tr> <tr> <td>チームで働く力</td> <td>他の履修生の意見をしっかりと傾聴でき、お互いの立場や考え方を尊重して意見集約ができ、反対意見に対しても柔軟に対応することができた。</td> <td>他の履修生の意見をしっかりと傾聴でき、お互いの立場や考え方を尊重して意見集約することができた。</td> <td>他の履修生の意見をしっかりと傾聴することができた。</td> <td>他の履修生の意見を最低限傾聴することができた。</td> <td>他の履修生の意見を傾聴することができなかった。</td> </tr> <tr> <td>成果物の完成度と関与(学習意欲)</td> <td>成果物(レポート・プレゼンテーション・デザイン制作)を、チームの一員として十分に関与し、主体的に行動し、完成させることができた。</td> <td>成果物(レポート・プレゼンテーション・デザイン制作)を、チームの一員として十分に関与し、完成させることができた。</td> <td>成果物(レポート・プレゼンテーション・デザイン制作)を、チームの一員としてある程度関与し、完成させることができた。</td> <td>成果物(レポート・プレゼンテーション・デザイン制作)を、チームの一員として最低関与し、完成させることができた。</td> <td>成果物(レポート・プレゼンテーション・デザイン制作)を、チームの一員として関与せず、完成させることができなかった。</td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあたるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	前に踏み出す力	一定の行動について、主体的に取り組み、周囲に働きかけて巻き込むことができた。	一定の行動について、主体的に取り組み、周囲に働きかけて巻き込むことができた。	一定の行動について、主体的に取り組み、少ないながらも周囲に働きかけて巻き込むことができた。	一定の行動について主体的に取り組みすることができた。	ほぼ全ての行動について主体的に取り組むことができなかった。	考え抜く力	課題を発見し、見出した解決策の実行に向けた具体的なプロセスを考えることができた。	課題を発見し、見出した解決策の実行に向けた具体的なプロセスを考えることができた。	課題を発見し、解決策を見出すことができた。	課題を発見することができた。	課題を発見することができなかった。	チームで働く力	他の履修生の意見をしっかりと傾聴でき、お互いの立場や考え方を尊重して意見集約ができ、反対意見に対しても柔軟に対応することができた。	他の履修生の意見をしっかりと傾聴でき、お互いの立場や考え方を尊重して意見集約することができた。	他の履修生の意見をしっかりと傾聴することができた。	他の履修生の意見を最低限傾聴することができた。	他の履修生の意見を傾聴することができなかった。	成果物の完成度と関与(学習意欲)	成果物(レポート・プレゼンテーション・デザイン制作)を、チームの一員として十分に関与し、主体的に行動し、完成させることができた。	成果物(レポート・プレゼンテーション・デザイン制作)を、チームの一員として十分に関与し、完成させることができた。	成果物(レポート・プレゼンテーション・デザイン制作)を、チームの一員としてある程度関与し、完成させることができた。	成果物(レポート・プレゼンテーション・デザイン制作)を、チームの一員として最低関与し、完成させることができた。	成果物(レポート・プレゼンテーション・デザイン制作)を、チームの一員として関与せず、完成させることができなかった。
評価項目		評価基準																																	
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあたるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																														
前に踏み出す力	一定の行動について、主体的に取り組み、周囲に働きかけて巻き込むことができた。	一定の行動について、主体的に取り組み、周囲に働きかけて巻き込むことができた。	一定の行動について、主体的に取り組み、少ないながらも周囲に働きかけて巻き込むことができた。	一定の行動について主体的に取り組みすることができた。	ほぼ全ての行動について主体的に取り組むことができなかった。																														
考え抜く力	課題を発見し、見出した解決策の実行に向けた具体的なプロセスを考えることができた。	課題を発見し、見出した解決策の実行に向けた具体的なプロセスを考えることができた。	課題を発見し、解決策を見出すことができた。	課題を発見することができた。	課題を発見することができなかった。																														
チームで働く力	他の履修生の意見をしっかりと傾聴でき、お互いの立場や考え方を尊重して意見集約ができ、反対意見に対しても柔軟に対応することができた。	他の履修生の意見をしっかりと傾聴でき、お互いの立場や考え方を尊重して意見集約することができた。	他の履修生の意見をしっかりと傾聴することができた。	他の履修生の意見を最低限傾聴することができた。	他の履修生の意見を傾聴することができなかった。																														
成果物の完成度と関与(学習意欲)	成果物(レポート・プレゼンテーション・デザイン制作)を、チームの一員として十分に関与し、主体的に行動し、完成させることができた。	成果物(レポート・プレゼンテーション・デザイン制作)を、チームの一員として十分に関与し、完成させることができた。	成果物(レポート・プレゼンテーション・デザイン制作)を、チームの一員としてある程度関与し、完成させることができた。	成果物(レポート・プレゼンテーション・デザイン制作)を、チームの一員として最低関与し、完成させることができた。	成果物(レポート・プレゼンテーション・デザイン制作)を、チームの一員として関与せず、完成させることができなかった。																														

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS071043)				
授業担当者(所属・職名)	近澤 潤(経営学科・専任講師)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 近澤 潤)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	民間企業での実務経験を活かし、現実感のある実体験や事例を紹介することで、社会人として必要なスキルの重要性を訴求し、その習得を促す。		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	【オリエンテーション】シラバス、自己紹介、ゼミ紹介、履修登録に関して説明する。	シラバスを確認する(45分)	履修登録結果を確認する(45分)
2	【ビギナーズセミナー】大学生としての心構え、大学における単位制と学修の考え方について説明する。	学生便覧を読む(45分)	不明な点をまとめ、調べる(45分)
3	【ビギナーズセミナー】大学生としての心構え、大学における単位制と学修の考え方について説明する。	学生便覧を読む(45分)	不明な点をまとめ、調べる(45分)
4	【コンセンサスゲーム・ディスカッション基礎】グループディスカッションへの取り組み方について解説する。	グループディスカッションのコツについて調べる(45分)	授業内容をまとめる(45分)
5	【コンセンサスゲーム・演習課題】グループディスカッションの練習を行う。	前回の授業内容を確認する(45分)	グループディスカッションの反省点を整理する(45分)
6	【コンセンサスゲーム・演習課題】グループディスカッションの練習を行う。	前回のグループディスカッションの反省点を確認する(45分)	グループディスカッションの反省点を整理する(45分)
7	【コンセンサスゲーム・プレゼンテーション基礎】プレゼンテーションの目的や構成などについて解説する。	プレゼンテーションのコツについて調べる(45分)	授業内容をまとめる(45分)
8	【コンセンサスゲーム・事例研究】提示された企業活動の事例について、グループごとに調査・分析を行い、プレゼンテーションを行う。	前回の授業内容を確認する(45分)	プレゼンテーションの反省点をまとめる(45分)
9	【コンセンサスゲーム・事例研究】提示された企業活動の事例について、グループごとに調査・分析を行い、プレゼンテーションを行う。	前回のプレゼンテーションの反省点を確認する(45分)	プレゼンテーションの反省点をまとめる(45分)
10	【総合演習】提示された内容について、グループごとに取り組み	これまでの授業内容を確認する(45分)	提示された内容について調べる(45分)
11	【総合演習】提示された内容について、グループごとに取り組み	前回までの授業内容を確認する(45分)	これまでの授業内容を整理する(45分)
12	【総合演習】提示された内容について、グループごとに取り組み	前回までの授業内容を確認する(45分)	これまでの授業内容を整理する(45分)
13	【総合演習】提示された内容について、グループごとに取り組み	前回までの授業内容を確認する(45分)	これまでの授業内容を整理する(45分)
14	【総合演習】提示された内容について、グループごとに取り組み	前回までの授業内容を確認する(45分)	これまでの授業内容を整理する(45分)
15	【総合演習(成果発表会)】提示された内容について、グループごとに取り組み内容について、プレゼンテーションを行う。	前回までの授業内容を確認する(45分)	フィードバックの内容を整理する(45分)
16	【まとめ・総評】	前回までの授業内容を確認する(45分)	フィードバックの内容を整理する(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS071043)				
授業担当者(所属・職名)	田畑 圭悟(経営学科・助教)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 田畑 圭悟)	CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
競技スポーツ及び、健康のための基礎的トレーニングを学び、個人に必要なトレーニングを自ら実践出来るようにする。また、学生と教員双方の人間関係を構築しコミュニケーション能力を高め、併せて快適な学生生活及び基本的な生活習慣を身につける。

授業の位置づけ
経営学科のDP「1(1)」、「1(2)」、「2(1)」、「2(3)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(2)」、「1(4)」、「2(4)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(1)」、「1(5)」に対応する。 建築学科DPの「1(1)」、「2(3)」に対応する。

到達目標
競技及び個人の特性を理解し、自らの競技スポーツや健康に一層深い関心を持って、安全にトレーニングすることができる。

授業全体の内容と概要
競技スポーツ又は、健康のために必要な基礎的トレーニングを実践し、自らの競技力向上と健康の保持増進のために必要なトレーニングを見つけ出し実践する

授業の方法
授業は配布資料で実施し、トレーニングなどのDVDも活用しながら講義形式で行う。授業によってはグループワークで思考・考察・発表を行い学習していく。レポートにはコメントにてフィードバックする。さらに、実技に関しては基礎的なトレーニングの特性を理解し学習したことを実際に怪我に注意を払いながら実施していく。

アクティブラーニングの実施方法																					
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>○</td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td>○</td> <td>実験・実習・実技</td> <td>○</td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業	ディスカッション	○	実験・実習・実技	○	双方向授業		その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL															
模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業															
ディスカッション	○	実験・実習・実技	○	双方向授業		その他(授業の方法参照)															

履修上の注意事項
陸上部に所属の学生を対象とする。基本的にジャージや屋内運動靴を必ず着用する。注意事項の詳細はガイダンスで指示する。健康上の理由で医師から運動を停止されている者は、申し出る事

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
単位認定に必要な最低出席回数は、13回以上												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>30%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>50%</td> <td>20%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	30%	0%	0%	50%	20%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	30%	0%	0%	50%	20%							

ルーブリック																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>思考力・判断力・表現力</td> <td>自ら進んで行動や役割を果たすことができ、とても意欲的に取り組み、且つ安全に細心の注意を払うことができる。</td> <td>積極的に行動や役割を果たすことができ、意欲的に取り組み、安全に注意を払うことができる。</td> <td>行動の仕方を守り役割を果たすことができ、普通に取り組み安全に注意を払っている。</td> <td>行動の仕方を守らず役割を果たそうとしないときがあり、意欲もなく安全に注意を配っていない。</td> <td>行動の仕方を守らず役割を果たさなく意欲もまったくなく、安全に注意を配っていない。</td> </tr> <tr> <td>知識・技能</td> <td>トレーニングの基礎的知識を持ち、それぞれの領域が持つ見方について説明することができる。実践的に活用できる。</td> <td>トレーニングの基礎的知識を持ち、多様な領域からの見解を深く理解できていて適切に活用できる。</td> <td>トレーニングの基礎的知識の見解を一定程度理解できていて、活用できる。</td> <td>トレーニングの基礎的知識の見解をあまり深く理解できていない。活用できるレベルにない。</td> <td>トレーニングの基礎的知識の見解をまったく理解できていない。その獲得、修得に取り組んでいない。</td> </tr> <tr> <td>主体的行動</td> <td>達成目標を設定し、創造的思考を持って趣味的計画を立て、その計画に沿って実行できる。</td> <td>達成目標を設定した計画を立てることができ、計画に沿って7割程度できる。</td> <td>達成目標を設定し、計画を立てて5割程度できる。</td> <td>計画を立てることができなが、達成目標が曖昧であり3割程度しかできない。</td> <td>計画を立てることができなく、達成目標もなく、まったくできない。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	思考力・判断力・表現力	自ら進んで行動や役割を果たすことができ、とても意欲的に取り組み、且つ安全に細心の注意を払うことができる。	積極的に行動や役割を果たすことができ、意欲的に取り組み、安全に注意を払うことができる。	行動の仕方を守り役割を果たすことができ、普通に取り組み安全に注意を払っている。	行動の仕方を守らず役割を果たそうとしないときがあり、意欲もなく安全に注意を配っていない。	行動の仕方を守らず役割を果たさなく意欲もまったくなく、安全に注意を配っていない。	知識・技能	トレーニングの基礎的知識を持ち、それぞれの領域が持つ見方について説明することができる。実践的に活用できる。	トレーニングの基礎的知識を持ち、多様な領域からの見解を深く理解できていて適切に活用できる。	トレーニングの基礎的知識の見解を一定程度理解できていて、活用できる。	トレーニングの基礎的知識の見解をあまり深く理解できていない。活用できるレベルにない。	トレーニングの基礎的知識の見解をまったく理解できていない。その獲得、修得に取り組んでいない。	主体的行動	達成目標を設定し、創造的思考を持って趣味的計画を立て、その計画に沿って実行できる。	達成目標を設定した計画を立てることができ、計画に沿って7割程度できる。	達成目標を設定し、計画を立てて5割程度できる。	計画を立てることができなが、達成目標が曖昧であり3割程度しかできない。	計画を立てることができなく、達成目標もなく、まったくできない。												
評価項目		評価基準																																							
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
思考力・判断力・表現力	自ら進んで行動や役割を果たすことができ、とても意欲的に取り組み、且つ安全に細心の注意を払うことができる。	積極的に行動や役割を果たすことができ、意欲的に取り組み、安全に注意を払うことができる。	行動の仕方を守り役割を果たすことができ、普通に取り組み安全に注意を払っている。	行動の仕方を守らず役割を果たそうとしないときがあり、意欲もなく安全に注意を配っていない。	行動の仕方を守らず役割を果たさなく意欲もまったくなく、安全に注意を配っていない。																																				
知識・技能	トレーニングの基礎的知識を持ち、それぞれの領域が持つ見方について説明することができる。実践的に活用できる。	トレーニングの基礎的知識を持ち、多様な領域からの見解を深く理解できていて適切に活用できる。	トレーニングの基礎的知識の見解を一定程度理解できていて、活用できる。	トレーニングの基礎的知識の見解をあまり深く理解できていない。活用できるレベルにない。	トレーニングの基礎的知識の見解をまったく理解できていない。その獲得、修得に取り組んでいない。																																				
主体的行動	達成目標を設定し、創造的思考を持って趣味的計画を立て、その計画に沿って実行できる。	達成目標を設定した計画を立てることができ、計画に沿って7割程度できる。	達成目標を設定し、計画を立てて5割程度できる。	計画を立てることができなが、達成目標が曖昧であり3割程度しかできない。	計画を立てることができなく、達成目標もなく、まったくできない。																																				

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎セミナー A (科目ナンバリング: BAS071043)				
授業担当者(所属・職名)	田畑 圭悟(経営学科・助教)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 田畑 圭悟)	CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	シラバスの説明ガイダンス	事前にシラバスを読んで確認しておく(45分)	ガイダンスの内容を理解しておく(45分)
2	基礎トレーニングの理解 1	基礎トレーニングについて確認しておく(45分)	基礎トレーニングを理解しておく(45分)
3	基礎トレーニングの理解 2	基礎トレーニングについて確認しておく(45分)	基礎トレーニングを理解しておく(45分)
4	基礎トレーニングの理解 3	基礎トレーニングについて確認しておく(45分)	基礎トレーニングを理解しておく(45分)
5	基礎トレーニングの理解 4	基礎トレーニングについて確認しておく(45分)	基礎トレーニングを理解しておく(45分)
6	基礎トレーニングの理解 5	基礎トレーニングについて確認しておく(45分)	基礎トレーニングを理解しておく(45分)
7	基礎トレーニングの理解 6	基礎トレーニングについて確認しておく(45分)	基礎トレーニングを理解しておく(45分)
8	基礎トレーニングの習得 1	健康に留意し体調を整えておく(45分)	身体のケアを怠らない(45分)
9	基礎トレーニングの習得 2	健康に留意し体調を整えておく(45分)	身体のケアを怠らない(45分)
10	基礎トレーニングの習得 3	健康に留意し体調を整えておく(45分)	身体のケアを怠らない(45分)
11	基礎トレーニングの習得 4	健康に留意し体調を整えておく(45分)	身体のケアを怠らない(45分)
12	基礎トレーニングの習得 5	健康に留意し体調を整えておく(45分)	身体のケアを怠らない(45分)
13	基礎トレーニングの習得 6	健康に留意し体調を整えておく(45分)	身体のケアを怠らない(45分)
14	基礎トレーニングの習得 7	健康に留意し体調を整えておく(45分)	身体のケアを怠らない(45分)
15	基礎トレーニングの習得 8	健康に留意し体調を整えておく(45分)	身体のケアを怠らない(45分)
16	まとめ	生涯スポーツとしての特性を理解しておく(45分)	生涯スポーツとしての基礎を理解する(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS071043)				
授業担当者(所属・職名)	篠原 諒介(経営学科・助教)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 篠原 諒介)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標	国際的に活躍するエリートアスリートとともに働く世界の著名なスポーツ科学者達のリカバリーに関する最新の科学的データを理解する。				
授業の位置づけ	経営学科のDP「1(5)」、「2(2)」、「2(3)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(2)」、「1(3)」、「1(4)」、「1(5)」、「1(6)」、「1(7)」、「2(4)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(2)」、「1(3)」、「2(5)」に対応する。 建築学科のDP「1(2)」、「1(3)」、「2(5)」に対応する。				
到達目標	「パフォーマンスを向上させたい」、「オーバーリーディングや怪我を予防したい」と考えているすべてのアスリートやコーチを目指している学生のために、科学的なエビデンスに基づいた情報、また、エリートスポーツに携わるコーチやスポーツ科学者が、成功へと導いた競技現場でのリカバリーの応用例を実践する。				
授業全体の内容と概要	すべてのアスリートやコーチを目指している学生がトレーニングや試合などの競技活動におけるオーバーロードや怪我のリスクを低下させ、最終的にはそれぞれのパフォーマンスを改善するリカバリープロセスを学ぶ。				
授業の方法	授業はパワーポイントを使用し、DVDの視聴、レポートなどの講義形式で実施する。				
アクティブラーニングの実施方法	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL	
	模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業	
	ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)	
履修上の注意事項	20分以上の遅刻は欠席とみなします。遅刻3回で1回の欠席とみなします。				
資格指定科目					

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な最低出席回数は、13回以上					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	20%	30%	0%	50%	0%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
知識・技能	学修した知識・技能を確実に修得するとともに、それらに関連した知識・技能についても獲得した	学修した知識・技能を確実に修得した	学修した知識・技能のすべてを修得することはできなかった	学修した知識・技能を修得したが最低限容認できるレベルにとどまった	学修に真面目に取り組まなかった
思考力・判断力・表現力	与えられた課題に積極的に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関しては求められるレベルを大きく超えた	与えられた課題に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関しては、求められるレベルを達成した	与えられた課題に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関しては、求められるレベルには達しなかった	与えられた課題に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関しては最低限容認できるレベルにとどまった	与えられた課題に真面目に取り組まなかった
主体性・多様性・協働性	与えられた課題に積極的に取り組んだ。積極性や協働性に関しては求められるレベルを大きく超えた	与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関しては、求められるレベルを達成した	与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関しては、求められるレベルには達しなかった	与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関しては最低限容認できるレベルにとどまった	与えられた課題に真面目に取り組まなかった

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS071043)				
授業担当者(所属・職名)	篠原 諒介(経営学科・助教)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 篠原 諒介)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	ガイダンス シラバスの説明	測定準備及び論文の読み込み(45分)	本時の学習内容をまとめて提出する(45分)
2	リカバリーの理解と修得 スクリーニングとアセスメントの概要	測定準備及び論文の読み込み(45分)	本時の学習内容をまとめて提出する(45分)
3	リカバリーの理解と修得 スクリーニングとアセスメントの概要	測定準備及び論文の読み込み(45分)	本時の学習内容をまとめて提出する(45分)
4	リカバリーの理解と修得 スクリーニングとアセスメントの概要	測定準備及び論文の読み込み(45分)	本時の学習内容をまとめて提出する(45分)
5	リカバリーの理解と修得 解剖学的科学と機能の科学	測定準備及び論文の読み込み(45分)	本時の学習内容をまとめて提出する(45分)
6	リカバリーの理解と修得 解剖学的科学と機能の科学	測定準備及び論文の読み込み(45分)	本時の学習内容をまとめて提出する(45分)
7	リカバリーの理解と修得 解剖学的科学と機能の科学	測定準備及び論文の読み込み(45分)	本時の学習内容をまとめて提出する(45分)
8	リカバリーの確認	測定準備及び論文の読み込み(45分)	本時の学習内容をまとめて提出する(45分)
9	リカバリーの実践 スクリーニングとアセスメント	測定準備及び論文の読み込み(45分)	本時の学習内容をまとめて提出する(45分)
10	リカバリーの実践 スクリーニングとアセスメント	測定準備及び論文の読み込み(45分)	本時の学習内容をまとめて提出する(45分)
11	リカバリーの実践 スクリーニングとアセスメント	測定準備及び論文の読み込み(45分)	本時の学習内容をまとめて提出する(45分)
12	リカバリーの実践 スクリーニングとアセスメント	測定準備及び論文の読み込み(45分)	本時の学習内容をまとめて提出する(45分)
13	リカバリーの実践 筋機能・動作と感覚	測定準備及び論文の読み込み(45分)	本時の学習内容をまとめて提出する(45分)
14	リカバリーの実践 筋機能・動作と感覚	測定準備及び論文の読み込み(45分)	本時の学習内容をまとめて提出する(45分)
15	リカバリーの実践 筋機能・動作と感覚	測定準備及び論文の読み込み(45分)	本時の学習内容をまとめて提出する(45分)
16	まとめ	測定準備及び論文の読み込み(45分)	本時の学習内容をまとめて提出する(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年（再履修他）		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS071043)				
授業担当者(所属・職名)	渡部 斎 (社会福祉学科・教授)	研究室所在	2号館7階		
単位数	1 (単位認定責任者: 渡部 斎)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
自ら興味のあるもの選定して「テーマ」を決定し、深く研究する主体的な課題解決学習を追求する。前期に選択した「テーマ」を、後期にはより深く研究し、レジメを作成する能力を高め、プレゼンテーション能力を培う。

授業の位置づけ
社会福祉学科のDP「1(3)」、「1(4)」、「1(5)」、「1(6)」、「2(1)」、「2(4)」に対応する。 経営学科のDP「1(1)」、「1(2)」、「1(4)」、「2(1)」、「2(3)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(2)」、「2(1)」、「2(5)」に対応する。 建築学科のDP「1(1)」、「2(1)」、「2(5)」に対応する。

到達目標
自分で「テーマ」を見つけ、レジメを作成してプレゼンテーションができる。

授業全体の内容と概要
ディスカッション等で話し合い、「テーマ」を選定する。「テーマ」を選定したらプレゼンテーションに向けて、資料の収集や解析を行う。次に資料から、わかりやすいレジメの作成に取り掛かり、レジメの完成後にプレゼンテーションを行う。

授業の方法
授業形態はゼミ形式（ディスカッション・プレゼンテーション）で、主体的な学習が中心である。研究課題を自ら選択し、前期内に課題解決を試みることを目的とする。プレゼンテーションのレジメやレポート課題は、必修である。なお、レジメやレポートには、コメントにてフィードバックする。

アクティブラーニングの実施方法												
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>グループワーク</td> <td>フィールドワーク</td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td>ロールプレイ</td> <td>調査学習</td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td>実験・実習・実技</td> <td>双方向授業</td> <td>その他（授業の方法参照）</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL	模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業	ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他（授業の方法参照）
プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL									
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業									
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他（授業の方法参照）									

履修上の注意事項
レポートは、指示した「レポート作成要領」に準拠したものを提出すること。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
単位認定に必要な最低出席回数は、10回以上である。												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>30%</td> <td>20%</td> <td>0%</td> <td>25%</td> <td>25%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	30%	20%	0%	25%	25%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	30%	20%	0%	25%	25%							

ルーブリック																																									
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> <tr> <td>知識・理解</td> <td>・レポート課題において、9割以上の得点を取ることができた。</td> <td>・レポート課題において、8割以上の得点を取ることができた。</td> <td>・レポート課題において、7割以上の得点を取ることができた。</td> <td>・レポート課題において、6割以上の得点を取ることができた。</td> <td>・レポート課題において、6割以上の得点を取ることができなかった。</td> </tr> <tr> <td>関心・意欲・態度</td> <td>右の記述を高いレベルで実現ができた。</td> <td>ディスカッションの課題などで、論理的に自分の意見をまとめ、たいへんわかりやすく説明ができた。</td> <td>ディスカッションの課題などで、自分の意見をまとめ、わかりやすく説明ができた。</td> <td>ディスカッションの課題などで、自分の意見をまとめ、説明ができた。</td> <td>ディスカッションの課題などで、自分の意見をまとめ、説明ができなかった。</td> </tr> <tr> <td>思考力・判断力・表現力</td> <td>右の記述を高いレベルで実現ができた。</td> <td>プレゼンテーションの進行や内容がたいへん良く構成されていた。</td> <td>プレゼンテーション進行や内容が良く構成されていた。</td> <td>プレゼンテーションの進行や内容が構成されていた。</td> <td>プレゼンテーションの進行や内容が構成されていないかった。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	知識・理解	・レポート課題において、9割以上の得点を取ることができた。	・レポート課題において、8割以上の得点を取ることができた。	・レポート課題において、7割以上の得点を取ることができた。	・レポート課題において、6割以上の得点を取ることができた。	・レポート課題において、6割以上の得点を取ることができなかった。	関心・意欲・態度	右の記述を高いレベルで実現ができた。	ディスカッションの課題などで、論理的に自分の意見をまとめ、たいへんわかりやすく説明ができた。	ディスカッションの課題などで、自分の意見をまとめ、わかりやすく説明ができた。	ディスカッションの課題などで、自分の意見をまとめ、説明ができた。	ディスカッションの課題などで、自分の意見をまとめ、説明ができなかった。	思考力・判断力・表現力	右の記述を高いレベルで実現ができた。	プレゼンテーションの進行や内容がたいへん良く構成されていた。	プレゼンテーション進行や内容が良く構成されていた。	プレゼンテーションの進行や内容が構成されていた。	プレゼンテーションの進行や内容が構成されていないかった。												
評価項目		評価基準																																							
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
知識・理解	・レポート課題において、9割以上の得点を取ることができた。	・レポート課題において、8割以上の得点を取ることができた。	・レポート課題において、7割以上の得点を取ることができた。	・レポート課題において、6割以上の得点を取ることができた。	・レポート課題において、6割以上の得点を取ることができなかった。																																				
関心・意欲・態度	右の記述を高いレベルで実現ができた。	ディスカッションの課題などで、論理的に自分の意見をまとめ、たいへんわかりやすく説明ができた。	ディスカッションの課題などで、自分の意見をまとめ、わかりやすく説明ができた。	ディスカッションの課題などで、自分の意見をまとめ、説明ができた。	ディスカッションの課題などで、自分の意見をまとめ、説明ができなかった。																																				
思考力・判断力・表現力	右の記述を高いレベルで実現ができた。	プレゼンテーションの進行や内容がたいへん良く構成されていた。	プレゼンテーション進行や内容が良く構成されていた。	プレゼンテーションの進行や内容が構成されていた。	プレゼンテーションの進行や内容が構成されていないかった。																																				

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td>『使用しない』</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1	『使用しない』						2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1	『使用しない』																																									
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td>『配布プリント』</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1	『配布プリント』						2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1	『配布プリント』																																									
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年(再履修他)		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS071043)				
授業担当者(所属・職名)	渡部 斎(社会福祉学科・教授)	研究室所在	2号館7階		
単位数	1 (単位認定責任者: 渡部 斎)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	オリエンテーション(シラバスの説明を含む)	事前にシラバスを読んでいること。(45分)	今回の授業内容を復習しておくこと。(45分)
2	「テーマ」の選定	事前に課題を考えておくこと。(45分)	今回の授業内容を復習しておくこと。(45分)
3	「テーマ」の選定	前回の授業内容を復習しておくこと。(45分)	今回の授業内容を復習しておくこと。(45分)
4	ディスカッション	ディスカッションの準備学修をしておくこと。(45分)	今回の授業内容を復習しておくこと。(45分)
5	「テーマ」の選定	前回の授業内容を復習しておくこと。(45分)	レポート課題等を作成すること。(45分)
6	ディスカッション	ディスカッションの準備学修をしておくこと。(45分)	今回の授業内容を復習しておくこと。(45分)
7	「テーマ」の確定	前回の授業内容を復習しておくこと。(45分)	今回の授業内容を復習しておくこと。(45分)
8	「テーマ」の方法	前回の授業内容を復習しておくこと。(45分)	今回の授業内容を復習しておくこと。(45分)
9	ディスカッション	ディスカッションの準備学修をしておくこと。(45分)	今回の授業内容を復習しておくこと。(45分)
10	「テーマ」の方法	前回の授業内容を復習しておくこと。(45分)	今回の授業内容を復習しておくこと。(45分)
11	プレゼンテーションの準備(資料)	資料の作成準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容を復習しておくこと。(45分)
12	プレゼンテーションの準備(資料)	資料の作成準備をしておくこと。(45分)	レポート課題等を作成すること。(45分)
13	プレゼンテーションの準備(レジメ)	レジメの作成準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容を復習しておくこと。(45分)
14	プレゼンテーションの準備(レジメの作成)	レジメの作成準備をしておくこと。(45分)	レジメ等を作成すること。(45分)
15	プレゼンテーション	プレゼンテーションの準備学修をしておくこと。(45分)	今回の授業内容を復習しておくこと。(45分)
16	まとめ、課題(レポートなど)の解説	レポートを提出する。(45分)	まとめの振り返り(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS071043)				
授業担当者(所属・職名)	杉本 大輔(社会福祉学科・准教授)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 杉本 大輔)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
本基礎ゼミナールでは社会科学に関する専門書を全員で音読し、現代社会における処々の課題を歴史的・グローバルに俯瞰し、現代社会の諸問題を解析するための基本的視座を獲得する。基礎ゼミナール Aでは「憲法」をテーマにし、その歴史的意義と現代日本における諸課題を検討する。

授業の位置づけ
社会福祉学科のDP「1(4)と(5)と(6)と(7)」、「2(4)」に対応する。 経営学科のDP「1(1)と(2)と(3)と(4)」、「2(1)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(1)と(2)と(3)」、「2(1)」に対応する。 建築学科のDP「1(1)と(2)と(3)」、「2(1)」に対応する。

到達目標
<ul style="list-style-type: none"> 社会科学に対する興味を喚起し、自発的に文献を読み込む技術を獲得できる。 現代社会が抱える諸課題について、各媒体を検索する技術を獲得できる。 社会科学全体に共通する諸課題を検討することによって、2年時以降の社会福祉学の学習の基盤となる視座を構築できる。

授業全体の内容と概要
小室直樹著『日本人のための憲法原論』（集英社インターナショナル）を主要参考文献とし（各講義ごとに購読パートを教員がコピーする）、その他『NEWS W E E K』等の記事を適宜配布し、国際社会を視野に入れたグローバルな社会分析ができる。

授業の方法
<ul style="list-style-type: none"> 各講義ごとに教員が資料を配布し、個々に音読してもらい、内容を解説・議論する。 講義プリントは講義の前の週に配布するので熟読しておくこと。 学生からの要望には可能な限り答えるが、教育上不適切と思える要望には応じない。

アクティブラーニングの実施方法												
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>グループワーク</td> <td>フィールドワーク</td> <td>P B L</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td>ロールプレイ</td> <td>調査学習</td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td>実験・実習・実技</td> <td>双方向授業</td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	P B L	模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業	ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	P B L									
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業									
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)									

履修上の注意事項
主体的・積極的な参加を望む。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
単位認定に必要な出席日数10回以上をクリアすること。												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>30%</td> <td>70%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	0%	0%	0%	30%	70%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	0%	0%	0%	30%	70%							

ルーブリック																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「憲法」に関する参考文献・資料の内容を理解する</td> <td>ディスカッションの中で、その日のゼミの内容についての確に説明でき、且つ、自分の意見を述べる事ができた。</td> <td>ディスカッションの中で、その日のゼミの内容について明確に説明できた。</td> <td>高校のテキストの政治・憲法についての基本的知識を習得できた。</td> <td>高校のテキストの「世界史」の基本的知識を習得できた。</td> <td>左記の内容が何一つできなかった。</td> </tr> <tr> <td>中世の欧米社会史から近世日本社会史までの外観を理解する</td> <td>ディスカッションの中で、その日のゼミの内容についての確に説明でき、且つ、自分の意見を述べる事ができた。</td> <td>ディスカッションの中で、その日のゼミの内容について明確に説明できた。</td> <td>高校のテキストの「社会史」「近世日本史」の基本的知識を習得できた。</td> <td>高校のテキストの「世界史」の基本的知識を習得できた。</td> <td>左記の内容が何一つできなかった。</td> </tr> <tr> <td>憲法が効果的に機能するための要因を理解する。</td> <td>ディスカッションの中で、その日のゼミの内容についての確に説明でき、且つ、自分の意見を述べる事ができた。</td> <td>ディスカッションの中で、その日のゼミの内容について明確に説明できた。</td> <td>日本国憲法と大日本帝国憲法の違いと各々の課題を理解できた。</td> <td>高校のテキスト「日本の政治」の基本的知識を習得できた。</td> <td>左記の内容が何一つできていなかった。</td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	「憲法」に関する参考文献・資料の内容を理解する	ディスカッションの中で、その日のゼミの内容についての確に説明でき、且つ、自分の意見を述べる事ができた。	ディスカッションの中で、その日のゼミの内容について明確に説明できた。	高校のテキストの政治・憲法についての基本的知識を習得できた。	高校のテキストの「世界史」の基本的知識を習得できた。	左記の内容が何一つできなかった。	中世の欧米社会史から近世日本社会史までの外観を理解する	ディスカッションの中で、その日のゼミの内容についての確に説明でき、且つ、自分の意見を述べる事ができた。	ディスカッションの中で、その日のゼミの内容について明確に説明できた。	高校のテキストの「社会史」「近世日本史」の基本的知識を習得できた。	高校のテキストの「世界史」の基本的知識を習得できた。	左記の内容が何一つできなかった。	憲法が効果的に機能するための要因を理解する。	ディスカッションの中で、その日のゼミの内容についての確に説明でき、且つ、自分の意見を述べる事ができた。	ディスカッションの中で、その日のゼミの内容について明確に説明できた。	日本国憲法と大日本帝国憲法の違いと各々の課題を理解できた。	高校のテキスト「日本の政治」の基本的知識を習得できた。	左記の内容が何一つできていなかった。
評価項目		評価基準																											
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																								
「憲法」に関する参考文献・資料の内容を理解する	ディスカッションの中で、その日のゼミの内容についての確に説明でき、且つ、自分の意見を述べる事ができた。	ディスカッションの中で、その日のゼミの内容について明確に説明できた。	高校のテキストの政治・憲法についての基本的知識を習得できた。	高校のテキストの「世界史」の基本的知識を習得できた。	左記の内容が何一つできなかった。																								
中世の欧米社会史から近世日本社会史までの外観を理解する	ディスカッションの中で、その日のゼミの内容についての確に説明でき、且つ、自分の意見を述べる事ができた。	ディスカッションの中で、その日のゼミの内容について明確に説明できた。	高校のテキストの「社会史」「近世日本史」の基本的知識を習得できた。	高校のテキストの「世界史」の基本的知識を習得できた。	左記の内容が何一つできなかった。																								
憲法が効果的に機能するための要因を理解する。	ディスカッションの中で、その日のゼミの内容についての確に説明でき、且つ、自分の意見を述べる事ができた。	ディスカッションの中で、その日のゼミの内容について明確に説明できた。	日本国憲法と大日本帝国憲法の違いと各々の課題を理解できた。	高校のテキスト「日本の政治」の基本的知識を習得できた。	左記の内容が何一つできていなかった。																								

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>I S B N</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>I S B N</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS071043)				
授業担当者(所属・職名)	杉本 大輔(社会福祉学科・准教授)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 杉本 大輔)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	シラバスの説明	高校のテキストの読み直し(45分)	配布資料の読み込み(45分)
2	日本国憲法は生きているか	前回資料の読み込み(45分)	配布資料の読み込み(45分)
3	誰のために憲法はあるか	前回資料の読み込み(45分)	配布資料の読み込み(45分)
4	全ては議会から始まった	前回資料の読み込み(45分)	配布資料の読み込み(45分)
5	民主主義は神様が作った	前回資料の読み込み(45分)	配布資料の読み込み(45分)
6	かくして議会は誕生した—イギリス憲法小史	前回資料の読み込み(45分)	配布資料の読み込み(45分)
7	民主主義と資本主義は双子だった	前回資料の読み込み(45分)	配布資料の読み込み(45分)
8	初めに契約ありき	前回資料の読み込み(45分)	配布資料の読み込み(45分)
9	「民主主義のルール」とは	前回資料の読み込み(45分)	配布資料の読み込み(45分)
10	憲法の敵は何か	前回資料の読み込み(45分)	配布資料の読み込み(45分)
11	平和主義者が戦争を作る	前回資料の読み込み(45分)	配布資料の読み込み(45分)
12	20世紀を変えたヒトラーとケインズ	前回資料の読み込み(45分)	配布資料の読み込み(45分)
13	天皇教の原理	前回資料の読み込み(45分)	配布資料の読み込み(45分)
14	田中角栄の遺産	前回資料の読み込み(45分)	配布資料の読み込み(45分)
15	憲法は甦るか	前回資料の読み込み(45分)	配布資料の読み込み(45分)
16	総括	前回資料の読み込み(45分)	配布資料の読み込み(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS071043)				
授業担当者(所属・職名)	横田 肇 (社会福祉学科・准教授)	研究室所在	2号館7階		
単位数	1 (単位認定責任者: 横田 肇)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標

学生が世界と日本の文化について、基礎的な知識と考え方を身につける。初歩的なプレゼンテーション、文章作成の技術を身につける。

授業の位置づけ

経営学科のDP「1(2)」、「2(1)と(3)」に対応する。
 社会福祉学科のDP「1(2)と(3)」、「2(1)と(4)」に対応する。
 デザイン学科のDP「1(1)」、「2(1)と(3)と(5)」に対応する。
 建築学科のDP「1(1)」、「2(1)と(3)と(5)」に対応する。

到達目標

受講者において、初歩的なプレゼンテーションとコミュニケーションの技術が身につけていること。基礎的な文章作成ができること。
 受講者において、北海道を中心に世界と日本の文化についての基礎的な知識が習得され、説明できること。

授業全体の内容と概要

毎回、受講者が北海道を中心に日本内外の文化に関する事項の調査・学習を行い、その結果を発表する。合わせて、毎回、討論を実施し、教員よりのコメントとアドバイスを加える。レポートとプレゼンテーションの基礎の学習も折り返す。

授業の方法

- 1) 毎回、発表者を決め、短いプレゼンテーションを行なう。
 - 2) 1) に対する質疑応答を行なう。
 - 3) 出席者全員で討論をする。
 - 4) 教員の講評によるフィードバック。
- 1) - 4) を毎時間くり返す。合わせて、適宜、レポート作成の練習を行なう。

アクティブラーニングの実施方法

	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

欠席、遅刻はしないように留意する。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な最低出席回数は、10回以上。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	50%	0%	0%	0%	50%

ルーブリック

評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
調査・情報収集能力	多様で正確な調査・情報収集ができ、的確に編集と整理ができた。	正確な情報収集ができ、的確な整理ができた。	情報収集と整理の基礎が身に付いていた。	指示によって情報収集と整理が遂行できた。	指示による情報収集と整理ができなかった。
コミュニケーション能力	積極的な議論と明確な主張・提案ができ、しっかりとした情報発信ができた。	的確な議論と提案ができ、情報発信がある程度できた。	議論と提案、情報発信の基礎が身に付いていた。	指示によって議論と情報発信が遂行できた。	指示による議論と情報発信ができなかった。
好奇心・態度	文化を理解し、知ろうとする意欲と好奇心に富み、発展的な学習が遂行できた。	文化に関する好奇心があり、自発的な学習ができた。	文化に関する知識を意欲的に学んでいた。	指示する内容の学習を遂行することができた。	指示する内容の学習を遂行できなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						なし。
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等

No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						適宜指示する。
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS071043)				
授業担当者(所属・職名)	横田 肇(社会福祉学科・准教授)	研究室所在	2号館7階		
単位数	1 (単位認定責任者: 横田 肇)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	シラバスの説明、ガイダンス、諸注意。	シラバスを読む。(45分)	歴史と文化の基礎事項の復習(45分)
2	歴史と文化一般に関する講義	歴史と文化の基礎事項の予習(45分)	歴史と文化の基礎事項の復習(45分)
3	北海道の歴史と文化に関する講義	北海道史の基礎事項の予習(45分)	北海道史の基礎事項の復習(45分)
4	北海道の歴史と文化に関する調査と発表(1)	北海道史の基礎事項、プレゼンの予習(45分)	北海道史の基礎事項の復習(45分)
5	北海道の歴史と文化に関する調査と発表(2)	北海道史の基礎事項、プレゼンの予習(45分)	北海道史の基礎事項の復習(45分)
6	北海道の歴史と文化に関する調査と発表(3)	北海道史の基礎事項、プレゼンの予習(45分)	北海道史の基礎事項の復習(45分)
7	北海道の歴史と文化に関する調査と発表(4)	北海道史の基礎事項、プレゼンの予習(45分)	北海道史の基礎事項の復習(45分)
8	北海道の歴史と文化に関する調査と発表(5)	北海道史の基礎事項、プレゼンの予習(45分)	北海道史の基礎事項の復習(45分)
9	北海道の歴史と文化に関する調査と発表(6)	北海道史の基礎事項、プレゼンの予習(45分)	北海道史の基礎事項の復習(45分)
10	北海道の歴史と文化に関する調査と発表(7)	北海道史の基礎事項、プレゼンの予習(45分)	北海道史の基礎事項の復習(45分)
11	北海道の歴史と文化に関する調査と発表(8)	北海道史の基礎事項、プレゼンの予習(45分)	北海道史の基礎事項の復習(45分)
12	北海道の歴史と文化に関する調査と発表(9)	北海道史の基礎事項、プレゼンの予習(45分)	北海道史の基礎事項の復習(45分)
13	北海道の歴史と文化に関する調査と発表(10)	北海道史の基礎事項、プレゼンの予習(45分)	北海道史の基礎事項の復習(45分)
14	北海道の歴史と文化に関する調査と発表(11)	北海道史の基礎事項、プレゼンの予習(45分)	北海道史の基礎事項の復習(45分)
15	レポート作成(1)	レポート(課題)の準備(45分)	レポート(課題)の準備(45分)
16	レポート作成(2)	レポート(課題)の準備(45分)	レポート(課題)の仕上げ(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS071043)				
授業担当者(所属・職名)	櫻井 美帆子(社会福祉学科・准教授)	研究室所在	1号館4階		
単位数	1 (単位認定責任者: 櫻井 美帆子)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	現場の実務経験から得た事例等を用いて、福祉に対する理解を深めていく。		

概要

履修目標	社会福祉に対する視野を広げるとともに、福祉従事者としての基本的な態度を涵養する。
------	--

授業の位置づけ	経営学科のDP「1(2)と(4)」、「2(1)と(3)」に対応する科目。 社会福祉学科のDP「1(2)と(3)と(4)と(6)と(7)」、「2(1)と(4)」に対応する科目。 デザイン学科のDP「1(2)」、「2(1)と(3)と(5)」に対応する科目。 建築学科のDP「1(3)」、「2(1)と(3)と(5)」に対応する科目。
---------	--

到達目標	職業の一つとして社会福祉を捉えたうえで、チームワークについて理解できる。
------	--------------------------------------

授業全体の内容と概要	様々な福祉実践の場を知るとともに、そこで求められる社会福祉の知識や技術の概要について学ぶ。
------------	---

授業の方法	基本は、テーマの内容についてグループで議論をした内容をまとめ、代表者が発表をする展開とする。 一部、講義形式で展開をする。講義の際には随時質問を行うので答えること。 2回以降は授業毎に記録を提出する。記録物はコメントを添えて返却する。 授業に関する資料を毎回配布する。
-------	---

アクティブラーニングの実施方法						
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク	PBL
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習	反転授業
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項	30分以上の遅刻は欠席とする。 出席を重視するので、欠席や遅刻をする際には事前に連絡をすること。
----------	---

資格指定科目	
--------	--

評価方法・基準

評価前提条件	10回以上の出席があること。					
評価方法	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
	0%	50%	0%	0%	50%	0%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
クラスのメンバーと協働できる。	リーダーシップを発揮し、他者へのサポートができた。	他者を尊重するとともに、自分の役割を責任を持ち果たせた。	助言があればできた。	助言があれば一部できた。	助言があってもできなかった。
第三者が理解できる記録を作成できる。	記録をもとに考察ができた。	5W1Hに沿って記述できた。	助言があればできた。	助言があれば一部できた。	助言があってもできなかった。
社会福祉の視点を持つことができる。	他の職業と比較し、福祉の仕事の独自性を述べる事ができた。	福祉の仕事の独自性を述べることができた。	助言があればできた。	助言があれば一部できた。	助言があってもできなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『使用しない』					
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『使用しない』					
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナル A (科目ナンバリング: BAS071043)				
授業担当者(所属・職名)	櫻井 美帆子(社会福祉学科・准教授)	研究室所在	1号館4階		
単位数	1 (単位認定責任者: 櫻井 美帆子)		CAP制		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	現場の実務経験から得た事例等を用いて、福祉に対する理解を深めていく。		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	シラバスの説明 アイスブレイキング	自己紹介を行うので、内容を整理しておく(45分)。	アイスブレイキングの効果を考察する。(45分)
2	記録の書き方	今回の内容について、書籍やインターネットで調べる。(45分)	記録のポイントを配布資料ノートで確認する。(45分)
3	福祉の仕事のイメージ	今回の内容の発表内容を整理する。(45分)	クラスのメンバーの意見と自身の意見を比較し考察する。(45分)
4	福祉の仕事を目指す理由	今回の内容の発表内容を整理する。(45分)	クラスのメンバーの意見と自身の意見を比較し考察する。(45分)
5	福祉の仕事を目指す理由	今回の内容の発表内容を整理する。(45分)	クラスのメンバーの意見と自身の意見を比較し考察する。(45分)
6	福祉の職場	今回の内容について、書籍やインターネットで調べる。(45分)	役割分担した内容について調べて整理する。(45分)
7	福祉の職場	今回の内容について、書籍やインターネットで調べる。(45分)	役割分担した内容について調べて整理する。(45分)
8	中間まとめ	1回から7回の内容を振り返り、疑問点や議論したい点を整理する。(45分)	クラスのメンバーの意見と自身の意見を比較し考察する。(45分)
9	福祉に関する資格	今回の内容について、書籍やインターネットで調べる。(45分)	役割分担した内容について調べて整理する。(45分)
10	福祉に関する資格	今回の内容について、書籍やインターネットで調べる。(45分)	役割分担した内容について調べて整理する。(45分)
11	福祉従事者の手記から福祉の仕事を考える。	福祉従事者が著した書籍を図書館で借りる。(45分)	クラスのメンバーの意見と自身の意見を比較し考察する。(45分)
12	福祉従事者の手記から福祉の仕事を考える。	福祉従事者が著した書籍を読む。(45分)	クラスのメンバーの意見と自身の意見を比較し考察する。(45分)
13	福祉サービス利用者の手記から福祉の仕事を考える。	福祉サービス利用者が著した書籍を図書館で借りる。(45分)	クラスのメンバーの意見と自身の意見を比較し考察する。(45分)
14	福祉サービス利用者の手記から福祉の仕事を考える。	福祉サービス利用者が著した書籍を読む。(45分)	クラスのメンバーの意見と自身の意見を比較し考察する。(45分)
15	福祉従事者に求められる資質を考える。	発表内容を整理する。(45分)	クラスのメンバーの意見と自身の意見を比較し考察する。(45分)
16	まとめ	15回までの授業内容を振り返り、疑問点や議論したい点を整理する。(45分)	全体を振り返り、今後の課題を考察する。(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS071043)				
授業担当者(所属・職名)	湯浅 頼佳 (社会福祉学科・専任講師)	研究室所在	1号館3階		
単位数	1 (単位認定責任者: 湯浅 頼佳)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
「食生活の重要性を考える」というテーマを基に、学生と教員双方の人間関係を築き、「課題探求能力」養成を軸とした学習活動やその意義を理解する。提示されたテーマの他様々な事柄への好奇心・探求心・向学心を刺激しながら学習能力が高まり、また、「学びの方法」を修得する。

授業の位置づけ
社会福祉学科のDP「1(2)と(3)と(4)と(6)」、「2(1)」に対応する。 経営学科のDP「1(2)」、「2(1)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(2)」、「2(1)」に対応する。 建築学科のDP「(3)」、「2(1)」に対応する。

到達目標
上記の授業内容や目的・ねらいを理解し、自分に必要な課題探求の道筋を明らかにすることができる。

授業全体の内容と概要
人間は食べるものによって栄養を取り入れ、様々な活動を可能としている。乳幼児から高齢者まで各々の目的や問題の違いはあれ、それぞれ生活リズムの確立や健康、QOL、疾病防止などを目的として望ましい食生活をする事が必要となる。学生それぞれが自分自身の食生活だけでなく職業的(保育士、社会福祉士、スポーツトレーナー、教員等)に必要な問題意識を持ち知識を身につけることを目標とする。

授業の方法
食生活や栄養に関する問題の中からそれぞれが研究テーマを見つけ、プレゼンテーションやディスカッション、グループワーク、フィールドワーク、実習等を実施する。また必要に応じて教員がテーマに関し講義も行い、カレントトピックスについても解説する。質疑応答には随時対応する。

アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>プレゼンテーション</td> <td>○</td> <td>グループワーク</td> <td>○</td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>ディスカッション</td> <td>○</td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	○	プレゼンテーション	○	グループワーク	○	フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業	○	ディスカッション	○	実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
○	プレゼンテーション	○	グループワーク	○	フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
○	ディスカッション	○	実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	

履修上の注意事項
出席を重視する。欠席をする場合は必ず事前に連絡をすること。出席数を満たしていてもゼミの運営を乱す行為があった場合は評価をしない場合がある。また同じくゼミの運営に支障を来たす行為があった場合は途中でゼミ異動を宣告する場合がある。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
出席状況(3分の2以上)。ゼミ内での活動(プレゼンテーションやディスカッション、グループワーク、フィールドワーク、実習等)とゼミ内での役割の認識と行動により総合評価する。												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>20%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>30%</td> <td>50%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	20%	0%	0%	30%	50%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	20%	0%	0%	30%	50%							

ルーブリック																																									
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあたるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> <tr> <td>知識・理解(協調性、傾聴力)</td> <td>ゼミ内でのプレゼンテーションに積極的に耳を傾け、タイミングよく質問することができた。</td> <td>ゼミ内でのプレゼンテーションに耳を傾け、タイミングよく質問することができた。</td> <td>ゼミ内でのプレゼンテーションに耳を傾け質問することができた。</td> <td>ゼミ内でのプレゼンテーションに耳を傾け何回か質問することができなかった。</td> <td>ゼミ内でのプレゼンテーションに耳を傾けることは出来ず質問できなかった。</td> </tr> <tr> <td>知識・理解(興味、関心)</td> <td>新聞、ニュース、トピックス等に関心を持ち積極的に食生活や栄養についてのテーマを発見することができた。</td> <td>新聞、ニュース、トピックス等に関心を持ち食生活や栄養についてのテーマを概ね発見することができた。</td> <td>新聞、ニュース、トピックス等に関心を持ち食生活や栄養についてのテーマを発見することができた。</td> <td>新聞、ニュース、トピックス等に関心を持つ努力をしながら食生活や栄養についてのテーマを発見することができた。</td> <td>新聞、ニュース、トピックス等に関心を持ち食生活や栄養についてのテーマを発見することができなかった。</td> </tr> <tr> <td>汎用的機能(トークスキル、表現力)</td> <td>ゼミ内でのプレゼンテーションにおいて聞き手が理解しやすいよう資料を十分揃えわかりやすく発表することができた。</td> <td>ゼミ内でのプレゼンテーションにおいて聞き手が理解しやすいようわかりやすく発表することができた。</td> <td>ゼミ内でのプレゼンテーションにおいて聞き手が理解しやすいよう概ねわかりやすく発表することができた。</td> <td>ゼミ内でのプレゼンテーションにおいて聞き手が理解しやすいよう発表することができた。</td> <td>ゼミ内でのプレゼンテーションにおいて聞き手が理解しやすいよう発表することができなかった。</td> </tr> <tr> <td>態度・志向性(リーダーシップ、態度)</td> <td>ゼミ内での自分の役割を十分に認識し、積極的にゼミ運営に関わることができた。</td> <td>ゼミ内での自分の役割を十分に認識し、ゼミ運営に関わることができた。</td> <td>ゼミ内での自分の役割を認識し、ゼミ運営に関わることができた。</td> <td>ゼミ内での自分の役割を認識し、ゼミ運営に多少関わることができた。</td> <td>ゼミ内での自分の役割を認識できなかった。</td> </tr> <tr> <td>態度・志向性(意欲)</td> <td>休まずゼミに出席できた。(出席16回)</td> <td>概ねゼミに出席できた。(出席15-14回)</td> <td>休みがちではあるが出席できた。(出席13-12回)</td> <td>欠席が目立つが出席できた。(出席11-10回)</td> <td>評価前提条件を満たす事ができなかった。(出席9-0回)</td> </tr> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあたるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	知識・理解(協調性、傾聴力)	ゼミ内でのプレゼンテーションに積極的に耳を傾け、タイミングよく質問することができた。	ゼミ内でのプレゼンテーションに耳を傾け、タイミングよく質問することができた。	ゼミ内でのプレゼンテーションに耳を傾け質問することができた。	ゼミ内でのプレゼンテーションに耳を傾け何回か質問することができなかった。	ゼミ内でのプレゼンテーションに耳を傾けることは出来ず質問できなかった。	知識・理解(興味、関心)	新聞、ニュース、トピックス等に関心を持ち積極的に食生活や栄養についてのテーマを発見することができた。	新聞、ニュース、トピックス等に関心を持ち食生活や栄養についてのテーマを概ね発見することができた。	新聞、ニュース、トピックス等に関心を持ち食生活や栄養についてのテーマを発見することができた。	新聞、ニュース、トピックス等に関心を持つ努力をしながら食生活や栄養についてのテーマを発見することができた。	新聞、ニュース、トピックス等に関心を持ち食生活や栄養についてのテーマを発見することができなかった。	汎用的機能(トークスキル、表現力)	ゼミ内でのプレゼンテーションにおいて聞き手が理解しやすいよう資料を十分揃えわかりやすく発表することができた。	ゼミ内でのプレゼンテーションにおいて聞き手が理解しやすいようわかりやすく発表することができた。	ゼミ内でのプレゼンテーションにおいて聞き手が理解しやすいよう概ねわかりやすく発表することができた。	ゼミ内でのプレゼンテーションにおいて聞き手が理解しやすいよう発表することができた。	ゼミ内でのプレゼンテーションにおいて聞き手が理解しやすいよう発表することができなかった。	態度・志向性(リーダーシップ、態度)	ゼミ内での自分の役割を十分に認識し、積極的にゼミ運営に関わることができた。	ゼミ内での自分の役割を十分に認識し、ゼミ運営に関わることができた。	ゼミ内での自分の役割を認識し、ゼミ運営に関わることができた。	ゼミ内での自分の役割を認識し、ゼミ運営に多少関わることができた。	ゼミ内での自分の役割を認識できなかった。	態度・志向性(意欲)	休まずゼミに出席できた。(出席16回)	概ねゼミに出席できた。(出席15-14回)	休みがちではあるが出席できた。(出席13-12回)	欠席が目立つが出席できた。(出席11-10回)	評価前提条件を満たす事ができなかった。(出席9-0回)
評価項目		評価基準																																							
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあたるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
知識・理解(協調性、傾聴力)	ゼミ内でのプレゼンテーションに積極的に耳を傾け、タイミングよく質問することができた。	ゼミ内でのプレゼンテーションに耳を傾け、タイミングよく質問することができた。	ゼミ内でのプレゼンテーションに耳を傾け質問することができた。	ゼミ内でのプレゼンテーションに耳を傾け何回か質問することができなかった。	ゼミ内でのプレゼンテーションに耳を傾けることは出来ず質問できなかった。																																				
知識・理解(興味、関心)	新聞、ニュース、トピックス等に関心を持ち積極的に食生活や栄養についてのテーマを発見することができた。	新聞、ニュース、トピックス等に関心を持ち食生活や栄養についてのテーマを概ね発見することができた。	新聞、ニュース、トピックス等に関心を持ち食生活や栄養についてのテーマを発見することができた。	新聞、ニュース、トピックス等に関心を持つ努力をしながら食生活や栄養についてのテーマを発見することができた。	新聞、ニュース、トピックス等に関心を持ち食生活や栄養についてのテーマを発見することができなかった。																																				
汎用的機能(トークスキル、表現力)	ゼミ内でのプレゼンテーションにおいて聞き手が理解しやすいよう資料を十分揃えわかりやすく発表することができた。	ゼミ内でのプレゼンテーションにおいて聞き手が理解しやすいようわかりやすく発表することができた。	ゼミ内でのプレゼンテーションにおいて聞き手が理解しやすいよう概ねわかりやすく発表することができた。	ゼミ内でのプレゼンテーションにおいて聞き手が理解しやすいよう発表することができた。	ゼミ内でのプレゼンテーションにおいて聞き手が理解しやすいよう発表することができなかった。																																				
態度・志向性(リーダーシップ、態度)	ゼミ内での自分の役割を十分に認識し、積極的にゼミ運営に関わることができた。	ゼミ内での自分の役割を十分に認識し、ゼミ運営に関わることができた。	ゼミ内での自分の役割を認識し、ゼミ運営に関わることができた。	ゼミ内での自分の役割を認識し、ゼミ運営に多少関わることができた。	ゼミ内での自分の役割を認識できなかった。																																				
態度・志向性(意欲)	休まずゼミに出席できた。(出席16回)	概ねゼミに出席できた。(出席15-14回)	休みがちではあるが出席できた。(出席13-12回)	欠席が目立つが出席できた。(出席11-10回)	評価前提条件を満たす事ができなかった。(出席9-0回)																																				

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS071043)				
授業担当者(所属・職名)	湯浅 頼佳 (社会福祉学科・専任講師)	研究室所在	1号館3階		
単位数	1 (単位認定責任者: 湯浅 頼佳)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	オリエンテーション及びシラバスの説明	ゼミ初回に必要な事項について考える。(45分)	シラバスについて確認する。ゼミ内での自分の役割について考える(45分)
2	「食生活の重要性を考える A」	新聞、ニュース、トピックス等に目を向け食生活や栄養についてのテーマを発見する。(45分)	本日のゼミ内容について振り返りを行う。(45分)
3	「食生活の重要性を考える A」	新聞、ニュース、トピックス等に目を向け食生活や栄養についてのテーマを発見する。(45分)	本日のゼミ内容について振り返りを行う。(45分)
4	「食生活の重要性を考える A」	新聞、ニュース、トピックス等に目を向け食生活や栄養についてのテーマを発見する。(45分)	本日のゼミ内容について振り返りを行う。(45分)
5	「食生活の重要性を考える A」	新聞、ニュース、トピックス等に目を向け食生活や栄養についてのテーマを発見する。(45分)	本日のゼミ内容について振り返りを行う。(45分)
6	「食生活の重要性を考える A」	新聞、ニュース、トピックス等に目を向け食生活や栄養についてのテーマを発見する。(45分)	本日のゼミ内容について振り返りを行う。(45分)
7	「食生活の重要性を考える A」	新聞、ニュース、トピックス等に目を向け食生活や栄養についてのテーマを発見する。(45分)	本日のゼミ内容について振り返りを行う。(45分)
8	「食生活の重要性を考える A」	新聞、ニュース、トピックス等に目を向け食生活や栄養についてのテーマを発見する。(45分)	本日のゼミ内容について振り返りを行う。(45分)
9	「食生活の重要性を考える A」	新聞、ニュース、トピックス等に目を向け食生活や栄養についてのテーマを発見する。(45分)	本日のゼミ内容について振り返りを行う。(45分)
10	「食生活の重要性を考える A」	新聞、ニュース、トピックス等に目を向け食生活や栄養についてのテーマを発見する。(45分)	本日のゼミ内容について振り返りを行う。(45分)
11	「食生活の重要性を考える A」	新聞、ニュース、トピックス等に目を向け食生活や栄養についてのテーマを発見する。(45分)	本日のゼミ内容について振り返りを行う。(45分)
12	「食生活の重要性を考える A」	新聞、ニュース、トピックス等に目を向け食生活や栄養についてのテーマを発見する。(45分)	本日のゼミ内容について振り返りを行う。(45分)
13	「食生活の重要性を考える A」	新聞、ニュース、トピックス等に目を向け食生活や栄養についてのテーマを発見する。(45分)	本日のゼミ内容について振り返りを行う。(45分)
14	「食生活の重要性を考える A」	新聞、ニュース、トピックス等に目を向け食生活や栄養についてのテーマを発見する。(45分)	本日のゼミ内容について振り返りを行う。(45分)
15	「食生活の重要性を考える A」	新聞、ニュース、トピックス等に目を向け食生活や栄養についてのテーマを発見する。(45分)	本日のゼミ内容について振り返りを行う。(45分)
16	まとめ	まとめの準備を行う。(45分)	まとめの振り返りを行う。(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS071043)				
授業担当者(所属・職名)	尾西 則昭 (社会福祉学科・特任教授)	研究室所在	1号2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 尾西 則昭)	CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標	生活の多様な側面から人間の生活と健康を理解し、より健康な生活に創り出して行くための必要な知識を身につける。				
授業の位置づけ	経営学科のDP「1(1)」、「2(3)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(2)」、「1(3)」、「1(5)」、「1(6)」、「1(7)」、「2(4)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(3)」、「2(5)」に対応する。 建築学科のDP「1(2)」、「2(5)」に対応する。				
到達目標	家族、個人という様々なレベルにおける健康的な生活について理解し、知識を身につけ、健康について一層関心を持つことができる。				
授業全体の内容と概要	生活の多様な側面に焦点を当て、個人家族、地域社会という様々なレベルにおける人間の健康的な生活について詳しく解説する。				
授業の方法	資料を通読し、その内容にかかわって説明や質疑応答及びディスカッションを行います。板書や教材提示装置を活用します。健康に関するキーワードについての調べ学習及びその発表を行います。課題や発表等に対応するフィードバックや要望等への対応は、少人数集団の利点生かし、口頭で行います。				
アクティブラーニングの実施方法	<input type="checkbox"/> プレゼンテーション	<input type="checkbox"/> グループワーク	<input type="checkbox"/> フィールドワーク	<input type="checkbox"/> PBL	
	<input type="checkbox"/> 模擬授業	<input type="checkbox"/> ロールプレイ	<input type="checkbox"/> 調査学習	<input type="checkbox"/> 反転授業	
	<input type="checkbox"/> ディスカッション	<input type="checkbox"/> 実験・実習・実技	<input type="checkbox"/> 双方向授業	<input type="checkbox"/> その他(授業の方法参照)	
履修上の注意事項	積極的に取り組むことを期待します。20分以上の遅刻は欠席とみなします。遅刻3回で1回の欠席とみなします。授業に臨む際に求められる態度・姿勢・集中して聞き、授業中の私語は慎むこと。				
資格指定科目					

評価方法・基準

評価前提条件	単位認定に必要な最低出席回数11回以上					
評価方法	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
	0%	20%	50%	0%	30%	0%

ルーブリック	評価基準				
評価項目	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
知識・技能	健康について基礎的な知識を深く理解できる。	健康について基礎的な知識をおおむね理解できる。	健康について基礎的な知識を理解できる。	健康について基礎的な知識を多少理解できる。	健康について基礎的な知識を理解することができなかった。
思考力・判断力・表現力	健康の基本を踏まえた健康内容の展開について十分に考察できる。	健康の基本を踏まえた健康内容の展開についておおむね考察できる。	健康の基本を踏まえた健康内容について考察できる。	健康の基本を踏まえた健康内容の展開について多少考察できる。	健康の基本を踏まえた健康内容の展開について考察することができなかった。
主体的に取り組む態度	健康の多様な展開について理解したことをわかりやすく説明できる。	健康の多様な展開について理解したことをおおむね説明できる。	健康の多様な展開について理解したことを説明できる。	健康の多様な展開について理解したことを多少説明できる。	健康の多様な展開について理解したことを説明することができなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	¹⁾ 使用しない。					
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	²⁾ 資料配布。					
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS071043)				
授業担当者(所属・職名)	尾西 則昭 (社会福祉学科・特任教授)	研究室所在	1号2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 尾西 則昭)	CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	ガイダンス 「シラバス説明」	事前にシラバスを読んで確認する。(45分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(45分)
2	人間の生活と健康の調査	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(45分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(45分)
3	人間の生活と健康調査	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(45分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(45分)
4	人間の生活と健康調査	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(45分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(45分)
5	人間の生活と健康調査	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(45分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(45分)
6	人間の生活と健康調査	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(45分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(45分)
7	人間の生活と健康調査	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(45分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(45分)
8	食中毒の予防	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(45分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(45分)
9	食中毒の予防	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(45分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(45分)
10	ライフサイクルと栄養	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(45分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(45分)
11	ライフサイクルと栄養	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(45分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(45分)
12	健康プログラム	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(45分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(45分)
13	健康プログラム	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(45分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(45分)
14	健康プログラム	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(45分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(45分)
15	健康プログラム	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(45分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(45分)
16	まとめ	ノートに記載された内容を再復習し、理解する。(45分)	解説の内容を確認する。(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS071043)				
授業担当者(所属・職名)	西崎 毅(社会福祉学科・特任教授)	研究室所在	2号館6階		
単位数	1 (単位認定責任者: 西崎 毅)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	高等学校教員及び教育行政職員としての経験を活かして教職に関連する指導を行う。		

概要

履修目標

教員になるために必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び意欲を身に付ける。

授業の位置づけ

経営学科のDP「1(4)、(5)」、「2(3)」に対応する。
 社会福祉学科のDP「1(2)、(3)、(4)、(5)、(6)、(7)」、「2(4)」に対応する。
 デザイン学科のDP「1(2)、(3)」、「2(5)」に対応する。
 建築学科のDP「1(2)、(3)」、「2(5)」に対応する。

到達目標

教育制度や内容についてその概要を理解することができる。
 教育の諸問題についてその概要を理解することができる。
 教員になるために必要な事項についてその概要を理解することができる。

授業全体の内容と概要

各回の授業テーマについて考える。
 教育にかかわる法令、中央教育審議会答申、学習指導要領などの通読
 教育に関する基本的事項についての調べ学習
 教員として求められる一般教職及び教職教職の学修
 学校視察やボランティア活動等への参加
 演習検定等への参加

授業の方法

教育にかかわる法令、中央教育審議会答申、学習指導要領などを通読し、その内容にかかわって説明や質疑応答及びディスカッションを行います。板書や教材提示装置を活用する。教育に関するキーワードについての調べ学習及びその発表を行う。
 教員として求められる一般教職及び教職教職について演習を行う。課題や発表等に対する評価のフィードバックや要望等への対応は口頭で行う。

アクティブラーニングの実施方法

	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

教職課程を履修し、大学卒業後に教職に就く強い希望と意思を持った学生を原則対象とする。
 原則としてサブメジャープログラムの「教育採用試験対策プログラム」の履修を条件とする。
 漢字検定取得に真剣に取り組むこと。
 ノートを用意すること。(ルーズリーフは不可)
 プリント類はプラットフォームに格納し、毎回授業に持参すること。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件

単位認定に必要なとなる最低出席回数は11回。

評価方法

定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	0%	20%	0%	80%	0%

ルーブリック

評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間に差があるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
知識・技能	学修した知識・技能を確実に修得するとともに、それらに関連した知識・技能についても習得することができた。	学修した知識・技能を十分に修得することができた。	学修した知識・技能を修得することができた。	学修した知識・技能を修得したが、最低限容認できるレベルにとどまった。	学修した知識・技能を修得し、期待される最低限度の基準に到達することができなかった。
思考力・判断力・表現力等	与えられた課題に積極的に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関して期待されるレベルを大きく超えることができた。	与えられた課題に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関して期待されるレベルを十分に達成することができた。	与えられた課題に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関して期待されるレベルを達成することができた。	与えられた課題に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関して最低限容認できるレベルにとどまった。	与えられた課題に真面目に取り組まず、期待される最低限度の基準に到達することができなかった。
主体性・多様性・協働性	与えられた課題に積極的に取り組んだ。積極性や協働性に関して期待されるレベルを大きく超えることができた。	与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関して期待されるレベルを十分に達成することができた。	与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関して期待されるレベルを達成することができた。	与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関して最低限容認できるレベルにとどまった。	与えられた課題に真面目に取り組まず、期待される最低限度の基準に到達することができなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	別途購入案内する。a					
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等

No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	別途購入案内する。a					
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS071043)				
授業担当者(所属・職名)	西崎 毅(社会福祉学科・特任教授)	研究室所在	2号館6階		
単位数	1 (単位認定責任者: 西崎 毅)		CAP制		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容 高等学校教員及び教育行政職員としての経験を活かして教職に関連する指導を行う。			

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	オリエンテーション(シラバスの説明含む)自己紹介(教員になるための抱負を含む)	教職志望の理由をまとめること。(45分)	本時に課された事後課題を行い次時に提出すること。(45分)
2	ディスカッション 教師になるために必要なことを考える ディスカッション 学修計画の作成	前時に課された課題を行い提出すること。(45分)	本時に課された事後課題を行い次時に提出すること。(45分)
3	教師になるために必要なことを考える ディスカッション 学修計画の作成	前時に課された課題を行い提出すること。(45分)	本時に課された事後課題を行い次時に提出すること。(45分)
4	教師という仕事について考える ディスカッション 一般教養及び教職教養の演習	前時に課された課題を行い提出すること。(45分)	本時に課された事後課題を行い次時に提出すること。(45分)
5	教師という仕事について考える ディスカッション 一般教養及び教職教養の演習	前時に課された課題を行い提出すること。(45分)	本時に課された事後課題を行い次時に提出すること。(45分)
6	教員に求められる資質能力について考える 法令・学習指導要領等の通読及びディスカッション 一般教養及び教職教養の演習	前時に課された課題を行い提出すること。(45分)	本時に課された事後課題を行い次時に提出すること。(45分)
7	教員に求められる資質能力について考える 法令・学習指導要領等の通読及びディスカッション 一般教養及び教職教養の演習	前時に課された課題を行い提出すること。(45分)	本時に課された事後課題を行い次時に提出すること。(45分)
8	子供たちを取り巻く状況を知る 法令・学習指導要領等の通読及びディスカッション 一般教養及び教職教養の演習	前時に課された課題を行い提出すること。(45分)	本時に課された事後課題を行い次時に提出すること。(45分)
9	子供たちを取り巻く状況を知る 法令・学習指導要領等の通読及びディスカッション 一般教養及び教職教養の演習	前時に課された課題を行い提出すること。(45分)	本時に課された事後課題を行い次時に提出すること。(45分)
10	子どもたちに身に付けさせるべき資質・能力について考える 法令・学習指導要領等の通読及びディスカッション	前時に課された課題を行い提出すること。(45分)	本時に課された事後課題を行い次時に提出すること。(45分)
11	子どもたちに身に付けさせるべき資質・能力について考える 法令・学習指導要領等の通読及びディスカッション	前時に課された課題を行い提出すること。(45分)	本時に課された事後課題を行い次時に提出すること。(45分)
12	子どもたちに身に付けさせるべき資質・能力について考える 法令・学習指導要領等の通読及びディスカッション	前時に課された課題を行い提出すること。(45分)	本時に課された事後課題を行い次時に提出すること。(45分)
13	学習指導要領について考える 法令・学習指導要領等の通読及びディスカッション 一般教養及び教職教養の演習	前時に課された課題を行い提出すること。(45分)	本時に課された事後課題を行い次時に提出すること。(45分)
14	学習指導要領について考える 法令・学習指導要領等の通読及びディスカッション 一般教養及び教職教養の演習	前時に課された課題を行い提出すること。(45分)	本時に課された事後課題を行い次時に提出すること。(45分)
15	学習指導要領について考える 法令・学習指導要領等の通読及びディスカッション 一般教養及び教職教養の演習	前時に課された課題を行い提出すること。(45分)	本時に課された事後課題を行い次時に提出すること。(45分)
16	前期の学修の総括及び反省	前時に課された課題を行い提出すること。(45分)	1年間の学修を振り返り、自己評価を行うこと。(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS071043)				
授業担当者(所属・職名)	堀川 厚志(社会福祉学科・特任教授)	研究室所在	2号館8階		
単位数	1 (単位認定責任者: 堀川 厚志)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	学校教育現場及び教育行政機関に勤務経験のある教員が、特別支援教育に必要な今日的課題等について指導する。		

概要

履修目標
特別支援教育における個に応じた指導、配慮等の基盤となる内容である感覚、身体、運動に関する基本的な機能や定型発達、発達の遅れや偏り等について理解し、特別支援教育への関心を高める。

授業の位置づけ
経営学科のDP「1(2)と(3)と(4)」、 「2(1)と(3)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(2)と(3)と(5)」、 「2(1)と(5)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(1)と(2)」、 「2(1)と(5)」に対応する。 建築学科のDP「1(1)と(3)」、 「2(1)と(5)」に対応する。

到達目標
身体感覚、運動に関する機能、定型発達、発達の遅れや偏り等の様相がわかる。

授業全体の内容と概要
一般的な発達論等の知見をとおして、基本的な機能や定型発達、発達の遅れや偏り等について理解する。感覚については、感覚器(特殊感覚、体性感覚)と受容、知覚等の機能を、運動については、反射、移動、手や指による操作、描画に関する段階的な発達の様相について理解する。

授業の方法
・授業では、プレゼンテーション及び配付資料等により説明をした後、テーマの任意選択によりグループを構成し、グループワークを展開する。 ・グループワークでは、計画、調査、探究、整理、資料作成等の一連の活動(2サイクル)を行う。 ・全体への報告資料作成(2回)、パワーポイント等の視覚メディアによる全体発表会(2回)等をおして、情報共有し、全体への理解を図る。 ・グループワーク及び資料内容、発表内容等に対して、自己評価を下にしたコメントによるフィードバックを行う。

アクティブラーニングの実施方法												
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>グループワーク</td> <td>フィールドワーク</td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td>ロールプレイ</td> <td>調査学習</td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td>実験・実習・実技</td> <td>双方向授業</td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL	模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業	ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL									
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業									
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)									

履修上の注意事項
障害のある子に対する教育的な対応や特別支援教育に強い関心がある者とする。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
単位認定に必要な最低出席回数は、10回以上とする。												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>20%</td> <td>50%</td> <td>0%</td> <td>20%</td> <td>10%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	20%	50%	0%	20%	10%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	20%	50%	0%	20%	10%							

ルーブリック																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>感覚、運動に関する機能、定型発達、発達の遅れや偏り等の知識・理解</td> <td>感覚、運動に関する機能、定型発達、発達の遅れや偏り等について、十分に理解し、さらに深化させるための発展的な探究活動ができた。</td> <td>感覚、運動に関する機能、定型発達、発達の遅れや偏り等について、十分に理解できた。</td> <td>感覚、運動に関する機能、定型発達、発達の遅れや偏り等について、一定程度に理解できた。</td> <td>感覚、運動に関する機能、定型発達、発達の遅れや偏り等について、さらに学修が必要であるが、部分的には理解できた。</td> <td>感覚、運動に関する機能、定型発達、発達の遅れや偏り等について、まったく理解できなかった。</td> </tr> <tr> <td>グループワークによる内容の整理、資料作成、報告、発表等による説明等の思考力、判断力、表現力の向上</td> <td>内容を的確かつ発展的に整理し、理解しやすい報告、発表などをおして、思考力、判断力、表現力を十分に高めることができた。</td> <td>内容を的確に整理し、理解しやすい報告、発表などをおして、思考力、判断力、表現力を十分に高めることができた。</td> <td>内容を整理し、報告、発表などをおして、思考力、判断力、表現力を高めることができた。</td> <td>内容を整理し、報告、発表などをおして、部分的に思考力、判断力、表現力を高めることができた。</td> <td>内容を整理できず、報告、発表などをおして、できなかったため、思考力、判断力、表現力を高めることができなかった。</td> </tr> <tr> <td>授業への参加意欲や学修に向かう姿勢・態度</td> <td>授業には意欲的に参加し、グループワークや報告会等についても、常に自ら積極的に取り組むことができた。</td> <td>授業には意欲的に参加し、グループワークや報告会等についても、部分的に積極的に取り組むことができた。</td> <td>授業に関心をもって参加し、グループワークや報告会等にも関心をもって取り組むことができた。</td> <td>授業に対して部分的に積極的に取り組み、グループワークや報告会等にもある程度関心をもって取り組むことができた。</td> <td>授業に対して消極的であり、グループワークや報告会等にも積極的に取り組むことができなかった。</td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	感覚、運動に関する機能、定型発達、発達の遅れや偏り等の知識・理解	感覚、運動に関する機能、定型発達、発達の遅れや偏り等について、十分に理解し、さらに深化させるための発展的な探究活動ができた。	感覚、運動に関する機能、定型発達、発達の遅れや偏り等について、十分に理解できた。	感覚、運動に関する機能、定型発達、発達の遅れや偏り等について、一定程度に理解できた。	感覚、運動に関する機能、定型発達、発達の遅れや偏り等について、さらに学修が必要であるが、部分的には理解できた。	感覚、運動に関する機能、定型発達、発達の遅れや偏り等について、まったく理解できなかった。	グループワークによる内容の整理、資料作成、報告、発表等による説明等の思考力、判断力、表現力の向上	内容を的確かつ発展的に整理し、理解しやすい報告、発表などをおして、思考力、判断力、表現力を十分に高めることができた。	内容を的確に整理し、理解しやすい報告、発表などをおして、思考力、判断力、表現力を十分に高めることができた。	内容を整理し、報告、発表などをおして、思考力、判断力、表現力を高めることができた。	内容を整理し、報告、発表などをおして、部分的に思考力、判断力、表現力を高めることができた。	内容を整理できず、報告、発表などをおして、できなかったため、思考力、判断力、表現力を高めることができなかった。	授業への参加意欲や学修に向かう姿勢・態度	授業には意欲的に参加し、グループワークや報告会等についても、常に自ら積極的に取り組むことができた。	授業には意欲的に参加し、グループワークや報告会等についても、部分的に積極的に取り組むことができた。	授業に関心をもって参加し、グループワークや報告会等にも関心をもって取り組むことができた。	授業に対して部分的に積極的に取り組み、グループワークや報告会等にもある程度関心をもって取り組むことができた。	授業に対して消極的であり、グループワークや報告会等にも積極的に取り組むことができなかった。
評価項目		評価基準																											
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																								
感覚、運動に関する機能、定型発達、発達の遅れや偏り等の知識・理解	感覚、運動に関する機能、定型発達、発達の遅れや偏り等について、十分に理解し、さらに深化させるための発展的な探究活動ができた。	感覚、運動に関する機能、定型発達、発達の遅れや偏り等について、十分に理解できた。	感覚、運動に関する機能、定型発達、発達の遅れや偏り等について、一定程度に理解できた。	感覚、運動に関する機能、定型発達、発達の遅れや偏り等について、さらに学修が必要であるが、部分的には理解できた。	感覚、運動に関する機能、定型発達、発達の遅れや偏り等について、まったく理解できなかった。																								
グループワークによる内容の整理、資料作成、報告、発表等による説明等の思考力、判断力、表現力の向上	内容を的確かつ発展的に整理し、理解しやすい報告、発表などをおして、思考力、判断力、表現力を十分に高めることができた。	内容を的確に整理し、理解しやすい報告、発表などをおして、思考力、判断力、表現力を十分に高めることができた。	内容を整理し、報告、発表などをおして、思考力、判断力、表現力を高めることができた。	内容を整理し、報告、発表などをおして、部分的に思考力、判断力、表現力を高めることができた。	内容を整理できず、報告、発表などをおして、できなかったため、思考力、判断力、表現力を高めることができなかった。																								
授業への参加意欲や学修に向かう姿勢・態度	授業には意欲的に参加し、グループワークや報告会等についても、常に自ら積極的に取り組むことができた。	授業には意欲的に参加し、グループワークや報告会等についても、部分的に積極的に取り組むことができた。	授業に関心をもって参加し、グループワークや報告会等にも関心をもって取り組むことができた。	授業に対して部分的に積極的に取り組み、グループワークや報告会等にもある程度関心をもって取り組むことができた。	授業に対して消極的であり、グループワークや報告会等にも積極的に取り組むことができなかった。																								

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>『発達心理学』</td> <td>林 創(編)</td> <td>ミネルヴァ書房</td> <td>2019</td> <td>978-4-623-08622-1</td> <td></td> </tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1	『発達心理学』	林 創(編)	ミネルヴァ書房	2019	978-4-623-08622-1		2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1	『発達心理学』	林 創(編)	ミネルヴァ書房	2019	978-4-623-08622-1																																					
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS071043)				
授業担当者(所属・職名)	堀川 厚志(社会福祉学科・特任教授)	研究室所在	2号館8階		
単位数	1 (単位認定責任者: 堀川 厚志)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	学校教育現場及び教育行政機関に勤務経験のある教員が、特別支援教育に必要な今日的課題等について指導する。		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	オリエンテーション(取組の概要、シラバスの説明等)	シラバスを読む(45分)	オリエンテーションの内容を整理する(45分)
2	一般的な発達論、生涯発達の考え方等について 感覚(特殊感覚、体性感覚、内臓感覚)の概要	発達の考え方を調べる(45分)	発達について確かめる(45分)
3	特殊感覚、体性感覚に関する基本的な情報について グループの構成、活動計画の概要	感覚の概要を調べる(45分)	感覚の分類等確かめる(45分)
4	特殊感覚、体性感覚に関する感覚器 グループワーク(活動計画、役割分担等、情報収集)	感覚器を調べる(45分)	グループワーク内容を整理する(45分)
5	特殊感覚、体性感覚に関する感覚受容等 グループワーク	感覚受容を調べる(45分)	グループワーク内容を整理する(45分)
6	特殊感覚、体性感覚に関する機能等 グループワーク	機能を調べる(45分)	グループワーク内容を整理する(45分)
7	特殊感覚、体性感覚に関する発達の遅れや偏り等 グループワーク	発達の遅れや偏り等を調べる(45分)	グループワーク内容を整理する(45分)
8	特殊感覚、体性感覚の感覚器、受容、機能、発達の遅れや偏り等の整理と資料作成 グループワーク	作成資料について考える(45分)	グループワーク内容を整理する(45分)
9	特殊感覚、体性感覚の感覚器、受容、機能、発達の遅れや偏り等 全体報告(グループ発表)と振り返り、改善内容の	報告内容を確認する(45分)	報告内容確かめる(45分)
10	全体報告の改善内容の確認 運動機能、運動発達の概要、基本的な情報	運動発達を調べる(45分)	運動発達について確かめる(45分)
11	運動機能、運動発達の概要、基本的な情報 グループ構成、基本的な活動計画	運動発達を調べる(45分)	運動発達について確かめる(45分)
12	反射、移動、手や指の操作、描画に関する基本的な情報 グループワーク(活動計画、役割分担等の作成)	概要を調べる(45分)	グループワーク内容を整理する(45分)
13	反射、移動、手や指の操作、描画に関する発達の様相等 グループワーク	発達の様相等を調べる(45分)	グループワーク内容を整理する(45分)
14	反射、移動、手や指の操作、描画に関する発達の遅れや偏り等 グループワーク	発達の遅れや偏り等を調べる(45分)	グループワーク内容を整理する(45分)
15	反射、移動、手や指の操作、描画に関する発達の様相、遅れや偏り等の資料作成 グループワーク	作成資料について考える(45分)	グループワーク内容を整理する(45分)
16	反射、移動、手や指の操作、描画に関する発達の様相、遅れや偏り等 全体報告(グループ発表)と振り返り、改善内容の	報告内容を確認する(45分)	全内容を振り返る(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS071043)				
授業担当者(所属・職名)	小山 尋明(建築学科・准教授)	研究室所在	1号館4階		
単位数	1 (単位認定責任者: 小山 尋明)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標	競技スポーツの基礎的トレーニングを理解し、必要なトレーニングを自ら実践できるよう知識を身につける。																					
授業の位置づけ	<p>営学科のD P「1(4)」、「1(5)」、「2(1)」、「2(3)」に対応する。 社会福祉学科のD P「1(5)」、「1(6)」、「2(1)」、「2(4)」に対応する。 デザイン学科のD P「1(1)」、「1(2)」、「2(3)」、「2(5)」に対応する。 建築学科のD P「1(1)」、「1(3)」、「2(3)」、「2(5)」に対応する。</p>																					
到達目標	競技及び個人の特性を理解し、安全にトレーニングできる。																					
授業全体の内容と概要	競技スポーツに必要な基礎的トレーニングを実践し、自らの競技力向上のために必要なトレーニングを見つけ出し実践する。																					
授業の方法	プリントなど資料にて説明したのち、トレーニング室及び体育館などで実際にトレーニング(フィジカルとメンタル)をする。なお、今回の授業において前回の反省と確認を行う。																					
アクティブラーニングの実施方法	<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>P B L</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		P B L	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		P B L																
模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																
ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																
履修上の注意事項	男子バスケットボール部に所属の学生を対象とする。注意事項等の詳細についてはガイダンスにて説明する。																					
資格指定科目																						

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な最低出席回数は、10回以上。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	0%	0%	0%	60%	40%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
関心・意欲・態度・判断	積極的に行動し、意欲的に取り組み、安全に細心の注意を払うことができた。	積極的に行動し、意欲的に取り組み、安全に細心の注意を払うことが7割程度できた。	積極的に行動し、意欲的に取り組み、安全に細心の注意を払うことが5割程度できた。	積極的に行動し、意欲的に取り組み、安全に細心の注意を払うことが3割程度できた。	積極的に行動し、意欲的に取り組み、安全に細心の注意を払うことができなかった。
競技及び個人の特性を理解し、安全にトレーニングできる	目標設定の原理、原則、種類とその方法を理解し安全にトレーニングができた。	目標設定の原理、原則、種類とその方法を理解し安全にトレーニングが7割程度できた。	目標設定の原理、原則、種類とその方法を理解し安全にトレーニングが5割程度できた。	目標設定の原理、原則、種類とその方法を理解し安全にトレーニングが3割程度できた。	目標設定の原理、原則、種類とその方法を理解し安全にトレーニングができなかった。
知識・理解	フィジカルとメンタルトレーニングの知識・理解があり、正しく活用ができた。	フィジカルとメンタルトレーニングの知識・理解があり、正しく活用が7割程度できた。	フィジカルとメンタルトレーニングの知識・理解があり、正しく活用が5割程度できた。	フィジカルとメンタルトレーニングの知識・理解があり、正しく活用が3割程度できた。	フィジカルとメンタルトレーニングの知識・理解があり、正しく活用ができなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS071043)				
授業担当者(所属・職名)	小山 尋明(建築学科・准教授)	研究室所在	1号館4階		
単位数	1 (単位認定責任者: 小山 尋明)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	ガイダンス(シラバス説明)。	事前にシラバスを読んで確認しておく(45分)	ガイダンスの内容を理解しておく(45分)
2	トレーニング実践 1 (フィジカルとメンタル)	トレーニングの基礎と原則を確認しておく(45分)	トレーニングの基礎と原則を理解しておく(45分)
3	トレーニング実践 2 (フィジカルとメンタル)	トレーニングの基礎と原則を確認しておく(45分)	トレーニングの基礎と原則を理解しておく(45分)
4	トレーニング実践 3 (フィジカルとメンタル)	トレーニングの基礎と原則を確認しておく(45分)	トレーニングの基礎と原則を理解しておく(45分)
5	トレーニング実践 4 (フィジカルとメンタル)	トレーニングの基礎と原則を確認しておく(45分)	トレーニングの基礎と原則を理解しておく(45分)
6	トレーニング実践 5 (フィジカルとメンタル)	トレーニングの基礎と原則を確認しておく(45分)	トレーニングの基礎と原則を理解しておく(45分)
7	トレーニング実践 6 (フィジカルとメンタル)	トレーニングの基礎と原則を確認しておく(45分)	トレーニングの基礎と原則を理解しておく(45分)
8	トレーニング実践 7 (フィジカルとメンタル)	トレーニングの基礎と原則を確認しておく(45分)	トレーニングの基礎と原則を理解しておく(45分)
9	トレーニング実践 8 (フィジカルとメンタル)	トレーニングの基礎と原則を確認しておく(45分)	トレーニングの基礎と原則を理解しておく(45分)
10	トレーニング実践 9 (フィジカルとメンタル)	トレーニングの基礎と原則を確認しておく(45分)	トレーニングの基礎と原則を理解しておく(45分)
11	トレーニング実践 1.0 (フィジカルとメンタル)	トレーニングの基礎と原則を確認しておく(45分)	トレーニングの基礎と原則を理解しておく(45分)
12	トレーニング実践 1.1 (フィジカルとメンタル)	トレーニングの基礎と原則を確認しておく(45分)	トレーニングの基礎と原則を理解しておく(45分)
13	トレーニング実践 1.2 (フィジカルとメンタル)	トレーニングの基礎と原則を確認しておく(45分)	トレーニングの基礎と原則を理解しておく(45分)
14	トレーニング実践 1.3 (フィジカルとメンタル)	トレーニングの基礎と原則を確認しておく(45分)	トレーニングの基礎と原則を理解しておく(45分)
15	トレーニング実践 1.4 (フィジカルとメンタル)	トレーニングの基礎と原則を確認しておく(45分)	トレーニングの基礎と原則を理解しておく(45分)
16	振り返りと確認。	内容を確認し理解を深めておくこと(45分)	専門用語の意味を理解しておくこと(45分)

回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS071043)				
授業担当者(所属・職名)	宮嶋 達也(デザイン学科・准教授)	研究室所在	2号館4階		
単位数	1 (単位認定責任者: 宮嶋 達也)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
<p>学生時代に地域社会で活動(貢献)することは、その地域や社会(企業)の理解や課題認識が必要であり、また、自らの学習成果を地域社会の中で試し検証する絶好の機会となる。自由な発想で問題提起し、プランニングからデザインなどの制作まで必要とされているものをゼミ活動でできる限り一貫して実践することを目標とする。自分の好きなこと、得意なことを交えながら楽しく活動する。</p>

授業の位置づけ
<p>経営学科のD P「1(2)、(4)、(5)」、「2(1)、(3)」に対応する。 福祉学科のD P「1(2)、(3)、(4)、(5)」、「2(4)」に対応する。 デザイン学科のD P「1(2)、(3)」、「2(1)、(3)」、「(5)」に対応する。 建築学科のD P「1(3)」、「2(1)、(3)、(5)」に対応する。</p>

到達目標
<p>(1) 制作活動を通して何を学ぶのか、各自の問題意識を明確にする。 (2) 様々な活動場面に応じて、適切なコミュニケーションを取りながら、他者との関わりをもつ。 (3) 対象者の特性に応じた指導や支援の仕方を実践的に学ぶ。 (4) 各自の活動経験を振り返り、今後進めていく上での自己の学習課題を設定する。</p>

授業全体の内容と概要
<p>授業では、グループワーク、討論、ワークショップ等のアクティビティを多く取り入れる。各自が問題意識を持ち活動し、考察結果などを全体で共有しながら、各自の考えが深められるようにする。</p>

授業の方法
<p>グループワークを中心にした活動が多いため、一人ひとりが自主性を持ち、他人任せになるようなことがないように、常に問題意識を持ち、議論しながら問題解決し、積極的に活動に励む。授業では、グループワーク、討論、ワークショップ等のアクティビティを多く取り入れる。</p>

アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td>○</td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td>○</td> <td>P B L</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク	○	P B L		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業	○	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク	○	P B L																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
○	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	

履修上の注意事項
<p>受講定員20名 受講条件 本ゼミを希望する学生は必ず活動内容の説明を聞きに選択志望する前に研究室へ来ること。 受講に関して以下の心構えがある学生を条件といたします。 社会に役立って達成感を得たり、自分に自信をつけたい人 やる気があり、最後まで活動をやり通す気力を持ち合わせている人 協力し合いながら目標に向かい活動を成功させる意気込みがある人</p>

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
<p>単位認定に必要な最低出席回数は、10回以上とする。</p>												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>50%</td> <td>0%</td> <td>20%</td> <td>30%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	0%	50%	0%	20%	30%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	0%	50%	0%	20%	30%							

ルーブリック																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>積極性、社会理解</td> <td>積極的にアイデアを出し、採用された。他人の発言を聴き、十分な理解に努め、積極的に意見した。</td> <td>積極的にアイデアを出した。他人の発言を聴き、十分な理解に努めた意見した。</td> <td>それなりにアイデアを出した。他人の発言を聞き、ある程度意見した。</td> <td>アイデアを殆ど出せなかった。他人の意見をあまり理解できなかった。</td> <td>アイデアを出せなかった。他人の意見を殆ど理解できなかった。</td> </tr> <tr> <td>課題解決能力と創造性</td> <td>仕事を的確に発見し、進め方を共有しあいながら適切に検討し、実行できた。</td> <td>仕事を進んで発見し、進め方を適切に検討し、実行できた。</td> <td>仕事を発見し、進め方を検討し、ある程度実行できた。</td> <td>仕事をあまり発見できず、依頼されたことだけ実行できた。</td> <td>仕事を発見できず、依頼されたこと、ほとんど実行できなかった。</td> </tr> <tr> <td>コミュニケーション能力と行動力</td> <td>他者をリードする態度で積極的に活動に取り組み、高いコミュニケーション能力と行動力があった。</td> <td>自主的・協働的に活動に取り組み、コミュニケーション能力や行動力があった。</td> <td>自らの考えでアクションを起こすことはあまりないが、必要なコミュニケーション能力や行動力はあった。</td> <td>自らの考えでアクションを起すことはなく、最低限度のコミュニケーション能力や行動力はあった。</td> <td>自らの考えでアクションを起すことができない。最低限度のコミュニケーション能力や行動力もほとんどなかった。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	積極性、社会理解	積極的にアイデアを出し、採用された。他人の発言を聴き、十分な理解に努め、積極的に意見した。	積極的にアイデアを出した。他人の発言を聴き、十分な理解に努めた意見した。	それなりにアイデアを出した。他人の発言を聞き、ある程度意見した。	アイデアを殆ど出せなかった。他人の意見をあまり理解できなかった。	アイデアを出せなかった。他人の意見を殆ど理解できなかった。	課題解決能力と創造性	仕事を的確に発見し、進め方を共有しあいながら適切に検討し、実行できた。	仕事を進んで発見し、進め方を適切に検討し、実行できた。	仕事を発見し、進め方を検討し、ある程度実行できた。	仕事をあまり発見できず、依頼されたことだけ実行できた。	仕事を発見できず、依頼されたこと、ほとんど実行できなかった。	コミュニケーション能力と行動力	他者をリードする態度で積極的に活動に取り組み、高いコミュニケーション能力と行動力があった。	自主的・協働的に活動に取り組み、コミュニケーション能力や行動力があった。	自らの考えでアクションを起こすことはあまりないが、必要なコミュニケーション能力や行動力はあった。	自らの考えでアクションを起すことはなく、最低限度のコミュニケーション能力や行動力はあった。	自らの考えでアクションを起すことができない。最低限度のコミュニケーション能力や行動力もほとんどなかった。												
評価項目		評価基準																																							
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
積極性、社会理解	積極的にアイデアを出し、採用された。他人の発言を聴き、十分な理解に努め、積極的に意見した。	積極的にアイデアを出した。他人の発言を聴き、十分な理解に努めた意見した。	それなりにアイデアを出した。他人の発言を聞き、ある程度意見した。	アイデアを殆ど出せなかった。他人の意見をあまり理解できなかった。	アイデアを出せなかった。他人の意見を殆ど理解できなかった。																																				
課題解決能力と創造性	仕事を的確に発見し、進め方を共有しあいながら適切に検討し、実行できた。	仕事を進んで発見し、進め方を適切に検討し、実行できた。	仕事を発見し、進め方を検討し、ある程度実行できた。	仕事をあまり発見できず、依頼されたことだけ実行できた。	仕事を発見できず、依頼されたこと、ほとんど実行できなかった。																																				
コミュニケーション能力と行動力	他者をリードする態度で積極的に活動に取り組み、高いコミュニケーション能力と行動力があった。	自主的・協働的に活動に取り組み、コミュニケーション能力や行動力があった。	自らの考えでアクションを起こすことはあまりないが、必要なコミュニケーション能力や行動力はあった。	自らの考えでアクションを起すことはなく、最低限度のコミュニケーション能力や行動力はあった。	自らの考えでアクションを起すことができない。最低限度のコミュニケーション能力や行動力もほとんどなかった。																																				

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>I S B N</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>I S B N</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS071043)				
授業担当者(所属・職名)	宮嶋 達也(デザイン学科・准教授)	研究室所在	2号館4階		
単位数	1 (単位認定責任者: 宮嶋 達也)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	オリエンテーション シラバスの説明	演習の準備 シラバスの熟読(45分)	演習内容を確認して理解を深める(45分)
2	Planning1	事前に作業しておくなどの準備(45分)	演習内容を確認して理解を深める(45分)
3	Planning2	事前に作業しておくなどの準備(45分)	演習内容を確認して理解を深める(45分)
4	Planning3	事前に作業しておくなどの準備(45分)	演習内容を確認して理解を深める(45分)
5	Research activities 1	事前に作業しておくなどの準備(45分)	演習内容を確認して理解を深める(45分)
6	Research activities 2	事前に作業しておくなどの準備(45分)	演習内容を確認して理解を深める(45分)
7	Research activities 3	事前に作業しておくなどの準備をすること(45分)	演習内容を確認して理解を深める(45分)
8	Creative activities 1	事前に作業しておくなどの準備(45分)	演習内容を確認して理解を深める(45分)
9	Creative activities 2	事前に作業しておくなどの準備をすること(45分)	演習内容を確認して理解を深める(45分)
10	Creative activities 3	事前に作業しておくなどの準備(45分)	演習内容を確認して理解を深める(45分)
11	Creative activities 4	事前に作業しておくなどの準備(45分)	演習内容を確認して理解を深める(45分)
12	Creative activities 5	事前に作業しておくなどの準備(45分)	演習内容を確認して理解を深める(45分)
13	presentation	事前に作業しておくなどの準備(45分)	演習内容を確認して理解を深める(45分)
14	presentation	事前に作業しておくなどの準備をすること(45分)	演習内容を確認して理解を深める(45分)
15	レポート・前期活動のまとめ	事前に作業しておくなどの準備(45分)	演習内容を確認して理解を深める(45分)
16	前期活動における総括と振り返り	事前に作業しておくなどの準備(45分)	演習内容を確認して理解を深める(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS071043)				
授業担当者(所属・職名)	横山 哲也(建築学科・准教授)	研究室所在	2号館7階		
単位数	1 (単位認定責任者: 横山 哲也)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
学生が大学で必要となる数学の基礎知識及び2年のゼミナールで行うSPIに必要な知識及び思考過程をしっかりと身につける。

授業の位置づけ
経営学科のDP「1(2)」、「2(1)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(2)」、「2(4)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(1)」、「2(5)」に対応する。 建築学科のDP「1(1)」、「2(5)」に対応する。

到達目標
大学で必要となる数学の基礎知識及び2年のゼミナールで行うSPIに必要な知識及び思考過程を修得できる。

授業全体の内容と概要
数から始まり数の計算及び式の計算等を練習問題を計算することによって、数学の問題を解く実感及びSPIに必要な数学の知識をつかませる。

授業の方法
授業は、板書で実施し、板書にて説明しながら、演習を行う。課題は学生が提出後、解説を行う。

アクティブラーニングの実施方法						
○	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク	PBL
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習	反転授業
	ディスカッション		実験・実習・実技	○	双方向授業	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項
ゼミナールの内容を十分に理解するために予習・復習を怠らず、また講義や演習に対して積極的に取り組むこと。レポート等の提出方法についてはゼミナール時間中に指示するので、ゼミナールを欠席することのないよう留意すること。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な最低出席回数は、11回以上					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	50%	0%	0%	30%	20%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
数学及びSPIに必要な基礎知識の修得	数学及びSPIに必要な基礎知識及び計算過程(思考過程)が100%理解できた。	数学及びSPIに必要な基礎知識及び計算過程(思考過程)が90%理解できた。	数学及びSPIに必要な基礎知識及び計算過程(思考過程)が80%理解できた。	数学及びSPIに必要な基礎知識及び計算過程(思考過程)が70%理解できた。	数学及びSPIに必要な基礎知識及び計算過程(思考過程)が70%も理解できなかった。
計算過程において必要な記述内容の修得	演習問題は計算過程を100%記述したレポートになった。	演習問題は計算過程を90%記述したレポートになった。	演習問題は計算過程を80%記述したレポートになった。	演習問題は計算過程を70%記述したレポートになった。	演習問題は計算過程を70%も記述したレポートにならなかった。
思考過程のプレゼンテーション	筋道の立った思考過程がプレゼンテーションを通して明確に出来た。また、質問にも正確に対応した。	筋道の立った思考過程がプレゼンテーションを通して明確に出来た。	筋道の立った思考過程がプレゼンテーションを通して出来た。	一部筋道の立った思考過程がプレゼンテーションを通して出来た。	筋道の立った思考過程のプレゼンテーションが出来なかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナル A (科目ナンバリング: BAS071043)				
授業担当者(所属・職名)	横山 哲也(建築学科・准教授)	研究室所在	2号館7階		
単位数	1 (単位認定責任者: 横山 哲也)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	ガイダンス及びシラバスの説明	シラバスを読んでおくこと(45分)	今日のゼミナルの再確認(45分)
2	数	学習内容の箇所を事前に予習しておくこと(45分)	今日のゼミナルの再確認(45分)
3	整数	学習内容の箇所を事前に予習しておくこと(45分)	今日のゼミナルの再確認(45分)
4	分数	学習内容の箇所を事前に予習しておくこと(45分)	今日のゼミナルの再確認(45分)
5	小数	学習内容の箇所を事前に予習しておくこと(45分)	今日のゼミナルの再確認(45分)
6	展開(1)	学習内容の箇所を事前に予習しておくこと(45分)	今日のゼミナルの再確認(45分)
7	展開(2)	学習内容の箇所を事前に予習しておくこと(45分)	今日のゼミナルの再確認(45分)
8	因数分解(1)	学習内容の箇所を事前に予習しておくこと(45分)	今日のゼミナルの再確認(45分)
9	因数分解(2)	学習内容の箇所を事前に予習しておくこと(45分)	今日のゼミナルの再確認(45分)
10	因数分解(3)	学習内容の箇所を事前に予習しておくこと(45分)	今日のゼミナルの再確認(45分)
11	平方根(1)	学習内容の箇所を事前に予習しておくこと(45分)	今日のゼミナルの再確認(45分)
12	平方根(2)	学習内容の箇所を事前に予習しておくこと(45分)	今日のゼミナルの再確認(45分)
13	複素数	学習内容の箇所を事前に予習しておくこと(45分)	今日のゼミナルの再確認(45分)
14	分数式(1)	学習内容の箇所を事前に予習しておくこと(45分)	今日のゼミナルの再確認(45分)
15	分数式(2)	学習内容の箇所を事前に予習しておくこと(45分)	今日のゼミナルの再確認(45分)
16	まとめ及び要点のフィードバック	総復習(45分)	総理解(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング:)				
授業担当者(所属・職名)	長森 正 (建築学科・教授)	研究室所在	アトリエ棟 1階		
単位数	(単位認定責任者: 長森 正)	CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
建築にはいろいろな分野で数学が深く関わっており、建築の専門的な内容に入る前に、基本的な数学の知識の確認が必要になります。建築に関連する数学の基礎知識を確認し、建築分野にどのように関係するのかを理解する。

授業の位置づけ
経営学科のDP「1(2)」、「2(1)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(2)」、「2(4)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(1)」、「2(1)」、「2(5)」に対応する。 建築学科のDP「1(1)」、「2(1)」、「2(5)」に対応する。

到達目標
数学を学習しながら建築の基礎知識を身につけることができ、専門的な内容にスムーズに入ることができる。

授業全体の内容と概要
建築に係る面積・三角関数・ベクトル・力などについて学習、演習問題を解きながら理解する。

授業の方法
授業は板書やプロジェクターを利用して講義形式で行う。また、練習問題を時間内に実施し、フィードバックとして回答の解説を行う。

アクティブラーニングの実施方法						
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク	PBL
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習	反転授業
	ディスカッション		実験・実習・実技	○	双方向授業	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項
配布資料により授業を進めるので、休まず出席すること。適宜、演習問題を課す。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な最低出席回数は10回以上。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	50%	0%	0%	30%	20%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
単位・面積・体積及び数式に関する基礎知識	単位・面積・体積及び数式などの関する内容がほぼ理解でき、他の人に説明できた。	単位・面積・体積及び数式に関する内容が80%理解できた。	単位・面積・体積及び数式に関する内容が70%理解できた。	単位・面積・体積及び数式に関する内容が60%理解できた。	単位・面積・体積及び数式に関する内容が理解できなかった。
三角関数・ベクトルに関する基礎知識	三角関数・ベクトルに関する内容がほぼ理解でき、他の人に説明できた。	三角関数・ベクトルに関する内容が80%理解できた。	三角関数・ベクトルに関する内容が70%理解できた。	三角関数・ベクトルに関する内容が60%理解できた。	三角関数・ベクトルに関する内容が理解できなかった。
演習問題の理解	演習問題がほぼ解答できた。	演習問題の80%を解答できた。	演習問題の70%を解答できた。	演習問題の60%を解答できた。	演習問題の解答ができなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『やさしい建築数学』	今村仁美・大谷一翔	学芸出版社			
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナル A (科目ナンバリング:)				
授業担当者(所属・職名)	長森 正(建築学科・教授)	研究室所在	アトリエ棟1階		
単位数	(単位認定責任者: 長森 正)	CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	ガイダンス及びシラバスの説明	シラバスを確認する(45分)	ガイダンス及びシラバスの理解(45分)
2	ウォーミングアップ(1)自己紹介	配布資料を予習する(45分)	配布資料を確認し復習する(45分)
3	ウォーミングアップ(2)大学とは?	配布資料を予習する(45分)	配布資料を確認し復習する(45分)
4	ウォーミングアップ(3)キャリアとは?	配布資料を予習する(45分)	配布資料を確認し復習する(45分)
5	単位・大きさの基礎知識 量・長さ・広さ	配布資料を予習する(45分)	配布資料を確認し復習する(45分)
6	割合・平均値・単位	配布資料を予習する(45分)	配布資料を確認し復習する(45分)
7	演習問題(1)	配布資料を予習する(45分)	配布資料を確認し復習する(45分)
8	面積と体積、不等式と大小、比と比例式	配布資料を予習する(45分)	配布資料を確認し復習する(45分)
9	基本的な数式	配布資料を予習する(45分)	配布資料を確認し復習する(45分)
10	練習問題(2)	配布資料を予習する(45分)	配布資料を確認し復習する(45分)
11	三角関数(1)	配布資料を予習する(45分)	配布資料を確認し復習する(45分)
12	三角関数(2)	配布資料を予習する(45分)	配布資料を確認し復習する(45分)
13	練習問題(3)	配布資料を予習する(45分)	配布資料を確認し復習する(45分)
14	ベクトル	配布資料を予習する(45分)	配布資料を確認し復習する(45分)
15	練習問題(4)	配布資料を予習する(45分)	配布資料を確認し復習する(45分)
16	まとめ及び要点のフィードバック	総復習(45分)	総復習及び配布資料の整理(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング:)				
授業担当者(所属・職名)	向井 正伸(建築学科・助教)		研究室所在	未定	
単位数	(単位認定責任者: 向井 正伸)		CAP制		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	計画設計等の実務経験を活かし、多様な事例や課題解決法を紹介する。		

概要

履修目標
私達が暮らす都市や建築は時代ごとの課題や価値観、技術革新とともに変化してきた。都市や建築を構想することは、行政や都市計画家、建築家だけの仕事ではない。住民や地域に係る皆が、より良い暮らしを考え実践した積み重ねが都市や街を形づくる。ゼミでは都市や建築のより良い未来を提案するための基礎を身につけることを目標とする。ゼミでは都市や建築を空間的な問題として扱う。

授業の位置づけ
「経営学科」のDP「1(2)、(4)、(5)」、「2(3)」に対応する。 「社会福祉学科」のDP「1(2)、(3)、(4)、(5)、(6)、(7)」、「2(4)」に対応する。 「デザイン学科」のDP「1(1)、(2)、(3)」、「2(1)(5)」に対応する。 「建築学科」のDP「1(1)、(2)、(3)」、「2(1)、(5)」に対応する。

到達目標
都市や建築の変遷やその社会的背景を理解し、都市や建築について自分なりの意見をもつことができる。

授業全体の内容と概要
先人たちが都市や建築における課題や時代の変革にどのように挑んできたか、そして社会的課題や価値観が複雑化する現在においてどのような取り組みが行われているかを学ぶ。中間で適宜テスト又はレポートを実施し、理解度を確認する。後半では各自で都市や建築について調査分析を行い発表・ディスカッションを行う。

授業の方法
前半ではパワーポイントと板書を用いてを講義を行う。適宜プリントを配布する。重要だと思われるキーワードは必ずメモし、示された図式等はノートにスケッチをすることが望まれる。参考となる書籍・建築等を授業中に適宜紹介する。後半では各自調査分析等を行う。パソコンを使う場合がある。

アクティブラーニングの実施方法												
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>グループワーク</td> <td>フィールドワーク</td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td>ロールプレイ</td> <td>調査学習</td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td>実験・実習・実技</td> <td>双方向授業</td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL	模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業	ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL									
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業									
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)									

履修上の注意事項
能動的な学習姿勢を望む。授業中に引用された建築、書籍に積極的に触れること。20分以上の遅刻は欠席とする。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
単位認定に必要な最低出席回数は、11回以上。												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>20%</td> <td>40%</td> <td>20%</td> <td>10%</td> <td>10%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	20%	40%	20%	10%	10%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	20%	40%	20%	10%	10%							

ルーブリック																													
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を越えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> <tr> <td>理解度</td> <td>授業内容を越えた自主的な学習を行なった。</td> <td>授業内容を理解し、自主的な学習を行なった。</td> <td>授業内容をほぼ理解し、自主的な学習を行なった。</td> <td>授業内容をほぼ理解し、自分なりの意見をもつことができた。</td> <td>授業内容を理解しなかった。</td> </tr> <tr> <td>調査・課題解決能力</td> <td>独自の能力で調査・課題を解くことができ、その内容を説明して第三者に共感させることができた。</td> <td>独自の能力で調査・課題を解くことができ、その内容を説明して第三者に理解させることができた。</td> <td>独自の能力で調査・課題を解くことができ、その内容を説明することができた。</td> <td>参考書などを参考にすれば調査・課題を解くことができた。</td> <td>アドバイスがあっても自発的に課題を解くことができなかった。</td> </tr> <tr> <td>態度・意欲</td> <td>休まずに出席(出席16回)し、予習復習を行った。</td> <td>概ね出席し(出席14-15回)し、予習復習を行った。</td> <td>概ね出席した(出席14-15回)。</td> <td>休みがちであるが概ね出席した(11-13回)。</td> <td>評価前提条件を満たさなかった(出席10回未満)。</td> </tr> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を越えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	理解度	授業内容を越えた自主的な学習を行なった。	授業内容を理解し、自主的な学習を行なった。	授業内容をほぼ理解し、自主的な学習を行なった。	授業内容をほぼ理解し、自分なりの意見をもつことができた。	授業内容を理解しなかった。	調査・課題解決能力	独自の能力で調査・課題を解くことができ、その内容を説明して第三者に共感させることができた。	独自の能力で調査・課題を解くことができ、その内容を説明して第三者に理解させることができた。	独自の能力で調査・課題を解くことができ、その内容を説明することができた。	参考書などを参考にすれば調査・課題を解くことができた。	アドバイスがあっても自発的に課題を解くことができなかった。	態度・意欲	休まずに出席(出席16回)し、予習復習を行った。	概ね出席し(出席14-15回)し、予習復習を行った。	概ね出席した(出席14-15回)。	休みがちであるが概ね出席した(11-13回)。	評価前提条件を満たさなかった(出席10回未満)。
評価項目		評価基準																											
	履修項目を越えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																								
理解度	授業内容を越えた自主的な学習を行なった。	授業内容を理解し、自主的な学習を行なった。	授業内容をほぼ理解し、自主的な学習を行なった。	授業内容をほぼ理解し、自分なりの意見をもつことができた。	授業内容を理解しなかった。																								
調査・課題解決能力	独自の能力で調査・課題を解くことができ、その内容を説明して第三者に共感させることができた。	独自の能力で調査・課題を解くことができ、その内容を説明して第三者に理解させることができた。	独自の能力で調査・課題を解くことができ、その内容を説明することができた。	参考書などを参考にすれば調査・課題を解くことができた。	アドバイスがあっても自発的に課題を解くことができなかった。																								
態度・意欲	休まずに出席(出席16回)し、予習復習を行った。	概ね出席し(出席14-15回)し、予習復習を行った。	概ね出席した(出席14-15回)。	休みがちであるが概ね出席した(11-13回)。	評価前提条件を満たさなかった(出席10回未満)。																								

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング:)				
授業担当者(所属・職名)	向井 正伸(建築学科・助教)		研究室所在	未定	
単位数	(単位認定責任者: 向井 正伸)		CAP制		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容 計画設計等の実務経験を活かし、多様な事例や課題解決法を紹介する。			

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	ガイダンス シラバスの説明	シラバスを事前に把握する。(45分)	紹介した書籍・建築事例等について調べる。(45分)
2	さまざまな都市・建築空間	参考書籍等を用いて予習する。(45分)	講義内容を復習。紹介した書籍・建築事例等について調べる。(60分)
3	都市形成の歴史1	参考書籍等を用いて予習する。(45分)	講義内容を復習。紹介した書籍・建築事例等について調べる。(60分)
4	都市形成の歴史2	参考書籍等を用いて予習する。(45分)	講義内容を復習。紹介した書籍・建築について調べる。(60分)
5	都市形成の歴史3	参考書籍等を用いて予習する。(45分)	講義内容を復習。紹介した書籍・建築事例等について調べる。(60分)
6	近現代都市理論1	参考書籍等を用いて予習する。(45分)	講義内容を復習。紹介した書籍・建築事例等について調べる。(60分)
7	近現代都市理論2	参考書籍等を用いて予習する。(45分)	講義内容を復習。紹介した書籍・建築事例等について調べる。(60分)
8	近現代都市理論3	参考書籍等を用いて予習する。(45分)	講義内容を復習。紹介した書籍・建築事例等について調べる。(60分)
9	現代の試み1	参考書籍等を用いて予習する。(45分)	講義内容を復習。紹介した書籍・建築事例等について調べる。(60分)
10	現代の試み2	参考書籍等を用いて予習する。(45分)	講義内容を復習。紹介した書籍・建築事例等について調べる。(60分)
11	現代の試み3	参考書籍等を用いて予習する。(45分)	講義内容を復習。紹介した書籍・建築事例等について調べる。(60分)
12	現代の試み4	参考書籍等を用いて予習する。(45分)	講義内容を復習。紹介した書籍・建築事例等について調べる。(60分)
13	調査分析・エスキス	対象を事前に調べる。(60分)	エスキスを反映する。(60分)
14	調査分析・エスキス	調査分析を行い、まとめる。(60分)	エスキスを反映する。(60分)
15	調査分析・エスキス	調査分析を行い、まとめる。(60分)	エスキスを反映する。(60分)
16	発表・ディスカッション	プレゼンテーションをまとめる(60分)	学習を振り返り、自己評価を行うこと。(60分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年（再履修）		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A（再）（科目ナンバリング：BAS071043）				
授業担当者（所属・職名）	河田 一郎（経営学科・准教授）	研究室所在	2号館8階		
単位数	1（単位認定責任者：河田 一郎）	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標	各自の興味のあるものをテーマに選び、自由に発想を展開し、レポートにまとめる。就職活動を見据え、常に社会に目を向ける習慣を身につける。																								
授業の位置づけ	経営学科のDPの「1（2）、（4）、（5）」に対応する。 社会福祉学科のDPの「1（2）、（3）、（6）」、「2（1）、（4）」に対応する。 デザイン学科のDPの「1（1）」、「2（3）」、「2（1）」、「（5）」に対応する。 建築学科のDPの「1（1）」、「2（1）」、「（5）」に対応する。																								
到達目標	社会のさまざまな出来事に対して、自分なりの意見を述べるができるようにする。																								
授業全体の内容と概要	就職面談を想定し、話題のニュースについて、ディスカッションを行う。各自のテーマが決まった時点で、少しずつテーマについて調べ、ゼミ終了時にレポートを提出してもらう。																								
授業の方法	授業では各自のテーマにかかわる資料を配布し、板書をしながら講義形式で行う。また、適宜確認テストを実施し、フィードバックとして解説を丁寧に行う。																								
アクティブラーニングの実施方法	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td>○</td> <td>ロールプレイ</td> <td>○</td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td>○</td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他（授業の方法参照）</td> </tr> </table>	○	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業	○	ロールプレイ	○	調査学習		反転授業	○	ディスカッション		実験・実習・実技	○	双方向授業		その他（授業の方法参照）
○	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																		
	模擬授業	○	ロールプレイ	○	調査学習		反転授業																		
○	ディスカッション		実験・実習・実技	○	双方向授業		その他（授業の方法参照）																		
履修上の注意事項	基礎ゼミナール A再履修者。																								
資格指定科目																									

評価方法・基準

評価前提条件	単位認定に必要な出席回数は、13回以上。					
評価方法	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
	0%	20%	0%	0%	80%	0%

ルーブリック	評価基準				
評価項目	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
知識・技能	学修した知識・技能を確実に修得し、求められるレベルを大きく超えた。	学修した知識・技能を確実に修得した。	学修した知識・技能をほぼ修得した。	学修した知識・技能を修得したが、最低限容認できるレベルにとどまった。	学修した知識・技能を修得できなかった。
思考力・判断力・表現力	与えられた課題に積極的に取り組み、求められるレベルを大きく超えた。	与えられた課題に取り組み求められるレベルを達成した。	与えられた課題に取り組み求められるレベルをほぼ達成した。	与えられた課題に取り組み求められるレベルにとどまった。	与えられた課題に真面目に取り組まなかった。
主体性・多様性・協働性	与えられた課題には積極的に取り組んだ。理解力やプレゼンテーション能力は求められるレベルを大きく超えた。	与えられた課題に取り組んだ。理解力やプレゼンテーション能力は求められるレベルを達成した。	与えられた課題に取り組み求められるレベルをほぼ達成した。	与えられた課題に取り組んだが、最低限容認できるレベルにとどまった。	与えられた課題に真面目に取り組まなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年（再履修）		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A（再）（科目ナンバリング：BAS071043）				
授業担当者（所属・職名）	河田 一郎（経営学科・准教授）	研究室所在	2号館8階		
単位数	1（単位認定責任者：河田 一郎）	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習（所要時間）	事後学習（所要時間）
1	【ガイダンス】 授業の進め方・シラバスの説明。	シラバスの内容を確認すること。（45分）	授業の内容を復習しておくこと。（45分）
2	今週気になったニュースについて発表を行う。SPI試験対策（環境問題について）。各自のテーマについて調べたことを発表する。	前回の授業内容を確認すること。（45分）	授業の内容を復習しておくこと。（45分）
3	今週気になったニュースについて発表を行う。SPI試験対策（経済について）。各自のテーマについて調べたことを発表する。	前回の授業内容を確認すること。（45分）	授業の内容を復習しておくこと。（45分）
4	今週気になったニュースについて発表を行う。SPI試験対策（世界経済について）。各自のテーマについて調べたことを発表する。	前回の授業内容を確認すること。（45分）	授業の内容を復習しておくこと。（45分）
5	今週気になったニュースについて発表を行う。SPI試験対策（環境問題について）。各自のテーマについて調べたことを発表する。	前回の授業内容を確認すること。（45分）	授業の内容を復習しておくこと。（45分）
6	今週気になったニュースについて発表を行う。SPI試験対策（政治問題について）。各自のテーマについて調べたことを発表する。	前回の授業内容を確認すること。（45分）	授業の内容を復習しておくこと。（45分）
7	今週気になったニュースについて発表を行う。SPI試験対策（金融問題について）。各自のテーマについて調べたことを発表する。	前回の授業内容を確認すること。（45分）	授業の内容を復習しておくこと。（45分）
8	今週気になったニュースについて発表を行う。SPI試験対策（音楽について）。各自のテーマについて調べたことを発表する。	前回の授業内容を確認すること。（45分）	授業の内容を復習しておくこと。（45分）
9	今週気になったニュースについて発表を行う。SPI試験対策（文学について）。各自のテーマについて調べたことを発表する。	前回の授業内容を確認すること。（45分）	授業の内容を復習しておくこと。（45分）
10	今週気になったニュースについて発表を行う。SPI試験対策（日本の伝統文化について）。各自のテーマについて調べたことを発表する。	前回の授業内容を確認すること。（45分）	授業の内容を復習しておくこと。（45分）
11	今週気になったニュースについて発表を行う。SPI試験対策（世界の歴史について）。各自のテーマについて調べたことを発表する。	前回の授業内容を確認すること。（45分）	授業の内容を復習しておくこと。（45分）
12	今週気になったニュースについて発表を行う。SPI試験対策（日本の歴史について）。各自のテーマについて調べたことを発表する。	前回の授業内容を確認すること。（45分）	授業の内容を復習しておくこと。（45分）
13	今週気になったニュースについて発表を行う。SPI試験対策（世界の絵画について）。各自のテーマについて調べたことを発表する。	前回の授業内容を確認すること。（45分）	授業の内容を復習しておくこと。（45分）
14	今週気になったニュースについて発表を行う。SPI試験対策（日本の絵画について）。各自のテーマについて調べたことを発表する。	前回の授業内容を確認すること。（45分）	授業の内容を復習しておくこと。（45分）
15	今週気になったニュースについて発表を行う。SPI試験対策（建築について）。各自のテーマについて調べたことを発表する。	前回の授業内容を確認すること。（45分）	授業の内容を復習しておくこと。（45分）
16	レポートの内容についてのプレゼンテーションを行う。	前回の授業内容を確認すること。（45分）	授業の内容を復習しておくこと。（45分）

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習（所要時間）	事後学習（所要時間）
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS071044)				
授業担当者(所属・職名)	河田 一郎 (経営学科・准教授)	研究室所在	2号館 8階		
単位数	1 (単位認定責任者: 河田 一郎)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	大学入試センターの問題作成委員としての経験を活かしてドイツ語教育にかかわる指導を行う。		

概要

履修目標
建築・絵画・音楽などウィーン文化を考察し、ウィーンでの研修(希望者のみ)の準備を行う。また、このゼミナールでは就職活動時に必要になるスキルの修得を早い段階から始める。キャンパス・ライブを謳歌しつつ、自由な発想の展開、自己実現などをテーマに学びを広げる。

授業の位置づけ
経営学科のD Pの「1(2)」、「1(4)」、「1(5)」に対応する。 社会福祉学科のD Pの「1(2)」、「1(3)」、「1(6)」、「1(7)」、「2(1)」、「2(4)」に対応する。 デザイン学科のD Pの「1(1)」、「1(2)」、「1(3)」、「2(1)」、「2(5)」に対応する。 建築学科のD Pの「1(1)」、「2(1)」、「2(5)」に対応する。

到達目標
ドイツ語圏への旅行、留学の際に、困らない程度の日常会話を身につける。

授業全体の内容と概要
ウィーンといえば、クラシック音楽である。毎回、クラシック音楽をBGMに、ゆったりとしたペースで授業を行う。ウィーンの文化・見どころについてプリントを配布し、説明を行う。各自のテーマが決まった時点で、少しずつテーマについて調べ、ゼミ終了時にレポートを提出してもらう。

授業の方法
授業では板書をしながら、ドイツ語の文法・文化を紹介する。ドイツのD V D等も見て講義形式で行う。また、適宜確認テストを実施し、フィードバックとして解説を丁寧に行う。

アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>P B L</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td>○</td> <td>ロールプレイ</td> <td>○</td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td>○</td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	○	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		P B L		模擬授業	○	ロールプレイ	○	調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技	○	双方向授業		その他(授業の方法参照)
○	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		P B L																	
	模擬授業	○	ロールプレイ	○	調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技	○	双方向授業		その他(授業の方法参照)																	

履修上の注意事項
ウィーンを含めたヨーロッパの絵画、建築、音楽等に興味のある学生であればだれでも受講可能。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
単位認定に必要な出席回数は、13回以上。												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>20%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>80%</td> <td>0%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	20%	0%	0%	80%	0%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	20%	0%	0%	80%	0%							

ルーブリック																													
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> <tr> <td>知識・技能</td> <td>学修した知識・技能を確実に修得し、求められるレベルを大きく超えた。</td> <td>学修した知識・技能を確実に修得した。</td> <td>学修した知識・技能をほぼ修得した。</td> <td>学修した知識・技能を修得したが、最低限容認できるレベルにとどまった。</td> <td>学修した知識を修得できなかった。</td> </tr> <tr> <td>思考力・判断力・表現力</td> <td>与えられた課題に積極的に取り組み、求められるレベルを大きく超えた。</td> <td>与えられた課題に取り組み求められるレベルを達成した。</td> <td>与えられた課題に取り組み求められるレベルをほぼ達成した。</td> <td>与えられた課題に取り組んだが、最低限容認できるレベルにとどまった。</td> <td>与えられた課題に真面目に取り組まなかった。</td> </tr> <tr> <td>主体性・多様性・協働性</td> <td>与えられた課題には積極的に取り組んだ。理解力やプレゼンテーション能力は求められるレベルを大きく超えた。</td> <td>与えられた課題に取り組んだ。理解力やプレゼンテーション能力は求められるレベルを達成した。</td> <td>与えられた課題に取り組み求められるレベルをほぼ達成した。</td> <td>与えられた課題に取り組んだが、最低限容認できるレベルにとどまった。</td> <td>与えられた課題に真面目に取り組まなかった。</td> </tr> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	知識・技能	学修した知識・技能を確実に修得し、求められるレベルを大きく超えた。	学修した知識・技能を確実に修得した。	学修した知識・技能をほぼ修得した。	学修した知識・技能を修得したが、最低限容認できるレベルにとどまった。	学修した知識を修得できなかった。	思考力・判断力・表現力	与えられた課題に積極的に取り組み、求められるレベルを大きく超えた。	与えられた課題に取り組み求められるレベルを達成した。	与えられた課題に取り組み求められるレベルをほぼ達成した。	与えられた課題に取り組んだが、最低限容認できるレベルにとどまった。	与えられた課題に真面目に取り組まなかった。	主体性・多様性・協働性	与えられた課題には積極的に取り組んだ。理解力やプレゼンテーション能力は求められるレベルを大きく超えた。	与えられた課題に取り組んだ。理解力やプレゼンテーション能力は求められるレベルを達成した。	与えられた課題に取り組み求められるレベルをほぼ達成した。	与えられた課題に取り組んだが、最低限容認できるレベルにとどまった。	与えられた課題に真面目に取り組まなかった。
評価項目		評価基準																											
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																								
知識・技能	学修した知識・技能を確実に修得し、求められるレベルを大きく超えた。	学修した知識・技能を確実に修得した。	学修した知識・技能をほぼ修得した。	学修した知識・技能を修得したが、最低限容認できるレベルにとどまった。	学修した知識を修得できなかった。																								
思考力・判断力・表現力	与えられた課題に積極的に取り組み、求められるレベルを大きく超えた。	与えられた課題に取り組み求められるレベルを達成した。	与えられた課題に取り組み求められるレベルをほぼ達成した。	与えられた課題に取り組んだが、最低限容認できるレベルにとどまった。	与えられた課題に真面目に取り組まなかった。																								
主体性・多様性・協働性	与えられた課題には積極的に取り組んだ。理解力やプレゼンテーション能力は求められるレベルを大きく超えた。	与えられた課題に取り組んだ。理解力やプレゼンテーション能力は求められるレベルを達成した。	与えられた課題に取り組み求められるレベルをほぼ達成した。	与えられた課題に取り組んだが、最低限容認できるレベルにとどまった。	与えられた課題に真面目に取り組まなかった。																								

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>I S B N</th> <th>備考</th> </tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>I S B N</th> <th>備考</th> </tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS071044)				
授業担当者(所属・職名)	河田 一郎(経営学科・准教授)		研究室所在	2号館8階	
単位数	1 (単位認定責任者: 河田 一郎)		CAP制		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容 大学入試センターの問題作成委員としての経験を活かしてドイツ語教育にかかわる指導を行う。			

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	[ガイダンス] 授業の進め方・シラバスの説明。	シラバスの内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
2	[ウィーンのカフェ 文化について]	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
3	[オーストリアのワインについて]	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
4	[ハプスブルク家の歴史について]	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
5	[マリア・テレジアについて]	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
6	[マリー・アントワネットについて]	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
7	[シシーについて]	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
8	[フロイトについて]	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
9	[ウィーンの音楽について]	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
10	[ウィーンのおペラについて]	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
11	[オペラとオペレッタの違いについて]	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
12	[ウィーンの食事について]	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
13	[ハプスブルクの食卓について]	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
14	[ザッハートルテについて]	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
15	[グリーヘンバイスルについて]	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
16	[レポートのプレゼンテーション]	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎セミナー B (科目ナンバリング: BAS071044)				
授業担当者(所属・職名)	戸佐 晃一(経営学科・准教授)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 戸佐 晃一)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
本授業では、体力・形態測定を実施することで自己の体力を把握し足りない体力の強化に向けて、様々なトレーニング方法の基本的な理論と実践方法について学習する。また、生涯にわたって運動習慣を継続することで高齢になっても健康で長寿であることを目的とする。

授業の位置づけ
経営学科のDP「1(1)」、「1(2)」、「2(1)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(2)」、「1(3)」、「1(4)」、「1(5)」、「1(6)」、「1(7)」、「2(4)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(2)」、「1(3)」、「2(5)」に対応する。 建築学科のDP「1(2)」、「1(3)」、「2(5)」に対応する。

到達目標
各自、無理のない体力目標を設定し、様々なトレーニング方法の基本を理解し実践できることを目標とする。 生涯を通じて定期的に運動する習慣を養う。

授業全体の内容と概要
体力測定、形態測定により自分の体の状態を知る。 様々な種類のトレーニングに関する基本理論を学び、正しいトレーニングの方法を学習する。

授業の方法
体育館、ウエイトトレーニング場を中心に授業を行う。授業の中で基本的なトレーニングをグループワークで実践することで、互いが課題の発見や指摘をし合い、ディスカッションを通して正しい技術を習得できるように進めていく。レポートなどの解説のフィードバックを実施する。

アクティブラーニングの実施方法						
	プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク	PBL
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習	反転授業
○	ディスカッション	○	実験・実習・実技		双方向授業	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項
競技経験があり体力があること。遅刻は2回につき1回欠席とする。運動着、飲料水、上靴、タオルの用意。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な最低出席回数は、13回以上					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	30%	30%	0%	40%	0%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
トレーニングの基本	トレーニングの基本を良く理解している	トレーニングの基本をほぼ理解している	トレーニングの基本をある程度理解している	トレーニングの基本を理解している	トレーニングの基本を理解していない
トレーニングの応用	トレーニングの応用が良くできる	トレーニングの応用がほぼできる	トレーニングの応用がある程度できる	トレーニングの応用ができる	トレーニングの応用ができない
トレーニングの実践	専門的なトレーニングの実践が良くできている	一般的なトレーニングの実践がほぼできている	基本的なトレーニングの実践がある程度できている	トレーニングの実践ができている	トレーニングの実践ができない

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS071044)				
授業担当者(所属・職名)	戸佐 晃一(経営学科・准教授)		研究室所在	1号館2階	
単位数	1	(単位認定責任者: 戸佐 晃一)	CAP制		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	ガイダンス シラバスの説明	事前にシラバスを読んで確認しておく(45分)	学習内容を復習し理解しておく(45分)
2	体力測定	体力測定種目の確認をしておく(45分)	学習内容を復習し理解しておく(45分)
3	形態測定	形態測定種目の確認をしておく(45分)	学習内容を復習し理解しておく(45分)
4	トレーニングの基本	トレーニングの基本を確認しておく(45分)	学習内容を復習し理解しておく(45分)
5	トレーニングの基本	トレーニングの基本を確認しておく(45分)	学習内容を復習し理解しておく(45分)
6	トレーニングの基本	トレーニングの基本を確認しておく(45分)	学習内容を復習し理解しておく(45分)
7	トレーニングの基本	トレーニングの基本を確認しておく(45分)	学習内容を復習し理解しておく(45分)
8	トレーニングの基本	トレーニングの基本を確認しておく(45分)	学習内容を復習し理解しておく(45分)
9	トレーニングの応用	トレーニングの応用を確認しておく(45分)	学習内容を復習し理解しておく(45分)
10	トレーニングの応用	トレーニングの応用を確認しておく(45分)	学習内容を復習し理解しておく(45分)
11	トレーニングの応用	トレーニングの応用を確認しておく(45分)	学習内容を復習し理解しておく(45分)
12	トレーニングの実践	トレーニング種目を確認しておく(45分)	学習内容を復習し理解しておく(45分)
13	トレーニングの実践	トレーニング種目を確認しておく(45分)	学習内容を復習し理解しておく(45分)
14	トレーニングの実践	トレーニング種目を確認しておく(45分)	学習内容を復習し理解しておく(45分)
15	体力測定	体力測定種目の確認をしておく(45分)	学習内容を復習し理解しておく(45分)
16	まとめ・フィードバック	授業内容を振り返り確認しておく(45分)	学習内容を復習し理解しておく(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS071044)				
授業担当者(所属・職名)	米野 宏(経営学科・准教授)	研究室所在	1号館3階		
単位数	1 (単位認定責任者: 米野 宏)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	教育機関における体育・健康・スポーツ関係の授業経験を活かし、学生の教養の基礎を指導する。		

概要

履修目標	大学での勉強を進めるにあたり、必要となる文章読解力のほか、コミュニケーション能力、ディスカッション能力、プレゼンテーション能力の向上をはかる。
------	---

授業の位置づけ	経営学科のDP「1(4)」、「1(5)」、「2(3)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(2)」、「1(3)」、「1(4)」、「1(5)」、「1(6)」、「1(7)」、「2(4)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(2)」、「1(3)」、「2(5)」に対応する。 建築学科のDP「1(2)」、「1(3)」、「2(5)」に対応する。
---------	--

到達目標	自分でテーマを設定し、文章にまとめることができる。 グループ内でのコミュニケーションを図ることができ、リーダーシップを発揮できる。 テーマに基づきプレゼンテーションをすることができる。
------	--

授業全体の内容と概要	授業の前半は、小論文・レポートを作成し発表する。また、発表に対して討議およびディスカッションを行う。 後半は、特定のテーマでプレゼンテーションを行い、質疑応答も行う。 入前で話すための準備をし、解り易く、興味深い内容を考える。
------------	---

授業の方法	小論文、レポートの書き方については、板書または資料にて説明する。提出されたレポートについては、添削及び内容の評価とともにフィードバックする。 グループディスカッションやプレゼンテーションの題材として、新聞やインターネットによるニュース等を提供しながら実施する。 プレゼンテーションの方法については、授業のなかで学びとともに説明する。
-------	--

アクティブラーニングの実施方法							
<input type="checkbox"/>	プレゼンテーション	<input type="checkbox"/>	グループワーク	<input type="checkbox"/>	フィールドワーク	<input type="checkbox"/>	PBL
<input type="checkbox"/>	模擬授業	<input type="checkbox"/>	ロールプレイ	<input type="checkbox"/>	調査学習	<input type="checkbox"/>	反転授業
<input type="checkbox"/>	ディスカッション	<input type="checkbox"/>	実験・実習・実技	<input type="checkbox"/>	双方向授業	<input type="checkbox"/>	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項	20分以上の遅刻は欠席扱いとする。 対話する機会が多いので、積極的な発言や能動的な授業態度で臨むこと。
----------	--

資格指定科目	
--------	--

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な最低出席回数は、13回以上					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	10%	10%	0%	70%	10%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
コミュニケーション能力	仲間とのコミュニケーションを図る方法がとてども巧みにおこなえた。	仲間とコミュニケーションを図ることが比較的巧みであった。	仲間とコミュニケーションを図ることが普通に行えた。	仲間とコミュニケーションを図ることが上手ではないが努力した。	仲間とコミュニケーションを図ることがとても苦手であった。
ディスカッション能力	討議の中で、対話を巧みにでき、リーダーシップも取られた。	討議の中で、対話を巧みにでき、リーダーシップも取れなかった。	討議の中で、対話を巧みにできたが、リーダーシップをとるまではいかなかった。	討議の中で、対話をするのが普通に行えた。	討議の中で、対話することが苦手で、ほとんど受け身であった。
プレゼンテーション能力	パワーポイント等を巧みに使い、解り易く、興味深い内容でプレゼンテーションを行った。	パワーポイント等を使い、比較的解り易く、興味深い内容でプレゼンテーションを行った。	パワーポイント等を使い、解り易くプレゼンテーションを行った。	パワーポイント等を使い、プレゼンテーションを行ったが、多少伝わらなかった。	プレゼンテーションの準備がほとんどできていなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS071044)				
授業担当者(所属・職名)	米野 宏(経営学科・准教授)		研究室所在	1号館3階	
単位数	1 (単位認定責任者: 米野 宏)		CAP制		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容 教育機関における体育・健康・スポーツ関係の授業経験を活かし、学生の教養の基礎を指導する。			

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	ガイダンス(シラバスの説明)	事前にシラバスを読んで確認する。(45分)	注意事項を再度確認する。(45分)
2	グループディスカッション(学生スポーツの課題)	シラバスを読んで確認と準備をする。(45分)	ノートに記載された内容を復習する。(45分)
3	グループディスカッション(スポーツと金)	シラバスを読んで確認と準備をする。(45分)	ノートに記載された内容を復習する。(45分)
4	グループディスカッション(オリンピック)	シラバスを読んで確認と準備をする。(45分)	ノートに記載された内容を復習する。(45分)
5	グループディスカッション(スポーツの未来)	シラバスを読んで確認と準備をする。(45分)	ノートに記載された内容を復習する。(45分)
6	ミニプレゼンテーションの準備 1(スポーツの問題と課題)	シラバスを読んで確認と準備をする。(45分)	ノートに記載された内容を復習する。(45分)
7	ミニプレゼンテーションの準備 2(スポーツの問題と課題)	シラバスを読んで確認と準備をする。(45分)	ノートに記載された内容を復習する。(45分)
8	ミニプレゼンテーション(5分) 1-5番	シラバスを読んで確認と準備をする。(45分)	ノートに記載された内容を復習する。(45分)
9	ミニプレゼンテーション(5分) 5-10番	シラバスを読んで確認と準備をする。(45分)	ノートに記載された内容を復習する。(45分)
10	ミニプレゼンテーション(5分) 11番-	シラバスを読んで確認と準備をする。(45分)	ノートに記載された内容を復習する。(45分)
11	プレゼンテーション(15分)の準備 1	シラバスを読んで確認と準備をする。(45分)	ノートに記載された内容を復習する。(45分)
12	プレゼンテーション(15分)の準備 2	シラバスを読んで確認と準備をする。(45分)	ノートに記載された内容を復習する。(45分)
13	プレゼンテーション(15分)と質疑応答 1	シラバスを読んで確認と準備をする。(45分)	ノートに記載された内容を復習する。(45分)
14	プレゼンテーション(15分)と質疑応答 2	シラバスを読んで確認と準備をする。(45分)	ノートに記載された内容を復習する。(45分)
15	プレゼンテーション(15分)と質疑応答 3	シラバスを読んで確認と準備をする。(45分)	ノートに記載された内容を復習する。(45分)
16	ふりかえり	ノートに記載された内容を再確認する。(45分)	評価等の内容を確認しておく。(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS071044)				
授業担当者(所属・職名)	佐藤 和裕 (経営学科・准教授)	研究室所在	1号館 2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 佐藤 和裕)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	学校現場における教員経験がある教員がその経験を活かして、将来に向け健康で豊かな生活を営んでいくための基礎を指導する。		

概要

履修目標
競技スポーツ及び、健康のための基礎的トレーニングを学び、個人に必要なトレーニングを自ら実践出来るようにする。また、学生と教員双方の人間関係を構築しコミュニケーション能力を高め、併せて快適な学生生活及び基本的な生活習慣を身につける。

授業の位置づけ
経営学科のDP「1(1)」、「1(2)」、「2(1)」、「2(3)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(2)」、「1(4)」、「2(4)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(1)」、「1(3)」に対応する。 建築学科のDP「1(1)」、「2(3)」に対応する。

到達目標
競技及び個人の特性を理解し、自らの競技スポーツや健康に一層深い関心を持って、安全にトレーニングすることができる。

授業全体の内容と概要
競技スポーツ又は、健康のために必要な基礎的トレーニングを実践し、自らの競技力向上と健康の保持増進のために必要なトレーニングを見つけ出し実践する。

授業の方法
授業は配布資料で実施し、トレーニングなどのDVDも活用しながら講義形式で行う。授業によってはグループワークで思考・考察・発表を行い学習していく。レポートにはコメントにてフィードバックする。さらに実践に関しては基礎的なトレーニングの特性を理解し学習したことを実際に怪我に注意を払いながら実施していく。

アクティブラーニングの実施方法						
	プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク	PBL
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習	反転授業
	ディスカッション	○	実験・実習・実技	○	双方向授業	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項
ラグビー部に所属の学生を対象とする。基本的にジャージや屋内運動靴も必ず用意する。注意事項の詳細はガイダンスで指示する。健康上の理由で医師から運動を停止されている者は、申し出の上指示を受けること。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な最低出席回数は、13回以上。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	30%	0%	0%	50%	20%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
関心・意欲・態度	自ら進んで行動や役割を果たすことができ、とても意欲的に取り組み、且つ安全に細心の注意を払うことができた。	積極的に行動や役割を果たすことができ、意欲的に取り組み、安全に注意を払うことができた。	行動の仕方を守り役割を果たすことができ、普通に取り組み安全に注意を払うことができた。	行動の仕方を守らず役割を果たしていないときがあったが、安全に注意を払うことができた。	行動の仕方を守らず役割を果たさなく意欲もまったくなく、安全に注意を払うことができなかった。
知識・理解	トレーニングの基礎的知識を持ち、それぞれの領域が持つ見方について説明することができ、実践的に活用できた。	トレーニングの基礎的知識を持ち、多様な領域からの見解を深く理解できていて適切に活用できた。	トレーニングの基礎的知識の見解を一定程度理解できていて、活用できた。	トレーニングの基礎的知識の見解をあまり深く理解できていないが、活用できた。	トレーニングの基礎的知識の見解をまったく理解できていなく、その獲得・修得に取り組むことができなかった。
計画・実行	達成目標を設定し、創造的思考を持って趣味的計画を立て、その計画に沿って実行できた。	達成目標を設定した計画を立てることができ、計画に沿って7割程度できた。	達成目標を設定し、計画を立てて5割程度できた。	達成目標が曖昧ではあったが計画を立てて3割程度できた。	計画を立てることができなく、達成目標もなく、まったくできなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎セミナー B (科目ナンバリング: BAS071044)				
授業担当者(所属・職名)	佐藤 和裕 (経営学科・准教授)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 佐藤 和裕)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	学校現場における教員経験がある教員がその経験を活かして、将来に向け健康で豊かな生活を営んでいくための基礎を指導する。		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	ガイダンス(シラバスの説明)	事前にシラバスを読んで確認しておく(45分)	ガイダンスの内容を理解しておく(45分)
2	基礎トレーニングの理解と習得	基礎トレーニングについて確認しておく(45分)	基礎トレーニングを理解しておく(45分)
3	基礎トレーニングの理解と習得	基礎トレーニングについて確認しておく(45分)	基礎トレーニングを理解しておく(45分)
4	基礎トレーニングの理解と習得	基礎トレーニングについて確認しておく(45分)	基礎トレーニングを理解しておく(45分)
5	基礎トレーニングの理解と習得	基礎トレーニングについて確認しておく(45分)	基礎トレーニングを理解しておく(45分)
6	基礎トレーニングの理解と習得	基礎トレーニングについて確認しておく(45分)	基礎トレーニングを理解しておく(45分)
7	基礎トレーニングの理解と習得	基礎トレーニングについて確認しておく(45分)	基礎トレーニングを理解しておく(45分)
8	基礎トレーニングの理解と習得	基礎トレーニングについて確認しておく(45分)	基礎トレーニングを理解しておく(45分)
9	基礎トレーニングの実践	健康に留意し体調を整えておく(45分)	身体のケアを怠らない(45分)
10	基礎トレーニングの実践	健康に留意し体調を整えておく(45分)	身体のケアを怠らない(45分)
11	基礎トレーニングの実践	健康に留意し体調を整えておく(45分)	身体のケアを怠らない(45分)
12	基礎トレーニングの実践	健康に留意し体調を整えておく(45分)	身体のケアを怠らない(45分)
13	基礎トレーニングの実践	健康に留意し体調を整えておく(45分)	身体のケアを怠らない(45分)
14	基礎トレーニングの実践	健康に留意し体調を整えておく(45分)	身体のケアを怠らない(45分)
15	基礎トレーニングの実践	健康に留意し体調を整えておく(45分)	身体のケアを怠らない(45分)
16	まとめ	生涯スポーツとしての特性を理解しておく(45分)	生涯スポーツとしての基礎を理解する(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS071044)				
授業担当者(所属・職名)	伴 秀実(経営学科・特任教授)	研究室所在	1号館3階		
単位数	1 (単位認定責任者: 伴 秀実)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	企業における様々な経験を活かして、学生が身に着けるべき内容を解説する。		

概要

履修目標	「経営学」を本格的に勉強したい学生を対象に、理論と実践を融合させ、経営学のエッセンスを身に付ける。
------	---

授業の位置づけ	経営学科のDP「1(1)」、「1(2)」、「2(1)」に対応する。
---------	-----------------------------------

到達目標	経営学のフレームワーク理論と実践を理解する。
------	------------------------

授業全体の内容と概要	経営学のフレームワーク理論と実践を理解してもらう。
------------	---------------------------

授業の方法	各回の授業の中で、テーマに沿った議論を行い、きちんとした理論の展開を口頭でも文章でもできるように訓練することを旨とする。ディスカッションで得た内容を忘れないようにデータベース化し、フィードバックに関しては個々に行ったり全体に対して行うなど毎回趣向を凝らす。フィールドワークにも挑戦してもらいフィードバックはゼミの中で全員で行う。
-------	--

アクティブラーニングの実施方法						
	プレゼンテーション		グループワーク	○	フィールドワーク	
	模擬授業		ロールプレイ	○	調査学習	
○	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項	参考文献として「日経ビジネス」を利用する。
----------	-----------------------

資格指定科目	
--------	--

評価方法・基準

評価前提条件	単位認定に必要な最低出席回数は、13回以上。					
評価方法	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
	0%	50%	50%	0%	0%	0%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
知識・技能	知識・技能を得るために十分積極的に活動した。	知識・技能を得るための活動は、やや積極性を欠くものの十分な姿勢を見せた。	知識・技能を得るための通常の活動は、ある程度こなすことができた。	知識・技能を得るための最低限の活動を行った。	知識・技能を得るための最低限の活動が見られなかった。
思考力・判断力・表現力	積極的に授業に取り組み、経営学部生として実社会で対応し得る様々なスキルを学び、経営学部において学んだ内容を以って社会に貢献するための努力をしていた。	各回の授業に真摯に取り組み、経営学部生として十分な実践力の獲得に向けた理解が深まりつつあった。	各回の授業に取り組み、考え方や問題解決に対する努力が見られた。	授業にまじめに取り組み、経営学部生としての日常活動を実社会につなげるための努力は認められるがなかなか定着していなかった。	授業への取り組みが不十分で、本学経営学部生としての知識の獲得に対する前向きな姿勢が見られなかった。
主体性	自分のみならず周囲の学生も巻き込みながら授業に取り組み、余った時間をさらなる研究・理解に振り分け本学経営学部生としての自覚が出来上がっていた。	授業中の質問が多く、与えられた問題解決への相談も常であり経営学部生としての活動を実社会で生かすことに關して前向きで、努力が窺えた。	積極性は乏しいものの、不明点を質問するなど前向きな姿勢が窺えた。	何とか授業はこなすものの、不明点を質問したりすることはなく、日々の活動も受動的であった。	自分から進んで経営学部生としての内容を身につけようとする姿勢が見られなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『日経ビジネス』		日経BP			
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS071044)				
授業担当者(所属・職名)	伴 秀実(経営学科・特任教授)	研究室所在	1号館3階		
単位数	1 (単位認定責任者: 伴 秀実)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	企業における様々な経験を活かして、学生が身に着けるべき内容を解説する。		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	経営学のフレームワーク(変革マネジメント)と企業ケース分析	指定された内容の準備完了を確認する。(45分)	授業の振り返りを行う。(45分)
2	経営学のフレームワーク(変革マネジメント)と企業ケース分析	指定された内容の準備完了を確認する。(45分)	授業の振り返りを行う。(45分)
3	経営学のフレームワーク(ロジカル・シンキング)と企業ケース分析	指定された内容の準備完了を確認する。(45分)	授業の振り返りを行う。(45分)
4	経営学のフレームワーク(ロジカル・シンキング)と企業ケース分析	指定された内容の準備完了を確認する。(45分)	授業の振り返りを行う。(45分)
5	経営学のフレームワーク(ロジカル・シンキング)と企業ケース分析	指定された内容の準備完了を確認する。(45分)	授業の振り返りを行う。(45分)
6	経営学のフレームワーク(ロジカル・シンキング)と企業ケース分析	指定された内容の準備完了を確認する。(45分)	授業の振り返りを行う。(45分)
7	経営学のフレームワーク(ロジカル・シンキング)と企業ケース分析	指定された内容の準備完了を確認する。(45分)	授業の振り返りを行う。(45分)
8	経営学のフレームワーク(コーチング)と企業ケース分析	指定された内容の準備完了を確認する。(45分)	授業の振り返りを行う。(45分)
9	経営学のフレームワーク(コーチング)と企業ケース分析	指定された内容の準備完了を確認する。(45分)	授業の振り返りを行う。(45分)
10	フィールドワーク	指定された内容の準備完了を確認する。(45分)	授業の振り返りを行う。(45分)
11	フィールドワーク	指定された内容の準備完了を確認する。(45分)	授業の振り返りを行う。(45分)
12	課題プレゼン	指定された内容の準備完了を確認する。(45分)	授業の振り返りを行う。(45分)
13	課題プレゼン	指定された内容の準備完了を確認する。(45分)	授業の振り返りを行う。(45分)
14	課題プレゼン	指定された内容の準備完了を確認する。(45分)	授業の振り返りを行う。(45分)
15	課題プレゼン	指定された内容の準備完了を確認する。(45分)	授業の振り返りを行う。(45分)
16	後期ゼミ活動総括	指定された内容の準備完了を確認する。(45分)	後期全体および年間の振り返りを行う。(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS071044)				
授業担当者(所属・職名)	中川 純二(経営学科・准教授)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 中川 純二)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり 左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	学校現場における教員経験がある教員がその経験を活かして、将来に向け健康で豊かな生活を営んでいくための基礎を指導する。			

概要

履修目標

余暇時間の増大や高齢化が進む中で、自分自身の人生をより豊かで充実したものにするために、スポーツは非常に重要な役割を果たすと考えられる。本授業では、トレーニングの理論と実践を通じ、生涯にわたって定期的に体を動かす習慣を養うことを目的とする。

授業の位置づけ

経営学科のDP「1(1)」、「1(3)」、「2(2)」に対応する。
 社会福祉学科のDP「1(2)」、「1(4)」、「2(4)」に対応する。
 デザイン学科のDP「1(1)」、「2(5)」に対応する。
 建築学科のDP「1(1)」、「2(3)」に対応する。

到達目標

栄養、運動、休養に関する基礎的知識を身につける。
 自らの体力、自様に応じたトレーニングプログラムを組み立てる。
 生涯を通じて定期的に運動する習慣を養う。

授業全体の内容と概要

体力測定、形態測定により自分の体の状態を知る。
 正しいトレーニング理論を学び、体を動かす重要性、楽しさを学ぶ。

授業の方法

授業はトレーニングの実技が中心となるが、トレーニング方法についてグループで研究を行い、各自に適しているトレーニング方法を継続的に実践できるよう実施していく。

アクティブラーニングの実施方法

プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL
模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業
ディスカッション	○	実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

柔道部に所属の学生を対象とする。体育館・ウエイトトレーニング場を中心に授業を行うので、ジャージ・屋内用トレーニングシューズを用意すること。
 怪我や健康上の理由がある者は、事前に申し出ること。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件

単位認定に必要な最低出席回数は、11回以上

評価方法

定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	10%	0%	0%	60%	30%

ルーブリック

評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
関心・意欲・態度	自ら進んで行動や役割を果たすことができ、何事にも意欲的に取り組み、かつ安全に細心の注意を払うことができた。	積極的に行動や役割を果たすことができ、意欲的に取り組み、安全に注意を払うことができた。	行動の仕方を守り、役割を果たすことができ、指示通り取り組み安全に注意を払っていた。	行動の仕方を守らず役割を果たさそうしない時があり、意欲もなく安全に注意を払っていないかった。	行動の仕方を守らず役割を果たせず、意欲もまったくなく、安全に配慮ができなかった。
知識・理解	トレーニングの基礎知識を十分持ち、それぞれの領域においても十分理解し、実践的に活用できた。	トレーニングの基礎知識を持ち、各領域においても深く理解し、適切に活用できた。	トレーニングの基礎知識がある程度理解し、活用することができた。	トレーニングの基礎知識が少なく、活用することができなかった。	トレーニングの基礎知識が全くなく、取り組みが全くみられなかった。
計画・実行	達成目標を設定することができ、達成目標以上のトレーニングを実施することができた。	達成目標を設定し、達成目標が達成できるよう努力することができた。	達成目標を設定し、5割程度達成することができた。	達成目標の設定が明確でなく3割程度しか達成することができなかった。	達成目標を設定出来ず、ほとんどトレーニングを行っていないかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書

No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等

No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS071044)				
授業担当者(所属・職名)	中川 純二(経営学科・准教授)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 中川 純二)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	学校現場における教員経験がある教員がその経験を活かして、将来に向け健康で豊かな生活を営んでいくための基礎を指導する。		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	オリエンテーション(シラバスの説明)	事前にシラバスを読んで確認しておく(45分)	ガイダンスの内容を理解する(45分)
2	体力測定、形態測定	体力測定の方法を確認しておく(45分)	体力測定の方法を確認しておく(45分)
3	ストレッチ	ストレッチの方法を確認しておく(45分)	ストレッチの方法を理解する(45分)
4	体幹トレーニング	体幹トレーニングの方法を確認しておく(45分)	体幹トレーニングの方法を理解する(45分)
5	最大学上重量測定1	最大学上重量測定の方法を確認しておく(45分)	最大学上重量測定の方法を理解する(45分)
6	最大学上重量測定2	最大学上重量測定の方法を確認しておく(45分)	最大学上重量測定の方法を理解する(45分)
7	パワーポイント	パワーポイントの方法を確認しておく(45分)	パワーポイントの方法を理解する(45分)
8	トレーニングプログラムの組み方及び各自の能力に合わせたトレーニング1	トレーニングプログラムの組み方を確認しておく(45分)	トレーニングプログラムの組み方を理解する(45分)
9	トレーニングプログラムの組み方及び各自の能力に合わせたトレーニング2	トレーニングプログラムの組み方を確認しておく(45分)	トレーニングプログラムの組み方を理解する(45分)
10	トレーニングプログラムの組み方及び各自の能力に合わせたトレーニング3	トレーニングプログラムの組み方を確認しておく(45分)	トレーニングプログラムの組み方を理解する(45分)
11	トレーニングプログラムの組み方及び各自の能力に合わせたトレーニング4	トレーニングプログラムの組み方を確認しておく(45分)	トレーニングプログラムの組み方を理解する(45分)
12	トレーニングプログラムの組み方及び各自の能力に合わせたトレーニング5	トレーニングプログラムの組み方を確認しておく(45分)	トレーニングプログラムの組み方を理解する(45分)
13	ボールを用いたトレーニング	ボールを用いたトレーニング方法を確認しておく(45分)	ボールを用いたトレーニング方法を理解する(45分)
14	最大学上重量測定3	最大学上重量測定の方法を確認しておく(45分)	最大学上重量測定の方法を理解する(45分)
15	最大学上重量測定4	最大学上重量測定の方法を確認しておく(45分)	最大学上重量測定の方法を理解する(45分)
16	まとめ	生涯トレーニングの特性を確認しておく(45分)	生涯トレーニングの特性を理解する(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS071044)				
授業担当者(所属・職名)	三嶋 康嗣(経営学科・専任講師)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 三嶋 康嗣)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	学校現場における教員経験のある教員がその経験を活かして、目的に応じた運動の特性、楽しさを学ぶ。		

概要

履修目標	現代社会における健康の位置づけを考え、運動が生産にわたりそれへどう寄与するかを学ぶ。からだの構造の基礎的知識を身につけることによって、合理的にパフォーマンスの向上をはかる。												
授業の位置づけ	経営学科のDP「1(1)」、「1(2)」、「2(1)」、「2(3)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(2)」、「1(4)」、「2(4)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(1)」、「1(5)」に対応する。 建築学科のDP「1(1)」、「2(3)」に対応する。												
到達目標	トレーニングの目的を理解できる。 怪我の予防・応急処置を実践できる。												
授業全体の内容と概要	目的に応じた運動の特性、楽しさを学ぶ。												
授業の方法	からだの構造に関する基礎知識を踏まえ、トレーニングルームにてトレーニングを実践しながら怪我の予防・応急処置を取り入れ目的を理解していく。トレーニングの経過を観察記録し、各自記録結果をパワーポイント等にまとめ、グループワーク等で思考・考察、意見交換、討論、発表等一連の活動を行い学習する。												
アクティブラーニングの実施方法	<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>グループワーク</td> <td>フィールドワーク</td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td>ロールプレイ</td> <td>調査学習</td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td>実験・実習・実技</td> <td>双方向授業</td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL	模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業	ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL										
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業										
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)										
履修上の注意事項	研究室、体育館、トレーニング場で授業を行う。 からだを動かすのに適した服装とする。(ジャージ等)												
資格指定科目													

評価方法・基準

評価前提条件	単位認定に必要な最低出席回数、13回以上。					
評価方法	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
	0%	30%	0%	0%	0%	70%

ルーブリック	評価基準				
評価項目	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
関心・意欲・態度	自ら進んで行動や役割を果すことができ、とても意欲的に取り組み、目づ安全に細心の注意を払うことができた。	積極的に行動や役割を果すことができ、意欲的に取り組み、安全に注意を払うことができた。	行動の仕方を守り役割を果すことができ、普通に取り組み安全に注意を払っていた。	行動の仕方を守らず役割を果そうとしないときがあり、意欲もなく安全に注意を払っていないかった。	行動の仕方を守らず役割を果さなく意欲もまったくなく、安全に注意を払っていないかった。
知識・理解	からだの構造を理解し、運動との結びつきに及んでいなかった。	からだの構造を理解していた。	からだの構造を概ね理解していた。	からだの構造をある程度理解していた。	からだの構造を理解していなかった。
計画・実行	計画を立てることができた。その計画に沿って実行でき、達成目標がほぼ全てクリアされていた。	計画を立てることができた。達成目標は7割程度であった。	計画を立てることができた。達成目標は5割程度であった。	計画を立てることができた。達成目標は3割程度であった。	計画を立てることができなかった。達成目標が設定されていないため行動がみられなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書	No 書籍名 著者 出版社 出版年 ISBN 備考					
	1					
	2					
	3					
	4					
	5					
参考文献・資料等	No 書籍名 著者 出版社 出版年 ISBN 備考					
	1					
	2					
	3					
	4					
	5					

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS071044)				
授業担当者(所属・職名)	三嶋 康嗣(経営学科・専任講師)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 三嶋 康嗣)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	学校現場における教員経験のある教員がその経験を活かして、目的に応じた運動の特性、楽しさを学ぶ。		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	オリエンテーション(シラバスの説明)	事前にシラバスを読んでおく(45分)	オリエンテーションの内容を理解しておく(45分)
2	からだの構造(概論)	からだの構造について調べ(45分)ておく	からだの構造について理解しておく(45分)
3	からだの構造(概論)	からだの構造について調べ(45分)ておく	からだの構造について理解しておく(45分)
4	怪我の予防	怪我について調べておく(45分)	怪我の予防について理解しておく(45分)
5	怪我の予防	怪我について調べておく(45分)	怪我の予防について理解しておく(45分)
6	応急処置	応急処置について調べておく(45分)	応急処置について理解しておく(45分)
7	応急処置	応急処置について調べておく(45分)	応急処置について理解しておく(45分)
8	トレーニング実技(PNF)	体調を整えておく(45分)	トレーニング後の変化を観察しておく(45分)
9	トレーニング実技(PNF)	体調を整えておく(45分)	トレーニング後の変化を観察しておく(45分)
10	トレーニング実技(アイソメトリックトレーニング)	体調を整えておく(45分)	トレーニング後の変化を観察しておく(45分)
11	トレーニング実技(アイソメトリックトレーニング)	体調を整えておく(90分)	トレーニング後の変化を観察しておく(45分)
12	トレーニング実技(コンセントリックトレーニング)	体調を整えておく(45分)	トレーニング後の変化を観察しておく(45分)
13	トレーニング実技(コンセントリックトレーニング)	体調を整えておく(45分)	トレーニング後の変化を観察しておく(45分)
14	トレーニング実技(エキセントリックトレーニング)	体調を整えておく(45分)	トレーニング後の変化を観察しておく(45分)
15	トレーニング実技(エキセントリックトレーニング)	体調を整えておく(45分)	トレーニング後の変化を観察しておく(45分)
16	まとめ	トレーニングの実施内容と効果をまとめておく(45分)	トレーニングの効果を確認しておく(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎セミナー B (科目ナンバリング: BAS071044)				
授業担当者(所属・職名)	井坂 肇(経営学科・助教)		研究室所在	1号館3階	
単位数	1 (単位認定責任者: 井坂 肇)		CAP制		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標																					
競技力向上のためにトレーニング科学とその実践方法について理解する。																					
授業の位置づけ																					
経営学科のDP「1(1)と(2)」、「2(1)と(3)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(2)と(4)」、「1(4)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(1)」、「2(5)」に対応する。 建築学科のDP「1(1)」、「2(3)」に対応する。																					
到達目標																					
トレーニング科学について理解できる。 トレーニングを実践できる。 トレーニングについて自ら調べることができる。																					
授業全体の内容と概要																					
NSCAの発行しているテキストを参考にしながらトレーニング科学とその実践方法についての理解を深めていく。計画を立てパフォーマンスの向上を確認する。最適なトレーニング方法について議論しながら進めていく。																					
授業の方法																					
プリントや資料を配布する。 実技を通して実践知を得ながら、その成果をグループワークやディスカッションを通して互いに確認し合う。																					
アクティブラーニングの実施方法																					
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>○</td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>○ ディスカッション</td> <td>○</td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業	○ ディスカッション	○	実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL															
模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業															
○ ディスカッション	○	実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)															
履修上の注意事項																					
硬式野球部優先																					
資格指定科目																					

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な最低出席回数は、13回以上					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	20%	30%	0%	0%	50%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
トレーニング科学の理解	トレーニング科学を理解したうえで、日毎、短期、長期それぞれの適切なプログラムを組んでいる。さらには他者のプログラムも組めるようになっている。	トレーニング科学を理解したうえで、日毎、短期、長期それぞれの適切なプログラムを組んでいる。	トレーニング科学を理解したうえで、日毎の適切なプログラムを組んでいる。	トレーニング科学を理解している。	トレーニング科学を理解していない。
トレーニングの実践	トレーニングを実践しパフォーマンスが向上し、さらには原因と結果の分析が出来ている。また、他者と共同してトレーニングを行うことができる。	トレーニングを実践しパフォーマンスが向上し、さらには原因と結果の分析が出来ている。	トレーニングを実践し、パフォーマンスが向上している。	トレーニングを実践していない。	トレーニングを実践していない。
トレーニング情報の収集	トレーニング情報法の収集をし、プログラムに反映するとともに、体系的にまとめている。さらには複数の分野を関連付けて理解できている。	トレーニング情報法の収集をし、プログラムに反映するとともに、体系的にまとめている。	トレーニング情報の収集をし、プログラムに反映している。	トレーニング情報の収集をしている。	トレーニング情報の収集をしていない。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『NSCA決定版 ストレングストレーニング&コンディショニング』	Thomas R. Baechle 著	ブックハウス・エイチディ	2010	978-4938335649	
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎セミナー B (科目ナンバリング: BAS071044)				
授業担当者(所属・職名)	井坂 肇(経営学科・助教)		研究室所在	1号館3階	
単位数	1 (単位認定責任者: 井坂 肇)		CAP制		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	ガイダンス: シラバスの説明	事前にシラバスを読んで確認しておく(45分)	ガイダンスの内容を理解しておく(45分)
2	トレーニングの理解1: レジスタンスエクササイズ のバイオメカニクス	学習内容に関連する事柄について調べておく(45分)	学習内容について振り返りまとめておく(45分)
3	トレーニングの理解2: 運動とトレーニングの生体 エネルギー論	学習内容に関連する事柄について調べておく(45分)	学習内容について振り返りまとめておく(45分)
4	トレーニングの理解3: レジスタンストレーニング	学習内容に関連する事柄について調べておく(45分)	学習内容について振り返りまとめておく(45分)
5	トレーニングの理解4: プライオメトリック	学習内容に関連する事柄について調べておく(45分)	学習内容について振り返りまとめておく(45分)
6	トレーニングの理解5: スピードおよびアジリティ	学習内容に関連する事柄について調べておく(45分)	学習内容について振り返りまとめておく(45分)
7	トレーニングの理解6: 有酸素性持久力	学習内容に関連する事柄について調べておく(45分)	学習内容について振り返りまとめておく(45分)
8	トレーニングの確認	学習内容に関連する事柄について調べておく(45分)	学習内容について振り返りまとめておく(45分)
9	トレーニングの実践1: テストの選択と実施	学習内容に関連する事柄について調べておく(45分)	学習内容について振り返りまとめておく(45分)
10	トレーニングの実践2: プログラムデザイン	学習内容に関連する事柄について調べておく(45分)	学習内容について振り返りまとめておく(45分)
11	トレーニングの実践3: ウォームアップと柔軟性 トレーニング1	学習内容に関連する事柄について調べておく(45分)	学習内容について振り返りまとめておく(45分)
12	トレーニングの実践4: 柔軟性トレーニング2	学習内容に関連する事柄について調べておく(45分)	学習内容について振り返りまとめておく(45分)
13	トレーニングの実践5: 柔軟性トレーニング3	学習内容に関連する事柄について調べておく(45分)	学習内容について振り返りまとめておく(45分)
14	トレーニングの実践6: 栄養戦略	学習内容に関連する事柄について調べておく(45分)	学習内容について振り返りまとめておく(45分)
15	トレーニングの実践7: サプリメント	学習内容に関連する事柄について調べておく(45分)	学習内容について振り返りまとめておく(45分)
16	まとめ	講義全体を振り返り質問事項をまとめておく(45分)	学習内容について振り返りまとめておく(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS071044)				
授業担当者(所属・職名)	近澤 潤 (経営学科・専任講師)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 近澤 潤)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり 左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	民間企業での実務経験を活かし、現実感のある実体験や事例を紹介することで、社会人として必要なスキルの重要性を訴求し、その習得を促す。			

概要

履修目標
グループワークを基本とした様々な演習課題や事例研究、学内外のプロジェクト活動を通して「前に踏み出す力」(主体性・働きかけ力・実行力)・「考え抜く力」(課題発見力・計画力・創造力)・「チームで働く力」(発信力・傾聴力・柔軟性・状況把握力・規律性・ストレスコントロール力)を修得する。

授業の位置づけ
経営学科のDP「1(4)」、「1(5)」、「2(3)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(3)」、「1(4)」、「1(5)」、「1(6)」、「1(7)」、「2(4)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(2)」、「1(3)」、「1(5)」に対応する。 建築学科のDP「1(2)」、「1(3)」、「1(5)」に対応する。

到達目標
失敗を恐れず、自分にとって困難な場面においても打開することを諦めず、最後まで前向きに取り組むことができる。 物事を多角的に分析し、発見した課題に対してどのように解決するかを考え抜くことができる。 グループの一員であることの自覚を踏まえ、多様な価値観を持つ人たちの意見を拒絶せず、柔軟な視点で物事を把握、適切な意見の発信を行うことで、グループメンバーとの良好な関係を構築できる。

授業全体の内容と概要
グループワークを基本とし、様々な演習課題や事例研究、学内外のプロジェクト活動を通して「チームで働く意義」「チームで働く難しさ」「円滑なコミュニケーションの重要性」について体感してもらい、グループワークの成果物として「レポート」・「プレゼンテーション」・「デザイン制作物(ポスター・チラシ・Webサイトデザイン・ムービー)」などのいずれかを、グループ単位で制作・発表する。

授業の方法
グループで取り組む演習課題や事例研究、学内外のプロジェクト活動開始時点では、その目的や最終目標、背景などについて資料等を提示しながら説明する。その後は、各グループでディスカッション等を行いながら、企画・計画の立案、目標設定、予算作成、調査、制作、発表、自己評価、改善、発表といったPDCサイクルを軸とする一連の工程を行う。取り組み場面では、都度アドバイスやフィードバックを行い、各グループが円滑に進むよう最低限サポートする。

アクティブラーニングの実施方法															
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td>グループワーク</td> <td>フィールドワーク</td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td>ロールプレイ</td> <td>調査学習</td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td>実験・実習・実技</td> <td>双方向授業</td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL		模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業		ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL											
	模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業											
	ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)											

履修上の注意事項
所属学科の制限は設けない。また、課題制作(デザイン制作)を行う場合は、全学科対応できるよう考慮した内容とする。評価については、チームでの取り組みの姿勢や態度を重視する(取り組んだ結果、失敗したとしても減点せず、取り組みのプロセスについて評価する)。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
単位認定に必要な最低出席回数は、13回以上とする。												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>30%</td> <td>0%</td> <td>70%</td> <td>0%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	0%	30%	0%	70%	0%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	0%	30%	0%	70%	0%							

ルーブリック																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあたるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前に踏み出す力</td> <td>一定の行動について、主体的に取り組み、周囲に働きかけて巻き込むことができた。</td> <td>一定の行動について、主体的に取り組み、周囲に働きかけて巻き込むことができた。</td> <td>一定の行動について、主体的に取り組み、少ないながらも周囲に働きかけて巻き込むことができた。</td> <td>一定の行動について主体的に取り組みることができた。</td> <td>ほぼ全ての行動について主体的に取り組むことができなかった。</td> </tr> <tr> <td>考え抜く力</td> <td>課題を発見し、見出した解決策の実行に向けた具体的なプロセスを考案することができ、その解決策が効果的であった。</td> <td>課題を発見し、見出した解決策の実行に向けた具体的なプロセスを考案することができた。</td> <td>課題を発見し、解決策を見出すことができた。</td> <td>課題を発見することができた。</td> <td>課題を発見することができなかった。</td> </tr> <tr> <td>チームで働く力</td> <td>他の履修生の意見をしっかりと傾聴でき、お互いの立場や考え方を尊重して意見集約ができ、反対意見に対しても柔軟に対応することができた。</td> <td>他の履修生の意見をしっかりと傾聴でき、お互いの立場や考え方を尊重して、意見集約することができた。</td> <td>他の履修生の意見をしっかりと傾聴することができた。</td> <td>他の履修生の意見を最低限傾聴することができた。</td> <td>他の履修生の意見を傾聴することができなかった。</td> </tr> <tr> <td>成果物の完成度と関与(学習意欲)</td> <td>成果物(レポート・プレゼンテーション・デザイン制作)を、チームの一員として十分に関与し、主体的に行動し、完成させることができた。</td> <td>成果物(レポート・プレゼンテーション・デザイン制作)を、チームの一員として十分に関与し、完成させることができた。</td> <td>成果物(レポート・プレゼンテーション・デザイン制作)を、チームの一員としてある程度関与し、完成させることができた。</td> <td>成果物(レポート・プレゼンテーション・デザイン制作)を、チームの一員として最低関与し、完成させることができた。</td> <td>成果物(レポート・プレゼンテーション・デザイン制作)を、チームの一員として関与せず、完成させることができなかった。</td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあたるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	前に踏み出す力	一定の行動について、主体的に取り組み、周囲に働きかけて巻き込むことができた。	一定の行動について、主体的に取り組み、周囲に働きかけて巻き込むことができた。	一定の行動について、主体的に取り組み、少ないながらも周囲に働きかけて巻き込むことができた。	一定の行動について主体的に取り組みることができた。	ほぼ全ての行動について主体的に取り組むことができなかった。	考え抜く力	課題を発見し、見出した解決策の実行に向けた具体的なプロセスを考案することができ、その解決策が効果的であった。	課題を発見し、見出した解決策の実行に向けた具体的なプロセスを考案することができた。	課題を発見し、解決策を見出すことができた。	課題を発見することができた。	課題を発見することができなかった。	チームで働く力	他の履修生の意見をしっかりと傾聴でき、お互いの立場や考え方を尊重して意見集約ができ、反対意見に対しても柔軟に対応することができた。	他の履修生の意見をしっかりと傾聴でき、お互いの立場や考え方を尊重して、意見集約することができた。	他の履修生の意見をしっかりと傾聴することができた。	他の履修生の意見を最低限傾聴することができた。	他の履修生の意見を傾聴することができなかった。	成果物の完成度と関与(学習意欲)	成果物(レポート・プレゼンテーション・デザイン制作)を、チームの一員として十分に関与し、主体的に行動し、完成させることができた。	成果物(レポート・プレゼンテーション・デザイン制作)を、チームの一員として十分に関与し、完成させることができた。	成果物(レポート・プレゼンテーション・デザイン制作)を、チームの一員としてある程度関与し、完成させることができた。	成果物(レポート・プレゼンテーション・デザイン制作)を、チームの一員として最低関与し、完成させることができた。	成果物(レポート・プレゼンテーション・デザイン制作)を、チームの一員として関与せず、完成させることができなかった。
評価項目		評価基準																																	
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあたるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																														
前に踏み出す力	一定の行動について、主体的に取り組み、周囲に働きかけて巻き込むことができた。	一定の行動について、主体的に取り組み、周囲に働きかけて巻き込むことができた。	一定の行動について、主体的に取り組み、少ないながらも周囲に働きかけて巻き込むことができた。	一定の行動について主体的に取り組みることができた。	ほぼ全ての行動について主体的に取り組むことができなかった。																														
考え抜く力	課題を発見し、見出した解決策の実行に向けた具体的なプロセスを考案することができ、その解決策が効果的であった。	課題を発見し、見出した解決策の実行に向けた具体的なプロセスを考案することができた。	課題を発見し、解決策を見出すことができた。	課題を発見することができた。	課題を発見することができなかった。																														
チームで働く力	他の履修生の意見をしっかりと傾聴でき、お互いの立場や考え方を尊重して意見集約ができ、反対意見に対しても柔軟に対応することができた。	他の履修生の意見をしっかりと傾聴でき、お互いの立場や考え方を尊重して、意見集約することができた。	他の履修生の意見をしっかりと傾聴することができた。	他の履修生の意見を最低限傾聴することができた。	他の履修生の意見を傾聴することができなかった。																														
成果物の完成度と関与(学習意欲)	成果物(レポート・プレゼンテーション・デザイン制作)を、チームの一員として十分に関与し、主体的に行動し、完成させることができた。	成果物(レポート・プレゼンテーション・デザイン制作)を、チームの一員として十分に関与し、完成させることができた。	成果物(レポート・プレゼンテーション・デザイン制作)を、チームの一員としてある程度関与し、完成させることができた。	成果物(レポート・プレゼンテーション・デザイン制作)を、チームの一員として最低関与し、完成させることができた。	成果物(レポート・プレゼンテーション・デザイン制作)を、チームの一員として関与せず、完成させることができなかった。																														

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS071044)				
授業担当者(所属・職名)	近澤 潤(経営学科・専任講師)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 近澤 潤)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	民間企業での実務経験を活かし、現実感のある実体験や事例を紹介することで、社会人として必要なスキルの重要性を訴求し、その習得を促す。		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	【オリエンテーション】 シラバス、履修登録に関して説明する。	シラバスを確認する(45分)	履修登録結果を確認する(45分)
2	【ビギナーズセミナー】 前期の単位修得状況や学修成績から、今後の学修への取り組み方について説明する。	学生便覧を読む(45分)	不明な点をまとめ、調べる(45分)
3	【ビギナーズセミナー】 前期の単位修得状況や学修成績から、今後の学修への取り組み方について説明する。	学生便覧を読む(45分)	不明な点をまとめ、調べる(45分)
4	【コンセンサスゲーム・演習課題】 グループディスカッションの練習を行う。	グループディスカッションのコツについて調べる(45分)	ここまでの授業内容を整理する(45分)
5	【コンセンサスゲーム・演習課題】 グループディスカッションの練習を行う。	前回までの授業内容を確認する(45分)	グループディスカッションの反省点を整理する(45分)
6	【学内プロジェクト活動】 学内においてプロジェクト活動を行う。	前回までの授業内容を確認する(45分)	ここまでの授業内容を整理する(45分)
7	【学内プロジェクト活動】 学内においてプロジェクト活動を行う。	前回までの授業内容を確認する(45分)	ここまでの授業内容を整理する(45分)
8	【学内プロジェクト活動】 学内においてプロジェクト活動を行う。	前回までの授業内容を確認する(45分)	ここまでの授業内容を整理する(45分)
9	【学内プロジェクト活動】 学内においてプロジェクト活動を行う。	前回までの授業内容を確認する(45分)	ここまでの授業内容を整理する(45分)
10	【学内プロジェクト活動】 学内においてプロジェクト活動を行う。	前回までの授業内容を確認する(45分)	ここまでの授業内容を整理する(45分)
11	【学内プロジェクト活動】 学内においてプロジェクト活動を行う。	前回までの授業内容を確認する(45分)	ここまでの授業内容を整理する(45分)
12	【学内プロジェクト活動】 学内においてプロジェクト活動を行う。	前回までの授業内容を確認する(45分)	ここまでの授業内容を整理する(45分)
13	【学内プロジェクト活動】 学内においてプロジェクト活動を行う。	前回までの授業内容を確認する(45分)	ここまでの授業内容を整理する(45分)
14	【学内プロジェクト活動】 学内においてプロジェクト活動を行う。	前回までの授業内容を確認する(45分)	ここまでの授業内容を整理する(45分)
15	【学内プロジェクト活動(成果発表会)】 グループごとに取り組んだ内容について、プレゼンテーションを行う。	前回までの授業内容を確認する(45分)	反省点をまとめる(45分)
16	【まとめ・総評】	前回までの授業内容を確認する(45分)	フィードバックの内容をまとめる(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS071044)				
授業担当者(所属・職名)	田畑 圭悟(経営学科・助教)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 田畑 圭悟)	CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標

競技スポーツ及び、健康のための基礎的トレーニングを学び、個人に必要なトレーニングを自ら実践出来るようにする。また、学生と教員双方の人間関係を構築しコミュニケーション能力を高め、併せて快適な学生生活及び基本的な生活習慣を身につける。

授業の位置づけ

経営学科DP「1(1)」、「1(2)」、「2(1)」、「2(3)」に対応する。
 社会福祉学科DP「1(2)」、「1(4)」、「2(4)」に対応する。
 デザイン学科DP「1(1)」、「2(5)」に対応する。
 建築学科DP「1(1)」、「2(3)」に対応する。

到達目標

競技及び個人の特性を理解し、自らの競技スポーツや健康に一層深い関心を持って、安全にトレーニングすることができる。

授業全体の内容と概要

競技スポーツ又は、健康のために必要な基礎的トレーニングを実践し、自らの競技力向上と健康の保持増進のために必要なトレーニングを見つけ出し実践する。

授業の方法

授業は配布資料で実施し、トレーニングなどのDVDも活用しながら講義形式で行う。授業によってはグループワークで思考・考察・発表を行い学習していく。レポートにはコメントにてフィードバックする。さらに、実技に関しては基礎的なトレーニングの特性を理解し学習したことを実際に怪我に注意を払いながら実施していく。

アクティブラーニングの実施方法

	プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業
	ディスカッション	○	実験・実習・実技	○	双方向授業		その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

陸上部に所属の学生を対象とする。基本的にジャージや屋内運動靴を必ず用意する。注意事項の詳細はガイダンスで指示する。健康上の理由で医師から運動を停止されている者は、申し出の上指示を受けること。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件					
単位確定に必要な最低出席回数は、11回以上					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	30%	20%	0%	0%	50%

ルーブリック

評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
主体的・協働的な学びの姿勢	自ら進んで行動や役割を果たすことができ、とても意欲的に取り組み、且つ安全に細心の注意を払うことができた。	積極的に行動や役割を果たすことができ、意欲的に取り組み、安全に注意を払うことができた。	行動の仕方を守り役割を果たすことができ、普通に取り組み安全に注意を払っていた。	行動の仕方を守らず役割を果たそうとしないときがあり、意欲もなく安全に注意を配っていなかった。	行動の仕方を守らず役割を果たさなく意欲もまったくなく、安全に注意を配っていなかった。
トレーニングの基礎知識の理解と実践	トレーニングの基礎知識を持ち、それぞれの領域が持つ見方について説明することができ、実践的に活用できた。	トレーニングの基礎知識を持ち、多様な領域からの見解を深く理解できていて適切に活用できた。	トレーニングの基礎知識の見解を一定程度理解できていて、活用できた。	トレーニングの基礎知識の見解をあまり深く理解できていなく、活用できるレベルになかった1。	トレーニングの基礎知識の見解をまったく理解できていなく、その獲得、修得に取り組んでいなかった。
計画の策定と実行	達成目標を設定し、創造的思考を持って趣味的計画を立て、その計画に沿って実行できた。	達成目標を設定した計画を立てることができ、計画に沿って7割程度できた。	達成目標を設定し、計画を立てて5割程度できた。	計画を立てることができ、達成目標が曖昧であり3割程度しかできなかった。	計画を立てることができなく、達成目標もなく、まったくできなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等

No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎セミナー B (科目ナンバリング: BAS071044)				
授業担当者(所属・職名)	田畑 圭悟(経営学科・助教)		研究室所在	1号館2階	
単位数	1 (単位認定責任者: 田畑 圭悟)	CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	シラバスの説明ガイダンス	事前にシラバスを読んで確認しておく(45分)	ガイダンスの内容を理解しておく(45分)
2	基礎トレーニングの理解 1	基礎トレーニングについて確認しておく(45分)	基礎トレーニングを理解しておく(45分)
3	基礎トレーニングの理解 2	基礎トレーニングについて確認しておく(45分)	基礎トレーニングを理解しておく(45分)
4	基礎トレーニングの理解 3	基礎トレーニングについて確認しておく(45分)	基礎トレーニングを理解しておく(45分)
5	基礎トレーニングの理解 4	基礎トレーニングについて確認しておく(45分)	基礎トレーニングを理解しておく(45分)
6	基礎トレーニングの理解 5	基礎トレーニングについて確認しておく(45分)	基礎トレーニングを理解しておく(45分)
7	基礎トレーニングの理解 6	基礎トレーニングについて確認しておく(45分)	基礎トレーニングを理解しておく(45分)
8	基礎トレーニングの習得 1	健康に留意し体調を整えておく(45分)	身体のケアを怠らない(45分)
9	基礎トレーニングの習得 2	健康に留意し体調を整えておく(45分)	身体のケアを怠らない(45分)
10	基礎トレーニングの習得 3	健康に留意し体調を整えておく(45分)	身体のケアを怠らない(45分)
11	基礎トレーニングの習得 4	健康に留意し体調を整えておく(45分)	身体のケアを怠らない(45分)
12	基礎トレーニングの習得 5	健康に留意し体調を整えておく(45分)	身体のケアを怠らない(45分)
13	基礎トレーニングの習得 6	健康に留意し体調を整えておく(45分)	身体のケアを怠らない(45分)
14	基礎トレーニングの習得 7	健康に留意し体調を整えておく(45分)	身体のケアを怠らない(45分)
15	基礎トレーニングの習得 8	健康に留意し体調を整えておく(45分)	身体のケアを怠らない(45分)
16	まとめ	生涯スポーツとしての特性を理解しておく(45分)	生涯スポーツとしての基礎を理解する(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎セミナー B (科目ナンバリング: BAS071044)				
授業担当者(所属・職名)	篠原 諒介(経営学科・助教)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 篠原 諒介)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標	国際的に活躍するエリートアスリートとともに働く世界の著名なスポーツ科学者達のリカバリーに関する最新の科学的データを理解する。				
授業の位置づけ	経営学科のDP「1(5)」、「2(2)」、「2(3)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(2)」、「1(3)」、「1(4)」、「1(5)」、「1(6)」、「1(7)」、「2(4)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(2)」、「1(3)」、「2(5)」に対応する。 建築学科のDP「1(2)」、「1(3)」、「2(5)」に対応する。				
到達目標	「パフォーマンスを向上させたい」、「オーバーラディングや怪我を予防したい」と考えているすべてのアスリートやコーチを目指している学生のために、科学的なエビデンスに基づいた情報、また、エリートスポーツに携わるコーチやスポーツ科学者が、成功へと導いた競技現場でのリカバリーの応用例を実践する。				
授業全体の内容と概要	すべてのアスリートやコーチを目指している学生がトレーニングや試合などの競技活動におけるオーバーロードや怪我のリスクを低下させ、最終的にはそれぞれのパフォーマンスを改善するリカバリープロセスを学ぶ。				
授業の方法	授業はパワーポイントを使用し、DVDの視聴、レポートなどの講義形式で実施する。				
アクティブラーニングの実施方法	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL	
	模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業	
	ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)	
履修上の注意事項	20分以上の遅刻は欠席とみなします。遅刻3回で1回の欠席とみなします。				
資格指定科目					

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な最低出席回数は、13回以上					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	20%	30%	0%	50%	0%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
知識・技能	学修した知識・技能を確実に修得するとともに、それらに関連した知識・技能についても獲得した	学修した知識・技能を確実に修得した	学修した知識・技能のすべてを修得することはできなかった	学修した知識・技能を修得したが最低限容認できるレベルにとどまった	学修に真面目に取り組まなかった
思考力・判断力・表現力	与えられた課題に積極的に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関しては求められるレベルを大きく超えた	与えられた課題に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関しては、求められるレベルを達成した	与えられた課題に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関しては、求められるレベルには達しなかった	与えられた課題に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関しては最低限容認できるレベルにとどまった	与えられた課題に真面目に取り組まなかった
主体性・多様性・協働性	与えられた課題に積極的に取り組んだ。積極性や協働性に関しては求められるレベルを大きく超えた	与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関しては、求められるレベルを達成した	与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関しては、求められるレベルには達しなかった	与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関しては最低限容認できるレベルにとどまった	与えられた課題に真面目に取り組まなかった

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS071044)				
授業担当者(所属・職名)	篠原 諒介(経営学科・助教)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 篠原 諒介)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	ガイダンス(シラバスの説明含む)	測定準備及び論文の読み込み(45分)	本時の学習内容をまとめて提出する(45分)
2	リカバリーの理解と修得スクリーニングとアセスメントの概要	測定準備及び論文の読み込み(45分)	本時の学習内容をまとめて提出する(45分)
3	リカバリーの理解と修得スクリーニングとアセスメントの概要	測定準備及び論文の読み込み(45分)	本時の学習内容をまとめて提出する(45分)
4	リカバリーの理解と修得スクリーニングとアセスメントの概要	測定準備及び論文の読み込み(45分)	本時の学習内容をまとめて提出する(45分)
5	リカバリーの理解と修得解剖学的科学と機能の科学	測定準備及び論文の読み込み(45分)	本時の学習内容をまとめて提出する(45分)
6	リカバリーの理解と修得解剖学的科学と機能の科学	測定準備及び論文の読み込み(45分)	本時の学習内容をまとめて提出する(45分)
7	リカバリーの理解と修得解剖学的科学と機能の科学	測定準備及び論文の読み込み(45分)	本時の学習内容をまとめて提出する(45分)
8	リカバリーの確認	測定準備及び論文の読み込み(45分)	本時の学習内容をまとめて提出する(45分)
9	リカバリーの実践スクリーニングとアセスメント	測定準備及び論文の読み込み(45分)	本時の学習内容をまとめて提出する(45分)
10	リカバリーの実践スクリーニングとアセスメント	測定準備及び論文の読み込み(45分)	本時の学習内容をまとめて提出する(45分)
11	リカバリーの実践スクリーニングとアセスメント	測定準備及び論文の読み込み(45分)	本時の学習内容をまとめて提出する(45分)
12	リカバリーの実践スクリーニングとアセスメント	測定準備及び論文の読み込み(45分)	本時の学習内容をまとめて提出する(45分)
13	リカバリーの実践筋機能・動作と感覚	測定準備及び論文の読み込み(45分)	本時の学習内容をまとめて提出する(45分)
14	リカバリーの実践筋機能・動作と感覚	測定準備及び論文の読み込み(45分)	本時の学習内容をまとめて提出する(45分)
15	リカバリーの実践筋機能・動作と感覚	測定準備及び論文の読み込み(45分)	本時の学習内容をまとめて提出する(45分)
16	まとめ	測定準備及び論文の読み込み(45分)	本時の学習内容をまとめて提出する(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年(再履修他)		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS071044)				
授業担当者(所属・職名)	渡部 斎(社会福祉学科・教授)	研究室所在	2号館7階		
単位数	1 (単位認定責任者: 渡部 斎)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
自ら興味のあるもの選定して「テーマ」を決定し、深く研究する主体的な課題解決学習を追求する。前期に選択した「テーマ」を、後期にはより深く研究し、レジメを作成する能力を高め、プレゼンテーション能力を培う。

授業の位置づけ
社会福祉学科のDP「1(3)と(4)と(5)」、「1(6)」、「2(1)と(4)」に対応する。 経営学科のDP「1(1)と(2)と(4)」、「2(1)と(3)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(2)」、「2(1)と(5)」に対応する。 建築学科のDP「1(1)」、「2(1)と(5)」に対応する。

到達目標
自分で「テーマ」を見つけ、レジメを作成してプレゼンテーションができる。

授業全体の内容と概要
ディスカッション等で話し合い、「テーマ」を選定する。「テーマ」を選定したらプレゼンテーションに向けて、資料の収集や解析を行う。次に資料から、わかりやすいレジメの作成に取り掛かり、レジメの完成後にプレゼンテーションを行う。

授業の方法
授業形態はゼミ形式(ディスカッション・プレゼンテーション)で、主体的な学習が中心である。研究課題を自ら選択し、前期内に課題解決を試みることを目的とする。プレゼンテーションのレジメやレポート課題は、必修である。なお、レジメやレポートには、コメントにてフィードバックする。

アクティブラーニングの実施方法												
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>グループワーク</td> <td>フィールドワーク</td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td>ロールプレイ</td> <td>調査学習</td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td>実験・実習・実技</td> <td>双方向授業</td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL	模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業	ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL									
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業									
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)									

履修上の注意事項
・レポートは、指示した「レポート作成要領」に準拠したものを提出すること。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
・単位認定に必要な最低出席回数は、10回以上である。												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>30%</td> <td>20%</td> <td>0%</td> <td>25%</td> <td>25%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	30%	20%	0%	25%	25%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	30%	20%	0%	25%	25%							

ルーブリック																																									
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> <tr> <td>知識・理解</td> <td>・レポート課題において、9割以上の得点を取ることができた。</td> <td>・レポート課題において、8割以上の得点を取ることができた。</td> <td>・レポート課題において、7割以上の得点を取ることができた。</td> <td>・レポート課題において、6割以上の得点を取ることができた。</td> <td>・レポート課題において、6割以上の得点を取ることができなかった。</td> </tr> <tr> <td>関心・意欲・態度</td> <td>右の記述を高いレベルで実現できた。</td> <td>ディスカッションの課題などで、論理的に自分の意見をまとめ、たいへんわかりやすく説明ができた。</td> <td>ディスカッションの課題などで、自分の意見をまとめ、わかりやすく説明ができた。</td> <td>ディスカッションの課題などで、自分の意見をまとめ、説明ができた。</td> <td>ディスカッションの課題などで、自分の意見をまとめ、説明ができなかった。</td> </tr> <tr> <td>思考力・判断力・表現力</td> <td>右の記述を高いレベルで実現できた。</td> <td>プレゼンテーションの進行や内容がたいへん良く構成されていた。</td> <td>プレゼンテーションの進行や内容が良く構成されていた。</td> <td>プレゼンテーションの進行や内容が構成されていた。</td> <td>プレゼンテーションの進行や内容が構成されていないかった。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	知識・理解	・レポート課題において、9割以上の得点を取ることができた。	・レポート課題において、8割以上の得点を取ることができた。	・レポート課題において、7割以上の得点を取ることができた。	・レポート課題において、6割以上の得点を取ることができた。	・レポート課題において、6割以上の得点を取ることができなかった。	関心・意欲・態度	右の記述を高いレベルで実現できた。	ディスカッションの課題などで、論理的に自分の意見をまとめ、たいへんわかりやすく説明ができた。	ディスカッションの課題などで、自分の意見をまとめ、わかりやすく説明ができた。	ディスカッションの課題などで、自分の意見をまとめ、説明ができた。	ディスカッションの課題などで、自分の意見をまとめ、説明ができなかった。	思考力・判断力・表現力	右の記述を高いレベルで実現できた。	プレゼンテーションの進行や内容がたいへん良く構成されていた。	プレゼンテーションの進行や内容が良く構成されていた。	プレゼンテーションの進行や内容が構成されていた。	プレゼンテーションの進行や内容が構成されていないかった。												
評価項目		評価基準																																							
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
知識・理解	・レポート課題において、9割以上の得点を取ることができた。	・レポート課題において、8割以上の得点を取ることができた。	・レポート課題において、7割以上の得点を取ることができた。	・レポート課題において、6割以上の得点を取ることができた。	・レポート課題において、6割以上の得点を取ることができなかった。																																				
関心・意欲・態度	右の記述を高いレベルで実現できた。	ディスカッションの課題などで、論理的に自分の意見をまとめ、たいへんわかりやすく説明ができた。	ディスカッションの課題などで、自分の意見をまとめ、わかりやすく説明ができた。	ディスカッションの課題などで、自分の意見をまとめ、説明ができた。	ディスカッションの課題などで、自分の意見をまとめ、説明ができなかった。																																				
思考力・判断力・表現力	右の記述を高いレベルで実現できた。	プレゼンテーションの進行や内容がたいへん良く構成されていた。	プレゼンテーションの進行や内容が良く構成されていた。	プレゼンテーションの進行や内容が構成されていた。	プレゼンテーションの進行や内容が構成されていないかった。																																				

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td>『使用しない』</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1	『使用しない』						2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1	『使用しない』																																									
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td>『配布プリント』</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1	『配布プリント』						2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1	『配布プリント』																																									
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年(再履修他)		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS071044)				
授業担当者(所属・職名)	渡部 斎(社会福祉学科・教授)	研究室所在	2号館7階		
単位数	1 (単位認定責任者: 渡部 斎)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	オリエンテーション(シラバスの説明を含む)	事前にシラバスを読んでいること。(45分)	今回の授業内容を復習しておくこと。(45分)
2	「テーマ」の選定	事前に課題を考えておくこと。(45分)	今回の授業内容を復習しておくこと。(45分)
3	「テーマ」の選定	前回の授業内容を復習しておくこと。(45分)	今回の授業内容を復習しておくこと(45分)。
4	ディスカッション	ディスカッションの準備学修をしておくこと。(45分)	今回の授業内容を復習しておくこと。(45分)
5	「テーマ」の選定	前回の授業内容を復習しておくこと。(45分)	レポート課題等を作成すること。(45分)
6	ディスカッション	ディスカッションの準備学修をしておくこと。(45分)	今回の授業内容を復習しておくこと。(45分)
7	「テーマ」の確定	前回の授業内容を復習しておくこと。(45分)	今回の授業内容を復習しておくこと。(45分)
8	「テーマ」の方法	前回の授業内容を復習しておくこと。(45分)	今回の授業内容を復習しておくこと。(45分)
9	ディスカッション	ディスカッションの準備学修をしておくこと。(45分)	今回の授業内容を復習しておくこと。(45分)
10	「テーマ」の方法	前回の授業内容を復習しておくこと。(45分)	今回の授業内容を復習しておくこと。(45分)
11	プレゼンテーションの準備(資料)	資料の作成準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容を復習しておくこと。(45分)
12	プレゼンテーションの準備(資料)	資料の作成準備をしておくこと。(45分)	レポート課題等を作成すること。(45分)
13	プレゼンテーションの準備(レジメ)	レジメの作成準備をしておくこと。(45分)	今回の授業内容を復習しておくこと。(45分)
14	プレゼンテーションの準備(レジメの作成)	レジメの作成準備をしておくこと。(45分)	レジメ等を作成すること。(45分)
15	プレゼンテーション	プレゼンテーションの準備学修をしておくこと。(45分)	今回の授業内容を復習しておくこと。(45分)
16	まとめ、課題(レポートなど)の解説	レポートを提出する。(45分)	まとめの振り返り(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS071044)				
授業担当者(所属・職名)	杉本 大輔(社会福祉学科・准教授)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 杉本 大輔)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標

本ゼミナールではキリスト教・仏教・イスラム教・儒教の教義内容とその特色を概観し、各々を構造神学的に比較したうえで、それらを振興する人々のエートス(行動様式)の生成と、そこから導き出された現代国際社会の諸相を分析し、併せて日本社会における宗教の影響と、日本人のエートスについての思考を深めるようにする。

授業の位置づけ

社会福祉学科のDP「1(4)と(5)と(6)と(7)」、「2(4)」に対応する。
 経営学科のDP「1(1)と(2)と(3)と(4)」、「2(1)」に対応する。
 デザイン学科のDP「1(1)と(2)と(3)」、「2(1)」に対応する。
 建築学科のDP「1(1)と(2)と(3)」、「2(1)」に対応する。

到達目標

- ・キリスト教、仏教、イスラム教、儒教の基本的協議を理解できる。
- ・上記宗教のから導き出されるエートスを理解し、現代社旗への影響を理解できる。
- ・現代日本社会における「宗教」とその機能を理解できる。

授業全体の内容と概要

小室直樹『日本人のための宗教原論—あなたを宗教はどう助けてくれるか—』(徳間書店)を基本参考文献とし(講義ごとに購読パートを教員がコピーする)、併せて、山本七平、橋爪大三郎、大澤真幸、の著書を参考に、首読しながら購読し、必要に応じてディスカッションを行う。

授業の方法

- ・各講義ごとに参考文献を音読してもらい、必要に応じて教員が説明を加える。また、ディスカッションも行う。
- ・ゼミで使用するプリントは前の週に配布する。熟読することが望ましい。
- ・学生の要望には可能な限り応じるが、教育上問題ありと思われる要望には応えられない。

アクティブラーニングの実施方法

	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL
	模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業
	ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

主体的積極的参加を望む。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定の最低出席数10回以上をクリアすること					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	0%	0%	0%	30%	70%

ルーブリック

評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
キリスト教・仏教・イスラム教・儒教の基本的協議を理解する。	ゼミナールで行った内容について説明できる。ディスカッションにおいて、自分の意見を明示でき、且つ、他者の意見について様々な指摘ができた。	ディスカッションにおいて、自分の意見を明示できた。	高校のテキストにおける「宗教」の基本的知識を習得できた。	ゼミナールで行った内容について説明できた。	左記の内容が何一つできなかった。
各宗教から導き出されるエートス(行動様式)を理解する。	ディスカッションにおいて、自分の意見を明示でき、且つ、他者の意見について様々な指摘ができた。	ディスカッションにおいて、自分の意見を明示できた。	マックス・ウェーバーの「エートス」の概念を理解できた。	ゼミナールで行った内容について説明できた。	左記の内容が何一つできなかった。
現代日本社会における宗教的機能について理解する。	ディスカッションにおいて、自分の意見を明示でき、且つ、他者の意見について様々な指摘ができた。	ディスカッションにおいて、自分の意見を明示できた。	小室直樹・山本七平の「日本教」について説明できた。	ゼミナールで行った内容について説明できた。	左記の内容が何一つできなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等

No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS071044)				
授業担当者(所属・職名)	杉本 大輔(社会福祉学科・准教授)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 杉本 大輔)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	シラバスの説明	高校の世界史の復習(45分)	配布資料の熟読(45分)
2	宗教のアウトライン1	前回資料の読み込み(45分)	配布資料の熟読(45分)
3	宗教のアウトライン2	前回資料の読み込み(45分)	配布資料の熟読(45分)
4	キリスト教1	前回資料の読み込み(45分)	配布資料の熟読(45分)
5	キリスト教2	前回資料の読み込み(45分)	配布資料の熟読(45分)
6	キリスト教3	前回資料の読み込み(45分)	配布資料の熟読(45分)
7	キリスト教4	前回資料の読み込み(90分)	配布資料の熟読(90分)
8	仏教1	前回資料の読み込み(45分)	配布資料の熟読(45分)
9	仏教2	前回資料の読み込み(45分)	配布資料の熟読(45分)
10	イスラム教1	前回資料の読み込み(45分)	配布資料の熟読(45分)
11	イスラム教2	前回資料の読み込み(45分)	配布資料の熟読(45分)
12	儒教1	前回資料の読み込み(45分)	配布資料の熟読(45分)
13	儒教2	前回資料の読み込み(45分)	配布資料の熟読(45分)
14	日本人と宗教1	前回資料の読み込み(45分)	配布資料の熟読(45分)
15	日本人と宗教2	前回資料の読み込み(45分)	配布資料の熟読(45分)
16	日本人と宗教3	前回資料の読み込み(45分)	配布資料の熟読(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS071044)				
授業担当者(所属・職名)	横田 肇 (社会福祉学科・准教授)	研究室所在	2号館7階		
単位数	1 (単位認定責任者: 横田 肇)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
基礎ゼミナール Aの継続として、学生が世界と日本の文化についての基礎的な知識と考え方を身につける。学生が、プレゼンテーション・コミュニケーションの基礎を身につける。文章作成の基礎の習得。

授業の位置づけ
経営学科のDP「1(2)」、「2(1)と(3)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(2)と(3)」、「2(1)と(4)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(1)と(3)と(5)」に対応する。 建築学科のDP「1(1)」、「2(1)と(3)と(5)」に対応する。

到達目標
受講者において、プレゼンテーション・コミュニケーションの基礎が習得できていること。文章作成の基礎が習得できていること。世界と日本の文化についての基礎的な知識が習得され、理解できていること。

授業全体の内容と概要
毎回、教員による講義と受講者各自の学習(文献調査)により、世界と日本の文化についての基礎的な知識を習得し、合わせて、プレゼンテーション、レポート等によって学んだことを発信する。後期は、北海道以外の日本の歴史と文化を中心に学習を進める。

授業の方法
毎回、1)調査、発表者によるプレゼンテーション、2)討論、3)教員による補足と講評(フィードバック)を行なう。適宜、文章作成の練習も行なう。プレゼンテーションと説明では、スライド、板書、ボード等を使用する。

アクティブラーニングの実施方法												
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>グループワーク</td> <td>フィールドワーク</td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td>ロールプレイ</td> <td>調査学習</td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td>実験・実習・実技</td> <td>双方向授業</td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL	模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業	ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL									
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業									
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)									

履修上の注意事項
欠席、遅刻をしないように留意する。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
単位認定に必要な最低出席回数は10回以上。												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <td>定期試験</td> <td>レポート</td> <td>課題・作品</td> <td>中間テスト</td> <td>平常点</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>20%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>20%</td> <td>60%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	20%	0%	0%	20%	60%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	20%	0%	0%	20%	60%							

ルーブリック																													
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> <tr> <td>情報収集・調査能力</td> <td>多様で正確な情報収集と編集・整理ができ、的確に発信できた。</td> <td>正確な情報収集と整理ができ、的確に発信できた。</td> <td>情報収集と整理の基礎が身に付いており、発信の基本ができていた。</td> <td>指示によって情報収集と整理が遂行でき、発信の基本ができていた。</td> <td>指示による情報収集・整理、発信ができなかった。</td> </tr> <tr> <td>コミュニケーション・プレゼンテーション能力</td> <td>的確な議論、明確なプレゼンテーションができ、適切な質疑応答ができた。</td> <td>議論、プレゼンテーションの基礎が身に付いており、適切な質疑応答ができた。</td> <td>議論、プレゼンテーションの基礎ができていた。</td> <td>指示によって議論、プレゼンテーションが適切に遂行できた。</td> <td>指示による議論、プレゼンテーションができなかった。</td> </tr> <tr> <td>歴史と文化の理解・認識</td> <td>日本の文化に関する広く深い理解ができ、発展的な学習ができた。</td> <td>日本の文化に関する的確な理解ができ、発展的な学習が期待できた。</td> <td>日本の文化に関する基本的な理解ができ、深めることが期待できた。</td> <td>指示によって日本の文化に関する基本的な理解ができた。</td> <td>指示による日本文化に関する理解ができなかった。</td> </tr> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	情報収集・調査能力	多様で正確な情報収集と編集・整理ができ、的確に発信できた。	正確な情報収集と整理ができ、的確に発信できた。	情報収集と整理の基礎が身に付いており、発信の基本ができていた。	指示によって情報収集と整理が遂行でき、発信の基本ができていた。	指示による情報収集・整理、発信ができなかった。	コミュニケーション・プレゼンテーション能力	的確な議論、明確なプレゼンテーションができ、適切な質疑応答ができた。	議論、プレゼンテーションの基礎が身に付いており、適切な質疑応答ができた。	議論、プレゼンテーションの基礎ができていた。	指示によって議論、プレゼンテーションが適切に遂行できた。	指示による議論、プレゼンテーションができなかった。	歴史と文化の理解・認識	日本の文化に関する広く深い理解ができ、発展的な学習ができた。	日本の文化に関する的確な理解ができ、発展的な学習が期待できた。	日本の文化に関する基本的な理解ができ、深めることが期待できた。	指示によって日本の文化に関する基本的な理解ができた。	指示による日本文化に関する理解ができなかった。
評価項目		評価基準																											
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																								
情報収集・調査能力	多様で正確な情報収集と編集・整理ができ、的確に発信できた。	正確な情報収集と整理ができ、的確に発信できた。	情報収集と整理の基礎が身に付いており、発信の基本ができていた。	指示によって情報収集と整理が遂行でき、発信の基本ができていた。	指示による情報収集・整理、発信ができなかった。																								
コミュニケーション・プレゼンテーション能力	的確な議論、明確なプレゼンテーションができ、適切な質疑応答ができた。	議論、プレゼンテーションの基礎が身に付いており、適切な質疑応答ができた。	議論、プレゼンテーションの基礎ができていた。	指示によって議論、プレゼンテーションが適切に遂行できた。	指示による議論、プレゼンテーションができなかった。																								
歴史と文化の理解・認識	日本の文化に関する広く深い理解ができ、発展的な学習ができた。	日本の文化に関する的確な理解ができ、発展的な学習が期待できた。	日本の文化に関する基本的な理解ができ、深めることが期待できた。	指示によって日本の文化に関する基本的な理解ができた。	指示による日本文化に関する理解ができなかった。																								

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>教科書なし</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1						教科書なし	2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1						教科書なし																																				
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>適宜紹介</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1						適宜紹介	2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1						適宜紹介																																				
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS071044)				
授業担当者(所属・職名)	横田 肇 (社会福祉学科・准教授)	研究室所在	2号館 7階		
単位数	1 (単位認定責任者: 横田 肇)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	シラバスの説明、教員による日本の歴史と文化の基礎に関する講義。	日本の歴史の基礎的事項の予習(45分)	日本の歴史の基礎的事項の復習(45分)
2	教員による日本の歴史と文化の基礎に関する講義。	日本の歴史の基礎的事項の予習(45分)	日本の歴史の基礎的事項の復習(45分)
3	受講者による調査とプレゼンテーション(1)	日本の歴史の基礎的事項の予習(45分)	日本の歴史の基礎的事項の復習(45分)
4	受講者による調査とプレゼンテーション(2)	日本の歴史の基礎的事項の予習(45分)	日本の歴史の基礎的事項の復習(45分)
5	受講者による調査とプレゼンテーション(3)	日本の歴史の基礎的事項の予習(45分)	日本の歴史の基礎的事項の復習(45分)
6	受講者による調査とプレゼンテーション(4)	日本の歴史の基礎的事項の予習(45分)	日本の歴史の基礎的事項の復習(45分)
7	受講者による調査とプレゼンテーション(5)	日本の歴史の基礎的事項の予習(45分)	日本の歴史の基礎的事項の復習(45分)
8	受講者による調査とプレゼンテーション(6)	日本の歴史の基礎的事項の予習(45分)	日本の歴史の基礎的事項の復習(45分)
9	受講者による調査とプレゼンテーション(7)	日本の歴史の基礎的事項の予習(45分)	日本の歴史の基礎的事項の復習(45分)
10	受講者による調査とプレゼンテーション(8)	日本の歴史の基礎的事項の予習(45分)	日本の歴史の基礎的事項の復習(45分)
11	受講者による調査とプレゼンテーション(9)	日本の歴史の基礎的事項の予習(45分)	日本の歴史の基礎的事項の復習(45分)
12	受講者による調査とプレゼンテーション(10)	日本の歴史の基礎的事項の予習(45分)	日本の歴史の基礎的事項の復習(45分)
13	受講者による調査とプレゼンテーション(11)	日本の歴史の基礎的事項の予習(45分)	日本の歴史の基礎的事項の復習(45分)
14	受講者による調査とレポート作成(1)	レポート作成の準備(45分)	レポート作成の準備(45分)
15	受講者による調査とレポート作成(2)	レポート作成の準備(45分)	レポート作成の準備(45分)
16	受講者による調査とレポート作成(3)	レポート作成の準備(45分)	レポートの仕上げ(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS071044)				
授業担当者(所属・職名)	櫻井 美帆子(社会福祉学科・准教授)	研究室所在	1号館4階		
単位数	1 (単位認定責任者: 櫻井 美帆子)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	現場の実務経験から得た事例等を用いて福祉に対する理解を深めていく。		

概要

履修目標	社会福祉実践に用いられることが多い語を学ぶとともに、基礎的なチームワーク力を涵養する。
------	---

授業の位置づけ	経営学科のDP「1(2)と(4)」、「2(1)と2(3)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(2)と(3)と(4)と(6)と(7)」、「2(1)と(4)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(2)」、「2(1)と(3)と(5)」に対応する。 建築学科のDP「1(3)」、「2(1)と(3)と(5)」に対応する。
---------	---

到達目標	用語と各々の意味を覚えるとともに、自分に適した暗記方法を身につけることができる。 チームワークに必要なコミュニケーションの初歩的なスキルを身につけることができる。
------	--

授業全体の内容と概要	福祉現場で用いられることが多い基礎的な用語(主にカタカナの用語)と基礎的な意味について学ぶ。 実践的なコミュニケーションについて学ぶ。
------------	--

授業の方法	基本はテーマに沿ったグループワークでの展開を基本とする。グループで議論した内容をまとめ、代表者が発表する展開とする。 一部、講義形式で展開をする。講義の際には随時質問を行うので、答えること。 随時、記録物を提出する。記録物はコメントを添えて返却する。 授業毎に使用する資料を配布する。
-------	---

アクティブラーニングの実施方法						
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク	PBL
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習	反転授業
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項	30分以上の遅刻は欠席とする。 出席を重視するので、遅刻や欠席をする場合は事前に連絡をすること。
----------	---

資格指定科目	
--------	--

評価方法・基準

評価前提条件					
10回以上の出席があること。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	50%	0%	0%	50%	0%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
福祉の仕事で用いられる事が多いカタカナ語を理解できる。	カタカナ語に該当する日本語を示すことができた。	カタカナ語の意味を答えることができた。	助言があればできた。	助言があれば一部できた。	助言があってもできなかった。
実践的なコミュニケーションをロールプレイで展開できる。	適切な態度や言葉を用いてロールプレイができた。	ロールプレイでは、相手を尊重した姿勢をとることができた。	助言があればできた。	助言があれば一部できた。	助言があってもできなかった。
クラスのメンバーと協働できる。	状況に応じ、リーダーシップをとったり、他者へのサポートができた。	自分の役割を責任を持ち果たせた。	助言があればできた。	助言があれば一部できた。	助言があってもできなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『使用しない』					
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『使用しない』					
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS071044)				
授業担当者(所属・職名)	櫻井 美帆子(社会福祉学科・准教授)	研究室所在	1号館4階		
単位数	1 (単位認定責任者: 櫻井 美帆子)		CAP制		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容 現場の実務経験から得た事例等を用いて福祉に対する理解を深めていく。			

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	シラバスの説明 福祉の仕事で用いられる事が多いカタカナ語	入学後、福祉の授業の中で知ったア行のカタカナ語を書き出す。(45分)	単語帳を作る。(45分)
2	福祉の仕事で用いられる事が多いカタカナ語	入学後、福祉の授業の中で知ったカ行とサ行のカタカナ語を書き出す。(45分)	単語帳を作る。(45分)
3	福祉の仕事で用いられる事が多いカタカナ語	入学後、福祉の授業の中で知ったタ行とナ行のカタカナ語を書き出す。(45分)	単語帳を作る。(45分)
4	福祉の仕事で用いられる事が多いカタカナ語	入学後、福祉の授業の中で知ったハ行とマ行のカタカナ語を書き出す。(45分)	単語帳を作る。(45分)
5	福祉の仕事で用いられる事が多いカタカナ語	入学後、福祉の授業の中で知ったヤ行とラ行とワ行のカタカナ語を書き出す。(45分)	単語帳を作る。(45分)
6	敬語の種類	今回の内容について、書籍やインターネットで調べる。(45分)	ノートの整理をする。(45分)
7	敬語の使い方	今回の内容について、書籍やインターネットで調べる。(45分)	授業で学んだことを意識し、目上の人と話をする。(45分)
8	気をつけなければならない言葉や話し方	自分の言葉や話し方の特徴について箇条書きで整理する。(45分)	授業で学んだことを意識し、知人と会話する。(45分)
9	中間まとめ	1回から8回の内容を振り返り、疑問点や再度説明を希望する部分をまとめる。(45分)	1回から8回までで理解が不十分だった点を復習する。(45分)
10	コミュニケーションの意義・目的	今回の内容について、書籍やインターネットで調べる。(45分)	授業で学んだことを意識し、知人と会話する。(45分)
11	コミュニケーションの役割 コミュニケーションの種類	今回の内容について、書籍やインターネットで調べる。(45分)	授業で学んだことを意識し、知人と会話する。(45分)
12	福祉現場でのコミュニケーションを事例を用いて考える。	今回の内容について、書籍やインターネットで調べる。(45分)	クラスのメンバーの意見と自分の意見を比較し考察する。(45分)
13	福祉現場でのコミュニケーションを事例を用いて考える。	今回の内容について、書籍やインターネットで調べる。(45分)	クラスのメンバーの意見と自分の意見を比較し考察する。(45分)
14	福祉現場でのコミュニケーションを事例を用いて考える。	今回の内容について、書籍やインターネットで調べる。(45分)	クラスのメンバーの意見と自分の意見を比較し考察する。(45分)
15	福祉現場でのコミュニケーションを事例を用いて考える。	今回の内容について、書籍やインターネットで調べる。(45分)	クラスのメンバーの意見と自分の意見を比較し考察する。(45分)
16	まとめ	1回から15回までの授業内容を振り返り、疑問点や議論したい点をまとめる。(45分)	この授業で学んだ事を振り返り、2年生へ向けた自己の課題を明確化する。(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS071044)				
授業担当者(所属・職名)	湯浅 頼佳 (社会福祉学科・専任講師)	研究室所在	1号館3階		
単位数	1 (単位認定責任者: 湯浅 頼佳)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
「食生活の重要性を考える」というテーマを基に、学生と教員双方の人間関係を築き、「課題探求能力」養成を軸とした学習活動やその意義を理解させ、併せて快適な学生生活を送ることが出来る様指導する。提示したテーマの他様々な事柄への好奇心・探求心・向学心を刺激しながら学習能力を高める工夫をし、また、「学びの方法」も修得する。

授業の位置づけ
社会福祉学科のD P「1(2)と(3)と(4)と(6)」、「2(1)と(4)」に対応する。 経営学科のD P「1(2)と2(1)」に対応する。 デザイン学科のD P「1(2)」、「2(1)」に対応する。 建築学科のD P「1(3)」、「2(1)」に対応する。

到達目標
上記の授業内容や目的・ねらいを理解し、自分に必要な課題探求の道筋を明らかにすることができる。

授業全体の内容と概要
人間は食べることのみによって栄養を取り入れ、様々な活動を可能としている。乳幼児から高齢者まで各々の目的や問題の違いはあれ、それぞれ生活リズムの確立や健康、QOL、疾病防止などを目的として望ましい食生活をする事が必要となる。学生それぞれが自分自身の食生活だけでなく職業的(保育士、社会福祉士、スポーツトレーナー、教員等)に必要な問題意識を持ち知識を身につけることを目標とする。

授業の方法
食生活や栄養に関する問題の中からそれぞれが研究テーマを見つけ、プレゼンテーションやディスカッション、グループワーク、フィールドワーク、実習等を実施する。また必要に応じて教員がテーマに関した講義も行い、カレントトピックスについても解説する。質問には随時応答する。

アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>プレゼンテーション</td> <td>○</td> <td>グループワーク</td> <td>○</td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>P B L</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>ディスカッション</td> <td>○</td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	○	プレゼンテーション	○	グループワーク	○	フィールドワーク		P B L		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業	○	ディスカッション	○	実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
○	プレゼンテーション	○	グループワーク	○	フィールドワーク		P B L																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
○	ディスカッション	○	実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	

履修上の注意事項
出席を重視する。欠席をする場合は必ず事前に連絡をすること。出席数を満たしていてもゼミの運営を乱す行為があった場合は評価をしない場合がある。また同じくゼミの運営に支障を来たず行為があった場合は途中でゼミ異動を宣告する場合がある。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
出席状況(3分の2以上)。ゼミ内での活動(プレゼンテーションやディスカッション、グループワーク、フィールドワーク、実習等)とゼミ内での役割の認識と行動により総合評価する。												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>20%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>30%</td> <td>50%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	20%	0%	0%	30%	50%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	20%	0%	0%	30%	50%							

ルーブリック																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあたるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>知識・理解(協調性、傾聴力)</td> <td>ゼミ内でのプレゼンテーションに積極的に耳を傾け、タイミングよく質問することができた。</td> <td>ゼミ内でのプレゼンテーションに耳を傾け、タイミングよく質問することができた。</td> <td>ゼミ内でのプレゼンテーションに耳を傾け質問することができた。</td> <td>ゼミ内でのプレゼンテーションに耳を傾け何回か質問することができた。</td> <td>ゼミ内でのプレゼンテーションに耳を傾けることは出来るが質問できなかった。</td> </tr> <tr> <td>知識・理解(興味、関心)</td> <td>新聞、ニュース、トピックス等に関心を持ち積極的に食生活や栄養についてのテーマを発見することができた。</td> <td>新聞、ニュース、トピックス等に関心を持ち食生活や栄養についてのテーマを概ね発見することができた。</td> <td>新聞、ニュース、トピックス等に関心を持ち食生活や栄養についてのテーマを発見することができた。</td> <td>新聞、ニュース、トピックス等に関心を持つ努力をしながら食生活や栄養についてのテーマを発見することができた。</td> <td>新聞、ニュース、トピックス等に関心を持ち食生活や栄養についてのテーマを発見することができなかった。</td> </tr> <tr> <td>汎用的機能(トークスキル、表現力)</td> <td>ゼミ内でのプレゼンテーションにおいて聞き手が理解しやすいよう資料を十分揃えわかりやすく発表することができた。</td> <td>ゼミ内でのプレゼンテーションにおいて聞き手が理解しやすいようわかりやすく発表することができた。</td> <td>ゼミ内でのプレゼンテーションにおいて聞き手が理解しやすいよう概ねわかりやすく発表することができた。</td> <td>ゼミ内でのプレゼンテーションにおいて聞き手が理解しやすいよう発表することができた。</td> <td>ゼミ内でのプレゼンテーションにおいて聞き手が理解しやすいよう発表することができなかった。</td> </tr> <tr> <td>態度・志向性(リーダーシップ、態度)</td> <td>ゼミ内での自分の役割を十分に認識し、積極的にゼミ運営に関わる事ができた。</td> <td>ゼミ内での自分の役割を十分に認識し、ゼミ運営に関わる事ができた。</td> <td>ゼミ内での自分の役割を認識し、ゼミ運営に関わる事ができた。</td> <td>ゼミ内での自分の役割を認識し、ゼミ運営に多少関わることができた。</td> <td>ゼミ内での自分の役割を認識できなかった。</td> </tr> <tr> <td>態度・志向性(意欲)</td> <td>休まずゼミに出席できた。(出席16回)</td> <td>概ねゼミに出席できた。(出席15-14回)</td> <td>休みがちではあるが出席できた。(出席13-12回)</td> <td>欠席が目立つが出席できた。(出席11-10回)</td> <td>評価前提条件を満たす事ができなかった。(出席9-0回)</td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあたるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	知識・理解(協調性、傾聴力)	ゼミ内でのプレゼンテーションに積極的に耳を傾け、タイミングよく質問することができた。	ゼミ内でのプレゼンテーションに耳を傾け、タイミングよく質問することができた。	ゼミ内でのプレゼンテーションに耳を傾け質問することができた。	ゼミ内でのプレゼンテーションに耳を傾け何回か質問することができた。	ゼミ内でのプレゼンテーションに耳を傾けることは出来るが質問できなかった。	知識・理解(興味、関心)	新聞、ニュース、トピックス等に関心を持ち積極的に食生活や栄養についてのテーマを発見することができた。	新聞、ニュース、トピックス等に関心を持ち食生活や栄養についてのテーマを概ね発見することができた。	新聞、ニュース、トピックス等に関心を持ち食生活や栄養についてのテーマを発見することができた。	新聞、ニュース、トピックス等に関心を持つ努力をしながら食生活や栄養についてのテーマを発見することができた。	新聞、ニュース、トピックス等に関心を持ち食生活や栄養についてのテーマを発見することができなかった。	汎用的機能(トークスキル、表現力)	ゼミ内でのプレゼンテーションにおいて聞き手が理解しやすいよう資料を十分揃えわかりやすく発表することができた。	ゼミ内でのプレゼンテーションにおいて聞き手が理解しやすいようわかりやすく発表することができた。	ゼミ内でのプレゼンテーションにおいて聞き手が理解しやすいよう概ねわかりやすく発表することができた。	ゼミ内でのプレゼンテーションにおいて聞き手が理解しやすいよう発表することができた。	ゼミ内でのプレゼンテーションにおいて聞き手が理解しやすいよう発表することができなかった。	態度・志向性(リーダーシップ、態度)	ゼミ内での自分の役割を十分に認識し、積極的にゼミ運営に関わる事ができた。	ゼミ内での自分の役割を十分に認識し、ゼミ運営に関わる事ができた。	ゼミ内での自分の役割を認識し、ゼミ運営に関わる事ができた。	ゼミ内での自分の役割を認識し、ゼミ運営に多少関わることができた。	ゼミ内での自分の役割を認識できなかった。	態度・志向性(意欲)	休まずゼミに出席できた。(出席16回)	概ねゼミに出席できた。(出席15-14回)	休みがちではあるが出席できた。(出席13-12回)	欠席が目立つが出席できた。(出席11-10回)	評価前提条件を満たす事ができなかった。(出席9-0回)
評価項目		評価基準																																							
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあたるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
知識・理解(協調性、傾聴力)	ゼミ内でのプレゼンテーションに積極的に耳を傾け、タイミングよく質問することができた。	ゼミ内でのプレゼンテーションに耳を傾け、タイミングよく質問することができた。	ゼミ内でのプレゼンテーションに耳を傾け質問することができた。	ゼミ内でのプレゼンテーションに耳を傾け何回か質問することができた。	ゼミ内でのプレゼンテーションに耳を傾けることは出来るが質問できなかった。																																				
知識・理解(興味、関心)	新聞、ニュース、トピックス等に関心を持ち積極的に食生活や栄養についてのテーマを発見することができた。	新聞、ニュース、トピックス等に関心を持ち食生活や栄養についてのテーマを概ね発見することができた。	新聞、ニュース、トピックス等に関心を持ち食生活や栄養についてのテーマを発見することができた。	新聞、ニュース、トピックス等に関心を持つ努力をしながら食生活や栄養についてのテーマを発見することができた。	新聞、ニュース、トピックス等に関心を持ち食生活や栄養についてのテーマを発見することができなかった。																																				
汎用的機能(トークスキル、表現力)	ゼミ内でのプレゼンテーションにおいて聞き手が理解しやすいよう資料を十分揃えわかりやすく発表することができた。	ゼミ内でのプレゼンテーションにおいて聞き手が理解しやすいようわかりやすく発表することができた。	ゼミ内でのプレゼンテーションにおいて聞き手が理解しやすいよう概ねわかりやすく発表することができた。	ゼミ内でのプレゼンテーションにおいて聞き手が理解しやすいよう発表することができた。	ゼミ内でのプレゼンテーションにおいて聞き手が理解しやすいよう発表することができなかった。																																				
態度・志向性(リーダーシップ、態度)	ゼミ内での自分の役割を十分に認識し、積極的にゼミ運営に関わる事ができた。	ゼミ内での自分の役割を十分に認識し、ゼミ運営に関わる事ができた。	ゼミ内での自分の役割を認識し、ゼミ運営に関わる事ができた。	ゼミ内での自分の役割を認識し、ゼミ運営に多少関わることができた。	ゼミ内での自分の役割を認識できなかった。																																				
態度・志向性(意欲)	休まずゼミに出席できた。(出席16回)	概ねゼミに出席できた。(出席15-14回)	休みがちではあるが出席できた。(出席13-12回)	欠席が目立つが出席できた。(出席11-10回)	評価前提条件を満たす事ができなかった。(出席9-0回)																																				

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>I S B N</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>I S B N</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS071044)				
授業担当者(所属・職名)	湯浅 頼佳 (社会福祉学科・専任講師)	研究室所在	1号館3階		
単位数	1 (単位認定責任者: 湯浅 頼佳)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	オリエンテーション及びシラバスの説明	ゼミ初回に必要な事項について考える。(45分)	シラバスについて確認する。ゼミ内での自分の役割について考える(45分)
2	「食生活の重要性を考える B」 テーマの見つけ方(新聞・図書・雑誌等)	新聞、ニュース、トピックス等に目を向け食生活や栄養についてのテーマを発見する。(45分)	本日のゼミ内容について振り返りを行う。(45分)
3	「食生活の重要性を考える B」 プレゼンテーションテーマの見つけ方(ニュース・ネット等)	栄養についてのテーマを発見する。(45分)	本日のゼミ内容について振り返りを行う。(45分)
4	「食生活の重要性を考える B」 プレゼンテーション資料の作成について	栄養についてのテーマを発見する。(45分)	本日のゼミ内容について振り返りを行う。(45分)
5	「食生活の重要性を考える B」 プレゼンテーション以外のテーマについて(フィールドワーク等)	栄養についてのプレゼンテーション以外のテーマを発見する準備を行う。(45分)	本日のゼミ内容について振り返りを行う。(45分)
6	「食生活の重要性を考える B」 プレゼンテーション以外のテーマについて(調理実習等)	栄養についてのプレゼンテーション以外のテーマを発見する準備を行う。(45分)	本日のゼミ内容について振り返りを行う。(45分)
7	「食生活の重要性を考える B」 プレゼンテーションとディスカッション(発表順1・2番目)	栄養についてのテーマを発見する。(45分)	本日のゼミ内容について振り返りを行う。(45分)
8	「食生活の重要性を考える B」 プレゼンテーションとディスカッション(発表順3・4番目)	栄養についてのテーマを発見する。(45分)	本日のゼミ内容について振り返りを行う。(45分)
9	「食生活の重要性を考える B」 プレゼンテーションとディスカッション(発表順5・6番目)	栄養についてのテーマを発見する。(45分)	本日のゼミ内容について振り返りを行う。(45分)
10	「食生活の重要性を考える B」 プレゼンテーション以外のテーマ実施に向けたディスカッション	栄養についてのプレゼンテーション以外のテーマを発見する準備を行う。(45分)	本日のゼミ内容について振り返りを行う。(45分)
11	「食生活の重要性を考える B」 プレゼンテーション以外のテーマ実施	実施するための方法を探る。(45分)	本日のゼミ内容について振り返りを行う。(45分)
12	「食生活の重要性を考える B」 プレゼンテーションとディスカッション(発表順7・8番目)	栄養についてのテーマを発見する。(45分)	本日のゼミ内容について振り返りを行う。(45分)
13	「食生活の重要性を考える B」 プレゼンテーションとディスカッション(発表順9・10番目)	栄養についてのテーマを発見する。(45分)	本日のゼミ内容について振り返りを行う。(45分)
14	「食生活の重要性を考える B」 プレゼンテーション以外のテーマ実施に向けたディスカッション	栄養についてのプレゼンテーション以外のテーマを発見する準備を行う。(45分)	本日のゼミ内容について振り返りを行う。(45分)
15	「食生活の重要性を考える B」 プレゼンテーション以外のテーマ実施	実施するための方法を探る。(45分)	本日のゼミ内容について振り返りを行う。(45分)
16	まとめ	まとめの準備を行う。(45分)	まとめの振り返りを行う。(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS071044)				
授業担当者(所属・職名)	尾西 則昭(社会福祉学科・特任教授)	研究室所在	1号2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 尾西 則昭)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標	生活の多様な側面から人間の生活と健康を理解し、より健康な生活を創り出して行くための必要な知識を理解する。				
授業の位置づけ	経営学科のDP「1(2)」、「2(3)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(2)と(3)と(5)と(6)と(7)」、「2(4)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(3)」、「2(5)」に対応する。				
到達目標	個人、過程という様々なレベルにおける健康的な生活について理解し、知識を身につけて健康について、一層の関心を持つことができる。				
授業全体の内容と概要	生活の多様な側面に焦点を当て、個人、家族、地域社会という様々なレベルにおける人間の健康的な生活について詳しく解説する。				
授業の方法	資料を通読し、その内容にかかわって説明や質疑応答及びディスカッションを行います。板書や教材提示装置を活用します。健康に関するキーワードについて調べ学習及びその発表を行います。課題や発表等に対応するフィードバックや要望等への対応は、少人数集団の利点を生かし、口頭で行います。				
アクティブラーニングの実施方法	<input type="checkbox"/> プレゼンテーション	<input type="checkbox"/> グループワーク	<input type="checkbox"/> フィールドワーク	<input type="checkbox"/> PBL	
	<input type="checkbox"/> 模擬授業	<input type="checkbox"/> ロールプレイ	<input type="checkbox"/> 調査学習	<input type="checkbox"/> 反転授業	
	<input type="checkbox"/> ディスカッション	<input type="checkbox"/> 実験・実習・実技	<input type="checkbox"/> 双方向授業	<input type="checkbox"/> その他(授業の方法参照)	
履修上の注意事項	積極的に取り組むことを期待します。20分以上の遅刻は欠席とみなします。遅刻3回で1回の欠席とみなします。授業に臨む際に求められる態度・姿勢・集中して聞き授業中の私語は慎むこと。				
資格指定科目					

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な最低出席回数11回以上					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	20%	50%	0%	30%	0%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
知識・技能	健康について基礎的な知識を深く理解できた。	健康について基礎的な知識をおおむね理解できた。	健康について基礎的な知識を理解できた。	健康について基礎的な知識を多少理解できた。	健康について基礎的な知識を理解することができなかった。
思考力・判断力・表現力	健康の基本を踏まえた健康内容の展開に十分に考察できた。	健康の基本を踏まえた健康内容の展開におおむね理解できた。	健康の基本を踏まえた健康内容について考察できた。	健康の基本を踏まえた健康内容の展開について多少考察できた。	健康の基本を踏まえた健康内容の展開について考察することができなかった。
主体的に取り組む態度	健康の多様な展開について理解したことをわかりやすく説明できた。	健康の多様な展開について理解したことをおおむね説明できた。	健康の多様な展開について理解したことを説明できた。	健康の多様な展開について理解したことを多少説明できた。	健康の多様な展開について理解したことを説明することができなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	¹⁾ 使用しない。					
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	²⁾ 資料配布。					
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS071044)				
授業担当者(所属・職名)	尾西 則昭(社会福祉学科・特任教授)	研究室所在	1号2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 尾西 則昭)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	ガイダンス 「シラバス説明」	事前にシラバスを読んで確認する。(45分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(45分)
2	健康についての調査	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(45分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(45分)
3	健康についての調査	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(45分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(45分)
4	健康についての調査	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(45分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(45分)
5	健康についての調査	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(45分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(45分)
6	健康についての調査	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(45分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(45分)
7	健康についての調査	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(45分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(45分)
8	健康についての調査	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(45分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(45分)
9	健康についての調査	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(45分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(45分)
10	健康についての調査	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(45分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(45分)
11	健康についての調査	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(45分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(45分)
12	健康についての調査	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(45分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(45分)
13	健康についての調査	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(45分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(45分)
14	健康についての調査発表	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(45分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(45分)
15	健康についての調査発表	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(45分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(45分)
16	まとめ	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(45分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS071044)				
授業担当者(所属・職名)	西崎 毅 (社会福祉学科・特任教授)	研究室所在	2号館 6階		
単位数	1 (単位認定責任者: 西崎 毅)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	高等学校教員及び教育行政職員としての経験を活かして教職に関連する指導を行う。		

概要

履修目標
教員になるために必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び意欲を身に付ける。

授業の位置づけ
経営学科のDP「1(4)、(5)」、「2(3)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(2)、(3)、(4)、(5)、(6)、(7)」、「2(4)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(2)、(3)」、「2(5)」に対応する。 建築学科のDP「1(2)、(3)」、「2(5)」に対応する。

到達目標
教育の制度や内容についてその概要を理解することができる。 教育の諸問題についてその概要を理解することができる。 教員になるために必要な事項についてその概要を理解することができる。

授業全体の内容と概要
各回の授業テーマについて考える。 教育にかかわる法令、中央教育審議会答申、学習指導要領などの通読 教育に関する基本的事項についての調べ学習 教員として求められる一般教職及び教職教職の学修 学校視察やボランティア活動等への参加 演習検定等への参加

授業の方法
教育にかかわる法令、中央教育審議会答申、学習指導要領などを通読し、その内容にかかわって説明や質疑応答及びディスカッションを行います。板書や教材提示装置を活用する。教育に関するキーワードについての調べ学習及びその発表を行う。 教員として求められる一般教職及び教職教職について演習を行う。課題や発表等に対する評価のフィードバックや要望等への対応は口頭で行う。

アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	

履修上の注意事項
教職課程を履修し、大学卒業後に教職に就く強い希望と意思を持った学生を原則対象とする。 原則としてサブメジャープログラムの「教育採用試験対策プログラム」の履修を条件とする。 漢字検定に真剣に取り組むこと。(ルースリーフは不可) 各自、ノートを用意すること。 プリント類はプラットフォームに格納し、毎回授業に持参すること。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
単位認定に必要な最低出席回数は11回。												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>20%</td> <td>0%</td> <td>80%</td> <td>0%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	0%	20%	0%	80%	0%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	0%	20%	0%	80%	0%							

ルーブリック																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあたるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>知識・技能</td> <td>学修した知識・技能を確実に修得するとともに、それらに関連した知識・技能についても習得することができた。</td> <td>学修した知識・技能を十分に修得することができた。</td> <td>学修した知識・技能を修得することができた。</td> <td>学修した知識・技能を修得したが、最低限容認できるレベルにとどまった。</td> <td>学修した知識・技能を修得し、期待される最低限度の基準に到達することができなかった。</td> </tr> <tr> <td>思考力・判断力・表現力等</td> <td>与えられた課題に積極的に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関して期待されるレベルを大きく超えることができた。</td> <td>与えられた課題に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関して期待されるレベルを十分に達成することができた。</td> <td>与えられた課題に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関して期待されるレベルを達成することができた。</td> <td>与えられた課題に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関して最低限容認できるレベルにとどまった。</td> <td>与えられた課題に真面目に取り組まず、期待される最低限度の基準に到達することができなかった。</td> </tr> <tr> <td>主体性・多様性・協働性</td> <td>与えられた課題に積極的に取り組んだ。積極性や協働性に関して期待されるレベルを大きく超えることができた。</td> <td>与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関して期待されるレベルを十分に達成することができた。</td> <td>与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関して期待されるレベルを達成することができた。</td> <td>与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関して最低限容認できるレベルにとどまった。</td> <td>与えられた課題に真面目に取り組まず、期待される最低限度の基準に到達することができなかった。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあたるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	知識・技能	学修した知識・技能を確実に修得するとともに、それらに関連した知識・技能についても習得することができた。	学修した知識・技能を十分に修得することができた。	学修した知識・技能を修得することができた。	学修した知識・技能を修得したが、最低限容認できるレベルにとどまった。	学修した知識・技能を修得し、期待される最低限度の基準に到達することができなかった。	思考力・判断力・表現力等	与えられた課題に積極的に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関して期待されるレベルを大きく超えることができた。	与えられた課題に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関して期待されるレベルを十分に達成することができた。	与えられた課題に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関して期待されるレベルを達成することができた。	与えられた課題に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関して最低限容認できるレベルにとどまった。	与えられた課題に真面目に取り組まず、期待される最低限度の基準に到達することができなかった。	主体性・多様性・協働性	与えられた課題に積極的に取り組んだ。積極性や協働性に関して期待されるレベルを大きく超えることができた。	与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関して期待されるレベルを十分に達成することができた。	与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関して期待されるレベルを達成することができた。	与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関して最低限容認できるレベルにとどまった。	与えられた課題に真面目に取り組まず、期待される最低限度の基準に到達することができなかった。												
評価項目		評価基準																																							
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあたるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
知識・技能	学修した知識・技能を確実に修得するとともに、それらに関連した知識・技能についても習得することができた。	学修した知識・技能を十分に修得することができた。	学修した知識・技能を修得することができた。	学修した知識・技能を修得したが、最低限容認できるレベルにとどまった。	学修した知識・技能を修得し、期待される最低限度の基準に到達することができなかった。																																				
思考力・判断力・表現力等	与えられた課題に積極的に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関して期待されるレベルを大きく超えることができた。	与えられた課題に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関して期待されるレベルを十分に達成することができた。	与えられた課題に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関して期待されるレベルを達成することができた。	与えられた課題に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関して最低限容認できるレベルにとどまった。	与えられた課題に真面目に取り組まず、期待される最低限度の基準に到達することができなかった。																																				
主体性・多様性・協働性	与えられた課題に積極的に取り組んだ。積極性や協働性に関して期待されるレベルを大きく超えることができた。	与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関して期待されるレベルを十分に達成することができた。	与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関して期待されるレベルを達成することができた。	与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関して最低限容認できるレベルにとどまった。	与えられた課題に真面目に取り組まず、期待される最低限度の基準に到達することができなかった。																																				

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>別途購入案内する。a</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1	別途購入案内する。a						2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1	別途購入案内する。a																																									
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>別途購入案内する。a</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1	別途購入案内する。a						2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1	別途購入案内する。a																																									
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS071044)				
授業担当者(所属・職名)	西崎 毅(社会福祉学科・特任教授)	研究室所在	2号館6階		
単位数	1 (単位認定責任者: 西崎 毅)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	高等学校教員及び教育行政職員としての経験を活かして教職に関連する指導を行う。		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	オリエンテーション(シラバスの説明含む) 学修計画の作成	教職志望の理由をまとめること。(45分)	本時に課された事後課題を行い次時に提出すること。(45分)
2	学習指導要領について考える 学修計画の発表 法令・学習指導要領等の通読及びディスカッション	前時に課された課題を行い提出すること。(45分)	事後課題を行い次時に提出すること。(45分)
3	学習指導要領について考える 法令・学習指導要領等の通読及びディスカッション 一般教養及び教職教養の演習	前時に課された課題を行い提出すること。(45分)	事後課題を行い次時に提出すること。(45分)
4	学習指導要領について考える 法令・学習指導要領等の通読及びディスカッション 一般教養及び教職教養の演習	前時に課された課題を行い提出すること。(45分)	事後課題を行い次時に提出すること。(45分)
5	学習指導要領について考える 法令・学習指導要領等の通読及びディスカッション 一般教養及び教職教養の演習	前時に課された課題を行い提出すること。(45分)	事後課題を行い次時に提出すること。(45分)
6	学習指導要領について考える 法令・学習指導要領等の通読及びディスカッション 一般教養及び教職教養の演習	前時に課された課題を行い提出すること。(45分)	事後課題を行い次時に提出すること。(45分)
7	子どもたちの学力について考える 法令・学習指導要領等の通読及びディスカッション 一般教養及び教職教養の演習	前時に課された課題を行い提出すること。(45分)	事後課題を行い次時に提出すること。(45分)
8	子どもたちの学力について考える 法令・学習指導要領等の通読及びディスカッション 一般教養及び教職教養の演習	前時に課された課題を行い提出すること。(45分)	事後課題を行い次時に提出すること。(45分)
9	子どもたちの学力について考える 法令・学習指導要領等の通読及びディスカッション 一般教養及び教職教養の演習	前時に課された課題を行い提出すること。(45分)	事後課題を行い次時に提出すること。(45分)
10	生徒指導について考える 法令・学習指導要領等の通読及びディスカッション 一般教養及び教職教養の演習	前時に課された課題を行い提出すること。(45分)	事後課題を行い次時に提出すること。(45分)
11	生徒指導について考える 法令・学習指導要領等の通読及びディスカッション 一般教養及び教職教養の演習	前時に課された課題を行い提出すること。(45分)	事後課題を行い次時に提出すること。(45分)
12	生徒指導について考える 法令・学習指導要領等の通読及びディスカッション 一般教養及び教職教養の演習	前時に課された課題を行い提出すること。(45分)	事後課題を行い次時に提出すること。(45分)
13	進路指導について考える 法令・学習指導要領等の通読及びディスカッション 一般教養及び教職教養の演習	前時に課された課題を行い提出すること。(45分)	事後課題を行い次時に提出すること。(45分)
14	進路指導について考える 法令・学習指導要領等の通読及びディスカッション 一般教養及び教職教養の演習	前時に課された課題を行い提出すること。(45分)	事後課題を行い次時に提出すること。(45分)
15	進路指導について考える 法令・学習指導要領等の通読及びディスカッション 一般教養及び教職教養の演習	前時に課された課題を行い提出すること。(45分)	事後課題を行い次時に提出すること。(45分)
16	後期の学修の総括及び反省	前時に課された課題を行い提出すること。(45分)	1年間の自らの学修姿勢を評価すること。(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目		対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	後期		授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS071044)					
授業担当者(所属・職名)	堀川 厚志 (社会福祉学科・特任教授)		研究室所在	2号館 8階		
単位数	1 (単位認定責任者: 堀川 厚志)		CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	学校教育現場及び教育行政機関に勤務経験のある教員が、特別支援教育に必要な今日的課題等について指導する。			

概要

履修目標
特別支援教育における個に応じた指導、配慮等の基礎となる内容である一般的な発達論等の知見をとおして、認知、言語、社会性に関する機能や定型発達、発達の遅れや偏り等の概要について理解し、特別支援教育への関心を高める。

授業の位置づけ
経営学科のDP「1(2)と(3)と(4)」、「2(1)と(3)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(2)と(3)と(5)」、「2(1)と(5)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(1)と(2)」、「2(1)と(5)」に対応する。 建築学科のDP「1(1)と(3)」、「2(1)と(5)」に対応する。

到達目標
認知、言語、社会性に関する機能、定型発達、発達の遅れや偏り等の様相がわかる。

授業全体の内容と概要
認知については、著名な発達論者による一般的な発達論をとおして、認知機能とその発達を、言語については、乳幼児期の発達に重点化し表出言語の習得、定型の言語発達を、社会性については、社会生活上で身に付ける人間関係の形成と円滑に維持する力について、社会的認知と社会的行動の面から理解する。それぞれの発達の遅れや偏りについても理解する。

授業の方法
・授業では、プレゼンテーション及び配付資料等により説明をした後、テーマの任意選択によりグループを構成し、グループワークを展開する。 ・グループワークでは、計画、調査、探究、整理、資料作成等の一連の活動(2サイクル)を行う。 ・全体への報告資料作成(2回)、パワーポイント等の視覚メディアによる全体発表会(2回)等をおして、情報共有し、全体への理解を図る。 ・グループワーク及び資料内容、発表内容等に対して、自己評価を下にしたコメントによるフィードバックを行う。

アクティブラーニングの実施方法												
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>グループワーク</td> <td>フィールドワーク</td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模範授業</td> <td>ロールプレイ</td> <td>調査学習</td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td>実験・実習・実技</td> <td>双方向授業</td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL	模範授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業	ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL									
模範授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業									
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)									

履修上の注意事項
障害のある子に対する教育的な対応や特別支援教育に強い関心がある者とする。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
単位認定に必要な最低出席回数は、10回以上とする。												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>20%</td> <td>50%</td> <td>0%</td> <td>20%</td> <td>10%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	20%	50%	0%	20%	10%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	20%	50%	0%	20%	10%							

ルーブリック																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認知、言語、社会性に関する機能、定型発達、発達の遅れや偏り等の知識・理解</td> <td>認知、言語、社会性に関する機能、定型発達、発達の遅れや偏り等について、十分に理解し、さらに深化させるための発展的な探究活動ができた。</td> <td>認知、言語、社会性に関する機能、定型発達、発達の遅れや偏り等について、十分に理解できた。</td> <td>認知、言語、社会性に関する機能、定型発達、発達の遅れや偏り等について、一定程度に理解できた。</td> <td>認知、言語、社会性に関する機能、定型発達、発達の遅れや偏り等について、部分的には理解できた。</td> <td>認知、言語、社会性に関する機能、定型発達、発達の遅れや偏り等について、まったく理解できなかった。</td> </tr> <tr> <td>グループワークによる内容の整理、資料作成、報告、発表等による説明等の思考力、判断力、表現力の向上</td> <td>内容を的確かつ発展的に整理し、理解しやすい報告、発表などをおして、思考力、判断力、表現力を十分に高めることができた。</td> <td>内容を的確に整理し、理解しやすい報告、発表などをおして、思考力、判断力、表現力を十分に高めることができた。</td> <td>内容を整理し、報告、発表などをおして、思考力、判断力、表現力を高めることができた。</td> <td>内容を整理し、報告、発表などをおして、部分的に思考力、判断力、表現力を高めることができた。</td> <td>内容を整理できず、報告、発表などをおして、部分的に思考力、判断力、表現力を高めることができなかった。</td> </tr> <tr> <td>授業への参加意欲や学修に向かう姿勢・態度</td> <td>授業には意欲的に参加し、グループワークや報告会等についても、常に自ら積極的に取り組むことができた。</td> <td>授業には意欲的に参加し、グループワークや報告会等についても、部分的に積極的に取り組むことができた。</td> <td>授業に関心をもって参加し、グループワークや報告会等にも関心をもって取り組むことができた。</td> <td>授業に対して部分的に積極的に関心をもつて取り組むことができた。</td> <td>授業に対して消極的であり、グループワークや報告会等にも積極的に取り組むことができなかった。</td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	認知、言語、社会性に関する機能、定型発達、発達の遅れや偏り等の知識・理解	認知、言語、社会性に関する機能、定型発達、発達の遅れや偏り等について、十分に理解し、さらに深化させるための発展的な探究活動ができた。	認知、言語、社会性に関する機能、定型発達、発達の遅れや偏り等について、十分に理解できた。	認知、言語、社会性に関する機能、定型発達、発達の遅れや偏り等について、一定程度に理解できた。	認知、言語、社会性に関する機能、定型発達、発達の遅れや偏り等について、部分的には理解できた。	認知、言語、社会性に関する機能、定型発達、発達の遅れや偏り等について、まったく理解できなかった。	グループワークによる内容の整理、資料作成、報告、発表等による説明等の思考力、判断力、表現力の向上	内容を的確かつ発展的に整理し、理解しやすい報告、発表などをおして、思考力、判断力、表現力を十分に高めることができた。	内容を的確に整理し、理解しやすい報告、発表などをおして、思考力、判断力、表現力を十分に高めることができた。	内容を整理し、報告、発表などをおして、思考力、判断力、表現力を高めることができた。	内容を整理し、報告、発表などをおして、部分的に思考力、判断力、表現力を高めることができた。	内容を整理できず、報告、発表などをおして、部分的に思考力、判断力、表現力を高めることができなかった。	授業への参加意欲や学修に向かう姿勢・態度	授業には意欲的に参加し、グループワークや報告会等についても、常に自ら積極的に取り組むことができた。	授業には意欲的に参加し、グループワークや報告会等についても、部分的に積極的に取り組むことができた。	授業に関心をもって参加し、グループワークや報告会等にも関心をもって取り組むことができた。	授業に対して部分的に積極的に関心をもつて取り組むことができた。	授業に対して消極的であり、グループワークや報告会等にも積極的に取り組むことができなかった。
評価項目		評価基準																											
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																								
認知、言語、社会性に関する機能、定型発達、発達の遅れや偏り等の知識・理解	認知、言語、社会性に関する機能、定型発達、発達の遅れや偏り等について、十分に理解し、さらに深化させるための発展的な探究活動ができた。	認知、言語、社会性に関する機能、定型発達、発達の遅れや偏り等について、十分に理解できた。	認知、言語、社会性に関する機能、定型発達、発達の遅れや偏り等について、一定程度に理解できた。	認知、言語、社会性に関する機能、定型発達、発達の遅れや偏り等について、部分的には理解できた。	認知、言語、社会性に関する機能、定型発達、発達の遅れや偏り等について、まったく理解できなかった。																								
グループワークによる内容の整理、資料作成、報告、発表等による説明等の思考力、判断力、表現力の向上	内容を的確かつ発展的に整理し、理解しやすい報告、発表などをおして、思考力、判断力、表現力を十分に高めることができた。	内容を的確に整理し、理解しやすい報告、発表などをおして、思考力、判断力、表現力を十分に高めることができた。	内容を整理し、報告、発表などをおして、思考力、判断力、表現力を高めることができた。	内容を整理し、報告、発表などをおして、部分的に思考力、判断力、表現力を高めることができた。	内容を整理できず、報告、発表などをおして、部分的に思考力、判断力、表現力を高めることができなかった。																								
授業への参加意欲や学修に向かう姿勢・態度	授業には意欲的に参加し、グループワークや報告会等についても、常に自ら積極的に取り組むことができた。	授業には意欲的に参加し、グループワークや報告会等についても、部分的に積極的に取り組むことができた。	授業に関心をもって参加し、グループワークや報告会等にも関心をもって取り組むことができた。	授業に対して部分的に積極的に関心をもつて取り組むことができた。	授業に対して消極的であり、グループワークや報告会等にも積極的に取り組むことができなかった。																								

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td>『発達心理学』</td> <td>林 創</td> <td>ミネルヴァ書房</td> <td>2019</td> <td>978-4-623-08622-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1	『発達心理学』	林 創	ミネルヴァ書房	2019	978-4-623-08622-1		2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1	『発達心理学』	林 創	ミネルヴァ書房	2019	978-4-623-08622-1																																					
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS071044)				
授業担当者(所属・職名)	堀川 厚志(社会福祉学科・特任教授)	研究室所在	2号館8階		
単位数	1 (単位認定責任者: 堀川 厚志)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり 左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	学校教育現場及び教育行政機関に勤務経験のある教員が、特別支援教育に必要な今日的課題等について指導する。			

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	オリエンテーション(取組の概要、シラバスの説明等)	シラバスを読む(45分)	オリエンテーションの内容を整理する(45分)
2	一般的な発達論、生涯発達の考え方について 認知に関する発達論、乳幼児期の言語発達の概要	発達論の考え方を調べる(45分)	発達について確かめる(45分)
3	認知に関する発達論、乳幼児期の言語発達について グループの構成、活動計画の概要	発達論の概要を調べる(45分)	発達論を確かめる(45分)
4	発達論(ピアジェ、ヴィゴツキー)の概要、乳幼児期の言語発達の様相 グループワーク(活動計画、役割分担等、情報収集)	発達論等を調べる(45分)	グループワーク内容を整理する(45分)
5	発達論(ピアジェ、ヴィゴツキー)の概要、乳幼児期の言語発達の様相 グループワーク	認知、言語発達を調べる(45分)	グループワーク内容を整理する(45分)
6	認知に関する発達論、乳幼児期の言語発達概要の整理 グループワーク	認知、言語発達を調べる(45分)	グループワーク内容を整理する(45分)
7	認知に関する発達論、乳幼児期の言語発達概要の整理とまとめ グループワーク	認知、言語発達を調べる(45分)	グループワーク内容を整理する(45分)
8	認知に関する発達論、乳幼児期の言語発達概要の整理と資料作成 グループワーク	作成資料について考える(45分)	グループワーク内容を整理する(45分)
9	認知発達、言語発達、発達の遅れや偏り等 全体報告(グループ発表)と振り返り、改善内容のまとめ	報告内容を確認する(45分)	報告内容を確かめる(45分)
10	全体報告の改善内容の確認 社会性の発達の概要、基本的な情報	全体報告を振り返る(45分)	認知、言語発達について確かめる(45分)
11	社会性の発達の概要、基本的な情報 グループ構成、基本的な活動計画	社会性の発達を調べる(45分)	運動発達について確かめる(45分)
12	社会的認知の発達、社会的行動の発達に関する基本的な情報 グループワーク(活動計画、役割分担等の作成)	社会性の発達を調べる(45分)	グループワーク内容を整理する(45分)
13	社会的認知の発達、社会的行動の発達に関する様相 グループワーク	社会性の発達を調べる(45分)	グループワーク内容を整理する(45分)
14	社会的認知の発達、社会的行動の発達に関する発達の遅れや偏り等 グループワーク	発達の遅れや偏り等を調べる(45分)	グループワーク内容を整理する(45分)
15	社会的認知の発達、社会的行動の発達に関する発達の様相、遅れや偏り等の資料作成 グループワーク	作成資料について考える(45分)	グループワーク内容を整理する(45分)
16	社会的認知の発達、社会的行動の発達に関する発達の様相、遅れや偏り等 全体報告(グループ発表)と振り返り、改善内容の	報告内容を確認する(45分)	全内容を振り返る(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング:)				
授業担当者(所属・職名)	宮嶋 達也(デザイン学科・准教授)	研究室所在	2号館4階		
単位数	(単位認定責任者: 宮嶋 達也)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
<p>学生時代に地域社会で活動(貢献)することは、その地域や社会(企業)の理解や課題認識が必要であり、また、自らの学習成果を地域社会の中で試し検証する絶好の機会となる。自由な発想で問題提起し、プランニングからデザインなどの制作まで必要とされているものをゼミ活動でできる限り一貫して実践することを目標とする。自分の好きなこと、得意なことを交えながら楽しく活動する。</p>

授業の位置づけ
<p>経営学科のD P「1(2)、(4)、(5)」、「2(1)、(3)」に対応する。 福祉学科のD P「1(2)、(3)、(4)、(5)、(6)」、「2(4)」に対応する。 デザイン学科のD P「1(2)、(3)」、「2(1)、(3)、(5)」に対応する。 建築学科のD P「1(3)」、「2(1)、(3)、(5)」に対応する。</p>

到達目標
<p>(1) 制作活動を通して何を学ぶのか、各自の問題意識を明確にする。 (2) 様々な活動場面に応じて、適切なコミュニケーションを取りながら、他者との関わりをもつ。 (3) 対象者の特性に応じた指導や支援の仕方を実践的に学ぶ。 (4) 各自の活動経験を振り返り、今後進めていく上での自己の学習課題を設定する。</p>

授業全体の内容と概要
<p>授業では、グループワーク、討論、ワークショップ等のアクティビティを多く取り入れる。各自が問題意識を持ち活動し、考察結果などを全体で共有しながら、各自の考えが深められるようにする。</p>

授業の方法
<p>グループワークを中心に活動が多いため、一人ひとりが自主性を持ち、他人任せになるようなことがないように、常に問題意識を持ち、議論しながら問題解決し、積極的に活動に励む。授業では、グループワーク、討論、ワークショップ等のアクティビティを多く取り入れる。</p>

アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td>○</td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td>○</td> <td>P B L</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク	○	P B L		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業	○	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク	○	P B L																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
○	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	

履修上の注意事項
<p>受講定員20名 受講条件 本ゼミを希望する学生は必ず活動内容の説明を聞きに選択志望する前に研究室へ来ること。 受講に関して以下の心構えがある学生を条件といたします。 社会に役立って達成感を得たり、自分に自信をつけたい人 やる気があり、最後まで活動をやり通す気力を持ち合わせている人 協力し合いながら目標に向かい活動を成功させる意気込みがある人</p>

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
<p>単位認定に必要な最低出席回数は、10回以上とする。</p>												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>50%</td> <td>0%</td> <td>20%</td> <td>30%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	0%	50%	0%	20%	30%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	0%	50%	0%	20%	30%							

ルーブリック																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>積極性、社会理解</td> <td>積極的にアイデアを出し、採用された。他人の発言を聞き、十分な理解に努め、積極的に意見した。</td> <td>積極的にアイデアを出した。他人の発言を聞き、十分な理解に努めた意見した。</td> <td>それなりにアイデアを出した。他人の発言を聞き、ある程度意見した。</td> <td>アイデアを殆ど出せなかった。他人の意見をあまり理解できなかった。</td> <td>アイデアを出せなかった。他人の意見を殆ど理解できなかった。</td> </tr> <tr> <td>課題解決能力と創造性</td> <td>仕事を的確に発見し、進め方を共有しあいながら適切に検討し、実行できた。</td> <td>仕事を進んで発見し、進め方を適切に検討し、実行できた。</td> <td>仕事を発見し、進め方を検討し、ある程度実行できた。</td> <td>仕事をあまり発見できず、依頼されたことだけ実行できた。</td> <td>仕事を発見できず、依頼されたこと、ほとんど実行できなかった。</td> </tr> <tr> <td>コミュニケーション能力と行動力</td> <td>他者をリードする態度で積極的に活動に取り組み、高いコミュニケーション能力と行動力があった。</td> <td>自主的・協働的に活動に取り組み、コミュニケーション能力や行動力があった。</td> <td>自らの考えでアクションを起こすことはあまりないが、必要なコミュニケーション能力や行動力はあった。</td> <td>自らの考えでアクションを起こすことはなく、最低限度のコミュニケーション能力や行動力はあった。</td> <td>自らの考えでアクションを起こすことができない。最低限度のコミュニケーション能力や行動力もほとんどなかった。</td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	積極性、社会理解	積極的にアイデアを出し、採用された。他人の発言を聞き、十分な理解に努め、積極的に意見した。	積極的にアイデアを出した。他人の発言を聞き、十分な理解に努めた意見した。	それなりにアイデアを出した。他人の発言を聞き、ある程度意見した。	アイデアを殆ど出せなかった。他人の意見をあまり理解できなかった。	アイデアを出せなかった。他人の意見を殆ど理解できなかった。	課題解決能力と創造性	仕事を的確に発見し、進め方を共有しあいながら適切に検討し、実行できた。	仕事を進んで発見し、進め方を適切に検討し、実行できた。	仕事を発見し、進め方を検討し、ある程度実行できた。	仕事をあまり発見できず、依頼されたことだけ実行できた。	仕事を発見できず、依頼されたこと、ほとんど実行できなかった。	コミュニケーション能力と行動力	他者をリードする態度で積極的に活動に取り組み、高いコミュニケーション能力と行動力があった。	自主的・協働的に活動に取り組み、コミュニケーション能力や行動力があった。	自らの考えでアクションを起こすことはあまりないが、必要なコミュニケーション能力や行動力はあった。	自らの考えでアクションを起こすことはなく、最低限度のコミュニケーション能力や行動力はあった。	自らの考えでアクションを起こすことができない。最低限度のコミュニケーション能力や行動力もほとんどなかった。
評価項目		評価基準																											
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																								
積極性、社会理解	積極的にアイデアを出し、採用された。他人の発言を聞き、十分な理解に努め、積極的に意見した。	積極的にアイデアを出した。他人の発言を聞き、十分な理解に努めた意見した。	それなりにアイデアを出した。他人の発言を聞き、ある程度意見した。	アイデアを殆ど出せなかった。他人の意見をあまり理解できなかった。	アイデアを出せなかった。他人の意見を殆ど理解できなかった。																								
課題解決能力と創造性	仕事を的確に発見し、進め方を共有しあいながら適切に検討し、実行できた。	仕事を進んで発見し、進め方を適切に検討し、実行できた。	仕事を発見し、進め方を検討し、ある程度実行できた。	仕事をあまり発見できず、依頼されたことだけ実行できた。	仕事を発見できず、依頼されたこと、ほとんど実行できなかった。																								
コミュニケーション能力と行動力	他者をリードする態度で積極的に活動に取り組み、高いコミュニケーション能力と行動力があった。	自主的・協働的に活動に取り組み、コミュニケーション能力や行動力があった。	自らの考えでアクションを起こすことはあまりないが、必要なコミュニケーション能力や行動力はあった。	自らの考えでアクションを起こすことはなく、最低限度のコミュニケーション能力や行動力はあった。	自らの考えでアクションを起こすことができない。最低限度のコミュニケーション能力や行動力もほとんどなかった。																								

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>I S B N</th> <th>備考</th> </tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>I S B N</th> <th>備考</th> </tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング:)				
授業担当者(所属・職名)	宮嶋 達也(デザイン学科・准教授)	研究室所在	2号館4階		
単位数	(単位認定責任者: 宮嶋 達也)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	前期の活動における確認と振り返り シラバスの説明	演習の準備 シラバスの熟読(45分)	演習内容を確認して理解を深める(45分)
2	Planning1	事前に作業しておくなどの準備(45分)	演習内容を確認して理解を深める(45分)
3	Planning2	事前に作業しておくなどの準備(45分)	演習内容を確認して理解を深める(45分)
4	Planning3	事前に作業しておくなどの準備(45分)	演習内容を確認して理解を深める(45分)
5	Research activities 1	事前に作業しておくなどの準備(45分)	演習内容を確認して理解を深める(45分)
6	Research activities 2	事前に作業しておくなどの準備(45分)	演習内容を確認して理解を深める(45分)
7	Research activities 3	事前に作業しておくなどの準備をすること(45分)	演習内容を確認して理解を深める(45分)
8	Creative activities 1	事前に作業しておくなどの準備(45分)	演習内容を確認して理解を深める(45分)
9	Creative activities 2	事前に作業しておくなどの準備をすること(45分)	演習内容を確認して理解を深める(45分)
10	Creative activities 3	事前に作業しておくなどの準備(45分)	演習内容を確認して理解を深める(45分)
11	Creative activities 4	事前に作業しておくなどの準備(45分)	演習内容を確認して理解を深める(45分)
12	Creative activities 5	事前に作業しておくなどの準備(45分)	演習内容を確認して理解を深める(45分)
13	presentation	事前に作業しておくなどの準備(45分)	演習内容を確認して理解を深める(45分)
14	presentation	事前に作業しておくなどの準備をすること(45分)	演習内容を確認して理解を深める(45分)
15	レポート・後期活動のまとめ	事前に作業しておくなどの準備(45分)	演習内容を確認して理解を深める(45分)
16	1年間の活動における総括と振り返り	事前に作業しておくなどの準備(45分)	演習内容を確認して理解を深める(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS071044)				
授業担当者(所属・職名)	小山 尋明(建築学科・准教授)	研究室所在	1号館4階		
単位数	1 (単位認定責任者: 小山 尋明)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

<p>履修目標</p> <p>競技スポーツの基礎的トレーニングを理解し、個人に必要なトレーニングを自ら実践できるよう知識を身につける。</p>																					
<p>授業の位置づけ</p> <p>営学科のDP「1(4)」、「1(5)」、「2(1)」、「2(3)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(5)」、「1(6)」、「2(1)」、「2(4)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(1)」、「1(2)」、「2(3)」、「2(5)」に対応する。 建築学科のDP「1(1)」、「1(3)」、「2(3)」、「2(5)」に対応する。</p>																					
<p>到達目標</p> <p>競技及び個人の特性を理解し、安全にトレーニングできる。</p>																					
<p>授業全体の内容と概要</p> <p>競技スポーツに必要な基礎的トレーニングを実践し、自らの競技力向上のために必要なトレーニングを見つけ出し実践する。</p>																					
<p>授業の方法</p> <p>プリントなど資料にて説明したのち、トレーニング室及び体育館などで実際にトレーニング(フィジカルとメンタル)をする。なお、今回の授業において前回の反省と確認を行う。</p>																					
<p>アクティブラーニングの実施方法</p> <table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL															
模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業															
ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)															
<p>履修上の注意事項</p> <p>男子バスケットボール部に所属の学生を対象とする。注意事項等の詳細についてはガイダンスにて説明する。</p>																					
<p>資格指定科目</p>																					

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な最低出席回数は、10回以上。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	0%	0%	0%	60%	40%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
関心・意欲・態度・判断	積極的に行動し、意欲的に取り組み、安全に細心の注意を払うことができた。	積極的に行動し、意欲的に取り組み、安全に細心の注意を払うことが7割程度できた。	積極的に行動し、意欲的に取り組み、安全に細心の注意を払うことが5割程度できた。	積極的に行動し、意欲的に取り組み、安全に細心の注意を払うことが3割程度できた。	積極的に行動し、意欲的に取り組み、安全に細心の注意を払うことができなかった。
競技及び個人の特性を理解し、安全にトレーニングができる。	目標設定の原理、原則、種類とその方法を理解し安全にトレーニングができた。	目標設定の原理、原則、種類とその方法を理解し安全にトレーニングが7割程度できた。	目標設定の原理、原則、種類とその方法を理解し安全にトレーニングが5割程度できた。	目標設定の原理、原則、種類とその方法を理解し安全にトレーニングが3割程度できた。	目標設定の原理、原則、種類とその方法を理解し安全にトレーニングができなかった。
知識・理解	フィジカルとメンタルトレーニングの知識・理解があり、正しく活用ができた。	フィジカルとメンタルトレーニングの知識・理解があり、正しく活用が7割程度できた。	フィジカルとメンタルトレーニングの知識・理解があり、正しく活用が5割程度できた。	フィジカルとメンタルトレーニングの知識・理解があり、正しく活用が3割程度できた。	フィジカルとメンタルトレーニングの知識・理解があり、正しく活用ができなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS071044)				
授業担当者(所属・職名)	小山 尋明(建築学科・准教授)	研究室所在	1号館4階		
単位数	1 (単位認定責任者: 小山 尋明)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	ガイダンス(シラバス説明)。	事前にシラバスを読んで理解しておく(45分)	ガイダンスの内容を理解しておく(45分)
2	トレーニング実践 1 (フィジカルとメンタル)	トレーニングの基礎と原則を確認しておく(45分)	トレーニングの基礎と原則を理解しておく(45分)
3	トレーニング実践 2 (フィジカルとメンタル)	トレーニングの基礎と原則を確認しておく(45分)	トレーニングの基礎と原則を理解しておく(45分)
4	トレーニング実践 3 (フィジカルとメンタル)	トレーニングの基礎と原則を確認しておく(45分)	トレーニングの基礎と原則を理解しておく(45分)
5	トレーニング実践 4 (フィジカルとメンタル)	トレーニングの基礎と原則を確認しておく(45分)	トレーニングの基礎と原則を理解しておく(45分)
6	トレーニング実践 5 (フィジカルとメンタル)	トレーニングの基礎と原則を確認しておく(45分)	トレーニングの基礎と原則を理解しておく(45分)
7	トレーニング実践 6 (フィジカルとメンタル)	トレーニングの基礎と原則を確認しておく(45分)	トレーニングの基礎と原則を理解しておく(45分)
8	トレーニング実践 7 (フィジカルとメンタル)	トレーニングの基礎と原則を確認しておく(45分)	トレーニングの基礎と原則を理解しておく(45分)
9	トレーニング実践 8 (フィジカルとメンタル)	トレーニングの基礎と原則を確認しておく(45分)	トレーニングの基礎と原則を理解しておく(45分)
10	トレーニング実践 9 (フィジカルとメンタル)	トレーニングの基礎と原則を確認しておく(45分)	トレーニングの基礎と原則を理解しておく(45分)
11	トレーニング実践 1.0 (フィジカルとメンタル)	トレーニングの基礎と原則を確認しておく(45分)	トレーニングの基礎と原則を理解しておく(45分)
12	トレーニング実践 1.1 (フィジカルとメンタル)	トレーニングの基礎と原則を確認しておく(45分)	トレーニングの基礎と原則を理解しておく(45分)
13	トレーニング実践 1.2 (フィジカルとメンタル)	トレーニングの基礎と原則を確認しておく(45分)	トレーニングの基礎と原則を理解しておく(45分)
14	トレーニング実践 1.3 (フィジカルとメンタル)	トレーニングの基礎と原則を確認しておく(45分)	トレーニングの基礎と原則を理解しておく(45分)
15	トレーニング実践 1.4 (フィジカルとメンタル)	トレーニングの基礎と原則を確認しておく(45分)	トレーニングの基礎と原則を理解しておく(45分)
16	振り返りと確認。	内容を確認し理解を深めておくこと(45分)	専門用語の意味を理解しておくこと(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS071044)				
授業担当者(所属・職名)	横山 哲也(建築学科・准教授)	研究室所在	2号館7階		
単位数	1 (単位認定責任者: 横山 哲也)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標

学生が大学で必要となる数学の基礎知識及び2年のゼミナールで行うSPIに必要な知識及び思考過程をしっかりと身につける。

授業の位置づけ

経営学科のDP「1(1)」、「2(1)」に対応する。
 社会福祉学科のDP「1(2)」、「2(4)」に対応する。
 サイン学科のDP「1(1)」、「2(5)」に対応する。
 建築学科のDP「1(1)」、「2(5)」に対応する。

到達目標

大学で必要となる数学の基礎知識及び2年のゼミナールで行うSPIに必要な知識及び思考過程を修得できる。

授業全体の内容と概要

数の計算、式の計算及び関数とグラフ等を練習問題を計算することによって、数学の問題を解く実感及びSPIに必要な数学の知識をつかませる。

授業の方法

授業は、板書で実施し、板書にて説明しながら、演習を行う。課題は学生が提出後、解説を行う。

アクティブラーニングの実施方法

○	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業
	ディスカッション		実験・実習・実技	○	双方向授業		その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

ゼミナールの内容を十分に理解するために予習・復習を怠らず、また講義や演習に対して積極的に取り組むこと。
 レポート等の提出方法についてはゼミナール時間中に指示するので、ゼミナールを欠席することのないよう留意すること。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な最低出席回数は、11回以上					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	50%	0%	0%	30%	20%

ルーブリック

評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
数学及びSPIに必要な基礎知識の修得	数学及びSPIに必要な基礎知識及び計算過程(思考過程)が100%理解できた。	数学及びSPIに必要な基礎知識及び計算過程(思考過程)が90%理解できた。	数学及びSPIに必要な基礎知識及び計算過程(思考過程)が80%理解できた。	数学及びSPIに必要な基礎知識及び計算過程(思考過程)が70%理解できた。	数学及びSPIに必要な基礎知識及び計算過程(思考過程)が70%も理解できなかった。
計算過程において必要な記述内容の修得	演習問題は計算過程を100%記述したレポートになった。	演習問題は計算過程を90%記述したレポートになった。	演習問題は計算過程を80%記述したレポートになった。	演習問題は計算過程を70%記述したレポートになった。	演習問題は計算過程を70%も記述したレポートにならなかった。
思考過程のプレゼンテーション	筋道の立った思考過程がプレゼンテーションを通して明確に出来た。また、質問にも正確に対応した。	筋道の立った思考過程がプレゼンテーションを通して明確に出来た。	筋道の立った思考過程がプレゼンテーションを通して出来た。	一部筋道の立った思考過程がプレゼンテーションを通して出来た。	筋道の立った思考過程のプレゼンテーションが出来なかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等

No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS071044)				
授業担当者(所属・職名)	横山 哲也(建築学科・准教授)	研究室所在	2号館7階		
単位数	1 (単位認定責任者: 横山 哲也)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	ガイダンス及びシラバスの説明	シラバスを読んでおくこと(45分)	今日のゼミナールの再確認(45分)
2	連立方程式(1)	学習内容の箇所を事前に予習しておくこと(45分)	今日のゼミナールの再確認(45分)
3	連立方程式(2)	学習内容の箇所を事前に予習しておくこと(45分)	今日のゼミナールの再確認(45分)
4	代数方程式(1)	学習内容の箇所を事前に予習しておくこと(45分)	今日のゼミナールの再確認(45分)
5	代数方程式(2)	学習内容の箇所を事前に予習しておくこと(45分)	今日のゼミナールの再確認(45分)
6	代数方程式(3)	学習内容の箇所を事前に予習しておくこと(45分)	今日のゼミナールの再確認(45分)
7	直線	学習内容の箇所を事前に予習しておくこと(45分)	今日のゼミナールの再確認(45分)
8	放物線	学習内容の箇所を事前に予習しておくこと(45分)	今日のゼミナールの再確認(45分)
9	円	学習内容の箇所を事前に予習しておくこと(45分)	今日のゼミナールの再確認(45分)
10	不等式(1)	学習内容の箇所を事前に予習しておくこと(45分)	今日のゼミナールの再確認(45分)
11	不等式(2)	学習内容の箇所を事前に予習しておくこと(45分)	今日のゼミナールの再確認(45分)
12	領域	学習内容の箇所を事前に予習しておくこと(45分)	今日のゼミナールの再確認(45分)
13	三角比	学習内容の箇所を事前に予習しておくこと(45分)	今日のゼミナールの再確認(45分)
14	三角関数(1)	学習内容の箇所を事前に予習しておくこと(45分)	今日のゼミナールの再確認(45分)
15	三角関数(2)	学習内容の箇所を事前に予習しておくこと(45分)	今日のゼミナールの再確認(45分)
16	まとめ及び要点のフィードバック	総復習(45分)	総理解(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング:)				
授業担当者(所属・職名)	長森 正(建築学科・教授)	研究室所在	アトリエ棟 1階		
単位数	(単位認定責任者: 長森 正)	CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

<p>履修目標</p> <p>建築の授業ではさまざまなタイプのレポートや論文を書く機会が多くなります。そこで前半はレポート・論文の基本的事項を学びます。後半は建築資格の一つである「建築施工管理技士」に関する基礎を学びます。その内容は大学で学習する建築専門科目の殆どに関連しています。「建築施工管理技士」に関連する内容の一部を事前に学習し、専門科目との関連を把握して基礎学力を身につける。</p>
--

<p>授業の位置づけ</p> <p>経営学科のDP「1(2)」、「2(1)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(2)」、「2(4)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(1)」、「2(1)」、「2(5)」に対応する。 建築学科のDP「1(1)」、「2(1)」、「2(5)」に対応する。</p>

<p>到達目標</p> <p>レポート・論文作成の基本的能力を磨く。また建築施工管理に関する基礎知識を学び、建築専門科目への関連を把握して試験への基礎学力を身につける。</p>

<p>授業全体の内容と概要</p> <p>使用するテキストに沿って講義及び演習問題の解説を行う。</p>

<p>授業の方法</p> <p>授業は板書やプロジェクターを利用して講義形式で行う。各章の終了時には過去問題の演習を行う。</p>
--

アクティブラーニングの実施方法						
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク	PBL
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習	反転授業
	ディスカッション		実験・実習・実技	○	双方向授業	その他(授業の方法参照)

<p>履修上の注意事項</p> <p>テキストに準じて講義・演習問題を解説するので、休まず出席すること。</p>

<p>資格指定科目</p>

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な最低出席回数は10回以上とする。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	50%	0%	0%	30%	20%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
レポート・論文に関する基礎知識	レポート・論文に関する内容がほぼ理解できた。	レポート・論文に関する内容が80%理解できた。	レポート・論文に関する内容が70%理解できた。	レポート・論文に関する内容が60%理解できた。	レポート・論文に関する内容が理解できなかった。
建築学に関する基礎知識	建築学に関する内容がほぼ理解できた。	建築学に関する内容が80%理解できた。	建築学に関する内容が70%理解できた。	建築学に関する内容が60%理解できた。	建築学に関する内容が理解できなかった。
演習問題の理解	演習問題がほぼ解答できた。	演習問題の80%を解答できた。	演習問題の70%を解答できた。	演習問題の60%を解答できた。	演習問題が解答できなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『未定』					
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『適宜、資料配布。』					
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング:)				
授業担当者(所属・職名)	長森 正(建築学科・教授)	研究室所在	アトリエ棟1階		
単位数	(単位認定責任者: 長森 正)	CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	ガイダンス及びシラバスの説明	シラバスを確認する(45分)	ガイダンス及びシラバスの理解(45分)
2	レポート・論文の基礎	教科書を予習する(45分)	教科書を確認し復習する(45分)
3	レポート・論文のルール	教科書を予習する(45分)	教科書を確認し復習する(45分)
4	レポート・論文の種類	教科書を予習する(45分)	教科書を確認し復習する(45分)
5	レポート・論文の体裁	教科書を予習する(45分)	教科書を確認し復習する(45分)
6	演習	教科書を予習する(45分)	教科書を確認し復習する(45分)
7	建築施工管理技士試験の基本事項	教科書を予習する(45分)	教科書を確認し復習する(45分)
8	環境工学	教科書を予習する(45分)	教科書を確認し復習する(45分)
9	各種構造(1)	教科書を予習する(45分)	教科書を確認し復習する(45分)
10	各種構造(2)	教科書を予習する(45分)	教科書を確認し復習する(45分)
11	演習問題	教科書を予習する(45分)	教科書を確認し復習する(45分)
12	施工管理	教科書を予習する(45分)	教科書を確認し復習する(45分)
13	工程管理	教科書を予習する(45分)	教科書を確認し復習する(45分)
14	品質管理・安全管理	教科書を予習する(45分)	教科書を確認し復習する(45分)
15	演習問題	教科書を予習する(45分)	教科書を確認し復習する(45分)
16	まとめ及び要点のフィードバック	総復習(45分)	総復習及び配布資料の整理(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング:)				
授業担当者(所属・職名)	向井 正伸(建築学科・助教)		研究室所在	未定	
単位数	(単位認定責任者: 向井 正伸)		CAP制		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	計画設計等の実務経験を活かし、多様な事例や課題解決法を紹介する。		

概要

履修目標
私達が暮らす都市や建築は時代ごとの課題や価値観、技術革新とともに変化してきた。都市や建築を構想することは、行政や都市計画家、建築家だけの仕事ではない。住民や地域に係る皆が、より良い暮らしを考え実践した積み重ねが都市や街を形づくる。ゼミでは都市や建築のより良い未来を提案するための基礎を身につけることを目標とする。ゼミでは都市や建築を空間的な問題として扱う。

授業の位置づけ
「経営学科」のDP「1の(2)、(4)、(5)」,「2の(3)」に対応する。 「社会福祉学科」のDP「1の(2)、(3)、(4)、(5)、(6)、(7)」,「2の(4)」に対応する。 「デザイン学科」のDP「1の(1)、(2)、(3)」,「2の(1)、(5)」に対応する。 「建築学科」のDP「1の(1)、(2)、(3)」,「2の(1)、(5)」に対応する。

到達目標
都市や建築の変遷やその社会的背景を理解し、都市や建築について自分なりの意見をもつことができる。

授業全体の内容と概要
先人たちが都市や建築における課題や時代の変革にどのように挑んできたか、そして社会的課題や価値観が複雑化する現在においてどのような取り組みが行われているかを学ぶ。中間で適宜テスト又はレポートを実施し、理解度を確認する。後半ではグループに分かれて都市や建築について調査分析を行い、空間的な提案をまとめた発表・ディスカッションを行う。

授業の方法
前半ではパワーポイントと板書を用いてを講義を行う。適宜プリントを配布する。重要だと思われるキーワードは必ずメモし、示された図式等はノートにスケッチをすることが望まれる。参考となる書籍・建築等を授業中に適宜紹介する。後半ではグループに分かれて調査分析し、提案を作成する。パソコンを使う場合がある。

アクティブラーニングの実施方法												
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>グループワーク</td> <td>フィールドワーク</td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td>ロールプレイ</td> <td>調査学習</td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td>実験・実習・実技</td> <td>双方向授業</td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL	模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業	ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL									
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業									
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)									

履修上の注意事項
能動的な学習姿勢を望む。授業中に引用された建築、書籍に積極的に触れること。また、グループワークでは積極的に発言をし、議論をする。20分以上の遅刻は欠席とする。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
単位認定に必要な最低出席回数は、11回以上。												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>20%</td> <td>40%</td> <td>20%</td> <td>10%</td> <td>10%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	20%	40%	20%	10%	10%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	20%	40%	20%	10%	10%							

ルーブリック																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を越えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>理解度</td> <td>授業内容を越えた自主的な学習を行なった。</td> <td>授業内容を理解し、自主的な学習を行なった。</td> <td>授業内容をほぼ理解し、自主的な学習を行なった。</td> <td>授業内容をほぼ理解し、自分なりの意見をもつことができた。</td> <td>授業内容を理解しなかった。</td> </tr> <tr> <td>調査・課題解決能力</td> <td>独自の能力で調査・課題を解くことができ、その内容を説明して第三者に共感させることができた。</td> <td>独自の能力で調査・課題を解くことができ、その内容を説明して第三者に理解させることができた。</td> <td>独自の能力で調査・課題を解くことができ、その内容を説明することができた。</td> <td>参考書などを参考にすれば、調査・課題を解くことができた。</td> <td>アドバイスがあっても自発的に課題を解くことができなかった。</td> </tr> <tr> <td>態度・意欲</td> <td>休まずに出席(出席16回)し、予習復習を行なった。</td> <td>概ね出席(出席14-15回)し、予習復習を行なった。</td> <td>概ね出席した(出席14-15回)。</td> <td>休みがちであるが概ね出席した(11-13回)。</td> <td>評価前提条件を満たさなかった(出席10回未満)。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を越えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	理解度	授業内容を越えた自主的な学習を行なった。	授業内容を理解し、自主的な学習を行なった。	授業内容をほぼ理解し、自主的な学習を行なった。	授業内容をほぼ理解し、自分なりの意見をもつことができた。	授業内容を理解しなかった。	調査・課題解決能力	独自の能力で調査・課題を解くことができ、その内容を説明して第三者に共感させることができた。	独自の能力で調査・課題を解くことができ、その内容を説明して第三者に理解させることができた。	独自の能力で調査・課題を解くことができ、その内容を説明することができた。	参考書などを参考にすれば、調査・課題を解くことができた。	アドバイスがあっても自発的に課題を解くことができなかった。	態度・意欲	休まずに出席(出席16回)し、予習復習を行なった。	概ね出席(出席14-15回)し、予習復習を行なった。	概ね出席した(出席14-15回)。	休みがちであるが概ね出席した(11-13回)。	評価前提条件を満たさなかった(出席10回未満)。												
評価項目		評価基準																																							
	履修項目を越えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
理解度	授業内容を越えた自主的な学習を行なった。	授業内容を理解し、自主的な学習を行なった。	授業内容をほぼ理解し、自主的な学習を行なった。	授業内容をほぼ理解し、自分なりの意見をもつことができた。	授業内容を理解しなかった。																																				
調査・課題解決能力	独自の能力で調査・課題を解くことができ、その内容を説明して第三者に共感させることができた。	独自の能力で調査・課題を解くことができ、その内容を説明して第三者に理解させることができた。	独自の能力で調査・課題を解くことができ、その内容を説明することができた。	参考書などを参考にすれば、調査・課題を解くことができた。	アドバイスがあっても自発的に課題を解くことができなかった。																																				
態度・意欲	休まずに出席(出席16回)し、予習復習を行なった。	概ね出席(出席14-15回)し、予習復習を行なった。	概ね出席した(出席14-15回)。	休みがちであるが概ね出席した(11-13回)。	評価前提条件を満たさなかった(出席10回未満)。																																				

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング:)				
授業担当者(所属・職名)	向井 正伸(建築学科・助教)		研究室所在	未定	
単位数	(単位認定責任者: 向井 正伸)		CAP制		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容 計画設計等の実務経験を活かし、多様な事例や課題解決法を紹介する。			

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	ガイダンス シラバスの説明	シラバスを事前に把握する(45分)	紹介した書籍・建築事例等について調べる。(45分)
2	さまざまな都市・建築空間	対象事例を予習する。(45分)	講義内容を復習。紹介した書籍・建築事例等について調べる。(60分)
3	建築都市空間事例1	対象事例を予習する。(45分)	講義内容を復習。紹介した書籍・建築事例等について調べる。(60分)
4	建築都市空間事例2	対象事例を予習する。(45分)	講義内容を復習。紹介した書籍・建築事例等について調べる。(60分)
5	建築都市空間事例3	対象事例を予習する。(45分)	講義内容を復習。紹介した書籍・建築事例等について調べる。(60分)
6	建築都市空間事例4	対象事例を予習する。(45分)	講義内容を復習。紹介した書籍・建築事例等について調べる。(60分)
7	北海道における建築都市空間1	対象事例を予習する。(45分)	講義内容を復習。紹介した書籍・建築事例等について調べる。(60分)
8	北海道における建築都市空間2	対象事例を予習する。(45分)	講義内容を復習。紹介した書籍・建築事例等について調べる。(60分)
9	グループワーク1・エスキス	対象を事前に調べる。(60分)	エスキスをフィードバックしまとめる。(60分)
10	グループワーク2・エスキス	調査分析を行い、まとめる。(60分)	エスキスをフィードバックしまとめる。(60分)
11	グループワーク3・エスキス	調査分析を行い、まとめる。(60分)	エスキスをフィードバックしまとめる。(60分)
12	中間発表・ディスカッション	調査分析を行い、まとめる。(60分)	ディスカッションをフィードバックしまとめる。(60分)
13	グループワーク4・エスキス	調査分析を行い、まとめる。(60分)	エスキスをフィードバックしまとめる。(60分)
14	グループワーク5・エスキス	調査分析を行い、まとめる。(60分)	エスキスをフィードバックしまとめる。(60分)
15	グループワーク6・エスキス	調査分析を行い、まとめる。(60分)	エスキスをフィードバックしまとめる。(60分)
16	発表・ディスカッション	プレゼンテーションをまとめる(90分)	学習内容を復習し理解しておく(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年（再履修）		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS071044)				
授業担当者(所属・職名)	河田 一郎 (経営学科・准教授)	研究室所在	2号館 8階		
単位数	1 (単位認定責任者: 河田 一郎)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標	各自の興味のあるものをテーマに選び、自由に発想を展開し、レポートにまとめる。就職活動を見据え、常に社会に目を向ける習慣を身につける。																								
授業の位置づけ	経営学科のDPの「1(2)」、「1(4)」、「1(5)」に対応する。 社会福祉学科のDPの「1(2)」、「1(3)」、「1(6)」、「1(7)」、「2(1)」、「2(4)」に対応する。 デザイン学科のDPの「1(1)」、「1(2)」、「1(3)」、「2(1)」、「2(5)」に対応する。 建築学科のDPの「1(1)」、「2(1)」、「2(5)」に対応する。																								
到達目標	社会のさまざまな出来事に対して、自分なりの意見を述べるができる。																								
授業全体の内容と概要	就職面談を想定し、話題のニュースについて、ディスカッションを行う。各自のテーマが決まった時点で、少しずつテーマについて調べ、ゼミ終了時にレポートを提出してもらう。																								
授業の方法	授業では各自のテーマにかかわる資料を配布し、板書をしながら講義形式で行う。また、適宜確認テストを実施し、フィードバックとして解説を丁寧に行う。																								
アクティブラーニングの実施方法	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td>○</td> <td>ロールプレイ</td> <td>○</td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td>○</td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	○	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業	○	ロールプレイ	○	調査学習		反転授業	○	ディスカッション		実験・実習・実技	○	双方向授業		その他(授業の方法参照)
○	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																		
	模擬授業	○	ロールプレイ	○	調査学習		反転授業																		
○	ディスカッション		実験・実習・実技	○	双方向授業		その他(授業の方法参照)																		
履修上の注意事項	基礎ゼミナール1B再履修者。																								
資格指定科目																									

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な出席回数は、13回以上。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	20%	0%	0%	80%	0%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
知識・技能	学修した知識・技能を確実に修得し、求められるレベルを大きく超えた。	学修した知識・技能を確実に修得した。	学修した知識・技能をほぼ修得した。	学修した知識・技能を修得したが、最低限容認できるレベルにとどまった。	学修した知識を修得できなかった。
思考力・判断力・表現力	与えられた課題に積極的に取り組み、求められるレベルを大きく超えた。	与えられた課題に取り組み求められるレベルを達成した。	与えられた課題に取り組み求められるレベルをほぼ達成した。	与えられた課題に取り組み求められるレベルにとどまった。	与えられた課題に真面目に取り組みなかった。
主体性・多様性・協働性	与えられた課題には積極的に取り組んだ。理解力やプレゼンテーション能力は求められるレベルを大きく超えた。	与えられた課題に取り組んだ。理解力やプレゼンテーション能力は求められるレベルを達成した。	与えられた課題に取り組み求められるレベルをほぼ達成した。	与えられた課題に取り組んだが、最低限容認できるレベルにとどまった。	与えられた課題に真面目に取り組みなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年（再履修）		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS071044)				
授業担当者(所属・職名)	河田 一郎(経営学科・准教授)	研究室所在	2号館8階		
単位数	1 (単位認定責任者: 河田 一郎)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	[ガイダンス] 授業の進め方・シラバスの説明。	シラバスの内容確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
2	今週気になったニュースについて発表を行う。漢字検定受験準備(レベルチェック6級)。各自のテーマについて調べたことを発表する。	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
3	今週気になったニュースについて発表を行う。漢字検定受験準備(レベルチェック5級)。各自のテーマについて調べたことを発表する。	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
4	今週気になったニュースについて発表を行う。漢字検定受験準備(レベルチェック4級)。各自のテーマについて調べたことを発表する。	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
5	今週気になったニュースについて発表を行う。漢字検定受験準備(レベルチェック4級)。各自のテーマについて調べたことを発表する。	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
6	今週気になったニュースについて発表を行う。漢字検定受験準備(レベルチェック3級)。各自のテーマについて調べたことを発表する。	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
7	今週気になったニュースについて発表を行う。漢字検定受験準備(レベルチェック2級)。各自のテーマについて調べたことを発表する。	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
8	今週気になったニュースについて発表を行う。漢字検定受験準備(レベルチェック2級)。各自のテーマについて調べたことを発表する。	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
9	今週気になったニュースについて発表を行う。漢字検定受験準備(レベルチェック準1級)。各自のテーマについて調べたことを発表する。	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
10	今週気になったニュースについて発表を行う。漢字検定受験準備(各自に合わせたレベルの問題)。各自のテーマについて調べたことを発表する。	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
11	今週気になったニュースについて発表を行う。漢字検定受験準備(各自に合わせたレベルの問題)。各自のテーマについて調べたことを発表する。	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
12	今週気になったニュースについて発表を行う。漢字検定受験準備(各自に合わせたレベルの問題)。各自のテーマについて調べたことを発表する。	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
13	今週気になったニュースについて発表を行う。漢字検定受験準備(各自に合わせたレベルの問題)。各自のテーマについて調べたことを発表する。	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
14	今週気になったニュースについて漢字検定受験準備(各自に合わせたレベルの問題)。各自のテーマについて調べたことを発表する。	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
15	今週気になったニュースについて発表を行う漢字検定受験準備(各自に合わせたレベルの問題)。各自のテーマについて調べたことを発表する。	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
16	レポートの内容についてのプレゼンテーションを行う。	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS072045)				
授業担当者(所属・職名)	河田 一郎(経営学科・准教授)	研究室所在	2号館8階		
単位数	1 (単位認定責任者: 河田 一郎)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	大学入試センターの問題作成委員としての経験を活かしてドイツ語教育にかかわる指導を行う。		

概要

履修目標
基礎ゼミナール に引き続き、建築・絵画・音楽などウィーン文化を考察する。さらにドイツ語学修に重きを置き、ドイツ語検定試験5級合格のための基礎を固める。

授業の位置づけ
経営学科のD Pの「1(2)」、「1(4)」、「1(5)」に対応する。 社会福祉学科のD Pの「1(2)」、「1(3)」、「1(6)」、「1(7)」、「2(1)」、「2(4)」に対応する。 デザイン学科のD Pの「1(1)」、「1(2)」、「1(3)」、「2(1)」、「2(5)」に対応する。 建築学科のD Pの「1(1)」、「1(2)」、「2(5)」に対応する。

到達目標
ドイツ語検定試験5級合格のための基礎を固める。観光・留学などドイツ語圏で困らない程度の日常会話を身につける。

授業全体の内容と概要
ドイツと言えば、クラシック音楽である。クラシックをBGMに用いたリラックスした学習環境の中で、ドイツ語の文法と会話を学修する。

授業の方法
授業では板書をしながら、ドイツ語の文法・文化を紹介する。ドイツのD V D等も見て講義形式で行う。また、適宜確認テストを実施し、フィードバックとして解説を丁寧に行う。

アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>P B L</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td>○</td> <td>ロールプレイ</td> <td>○</td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td>○</td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	○	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		P B L		模擬授業	○	ロールプレイ	○	調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技	○	双方向授業		その他(授業の方法参照)
○	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		P B L																	
	模擬授業	○	ロールプレイ	○	調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技	○	双方向授業		その他(授業の方法参照)																	

履修上の注意事項
ウィーンを含めたヨーロッパの絵画、建築、音楽等に興味が有り、ドイツ語を修得したい学生であればだれでも受講可能。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
単位認定に必要な出席回数は、13回以上。												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>20%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>80%</td> <td>0%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	20%	0%	0%	80%	0%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	20%	0%	0%	80%	0%							

ルーブリック																																									
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> <tr> <td>知識・技能</td> <td>学修した知識・技能を確実に修得し、求められるレベルを大きく超えた。</td> <td>学修した知識・技能を確実に修得した。</td> <td>学修した知識・技能をほぼ修得した。</td> <td>学修した知識・技能を修得したが、最低限容認できるレベルにとどまった。</td> <td>学修した知識が修得できなかった。</td> </tr> <tr> <td>思考力・判断力・表現力</td> <td>与えられた課題に積極的に取り組み、求められるレベルを大きく超えた。</td> <td>与えられた課題に取り組み求められるレベルを達成した。</td> <td>与えられた課題に取り組み求められるレベルをほぼ達成した。</td> <td>与えられた課題に取り組みしたが、最低限容認できるレベルにとどまった。</td> <td>与えられた課題に真面目に取り組みなかった。</td> </tr> <tr> <td>主体性・多様性・協働性</td> <td>与えられた課題には積極的に取り組んだ。理解力やプレゼンテーション能力は求められるレベルを大きく超えた。</td> <td>与えられた課題に取り組んだ。理解力やプレゼンテーション能力は求められるレベルを達成した。</td> <td>与えられた課題に取り組み求められるレベルをほぼ達成した。</td> <td>与えられた課題に取り組んだが、最低限容認できるレベルにとどまった。</td> <td>与えられた課題に真面目に取り組みなかった。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	知識・技能	学修した知識・技能を確実に修得し、求められるレベルを大きく超えた。	学修した知識・技能を確実に修得した。	学修した知識・技能をほぼ修得した。	学修した知識・技能を修得したが、最低限容認できるレベルにとどまった。	学修した知識が修得できなかった。	思考力・判断力・表現力	与えられた課題に積極的に取り組み、求められるレベルを大きく超えた。	与えられた課題に取り組み求められるレベルを達成した。	与えられた課題に取り組み求められるレベルをほぼ達成した。	与えられた課題に取り組みしたが、最低限容認できるレベルにとどまった。	与えられた課題に真面目に取り組みなかった。	主体性・多様性・協働性	与えられた課題には積極的に取り組んだ。理解力やプレゼンテーション能力は求められるレベルを大きく超えた。	与えられた課題に取り組んだ。理解力やプレゼンテーション能力は求められるレベルを達成した。	与えられた課題に取り組み求められるレベルをほぼ達成した。	与えられた課題に取り組んだが、最低限容認できるレベルにとどまった。	与えられた課題に真面目に取り組みなかった。												
評価項目		評価基準																																							
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
知識・技能	学修した知識・技能を確実に修得し、求められるレベルを大きく超えた。	学修した知識・技能を確実に修得した。	学修した知識・技能をほぼ修得した。	学修した知識・技能を修得したが、最低限容認できるレベルにとどまった。	学修した知識が修得できなかった。																																				
思考力・判断力・表現力	与えられた課題に積極的に取り組み、求められるレベルを大きく超えた。	与えられた課題に取り組み求められるレベルを達成した。	与えられた課題に取り組み求められるレベルをほぼ達成した。	与えられた課題に取り組みしたが、最低限容認できるレベルにとどまった。	与えられた課題に真面目に取り組みなかった。																																				
主体性・多様性・協働性	与えられた課題には積極的に取り組んだ。理解力やプレゼンテーション能力は求められるレベルを大きく超えた。	与えられた課題に取り組んだ。理解力やプレゼンテーション能力は求められるレベルを達成した。	与えられた課題に取り組み求められるレベルをほぼ達成した。	与えられた課題に取り組んだが、最低限容認できるレベルにとどまった。	与えられた課題に真面目に取り組みなかった。																																				

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>I S B N</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>I S B N</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS072045)				
授業担当者(所属・職名)	河田 一郎(経営学科・准教授)	研究室所在	2号館8階		
単位数	1 (単位認定責任者: 河田 一郎)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	大学入試センターの問題作成委員としての経験を活かしてドイツ語教育にかかわる指導を行う。		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	[ガイダンス] 授業の進め方・シラバスの説明。	シラバスの内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
2	[ドイツ語の発音について] 基本的な発音、ドイツ語特有な発音について学習する。	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
3	[ドイツ語の動詞について] 動詞の変化について学び、人称変化させることができる。	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
4	[不規則変化動詞について] 不規則変化動詞の変化について学び、人称変化させることができる。	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
5	[seinとhabenについて] seinとhabenについて学び、格変化させることができる。	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
6	[名詞と冠詞について] 名詞と冠詞について学び、格変化させることができる。	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
7	[名詞の複数形について] ドイツ語の名詞の複数形について学び、格変化させることができる。	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
8	[特殊な動詞の変化について] 特殊な動詞の変化について学び、人称変化させることができる。	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
9	[特殊な動詞の変化について] 特殊な動詞の変化について学び、人称変化させることができる。	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
10	[冠詞類について] ドイツ語の冠詞類とはどのような変化をするのかを学び、変化させることができる。	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
11	[前置詞について] ドイツ語の前置詞について学び、英語との違いを理解する。	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
12	[3・4格支配の前置詞について] 3・4格支配の前置詞について学び、3格と4格の違いを理解する。	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
13	[接続詞について] ドイツ語の接続詞の特徴を学び、文章を書き換えることができる。	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
14	[ヒアリング練習] ヒアリングに関するポイントを学ぶ。	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
15	[ドイツ語検定5級について] 問題の傾向と対策を学ぶ。	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
16	[前期学修内容の復習] 前期で学んだ文法項目をチェックする。	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	経営学科・2年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎セミナー A (科目ナンバリング: BAS072045)				
授業担当者(所属・職名)	戸佐 晃一 (経営学科・准教授)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 戸佐 晃一)	CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
本授業では、1年時に実施したトレーニングの成果を体力・形態測定を実施することで確認し足りない体力の強化に向けて、様々なトレーニングを実践する。また、生涯にわたって運動習慣を継続することで高齢になっても体力の維持、健康で長寿であることを目的とする。

授業の位置づけ
経営学科のDP「1(1)」、「1(2)」、「2(1)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(2)」、「1(3)」、「1(4)」、「1(5)」、「1(6)」、「1(7)」、「2(4)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(2)」、「1(3)」、「2(5)」に対応する。 建築学科のDP「1(2)」、「1(3)」、「2(5)」に対応する。

到達目標
各自、1年時からの体力向上を参考に到達目標を設定し、様々なトレーニング方法を理解し実践できることを目標とする。 生涯を通じて定期的に運動する習慣を養う。

授業全体の内容と概要
体力測定、形態測定により自分の体力の変化や状態を知る。 様々な種類のトレーニングに関する1年時に学んだ基礎から応用理論を学び、正しいトレーニングの方法を学習する。

授業の方法
体育館、ウエイトトレーニング場を中心に授業を行う。様々なトレーニング方法をグループワークによる実践を通して、課題の発見や指摘を合い、ディスカッションではタブレット、スマートフォンの活用をすることで正しい技術を習得できるように進めていく。レポートなどの解説のフィードバックを実施する。

アクティブラーニングの実施方法																					
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>○</td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>○ ディスカッション</td> <td>○</td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業	○ ディスカッション	○	実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL															
模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業															
○ ディスカッション	○	実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)															

履修上の注意事項
競技経験があり体力があること。 遅刻は2回につき1回欠席とする。 運動着、飲料水、上靴、タオルの用意。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
単位認定に必要な最低出席回数は、13回以上												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>30%</td> <td>30%</td> <td>0%</td> <td>40%</td> <td>0%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	30%	30%	0%	40%	0%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	30%	30%	0%	40%	0%							

ルーブリック																													
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> <tr> <td>ウエイトトレーニングの基本</td> <td>ウエイトトレーニングの基本を良く理解している</td> <td>ウエイトトレーニングの基本をほぼ理解している</td> <td>ウエイトトレーニングの基本をある程度理解している</td> <td>ウエイトトレーニングの基本を理解している</td> <td>ウエイトトレーニングの基本を理解していない</td> </tr> <tr> <td>体幹トレーニングの基本</td> <td>体幹トレーニングの基本を良く理解している</td> <td>体幹トレーニングの基本をほぼ理解している</td> <td>体幹トレーニングの基本をある程度理解している</td> <td>体幹トレーニングの基本を理解している</td> <td>体幹トレーニングの基本を理解していない</td> </tr> <tr> <td>ラダートレーニングの基本</td> <td>ラダートレーニングの基本を良く理解している</td> <td>ラダートレーニングの基本をほぼ理解している</td> <td>ラダートレーニングの基本をある程度理解している</td> <td>ラダートレーニングの基本を理解している</td> <td>ラダートレーニングの基本を理解していない</td> </tr> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	ウエイトトレーニングの基本	ウエイトトレーニングの基本を良く理解している	ウエイトトレーニングの基本をほぼ理解している	ウエイトトレーニングの基本をある程度理解している	ウエイトトレーニングの基本を理解している	ウエイトトレーニングの基本を理解していない	体幹トレーニングの基本	体幹トレーニングの基本を良く理解している	体幹トレーニングの基本をほぼ理解している	体幹トレーニングの基本をある程度理解している	体幹トレーニングの基本を理解している	体幹トレーニングの基本を理解していない	ラダートレーニングの基本	ラダートレーニングの基本を良く理解している	ラダートレーニングの基本をほぼ理解している	ラダートレーニングの基本をある程度理解している	ラダートレーニングの基本を理解している	ラダートレーニングの基本を理解していない
評価項目		評価基準																											
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																								
ウエイトトレーニングの基本	ウエイトトレーニングの基本を良く理解している	ウエイトトレーニングの基本をほぼ理解している	ウエイトトレーニングの基本をある程度理解している	ウエイトトレーニングの基本を理解している	ウエイトトレーニングの基本を理解していない																								
体幹トレーニングの基本	体幹トレーニングの基本を良く理解している	体幹トレーニングの基本をほぼ理解している	体幹トレーニングの基本をある程度理解している	体幹トレーニングの基本を理解している	体幹トレーニングの基本を理解していない																								
ラダートレーニングの基本	ラダートレーニングの基本を良く理解している	ラダートレーニングの基本をほぼ理解している	ラダートレーニングの基本をある程度理解している	ラダートレーニングの基本を理解している	ラダートレーニングの基本を理解していない																								

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	経営学科・2年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS072045)				
授業担当者(所属・職名)	戸佐 晃一(経営学科・准教授)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 戸佐 晃一)	CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	ガイダンス シラバスの説明	事前にシラバスを読んで確認しておく(45分)	ガイダンスの内容を理解しておく(45分)
2	ウエイトトレーニングの基本	ウエイトトレーニングの基本を確認しておく(45分)	学習内容を復習し理解しておく(45分)
3	ウエイトトレーニングの基本	ウエイトトレーニングの基本を確認しておく(45分)	学習内容を復習し理解しておく(45分)
4	ウエイトトレーニングの基本	ウエイトトレーニングの基本を確認しておく(45分)	学習内容を復習し理解しておく(45分)
5	ウエイトトレーニングの基本	ウエイトトレーニングの基本を確認しておく(45分)	学習内容を復習し理解しておく(45分)
6	ウエイトトレーニングの基本	ウエイトトレーニングの基本を確認しておく(45分)	学習内容を復習し理解しておく(45分)
7	体幹トレーニング	体幹トレーニングの基本を確認しておく(45分)	学習内容を復習し理解しておく(45分)
8	体幹トレーニング	体幹トレーニングの基本を確認しておく(45分)	学習内容を復習し理解しておく(45分)
9	体幹トレーニング	体幹トレーニングの基本を確認しておく(45分)	学習内容を復習し理解しておく(45分)
10	ラダートレーニング	ラダートレーニングの基本を確認しておく(45分)	学習内容を復習し理解しておく(45分)
11	ラダートレーニング	ラダートレーニングの基本を確認しておく(45分)	学習内容を復習し理解しておく(45分)
12	ラダートレーニング	ラダートレーニングの基本を確認しておく(45分)	学習内容を復習し理解しておく(45分)
13	体力測定	体力測定種目の確認をしておく(45分)	学習内容を復習し理解しておく(45分)
14	形態測定	形態測定種目の確認をしておく(45分)	学習内容を復習し理解しておく(45分)
15	まとめ	授業内容を振り返り確認しておく(45分)	学習内容を復習し理解しておく(45分)
16	フィードバック	体力・形態測定結果を確認しておく(45分)	学習内容を復習し理解しておく(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS072045)				
授業担当者(所属・職名)	米野 宏 (経営学科・准教授)	研究室所在	1号館3階		
単位数	1 (単位認定責任者: 米野 宏)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	教育機関における体育・健康・スポーツ関係の授業経験を活かし、学生の教養の基礎を指導する。		

概要

履修目標	大学での勉強を進めるにあたり、必要となる文章読解力のほか、コミュニケーション能力、ディスカッション能力、プレゼンテーション能力の向上をはかる。
------	---

授業の位置づけ	経営学科のDP「1(4)」、「1(5)」、「2(3)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(2)」、「1(3)」、「1(4)」、「1(5)」、「1(6)」、「1(7)」、「2(4)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(2)」、「1(3)」、「2(5)」に対応する。 建築学科のDP「1(2)」、「1(3)」、「2(5)」に対応する。
---------	--

到達目標	自分でテーマを設定し、文章にまとめることができる。 グループ内でのコミュニケーションを図ることができ、リーダーシップを発揮できる。 テーマに基づきプレゼンテーションをすることができる。
------	--

授業全体の内容と概要	授業の前半は、小論文・レポートを作成し発表する。また、発表に対して討議したり、ディスカッションを行う。 後半は、特定のテーマでプレゼンテーションを行い、質疑応答やディスカッションも行う。 入前で話すための準備をし、解り易く、興味深い内容を考える。
------------	---

授業の方法	小論文、レポートの書き方については、板書または資料にて説明する。提出されたレポートについては、添削及び内容の評価とともにフィードバックする。 グループディスカッションやプレゼンテーションの題材として、新聞やインターネットによるニュース等を提供しながら実施する。プレゼンテーションの方法については、授業のなかで学びとともに説明する。
-------	--

アクティブラーニングの実施方法							
<input type="checkbox"/>	プレゼンテーション	<input type="checkbox"/>	グループワーク	<input type="checkbox"/>	フィールドワーク	<input type="checkbox"/>	PBL
<input type="checkbox"/>	模擬授業	<input type="checkbox"/>	ロールプレイ	<input type="checkbox"/>	調査学習	<input type="checkbox"/>	反転授業
<input type="checkbox"/>	ディスカッション	<input type="checkbox"/>	実験・実習・実技	<input type="checkbox"/>	双方向授業	<input type="checkbox"/>	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項	20分以上の遅刻は、欠席扱いとする。 対話する機会が多いので、積極的な発言や能動的な授業態度で臨むこと。
----------	---

資格指定科目	
--------	--

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な最低出席回数は、13回以上。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	10%	10%	0%	70%	10%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
コミュニケーション能力	仲間とのコミュニケーションを図る方法がとて巧みにおこなえた。	仲間とコミュニケーションを図ることが比較的巧みであった。	仲間とコミュニケーションを図ることが普通に行えた。	仲間とコミュニケーションを図ることが上手ではないが努力した。	仲間とコミュニケーションを図ることがとても苦手であった。
ディスカッション能力	討議の中で、対話を巧みにでき、リーダーシップも取られた。	討議の中で、対話を巧みにでき、リーダーシップも取れなかった。	討議の中で、対話を巧みにできたが、リーダーシップをとるまではいかなかった。	討議の中で、対話をするのが普通に行えた。	討議の中で、対話することが苦手で、ほとんど受け身であった。
プレゼンテーション能力	パワーポイント等を巧みに使い、解り易く、興味深い内容でプレゼンテーションを行った。	パワーポイント等を使い、比較的解り易く、興味深い内容でプレゼンテーションを行った。	パワーポイント等を使い、解り易くプレゼンテーションを行った。	パワーポイント等を使い、プレゼンテーションを行ったが、多少伝わらなかった。	プレゼンテーションの準備がほとんどできていなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS072045)				
授業担当者(所属・職名)	米野 宏(経営学科・准教授)		研究室所在	1号館3階	
単位数	1 (単位認定責任者: 米野 宏)		CAP制		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容 教育機関における体育・健康・スポーツ関係の授業経験を活かし、学生の教養の基礎を指導する。			

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	ガイダンス(シラバスの説明)	事前にシラバスを読んで確認する。(45分)	注意事項を確認する。(45分)
2	レポートの作成(アダプテッドスポーツの創作)	シラバスを読んで確認と準備をする。(45分)	ノートに記載された内容を復習する。(45分)
3	発表と意見交換 1	シラバスを読んで確認と準備をする。(45分)	ノートに記載された内容を復習する。(45分)
4	発表と意見交換 2	シラバスを読んで確認と準備をする。(45分)	ノートに記載された内容を復習する。(45分)
5	発表と意見交換 3	シラバスを読んで確認と準備をする。(45分)	ノートに記載された内容を復習する。(45分)
6	アダプテッドスポーツを考える(屋外競技)	シラバスを読んで確認と準備をする。(45分)	ノートに記載された内容を復習する。(45分)
7	アダプテッドスポーツを考える(屋内競技)	シラバスを読んで確認と準備をする。(45分)	ノートに記載された内容を復習する。(45分)
8	プレゼンテーションの準備 1(グループに分かれて)	シラバスを読んで確認と準備をする。(45分)	ノートに記載された内容を復習する。(45分)
9	プレゼンテーションの準備 2(グループに分かれて)	シラバスを読んで確認と準備をする。(45分)	ノートに記載された内容を復習する。(45分)
10	プレゼンテーション (屋外競技) 1	シラバスを読んで確認と準備をする。(45分)	ノートに記載された内容を復習する。(45分)
11	プレゼンテーション (屋外競技) 2	シラバスを読んで確認と準備をする。(45分)	ノートに記載された内容を復習する。(45分)
12	プレゼンテーション (屋外競技) 3	シラバスを読んで確認と準備をする。(45分)	ノートに記載された内容を復習する。(45分)
13	プレゼンテーション (屋内競技) 1	シラバスを読んで確認と準備をする。(45分)	ノートに記載された内容を復習する。(45分)
14	プレゼンテーション (屋内競技) 2	シラバスを読んで確認と準備をする。(45分)	ノートに記載された内容を復習する。(45分)
15	プレゼンテーション (屋内競技) 3	シラバスを読んで確認と準備をする。(45分)	ノートに記載された内容を復習する。(45分)
16	ふりかえり	ノートに記載された内容を再度確認する。(45分)	評価等の内容を確認を確認する。(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS072045)				
授業担当者(所属・職名)	佐藤 和裕 (経営学科・准教授)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 佐藤 和裕)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり 左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	学校現場における教員経験がある教員がその経験を活かして、将来に向け健康で豊かな生活を営んでいくための基礎を指導する。			

概要

履修目標

競技スポーツ及び、健康のための基礎的トレーニングを基礎ゼミナール A、Bより更に深く学び、個人に必要なトレーニングを自ら実践出来るように、メンタルトレーニングを取り入れながら実践していく。また、学生と教員双方の人間関係を構築しコミュニケーション能力を高め、併せて快適な学生生活及び基本的な生活習慣を身につける。

授業の位置づけ

経営学科のDP「1(1)」、「1(2)」、「2(1)」、「2(3)」に対応する。
 社会福祉学科のDP「1(2)」、「1(4)」、「2(4)」に対応する。
 デザイン学科のDP「1(1)」、「1(3)」に対応する。
 建築学科のDP「1(1)」、「2(3)」に対応する。

到達目標

競技及び個人の特性を理解し、自らの競技スポーツや健康の保持増進に一層深い関心を持ってメンタルな強化も含め、安全にトレーニングすることができる。

授業全体の内容と概要

基礎ゼミナール A、Bを基に、メンタルトレーニングをどのように取り入れていくかなど、自らの競技力向上と健康の保持増進のために必要なトレーニングを見つけて出し実践する。

授業の方法

授業は配布資料で実施し、トレーニングなどのDVDも活用しながら講義形式で行う。授業によってはグループワークで思考・考察・発表を行い学習していく。レポートにはコメントにてフィードバックする。さらに、実技に関しては基礎的なトレーニングの特性を理解し学習したことを実際に怪我に注意を払いながら実施していく。

アクティブラーニングの実施方法

プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL
模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業
ディスカッション	○	実験・実習・実技	○	双方向授業		その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

ラグビー部に所属の学生を対象とする。基本的にジャージや屋内運動靴を必ず用意する。注意事項の詳細はガイダンスで指示する。健康上の理由で医師から運動を停止されている者は、申し出の上指示を受けること。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件

単位認定に必要な最低出席回数は、13回以上。

評価方法

定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	30%	0%	0%	50%	20%

ルーブリック

評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
関心・意欲・態度	自ら進んで行動や役割を果たすことができ、とても意欲的に取り組み、且つ安全に細心の注意を払うことができた。	積極的に行動や役割を果たすことができ、意欲的に取り組み、安全に注意を払うことができた。	行動の仕方を守り役割を果たすことができ、普通に取り組み安全に注意を払うことができた。	行動の仕方を守らず役割を果たしていないときがあったが、安全に注意を払うことができた。	行動の仕方を守らず役割を果たさず意欲もまったくなく、安全に注意を払うことができなかった。
知識・理解	トレーニングとメンタルトレーニングの基礎的な知識を持ち、それぞれの領域の持つ見方について説明することができ、実践的に活用できた。	トレーニングとメンタルトレーニングの基礎的な知識を持ち、多様な領域からの見解を深く理解できていて、適切に活用できた。	トレーニングとメンタルトレーニングの基礎的な知識の見解を一定程度理解できていて、活用できた。	トレーニングとメンタルトレーニングの基礎的な知識の見解をあまり深く理解できていないが、活用できた。	トレーニングとメンタルトレーニングの基礎的な知識の見解をまったく理解できていなく、その獲得、修得に取り組むことができなかった。
計画・実行力	達成目標を設定し、創造的思考を持って趣味的計画を立て、その計画に沿って実行できた。	達成目標を設定した計画を立てることができ、計画に沿って7割程度できた。	達成目標を設定し、計画を立てて5割程度できた。	達成目標が曖昧ではあったが、計画を立てて3割程度できた。	計画を立てることができなく、達成目標もなく、まったくできなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書

No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等

No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎セミナー A (科目ナンバリング: BAS072045)				
授業担当者(所属・職名)	佐藤 和裕 (経営学科・准教授)		研究室所在	1号館2階	
単位数	1 (単位認定責任者: 佐藤 和裕)		CAP制		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容 学校現場における教員経験がある教員がその経験を活かして、将来に向け健康で豊かな生活を営んでいくための基礎を指導する。			

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	ガイダンス(シラバスの説明)	事前にシラバスを読んで確認しておく(45分)	ガイダンスの内容を理解しておく(45分)
2	基礎トレーニングとメンタルトレーニングの理解と習得	基礎トレーニングとメンタルトレーニングについて確認しておく(45分)	基礎トレーニングとメンタルトレーニングについて理解しておく(45分)
3	基礎トレーニングとメンタルトレーニングの理解と習得	基礎トレーニングとメンタルトレーニングについて確認しておく(45分)	基礎トレーニングとメンタルトレーニングについて理解しておく(45分)
4	基礎トレーニングとメンタルトレーニングの理解と習得	基礎トレーニングとメンタルトレーニングについて確認しておく(45分)	基礎トレーニングとメンタルトレーニングについて理解しておく(45分)
5	基礎トレーニングとメンタルトレーニングの理解と習得	基礎トレーニングとメンタルトレーニングについて確認しておく(45分)	基礎トレーニングとメンタルトレーニングについて理解しておく(45分)
6	基礎トレーニングとメンタルトレーニングの理解と習得	基礎トレーニングとメンタルトレーニングについて確認しておく(45分)	基礎トレーニングとメンタルトレーニングについて理解しておく(45分)
7	基礎トレーニングとメンタルトレーニングの理解と習得	基礎トレーニングとメンタルトレーニングについて確認しておく(45分)	基礎トレーニングとメンタルトレーニングについて理解しておく(45分)
8	基礎トレーニングとメンタルトレーニングの理解と習得	基礎トレーニングとメンタルトレーニングについて確認しておく(45分)	基礎トレーニングとメンタルトレーニングについて理解しておく(45分)
9	トレーニングの実践	健康に留意し体調を整えておく(45分)	身体のケアを怠らない(45分)
10	トレーニングの実践	健康に留意し体調を整えておく(45分)	身体のケアを怠らない(45分)
11	トレーニングの実践	健康に留意し体調を整えておく(45分)	身体のケアを怠らない(45分)
12	トレーニングの実践	健康に留意し体調を整えておく(45分)	身体のケアを怠らない(45分)
13	トレーニングの実践	健康に留意し体調を整えておく(45分)	身体のケアを怠らない(45分)
14	トレーニングの実践	健康に留意し体調を整えておく(45分)	身体のケアを怠らない(45分)
15	トレーニングの実践	健康に留意し体調を整えておく(45分)	身体のケアを怠らない(45分)
16	まとめ	生涯スポーツとしての特性を理解しておく(45分)	生涯スポーツとしての基礎を理解する(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS072045)				
授業担当者(所属・職名)	伴 秀実(経営学科・特任教授)	研究室所在	1号館3階		
単位数	1 (単位認定責任者: 伴 秀実)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	企業における様々な経験を活かして、学生が身に着けるべき内容を解説する。		

概要

履修目標	「経営学」を本格的に勉強したい学生を対象に、理論と実践を融合させ、経営学のエッセンスを身に付ける。
------	---

授業の位置づけ	経営学科のDP「1(1)」、「1(2)」、「2(1)」に対応する。
---------	-----------------------------------

到達目標	経営学のフレームワーク理論と実践を理解する。
------	------------------------

授業全体の内容と概要	経営学のフレームワーク理論と実践を理解してもらう。
------------	---------------------------

授業の方法	各回の授業の中で、テーマに沿った議論を行い、きちんとした理論の展開を口頭でも文章でもできるように訓練することを旨とする。ディスカッションで得た内容を忘れないようにデータベース化し、フィードバックに関しては個々に行ったり全体に対して行うなど毎回趣向を凝らす。フィールドワークにも挑戦してもらいフィードバックはゼミの中で全員で行う。
-------	--

アクティブラーニングの実施方法						
	プレゼンテーション		グループワーク	○	フィールドワーク	
	模擬授業		ロールプレイ	○	調査学習	
○	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項	参考文献として「日経ビジネス」を利用する。
----------	-----------------------

資格指定科目	
--------	--

評価方法・基準

評価前提条件	単位認定に必要な最低出席回数は、13回以上。					
評価方法	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
	0%	50%	50%	0%	0%	0%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
知識・技能	知識・技能を得るために十分積極的に活動した。	知識・技能を得るための活動は、やや積極性を欠くものの十分な姿勢を見せた。	知識・技能を得るための通常の活動は、ある程度こなすことができた。	知識・技能を得るための最低限の活動を行った。	知識・技能を得るための最低限の活動が見られなかった。
思考力・判断力・表現力	積極的に授業に取り組み、経営学部生として実社会で対応し得る様々なスキルを学び、経営学部において学んだ内容を以って社会に貢献するための努力をしていた。	各回の授業に真摯に取り組み、経営学部生として十分な実践力の獲得に向けた理解が深まりつつあった。	各回の授業に取り組み、考え方や問題解決に対する努力が見られた。	授業にまじめに取り組み、経営学部生としての日常活動を実社会につなげるための努力は認められるがなかなか定着していなかった。	授業への取り組みが不十分で、本学経営学部生としての知識の獲得に対する前向きな姿勢が見られなかった。
主体性	自分のみならず周囲の学生も巻き込みながら授業に取り組む、余った時間をさらなる研究・理解に振り分け、本学経営学部生としての自覚が出来上がっていた。	授業中の質問が多く、与えられた問題解決への相談も常であり経営学部生としての活動を実社会で生かすことに關して前向きで、努力が窺えた。	積極性は乏しいものの、不明点を質問するなど前向きな姿勢が窺えた。	何とか授業はこなすものの、不明点を質問したりすることはなく、日々の活動も受動的であった。	自分から進んで経営学部生としての内容を身につけようとする姿勢が見られなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『日経ビジネス』		日経BP			
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS072045)				
授業担当者(所属・職名)	伴 秀実(経営学科・特任教授)		研究室所在	1号館3階	
単位数	1 (単位認定責任者: 伴 秀実)		CAP制		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	企業における様々な経験を活かして、学生が身に着けるべき内容を解説する。		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	オリエンテーション シラバス解説	授業への参加の心構えを考える。(45分)	授業振り返りを行い弱点を改善するため知らないクイズを調べ理解する。(45分)
2	企業ケースと地域の課題分析(飲食業)	指定された内容の準備完了を確認する。(45分)	授業の振り返りを行う。(45分)
3	企業ケースと地域の課題分析(飲食業)	指定された内容の準備完了を確認する。(45分)	授業の振り返りを行う。(45分)
4	企業ケースと地域の課題分析(飲食業)	指定された内容の準備完了を確認する。(45分)	授業の振り返りを行う。(45分)
5	企業ケースと地域の課題分析(商店)	指定された内容の準備完了を確認する。(45分)	授業の振り返りを行う。(45分)
6	企業ケースと地域の課題分析(商店)	指定された内容の準備完了を確認する。(45分)	授業の振り返りを行う。(45分)
7	企業ケースと地域の課題分析(商店)	指定された内容の準備完了を確認する。(45分)	授業の振り返りを行う。(45分)
8	企業ケースと地域の課題分析(その他)	指定された内容の準備完了を確認する。(45分)	授業の振り返りを行う。(45分)
9	企業ケースと地域の課題分析(その他)	指定された内容の準備完了を確認する。(45分)	授業の振り返りを行う。(45分)
10	フィールドワーク	指定された内容の準備完了を確認する。(45分)	授業の振り返りを行う。(45分)
11	フィールドワーク	指定された内容の準備完了を確認する。(45分)	授業の振り返りを行う。(45分)
12	レポート課題	指定された内容の準備完了を確認する。(45分)	授業の振り返りを行う。(45分)
13	レポート課題	指定された内容の準備完了を確認する。(45分)	授業の振り返りを行う。(45分)
14	課題プレゼン	指定された内容の準備完了を確認する。(45分)	授業の振り返りを行う。(45分)
15	課題プレゼン	指定された内容の準備完了を確認する。(45分)	授業の振り返りを行う。(45分)
16	前期ゼミ活動総括	指定された内容の準備完了を確認する。(45分)	前期全体の振り返りを行う。(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS072045)				
授業担当者(所属・職名)	中川 純二(経営学科・准教授)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 中川 純二)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり 左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	学校現場における教員経験がある教員がその経験を活かして、将来に向け健康で豊かな生活を営んでいくための基礎を指導する。			

概要

履修目標

余暇時間の増大や高齢化が進む中で、自分自身の人生をより豊かで充実したものにするために、スポーツは非常に重要な役割を果たすと考えられる。本授業では、トレーニングの理論と実践を通じ、生涯にわたって定期的に体を動かす習慣を養うことを目的とする。

授業の位置づけ

経営学科のDP「1(3)」、「1(4)」、「1(5)」、「2(1)」、「2(3)」に対応する。
 社会福祉学科のDP「1(2)」、「1(4)」、「2(4)」に対応する。
 デザイン学科のDP「1(1)」、「2(3)」に対応する。
 建築学科のDP「1(1)」、「2(3)」に対応する。

到達目標

栄養、運動、休養に関する基礎的知識を身につける。
 自らの体力、自様に合ったトレーニングプログラムを組み立てる。
 生涯を通じて定期的に運動する習慣を養う。

授業全体の内容と概要

体力測定、形態測定により自分の体の状態を知る。
 正しいトレーニング理論を学び、体を動かす重要性、楽しさを学ぶ。

授業の方法

授業はトレーニングの実践が中心となるが、トレーニング方法についてグループで研究を行い、各自に適しているトレーニング方法を継続的に実践できるよう実施していく。

アクティブラーニングの実施方法

プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL
模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業
ディスカッション	○	実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

柔道部に所属の学生を対象とする。体育館・ウエイトトレーニング場を中心に授業を行うので、ジャージ・屋内用トレーニングシューズを用意すること。
 怪我や健康上の理由がある者は、事前に申し出ること。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件

単位認定に必要な最低出席回数は、11回以上

評価方法

定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	10%	0%	0%	60%	30%

ルーブリック

評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
関心・意欲・態度	自ら進んで行動や役割を果たすことができ、何事にも意欲的に取り組み、かつ安全に細心の注意を払うことができた。	積極的に行動や役割を果たすことができ、意欲的に取り組み、安全に注意を払うことができた。	行動の仕方を守り、役割を果たすことができ、指示通り取り組み安全に注意を払っていた。	行動の仕方を守らず役割を果たさそうしない時があり、意欲もなく安全に注意を払っていないかった。	行動の仕方を守らず役割を果たせず、意欲もまったくなく、安全に配慮ができなかった。
知識・理解	トレーニングの基礎知識を十分持ち、それぞれの領域においても十分理解し、実践的に活用できた。	トレーニングの基礎知識を持ち、各領域においても深く理解し、適切に活用できた。	トレーニングの基礎知識がある程度理解し、活用することができた。	トレーニングの基礎知識が少なく、活用することができなかった。	トレーニングの基礎知識が全くなく、取り組みが全くなかった。
計画・実行	達成目標を設定することができ、達成目標以上のトレーニングを実施することができた。	達成目標を設定し、達成目標が達成できるよう努力することができた。	達成目標を設定し、5割程度達成することができた。	達成目標の設定が明確でなく、3割程度しか達成することができなかった。	達成目標を設定出来ず、ほとんどトレーニングを行っていないかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書

No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等

No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS072045)				
授業担当者(所属・職名)	中川 純二(経営学科・准教授)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 中川 純二)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	学校現場における教員経験がある教員がその経験を活かして、将来に向け健康で豊かな生活を営んでいくための基礎を指導する。		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	オリエンテーション(シラバスの説明)	事前にシラバスを読んで確認しておく(45分)	ガイダンスの内容を理解する(45分)
2	体力測定、形態測定	事前にシラバスを読んで確認しておく(45分)	事前にシラバスを読んで理解する(45分)
3	最大学上重量測定1	最大学上重量測定の方法を確認しておく(45分)	最大学上重量測定の方法を理解する(45分)
4	最大学上重量測定2	最大学上重量測定の方法を確認しておく(45分)	最大学上重量測定の方法を理解する(45分)
5	栄養学1	栄養学の基礎を確認しておく(45分)	栄養学の基礎を理解する(45分)
6	栄養学2	栄養学の基礎を確認しておく(45分)	栄養学の基礎を理解する(45分)
7	栄養学3	栄養学の基礎を確認しておく(45分)	栄養学の基礎を理解する(45分)
8	トレーニングプログラムの組み方及び各自の能力に合わせたトレーニング1	トレーニングプログラムの組み方を確認しておく(45分)	トレーニングプログラムの組み方を理解する(45分)
9	トレーニングプログラムの組み方及び各自の能力に合わせたトレーニング2	トレーニングプログラムの組み方を確認しておく(45分)	トレーニングプログラムの組み方を理解する(45分)
10	トレーニングプログラムの組み方及び各自の能力に合わせたトレーニング3	トレーニングプログラムの組み方を確認しておく(45分)	トレーニングプログラムの組み方を理解する(45分)
11	ウォーミングアップとクールダウン1	ウォーミングアップとクールダウンの方法を確認しておく(45分)	ウォーミングアップとクールダウンの方法を理解する(45分)
12	ウォーミングアップとクールダウン2	ウォーミングアップとクールダウンの方法を確認しておく(45分)	ウォーミングアップとクールダウンの方法を理解する(45分)
13	トレーニングプログラムの組み方及び各自の能力に合わせたトレーニング4	トレーニングプログラムの組み方を確認しておく(45分)	トレーニングプログラムの組み方を理解する(45分)
14	トレーニングプログラムの組み方及び各自の能力に合わせたトレーニング5	トレーニングプログラムの組み方を確認しておく(45分)	トレーニングプログラムの組み方を理解する(45分)
15	最大学上重量測定3	最大学上重量測定の方法を確認しておく(45分)	最大学上重量測定の方法を理解する(45分)
16	まとめ	生涯トレーニングの特性を理解しておく(45分)	生涯トレーニングの特性を理解する(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS072045)				
授業担当者(所属・職名)	三嶋 康嗣(経営学科・専任講師)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 三嶋 康嗣)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	学校現場における教員経験のある教員がその経験を活かして、目的に応じた運動の特性、楽しさを学ぶ。		

概要

履修目標
現代社会における健康の位置づけを考え、運動が生産にわたりそれへどう寄与するかを学ぶ。からだの構造の基礎的知識を身につけることによって、合理的にパフォーマンスの向上をはかる。

授業の位置づけ
経営学科のDP「1(1)」、「1(2)」、「2(1)」、「2(3)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(2)」、「1(4)」、「2(4)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(1)」、「2(5)」に対応する。 建築学科のDP「1(1)」、「2(3)」に対応する。

到達目標
骨・筋を中心からだの構造に関する基礎知識を理解し、トレーニングとケアを実践することができる。

授業全体の内容と概要
目的に応じた運動の特性、楽しさを学ぶ。

授業の方法
からだの構造に関する知識を踏まえ、体育館及びトレーニングルームにてトレーニングを実践しながらケア方法を取り入れトレーニングと回復について理解していく。トレーニングの経過を観察記録し、各自記録結果をパワーポイント等にまとめ、グループワーク等で思考・考察、意見交換、討論、発表等一連の活動を行い学習する。

アクティブラーニングの実施方法												
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>グループワーク</td> <td>フィールドワーク</td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td>ロールプレイ</td> <td>調査学習</td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td>実験・実習・実技</td> <td>双方向授業</td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL	模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業	ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL									
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業									
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)									

履修上の注意事項
研究室、体育館、トレーニング場で授業を行う。からだを動かすのに適した服装とする。(ジャージ等)

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
単位認定に必要な最低出席回数, 13回以上。												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>30%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>70%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	30%	0%	0%	0%	70%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	30%	0%	0%	0%	70%							

ルーブリック																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>関心・意欲・態度</td> <td>自ら進んで行動や役割を果すことができ、とても意欲的に取り組み、目づ安全に細心の注意を払うことができた。</td> <td>積極的に行動や役割を果すことができ、意欲的に取り組み、安全に注意を払うことができた。</td> <td>行動の仕方を守り役割を果すことができ、普通に取り組み安全に注意を払っていた。</td> <td>行動の仕方を守らず役割を果そうとしないときがあり、意欲もなく安全に注意を払っていないかった。</td> <td>行動の仕方を守らず役割を果さなく意欲もまったくなく、安全に注意を払っていないかった。</td> </tr> <tr> <td>知識・理解</td> <td>からだの構造を理解し、運動との結びつきに及んでいた。</td> <td>からだの構造を理解していた。</td> <td>からだの構造を概ね理解していた。</td> <td>からだの構造をある程度理解していた。</td> <td>からだの構造を理解していなかった。</td> </tr> <tr> <td>計画・実行</td> <td>計画を立てることができた。その計画に沿って実行でき、達成目標がほぼ全てクリアされていた。</td> <td>計画を立てることができた。達成目標は7割程度であった。</td> <td>計画を立てることができた。達成目標は5割程度であった。</td> <td>計画を立てることができた。達成目標は3割程度であった。</td> <td>計画を立てることができなかった。達成目標が設定されていないため行動がみられなかった。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	関心・意欲・態度	自ら進んで行動や役割を果すことができ、とても意欲的に取り組み、目づ安全に細心の注意を払うことができた。	積極的に行動や役割を果すことができ、意欲的に取り組み、安全に注意を払うことができた。	行動の仕方を守り役割を果すことができ、普通に取り組み安全に注意を払っていた。	行動の仕方を守らず役割を果そうとしないときがあり、意欲もなく安全に注意を払っていないかった。	行動の仕方を守らず役割を果さなく意欲もまったくなく、安全に注意を払っていないかった。	知識・理解	からだの構造を理解し、運動との結びつきに及んでいた。	からだの構造を理解していた。	からだの構造を概ね理解していた。	からだの構造をある程度理解していた。	からだの構造を理解していなかった。	計画・実行	計画を立てることができた。その計画に沿って実行でき、達成目標がほぼ全てクリアされていた。	計画を立てることができた。達成目標は7割程度であった。	計画を立てることができた。達成目標は5割程度であった。	計画を立てることができた。達成目標は3割程度であった。	計画を立てることができなかった。達成目標が設定されていないため行動がみられなかった。												
評価項目		評価基準																																							
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
関心・意欲・態度	自ら進んで行動や役割を果すことができ、とても意欲的に取り組み、目づ安全に細心の注意を払うことができた。	積極的に行動や役割を果すことができ、意欲的に取り組み、安全に注意を払うことができた。	行動の仕方を守り役割を果すことができ、普通に取り組み安全に注意を払っていた。	行動の仕方を守らず役割を果そうとしないときがあり、意欲もなく安全に注意を払っていないかった。	行動の仕方を守らず役割を果さなく意欲もまったくなく、安全に注意を払っていないかった。																																				
知識・理解	からだの構造を理解し、運動との結びつきに及んでいた。	からだの構造を理解していた。	からだの構造を概ね理解していた。	からだの構造をある程度理解していた。	からだの構造を理解していなかった。																																				
計画・実行	計画を立てることができた。その計画に沿って実行でき、達成目標がほぼ全てクリアされていた。	計画を立てることができた。達成目標は7割程度であった。	計画を立てることができた。達成目標は5割程度であった。	計画を立てることができた。達成目標は3割程度であった。	計画を立てることができなかった。達成目標が設定されていないため行動がみられなかった。																																				

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS072045)				
授業担当者(所属・職名)	三嶋 康嗣(経営学科・専任講師)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 三嶋 康嗣)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	学校現場における教員経験のある教員がその経験を活かして、目的に応じた運動の特性、楽しさを学ぶ。		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	オリエンテーション(シラバスの説明)	事前にシラバスを読んでおく(45分)	オリエンテーションの内容を確認しておく(45分)
2	からだの構造(概論)	からだの構造について調べておく(45分)	からだの構造について確認しておく(45分)
3	からだの構造(概論)	からだの構造について調べておく(45分)	からだの構造について確認しておく(45分)
4	トレーニング実技(ウエイトトレーニング・上肢)	体調を整えておく(45分)	トレーニング後の変化を観察しておく(45分)
5	トレーニング実技(ウエイトトレーニング・頭部及び体幹)	体調を整えておく(45分)	トレーニング後の変化を観察しておく(45分)
6	トレーニング実技(ウエイトトレーニング・下肢)	体調を整えておく(45分)	トレーニング後の変化を観察しておく(45分)
7	トレーニング実技(ウエイトトレーニング・上肢)	体調を整えておく(90分)	トレーニング後の変化を観察しておく(45分)
8	トレーニング実技(ウエイトトレーニング・頭部及び体幹)	体調を整えておく(45分)	トレーニング後の変化を観察しておく(45分)
9	トレーニング実技(ウエイトトレーニング・下肢)	体調を整えておく(45分)	トレーニング後の変化を観察しておく(90分)
10	ケア方法(ストレッチ)	ストレッチ方法を調べておく(45分)	ストレッチ方法を確認しておく(90分)
11	ケア方法(ストレッチ)	ストレッチ方法を調べておく(45分)	ストレッチ方法を確認しておく(45分)
12	ケア方法(マッサージ)	マッサージ方法を調べておく(45分)	マッサージ方法を確認しておく(45分)
13	ケア方法(マッサージ)	マッサージ方法を調べておく(45分)	マッサージ方法を確認しておく(45分)
14	トレーニングとセルフケア	体調を整えておく(45分)	トレーニング後の変化を観察しておく(45分)
15	トレーニングとセルフケア	体調を整えておく(45分)	トレーニング後の変化を観察しておく(45分)
16	まとめ	トレーニングの実施内容と効果をまとめておく(45分)	トレーニングの効果を確認しておく(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS072045)				
授業担当者(所属・職名)	井坂 肇(経営学科・助教)	研究室所在	1号館3階		
単位数	1 (単位認定責任者: 井坂 肇)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標	競技力向上のためにトレーニング科学とその実践方法について理解する。																					
授業の位置づけ	経営学科のDP「1(1)と(2)」、「2(1)と(3)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(2)と(4)」、「1(4)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(1)」、「2(5)」に対応する。 建築学科のDP「1(1)」、「2(3)」に対応する。																					
到達目標	トレーニング科学について理解できる。 トレーニングを実践できる。 トレーニングについて自ら調べることができる。																					
授業全体の内容と概要	NSCAの発行しているテキストを参考にしながらトレーニング科学とその実践方法についての理解を深めていく。計画を立てパフォーマンスの向上を確認する。最適なトレーニング方法について議論しながら進めていく。																					
授業の方法	プリントや資料を配布する。 実技を通して実践知を得ながら、その成果をグループワークやディスカッションを通して互いに確認し合う。																					
アクティブラーニングの実施方法	<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>○</td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>○ ディスカッション</td> <td>○</td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業	○ ディスカッション	○	実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL																
模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																
○ ディスカッション	○	実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																
履修上の注意事項	硬式野球部優先																					
資格指定科目																						

評価方法・基準

評価前提条件	単位認定に必要な最低出席回数は、13回以上					
評価方法	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
	0%	0%	0%	0%	60%	40%

ルーブリック

評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
トレーニング科学の理解	トレーニング科学を理解したうえで、日毎、短期、長期それぞれの適切なプログラムを組んでいる。さらには他者のプログラムも組めるようになっている。	トレーニング科学を理解したうえで、日毎、短期、長期それぞれの適切なプログラムを組めている。	トレーニング科学を理解したうえで、日毎の適切なプログラムを組めている。	トレーニング科学を理解している。	トレーニング科学を理解していない。
トレーニングの実践	トレーニングを実践しパフォーマンスが向上し、さらには原因と結果の分析が出来ている。また、他者と共同してトレーニングを行うことができる。	トレーニングを実践しパフォーマンスが向上し、さらには原因と結果の分析が出来ている。	トレーニングを実践し、パフォーマンスが向上している。	トレーニングを実践していない。	トレーニングを実践していない。
トレーニング情報の収集	トレーニング情報法の収集をし、プログラムに反映するとともに、体系的にまとめている。さらには複数の分野を関連付けて理解できている。	トレーニング情報法の収集をし、プログラムに反映するとともに、体系的にまとめている。	トレーニング情報の収集をし、プログラムに反映している。	トレーニング情報の収集をしている。	トレーニング情報の収集をしていない。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等

No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	NSCA決定版 ストレングストレーニング&コンディショニング	Thomas R. Baechle 著	ブックハウス・エイチディ	2010	978-4938335649	
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS072045)				
授業担当者(所属・職名)	井坂 肇(経営学科・助教)		研究室所在	1号館3階	
単位数	1 (単位認定責任者: 井坂 肇)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	ガイダンス: シラバスの説明	事前にシラバスを読んで確認しておく(45分)	ガイダンスの内容を理解しておく(45分)
2	トレーニングの理解1: レジスタンスエクササイズ のバイオメカニクス	学習内容に関連する事柄について調べておく(45分)	学習内容について振り返りまとめておく(45分)
3	トレーニングの理解2: 運動とトレーニングの生体 エネルギー論	学習内容に関連する事柄について調べておく(45分)	学習内容について振り返りまとめておく(45分)
4	トレーニングの理解3: レジスタンストレーニング	学習内容に関連する事柄について調べておく(45分)	学習内容について振り返りまとめておく(45分)
5	トレーニングの理解4: プライオメトリック	学習内容に関連する事柄について調べておく(45分)	学習内容について振り返りまとめておく(45分)
6	トレーニングの理解5: スピードおよびアジリティ	学習内容に関連する事柄について調べておく(45分)	学習内容について振り返りまとめておく(45分)
7	トレーニングの理解6: 有酸素性持久力	学習内容に関連する事柄について調べておく(45分)	学習内容について振り返りまとめておく(45分)
8	トレーニングの確認	学習内容に関連する事柄について調べておく(45分)	学習内容について振り返りまとめておく(45分)
9	トレーニングの実践1: テストの選択と実施	学習内容に関連する事柄について調べておく(45分)	学習内容について振り返りまとめておく(45分)
10	トレーニングの実践2: プログラムデザイン	学習内容に関連する事柄について調べておく(45分)	学習内容について振り返りまとめておく(45分)
11	トレーニングの実践3: ウォームアップと柔軟性 トレーニング1	学習内容に関連する事柄について調べておく(45分)	学習内容について振り返りまとめておく(45分)
12	トレーニングの実践4: 柔軟性トレーニング2	学習内容に関連する事柄について調べておく(45分)	学習内容について振り返りまとめておく(45分)
13	トレーニングの実践5: 柔軟性トレーニング3	学習内容に関連する事柄について調べておく(45分)	学習内容について振り返りまとめておく(45分)
14	トレーニングの実践6: 栄養戦略	学習内容に関連する事柄について調べておく(45分)	学習内容について振り返りまとめておく(45分)
15	トレーニングの実践7: サプリメント	学習内容に関連する事柄について調べておく(45分)	学習内容について振り返りまとめておく(45分)
16	まとめ	講義全体を振り返り質問事項をまとめておく(45分)	学習内容について振り返りまとめておく(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS072045)				
授業担当者(所属・職名)	近澤 潤(経営学科・専任講師)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 近澤 潤)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり 左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	民間企業での実務経験を活かし、自らが実際に体験した事例を紹介することで、社会人として必要なスキルの重要性を訴求し、その習得を促す。			

概要

履修目標
グループワークを基本とした様々な演習課題や事例研究、学内外のプロジェクト活動を通して「前に踏み出す力」(主体性・働きかけ力・実行力)・「考え抜く力」(課題発見力・計画力・創造力)・「チームで働く力」(発信力・傾聴力・柔軟性・状況把握力・規律性・ストレスコントロール力)を修得する。

授業の位置づけ
経営学科のDP「1(4)」、「1(5)」、「2(3)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(3)」、「1(4)」、「1(5)」、「1(6)」、「1(7)」、「2(4)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(2)」、「1(3)」、「1(5)」に対応する。 建築学科のDP「1(2)」、「1(3)」、「1(5)」に対応する。

到達目標
失敗を恐れず、自分にとって困難な場面においても打開することを諦めず、最後まで前向きに取り組むことができる。 物事を多角的に分析し、発見した課題に対してどのように解決するかを考え抜くことができる。 グループの一員であることの自覚を踏まえ、多様な価値観を持つ人たちの意見を拒絶せず、柔軟な視点で物事を把握、適切な意見の発信を行うことで、グループメンバーとの良好な関係を構築できる。

授業全体の内容と概要
グループワークを基本とし、様々な演習課題や事例研究、学内外のプロジェクト活動を通して「チームで働く意義」「チームで働く難しさ」「円滑なコミュニケーションの重要性」について体感してもらい、グループワークの成果物として「レポート」・「プレゼンテーション」・「デザイン制作物(ポスター・チラシ・Webサイトデザイン・ムービー)」などのいずれかを、グループ単位で制作・発表する。

授業の方法
グループで取り組む演習課題や事例研究、学内外のプロジェクト活動開始時点では、その目的や最終目標、背景などについて資料等を提示しながら説明する。その後は、各グループでディスカッション等を行いながら、企画・計画の立案、目標設定、予算作成、調査、制作、発表、自己評価、改善、発表といったPDCAサイクルを軸とする一連の工程を行う。取り組み場面では、都度アドバイスやフィードバックを行い、各グループが円滑に進むよう最低限サポートする。

アクティブラーニングの実施方法															
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td>グループワーク</td> <td>フィールドワーク</td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td>ロールプレイ</td> <td>調査学習</td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td>実験・実習・実技</td> <td>双方向授業</td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL		模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業		ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL											
	模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業											
	ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)											

履修上の注意事項
所属学科の制限は設けない。また、課題制作(デザイン制作)を行う場合は、全学科対応できるよう考慮した内容とする。評価については、チームでの取り組みの姿勢や態度を重視する(取り組んだ結果、失敗したとしても減点せず、取り組みのプロセスについて評価する)。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
単位認定に必要な最低出席回数は、13回以上とする。												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>30%</td> <td>0%</td> <td>70%</td> <td>0%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	0%	30%	0%	70%	0%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	0%	30%	0%	70%	0%							

ルーブリック																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前に踏み出す力</td> <td>一定の行動について、主体的に取り組み、周囲に働きかけて巻き込むことができた。</td> <td>一定の行動について、主体的に取り組み、周囲に働きかけて巻き込むことができた。</td> <td>一定の行動について、主体的に取り組み、少ないながらも周囲に働きかけて巻き込むことができた。</td> <td>一定の行動について主体的に取り組みすることができた。</td> <td>ほぼ全ての行動について主体的に取り組むことができなかった。</td> </tr> <tr> <td>考え抜く力</td> <td>課題を発見し、見出した解決策の実行に向けた具体的なプロセスを考案することができた。</td> <td>課題を発見し、見出した解決策の実行に向けた具体的なプロセスを考案することができた。</td> <td>課題を発見し、解決策を見出すことができた。</td> <td>課題を発見することができた。</td> <td>課題を発見することができなかった。</td> </tr> <tr> <td>チームで働く力</td> <td>他の履修生の意見をしっかりと傾聴でき、お互いの立場や考え方を尊重して意見集約ができ、反対意見に対しても柔軟に対応することができた。</td> <td>他の履修生の意見をしっかりと傾聴でき、お互いの立場や考え方を尊重して意見集約することができた。</td> <td>他の履修生の意見をしっかりと傾聴することができた。</td> <td>他の履修生の意見を最低限傾聴することができた。</td> <td>他の履修生の意見を傾聴することができなかった。</td> </tr> <tr> <td>成果物の完成度と関与(学習意欲)</td> <td>成果物(レポート・プレゼンテーション・デザイン制作)を、チームの一員として十分に関与し、主体的に行動し、完成させることができた。</td> <td>成果物(レポート・プレゼンテーション・デザイン制作)を、チームの一員として十分に関与し、完成させることができた。</td> <td>成果物(レポート・プレゼンテーション・デザイン制作)を、チームの一員としてある程度関与し、完成させることができた。</td> <td>成果物(レポート・プレゼンテーション・デザイン制作)を、チームの一員として最低限関与し、完成させることができた。</td> <td>成果物(レポート・プレゼンテーション・デザイン制作)を、チームの一員として関与せず、完成させることができなかった。</td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	前に踏み出す力	一定の行動について、主体的に取り組み、周囲に働きかけて巻き込むことができた。	一定の行動について、主体的に取り組み、周囲に働きかけて巻き込むことができた。	一定の行動について、主体的に取り組み、少ないながらも周囲に働きかけて巻き込むことができた。	一定の行動について主体的に取り組みすることができた。	ほぼ全ての行動について主体的に取り組むことができなかった。	考え抜く力	課題を発見し、見出した解決策の実行に向けた具体的なプロセスを考案することができた。	課題を発見し、見出した解決策の実行に向けた具体的なプロセスを考案することができた。	課題を発見し、解決策を見出すことができた。	課題を発見することができた。	課題を発見することができなかった。	チームで働く力	他の履修生の意見をしっかりと傾聴でき、お互いの立場や考え方を尊重して意見集約ができ、反対意見に対しても柔軟に対応することができた。	他の履修生の意見をしっかりと傾聴でき、お互いの立場や考え方を尊重して意見集約することができた。	他の履修生の意見をしっかりと傾聴することができた。	他の履修生の意見を最低限傾聴することができた。	他の履修生の意見を傾聴することができなかった。	成果物の完成度と関与(学習意欲)	成果物(レポート・プレゼンテーション・デザイン制作)を、チームの一員として十分に関与し、主体的に行動し、完成させることができた。	成果物(レポート・プレゼンテーション・デザイン制作)を、チームの一員として十分に関与し、完成させることができた。	成果物(レポート・プレゼンテーション・デザイン制作)を、チームの一員としてある程度関与し、完成させることができた。	成果物(レポート・プレゼンテーション・デザイン制作)を、チームの一員として最低限関与し、完成させることができた。	成果物(レポート・プレゼンテーション・デザイン制作)を、チームの一員として関与せず、完成させることができなかった。
評価項目		評価基準																																	
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																														
前に踏み出す力	一定の行動について、主体的に取り組み、周囲に働きかけて巻き込むことができた。	一定の行動について、主体的に取り組み、周囲に働きかけて巻き込むことができた。	一定の行動について、主体的に取り組み、少ないながらも周囲に働きかけて巻き込むことができた。	一定の行動について主体的に取り組みすることができた。	ほぼ全ての行動について主体的に取り組むことができなかった。																														
考え抜く力	課題を発見し、見出した解決策の実行に向けた具体的なプロセスを考案することができた。	課題を発見し、見出した解決策の実行に向けた具体的なプロセスを考案することができた。	課題を発見し、解決策を見出すことができた。	課題を発見することができた。	課題を発見することができなかった。																														
チームで働く力	他の履修生の意見をしっかりと傾聴でき、お互いの立場や考え方を尊重して意見集約ができ、反対意見に対しても柔軟に対応することができた。	他の履修生の意見をしっかりと傾聴でき、お互いの立場や考え方を尊重して意見集約することができた。	他の履修生の意見をしっかりと傾聴することができた。	他の履修生の意見を最低限傾聴することができた。	他の履修生の意見を傾聴することができなかった。																														
成果物の完成度と関与(学習意欲)	成果物(レポート・プレゼンテーション・デザイン制作)を、チームの一員として十分に関与し、主体的に行動し、完成させることができた。	成果物(レポート・プレゼンテーション・デザイン制作)を、チームの一員として十分に関与し、完成させることができた。	成果物(レポート・プレゼンテーション・デザイン制作)を、チームの一員としてある程度関与し、完成させることができた。	成果物(レポート・プレゼンテーション・デザイン制作)を、チームの一員として最低限関与し、完成させることができた。	成果物(レポート・プレゼンテーション・デザイン制作)を、チームの一員として関与せず、完成させることができなかった。																														

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS072045)				
授業担当者(所属・職名)	近澤 潤 (経営学科・専任講師)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 近澤 潤)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	民間企業での実務経験を活かし、自らが実際に体験した事例を紹介することで、社会人として必要なスキルの重要性を訴求し、その習得を促す。		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	【オリエンテーション】 シラバス、履修登録に関して説明する。	シラバスを確認する(45分)	履修登録結果を確認する(45分)
2	【ビギナーズセミナー】 1年間の単位修得状況や学修成績から、今後の学修への取り組み方について説明する。	学生便覧を読む(45分)	不明な点をまとめ、調べる(45分)
3	【ビギナーズセミナー】 1年間の単位修得状況や学修成績から、今後の学修への取り組み方について説明する。	学生便覧を読む(45分)	不明な点をまとめ、調べる(45分)
4	【学内プロジェクト活動】 学内においてプロジェクト活動を行う。	前回までの授業内容を確認する(45分)	ここまでの授業内容を整理する(45分)
5	【学内プロジェクト活動】 学内においてプロジェクト活動を行う。	前回までの授業内容を確認する(45分)	ここまでの授業内容を整理する(45分)
6	【学内プロジェクト活動(成果発表会)】 提示された内容について、グループごとに組み込んだ内容について、プレゼンテーションを行う。	前回までの授業内容を確認する(45分)	フィードバックの内容を整理する(45分)
7	【プロジェクト活動】 学内外においてプロジェクト活動を行う。	前回までの授業内容を確認する(45分)	ここまでの授業内容を整理する(45分)
8	【プロジェクト活動】 学内外においてプロジェクト活動を行う。	前回までの授業内容を確認する(45分)	ここまでの授業内容を整理する(45分)
9	【プロジェクト活動】 学内外においてプロジェクト活動を行う。	前回までの授業内容を確認する(45分)	ここまでの授業内容を整理する(45分)
10	【プロジェクト活動】 学内外においてプロジェクト活動を行う。	前回までの授業内容を確認する(45分)	ここまでの授業内容を整理する(45分)
11	【プロジェクト活動】 学内外においてプロジェクト活動を行う。	前回までの授業内容を確認する(45分)	ここまでの授業内容を整理する(45分)
12	【プロジェクト活動】 学内外においてプロジェクト活動を行う。	前回までの授業内容を確認する(45分)	ここまでの授業内容を整理する(45分)
13	【プロジェクト活動】 学内外においてプロジェクト活動を行う。	前回までの授業内容を確認する(45分)	ここまでの授業内容を整理する(45分)
14	【プロジェクト活動】 学内外においてプロジェクト活動を行う。	前回までの授業内容を確認する(45分)	ここまでの授業内容を整理する(45分)
15	【プロジェクト活動】 学内外においてプロジェクト活動を行う。	前回までの授業内容を確認する(45分)	ここまでの授業内容を整理する(45分)
16	【まとめ・総評】	前回までの授業内容を確認する(45分)	フィードバックの内容を整理する(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS072045)				
授業担当者(所属・職名)	田畑 圭悟(経営学科・助教)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 田畑 圭悟)	CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

<p>履修目標</p> <p>競技スポーツ及び、健康のための基礎的トレーニングを基礎ゼミナール A、Bより更に深く学び、個人に必要なトレーニングを自ら実践出来るように、メンタルトレーニングを取り入れながら実践していく。また、学生と教員双方の人間関係を構築しコミュニケーション能力を高め、併せて快適な学生生活及び基本的な生活習慣を身につける。</p>

<p>授業の位置づけ</p> <p>経営学科のDP「1(1)」、「1(2)」、「2(1)」、「2(3)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(2)」、「1(4)」、「2(4)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(1)」、「2(5)」に対応する。 建築学科のDP「1(1)」、「2(3)」に対応する。</p>
--

<p>到達目標</p> <p>競技及び個人の特性を理解し、自らの競技スポーツや健康の保持増進に一層深い関心を持ってメンタルな強化も含め、安全にトレーニングすることができる。</p>

<p>授業全体の内容と概要</p> <p>基礎ゼミナール A、Bを基に、メンタルトレーニングをどのように取り入れていくかなど、自らの競技力向上と健康の保持増進のために必要なトレーニングを見つけ出し実践する。</p>
--

<p>授業の方法</p> <p>授業は配布資料で実施し、トレーニングなどのDVDも活用しながら講義形式で行う。授業によってはグループワークで思考・考察・発表を行い学習していく。レポートにはコメントにてフィードバックする。さらに、実技に関しては基礎的なトレーニングの特性を理解し学習したことを実際に怪我に注意を払いながら実施していく。</p>

<p>アクティブラーニングの実施方法</p> <table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>○</td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td>○</td> <td>実験・実習・実技</td> <td>○</td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業	ディスカッション	○	実験・実習・実技	○	双方向授業		その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL															
模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業															
ディスカッション	○	実験・実習・実技	○	双方向授業		その他(授業の方法参照)															

<p>履修上の注意事項</p> <p>陸上部に所属の学生を対象とする。基本的にジャージや屋内運動靴を必ず用意する。注意事項の詳細はガイダンスで指示する。健康上の理由で医師から運動を停止されている者は、申し出の上指示を受けること。</p>

<p>資格指定科目</p>

評価方法・基準

<p>評価前提条件</p> <p>陸上部に所属の学生を対象とする。基本的にジャージや屋内運動靴を必ず用意する。注意事項の詳細はガイダンスで指示する。健康上の理由で医師から運動を停止されている者は、申し出の上指示を受けること</p>												
<p>評価方法</p> <table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>30%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>50%</td> <td>20%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	30%	0%	0%	50%	20%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	30%	0%	0%	50%	20%							

評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
主体的・協動的な学びの姿勢	自ら進んで行動や役割を果たすことができ、とても意欲的に取り組み、且つ安全に細心の注意を払うことができる。	積極的に行動や役割を果たすことができ、意欲的に取り組み、安全に注意を払うことができる。	行動の仕方を守り役割を果たすことができ、普通に取り組み安全に注意を払っている。	行動の仕方を守らず役割を果たそうとしないときがあり、意欲もなく安全に注意を配っていない。	行動の仕方を守らず役割を果たさなく意欲もまったくなく、安全に注意を配っていない。
トレーニングの基礎知識の理解と実践	トレーニングの基礎知識を持ち、それぞれの領域が持つ見方について説明することができる。実践的に活用できる。	トレーニングの基礎知識を持ち、多様な領域からの見解を深く理解できていて適切に活用できる。	トレーニングの基礎知識の見解を一定程度理解できていて、活用できる。	トレーニングの基礎知識の見解をあまり深く理解できていない。活用できるレベルにない。	トレーニングの基礎知識の見解をまったく理解できていない。その獲得、修得に取り組んでいない。
計画の策定と実行	達成目標を設定し、創造的思考を持って趣味的計画を立て、その計画に沿って実行できる。	達成目標を設定した計画を立てることができ、計画に沿って7割程度できる。	達成目標を設定し、計画を立てて5割程度できる。	計画を立てることができ、達成目標が曖昧であり3割程度しかできない。	計画を立てることができなく、達成目標もなく、まったくできない。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎セミナー A (科目ナンバリング: BAS072045)				
授業担当者(所属・職名)	田畑 圭悟(経営学科・助教)		研究室所在	1号館2階	
単位数	1 (単位認定責任者: 田畑 圭悟)	CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	ガイダンス(シラバスの説明)	事前にシラバスを読んで確認しておく(45分)	ガイダンスの内容を理解しておく(45分)
2	基礎トレーニングとメンタルトレーニングの理解と習得	基礎トレーニングとメンタルトレーニングについて確認しておく(45分)	基礎トレーニングとメンタルトレーニングについて理解しておく(45分)
3	基礎トレーニングとメンタルトレーニングの理解と習得	基礎トレーニングとメンタルトレーニングについて確認しておく(45分)	基礎トレーニングとメンタルトレーニングについて理解しておく(45分)
4	基礎トレーニングとメンタルトレーニングの理解と習得	基礎トレーニングとメンタルトレーニングについて確認しておく(45分)	基礎トレーニングとメンタルトレーニングについて理解しておく(45分)
5	基礎トレーニングとメンタルトレーニングの理解と習得	基礎トレーニングとメンタルトレーニングについて確認しておく(45分)	基礎トレーニングとメンタルトレーニングについて理解しておく(45分)
6	基礎トレーニングとメンタルトレーニングの理解と習得	基礎トレーニングとメンタルトレーニングについて確認しておく(45分)	基礎トレーニングとメンタルトレーニングについて理解しておく(45分)
7	基礎トレーニングとメンタルトレーニングの理解と習得	基礎トレーニングとメンタルトレーニングについて確認しておく(45分)	基礎トレーニングとメンタルトレーニングについて理解しておく(45分)
8	基礎トレーニングとメンタルトレーニングの理解と習得	基礎トレーニングとメンタルトレーニングについて確認しておく(45分)	基礎トレーニングとメンタルトレーニングについて理解しておく(45分)
9	トレーニングの実践	健康に留意し体調を整えておく(45分)	身体のケアを怠らない(45分)
10	トレーニングの実践	健康に留意し体調を整えておく(45分)	身体のケアを怠らない(45分)
11	トレーニングの実践	健康に留意し体調を整えておく(45分)	身体のケアを怠らない(45分)
12	トレーニングの実践	健康に留意し体調を整えておく(45分)	身体のケアを怠らない(45分)
13	トレーニングの実践	健康に留意し体調を整えておく(45分)	身体のケアを怠らない(45分)
14	トレーニングの実践	健康に留意し体調を整えておく(45分)	身体のケアを怠らない(45分)
15	トレーニングの実践	健康に留意し体調を整えておく(45分)	身体のケアを怠らない(45分)
16	まとめ	生涯スポーツとしての特性を理解しておく(45分)	生涯スポーツとしての基礎を理解する(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎セミナー A (科目ナンバリング: BAS072045)				
授業担当者(所属・職名)	篠原 諒介(経営学科・助教)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 篠原 諒介)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
動作の質的測定を行うためのシステム「ファンクショナルムーブメントスクリーン:FMA」と「セレクトティブ・ファンクショナルムーブメントアセスメント:SFMA」を理解する。

授業の位置づけ
経営学科のDP「1(5)」、「2(2)」、「2(3)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(2)」、「1(3)」、「1(4)」、「1(5)」、「1(6)」、「1(7)」、「2(4)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(2)」、「1(3)」、「2(5)」に対応する。 建築学科のDP「1(2)」、「1(3)」、「2(5)」に対応する。

到達目標
様々な対象者の動作パターンを調べ、一貫性のある基準を用いて問題の有無を判断する方法と、その問題を修正するために適切なエクササイズを見つける。

授業全体の内容と概要
日本においてもファンクショナルムーブメントスクリーンは、プロのアスリートだけでなく一般のスポーツ愛好家にも行われるようになってきているが、医療の専門家の中ではまだ十分に認識されていないのが現状である。スポーツやフィットネス、リハビリテーションには様々な専門分野の人が関わっているが、ファンクショナルムーブメントスクリーンとセレクトティブ・ファンクショナルムーブメントアセスメントはこのような専門分野の溝を埋めるツールとなりうることを理解し、自身の競技力向上に繋げる。

授業の方法
各回のテーマについてテキストを使用しながら講義をし、さらに、理解を深めるために医学的ビデオも視聴させる。

アクティブラーニングの実施方法												
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>グループワーク</td> <td>フィールドワーク</td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td>ロールプレイ</td> <td>調査学習</td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td>実験・実習・実技</td> <td>双方向授業</td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL	模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業	ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL									
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業									
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)									

履修上の注意事項
20分以上の遅刻は欠席とみなします。遅刻3回で1回の欠席とみなします。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
単位認定に必要なとなる最低出席回数は、13回以上												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>20%</td> <td>30%</td> <td>0%</td> <td>50%</td> <td>0%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	20%	30%	0%	50%	0%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	20%	30%	0%	50%	0%							

ルーブリック																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>知識・技能</td> <td>学修した知識・技能を確実に修得するとともに、それらに関連した知識・技能についても獲得した</td> <td>学修した知識・技能を確実に修得した</td> <td>学修した知識・技能のすべてを修得することはできなかった</td> <td>学修した知識・技能を修得したが最低限容認できるレベルにとどまった</td> <td>学修に真面目に取り組まなかった</td> </tr> <tr> <td>思考力・判断力・表現力</td> <td>与えられた課題に積極的に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関しては求められるレベルを大きく超えた</td> <td>与えられた課題に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関しては、求められるレベルを達成した</td> <td>与えられた課題に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関しては、求められるレベルには達しなかった</td> <td>与えられた課題に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関しては最低限容認できるレベルにとどまった</td> <td>与えられた課題に真面目に取り組まなかった</td> </tr> <tr> <td>主体性・多様性・協働性</td> <td>与えられた課題に積極的に取り組んだ。積極性や協働性に関しては求められるレベルを大きく超えた</td> <td>与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関しては、求められるレベルを達成した</td> <td>与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関しては、求められるレベルには達しなかった</td> <td>与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関しては最低限容認できるレベルにとどまった</td> <td>与えられた課題に真面目に取り組まなかった</td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	知識・技能	学修した知識・技能を確実に修得するとともに、それらに関連した知識・技能についても獲得した	学修した知識・技能を確実に修得した	学修した知識・技能のすべてを修得することはできなかった	学修した知識・技能を修得したが最低限容認できるレベルにとどまった	学修に真面目に取り組まなかった	思考力・判断力・表現力	与えられた課題に積極的に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関しては求められるレベルを大きく超えた	与えられた課題に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関しては、求められるレベルを達成した	与えられた課題に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関しては、求められるレベルには達しなかった	与えられた課題に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関しては最低限容認できるレベルにとどまった	与えられた課題に真面目に取り組まなかった	主体性・多様性・協働性	与えられた課題に積極的に取り組んだ。積極性や協働性に関しては求められるレベルを大きく超えた	与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関しては、求められるレベルを達成した	与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関しては、求められるレベルには達しなかった	与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関しては最低限容認できるレベルにとどまった	与えられた課題に真面目に取り組まなかった
評価項目		評価基準																											
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																								
知識・技能	学修した知識・技能を確実に修得するとともに、それらに関連した知識・技能についても獲得した	学修した知識・技能を確実に修得した	学修した知識・技能のすべてを修得することはできなかった	学修した知識・技能を修得したが最低限容認できるレベルにとどまった	学修に真面目に取り組まなかった																								
思考力・判断力・表現力	与えられた課題に積極的に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関しては求められるレベルを大きく超えた	与えられた課題に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関しては、求められるレベルを達成した	与えられた課題に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関しては、求められるレベルには達しなかった	与えられた課題に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関しては最低限容認できるレベルにとどまった	与えられた課題に真面目に取り組まなかった																								
主体性・多様性・協働性	与えられた課題に積極的に取り組んだ。積極性や協働性に関しては求められるレベルを大きく超えた	与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関しては、求められるレベルを達成した	与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関しては、求められるレベルには達しなかった	与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関しては最低限容認できるレベルにとどまった	与えられた課題に真面目に取り組まなかった																								

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS072045)				
授業担当者(所属・職名)	篠原 諒介(経営学科・助教)		研究室所在	1号館2階	
単位数	1 (単位認定責任者: 篠原 諒介)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	ガイダンス シラバスの説明	測定準備と論文の読み込み(45分)	本時の学習内容をまとめて提出する(45分)
2	FISとSFIAの理解と習得 FISのデザイン	測定準備と論文の読み込み(45分)	本時の学習内容をまとめて提出する(45分)
3	FISとSFIAの理解と習得 FISのデザイン	測定準備と論文の読み込み(45分)	本時の学習内容をまとめて提出する(45分)
4	FISとSFIAの理解と習得 FISのデザイン	測定準備と論文の読み込み(45分)	本時の学習内容をまとめて提出する(45分)
5	FISとSFIAの理解と習得 4つの基本的なフィルター	測定準備と論文の読み込み(45分)	本時の学習内容をまとめて提出する(45分)
6	FISとSFIAの理解と習得 4つの基本的なフィルター	測定準備と論文の読み込み(45分)	本時の学習内容をまとめて提出する(45分)
7	FISとSFIAの理解と習得 4つの基本的なフィルター	測定準備と論文の読み込み(45分)	本時の学習内容をまとめて提出する(45分)
8	FISとSFIAの確認	測定準備と論文の読み込み(45分)	本時の学習内容をまとめて提出する(45分)
9	FISとSFIAの実践 実施中の疼痛や違和感	測定準備と論文の読み込み(45分)	本時の学習内容をまとめて提出する(45分)
10	FISとSFIAの実践 実施中の疼痛や違和感	測定準備と論文の読み込み(45分)	本時の学習内容をまとめて提出する(45分)
11	FISとSFIAの実践 実施中の疼痛や違和感	測定準備と論文の読み込み(45分)	本時の学習内容をまとめて提出する(45分)
12	FISとSFIAの実践 採点方法・結果の序列化	測定準備と論文の読み込み(45分)	本時の学習内容をまとめて提出する(45分)
13	FISとSFIAの実践 採点方法・結果の序列化	測定準備と論文の読み込み(45分)	本時の学習内容をまとめて提出する(45分)
14	FISとSFIAの実践 採点方法・結果の序列化	測定準備と論文の読み込み(45分)	本時の学習内容をまとめて提出する(45分)
15	FISとSFIAの実践 採点方法・結果の序列化	測定準備と論文の読み込み(45分)	本時の学習内容をまとめて提出する(45分)
16	まとめ	測定準備と論文の読み込み(45分)	本時の学習内容をまとめて提出する(45分)

回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	
科目名称	基礎セミナー A (科目ナンバリング: BAS072045)				
授業担当者(所属・職名)		研究室所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目		左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

概要

履修目標			
授業の位置づけ			
到達目標			
授業全体の内容と概要			
授業の方法			
アクティブラーニングの実施方法			
プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)
履修上の注意事項			
資格指定科目			

評価方法・基準

評価前提条件					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	前期	授業形態	演習 必修・選択
科目名称	基礎セミナー A (科目ナンバリング: BAS072045)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS072045)				
授業担当者(所属・職名)	杉本 大輔(社会福祉学科・准教授)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 杉本 大輔)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
本ゼミナールでは「天皇」を取り上げ、明治時代以降「天皇」が日本の近代化にいかんにかん機能したか、を社会的に考察する。イデオロギーに染まることなく、「天皇」という存在を社会的・構造神学的に考察する。

授業の位置づけ
社会福祉学科のDP「1(4)と(5)と(6)と(7)」、「2(4)」に対応する。 経営学科のDP「1(1)と(2)と(3)と(4)」、「2(1)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(1)と(2)と(3)」、「2(1)」に対応する。 建築学科のDP「1(1)と(2)と(3)」、「2(1)」に対応する。

到達目標
・明治時代以降の近代日本社会において、天皇が果たした順機能、潜在機能を理解できる。 ・仏教、キリスト教、儒教、イスラム教との比較から、天皇が持つ神性を考察し、理解できる。 ・平安時代末期の保元の乱が示した根本的規範の崩壊と、そこから派生する急性アノミー(無連帯・無規範)の恐怖と、現代日本社会に共通する要因を理解できる。

授業全体の内容と概要
小室直樹『天皇畏るべし—日本の夜明け、天皇は神であった—』(ビジネス社)を基本参考文献とし(ゼミごとに教員が購読パートをコピーし配布する)、併せて、山本七平、橋爪大三郎、大澤真幸、宮台真司の文献を参照し、ゼミを進める。

授業の方法
・購読パートを音読してもらい、必要に応じて教員が説明を加え、併せてディスカッションを行う。 ・ゼミで使用するプリントは前の回に配布する。熟読することが望ましい。 ・学生の要望には可能な限り応えるが、教育上問題のある要望には応えられない。

アクティブラーニングの実施方法							
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項
主体的・積極的参加を望む

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定の最低出席回数10回以上をクリアすること。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	0%	0%	0%	30%	70%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
明治時代における天皇が果たした機能を理解する。	ディスカッションにおいて、「自分の意見を明確に言えるだけでなく、他者の意見について明確で理屈の通った指摘ができた。	ディスカッションにおいて自分の意見を明確に表現できた。	「明治維新」「明治時代」についての基本的知識を習得できた。	ゼミで購読したパートを説明できた。	左記の内容が何一つできなかった。
仏教、キリスト教、イスラム教と比較した天皇の神性を理解する。	ディスカッションにおいて、「自分の意見を明確に言えるだけでなく、他者の意見について明確で理屈の通った指摘ができた。	ディスカッションにおいて自分の意見を明確に表現できた。	高校のテキスト「宗教」の基本的知識を習得できた。	ゼミで購読したパートを説明できた。	左記の内容が何一つできなかった。
保元の乱における根本的規範の崩壊と、そこから派生する急性アノミーの恐怖を理解する。	ゼミで購読したパートを説明できる。ディスカッションにおいて、「自分の意見を明確に言えるだけでなく、他者の意見について明確で理屈の通った指摘ができた。	ディスカッションにおいて自分の意見を明確に表現できた。	保元の乱以降の日本史の基本的知識を習得できた。	ゼミで購読したパートを説明できた。	左記の内容が何一つできなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS072045)				
授業担当者(所属・職名)	杉本 大輔(社会福祉学科・准教授)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 杉本 大輔)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	シラバスの説明	高校のテキストの読み込み(45分)	配布資料の読み込み(45分)
2	明治維新における天皇1	前回資料の読み込み(45分)	配布資料の読み込み(45分)
3	明治維新における天皇2	前回資料の読み込み(45分)	配布資料の読み込み(45分)
4	神の機能(正統性の付与)1	前回資料の読み込み(45分)	配布資料の読み込み(45分)
5	神の機能(正統性の付与)2	前回資料の読み込み(45分)	配布資料の読み込み(45分)
6	教育勅語に込められた革新	前回資料の読み込み(45分)	配布資料の読み込み(45分)
7	キリスト教の論理	前回資料の読み込み(45分)	配布資料の読み込み(45分)
8	儒教の論理	前回資料の読み込み(45分)	配布資料の読み込み(45分)
9	天皇の神性1	前回資料の読み込み(45分)	配布資料の読み込み(45分)
10	天皇の神性2	前回資料の読み込み(45分)	配布資料の読み込み(45分)
11	天下大乱はなぜ起きたか	前回資料の読み込み(45分)	配布資料の読み込み(45分)
12	日本皇道の失墜	前回資料の読み込み(45分)	配布資料の読み込み(45分)
13	摩訶不思議なるもの	前回資料の読み込み(45分)	配布資料の読み込み(45分)
14	天皇が秘める深淵1	前回資料の読み込み(45分)	配布資料の読み込み(45分)
15	天皇が秘める深淵2	前回資料の読み込み(45分)	配布資料の読み込み(45分)
16	天皇が秘める深淵3	前回資料の読み込み(45分)	配布資料の読み込み(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS072045)				
授業担当者(所属・職名)	横田 肇 (社会福祉学科・准教授)	研究室所在	2号館7階		
単位数	1 (単位認定責任者: 横田 肇)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
学生が世界と日本の文化について、資料と文献によって基礎的な知識を身につける。合わせて、プレゼンテーションと文章作成の基礎的な能力を身につける。

授業の位置づけ
経営学科のDP「1(2)」、「2(1)と(3)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(2)と(3)」、「2(1)と(4)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(1)」、「2(1)と(3)と(5)」に対応する。 建築学科のDP「1(1)」、「2(1)と(3)と(5)」に対応する。

到達目標
受講者において、日本と世界の歴史・文化についての基本的な理解ができ、プレゼンテーションと文章作成の基礎的な能力が身につけている。

授業全体の内容と概要
毎回、受講者が日本と世界の歴史と文化に関する学習(文献調査)とプレゼンテーションを行い、合わせて、教員による説明を加える。適宜、文章作成の練習も取り入れる。

授業の方法
毎回、1)受講者による文献調査、2)プレゼンテーション・質疑応答、3)教員による補足・講評(フィードバック)を行う。合わせて、文章作成の練習も加える。プレゼンテーション、講評では板書、ボード、スライドを使用。

アクティブラーニングの実施方法												
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>グループワーク</td> <td>フィールドワーク</td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td>ロールプレイ</td> <td>調査学習</td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td>実験・実習・実技</td> <td>双方向授業</td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL	模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業	ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL									
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業									
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)									

履修上の注意事項
欠席、遅刻をしないように留意する。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
単位認定に必要な最低出席回数は10回以上。												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>20%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>20%</td> <td>60%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	20%	0%	0%	20%	60%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	20%	0%	0%	20%	60%							

ルーブリック																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>情報収集・分析能力</td> <td>多様で正確な情報の収集と分析ができ、的確な発信ができた。</td> <td>正確な情報収集と整理ができ、適切な発信ができた。</td> <td>情報収集と整理の基本が身に付いており、発信の基本ができた。</td> <td>指示によって情報収集と整理が遂行でき、指示によって発信ができた。</td> <td>指示による情報収集と整理、発信ができなかった。</td> </tr> <tr> <td>コミュニケーション・プレゼンテーション能力</td> <td>的確な議論と明確なプレゼンテーションができ、適切な質疑応答ができた。</td> <td>適切な議論とプレゼンテーションができた。</td> <td>議論とプレゼンテーションの基本が身に付いた。</td> <td>指示によって議論とプレゼンテーションが遂行できた。</td> <td>指示による議論とプレゼンテーションができなかった。</td> </tr> <tr> <td>歴史と文化に関する理解・認識</td> <td>ヨーロッパの歴史と文化に関する広く深い理解ができ、発展的な学習ができた。</td> <td>ヨーロッパの歴史と文化に関する理解ができており、発展的な学習が期待できた。</td> <td>ヨーロッパの歴史と文化に関する基本的な理解ができた。</td> <td>指示によってヨーロッパの歴史と文化に関する理解ができた。</td> <td>指示によるヨーロッパの歴史と文化に関する理解ができなかった。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	情報収集・分析能力	多様で正確な情報の収集と分析ができ、的確な発信ができた。	正確な情報収集と整理ができ、適切な発信ができた。	情報収集と整理の基本が身に付いており、発信の基本ができた。	指示によって情報収集と整理が遂行でき、指示によって発信ができた。	指示による情報収集と整理、発信ができなかった。	コミュニケーション・プレゼンテーション能力	的確な議論と明確なプレゼンテーションができ、適切な質疑応答ができた。	適切な議論とプレゼンテーションができた。	議論とプレゼンテーションの基本が身に付いた。	指示によって議論とプレゼンテーションが遂行できた。	指示による議論とプレゼンテーションができなかった。	歴史と文化に関する理解・認識	ヨーロッパの歴史と文化に関する広く深い理解ができ、発展的な学習ができた。	ヨーロッパの歴史と文化に関する理解ができており、発展的な学習が期待できた。	ヨーロッパの歴史と文化に関する基本的な理解ができた。	指示によってヨーロッパの歴史と文化に関する理解ができた。	指示によるヨーロッパの歴史と文化に関する理解ができなかった。												
評価項目		評価基準																																							
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
情報収集・分析能力	多様で正確な情報の収集と分析ができ、的確な発信ができた。	正確な情報収集と整理ができ、適切な発信ができた。	情報収集と整理の基本が身に付いており、発信の基本ができた。	指示によって情報収集と整理が遂行でき、指示によって発信ができた。	指示による情報収集と整理、発信ができなかった。																																				
コミュニケーション・プレゼンテーション能力	的確な議論と明確なプレゼンテーションができ、適切な質疑応答ができた。	適切な議論とプレゼンテーションができた。	議論とプレゼンテーションの基本が身に付いた。	指示によって議論とプレゼンテーションが遂行できた。	指示による議論とプレゼンテーションができなかった。																																				
歴史と文化に関する理解・認識	ヨーロッパの歴史と文化に関する広く深い理解ができ、発展的な学習ができた。	ヨーロッパの歴史と文化に関する理解ができており、発展的な学習が期待できた。	ヨーロッパの歴史と文化に関する基本的な理解ができた。	指示によってヨーロッパの歴史と文化に関する理解ができた。	指示によるヨーロッパの歴史と文化に関する理解ができなかった。																																				

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>教科書なし</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1						教科書なし	2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1						教科書なし																																				
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>適宜指示</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1						適宜指示	2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1						適宜指示																																				
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS072045)				
授業担当者(所属・職名)	横田 肇 (社会福祉学科・准教授)	研究室所在	2号館 7階		
単位数	1 (単位認定責任者: 横田 肇)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	シラバスの説明、教員によるヨーロッパの歴史と文化の基礎に関する講義	ヨーロッパの歴史の基礎的事項の予習(45分)	ヨーロッパの歴史の基礎的事項の復習(45分)
2	教員によるヨーロッパの歴史と文化の基礎に関する講義	ヨーロッパの歴史の基礎的事項の予習(45分)	ヨーロッパの歴史の基礎的事項の復習(45分)
3	受講者による調査とプレゼンテーション(1)	ヨーロッパの歴史の基礎的事項の予習(45分)	ヨーロッパの歴史の基礎的事項の復習(45分)
4	受講者による調査とプレゼンテーション(2)	ヨーロッパの歴史の基礎的事項の予習(45分)	ヨーロッパの歴史の基礎的事項の復習(45分)
5	受講者による調査とプレゼンテーション(3)	ヨーロッパの歴史の基礎的事項の予習(45分)	ヨーロッパの歴史の基礎的事項の復習(45分)
6	受講者による調査とプレゼンテーション(4)	ヨーロッパの歴史の基礎的事項の予習(45分)	ヨーロッパの歴史の基礎的事項の復習(45分)
7	受講者による調査とプレゼンテーション(5)	ヨーロッパの歴史の基礎的事項の予習(45分)	ヨーロッパの歴史の基礎的事項の復習(45分)
8	受講者による調査とプレゼンテーション(6)	ヨーロッパの歴史の基礎的事項の予習(45分)	ヨーロッパの歴史の基礎的事項の復習(45分)
9	受講者による調査とプレゼンテーション(7)	ヨーロッパの歴史の基礎的事項の予習(45分)	ヨーロッパの歴史の基礎的事項の復習(45分)
10	受講者による調査とプレゼンテーション(8)	ヨーロッパの歴史の基礎的事項の予習(45分)	ヨーロッパの歴史の基礎的事項の復習(45分)
11	受講者による調査とプレゼンテーション(9)	ヨーロッパの歴史の基礎的事項の予習(45分)	ヨーロッパの歴史の基礎的事項の復習(45分)
12	受講者による調査とプレゼンテーション(10)	ヨーロッパの歴史の基礎的事項の予習(45分)	ヨーロッパの歴史の基礎的事項の復習(45分)
13	受講者による調査とプレゼンテーション(11)	ヨーロッパの歴史の基礎的事項の予習(45分)	ヨーロッパの歴史の基礎的事項の復習(45分)
14	受講者によるレポート作成(1)	レポート作成の準備(45分)	レポート作成の準備(45分)
15	受講者によるレポート作成(2)	レポート作成の準備(45分)	レポート作成の準備(45分)
16	受講者によるレポート作成(3)	レポート作成の準備(45分)	レポート作成の準備(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育		対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	前期		授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS072045)					
授業担当者(所属・職名)	櫻井 美帆子(社会福祉学科・准教授)		研究室所在	1号館4階		
単位数	1 (単位認定責任者: 櫻井 美帆子)		CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	現場での実務経験から得た事例等を用いて福祉に対する理解を深めていく。			

概要

履修目標	社会福祉実践に用いられることが多い用語と意味を覚える。チームワーク力を涵養する。
------	--

授業の位置づけ	経営学科のDP「1(2)と(4)」、「2(1)と(3)」に対応する科目。 社会福祉学科のDP「1(2)と(3)と(4)」、「2(1)と(4)」に対応する科目。 デザイン学科のDP「1(2)」、「2(1)と(2)と(5)」に対応する科目。 建築学科のDP「1(3)」、「2(1)と(3)と(5)」に対応する科目。
---------	--

到達目標	福祉に関する専門用語を覚える。 自分に適した暗記方法を身につける。 協調性を身につける。
------	--

授業全体の内容と概要	福祉現場で使われることが多い専門用語と、その意味を暗記する。 暗記方法の工夫ができるようになる。 他者を尊重しながら自己主張できるようになる。
------------	---

授業の方法	基本は、テーマに沿ったグループワークでの展開とする。グループで課題に取り組み、代表者が発表をする展開とする。 一部、講義形式で授業を展開する。講義の際は随時質問をするので答える事。 随時記録物を提出する。記録物はコメントを添え返却する。 内容により、使用する資料を配布する。
-------	--

アクティブラーニングの実施方法						
○	プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク	PBL
	模擬授業	○	ロールプレイ		調査学習	反転授業
○	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項	30分以上の遅刻は欠席とする。 出席を重視するので、遅刻や欠席をする場合は事前に連絡をすること。授業を妨害したり他者の学ぶ権利を侵害する場合は、注意をする注意をする注意をする、改善がない場合には単位を認定しない。
----------	---

資格指定科目	
--------	--

評価方法・基準

評価前提条件	10回以上の出席があること。					
評価方法	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
	0%	0%	50%	0%	50%	0%

ルーブリック						
評価項目	評価基準					
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	
福祉の仕事の場で用いられることが多い用語と意味を理解できる。	用語の意味を自分の言葉で言い換えながら、解説ができた。	用語の意味を自分の言葉で言い換えることができた。	助言があればできた。	助言があれば一部できた。	助言があってもできなかった。	
暗記ができる。	自分に適した方法を用いて、暗記ができた。	指導方法に従って暗記ができた。	助言があればできた。	助言があれば一部出来た。	助言があってもできなかった。	
チームで目標を達成できる。	状況に応じてリーダーシップをとったら、他のメンバーへのサポートができた。	他のメンバーを尊重できた。	自分の役割を責任を持ち果たせた。	助言があればできた。	助言があってもできなかった。	

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						『使用しない』
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						『使用しない』
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS072045)				
授業担当者(所属・職名)	櫻井 美帆子(社会福祉学科・准教授)		研究室所在	1号館4階	
単位数	1 (単位認定責任者: 櫻井 美帆子)		CAP制	○	
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容 現場での実務経験から得た事例等を用いて福祉に対する理解を深めていく。			

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	シラバスの説明 福祉の現場で用いられることが多い用語	福祉の授業の中で知った「あ」の単語を書き出す。(45分)	単語カードを作る。(45分)
2	福祉の現場で用いられることが多い用語	単語カードを見直す。福祉の授業の中で知った「あ」の単語を書き出す。(45分)	単語カードを作る。(45分)
3	福祉の現場で用いられることが多い用語	単語カードを見直す。福祉の授業の中で知った「か」の単語を書き出す。(45分)	単語カードを作る。(45分)
4	福祉の現場で用いられることが多い用語	単語カードを見直す。福祉の授業の中で知った「か」の単語を書き出す。(45分)	単語カードを作る。(45分)
5	福祉の現場で用いられることが多い用語	単語カードを見直す。福祉の授業の中で知った「さ」の単語を書き出す。(45分)	単語カードを作る。(45分)
6	福祉の現場で用いられることが多い用語	単語カードを見直す。福祉の授業の中で知った「さ」の単語を書き出す。(45分)	単語カードを作る。(45分)
7	福祉の現場で用いられることが多い用語	単語カードを見直す。福祉の授業の中で知った「た」の単語を書き出す。(45分)	単語カードを作る。(45分)
8	中間まとめ	単語カードを見直す。福祉の授業の中で知った「た」の単語を書き出す。(45分)	単語カードを作る。クラスのメンバーの暗記方法を参考にし、暗記方法の工夫を試みる。
9	福祉の現場で用いられることが多い用語	単語カードを見直す。福祉の中で知った「な」の単語を書き出す。(45分)	単語カードを作る。(45分)
10	福祉の現場で用いられることが多い用語	単語カードを見直す。福祉の授業の中で知った「は」の単語を書き出す。(45分)	単語カードを作る。(45分)
11	福祉の現場で用いられることが多い用語	単語カードを見直す。福祉の授業の中で知った「は」の単語を書き出す。(45分)	単語カードを作る。(45分)
12	福祉の現場で用いられることが多い用語	単語カードを見直す。福祉の授業の中で知った「ま」の単語を書き出す。(45分)	単語カードを作る。(45分)
13	福祉の現場で用いられることが多い用語	単語カードを見直す。福祉の授業の中で知った「ま」の単語を書き出す。(45分)	単語カードを作る。(45分)
14	福祉の現場で用いられることが多い用語	単語カードを見直す。福祉の授業の中で知った「や」の単語を書き出す。(45分)	単語カードを作る。(45分)
15	福祉の現場で用いられることが多い用語	単語カードを見直す。福祉の授業の中で知った「ら」の単語を書き出す。(45分)	単語カードを作る。(45分)
16	まとめ	単語カードを見直す。(45分)	自分の暗記の方法を考察する。(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS072045)				
授業担当者(所属・職名)	湯浅 頼佳 (社会福祉学科・専任講師)	研究室所在	1号館3階		
単位数	1 (単位認定責任者: 湯浅 頼佳)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
基礎ゼミナール の目的を踏襲しながら無理なく専門課程へ移行できる様「学びの方法」を修得する。

授業の位置づけ
経営学科のDP「1(2)」、「2(1)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(2)と(3)と(4)と(6)」、「2(1)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(2)」、「2(1)」に対応する。 建築学科のDP「1(3)」、「2(1)」に対応する。

到達目標
基礎ゼミナール から継続して考えていきながら、学生それぞれが1つのテーマを上げレポートを作成し発表する事を目標とする。

授業全体の内容と概要
人間は食べることにのみによって栄養を取り入れ、様々な活動を可能としている。乳幼児から高齢者まで各々の目的や問題の違いはあれ、それぞれ生活リズムの確立や健康、QOL、疾病防止などを目的として望ましい食生活をする事が必要となる。学生それぞれが自分自身の食生活だけでなく職業的(保育士、社会福祉士、スポーツトレーナー、教員等)に必要な問題意識を持ち知識を身につけることを目標とする。

授業の方法
食生活や栄養に関する問題の中からそれぞれが研究テーマを見つけ、プレゼンテーションやディスカッション、グループワーク、フィールドワーク、実習等を実施する。また必要に応じて教員がテーマに関し講義も行い、カレントトピックスについても解説する。質疑応答には随時対応する。

アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>プレゼンテーション</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>グループワーク</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>ディスカッション</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/>	プレゼンテーション	<input type="checkbox"/>	グループワーク	<input type="checkbox"/>	フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業	<input type="checkbox"/>	ディスカッション	<input type="checkbox"/>	実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
<input type="checkbox"/>	プレゼンテーション	<input type="checkbox"/>	グループワーク	<input type="checkbox"/>	フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
<input type="checkbox"/>	ディスカッション	<input type="checkbox"/>	実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	

履修上の注意事項
出席を重視する。欠席をする場合は必ず事前に連絡をすること。出席数を満たしていてもゼミの運営を乱す行為があった場合は評価をしない場合がある。また同じくゼミの運営に支障を来たす行為があった場合は途中でゼミ異動を宣告する場合がある。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
出席状況(3分の2以上)。ゼミ内での活動(プレゼンテーションやディスカッション、グループワーク、フィールドワーク、実習等)とゼミ内での役割の認識と行動により総合評価する。												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>20%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>30%</td> <td>50%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	20%	0%	0%	30%	50%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	20%	0%	0%	30%	50%							

ルーブリック																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を越えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあたるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>知識・理解(協調性、傾聴力)</td> <td>ゼミ内でのプレゼンテーションに積極的に耳を傾け、タイミングよく質問することができた。</td> <td>ゼミ内でのプレゼンテーションに耳を傾け、タイミングよく質問することができた。</td> <td>ゼミ内でのプレゼンテーションに耳を傾け質問することができた。</td> <td>ゼミ内でのプレゼンテーションに耳を傾け何回か質問することができた。</td> <td>ゼミ内でのプレゼンテーションに耳を傾けることは出来るが質問できなかった。</td> </tr> <tr> <td>知識・理解(興味、関心)</td> <td>新聞、ニュース、トピックス等に関心を持ち積極的に食生活や栄養についてのテーマを発見することができた。</td> <td>新聞、ニュース、トピックス等に関心を持ち食生活や栄養についてのテーマを概ね発見することができた。</td> <td>新聞、ニュース、トピックス等に関心を持ち食生活や栄養についてのテーマを発見することができた。</td> <td>新聞、ニュース、トピックス等に関心を持つ努力をしながら食生活や栄養についてのテーマを発見することができた。</td> <td>新聞、ニュース、トピックス等に関心を持ち食生活や栄養についてのテーマを発見することができなかった。</td> </tr> <tr> <td>汎用的機能(トークスキル、表現力)</td> <td>ゼミ内でのプレゼンテーションにおいて聞き手が理解しやすいよう資料を十分揃えわかりやすく発表することができた。</td> <td>ゼミ内でのプレゼンテーションにおいて聞き手が理解しやすいようわかりやすく発表することができた。</td> <td>ゼミ内でのプレゼンテーションにおいて聞き手が理解しやすいよう概ねわかりやすく発表することができた。</td> <td>ゼミ内でのプレゼンテーションにおいて聞き手が理解しやすいよう発表することができた。</td> <td>ゼミ内でのプレゼンテーションにおいて聞き手が理解しやすいよう発表することができなかった。</td> </tr> <tr> <td>態度・志向性(リーダーシップ、態度)</td> <td>ゼミ内での自分の役割を十分に認識し、積極的にゼミ運営に関わることができた。</td> <td>ゼミ内での自分の役割を十分に認識し、ゼミ運営に関わることができた。</td> <td>ゼミ内での自分の役割を認識し、ゼミ運営に関わることができた。</td> <td>ゼミ内での自分の役割を認識し、ゼミ運営に多少関わることができた。</td> <td>ゼミ内での自分の役割を認識できなかった。</td> </tr> <tr> <td>態度・志向性(意欲)</td> <td>休まずゼミに出席できた。(出席16回)</td> <td>概ねゼミに出席できた。(出席15-14回)</td> <td>休みがちではあるが出席できた。(出席13-12回)</td> <td>欠席が目立つが出席できた。(出席11-10回)</td> <td>評価前提条件を満たす事ができなかった。(出席9-0回)</td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を越えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあたるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	知識・理解(協調性、傾聴力)	ゼミ内でのプレゼンテーションに積極的に耳を傾け、タイミングよく質問することができた。	ゼミ内でのプレゼンテーションに耳を傾け、タイミングよく質問することができた。	ゼミ内でのプレゼンテーションに耳を傾け質問することができた。	ゼミ内でのプレゼンテーションに耳を傾け何回か質問することができた。	ゼミ内でのプレゼンテーションに耳を傾けることは出来るが質問できなかった。	知識・理解(興味、関心)	新聞、ニュース、トピックス等に関心を持ち積極的に食生活や栄養についてのテーマを発見することができた。	新聞、ニュース、トピックス等に関心を持ち食生活や栄養についてのテーマを概ね発見することができた。	新聞、ニュース、トピックス等に関心を持ち食生活や栄養についてのテーマを発見することができた。	新聞、ニュース、トピックス等に関心を持つ努力をしながら食生活や栄養についてのテーマを発見することができた。	新聞、ニュース、トピックス等に関心を持ち食生活や栄養についてのテーマを発見することができなかった。	汎用的機能(トークスキル、表現力)	ゼミ内でのプレゼンテーションにおいて聞き手が理解しやすいよう資料を十分揃えわかりやすく発表することができた。	ゼミ内でのプレゼンテーションにおいて聞き手が理解しやすいようわかりやすく発表することができた。	ゼミ内でのプレゼンテーションにおいて聞き手が理解しやすいよう概ねわかりやすく発表することができた。	ゼミ内でのプレゼンテーションにおいて聞き手が理解しやすいよう発表することができた。	ゼミ内でのプレゼンテーションにおいて聞き手が理解しやすいよう発表することができなかった。	態度・志向性(リーダーシップ、態度)	ゼミ内での自分の役割を十分に認識し、積極的にゼミ運営に関わることができた。	ゼミ内での自分の役割を十分に認識し、ゼミ運営に関わることができた。	ゼミ内での自分の役割を認識し、ゼミ運営に関わることができた。	ゼミ内での自分の役割を認識し、ゼミ運営に多少関わることができた。	ゼミ内での自分の役割を認識できなかった。	態度・志向性(意欲)	休まずゼミに出席できた。(出席16回)	概ねゼミに出席できた。(出席15-14回)	休みがちではあるが出席できた。(出席13-12回)	欠席が目立つが出席できた。(出席11-10回)	評価前提条件を満たす事ができなかった。(出席9-0回)
評価項目		評価基準																																							
	履修項目を越えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあたるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
知識・理解(協調性、傾聴力)	ゼミ内でのプレゼンテーションに積極的に耳を傾け、タイミングよく質問することができた。	ゼミ内でのプレゼンテーションに耳を傾け、タイミングよく質問することができた。	ゼミ内でのプレゼンテーションに耳を傾け質問することができた。	ゼミ内でのプレゼンテーションに耳を傾け何回か質問することができた。	ゼミ内でのプレゼンテーションに耳を傾けることは出来るが質問できなかった。																																				
知識・理解(興味、関心)	新聞、ニュース、トピックス等に関心を持ち積極的に食生活や栄養についてのテーマを発見することができた。	新聞、ニュース、トピックス等に関心を持ち食生活や栄養についてのテーマを概ね発見することができた。	新聞、ニュース、トピックス等に関心を持ち食生活や栄養についてのテーマを発見することができた。	新聞、ニュース、トピックス等に関心を持つ努力をしながら食生活や栄養についてのテーマを発見することができた。	新聞、ニュース、トピックス等に関心を持ち食生活や栄養についてのテーマを発見することができなかった。																																				
汎用的機能(トークスキル、表現力)	ゼミ内でのプレゼンテーションにおいて聞き手が理解しやすいよう資料を十分揃えわかりやすく発表することができた。	ゼミ内でのプレゼンテーションにおいて聞き手が理解しやすいようわかりやすく発表することができた。	ゼミ内でのプレゼンテーションにおいて聞き手が理解しやすいよう概ねわかりやすく発表することができた。	ゼミ内でのプレゼンテーションにおいて聞き手が理解しやすいよう発表することができた。	ゼミ内でのプレゼンテーションにおいて聞き手が理解しやすいよう発表することができなかった。																																				
態度・志向性(リーダーシップ、態度)	ゼミ内での自分の役割を十分に認識し、積極的にゼミ運営に関わることができた。	ゼミ内での自分の役割を十分に認識し、ゼミ運営に関わることができた。	ゼミ内での自分の役割を認識し、ゼミ運営に関わることができた。	ゼミ内での自分の役割を認識し、ゼミ運営に多少関わることができた。	ゼミ内での自分の役割を認識できなかった。																																				
態度・志向性(意欲)	休まずゼミに出席できた。(出席16回)	概ねゼミに出席できた。(出席15-14回)	休みがちではあるが出席できた。(出席13-12回)	欠席が目立つが出席できた。(出席11-10回)	評価前提条件を満たす事ができなかった。(出席9-0回)																																				

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS072045)				
授業担当者(所属・職名)	湯浅 頼佳 (社会福祉学科・専任講師)	研究室所在	1号館3階		
単位数	1 (単位認定責任者: 湯浅 頼佳)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	オリエンテーション及びシラバスの説明	ゼミ初回に必要な事項について考える。(45分)	シラバスについて確認する。ゼミ内での自分の役割について考える(45分)
2	「食生活の重要性を考える A」	新聞、ニュース、トピックス等に目を向け食生活や栄養についてのテーマを発見する。(45分)	本日のゼミ内容について振り返りを行う。(45分)
3	「食生活の重要性を考える A」	新聞、ニュース、トピックス等に目を向け食生活や栄養についてのテーマを発見する。(45分)	本日のゼミ内容について振り返りを行う。(45分)
4	「食生活の重要性を考える A」	新聞、ニュース、トピックス等に目を向け食生活や栄養についてのテーマを発見する。(45分)	本日のゼミ内容について振り返りを行う。(45分)
5	「食生活の重要性を考える A」	新聞、ニュース、トピックス等に目を向け食生活や栄養についてのテーマを発見する。(45分)	本日のゼミ内容について振り返りを行う。(45分)
6	「食生活の重要性を考える A」	新聞、ニュース、トピックス等に目を向け食生活や栄養についてのテーマを発見する。(45分)	本日のゼミ内容について振り返りを行う。(45分)
7	「食生活の重要性を考える A」	新聞、ニュース、トピックス等に目を向け食生活や栄養についてのテーマを発見する。(45分)	本日のゼミ内容について振り返りを行う。(45分)
8	「食生活の重要性を考える A」	新聞、ニュース、トピックス等に目を向け食生活や栄養についてのテーマを発見する。(45分)	本日のゼミ内容について振り返りを行う。(45分)
9	「食生活の重要性を考える A」	新聞、ニュース、トピックス等に目を向け食生活や栄養についてのテーマを発見する。(45分)	本日のゼミ内容について振り返りを行う。(45分)
10	「食生活の重要性を考える A」	新聞、ニュース、トピックス等に目を向け食生活や栄養についてのテーマを発見する。(45分)	本日のゼミ内容について振り返りを行う。(45分)
11	「食生活の重要性を考える A」	新聞、ニュース、トピックス等に目を向け食生活や栄養についてのテーマを発見する。(45分)	本日のゼミ内容について振り返りを行う。(45分)
12	「食生活の重要性を考える A」	新聞、ニュース、トピックス等に目を向け食生活や栄養についてのテーマを発見する。(45分)	本日のゼミ内容について振り返りを行う。(45分)
13	「食生活の重要性を考える A」	新聞、ニュース、トピックス等に目を向け食生活や栄養についてのテーマを発見する。(45分)	本日のゼミ内容について振り返りを行う。(45分)
14	「食生活の重要性を考える A」	新聞、ニュース、トピックス等に目を向け食生活や栄養についてのテーマを発見する。(45分)	本日のゼミ内容について振り返りを行う。(45分)
15	「食生活の重要性を考える A」	新聞、ニュース、トピックス等に目を向け食生活や栄養についてのテーマを発見する。(45分)	本日のゼミ内容について振り返りを行う。(45分)
16	まとめ	まとめの準備を行う。(45分)	まとめの振り返りを行う。(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS072045)				
授業担当者(所属・職名)	尾西 則昭(会福祉学科・特任教授)	研究室所在	1号館 2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 尾西 則昭)	CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
人間生活の基本である健康・体力身体運動に関する知識を深め、現在不規則になりがちな生活習慣の改善が必要になる。学生生活における健康維持のための運動の大切さについての基礎知識を理解する。

授業の位置づけ
経営学科のDP 「1(1)」、「2(3)」に対応する。 社会福祉学科のDP 「1(2)と(3)と(5)と(6)と(7)」、「2(4)」に対応する。 デザイン学科のDP 「1(3)」、「2(5)」に対応する。 建築学科のDP 「1(3)」、「2(5)」に対応する。

到達目標
生涯にわたり有意義な人生を送るために、健康なライフスタイルを確立する方法を身につさせる。不規則になりがちな生活習慣で留意しなければならない点について、いくつかのテーマを通して、基本的な知識を学習する。現在だけのことだけでなく、卒業後に訪れるであろう社会人生活における健康づくりについて述べる事ができる。

授業全体の内容と概要
現代社会における健康問題について解説し、健康づくりの必要性について理解をさせる。

授業の方法
資料を通読し、その内容にかかわって、説明や質疑応答及びディスカッションを行います。板書や教材提示装置を活用します。健康に関するキーワードについて調べ、学修したものを発表します。課題や発表等に対応するフィードバックや要望等への対応は、少人数集団の利点を活かし、口頭で行います。

アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>プレゼンテーション</td> <td>○</td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td>○</td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	○	プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL	○	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業	○	ディスカッション		実験・実習・実技	○	双方向授業		その他(授業の方法参照)
○	プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
○	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
○	ディスカッション		実験・実習・実技	○	双方向授業		その他(授業の方法参照)																	

履修上の注意事項
積極的に取り組むことを期待します。20分以上の遅刻は欠席とみなします。3回で1回の欠席となります。また、授業に臨む際に求められる態度・姿勢・集中して聞き、授業中の私語は慎むこと。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
単位認定に必要な最低出席回数11回以上												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>30%</td> <td>50%</td> <td>0%</td> <td>20%</td> <td>0%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	30%	50%	0%	20%	0%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	30%	50%	0%	20%	0%							

ルーブリック																													
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> <tr> <td>知識・技能</td> <td>健康について基礎的な知識を深く理解できた。</td> <td>健康について基礎的な知識をおおむね理解できた。</td> <td>健康について基礎的な知識を理解できた。</td> <td>健康について基礎的な知識を多少理解できた。</td> <td>健康について基礎的な知識を深く理解することができなかった。</td> </tr> <tr> <td>思考力・判断力・表現力</td> <td>健康の基本を踏まえた健康内容の展開について十分に考察できた。</td> <td>健康の基本を踏まえた健康内容の展開について考察できた。</td> <td>健康の基本を踏まえた健康内容について考察できた。</td> <td>健康の基本を踏まえた健康内容の展開について多少考察できた。</td> <td>健康の基本を踏まえた健康内容の展開について考察することができなかった。</td> </tr> <tr> <td>主体的に取り組む態度</td> <td>健康の多様な展開について理解したことをわかりやすく説明できた。</td> <td>健康の多様な展開について理解したことをおおむね説明できた。</td> <td>健康の多様な展開について理解したことを説明できた。</td> <td>健康の多様な展開について理解したことを多少説明できた。</td> <td>健康の多様な展開について理解したことを説明することができなかった。</td> </tr> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	知識・技能	健康について基礎的な知識を深く理解できた。	健康について基礎的な知識をおおむね理解できた。	健康について基礎的な知識を理解できた。	健康について基礎的な知識を多少理解できた。	健康について基礎的な知識を深く理解することができなかった。	思考力・判断力・表現力	健康の基本を踏まえた健康内容の展開について十分に考察できた。	健康の基本を踏まえた健康内容の展開について考察できた。	健康の基本を踏まえた健康内容について考察できた。	健康の基本を踏まえた健康内容の展開について多少考察できた。	健康の基本を踏まえた健康内容の展開について考察することができなかった。	主体的に取り組む態度	健康の多様な展開について理解したことをわかりやすく説明できた。	健康の多様な展開について理解したことをおおむね説明できた。	健康の多様な展開について理解したことを説明できた。	健康の多様な展開について理解したことを多少説明できた。	健康の多様な展開について理解したことを説明することができなかった。
評価項目		評価基準																											
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																								
知識・技能	健康について基礎的な知識を深く理解できた。	健康について基礎的な知識をおおむね理解できた。	健康について基礎的な知識を理解できた。	健康について基礎的な知識を多少理解できた。	健康について基礎的な知識を深く理解することができなかった。																								
思考力・判断力・表現力	健康の基本を踏まえた健康内容の展開について十分に考察できた。	健康の基本を踏まえた健康内容の展開について考察できた。	健康の基本を踏まえた健康内容について考察できた。	健康の基本を踏まえた健康内容の展開について多少考察できた。	健康の基本を踏まえた健康内容の展開について考察することができなかった。																								
主体的に取り組む態度	健康の多様な展開について理解したことをわかりやすく説明できた。	健康の多様な展開について理解したことをおおむね説明できた。	健康の多様な展開について理解したことを説明できた。	健康の多様な展開について理解したことを多少説明できた。	健康の多様な展開について理解したことを説明することができなかった。																								

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td>『使用しない』</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1	『使用しない』						2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1	『使用しない』																																									
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td>『資料配布』</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1	『資料配布』						2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1	『資料配布』																																									
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS072045)				
授業担当者(所属・職名)	尾西 則昭社(会福祉学科・特任教授)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 尾西 則昭)	CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	ガイダンス 「シラバス説明」	事前にシラバス読んで確認する。(45分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(45分)
2	健康プログラムが見つかる	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(45分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(45分)
3	健康プログラムが見つかる	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(45分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(45分)
4	健康プログラムが見つかる	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(45分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(45分)
5	健康プログラムが見つかる	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(45分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(45分)
6	健康プログラムが見つかる	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(45分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(45分)
7	健康プログラムが見つかる	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(45分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(45分)
8	健康プログラムが見つかる	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(45分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(45分)
9	健康プログラムが見つかる	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(45分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(45分)
10	健康プログラムが見つかる	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(45分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(45分)
11	健康プログラムが見つかる	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(45分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(45分)
12	健康プログラムが見つかる	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(45分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(45分)
13	健康プログラムが見つかる	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(45分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(45分)
14	発表	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(45分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(45分)
15	発表	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(45分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(45分)
16	発表 ・ まとめ	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(45分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS072045)				
授業担当者(所属・職名)	西崎 毅(社会福祉学科・特任教授)	研究室所在	2号館 6階		
単位数	1 (単位認定責任者: 西崎 毅)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	高等学校教員及び教育行政職員としての経験を活かして教職に関連する指導を行う。		

概要

履修目標	教員になるために必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び意欲を身に付ける。
------	---

授業の位置づけ	経営学科のDP「1(4)、(5)」、「2(3)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(2)、(3)、(4)、(5)、(6)、(7)」、「2(4)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(2)、(3)」、「2(5)」に対応する。 建築学科のDP「1(2)、(3)」、「2(5)」に対応する。
---------	--

到達目標	教育制度についてその概要を理解することができる。 教育にかかわる諸問題についてその概要を理解することができる。 教員になるために必要な事項についてその概要を理解することができる。
------	---

授業全体の内容と概要	各回の授業テーマについて考える。 教育にかかわる法令、中央教育審議会答申、学習指導要領などの通読 教育に関する基本的事項についての調べ学習 教員として求められる一般教養及び教職教養の学修 学校視察やボランティア活動等への参加 演習検定等への参加
------------	---

授業の方法	教育にかかわる法令、中央教育審議会答申、学習指導要領などを通読し、その内容にかかわって説明や質疑応答及びディスカッションを行います。板書や教材提示装置を活用する。教育に関するキーワードについての調べ学習及びその発表を行う。教員として求められる一般教養及び教職教養について演習を行う。課題や発表等に対する評価のフィードバックや要望等への対応は口頭で行う。
-------	--

アクティブラーニングの実施方法	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																		
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																		
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																		

履修上の注意事項	教職課程を履修し、大学卒業後に教職に就く強い希望と意思を持った学生を原則対象とする。 各自、ノートを用意すること。 プリント類はフラットファイルに格納し、毎回授業に持参すること。
----------	---

資格指定科目	
--------	--

評価方法・基準

評価前提条件	単位認定に必要な最低出席回数は11回。					
評価方法	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
	0%	0%	20%	0%	80%	0%

ルーブリック	評価基準				
評価項目	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間に係るレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
知識・技能	学修した知識・技能を確実に修得するとともに、それらに関連した知識・技能についても習得することができた。	学修した知識・技能を十分に修得することができた。	学修した知識・技能を修得することができた。	学修した知識・技能を修得したが、最低限容認できるレベルにとどまった。	学修した知識・技能を修得し、期待される最低限度の基準に到達することができなかった。
思考力・判断力・表現力等	与えられた課題に積極的に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関して期待されるレベルを大きく超えることができた。	与えられた課題に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関して期待されるレベルを十分に達成することができた。	与えられた課題に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関して期待されるレベルを達成することができた。	与えられた課題に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関して最低限容認できるレベルにとどまった。	与えられた課題に真面目に取り組まず、期待される最低限度の基準に到達することができなかった。
主体性・多様性・協働性	与えられた課題に積極的に取り組んだ。積極性や協働性に関して期待されるレベルを大きく超えることができた。	与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関して期待されるレベルを十分に達成することができた。	与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関して期待されるレベルを達成することができた。	与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関して最低限容認できるレベルにとどまった。	与えられた課題に真面目に取り組まず、期待される最低限度の基準に到達することができなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS072045)				
授業担当者(所属・職名)	西崎 毅(社会福祉学科・特任教授)	研究室所在	2号館6階		
単位数	1 (単位認定責任者: 西崎 毅)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	高等学校教員及び教育行政職員としての経験を活かして教職に関連する指導を行う。		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	オリエンテーション(シラバスの説明含む) 学修計画の作成	教職志望の理由をまとめること。(45分)	本時に課された事後課題を行い次時に提出すること。(45分)
2	中学校学習指導要領総則についての学修 学修計画の発表 法令・学習指導要領等の通読及びディスカッション	前時に課された課題を行い提出すること。(45分)	事後課題を行い次時に提出すること。(45分)
3	中学校学習指導要領総則についての学修 法令・学習指導要領等の通読及びディスカッション 一般教養及び教職教養の演習	前時に課された課題を行い提出すること。(45分)	事後課題を行い次時に提出すること。(45分)
4	中学校学習指導要領総則についての学修 法令・学習指導要領等の通読及びディスカッション 一般教養及び教職教養の演習	前時に課された課題を行い提出すること。(45分)	事後課題を行い次時に提出すること。(45分)
5	中学校学習指導要領総則についての学修 法令・学習指導要領等の通読及びディスカッション 一般教養及び教職教養の演習	前時に課された課題を行い提出すること。(45分)	事後課題を行い次時に提出すること。(45分)
6	中学校学習指導要領道徳についての学修 法令・学習指導要領等の通読及びディスカッション 一般教養及び教職教養の演習	前時に課された課題を行い提出すること。(45分)	事後課題を行い次時に提出すること。(45分)
7	中学校学習指導要領道徳についての学修 法令・学習指導要領等の通読及びディスカッション 一般教養及び教職教養の演習	前時に課された課題を行い提出すること。(45分)	事後課題を行い次時に提出すること。(45分)
8	中学校学習指導要領道徳についての学修 法令・学習指導要領等の通読及びディスカッション 一般教養及び教職教養の演習	前時に課された課題を行い提出すること。(45分)	事後課題を行い次時に提出すること。(45分)
9	中学校学習指導要領道徳についての学修 法令・学習指導要領等の通読及びディスカッション 一般教養及び教職教養の演習	前時に課された課題を行い提出すること。(45分)	事後課題を行い次時に提出すること。(45分)
10	中学校学習指導要領社会についての学修 法令・学習指導要領等の通読及びディスカッション 一般教養及び教職教養の演習	前時に課された課題を行い提出すること。(45分)	事後課題を行い次時に提出すること。(45分)
11	中学校学習指導要領社会についての学修 法令・学習指導要領等の通読及びディスカッション 一般教養及び教職教養の演習	前時に課された課題を行い提出すること。(45分)	事後課題を行い次時に提出すること。(45分)
12	中学校学習指導要領社会についての学修 法令・学習指導要領等の通読及びディスカッション 一般教養及び教職教養の演習	前時に課された課題を行い提出すること。(45分)	事後課題を行い次時に提出すること。(45分)
13	中学校学習指導要領社会についての学修 法令・学習指導要領等の通読及びディスカッション 一般教養及び教職教養の演習	前時に課された課題を行い提出すること。(45分)	事後課題を行い次時に提出すること。(45分)
14	中学校学習指導要領社会についての学修 法令・学習指導要領等の通読及びディスカッション 一般教養及び教職教養の演習	前時に課された課題を行い提出すること。(45分)	事後課題を行い次時に提出すること。(45分)
15	中学校学習指導要領社会についての学修 法令・学習指導要領等の通読及びディスカッション 一般教養及び教職教養の演習	前時に課された課題を行い提出すること。(45分)	事後課題を行い次時に提出すること。(45分)
16	前期の学修の総括及び反省	前時に課された課題を行い提出すること。(45分)	1年間の自らの学修姿勢を評価すること。(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS072045)				
授業担当者(所属・職名)	堀川 厚志 (社会福祉学科・特任教授)	研究室所在	2号館 8階		
単位数	1 (単位認定責任者: 堀川 厚志)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	学校教育現場及び教育行政機関に勤務経験のある教員が、特別支援教育に必要な今日的課題等について指導する。		

概要

履修目標
特別支援教育における個に応じた指導、配慮等の基礎となる内容である一般的な発達論等の知見をとおして、感覚と運動、アタッチメント、遊びと対人関係、言葉と思考等の定型発達、発達の遅れや偏り等の概要について理解し、特別支援教育への関心を高める。

授業の位置づけ
経営学科のDP「1(2)と(3)と(4)」、「2(1)と(3)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(2)と(3)と(5)」、「2(1)と(5)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(1)と(2)」、「2(1)と(5)」に対応する。 建築学科のDP「1(1)と(3)」、「2(1)と(5)」に対応する。

到達目標
感覚と運動、アタッチメント、遊びと対人関係に関する内容、発達、その遅れや偏り等の様相がわかる。

授業全体の内容と概要
・感覚と運動については、胎児期から乳幼児期の身体と運動機能、感覚知覚等に関して、アタッチメントについては、乳児期の親子関係、養育者との信頼関係等について、遊びと対人関係については、その意義、仲間関係等について、一般的な発達論から発達の遅れや偏りについて理解する。

授業の方法
・授業では、プレゼンテーション及び配付資料等により説明をした後、テーマの任意選択によりグループを構成し、グループワークを展開する。 ・グループワークでは、計画、調査、探究、整理、資料作成等の一連の活動(2サイクル)を行う。 ・全体への報告資料作成(2回)、パワーポイント等の視覚メディアによる全体発表会(2回)等をおして、情報共有し、全体への理解を図る。 ・グループワーク及び資料内容、発表内容等に対して、自己評価を下にしたコメントによるフィードバックを行う。

アクティブラーニングの実施方法												
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>グループワーク</td> <td>フィールドワーク</td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td>ロールプレイ</td> <td>調査学習</td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td>実験・実習・実技</td> <td>双方向授業</td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL	模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業	ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL									
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業									
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)									

履修上の注意事項
障害のある子に対する教育的な対応、または特別支援教育に強い関心がある者とする。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
単位認定に必要な最低出席回数は、10回以上とする。												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>20%</td> <td>50%</td> <td>0%</td> <td>20%</td> <td>10%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	20%	50%	0%	20%	10%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	20%	50%	0%	20%	10%							

ルーブリック																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>感覚と運動、アタッチメント、遊びと対人関係に関する機能、定型発達、発達の遅れや偏り等の知識・理解</td> <td>感覚と運動、アタッチメント、遊びと対人関係に関する内容、発達、その遅れや偏り等について、十分に理解し、自ら深化させ発展的な探究活動ができた。</td> <td>感覚と運動、アタッチメント、遊びと対人関係に関する内容、発達、その遅れや偏り等について、十分に理解できた。</td> <td>感覚と運動、アタッチメント、遊びと対人関係に関する内容、定型発達、その遅れや偏り等について理解できた。</td> <td>感覚と運動、アタッチメント、遊びと対人関係に関する内容、発達、その遅れや偏り等について部分的には理解できた。</td> <td>感覚と運動、アタッチメント、遊びと対人関係に関する内容、発達、その遅れや偏り等について、まったく理解できなかった。</td> </tr> <tr> <td>グループワークによる内容の整理、資料作成、報告、発表等による説明等の思考力、判断力、表現力の向上</td> <td>内容を的確かつ発展的に整理し、理解しやすい報告、発表などをおして、思考力、判断力、表現力を十分に高めることができた。</td> <td>内容を的確に整理し、理解しやすい報告、発表などをおして、思考力、判断力、表現力を十分に高めることができた。</td> <td>内容を整理し、報告、発表などをおして、思考力、判断力、表現力を高めることができた。</td> <td>内容を整理し、報告、発表などをおして、部分的に思考力、判断力、表現力を高めることができた。</td> <td>内容を整理できず、報告、発表などをおすることがなかったため、思考力、判断力、表現力を高めることができなかった。</td> </tr> <tr> <td>授業への参加意欲や学修に向かう姿勢・態度</td> <td>授業には意欲的に参加し、グループワークや報告会等についても、常に自ら積極的に取り組むことができた。</td> <td>授業には意欲的に参加し、グループワークや報告会等についても、部分的に積極的に取り組むことができた。</td> <td>授業に関心をもって参加し、グループワークや報告会等にも関心をもって取り組むことができた。</td> <td>授業に対して部分的に積極的に取り組み、グループワークや報告会等にもある程度関心をもって取り組むことができた。</td> <td>授業に対して消極的であり、グループワークや報告会等にも積極的に取り組むことができなかった。</td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	感覚と運動、アタッチメント、遊びと対人関係に関する機能、定型発達、発達の遅れや偏り等の知識・理解	感覚と運動、アタッチメント、遊びと対人関係に関する内容、発達、その遅れや偏り等について、十分に理解し、自ら深化させ発展的な探究活動ができた。	感覚と運動、アタッチメント、遊びと対人関係に関する内容、発達、その遅れや偏り等について、十分に理解できた。	感覚と運動、アタッチメント、遊びと対人関係に関する内容、定型発達、その遅れや偏り等について理解できた。	感覚と運動、アタッチメント、遊びと対人関係に関する内容、発達、その遅れや偏り等について部分的には理解できた。	感覚と運動、アタッチメント、遊びと対人関係に関する内容、発達、その遅れや偏り等について、まったく理解できなかった。	グループワークによる内容の整理、資料作成、報告、発表等による説明等の思考力、判断力、表現力の向上	内容を的確かつ発展的に整理し、理解しやすい報告、発表などをおして、思考力、判断力、表現力を十分に高めることができた。	内容を的確に整理し、理解しやすい報告、発表などをおして、思考力、判断力、表現力を十分に高めることができた。	内容を整理し、報告、発表などをおして、思考力、判断力、表現力を高めることができた。	内容を整理し、報告、発表などをおして、部分的に思考力、判断力、表現力を高めることができた。	内容を整理できず、報告、発表などをおすることがなかったため、思考力、判断力、表現力を高めることができなかった。	授業への参加意欲や学修に向かう姿勢・態度	授業には意欲的に参加し、グループワークや報告会等についても、常に自ら積極的に取り組むことができた。	授業には意欲的に参加し、グループワークや報告会等についても、部分的に積極的に取り組むことができた。	授業に関心をもって参加し、グループワークや報告会等にも関心をもって取り組むことができた。	授業に対して部分的に積極的に取り組み、グループワークや報告会等にもある程度関心をもって取り組むことができた。	授業に対して消極的であり、グループワークや報告会等にも積極的に取り組むことができなかった。
評価項目		評価基準																											
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																								
感覚と運動、アタッチメント、遊びと対人関係に関する機能、定型発達、発達の遅れや偏り等の知識・理解	感覚と運動、アタッチメント、遊びと対人関係に関する内容、発達、その遅れや偏り等について、十分に理解し、自ら深化させ発展的な探究活動ができた。	感覚と運動、アタッチメント、遊びと対人関係に関する内容、発達、その遅れや偏り等について、十分に理解できた。	感覚と運動、アタッチメント、遊びと対人関係に関する内容、定型発達、その遅れや偏り等について理解できた。	感覚と運動、アタッチメント、遊びと対人関係に関する内容、発達、その遅れや偏り等について部分的には理解できた。	感覚と運動、アタッチメント、遊びと対人関係に関する内容、発達、その遅れや偏り等について、まったく理解できなかった。																								
グループワークによる内容の整理、資料作成、報告、発表等による説明等の思考力、判断力、表現力の向上	内容を的確かつ発展的に整理し、理解しやすい報告、発表などをおして、思考力、判断力、表現力を十分に高めることができた。	内容を的確に整理し、理解しやすい報告、発表などをおして、思考力、判断力、表現力を十分に高めることができた。	内容を整理し、報告、発表などをおして、思考力、判断力、表現力を高めることができた。	内容を整理し、報告、発表などをおして、部分的に思考力、判断力、表現力を高めることができた。	内容を整理できず、報告、発表などをおすることがなかったため、思考力、判断力、表現力を高めることができなかった。																								
授業への参加意欲や学修に向かう姿勢・態度	授業には意欲的に参加し、グループワークや報告会等についても、常に自ら積極的に取り組むことができた。	授業には意欲的に参加し、グループワークや報告会等についても、部分的に積極的に取り組むことができた。	授業に関心をもって参加し、グループワークや報告会等にも関心をもって取り組むことができた。	授業に対して部分的に積極的に取り組み、グループワークや報告会等にもある程度関心をもって取り組むことができた。	授業に対して消極的であり、グループワークや報告会等にも積極的に取り組むことができなかった。																								

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>『発達心理学』</td> <td>林 創</td> <td>ミネルヴァ書房</td> <td>2019</td> <td>978-4-623-08622-1</td> <td></td> </tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1	『発達心理学』	林 創	ミネルヴァ書房	2019	978-4-623-08622-1		2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1	『発達心理学』	林 創	ミネルヴァ書房	2019	978-4-623-08622-1																																					
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS072045)				
授業担当者(所属・職名)	堀川 厚志(社会福祉学科・特任教授)	研究室所在	2号館8階		
単位数	1 (単位認定責任者: 堀川 厚志)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	学校教育現場及び教育行政機関に勤務経験のある教員が、特別支援教育に必要な今日的課題等について指導する。		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	オリエンテーション(取組の概要、シラバスの説明等)	シラバスを読む(45分)	説明内容を整理する(45分)
2	一般的な発達論、生涯発達の考え方等についてグループワーク推進方法、テーマ提示、グループ選択等のガイダンス	発達を調べる(45分)	発達について確かめる(45分)
3	感覚と運動、アタッチメントの発達の概要についてグループの構成、活動計画の概要についてのガイダンス	発達論の概要を調べる(45分)	発達論を確かめる(45分)
4	感覚と運動、アタッチメントの発達の様相グループワーク(活動計画、役割分担等、情報収集)	発達論等を調べる(45分)	グループワーク内容を整理する(45分)
5	感覚と運動、アタッチメントの内容、発達の様相グループワーク	感覚と運動、アタッチメントを調べる(45分)	グループワーク内容を整理する(45分)
6	感覚と運動、アタッチメントの内容、発達の概要の整理グループワーク	感覚と運動、アタッチメントを調べる(45分)	グループワーク内容を整理する(45分)
7	感覚と運動、アタッチメントの内容、発達の概要の整理とまとめグループワーク	感覚と運動、アタッチメントを調べる(45分)	グループワーク内容を整理する(45分)
8	感覚と運動、アタッチメントの内容、発達の概要の整理と資料作成グループワーク	作成資料について考える(45分)	グループワーク内容を整理する(45分)
9	感覚と運動、アタッチメントの発達の遅れや偏り等全体への報告(発表)と振り返り、改善内容のまとめ	報告内容を確認する(45分)	報告内容を確かめる(45分)
10	全体報告の振り返り、改善内容の確認遊びと対人関係の発達の概要、基本的な情報、グループ構成	全体報告を振り返る(45分)	認知、言語発達について確かめる(45分)
11	遊びと対人関係の発達に関する基本的な情報グループワーク(活動計画、役割分担等の作成)	遊びと対人関係の発達を調べる(45分)	運動発達について確かめる(45分)
12	遊びと対人関係の発達に関する基本的な情報グループワーク	遊びと対人関係の発達を調べる(45分)	グループワークの内容を整理する(45分)
13	遊びと対人関係の発達に関する様相等グループワーク	遊びと対人関係の発達を調べる(45分)	グループワークの内容を整理する(45分)
14	遊びと対人関係の発達に関する発達の遅れや偏り等グループワーク	発達の遅れや偏り等を調べる(45分)	グループワークの内容を整理する(45分)
15	遊びと対人関係の発達に関する発達の様相、遅れや偏り等の資料作成グループワーク	作成資料について考える(45分)	グループワークの内容を整理する(45分)
16	遊びと対人関係の発達、の発達に関する発達の様相、遅れや偏り等全体への報告(発表)と振り返り、改善内容のまとめ	報告内容を確認する(45分)	全内容を振り返る(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS072045)				
授業担当者(所属・職名)	小山 尋明(建築学科・准教授)	研究室所在	1号館4階		
単位数	1 (単位認定責任者: 小山 尋明)		CAP制		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

<p>履修目標</p> <p>競技スポーツの基礎的トレーニングを基礎ゼミナール A・Bより更に深く学び、個人に必要なトレーニングを自ら実践できるよう知識を身につける。携っている競技の試合分析をする知識と理解力を身につける。</p>
--

<p>授業の位置づけ</p> <p>営学科のDP「1(4)」、「1(5)」、「2(1)」、「2(3)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(5)」、「1(6)」、「2(1)」、「2(4)」に対応する。 サイン学科のDP「1(1)」、「1(2)」、「2(3)」、「2(5)」に対応する。 建築学科のDP「1(1)」、「1(3)」、「2(3)」、「2(5)」に対応する。</p>

<p>到達目標</p> <p>競技及び個人の特性を理解し、安全にトレーニングできるようにする。また、試合の分析・考察(心理的)も出来る。</p>

<p>授業全体の内容と概要</p> <p>基礎ゼミナール A・Bを基に個人に必要なフィジカルとメンタルトレーニングを実践し、自分の競技の試合をどのように分析・考察(心理的)すればよいかを考える。</p>
--

<p>授業の方法</p> <p>プリントなど資料にて説明したのち、トレーニング室及び体育館などで実際にトレーニング(フィジカルとメンタル)をする。また、コンディショニングの方法・心理的などについての分析を行い、次の大会などに活かせるようにする。なお、次回の授業において前回の反省と確認を行う。</p>

アクティブラーニングの実施方法						
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク	PBL
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習	反転授業
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業	その他(授業の方法参照)

<p>履修上の注意事項</p> <p>男子バスケットボール部に所属の学生を対象とする。注意事項等の詳細については、ガイダンスにて説明する。</p>
--

<p>資格指定科目</p>

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な最低出席回数は、10回以上。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	0%	0%	0%	60%	40%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
関心・意欲・態度・判断	積極的に行動し、意欲的に取り組み、安全に細心の注意を払うことができた。	積極的に行動し、意欲的に取り組み、安全に細心の注意を払うことが7割程度できた。	積極的に行動し、意欲的に取り組み、安全に細心の注意を払うことが5割程度できた。	積極的に行動し、意欲的に取り組み、安全に細心の注意を払うことが3割程度できた。	積極的に行動し、意欲的に取り組み、安全に細心の注意を払うことができなかった。
競技及び個人の特性を理解し、安全にトレーニングができる	目標設定の原理、原則、種類とその方法を理解し安全に細心の注意を払うことができた。	目標設定の原理、原則、種類とその方法を理解し安全に細心の注意を払うことが7割程度できた。	目標設定の原理、原則、種類とその方法を理解し安全に細心の注意を払うことが5割程度できた。	目標設定の原理、原則、種類とその方法を理解し安全に細心の注意を払うことが3割程度できた。	目標設定の原理、原則、種類とその方法を理解し安全に細心の注意を払うことができなかった。
知識・理解	フィジカルとメンタルトレーニングの知識・理解があり、心理的スキルも含め分析・考察ができた。	フィジカルとメンタルトレーニングの知識・理解があり、心理的スキルも含め分析・考察が7割程度できた。	フィジカルとメンタルトレーニングの知識・理解があり、心理的スキルも含め分析・考察が5割程度できた。	フィジカルとメンタルトレーニングの知識・理解があり、心理的スキルも含め分析・考察が3割程度できた。	フィジカルとメンタルトレーニングの知識・理解があり、心理的スキルも含め分析・考察ができなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS072045)				
授業担当者(所属・職名)	小山 尋明(建築学科・准教授)	研究室所在	1号館4階		
単位数	1 (単位認定責任者: 小山 尋明)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	ガイダンス(シラバス説明)。	事前にシラバスを読んで確認しておく(45分)	ガイダンスの内容を理解しておく(45分)
2	トレーニング実践 1 (フィジカルとメンタル)	トレーニングの基礎と原則を確認しておく(45分)	トレーニングの基礎と原則を理解しておく(45分)
3	トレーニング実践 2 (フィジカルとメンタル)	トレーニングの基礎と原則を確認しておく(45分)	トレーニングの基礎と原則を理解しておく(45分)
4	トレーニング実践 3 (フィジカルとメンタル)	トレーニングの基礎と原則を確認しておく(45分)	トレーニングの基礎と原則を理解しておく(45分)
5	トレーニング実践 4 (フィジカルとメンタル)	トレーニングの基礎と原則を確認しておく(45分)	トレーニングの基礎と原則を理解しておく(45分)
6	トレーニング実践 5 (フィジカルとメンタル)	トレーニングの基礎と原則を確認しておく(45分)	トレーニングの基礎と原則を理解しておく(45分)
7	トレーニング実践 6 (フィジカルとメンタル)	トレーニングの基礎と原則を確認しておく(45分)	トレーニングの基礎と原則を理解しておく(45分)
8	試合分析 1 (心理的・コンディショニングの方法)	コンディショニングの方法を確認しておく(45分)	コンディショニングの方法を理解しておく(45分)
9	試合分析 2 (心理的・コンディショニングの方法)	コンディショニングの方法を確認しておく(45分)	コンディショニングの方法を理解しておく(45分)
10	試合分析 3 (心理的・コンディショニングの方法)	コンディショニングの方法を確認しておく(45分)	コンディショニングの方法を理解しておく(45分)
11	試合分析 4 (心理的・コンディショニングの方法)	コンディショニングの方法を確認しておく(45分)	コンディショニングの方法を理解しておく(45分)
12	試合分析 5 (心理的・コンディショニングの方法)	コンディショニングの方法を確認しておく(45分)	コンディショニングの方法を理解しておく(45分)
13	試合分析 6 (心理的・コンディショニングの方法)	コンディショニングの方法を確認しておく(45分)	コンディショニングの方法を理解しておく(45分)
14	試合分析 7 (心理的・コンディショニングの方法)	コンディショニングの方法を確認しておく(45分)	コンディショニングの方法を理解しておく(45分)
15	試合分析 8 (心理的・コンディショニングの方法)	コンディショニングの方法を確認しておく(45分)	コンディショニングの方法を理解しておく(45分)
16	振り返りと確認。	内容を確認し理解を深めておくこと(45分)	専門用語の意味を理解しておくこと(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS072045)				
授業担当者(所属・職名)	宮嶋 達也(デザイン学科・准教授)	研究室所在	2号館4階		
単位数	1 (単位認定責任者: 宮嶋 達也)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
<p>学生時代に創作し、制作した作品で地域に貢献するには、その地域や社会(企業)の理解や課題認識が必要であり、また、自らの学習成果を地域社会の中で試し検証する絶好の機会となる。更に、本学の教育理念に「必要とする人々のために新たな道を創造し、人々が共生しえる社会の実現をめざし、それを成し遂げる」を具現する活動でもある。そうした位置付けで、リサーチ・プランニング・クリエイション・プレゼン・制作活動まで一貫して実践する。</p>

授業の位置づけ
<p>経営学科のD P「1(2)、(4)、(5)」、「2(1)、(3)」に対応する。 福祉学科のD P「1(2)、(3)、(4)、(5)、(6)」、「2(4)」に対応する。 デザイン学科のD P「1(2)、(3)」、「2(1)、(3)、(5)」に対応する。 建築学科のD P「1(3)」、「2(1)、(3)、(5)」に対応する。</p>

到達目標
<p>(1) 制作活動を通して何を学ぶのか、各自の問題意識を明確にする。 (2) 様々な活動場面に応じて、適切なコミュニケーションを取りながら、他者との関わりをもつ。 (3) 対象者の特性に応じた指導や支援の仕方を実践的に学ぶ。 (4) 各自の活動経験を振り返り、今後進めていく上での自己の学習課題を設定する。</p>

授業全体の内容と概要
<p>授業では、グループワーク、討論、ワークショップ等のアクティビティを多く取り入れる。各自が問題意識を持ち活動し、考察結果などを全体で共有しながら、各自の考えが深められるようにする。</p>

授業の方法
<p>グループワークを中心にした活動が多いため、一人ひとりが自主性を持ち、他人任せになるようなことがないように、常に問題意識を持ち、議論しながら問題解決し、積極的に活動に励む。授業では、グループワーク、討論、ワークショップ等のアクティビティを多く取り入れる。</p>

アクティブラーニングの実施方法																					
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>○</td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td>○</td> <td>P B L</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>○ ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク	○	P B L	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業	○ ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク	○	P B L															
模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業															
○ ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)															

履修上の注意事項
<p>本ゼミを希望する学生は必ず活動内容の説明を聞きに選択志望する前に研究室へ来ること。 受講に関して以下の心構えがある学生を条件といたします。 社会に役立って達成感を得たり、自分に自信をつけたい人 やる気があり、最後まで活動をやり通す気力を持ち合わせている人 協力し合いながら目標に向かい活動を成功させることができる人</p>

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
<p>単位認定に必要な最低出席回数は、10回以上とする。</p>												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>50%</td> <td>0%</td> <td>20%</td> <td>30%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	0%	50%	0%	20%	30%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	0%	50%	0%	20%	30%							

ルーブリック																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>積極性、社会理解</td> <td>積極的にアイデアを出し、採用された。他人の発言を聴き、十分な理解に努め、積極的に意見した。</td> <td>積極的にアイデアを出した。他人の発言を聴き、十分な理解に努めた意見した。</td> <td>それなりにアイデアを出した。他人の発言を聞き、ある程度意見した。</td> <td>アイデアを殆ど出せなかった。他人の意見をあまり理解できなかった。</td> <td>アイデアを出せなかった。他人の意見を殆ど理解できなかった。</td> </tr> <tr> <td>課題解決能力と創造性</td> <td>仕事を的確に発見し、進め方を共有しあいながら適切に検討し、実行できた。</td> <td>仕事を進んで発見し、進め方を適切に検討し、実行できた。</td> <td>仕事を発見し、進め方を検討し、ある程度実行できた。</td> <td>仕事をあまり発見できず、依頼されたことだけ実行できた。</td> <td>仕事を発見できず、依頼されたこと、ほとんど実行できなかった。</td> </tr> <tr> <td>コミュニケーション能力と行動力</td> <td>他者をリードする態度で積極的に活動に取り組み、高いコミュニケーション能力と行動力がある。</td> <td>自主的・協力的に活動に取り組み、コミュニケーション能力や行動力がある。</td> <td>自らの考えでアクションを起こすことはあまりないが、必要なコミュニケーション能力や行動力はある。</td> <td>自らの考えでアクションを起こすことは最低限度のコミュニケーション能力や行動力はある。</td> <td>自らの考えでアクションを起こすことができない。最低限度のコミュニケーション能力や行動力もほとんどない。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	積極性、社会理解	積極的にアイデアを出し、採用された。他人の発言を聴き、十分な理解に努め、積極的に意見した。	積極的にアイデアを出した。他人の発言を聴き、十分な理解に努めた意見した。	それなりにアイデアを出した。他人の発言を聞き、ある程度意見した。	アイデアを殆ど出せなかった。他人の意見をあまり理解できなかった。	アイデアを出せなかった。他人の意見を殆ど理解できなかった。	課題解決能力と創造性	仕事を的確に発見し、進め方を共有しあいながら適切に検討し、実行できた。	仕事を進んで発見し、進め方を適切に検討し、実行できた。	仕事を発見し、進め方を検討し、ある程度実行できた。	仕事をあまり発見できず、依頼されたことだけ実行できた。	仕事を発見できず、依頼されたこと、ほとんど実行できなかった。	コミュニケーション能力と行動力	他者をリードする態度で積極的に活動に取り組み、高いコミュニケーション能力と行動力がある。	自主的・協力的に活動に取り組み、コミュニケーション能力や行動力がある。	自らの考えでアクションを起こすことはあまりないが、必要なコミュニケーション能力や行動力はある。	自らの考えでアクションを起こすことは最低限度のコミュニケーション能力や行動力はある。	自らの考えでアクションを起こすことができない。最低限度のコミュニケーション能力や行動力もほとんどない。												
評価項目		評価基準																																							
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
積極性、社会理解	積極的にアイデアを出し、採用された。他人の発言を聴き、十分な理解に努め、積極的に意見した。	積極的にアイデアを出した。他人の発言を聴き、十分な理解に努めた意見した。	それなりにアイデアを出した。他人の発言を聞き、ある程度意見した。	アイデアを殆ど出せなかった。他人の意見をあまり理解できなかった。	アイデアを出せなかった。他人の意見を殆ど理解できなかった。																																				
課題解決能力と創造性	仕事を的確に発見し、進め方を共有しあいながら適切に検討し、実行できた。	仕事を進んで発見し、進め方を適切に検討し、実行できた。	仕事を発見し、進め方を検討し、ある程度実行できた。	仕事をあまり発見できず、依頼されたことだけ実行できた。	仕事を発見できず、依頼されたこと、ほとんど実行できなかった。																																				
コミュニケーション能力と行動力	他者をリードする態度で積極的に活動に取り組み、高いコミュニケーション能力と行動力がある。	自主的・協力的に活動に取り組み、コミュニケーション能力や行動力がある。	自らの考えでアクションを起こすことはあまりないが、必要なコミュニケーション能力や行動力はある。	自らの考えでアクションを起こすことは最低限度のコミュニケーション能力や行動力はある。	自らの考えでアクションを起こすことができない。最低限度のコミュニケーション能力や行動力もほとんどない。																																				

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>I S B N</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>I S B N</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナル A (科目ナンバリング: BAS072045)				
授業担当者(所属・職名)	宮嶋 達也(デザイン学科・准教授)	研究室所在	2号館4階		
単位数	1 (単位認定責任者: 宮嶋 達也)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	オリエンテーション シラバスの説明	演習の準備 シラバスの熟読(45分)	演習内容を確認して理解を深める(45分)
2	Planning1	事前に作業しておくなどの準備(45分)	演習内容を確認して理解を深める(45分)
3	Planning2	事前に作業しておくなどの準備(45分)	演習内容を確認して理解を深める(45分)
4	Planning3	事前に作業しておくなどの準備(45分)	演習内容を確認して理解を深める(45分)
5	Research activities 1	事前に作業しておくなどの準備(45分)	演習内容を確認して理解を深める(45分)
6	Research activities 2	事前に作業しておくなどの準備(45分)	演習内容を確認して理解を深める(45分)
7	Research activities 3	事前に作業しておくなどの準備をすること(45分)	演習内容を確認して理解を深める(45分)
8	Creative activities 1	事前に作業しておくなどの準備(45分)	演習内容を確認して理解を深める(45分)
9	Creative activities 2	事前に作業しておくなどの準備をすること(45分)	演習内容を確認して理解を深める(45分)
10	Creative activities 3	事前に作業しておくなどの準備(45分)	演習内容を確認して理解を深める(45分)
11	Creative activities 4	事前に作業しておくなどの準備(45分)	演習内容を確認して理解を深める(45分)
12	Creative activities 5	事前に作業しておくなどの準備(45分)	演習内容を確認して理解を深める(45分)
13	presentation	事前に作業しておくなどの準備(45分)	演習内容を確認して理解を深める(45分)
14	presentation	事前に作業しておくなどの準備をすること(45分)	演習内容を確認して理解を深める(45分)
15	レポート・前期活動のまとめ	事前に作業しておくなどの準備(45分)	演習内容を確認して理解を深める(45分)
16	前期活動における総括と振り返り	事前に作業しておくなどの準備(45分)	演習内容を確認して理解を深める(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS072045)				
授業担当者(所属・職名)	横山 哲也(建築学科・准教授)	研究室所在	2号館7階		
単位数	1 (単位認定責任者: 横山 哲也)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標	学生が就職活動を行う時に必要なSPIの基礎知識(非言語分野)及び解き方(思考過程)の基本をしっかりと身につける。							
授業の位置づけ	経営学科のDP「1(1)」、「2(1)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(2)」、「2(4)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(1)」、「2(5)」に対応する。 建築学科のDP「1(1)」、「2(5)」に対応する。							
到達目標	SPIの基礎知識(非言語分野)と解き方(思考過程)の基本を修得できる。							
授業全体の内容と概要	金錢に関する問題、速さ・時間・距離、確率、推論、集合、論証、グラフの領域等を豊富な練習問題を解くことによって、SPIの基礎知識(非言語分野)と解き方の基本について実感をつかませる。							
授業の方法	授業は、板書で実施し、板書にて説明しながら、演習を行う。課題は学生が提出後、解説を行う。							
アクティブラーニングの実施方法	○	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL
		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業
		ディスカッション		実験・実習・実技	○	双方向授業		その他(授業の方法参照)
履修上の注意事項	ゼミナールの内容を十分に理解するために予習・復習を怠らず、また講義や演習に対して積極的に取り組むこと。 レポート等の提出方法についてはゼミナール時間中に指示するので、ゼミナールを欠席することのないよう留意すること。							
資格指定科目								

評価方法・基準

評価前提条件	単位認定に必要な最低出席回数は、11回以上					
評価方法	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
	0%	50%	0%	0%	30%	20%

ルーブリック	評価基準				
評価項目	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
SPIに必要な基礎知識の修得	SPIの基礎知識(非言語分野)及び解き方(思考過程)が100%理解できた。	SPIの基礎知識(非言語分野)及び解き方(思考過程)が90%理解できた。	SPIの基礎知識(非言語分野)及び解き方(思考過程)が80%理解できた。	SPIの基礎知識(非言語分野)及び解き方(思考過程)が70%理解できた。	SPIの基礎知識(非言語分野)及び解き方(思考過程)が70%も理解できなかった。
計算過程において必要な記述内容の修得	演習問題は解き方(思考過程)を100%記述したレポートになった。	演習問題は解き方(思考過程)を90%記述したレポートになった。	演習問題は解き方(思考過程)を80%記述したレポートになった。	演習問題は解き方(思考過程)を70%記述したレポートになった。	演習問題は解き方(思考過程)を70%も記述したレポートにならなかった。
思考過程のプレゼンテーション	筋道の立った思考過程がプレゼンテーションを通して明確に出来た。また、質問にも正確に対応した。	筋道の立った思考過程がプレゼンテーションを通して明確に出来た。	筋道の立った思考過程がプレゼンテーションを通して出来た。	一部筋道の立った思考過程がプレゼンテーションを通して出来た。	筋道の立った思考過程のプレゼンテーションが出来なかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング: BAS072045)				
授業担当者(所属・職名)	横山 哲也(建築学科・准教授)	研究室所在	2号館7階		
単位数	1 (単位認定責任者: 横山 哲也)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	ガイダンス及びシラバスの説明	シラバスを読んでおくこと(45分)	今日のゼミナールの再確認(45分)
2	濃度(1)	学習内容の箇所を事前に予習しておくこと(45分)	今日のゼミナールの再確認(45分)
3	濃度(2)	学習内容の箇所を事前に予習しておくこと(45分)	今日のゼミナールの再確認(45分)
4	濃度(3)	学習内容の箇所を事前に予習しておくこと(45分)	今日のゼミナールの再確認(45分)
5	速さ・距離・時間(1)	学習内容の箇所を事前に予習しておくこと(45分)	今日のゼミナールの再確認(45分)
6	速さ・距離・時間(2)	学習内容の箇所を事前に予習しておくこと(45分)	今日のゼミナールの再確認(45分)
7	速さ・距離・時間(3)	学習内容の箇所を事前に予習しておくこと(45分)	今日のゼミナールの再確認(45分)
8	速さ・距離・時間(4)	学習内容の箇所を事前に予習しておくこと(45分)	今日のゼミナールの再確認(45分)
9	ものの値段と個数	学習内容の箇所を事前に予習しておくこと(45分)	今日のゼミナールの再確認(45分)
10	定価・原価・利益	学習内容の箇所を事前に予習しておくこと(45分)	今日のゼミナールの再確認(45分)
11	割合と値段(1)	学習内容の箇所を事前に予習しておくこと(45分)	今日のゼミナールの再確認(45分)
12	割合と値段(2)	学習内容の箇所を事前に予習しておくこと(45分)	今日のゼミナールの再確認(45分)
13	仕事算	学習内容の箇所を事前に予習しておくこと(45分)	今日のゼミナールの再確認(45分)
14	表の読み取り	学習内容の箇所を事前に予習しておくこと(45分)	今日のゼミナールの再確認(45分)
15	資料の読み取り	学習内容の箇所を事前に予習しておくこと(45分)	今日のゼミナールの再確認(45分)
16	まとめ及び要点のフィードバック	総復習(45分)	総理解(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	建築学科・2年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング:)				
授業担当者(所属・職名)	長森 正 (建築学科・教授)	研究室所在	アトリエ棟 1階		
単位数	(単位認定責任者: 長森 正)	CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
測量は建築物を施工する上で欠かせない技術である。建築技術者として必要な測量技術を修得する。主に長さ・高さ・角度を測る測量機器の基本的な操作と測定結果の整理方法を学習する。

授業の位置づけ
建築学科のDP「1(1)」、「2(1)」、「2(5)」に対応する。

到達目標
測量機器の構造、取り扱いおよび使用方法を修得する。測量学講義と並行して測量機器実習を体験することで、建築測量学の理解をより深める。測量したデータの整理方法およびその評価技術の習得のための計算演習についても併せて行う。

授業全体の内容と概要
アトリエ棟・駐車場周辺で測量実習を行い、レポート(測量成果及び図面)提出をすることによって、測量学の理解を深め、合わせて建築工事測量の基礎を修得する。

授業の方法
グループワークによる測量機器の取り扱いを実習形式で行う。周辺の測量を実施して成果をレポートにまとめる。

アクティブラーニングの実施方法						
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク	PBL
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習	反転授業
	ディスカッション	○	実験・実習・実技		双方向授業	○ その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項
数学が不得意の学生は基礎となる三角関数の復習に努めること。実習中に簡単な計算が伴うので、関数電卓を持参すること。野外実習できる履物・服装をすること。(サンダル禁止)。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な最低出席回数は10回以上。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	50%	0%	0%	30%	20%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
水準測量の理解	水準測量の原理を理解し、野帳を正確に記入することができ、他の人に説明することができた。	水準測量の原理を理解し、野帳を正確に記入することができ、2地点間の高低差を求めることができた。	水準測量の原理を理解し、野帳を正確に記入することができた。	水準測量の原理を理解し、野帳を記入することができた。	水準測量の原理を理解し、野帳を記入することができなかった。
角測量の理解	角測量の原理を理解し、セオドライトを用いて倍角法で水平角の測定ができ、他の人に説明することができた。	角測量の原理を理解し、セオドライトを用いて倍角法で水平角の測定ができた。	角測量の原理を理解し、セオドライトを用いた水平角と鉛直角の測定ができた。	角測量の原理を理解し、セオドライトを用いた水平角の測定ができた。	角測量の原理を理解し、セオドライトを用いた水平角の測定ができなかった。
距離測量の理解	距離測量における誤差の取り扱いについて理解し、誤差の補正を計算でき、他の人に説明できた。	距離測量における誤差の取り扱いについて理解し、誤差の補正を計算ができた。	距離測量について理解し、誤差の取り扱いについて理解できた。	距離測量について理解できなかった。	距離測量について理解できなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『資料配布』					
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	建築学科・2年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング:)				
授業担当者(所属・職名)	長森 正(建築学科・教授)	研究室所在	アトリエ棟1階		
単位数	(単位認定責任者: 長森 正)	CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	ガイダンス及びシラバスの説明	シラバスを確認する(45分)	ガイダンス及びシラバスの理解(45分)
2	角測量実習(1)機器説明・据付	資料の予習する(45分)	実習内容を確認し復習する(45分)
3	角測量実習(2)セオドライト据付実習	資料の予習する(45分)	実習内容を確認し復習する(45分)
4	角測量実習(3)単角法	資料の予習する(45分)	実習内容を確認し復習する(45分)
5	角測量実習(4)倍角法	資料の予習する(45分)	実習内容を確認し復習する(45分)
6	トラバース測量(1)	資料の予習する(45分)	実習内容を確認し復習する(45分)
7	トラバース測量(2)	資料の予習する(45分)	実習内容を確認し復習する(45分)
8	トラバース測量(3)	資料の予習する(45分)	実習内容を確認し復習する(45分)
9	トラバース測量(4)トラバース計算	資料の予習する(45分)	実習内容を確認し復習する(45分)
10	水準測量(1)	資料の予習する(45分)	実習内容を確認し復習する(45分)
11	水準測量(2)	資料の予習する(45分)	実習内容を確認し復習する(45分)
12	水準測量(3)	資料の予習する(45分)	実習内容を確認し復習する(45分)
13	距離測量実習(1)	資料の予習する(45分)	実習内容を確認し復習する(45分)
14	距離測量実習(2)	資料の予習する(45分)	実習内容を確認し復習する(45分)
15	距離補正	資料の予習する(45分)	実習内容を確認し復習する(45分)
16	まとめ及び要点的フィードバック	総復習する(45分)	総復習及び配布資料の整理(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	
科目名称	基礎ゼミナール A (科目ナンバリング:)				
授業担当者(所属・職名)		研究室所在			
単位数	(単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標																								
授業の位置づけ																								
到達目標																								
授業全体の内容と概要																								
授業の方法																								
アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	
履修上の注意事項																								
資格指定科目																								

評価方法・基準

評価前条件					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	
科目名称	基礎セミナー A (科目ナンバリング:)				
授業担当者(所属・職名)			研究室所在		
単位数	(単位認定責任者:)		CAP制		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	
科目名称	基礎ゼミナール A (再) (科目ナンバリング: BAS072045)				
授業担当者(所属・職名)		研究室所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目		左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

概要

履修目標																								
授業の位置づけ																								
到達目標																								
授業全体の内容と概要																								
授業の方法																								
アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	
履修上の注意事項																								
資格指定科目																								

評価方法・基準

評価前提条件					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	前期	授業形態	演習 必修・選択
科目名称	基礎セミナー A(再) (科目ナンバリング: BAS072045)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	
科目名称	基礎セミナー B (科目ナンバリング: BAS072046)				
授業担当者(所属・職名)			研究室所在		
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標												
授業の位置づけ												
到達目標												
授業全体の内容と概要												
授業の方法												
アクティブラーニングの実施方法												
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>グループワーク</td> <td>フィールドワーク</td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td>ロールプレイ</td> <td>調査学習</td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td>実験・実習・実技</td> <td>双方向授業</td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL	模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業	ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL									
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業									
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)									
履修上の注意事項												
資格指定科目												

評価方法・基準

評価前提条件					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期	授業形態	演習 必修・選択
科目名称	基礎セミナー B (科目ナンバリング: BAS072046)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS072046)				
授業担当者(所属・職名)	河田 一郎(経営学科・准教授)	研究室所在	2号館8階		
単位数	1 (単位認定責任者: 河田 一郎)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	大学入試センターの問題作成委員としての経験を活かしてドイツ語教育にかかわる指導を行う。		

概要

履修目標
基礎ゼミナール に引き続き、建築・絵画・音楽などウィーン文化を考察する。さらにドイツ語学修に重きを置き、ドイツ語検定試験5級合格のための基礎を固める。

授業の位置づけ
経営学科のDPの「1(2)」、「1(4)」、「1(5)」に対応する。 社会福祉学科のDPの「1(2)」、「1(3)」、「1(6)」、「1(7)」、「2(1)」、「2(4)」に対応する。 デザイン学科のDPの「1(1)」、「1(2)」、「1(3)」、「2(1)」、「2(5)」に対応する。 建築学科のDPの「1(1)」、「2(1)」、「2(5)」に対応する。

到達目標
ドイツ語検定試験5級合格のための基礎を固める。観光・留学などドイツ語圏で困らない程度の日常会話を身につける。

授業全体の内容と概要
ドイツと言えば、クラシック音楽である。クラシックをBGMに用いたリラックスした学習環境の中で、ドイツ語の文法と会話を学修する。

授業の方法
授業では板書をしながら、ドイツ語の文法・文化を紹介する。ドイツのDVD等も見て講義形式で行う。また、適宜確認テストを実施し、フィードバックとして解説を丁寧に行う。

アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td>○</td> <td>ロールプレイ</td> <td>○</td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td>○</td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	○	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業	○	ロールプレイ	○	調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技	○	双方向授業		その他(授業の方法参照)
○	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業	○	ロールプレイ	○	調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技	○	双方向授業		その他(授業の方法参照)																	

履修上の注意事項
ウィーンを含めたヨーロッパの絵画、建築、音楽等に興味が有り、ドイツ語を修得したい学生であればだれでも受講可能。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
単位認定に必要な出席回数は、13回以上。												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>20%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>80%</td> <td>0%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	20%	0%	0%	80%	0%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	20%	0%	0%	80%	0%							

ルーブリック																																									
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> <tr> <td>知識・技能</td> <td>学修した知識・技能を確実に修得し、求められるレベルを大きく超えた。</td> <td>学修した知識・技能を確実に修得した。</td> <td>学修した知識・技能をほぼ修得した。</td> <td>学修した知識・技能を修得したが、最低限容認できるレベルにとどまった。</td> <td>学修した知識を修得できなかった。</td> </tr> <tr> <td>思考力・判断力・表現力</td> <td>与えられた課題に積極的に取り組み、求められるレベルを大きく超えた。</td> <td>与えられた課題に取り組み求められるレベルを達成した。</td> <td>与えられた課題に取り組み求められるレベルをほぼ達成した。</td> <td>与えられた課題に取り組みしたが、最低限容認できるレベルにとどまった。</td> <td>与えられた課題に真面目に取り組まなかった。</td> </tr> <tr> <td>主体性・多様性・協働性</td> <td>与えられた課題には積極的に取り組んだ。理解力やプレゼンテーション能力は求められるレベルを大きく超えた。</td> <td>与えられた課題に取り組んだ。理解力やプレゼンテーション能力は求められるレベルを達成した。</td> <td>与えられた課題に取り組み求められるレベルをほぼ達成した。</td> <td>与えられた課題に取り組んだが、最低限容認できるレベルにとどまった。</td> <td>与えられた課題に真面目に取り組まずなかった。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	知識・技能	学修した知識・技能を確実に修得し、求められるレベルを大きく超えた。	学修した知識・技能を確実に修得した。	学修した知識・技能をほぼ修得した。	学修した知識・技能を修得したが、最低限容認できるレベルにとどまった。	学修した知識を修得できなかった。	思考力・判断力・表現力	与えられた課題に積極的に取り組み、求められるレベルを大きく超えた。	与えられた課題に取り組み求められるレベルを達成した。	与えられた課題に取り組み求められるレベルをほぼ達成した。	与えられた課題に取り組みしたが、最低限容認できるレベルにとどまった。	与えられた課題に真面目に取り組まなかった。	主体性・多様性・協働性	与えられた課題には積極的に取り組んだ。理解力やプレゼンテーション能力は求められるレベルを大きく超えた。	与えられた課題に取り組んだ。理解力やプレゼンテーション能力は求められるレベルを達成した。	与えられた課題に取り組み求められるレベルをほぼ達成した。	与えられた課題に取り組んだが、最低限容認できるレベルにとどまった。	与えられた課題に真面目に取り組まずなかった。												
評価項目		評価基準																																							
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
知識・技能	学修した知識・技能を確実に修得し、求められるレベルを大きく超えた。	学修した知識・技能を確実に修得した。	学修した知識・技能をほぼ修得した。	学修した知識・技能を修得したが、最低限容認できるレベルにとどまった。	学修した知識を修得できなかった。																																				
思考力・判断力・表現力	与えられた課題に積極的に取り組み、求められるレベルを大きく超えた。	与えられた課題に取り組み求められるレベルを達成した。	与えられた課題に取り組み求められるレベルをほぼ達成した。	与えられた課題に取り組みしたが、最低限容認できるレベルにとどまった。	与えられた課題に真面目に取り組まなかった。																																				
主体性・多様性・協働性	与えられた課題には積極的に取り組んだ。理解力やプレゼンテーション能力は求められるレベルを大きく超えた。	与えられた課題に取り組んだ。理解力やプレゼンテーション能力は求められるレベルを達成した。	与えられた課題に取り組み求められるレベルをほぼ達成した。	与えられた課題に取り組んだが、最低限容認できるレベルにとどまった。	与えられた課題に真面目に取り組まずなかった。																																				

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS072046)				
授業担当者(所属・職名)	河田 一郎(経営学科・准教授)	研究室所在	2号館8階		
単位数	1 (単位認定責任者: 河田 一郎)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	大学入試センターの問題作成委員としての経験を活かしてドイツ語教育にかかわる指導を行う。		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	[ガイダンス] 授業の進め方・シラバスの説明。	シラバスの内容確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
2	[話法の助動詞について] 話法の助動詞の用法について学び、置き換えができるようにする。	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
3	[話法の助動詞の用法について] 話法の助動詞の用法について学び、置き換えができるようにする。	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
4	[ヒアリング練習] ヒアリング問題に関する対策を学ぶ。	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
5	[形容詞について] ドイツ語の形容詞の用法について学び、変化させることができる。	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
6	[形容詞の比較・副詞的用法について] 比較・副詞的用法を学び、変化させることができる。	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
7	[分離動詞について] 分離動詞について学び、作文することができる。	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
8	[動詞の3基本形について] 動詞の3基本形について学び、変化させることができる。	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
9	[過去形の変化について] 過去形の変化について学び、人称変化させることができる。	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
10	[完了形について] ドイツ語の現在完了形について学び、作文することができる。	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
11	[完了形の用法について] 完了形の用法について学び、英語との違いを理解する。	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
12	[関係代名詞について] 関係代名詞について学び、作文することができる。	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
13	[受動態について] 受動態について学び、作文することができる。	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
14	[zu不定詞について] 不定詞について学び、和訳することができる。	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
15	[接続法について] 接続法について学び、用法を理解する。	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)
16	[レポートのプレゼンテーション]	前回の授業内容を確認すること。(45分)	授業の内容を復習しておくこと。(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎セミナル B (科目ナンバリング: BAS072046)				
授業担当者(所属・職名)	戸佐 晃一(経営学科・准教授)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 戸佐 晃一)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
本授業では、体力・形態測定を実施することで自己の体力を把握し足りない体力の強化に向けて、様々なトレーニング方法の応用的な理論と実践方法について学習する。また、生涯にわたって運動習慣を継続することで高齢になっても健康で長寿であることを目的とする。

授業の位置づけ
経営学科のDP「1(1)」、「1(2)」、「2(1)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(2)」、「1(3)」、「1(4)」、「1(5)」、「1(6)」、「1(7)」、「2(4)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(2)」、「1(3)」、「2(5)」に対応する。 建築学科のDP「1(2)」、「1(3)」、「2(5)」に対応する。

到達目標
各自、無理のない体力目標を設定し、様々なトレーニング方法の応用を理解し実践できることを目標とする。生涯を通じて定期的に運動する習慣を養う。

授業全体の内容と概要
体力測定、形態測定により自分の体の状態を知る。 様々な種類のトレーニングに関する応用理論を学び、正しいトレーニングの方法を学習する。

授業の方法
体育館、ウエイトトレーニング場を中心に授業を行う。様々なトレーニング方法をグループワークによる実践を通して、課題の発見や指摘をし合い、ディスカッションではタブレット、スマートフォンの活用をすることで正しい技術を習得できるように進めていく。レポートなどの解説のフィードバックを実施する。

アクティブラーニングの実施方法																					
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>○</td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>○ ディスカッション</td> <td>○</td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業	○ ディスカッション	○	実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL															
模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業															
○ ディスカッション	○	実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)															

履修上の注意事項
競技経験があり体力があること。遅刻は2回につき1回欠席とする。運動着、飲料水、上靴、タオルの用意。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
単位認定に必要な最低出席回数は、13回以上。												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>30%</td> <td>30%</td> <td>0%</td> <td>40%</td> <td>0%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	30%	30%	0%	40%	0%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	30%	30%	0%	40%	0%							

ルーブリック																																									
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> <tr> <td>ウエイトトレーニングの応用</td> <td>ウエイトトレーニングの応用が良くできている</td> <td>ウエイトトレーニングの応用がほぼできている</td> <td>ウエイトトレーニングの応用力がある程度できている</td> <td>ウエイトトレーニングの応用ができている</td> <td>ウエイトトレーニングの応用ができない</td> </tr> <tr> <td>体幹トレーニングの応用</td> <td>体幹トレーニングの応用が良くできている</td> <td>体幹トレーニングの応用がほぼできている</td> <td>体幹トレーニングの応用がある程度できている</td> <td>体幹トレーニングの応用ができている</td> <td>体幹トレーニングの応用ができない</td> </tr> <tr> <td>ラダートレーニングの応用</td> <td>ラダートレーニングの応用が良くできている</td> <td>ラダートレーニングの応用がほぼできている</td> <td>ラダートレーニングの応用がある程度できている</td> <td>ラダートレーニングの応用ができる</td> <td>ラダートレーニングの応用ができない</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	ウエイトトレーニングの応用	ウエイトトレーニングの応用が良くできている	ウエイトトレーニングの応用がほぼできている	ウエイトトレーニングの応用力がある程度できている	ウエイトトレーニングの応用ができている	ウエイトトレーニングの応用ができない	体幹トレーニングの応用	体幹トレーニングの応用が良くできている	体幹トレーニングの応用がほぼできている	体幹トレーニングの応用がある程度できている	体幹トレーニングの応用ができている	体幹トレーニングの応用ができない	ラダートレーニングの応用	ラダートレーニングの応用が良くできている	ラダートレーニングの応用がほぼできている	ラダートレーニングの応用がある程度できている	ラダートレーニングの応用ができる	ラダートレーニングの応用ができない												
評価項目		評価基準																																							
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
ウエイトトレーニングの応用	ウエイトトレーニングの応用が良くできている	ウエイトトレーニングの応用がほぼできている	ウエイトトレーニングの応用力がある程度できている	ウエイトトレーニングの応用ができている	ウエイトトレーニングの応用ができない																																				
体幹トレーニングの応用	体幹トレーニングの応用が良くできている	体幹トレーニングの応用がほぼできている	体幹トレーニングの応用がある程度できている	体幹トレーニングの応用ができている	体幹トレーニングの応用ができない																																				
ラダートレーニングの応用	ラダートレーニングの応用が良くできている	ラダートレーニングの応用がほぼできている	ラダートレーニングの応用がある程度できている	ラダートレーニングの応用ができる	ラダートレーニングの応用ができない																																				

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS072046)				
授業担当者(所属・職名)	戸佐 晃一(経営学科・准教授)		研究室所在	1号館2階	
単位数	1 (単位認定責任者: 戸佐 晃一)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	ガイダンス シラバスの説明	事前にシラバスを読んで確認しておく(45分)	ガイダンスの内容を理解しておく(45分)
2	ウエイトトレーニングの応用	ウエイトトレーニングの応用を確認しておく(45分)	学習内容を復習し理解しておく(45分)
3	ウエイトトレーニングの応用	ウエイトトレーニングの応用を確認しておく(45分)	学習内容を復習し理解しておく(45分)
4	ウエイトトレーニングの応用	ウエイトトレーニングの応用を確認しておく(45分)	学習内容を復習し理解しておく(45分)
5	ウエイトトレーニングの応用	ウエイトトレーニングの応用を確認しておく(45分)	学習内容を復習し理解しておく(45分)
6	ウエイトトレーニングの応用	ウエイトトレーニングの応用を確認しておく(45分)	学習内容を復習し理解しておく(45分)
7	体幹トレーニングの応用	体幹トレーニングの応用を確認しておく(45分)	学習内容を復習し理解しておく(45分)
8	体幹トレーニングの応用	体幹トレーニングの応用を確認しておく(45分)	学習内容を復習し理解しておく(45分)
9	体幹トレーニングの応用	体幹トレーニングの応用を確認しておく(45分)	学習内容を復習し理解しておく(45分)
10	ラダートレーニングの応用	ラダートレーニングの応用を確認しておく(45分)	学習内容を復習し理解しておく(45分)
11	ラダートレーニングの応用	ラダートレーニングの応用を確認しておく(45分)	学習内容を復習し理解しておく(45分)
12	ラダートレーニングの応用	ラダートレーニングの応用を確認しておく(45分)	学習内容を復習し理解しておく(45分)
13	体力測定	体力測定種目の確認をしておく(45分)	学習内容を復習し理解しておく(45分)
14	形態測定	形態測定種目の確認をしておく(45分)	学習内容を復習し理解しておく(45分)
15	まとめ	授業内容を振り返り確認しておく(45分)	学習内容を復習し理解しておく(45分)
16	フィードバック	体力・形態測定結果を確認しておく(45分)	学習内容を復習し理解しておく(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS072046)				
授業担当者(所属・職名)	米野 宏 (経営学科・准教授)	研究室所在	1号館3階		
単位数	1 (単位認定責任者: 米野 宏)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	教育機関における体育・健康・スポーツ関係の授業経験を活かし、学生の教養の基礎を指導する。		

概要

履修目標	大学での勉強を進めるにあたり、必要となる文章読解力のほか、コミュニケーション能力、ディスカッション能力、プレゼンテーション能力の向上をはかる。
------	---

授業の位置づけ	経営学科のDP「1(4)、(5)」、「2(3)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(2)、(3)」、「(4)」、「(5)」、「(6)」、「(7)」、「2(4)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(2)、(3)」、「2(5)」に対応する。 建築学科のDP「1(2)、(3)」、「2(5)」に対応する。
---------	--

到達目標	グループ内でのコミュニケーションを図ることができ、リーダーシップを発揮できる。 テーマに基づきプレゼンテーションを行うことができる。
------	---

授業全体の内容と概要	授業の前半は、レポートを作成し発表する。また、発表に対して討議したり、ディスカッションを行う。 後半は、特定のテーマで実践発表を行い、反省やディスカッションも行う。グループディスカッションやプレゼンテーションの題材として、新聞やインターネットによるニュース等を提供しながら実施する。プレゼンテーションの方法については、授業のなかで学びとともに説明する。 人前で話すための準備をし、解り易く、興味深い内容を考える。
------------	--

授業の方法	小論文、レポートの書き方については、板書または資料にて説明する。提出されたレポートについては、添削及び内容の評価とともにフィードバックする。 グループディスカッションやプレゼンテーションの題材として、新聞やインターネットによるニュース等を提供しながら実施する。プレゼンテーションの方法については、授業のなかで学びとともに説明する。
-------	--

アクティブラーニングの実施方法							
<input type="checkbox"/>	プレゼンテーション	<input type="checkbox"/>	グループワーク	<input type="checkbox"/>	フィールドワーク	<input type="checkbox"/>	PBL
<input type="checkbox"/>	模擬授業	<input type="checkbox"/>	ロールプレイ	<input type="checkbox"/>	調査学習	<input type="checkbox"/>	反転授業
<input type="checkbox"/>	ディスカッション	<input type="checkbox"/>	実験・実習・実技	<input type="checkbox"/>	双方向授業	<input type="checkbox"/>	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項	20分以上遅刻は欠席扱いとする。 対話する機会が多いので、積極的な発言や能動的な授業態度で臨んでほしい。
----------	---

資格指定科目	
--------	--

評価方法・基準

評価前提条件	単位認定に必要な最低出席回数は、13回以上。					
評価方法	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
	0%	10%	10%	0%	70%	10%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
コミュニケーション能力	仲間とのコミュニケーションを図る方法がとて巧みにおこなえた。	仲間とコミュニケーションを図ることが比較的巧みであった。	仲間とコミュニケーションを図ることが普通にできた。	仲間とコミュニケーションを図ることが上手ではないが努力した。	仲間とコミュニケーションを図ることがとても苦手であった。
ディスカッション能力	討議の中で、対話を巧みにでき、リーダーシップも取られた。	討議の中で、対話を巧みにでき、リーダーシップもまます取れた。	討議の中で、対話を巧みにできたが、リーダーシップをとるまではいかなかった。	討議の中で、対話をするのが普通にできた。	討議の中で、対話することが苦手で、ほとんど受け身であった。
プレゼンテーション能力	パワーポイント等を巧みに使い、解り易く、興味深い内容でプレゼンテーションを行った。	パワーポイント等を使い、比較的解り易く、興味深い内容でプレゼンテーションを行った。	パワーポイント等を使い、解り易くプレゼンテーションを行った。	パワーポイント等を使い、プレゼンテーションを行ったが、多少伝わらなかつた。	プレゼンテーションの準備がほとんどできていなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS072046)				
授業担当者(所属・職名)	米野 宏(経営学科・准教授)	研究室所在	1号館3階		
単位数	1 (単位認定責任者: 米野 宏)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	教育機関における体育・健康・スポーツ関係の授業経験を活かし、学生の教養の基礎を指導する。		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	ガイダンス(シラバスの説明)	事前にシラバスを読んで確認する。(45分)	注意事項を再度確認する。(45分)
2	レポート作成(高齢者とスポーツ)	シラバスを読んで確認と準備をする。(45分)	ノートに記載された内容を確認する。(45分)
3	レポートの発表とディスカッション 1(高齢者とスポーツ)	シラバスを読んで確認と準備をする。(45分)	ノートに記載された内容を確認する。(45分)
4	レポートの発表とディスカッション 2(高齢者とスポーツ)	シラバスを読んで確認と準備をする。(45分)	ノートに記載された内容を確認する。(45分)
5	レポートの発表とディスカッション 3(高齢者とスポーツ)	シラバスを読んで確認と準備をする。(45分)	ノートに記載された内容を確認する。(45分)
6	ニューススポーツの実践発表準備 1(新しい高齢者スポーツ)	シラバスを読んで確認と準備をする。(45分)	ノートに記載された内容を確認する。(45分)
7	ニューススポーツの実践発表準備 2(新しい高齢者スポーツ)	シラバスを読んで確認と準備をする。(45分)	ノートに記載された内容を確認する。(45分)
8	ニューススポーツの実践発表準備 3(新しい高齢者スポーツ)	シラバスを読んで確認と準備をする。(45分)	ノートに記載された内容を確認する。(45分)
9	ニューススポーツの実践発表 1(新しい高齢者スポーツ)	シラバスを読んで確認と準備をする。(45分)	ノートに記載された内容を確認する。(45分)
10	ニューススポーツの実践発表 2(新しい高齢者スポーツ)	シラバスを読んで確認と準備をする。(45分)	ノートに記載された内容を確認する。(45分)
11	ニューススポーツの実践発表 3(新しい高齢者スポーツ)	シラバスを読んで確認と準備をする。(45分)	ノートに記載された内容を確認する。(45分)
12	ニューススポーツの実践発表 4(新しい高齢者スポーツ)	シラバスを読んで確認と準備をする。(45分)	ノートに記載された内容を確認する。(45分)
13	ニューススポーツの実践発表 5(新しい高齢者スポーツ)	シラバスを読んで確認と準備をする。(45分)	ノートに記載された内容を確認する。(45分)
14	ニューススポーツの実践発表 6(新しい高齢者スポーツ)	シラバスを読んで確認と準備をする。(45分)	ノートに記載された内容を確認する。(45分)
15	ニューススポーツの実践発表 7(新しい高齢者スポーツ)	シラバスを読んで確認と準備をする。(45分)	ノートに記載された内容を確認する。(45分)
16	ふりかえり	ノートに記載された内容を再度確認する。	評価等に関する解説を確認する。(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS072046)				
授業担当者(所属・職名)	佐藤 和裕 (経営学科・准教授)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 佐藤 和裕)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり 左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	学校現場における教員経験がある教員がその経験を活かして、将来に向け健康で豊かな生活を営んでいくための基礎を指導する。			

概要

履修目標
競技スポーツ及び、健康のための基礎的トレーニングを基礎ゼミナール A、Bより更に深く学び、個人に必要なトレーニングを自ら実践出来るように、メンタルトレーニングを取り入れながら実践していく。また、学生と教員双方の人間関係を構築しコミュニケーション能力を高め、併せて快適な学生生活及び基本的な生活習慣を身につける。

授業の位置づけ
経営学科のDP「1(1)」、「1(2)」、「2(1)」、「2(3)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(2)」、「1(4)」、「2(4)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(1)」、「1(3)」に対応する。 建築学科のDP「1(1)」、「2(3)」に対応する。

到達目標
競技及び個人の特性を理解し、自らの競技スポーツや健康の保持増進に一層深い関心を持ってメンタルな強化も含め、安全にトレーニングすることができる。

授業全体の内容と概要
基礎ゼミナール A、を基に、メンタルトレーニングをどのように取り入れていくかなど、自らの競技力向上と健康の保持増進のために必要なトレーニングを見つけて出し実践する。

授業の方法
授業は配布資料で実施し、トレーニングなどのDVDも活用しながら講義形式で行う。授業によってはグループワークで思考・考察・発表を行い学習していく。レポートにはコメントにてフィードバックする。さらに、実技に関しては基礎的なトレーニングの特性を理解し学習したことを実際に怪我に注意を払いながら実施していく。

アクティブラーニングの実施方法																					
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>○</td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td>○</td> <td>実験・実習・実技</td> <td>○</td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業	ディスカッション	○	実験・実習・実技	○	双方向授業		その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL															
模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業															
ディスカッション	○	実験・実習・実技	○	双方向授業		その他(授業の方法参照)															

履修上の注意事項
ラグビー部に所属の学生を対象とする。基本的にジャージや屋内運動靴を必ず用意する。注意事項の詳細はガイダンスで指示する。健康上の理由で医師から運動を停止されている者は、申し出の上指示を受けること。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
単位認定に必要な最低出席回数は、13回以上。												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>30%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>50%</td> <td>20%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	30%	0%	0%	50%	20%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	30%	0%	0%	50%	20%							

ルーブリック																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>関心・意欲・態度</td> <td>自ら進んで行動や役割を果たすことができ、とても意欲的に取り組み、且つ安全に細心の注意を払うことができた。</td> <td>積極的に行動や役割を果たすことができ、意欲的に取り組み、安全に注意を払うことができた。</td> <td>行動の仕方を守り役割を果たすことができ、普通に取り組み安全に注意を払うことができた。</td> <td>行動の仕方を守らず役割を果たしていないときがあったが、安全に注意を払うことができた。</td> <td>行動の仕方を守らず役割を果たさず意欲もまったくなく、安全に注意を払うことができなかった。</td> </tr> <tr> <td>知識・理解</td> <td>トレーニングとメンタルトレーニングの基礎的な知識を持ち、それぞれの領域の持つ見方について説明することができ、実践的に活用できた。</td> <td>トレーニングとメンタルトレーニングの基礎的な知識を持ち、多様な領域からの見解を深く理解できていて、適切に活用できた。</td> <td>トレーニングとメンタルトレーニングの基礎的な知識の見解を一定程度理解できていて、活用できた。</td> <td>トレーニングとメンタルトレーニングの基礎的な知識の見解をあまり深く理解できていないが、活用できた。</td> <td>トレーニングとメンタルトレーニングの基礎的な知識の見解をまったく理解できていなく、その獲得、修得に取り組むことができなかった。</td> </tr> <tr> <td>計画・実行力</td> <td>達成目標を設定し、創造的思考を持って趣味的計画を立て、その計画に沿って実行できた。</td> <td>達成目標を設定した計画を立てることができ、計画に沿って7割程度できた。</td> <td>達成目標を設定し、計画を立てて5割程度できた。</td> <td>達成目標が曖昧ではあったが、計画を立てて3割程度できた。</td> <td>計画を立てることができなく、達成目標もなく、まったくできなかった。</td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	関心・意欲・態度	自ら進んで行動や役割を果たすことができ、とても意欲的に取り組み、且つ安全に細心の注意を払うことができた。	積極的に行動や役割を果たすことができ、意欲的に取り組み、安全に注意を払うことができた。	行動の仕方を守り役割を果たすことができ、普通に取り組み安全に注意を払うことができた。	行動の仕方を守らず役割を果たしていないときがあったが、安全に注意を払うことができた。	行動の仕方を守らず役割を果たさず意欲もまったくなく、安全に注意を払うことができなかった。	知識・理解	トレーニングとメンタルトレーニングの基礎的な知識を持ち、それぞれの領域の持つ見方について説明することができ、実践的に活用できた。	トレーニングとメンタルトレーニングの基礎的な知識を持ち、多様な領域からの見解を深く理解できていて、適切に活用できた。	トレーニングとメンタルトレーニングの基礎的な知識の見解を一定程度理解できていて、活用できた。	トレーニングとメンタルトレーニングの基礎的な知識の見解をあまり深く理解できていないが、活用できた。	トレーニングとメンタルトレーニングの基礎的な知識の見解をまったく理解できていなく、その獲得、修得に取り組むことができなかった。	計画・実行力	達成目標を設定し、創造的思考を持って趣味的計画を立て、その計画に沿って実行できた。	達成目標を設定した計画を立てることができ、計画に沿って7割程度できた。	達成目標を設定し、計画を立てて5割程度できた。	達成目標が曖昧ではあったが、計画を立てて3割程度できた。	計画を立てることができなく、達成目標もなく、まったくできなかった。
評価項目		評価基準																											
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																								
関心・意欲・態度	自ら進んで行動や役割を果たすことができ、とても意欲的に取り組み、且つ安全に細心の注意を払うことができた。	積極的に行動や役割を果たすことができ、意欲的に取り組み、安全に注意を払うことができた。	行動の仕方を守り役割を果たすことができ、普通に取り組み安全に注意を払うことができた。	行動の仕方を守らず役割を果たしていないときがあったが、安全に注意を払うことができた。	行動の仕方を守らず役割を果たさず意欲もまったくなく、安全に注意を払うことができなかった。																								
知識・理解	トレーニングとメンタルトレーニングの基礎的な知識を持ち、それぞれの領域の持つ見方について説明することができ、実践的に活用できた。	トレーニングとメンタルトレーニングの基礎的な知識を持ち、多様な領域からの見解を深く理解できていて、適切に活用できた。	トレーニングとメンタルトレーニングの基礎的な知識の見解を一定程度理解できていて、活用できた。	トレーニングとメンタルトレーニングの基礎的な知識の見解をあまり深く理解できていないが、活用できた。	トレーニングとメンタルトレーニングの基礎的な知識の見解をまったく理解できていなく、その獲得、修得に取り組むことができなかった。																								
計画・実行力	達成目標を設定し、創造的思考を持って趣味的計画を立て、その計画に沿って実行できた。	達成目標を設定した計画を立てることができ、計画に沿って7割程度できた。	達成目標を設定し、計画を立てて5割程度できた。	達成目標が曖昧ではあったが、計画を立てて3割程度できた。	計画を立てることができなく、達成目標もなく、まったくできなかった。																								

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎セミナー B (科目ナンバリング: BAS072046)				
授業担当者(所属・職名)	佐藤 和裕 (経営学科・准教授)		研究室所在	1号館2階	
単位数	1 (単位認定責任者: 佐藤 和裕)		CAP制		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容 学校現場における教員経験がある教員がその経験を活かして、将来に向け健康で豊かな生活を営んでいくための基礎を指導する。			

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	ガイダンス(シラバスの説明)	事前にシラバスを読んで確認しておく(45分)	ガイダンスの内容を理解しておく(45分)
2	基礎トレーニングとメンタルトレーニングの理解と習得	基礎トレーニングとメンタルトレーニングについて確認しておく(45分)	基礎トレーニングとメンタルトレーニングについて理解しておく(45分)
3	基礎トレーニングとメンタルトレーニングの理解と習得	基礎トレーニングとメンタルトレーニングについて確認しておく(45分)	基礎トレーニングとメンタルトレーニングについて理解しておく(45分)
4	基礎トレーニングとメンタルトレーニングの理解と習得	基礎トレーニングとメンタルトレーニングについて確認しておく(45分)	基礎トレーニングとメンタルトレーニングについて理解しておく(45分)
5	基礎トレーニングとメンタルトレーニングの理解と習得	基礎トレーニングとメンタルトレーニングについて確認しておく(45分)	基礎トレーニングとメンタルトレーニングについて理解しておく(45分)
6	基礎トレーニングとメンタルトレーニングの理解と習得	基礎トレーニングとメンタルトレーニングについて確認しておく(45分)	基礎トレーニングとメンタルトレーニングについて理解しておく(45分)
7	基礎トレーニングとメンタルトレーニングの理解と習得	基礎トレーニングとメンタルトレーニングについて確認しておく(45分)	基礎トレーニングとメンタルトレーニングについて理解しておく(45分)
8	基礎トレーニングとメンタルトレーニングの理解と習得	基礎トレーニングとメンタルトレーニングについて確認しておく(45分)	基礎トレーニングとメンタルトレーニングについて理解しておく(45分)
9	トレーニングの実践	健康に留意し体調を整えておく(45分)	身体のケアを怠らない(45分)
10	トレーニングの実践	健康に留意し体調を整えておく(45分)	身体のケアを怠らない(45分)
11	トレーニングの実践	健康に留意し体調を整えておく(45分)	身体のケアを怠らない(45分)
12	トレーニングの実践	健康に留意し体調を整えておく(45分)	身体のケアを怠らない(45分)
13	トレーニングの実践	健康に留意し体調を整えておく(45分)	身体のケアを怠らない(45分)
14	トレーニングの実践	健康に留意し体調を整えておく(45分)	身体のケアを怠らない(45分)
15	トレーニングの実践	健康に留意し体調を整えておく(45分)	身体のケアを怠らない(45分)
16	まとめ	生涯スポーツとしての特性を理解しておく(45分)	生涯スポーツとしての基礎を理解する(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS072046)				
授業担当者(所属・職名)	伴 秀実(経営学科・特任教授)	研究室所在	1号館3階		
単位数	1 (単位認定責任者: 伴 秀実)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	企業における様々な経験を活かして、学生が身に着けるべき内容を解説する。		

概要

履修目標

「経営学」を本格的に勉強したい学生を対象に、理論と実践を融合させ、経営学のエッセンスを身に付ける。

授業の位置づけ

経営学科のDP「1(1)」、「1(2)」、「2(1)」に対応する。

到達目標

基礎的な経営学のフレームワーク理論と実践を理解する。

授業全体の内容と概要

経営学のフレームワーク理論と実践を理解してもらう。

授業の方法

各回の授業の中で、テーマに沿った議論を行い、きちんとした理論の展開を口頭でも文章でもできるように訓練することを旨とする。ディスカッションで得た内容を忘れないようにデータベース化し、フィードバックに関しては個々に行ったり全体に対して行うなど毎回趣向を凝らす。フィールドワークにも挑戦してもらいフィードバックはゼミの中で全員で行う。

アクティブラーニングの実施方法

	プレゼンテーション		グループワーク	○	フィールドワーク		PBL
	模擬授業		ロールプレイ	○	調査学習		反転授業
○	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

参考文献として「日経ビジネス」を利用する。

資格指定科目

--	--	--	--	--	--	--	--

評価方法・基準

評価前提条件

単位認定に必要な最低出席回数は、13回以上。

評価方法

定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	50%	50%	0%	0%	0%

ルーブリック

評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
知識・技能	知識・技能を得るために十分積極的に活動した。	知識・技能を得るための活動は、やや積極性を欠くものの十分な姿勢を見せた。	知識・技能を得るための通常の活動は、ある程度こなすことができた。	知識・技能を得るための最低限の活動を行った。	知識・技能を得るための最低限の活動が見られなかった。
思考力・判断力・表現力	積極的に授業に取り組み、経営学部生として実社会で対応し得る様々なスキルを学び、経営学部において学んだ内容を以って社会に貢献するための努力をしていた。	各回の授業に真摯に取り組み、経営学部生として十分な実践力の獲得に向けた理解が深まりつつあった。	各回の授業に取り組み、考え方や問題解決に対する努力が見られた。	授業にまじめに取り組み、経営学部生としての日常活動を実社会につなげるための努力は認められるがなかなか定着していなかった。	授業への取り組みが不十分で、本学経営学部生としての知識の獲得に対する前向きな姿勢が見られなかった。
主体性	自分のみならず周囲の学生も巻き込みながら授業に取り組み、余った時間をさらなる研究・理解に振り分け本学経営学部生としての自覚が出来上がっていた。	授業中の質問が多く、与えられた問題解決への相談も常であり経営学部生としての活動を実社会で生かすことに關して前向きで、努力が窺えた。	積極性は乏しいものの、不明点を質問するなど前向きな姿勢が窺えた。	何とか授業はこなすものの、不明点を質問したりすることはなく、日々の活動も受動的であった。	自分から進んで経営学部生としての内容を身につけようとする姿勢が見られなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等

No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『日経ビジネス』		日経BP			
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS072046)				
授業担当者(所属・職名)	伴 秀実(経営学科・特任教授)		研究室所在	1号館3階	
単位数	1 (単位認定責任者: 伴 秀実)		CAP制		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	企業における様々な経験を活かして、学生が身に着けるべき内容を解説する。		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	企業の課題分析 シラバスの説明	指定された内容の準備完了を確認する。(45分)	授業の振り返りを行う。(45分)
2	企業の課題分析	指定された内容の準備完了を確認する。(45分)	授業の振り返りを行う。(45分)
3	企業の課題分析	指定された内容の準備完了を確認する。(45分)	授業の振り返りを行う。(45分)
4	企業の課題分析	指定された内容の準備完了を確認する。(45分)	授業の振り返りを行う。(45分)
5	企業の課題分析と代替案	指定された内容の準備完了を確認する。(45分)	授業の振り返りを行う。(45分)
6	企業の課題分析と代替案	指定された内容の準備完了を確認する。(45分)	授業の振り返りを行う。(45分)
7	企業の課題分析と代替案	指定された内容の準備完了を確認する。(45分)	授業の振り返りを行う。(45分)
8	企業の課題分析と代替案	指定された内容の準備完了を確認する。(45分)	授業の振り返りを行う。(45分)
9	レポート課題	指定された内容の準備完了を確認する。(45分)	授業の振り返りを行う。(45分)
10	レポート課題	指定された内容の準備完了を確認する。(45分)	授業の振り返りを行う。(45分)
11	レポート課題	指定された内容の準備完了を確認する。(45分)	授業の振り返りを行う。(45分)
12	レポート課題	指定された内容の準備完了を確認する。(45分)	授業の振り返りを行う。(45分)
13	実績発表	指定された内容の準備完了を確認する。(45分)	授業の振り返りを行う。(45分)
14	実績発表	指定された内容の準備完了を確認する。(45分)	授業の振り返りを行う。(45分)
15	実績発表	指定された内容の準備完了を確認する。(45分)	授業の振り返りを行う。(45分)
16	後期ゼミ活動総括および年間振り返り	指定された内容の準備完了を確認する。(45分)	後期全体および年間の振り返りを行う。(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS072046)				
授業担当者(所属・職名)	中川 純二(経営学科・准教授)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 中川 純二)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	学校現場における教員経験がある教員がその経験を活かして、将来に向け健康で豊かな生活を営んでいくための基礎を指導する。		

概要

履修目標	余暇時間の増大や高齢化が進む中で、自分自身の人生をより豊かで充実したものにするために、スポーツは非常に重要な役割を果たすと考えられる。本授業では、トレーニングの理論と実践を通じ、生涯にわたって定期的に体を動かす習慣を養うことを目的とする。
------	---

授業の位置づけ	経営学科のDP「1(3)」、「1(4)」、「1(5)」、「2(1)」、「2(3)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(2)」、「1(4)」、「2(4)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(1)」、「2(5)」に対応する。 建築学科のDP「1(1)」、「2(3)」に対応する。
---------	--

到達目標	栄養・運動・休養に関する基礎的知識を身につける。 自らの体力・自様に応じたトレーニングプログラムを組み立てる。 生涯を通じて定期的に運動する習慣を養う。
------	--

授業全体の内容と概要	体力測定、形態測定により自分の体の状態を知る。 正しいトレーニング理論を学び、体を動かす重要性、楽しさを学ぶ。 栄養学を学ぶ。
------------	---

授業の方法	授業はトレーニングの実技が中心となるが、トレーニング方法についてグループで研究を行い、各自に適しているトレーニング方法を継続的に実践できるよう実施していく。
-------	--

アクティブラーニングの実施方法						
	プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク	PBL
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習	反転授業
	ディスカッション	○	実験・実習・実技		双方向授業	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項	柔道部に所属の学生を対象とする。体育館・ウエイトトレーニング場を中心に授業を行うので、ジャージ・屋内用トレーニングシューズを用意すること。 怪我や健康上の理由がある者は、事前に申し出ること。
----------	--

資格指定科目	
--------	--

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な最低出席回数は、11回以上					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	10%	0%	0%	60%	30%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
関心・意欲・態度	自ら進んで行動や役割を果たすことができ、何事にも意欲的に取り組み、かつ安全に細心の注意を払うことができた。	積極的に行動や役割を果たすことができ、意欲的に取り組み、安全に注意を払うことができた。	行動の仕方を守り、役割を果たすことができ、指示通り取り組み安全に注意を払っていた。	行動の仕方を守らず役割を果たそうとしない時があり、意欲もなく安全に注意を払っていないかった。	行動の仕方を守らず役割を果たせず、意欲もまったくなく、安全に配慮ができなかった。
知識・理解	トレーニング・栄養学の基礎知識を十分持ち、それぞれの領域においても十分理解し、実践的に活用できた。	トレーニング・栄養学の基礎知識を持ち、各領域においても深く理解し、適切に活用できた。	トレーニング・栄養学の基礎知識をある程度理解し、活用することができた。	トレーニング・栄養学の基礎知識が少なく、活用することができなかった。	トレーニング・栄養学の基礎知識が全くなく、取り組みが全くみられなかった。
知識・理解	トレーニング・栄養学の基礎知識を十分持ち、それぞれの領域においても十分理解し、実践的に活用できた。	トレーニング・栄養学の基礎知識を持ち、各領域においても深く理解し、適切に活用できた。	トレーニング・栄養学の基礎知識をある程度理解し、活用することができた。	トレーニング・栄養学の基礎知識が少なく、活用することができなかった。	トレーニング・栄養学の基礎知識が全くなく、取り組みが全くみられなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS072046)				
授業担当者(所属・職名)	中川 純二(経営学科・准教授)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 中川 純二)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	学校現場における教員経験がある教員がその経験を活かして、将来に向け健康で豊かな生活を営んでいくための基礎を指導する。		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	オリエンテーション(シラバスの説明)	事前にシラバスを読んで確認しておく(45分)	ガイダンスの内容を理解する(45分)
2	体力測定、形態測定	体力測定の方法を確認しておく(45分)	体力測定の方法を理解する(45分)
3	最大学上重量測定1	最大学上重量測定の方法を確認しておく(45分)	最大学上重量測定の方法を理解する(45分)
4	最大学上重量測定2	最大学上重量測定の方法を確認しておく(45分)	最大学上重量測定の方法を理解する(45分)
5	身体組成と肥満	身体組成と肥満について確認しておく(45分)	身体組成と肥満について理解する(45分)
6	トレーニングプログラムの組み方及び各自の能力に合わせたトレーニング1	トレーニングプログラムの組み方を確認しておく(45分)	トレーニングプログラムの組み方を理解する(45分)
7	運動と体温調整	運動と体温調整について確認しておく(45分)	運動と体温調整について理解する(45分)
8	トレーニングプログラムの組み方及び各自の能力に合わせたトレーニング2	トレーニングプログラムの組み方を確認しておく(45分)	トレーニングプログラムの組み方を理解する(45分)
9	老化に伴う身体機能の変化	老化に伴う身体機能の変化を確認しておく(45分)	老化に伴う身体機能の変化を理解する(45分)
10	トレーニングプログラムの組み方及び各自の能力に合わせたトレーニング3	トレーニングプログラムの組み方を確認しておく(45分)	トレーニングプログラムの組み方を理解する(45分)
11	疲労の要因	疲労の要因について確認しておく(45分)	疲労の要因について理解する(45分)
12	トレーニングプログラムの組み方及び各自の能力に合わせたトレーニング4	トレーニングプログラムの組み方を確認しておく(45分)	トレーニングプログラムの組み方を理解する(45分)
13	メンタルトレーニング1	メンタルトレーニングの方法を確認しておく(45分)	メンタルトレーニングの方法を理解する(45分)
14	メンタルトレーニング2	メンタルトレーニングの方法を確認しておく(45分)	メンタルトレーニングの方法を理解する(45分)
15	最大学上重量測定3	最大学上重量測定の方法を確認しておく(45分)	最大学上重量測定の方法を理解する(45分)
16	まとめ	生涯トレーニングの特性を理解しておく(45分)	生涯トレーニングの特性を理解する(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS072046)				
授業担当者(所属・職名)	三嶋 康嗣(経営学科・専任講師)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 三嶋 康嗣)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	学校現場における教員経験のある教員がその経験を活かして、目的に応じた運動の特性、楽しさを学ぶ。		

概要

履修目標	現代社会における健康の位置づけを考え、運動が生産にわたりそれへどう寄与するかを学ぶ。からだの構造の基礎的知識を身につけることによって、合理的にパフォーマンスの向上をはかる。												
授業の位置づけ	経営学科のDP「1(1)」、「1(2)」、「2(1)」、「2(3)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(2)」、「1(4)」、「2(4)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(1)」、「1(5)」、「2(4)」に対応する。 建築学科のDP「1(1)」、「2(3)」に対応する。												
到達目標	各トレーニング方法の特性を理解し、競技に応じたトレーニング方法を組み立てることができる。												
授業全体の内容と概要	目的に応じた運動の特性、楽しさを学ぶ。												
授業の方法	からだの構造に関する基礎知識を踏まえ、体育館及びトレーニングルームにてトレーニングを実践しながら各トレーニングの特性の理解を深めていく。トレーニングの経過を観察記録し、各自記録結果をパワーポイント等にまとめ、グループワーク等で思考・考察、意見交換、討論、発表等一連の活動を行い学習する。												
アクティブラーニングの実施方法	<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>グループワーク</td> <td>フィールドワーク</td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td>ロールプレイ</td> <td>調査学習</td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td>実験・実習・実技</td> <td>双方向授業</td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL	模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業	ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL										
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業										
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)										
履修上の注意事項	研究室、体育館、トレーニング場で授業を行う。からだを動かすのに適した服装とする。(ジャージ等)												
資格指定科目													

評価方法・基準

評価前提条件	単位認定に必要な最低出席回数, 13回以上。					
評価方法	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
	0%	30%	0%	0%	0%	70%

ルーブリック	評価基準				
評価項目	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
関心・意欲・態度	自ら進んで行動や役割を果すことができ、とても意欲的に取り組み、目づ安全に細心の注意を払うことができた。	積極的に行動や役割を果すことができ、意欲的に取り組み、安全に注意を払うことができた。	行動の仕方を守り役割を果すことができ、普通に取り組み安全に注意を払っていた。	行動の仕方を守らず役割を果そうとしないときがあり、意欲もなく安全に注意を払っていないかった。	行動の仕方を守らず役割を果さなく意欲もまったくなく、安全に注意を払っていないかった。
知識・理解	からだの構造を理解し、運動との結びつきに及んでいた。	からだの構造を理解していた。	からだの構造を概ね理解していた。	からだの構造をある程度理解していた。	からだの構造を理解していなかった。
計画・実行	計画を立てることができた。その計画に沿って実行でき、達成目標がほぼ全てクリアされていた。	計画を立てることができた。達成目標は7割程度であった。	計画を立てることができた。達成目標は5割程度であった。	計画を立てることができた。達成目標は3割程度であった。	計画を立てることができなかった。達成目標が設定されていないため行動がみられなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書	No 書籍名 著者 出版社 出版年 ISBN 備考					
	1					
	2					
	3					
	4					
	5					
参考文献・資料等	No 書籍名 著者 出版社 出版年 ISBN 備考					
	1					
	2					
	3					
	4					
	5					

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS072046)				
授業担当者(所属・職名)	三嶋 康嗣(経営学科・専任講師)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 三嶋 康嗣)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	学校現場における教員経験のある教員がその経験を活かして、目的に応じた運動の特性、楽しさを学ぶ。		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	オリエンテーション(シラバスの説明)	事前にシラバスを読んでおく(45分)	オリエンテーションの内容を理解しておく(45分)
2	各トレーニングの特性(瞬発系トレーニング)	トレーニング方法を調べておく(45分)	トレーニングの特性を確認しておく(45分)
3	各トレーニングの特性(持久系トレーニング)	トレーニング方法を調べておく(45分)	トレーニングの特性を確認しておく(45分)
4	各トレーニングの特性(サーキットトレーニング)	トレーニング方法を調べておく(45分)	トレーニングの特性を確認しておく(45分)
5	トレーニング実技(ウエイトトレーニング・上肢)	体調を整えて(45分)おく	トレーニング後の変化を観察しておく(45分)
6	トレーニング実技(ウエイトトレーニング・頭部及び体幹)	体調を整えておく(45分)	トレーニング後の変化を観察しておく(45分)
7	トレーニング実技(ウエイトトレーニング・下肢)	体調を整えておく(45分)	トレーニング後の変化を観察しておく(45分)
8	トレーニング実技(ウエイトトレーニング・上肢)	体調を整えておく(45分)	トレーニング後の変化を観察しておく(45分)
9	トレーニング実技(ウエイトトレーニング・頭部及び体幹)	体調を整えておく(45分)	トレーニング後の変化を観察しておく(45分)
10	トレーニング実技(ウエイトトレーニング・下肢)	体調を整えておく(45分)	トレーニング後の変化を観察しておく(45分)
11	トレーニング実技(瞬発系トレーニング)	体調を整えておく(45分)	トレーニング後の変化を観察しておく(45分)
12	トレーニング実技(持久系トレーニング)	体調を整えておく(45分)	トレーニング後の変化を観察しておく(45分)
13	トレーニング実技(サーキットトレーニング)	体調を整えておく(45分)	トレーニング後の変化を観察しておく(45分)
14	トレーニングの組み立て	トレーニングの組み立て方を調べておく(45分)体調を整えておく(45分)	トレーニングの組み立て方を確認しておく(45分)
15	トレーニングの組み立て	トレーニングの組み立て方を調べておく(45分)体調を整えておく(45分)	トレーニングの組み立て方を確認しておく(45分)
16	まとめ	トレーニングの実施内容と効果をまとめておく(45分)	トレーニング効果を確認しておく(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎セミナー B (科目ナンバリング: BAS072046)				
授業担当者(所属・職名)	井坂 肇(経営学科・助教)		研究室所在	1号館3階	
単位数	1 (単位認定責任者: 井坂 肇)		CAP制		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標																					
競技力向上のためにトレーニング科学とその実践方法について理解する。																					
授業の位置づけ																					
経営学科のDP「1(1)と(2)」、「2(1)と(3)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(2)と(4)」、「1(4)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(1)」、「2(5)」に対応する。 建築学科のDP「1(1)」、「2(3)」に対応する。																					
到達目標																					
トレーニング科学について理解できる。 トレーニングを実践できる。 トレーニングについて自ら調べることができる。																					
授業全体の内容と概要																					
NSCAの発行しているテキストを参考にしながらトレーニング科学とその実践方法についての理解を深めていく。計画を立てパフォーマンスの向上を確認する。最適なトレーニング方法について議論しながら進めていく。																					
授業の方法																					
プリントや資料を配布する。 実技を通して実践知を得ながら、その成果をグループワークやディスカッションを通して互いに確認し合う。																					
アクティブラーニングの実施方法																					
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>○</td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>○ ディスカッション</td> <td>○</td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業	○ ディスカッション	○	実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL															
模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業															
○ ディスカッション	○	実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)															
履修上の注意事項																					
積極的に授業に参加すること。																					
資格指定科目																					

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な最低出席回数は、13回以上					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	0%	0%	0%	60%	40%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
トレーニング科学の理解	トレーニング科学を理解したうえで、日毎、短期、長期それぞれの適切なプログラムを組んでいた。さらには他者のプログラムも組めるようになった。	トレーニング科学を理解したうえで、日毎、短期、長期それぞれの適切なプログラムを組んでいた。	トレーニング科学を理解したうえで、日毎の適切なプログラムを組んでいた。	トレーニング科学を理解していた。	トレーニング科学を理解していなかった。
トレーニングの実践	トレーニングを実践しパフォーマンスが向上し、さらには原因と結果の分析が出来ていた。また、他者と共同してトレーニングを行うことができた。	トレーニングを実践しパフォーマンスが向上し、さらには原因と結果の分析が出来ていた。	トレーニングを実践し、パフォーマンスが向上していた。	トレーニングを実践していた。	トレーニングを実践していなかった。
トレーニング情報の収集	トレーニング情報法の収集をし、プログラムに反映するとともに、体系的にまとめていた。さらには複数の分野を関連付けて理解できていた。	トレーニング情報法の収集をし、プログラムに反映するとともに、体系的にまとめていた。	トレーニング情報の収集をし、プログラムに反映していた。	トレーニング情報の収集をしていた。	トレーニング情報の収集をしていなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	NSCA決定版 ストレングストレーニング&コンディショニング	Thomas R. Baechle 著	ブックハウス・エイチディ	2010	978-4938335649	
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS072046)				
授業担当者(所属・職名)	井坂 肇(経営学科・助教)		研究室所在	1号館3階	
単位数	1 (単位認定責任者: 井坂 肇)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	ガイダンス: シラバスの説明	事前にシラバスを読んで確認しておく(45分)	ガイダンスの内容を理解しておく(45分)
2	トレーニングの理解1: レジスタンスエクササイズ のバイオメカニクス	学習内容に関連する事柄について調べておく(45分)	学習内容について振り返りまとめておく(45分)
3	トレーニングの理解2: 運動とトレーニングの生体 エネルギー論	学習内容に関連する事柄について調べておく(45分)	学習内容について振り返りまとめておく(45分)
4	トレーニングの理解3: レジスタンストレーニング	学習内容に関連する事柄について調べておく(45分)	学習内容について振り返りまとめておく(45分)
5	トレーニングの理解4: プライオメトリック	学習内容に関連する事柄について調べておく(45分)	学習内容について振り返りまとめておく(45分)
6	トレーニングの理解5: スピードおよびアジリティ	学習内容に関連する事柄について調べておく(45分)	学習内容について振り返りまとめておく(45分)
7	トレーニングの理解6: 有酸素性持久力	学習内容に関連する事柄について調べておく(45分)	学習内容について振り返りまとめておく(45分)
8	トレーニングの確認	学習内容に関連する事柄について調べておく(45分)	学習内容について振り返りまとめておく(45分)
9	トレーニングの実践1: テストの選択と実施	学習内容に関連する事柄について調べておく(45分)	学習内容について振り返りまとめておく(45分)
10	トレーニングの実践2: プログラムデザイン	学習内容に関連する事柄について調べておく(45分)	学習内容について振り返りまとめておく(45分)
11	トレーニングの実践3: ウォームアップと柔軟性 トレーニング1	学習内容に関連する事柄について調べておく(45分)	学習内容について振り返りまとめておく(45分)
12	トレーニングの実践4: 柔軟性トレーニング2	学習内容に関連する事柄について調べておく(45分)	学習内容について振り返りまとめておく(45分)
13	トレーニングの実践5: 柔軟性トレーニング3	学習内容に関連する事柄について調べておく(45分)	学習内容について振り返りまとめておく(45分)
14	トレーニングの実践6: 栄養戦略	学習内容に関連する事柄について調べておく(45分)	学習内容について振り返りまとめておく(45分)
15	トレーニングの実践7: サプリメント	学習内容に関連する事柄について調べておく(45分)	学習内容について振り返りまとめておく(45分)
16	まとめ	講義全体を振り返り質問事項をまとめておく(45分)	学習内容について振り返りまとめておく(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目		対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	後期		授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS072046)					
授業担当者(所属・職名)	近澤 潤 (経営学科・専任講師)		研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 近澤 潤)		CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	民間企業での実務経験を活かし、現実感のある実体験や事例を紹介することで、社会人として必要なスキルの重要性を訴求し、その習得を促す。			

概要

履修目標
グループワークを基本とした様々な演習課題や事例研究、学内外のプロジェクト活動を通して「前に踏み出す力」(主体性・働きかけ力・実行力)・「考え抜く力」(課題発見力・計画力・創造力)・「チームで働く力」(発信力・傾聴力・柔軟性・状況把握力・規律性・ストレスコントロール力)を修得する。

授業の位置づけ
経営学科のDP「1(4)」、「1(5)」、「2(3)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(3)」、「1(4)」、「1(5)」、「1(6)」、「1(7)」、「2(4)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(2)」、「1(3)」、「1(5)」に対応する。 建築学科のDP「1(2)」、「1(3)」、「1(5)」に対応する。

到達目標
失敗を恐れず、自分にとって困難な場面においても打開することを諦めず、最後まで前向きに取り組むことができる。 物事を多角的に分析し、発見した課題に対してどのように解決するかを考え抜くことができる。 グループの一員であることの自覚を踏まえ、多様な価値観を持つ人たちの意見を拒絶せず、柔軟な視点で物事を把握、適切な意見の発信を行うことで、グループメンバーとの良好な関係を構築できる。

授業全体の内容と概要
グループワークを基本とし、様々な演習課題や事例研究、学内外のプロジェクト活動を通して「チームで働く意義」「チームで働く難しさ」「円滑なコミュニケーションの重要性」について体感してもらい、グループワークの成果物として「レポート」「プレゼンテーション」「デザイン制作物(ポスター・チラシ・Webサイトデザイン・ムービー)」などのいずれかを、グループ単位で制作・発表する。

授業の方法
グループで取り組む演習課題や事例研究、学内外のプロジェクト活動開始時点では、その目的や最終目標、背景などについて資料等を提示しながら説明する。その後は、各グループでディスカッション等を行いながら、企画・計画の立案、目標設定、予算作成、調査、制作、発表、自己評価、改善、発表といったPDCサイクルを軸とする一連の工程を行う。取り組み場面では、都度アドバイスやフィードバックを行い、各グループが円滑に進むよう最低限サポートする。

アクティブラーニングの実施方法															
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td>グループワーク</td> <td>フィールドワーク</td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td>ロールプレイ</td> <td>調査学習</td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td>実験・実習・実技</td> <td>双方向授業</td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL		模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業		ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL											
	模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業											
	ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)											

履修上の注意事項
所属学科の制限は設けない。また、課題制作(デザイン制作)を行う場合は、全学科対応できるよう考慮した内容とする。評価については、チームでの取り組みの姿勢や態度を重視する(取り組んだ結果、失敗したとしても減点せず、取り組みのプロセスについて評価する)。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
単位認定に必要な最低出席回数は、13回以上とする。												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>30%</td> <td>0%</td> <td>70%</td> <td>0%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	0%	30%	0%	70%	0%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	0%	30%	0%	70%	0%							

ルーブリック																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあたるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前に踏み出す力</td> <td>一定の行動について、主体的に取り組み、周囲に働きかけて巻き込むことができた。</td> <td>一定の行動について、主体的に取り組み、周囲に働きかけて巻き込むことができた。</td> <td>一定の行動について、主体的に取り組み、少ないながらも周囲に働きかけて巻き込むことができた。</td> <td>一定の行動について主体的に取り組みることができた。</td> <td>ほぼ全ての行動について主体的に取り組むことができなかった。</td> </tr> <tr> <td>考え抜く力</td> <td>課題を発見し、見出した解決策の実行に向けた具体的なプロセスを考えることができた。</td> <td>課題を発見し、見出した解決策の実行に向けた具体的なプロセスを考えることができた。</td> <td>課題を発見し、解決策を見出すことができた。</td> <td>課題を発見することができた。</td> <td>課題を発見することができなかった。</td> </tr> <tr> <td>チームで働く力</td> <td>他の履修生の意見をしっかりと傾聴でき、お互いの立場や考え方を尊重して意見集約ができ、反対意見に対しても柔軟に対応することができた。</td> <td>他の履修生の意見をしっかりと傾聴でき、お互いの立場や考え方を尊重して意見集約することができた。</td> <td>他の履修生の意見をしっかりと傾聴することができた。</td> <td>他の履修生の意見を最低限傾聴することができた。</td> <td>他の履修生の意見を傾聴することができなかった。</td> </tr> <tr> <td>成果物の完成度(学習意欲)</td> <td>成果物(レポート・プレゼンテーション・デザイン制作)を、チームの一員として十分に関与し、主体的に行動し、完成させることができた。</td> <td>成果物(レポート・プレゼンテーション・デザイン制作)を、チームの一員として十分に関与し、完成させることができた。</td> <td>成果物(レポート・プレゼンテーション・デザイン制作)を、チームの一員として十分に関与し、完成させることができた。</td> <td>成果物(レポート・プレゼンテーション・デザイン制作)を、チームの一員として最低限関与し、完成させることができた。</td> <td>成果物(レポート・プレゼンテーション・デザイン制作)を、チームの一員として関与せず、完成させることができなかった。</td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあたるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	前に踏み出す力	一定の行動について、主体的に取り組み、周囲に働きかけて巻き込むことができた。	一定の行動について、主体的に取り組み、周囲に働きかけて巻き込むことができた。	一定の行動について、主体的に取り組み、少ないながらも周囲に働きかけて巻き込むことができた。	一定の行動について主体的に取り組みることができた。	ほぼ全ての行動について主体的に取り組むことができなかった。	考え抜く力	課題を発見し、見出した解決策の実行に向けた具体的なプロセスを考えることができた。	課題を発見し、見出した解決策の実行に向けた具体的なプロセスを考えることができた。	課題を発見し、解決策を見出すことができた。	課題を発見することができた。	課題を発見することができなかった。	チームで働く力	他の履修生の意見をしっかりと傾聴でき、お互いの立場や考え方を尊重して意見集約ができ、反対意見に対しても柔軟に対応することができた。	他の履修生の意見をしっかりと傾聴でき、お互いの立場や考え方を尊重して意見集約することができた。	他の履修生の意見をしっかりと傾聴することができた。	他の履修生の意見を最低限傾聴することができた。	他の履修生の意見を傾聴することができなかった。	成果物の完成度(学習意欲)	成果物(レポート・プレゼンテーション・デザイン制作)を、チームの一員として十分に関与し、主体的に行動し、完成させることができた。	成果物(レポート・プレゼンテーション・デザイン制作)を、チームの一員として十分に関与し、完成させることができた。	成果物(レポート・プレゼンテーション・デザイン制作)を、チームの一員として十分に関与し、完成させることができた。	成果物(レポート・プレゼンテーション・デザイン制作)を、チームの一員として最低限関与し、完成させることができた。	成果物(レポート・プレゼンテーション・デザイン制作)を、チームの一員として関与せず、完成させることができなかった。
評価項目		評価基準																																	
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあたるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																														
前に踏み出す力	一定の行動について、主体的に取り組み、周囲に働きかけて巻き込むことができた。	一定の行動について、主体的に取り組み、周囲に働きかけて巻き込むことができた。	一定の行動について、主体的に取り組み、少ないながらも周囲に働きかけて巻き込むことができた。	一定の行動について主体的に取り組みることができた。	ほぼ全ての行動について主体的に取り組むことができなかった。																														
考え抜く力	課題を発見し、見出した解決策の実行に向けた具体的なプロセスを考えることができた。	課題を発見し、見出した解決策の実行に向けた具体的なプロセスを考えることができた。	課題を発見し、解決策を見出すことができた。	課題を発見することができた。	課題を発見することができなかった。																														
チームで働く力	他の履修生の意見をしっかりと傾聴でき、お互いの立場や考え方を尊重して意見集約ができ、反対意見に対しても柔軟に対応することができた。	他の履修生の意見をしっかりと傾聴でき、お互いの立場や考え方を尊重して意見集約することができた。	他の履修生の意見をしっかりと傾聴することができた。	他の履修生の意見を最低限傾聴することができた。	他の履修生の意見を傾聴することができなかった。																														
成果物の完成度(学習意欲)	成果物(レポート・プレゼンテーション・デザイン制作)を、チームの一員として十分に関与し、主体的に行動し、完成させることができた。	成果物(レポート・プレゼンテーション・デザイン制作)を、チームの一員として十分に関与し、完成させることができた。	成果物(レポート・プレゼンテーション・デザイン制作)を、チームの一員として十分に関与し、完成させることができた。	成果物(レポート・プレゼンテーション・デザイン制作)を、チームの一員として最低限関与し、完成させることができた。	成果物(レポート・プレゼンテーション・デザイン制作)を、チームの一員として関与せず、完成させることができなかった。																														

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS072046)				
授業担当者(所属・職名)	近澤 潤(経営学科・専任講師)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 近澤 潤)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	民間企業での実務経験を活かし、現実感のある実体験や事例を紹介することで、社会人として必要なスキルの重要性を訴求し、その習得を促す。		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	【オリエンテーション】 シラバス、履修登録に関して説明する。	シラバスを確認する(45分)	履修登録結果を確認する(45分)
2	【ビギナーズセミナー】 これまでの単位修得状況や学修成績から、今後の学修への取り組み方について説明する。	学生便覧を読む(45分)	不明な点をまとめ、調べる(45分)
3	【ビギナーズセミナー】 これまでの単位修得状況や学修成績から、今後の学修への取り組み方について説明する。	学生便覧を読む(45分)	不明な点をまとめ、調べる(45分)
4	【プロジェクト活動】 学内外においてプロジェクト活動を行う。	前回までの授業内容を確認する(45分)	ここまでの授業内容を整理する(45分)
5	【プロジェクト活動】 学内外においてプロジェクト活動を行う。	前回までの授業内容を確認する(45分)	ここまでの授業内容を整理する(45分)
6	【プロジェクト活動】 学内外においてプロジェクト活動を行う。	前回までの授業内容を確認する(45分)	ここまでの授業内容を整理する(45分)
7	【プロジェクト活動】 学内外においてプロジェクト活動を行う。	前回までの授業内容を確認する(45分)	ここまでの授業内容を整理する(45分)
8	【プロジェクト活動】 学内外においてプロジェクト活動を行う。	前回までの授業内容を確認する(45分)	ここまでの授業内容を整理する(45分)
9	【プロジェクト活動】 学内外においてプロジェクト活動を行う。	前回までの授業内容を確認する(45分)	ここまでの授業内容を整理する(45分)
10	【プロジェクト活動】 学内外においてプロジェクト活動を行う。	前回までの授業内容を確認する(45分)	ここまでの授業内容を整理する(45分)
11	【プロジェクト活動】 学内外においてプロジェクト活動を行う。	前回までの授業内容を確認する(45分)	ここまでの授業内容を整理する(45分)
12	【プロジェクト活動】 学内外においてプロジェクト活動を行う。	前回までの授業内容を確認する(45分)	ここまでの授業内容を整理する(45分)
13	【プロジェクト活動】 学内外においてプロジェクト活動を行う。	前回までの授業内容を確認する(45分)	ここまでの授業内容を整理する(45分)
14	【プロジェクト活動】 学内外においてプロジェクト活動を行う。	前回までの授業内容を確認する(45分)	ここまでの授業内容を整理する(45分)
15	【プロジェクト活動(成果発表会)】 グループごとに取り組んだ内容について、プレゼンテーションを行う。	前回までの内容を確認する(45分)	フィードバックの内容を整理する(45分)
16	【まとめ・総評】	これまでの授業内容を確認する(45分)	フィードバックの内容を整理する(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS072046)				
授業担当者(所属・職名)	田畑 圭悟(経営学科・助教)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 田畑 圭悟)	CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
<p>競技スポーツ及び、健康のための基礎的トレーニングを基礎ゼミナール A、Bより更に深く学び、個人に必要なトレーニングを自ら実践出来るように、メンタルトレーニングを取り入れながら実践していく。また、学生と教員双方の人間関係を構築しコミュニケーション能力を高め、併せて快適な学生生活及び基本的な生活習慣を身につける。</p>

授業の位置づけ
<p>経営学科のDP「1(1)」、「1(2)」、「2(1)」、「2(3)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(2)」、「1(4)」、「2(4)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(1)」、「2(3)」に対応する。 建築学科のDP「1(1)」、「2(3)」に対応する。</p>

到達目標
<p>競技及び個人の特性を理解し、自らの競技スポーツや健康の保持増進に一層深い関心を持ってメンタルな強化も含め、安全にトレーニングすることができる。</p>

授業全体の内容と概要
<p>基礎ゼミナール A、を基に、メンタルトレーニングをどのように取り入れていくかなど、自らの競技力向上と健康の保持増進のために必要なトレーニングを見つけて出し実践する。</p>

授業の方法
<p>授業は配布資料で実施し、トレーニングなどのDVDも活用しながら講義形式で行う。授業によってはグループワークで思考・考察・発表を行い学習していく。レポートにはコメントにてフィードバックする。さらに、実技に関しては基礎的なトレーニングの特性を理解し学習したことを実際に怪我に注意を払いながら実施していく。</p>

アクティブラーニングの実施方法																					
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>○</td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td>○</td> <td>実験・実習・実技</td> <td>○</td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業	ディスカッション	○	実験・実習・実技	○	双方向授業		その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL															
模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業															
ディスカッション	○	実験・実習・実技	○	双方向授業		その他(授業の方法参照)															

履修上の注意事項
<p>陸上部に所属の学生を対象とする。基本的にジャージや屋内運動靴を必ず用意する。注意事項の詳細はガイダンスで指示する。健康上の理由で医師から運動を停止されている者は、申し出の上指示を受けること。</p>

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
<p>単位認定に必要な最低出席回数は、11回以上。</p>												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>30%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>50%</td> <td>20%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	30%	0%	0%	50%	20%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	30%	0%	0%	50%	20%							

ルーブリック																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主体的・協働的な学びの姿勢</td> <td>自ら進んで行動や役割を果たすことができ、とても意欲的に取り組み、且つ安全に細心の注意を払うことができた。</td> <td>積極的に行動や役割を果たすことができ、意欲的に取り組み、安全に注意を払うことができた。</td> <td>行動の仕方を守り役割を果たすことができ、普通に取り組み安全に注意を払っていた。</td> <td>行動の仕方を守らず役割を果たそうとしないときがあり、意欲もなく安全に注意を配っていなかった。</td> <td>行動の仕方を守らず役割を果たさなく意欲もまったくなく、安全に注意を配っていなかった。</td> </tr> <tr> <td>トレーニングの基礎知識の理解と実践</td> <td>トレーニングの基礎知識を持ち、それぞれの領域が持つ見方について説明することができ、実践的に活用できた。</td> <td>トレーニングの基礎知識を持ち、多様な領域からの見解を深く理解できていて適切に活用できた。</td> <td>トレーニングの基礎知識の見解を一定程度理解できていて、活用できた。</td> <td>トレーニングの基礎知識の見解をあまり深く理解できていなく、活用できるレベルになかった。</td> <td>トレーニングの基礎知識の見解をまったく理解できていなく、その獲得、修得に取り組んでいなかった。</td> </tr> <tr> <td>計画の策定と実行</td> <td>達成目標を設定し、創造的思考を持って趣味的計画を立て、その計画に沿って実行できた。</td> <td>達成目標を設定した計画を立てることができ、計画に沿って7割程度できた。</td> <td>達成目標を設定し、計画を立てて5割程度できた。</td> <td>計画を立てることができなが、達成目標が曖昧であり3割程度しかできなかった。</td> <td>計画を立てることができなく、達成目標もなく、まったくできなかった。</td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	主体的・協働的な学びの姿勢	自ら進んで行動や役割を果たすことができ、とても意欲的に取り組み、且つ安全に細心の注意を払うことができた。	積極的に行動や役割を果たすことができ、意欲的に取り組み、安全に注意を払うことができた。	行動の仕方を守り役割を果たすことができ、普通に取り組み安全に注意を払っていた。	行動の仕方を守らず役割を果たそうとしないときがあり、意欲もなく安全に注意を配っていなかった。	行動の仕方を守らず役割を果たさなく意欲もまったくなく、安全に注意を配っていなかった。	トレーニングの基礎知識の理解と実践	トレーニングの基礎知識を持ち、それぞれの領域が持つ見方について説明することができ、実践的に活用できた。	トレーニングの基礎知識を持ち、多様な領域からの見解を深く理解できていて適切に活用できた。	トレーニングの基礎知識の見解を一定程度理解できていて、活用できた。	トレーニングの基礎知識の見解をあまり深く理解できていなく、活用できるレベルになかった。	トレーニングの基礎知識の見解をまったく理解できていなく、その獲得、修得に取り組んでいなかった。	計画の策定と実行	達成目標を設定し、創造的思考を持って趣味的計画を立て、その計画に沿って実行できた。	達成目標を設定した計画を立てることができ、計画に沿って7割程度できた。	達成目標を設定し、計画を立てて5割程度できた。	計画を立てることができなが、達成目標が曖昧であり3割程度しかできなかった。	計画を立てることができなく、達成目標もなく、まったくできなかった。
評価項目		評価基準																											
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																								
主体的・協働的な学びの姿勢	自ら進んで行動や役割を果たすことができ、とても意欲的に取り組み、且つ安全に細心の注意を払うことができた。	積極的に行動や役割を果たすことができ、意欲的に取り組み、安全に注意を払うことができた。	行動の仕方を守り役割を果たすことができ、普通に取り組み安全に注意を払っていた。	行動の仕方を守らず役割を果たそうとしないときがあり、意欲もなく安全に注意を配っていなかった。	行動の仕方を守らず役割を果たさなく意欲もまったくなく、安全に注意を配っていなかった。																								
トレーニングの基礎知識の理解と実践	トレーニングの基礎知識を持ち、それぞれの領域が持つ見方について説明することができ、実践的に活用できた。	トレーニングの基礎知識を持ち、多様な領域からの見解を深く理解できていて適切に活用できた。	トレーニングの基礎知識の見解を一定程度理解できていて、活用できた。	トレーニングの基礎知識の見解をあまり深く理解できていなく、活用できるレベルになかった。	トレーニングの基礎知識の見解をまったく理解できていなく、その獲得、修得に取り組んでいなかった。																								
計画の策定と実行	達成目標を設定し、創造的思考を持って趣味的計画を立て、その計画に沿って実行できた。	達成目標を設定した計画を立てることができ、計画に沿って7割程度できた。	達成目標を設定し、計画を立てて5割程度できた。	計画を立てることができなが、達成目標が曖昧であり3割程度しかできなかった。	計画を立てることができなく、達成目標もなく、まったくできなかった。																								

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎セミナー B (科目ナンバリング: BAS072046)				
授業担当者(所属・職名)	田畑 圭悟(経営学科・助教)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 田畑 圭悟)	CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	ガイダンス(シラバスの説明)	事前にシラバスを読んで確認しておく(45分)	ガイダンスの内容を理解しておく(45分)
2	基礎トレーニングとメンタルトレーニングの理解と習得	基礎トレーニングとメンタルトレーニングについて確認しておく(45分)	基礎トレーニングとメンタルトレーニングについて理解しておく(45分)
3	基礎トレーニングとメンタルトレーニングの理解と習得	基礎トレーニングとメンタルトレーニングについて確認しておく(45分)	基礎トレーニングとメンタルトレーニングについて理解しておく(45分)
4	基礎トレーニングとメンタルトレーニングの理解と習得	基礎トレーニングとメンタルトレーニングについて確認しておく(45分)	基礎トレーニングとメンタルトレーニングについて理解しておく(45分)
5	基礎トレーニングとメンタルトレーニングの理解と習得	基礎トレーニングとメンタルトレーニングについて確認しておく(45分)	基礎トレーニングとメンタルトレーニングについて理解しておく(45分)
6	基礎トレーニングとメンタルトレーニングの理解と習得	基礎トレーニングとメンタルトレーニングについて確認しておく(45分)	基礎トレーニングとメンタルトレーニングについて理解しておく(45分)
7	基礎トレーニングとメンタルトレーニングの理解と習得	基礎トレーニングとメンタルトレーニングについて確認しておく(45分)	基礎トレーニングとメンタルトレーニングについて理解しておく(45分)
8	基礎トレーニングとメンタルトレーニングの理解と習得	基礎トレーニングとメンタルトレーニングについて確認しておく(45分)	基礎トレーニングとメンタルトレーニングについて理解しておく(45分)
9	トレーニングの実践	健康に留意し体調を整えておく(45分)	身体のケアを怠らない(45分)
10	トレーニングの実践	健康に留意し体調を整えておく(45分)	身体のケアを怠らない(45分)
11	トレーニングの実践	健康に留意し体調を整えておく(45分)	身体のケアを怠らない(45分)
12	トレーニングの実践	健康に留意し体調を整えておく(45分)	身体のケアを怠らない(45分)
13	トレーニングの実践	健康に留意し体調を整えておく(45分)	身体のケアを怠らない(45分)
14	トレーニングの実践	健康に留意し体調を整えておく(45分)	身体のケアを怠らない(45分)
15	トレーニングの実践	健康に留意し体調を整えておく(45分)	身体のケアを怠らない(45分)
16	まとめ	生涯スポーツとしての特性を理解しておく(45分)	生涯スポーツとしての基礎を理解する(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎セミナー B (科目ナンバリング: BAS072046)				
授業担当者(所属・職名)	篠原 諒介(経営学科・助教)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 篠原 諒介)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
動作の質的測定を行うためのシステム「ファンクショナルムーブメントスクリーン:FMA」と「セレクトティブ・ファンクショナルムーブメントアセスメント:SFMA」を理解する。

授業の位置づけ
経営学科のDP「1(5)」、「2(2)」、「2(3)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(2)」、「1(3)」、「1(4)」、「1(5)」、「1(6)」、「1(7)」、「2(4)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(2)」、「1(3)」、「2(5)」に対応する。 建築学科のDP「1(2)」、「1(3)」、「2(5)」に対応する。

到達目標
様々な対象者の動作パターンを調べ、一貫性のある基準を用いて問題の有無を判断する方法と、その問題を修正するために適切なエクササイズを見つける。

授業全体の内容と概要
日本においてもファンクショナルムーブメントスクリーンは、プロのアスリートだけでなく一般のスポーツ愛好家にも行われるようになってきているが、医療の専門家の中ではまだ十分に認識されていないのが現状である。スポーツやフィットネス、リハビリテーションには様々な専門分野の人が関わっているが、ファンクショナルムーブメントスクリーンとセレクトティブ・ファンクショナルムーブメントアセスメントはこのような専門分野の溝を埋めるツールとなりうることを理解し、自身の競技力向上に繋げる。

授業の方法
各回のテーマについてテキストを使用しながら講義をし、さらに、理解を深めるために医学的ビデオも視聴させる。

アクティブラーニングの実施方法												
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>グループワーク</td> <td>フィールドワーク</td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td>ロールプレイ</td> <td>調査学習</td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td>実験・実習・実技</td> <td>双方向授業</td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL	模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業	ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL									
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業									
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)									

履修上の注意事項
20分以上の遅刻は欠席とみなします。遅刻3回で1回の欠席とみなします。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
単位認定に必要な最低出席回数は、13回以上												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>20%</td> <td>30%</td> <td>0%</td> <td>50%</td> <td>0%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	20%	30%	0%	50%	0%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	20%	30%	0%	50%	0%							

ルーブリック																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間に差があるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>知識・技能</td> <td>学修した知識・技能を確実に修得するとともに、それらに関連した知識・技能についても獲得した</td> <td>学修した知識・技能を確実に修得した</td> <td>学修した知識・技能のすべてを修得することはできなかった</td> <td>学修した知識・技能を修得したが最低限容認できるレベルにとどまった</td> <td>学修に真面目に取り組まなかった</td> </tr> <tr> <td>思考力・判断力・表現力</td> <td>与えられた課題に積極的に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関しては求められるレベルを大きく超えた</td> <td>与えられた課題に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関しては、求められるレベルを達成した</td> <td>与えられた課題に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関しては、求められるレベルには達しなかった</td> <td>与えられた課題に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関しては最低限容認できるレベルにとどまった</td> <td>与えられた課題に真面目に取り組まなかった</td> </tr> <tr> <td>主体性・多様性・協働性</td> <td>与えられた課題に積極的に取り組んだ。積極性や協働性に関しては求められるレベルを大きく超えた</td> <td>与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関しては、求められるレベルを達成した</td> <td>与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関しては、求められるレベルには達しなかった</td> <td>与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関しては最低限容認できるレベルにとどまった</td> <td>与えられた課題に真面目に取り組まなかった</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間に差があるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	知識・技能	学修した知識・技能を確実に修得するとともに、それらに関連した知識・技能についても獲得した	学修した知識・技能を確実に修得した	学修した知識・技能のすべてを修得することはできなかった	学修した知識・技能を修得したが最低限容認できるレベルにとどまった	学修に真面目に取り組まなかった	思考力・判断力・表現力	与えられた課題に積極的に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関しては求められるレベルを大きく超えた	与えられた課題に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関しては、求められるレベルを達成した	与えられた課題に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関しては、求められるレベルには達しなかった	与えられた課題に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関しては最低限容認できるレベルにとどまった	与えられた課題に真面目に取り組まなかった	主体性・多様性・協働性	与えられた課題に積極的に取り組んだ。積極性や協働性に関しては求められるレベルを大きく超えた	与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関しては、求められるレベルを達成した	与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関しては、求められるレベルには達しなかった	与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関しては最低限容認できるレベルにとどまった	与えられた課題に真面目に取り組まなかった												
評価項目		評価基準																																							
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間に差があるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
知識・技能	学修した知識・技能を確実に修得するとともに、それらに関連した知識・技能についても獲得した	学修した知識・技能を確実に修得した	学修した知識・技能のすべてを修得することはできなかった	学修した知識・技能を修得したが最低限容認できるレベルにとどまった	学修に真面目に取り組まなかった																																				
思考力・判断力・表現力	与えられた課題に積極的に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関しては求められるレベルを大きく超えた	与えられた課題に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関しては、求められるレベルを達成した	与えられた課題に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関しては、求められるレベルには達しなかった	与えられた課題に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関しては最低限容認できるレベルにとどまった	与えられた課題に真面目に取り組まなかった																																				
主体性・多様性・協働性	与えられた課題に積極的に取り組んだ。積極性や協働性に関しては求められるレベルを大きく超えた	与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関しては、求められるレベルを達成した	与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関しては、求められるレベルには達しなかった	与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関しては最低限容認できるレベルにとどまった	与えられた課題に真面目に取り組まなかった																																				

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS072046)				
授業担当者(所属・職名)	篠原 諒介(経営学科・助教)		研究室所在	1号館2階	
単位数	1 (単位認定責任者: 篠原 諒介)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	ガイダンス シラバスの説明	測定準備と論文の読み込み(45分)	本時の学習内容をまとめて提出する(45分)
2	FISとSFIAの理解と習得 FISのデザイン	測定準備と論文の読み込み(45分)	本時の学習内容をまとめて提出する(45分)
3	FISとSFIAの理解と習得 FISのデザイン	測定準備と論文の読み込み(45分)	本時の学習内容をまとめて提出する(45分)
4	FISとSFIAの理解と習得 FISのデザイン	測定準備と論文の読み込み(45分)	本時の学習内容をまとめて提出する(45分)
5	FISとSFIAの理解と習得 4つの基本的なフィルター	測定準備と論文の読み込み(45分)	本時の学習内容をまとめて提出する(45分)
6	FISとSFIAの理解と習得 4つの基本的なフィルター	測定準備と論文の読み込み(45分)	本時の学習内容をまとめて提出する(45分)
7	FISとSFIAの理解と習得 4つの基本的なフィルター	測定準備と論文の読み込み(45分)	本時の学習内容をまとめて提出する(45分)
8	FISとSFIAの確認	測定準備と論文の読み込み(45分)	本時の学習内容をまとめて提出する(45分)
9	FISとSFIAの実践 実施中の疼痛や違和感	測定準備と論文の読み込み(45分)	本時の学習内容をまとめて提出する(45分)
10	FISとSFIAの実践 実施中の疼痛や違和感	測定準備と論文の読み込み(45分)	本時の学習内容をまとめて提出する(45分)
11	FISとSFIAの実践 実施中の疼痛や違和感	測定準備と論文の読み込み(45分)	本時の学習内容をまとめて提出する(45分)
12	FISとSFIAの実践 採点方法・結果の序列化	測定準備と論文の読み込み(45分)	本時の学習内容をまとめて提出する(45分)
13	FISとSFIAの実践 採点方法・結果の序列化	測定準備と論文の読み込み(45分)	本時の学習内容をまとめて提出する(45分)
14	FISとSFIAの実践 採点方法・結果の序列化	測定準備と論文の読み込み(45分)	本時の学習内容をまとめて提出する(45分)
15	FISとSFIAの実践 採点方法・結果の序列化	測定準備と論文の読み込み(45分)	本時の学習内容をまとめて提出する(45分)
16	まとめ	測定準備と論文の読み込み(45分)	本時の学習内容をまとめて提出する(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	
科目名称	基礎セミナー B (科目ナンバリング: BAS072046)				
授業担当者(所属・職名)			研究室所在		
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標												
授業の位置づけ												
到達目標												
授業全体の内容と概要												
授業の方法												
アクティブラーニングの実施方法												
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>グループワーク</td> <td>フィールドワーク</td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td>ロールプレイ</td> <td>調査学習</td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td>実験・実習・実技</td> <td>双方向授業</td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL	模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業	ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL									
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業									
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)									
履修上の注意事項												
資格指定科目												

評価方法・基準

評価前提条件					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期	授業形態	演習 必修・選択
科目名称	基礎セミナー B (科目ナンバリング: BAS072046)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS072046)				
授業担当者(所属・職名)	杉本 大輔(社会福祉学科・准教授)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 杉本 大輔)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標

本ゼミナールでは数学の歴史的概要と基本的ターム及び理論経済学における基本的な用法を学習することによって、論理的思考方法の構築する。

授業の位置づけ

社会福祉学科のDP「1(4)と(5)と(6)と(7)」、「2(4)」に対応する。
 経営学科のDP「1(1)と(2)と(3)と(4)」、「2(1)」に対応する。
 デザイン学科のDP「1(1)と(2)と(3)」、「2(1)」に対応する。
 建築学科のDP「1(1)と(2)と(3)」、「2(1)」に対応する。

到達目標

- ・ 数学の歴史的外観を理解できる。
- ・ 数学の持つ論理性を理解できる。
- ・ 背理法、必要条件、十分条件、帰納法、逆・裏・対偶について理解できる。
- ・ 数学と近代経済学の関係を理解できる。

授業全体の内容と概要

小室直樹『数学嫌いの人のための数学—数学原論—』(東洋経済)『数式を使わない数学の講義』(ワック出版)を基本参考文献とし(ゼミごとに購読パートを教員がコピーし配布する)、その他『Newton』等の科学雑誌を参考資料とする。音読を基本とする購読を主に、必要に応じて教員が説明を加え、ディスカッションを行う。

授業の方法

- ・ 音読を基本とする購読を主に、必要に応じて教員が説明を加え、ディスカッションを行う。
- ・ ゼミで使用するプリントは前の回に配布する。熟読することが望ましい。
- ・ 学生の要望には可能な限り対応するが、教育上好ましくない要望には応えられない。

アクティブラーニングの実施方法

	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

主体的・積極的参加を望む。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定の最低出席条件10回以上をクリアする					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	0%	0%	0%	30%	70%

ルーブリック

評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
数学の歴史を理解する。	ディスカッションにおいて自分の意見を言うだけでなく、他者の意見に対して明確で筋の通った指摘ができた。	ディスカッションにおいて自分の意見を表現できた。	世界史における数学の位置づけを理解できた。	ゼミナールの内容を説明できた。	左記の内容が何一つできなかった。
形式論理学について理解する。	ディスカッションにおいて自分の意見を言うだけでなく、他者の意見に対して明確で筋の通った指摘ができた。	ディスカッションにおいて自分の意見を言う。	命題、逆、裏、対偶についての知識を取得することができた。	ゼミナールの内容を説明できた。	左記の内容が何一つできていなかった。
数学と経済学との関連を理解する。	ディスカッションにおいて自分の意見を言うだけでなく、他者の意見に対して明確で筋の通った指摘ができた。	ディスカッションにおいて自分の意見を表現できた。	必要条件、十分条件、背理法、帰納法についての基礎的知識を習得できた。	ゼミナールの内容を説明できた。	左記の内容が何一つできなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等

No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS072046)				
授業担当者(所属・職名)	杉本 大輔(社会福祉学科・准教授)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 杉本 大輔)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	シラバスの説明	高校数学の復習(45分)	配布資料の読み込み(45分)
2	数学の論理の源泉-古代宗教から生まれた数学の論理-1	前回資料の読み込み(45分)	配布資料の読み込み(45分)
3	数学の論理の源泉-古代宗教から生まれた数学の論理-2	前回資料の読み込み(45分)	配布資料の読み込み(45分)
4	論理とは神との論争の技術1	前回資料の読み込み(45分)	配布資料の読み込み(45分)
5	論理とは神との論争の技術2	前回資料の読み込み(45分)	配布資料の読み込み(45分)
6	数学と近代資本主義1	前回資料の読み込み(45分)	配布資料の読み込み(45分)
7	数学と近代資本主義2	前回資料の読み込み(45分)	配布資料の読み込み(45分)
8	数学と近代資本主義3	前回資料の読み込み(45分)	配布資料の読み込み(45分)
9	証明の技術1	前回資料の読み込み(45分)	配布資料の読み込み(45分)
10	証明の技術2	前回資料の読み込み(45分)	配布資料の読み込み(45分)
11	証明の技術3	前回資料の読み込み(45分)	配布資料の読み込み(45分)
12	証明の技術4	前回資料の読み込み(45分)	配布資料の読み込み(45分)
13	数学と近代経済学1	前回資料の読み込み(45分)	配布資料の読み込み(45分)
14	数学と近代経済学2	前回資料の読み込み(45分)	配布資料の読み込み(45分)
15	数学と近代経済学3	前回資料の読み込み(45分)	配布資料の読み込み(45分)
16	数学と近代経済学4	前回資料の読み込み(45分)	配布資料の読み込み(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS072046)				
授業担当者(所属・職名)	横田 肇 (社会福祉学科・准教授)	研究室所在	2号館7階		
単位数	1 (単位認定責任者: 横田 肇)		CAP制		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標

前期の A1に引き続き、学生が世界と日本の歴史と文化の基礎について理解し、プレゼンテーションと文章作成の基礎的な能力を身につける。

授業の位置づけ

経営学科のDP「1(2)」、「2(1)と(3)」に対応する。
 社会福祉学科のDP「1(2)と(3)」、「2(1)と(4)」に対応する。
 デザイン学科のDP「1(1)」、「2(1)と(3)と(5)」に対応する。
 建築学科のDP「1(1)」、「2(1)と(3)と(5)」に対応する。

到達目標

受講者が世界と日本の歴史と文化の基礎的な知識を理解、習得し、学んだことを発信できるようになる。合わせて、プレゼンテーション、文章作成の基礎的な能力が身に付く。

授業全体の内容と概要

毎回、受講者が世界と日本の歴史と文化の基礎の学習(文献調査)を行い、合わせて、プレゼンテーション、文章作成のトレーニングを行う。

授業の方法

毎回、1)受講者による文献調査、2)プレゼンテーション、質疑応答、3)教員による補足、講評(フィードバック)を行う。適宜、文章作成の練習も取り入れる。プレゼンテーションでは板書、スライド、ボードを使用する。

アクティブラーニングの実施方法

	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

欠席、遅刻をしないように留意する。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な最低出席は10回以上。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	20%	0%	0%	20%	60%

ルーブリック

評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
情報収集・整理の能力	多様で正確な情報収集と分析、編集、整理ができ、的確な発信ができた。	正確な情報収集・整理と適切な発信ができた。	情報収集・整理と発信の基本が身に付いた。	指示によって情報収集・整理と発信ができた。	指示による情報収集・整理、発信ができなかった。
コミュニケーション・プレゼンテーション能力	的確な議論ができ、明確なプレゼンテーション、応答ができた。	適切な議論、プレゼンテーションができた。	議論とプレゼンテーションの基本が身に付いた。	指示によって議論とプレゼンテーションが進行できた。	指示による議論とプレゼンテーションができなかった。
歴史と文化の理解・認識	ヨーロッパの歴史と文化に関する広く深い理解ができ、発展的な学習ができた。	ヨーロッパの歴史と文化に関する理解ができており、発展的な学習が期待できた。	ヨーロッパの歴史と文化に関する基本的な理解ができた。	指示によってヨーロッパの歴史と文化の基礎が理解できた。	指示によるヨーロッパの歴史と文化の理解ができなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						教科書なし
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等

No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						適宜指示する
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS072046)				
授業担当者(所属・職名)	横田 肇 (社会福祉学科・准教授)	研究室所在	2号館 7階		
単位数	1 (単位認定責任者: 横田 肇)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	シラバスの説明、ヨーロッパの歴史と文化の基礎に関する講義。	ヨーロッパの歴史の基礎的事項の予習(45分)	ヨーロッパの歴史の基礎的事項の復習(45分)
2	ヨーロッパの歴史と文化の基礎に関する講義。	ヨーロッパの歴史の基礎的事項の予習(45分)	ヨーロッパの歴史の基礎的事項の復習(45分)
3	受講者による調査とプレゼンテーション(1)	ヨーロッパの歴史の基礎的事項の予習(45分)	ヨーロッパの歴史の基礎的事項の復習(45分)
4	受講者による調査とプレゼンテーション(2)	ヨーロッパの歴史の基礎的事項の予習(45分)	ヨーロッパの歴史の基礎的事項の復習(45分)
5	受講者による調査とプレゼンテーション(3)	ヨーロッパの歴史の基礎的事項の予習(45分)	ヨーロッパの歴史の基礎的事項の復習(45分)
6	受講者による調査とプレゼンテーション(3)	ヨーロッパの歴史の基礎的事項の予習(45分)	ヨーロッパの歴史の基礎的事項の復習(45分)
7	受講者による調査とプレゼンテーション(4)	ヨーロッパの歴史の基礎的事項の予習(45分)	ヨーロッパの歴史の基礎的事項の復習(45分)
8	受講者による調査とプレゼンテーション(5)	ヨーロッパの歴史の基礎的事項の予習(45分)	ヨーロッパの歴史の基礎的事項の復習(45分)
9	受講者による調査とプレゼンテーション(6)	ヨーロッパの歴史の基礎的事項の予習(45分)	ヨーロッパの歴史の基礎的事項の復習(45分)
10	受講者による調査とプレゼンテーション(7)	ヨーロッパの歴史の基礎的事項の予習(45分)	ヨーロッパの歴史の基礎的事項の復習(45分)
11	受講者による調査とプレゼンテーション(8)	ヨーロッパの歴史の基礎的事項の予習(45分)	ヨーロッパの歴史の基礎的事項の復習(45分)
12	受講者による調査とプレゼンテーション(9)	ヨーロッパの歴史の基礎的事項の予習(45分)	ヨーロッパの歴史の基礎的事項の復習(45分)
13	受講者による調査とプレゼンテーション(10)	ヨーロッパの歴史の基礎的事項の予習(45分)	ヨーロッパの歴史の基礎的事項の復習(45分)
14	受講者による調査とレポート作成(1)	レポート作成の準備(45分)	レポート作成の準備(45分)
15	受講者による調査とレポート作成(2)	レポート作成の準備(45分)	レポート作成の準備(45分)
16	受講者による調査とレポート作成(3)	レポート作成の準備(45分)	レポートの仕上げ(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS072046)				
授業担当者(所属・職名)	櫻井 美帆子(社会福祉学科・准教授)	研究室所在	1号館4階		
単位数	1 (単位認定責任者: 櫻井 美帆子)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	現場の実務経験から得た事例等を用いて福祉に対する理解を深めていく。		

概要

履修目標	社会福祉実践の現場で、必要な社会的なマナーを学ぶとともに、基礎的なチームワーク力を涵養する。
------	--

授業の位置づけ	経営学科のDP「1(2)と(4)」、「2(1)と(3)」に対応する科目。 社会福祉学科のDP「1(2)と(3)と(4)」、「2(1)と(4)」に対応する科目。 デザイン学科のDP「1(2)」、「2(1)と(2)と(5)」に対応する科目。 建築学科のDP「1(3)」、「2(1)と(3)と2(5)」に対応する科目。
---------	---

到達目標	福祉従事者に求められる態度と人柄を理解する。 他者との共働に必要な要件を身につける。
------	---

授業全体の内容と概要	基本的な社会常識を身に着ける。 福祉従事者に求められる資質について学ぶ。
------------	---

授業の方法	基本はテーマに沿ったグループワークでの展開を基本とする。グループで議論した内容をまとめ、代表者が発表する展開とする。 一部、講義形式で展開をする。講義の際には随時質問を行うので、答えること。 随時、記録物を提出する。記録物はコメントを添えて返却する。 授業毎に使用する資料を配布する。
-------	---

アクティブラーニングの実施方法						
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク	PBL
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習	反転授業
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項	30分以上の遅刻は欠席とする。 出席を重視するので、遅刻や欠席をする場合は事前に連絡をすること。
----------	---

資格指定科目	
--------	--

評価方法・基準

評価前提条件	10回以上の出席があること。					
評価方法	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
	0%	50%	0%	0%	50%	0%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
一般的な社会常識を身につける。	成人として、常識をわきまえた行動ができた。	大学生としての常識をわきまえた行動ができた。	助言があればできた。	助言があれば一部できた。	助言があってもできなかった。
対人技能の基本を身につける。	社会人として求められる人間関係の理解及び福祉従事者として特に留意する点について述べる事ができた。	社会人に求められる人間関係の理解ができた。	助言があればできた。	助言があれば一部できた。	助言があってもできなかった。
クラスのメンバーと協働できる。	状況に応じ、リーダーシップをとったり、他者へのサポートができた。	自分の役割を責任を持ち果たせた。	助言があればできた。	助言があれば一部できた。	助言があってもできなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『使用しない』					
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『使用しない』					
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS072046)				
授業担当者(所属・職名)	櫻井 美帆子(社会福祉学科・准教授)	研究室所在	1号館4階		
単位数	1 (単位認定責任者: 櫻井 美帆子)		CAP制		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	現場の実務経験から得た事例等を用いて福祉に対する理解を深めていく。		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	シラバスの説明 大学生活を送る上で必要なマナー	大学生としてふさわしいふるまいには何か考える。(45分)	ノートを整理する。(45分)
2	大学生活を送る上で必要なマナー 明るさを備える。	次回のテーマについて自分の意見をまとめる。(45分)	ノートを整理する。(45分)
3	大学生活を送る上で必要なマナー 誠実さを備える。	次回のテーマについて自分の意見をまとめる。(45分)	ノートを整理する。(45分)
4	大学生活を送る上で必要なマナー 良識を持つ	次回のテーマについて自分の意見をまとめる。(45分)	ノートを整理する。(45分)
5	大学生活を送る上で必要なマナー 素直な態度を心得る。	次回のテーマについて自分の意見をまとめる。(45分)	ノートを整理する。(45分)
6	大学生としてのマナー 清潔感に磨きをかける。	次回のテーマについて自分の意見をまとめる。(45分)	ノートの整理をする。(45分)
7	中間まとめ	1回から8回の内容を振り返り、疑問点や議論を深めたい内容をまとめる。(45分)	授業で学んだことを意識し、目上の人と話話する。(45分)
8	社会人としてのマナー 社会人意識とは	次回のテーマについて自分の意見をまとめる。(45分)	ノートを整理する。(45分)
9	社会人としてのマナー 社交儀礼	今回の内容について、書籍やインターネットで調べる。(45分)	ノートを整理する。(45分)
10	社会人としてのマナー 事例検討	8回、9回の内容を振り返る(45分)	授業で学んだことを意識し、知人と会話する。(45分)
11	社会人としてのマナー 社内の人間関係	今回の内容について、書籍やインターネットで調べる。(45分)	ノートを整理すノートを整理する。(45分)
12	社会人としてのマナー 社外の人間関係	今回の内容について、書籍やインターネットで調べる。(45分)	ノートを整理する。(45分)
13	社会人としてのマナー 事例検討	11回、12回の内容を振り返る(45分)	(クラスのメンバーの意見と自分の意見を比較し考察する。(45分)
14	社会人としてのマナー 接遇実践の基本	今回の内容について、書籍やインターネットで調べる。(45分)	ノートを整理する。(45分)
15	社会人としてのマナー 接遇実践の実際	今回の内容について、書籍やインターネットで調べる。(45分)	ノートを整理する。(45分)
16	まとめ	1回から15回までの授業内容を振り返り、疑問点や議論したい点をまとめる。(45分)	この授業で学んだ事を振り返り、3年生へ向けた自己の課題を明確化する。(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS072046)				
授業担当者(所属・職名)	湯浅 頼佳 (社会福祉学科・専任講師)	研究室所在	1号館3階		
単位数	1 (単位認定責任者: 湯浅 頼佳)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
基礎ゼミナール の目的を踏襲しながら無理なく専門課程へ移行できる様「学びの方法」を修得する。

授業の位置づけ
経営学科のDP「1(2)」、「2(1)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(2)と(3)と(4)と(6)」、「2(1)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(2)」、「2(1)」に対応する。 建築学科のDP「1(3)」、「2(1)」に対応する。

到達目標
基礎ゼミナール から継続して考えていきながら、学生それぞれが1つのテーマを上げレポートを作成し発表する事を目標とする。

授業全体の内容と概要
人間は食べることのみによって栄養を取り入れ、様々な活動を可能としている。乳幼児から高齢者まで各々の目的や問題の違いはあれ、それぞれ生活リズムの確立や健康、QOL、疾病防止などを目的として望ましい食生活をする事が必要となる。学生それぞれが自分自身の食生活だけでなく職業的(保育士、社会福祉士、スポーツトレーナー、教員等)に必要な問題意識を持ち知識を身につけることを目標とする。

授業の方法
食生活や栄養に関する問題の中からそれぞれが研究テーマを見つけ、プレゼンテーションやディスカッション、グループワーク、フィールドワーク、実習等を実施する。また必要に応じて教員がテーマに関し講義も行い、カレントトピックスについても解説する。質疑応答には随時対応する。

アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>プレゼンテーション</td> <td>○</td> <td>グループワーク</td> <td>○</td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>ディスカッション</td> <td>○</td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	○	プレゼンテーション	○	グループワーク	○	フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業	○	ディスカッション	○	実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
○	プレゼンテーション	○	グループワーク	○	フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
○	ディスカッション	○	実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	

履修上の注意事項
出席を重視する。欠席をする場合は必ず事前に連絡をすること。出席数を満たしていてもゼミの運営を乱す行為があった場合は評価をしない場合がある。また同じくゼミの運営に支障を来たす行為があった場合は途中でゼミ異動を宣告する場合がある。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
出席状況(3分の2以上)。ゼミ内での活動(プレゼンテーションやディスカッション、グループワーク、フィールドワーク、実習等)とゼミ内での役割の認識と行動により総合評価する。												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>20%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>30%</td> <td>50%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	20%	0%	0%	30%	50%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	20%	0%	0%	30%	50%							

ルーブリック																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を越えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあたるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>知識・理解(協調性、傾聴力)</td> <td>ゼミ内でのプレゼンテーションに積極的に耳を傾け、タイミングよく質問することができた。</td> <td>ゼミ内でのプレゼンテーションに耳を傾け、タイミングよく質問することができた。</td> <td>ゼミ内でのプレゼンテーションに耳を傾け質問することができた。</td> <td>ゼミ内でのプレゼンテーションに耳を傾け何回か質問することができた。</td> <td>ゼミ内でのプレゼンテーションに耳を傾けることは出来るが質問できなかった。</td> </tr> <tr> <td>知識・理解(興味、関心)</td> <td>新聞、ニュース、トピックス等に関心を持ち積極的に食生活や栄養についてのテーマを発見することができた。</td> <td>新聞、ニュース、トピックス等に関心を持ち食生活や栄養についてのテーマを概ね発見することができた。</td> <td>新聞、ニュース、トピックス等に関心を持ち食生活や栄養についてのテーマを発見することができた。</td> <td>新聞、ニュース、トピックス等に関心を持つ努力をしながら食生活や栄養についてのテーマを発見することができた。</td> <td>新聞、ニュース、トピックス等に関心を持ち食生活や栄養についてのテーマを発見することができなかった。</td> </tr> <tr> <td>汎用的機能(トークスキル、表現力)</td> <td>ゼミ内でのプレゼンテーションにおいて聞き手が理解しやすいよう資料を十分揃えわかりやすく発表することができた。</td> <td>ゼミ内でのプレゼンテーションにおいて聞き手が理解しやすいようわかりやすく発表することができた。</td> <td>ゼミ内でのプレゼンテーションにおいて聞き手が理解しやすいよう概ねわかりやすく発表することができた。</td> <td>ゼミ内でのプレゼンテーションにおいて聞き手が理解しやすいよう発表することができた。</td> <td>ゼミ内でのプレゼンテーションにおいて聞き手が理解しやすいよう発表することができなかった。</td> </tr> <tr> <td>態度・志向性(リーダーシップ、態度)</td> <td>ゼミ内での自分の役割を十分に認識し、積極的にゼミ運営に関わることができた。</td> <td>ゼミ内での自分の役割を十分に認識し、ゼミ運営に関わることができた。</td> <td>ゼミ内での自分の役割を認識し、ゼミ運営に関わることができた。</td> <td>ゼミ内での自分の役割を認識し、ゼミ運営に多少関わることができた。</td> <td>ゼミ内での自分の役割を認識できなかった。</td> </tr> <tr> <td>態度・志向性(意欲)</td> <td>休まずゼミに出席できた。(出席16回)</td> <td>概ねゼミに出席できた。(出席15-14回)</td> <td>休みがちではあるが出席できた。(出席13-12回)</td> <td>欠席が目立つが出席できた。(出席11-10回)</td> <td>評価前提条件を満たす事ができなかった。(出席9-0回)</td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を越えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあたるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	知識・理解(協調性、傾聴力)	ゼミ内でのプレゼンテーションに積極的に耳を傾け、タイミングよく質問することができた。	ゼミ内でのプレゼンテーションに耳を傾け、タイミングよく質問することができた。	ゼミ内でのプレゼンテーションに耳を傾け質問することができた。	ゼミ内でのプレゼンテーションに耳を傾け何回か質問することができた。	ゼミ内でのプレゼンテーションに耳を傾けることは出来るが質問できなかった。	知識・理解(興味、関心)	新聞、ニュース、トピックス等に関心を持ち積極的に食生活や栄養についてのテーマを発見することができた。	新聞、ニュース、トピックス等に関心を持ち食生活や栄養についてのテーマを概ね発見することができた。	新聞、ニュース、トピックス等に関心を持ち食生活や栄養についてのテーマを発見することができた。	新聞、ニュース、トピックス等に関心を持つ努力をしながら食生活や栄養についてのテーマを発見することができた。	新聞、ニュース、トピックス等に関心を持ち食生活や栄養についてのテーマを発見することができなかった。	汎用的機能(トークスキル、表現力)	ゼミ内でのプレゼンテーションにおいて聞き手が理解しやすいよう資料を十分揃えわかりやすく発表することができた。	ゼミ内でのプレゼンテーションにおいて聞き手が理解しやすいようわかりやすく発表することができた。	ゼミ内でのプレゼンテーションにおいて聞き手が理解しやすいよう概ねわかりやすく発表することができた。	ゼミ内でのプレゼンテーションにおいて聞き手が理解しやすいよう発表することができた。	ゼミ内でのプレゼンテーションにおいて聞き手が理解しやすいよう発表することができなかった。	態度・志向性(リーダーシップ、態度)	ゼミ内での自分の役割を十分に認識し、積極的にゼミ運営に関わることができた。	ゼミ内での自分の役割を十分に認識し、ゼミ運営に関わることができた。	ゼミ内での自分の役割を認識し、ゼミ運営に関わることができた。	ゼミ内での自分の役割を認識し、ゼミ運営に多少関わることができた。	ゼミ内での自分の役割を認識できなかった。	態度・志向性(意欲)	休まずゼミに出席できた。(出席16回)	概ねゼミに出席できた。(出席15-14回)	休みがちではあるが出席できた。(出席13-12回)	欠席が目立つが出席できた。(出席11-10回)	評価前提条件を満たす事ができなかった。(出席9-0回)
評価項目		評価基準																																							
	履修項目を越えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあたるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
知識・理解(協調性、傾聴力)	ゼミ内でのプレゼンテーションに積極的に耳を傾け、タイミングよく質問することができた。	ゼミ内でのプレゼンテーションに耳を傾け、タイミングよく質問することができた。	ゼミ内でのプレゼンテーションに耳を傾け質問することができた。	ゼミ内でのプレゼンテーションに耳を傾け何回か質問することができた。	ゼミ内でのプレゼンテーションに耳を傾けることは出来るが質問できなかった。																																				
知識・理解(興味、関心)	新聞、ニュース、トピックス等に関心を持ち積極的に食生活や栄養についてのテーマを発見することができた。	新聞、ニュース、トピックス等に関心を持ち食生活や栄養についてのテーマを概ね発見することができた。	新聞、ニュース、トピックス等に関心を持ち食生活や栄養についてのテーマを発見することができた。	新聞、ニュース、トピックス等に関心を持つ努力をしながら食生活や栄養についてのテーマを発見することができた。	新聞、ニュース、トピックス等に関心を持ち食生活や栄養についてのテーマを発見することができなかった。																																				
汎用的機能(トークスキル、表現力)	ゼミ内でのプレゼンテーションにおいて聞き手が理解しやすいよう資料を十分揃えわかりやすく発表することができた。	ゼミ内でのプレゼンテーションにおいて聞き手が理解しやすいようわかりやすく発表することができた。	ゼミ内でのプレゼンテーションにおいて聞き手が理解しやすいよう概ねわかりやすく発表することができた。	ゼミ内でのプレゼンテーションにおいて聞き手が理解しやすいよう発表することができた。	ゼミ内でのプレゼンテーションにおいて聞き手が理解しやすいよう発表することができなかった。																																				
態度・志向性(リーダーシップ、態度)	ゼミ内での自分の役割を十分に認識し、積極的にゼミ運営に関わることができた。	ゼミ内での自分の役割を十分に認識し、ゼミ運営に関わることができた。	ゼミ内での自分の役割を認識し、ゼミ運営に関わることができた。	ゼミ内での自分の役割を認識し、ゼミ運営に多少関わることができた。	ゼミ内での自分の役割を認識できなかった。																																				
態度・志向性(意欲)	休まずゼミに出席できた。(出席16回)	概ねゼミに出席できた。(出席15-14回)	休みがちではあるが出席できた。(出席13-12回)	欠席が目立つが出席できた。(出席11-10回)	評価前提条件を満たす事ができなかった。(出席9-0回)																																				

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS072046)				
授業担当者(所属・職名)	湯浅 頼佳 (社会福祉学科・専任講師)		研究室所在	1号館3階	
単位数	1 (単位認定責任者: 湯浅 頼佳)		CAP制		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	オリエンテーション及びシラバスの説明	ゼミ初回に必要な事項について考える。(45分)	シラバスについて確認する。ゼミ内での自分の役割について考える(45分)
2	「食生活の重要性を考える A」	新聞、ニュース、トピックス等に目を向け食生活や栄養についてのテーマを発見する。(45分)	本日のゼミ内容について振り返りを行う。(45分)
3	「食生活の重要性を考える A」	新聞、ニュース、トピックス等に目を向け食生活や栄養についてのテーマを発見する。(45分)	本日のゼミ内容について振り返りを行う。(45分)
4	「食生活の重要性を考える A」	新聞、ニュース、トピックス等に目を向け食生活や栄養についてのテーマを発見する。(45分)	本日のゼミ内容について振り返りを行う。(45分)
5	「食生活の重要性を考える A」	新聞、ニュース、トピックス等に目を向け食生活や栄養についてのテーマを発見する。(45分)	本日のゼミ内容について振り返りを行う。(45分)
6	「食生活の重要性を考える A」	新聞、ニュース、トピックス等に目を向け食生活や栄養についてのテーマを発見する。(45分)	本日のゼミ内容について振り返りを行う。(45分)
7	「食生活の重要性を考える A」	新聞、ニュース、トピックス等に目を向け食生活や栄養についてのテーマを発見する。(45分)	本日のゼミ内容について振り返りを行う。(45分)
8	「食生活の重要性を考える A」	新聞、ニュース、トピックス等に目を向け食生活や栄養についてのテーマを発見する。(45分)	本日のゼミ内容について振り返りを行う。(45分)
9	「食生活の重要性を考える A」	新聞、ニュース、トピックス等に目を向け食生活や栄養についてのテーマを発見する。(45分)	本日のゼミ内容について振り返りを行う。(45分)
10	「食生活の重要性を考える A」	新聞、ニュース、トピックス等に目を向け食生活や栄養についてのテーマを発見する。(45分)	本日のゼミ内容について振り返りを行う。(45分)
11	「食生活の重要性を考える A」	新聞、ニュース、トピックス等に目を向け食生活や栄養についてのテーマを発見する。(45分)	本日のゼミ内容について振り返りを行う。(45分)
12	「食生活の重要性を考える A」	新聞、ニュース、トピックス等に目を向け食生活や栄養についてのテーマを発見する。(45分)	本日のゼミ内容について振り返りを行う。(45分)
13	「食生活の重要性を考える A」	新聞、ニュース、トピックス等に目を向け食生活や栄養についてのテーマを発見する。(45分)	本日のゼミ内容について振り返りを行う。(45分)
14	「食生活の重要性を考える A」	新聞、ニュース、トピックス等に目を向け食生活や栄養についてのテーマを発見する。(45分)	本日のゼミ内容について振り返りを行う。(45分)
15	「食生活の重要性を考える A」	新聞、ニュース、トピックス等に目を向け食生活や栄養についてのテーマを発見する。(45分)	本日のゼミ内容について振り返りを行う。(45分)
16	まとめ	まとめの準備を行う。(45分)	まとめの振り返りを行う。(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎セミナー B (科目ナンバリング: BAS072046)				
授業担当者(所属・職名)	尾西 則昭(社会福祉学科・特任教授)	研究室所在	1号館 2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 尾西 則昭)	CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
人間生活の基本である健康・体力や身体運動に関する知識を深め、現在不規則になりがちな生活習慣の改善が必要になる。学生生活における健康維持のための運動の大切さについての基礎知識を理解する。

授業の位置づけ
経営学科のDP「1(1)」、「2(3)」に対応する 社会福祉学科DP「1(2)と(3)と(5)と(6)と(7)」、「2(4)」に対応する。 デザイン学科のDP「2(5)」に対応する。 建築学科のDP「1(3)」、「2(5)」対応する。

到達目標
生活にわたり有意義な人生を送るために、健康的なライフスタイルを確立する方法を身につける。 不規則になりがちな生活習慣で留意しなければならない点について、いくつかのテーマを通して、基本的な知識を学習する。現在だけのことだけでなく、卒業後に訪れるだろう社会人生活における健康づくりについて述べることができる。

授業全体の内容と概要
講義では、健康の意味、特に運動と健康とのかわりを理解し、現代社会における健康な心身のあり方についての知識を修得する。さらに、いきいきとした人生を送るために運動・栄養・休養について、自らの生活習慣を見直す機会を深める。

授業の方法
資料を通読し、その内容にかかわって説明や質疑応答及びディスカッションを行います。板書や教材提示装置を活用します。健康に関するキーワードについて調べ学習発表を行います。課題や発表等に対するフィードバックや要望等への対応は、少人数集団の利点を活用し口頭で行います。

アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>プレゼンテーション</td> <td>○</td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td>○</td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	○	プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL	○	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業	○	ディスカッション		実験・実習・実技	○	双方向授業		その他(授業の方法参照)
○	プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
○	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
○	ディスカッション		実験・実習・実技	○	双方向授業		その他(授業の方法参照)																	

履修上の注意事項
積極的に取り組むことを期待します。20分以上の遅刻は欠席とみなします。3回で1回の欠席となります。授業に臨む際に求められる態度・姿勢・集中して聞き、授業中の私語は慎むこと。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
単位認定に必要な最低出席回数11回以上												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>30%</td> <td>50%</td> <td>0%</td> <td>20%</td> <td>0%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	30%	50%	0%	20%	0%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	30%	50%	0%	20%	0%							

ルーブリック																																									
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> <tr> <td>知識・技能</td> <td>健康について基礎的な知識を深く理解できた。</td> <td>健康について基礎的な知識をおおむね理解できた。</td> <td>健康について基礎的な知識を理解できた。</td> <td>健康について基礎的な知識を多少理解できた。</td> <td>健康について基礎的な知識を理解できなかった。</td> </tr> <tr> <td>思考力・判断力・表現力</td> <td>健康の基本を踏まえた健康内容の展開について十分に考察できた。</td> <td>健康の基本を踏まえた健康内容の展開についておおむね考察できた。</td> <td>健康の基本を踏まえた健康内容について考察できた。</td> <td>健康の基本を踏まえた健康内容の展開について多少考察できた。</td> <td>健康の基本を踏まえた健康内容の展開について考察できなかった。</td> </tr> <tr> <td>主体的に取り組む態度</td> <td>健康の多様な展開について理解したことをわかりやすく説明できた。</td> <td>健康の多様な展開について理解したことをおおむね説明できた。</td> <td>健康の多様な展開について理解したことを説明できた。</td> <td>健康の多様な展開について理解したことを多少説明できた。</td> <td>健康の多様な展開について理解したことを説明できなかった。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	知識・技能	健康について基礎的な知識を深く理解できた。	健康について基礎的な知識をおおむね理解できた。	健康について基礎的な知識を理解できた。	健康について基礎的な知識を多少理解できた。	健康について基礎的な知識を理解できなかった。	思考力・判断力・表現力	健康の基本を踏まえた健康内容の展開について十分に考察できた。	健康の基本を踏まえた健康内容の展開についておおむね考察できた。	健康の基本を踏まえた健康内容について考察できた。	健康の基本を踏まえた健康内容の展開について多少考察できた。	健康の基本を踏まえた健康内容の展開について考察できなかった。	主体的に取り組む態度	健康の多様な展開について理解したことをわかりやすく説明できた。	健康の多様な展開について理解したことをおおむね説明できた。	健康の多様な展開について理解したことを説明できた。	健康の多様な展開について理解したことを多少説明できた。	健康の多様な展開について理解したことを説明できなかった。												
評価項目		評価基準																																							
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
知識・技能	健康について基礎的な知識を深く理解できた。	健康について基礎的な知識をおおむね理解できた。	健康について基礎的な知識を理解できた。	健康について基礎的な知識を多少理解できた。	健康について基礎的な知識を理解できなかった。																																				
思考力・判断力・表現力	健康の基本を踏まえた健康内容の展開について十分に考察できた。	健康の基本を踏まえた健康内容の展開についておおむね考察できた。	健康の基本を踏まえた健康内容について考察できた。	健康の基本を踏まえた健康内容の展開について多少考察できた。	健康の基本を踏まえた健康内容の展開について考察できなかった。																																				
主体的に取り組む態度	健康の多様な展開について理解したことをわかりやすく説明できた。	健康の多様な展開について理解したことをおおむね説明できた。	健康の多様な展開について理解したことを説明できた。	健康の多様な展開について理解したことを多少説明できた。	健康の多様な展開について理解したことを説明できなかった。																																				

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td>『「使用しない」』</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1	『「使用しない」』						2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1	『「使用しない」』																																									
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td>『「資料配布」』</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1	『「資料配布」』						2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1	『「資料配布」』																																									
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS072046)				
授業担当者(所属・職名)	尾西 則昭(社会福祉学科・特任教授)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 尾西 則昭)	CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	ガイダンス (シラバスの説明)	事前にシラバスを読んで確認する。(45分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(45分)
2	健康についての学生調査	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(45分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(45分)
3	健康についての学生調査	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(45分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(45分)
4	健康についての学生調査	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(45分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(45分)
5	健康についての学生調査	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(45分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(45分)
6	健康についての学生調査	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(45分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(45分)
7	健康についての学生調査	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(45分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(45分)
8	健康についての学生調査	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(45分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(45分)
9	健康についての学生調査	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(45分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(45分)
10	健康についての学生調査	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(45分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(45分)
11	健康についての学生調査	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(45分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(45分)
12	健康についての学生調査	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(45分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(45分)
13	健康についての学生調査	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(45分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(45分)
14	学生調査発表	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(45分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(45分)
15	学生調査発表	シラバスを参考にし、事前に参考文献で予習する。(45分)	ノートに記載された内容を復習し、理解する。(45分)
16	学生調査発表 ・ まとめ	ノートに記載された内容を再度復習し、理解する。(45分)	振り返り(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS072046)				
授業担当者(所属・職名)	西崎 毅(社会福祉学科・特任教授)	研究室所在	2号館 6階		
単位数	1 (単位認定責任者: 西崎 毅)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり 左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	高等学校教員及び教育行政職員としての経験を活かして教職に関連する指導を行う。			

概要

履修目標
教員になるために必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び意欲を身に付ける。

授業の位置づけ
経営学科のDP「1(4)、(5)」、「2(3)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(2)、(3)、(4)、(5)、(6)、(7)」、「2(4)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(2)、(3)」、「2(5)」に対応する。 建築学科のDP「1(2)、(3)」、「2(5)」に対応する。

到達目標
教育制度についてその概要を理解することができる。 教育にかかわる諸問題についてその概要を理解することができる。 教員になるために必要な事項についてその概要を理解することができる。

授業全体の内容と概要
各回の授業テーマについて考える。 教育にかかわる法令、中央教育審議会答申、学習指導要領などの通読 教育に関する基本的事項についての調べ学習 教員として求められる一般教職及び教職教職の学修 学校視察やボランティア活動等への参加 演習検定等への参加

授業の方法
教育にかかわる法令、中央教育審議会答申、学習指導要領などを通読し、その内容にかかわって説明や質疑応答及びディスカッションを行います。板書や教材提示装置を活用する。教育に関するキーワードについての調べ学習及びその発表を行う。 教員として求められる一般教職及び教職教職について演習を行う。課題や発表等に対するフィードバックや要望等への対応は口頭で行う。

アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	

履修上の注意事項
教職課程を履修し、大学卒業後に教職に就く強い希望と意思を持った学生を原則対象とする。 各自、ノートを用意すること。 プリント類はフラットファイルに格納し、毎回授業に持参すること。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
単位認定に必要な最低出席回数は11回。												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <td>定期試験</td> <td>レポート</td> <td>課題・作品</td> <td>中間テスト</td> <td>平常点</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>20%</td> <td>0%</td> <td>80%</td> <td>0%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	0%	20%	0%	80%	0%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	0%	20%	0%	80%	0%							

ルーブリック																																									
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあたるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> <tr> <td>知識・技能</td> <td>学修した知識・技能を確実に修得するとともに、それらに関連した知識・技能についても習得することができた。</td> <td>学修した知識・技能を十分に修得することができた。</td> <td>学修した知識・技能を修得することができた。</td> <td>学修した知識・技能を修得したが、最低限容認できるレベルにとどまった。</td> <td>学修した知識・技能を修得し、期待される最低限度の基準に到達することができなかった。</td> </tr> <tr> <td>思考力・判断力・表現力等</td> <td>与えられた課題に積極的に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関して期待されるレベルを大きく超えることができた。</td> <td>与えられた課題に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関して期待されるレベルを十分に達成することができた。</td> <td>与えられた課題に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関して期待されるレベルを達成することができた。</td> <td>与えられた課題に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関して最低限容認できるレベルにとどまった。</td> <td>与えられた課題に真面目に取り組まず、期待される最低限度の基準に到達することができなかった。</td> </tr> <tr> <td>主体性・多様性・協働性</td> <td>与えられた課題に積極的に取り組んだ。積極性や協働性に関して期待されるレベルを大きく超えることができた。</td> <td>与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関して期待されるレベルを十分に達成することができた。</td> <td>与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関して期待されるレベルを達成することができた。</td> <td>与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関して最低限容認できるレベルにとどまった。</td> <td>与えられた課題に真面目に取り組まず、期待される最低限度の基準に到達することができなかった。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあたるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	知識・技能	学修した知識・技能を確実に修得するとともに、それらに関連した知識・技能についても習得することができた。	学修した知識・技能を十分に修得することができた。	学修した知識・技能を修得することができた。	学修した知識・技能を修得したが、最低限容認できるレベルにとどまった。	学修した知識・技能を修得し、期待される最低限度の基準に到達することができなかった。	思考力・判断力・表現力等	与えられた課題に積極的に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関して期待されるレベルを大きく超えることができた。	与えられた課題に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関して期待されるレベルを十分に達成することができた。	与えられた課題に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関して期待されるレベルを達成することができた。	与えられた課題に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関して最低限容認できるレベルにとどまった。	与えられた課題に真面目に取り組まず、期待される最低限度の基準に到達することができなかった。	主体性・多様性・協働性	与えられた課題に積極的に取り組んだ。積極性や協働性に関して期待されるレベルを大きく超えることができた。	与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関して期待されるレベルを十分に達成することができた。	与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関して期待されるレベルを達成することができた。	与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関して最低限容認できるレベルにとどまった。	与えられた課題に真面目に取り組まず、期待される最低限度の基準に到達することができなかった。												
評価項目		評価基準																																							
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあたるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
知識・技能	学修した知識・技能を確実に修得するとともに、それらに関連した知識・技能についても習得することができた。	学修した知識・技能を十分に修得することができた。	学修した知識・技能を修得することができた。	学修した知識・技能を修得したが、最低限容認できるレベルにとどまった。	学修した知識・技能を修得し、期待される最低限度の基準に到達することができなかった。																																				
思考力・判断力・表現力等	与えられた課題に積極的に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関して期待されるレベルを大きく超えることができた。	与えられた課題に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関して期待されるレベルを十分に達成することができた。	与えられた課題に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関して期待されるレベルを達成することができた。	与えられた課題に取り組んだ。課題に対する理解力やプレゼンテーションの能力に関して最低限容認できるレベルにとどまった。	与えられた課題に真面目に取り組まず、期待される最低限度の基準に到達することができなかった。																																				
主体性・多様性・協働性	与えられた課題に積極的に取り組んだ。積極性や協働性に関して期待されるレベルを大きく超えることができた。	与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関して期待されるレベルを十分に達成することができた。	与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関して期待されるレベルを達成することができた。	与えられた課題に取り組んだ。積極性や協働性に関して最低限容認できるレベルにとどまった。	与えられた課題に真面目に取り組まず、期待される最低限度の基準に到達することができなかった。																																				

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS072046)				
授業担当者(所属・職名)	西崎 毅(社会福祉学科・特任教授)	研究室所在	2号館 6階		
単位数	1 (単位認定責任者: 西崎 毅)		CAP制		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容 高等学校教員及び教育行政職員としての経験を活かして教職に関連する指導を行う。			

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	オリエンテーション(シラバスの説明含む) 学修計画の作成	基礎ゼミナール での学修を自己評価すること。(45分)	本時に課された事後課題を行い次時に提出すること。(45分)
2	オリエンテーション(シラバスの説明を含む) 学修計画の作成	前時に課された課題を行い提出すること。(45分)	事後課題を行い次時に提出すること。(45分)
3	教育法規のまとめ 法令・答申等の通読及びディスカッション 一般教養及び教職教養の演習	前時に課された課題を行い提出すること。(45分)	事後課題を行い次時に提出すること。(45分)
4	教育法規のまとめ 法令・答申等の通読及びディスカッション 一般教養及び教職教養の演習	前時に課された課題を行い提出すること。(45分)	事後課題を行い次時に提出すること。(45分)
5	教育心理のまとめ 法令・答申等の通読及びディスカッション 一般教養及び教職教養の演習	前時に課された課題を行い提出すること。(45分)	事後課題を行い次時に提出すること。(45分)
6	教育心理のまとめ 法令・答申等の通読及びディスカッション 一般教養及び教職教養の演習	前時に課された課題を行い提出すること。(45分)	事後課題を行い次時に提出すること。(45分)
7	教育心理のまとめ 法令・答申等の通読及びディスカッション 一般教養及び教職教養の演習	前時に課された課題を行い提出すること。(45分)	事後課題を行い次時に提出すること。(45分)
8	教育史のまとめ 法令・答申等の通読及びディスカッション 一般教養及び教職教養の演習	前時に課された課題を行い提出すること。(45分)	事後課題を行い次時に提出すること。(45分)
9	教育史のまとめ 法令・答申等の通読及びディスカッション 一般教養及び教職教養の演習	前時に課された課題を行い提出すること。(45分)	事後課題を行い次時に提出すること。(45分)
10	教育史のまとめ 法令・答申等の通読及びディスカッション 一般教養及び教職教養の演習	前時に課された課題を行い提出すること。(45分)	事後課題を行い次時に提出すること。(45分)
11	教育原理のまとめ 法令・答申等の通読及びディスカッション 一般教養及び教職教養の演習	前時に課された課題を行い提出すること。(45分)	事後課題を行い次時に提出すること。(45分)
12	教育原理のまとめ 法令・答申等の通読及びディスカッション 一般教養及び教職教養の演習	前時に課された課題を行い提出すること。(45分)	事後課題を行い次時に提出すること。(45分)
13	小論文についての学修 法令・答申等の通読及びディスカッション 一般教養及び教職教養の演習	前時に課された課題を行い提出すること。(45分)	事後課題を行い次時に提出すること。(45分)
14	小論文についての学修 法令・答申等の通読及びディスカッション 一般教養及び教職教養の演習	前時に課された課題を行い提出すること。(45分)	事後課題を行い次時に提出すること。(45分)
15	小論文についての学修 法令・答申等の通読及びディスカッション 一般教養及び教職教養の演習	前時に課された課題を行い提出すること。(45分)	事後課題を行い次時に提出すること。(45分)
16	後期の学修の総括及び反省	前時に課された課題を行い提出すること。(45分)	1年間の自らの学修姿勢を評価すること。(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS072046)				
授業担当者(所属・職名)	堀川 厚志(社会福祉学科・特任教授)	研究室所在	2号館 8階		
単位数	1 (単位認定責任者: 堀川 厚志)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	学校教育現場及び教育行政機関に勤務経験のある教員が、特別支援教育に必要な今日的課題等について指導する。		

概要

履修目標
特別支援教育における個に応じた指導、配慮等の基盤となる内容である一般的な発達論等の知見をとおして、感情と自己意識等の発達、青年期の発達等について理解し、特別支援教育への関心を高める。

授業の位置づけ
経営学科のDP「1(2)と(3)と(4)」、「2(1)と(3)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(2)と(3)と(5)」、「2(1)と(5)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(1)と(2)」、「2(1)と(5)」に対応する。 建築学科のDP「1(1)と(3)」、「2(1)と(5)」に対応する。

到達目標
感情と自己意識、青年期以降の発達、その遅れや偏り等の様相がわかる。

授業全体の内容と概要
感情については、感情、機能、発達、知性等に関して、自己意識については、自尊感情、自己効力感等に関して、青年期以降の発達については、思春期の身体、思考、第二次反抗期等に関して、一般的な発達論から発達の遅れや偏りについて理解する。

授業の方法
・授業では、プレゼンテーション及び配付資料等により説明をした後、テーマの任意選択によりグループを構成し、グループワークを展開する。 ・グループワークでは、計画、調査、探究、整理、資料作成等の一連の活動(2サイクル)を行う。 ・全体への報告資料作成(2回)、パワーポイント等の視覚メディアによる全体発表会(2回)等をおして、情報共有し、全体への理解を図る。 ・グループワーク及び資料内容、発表内容等に対して、自己評価を下にしたコメントによるフィードバックを行う。

アクティブラーニングの実施方法																					
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL															
模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業															
ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)															

履修上の注意事項
障害のある子に対する教育的な対応や特別支援教育に強い関心がある者とする。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
・単位認定に必要な最低出席回数は、10回以上とする。												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>20%</td> <td>50%</td> <td>0%</td> <td>20%</td> <td>10%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	20%	50%	0%	20%	10%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	20%	50%	0%	20%	10%							

ルーブリック																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>感情と自己意識、青年期以降の発達、発達の遅れや偏り等の知識・理解</td> <td>感情と自己意識、青年期以降の発達、その遅れや偏り等について、十分に理解し、自ら深化させ発展的な探究活動ができた。</td> <td>感情と自己意識、青年期以降の発達、その遅れや偏り等について、十分に理解できた。</td> <td>感情と自己意識、青年期以降の発達、その遅れや偏り等について理解できた。</td> <td>感情と自己意識、青年期以降の発達、その遅れや偏り等について部分的には理解できた。</td> <td>感情と自己意識、青年期以降の発達、その遅れや偏り等について、まったく理解できなかった。</td> </tr> <tr> <td>グループワークによる内容の整理、資料作成、報告発表等による説明等の思考力、判断力、表現力の向上</td> <td>内容を的確かつ発展的に整理し、理解しやすい報告、発表などをおして、思考力、判断力、表現力を十分に高めることができた。</td> <td>内容を的確に整理し、理解しやすい報告、発表などをおして、思考力、判断力、表現力を十分に高めることができた。</td> <td>内容を整理し、報告、発表などをおして、思考力、判断力、表現力を高めることができた。</td> <td>内容を整理し、報告、発表などをおして、部分的に思考力、判断力、表現力を高めることができた。</td> <td>内容を整理できず、報告、発表などをおして、できなかったため、思考力、判断力、表現力を高めることができなかった。</td> </tr> <tr> <td>授業への参加意欲や学修に向かう姿勢・態度</td> <td>授業には意欲的に参加し、グループワークや報告会等についても、常に自ら積極的に取り組むことができた。</td> <td>授業には意欲的に参加し、グループワークや報告会等についても、部分的に積極的に取り組むことができた。</td> <td>授業に関心をもって参加し、グループワークや報告会等にも関心をもって取り組むことができた。</td> <td>授業に対して部分的に積極的に取り組み、グループワークや報告会等にもある程度関心をもって取り組むことができた。</td> <td>授業に対して消極的であり、グループワークや報告会等にも積極的に取り組むことができなかった。</td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	感情と自己意識、青年期以降の発達、発達の遅れや偏り等の知識・理解	感情と自己意識、青年期以降の発達、その遅れや偏り等について、十分に理解し、自ら深化させ発展的な探究活動ができた。	感情と自己意識、青年期以降の発達、その遅れや偏り等について、十分に理解できた。	感情と自己意識、青年期以降の発達、その遅れや偏り等について理解できた。	感情と自己意識、青年期以降の発達、その遅れや偏り等について部分的には理解できた。	感情と自己意識、青年期以降の発達、その遅れや偏り等について、まったく理解できなかった。	グループワークによる内容の整理、資料作成、報告発表等による説明等の思考力、判断力、表現力の向上	内容を的確かつ発展的に整理し、理解しやすい報告、発表などをおして、思考力、判断力、表現力を十分に高めることができた。	内容を的確に整理し、理解しやすい報告、発表などをおして、思考力、判断力、表現力を十分に高めることができた。	内容を整理し、報告、発表などをおして、思考力、判断力、表現力を高めることができた。	内容を整理し、報告、発表などをおして、部分的に思考力、判断力、表現力を高めることができた。	内容を整理できず、報告、発表などをおして、できなかったため、思考力、判断力、表現力を高めることができなかった。	授業への参加意欲や学修に向かう姿勢・態度	授業には意欲的に参加し、グループワークや報告会等についても、常に自ら積極的に取り組むことができた。	授業には意欲的に参加し、グループワークや報告会等についても、部分的に積極的に取り組むことができた。	授業に関心をもって参加し、グループワークや報告会等にも関心をもって取り組むことができた。	授業に対して部分的に積極的に取り組み、グループワークや報告会等にもある程度関心をもって取り組むことができた。	授業に対して消極的であり、グループワークや報告会等にも積極的に取り組むことができなかった。
評価項目		評価基準																											
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																								
感情と自己意識、青年期以降の発達、発達の遅れや偏り等の知識・理解	感情と自己意識、青年期以降の発達、その遅れや偏り等について、十分に理解し、自ら深化させ発展的な探究活動ができた。	感情と自己意識、青年期以降の発達、その遅れや偏り等について、十分に理解できた。	感情と自己意識、青年期以降の発達、その遅れや偏り等について理解できた。	感情と自己意識、青年期以降の発達、その遅れや偏り等について部分的には理解できた。	感情と自己意識、青年期以降の発達、その遅れや偏り等について、まったく理解できなかった。																								
グループワークによる内容の整理、資料作成、報告発表等による説明等の思考力、判断力、表現力の向上	内容を的確かつ発展的に整理し、理解しやすい報告、発表などをおして、思考力、判断力、表現力を十分に高めることができた。	内容を的確に整理し、理解しやすい報告、発表などをおして、思考力、判断力、表現力を十分に高めることができた。	内容を整理し、報告、発表などをおして、思考力、判断力、表現力を高めることができた。	内容を整理し、報告、発表などをおして、部分的に思考力、判断力、表現力を高めることができた。	内容を整理できず、報告、発表などをおして、できなかったため、思考力、判断力、表現力を高めることができなかった。																								
授業への参加意欲や学修に向かう姿勢・態度	授業には意欲的に参加し、グループワークや報告会等についても、常に自ら積極的に取り組むことができた。	授業には意欲的に参加し、グループワークや報告会等についても、部分的に積極的に取り組むことができた。	授業に関心をもって参加し、グループワークや報告会等にも関心をもって取り組むことができた。	授業に対して部分的に積極的に取り組み、グループワークや報告会等にもある程度関心をもって取り組むことができた。	授業に対して消極的であり、グループワークや報告会等にも積極的に取り組むことができなかった。																								

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>『発達心理学』</td> <td>林 創</td> <td>ミネルヴァ書房</td> <td>2019</td> <td>978-4-623-08622-1</td> <td></td> </tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1	『発達心理学』	林 創	ミネルヴァ書房	2019	978-4-623-08622-1		2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1	『発達心理学』	林 創	ミネルヴァ書房	2019	978-4-623-08622-1																																					
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS072046)				
授業担当者(所属・職名)	堀川 厚志(社会福祉学科・特任教授)	研究室所在	2号館8階		
単位数	1 (単位認定責任者: 堀川 厚志)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり 左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	学校教育現場及び教育行政機関に勤務経験のある教員が、特別支援教育に必要な今日的課題等について指導する。			

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	オリエンテーション(取組の概要、シラバスの説明等)	シラバスを読む(45分)	説明内容を整理する(45分)
2	グループワーク推進方法、テーマ提示、グループ選択等のガイダンス、グループ選択感情(感情の発達、知性等)と自己意識(自尊心)	感情と自己の発達を調べる(45分)	発達について確かめる(45分)
3	感覚と運動、アタッチメントの発達の様相 グループワーク(活動計画、役割分担等、情報収集)	グループワークを考える(45分)	グループワーク内容を整理する(45分)
4	感覚と運動、アタッチメントの内容、発達の様相 グループワーク	認知、言語発達を調べる(45分)	グループワーク内容を整理する(45分)
5	感覚と運動、アタッチメントの内容、発達の概要の整理 グループワーク	認知、言語発達を調べる(45分)	グループワーク内容を整理する(45分)
6	感覚と運動、アタッチメントの内容、発達の概要の整理とまとめ グループワーク	認知、言語発達を調べる(45分)	グループワーク内容を整理する(45分)
7	感覚と運動、アタッチメントの内容、発達の概要の整理と資料作成 グループワーク	作成資料について考える(45分)	グループワーク内容を整理する(45分)
8	感覚と運動、アタッチメントの発達の遅れや偏り等 全体への報告(発表)と振り返り、改善内容のまとめ	報告内容を確認する(45分)	報告内容確かめる(45分)
9	全体報告の振り返り、改善内容の確認 青年期の発達の概要、基本的な情報、グループ構成	全体報告を振り返る(45分)	青年期の発達について確かめる(45分)
10	青年期の発達に関する基本的な情報 グループワーク(活動計画、役割分担等の作成)	グループの活動を考える(45分)	グループ計画について確かめる(45分)
11	青年期の発達に関する基本的な情報 グループワーク	青年期の発達を調べる(45分)	グループワークの内容を整理する(45分)
12	青年期の発達に関する発達の遅れや偏り等 グループワーク	青年期の発達を調べる(45分)	グループワークの内容を整理する(45分)
13	青年期の発達に関する発達の遅れや偏り等 グループワーク	発達の遅れや偏り等を調べる(45分)	グループワークの内容を整理する(45分)
14	青年期の発達の様相、遅れや偏り等の資料作成 グループワーク	作成資料について考える(45分)	グループワークの内容を整理する(45分)
15	青年期の発達に関する発達の様相、遅れや偏り等 全体への報告(発表)と振り返り、改善内容のまとめ	報告内容を確認する(45分)	全内容を振り返る(45分)
16	全活動内容の振り返りとまとめ、改善内容のまとめ	すべての内容を確認する(45分)	全内容を振り返る(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS072046)				
授業担当者(所属・職名)	小山 尋明(建築学科・准教授)	研究室所在	1号館4階		
単位数	1 (単位認定責任者: 小山 尋明)		CAP制		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
競技スポーツの基礎的トレーニングを基礎ゼミナール A・Bより更に深く理解し、個人に必要なトレーニングを自ら実践できるよう知識を身につける。携っている競技の試合分析をする知識と理解力を身につける。

授業の位置づけ
経営学科のDP「1(4)」、「1(5)」、「2(1)」、「2(3)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(5)」、「1(6)」、「2(1)」、「2(4)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(1)」、「1(2)」、「2(3)」、「2(5)」に対応する。 建築学科のDP「1(1)」、「1(3)」、「2(3)」、「2(5)」に対応する。

到達目標
競技及び個人の特性を理解し、安全にトレーニングできるようにする。また、試合の分析・考察(心理的)も出来る。

授業全体の内容と概要
基礎ゼミナール A・Bを基に個人に必要なフィジカルとメンタルトレーニングを実践し、自分の競技の試合をどのように分析・考察(心理的)すればよいかを考える。

授業の方法
プリントなど資料にて説明したのち、トレーニング室及び体育館などで実際にトレーニング(フィジカルとメンタル)をする。また、コンディショニングの方法・心理的などについての分析を行い、次の大会などに活かせるようにする。なお、次回の授業において前回の反省と確認を行う。

アクティブラーニングの実施方法												
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>グループワーク</td> <td>フィールドワーク</td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td>ロールプレイ</td> <td>調査学習</td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td>実験・実習・実技</td> <td>双方向授業</td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL	模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業	ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL									
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業									
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)									

履修上の注意事項
男子バスケットボール部に所属の学生を対象とする。注意事項等の詳細については、ガイダンスにて説明する。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
単位認定に必要な最低出席回数は、10回以上。												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>60%</td> <td>40%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	0%	0%	0%	60%	40%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	0%	0%	0%	60%	40%							

ルーブリック																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>関心・意欲・態度・判断</td> <td>積極的に行動し、意欲的に取り組み、安全に細心の注意を払うことができた。</td> <td>積極的に行動し、意欲的に取り組み、安全に細心の注意を払うことが7割程度できた。</td> <td>積極的に行動し、意欲的に取り組み、安全に細心の注意を払うことが5割程度できた。</td> <td>積極的に行動し、意欲的に取り組み、安全に細心の注意を払うことが3割程度できた。</td> <td>積極的に行動し、意欲的に取り組み、安全に細心の注意を払うことができなかった。</td> </tr> <tr> <td>競技及び個人の特性を理解し、安全にトレーニングができる</td> <td>目標設定の原理、原則、種類とその方法を理解し安全に細心の注意を払うことができた。</td> <td>目標設定の原理、原則、種類とその方法を理解し安全に細心の注意を払うことが7割程度できた。</td> <td>目標設定の原理、原則、種類とその方法を理解し安全に細心の注意を払うことが5割程度できた。</td> <td>目標設定の原理、原則、種類とその方法を理解し安全に細心の注意を払うことが3割程度できた。</td> <td>目標設定の原理、原則、種類とその方法を理解し安全に細心の注意を払うことができなかった。</td> </tr> <tr> <td>知識・理解</td> <td>フィジカルとメンタルトレーニングの知識・理解があり、心理的スキルも含め分析・考察ができた。</td> <td>フィジカルとメンタルトレーニングの知識・理解があり、心理的スキルも含め分析・考察が7割程度できた。</td> <td>フィジカルとメンタルトレーニングの知識・理解があり、心理的スキルも含め分析・考察が5割程度できた。</td> <td>フィジカルとメンタルトレーニングの知識・理解があり、心理的スキルも含め分析・考察が3割程度できた。</td> <td>フィジカルとメンタルトレーニングの知識・理解があり、心理的スキルも含め分析・考察ができなかった。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	関心・意欲・態度・判断	積極的に行動し、意欲的に取り組み、安全に細心の注意を払うことができた。	積極的に行動し、意欲的に取り組み、安全に細心の注意を払うことが7割程度できた。	積極的に行動し、意欲的に取り組み、安全に細心の注意を払うことが5割程度できた。	積極的に行動し、意欲的に取り組み、安全に細心の注意を払うことが3割程度できた。	積極的に行動し、意欲的に取り組み、安全に細心の注意を払うことができなかった。	競技及び個人の特性を理解し、安全にトレーニングができる	目標設定の原理、原則、種類とその方法を理解し安全に細心の注意を払うことができた。	目標設定の原理、原則、種類とその方法を理解し安全に細心の注意を払うことが7割程度できた。	目標設定の原理、原則、種類とその方法を理解し安全に細心の注意を払うことが5割程度できた。	目標設定の原理、原則、種類とその方法を理解し安全に細心の注意を払うことが3割程度できた。	目標設定の原理、原則、種類とその方法を理解し安全に細心の注意を払うことができなかった。	知識・理解	フィジカルとメンタルトレーニングの知識・理解があり、心理的スキルも含め分析・考察ができた。	フィジカルとメンタルトレーニングの知識・理解があり、心理的スキルも含め分析・考察が7割程度できた。	フィジカルとメンタルトレーニングの知識・理解があり、心理的スキルも含め分析・考察が5割程度できた。	フィジカルとメンタルトレーニングの知識・理解があり、心理的スキルも含め分析・考察が3割程度できた。	フィジカルとメンタルトレーニングの知識・理解があり、心理的スキルも含め分析・考察ができなかった。												
評価項目		評価基準																																							
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
関心・意欲・態度・判断	積極的に行動し、意欲的に取り組み、安全に細心の注意を払うことができた。	積極的に行動し、意欲的に取り組み、安全に細心の注意を払うことが7割程度できた。	積極的に行動し、意欲的に取り組み、安全に細心の注意を払うことが5割程度できた。	積極的に行動し、意欲的に取り組み、安全に細心の注意を払うことが3割程度できた。	積極的に行動し、意欲的に取り組み、安全に細心の注意を払うことができなかった。																																				
競技及び個人の特性を理解し、安全にトレーニングができる	目標設定の原理、原則、種類とその方法を理解し安全に細心の注意を払うことができた。	目標設定の原理、原則、種類とその方法を理解し安全に細心の注意を払うことが7割程度できた。	目標設定の原理、原則、種類とその方法を理解し安全に細心の注意を払うことが5割程度できた。	目標設定の原理、原則、種類とその方法を理解し安全に細心の注意を払うことが3割程度できた。	目標設定の原理、原則、種類とその方法を理解し安全に細心の注意を払うことができなかった。																																				
知識・理解	フィジカルとメンタルトレーニングの知識・理解があり、心理的スキルも含め分析・考察ができた。	フィジカルとメンタルトレーニングの知識・理解があり、心理的スキルも含め分析・考察が7割程度できた。	フィジカルとメンタルトレーニングの知識・理解があり、心理的スキルも含め分析・考察が5割程度できた。	フィジカルとメンタルトレーニングの知識・理解があり、心理的スキルも含め分析・考察が3割程度できた。	フィジカルとメンタルトレーニングの知識・理解があり、心理的スキルも含め分析・考察ができなかった。																																				

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS072046)				
授業担当者(所属・職名)	小山 尋明(建築学科・准教授)	研究室所在	1号館4階		
単位数	1 (単位認定責任者: 小山 尋明)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	ガイダンス(シラバス説明)。	事前にシラバスを読んで確認しておく(45分)	ガイダンスの内容を理解しておく(45分)
2	トレーニング実践 1 (フィジカルとメンタル)	トレーニングの基礎と原則を確認しておく(45分)	トレーニングの基礎と原則を理解しておく(45分)
3	トレーニング実践 2 (フィジカルとメンタル)	トレーニングの基礎と原則を確認しておく(45分)	トレーニングの基礎と原則を理解しておく(45分)
4	トレーニング実践 3 (フィジカルとメンタル)	トレーニングの基礎と原則を確認しておく(45分)	トレーニングの基礎と原則を理解しておく(45分)
5	トレーニング実践 4 (フィジカルとメンタル)	トレーニングの基礎と原則を確認しておく(45分)	トレーニングの基礎と原則を理解しておく(45分)
6	トレーニング実践 5 (フィジカルとメンタル)	トレーニングの基礎と原則を確認しておく(45分)	トレーニングの基礎と原則を理解しておく(45分)
7	トレーニング実践 6 (フィジカルとメンタル)	トレーニングの基礎と原則を確認しておく(45分)	トレーニングの基礎と原則を理解しておく(45分)
8	試合分析 1 (心理的・コンディショニングの方法)	コンディショニングの方法を確認しておく(45分)	コンディショニングの方法を理解しておく(45分)
9	試合分析 2 (心理的・コンディショニングの方法)	コンディショニングの方法を確認しておく(45分)	コンディショニングの方法を理解しておく(45分)
10	試合分析 3 (心理的・コンディショニングの方法)	コンディショニングの方法を確認しておく(45分)	コンディショニングの方法を理解しておく(45分)
11	試合分析 4 (心理的・コンディショニングの方法)	コンディショニングの方法を確認しておく(45分)	コンディショニングの方法を理解しておく(45分)
12	試合分析 5 (心理的・コンディショニングの方法)	コンディショニングの方法を確認しておく(45分)	コンディショニングの方法を理解しておく(45分)
13	試合分析 6 (心理的・コンディショニングの方法)	コンディショニングの方法を確認しておく(45分)	コンディショニングの方法を理解しておく(45分)
14	試合分析 7 (心理的・コンディショニングの方法)	コンディショニングの方法を確認しておく(45分)	コンディショニングの方法を理解しておく(45分)
15	試合分析 8 (心理的・コンディショニングの方法)	コンディショニングの方法を確認しておく(45分)	コンディショニングの方法を理解しておく(45分)
16	振り返りと確認。	内容を確認し理解を深めておくこと(45分)	専門用語の意味を理解しておくこと(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS072046)				
授業担当者(所属・職名)	宮嶋 達也(デザイン学科・准教授)	研究室所在	2号館4階		
単位数	1 (単位認定責任者: 宮嶋 達也)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
<p>学生時代に創作し、制作した作品で地域に貢献するには、その地域や社会(企業)の理解や課題認識が必要であり、また、自らの学習成果を地域社会の中で試し検証する絶好の機会となる。更に、本学の教育理念に「必要とする人々のために新たな道を創造し、人々が共生しえる社会の実現をめざし、それを成し遂げる」を具現する活動でもある。そうした位置付けで、リサーチ・プランニング・クリエイション・プレゼン・制作活動まで一貫して実践する。</p>

授業の位置づけ
<p>経営学科のD P「1(2)、(4)、(5)」、 「2(1)、(3)」に対応する。 福祉学科のD P「1(2)、(3)、(4)、(5)」、 「2(4)」に対応する。 デザイン学科のD P「1(1)、(2)、(3)」、 「2(1)、(3)、(5)」に対応する。 建築学科のD P「1(3)」、 「2(1)、(3)、(5)」に対応する。</p>

到達目標
<p>(1) 制作活動を通して何を学ぶのか、各自の問題意識を明確にする。 (2) 様々な活動場面に応じて、適切なコミュニケーションを取りながら、他者との関わりをもつ。 (3) 対象者の特性に応じた指導や支援の仕方を実践的に学ぶ。 (4) 各自の活動経験を振り返り、今後進めていく上での自己の学習課題を設定する。</p>

授業全体の内容と概要
<p>授業では、グループワーク、討論、ワークショップ等のアクティビティを多く取り入れる。各自が問題意識を持ち活動し、考察結果などを全体で共有しながら、各自の考えが深められるようにする。</p>

授業の方法
<p>グループワークを中心にした活動が多いため、一人ひとりが自主性を持ち、他人任せになるようなことがないように、常に問題意識を持ち、議論しながら問題解決し、積極的に活動に励む。授業では、グループワーク、討論、ワークショップ等のアクティビティを多く取り入れる。</p>

アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td>○</td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td>○</td> <td>P B L</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク	○	P B L		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業	○	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク	○	P B L																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
○	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	

履修上の注意事項
<p>本ゼミを希望する学生は必ず活動内容の説明を聞きに選択希望の前に研究室へ来ること。 受講に関して以下の心構えがある学生を条件といたします。 社会に役立って達成感を得たり、自分に自信をつけたい人 やる気があり、最後まで活動をやり通す気力を持ち合わせている人 協力し合いながら目標に向かい活動を成功させることができる人</p>

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
<p>単位認定に必要な最低出席回数は、10回以上とする。</p>												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>50%</td> <td>0%</td> <td>20%</td> <td>30%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	0%	50%	0%	20%	30%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	0%	50%	0%	20%	30%							

ルーブリック																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>積極性、社会理解</td> <td>積極的にアイデアを出し、採用された。他人の発言を聞き、十分な理解に努め、積極的に意見した。</td> <td>積極的にアイデアを出した。他人の発言を聞き、十分な理解に努めた意見した。</td> <td>それなりにアイデアを出した。他人の発言を聞き、ある程度意見した。</td> <td>アイデアを殆ど出せなかった。他人の意見をあまり理解できなかった。</td> <td>アイデアを出せなかった。他人の意見を殆ど理解できなかった。</td> </tr> <tr> <td>課題解決能力と創造性</td> <td>仕事を的確に発見し、進め方を共有しあいながら適切に検討し、実行できた。</td> <td>仕事を進んで発見し、進め方を適切に検討し、実行できた。</td> <td>仕事を発見し、進め方を検討し、ある程度実行できた。</td> <td>仕事をあまり発見できず、依頼されたことだけ実行できた。</td> <td>仕事を発見できず、依頼されたことでも、ほとんど実行できなかった。</td> </tr> <tr> <td>コミュニケーション能力と行動力</td> <td>他者をリードする態度で積極的に活動に取り組み、高いコミュニケーション能力と行動力がある。</td> <td>自主的・協力的に活動に取り組み、コミュニケーション能力や行動力がある。</td> <td>自らの考えでアクションを起こすことはあまりないが、必要なコミュニケーション能力や行動力はある。</td> <td>自らの考えでアクションを起こすことはなく、最低限度のコミュニケーション能力や行動力はある。</td> <td>自らの考えでアクションを起こすことができない。最低限度のコミュニケーション能力や行動力もほとんどない。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	積極性、社会理解	積極的にアイデアを出し、採用された。他人の発言を聞き、十分な理解に努め、積極的に意見した。	積極的にアイデアを出した。他人の発言を聞き、十分な理解に努めた意見した。	それなりにアイデアを出した。他人の発言を聞き、ある程度意見した。	アイデアを殆ど出せなかった。他人の意見をあまり理解できなかった。	アイデアを出せなかった。他人の意見を殆ど理解できなかった。	課題解決能力と創造性	仕事を的確に発見し、進め方を共有しあいながら適切に検討し、実行できた。	仕事を進んで発見し、進め方を適切に検討し、実行できた。	仕事を発見し、進め方を検討し、ある程度実行できた。	仕事をあまり発見できず、依頼されたことだけ実行できた。	仕事を発見できず、依頼されたことでも、ほとんど実行できなかった。	コミュニケーション能力と行動力	他者をリードする態度で積極的に活動に取り組み、高いコミュニケーション能力と行動力がある。	自主的・協力的に活動に取り組み、コミュニケーション能力や行動力がある。	自らの考えでアクションを起こすことはあまりないが、必要なコミュニケーション能力や行動力はある。	自らの考えでアクションを起こすことはなく、最低限度のコミュニケーション能力や行動力はある。	自らの考えでアクションを起こすことができない。最低限度のコミュニケーション能力や行動力もほとんどない。												
評価項目		評価基準																																							
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
積極性、社会理解	積極的にアイデアを出し、採用された。他人の発言を聞き、十分な理解に努め、積極的に意見した。	積極的にアイデアを出した。他人の発言を聞き、十分な理解に努めた意見した。	それなりにアイデアを出した。他人の発言を聞き、ある程度意見した。	アイデアを殆ど出せなかった。他人の意見をあまり理解できなかった。	アイデアを出せなかった。他人の意見を殆ど理解できなかった。																																				
課題解決能力と創造性	仕事を的確に発見し、進め方を共有しあいながら適切に検討し、実行できた。	仕事を進んで発見し、進め方を適切に検討し、実行できた。	仕事を発見し、進め方を検討し、ある程度実行できた。	仕事をあまり発見できず、依頼されたことだけ実行できた。	仕事を発見できず、依頼されたことでも、ほとんど実行できなかった。																																				
コミュニケーション能力と行動力	他者をリードする態度で積極的に活動に取り組み、高いコミュニケーション能力と行動力がある。	自主的・協力的に活動に取り組み、コミュニケーション能力や行動力がある。	自らの考えでアクションを起こすことはあまりないが、必要なコミュニケーション能力や行動力はある。	自らの考えでアクションを起こすことはなく、最低限度のコミュニケーション能力や行動力はある。	自らの考えでアクションを起こすことができない。最低限度のコミュニケーション能力や行動力もほとんどない。																																				

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>I S B N</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>I S B N</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS072046)				
授業担当者(所属・職名)	宮嶋 達也(デザイン学科・准教授)	研究室所在	2号館4階		
単位数	1 (単位認定責任者: 宮嶋 達也)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	前期の活動における確認と振り返り シラバスの説明	演習の準備 シラバスの熟読(45分)	演習内容を確認して理解を深める(45分)
2	Planning1	事前に作業しておくなどの準備(45分)	演習内容を確認して理解を深める(45分)
3	Planning2	事前に作業しておくなどの準備(45分)	演習内容を確認して理解を深める(45分)
4	Planning3	事前に作業しておくなどの準備(45分)	演習内容を確認して理解を深める(45分)
5	Research activities 1	事前に作業しておくなどの準備(45分)	演習内容を確認して理解を深める(45分)
6	Research activities 2	事前に作業しておくなどの準備(45分)	演習内容を確認して理解を深める(45分)
7	Research activities 3	事前に作業しておくなどの準備をすること(45分)	演習内容を確認して理解を深める(45分)
8	Creative activities 1	事前に作業しておくなどの準備(45分)	演習内容を確認して理解を深める(45分)
9	Creative activities 2	事前に作業しておくなどの準備をすること(45分)	演習内容を確認して理解を深める(45分)
10	Creative activities 3	事前に作業しておくなどの準備(45分)	演習内容を確認して理解を深める(45分)
11	Creative activities 4	事前に作業しておくなどの準備(45分)	演習内容を確認して理解を深める(45分)
12	Creative activities 5	事前に作業しておくなどの準備(45分)	演習内容を確認して理解を深める(45分)
13	presentation	事前に作業しておくなどの準備(45分)	演習内容を確認して理解を深める(45分)
14	presentation	事前に作業しておくなどの準備をすること(45分)	演習内容を確認して理解を深める(45分)
15	レポート・後期活動のまとめ	事前に作業しておくなどの準備(45分)	演習内容を確認して理解を深める(45分)
16	1年間の活動における総括と振り返り	事前に作業しておくなどの準備(45分)	演習内容を確認して理解を深める(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS072046)				
授業担当者(所属・職名)	横山 哲也(建築学科・准教授)	研究室所在	2号館7階		
単位数	1 (単位認定責任者: 横山 哲也)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標

学生が就職活動を行う時に必要なSPIの基礎知識(非言語分野)及び解き方(思考過程)の基本をしっかりと身につける。

授業の位置づけ

経営学科のDP「1(1)」、「2(1)」に対応する。
 社会福祉学科のDP「1(2)」、「2(4)」に対応する。
 サイン学科のDP「1(1)」、「2(5)」に対応する。
 建築学科のDP「1(1)」、「2(5)」に対応する。

到達目標

SPIの基礎知識(非言語分野)及び解き方(思考過程)の基本を修得できる。

授業全体の内容と概要

金錢に関する問題、速さ・時間・距離、確率、推論、集合、論証、グラフの領域等を豊富な練習問題を解くことによって、SPIの基礎知識(非言語分野)と解き方の基本について実感をつかませる。

授業の方法

授業は、板書で実施し、板書にて説明しながら、演習を行う。課題は学生が提出後、解説を行う。

アクティブラーニングの実施方法

○	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業
	ディスカッション		実験・実習・実技	○	双方向授業		その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

ゼミナールの内容を十分に理解するために予習・復習を怠らず、また講義や演習に対して積極的に取り組むこと。
 レポート等の提出方法についてはゼミナール時間中に指示するので、ゼミナールを欠席することのないよう留意すること。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な最低出席回数は、11回以上					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	50%	0%	0%	30%	20%

ルーブリック

評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
SPIに必要な基礎知識の修得	SPIの基礎知識(非言語分野)及び解き方(思考過程)が100%理解できた。	SPIの基礎知識(非言語分野)及び解き方(思考過程)が90%理解できた。	SPIの基礎知識(非言語分野)及び解き方(思考過程)が80%理解できた。	SPIの基礎知識(非言語分野)及び解き方(思考過程)が70%理解できた。	SPIの基礎知識(非言語分野)及び解き方(思考過程)が70%も理解できなかった。
計算過程において必要な記述内容の修得	演習問題は解き方(思考過程)を100%記述したレポートになった。	演習問題は解き方(思考過程)を90%記述したレポートになった。	演習問題は解き方(思考過程)を80%記述したレポートになった。	演習問題は解き方(思考過程)を70%記述したレポートになった。	演習問題は解き方(思考過程)を70%も記述したレポートにならなかった。
思考過程のプレゼンテーション	筋道の立った思考過程がプレゼンテーションを通して明確に出来た。また、質問にも正確に対応した。	筋道の立った思考過程がプレゼンテーションを通して明確に出来た。	筋道の立った思考過程がプレゼンテーションを通して出来た。	一部筋道の立った思考過程がプレゼンテーションを通して出来た。	筋道の立った思考過程のプレゼンテーションが出来なかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等

No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・2年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング: BAS072046)				
授業担当者(所属・職名)	横山 哲也(建築学科・准教授)	研究室所在	2号館7階		
単位数	1 (単位認定責任者: 横山 哲也)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	ガイダンス及びシラバスの説明	シラバスを読んでおくこと(45分)	今日のゼミナールの再確認(45分)
2	順列・組み合わせ	学習内容の箇所を事前に予習しておくこと(45分)	今日のゼミナールの再確認(45分)
3	確率のとらえ方	学習内容の箇所を事前に予習しておくこと(45分)	今日のゼミナールの再確認(45分)
4	集合	学習内容の箇所を事前に予習しておくこと(45分)	今日のゼミナールの再確認(45分)
5	推論	学習内容の箇所を事前に予習しておくこと(45分)	今日のゼミナールの再確認(45分)
6	ものの流れと比率	学習内容の箇所を事前に予習しておくこと(45分)	今日のゼミナールの再確認(45分)
7	ブラックボックス	学習内容の箇所を事前に予習しておくこと(45分)	今日のゼミナールの再確認(45分)
8	グラフの領域(1)	学習内容の箇所を事前に予習しておくこと(45分)	今日のゼミナールの再確認(45分)
9	グラフの領域(2)	学習内容の箇所を事前に予習しておくこと(45分)	今日のゼミナールの再確認(45分)
10	グラフの領域(3)	学習内容の箇所を事前に予習しておくこと(45分)	今日のゼミナールの再確認(45分)
11	論証(1)	学習内容の箇所を事前に予習しておくこと(45分)	今日のゼミナールの再確認(45分)
12	論証(2)	学習内容の箇所を事前に予習しておくこと(45分)	今日のゼミナールの再確認(45分)
13	論証(3)	学習内容の箇所を事前に予習しておくこと(45分)	今日のゼミナールの再確認(45分)
14	立体の展開図・断面(1)	学習内容の箇所を事前に予習しておくこと(45分)	今日のゼミナールの再確認(45分)
15	立体の展開図・断面(2)	学習内容の箇所を事前に予習しておくこと(45分)	今日のゼミナールの再確認(45分)
16	まとめ及び要点のフィードバック	総復習(45分)	総理解(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	建築学科・2年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング:)				
授業担当者(所属・職名)	長森 正 (建築学科・教授)	研究室所在	アトリエ棟 1階		
単位数	(単位認定責任者: 長森 正)	CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標												
建築士及び建築施工管理技士の学科試験問題の中で、構造力学分野についての特徴や解法を学習する。												
授業の位置づけ												
建築学科のDP「1(1)」、「2(1)」、「2(5)」に対応する。												
到達目標												
建築士及び建築施工管理技士の構造力学分野について、演習問題を解きながら苦手意識を克服し合格する力を養成する。												
授業全体の内容と概要												
テキストに沿って構造力学分野の解説及び演習問題を行う。 構造力学分野は、力と反力、曲げモーメント、曲げ応力、トラス、断面2次モーメント、座屈等について学習する。												
授業の方法												
授業は板書やプロジェクターを利用して講義形式で行う。各章の終了時には過去問題の演習を行う。												
アクティブラーニングの実施方法												
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>グループワーク</td> <td>フィールドワーク</td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td>ロールプレイ</td> <td>調査学習</td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td>実験・実習・実技</td> <td>双方向授業</td> <td>○ その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL	模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業	ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	○ その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL									
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業									
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	○ その他(授業の方法参照)									
履修上の注意事項												
テキストに準じて講義・演習問題を解説するので、休まず出席すること。												
資格指定科目												

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な最低出席回数は10回以上。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
%	50%	%	%	30%	20%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
力・曲げモーメントの理解	力の釣り合い・反力及び曲げモーメント、応力図が理解でき、他の人に説明できた。	力の釣り合い・反力及び曲げモーメント、応力図が理解できた。	力の釣り合い・反力及び曲げモーメントが理解できた。	力の釣り合い・反力が理解できた。	力の釣り合い・反力が理解できなかった。
曲げ応力度・トラスの理解	曲げ応力度・トラスが理解でき、他の人に説明できた。	曲げ応力度・トラスが理解でき、応力を計算できた。	曲げ応力度・トラスが理解できた。	トラスが理解できた。	トラスが理解できなかった。
断面・座屈の理解	断面2次モーメントと座屈の計算ができ、他の人に説明ができた。	断面2次モーメントと座屈の計算ができ、関連が理解できた。	断面2次モーメントと座屈の計算ができた。	断面2次モーメントの計算ができた。	断面2次モーメントの計算ができなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『適宜、資料配布。』					
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	建築学科・2年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	基礎ゼミナール B (科目ナンバリング:)				
授業担当者(所属・職名)	長森 正(建築学科・教授)	研究室所在	アトリエ棟1階		
単位数	(単位認定責任者: 長森 正)	CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	ガイダンス及びシラバスの説明	シラバスを確認する(45分)	ガイダンス及びシラバスの理解(45分)
2	力の釣り合い	資料の予習する(45分)	内容を確認し復習する(45分)
3	反力	資料の予習する(45分)	内容を確認し復習する(45分)
4	演習1	資料の予習する(45分)	内容を確認し復習する(45分)
5	曲げモーメント	資料の予習する(45分)	内容を確認し復習する(45分)
6	曲げ応力度	資料の予習する(45分)	内容を確認し復習する(45分)
7	演習2	資料の予習する(45分)	内容を確認し復習する(45分)
8	トラス	資料の予習する(45分)	内容を確認し復習する(45分)
9	演習3	資料の予習する(45分)	内容を確認し復習する(45分)
10	断面2次モーメント	資料の予習する(45分)	内容を確認し復習する(45分)
11	演習4	資料の予習する(45分)	内容を確認し復習する(45分)
12	座屈	資料の予習する(45分)	内容を確認し復習する(45分)
13	曲げとせん断	資料の予習する(45分)	内容を確認し復習する(45分)
14	ラーメン	資料の予習する(45分)	内容を確認し復習する(45分)
15	演習5	資料の予習する(45分)	内容を確認し復習する(45分)
16	まとめ及び要点のフィードバック	総復習をする(45分)	総復習及び配布資料の整理(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	
科目名称	基礎セミナー B (科目ナンバリング:)				
授業担当者(所属・職名)		研究室所在			
単位数	(単位認定責任者:)		CAP制		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標																								
授業の位置づけ																								
到達目標																								
授業全体の内容と概要																								
授業の方法																								
アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	
履修上の注意事項																								
資格指定科目																								

評価方法・基準

評価前提条件					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	
科目名称	基礎セミナー B (科目ナンバリング:)				
授業担当者(所属・職名)			研究室所在		
単位数	(単位認定責任者:)		CAP制		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	4Q	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	文章表現演習（日本（科目ナンバリング：BAS071049））				
授業担当者（所属・職名）	竜野 征一郎（経営学科・助教）	研究室所在	2号館7階		
単位数	1（単位認定責任者：竜野 征一郎）	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標												
日本語の文章表現について学び、日本における実社会で活躍するために必要な文章や、大学で学ぶために必要な専門的な文章を書くことができるようになる。												
授業の位置づけ												
経営学科のDP「1(4)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(2)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(2)」に対応する。 建築学科のDP「1(3)」に対応する。												
到達目標												
日本語の文章表現の基礎を学び、様々な形式に合わせた文章が作成できる。												
授業全体の内容と概要												
日本語の「話し言葉」と「書き言葉」の違いを理解し、レポート・発表資料やエントリーシート等、様々な文章に合わせた適切な文体で書くために必要な技術を学びながら、演習形式で文章の作成を行う。												
授業の方法												
主に配布資料を用いながら文章作成に必要な技術を説明・実践しながら、演習形式で文章を作成する（グループワーク含む）。また、課題文およびレポートの作成に対し、添削およびコメントでフィードバックを受け、書き直しなどを行う。												
アクティブラーニングの実施方法												
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>グループワーク</td> <td>フィールドワーク</td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td>ロールプレイ</td> <td>調査学習</td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td>実験・実習・実技</td> <td>双方向授業</td> <td>その他（授業の方法参照）</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL	模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業	ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他（授業の方法参照）
プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL									
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業									
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他（授業の方法参照）									
履修上の注意事項												
修正可能な筆記用具（鉛筆・シャープペン・消しゴム等）を必ず持参すること。 辞書（電子辞書・スマートフォン可）を持参することが望ましい。 毎回文章を作成するので、意欲を持って取り組むこと。												
資格指定科目												

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な最低出席回数は、11回以上。出席状況、課題提出、授業への参加態度など総合的に判断する。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	30%	50%	0%	15%	5%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
日本語の運用	ほぼ誤りのない、内容に合わせた多彩な表現を用いた明確な文章が作成できた。	あまり誤りのない、様々な表現を適切に用いた文章が作成できた。	あまり誤りのない、直截的な表現を用いた文章が作成できた。	表現に誤りは見られるが、理解可能な内容の文章が作成できた。	表現に誤りが多いため、理解可能な文章が作成できなかった。
目的に応じた書き方	文章作成に関するルールに対し、細かい注意を向け、適切に対応できた。	文章作成に関する重要なルールに対し、適切に対応できた。	文章作成に関するルールに対し、一貫した対応ができた。	文章作成に関するルールに従おうとする意識を示すことができた。	文章作成に関するルールを意識した文章を作成することができなかった。
文章作成の目的の理解	その文章を作成する目的・読者を明確に理解し、求められた全ての要素に対応した文章を作成できた。	その文章を作成する目的・読者を理解し、求められた要素に対応した文章を作成できた。	その文章を作成する目的・読者を考慮し、求められた要素を含んだ内容の文章を作成できた。	その文章を作成する目的・読者を意識した文章を作成できた。	その文章を作成する目的・読者を意識した文章を作成できなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						授業中にプリント等の配布資料を用い
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						参考図書・文献類は授業中に随時紹介す
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	4Q	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	文章表現演習（日本（科目ナンバリング：BAS071049））				
授業担当者（所属・職名）	竜野 征一郎（経営学科・助教）	研究室所在	2号館7階		
単位数	1（単位認定責任者：竜野 征一郎）	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習（所要時間）	事後学習（所要時間）
1	オリエンテーション（シラバスの説明および今期の授業目的と進め方について解説・プレースメントテスト・実力確認を含む）	シラバスを熟読し、本講義について理解しておくこと（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
2	文章表現の基礎 自分の意見を伝える	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
3	文章表現の基礎 必要な情報を整理する	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
4	文章表現の基礎 整理した情報を使って相手に伝える	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
5	文章表現の基礎 志望動機書を書き、コメントする	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
6	まとめ	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
7	レポート作成の基礎 基本的な表現ルール	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
8	レポート作成の基礎 引用	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
9	レポート作成の基礎 論理的な文章	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
10	レポート作成の基礎 資料を探す	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
11	レポート作成の基礎 レポートの種類	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
12	レポート作成実践	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
13	レポート作成実践	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
14	レポート作成実践	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
15	まとめ	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること（90分）	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと（90分）
16	解説およびフィードバック	講義全体の内容についてふりかえりを行うこと（90分）	解説およびフィードバックを受け、講義に関してより理解を深めること（90分）

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習（所要時間）	事後学習（所要時間）
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	2Q	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	文章表現演習 (科目ナンバリング: BAS071050)				
授業担当者(所属・職名)	竜野 征一郎(経営学科・非常勤講師)	研究室所在	2号館7階		
単位数	1 (単位認定責任者: 竜野 征一郎)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標	日本語の文章表現について学び、日本における実社会で活躍するために必要な文章や、大学で学ぶために必要な専門的な文章を書くことができるようになる。												
授業の位置づけ	経営学科のDP「1(4)」、「2(1)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(2)」、「2(1)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(2)」、「2(1)」に対応する。 建築学科のDP「1(3)」、「2(1)」に対応する。												
到達目標	日本語の文章表現の基礎を学び、様々な形式に合わせた文章が作成できる。												
授業全体の内容と概要	日本語の「話し言葉」と「書き言葉」の違いを理解し、レポート・発表資料やエントリーシート等、様々な文章に合わせた適切な文体で書くために必要な技術を学びながら、演習形式で文章の作成を行う。												
授業の方法	主に配布資料を用いながら文章作成に必要な技術を説明・実践しながら、演習形式で文章を作成する(グループワーク含む)。 また、課題文およびレポートの作成に対し、添削およびコメントでフィードバックを受け、書き直しなどを行う。												
アクティブラーニングの実施方法	<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>グループワーク</td> <td>フィールドワーク</td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td>ロールプレイ</td> <td>調査学習</td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td>実験・実習・実技</td> <td>双方向授業</td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL	模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業	ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL										
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業										
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)										
履修上の注意事項	修正可能な筆記用具(鉛筆・シャープペン・消しゴム等)を必ず持参すること。 辞書(電子辞書・スマートフォン可)を持参することが望ましい。 毎回文章を作成するので、意欲を持って取り組むこと。												
資格指定科目													

評価方法・基準

評価前提条件	単位認定に必要な最低出席回数は、11回以上。出席状況、課題提出、授業への参加態度など総合的に判断する。					
評価方法	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
	0%	30%	50%	0%	15%	5%

ルーブリック	評価基準				
評価項目	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
日本語の運用	ほぼ誤りのない、内容に合わせた多彩な表現を用いた明確な文章が作成できた。	あまり誤りのない、様々な表現を適切に用いた文章が作成できた。	あまり誤りのない、直截的な表現を用いた文章が作成できた。	表現に誤りは見られるが、理解可能な内容の文章が作成できた。	表現に誤りが多いため、理解可能な文章が作成できなかった。
目的に応じた書き方	文章作成に関するルールに対し、細かい注意を向け、適切に対応できた。	文章作成に関する重要なルールに対し、適切に対応できた。	文章作成に関するルールに対し、一貫した対応ができた。	文章作成に関するルールに従おうとする意識を示すことができた。	文章作成に関するルールを意図した文章を作成することができなかった。
文章作成の目的の理解	その文章を作成する目的・読者を明確に理解し、求められた全ての要素に対応した文章を作成できた。	その文章を作成する目的・読者を理解し、求められた要素に対応した文章を作成できた。	その文章を作成する目的・読者を考慮し、求められた要素を含んだ内容の文章を作成できた。	その文章を作成する目的・読者を意識した文章を作成できた。	その文章を作成する目的・読者を意識した文章を作成できなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						授業中にプリント等の配布資料を用い
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						参考図書・文献類は授業中に随時紹介す
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	2Q	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	文章表現演習 (科目ナンバリング: BAS071050)				
授業担当者(所属・職名)	竜野 征一郎(経営学科・非常勤講師)	研究室所在	2号館7階		
単位数	1 (単位認定責任者: 竜野 征一郎)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	オリエンテーション(シラバスの説明および今期の授業目的と進め方について解説・プレースメントテスト・実力確認を含む)	シラバスを熟読し、本講義について理解しておくこと(4.5分)	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと(4.5分)
2	文章表現の基礎 自分の意見を伝える	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること(4.5分)	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと(4.5分)
3	文章表現の基礎 必要な情報を整理する	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること(4.5分)	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと(4.5分)
4	文章表現の基礎 整理した情報を使って相手に伝える	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること(4.5分)	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと(4.5分)
5	文章表現の基礎 志望動機書を書き、コメントする	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること(4.5分)	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと(4.5分)
6	まとめ	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること(4.5分)	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと(4.5分)
7	レポート作成の基礎 基本的な表現ルール	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること(4.5分)	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと(4.5分)
8	レポート作成の基礎 引用	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること(4.5分)	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと(4.5分)
9	レポート作成の基礎 論理的な文章	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること(4.5分)	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと(4.5分)
10	レポート作成の基礎 資料を探す	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること(4.5分)	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと(4.5分)
11	レポート作成の基礎 レポートの種類	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること(4.5分)	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと(4.5分)
12	レポート作成実践	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること(4.5分)	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと(4.5分)
13	レポート作成実践	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること(4.5分)	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと(4.5分)
14	レポート作成実践	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること(4.5分)	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと(4.5分)
15	まとめ	教科書を読んでテーマの課題を実践練習すること(4.5分)	講義内容の理解を深め、指定された課題に取り組むこと(4.5分)
16	解説およびフィードバック	講義全体の内容についてふりかえりを行うこと(4.5分)	解説およびフィードバックを受け、講義に関してより理解を深めること(4.5分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	経営学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	スタートアップ演習(M) (科目ナンバリング: BAS071041)				
授業担当者(所属・職名)	信濃 吉彦(経営学科・教授)・河野 善文(経営学科・教授)・青山 浩之	研究室所在	信濃 2号館6階・河野 1号館2階・青山 1号館4階・河田		
単位数	1 (単位認定責任者: 信濃 吉彦)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
大学生として、自分で考える・詳しく調べる・自分の意見を表現するなどの基礎力を身に付けるために、講義と演習をまじえて大学生にふさわしい学び方の基礎を学ぶ。

授業の位置づけ
経営学科のDP「1(2)」、「2(1)」に対応する科目である。

到達目標
大学の授業のなかで以下の目標にむけた取り組みができる。 ・板書の写してはならない自分なりのノートが作れる。 ・資料を読み、必要な文献情報と要点をノートに整理できる。 ・構成と書式の整ったレポートを作成できる。 ・大学で何をどのように学ぶかが理解できる。

授業全体の内容と概要
講義を聞いてノートを作る方法や文献資料の収集・整理、レポートの書き方・書式・構成など大学で学修するために必要なスキルを学ぶ。

授業の方法
授業では、各回の計画にそって板書やプレゼンテーションによる講義と演習に取り組む。演習においては、周囲の人の意見も聞き、ノート作成で自分なりの工夫をくわえるなど、能動的な学びが求められる。事後学習においては、教員が各回の課題のテーマを指定する。定期試験は実施せず、最終的に各自でレポートを作成して提出する。レポートなどの提出課題は原則として返却せず、以降の授業で全体の解説・論評を行う。個別にコメントを求める場合には、オフィスアワー等の機会を利用すること。また、教員によってはプリントを配布する場合があるが、各回の授業内容を各自がノートにまとめる形で授業をすすめる。特定の教科書を指定しないため、事後学習を行うさいには、各自が作成した授業ノートが必要となる。

アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td>○</td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業	○	その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業	○	その他(授業の方法参照)																	

履修上の注意事項
演習ならびに授業内容をまとめるためのノートが必要である。授業中は口頭説明にも注意してノートを取る。また、本講座は定期試験を実施しないため、各回の演習課題(平常点)ならびに最終レポートの評価で単位認定を行う。欠席があると単位の取得は難しい。また、科目の性格上、1年生での履修完了が求められる。再履修は向年後期に行い、履修中止は出来ない。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
単位認定に必要な出席回数は12回以上												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>30%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>70%</td> <td>0%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	30%	0%	0%	70%	0%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	30%	0%	0%	70%	0%							

ルーブリック																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>授業ノートの作成</td> <td>記号や図なども使って、板書やスライド、口頭説明の内容をわかりやすくノートにまとめることができた。</td> <td>板書やスライドや口頭説明の内容が自分なりにノートにまとめられた。</td> <td>板書やスライドだけでなく、講義中に口頭で説明された重点ポイントもノートに書けた。</td> <td>板書やスライドから必要最低限の内容がノートに書き出された。</td> <td>ノートがとれなかった。</td> </tr> <tr> <td>資料の読み方と読書ノートの作成</td> <td>文献情報や資料の要点がわかりやすくノートにまとめられ、筆者の主張に対する自分の意見を根拠とともにノートに書けた。</td> <td>文献情報や資料の要点に比べて、資料の主張に対する自分の意見がノートに書けた。</td> <td>文献情報等の必要な情報と資料の内容がノートにまとめられた。</td> <td>文献情報等の必要最低限の情報と資料の内容がノートに書き出された。</td> <td>板書や文献情報等の必要な情報がノートに書き出せなかった。</td> </tr> <tr> <td>レポートの構成と書式</td> <td>レポートの書式と構成をわかりやすくノートにまとめる内容も十分に理解し、いつでも実施できる状態にある。</td> <td>レポートの書式と構成をほぼ理解し、本学経営学科が求める内容を理解し実施できる状態にある。</td> <td>レポートの書式と構成をおもむね理解し、今後の活動に耐えられるレベルには到達できている。</td> <td>レポートの書式と構成に関して最低限必要な内容を理解するにとどまっており、実施に際しては細かな支持が必要と思われる。</td> <td>レポートの書式と構成を理解できなかったため今後の活動に支障をきたさずレベルにとどまった。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	授業ノートの作成	記号や図なども使って、板書やスライド、口頭説明の内容をわかりやすくノートにまとめることができた。	板書やスライドや口頭説明の内容が自分なりにノートにまとめられた。	板書やスライドだけでなく、講義中に口頭で説明された重点ポイントもノートに書けた。	板書やスライドから必要最低限の内容がノートに書き出された。	ノートがとれなかった。	資料の読み方と読書ノートの作成	文献情報や資料の要点がわかりやすくノートにまとめられ、筆者の主張に対する自分の意見を根拠とともにノートに書けた。	文献情報や資料の要点に比べて、資料の主張に対する自分の意見がノートに書けた。	文献情報等の必要な情報と資料の内容がノートにまとめられた。	文献情報等の必要最低限の情報と資料の内容がノートに書き出された。	板書や文献情報等の必要な情報がノートに書き出せなかった。	レポートの構成と書式	レポートの書式と構成をわかりやすくノートにまとめる内容も十分に理解し、いつでも実施できる状態にある。	レポートの書式と構成をほぼ理解し、本学経営学科が求める内容を理解し実施できる状態にある。	レポートの書式と構成をおもむね理解し、今後の活動に耐えられるレベルには到達できている。	レポートの書式と構成に関して最低限必要な内容を理解するにとどまっており、実施に際しては細かな支持が必要と思われる。	レポートの書式と構成を理解できなかったため今後の活動に支障をきたさずレベルにとどまった。												
評価項目		評価基準																																							
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
授業ノートの作成	記号や図なども使って、板書やスライド、口頭説明の内容をわかりやすくノートにまとめることができた。	板書やスライドや口頭説明の内容が自分なりにノートにまとめられた。	板書やスライドだけでなく、講義中に口頭で説明された重点ポイントもノートに書けた。	板書やスライドから必要最低限の内容がノートに書き出された。	ノートがとれなかった。																																				
資料の読み方と読書ノートの作成	文献情報や資料の要点がわかりやすくノートにまとめられ、筆者の主張に対する自分の意見を根拠とともにノートに書けた。	文献情報や資料の要点に比べて、資料の主張に対する自分の意見がノートに書けた。	文献情報等の必要な情報と資料の内容がノートにまとめられた。	文献情報等の必要最低限の情報と資料の内容がノートに書き出された。	板書や文献情報等の必要な情報がノートに書き出せなかった。																																				
レポートの構成と書式	レポートの書式と構成をわかりやすくノートにまとめる内容も十分に理解し、いつでも実施できる状態にある。	レポートの書式と構成をほぼ理解し、本学経営学科が求める内容を理解し実施できる状態にある。	レポートの書式と構成をおもむね理解し、今後の活動に耐えられるレベルには到達できている。	レポートの書式と構成に関して最低限必要な内容を理解するにとどまっており、実施に際しては細かな支持が必要と思われる。	レポートの書式と構成を理解できなかったため今後の活動に支障をきたさずレベルにとどまった。																																				

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>『新・知のツールボックス』</td> <td>専修大学出版企画委員会編</td> <td>専修大学出版局</td> <td>2018</td> <td>9784881253267</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1	『新・知のツールボックス』	専修大学出版企画委員会編	専修大学出版局	2018	9784881253267		2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1	『新・知のツールボックス』	専修大学出版企画委員会編	専修大学出版局	2018	9784881253267																																					
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	経営学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	スタートアップ演習(M) (科目ナンバリング: BAS071041)				
授業担当者(所属・職名)	信濃 吉彦(経営学科・教授)・河野 善文(経営学科・教授)・青山 浩之	研究室所在	信濃 2号館6階・河野 1号館2階・青山 1号館4階・河田		
単位数	1 (単位認定責任者: 信濃 吉彦)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	オリエンテーションとシラバスの説明	本授業の専用のノートを1冊用意して、シラバスの要点をまとめる(45分)	ノートをまとめ課題・宿題に取り組む(45分)
2	話を聞き、ノートを取る1: 大学と高校までの板書の違いとノートテイキングの重要性	前回ノートを読み返す(45分)	ノートをまとめ課題・宿題に取り組む(45分)
3	話を聞き、ノートを取る2: ノートの取り方: 記憶のしくみとノートの活用	前回ノートを読み返す(45分)	ノートをまとめ課題・宿題に取り組む(45分)
4	話を聞き、ノートを取る3: ノートの取り方: コーネル式ノート術	前回ノートを読み返す(45分)	ノートをまとめ課題・宿題に取り組む(45分)
5	〔演習〕講義ノートの作成: 話を聞き、講義ノートを作る。	前回ノートを読み返す(45分)	ノートをまとめ課題・宿題に取り組む(45分)
6	文章を読み、ノートを取る1: 資料の読み方と直接引用	前回ノートを読み返す(45分)	ノートをまとめ課題・宿題に取り組む(45分)
7	文章を読み、ノートを取る2: 文章の要点をまとめる。	前回ノートを読み返す(45分)	ノートをまとめ課題・宿題に取り組む(45分)
8	文章を読み、ノートを取る3: 文献情報と資料の要点をノートに整理	前回ノートを読み返す(45分)	ノートをまとめ課題・宿題に取り組む(45分)
9	〔演習〕資料を読み、読書ノートを作成する。	前回ノートを読み返す(45分)	ノートをまとめ課題・宿題に取り組む(45分)
10	レポートを書く・考えたことを表現する1: レポートとは何か(種類と書き方)	前回ノートを読み返す(45分)	ノートをまとめ課題・宿題に取り組む(45分)
11	レポートを書く・考えたことを表現する2: レポートの書き方(香観表現とアウトライン)	前回ノートを読み返す(45分)	ノートをまとめ課題・宿題に取り組む(45分)
12	レポートを書く・考えたことを表現する3: レポートの書き方(パラグラフの構成と理由付け)	前回ノートを読み返す(45分)	ノートをまとめ課題・宿題に取り組む(45分)
13	〔演習〕レポートの作成1: アウトラインの作成と下書き	前回ノートを読み返す(45分)	ノートをまとめレポートに取り組む(45分)
14	〔演習〕レポートの作成2: 文章の推敲と書式を整えてレポートを完成させる。	レポートを組む(45分)	ノートをまとめレポートに取り組む(45分)
15	授業のまとめと総括 レポートとして提出(授業冒頭)	レポートを組む(45分)	レポートを完成させる(45分)
16	レポート総評	レポート提出または準備(45分)	本科目の総復習(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	社会福祉学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	スタートアップ演習(S) (科目ナンバリング: BAS071041)				
授業担当者(所属・職名)	渡部 斎(社会福祉学科・教授)、松下守邦(社会福祉学科・教授)	研究室所在	2号館7階		
単位数	1 (単位認定責任者: 渡部 斎)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
<p>本科目は、学生生活をスタートするための「基礎演習」であり、社会福祉学科教育課程における「大学での学び方」の把握することが授業の目的となる。学生としての身分は、高校までの生徒から学生へ変わり、高校までの学びは、教科書、正解の用意される学びが主であったが、大学の学びは、知識の理解、覚えることのほかに、自らが「学術的方法」を使い、疑問を明らかにすることに取り組むことになる。この授業を通して、大学での学び、学問するために必要になる、学修経験を言語化するスキルを獲得する。</p>

授業の位置づけ
社会福祉学科のDP「1(2)と(3)と(5)と(6)と(7)」、「2(1)」に対応する。

到達目標
<p>主体的学修をおこなうこと、大学で「学問をする」ことを到達基準とする。自ら進んで学修し、事実と意見をわけて思考することや、学問対象について専門用語を使い考察し、客観的な意思決定ができること、よりよい意見を提示しあう建設的批判ができることが実践目標である。</p>

授業全体の内容と概要
<p>大学での学び方の基本となる、キャンパスライフ(履修・学修、講義・演習、成績評価、GPA・CAP、ノート作成)、スタディスキルズ(学術レポートの読解、作成)、アカデミックライティング(社会福祉学の文献利用、資料作成)などを学修する。</p>

授業の方法
<p>授業は、講義形式によるテキスト解説にもとづきWorkshopが設定される。各授業では、大学生として求められるスキルについて、テキスト各章のWork of the Activityにあるトレーニング・シートを提出する。Activityでは、ゼミ教員への聞き取り作業、図書館での調べ学習など、能動的な学修(アクティブ・ラーニング)活動に参加する。最終授業では、本演習のまとめを教員がおこなったあとに、自己評価レポートを各学生は提出する。レポート等について教員コメントなどのフィードバックをうける機会がある。</p>

アクティブラーニングの実施方法																					
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>○</td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td>○</td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業	○	その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL															
模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業															
ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業	○	その他(授業の方法参照)															

履修上の注意事項
<p>授業では、クラスメイトと一緒に作業したり、議論をおこなうことがある。ほかの人の発言や教員の指示に耳を傾け、学修成果を共有しよう。授業は学生のみならずと担当教員による協同学習であるので、積極的に協力、学修活動に貢献しよう。遅刻、欠席の際の対応ルール(公欠届の提出、配布資料の受取、提出課題の補填など、授業時間外に必要なフォローアップ)、授業中の私語、入退室、スマホ操作、水分補給等のマナーについて、初回授業で確認をする。学生、社会人として行動力を向上する。大学から交付される学生メールアドレスを使い、マイクロソフト社Teams科目チャネル、Formsを学修利用する。パソコンスキル(レポート作成、準備学修の確認、教員への授業外連絡など、ビジネスマナー)を高めていくためには、学生はノートPC利用が推奨される。</p>

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
<p>単位認定のためには、授業第1回から第15回までに計10回以上の出席が必要になる。</p>												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>20%</td> <td>20%</td> <td>0%</td> <td>30%</td> <td>30%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	20%	20%	0%	30%	30%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	20%	20%	0%	30%	30%							

ルーブリック																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>修得した知識を使い、収集した情報を分析し、理解することができる。情報分析力としての知識・技能</td> <td>大学生として、知識・技能を積極的に修得しており、これまでの学修とつなげて類似点や相違点を考え、深く理解できた。</td> <td>大学生として、知識・技能を積極的に修得しようとしており、おおむね理解できた。</td> <td>大学生として、修得する知識・技能について基本的な理解ができた。</td> <td>大学生として、知識・技能の修得に欠ける部分はあるが、理解できた。</td> <td>大学生として、知識・技能の修得には著しい欠落があり、理解ができなかった。</td> </tr> <tr> <td>収集した情報を分析して課題を発見し、客観的立場から成果を論理的に表現することができる。思考力・判断力・表現力</td> <td>大学生として、客観的に状況を把握、思考ができた。自己表現は共感的であり、特定の課題についてオリジナルの提案をすることができた。</td> <td>大学生として、おおむね状況を理解しながら思考ができた。自己表現を一人称で説明したり、積極的に表現することができた。</td> <td>大学生として、基本的な思考と自己表現ができた。</td> <td>大学生として、改善の余地があるが、基本的な思考や自己表現ができた。</td> <td>大学生として、思考や表現をすることができなかった。</td> </tr> <tr> <td>大学の学修環境を創造するメンバーとして自覚し、自分の意見と異なる意見を統合させながら学修経験を高めようとする。関心・意欲・態度</td> <td>大学生として役割と責任を自覚して、積極的、協同的に行動することができた。</td> <td>大学生として役割を、おおむね理解して、自ら行動することができた。</td> <td>大学生としての自分の役割を、基本的な行動をすることができた。</td> <td>大学生として自分の役割を、改善の余地はあるが、行動することができた。</td> <td>大学生として自分の役割を、自ら理解して行動することができなかった。</td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	修得した知識を使い、収集した情報を分析し、理解することができる。情報分析力としての知識・技能	大学生として、知識・技能を積極的に修得しており、これまでの学修とつなげて類似点や相違点を考え、深く理解できた。	大学生として、知識・技能を積極的に修得しようとしており、おおむね理解できた。	大学生として、修得する知識・技能について基本的な理解ができた。	大学生として、知識・技能の修得に欠ける部分はあるが、理解できた。	大学生として、知識・技能の修得には著しい欠落があり、理解ができなかった。	収集した情報を分析して課題を発見し、客観的立場から成果を論理的に表現することができる。思考力・判断力・表現力	大学生として、客観的に状況を把握、思考ができた。自己表現は共感的であり、特定の課題についてオリジナルの提案をすることができた。	大学生として、おおむね状況を理解しながら思考ができた。自己表現を一人称で説明したり、積極的に表現することができた。	大学生として、基本的な思考と自己表現ができた。	大学生として、改善の余地があるが、基本的な思考や自己表現ができた。	大学生として、思考や表現をすることができなかった。	大学の学修環境を創造するメンバーとして自覚し、自分の意見と異なる意見を統合させながら学修経験を高めようとする。関心・意欲・態度	大学生として役割と責任を自覚して、積極的、協同的に行動することができた。	大学生として役割を、おおむね理解して、自ら行動することができた。	大学生としての自分の役割を、基本的な行動をすることができた。	大学生として自分の役割を、改善の余地はあるが、行動することができた。	大学生として自分の役割を、自ら理解して行動することができなかった。
評価項目		評価基準																											
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																								
修得した知識を使い、収集した情報を分析し、理解することができる。情報分析力としての知識・技能	大学生として、知識・技能を積極的に修得しており、これまでの学修とつなげて類似点や相違点を考え、深く理解できた。	大学生として、知識・技能を積極的に修得しようとしており、おおむね理解できた。	大学生として、修得する知識・技能について基本的な理解ができた。	大学生として、知識・技能の修得に欠ける部分はあるが、理解できた。	大学生として、知識・技能の修得には著しい欠落があり、理解ができなかった。																								
収集した情報を分析して課題を発見し、客観的立場から成果を論理的に表現することができる。思考力・判断力・表現力	大学生として、客観的に状況を把握、思考ができた。自己表現は共感的であり、特定の課題についてオリジナルの提案をすることができた。	大学生として、おおむね状況を理解しながら思考ができた。自己表現を一人称で説明したり、積極的に表現することができた。	大学生として、基本的な思考と自己表現ができた。	大学生として、改善の余地があるが、基本的な思考や自己表現ができた。	大学生として、思考や表現をすることができなかった。																								
大学の学修環境を創造するメンバーとして自覚し、自分の意見と異なる意見を統合させながら学修経験を高めようとする。関心・意欲・態度	大学生として役割と責任を自覚して、積極的、協同的に行動することができた。	大学生として役割を、おおむね理解して、自ら行動することができた。	大学生としての自分の役割を、基本的な行動をすることができた。	大学生として自分の役割を、改善の余地はあるが、行動することができた。	大学生として自分の役割を、自ら理解して行動することができなかった。																								

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>『スタディスキルズ・トレーニング改訂版-大学で学ぶための25のスキル-』</td> <td>吉原恵子/富江英俊</td> <td>実教出版</td> <td>2017</td> <td>9784407340617</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>『星槎道都大学 学生便覧 2021年度版』</td> <td>星槎道都大学学務部編</td> <td></td> <td>2021</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1	『スタディスキルズ・トレーニング改訂版-大学で学ぶための25のスキル-』	吉原恵子/富江英俊	実教出版	2017	9784407340617		2	『星槎道都大学 学生便覧 2021年度版』	星槎道都大学学務部編		2021			3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1	『スタディスキルズ・トレーニング改訂版-大学で学ぶための25のスキル-』	吉原恵子/富江英俊	実教出版	2017	9784407340617																																					
2	『星槎道都大学 学生便覧 2021年度版』	星槎道都大学学務部編		2021																																						
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	社会福祉学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	スタートアップ演習(S) (科目ナンバリング: BAS071041)				
授業担当者(所属・職名)	渡部 齋(社会福祉学科・教授)、松下 守邦(社会福祉学科・教授)	研究室所在	2号館7階		
単位数	1 (単位認定責任者: 渡部 齋)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間			
回	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	オリエンテーション、シラバスの説明	シラバスの内容をよく読んでおく。(45分)	今回、学習をしたシラバス、学生便覧、テキストについて復習する。(45分)
2	キャンパスライフ(大学の学び、授業履修、定期試験、成績評価、ノートテイキング)	授業前に、テキストと配布資料の学習範囲について予習する。(45分)	今回のWork Activity課題を復習する。(45分)
3	キャンパスライフ(各種届出、資格免許、仕事、GPA・CAP)	授業前に、テキストの学習範囲のWorkshopをよく読んでおく。(45分)	今回のWork Activity課題を復習する。(45分)
4	キャンパスライフ(研究室、オフィスアワー、事務手続き)	これまで学習内容3回分のWorkshopを熟読する。(45分)	CL - の中で理解の進まない問題を整理する。(45分)
5	スタディスキルズ(文献読解、文章構成、資料の読み取り)	授業前に、テキストの学習範囲のWorkshopをよく読んでおく。(45分)	今回のWork Activity課題を復習する。(45分)
6	スタディスキルズ(文献読解、表・図・グラフ等の情報処理)	授業前に、テキストの学習範囲のWorkshopをよく読んでおく。(45分)	今回のWork Activity課題を復習する。(45分)
7	スタディスキルズ(学術レポート、レジュメ・視覚資料の作成)	授業前に、テキストの学習範囲のWorkshopをよく読んでおく。(45分)	今回のWork Activity課題を復習する。(45分)
8	スタディスキルズ(学術レポート、文体・表記)	授業前に、テキストの学習範囲のWorkshopをよく読んでおく。(45分)	今回のWork Activity課題を復習する。(45分)
9	スタディスキルズ(学術レポート、客観性、事実と意見・考察)	これまで学習内容5回分のWorkshopを熟読する。(45分)	SS - の中で理解の進まない問題を確認する。(45分)
10	アカデミックライティング(スキミング、スキミング、クリティカルリーディング)	授業前に、テキストの学習範囲のWorkshopをよく読んでおく。(45分)	今回のWork Activity課題を復習する。(45分)
11	アカデミックライティング(社会福祉学系辞典・学術雑誌)	授業前に、テキストの学習範囲のWorkshopをよく読んでおく。(45分)	今回のWork Activity課題を復習する。(45分)
12	アカデミックライティング(図書情報館、学術データベース)	授業前に、テキストの学習範囲のWorkshopをよく読んでおく。(45分)	今回のWork Activity課題を復習する。(45分)
13	アカデミックライティング(参考文献、引用表記)	授業前に、テキストの学習範囲のWorkshopをよく読んでおく。(45分)	今回のWork Activity課題を復習する。(45分)
14	アカデミックライティング(社会福祉学、基礎的論文の読解)	これまで学習内容5回分のWorkshopを熟読する。(45分)	AW - の中で理解の進まない問題を次の授業までに確認する。(45分)
15	学生の自己学習評価(大学生生活1クォーター8週の授業・準備学習を経て、学修ふり振り返りシート記入提出)	授業前に、テキストの学習範囲のWorkshopをよく読んでおく。(45分)	学修スキルは卒業まで高めていく必要があります。テキストと資料は適宜、活用する。(45分)
16	本科目のまとめ(授業総括と学修の教員講評)	本科目のまとめの準備をする。(45分)	本科目の振り返りをする。(45分)

授業計画			
回	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	デザイン学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	スタートアップ演習(D) (科目ナンバリング: BAS071041)				
授業担当者(所属・職名)	北嶋 洋一(デザイン学科・准教授)	研究室所在	2号館5階		
単位数	1 (単位認定責任者: 北嶋 洋一)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標	美術学部デザイン学科で学ぶ4年間のための基本的な常識を身につけ、心構えを養うと共に自らの志向を明確にする。																								
授業の位置づけ	デザイン学科のDP「1(1)」、「2(1)」に対応する。																								
到達目標	美術分野の社会における立ち位置を認識し、自らの志向と照らし合わせることで適性を測る。そして、「各分野の学びにおいて自身が成長するに必要な要素は何か?」「今後どのように学ばなければならないのか?」を考え、創作活動の動機を確固たるものにするができる。																								
授業全体の内容と概要	アートとデザインの違いを認識させるための課題制作により、其々における情報の視覚化手段を伝える。その後、視覚表現活動の前段階となる「制作の動機」と「企画立案」の重要性を認識させ、曖昧な姿勢による創作に陥ることなく、意欲的で有意義な作品制作を行うことができるようになるための指導を行う。																								
授業の方法	各課題の導入においては題材の内容に関連したPowerPointを作成し講義形式で行う。それを踏まえて、与えられた課題の題材を各自で調査し、要点を整理。その後実践として制作を行う。制作に於いては手描き画材を主体としたアナログ作業とする。質問には随時対応する。完成作品は各自プレゼンテーションを行った後に提出。その後、学生全員へ回覧させることによって自分以外の様々な考えや手段を認識させ、意見を持たせる。																								
アクティブラーニングの実施方法	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td>○</td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td>○</td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	○	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ	○	調査学習		反転授業		ディスカッション	○	実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
○	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																		
	模擬授業		ロールプレイ	○	調査学習		反転授業																		
	ディスカッション	○	実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																		
履修上の注意事項	課題制作のための用紙は配布。必要な画材は学生各自で準備する。提出期限は各課題授業の最終日から1週間以内とする。																								
資格指定科目																									

評価方法・基準

評価前提条件	単位認定に必要な最低出席回数は10回以上					
評価方法	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
	0%	20%	60%	0%	20%	0%

ルーブリック

評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
知識・技能 「デザインとアートの分野的な違いや特性を正しく理解している」	デザインやアートを学ぶ上での基本的な常識を理解し、意識して対応できるレベルで身につけることができた。	デザインやアートを学ぶ上での基本的な常識を理解し、指示があれば対応できるレベルで身につけることができた。	デザインやアートを学ぶ上での基本的な常識をある程度理解したが、その対応に関しては曖昧さを残している場合もある。	デザインやアートを学ぶ上での基本的な常識の理解が曖昧で、適切に対応できなかった。	デザインやアートを学ぶ上での基本的な常識を理解できなかった。
思考力・判断力・表現力 「デザインとアートの分野的な違いや特性を踏まえて課題の制作に取り組むことができる」	デザインやアートを学ぶ上での基本的な常識に準じた姿勢で、全ての制作に望むことができた。	デザインやアートを学ぶ上での基本的な常識に準じた姿勢で、80%以上の制作に望むことができた。	デザインやアートを学ぶ上での基本的な常識に準じた姿勢で、70%以上の制作に望むことができた。	デザインやアートを学ぶ上での基本的な常識に準じた姿勢で60%以上の制作に望むことができた。	デザインやアートを学ぶ上での基本的な常識に準じた姿勢で60%未満の制作に望むことができなかった。
主体性・多様性・協働性 「デザインとアートの分野的な違いや特性を明確に主張してプレゼンテーションが行える」	分野の異なる課題に対して、其々の主題を理解し適切に対応し、充実したプレゼンテーションが行えた。	分野の異なる課題に対して、其々の主題を理解して対応し、評価できるレベルでのプレゼンテーションを行うことができた。	分野の異なる課題に対して、其々の主題を一定程度理解することができていたが、求められるレベルでのプレゼンテーションには至らなかった。	分野の異なる課題に対して、其々の主題を理解しきれず、プレゼンテーションが不完全だった。	分野の異なる課題に対して、其々の主題を理解することができず、プレゼンテーションが行えなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等

No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	デザイン学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	スタートアップ演習(D) (科目ナンバリング: BAS071041)				
授業担当者(所属・職名)	北嶋 洋一(デザイン学科・准教授)	研究室所在	2号館5階		
単位数	1 (単位認定責任者: 北嶋 洋一)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	ガイダンス-シラバスの説明 「志向調査レポート」	授業全体のシラバスの流れを確認(45分)	志向調査レポートの作成を次授業開始時までに終える(45分)
2	プレゼンテーション「自己紹介用フリップの作成」 ・構想-ラフスケッチ	資料収集などの事前準備(45分)	ラフスケッチなど課題の継続作業(45分)
3	プレゼンテーション「自己紹介用フリップの作成」 ・A4画用紙にて作成	ラフ案の決定と仕様画材の準備(45分)	完成に向けての継続作業(45分)
4	プレゼンテーション「自己紹介用フリップの作成」 ・完成-提出	完成提出のための作業進度確認(45分)	課題を次授業開始時までに完成提出する(45分)
5	「アートとデザイン」 ・作品鑑賞	アートとデザインについて、現状での認識の整理(45分)	鑑賞作品の再確認と同種の分野研究(45分)
6	プレゼンテーション「影響を受けた作家を紹介するプリップ作成」 ・構想-ラフスケッチ	資料収集などの事前準備(45分)	ラフスケッチなど課題の継続作業(45分)
7	プレゼンテーション「影響を受けた作家を紹介するプリップ作成」 ・A4画用紙にて作成	ラフ案の決定と仕様画材の準備(45分)	完成に向けての継続作業(45分)
8	プレゼンテーション「影響を受けた作家を紹介するプリップ作成」 ・完成-提出	完成に向けての継続作業(45分)	課題を次授業開始時までに完成提出する。(45分)
9	「具象表現と抽象表現」 ・視覚情報伝達の手段と過程を知る作品鑑賞と比較	具象と抽象の言葉の意味を理解し、表現に対する現状認識の整理(45分)	鑑賞作品の再確認と同種の分野研究(45分)
10	プレゼンテーション「視覚による情報伝達ツールの作成」 ・構想-ラフスケッチ	資料収集などの事前準備(45分)	ラフスケッチなど課題の継続作業(45分)
11	プレゼンテーション「視覚による情報伝達ツールの作成」 ・A4画用紙にて作成	ラフ案の決定と仕様画材の準備(45分)	完成に向けての継続作業(45分)
12	プレゼンテーション「視覚による情報伝達ツールの作成」 ・完成-提出	完成提出のための作業進度確認(45分)	課題を次授業開始時までに完成提出する(45分)
13	「フローチャートによる情報伝達」 ・情報の整理と順列化	これまでに作成したフリップの修正点を確認(45分)	ラフスケッチなど課題の継続作業(45分)
14	「フローチャートによる情報伝達」 ・情報の取捨選択と簡略化	資料収集などの事前準備(45分)	完成に向けての継続作業(45分)
15	「フローチャートによる情報伝達」 ・情報の視覚化	完成提出のための作業進度確認(45分)	課題を次授業開始時までに完成提出する(45分)
16	「講評」視覚伝達情報の実用について	全課題の整理と授業内容の再確認(45分)	今後の創作活動のため全授業内容の復習(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	建築学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	スタートアップ演習(A) (科目ナンバリング: BAS071041)				
授業担当者(所属・職名)	安藤 淳一(建築学科・教授)、伊藤 裕康(建築学科・教授)、小笠原 健	研究室所在	各教員研究室		
単位数	1 (単位認定責任者: 伊藤 裕康)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
<p>学生は大学卒業後、「自分で考え、調べ、自分の意見を表現する力」を社会から求められる。自分のアイデアを思いつきで終わらせず、大学レベルの知識・教養を活用して、より多くの人が理解しやすい「ことば」に変えて論理的に表現する力を身につける。</p>

授業の位置づけ
<p>建築学科のDP「1(1)」、「1(2)」、「1(3)」、「2(1)」、「2(5)」に対応する。</p>

到達目標
<p>授業で学んだ知識を理解でき、自らの考えを論理的に表現(レポート、議論など)することができる。</p>

授業全体の内容と概要
<p>建築学科教員がオムニバス形式で授業を担当する。授業では、大学生活の概観、授業理解のためのスキル、実験や調査を進めるスキル、考えをまとめるスキル、考えたことを表現するスキル、レポート作成のスキルなどについて、演習を通して身につける。人に伝えるための授業のため、予習・復習時間を利用して教員と時間外に積極的なコミュニケーションを心がけてほしい。</p>

授業の方法
<p>各教員によって異なる。板書・パワーポイント・視覚メディア等による多様な授業形態により展開する。場合によってはグループによるフィールドワークも行い、プレゼンテーションの作成と発表も行う。提出課題や発表に対しては講評を行い、フィードバックする。</p>

アクティブラーニングの実施方法												
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>グループワーク</td> <td>フィールドワーク</td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td>ロールプレイ</td> <td>調査学習</td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td>実験・実習・実技</td> <td>双方向授業</td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL	模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業	ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL									
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業									
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)									

履修上の注意事項
<ul style="list-style-type: none"> 授業中は口頭説明にも注意を向けノートを取る。授業で発表した内容、授業で活動した内容も含めて評価の対象となる。 課題(レポートを含む)は、プリントや参考文献、ノートを熟読しながら作成すること。 提出物は、必ず期限内までに提出すること。また、インターネットや文献からのコピーや書き写したものは採点の対象としない(0点とする)。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
<p>単位認定に必要な最低出席回数は10回以上であるが、毎回の授業内で行う演習評価点(授業成果)が単位認定(成績評価)の過半を占めるので、授業欠席や演習未提出は不合格に直結することになる。</p>												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <td>定期試験</td> <td>レポート</td> <td>課題・作品</td> <td>中間テスト</td> <td>平常点</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>50%</td> <td>20%</td> <td>0%</td> <td>30%</td> <td>0%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	50%	20%	0%	30%	0%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	50%	20%	0%	30%	0%							

ルーブリック																													
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> <tr> <td>建築に関わる知識の修得</td> <td>授業で学んだ知識や内容について、ノートに分かりやすくまとめることができたほか、他人に簡潔に説明することができた。</td> <td>授業で学んだ知識や内容について、他人に説明することができた。</td> <td>授業で学んだ知識や内容について、ノートにまとめることができた。</td> <td>授業で学んだ知識について理解できた。</td> <td>授業で学んだ知識について理解できなかった。</td> </tr> <tr> <td>プレゼンテーション能力の育成</td> <td>パワーポイント等のプレゼンテーションツールを用いて自分の考えを論理的かつ簡潔に表現することができ、画面のスライドを用いて分かりやすく説明できた。</td> <td>パワーポイント等のプレゼンテーションツールを使って自分の考えを論理的に表現することができた。</td> <td>パワーポイント等のプレゼンテーションツールを用いて自分の考えを論理的に表現することができた。</td> <td>レポートや議論において、自分の考えを論理的に表現できた。</td> <td>レポートや議論において、自分の考えを論理的に表現できなかった。</td> </tr> <tr> <td>主体性を持ったグループワーク活動</td> <td>グループワークにおいて、行動計画の立案や実際の学習活動を積極的にに行い、グループ全体の行動に主体的に関わることができた。</td> <td>自分の分担する役割を十分に果たすだけでなく、他のメンバーとサポートし合うことができた。</td> <td>グループのメンバー同士と円滑にコミュニケーションをとることができた。</td> <td>自分の分担する役割を果たすことができた。</td> <td>自分の分担する役割を果たすことができなかった。</td> </tr> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	建築に関わる知識の修得	授業で学んだ知識や内容について、ノートに分かりやすくまとめることができたほか、他人に簡潔に説明することができた。	授業で学んだ知識や内容について、他人に説明することができた。	授業で学んだ知識や内容について、ノートにまとめることができた。	授業で学んだ知識について理解できた。	授業で学んだ知識について理解できなかった。	プレゼンテーション能力の育成	パワーポイント等のプレゼンテーションツールを用いて自分の考えを論理的かつ簡潔に表現することができ、画面のスライドを用いて分かりやすく説明できた。	パワーポイント等のプレゼンテーションツールを使って自分の考えを論理的に表現することができた。	パワーポイント等のプレゼンテーションツールを用いて自分の考えを論理的に表現することができた。	レポートや議論において、自分の考えを論理的に表現できた。	レポートや議論において、自分の考えを論理的に表現できなかった。	主体性を持ったグループワーク活動	グループワークにおいて、行動計画の立案や実際の学習活動を積極的にに行い、グループ全体の行動に主体的に関わることができた。	自分の分担する役割を十分に果たすだけでなく、他のメンバーとサポートし合うことができた。	グループのメンバー同士と円滑にコミュニケーションをとることができた。	自分の分担する役割を果たすことができた。	自分の分担する役割を果たすことができなかった。
評価項目		評価基準																											
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																								
建築に関わる知識の修得	授業で学んだ知識や内容について、ノートに分かりやすくまとめることができたほか、他人に簡潔に説明することができた。	授業で学んだ知識や内容について、他人に説明することができた。	授業で学んだ知識や内容について、ノートにまとめることができた。	授業で学んだ知識について理解できた。	授業で学んだ知識について理解できなかった。																								
プレゼンテーション能力の育成	パワーポイント等のプレゼンテーションツールを用いて自分の考えを論理的かつ簡潔に表現することができ、画面のスライドを用いて分かりやすく説明できた。	パワーポイント等のプレゼンテーションツールを使って自分の考えを論理的に表現することができた。	パワーポイント等のプレゼンテーションツールを用いて自分の考えを論理的に表現することができた。	レポートや議論において、自分の考えを論理的に表現できた。	レポートや議論において、自分の考えを論理的に表現できなかった。																								
主体性を持ったグループワーク活動	グループワークにおいて、行動計画の立案や実際の学習活動を積極的にに行い、グループ全体の行動に主体的に関わることができた。	自分の分担する役割を十分に果たすだけでなく、他のメンバーとサポートし合うことができた。	グループのメンバー同士と円滑にコミュニケーションをとることができた。	自分の分担する役割を果たすことができた。	自分の分担する役割を果たすことができなかった。																								

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	建築学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	スタートアップ演習(A) (科目ナンバリング: BAS071041)				
授業担当者(所属・職名)	安藤 淳一(建築学科・教授)、伊藤 裕康(建築学科・教授)、小笠原 健		研究室所在	各教員研究室	
単位数	1 (単位認定責任者: 伊藤 裕康)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	シラバスの説明 大学の学びとは	入学時に配布された履修関係の資料と学生便覧の熟読(45分)	授業内容をまとめる(45分)
2	(君)建築の学びについて1 建築学生の大学生活の送り方	指定した事項を調査する(45分)	授業内容をまとめる(45分)
3	(君)建築の学びについて2 世界各地の建築物紹介	指定した事項を調査する(45分)	授業内容をまとめる(45分)
4	(小笠原)建築士資格取得に向けて	指定した事項を調査する(45分)	授業内容をまとめる(45分)
5	(長森)実験・実習の進め方1 実験の意義と方法、手順	指定した事項を調査する(45分)	授業内容をまとめる(45分)
6	(長森)実験・実習の進め方2 実験報告書作成	指定した事項を調査する(45分)	授業内容をまとめる(45分)
7	(向井)都市を豊かにする建築空間	指定した事項を調査する(45分)	授業内容をまとめる(45分)
8	(佐々木)建築の基礎知識と技能1 建築用語の理解	指定した事項を調査する(45分)	授業内容をまとめる(45分)
9	(佐々木)建築の基礎知識と技能2 間取りを考える	指定した事項を調査する(45分)	授業内容をまとめる(45分)
10	(横山)プレゼンテーション練習 出身地の紹介	指定した事項を調査する(45分)	授業内容をまとめる(45分)
11	(佐藤善・伊藤)まちウォッチング1 まちの景観デザインについて	指定した事項を調査する(45分)	授業内容をまとめる(45分)
12	(佐藤善・伊藤)まちウォッチング2 北広島駅周辺を実際に見てみよう	指定した事項を調査する(45分)	授業内容をまとめる(45分)
13	(佐藤善・伊藤)グループワーク1 撮影した景観写真の整理と発表準備	指定した事項を調査する(45分)	授業内容をまとめる(45分)
14	(佐藤善・伊藤)グループワーク2 景観調査結果の発表	指定した事項を調査する(45分)	授業内容をまとめる(45分)
15	(安藤)建築を学ぶ先にある進路について	指定した事項を調査する(45分)	授業内容をまとめる(45分)
16	(小山)前期の学びのふりかえりと確認	指定した事項を調査する(45分)	授業内容をまとめる(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	経営学科・全学年		
開講時期	3 Q	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	文章表現演習 (M) (科目ナンバリング: BAS071042)				
授業担当者 (所属・職名)	津田 昭彦 (経営学科・非常勤講師)	研究室所在	本部棟 4 階理事長室内		
単位数	1 (単位認定責任者: 津田 昭彦)	CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	学校法人の事業運営のための企画立案書や提案書、プレゼンテーション資料等の作成や採用人事担当者として数多くの志望事由書等の書類審査・判定を行ってきた。この経験を活かして、人に伝わる文章の書き方を指導する。		

概要

履修目標
<ol style="list-style-type: none"> 「共通教育科目」として、文章を書くための基礎的な知識と技術を学び、求められる内容の文章を書くことができるようになる。 すべての人々が共生する社会の中で、「自分の考えや思いを、相手に伝わる文章で表現する」ことができるようになる。 社会で活躍できる人材として、各種コンペや公募展への応募のための作品紹介、プレゼンテーションやエントリーシート・志望事由書等への記載等、文章によるコミュニケーション能力を向上させ、論理的・客観的・合理的・実践的な文章を書くことができるようになる。

授業の位置づけ
「経営学科」のDP「1(1)(2)、(3)、(4)」、「2(1)」に対応する。

到達目標
<ol style="list-style-type: none"> 文章で表現するための、基本的な知識と技術を身につける。 目的や読み手の要望に合った文章を書けるようになる。 論理的・客観的な文章を、適切な構成や表現で書けるようになる。 「書く」ことに対する苦手意識を払拭する。

授業全体の内容と概要
<ol style="list-style-type: none"> 文章で表現するための、基本的な知識と技術を学びながら、実作・添削講評・書き直しを繰り返す。 授業内で4本の課題を実作する。課題の分量は回を追うことに多くなる。また、課題の条件の質・量は増していくとともに、難易度も高くなる。 Teamsを活用し、適宜、質問を受け付けたり、練習問題を出題し解答してもらうことで、効率的に学習していく。

授業の方法
<ol style="list-style-type: none"> 授業は、パワーポイント及び配布資料で行う。説明や練習問題とその解説、演習課題作成(全4回)と書き直し(リメイク)、レポート提出(全2回)を行う。 提出された課題に対しては、添削指導及びコメントを添えて返却する。その際、一人ひとりに対してのフィードバック(書き直しのための説明解説等)を行う。

アクティブラーニングの実施方法						
○	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク	PBL
	模擬授業		ロールプレイ	○	調査学習	反転授業
○	ディスカッション		実験・実習・実技	○	双方向授業	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項
<ol style="list-style-type: none"> 「書く」ことの演習の授業であるため、原則として「手書き」の文章を数多く書くことになる。 返却された配布物資料・課題については各自で保管し、確認をしながら自己の文章表現力の向上を目指すこと。 授業中Teamsを使う場面があるため、そのためのデバイスは毎時間、持参すること。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な最低出席回数は、11回以上とする。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	40%	40%	0%	20%	0%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
文章を書くための知識と技術	文章を書くための知識と技術を、完全に身につけ、なおかつ豊富な知識と技術を活用して表現することができた。	相手に誤解や不快感を与えたり、理解不能に陥らせたりすることがない文章を書くための知識と技術を身につけることができた。	分からないことを適切な方法で調べながら、相手により伝わる文章を書くための知識と技術を身につけることができた。	適切な知識と技術で文章を書くことができた。	文章を書くための知識と技術を身につけることが全くなかった。
目的や意図を汲んだ文章の作成	目的や意図を正確に理解し、それを相手にきちんと伝える工夫を凝らした文章を作成できた。	目的や意図を正確に理解し、それを相手にきちんと伝えるための文章を作成できた。	目的や意図を理解し、それを相手にきちんと伝える文章を作成できた。	目的や読み手の要望を外れ、それができない文章を作成することができた。	目的や意図を汲んだ文章を作成できなかった。
論理的・客観的な文章の構成と表現	整合性のある論理構成を展開するとともに、客観的な表現により、共鳴共感を与える文章を作成できた。	展開上、論理が破たんすることがない構成と公正な立場に立った客観性のある表現が展開できた。	論理的・客観的な文章の構成と表現で、相手に伝えるに足る文章を書くことができた。	論理的・客観的な文章の構成と表現ができた。	論理的・客観的な文章の構成と表現ができなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	経営学科・全学年		
開講時期	3Q	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	文章表現演習（M）（科目ナンバリング：BAS071042）				
授業担当者（所属・職名）	津田 昭彦（経営学科・非常勤講師）	研究室所在	本部棟4階理事長室内		
単位数	1（単位認定責任者：津田 昭彦）	CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	学校法人の事業運営のための企画立案書や提案書、プレゼンテーション資料等の作成や採用人事担当者として数多くの志望事由書等の書類審査・判定を行ってきた。この経験を活かして、人に伝わる文章の書き方を指導する。		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習（所要時間）	事後学習（所要時間）
1	受講のためのオリエンテーション シラバスの説明文章を書くための基礎知識（配布物資料） 課題の説明	シラバス内容の確認と受講準備（45分）	授業内容の復習（45分）
2	文章を書くための基礎知識（配布物資料） 課題の実作（演習）	課題の準備と調査（45分）	授業内容の復習（45分）
3	課題の振り返りと解説 文章を書くための基礎知識（配布物資料）	配布物資料の復習（45分）	授業内容の復習（45分）
4	レポートの説明文章を書くための基礎知識（配布物資料） 課題の講評・分析と修正（演習）	課題の振り返り、配布物資料の復習（45分）	授業内容の復習（45分）
5	文章を書くための基礎知識（配布物資料） 課題の説明	配布物資料の復習（45分）	授業内容の復習（45分）
6	文章を書くための基礎知識（配布物資料） 課題の実作（演習）	配布物資料の復習、課題の準備と調査（45分）	レポート作成（45分）
7	レポート回収課題の振り返りと解説 文章を書くための基礎知識	レポート作成、配布物資料の復習（45分）	授業内容の復習（45分）
8	文章を書くための基礎知識（配布物資料） 課題の講評・分析と修正（演習）	配布物資料の復習（45分）	授業内容の復習（45分）
9	文章を書くための基礎知識（配布物資料） 文章を書くための基礎知識（配布物資料） 課題の説明	課題の振り返り、配布物資料の復習（45分）	授業内容の復習（45分）
10	文章を書くための基礎知識（配布物資料） 課題の実作（演習）	課題の準備と調査、配布物資料の復習（45分）	授業内容の復習（45分）
11	課題の振り返りと解説 文章を書くための基礎知識（配布物資料）	配布物資料の復習（45分）	授業内容の復習（45分）
12	レポートの説明文章を書くための基礎知識（配布物資料） 課題の講評・分析と修正（演習）	課題の振り返り、配布物資料の復習（45分）	授業内容の復習、レポート作成のための準備・調査（45分）
13	文章を書くための基礎知識（配布物資料） 文章を書くための基礎知識（配布物資料） 課題の説明	配布物資料の復習（45分）	授業内容の復習、レポート作成のための準備・調査（45分）
14	課題の実作（演習）	課題の準備と調査、配布物資料の復習（45分）	レポート作成（45分）
15	レポート回収課題の振り返りと解説	レポート作成（45分）	授業内容の復習（45分）
16	課題の講評・分析と修正（演習） 全体のまとめ	課題の振り返り、配布物資料の復習（45分）	全体の復習（45分）

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習（所要時間）	事後学習（所要時間）
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	社会福祉学科・全学年		
開講時期	2 Q	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	文章表現演習 (S) (科目ナンバリング: BAS071042)				
授業担当者 (所属・職名)	津田 昭彦 (経営学科・非常勤講師)	研究室所在	本部棟 4 階理事長室内		
単位数	1 (単位認定責任者: 津田 昭彦)	CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	学校法人の事業運営のための企画立案書や提案書、プレゼンテーション資料等の作成や採用人事担当者として数多くの志望事由書等の書類審査・判定を行ってきた。この経験を活かして、人に伝わる文章の書き方を指導する。		

概要

履修目標
<ol style="list-style-type: none"> 「共通教育科目」として、文章を書くための基礎的な知識と技術を学び、求められる内容の文章を書くことができるようになる。 すべての人々が共生する社会の中で、「自分の考えや思いを、相手に伝わる文章で表現する」ことができるようになる。 社会で活躍できる人材として、各種コンペや公募展への応募のための作品紹介、プレゼンテーションやエントリーシート・志望事由書等への記載等、文章によるコミュニケーション能力を向上させ、論理的・客観的・合理的・実践的な文章を書くことができるようになる。

授業の位置づけ
「社会福祉学科」のDP「1(1)、(2)、(3)、(5)、(7)」、「2(1)」に対応する。

到達目標
<ol style="list-style-type: none"> 文章で表現するための、基本的な知識と技術を身につける。 目的や読み手の要望に合った文章を書けるようになる。 論理的・客観的な文章を、適切な構成や表現で書けるようになる。 「書く」ことに対する苦手意識を払拭する。

授業全体の内容と概要
<ol style="list-style-type: none"> 文章で表現するための、基本的な知識と技術を学びながら、実作・添削講評・書き直しを繰り返す。 授業内で4本の課題を実作する。課題の分量は回を追うことに多くなる。また、課題の条件の質・量は増していくとともに、難易度も高くなる。 Teamsを活用し、適宜、質問を受け付けたり、練習問題を出題し解答してもらうことで、効率的に学習していく。

授業の方法
<ol style="list-style-type: none"> 授業は、パワーポイント及び配布資料で行う。説明や練習問題とその解説、演習課題作成(全4回)と書き直し(リメイク)、レポート提出(全2回)を行う。 提出された課題に対しては、添削指導及びコメントを添えて返却する。その際、一人ひとりに対してのフィードバック(書き直しのための説明解説等)を行う。

アクティブラーニングの実施方法						
○	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク	PBL
	模擬授業		ロールプレイ	○	調査学習	反転授業
○	ディスカッション		実験・実習・実技	○	双方向授業	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項
<ol style="list-style-type: none"> 「書く」ことの演習の授業であるため、原則として「手書き」の文章を数多く書くことになる。 返却された配布物資料・課題については各自で保管し、確認をしながら自己の文章表現力の向上を目指すこと。 授業中にTeamsを使う場面があるため、そのためのデバイスは毎時間、持参すること。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な最低出席回数は、11回以上とする。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	40%	40%	0%	20%	0%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
文章を書くための知識と技術	文章を書くための知識と技術を、完全に身につけ、なおかつ豊富な知識と技術を活用して表現することができた。	相手に誤解や不快感を与えたり、理解不能に陥らせたりすることがない文章を書くための知識と技術を身につけることができた。	分からないことを適切な方法で調べながら、相手によき伝え方を身につけることができた。	適切な知識と技術で文章を書くことができた。	文章を書くための知識と技術を身につけることが全くなかった。
目的や意図を汲んだ文章の作成	目的や意図を正確に理解し、それを相手にきちんと伝える工夫を凝らした文章を作成できた。	目的や意図を正確に理解し、それを相手にきちんと伝えるための文章を作成できた。	目的や意図を理解し、それを相手にきちんと伝える文章を作成できた。	目的や読み手の要望を外れ、それができない文章を作成することができた。	目的や意図を汲んだ文章を作成できなかった。
論理的・客観的な文章の構成と表現	整合性のある論理構成を展開するとともに、客観的な表現により、共鳴共感を与える文章を作成できた。	展開上、論理が破たんするところがない構成と公正な立場に立った客観性のある表現が展開できた。	論理的・客観的な文章の構成と表現で、相手に伝えるに足る文章を書くことができた。	論理的・客観的な文章の構成と表現ができた。	論理的・客観的な文章の構成と表現ができなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	社会福祉学科・全学年		
開講時期	2Q	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	文章表現演習（S）（科目ナンバリング：BAS071042）				
授業担当者（所属・職名）	津田 昭彦（経営学科・非常勤講師）	研究室所在	本部棟4階理事長室内		
単位数	1（単位認定責任者：津田 昭彦）	CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	学校法人の事業運営のための企画立案書や提案書、プレゼンテーション資料等の作成や採用人事担当者として数多くの志望事由書等の書類審査・判定を行ってきた。この経験を活かして、人に伝わる文章の書き方を指導する。		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習（所要時間）	事後学習（所要時間）
1	受講のためのオリエンテーション シラバスの説明 文章を書くための基礎知識（配布物資料）	シラバス内容の確認と受講準備（45分）	授業内容の復習（45分）
2	文章を書くための基礎知識（配布物資料） 課題の実作（演習）	課題の準備と調査（45分）	授業内容の復習（45分）
3	課題の振り返りと解説 文章を書くための基礎知識（配布物資料）	配布物資料の復習（45分）	授業内容の復習（45分）
4	レポートの説明文章を書くための基礎知識（配布物資料） 課題の講評・分析と修正（演習）	課題の振り返り、配布物資料の復習（45分）	授業内容の復習（45分）
5	文章を書くための基礎知識（配布物資料） 課題の説明	配布物資料の復習（45分）	授業内容の復習（45分）
6	文章を書くための基礎知識（配布物資料） 課題の実作（演習）	配布物資料の復習、課題の準備と調査（45分）	レポート作成（45分）
7	レポート回収 課題の振り返りと解説文章を書くための基礎知識	レポート作成、配布物資料の復習（45分）	授業内容の復習（45分）
8	文章を書くための基礎知識（配布物資料） 課題の講評・分析と修正（演習）	配布物資料の復習（45分）	授業内容の復習（45分）
9	文章を書くための基礎知識（配布物資料） 文章を書くための基礎知識（配布物資料） 課題の説明	課題の振り返り、配布物資料の復習（45分）	授業内容の復習（45分）
10	文章を書くための基礎知識（配布物資料） 課題の実作（演習）	課題の準備と調査、配布物資料の復習（45分）	授業内容の復習（45分）
11	課題の振り返りと解説 文章を書くための基礎知識（配布物資料）	配布物資料の復習（45分）	授業内容の復習（45分）
12	レポートの説明文章を書くための基礎知識（配布物資料） 課題の講評・分析と修正（演習）	課題の振り返り、配布物資料の復習（45分）	授業内容の復習、レポート作成のための準備・調査（45分）
13	文章を書くための基礎知識（配布物資料） 文章を書くための基礎知識（配布物資料） 課題の説明	配布物資料の復習（45分）	授業内容の復習、レポート作成のための準備・調査（45分）
14	課題の実作（演習）	課題の準備と調査、配布物資料の復習（45分）	レポート作成（45分）
15	レポート回収課題の振り返りと解説	レポート作成（45分）	授業内容の復習（45分）
16	課題の講評、分析と修正（演習） 全体のまとめ	課題の振り返り、配布物資料の復習（45分）	全体の復習（45分）

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習（所要時間）	事後学習（所要時間）
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	デザイン学科・全学年		
開講時期	4 Q	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	文章表現演習 (D) (科目ナンバリング: BAS071042)				
授業担当者 (所属・職名)	津田 昭彦 (経営学科・非常勤講師)	研究室所在	本部棟 4 階理事長室内		
単位数	1 (単位認定責任者: 津田 昭彦)	CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	学校法人の事業運営のための企画立案書や提案書、プレゼンテーション資料等の作成や採用人事担当者として数多くの志望事由書等の書類審査・判定を行ってきた。この経験を活かして、人に伝わる文章の書き方を指導する。		

概要

履修目標
<ol style="list-style-type: none"> 「共通教育科目」として、文章を書くための基礎的な知識と技術を学び、求められる内容の文章を書くことができるようになる。 すべての人々が共生する社会の中で、「自分の考えや思いを、相手に伝わる文章で表現する」ことができるようになる。 社会で活躍できる人材として、各種コンペや公募展への応募のための作品紹介、プレゼンテーションやエントリーシート・志望事由書等への記載等、文章によるコミュニケーション能力を向上させ、論理的・客観的・合理的・実践的な文章を書くことができるようになる。

授業の位置づけ
デザイン学科のDP「1(1)、(2)、(3)」、「2(1)」に対応する。

到達目標
<ol style="list-style-type: none"> 文章で表現するための、基本的な知識と技術を身につける。 目的や読み手の要望に合った文章を書けるようになる。 論理的・客観的な文章を、適切な構成や表現で書けるようになる。 「書く」ことに対する苦手意識を払拭する。

授業全体の内容と概要
<ol style="list-style-type: none"> 文章で表現するための、基本的な知識と技術を学びながら、実作・添削講評・書き直しを繰り返す。 授業内で4本の課題を実作する。課題の分量は回を追うことに多くなる。また、課題の条件の質・量は増していくとともに、難易度も高くなる。 Teamsを活用し、適宜、質問を受け付けたり、練習問題を出題し解答してもらうことで、効率的に学習していく。

授業の方法
<ol style="list-style-type: none"> 授業は、パワーポイント及び配布資料で行う。説明や練習問題とその解説、演習課題作成(全4回)と書き直し(リメイク)、レポート提出(全2回)を行う。 提出された課題に対しては、添削指導及びコメントを添えて返却する。その際、一人ひとりに対してのフィードバック(書き直しのための説明解説等)を行う。

アクティブラーニングの実施方法						
○	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク	PBL
	模擬授業		ロールプレイ	○	調査学習	反転授業
○	ディスカッション		実験・実習・実技	○	双方向授業	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項
<ol style="list-style-type: none"> 「書く」ことの演習の授業であるため、原則として「手書き」の文章を数多く書くことになる。 返却された配布物資料・課題については各自で保管し、確認をしながら自己の文章表現力の向上を目指すこと。 授業中にTeamsを使う場面があるため、そのためのデバイスは毎時間、持参すること。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な最低出席回数は、11回以上とする。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	40%	40%	0%	20%	0%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
文章を書くための知識と技術	文章を書くための知識と技術を、完全に身につけ、なおかつ豊富な知識と技術を活用して表現することができた。	相手に誤解や不快感を与えたり、理解不能に陥らせたりすることがない文章を書くための知識と技術を身につけることができた。	分からないことを適切な方法で調べながら、相手によりよく伝える文章を書くための知識と技術を身につけることができた。	適切な知識と技術で文章を書くことができた。	文章を書くための知識と技術を身につけることが全くなかった。
目的や意図を汲んだ文章の作成	目的や意図を正確に理解し、それを相手にきちんと伝える工夫を凝らした文章を作成できた。	目的や意図を正確に理解し、それを相手にきちんと伝えるための文章を作成できた。	目的や意図を理解し、それを相手にきちんと伝える文章を作成できた。	目的や読み手の要望を外れ、それができない文章を作成することができた。	目的や意図を汲んだ文章を作成できなかった。
論理的・客観的な文章の構成と表現	整合性のある論理構成を展開するとともに、客観的な表現により、共鳴共感を与える文章を作成できた。	展開上、論理が破たんするところがない構成と公正な立場に立った客観性のある表現が展開できた。	論理的・客観的な文章の構成と表現で、相手に伝えるに足る文章を書くことができた。	論理的・客観的な文章の構成と表現ができた。	論理的・客観的な文章の構成と表現ができなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	デザイン学科・全学年		
開講時期	4Q	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	文章表現演習(D) (科目ナンバリング: BAS071042)				
授業担当者(所属・職名)	津田 昭彦(経営学科・非常勤講師)	研究室所在	本部棟4階理事長室内		
単位数	1 (単位認定責任者: 津田 昭彦)	CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	学校法人の事業運営のための企画立案書や提案書、プレゼンテーション資料等の作成や採用人事担当者として数多くの志望事由書等の書類審査・判定を行ってきた。この経験を活かして、人に伝わる文章の書き方を指導する。		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	受講のためのオリエンテーション シラバスの説明文章を書くための基礎知識 (配布物資料) 課題の説明	シラバス内容の確認と受講準備(45分)	授業内容の復習(45分)
2	文章を書くための基礎知識(配布物資料) 課題の実作(演習)	課題の準備と調査(45分)	授業内容の復習(45分)
3	課題の振り返りと解説文章を書くための基礎知識 (配布物資料)	配布物資料の復習(45分)	授業内容の復習(45分)
4	レポートの説明文章を書くための基礎知識 (配布物資料) 課題の講評・分析と修正(演習)	課題の振り返り、配布物資料の復習(45分)	授業内容の復習(45分)
5	文章を書くための基礎知識(配布物資料) 課題の説明	配布物資料の復習(45分)	授業内容の復習(45分)
6	文章を書くための基礎知識(配布物資料) 課題の実作(演習)	配布物資料の復習、課題の準備と調査(45分)	レポート作成(45分)
7	レポート 回収課題の振り返りと解説 文章を書くための基礎知識	レポート作成、配布物資料の復習(45分)	授業内容の復習(45分)
8	文章を書くための基礎知識(配布物資料) 課題の講評・分析と修正(演習)	配布物資料の復習(45分)	授業内容の復習(45分)
9	文章を書くための基礎知識(配布物資料) 文章を書くための基礎知識(配布物資料) 課題の説明	課題の振り返り、配布物資料の復習(45分)	授業内容の復習(45分)
10	文章を書くための基礎知識(配布物資料) 課題の実作(演習)	課題の準備と調査、配布物資料の復習(45分)	授業内容の復習(45分)
11	課題の振り返りと解説文章を書くための基礎知識 (配布物資料)	配布物資料の復習(45分)	授業内容の復習(45分)
12	レポートの説明文章を書くための基礎知識 (配布物資料) 課題の講評・分析と修正(演習)	課題の振り返り、配布物資料の復習(45分)	授業内容の復習、レポート作成のための準備・調査(45分)
13	文章を書くための基礎知識(配布物資料) 文章を書くための基礎知識(配布物資料) 課題の説明	配布物資料の復習(45分)	授業内容の復習、レポート作成のための準備・調査(45分)
14	課題の実作(演習)	課題の準備と調査、配布物資料の復習(45分)	レポート作成(45分)
15	レポート 回収課題の振り返りと解説	レポート作成(45分)	授業内容の復習(45分)
16	課題の講評、分析と修正(演習) 全体のまとめ	課題の振り返り、配布物資料の復習(45分)	全体の復習(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	建築学科・全学年		
開講時期	4 Q	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	文章表現演習 (A) (科目ナンバリング: BAS071042)				
授業担当者 (所属・職名)	津田 昭彦 (経営学科・非常勤講師)	研究室所在	本部棟 4 階理事長室内		
単位数	1 (単位認定責任者: 津田 昭彦)	CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	学校法人の事業運営のための企画立案書や提案書、プレゼンテーション資料等の作成や採用人事担当者として数多くの志望事由書等の書類審査・判定を行ってきた。この経験を活かして、人に伝わる文章の書き方を指導する。		

概要

履修目標
<ol style="list-style-type: none"> 「共通教育科目」として、文章を書くための基礎的な知識と技術を学び、求められる内容の文章を書くことができるようになる。 すべての人々が共生する社会の中で、「自分の考えや思いを、相手に伝わる文章で表現する」ことができるようになる。 社会で活躍できる人材として、各種コンペや公募展への応募のための作品紹介、プレゼンテーションやエントリーシート・志望事由書等への記載等、文章によるコミュニケーション能力を向上させ、論理的・客観的・合理的・実践的な文章を書くことができるようになる。

授業の位置づけ
建築学科のDP1「1(1)、(2)、(3)」、「2(1)」に対応する。

到達目標
<ol style="list-style-type: none"> 文章で表現するための、基本的な知識と技術を身につける。 目的や読み手の要望に合った文章を書けるようになる。 論理的・客観的な文章を、適切な構成や表現で書けるようになる。 「書く」ことに対する苦手意識を払拭する。

授業全体の内容と概要
<ol style="list-style-type: none"> 文章で表現するための、基本的な知識と技術を学びながら、実作・添削講評・書き直しを繰り返す。 授業内で4本の課題を実作する。課題の分量は回を追うことに多くなる。また、課題の条件の質・量は増していくとともに、難易度も高くなる。 Teamsを活用し、適宜、質問を受け付けたり、練習問題を出題し解答してもらうことで、効率的に学習していく。

授業の方法
<ol style="list-style-type: none"> 授業は、パワーポイント及び配布資料で行う。説明や練習問題とその解説、演習課題作成(全4回)と書き直し(リメイク)、レポート提出(全2回)を行う。 提出された課題に対しては、添削指導及びコメントを添えて返却する。その際、一人ひとりに対してのフィードバック(書き直しのための説明解説等)を行う。

アクティブラーニングの実施方法						
○	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク	PBL
	模擬授業		ロールプレイ	○	調査学習	反転授業
○	ディスカッション		実験・実習・実技	○	双方向授業	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項
<ol style="list-style-type: none"> 「書く」ことの演習の授業であるため、原則として「手書き」の文章を数多く書くことになる。 返却された配布物資料・課題については各自で保管し、確認をしながら自己の文章表現力の向上を目指すこと。 授業中にTeamsを使う場面があるため、そのためのデバイスは毎時間、持参すること。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な最低出席回数は、11回以上とする。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	40%	40%	0%	20%	0%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
文章を書くための知識と技術	文章を書くための知識と技術を、完全に身につけ、なおかつ豊富な知識と技術を活用して表現することができた。	相手に誤解や不快感を与えたり、理解不能に陥らせたりすることがない文章を書くための知識と技術を身につけることができた。	分からないことを適切な方法で調べながら、相手によりよく伝える文章を書くための知識と技術を身につけることができた。	適切な知識と技術で文章を書くことができた。	文章を書くための知識と技術を身につけることが全くなかった。
目的や意図を汲んだ文章の作成	目的や意図を正確に理解し、それを相手にきちんと伝える工夫を凝らした文章を作成できた。	目的や意図を正確に理解し、それを相手にきちんと伝えるための文章を作成できた。	目的や意図を理解し、それを相手にきちんと伝える文章を作成できた。	目的や読み手の要望を外れ、それができない文章を作成することができた。	目的や意図を汲んだ文章を作成できなかった。
論理的・客観的な文章の構成と表現	整合性のある論理構成を展開するとともに、客観的な表現により、共鳴共感を与える文章を作成できた。	展開上、論理が破たんすることがない構成と公正な立場に立った客観性のある表現が展開できた。	論理的・客観的な文章の構成と表現で、相手に伝えるに足る文章を書くことができた。	論理的・客観的な文章の構成と表現ができた。	論理的・客観的な文章の構成と表現ができなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	建築学科・全学年		
開講時期	4 Q	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	文章表現演習 (A) (科目ナンバリング: BAS071042)				
授業担当者 (所属・職名)	津田 昭彦 (経営学科・非常勤講師)	研究室所在	本部棟 4 階理事長室内		
単位数	1 (単位認定責任者: 津田 昭彦)	CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	学校法人の事業運営のための企画立案書や提案書、プレゼンテーション資料等の作成や採用人事担当者として数多くの志望事由書等の書類審査・判定を行ってきた。この経験を活かして、人に伝わる文章の書き方を指導する。		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習 (所要時間)	事後学習 (所要時間)
1	受講のためのオリエンテーション シラバスの説明 文章を書くための基礎知識 (配布物資料) 課題	シラバス内容の確認と受講準備 (45分)	授業内容の復習 (45分)
2	文章を書くための基礎知識 (配布物資料) 課題 の実作 (演習)	課題 の準備と調査 (45分)	授業内容の復習 (45分)
3	課題 の振り返りと解説文章を書くための基礎知識 (配布物資料)	配布物資料の復習 (45分)	授業内容の復習 (45分)
4	レポート の説明文章を書くための基礎知識 (配布物資料) 課題 の講評・分析と修正 (演習)	課題 の振り返り、配布物資料の復習 (45分)	授業内容の復習 (45分)
5	文章を書くための基礎知識 (配布物資料) 課題 の説明	配布物資料の復習 (45分)	授業内容の復習 (45分)
6	文章を書くための基礎知識 (配布物資料) 課題 の実作 (演習)	配布物資料の復習、課題 の準備と調査 (45分)	レポート 作成 (45分)
7	レポート 回収課題 の振り返りと解説文章を書くための基礎知識	レポート 作成、配布物資料の復習 (45分)	授業内容の復習 (45分)
8	文章を書くための基礎知識 (配布物資料) 課題 の講評・分析と修正 (演習)	配布物資料の復習 (45分)	授業内容の復習 (45分)
9	文章を書くための基礎知識 (配布物資料) 文章を書くための基礎知識 (配布物資料) 課題 の説明	課題 の振り返り、配布物資料の復習 (45分)	授業内容の復習 (45分)
10	文章を書くための基礎知識 (配布物資料) 課題 の実作 (演習)	課題 の準備と調査、配布物資料の復習 (45分)	授業内容の復習 (45分)
11	課題 の振り返りと解説文章を書くための基礎知識 (配布物資料)	配布物資料の復習 (45分)	授業内容の復習 (45分)
12	レポート の説明文章を書くための基礎知識 (配布物資料) 課題 の講評・分析と修正 (演習)	課題 の振り返り、配布物資料の復習 (45分)	授業内容の復習、レポート作成のための準備・調査 (45分)
13	文章を書くための基礎知識 (配布物資料) 文章を書くための基礎知識 (配布物資料) 課題 の説明	配布物資料の復習 (45分)	授業内容の復習、レポート作成のための準備・調査 (45分)
14	課題 の実作 (演習)	課題 の準備と調査、配布物資料の復習 (45分)	レポート 作成 (45分)
15	レポート 回収 課題 の振り返りと解説	レポート 作成 (45分)	授業内容の復習 (45分)
16	課題 の講評、分析と修正 (演習) 全体のまとめ	課題 の振り返り、配布物資料の復習 (45分)	全体の復習 (45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習 (所要時間)	事後学習 (所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	4 Q	授業形態	演習 必修・選択
科目名称	文章表現演習（留学生）（科目ナンバリング：BAS071042）		
授業担当者（所属・職名）		研究室所在	
単位数	1（単位認定責任者：）	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

概要

履修目標																								
授業の位置づけ																								
到達目標																								
授業全体の内容と概要																								
授業の方法																								
アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>P B L</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他（授業の方法参照）</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		P B L		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他（授業の方法参照）
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		P B L																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他（授業の方法参照）																	
履修上の注意事項																								
資格指定科目																								

評価方法・基準

評価前提条件					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	4 Q	授業形態	演習 必修・選択
科目名称	文章表現演習（留学生）（科目ナンバリング：BAS071042）		
授業担当者（所属・職名）		研究室所在	
単位数	1（単位認定責任者：）	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習（所要時間）	事後学習（所要時間）
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習（所要時間）	事後学習（所要時間）
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	経営学科・1年		
開講時期	2Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	キャリアデザイン (M) (科目ナンバリング: SOE081051)				
授業担当者(所属・職名)	後藤 哲 (社会福祉学科・非常勤講師)	研究室所在	1号館1階非常勤講師室		
単位数	2 (単位認定責任者: 後藤 哲)	CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	学校現場や教育行政における経験のある教員がその経験を活かして、キャリア教育について指導する。		

概要

履修目標
<p>変化する現代産業社会の特徴を知り、その中で働くとはどのようなことが、職業とは何か、また、それらをめぐる諸問題に目を向け、「学生」が「職業人」になっていくことの意味の理解を目指す。実社会で活躍するため基礎から応用までの「キャリア形成」を学ぶ。</p>

授業の位置づけ
<p>経営学科のDP「1(1)と(2)」、「2(1)」に対応する。</p>

到達目標
<p>産業社会や労働・職業の実態について単に知識を習得するだけでなく、「学生」から「職業人」へ移行していく自分自身の問題としてとらえ、批判的に考察する姿勢をもつことが課題となる。</p>

授業全体の内容と概要
<p>自らの生涯における「キャリア」とは何かを知り、続いて、文化や社会、時代の違いによって「労働」に対する考え方が異なること、また、「働くこと」や分業の発達した社会における「職業」・「専門職」の意味について理解する。次に、どのように「学生」が「職業人」へと移行していけばよいのかを理解し、「労働」・「職業」をめぐるさまざまな問題を考察する。</p>

授業の方法
<p>授業は現代のさまざまな事例を素材としながら講義形式とグループワーク・プレゼンテーションを取り入れた思考・考察、意見交換、討論、発表等の一貫した活動を行い、コミュニケーション力、メタ認知力を身に付ける。必要な場合には資料を配布する。単元・項目によっては受講者の見解を知るための小文を提出してもらい、概要を発表する。</p>

アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>プレゼンテーション</td> <td>○</td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td>○</td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td>○</td> <td>双方向授業</td> <td>○</td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	○	プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業	○	ロールプレイ		調査学習		反転授業	○	ディスカッション		実験・実習・実技	○	双方向授業	○	その他(授業の方法参照)
○	プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業	○	ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
○	ディスカッション		実験・実習・実技	○	双方向授業	○	その他(授業の方法参照)																	

履修上の注意事項
<p>単位認定に必要な最低出席回数は10回以上。講義に関係ない私物は鞆に入れ、使用を禁ずる。</p>

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
<p>単位認定に必要な最低出席回数は10回以上。講義に関係ない私物は鞆に入れ、使用を禁ずる。</p>												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>60%</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>20%</td> <td>10%</td> <td>10%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	60%	0	0	20%	10%	10%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
60%	0	0	20%	10%	10%							

ルーブリック																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>課題発見・課題解決力</td> <td>テーマに意義を発見し、目標を設定した上で、最善の方法を選択し、計画を立て、適切な目標を設定、最善の方法を選択し、多面的・多角的に課題解決できた。</td> <td>テーマに対し、適切な目標を設定した上で、目標に応じた方法を選択し、課題解決できる、実行できた。</td> <td>テーマに対し、目標を設定し、計画を立てることができ、結果を基準に照らし合わせて評価し、計画の見直しに努力できた。</td> <td>テーマに対し、目標を設定し、計画を立てることができ、結果を基準に照らし合わせて評価し、計画の見直しに努力できた。</td> <td>テーマに対して目標を設定できず、課題を発見できなかった。</td> </tr> <tr> <td>プレゼンテーションのスキル</td> <td>聞き取りやすい声と適度な抑揚と間のある語り、興味を惹きつけ説得力があった。反応を受け、学習活動を牽引し、工夫ある適切なスライド資料ができた。</td> <td>聞き取りやすい声と抑揚のある話し方で工夫していた。自分の表情とジェスチャーに工夫ができる。図表やグラフなどスライド資料の順番・構成もできた。</td> <td>終始、聞き取りやすい大きな声で話せた。みんなの表情を確認しながら話せた。文字の大きさと図表の使い方は十分だが、情報量のバランスを欠いていた。</td> <td>発表途中で声が小さく、聞き取りづらいことがあった。手元の原稿や発表スライドの方を向くなど不十分。文字の大きさは十分だが、図表やグラフが少なく、PRが不十分だった。</td> <td>発表の内容が分かりづらく、相手に自分の意見を伝えようという意図が感じられなかった。</td> </tr> <tr> <td>論理的・批判的思考力</td> <td>事柄・情報を整理して理論的に構造化でき、他を納得させる意見が展開できた。多面的・多角的に考察することができ、様々な可能性を検証することができた。</td> <td>事柄・情報を整理して構造化でき、意見を展開できた。構造化を導くため、自分の思考が偏っていないか確認、考察することができた。</td> <td>事柄・情報の整理に苦勞し、自分の意見を表現するまでに至らなかった。情報や人の意見が正しいか考察することはできた。</td> <td>事柄・情報の整理に苦勞し、自分の意見を表現するまでに至らなかった。情報や人の意見が正しいか考察することはややできた。</td> <td>事柄・情報の整理に苦勞し、自分の意見を表現するまでに至らなかった。情報や人の意見が正しいか考察することができなかった。</td> </tr> <tr> <td>情報管理能力</td> <td>PC等の適切な図表・写真等を用いたレポート、効果的なプレゼンテーション資料を作成でき、ICTを活用した適切な情報整理がよくなった。</td> <td>PC等の図表や写真等を用いたレポート、プレゼンテーション資料が作成でき、ICTを活用した学習ができた。情報整理もできた。多角的疑問に回答が出来た。</td> <td>PC等を使用して、図表や写真等を用いたレポート、プレゼンテーション資料を作成できた。テーマに関する情報整理も出来た。</td> <td>PC等を使用して、レポートの作成ができた。プレゼンテーションの資料作成に苦勞することが多い。テーマに関する情報整理はできた。</td> <td>ICTの活用が未熟で、テーマに対する情報整理が出来なかった。</td> </tr> <tr> <td>コミュニケーション力(グループワーク)</td> <td>自ら積極的に話し相手との双方向の会話が出来、学生間の信頼関係があり、学習活動の中心的存在。自他の意見の尊重で、結論を出すことに貢献できた。</td> <td>自ら相手に話し、相手からもよく話しかけられる。他との信頼関係を築き、関係性は良好に保つ。相手の意見は関心を持ち、注意深く聞き、相手を理解できた。</td> <td>自ら相手に話しかけ、相手から話しかけられたり他との信頼関係を築く努力をした。同意する姿勢が強く、相手の意見を積極的に聞く姿勢がみられた。</td> <td>自分から話しかけないが、話しかけられれば、話をすることができた。消極的。相手の意見聞くことができるが、議論を進め、学習活動に活性化させる発言が少なかった。</td> <td>他との話し合いに参加することが無く、議論を進める学習活動に活性化させる発言もなかった。</td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	課題発見・課題解決力	テーマに意義を発見し、目標を設定した上で、最善の方法を選択し、計画を立て、適切な目標を設定、最善の方法を選択し、多面的・多角的に課題解決できた。	テーマに対し、適切な目標を設定した上で、目標に応じた方法を選択し、課題解決できる、実行できた。	テーマに対し、目標を設定し、計画を立てることができ、結果を基準に照らし合わせて評価し、計画の見直しに努力できた。	テーマに対し、目標を設定し、計画を立てることができ、結果を基準に照らし合わせて評価し、計画の見直しに努力できた。	テーマに対して目標を設定できず、課題を発見できなかった。	プレゼンテーションのスキル	聞き取りやすい声と適度な抑揚と間のある語り、興味を惹きつけ説得力があった。反応を受け、学習活動を牽引し、工夫ある適切なスライド資料ができた。	聞き取りやすい声と抑揚のある話し方で工夫していた。自分の表情とジェスチャーに工夫ができる。図表やグラフなどスライド資料の順番・構成もできた。	終始、聞き取りやすい大きな声で話せた。みんなの表情を確認しながら話せた。文字の大きさと図表の使い方は十分だが、情報量のバランスを欠いていた。	発表途中で声が小さく、聞き取りづらいことがあった。手元の原稿や発表スライドの方を向くなど不十分。文字の大きさは十分だが、図表やグラフが少なく、PRが不十分だった。	発表の内容が分かりづらく、相手に自分の意見を伝えようという意図が感じられなかった。	論理的・批判的思考力	事柄・情報を整理して理論的に構造化でき、他を納得させる意見が展開できた。多面的・多角的に考察することができ、様々な可能性を検証することができた。	事柄・情報を整理して構造化でき、意見を展開できた。構造化を導くため、自分の思考が偏っていないか確認、考察することができた。	事柄・情報の整理に苦勞し、自分の意見を表現するまでに至らなかった。情報や人の意見が正しいか考察することはできた。	事柄・情報の整理に苦勞し、自分の意見を表現するまでに至らなかった。情報や人の意見が正しいか考察することはややできた。	事柄・情報の整理に苦勞し、自分の意見を表現するまでに至らなかった。情報や人の意見が正しいか考察することができなかった。	情報管理能力	PC等の適切な図表・写真等を用いたレポート、効果的なプレゼンテーション資料を作成でき、ICTを活用した適切な情報整理がよくなった。	PC等の図表や写真等を用いたレポート、プレゼンテーション資料が作成でき、ICTを活用した学習ができた。情報整理もできた。多角的疑問に回答が出来た。	PC等を使用して、図表や写真等を用いたレポート、プレゼンテーション資料を作成できた。テーマに関する情報整理も出来た。	PC等を使用して、レポートの作成ができた。プレゼンテーションの資料作成に苦勞することが多い。テーマに関する情報整理はできた。	ICTの活用が未熟で、テーマに対する情報整理が出来なかった。	コミュニケーション力(グループワーク)	自ら積極的に話し相手との双方向の会話が出来、学生間の信頼関係があり、学習活動の中心的存在。自他の意見の尊重で、結論を出すことに貢献できた。	自ら相手に話し、相手からもよく話しかけられる。他との信頼関係を築き、関係性は良好に保つ。相手の意見は関心を持ち、注意深く聞き、相手を理解できた。	自ら相手に話しかけ、相手から話しかけられたり他との信頼関係を築く努力をした。同意する姿勢が強く、相手の意見を積極的に聞く姿勢がみられた。	自分から話しかけないが、話しかけられれば、話をすることができた。消極的。相手の意見聞くことができるが、議論を進め、学習活動に活性化させる発言が少なかった。	他との話し合いに参加することが無く、議論を進める学習活動に活性化させる発言もなかった。
評価項目		評価基準																																							
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
課題発見・課題解決力	テーマに意義を発見し、目標を設定した上で、最善の方法を選択し、計画を立て、適切な目標を設定、最善の方法を選択し、多面的・多角的に課題解決できた。	テーマに対し、適切な目標を設定した上で、目標に応じた方法を選択し、課題解決できる、実行できた。	テーマに対し、目標を設定し、計画を立てることができ、結果を基準に照らし合わせて評価し、計画の見直しに努力できた。	テーマに対し、目標を設定し、計画を立てることができ、結果を基準に照らし合わせて評価し、計画の見直しに努力できた。	テーマに対して目標を設定できず、課題を発見できなかった。																																				
プレゼンテーションのスキル	聞き取りやすい声と適度な抑揚と間のある語り、興味を惹きつけ説得力があった。反応を受け、学習活動を牽引し、工夫ある適切なスライド資料ができた。	聞き取りやすい声と抑揚のある話し方で工夫していた。自分の表情とジェスチャーに工夫ができる。図表やグラフなどスライド資料の順番・構成もできた。	終始、聞き取りやすい大きな声で話せた。みんなの表情を確認しながら話せた。文字の大きさと図表の使い方は十分だが、情報量のバランスを欠いていた。	発表途中で声が小さく、聞き取りづらいことがあった。手元の原稿や発表スライドの方を向くなど不十分。文字の大きさは十分だが、図表やグラフが少なく、PRが不十分だった。	発表の内容が分かりづらく、相手に自分の意見を伝えようという意図が感じられなかった。																																				
論理的・批判的思考力	事柄・情報を整理して理論的に構造化でき、他を納得させる意見が展開できた。多面的・多角的に考察することができ、様々な可能性を検証することができた。	事柄・情報を整理して構造化でき、意見を展開できた。構造化を導くため、自分の思考が偏っていないか確認、考察することができた。	事柄・情報の整理に苦勞し、自分の意見を表現するまでに至らなかった。情報や人の意見が正しいか考察することはできた。	事柄・情報の整理に苦勞し、自分の意見を表現するまでに至らなかった。情報や人の意見が正しいか考察することはややできた。	事柄・情報の整理に苦勞し、自分の意見を表現するまでに至らなかった。情報や人の意見が正しいか考察することができなかった。																																				
情報管理能力	PC等の適切な図表・写真等を用いたレポート、効果的なプレゼンテーション資料を作成でき、ICTを活用した適切な情報整理がよくなった。	PC等の図表や写真等を用いたレポート、プレゼンテーション資料が作成でき、ICTを活用した学習ができた。情報整理もできた。多角的疑問に回答が出来た。	PC等を使用して、図表や写真等を用いたレポート、プレゼンテーション資料を作成できた。テーマに関する情報整理も出来た。	PC等を使用して、レポートの作成ができた。プレゼンテーションの資料作成に苦勞することが多い。テーマに関する情報整理はできた。	ICTの活用が未熟で、テーマに対する情報整理が出来なかった。																																				
コミュニケーション力(グループワーク)	自ら積極的に話し相手との双方向の会話が出来、学生間の信頼関係があり、学習活動の中心的存在。自他の意見の尊重で、結論を出すことに貢献できた。	自ら相手に話し、相手からもよく話しかけられる。他との信頼関係を築き、関係性は良好に保つ。相手の意見は関心を持ち、注意深く聞き、相手を理解できた。	自ら相手に話しかけ、相手から話しかけられたり他との信頼関係を築く努力をした。同意する姿勢が強く、相手の意見を積極的に聞く姿勢がみられた。	自分から話しかけないが、話しかけられれば、話をすることができた。消極的。相手の意見聞くことができるが、議論を進め、学習活動に活性化させる発言が少なかった。	他との話し合いに参加することが無く、議論を進める学習活動に活性化させる発言もなかった。																																				

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	経営学科・1年		
開講時期	2Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	キャリアデザイン (M) (科目ナンバリング: SOE081051)				
授業担当者(所属・職名)	後藤 哲(社会福祉学科・非常勤講師)	研究室所在	1号館1階非常勤講師室		
単位数	2 (単位認定責任者: 後藤 哲)	CAP制	○		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	学校現場や教育行政における経験のある教員がその経験を活かして、キャリア教育について指導する。		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	科目ガイダンス・カウンセリング シラバスの説明 全体概要、目的とねらい、履修上の注意、評価方法説明	シラバス内容を事前確認(90分)	目的とねらいについての復習と確認(90分)
2	ライフデザインとキャリア 1.「キャリア」とは何か	自らの生活に関する展望のイメージ化・意識化(90分)	「キャリア」とは何であったかの復習・理解(90分)
3	ライフデザインとキャリア 2.若者世代と「ライフデザイン」	現代の若者世代を取り巻く社会環境についての意識化(90分)	現代の若者世代のキャリア形成の特質についての復習・理解(90分)
4	働くことと職業生活 1.「労働」をどうとらえるか? ……その歴史と比較	自らが「働くこと」をどう見ているかについての意識化(90分)	さまざまな「労働」観についての復習・理解(90分)
5	働くことと職業生活 2.社会的分業と「職業」 ……社会と個人の結び目	自らは「職業」活動をどう見ているかについての意識化(90分)	社会的分業と個人の職業生活との関係についての復習・理解(90分)
6	産業社会の変化と職業 1.現代の産業構造・職業構造	「専門職」の職業的性質についての事前考察(90分)	「専門職」の社会的意味についての復習・理解(90分)
7	産業社会の変化と職業 2.職業の専門化と現代の「専門職」	「専門職」の職業的性質についての事前考察(90分)	「専門職」の社会的意味についての復習・理解(90分)
8	「学生」から「職業人」へ 1.何が「職業人」に必要な? ……エンプロイアビリティの向上	「職業人」には何が求められるかについてのイメージ化・意識化(90分)	「エンプロイアビリティ」とは何であったかの復習・理解(90分)
9	「学生」から「職業人」へ 2.ライフコースの変化と現代のキャリア形成	現代人の人生経路についてのイメージ化・意識化(90分)	過去と現代のキャリア形成の違いについての復習・理解(90分)
10	職業をめぐる現代社会の諸問題 1.現代の雇用環境と若者 ……就職をめぐる問題	現代日本の「雇用問題」についての事前考察(90分)	若者世代をめぐる雇用状況についての復習・理解(90分)
11	職業をめぐる現代社会の諸問題 2.就労形態の変化 ……多様な働き方とは?	「働き方」をめぐる問題点についての事前考察(90分)	働き方の「多様化」をめぐる二面性についての復習・理解(90分)
12	職業をめぐる現代社会の諸問題 3.男女共同参画社会へ ……ワークライフバランスの確立	男女の働き方の違いと問題点についての事前考察(90分)	「男女共同参画」の重要性についての復習・理解(90分)
13	職業をめぐる現代社会の諸問題 3.男女共同参画社会へ ……ワークライフバランスの確立	生活の中の仕事の位置づけに関する事前考察(90分)	ワークライフバランス確立の重要性についての復習・理解(90分)
14	…現代社会の新しい働き方 ……ディーセントワークを目指して	より良い「働き方」のイメージ化・意識化(90分)	人間にとって「ディーセントワーク」が必要であることの復習・理解(90分)
15	総括と試験概要説明	ノートの整理と重要項目のチェック(90分)	評価に関する確認と理解 試験対応のための復習・理解(90分)
16	定期試験 60分の試験終了後、残りの30分で解説	試験に備えて講義全体のふりかえりを行うこと(90分)	試験および解説を受けて講義全体をふりかえり理解を深めること(90分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	社会福祉学科・1年、デザイン学科・1年、建		
開講時期	2Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	キャリアデザイン (科目ナンバリング: SOE081051)				
授業担当者(所属・職名)	山本 一彦(経営学科・教授)	研究室所在	2号館8階		
単位数	2 (単位認定責任者: 山本 一彦)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
<p>変化する現代産業社会の特徴を知り、その中で働くとはどのようなことが、職業とは何か、また、それらをめぐる諸問題に目を向け、「学生」が「職業人」になっていくことの意味の理解し、学ぶ。</p>

授業の位置づけ
<p>社会福祉学科のDP「1(2)」、「1(4)」、「2(1)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(1)」、「2(1)」、「2(3)」に対応する。 建築学科のDP「1(1)」、「2(1)」、「2(3)」に対応する。</p>

到達目標
<p>産業社会や労働・職業の実態について単に知識を習得するだけでなく、「学生」から「職業人」へ移行していく自分自身の問題としてとらえ、批判的に考察する姿勢をもてることが出来る。</p>

授業全体の内容と概要
<p>まず、自らの生涯における「キャリア」とは何かを知り、続いて、文化や社会、時代の違いによって「労働」に対する考え方が異なること、また、「働くこと」や「労働」の発達した社会における「職業」・「専門職」の意味について理解する。そして、どのように「学生」が「職業人」へと移行していけばよいのかを理解し、「労働」・「職業」をめぐりさまざまな問題を考察する。</p>

授業の方法
<p>授業は現代のさまざまな事例を素材としながら講義形式で行ない(PBL含む)、必要な場合には資料を配布する。単元・項目によっては受講者の見解を知るための小文を提出してもらい、授業で概要を発表してフィードバックする。</p>

アクティブラーニングの実施方法																					
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td>○</td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク	○	PBL	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク	○	PBL															
模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業															
ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)															

履修上の注意事項
<p>さまざまなテーマについて自ら考える「主体的・能動的」な姿勢での受講を求める。本試験・追試験結果が保留となった場合、レポート課題の提出が必要。保留後の合格の場合は、評価はCとする。</p>

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
<p>単位認定に必要な最低出席回数は10回</p>												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>90%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>10%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	90%	0%	0%	0%	0%	10%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
90%	0%	0%	0%	0%	10%							

ルーブリック																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>キャリアデザインに係る知識</td> <td>定期試験におけるキャリアデザインに係る基礎事項該当部分で90%以上の正答があった。</td> <td>左記の同部分が80%以上90%未満の正答であった。</td> <td>左記の同部分が70%以上80%未満の正答であった。</td> <td>左記の同部分が60%以上80%未満の正答であった。</td> <td>左記の同部分の正答が60%に届かなかった。</td> </tr> <tr> <td>思考力・判断力等</td> <td>キャリア概念を軸にして、自らの将来の労働生活・職業活動に関する展望・考察が十分にできていた。</td> <td>左記事項についての展望・考察が概ねできていた。</td> <td>左記事項についての展望・考察が広く一般的水準でできていた。</td> <td>左記事項についての展望・考察が最低限の水準に留まっていた。</td> <td>考察・展望が最低限の水準に届かず、授業内容が理解されていなかった。</td> </tr> <tr> <td>実社会における労働活動・職業生活への分析力・主体性</td> <td>実際の労働生活・職業活動をめぐるさまざまな社会的問題について十分に主体的分析ができていた。</td> <td>左記の事項について概ねできていた。</td> <td>左記の事項について一般的な水準でできていた。</td> <td>分析や主体性が最低限の水準に留まっていた。</td> <td>分析や主体性が最低限の水準に届かず、授業内容が理解されていなかった。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	キャリアデザインに係る知識	定期試験におけるキャリアデザインに係る基礎事項該当部分で90%以上の正答があった。	左記の同部分が80%以上90%未満の正答であった。	左記の同部分が70%以上80%未満の正答であった。	左記の同部分が60%以上80%未満の正答であった。	左記の同部分の正答が60%に届かなかった。	思考力・判断力等	キャリア概念を軸にして、自らの将来の労働生活・職業活動に関する展望・考察が十分にできていた。	左記事項についての展望・考察が概ねできていた。	左記事項についての展望・考察が広く一般的水準でできていた。	左記事項についての展望・考察が最低限の水準に留まっていた。	考察・展望が最低限の水準に届かず、授業内容が理解されていなかった。	実社会における労働活動・職業生活への分析力・主体性	実際の労働生活・職業活動をめぐるさまざまな社会的問題について十分に主体的分析ができていた。	左記の事項について概ねできていた。	左記の事項について一般的な水準でできていた。	分析や主体性が最低限の水準に留まっていた。	分析や主体性が最低限の水準に届かず、授業内容が理解されていなかった。												
評価項目		評価基準																																							
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
キャリアデザインに係る知識	定期試験におけるキャリアデザインに係る基礎事項該当部分で90%以上の正答があった。	左記の同部分が80%以上90%未満の正答であった。	左記の同部分が70%以上80%未満の正答であった。	左記の同部分が60%以上80%未満の正答であった。	左記の同部分の正答が60%に届かなかった。																																				
思考力・判断力等	キャリア概念を軸にして、自らの将来の労働生活・職業活動に関する展望・考察が十分にできていた。	左記事項についての展望・考察が概ねできていた。	左記事項についての展望・考察が広く一般的水準でできていた。	左記事項についての展望・考察が最低限の水準に留まっていた。	考察・展望が最低限の水準に届かず、授業内容が理解されていなかった。																																				
実社会における労働活動・職業生活への分析力・主体性	実際の労働生活・職業活動をめぐるさまざまな社会的問題について十分に主体的分析ができていた。	左記の事項について概ねできていた。	左記の事項について一般的な水準でできていた。	分析や主体性が最低限の水準に留まっていた。	分析や主体性が最低限の水準に届かず、授業内容が理解されていなかった。																																				

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	社会福祉学科・1年、デザイン学科・1年、建		
開講時期	2Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	キャリアデザイン (科目ナンバリング: SOE081051)				
授業担当者(所属・職名)	山本 一彦(経営学科・教授)	研究室所在	2号館8階		
単位数	2 (単位認定責任者: 山本 一彦)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	科目ガイダンス…全体概要 目的とねらい、履修上の注意、評価方法説明(シラバス説明を含む)	シラバス内容を事前確認(90分)	目的とねらいについての復習と確認(90分)
2	・ライフデザインとキャリア 1.「キャリア」とは何か	自らの生活に関する展望のイメージ化・意識化(90分)	「キャリア」とは何であったかの復習・理解(90分)
3	・ライフデザインとキャリア 2..若者世代と「ライフデザイン」	現代の若者世代を取り巻く社会環境についての意識化(90分)	現代の若者世代のキャリア形成の特質についての復習・理解(90分)
4	・働くことと職業生活 1.「労働」をどうとらえるか? …その歴史と比較	自らが「働くこと」をどう見ているかについての意識化(90分)	さまざまな「労働」観についての復習・理解(90分)
5	・働くことと職業生活 2.社会的分業と「職業」 …社会と個人の結び目	自らは「職業」活動をどう見ているかについての意識化(90分)	社会的分業と個人の職業生活との関係についての復習・理解(90分)
6	・産業社会の変化と職業 1.現代の産業構造・職業構造	日本の産業・職業の構造的特徴を事前確認(90分)	特に日本の職業構造についての復習・理解(90分)
7	・産業社会の変化と職業 2.職業の専門化と現代の「専門職」	「専門職」の職業的特質についての事前考察(90分)	「専門職」の社会的意味についての復習・理解(90分)
8	・「学生」から「職業人」へ 1.何が「職業人」に必要か? …エンプロイアビリティの向上	「職業人」には何が求められるかについてのイメージ化・意識化(90分)	「エンプロイアビリティ」とは何であったかの復習・理解(90分)
9	・「学生」から「職業人」へ 2.ライフコースの変化と現代のキャリア形成	現代人の人生経路についてのイメージ化・意識化(90分)	過去と現代のキャリア形成の違いについての復習・理解(90分)
10	・職業をめぐる現代社会の諸問題 1.現代の雇用環境と若者…就職をめぐる問題	現代日本の「雇用問題」についての事前考察(90分)	若者世代をめぐる雇用状況についての復習・理解(90分)
11	・職業をめぐる現代社会の諸問題 2.就労形態の変化…多様な働き方とは?	「働き方」をめぐる問題点についての事前考察(90分)	働き方の「多様化」をめぐる二面性についての復習・理解(90分)
12	・職業をめぐる現代社会の諸問題 3.男女共同参画社会へ…ワークライフバランスの確立	男女の働き方の違いと問題点についての事前考察(90分)	男女共同参画の重要性についての復習・理解(90分)
13	・職業をめぐる現代社会の諸問題 3.男女共同参画社会へ…ワークライフバランスの確立	生活の中の仕事の位置づけに関する事前考察(90分)	ワークライフバランス確立の重要性についての復習・理解(90分)
14	・現代社会の新しい働き方…ダイアセントワークを目指して	より良い「働き方」のイメージ化・意識化(90分)	ワークライフバランス確立の重要性についての復習・理解(90分)
15	総括と試験概要説明	ノートの整理と重要項目のチェック(90分)	評価に関する確認と理解 試験対応のための復習・理解(90分)
16	試験および解説 60分の試験終了後、残りの30分で解説	試験対応準備(90分)	解説内容の確認・理解(90分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	3Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	キャリアデザイン (科目ナンバリング: SOE081052)				
授業担当者(所属・職名)	河野 善文(経営学科・教授) 青山 浩之(経営学科・准教授)	研究室所在	1号館2階(河野) 1号館4階(青山)	1号館2階(佐々木)	1号館2階(佐々木)
単位数	2 (単位認定責任者: 河野 善文)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
自分のキャリアを客観的に見つめるための自己分析のスキルを身につける。また、将来のキャリアに必要な大学の学びについて考察する。そして、自己分析・考察から得た気づきを言葉にすることで、自己表現とキャリアへの理解を深める。

授業の位置づけ
経営学科のDP「1(2)」、「2(1)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(2)」、「2(1)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(1)」、「2(1)」に対応する。 建築学科のDP「1(1)」、「2(1)」に対応する。

到達目標
他者と関わり、自分自身をかえりみることで、自分のキャリア・ゴールの発見・達成に向けて前に踏み出すことができる。

授業全体の内容と概要
キャリアについて考察する知識やスキルを身につけるため、自己分析の手法や就職活動に必要な知識・心構え等を学ぶ。とくに、演習のなかで書きながら考えることによって自己理解を深める。また、全体の演習を通じて、自己のキャリア・ゴールに向けて必要な学びを発見し、キャリア・ゴールの達成までに自分がなすべき行動をデザインする。

授業の方法
毎回の計画にそって、板書とプレゼンテーションによる講義とノートやプリントを用いた演習とをまじえた授業をおこなう。演習においては、ひとりだけで考えるだけでなく、他者(周回の受講生や友人など)とも議論することで、自分の強みや考えをノートにまとめる。また、その演習の結果を課題として提出する。課題提出は原則として授業内とし、課題は返却しない。提出回以降の講義のなかで総評を実施する。

アクティブラーニングの実施方法												
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>グループワーク</td> <td>フィールドワーク</td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td>ロールプレイ</td> <td>調査学習</td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td>実験・実習・実技</td> <td>双方向授業</td> <td>○ その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL	模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業	ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	○ その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL									
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業									
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	○ その他(授業の方法参照)									

履修上の注意事項
<ul style="list-style-type: none"> 演習や振り返り、まとめ授業で使用するために、ノートと筆記用具が必要である。 質問は次回の授業までに行い、課題提出や必要な連絡・相談等は必ず期限を守る。 剽窃・コピーが見出された課題は採点の対象としない。 多くの演習課題を行うため、受講者の数によっては人数調整・座席指定をする場合がある。 自分のキャリアについて真実に深く考えることのできる学生の履修を求める。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
単位認定に必要な最低出席回数は12回以上。 なお、丁寧に書かれず、読み取れない文章は採点の対象としない。												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>100%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	0%	100%	0%	0%	0%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	0%	100%	0%	0%	0%							

ルーブリック																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>課題における意見の提示と展開</td> <td>自分の考えが根拠とともに論理的かつ明確に展開・提示されている。</td> <td>自分の考えが根拠とともにある程度明確に展開できている。</td> <td>自分の考えが明示されている。展開もしくは根拠のいずれかが不十分である。</td> <td>自分の考えが示されているが、展開ならびに根拠のどちらも不十分である。</td> <td>自分の考えが示されていない。</td> </tr> <tr> <td>課題の構成・書式</td> <td>教員が指示した構成と書式にそって過不足なく適切に課題が整えられている。</td> <td>教員が指示した構成と書式にある程度そった形で課題が整えられている。</td> <td>教員の指示に基づいて課題が整えられているが、構成と書式のいずれかに不備がみられる。</td> <td>教員の指示に基づいて課題が整えられているが、構成と書式のどちらにも不備がみられる。</td> <td>提出課題が、教員が指示した構成と書式にそっていない。</td> </tr> <tr> <td>課題への取り組み</td> <td>すべての演習課題に主体的かつ能動的に取り組める。</td> <td>ほぼすべての演習課題に主体的かつ能動的に取り組める。</td> <td>ほぼすべての演習課題に取り組める。</td> <td>ある程度(評価前提基準回数程度)の演習課題に取り組める。</td> <td>授業のなかで演習課題に取り組まない。</td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	課題における意見の提示と展開	自分の考えが根拠とともに論理的かつ明確に展開・提示されている。	自分の考えが根拠とともにある程度明確に展開できている。	自分の考えが明示されている。展開もしくは根拠のいずれかが不十分である。	自分の考えが示されているが、展開ならびに根拠のどちらも不十分である。	自分の考えが示されていない。	課題の構成・書式	教員が指示した構成と書式にそって過不足なく適切に課題が整えられている。	教員が指示した構成と書式にある程度そった形で課題が整えられている。	教員の指示に基づいて課題が整えられているが、構成と書式のいずれかに不備がみられる。	教員の指示に基づいて課題が整えられているが、構成と書式のどちらにも不備がみられる。	提出課題が、教員が指示した構成と書式にそっていない。	課題への取り組み	すべての演習課題に主体的かつ能動的に取り組める。	ほぼすべての演習課題に主体的かつ能動的に取り組める。	ほぼすべての演習課題に取り組める。	ある程度(評価前提基準回数程度)の演習課題に取り組める。	授業のなかで演習課題に取り組まない。
評価項目		評価基準																											
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																								
課題における意見の提示と展開	自分の考えが根拠とともに論理的かつ明確に展開・提示されている。	自分の考えが根拠とともにある程度明確に展開できている。	自分の考えが明示されている。展開もしくは根拠のいずれかが不十分である。	自分の考えが示されているが、展開ならびに根拠のどちらも不十分である。	自分の考えが示されていない。																								
課題の構成・書式	教員が指示した構成と書式にそって過不足なく適切に課題が整えられている。	教員が指示した構成と書式にある程度そった形で課題が整えられている。	教員の指示に基づいて課題が整えられているが、構成と書式のいずれかに不備がみられる。	教員の指示に基づいて課題が整えられているが、構成と書式のどちらにも不備がみられる。	提出課題が、教員が指示した構成と書式にそっていない。																								
課題への取り組み	すべての演習課題に主体的かつ能動的に取り組める。	ほぼすべての演習課題に主体的かつ能動的に取り組める。	ほぼすべての演習課題に取り組める。	ある程度(評価前提基準回数程度)の演習課題に取り組める。	授業のなかで演習課題に取り組まない。																								

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	3Q	授業形態	講義	必修・選択	選択
科目名称	キャリアデザイン (科目ナンバリング: SOE081052)				
授業担当者(所属・職名)	河野 善文(経営学科・教授) 青山 浩之(経営学科・准教授)	研究室所在	1号館2階(河野) 1号館4階(青山) 1号館2階(佐々木 智)		
単位数	2 (単位認定責任者: 河野 善文)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	オリエンテーション: シラバスの説明 - キャリアデザインとは何か -	キャリアとは何かを調べ、考えておく(90分)	ノートにキャリアとは何かについてまとめておく(90分)
2	コミュニケーションによる自己や他者の理解 - コミュニケーションとは何か -	互いに理解しやすいコミュニケーションについて調べ、考えておく(90分)	キャリア・ゴール策定のために必要なコミュニケーションは何かをノートにまとめる(90分)
3	自分を知る: 自分自身の見つけ方の方の傾向を調べる - 課題: 20答法 -	これまでの自分を振り返り、私とは何かを考えておく(90分)	キャリア・ゴール策定のために必要な視点を20答法から考え、ノートにまとめる(90分)
4	自分を知る: 個性の理解	自分が興味を持っていることをノートのまとめでおく(90分)	自分の個性について気づいたことをノートにまとめておく(90分)
5	自分を知る: 自分の可能性について発見する方法	これまでの課題から気づいたことをノートにまとめる(90分)	課題を作成することで気づいたことをノートにまとめておく(90分)
6	自分を知る(まとめ): 自分が抱えている働くことのイメージ - 自己理解の整理 -	今までの課題で気づいた自分から、どのように働きたいかをイメージしておく(90分)	自分のキャリア目標達成には、どのような学びが必要かをノートにまとめておく(90分)
7	大学での学びをデザイン - 過去を振り返る -	これまでの勉強や学生生活の振り返りをノートに書き出す(90分)	高校生へのアドバイスをノートにまとめる(90分)
8	大学での学びをデザイン - 社会の先輩から就活へのアドバイス -	就職活動で求められるものは何か、自分なりに考えてノートに書き出す(90分)	就活で求められるものが何か自分の意見をノートにまとめる(90分)
9	大学での学びをデザイン - 社会の先輩から勉強へのアドバイス -	社会で必要となる学びは何か、自分なりに考えてノートに書き出す(90分)	学びにかんする先輩のアドバイスをノートにまとめる(90分)
10	大学での学びをデザイン - 学びとキャリア・イメージ -	第7から9回までに講義・演習で学んだことを振り返り、ノートに整理する(90分)	大学の学びを卒業後にどう活かすか、自分なりの考えをノートに書き出す(90分)
11	大学の学びとキャリア: 大学で何を学び、身につけなければならないか - 学生のキャリア3つの視点 -	社会で求められる力とは何か、社会人基礎力について調べ学習(90分)	プリントの空欄を記入し、仕事について考える(90分)
12	大学の学びとキャリア: 大学1-2年生のキャリアデザイン - 課題「自己PR」 -	働く目的とは何かについて、考えまとめておく(90分)	プリントの空欄を記入し、目標について考える(90分)
13	大学の学びとキャリア: 「働く」ということを考える - 新卒採用の選考を突破するために -	就職活動における自己PRについての調べ学習。「自己PR」課題1作成(90分)	提出した「自己PR」課題1の添削。「学生時代に力を入れたこと」課題2作成(90分)
14	大学の学びとキャリア(まとめ): なぜ自己分析が必要か - 課題「学生時代に力を入れたこと」 -	就職活動のスケジュールの調べ学習。就職活動のスケジュールの調べ学習。「学生時代に力を入れたこと」課題2作成(90分)	「自己PR」の解説をもとに、改題1・2を添削作成(90分)
15	全体のまとめ: キャリア・ゴールの設定と目標達成のために卒業までにすべきことの整理	ノートを見直し、キャリア・ゴール案とその達成に必要な行動をまとめておく(90分)	最終課題で設定したキャリア・ゴールを見直し、その達成に必要な学びを考えよう(90分)
16	最終課題を振り返り、自分のキャリア・ゴールとこれらからすべき行動を再確認(課題で十分な考察がなされていない場合は再度課題を提出)	これまでのノートへの記録と最終課題でまとめた内容との比較(90分)	授業をとおして行った振り返りの内容についてノートにまとめる(90分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	経営学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	キャリア支援演習 (M) (科目ナンバリング: SOE081053)				
授業担当者(所属・職名)	遠藤 均(経営学科・教授)	研究室所在	2号館7階		
単位数	1 (単位認定責任者: 遠藤 均)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
<p>インターンシップの事前学習として、ビジネスに必要な基本スキルを習得する。自らの職業観や勤労観といった概念の形成を前提に、ビジネスの常識および基礎的なコミュニケーション、情報の活用など、将来、職業人として適応するために身に付けておくべき知識を習得する。</p>

授業の位置づけ
経営学科のDP「1(2)」、「1(3)」、「1(4)」、「1(5)」、「2(1)」に対応する。

到達目標
ビジネス能力検定(B検)ジョブパス3級に合格する実力があること。

授業全体の内容と概要
この科目は実社会で活躍するための基礎から応用までの「キャリア形成」を学ぶための科目である。「2020年版 ビジネス能力検定 ジョブパス3級 公式テキスト」に沿って、期待される社会人・職業人を旨指して、キャリアと仕事へのアプローチ、仕事の基本となる8つの意識、コミュニケーションとビジネスマナーの基本、指示の受け方と報告・連絡・相談、話し方と聞き方のポイント、来客応対と訪問の基本マナー、ビジネス文書の基本、電話応対などについて説明していく。発言を重視し、平常点を付与する。

授業の方法
「2020年版 ビジネス能力検定ジョブパス 3級公式テキスト」に基づき、講義、対話、ディベート、グループワークなどを行う。

アクティブラーニングの実施方法							
<input type="checkbox"/>	プレゼンテーション	<input type="checkbox"/>	グループワーク	<input type="checkbox"/>	フィールドワーク	<input type="checkbox"/>	PBL
<input type="checkbox"/>	模擬授業	<input type="checkbox"/>	ロールプレイ	<input type="checkbox"/>	調査学習	<input type="checkbox"/>	反転授業
<input type="checkbox"/>	ディスカッション	<input type="checkbox"/>	実験・実習・実技	<input type="checkbox"/>	双方向授業	<input type="checkbox"/>	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項
講義中はスマホ等の電源を必ずOFFにし、机の上に置かないこと。置いている場合は、講義終了まで預かる。授業に関係のない私語禁止。座席を指定することもありうる。遅刻は一回につき一点減点。居眠り厳禁。レポートの採点基準は、「どれだけ講義の内容を理解し、自分のものになっているか」ということ。自分自身との対話を通し、自分のことばで語る事が重要。講義で扱っていない内容や自分の考えはかりを書いて合格点に達することはできない。コピーは100%単位認定されない。最後に、全体的感想や自分の意見をつけ加えるとよりよい。レポートは、原稿用紙換算5枚以上(2千字以上)、文字数を明記する。書式は問わない。欠席や特別な事由で欠席した場合、課題を提出しなければ、授業回数に反映されないことに留意。最終レポートの提出期限は、第13回の講義当日。一日遅れるごとに1点減点となる。学務課に成績票を提出した後は受領できない。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
単位認定に必要な最低出席回数は、11回以上。												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>30%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>30%</td> <td>8%</td> <td>32%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	30%	0%	0%	30%	8%	32%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
30%	0%	0%	30%	8%	32%							

ルーブリック																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>検定試験</td> <td>検定試験合格レベルに十分達し、合格した。</td> <td>検定試験合格レベルに達し、合格した。</td> <td>検定試験合格レベルにそれなりに達し、合格しなかった。</td> <td>検定試験合格レベルに達しようとした。</td> <td>検定試験合格レベルに達しようとしていなかった。</td> </tr> <tr> <td>定期試験</td> <td>90点以上</td> <td>80点以上</td> <td>70点以上</td> <td>60点以上</td> <td>60点未満</td> </tr> <tr> <td>ディベートやグループワークなど</td> <td>ディベートやグループワークなどにおいて、中心的役割を演じた。</td> <td>ディベートやグループワークなどにおいて、積極的に発表した。</td> <td>ディベートやグループワークなどにおいて、それなりに発表した。</td> <td>ディベートやグループワークなどにおいて、発表しようとした。</td> <td>ディベートやグループワークなどにおいて消極的で、ほとんど発表していなかった。</td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	検定試験	検定試験合格レベルに十分達し、合格した。	検定試験合格レベルに達し、合格した。	検定試験合格レベルにそれなりに達し、合格しなかった。	検定試験合格レベルに達しようとした。	検定試験合格レベルに達しようとしていなかった。	定期試験	90点以上	80点以上	70点以上	60点以上	60点未満	ディベートやグループワークなど	ディベートやグループワークなどにおいて、中心的役割を演じた。	ディベートやグループワークなどにおいて、積極的に発表した。	ディベートやグループワークなどにおいて、それなりに発表した。	ディベートやグループワークなどにおいて、発表しようとした。	ディベートやグループワークなどにおいて消極的で、ほとんど発表していなかった。
評価項目		評価基準																											
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																								
検定試験	検定試験合格レベルに十分達し、合格した。	検定試験合格レベルに達し、合格した。	検定試験合格レベルにそれなりに達し、合格しなかった。	検定試験合格レベルに達しようとした。	検定試験合格レベルに達しようとしていなかった。																								
定期試験	90点以上	80点以上	70点以上	60点以上	60点未満																								
ディベートやグループワークなど	ディベートやグループワークなどにおいて、中心的役割を演じた。	ディベートやグループワークなどにおいて、積極的に発表した。	ディベートやグループワークなどにおいて、それなりに発表した。	ディベートやグループワークなどにおいて、発表しようとした。	ディベートやグループワークなどにおいて消極的で、ほとんど発表していなかった。																								

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『ビジネス能力検定ジョブパス3級公式テキスト』	長谷川 隆	日本能率協会	2019	987-4-8207-49165	
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	経営学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	キャリア支援演習 (M) (科目ナンバリング: SOE081053)				
授業担当者(所属・職名)	遠藤 均(経営学科・教授)	研究室所在	2号館7階		
単位数	1 (単位認定責任者: 遠藤 均)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	ガイダンス、シラバスの説明 期待される社会人・職業人を目指して	シラバスをよく読む(90分)	第1回の復習(90分)
2	ビジネスとコミュニケーションの基本: キャリアと 仕事へのアプローチ	第1回の復習と第2回の予習(90分)	第2回の復習(90分)
3	ビジネスとコミュニケーションの基本: 仕事の基本 となる8つの意識	第2回の復習と第3回の予習(90分)	第3回の復習(90分)
4	ビジネスとコミュニケーションの基本: コミュニケ ーションとビジネスマナーの基本	第3回の復習と第4回の予習(90分)	第4回の復習(90分)
5	ビジネスとコミュニケーションの基本: 指示の受け 方と報告、連絡・相談	第4回の復習と第5回の予習(90分)	第5回の復習(90分)
6	ビジネスとコミュニケーションの基本: 話し方と聞き 方のポイント	第5回の復習と第6回の予習(90分)	第6回の復習(90分)
7	ビジネスとコミュニケーションの基本: 来客対応と 訪問の基本マナー	第6回の復習と第7回の予習(90分)	第7回の復習(90分)
8	ビジネスとコミュニケーションの基本: 会社関係で のつき合い	第7回の復習と第8回の予習(90分)	第8回の復習(90分)
9	仕事の実践とビジネスツール: 仕事への取り組み方	第8回の復習と第9回の予習(90分)	第9回の復習(90分)
10	仕事の実践とビジネスツール: ビジネス文書の基本	第9回の復習と第10回の予習(90分)	第10回の復習(90分)
11	仕事の実践とビジネスツール: 電話対応	第10回の復習と第11回の予習(90分)	第11回の復習(90分)
12	仕事の実践とビジネスツール: 統計・データの読み 方・まとの方	第11回の復習と第12回の予習(90分)	第12回の復習(90分)
13	仕事の実践とビジネスツール: 情報収集とメディア の活用	第12回の復習と第13回の予習(90分)	第13回の復習(90分)
14	仕事の実践とビジネスツール: 会社を取り巻く環境 と経済の基本	第13回の復習と第14回の予習(90分)	第14回の復習(90分)
15	ビジネス用語の基本	第14回の復習と第15回の予習(90分)	第15回の復習(90分)
16	定期試験および解説(30分の試験終了後、残りの 60分で解説)	第15回の復習と第16回の予習(90分)	第16回の復習(90分)

回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	社会福祉学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	キャリア支援演習 (S) (科目ナンバリング: SOE081053)				
授業担当者(所属・職名)	横田 肇 (社会福祉学科・准教授)	研究室所在	2号館7階		
単位数	1 (単位認定責任者: 横田 肇)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
<p>学生が、インターンシップ・キャリア形成の事前学習として、ビジネスに必要な基本スキルを習得する。自らの職業観や勤労観といった概念の形成を前提に、学生がビジネス常識および、基礎的なコミュニケーション、情報の利活用など、将来、職業人として適応するために身につけておくべき知識を習得する。学生が、実社会で活躍するための基礎となる「キャリア形成」を学ぶための科目である。</p>

授業の位置づけ
<p>社会福祉学科のDP「1(3)と(4)と(5)」、「2(1)」に対応する。</p>

到達目標
<p>受講者がビジネス能力検定(B検)ジョブパス3級に合格する実力を身に付けている。テキストの内容がひととおり理解できている。情報収集、コミュニケーション能力の基礎が身に付いており、応用できる。</p>

授業全体の内容と概要
<p>毎回、テキストに基づく講義(テキストの内容、関連事項の説明)、関連する事項についての演習、を行い、適宜、グループワーク、プレゼンテーションを取り入れる。</p>

授業の方法
<p>講義では、毎回、パワーポイントと板書を併用しつつ、テキストの該当箇所を説明していく。演習では、所定の問題を解いてもらい、その後に解説を加える。については、特定の日を設け、所定の課題について、グループを編成し、グループ毎にプレゼンテーションを行う。毎回、授業の最後にミニツペーパーを書いてもらい、回収し、次の授業の冒頭でふりかえりを行う。</p>

アクティブラーニングの実施方法												
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>グループワーク</td> <td>フィールドワーク</td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td>ロールプレイ</td> <td>調査学習</td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td>実験・実習・実技</td> <td>双方向授業</td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL	模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業	ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL									
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業									
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)									

履修上の注意事項
<p>遅刻しないように留意し、理由のある欠席は申し出ること。</p>

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
<p>単位認定に必要となる最低出席回数は、10回以上。 ビジネス能力検定(B検定)を受験しないものには単位認定できない。</p>												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>60%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>10%</td> <td>30%</td> <td>0%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	60%	0%	0%	10%	30%	0%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
60%	0%	0%	10%	30%	0%							

ルーブリック																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>テキスト(説明)の理解度</td> <td>テキストの内容が完全に理解され、自分で説明ができ、十分応用する力があった。</td> <td>テキストの内容がほぼ理解され、説明ができ、ある程度応用できた。</td> <td>テキストの内容がおおよそ理解され、説明でき、ある程度応用できた。</td> <td>テキストの内容が、おおよそわかり、説明可能で、多少応用できた。</td> <td>テキストの内容があまり理解されておらず、説明できなかった。</td> </tr> <tr> <td>情報収集能力・スキル</td> <td>多面的、正確に情報が収集でき、自分で編集、整理が的確にでき、正確に表現、発信できた。</td> <td>正確に情報が収集でき、的確に整理ができ、正確に発信できた。</td> <td>正確に情報が収集でき、的確に整理ができた。</td> <td>情報収集、整理の基本が身に付いていた。</td> <td>情報収集、整理の基本が身に付いていなかった。</td> </tr> <tr> <td>コミュニケーション能力・スキル</td> <td>積極的、的確な会話と議論ができ、的確な提案・主張ができた。</td> <td>的確な会話と議論ができ、的確な提案ができた。</td> <td>的確な会話ができ、的確な提示ができた。</td> <td>会話の基本が身に付いていた。</td> <td>会話の基本が身に付いていなかった。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	テキスト(説明)の理解度	テキストの内容が完全に理解され、自分で説明ができ、十分応用する力があった。	テキストの内容がほぼ理解され、説明ができ、ある程度応用できた。	テキストの内容がおおよそ理解され、説明でき、ある程度応用できた。	テキストの内容が、おおよそわかり、説明可能で、多少応用できた。	テキストの内容があまり理解されておらず、説明できなかった。	情報収集能力・スキル	多面的、正確に情報が収集でき、自分で編集、整理が的確にでき、正確に表現、発信できた。	正確に情報が収集でき、的確に整理ができ、正確に発信できた。	正確に情報が収集でき、的確に整理ができた。	情報収集、整理の基本が身に付いていた。	情報収集、整理の基本が身に付いていなかった。	コミュニケーション能力・スキル	積極的、的確な会話と議論ができ、的確な提案・主張ができた。	的確な会話と議論ができ、的確な提案ができた。	的確な会話ができ、的確な提示ができた。	会話の基本が身に付いていた。	会話の基本が身に付いていなかった。												
評価項目		評価基準																																							
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
テキスト(説明)の理解度	テキストの内容が完全に理解され、自分で説明ができ、十分応用する力があった。	テキストの内容がほぼ理解され、説明ができ、ある程度応用できた。	テキストの内容がおおよそ理解され、説明でき、ある程度応用できた。	テキストの内容が、おおよそわかり、説明可能で、多少応用できた。	テキストの内容があまり理解されておらず、説明できなかった。																																				
情報収集能力・スキル	多面的、正確に情報が収集でき、自分で編集、整理が的確にでき、正確に表現、発信できた。	正確に情報が収集でき、的確に整理ができ、正確に発信できた。	正確に情報が収集でき、的確に整理ができた。	情報収集、整理の基本が身に付いていた。	情報収集、整理の基本が身に付いていなかった。																																				
コミュニケーション能力・スキル	積極的、的確な会話と議論ができ、的確な提案・主張ができた。	的確な会話と議論ができ、的確な提案ができた。	的確な会話ができ、的確な提示ができた。	会話の基本が身に付いていた。	会話の基本が身に付いていなかった。																																				

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>『2021年版B検ビジネス能力検定ジョブパス3級公式テキスト』</td> <td>日本能率協会マネジメントセンター</td> <td>日本能率協会マネジメントセンター</td> <td>2021</td> <td>978-4-8207-2756-9 C3034</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1	『2021年版B検ビジネス能力検定ジョブパス3級公式テキスト』	日本能率協会マネジメントセンター	日本能率協会マネジメントセンター	2021	978-4-8207-2756-9 C3034		2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1	『2021年版B検ビジネス能力検定ジョブパス3級公式テキスト』	日本能率協会マネジメントセンター	日本能率協会マネジメントセンター	2021	978-4-8207-2756-9 C3034																																					
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	社会福祉学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	キャリア支援演習 (S) (科目ナンバリング: SOE081053)				
授業担当者(所属・職名)	横田 肇(社会福祉学科・准教授)	研究室所在	2号館7階		
単位数	1 (単位認定責任者: 横田 肇)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	シラバスの説明、ガイダンス、キャリアと仕事へのアプローチ	シラバスを読む(90分)	第1編第1章の復習をする(90分)
2	仕事の基本となる8つの意識、コミュニケーションとビジネスマナーの基本	第1編第2、3章の予習をする(90分)	第1編第2、3章の復習をする(90分)
3	指示の受け方と報告、連絡・相談、話し方と聞き方のポイント	第4、5章の予習をする(90分)	第4、5章の復習をする(90分)
4	来客対応と訪問の基本マナー、小テスト(1)[最終回に解説しフィードバックします]	第6章の予習をする(90分)	第6章の復習をする(90分)
5	会社関係でのつきあい	第7章の予習をする(90分)	第7章の復習をする(90分)
6	仕事への取り組み方	第2編第1章の予習をする(90分)	第2編第1章の復習をする(90分)
7	ビジネス文章の基本	第2章の予習をする(90分)	第2章の復習をする(90分)
8	電話対応	第3章の予習をする(90分)	第3章の復習をする(90分)
9	統計・データの読み方・まとめ方、小テスト(2)[最終回に解説しフィードバックします]	第4章の予習をする(90分)	第4章の復習をする(90分)
10	情報収集とメディアの活用	第5章の予習をする(90分)	第5章の復習をする(90分)
11	会社を取り巻く環境と経済の基本、まとめと確認	第6章の予習をする(90分)	第6章の復習をする(90分)
12	グループ学習とプレゼンテーション	授業中に指示(60分)	授業中に指示(60分)
13	グループ学習とプレゼンテーション	授業中に指示(90分)	授業中に指示(90分)
14	グループ学習とプレゼンテーション	授業中に指示(90分)	授業中に指示(90分)
15	テキストの補足、まとめ。	テキスト全体の確認をする(90分)	テキスト全体の復習をする(90分)
16	定期試験 [60分の試験終了後、残りの30分で解説を行います]	授業中に指示(90分)	授業中に指示(90分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	デザイン学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	キャリア支援演習 (D) (科目ナンバリング: SOE081053)				
授業担当者(所属・職名)	北嶋 洋一(デザイン学科・准教授)	研究室所在	2号館5階		
単位数	1 (単位認定責任者: 北嶋 洋一)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標

社会人の常識を身につけ学び、さらには卒業年度に始まる就職活動に必要な心構えを早期に身につける。

授業の位置づけ

デザイン学科のDP「1(1)」、「2(1)」に対応する。

到達目標

ビジネス能力検定(B検)ジョブパス3級に合格する実力があがり、その知識をインターンシップや就職活動で生かすことができる能力を育成する。さらに、自ら率先し、周囲の状況に流されることなく就職活動に臨む姿勢を形作ることができる。

授業全体の内容と概要

ビジネス能力検定ジョブパス3級公式テキストを基にして、働くことの必然性を学び、社会人になることについての興味を引き出す。あらゆる業種において共通する一般常識を伝える講義内容とする。

授業の方法

教科書(ビジネス能力検定ジョブパス3級公式テキスト)の各章を順に追って解説し、その中で最も重視すべき点と、業種においての実例も上げながら、一般常識に加えて実践的な知識を伝えながら授業を進行する。調査学習として就職活動や業界に対する取材を適時行わせ、それらについての質問は随時対応する。理解度はレポートにて確認し、不十分な場合は再提出のための指導を行う。

アクティブラーニングの実施方法

	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL
	模擬授業		ロールプレイ	○	調査学習		反転授業
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

2021年度版ビジネス能力検定ジョブパス3級公式テキストの購入と、蛍光マーカーなどチェック用の筆記用具は毎授業時、必ず用意しておくこと。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な最低出席回数は10回以上					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	40%	0%	40%	20%	0%

ルーブリック

評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
知識・技能 「社会人に必要とされる一般常識を身につけている」	各編のテストの評価が合計で90%を超えている。	各編のテストの評価が合計で80%を超えている。	各編のテストの評価が合計で70%を超えている。	各編のテストの評価が合計で60%を超えている。	各編のテストの評価が合計で60%未満である。
思考力・判断力・表現力 「社会人に必要とされる一般常識を基にして、就職活動に於いて望むことができる応用力を身につけている」	社会人に必要な一般常識を理解し、就職活動に於いては規範的な実践ができるレベルに到達した。	社会人に必要な一般常識を理解し、就職活動に於いては実践できるレベルに到達した。	社会人に必要な一般常識を理解しているが、就職活動に於いて実践できるレベルには未だ到達していない。	社会人に必要な一般常識の理解が不十分であり、実践できるレベルには到達していない。	社会人に必要な一般常識を理解できておらず、就職活動が行える段階にない。
主体性・多様性・協働性 「就職活動を前提とし、デザイン学科の特性に合わせた各種課題に対し、適切に対応することができる」	与えられた種々の課題に対し、臨機応変に適切に対応力しており、取り組みも積極的であった。	与えられた種々の課題に対し、適切に対応するよう努めており、取り組みも積極的であった。	与えられた種々の課題に対し、取り組みは積極的であったが、適切に対応しきれなかった。	与えられた種々の課題に対し、取り組みは積極的であったが、適切に対応しきれなかった。	与えられた種々の課題に対し、取り組みが積極的であったが、適切に対応しきれなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『2021年版 ビジネス能力検定ジョブパス3級公式テキスト』	一般財団法人職業教育・キャリア教育財団	日本能率協会マネジメントセンター	2020	978-4820728559	
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等

No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	デザイン学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	キャリア支援演習 (D) (科目ナンバリング: SOE081053)				
授業担当者(所属・職名)	北嶋 洋一 (デザイン学科・准教授)	研究室所在	2号館5階		
単位数	1 (単位認定責任者: 北嶋 洋一)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	ガイダンス-シラバスの説明	シラバスを一読しておくこと(45分)	デザイン学科の主要な就職活動分野を研究(45分)
2	第1編 第1章 キャリアと仕事へのアプローチ	当該範囲の確認(45分)	当該範囲におけるチェック項目の確認(45分)
3	第1編 第2章 仕事の基本となる8つの意識	当該範囲の確認(45分)	当該範囲におけるチェック項目の確認(45分)
4	第1編 第3章 コミュニケーションとビジネスマナーの基本	当該範囲の確認(45分)	当該範囲におけるチェック項目の確認(45分)
5	第1編 第4章 指示の受け方と報告、連絡、相談	当該範囲の確認(45分)	当該範囲におけるチェック項目の確認(45分)
6	第1編 第5章 話し方と聞き方のポイント	当該範囲の確認(45分)	当該範囲におけるチェック項目の確認(45分)
7	第1編 第6章 来客応対と訪問の基本マナー	当該範囲の確認(45分)	当該範囲におけるチェック項目の確認(45分)
8	第1編 第7章 会社関係のつき合い	当該範囲の確認(45分)	当該範囲におけるチェック項目の確認(45分)
9	中間テスト「第1編」	第1編の全内容についてテキストを再読(45分)	当該範囲及び第1編におけるチェック項目の確認(45分)
10	第2編 第1章 仕事への取り組み方	当該範囲の確認(45分)	当該範囲におけるチェック項目の確認(45分)
11	第2編 第2章 ビジネス文書の基本	当該範囲の確認(45分)	当該範囲におけるチェック項目の確認(45分)
12	第2編 第3章 電話応対	当該範囲の確認(45分)	当該範囲におけるチェック項目の確認(45分)
13	第2編 第4章 統計・データの読み方・まとめ方	当該範囲の確認(45分)	当該範囲におけるチェック項目の確認(45分)
14	第2編 第5章 情報収集とメディアの活用	当該範囲の確認(45分)	当該範囲におけるチェック項目の確認(45分)
15	第2編 第6章 会社を取り巻く環境と経済の基本	当該範囲の確認(45分)	当該範囲及び第2編におけるチェック項目の確認(45分)
16	「第2編」最終確認(レポート式テスト)	第2編の全内容についてテキストを再読(45分)	ビジネス能力検定受験のためのテキスト再確認(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	建築学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	キャリア支援演習 (A) (科目ナンバリング: SOE081053)				
授業担当者(所属・職名)	横山 哲也(建築学科・准教授)	研究室所在	2号館7階		
単位数	1 (単位認定責任者: 横山 哲也)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
<p>学生が教養力を身に付けるために「キャリア形成」を幅広く学ぶための科目である。インターンシップの事前学習として、ビジネスに必要な基本スキルを習得する。自らの職業観や勤労観といった概念の形成を前提にビジネス常識および、基礎的なコミュニケーション、情報の利活用など、将来、職業人として適応するために身につけておくべき知識を習得する。</p>

授業の位置づけ
<p>建築学科のDP「1(1)」、「2(1)」に対応する。</p>

到達目標
<p>学生が充実したキャリアを形成していくと同時にビジネス能力の向上が図れるよう、ビジネス能力検定(B検)ジョブパス3級に合格できる力を身につける。</p>

授業全体の内容と概要
<p>すべての人々が共生する社会で必要となる教養を身につけるために次のことを行う。講義、演習、グループワーク、プレゼンテーション、最終的にはジョブパス3級取得を達成する。</p>

授業の方法
<p>授業は、板書及び配布資料で実施し、グループワークにてグループ発表(全2回)、レポート提出(全2回)も行う。また、学生が考える時間を取った後課題は解説する。</p>

アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>プレゼンテーション</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>グループワーク</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>フィールドワーク</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>模擬授業</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>ロールプレイ</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>調査学習</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>ディスカッション</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>実験・実習・実技</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>双方向授業</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/>	プレゼンテーション	<input type="checkbox"/>	グループワーク	<input type="checkbox"/>	フィールドワーク	<input type="checkbox"/>	PBL	<input type="checkbox"/>	模擬授業	<input type="checkbox"/>	ロールプレイ	<input type="checkbox"/>	調査学習	<input type="checkbox"/>	反転授業	<input type="checkbox"/>	ディスカッション	<input type="checkbox"/>	実験・実習・実技	<input type="checkbox"/>	双方向授業	<input type="checkbox"/>	その他(授業の方法参照)
<input type="checkbox"/>	プレゼンテーション	<input type="checkbox"/>	グループワーク	<input type="checkbox"/>	フィールドワーク	<input type="checkbox"/>	PBL																	
<input type="checkbox"/>	模擬授業	<input type="checkbox"/>	ロールプレイ	<input type="checkbox"/>	調査学習	<input type="checkbox"/>	反転授業																	
<input type="checkbox"/>	ディスカッション	<input type="checkbox"/>	実験・実習・実技	<input type="checkbox"/>	双方向授業	<input type="checkbox"/>	その他(授業の方法参照)																	

履修上の注意事項
<p>授業時間の半分以上の遅刻は欠席とみなします。</p>

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
<p>11回以上の出席及びビジネス能力検定(B検)ジョブパス3級受験が単位認定の必須事項となる。</p>												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>50%</td> <td>0%</td> <td>30%</td> <td>20%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	0%	50%	0%	30%	20%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	0%	50%	0%	30%	20%							

ルーブリック																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ビジネス能力の向上</td> <td>課題の内容を正確に理解し、丁寧な提出物(レポート)になった。また、ジョブパス3級試験に合格した場合は10点加点する。</td> <td>課題の内容を正確に理解した提出物(レポート)になった。また、ジョブパス3級試験に合格した場合は10点加点する。</td> <td>課題の内容を理解し、丁寧な提出物(レポート)になった。また、ジョブパス3級試験に合格した場合は10点加点する。</td> <td>課題の内容を理解した提出物(レポート)になった。また、ジョブパス3級試験に合格した場合は10点加点する。</td> <td>課題の内容を理解した提出物(レポート)にならなかった。</td> </tr> <tr> <td>ジョブパス3級合格力の修得</td> <td>授業で修得してきた内容に関心を持ち、意欲的に問題の解決に努めた。さらに、自分で問題も作成した。</td> <td>授業で修得してきた内容に関心を持ち、意欲的に問題の解決に努めた。</td> <td>授業で修得してきた内容に関心を持ち、問題の解決に努めた。</td> <td>授業で修得してきた内容に関心を持ち、問題の解決に努めようとした。</td> <td>問題の解決力を授業で修得できなかった。</td> </tr> <tr> <td>キャリア形成の修得</td> <td>自己分析及びその長所・短所が学校生活及び社会にどんな影響を与えるか完璧に言えた。</td> <td>自己分析及びその長所・短所が学校生活及び社会にどんな影響を与えるか言えた。</td> <td>自己分析及びその長所・短所が学校生活及び社会にどんな影響を与えるかほぼ言えた。</td> <td>自己分析及びその長所・短所が学校生活及び社会にどんな影響を与えるか大体言えた。</td> <td>自己分析及び長所・短所が学校生活及び社会にどんな影響を与えるか言えなかった。</td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	ビジネス能力の向上	課題の内容を正確に理解し、丁寧な提出物(レポート)になった。また、ジョブパス3級試験に合格した場合は10点加点する。	課題の内容を正確に理解した提出物(レポート)になった。また、ジョブパス3級試験に合格した場合は10点加点する。	課題の内容を理解し、丁寧な提出物(レポート)になった。また、ジョブパス3級試験に合格した場合は10点加点する。	課題の内容を理解した提出物(レポート)になった。また、ジョブパス3級試験に合格した場合は10点加点する。	課題の内容を理解した提出物(レポート)にならなかった。	ジョブパス3級合格力の修得	授業で修得してきた内容に関心を持ち、意欲的に問題の解決に努めた。さらに、自分で問題も作成した。	授業で修得してきた内容に関心を持ち、意欲的に問題の解決に努めた。	授業で修得してきた内容に関心を持ち、問題の解決に努めた。	授業で修得してきた内容に関心を持ち、問題の解決に努めようとした。	問題の解決力を授業で修得できなかった。	キャリア形成の修得	自己分析及びその長所・短所が学校生活及び社会にどんな影響を与えるか完璧に言えた。	自己分析及びその長所・短所が学校生活及び社会にどんな影響を与えるか言えた。	自己分析及びその長所・短所が学校生活及び社会にどんな影響を与えるかほぼ言えた。	自己分析及びその長所・短所が学校生活及び社会にどんな影響を与えるか大体言えた。	自己分析及び長所・短所が学校生活及び社会にどんな影響を与えるか言えなかった。
評価項目		評価基準																											
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																								
ビジネス能力の向上	課題の内容を正確に理解し、丁寧な提出物(レポート)になった。また、ジョブパス3級試験に合格した場合は10点加点する。	課題の内容を正確に理解した提出物(レポート)になった。また、ジョブパス3級試験に合格した場合は10点加点する。	課題の内容を理解し、丁寧な提出物(レポート)になった。また、ジョブパス3級試験に合格した場合は10点加点する。	課題の内容を理解した提出物(レポート)になった。また、ジョブパス3級試験に合格した場合は10点加点する。	課題の内容を理解した提出物(レポート)にならなかった。																								
ジョブパス3級合格力の修得	授業で修得してきた内容に関心を持ち、意欲的に問題の解決に努めた。さらに、自分で問題も作成した。	授業で修得してきた内容に関心を持ち、意欲的に問題の解決に努めた。	授業で修得してきた内容に関心を持ち、問題の解決に努めた。	授業で修得してきた内容に関心を持ち、問題の解決に努めようとした。	問題の解決力を授業で修得できなかった。																								
キャリア形成の修得	自己分析及びその長所・短所が学校生活及び社会にどんな影響を与えるか完璧に言えた。	自己分析及びその長所・短所が学校生活及び社会にどんな影響を与えるか言えた。	自己分析及びその長所・短所が学校生活及び社会にどんな影響を与えるかほぼ言えた。	自己分析及びその長所・短所が学校生活及び社会にどんな影響を与えるか大体言えた。	自己分析及び長所・短所が学校生活及び社会にどんな影響を与えるか言えなかった。																								

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>『2021年版ビジネス能力検定ジョブパス3級公式テキスト』</td> <td></td> <td>日本能率協会マネジメントセンター</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1	『2021年版ビジネス能力検定ジョブパス3級公式テキスト』		日本能率協会マネジメントセンター				2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1	『2021年版ビジネス能力検定ジョブパス3級公式テキスト』		日本能率協会マネジメントセンター																																							
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>『適宜指示』</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1	『適宜指示』						2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1	『適宜指示』																																									
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	建築学科・1年		
開講時期	前期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	キャリア支援演習 (A) (科目ナンバリング: SOE081053)				
授業担当者(所属・職名)	横山 哲也(建築学科・准教授)	研究室所在	2号館7階		
単位数	1 (単位認定責任者: 横山 哲也)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	オリエンテーション及びシラバスの説明 キャリアと仕事へのアプローチ	教科書の学習内容の箇所を事前に読んでおくこと(45分)	今日の授業の再確認(45分)
2	仕事の基本となる8つの意識	教科書の学習内容の箇所を事前に読んでおくこと(45分)	今日の授業の再確認(45分)
3	コミュニケーションとビジネスマナーの基本	教科書の学習内容の箇所を事前に読んでおくこと(45分)	今日の授業の再確認(45分)
4	指示の受け方と報告、連絡・相談	教科書の学習内容の箇所を事前に読んでおくこと(45分)	今日の授業の再確認(45分)
5	話し方と聞き方のポイント	教科書の学習内容の箇所を事前に読んでおくこと(45分)	今日の授業の再確認(45分)
6	来客対応と訪問の基本マナー	教科書の学習内容の箇所を事前に読んでおくこと(45分)	今日の授業の再確認(45分)
7	会社関係でのつき合い	教科書の学習内容の箇所を事前に読んでおくこと(45分)	今日の授業の再確認(45分)
8	仕事への取り組み方	教科書の学習内容の箇所を事前に読んでおくこと(45分)	今日の授業の再確認(45分)
9	仕事への取り組み方	教科書の学習内容の箇所を事前に読んでおくこと(45分)	今日の授業の再確認(45分)
10	ビジネス文章の基本	教科書の学習内容の箇所を事前に読んでおくこと(45分)	今日の授業の再確認(45分)
11	ビジネス文章の基本	教科書の学習内容の箇所を事前に読んでおくこと(45分)	今日の授業の再確認(45分)
12	電話対応	教科書の学習内容の箇所を事前に読んでおくこと(45分)	今日の授業の再確認(45分)
13	統計・データの読み方・まとめ方	教科書の学習内容の箇所を事前に読んでおくこと(45分)	今日の授業の再確認(45分)
14	情報収集とメディアの活用	教科書の学習内容の箇所を事前に読んでおくこと(45分)	今日の授業の再確認(45分)
15	会社を取り巻く環境と経済の基本、まとめと確認	教科書の学習内容の箇所を事前に読んでおくこと(45分)	今日の授業の再確認(45分)
16	最終回において解説しフィードバックします	総復習(45分)	総理解(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	キャリア支援演習 (M) (科目ナンバリング: SOE081054)				
授業担当者(所属・職名)	学科キャリア支援委員		研究室所在	当該キャリア支援委員の研究室	
単位数	1	(単位認定責任者: 2021年度経営学科キャリア支援委員)	CAP制		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
企業経営者や若手社員の講話から、業種や日本経済での企業・団体の役割を理解する。また、業種ごとの現状と将来を展望し、「社会人になる」ための見識・視野を広げる。さらに企業側の求める人材を理解し、インターンシップや就活への準備を図る。社会人として必要なスキルを身に着けます。

授業の位置づけ
経営学科のDP「1(1)」、「1(2)」、「2(1)」に対応する。

到達目標
自身で将来の進路を考えることができる基盤を構築する。インターンシップや就職に対する自身の価値観を身につける。

授業全体の内容と概要
様々な業種の企業経営者や若手社員から、業種ごとの現状や展望、企業理念、求める人材等の講話を聴く。最終授業では、インターンシップへの準備として、先輩によるインターンシップ報告を実施する。

授業の方法

アクティブラーニングの実施方法							
<input type="checkbox"/>	プレゼンテーション	<input type="checkbox"/>	グループワーク	<input type="checkbox"/>	フィールドワーク	<input type="checkbox"/>	PBL
<input type="checkbox"/>	模擬授業	<input type="checkbox"/>	ロールプレイ	<input type="checkbox"/>	調査学習	<input type="checkbox"/>	反転授業
<input type="checkbox"/>	ディスカッション	<input type="checkbox"/>	実験・実習・実技	<input type="checkbox"/>	双方向授業	<input type="checkbox"/>	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件					
単位認定に必要な最低出席回数は、11回以上。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	15%	0%	60%	25%	0%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
授業に参加し、講師の話を傾聴しレポートを作成する。	15回以上授業に参加し、積極的に学習を行った。	14回以上授業に参加し、積極的に学習を行った。	13回以上授業に参加し、積極的に学習を行った。	12~11回以上授業に参加し、積極的に学習を行った。	授業の出席回数が10回以下であった。
確認テストの内容を理解し、定期試験の成績が60点以上である。	確認テストを受けて、定期試験の成績が100~90点であった。	確認テストを受けて、定期試験の成績が89~80点以上であった。	教科書、資料の内容を理解するため事前学習を行い、授業内で質問や自分の意見をプレゼンテーションした。	確認テストを受けて、定期試験の成績が69~60点以上であった。	確認テストをある程度受け、定期試験の成績が59点以下であった。
教科書、資料の内容を理解するため事前学習を行い、授業内で質問や自分の意見をプレゼンテーションする。	事前学習を行い、授業中に5回以上質問や意見を述べた。	事前学習を行い、授業中に4回以上質問や意見を述べた。	事前学習を行い、授業中に3回以上質問や意見を述べた。	事前学習を行い、授業中に2回以上質問や意見を述べた。	事前学習や質問、意見などが行っていない。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	キャリア支援演習 (M) (科目ナンバリング: SOE081054)				
授業担当者(所属・職名)	学科キャリア支援委員		研究室所在	当該キャリア支援委員の研究室	
単位数	1	(単位認定責任者: 2021年度経営学科キャリア支援委員)	CAP制		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	オリエンテーション この科目の内容と目的の理解、シラバスの説明	シラバスをよく読み、中小企業について調べる(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
2	1. 講話【電気・ガス・水道業】	次回講話に関連する業種や企業を調べる(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
3	2. 講話【建設業】	次回講話に関連する業種や企業を調べる(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
4	3. 講話【広告業】	次回講話に関連する業種や企業を調べる(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
5	第1セットの小テスト	3回分の講話ノートを見直し、テスト対策する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
6	4. 講話【医療、福祉】	次回講話に関連する業種や企業を調べる(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
7	5. 講話【宿泊業、飲食サービス業】	次回講話に関連する業種や企業を調べる(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
8	6. 講話【情報サービス業】	次回講話に関連する業種や企業を調べる(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
9	第2セットの小テスト	3回分の講話ノートを見直し、テスト対策する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
10	7. 講話【不動産業、物品賃貸業】	次回講話に関連する業種や企業を調べる(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
11	8. 講話【卸売業、小売業】	次回講話に関連する業種や企業を調べる(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
12	9. 講話【社会福祉・介護事業】	次回講話に関連する業種や企業を調べる(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
13	第3セットの小テスト	3回分の講話ノートを見直し、テスト対策する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
14	10. 講話【国家公務員】	次回講話に関連する業種や企業を調べる(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
15	インターンシップ報告/まとめ	次回講話に関連する業種や企業を調べる(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
16	中間テストの解説(フィードバック)	準備(45分)	復習(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	キャリア支援演習 (S) (科目ナンバリング: SOE081054)				
授業担当者(所属・職名)	学科キャリア支援委員		研究室所在	各研究室	
単位数	1 (単位認定責任者: 学科キャリア支援委員)		CAP制		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	企業経営者や若手社員が、オムニバス形式によりその経験を活かして、業界の特徴や具体的な事業内容、求める人材、仕事の動きなどについて講義する。		

概要

履修目標
企業経営者や若手社員の講話から、業種や日本経済での企業・団体の役割を理解する。また、業種ごとの現状と将来を展望し、「社会人になる」ための見識・視野を広げる。さらに企業側の求める人材を理解し、インターンシップや就活への準備を図る。社会人として必要なスキルを身につける。

授業の位置づけ
経営学科のDP「1(1)」、「2(1)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(1)」、「2(1)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(1)」、「2(1)」に対応する。 建築学科のDP「1(1)」、「2(1)」に対応する。

到達目標
自身で将来の進路を考えることができる基盤を構築する。インターンシップや就職に対する自身の価値観を身につける。

授業全体の内容と概要
様々な業種の企業経営者や若手社員から、業種ごとの現状や展望、企業理念、求める人材等の講話を聴く。最終授業では、インターンシップへの準備として、先輩によるインターンシップ報告を実施する。

授業の方法
講話はパワーポイントあるいは配付資料で実施する。そして自分の見識・視野を広げてくれた大事な内容をノートに書く。さらに疑問点や興味を持った内容について講話終了後の質問タイムで講師に質問する。授業の最後には授業の「ふりかえり」レポートを提出する。

アクティブラーニングの実施方法
<input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> フィールドワーク <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 模擬授業 <input type="checkbox"/> ロールプレイ <input type="checkbox"/> 調査学習 <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション <input type="checkbox"/> 実験・実習・実技 <input type="checkbox"/> 双方向授業 <input type="checkbox"/> その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項
なし

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
10回以上授業に出席すると共に、講師の講話を真摯に傾聴する姿勢を持つことが単位認定の必須事項です。												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>15%</td> <td>0%</td> <td>60%</td> <td>25%</td> <td>0%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	15%	0%	60%	25%	0%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	15%	0%	60%	25%	0%							

ルーブリック																													
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>講師の話を傾聴しレポートを作成する。</td> <td>レポートの内容から、講義の内容を完璧に理解している。更に意見も述べる事ができた。</td> <td>レポートの内容から、講義の内容を完璧に理解できた。</td> <td>レポートの内容から、講義の内容を理解できた。</td> <td>レポートの内容から、講義の内容を辛うじて理解できた。</td> <td>レポートの内容から、講義の内容を理解できなかった。</td> </tr> <tr> <td>確認テストの内容を理解し定期試験の成績が60点以上です。</td> <td>確認テストを受けて、定期試験の成績が100-90点獲得できた。</td> <td>確認テストを受けて、定期試験の成績が89-80点以上獲得できた。</td> <td>確認テストを受けて、定期試験の成績が79-70点以上獲得できた。</td> <td>確認テストを受けて、定期試験の成績が69-60点以上獲得できた。</td> <td>確認テストをある程度受け、定期試験の成績が59点以下しか獲得できなかった。</td> </tr> <tr> <td>教科書、資料の内容を理解するため事前学習を行い、授業内で質問や自分の意見をプレゼンテーションする。</td> <td>事前学習を行い、授業中に4回以上質問や意見を述べることができた。</td> <td>事前学習を行い、授業中に3回以上質問や意見を述べることができた。</td> <td>事前学習を行い、授業中に2回以上質問や意見を述べることができた。</td> <td>事前学習を行い、授業中に1回以上質問や意見を述べることができた。</td> <td>事前学習や質問、意見などができなかった。</td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	講師の話を傾聴しレポートを作成する。	レポートの内容から、講義の内容を完璧に理解している。更に意見も述べる事ができた。	レポートの内容から、講義の内容を完璧に理解できた。	レポートの内容から、講義の内容を理解できた。	レポートの内容から、講義の内容を辛うじて理解できた。	レポートの内容から、講義の内容を理解できなかった。	確認テストの内容を理解し定期試験の成績が60点以上です。	確認テストを受けて、定期試験の成績が100-90点獲得できた。	確認テストを受けて、定期試験の成績が89-80点以上獲得できた。	確認テストを受けて、定期試験の成績が79-70点以上獲得できた。	確認テストを受けて、定期試験の成績が69-60点以上獲得できた。	確認テストをある程度受け、定期試験の成績が59点以下しか獲得できなかった。	教科書、資料の内容を理解するため事前学習を行い、授業内で質問や自分の意見をプレゼンテーションする。	事前学習を行い、授業中に4回以上質問や意見を述べることができた。	事前学習を行い、授業中に3回以上質問や意見を述べることができた。	事前学習を行い、授業中に2回以上質問や意見を述べることができた。	事前学習を行い、授業中に1回以上質問や意見を述べることができた。	事前学習や質問、意見などができなかった。
評価項目		評価基準																											
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																								
講師の話を傾聴しレポートを作成する。	レポートの内容から、講義の内容を完璧に理解している。更に意見も述べる事ができた。	レポートの内容から、講義の内容を完璧に理解できた。	レポートの内容から、講義の内容を理解できた。	レポートの内容から、講義の内容を辛うじて理解できた。	レポートの内容から、講義の内容を理解できなかった。																								
確認テストの内容を理解し定期試験の成績が60点以上です。	確認テストを受けて、定期試験の成績が100-90点獲得できた。	確認テストを受けて、定期試験の成績が89-80点以上獲得できた。	確認テストを受けて、定期試験の成績が79-70点以上獲得できた。	確認テストを受けて、定期試験の成績が69-60点以上獲得できた。	確認テストをある程度受け、定期試験の成績が59点以下しか獲得できなかった。																								
教科書、資料の内容を理解するため事前学習を行い、授業内で質問や自分の意見をプレゼンテーションする。	事前学習を行い、授業中に4回以上質問や意見を述べることができた。	事前学習を行い、授業中に3回以上質問や意見を述べることができた。	事前学習を行い、授業中に2回以上質問や意見を述べることができた。	事前学習を行い、授業中に1回以上質問や意見を述べることができた。	事前学習や質問、意見などができなかった。																								

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>『特になし』</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1	『特になし』						2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1	『特になし』																																									
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>『なし』</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1	『なし』						2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1	『なし』																																									
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	キャリア支援演習 (S) (科目ナンバリング: SOE081054)				
授業担当者(所属・職名)	学科キャリア支援委員		研究室所在	各研究室	
単位数	1 (単位認定責任者: 学科キャリア支援委員)		CAP制		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	企業経営者や若手社員が、オムニバス形式によりその経験を活かして、業界の特徴や具体的な事業内容、求める人材、仕事の動きなどについて講義する。		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	オリエンテーション この科目の内容と目的の理解、シラバスの説明	シラバスをよく読み、中小企業について調べる(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
2	1. 講話【電気・ガス・水道業】	次回講話に関連する業種や企業を調べる(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
3	2. 講話【建設業】	次回講話に関連する業種や企業を調べる(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
4	3. 講話【広告業】	次回講話に関連する業種や企業を調べる(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
5	第1セットの小テスト	3回分の講話ノートを見直し、テスト対策する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
6	4. 講話【医療、福祉】	次回講話に関連する業種や企業を調べる(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
7	5. 講話【宿泊業、飲食サービス業】	次回講話に関連する業種や企業を調べる(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
8	6. 講話【情報サービス業】	次回講話に関連する業種や企業を調べる(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
9	第2セットの小テスト	3回分の講話ノートを見直し、テスト対策する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
10	7. 講話【不動産業、物品賃貸業】	次回講話に関連する業種や企業を調べる(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
11	8. 講話【卸売業、小売業】	次回講話に関連する業種や企業を調べる(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
12	9. 講話【社会福祉・介護事業】	次回講話に関連する業種や企業を調べる(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
13	第3セットの小テスト	3回分の講話ノートを見直し、テスト対策する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
14	10. 講話【国家公務員】	国家公務員について調べる(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
15	インターンシップ報告/まとめ	授業内容について予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
16	中間テストの解説(フィードバック)	授業内容について予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	
科目名称	キャリア支援演習 (D) (科目ナンバリング: SOE081054)				
授業担当者(所属・職名)		研究室所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目		左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

概要

履修目標																								
授業の位置づけ																								
到達目標																								
授業全体の内容と概要																								
授業の方法																								
アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	
履修上の注意事項																								
資格指定科目																								

評価方法・基準

評価前提条件					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期	授業形態	演習 必修・選択
科目名称	キャリア支援演習 (D) (科目ナンバリング: SOE081054)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目		対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	後期		授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	キャリア支援演習 (A) (科目ナンバリング: SOE081054)					
授業担当者(所属・職名)	学科キャリア支援委員		研究室所在	各研究室		
単位数	1 (単位認定責任者: 学科キャリア支援委員)		CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	企業経営者や若手社員が、オムニバス形式によりその経験を活かして、業界の特徴や具体的な事業内容、求める人材、仕事の動きなどについて講義する。			

概要

履修目標	企業経営者や若手社員の講話から、業種や日本経済での企業・団体の役割を理解する。また、業種ごとの現状と将来を展望し、「社会人になる」ための見識・視野を広げる。さらに企業側の求める人材を理解し、インターンシップや就活への準備を図る。社会人として必要なスキルを身に付ける。
------	---

授業の位置づけ	建築学科のDP「1(1)」、「2(1)」に対応する。
---------	----------------------------

到達目標	自身で将来の進路を考えることができる基盤を構築する。また、インターンシップや就職に対する自身の価値観を身につけることができる。
------	---

授業全体の内容と概要	様々な業種の企業経営者や若手社員から、業種ごとの現状や展望、企業理念、求める人材等の講話を聴く。最終授業では、インターンシップへの準備として、先輩によるインターンシップ報告を実施する。
------------	--

授業の方法	講話はパワーポイントあるいは配付資料で実施する。そして自分の見識・視野を広げてくれた大事な内容をノートに書く。さらに疑問点や興味を持った内容について講話終了後の質問タイムで講師に質問する。授業の最後には授業の「ふりかえり」レポートを提出する。「ふりかえり」では、よく書かれていたものや多く書かれていたものについては担当教員が次回の講義の初めに発表している。
-------	--

アクティブラーニングの実施方法						
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク	PBL
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習	反転授業
	ディスカッション		実験・実習・実技	○	双方向授業	その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項	外部の方の講話であることを自覚し、社会性を持って傾聴すると共に積極的に質問すること。小テスト(3回)のときには講義ノートの持ち込みを許可し、答案用紙と一緒に講義ノートも提出する。ノート内容も評価する。ノートは後日各学科担当教員にて返却するので、各自受け取りに行くこと。
----------	--

資格指定科目	
--------	--

評価方法・基準

評価前提条件					
11回以上授業に出席すると共に、講師の講話を真摯に傾聴する姿勢を持つことが単位認定の必須事項。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	15%	0%	60%	25%	0%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
講師の話を傾聴しレポートを作成する。	レポートの内容から、講義の内容を完璧に理解している。更に意見も述べる事ができた。	レポートの内容から、講義の内容を完璧に理解できた。	レポートの内容から、講義の内容を理解できた。	レポートの内容から、講義の内容を幸うして理解できた。	レポートの内容から、講義の内容を理解できなかった。
確認テストの内容を理解し、定期試験の成績が60点以上である。	確認テストを受けて、定期試験の成績が100-90点であった。	確認テストを受けて、定期試験の成績が89-80点以上であった。	確認テストを受けて、定期試験の成績が79-70点以上であった。	確認テストを受けて、定期試験の成績が69-60点以上であった。	確認テストをある程度受け、定期試験の成績が59点以下であった。
教科書、資料の内容を理解するため事前学習を行い、授業内で質問や自分の意見をプレゼンテーションする。	事前学習を行い、授業中に5回以上質問や意見を述べることができた。	事前学習を行い、授業中に4回以上質問や意見を述べることができた。	事前学習を行い、授業中に3回以上質問や意見を述べることができた。	事前学習を行い、授業中に2回以上質問や意見を述べることができた。	事前学習や質問、意見などが行っていない。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	『適時、資料配布。』					
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・1年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	必修
科目名称	キャリア支援演習 (A) (科目ナンバリング: SOE081054)				
授業担当者(所属・職名)	学科キャリア支援委員		研究室所在	各研究室	
単位数	1 (単位認定責任者: 学科キャリア支援委員)		CAP制		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	企業経営者や若手社員が、オムニバス形式によりその経験を活かして、業界の特徴や具体的な事業内容、求める人材、仕事の動きなどについて講義する。		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	オリエンテーション この科目の内容と目的の理解、シラバスの説明	シラバスをよく読み、中小企業について調べる(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
2	1. 講話	次回講話に関連する業種や企業を調べる(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
3	2. 講話	次回講話に関連する業種や企業を調べる(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
4	3. 講話	次回講話に関連する業種や企業を調べる(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
5	第1セットの小テスト	3回分の講話ノートを見直し、テスト対策する(45分)	テスト内容を復習し、ノートに整理する(45分)
6	4. 講話	次回講話に関連する業種や企業を調べる(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
7	5. 講話	次回講話に関連する業種や企業を調べる(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
8	6. 講話	次回講話に関連する業種や企業を調べる(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
9	第2セットの小テスト	3回分の講話ノートを見直し、テスト対策する(45分)	テスト内容を復習し、ノートに整理する(45分)
10	7. 講話	次回講話に関連する業種や企業を調べる(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
11	8. 講話	次回講話に関連する業種や企業を調べる(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
12	9. 講話	次回講話に関連する業種や企業を調べる(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
13	第3セットの小テスト	3回分の講話ノートを見直し、テスト対策する(45分)	テスト内容を復習し、ノートに整理する(45分)
14	10. 講話【国家公務員】	国家公務員について調べる(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
15	インターンシップ報告/まとめ	授業内容について予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
16	中間テストの解説(フィードバック)	授業内容について予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	演習 必修・選択
科目名称	キャリア支援演習 (科目ナンバリング: SOE082055)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

概要

履修目標												
授業の位置づけ												
到達目標												
授業全体の内容と概要												
授業の方法												
アクティブラーニングの実施方法												
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>グループワーク</td> <td>フィールドワーク</td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td>ロールプレイ</td> <td>調査学習</td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td>実験・実習・実技</td> <td>双方向授業</td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL	模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業	ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL									
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業									
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)									
履修上の注意事項												
資格指定科目												

評価方法・基準

評価前提条件					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	演習 必修・選択
科目名称	キャリア支援演習 (科目ナンバリング: SOE082055)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	後期集中	授業形態	演習	必修・選択	
科目名称	キャリア支援演習 (科目ナンバリング: SOE082055)				
授業担当者(所属・職名)		研究室所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目		左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

概要

履修目標																								
授業の位置づけ																								
到達目標																								
授業全体の内容と概要																								
授業の方法																								
アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	
履修上の注意事項																								
資格指定科目																								

評価方法・基準

評価前提条件					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	演習 必修・選択
科目名称	キャリア支援演習 (科目ナンバリング: SOE082055)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	後期集中	授業形態	演習	必修・選択	
科目名称	キャリア支援演習 (科目ナンバリング: SOE082055)				
授業担当者(所属・職名)		研究室所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目		左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

概要

履修目標																								
授業の位置づけ																								
到達目標																								
授業全体の内容と概要																								
授業の方法																								
アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	
履修上の注意事項																								
資格指定科目																								

評価方法・基準

評価前提条件					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	演習 必修・選択
科目名称	キャリア支援演習 (科目ナンバリング: SOE082055)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	後期集中	授業形態	演習	必修・選択	
科目名称	キャリア支援演習 (科目ナンバリング: SOE082055)				
授業担当者(所属・職名)		研究室所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標																								
授業の位置づけ																								
到達目標																								
授業全体の内容と概要																								
授業の方法																								
アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	
履修上の注意事項																								
資格指定科目																								

評価方法・基準

評価前提条件												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <td>定期試験</td> <td>レポート</td> <td>課題・作品</td> <td>中間テスト</td> <td>平常点</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他						
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							

ルーブリック																																															
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
評価項目		評価基準																																													
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																										

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	演習 必修・選択
科目名称	キャリア支援演習 (科目ナンバリング: SOE082055)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・3年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	キャリア支援演習 (M) (科目ナンバリング: SOE082056)				
授業担当者(所属・職名)	学科キャリア支援委員		研究室所在	未確定(経営学科・2020年度キャリア支援委員)	
単位数	1	(単位認定責任者: 未確定(経営学科・2020年度キャリア支援委員))	CAP制		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
就職活動準備を円滑に進めるためには自己分析と自分の長を表現する力が大切である。さらに業界や企業を知らなければ職業選択の幅を広げることができない。本授業で自己分析や企業研究の進め方、筆記試験対策など、就職活動に必要な準備を行う。社会人として必要なスキルを身につけよう。

授業の位置づけ
経営学科のDP「1(1)」、「1(2)」、「2(1)」に対応する。

到達目標
自分のやりたい仕事と希望する就職先を具体的に列挙でき、自己PRや履歴書・エントリーシート、面接試験、筆記試験等の対策を円滑に進めることができる。

授業全体の内容と概要
就職活動を始めると、具体的に何をどう準備すればいいのか、就職活動の流れを理解するとともに、計画的に準備するのに必要な自己分析や業界研究、企業研究、面接試験対策、筆記試験対策、履歴書・エントリーシートの書き方を学ぶ。

授業の方法

アクティブラーニングの実施方法
<input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> フィールドワーク <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 模擬授業 <input type="checkbox"/> ロールプレイ <input type="checkbox"/> 調査学習 <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション <input type="checkbox"/> 実験・実習・実技 <input type="checkbox"/> 双方向授業 <input type="checkbox"/> その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
単位認定に必要な最低出席回数は、11回以上。												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>100%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	100%	0%	0%	0%	0%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	100%	0%	0%	0%	0%							

ルーブリック																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>授業に参加し、講師の話を傾聴しレポートを作成する。</td> <td>15回以上授業に参加し、積極的に学習を行った。</td> <td>14回以上授業に参加し、積極的に学習を行った。</td> <td>13回以上授業に参加し、積極的に学習を行った。</td> <td>12~11回以上授業に参加し、積極的に学習を行った。</td> <td>授業の出席回数が10回以下であった。</td> </tr> <tr> <td>履歴書、自己PRなどを記載することができる。</td> <td>自己分析をもとに、履歴書が丁寧に記載され、将来のビジョンを述べる事ができた。</td> <td>自己分析をもとに、履歴書が丁寧に記載できた。</td> <td>自己分析をもとに、履歴書を記載できた。</td> <td>履歴書を記載できた。</td> <td>履歴書を記載できなかった。</td> </tr> <tr> <td>就職試験対策を行い、具体的な就職先を挙げることができる。</td> <td>SPIなどの学習を行い、具体的な就職希望先を挙げることができた。</td> <td>SPIなどの学習を行い、就職先の分野を挙げることができた。</td> <td>就職先の分野を挙げることができた。</td> <td>SPIなどの学習を行うことができた。</td> <td>SPIなど学習も行わず、就職先のイメージも出なかった。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	授業に参加し、講師の話を傾聴しレポートを作成する。	15回以上授業に参加し、積極的に学習を行った。	14回以上授業に参加し、積極的に学習を行った。	13回以上授業に参加し、積極的に学習を行った。	12~11回以上授業に参加し、積極的に学習を行った。	授業の出席回数が10回以下であった。	履歴書、自己PRなどを記載することができる。	自己分析をもとに、履歴書が丁寧に記載され、将来のビジョンを述べる事ができた。	自己分析をもとに、履歴書が丁寧に記載できた。	自己分析をもとに、履歴書を記載できた。	履歴書を記載できた。	履歴書を記載できなかった。	就職試験対策を行い、具体的な就職先を挙げることができる。	SPIなどの学習を行い、具体的な就職希望先を挙げることができた。	SPIなどの学習を行い、就職先の分野を挙げることができた。	就職先の分野を挙げることができた。	SPIなどの学習を行うことができた。	SPIなど学習も行わず、就職先のイメージも出なかった。												
評価項目		評価基準																																							
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
授業に参加し、講師の話を傾聴しレポートを作成する。	15回以上授業に参加し、積極的に学習を行った。	14回以上授業に参加し、積極的に学習を行った。	13回以上授業に参加し、積極的に学習を行った。	12~11回以上授業に参加し、積極的に学習を行った。	授業の出席回数が10回以下であった。																																				
履歴書、自己PRなどを記載することができる。	自己分析をもとに、履歴書が丁寧に記載され、将来のビジョンを述べる事ができた。	自己分析をもとに、履歴書が丁寧に記載できた。	自己分析をもとに、履歴書を記載できた。	履歴書を記載できた。	履歴書を記載できなかった。																																				
就職試験対策を行い、具体的な就職先を挙げることができる。	SPIなどの学習を行い、具体的な就職希望先を挙げることができた。	SPIなどの学習を行い、就職先の分野を挙げることができた。	就職先の分野を挙げることができた。	SPIなどの学習を行うことができた。	SPIなど学習も行わず、就職先のイメージも出なかった。																																				

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・3年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	キャリア支援演習 (M) (科目ナンバリング: SOE082056)				
授業担当者(所属・職名)	学科キャリア支援委員	研究室所在	未確定(経営学科・2020年度キャリア支援委員)		
単位数	1 (単位認定責任者: 未確定(経営学科・2020年度キャリア支援委員))	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	講義の概要 [センター]、シラバスの説明	シラバスを熟読し、学習内容全般を理解する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
2	*キャリアプランニング [センター] - 就職活動の流れと目標設定 -	今回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
3	*筆記試験対策講座1 [センター] - 公務員試験やSPI試験対策 -	今回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
4	*就活ナビの利用方法 [外部講師] - 公募型インターンシップの活用 -	今回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
5	インターンシップ・職場実習対策講座 [外部講師]	今回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
6	履歴書作成講座 [センター] - ジョブカードを活用した自己PRの書き方 -	今回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
7	*筆記試験対策講座2 [外部講師] - WEB模試受験 -	今回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
8	*自己分析講座 [センター] - 就活自己分析の必要性 -	今回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
9	*業界研究講座 [センター] - 業界による働き方の特徴 -	今回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
10	*企業研究講座 [センター] - ビジネスモデルと自己実現 -	今回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
11	*面接対策講座1 [外部講師] - 面接の種類と対策 -	今回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
12	*面接対策講座2 [センター] - 模擬面接・模擬グループディスカッション -	今回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
13	*履歴書・エントリーシート対策講座 [センター] - 志望動機の書き方 -	今回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
14	内定者報告会 [センター]	今回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
15	*合同企業説明会対策 [外部講師] 民間と公務員の就活対策 [センター]	今回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
16	まとめ/フィードバック(履歴書添削) [センター]	履歴書添削のための準備をする(45分)	添削結果を受けて履歴書作成する(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・3年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	キャリア支援演習 (S) (科目ナンバリング: SOE082056)				
授業担当者(所属・職名)	学科キャリア支援委員		研究室所在	各研究室	
単位数	1 (単位認定責任者: 学科キャリア支援委員)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	企業経営者や若手社員が、オムニバス形式によりその経験を活かして、業界の特徴や具体的な事業内容、求める人材、仕事の動きなどについて講義する。		

概要

履修目標
<p>学生が就職活動準備を円滑に進めるためには自己分析と自分の特長を表現する力が大切である。さらに業界や企業を知らなければ職業選択の幅を広げることができない。本授業で自己分析や企業研究の進め方、筆記試験対策など、就職活動に必要な準備を行う。</p>

授業の位置づけ
<p>経営学科のDP「1(1)」、「2(1)」に対応する。 社会福祉学科のDP「1(1)」、「2(1)」に対応する。 デザイン学科のDP「1(1)」、「2(1)」に対応する。 建築学科のDP「1(1)」、「2(1)」に対応する。</p>

到達目標
<p>自分のやりたい仕事と希望する就職先を具体的に列挙でき、自己PRや履歴書・エントリーシート、面接試験、筆記試験等の対策を円滑に進めることができる。</p>

授業全体の内容と概要
<p>就職活動を始めると、具体的に何をどう準備すればいいのか、就職活動の流れを理解するとともに、計画的に準備するのに必要な自己分析や業界研究、企業研究、面接試験対策、筆記試験対策、履歴書・エントリーシートの書き方を学ぶ。</p>

授業の方法
<p>授業はキャリア支援センター員または外部講師により行われる。パワーポイントおよび配付資料を活用し、講義だけでなく演習やグループワークも行う。また、パソコン教室でweb模範テストも実施する。授業の最後には授業の「ふりかえり」レポートを提出する。質問に関しては、その場で解説を行い、フィードバックを行う。</p>

アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>プレゼンテーション</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>グループワーク</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>フィールドワーク</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>模擬授業</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>ロールプレイ</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>調査学習</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>ディスカッション</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>実験・実習・実技</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>双方向授業</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/>	プレゼンテーション	<input type="checkbox"/>	グループワーク	<input type="checkbox"/>	フィールドワーク	<input type="checkbox"/>	PBL	<input type="checkbox"/>	模擬授業	<input type="checkbox"/>	ロールプレイ	<input type="checkbox"/>	調査学習	<input type="checkbox"/>	反転授業	<input type="checkbox"/>	ディスカッション	<input type="checkbox"/>	実験・実習・実技	<input type="checkbox"/>	双方向授業	<input type="checkbox"/>	その他(授業の方法参照)
<input type="checkbox"/>	プレゼンテーション	<input type="checkbox"/>	グループワーク	<input type="checkbox"/>	フィールドワーク	<input type="checkbox"/>	PBL																	
<input type="checkbox"/>	模擬授業	<input type="checkbox"/>	ロールプレイ	<input type="checkbox"/>	調査学習	<input type="checkbox"/>	反転授業																	
<input type="checkbox"/>	ディスカッション	<input type="checkbox"/>	実験・実習・実技	<input type="checkbox"/>	双方向授業	<input type="checkbox"/>	その他(授業の方法参照)																	

履修上の注意事項
<p>講師・日程及び内容が変更される場合がある。1号館1階のキャリア支援センター掲示板にて授業案内を随時確認すること。</p>

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件												
<p>10回以上授業に出席すると共に、講師の講話を真摯に傾聴する姿勢を持つことが単位認定の必須事項</p>												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <th>定期試験</th> <th>レポート</th> <th>課題・作品</th> <th>中間テスト</th> <th>平常点</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>70%</td> <td>0%</td> <td>0%</td> <td>20%</td> <td>10%</td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他	0%	70%	0%	0%	20%	10%
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							
0%	70%	0%	0%	20%	10%							

ルーブリック																																									
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> <tr> <td>レポート</td> <td>講義の内容を100%理解したレポートができた。</td> <td>講義の内容を90%理解したレポートができた。</td> <td>講義の内容を80%理解したレポートができた。</td> <td>講義の内容を70%理解したレポートができた。</td> <td>講義の内容を理解したレポートができなかった。</td> </tr> <tr> <td>平常点</td> <td>授業を理解しようとする積極的な態度を100%できた。</td> <td>授業を理解しようとする積極的な態度を90%できた。</td> <td>授業を理解しようとする積極的な態度を80%できた。</td> <td>授業を理解しようとする積極的な態度を70%できた。</td> <td>授業を理解しようとする積極的な態度ができなかった。</td> </tr> <tr> <td>講師の話に傾聴しレポートを作成する。</td> <td>レポートの内容から、講義の内容を完全に理解している。更に意見も述べる事ができた。</td> <td>レポートの内容から、講義の内容を完璧に理解できた。</td> <td>レポートの内容から、講義の内容を理解できた。</td> <td>レポートの内容から、講義の内容を幸うして理解できた。</td> <td>レポートの内容から、講義の内容を理解できていなかった。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない	レポート	講義の内容を100%理解したレポートができた。	講義の内容を90%理解したレポートができた。	講義の内容を80%理解したレポートができた。	講義の内容を70%理解したレポートができた。	講義の内容を理解したレポートができなかった。	平常点	授業を理解しようとする積極的な態度を100%できた。	授業を理解しようとする積極的な態度を90%できた。	授業を理解しようとする積極的な態度を80%できた。	授業を理解しようとする積極的な態度を70%できた。	授業を理解しようとする積極的な態度ができなかった。	講師の話に傾聴しレポートを作成する。	レポートの内容から、講義の内容を完全に理解している。更に意見も述べる事ができた。	レポートの内容から、講義の内容を完璧に理解できた。	レポートの内容から、講義の内容を理解できた。	レポートの内容から、講義の内容を幸うして理解できた。	レポートの内容から、講義の内容を理解できていなかった。												
評価項目		評価基準																																							
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
レポート	講義の内容を100%理解したレポートができた。	講義の内容を90%理解したレポートができた。	講義の内容を80%理解したレポートができた。	講義の内容を70%理解したレポートができた。	講義の内容を理解したレポートができなかった。																																				
平常点	授業を理解しようとする積極的な態度を100%できた。	授業を理解しようとする積極的な態度を90%できた。	授業を理解しようとする積極的な態度を80%できた。	授業を理解しようとする積極的な態度を70%できた。	授業を理解しようとする積極的な態度ができなかった。																																				
講師の話に傾聴しレポートを作成する。	レポートの内容から、講義の内容を完全に理解している。更に意見も述べる事ができた。	レポートの内容から、講義の内容を完璧に理解できた。	レポートの内容から、講義の内容を理解できた。	レポートの内容から、講義の内容を幸うして理解できた。	レポートの内容から、講義の内容を理解できていなかった。																																				

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td>『使用しない』</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1	『使用しない』						2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1	『使用しない』																																									
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td>『適時、資料配付。』</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1	『適時、資料配付。』						2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1	『適時、資料配付。』																																									
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・3年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	キャリア支援演習 (S) (科目ナンバリング: SOE082056)				
授業担当者(所属・職名)	学科キャリア支援委員		研究室所在	各研究室	
単位数	1 (単位認定責任者: 学科キャリア支援委員)		CAP制		
実務経験のある教員の授業科目	実務経験あり	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容	企業経営者や若手社員が、オムニバス形式によりその経験を活かして、業界の特徴や具体的な事業内容、求める人材、仕事の動きなどについて講義する。		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	講義の概要 - キャリア支援センターの活用法 -、シラバスの説明	シラバスを熟読し、学習内容全般を理解する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
2	インターンシップ説明会 利用方法・現場実習対策講座	今回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
3	キャリアプランニング - 就職活動の流れと目標設定 -	今回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
4	働く前に知っておく労働法の基礎知識	今回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
5	筆記試験対策 - WEB模擬受験 -	今回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
6	ビジネスマナー講座 - 企業訪問・面接等で必要なビジネスマナー講座 -	今回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
7	自己分析の方法 - 自己分析の必要性 -	今回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
8	企業を知る - 業界研究・企業研究・仕事研究 -	今回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
9	企業を知る - 業界研究・企業研究・仕事研究 -	今回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
10	社会で活躍する先輩を迎えて	今回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
11	筆記試験対策 - SPI試験対策 -	今回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
12	履歴書・エントリーシートの書き方講座 - 自己PR・志望動機のつくり方 -	今回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
13	面接対策講座 - 集団面接・グループディスカッション・個人面接対策 -	今回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
14	先輩たちの就職活動・内定のパネルディスカッション	今回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
15	合同企業説明会の回り方	今回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
16	リアル就活講座(講義評価アンケート)/フィードバック(履歴書の返却)	履歴書添削のための準備をする(45分)	添削結果を受けて履歴書作成する(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	
科目名称	キャリア支援演習 (D) (科目ナンバリング: SOE082056)				
授業担当者(所属・職名)		研究室所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目		左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

概要

履修目標																								
授業の位置づけ																								
到達目標																								
授業全体の内容と概要																								
授業の方法																								
アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	
履修上の注意事項																								
資格指定科目																								

評価方法・基準

評価前提条件					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期	授業形態	演習 必修・選択
科目名称	キャリア支援演習 (D) (科目ナンバリング: SOE082056)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・3年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	キャリア支援演習 (A) (科目ナンバリング: SOE082056)				
授業担当者(所属・職名)	学科キャリア支援委員	研究室所在	各研究室		
単位数	1 (単位認定責任者: 学科キャリア支援委員)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

<p>履修目標</p> <p>学生が就職活動準備を円滑に進めるためには自己分析と自分の特長を表現する力が大切である。さらに業界や企業を知らなければ職業選択の幅を広げることができない。本授業で自己分析や企業研究の進め方、筆記試験対策など、就職活動に必要な準備を行う。</p>

<p>授業の位置づけ</p> <p>建築学科のDP「1(1)」、「2(1)」に対応する。</p>

<p>到達目標</p> <p>自己分析を通しての自己成長及び自分のやりたい仕事と希望する就職先を具体的に列挙でき、履歴書・エントリーシート、面接試験、筆記試験等の対策を円滑に進めることができる。</p>
--

<p>授業全体の内容と概要</p> <p>就職活動を始めにあたり、具体的に何をどう準備すればよいか、就職活動の流れを理解するとともに、計画的に準備するのに必要な自己分析や業界研究、企業研究、面接試験対策、筆記試験対策、履歴書・エントリーシートの書き方を学ぶ。</p>
--

<p>授業の方法</p> <p>授業はキャリア支援センター員または外部講師により行われる。パワーポイントおよび配付資料を活用し、講義だけでなく演習やグループワークも行う。また、パソコン教室でweb模擬テストも実施する。授業の最後には授業の「ふりかえり」レポートを提出する。課題の解説等は講義にて行う。</p>

アクティブラーニングの実施方法						
	プレゼンテーション	○	グループワーク		フィールドワーク	PBL
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習	反転授業
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業	その他(授業の方法参照)

<p>履修上の注意事項</p> <p>講師・日程及び内容が変更される場合がある。1号館1階のキャリア支援センター掲示板にて授業案内を随時確認すること。</p>
--

<p>資格指定科目</p>

評価方法・基準

評価前提条件					
11回以上授業に出席すると共に、講師の講話を真摯に傾聴する姿勢を持つことが単位認定の必須事項。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	70%	0%	0%	20%	10%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
講師の話に傾聴しレポートを作成する。	レポートの内容から、講義の内容を完璧に理解でき、更に意見も述べることができた。	レポートの内容から、講義の内容を完璧に理解できた。	レポートの内容から、講義の内容を理解できた。	レポートの内容から、講義の内容を幸うして理解できた。	レポートの内容から、講義の内容を理解できなかった。
自己分析を通しての自己成長	自分の特徴や長所・短所を具体例を示しながら、端的に説明できるだけでなく、客観的な視点を持って分析することができた。	自分の特徴や長所・短所を具体例を示しながら、端的に説明することができた。	自分の特徴や長所・短所を具体例を示しながら説明することができた。	自分の特徴や長所・短所をおおよそ説明できた。	自分の特徴や長所・短所を説明できなかった。
就職先を考える	希望する就職先を具体的に4社以上列挙できた。	希望する就職先を具体的に3社列挙できた。	希望する就職先を具体的に2社列挙できた。	希望する就職先を具体的に1社列挙できた。	希望する就職先を具体的に列挙できなかった。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1	※適時、資料配付。					
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	全学科・3年		
開講時期	後期	授業形態	演習	必修・選択	選択
科目名称	キャリア支援演習 (A) (科目ナンバリング: SOE082056)				
授業担当者(所属・職名)	学科キャリア支援委員		研究室所在	各研究室	
単位数	1 (単位認定責任者: 学科キャリア支援委員)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	講義の概要 - キャリア支援センターの活用法 - 及びシラバスの説明	シラバスを熟読し、学習内容全般を理解する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
2	インターンシップ説明会 利用方法・現場実習対策講座	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
3	キャリアプランニング - 就職活動の流れと目標設定 -	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
4	働く前に知っておく労働法の基礎知識	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
5	筆記試験対策 - WEB模擬受験 -	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
6	ビジネスマナー講座 - 企業訪問・面接等で必要なビジネスマナー講座 -	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
7	自己分析の方法 - 自己分析の必要性 -	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
8	企業を知る - 業界研究・企業研究・仕事研究 -	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
9	企業を知る - 業界研究・企業研究・仕事研究 -	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
10	社会で活躍する先輩を迎えて	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
11	筆記試験対策 - S P I 試験対策 -	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
12	履歴書・エントリーシートの書き方講座 - 自己 P R ・志望動機のつくり方 -	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
13	面接対策講座 - 集団面接・グループディスカッション・個人面談対策 -	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
14	先輩たちの就職活動・内定のパネルディスカッション	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
15	合同企業説明会の回り方	次回の授業内容を予習する(45分)	授業内容を復習し、ノートに整理する(45分)
16	リアル就活講座(講義評価アンケート及び全体のフィードバック)	履歴書添削のための準備をする(45分)	添削結果を受けて履歴書作成する(45分)

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	後期集中	授業形態	演習	必修・選択	
科目名称	キャリア支援演習 (M) (科目ナンバリング: SOE082057)				
授業担当者(所属・職名)		研究室所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目		左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

概要

履修目標																								
授業の位置づけ																								
到達目標																								
授業全体の内容と概要																								
授業の方法																								
アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	
履修上の注意事項																								
資格指定科目																								

評価方法・基準

評価前提条件					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	演習 必修・選択
科目名称	キャリア支援演習 (M) (科目ナンバリング: SOE082057)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	後期集中	授業形態	演習	必修・選択	
科目名称	キャリア支援演習 (S) (科目ナンバリング: SOE082057)				
授業担当者(所属・職名)		研究室所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目		左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

概要

履修目標																								
授業の位置づけ																								
到達目標																								
授業全体の内容と概要																								
授業の方法																								
アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	
履修上の注意事項																								
資格指定科目																								

評価方法・基準

評価前提条件					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	演習 必修・選択
科目名称	キャリア支援演習 (S) (科目ナンバリング: SOE082057)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	後期集中	授業形態	演習	必修・選択	
科目名称	キャリア支援演習 (D) (科目ナンバリング: SOE082057)				
授業担当者(所属・職名)		研究室所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目		左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

概要

履修目標																								
授業の位置づけ																								
到達目標																								
授業全体の内容と概要																								
授業の方法																								
アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	
履修上の注意事項																								
資格指定科目																								

評価方法・基準

評価前提条件					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	演習 必修・選択
科目名称	キャリア支援演習 (D) (科目ナンバリング: SOE082057)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	後期集中	授業形態	演習	必修・選択	
科目名称	キャリア支援演習 (A) (科目ナンバリング: SOE082057)				
授業担当者(所属・職名)		研究室所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目		左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

概要

履修目標																								
授業の位置づけ																								
到達目標																								
授業全体の内容と概要																								
授業の方法																								
アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	
履修上の注意事項																								
資格指定科目																								

評価方法・基準

評価前提条件					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	演習 必修・選択
科目名称	キャリア支援演習 (A) (科目ナンバリング: SOE082057)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	後期集中	授業形態	実習	必修・選択	
科目名称	インターンシップ ^o (M) (科目ナンバリング: SOE082058)				
授業担当者(所属・職名)		研究室所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目		左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

概要

履修目標																								
授業の位置づけ																								
到達目標																								
授業全体の内容と概要																								
授業の方法																								
アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	
履修上の注意事項																								
資格指定科目																								

評価方法・基準

評価前提条件					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	インターンシップ (M) (科目ナンバリング: SOE082058)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	社会福祉学科 1年		
開講時期	後期集中	授業形態	実習	必修・選択	選択
科目名称	インターンシップ ^o (S) (科目ナンバリング: SOE082058)				
授業担当者(所属・職名)	小早川 俊哉(社会福祉学部・教授)	研究室所在	1号館 2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 小早川 俊哉)	CAP制	x		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
このプロジェクト自体が地域の課題解決型であり、その中で学生のProject Based Learning(PBL:課題解決型)を意図している。特に、福祉現場において実践経験を積むことから、技術の習得・スキルアップを図り、地域貢献を図る臨床・実戦型のインターンシップである。

授業の位置づけ
社会福祉学科のDP「1(3)と(4)と(5)と(6)と(7)」、「2(1)」に対応する。

到達目標
実践現場において、利用者並びに職員と良好なコミュニケーションを担保しつつ、チームの一員として自らの課題を設定し、協働しながらも課題解決を目指して行動できるようになる。 専修に当該インターンシップを行うことで、従業期間3年(1,095日)以上かつ従業日数540日以上 + 実務者研修の受講で、介護福祉士資格取得のチャンスを得ることができる。

授業全体の内容と概要
有償型インターンシップである。連携協定を結ぶ社会福祉法人と雇用契約を結ぶ。対象利用者は、高齢者あるいは障がい者(児)である。現場においては施設職員の指導を受ける。職員と連携する本学教員による面談・情報交換により、課題設定・進捗状況評価・事後評価をサイクルで行い、資質向上・地域貢献を図る。

授業の方法
日程等は、施設と学生との相談で決定する。大学の授業が優先であり、夕方以降及び休日に実践を行う。現場においては、施設職員の指導の下に置かれる。施設側との情報交換、面談によりPBLの実施を図る。施設側が、1月初旬に勤務時間・勤務態度・勤務状況を考慮して評価を行い、その評価に基づき学内に成績評価・単位認定を行う。

アクティブラーニングの実施方法						
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク	○ PBL
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習	反転授業
	ディスカッション	○	実験・実習・実技		双方向授業	○ その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項
対人援助実践である以上、利用者及び職員の方々に謙虚に接することが重要視される(ソーシャルインクルージョン、ノーマライゼーション、アドボカシー、etc.の理解)。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件					
期間内に最低45時間以上の従業時間が必須である。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	0%	0%	0%	80%	20%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
就業中評価(施設内)	利用者の人権を常に尊重する態度で仕事に取り組んだ。	与えられた仕事以外の仕事に確認を取りながら取り組んだ。	利用者及び職員と十分なコミュニケーションをとりながら仕事に取り組んだ。	与えられた仕事に積極的に取り組むことができた。	与えられた仕事に積極的に取り組むことができなかった。
就業先評価(法人)	自身の課題を自覚して業務に取り組むことができた。	業務中はチームの一員であること意識して行動することができた。	指示を素直に受け止め業務に取り組むことができた。	業務に対して意欲的に取り組むことができた。	業務に対して意欲的に取り組むことができなかった。
学内評価(大学)	その気付きを自身の学び・知識として身に付けることができた。	自身の課題から気付きを得ることができた。	自身の課題設定を行って業務に臨むことができた。	連絡・報告を定期的に行った。	連絡・報告を怠った。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	社会福祉学科 1年		
開講時期	後期集中	授業形態	実習	必修・選択	選択
科目名称	インターシップ (S) (科目ナンバリング: SOE082058)				
授業担当者(所属・職名)	小早川 俊哉(社会福祉学部・教授)	研究室所在	1号館 2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 小早川 俊哉)	CAP制	x		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	年間を通して現場実践と学内PBL	まずは法人と雇用契約を結ぶ	教員への報告及び面談
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	後期集中	授業形態	実習	必修・選択	
科目名称	インターンシップ (D) (科目ナンバリング: SOE082058)				
授業担当者(所属・職名)		研究室所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標																								
授業の位置づけ																								
到達目標																								
授業全体の内容と概要																								
授業の方法																								
アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	
履修上の注意事項																								
資格指定科目																								

評価方法・基準

評価前提条件					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	インターシップ (D) (科目ナンバリング: SOE082058)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	後期集中	授業形態	実習	必修・選択	
科目名称	インターンシップ (A) (科目ナンバリング: SOE082058)				
授業担当者(所属・職名)		研究室所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標																								
授業の位置づけ																								
到達目標																								
授業全体の内容と概要																								
授業の方法																								
アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	
履修上の注意事項																								
資格指定科目																								

評価方法・基準

評価前提条件					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	インターンシップ (A) (科目ナンバリング: SOE082058)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	後期集中	授業形態	実習	必修・選択	
科目名称	インターンシップ ^o (M) (科目ナンバリング: SOE082059)				
授業担当者(所属・職名)		研究室所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目		左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

概要

履修目標																								
授業の位置づけ																								
到達目標																								
授業全体の内容と概要																								
授業の方法																								
アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	
履修上の注意事項																								
資格指定科目																								

評価方法・基準

評価前提条件												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <td>定期試験</td> <td>レポート</td> <td>課題・作品</td> <td>中間テスト</td> <td>平常点</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他						
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							

ルーブリック																																															
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
評価項目		評価基準																																													
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																										

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	インターンシップ (M) (科目ナンバリング: SOE082059)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	社会福祉学科 2年		
開講時期	後期集中	授業形態	実習	必修・選択	選択
科目名称	インターンシップ ^o (S) (科目ナンバリング: SOE082059)				
授業担当者(所属・職名)	小早川 俊哉(社会福祉学部・教授)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 小早川 俊哉)	CAP制	x		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
このプロジェクト自体が地域の課題解決型であり、その中で学生のProject Based Learning(PBL:課題解決型)を意図している。特に、福祉現場において実践経験を積むことから、技術の習得・スキルアップを図り、地域貢献を図る臨床・実戦型のインターンシップである。

授業の位置づけ
社会福祉学科のDP「1(3)と(4)と(5)と(6)と(7)」、「2(1)」に対応する。

到達目標
実践現場において、利用者並びに職員と良好なコミュニケーションを担保しつつ、チームの一員として自らの課題を設定し、協働しながらも課題解決を目指して行動できるようになる。 最終に当該インターンシップを行うことで、従業期間3年(1,095日)以上かつ従業日数540日以上 + 実務者研修の受講で、介護福祉士資格取得のチャンスを得ることが可能となる。

授業全体の内容と概要
有償型インターンシップである。連携協定を結ぶ社会福祉法人と雇用契約を結ぶ。対象利用者は、高齢者あるいは障がい者(児)である。現場においては施設職員の指導を受ける。職員と連携する本学教員による面談・情報交換により、課題設定・進捗状況評価・事後評価をサイクルで行い、資質向上・地域貢献を図る。

授業の方法
日程等は、施設と学生との相談で決定する。大学の授業が優先であり、夕方以降及び休日に実践を行う。現場においては、施設職員の指導の下に置かれる。施設側との情報交換、面談によりPBLの実施を図る。施設側が、1月初旬に勤務時間・勤務態度・勤務状況を考慮して評価を行い、その評価に基づき学内に成績評価・単位認定を行う。

アクティブラーニングの実施方法						
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク	○ PBL
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習	反転授業
	ディスカッション	○	実験・実習・実技		双方向授業	○ その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項
対人援助実践である以上、利用者及び職員の方々に謙虚に接することが重要視される(ソーシャルインクルージョン、ノーマライゼーション、アドボカシー、etc.の理解)。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件					
期間内に最低45時間以上の従業時間が必須である。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	0%	0%	0%	80%	20%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
就業中評価(施設内)	利用者の人権を常に尊重する態度で仕事に取り組んだ。	与えられた仕事以外の仕事に確認を取りながら取り組んだ。	利用者及び職員と十分なコミュニケーションをとりながら仕事に取り組んだ。	与えられた仕事に積極的に取り組むことができた。	与えられた仕事に積極的に取り組むことができなかった。
就業先評価(法人)	自身の課題を自覚して業務に取り組むことができた。	業務中はチームの一員であること意識して行動することができた。	指示を素直に受け止め業務に取り組むことができた。	業務に対して意欲的に取り組むことができた。	業務に対して意欲的に取り組むことができなかった。
学内評価(大学)	その気付きを自身の学び・知識として身に付けることができた。	自身の課題から気付きを得ることができた。	自身の課題設定を行って業務に臨むことができた。	連絡・報告を定期的に行った。	連絡・報告を怠った。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	社会福祉学科 2年		
開講時期	後期集中	授業形態	実習	必修・選択	選択
科目名称	インターシップ (S) (科目ナンバリング: SOE082059)				
授業担当者(所属・職名)	小早川 俊哉(社会福祉学部・教授)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 小早川 俊哉)	CAP制	x		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	年間を通して現場実践と学内PBL	まずは法人と雇用契約を結ぶ	教員への報告及び面談
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	後期集中	授業形態	実習	必修・選択	
科目名称	インターンシップ (D) (科目ナンバリング: SOE082059)				
授業担当者(所属・職名)		研究室所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標																								
授業の位置づけ																								
到達目標																								
授業全体の内容と概要																								
授業の方法																								
アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	
履修上の注意事項																								
資格指定科目																								

評価方法・基準

評価前提条件					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	インターシップ (D) (科目ナンバリング: SOE082059)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	後期集中	授業形態	実習	必修・選択	
科目名称	インターンシップ (A) (科目ナンバリング: SOE082059)				
授業担当者(所属・職名)		研究室所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目		左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

概要

履修目標																								
授業の位置づけ																								
到達目標																								
授業全体の内容と概要																								
授業の方法																								
アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	
履修上の注意事項																								
資格指定科目																								

評価方法・基準

評価前提条件					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	インターンシップ (A) (科目ナンバリング: SOE082059)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	後期集中	授業形態	実習	必修・選択	
科目名称	インターンシップ ^o (M) (科目ナンバリング: SOE082060)				
授業担当者(所属・職名)		研究室所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目		左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

概要

履修目標																								
授業の位置づけ																								
到達目標																								
授業全体の内容と概要																								
授業の方法																								
アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	
履修上の注意事項																								
資格指定科目																								

評価方法・基準

評価前提条件					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	インターンシップ (M) (科目ナンバリング: SOE082060)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	社会福祉学科 3年		
開講時期	後期集中	授業形態	実習	必修・選択	選択
科目名称	インターンシップ ^o (S) (科目ナンバリング: SOE082060)				
授業担当者(所属・職名)	小早川 俊哉(社会福祉学部・教授)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 小早川 俊哉)	CAP制	x		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
このプロジェクト自体が地域の課題解決型であり、その中で学生のProject Based Learning(PBL:課題解決型)を意図している。特に、福祉現場において実践経験を積むことから、技術の習得・スキルアップを図り、地域貢献を図る臨床・実戦型のインターンシップである。

授業の位置づけ
社会福祉学科のDP「1(3)と(4)と(5)と(6)と(7)」、「2(1)」に対応する。

到達目標
実践現場において、利用者並びに職員と良好なコミュニケーションを担保しつつ、チームの一員として自らの課題を設定し、協働しながらも課題解決を目指して行動できるようになる。 専修に当該インターンシップを行うことで、従業期間3年(1,095日)以上かつ従業日数540日以上 + 実務者研修の受講で、介護福祉士資格取得のチャンスを得ることも可能となる。

授業全体の内容と概要
有償型インターンシップである。連携協定を結ぶ社会福祉法人と雇用契約を結ぶ。対象利用者は、高齢者あるいは障がい者(児)である。現場においては施設職員の指導を受ける。職員と連携する本学教員による面談・情報交換により、課題設定・進捗状況評価・事後評価をサイクルで行い、資質向上・地域貢献を図る。

授業の方法
日程等は、施設と学生との相談で決定する。大学の授業が優先であり、夕方以降及び休日に実践を行う。現場においては、施設職員の指導の下に置かれる。施設側との情報交換、面談によりPBLの実施を図る。施設側が、1月初旬に勤務時間・勤務態度・勤務状況を考慮して評価を行い、その評価に基づき学内にて成績評価・単位認定を行う。

アクティブラーニングの実施方法						
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク	○ PBL
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習	反転授業
	ディスカッション	○	実験・実習・実技		双方向授業	○ その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項
対人援助実践である以上、利用者及び職員の方々に謙虚に接することが重要視される(ソーシャルインクルージョン、ノーマライゼーション、アドボカシー、etc.の理解)。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件					
期間内に最低45時間以上の従業時間が必須である。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	0%	0%	0%	80%	20%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
就業中評価(施設内)	利用者の人権を常に尊重する態度で仕事に取り組んだ。	与えられた仕事以外の仕事に確認を取りながら取り組んだ。	利用者及び職員と十分なコミュニケーションをとりながら仕事に取り組んだ。	与えられた仕事に積極的に取り組むことができた。	与えられた仕事に積極的に取り組むことができなかった。
就業先評価(法人)	自身の課題を自覚して業務に取り組むことができた。	業務中はチームの一員であること意識して行動することができた。	指示を素直に受け止め業務に取り組むことができた。	業務に対して意欲的に取り組むことができた。	業務に対して意欲的に取り組むことができなかった。
学内評価(大学)	その気付きを自身の学び・知識として身に付けることができた。	自身の課題から気付きを得ることができた。	自身の課題設定を行って業務に臨むことができた。	連絡・報告を定期的に行った。	連絡・報告を怠った。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	社会福祉学科 3年		
開講時期	後期集中	授業形態	実習	必修・選択	選択
科目名称	インターシップ (S) (科目ナンバリング: SOE082060)				
授業担当者(所属・職名)	小早川 俊哉(社会福祉学部・教授)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 小早川 俊哉)	CAP制	x		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	年間を通して現場実践と学内PBL	まずは法人と雇用契約を結ぶ	教員への報告及び面談
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	後期集中	授業形態	実習	必修・選択	
科目名称	インターンシップ (D) (科目ナンバリング: SOE082060)				
授業担当者(所属・職名)		研究室所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目		左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

概要

履修目標																								
授業の位置づけ																								
到達目標																								
授業全体の内容と概要																								
授業の方法																								
アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	
履修上の注意事項																								
資格指定科目																								

評価方法・基準

評価前提条件					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	インターシップ (D) (科目ナンバリング: SOE082060)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	後期集中	授業形態	実習	必修・選択	
科目名称	インターンシップ (A) (科目ナンバリング: SOE082060)				
授業担当者(所属・職名)		研究室所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標																								
授業の位置づけ																								
到達目標																								
授業全体の内容と概要																								
授業の方法																								
アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	
履修上の注意事項																								
資格指定科目																								

評価方法・基準

評価前提条件					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	インターンシップ (A) (科目ナンバリング: SOE082060)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	後期集中	授業形態	実習	必修・選択	
科目名称	インターンシップ ^o (M) (科目ナンバリング: SOE082061)				
授業担当者(所属・職名)		研究室所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目		左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

概要

履修目標																								
授業の位置づけ																								
到達目標																								
授業全体の内容と概要																								
授業の方法																								
アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	
履修上の注意事項																								
資格指定科目																								

評価方法・基準

評価前提条件												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <td>定期試験</td> <td>レポート</td> <td>課題・作品</td> <td>中間テスト</td> <td>平常点</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他						
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							

ルーブリック																																															
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
評価項目		評価基準																																													
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																										

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	インターンシップ (M) (科目ナンバリング: SOE082061)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	社会福祉学科 4年		
開講時期	後期集中	授業形態	実習	必修・選択	選択
科目名称	インターンシップ ^o (S) (科目ナンバリング: SOE082061)				
授業担当者(所属・職名)	小早川 俊哉(社会福祉学部・教授)	研究室所在	1号館 2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 小早川 俊哉)	CAP制	x		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標
このプロジェクト自体が地域の課題解決型であり、その中で学生のProject Based Learning(PBL:課題解決型)を意図している。特に、福祉現場において実践経験を積むことから、技術の習得・スキルアップを図り、地域貢献を図る臨床・実戦型のインターンシップである。

授業の位置づけ
社会福祉学科のDP「1(3)と(4)と(5)と(6)と(7)」、「2(1)」に対応する。

到達目標
実践現場において、利用者並びに職員と良好なコミュニケーションを担保しつつ、チームの一員として自らの課題を設定し、協働しながらも課題解決を目指して行動できるようになる。卒業後に介護職を継続することで、従業期間3年(1,095日)以上かつ従業日数540日以上 + 実務者研修の受講を満たし、介護福祉士資格取得のチャンスを得ることができる。

授業全体の内容と概要
有償型インターンシップである。連携協定を結ぶ社会福祉法人と雇用契約を結ぶ。対象利用者は、高齢者あるいは障がい者(児)である。現場においては施設職員の指導を受ける。職員と連携する本学教員による面談・情報交換により、課題設定・進捗状況評価・事後評価をサイクルで行い、資質向上・地域貢献を図る。

授業の方法
日程等は、施設と学生との相談で決定する。大学の授業が優先であり、夕方以降及び休日に実践を行う。現場においては、施設職員の指導の下に置かれる。施設側との情報交換、面談によりPBLの実施を図る。施設側が、1月初旬に勤務時間・勤務態度・勤務状況を考慮して評価を行い、その評価に基づき学内に成績評価・単位認定を行う。

アクティブラーニングの実施方法						
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク	○ PBL
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習	反転授業
	ディスカッション	○	実験・実習・実技		双方向授業	○ その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項
対人援助実践である以上、利用者及び職員の方々に謙虚に接することが重要視される(ソーシャルインクルージョン、ノーマライゼーション、アドボカシー、etc.の理解)。

資格指定科目

評価方法・基準

評価前提条件					
期間内に最低45時間以上の従業時間が必須である。					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他
0%	0%	0%	0%	80%	20%

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない
就業中評価(施設内)	利用者の人権を常に尊重する態度で仕事に取り組んだ。	与えられた仕事以外の仕事に確認を取りながら取り組んだ。	利用者及び職員と十分なコミュニケーションをとりながら仕事に取り組んだ。	与えられた仕事に積極的に取り組むことができた。	与えられた仕事に積極的に取り組むことができなかった。
就業先評価(法人)	自身の課題を自覚して業務に取り組むことができた。	業務中はチームの一員であること意識して行動することができた。	指示を素直に受け止め業務に取り組むことができた。	業務に対して意欲的に取り組むことができた。	業務に対して意欲的に取り組むことができなかった。
学内評価(大学)	その気付きを自身の学び・知識として身に付けることができた。	自身の課題から気付きを得ることができた。	自身の課題設定を行って業務に臨むことができた。	連絡・報告を定期的に行った。	連絡・報告を怠った。

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分	共通教育科目	対象学科・配当	社会福祉学科 4年		
開講時期	後期集中	授業形態	実習	必修・選択	選択
科目名称	インターシップ (S) (科目ナンバリング: SOE082061)				
授業担当者(所属・職名)	小早川 俊哉(社会福祉学部・教授)	研究室所在	1号館2階		
単位数	1 (単位認定責任者: 小早川 俊哉)	CAP制	x		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1	年間を通して現場実践と学内PBL	まずは法人と雇用契約を結ぶ	教員への報告及び面談
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	後期集中	授業形態	実習	必修・選択	
科目名称	インターンシップ ^o (D) (科目ナンバリング: SOE082061)				
授業担当者(所属・職名)		研究室所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標																								
授業の位置づけ																								
到達目標																								
授業全体の内容と概要																								
授業の方法																								
アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	
履修上の注意事項																								
資格指定科目																								

評価方法・基準

評価前提条件					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	インターンシップ (D) (科目ナンバリング: SOE082061)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	後期集中	授業形態	実習	必修・選択	
科目名称	インターンシップ (A) (科目ナンバリング: SOE082061)				
授業担当者(所属・職名)		研究室所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標																								
授業の位置づけ																								
到達目標																								
授業全体の内容と概要																								
授業の方法																								
アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	
履修上の注意事項																								
資格指定科目																								

評価方法・基準

評価前提条件					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	インターンシップ (A) (科目ナンバリング: SOE082061)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	後期集中	授業形態	実習	必修・選択	
科目名称	アクティブプログラム (M) (科目ナンバリング: IRE082062)				
授業担当者(所属・職名)		研究室所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目		左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

概要

履修目標																								
授業の位置づけ																								
到達目標																								
授業全体の内容と概要																								
授業の方法																								
アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	
履修上の注意事項																								
資格指定科目																								

評価方法・基準

評価前提条件												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <td>定期試験</td> <td>レポート</td> <td>課題・作品</td> <td>中間テスト</td> <td>平常点</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他						
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							

ルーブリック																																															
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
評価項目		評価基準																																													
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																										

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	アクティブプログラム (M) (科目ナンバリング: IRE082062)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	アクティブプログラム (S) (科目ナンバリング: IRE082062)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

概要

履修目標												
授業の位置づけ												
到達目標												
授業全体の内容と概要												
授業の方法												
アクティブラーニングの実施方法												
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>グループワーク</td> <td>フィールドワーク</td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td>ロールプレイ</td> <td>調査学習</td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td>実験・実習・実技</td> <td>双方向授業</td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL	模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業	ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL									
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業									
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)									
履修上の注意事項												
資格指定科目												

評価方法・基準

評価前提条件												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <td>定期試験</td> <td>レポート</td> <td>課題・作品</td> <td>中間テスト</td> <td>平常点</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他						
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							

ルーブリック																																															
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
評価項目		評価基準																																													
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																										

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	アティフ プログラム (S) (科目ナンバリング: IRE082062)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	後期集中	授業形態	実習	必修・選択	
科目名称	アクティブプログラム (D) (科目ナンバリング: IRE082062)				
授業担当者(所属・職名)		研究室所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目		左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

概要

履修目標																								
授業の位置づけ																								
到達目標																								
授業全体の内容と概要																								
授業の方法																								
アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	
履修上の注意事項																								
資格指定科目																								

評価方法・基準

評価前提条件					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	アキティブプログラム (D) (科目ナンバリング: IRE082062)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	後期集中	授業形態	実習	必修・選択	
科目名称	アクティブプログラム (A) (科目ナンバリング: IRE082062)				
授業担当者(所属・職名)		研究室所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目		左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

概要

履修目標																								
授業の位置づけ																								
到達目標																								
授業全体の内容と概要																								
授業の方法																								
アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	
履修上の注意事項																								
資格指定科目																								

評価方法・基準

評価前提条件					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	アクティブプログラム (A) (科目ナンバリング: IRE082062)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	後期集中	授業形態	実習	必修・選択	
科目名称	アクティブプログラム (M) (科目ナンバリング: IRE082063)				
授業担当者(所属・職名)		研究室所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目		左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

概要

履修目標																								
授業の位置づけ																								
到達目標																								
授業全体の内容と概要																								
授業の方法																								
アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	
履修上の注意事項																								
資格指定科目																								

評価方法・基準

評価前提条件												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <td>定期試験</td> <td>レポート</td> <td>課題・作品</td> <td>中間テスト</td> <td>平常点</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他						
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							

ルーブリック																																															
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
評価項目		評価基準																																													
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																										

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	アクティブプログラム (M) (科目ナンバリング: IRE082063)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	アクティブプログラム (S) (科目ナンバリング: IRE082063)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

概要

履修目標												
授業の位置づけ												
到達目標												
授業全体の内容と概要												
授業の方法												
アクティブラーニングの実施方法												
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>グループワーク</td> <td>フィールドワーク</td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td>ロールプレイ</td> <td>調査学習</td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td>実験・実習・実技</td> <td>双方向授業</td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL	模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業	ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL									
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業									
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)									
履修上の注意事項												
資格指定科目												

評価方法・基準

評価前提条件												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <td>定期試験</td> <td>レポート</td> <td>課題・作品</td> <td>中間テスト</td> <td>平常点</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他						
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							

ルーブリック																																															
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
評価項目		評価基準																																													
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																										

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	アティフプログラム (S) (科目ナンバリング: IRE082063)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	後期集中	授業形態	実習	必修・選択	
科目名称	アクティブプログラム (D) (科目ナンバリング: IRE082063)				
授業担当者(所属・職名)		研究室所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目		左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

概要

履修目標																								
授業の位置づけ																								
到達目標																								
授業全体の内容と概要																								
授業の方法																								
アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	
履修上の注意事項																								
資格指定科目																								

評価方法・基準

評価前提条件					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	アティフプログラム (D) (科目ナンバリング: IRE082063)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	後期集中	授業形態	実習	必修・選択	
科目名称	アクティブプログラム (A) (科目ナンバリング: IRE082063)				
授業担当者(所属・職名)		研究室所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目		左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

概要

履修目標																								
授業の位置づけ																								
到達目標																								
授業全体の内容と概要																								
授業の方法																								
アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	
履修上の注意事項																								
資格指定科目																								

評価方法・基準

評価前提条件												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <td>定期試験</td> <td>レポート</td> <td>課題・作品</td> <td>中間テスト</td> <td>平常点</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他						
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							

ルーブリック																																															
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
評価項目		評価基準																																													
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																										

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	アクティブプログラム (A) (科目ナンバリング: IRE082063)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	後期集中	授業形態	実習	必修・選択	
科目名称	アクティブプログラム (M) (科目ナンバリング: IRE082064)				
授業担当者(所属・職名)		研究室所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目		左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

概要

履修目標																								
授業の位置づけ																								
到達目標																								
授業全体の内容と概要																								
授業の方法																								
アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	
履修上の注意事項																								
資格指定科目																								

評価方法・基準

評価前提条件					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	アクティブプログラム (M) (科目ナンバリング: IRE082064)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	後期集中	授業形態	実習	必修・選択	
科目名称	アクティブプログラム (S) (科目ナンバリング: IRE082064)				
授業担当者(所属・職名)		研究室所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目		左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

概要

履修目標																								
授業の位置づけ																								
到達目標																								
授業全体の内容と概要																								
授業の方法																								
アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	
履修上の注意事項																								
資格指定科目																								

評価方法・基準

評価前提条件					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	アティフプログラム (S) (科目ナンバリング: IRE082064)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	アクティブプログラム (D) (科目ナンバリング: IRE082064)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

概要

履修目標												
授業の位置づけ												
到達目標												
授業全体の内容と概要												
授業の方法												
アクティブラーニングの実施方法												
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>グループワーク</td> <td>フィールドワーク</td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td>ロールプレイ</td> <td>調査学習</td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td>実験・実習・実技</td> <td>双方向授業</td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL	模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業	ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL									
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業									
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)									
履修上の注意事項												
資格指定科目												

評価方法・基準

評価前提条件												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <td>定期試験</td> <td>レポート</td> <td>課題・作品</td> <td>中間テスト</td> <td>平常点</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他						
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							

ルーブリック																																															
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
評価項目		評価基準																																													
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																										

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	アティフプログラム (D) (科目ナンバリング: IRE082064)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	アクティブプログラム (A) (科目ナンバリング: IRE082064)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

概要

履修目標												
授業の位置づけ												
到達目標												
授業全体の内容と概要												
授業の方法												
アクティブラーニングの実施方法												
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>グループワーク</td> <td>フィールドワーク</td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td>ロールプレイ</td> <td>調査学習</td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td>実験・実習・実技</td> <td>双方向授業</td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL	模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業	ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL									
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業									
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)									
履修上の注意事項												
資格指定科目												

評価方法・基準

評価前提条件												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <td>定期試験</td> <td>レポート</td> <td>課題・作品</td> <td>中間テスト</td> <td>平常点</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他						
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							

ルーブリック																																															
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
評価項目		評価基準																																													
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																										

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	アクティブプログラム (A) (科目ナンバリング: IRE082064)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	後期集中	授業形態	実習	必修・選択	
科目名称	アクティブプログラム (M) (科目ナンバリング: IRE082065)				
授業担当者(所属・職名)		研究室所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目		左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

概要

履修目標																								
授業の位置づけ																								
到達目標																								
授業全体の内容と概要																								
授業の方法																								
アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	
履修上の注意事項																								
資格指定科目																								

評価方法・基準

評価前提条件												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <td>定期試験</td> <td>レポート</td> <td>課題・作品</td> <td>中間テスト</td> <td>平常点</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他						
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							

ルーブリック																																															
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
評価項目		評価基準																																													
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																										

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	アクティブプログラム (M) (科目ナンバリング: IRE082065)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	後期集中	授業形態	実習	必修・選択	
科目名称	アクティブプログラム (S) (科目ナンバリング: IRE082065)				
授業担当者(所属・職名)			研究室所在		
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標																								
授業の位置づけ																								
到達目標																								
授業全体の内容と概要																								
授業の方法																								
アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	
履修上の注意事項																								
資格指定科目																								

評価方法・基準

評価前提条件					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	アキティブプログラム (S) (科目ナンバリング: IRE082065)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	後期集中	授業形態	実習	必修・選択	
科目名称	アクティブプログラム (D) (科目ナンバリング: IRE082065)				
授業担当者(所属・職名)		研究室所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目		左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

概要

履修目標

--

授業の位置づけ

--

到達目標

--

授業全体の内容と概要

--

授業の方法

--

アクティブラーニングの実施方法

	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

--

資格指定科目

--

評価方法・基準

評価前提条件

--

評価方法

定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック

評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

教科書・参考文献・資料等

教科書

No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等

No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	アキティブプログラム (D) (科目ナンバリング: IRE082065)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	アクティブプログラム (A) (科目ナンバリング: IRE082065)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

概要

履修目標												
授業の位置づけ												
到達目標												
授業全体の内容と概要												
授業の方法												
アクティブラーニングの実施方法												
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>グループワーク</td> <td>フィールドワーク</td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td>ロールプレイ</td> <td>調査学習</td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td>実験・実習・実技</td> <td>双方向授業</td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL	模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業	ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL									
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業									
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)									
履修上の注意事項												
資格指定科目												

評価方法・基準

評価前提条件												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <td>定期試験</td> <td>レポート</td> <td>課題・作品</td> <td>中間テスト</td> <td>平常点</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他						
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							

ルーブリック																																															
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
評価項目		評価基準																																													
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																										

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	アキティブプログラム (A) (科目ナンバリング: IRE082065)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	後期集中	授業形態	実習	必修・選択	
科目名称	アクティブプログラム (M) (科目ナンバリング: IRE082066)				
授業担当者(所属・職名)		研究室所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目		左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

概要

履修目標																								
授業の位置づけ																								
到達目標																								
授業全体の内容と概要																								
授業の方法																								
アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	
履修上の注意事項																								
資格指定科目																								

評価方法・基準

評価前提条件												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <td>定期試験</td> <td>レポート</td> <td>課題・作品</td> <td>中間テスト</td> <td>平常点</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他						
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							

ルーブリック																																															
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
評価項目		評価基準																																													
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																										

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	アクティブプログラム (M) (科目ナンバリング: IRE082066)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	後期集中	授業形態	実習	必修・選択	
科目名称	アクティブプログラム (S) (科目ナンバリング: IRE082066)				
授業担当者(所属・職名)		研究室所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目		左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

概要

履修目標																								
授業の位置づけ																								
到達目標																								
授業全体の内容と概要																								
授業の方法																								
アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	
履修上の注意事項																								
資格指定科目																								

評価方法・基準

評価前提条件					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	アケティブプログラム (S) (科目ナンバリング: IRE082066)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	アクティブプログラム (D) (科目ナンバリング: IRE082066)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

概要

履修目標												
授業の位置づけ												
到達目標												
授業全体の内容と概要												
授業の方法												
アクティブラーニングの実施方法												
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>グループワーク</td> <td>フィールドワーク</td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td>ロールプレイ</td> <td>調査学習</td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td>実験・実習・実技</td> <td>双方向授業</td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL	模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業	ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL									
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業									
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)									
履修上の注意事項												
資格指定科目												

評価方法・基準

評価前提条件												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <td>定期試験</td> <td>レポート</td> <td>課題・作品</td> <td>中間テスト</td> <td>平常点</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他						
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							

ルーブリック																																															
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
評価項目		評価基準																																													
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																										

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	アティフプログラム (D) (科目ナンバリング: IRE082066)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	4 Q	授業形態	実習	必修・選択	
科目名称	アクティブプログラム (A) (科目ナンバリング: IRE082066)				
授業担当者(所属・職名)			研究室所在		
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目		左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

概要

履修目標							
授業の位置づけ							
到達目標							
授業全体の内容と概要							
授業の方法							
アクティブラーニングの実施方法							
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		P B L
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
履修上の注意事項							
資格指定科目							

評価方法・基準

評価前提条件					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	I S B N	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	4 Q	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	アティフプログラム (A) (科目ナンバリング: IRE082066)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	アクティブプログラム (M) (科目ナンバリング: IRE082067)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

概要

履修目標												
授業の位置づけ												
到達目標												
授業全体の内容と概要												
授業の方法												
アクティブラーニングの実施方法												
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>グループワーク</td> <td>フィールドワーク</td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td>ロールプレイ</td> <td>調査学習</td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td>実験・実習・実技</td> <td>双方向授業</td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL	模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業	ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL									
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業									
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)									
履修上の注意事項												
資格指定科目												

評価方法・基準

評価前提条件												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <td>定期試験</td> <td>レポート</td> <td>課題・作品</td> <td>中間テスト</td> <td>平常点</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他						
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							

ルーブリック																																															
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
評価項目		評価基準																																													
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																										

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	アクティブプログラム (M) (科目ナンバリング: IRE082067)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	後期集中	授業形態	実習	必修・選択	
科目名称	アクティブプログラム (S) (科目ナンバリング: IRE082067)				
授業担当者(所属・職名)		研究室所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目		左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

概要

履修目標

--

授業の位置づけ

--

到達目標

--

授業全体の内容と概要

--

授業の方法

--

アクティブラーニングの実施方法

	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

--

資格指定科目

--

評価方法・基準

評価前提条件

--

評価方法

定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック

評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

教科書・参考文献・資料等

教科書

No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等

No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	アティフプログラム (S) (科目ナンバリング: IRE082067)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	後期集中	授業形態	実習	必修・選択	
科目名称	アクティブプログラム (D) (科目ナンバリング: IRE082067)				
授業担当者(所属・職名)		研究室所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目		左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

概要

履修目標																								
授業の位置づけ																								
到達目標																								
授業全体の内容と概要																								
授業の方法																								
アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	
履修上の注意事項																								
資格指定科目																								

評価方法・基準

評価前提条件												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <td>定期試験</td> <td>レポート</td> <td>課題・作品</td> <td>中間テスト</td> <td>平常点</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他						
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							

ルーブリック																																															
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
評価項目		評価基準																																													
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																										

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	アティフプログラム (D) (科目ナンバリング: IRE082067)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	後期集中	授業形態	実習	必修・選択	
科目名称	アクティブプログラム (A) (科目ナンバリング: IRE082067)				
授業担当者(所属・職名)		研究室所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目		左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

概要

履修目標

--

授業の位置づけ

--

到達目標

--

授業全体の内容と概要

--

授業の方法

--

アクティブラーニングの実施方法

	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

--

資格指定科目

--

評価方法・基準

評価前提条件

--

評価方法

定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック

評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

教科書・参考文献・資料等

教科書

No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等

No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	アクティブプログラム (A) (科目ナンバリング: IRE082067)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	後期集中	授業形態	実習	必修・選択	
科目名称	アクティブプログラム (M) (科目ナンバリング: IRE082068)				
授業担当者(所属・職名)		研究室所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目		左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

概要

履修目標																								
授業の位置づけ																								
到達目標																								
授業全体の内容と概要																								
授業の方法																								
アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	
履修上の注意事項																								
資格指定科目																								

評価方法・基準

評価前提条件					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	アクティブプログラム (M) (科目ナンバリング: IRE082068)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	後期集中	授業形態	実習	必修・選択	
科目名称	アクティブプログラム (S) (科目ナンバリング: IRE082068)				
授業担当者(所属・職名)		研究室所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目		左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

概要

履修目標																								
授業の位置づけ																								
到達目標																								
授業全体の内容と概要																								
授業の方法																								
アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	
履修上の注意事項																								
資格指定科目																								

評価方法・基準

評価前提条件					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	アケティブプログラム (S) (科目ナンバリング: IRE082068)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	後期集中	授業形態	実習	必修・選択	
科目名称	アクティブプログラム (D) (科目ナンバリング: IRE082068)				
授業担当者(所属・職名)		研究室所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目		左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

概要

履修目標																								
授業の位置づけ																								
到達目標																								
授業全体の内容と概要																								
授業の方法																								
アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	
履修上の注意事項																								
資格指定科目																								

評価方法・基準

評価前提条件					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	アキティブプログラム (D) (科目ナンバリング: IRE082068)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	後期集中	授業形態	実習	必修・選択	
科目名称	アクティブプログラム (A) (科目ナンバリング: IRE082068)				
授業担当者(所属・職名)		研究室所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目		左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

概要

履修目標

--

授業の位置づけ

--

到達目標

--

授業全体の内容と概要

--

授業の方法

--

アクティブラーニングの実施方法

	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)

履修上の注意事項

--

資格指定科目

--

評価方法・基準

評価前提条件

--

評価方法

定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック

評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

教科書・参考文献・資料等

教科書

No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等

No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	アクティブプログラム (A) (科目ナンバリング: IRE082068)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	アクティブプログラム (M) (科目ナンバリング: IRE082069)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

概要

履修目標												
授業の位置づけ												
到達目標												
授業全体の内容と概要												
授業の方法												
アクティブラーニングの実施方法												
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>グループワーク</td> <td>フィールドワーク</td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td>ロールプレイ</td> <td>調査学習</td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td>実験・実習・実技</td> <td>双方向授業</td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL	模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業	ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL									
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業									
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)									
履修上の注意事項												
資格指定科目												

評価方法・基準

評価前提条件												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <td>定期試験</td> <td>レポート</td> <td>課題・作品</td> <td>中間テスト</td> <td>平常点</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他						
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							

ルーブリック																																															
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
評価項目		評価基準																																													
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																										

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	アクティブプログラム (M) (科目ナンバリング: IRE082069)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	後期集中	授業形態	実習	必修・選択	
科目名称	アクティブプログラム (S) (科目ナンバリング: IRE082069)				
授業担当者(所属・職名)		研究室所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目		左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

概要

履修目標																								
授業の位置づけ																								
到達目標																								
授業全体の内容と概要																								
授業の方法																								
アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	
履修上の注意事項																								
資格指定科目																								

評価方法・基準

評価前提条件												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <td>定期試験</td> <td>レポート</td> <td>課題・作品</td> <td>中間テスト</td> <td>平常点</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他						
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							

ルーブリック																																															
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
評価項目		評価基準																																													
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																										

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	アティフプログラム (S) (科目ナンバリング: IRE082069)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	後期集中	授業形態	実習	必修・選択	
科目名称	アクティブプログラム (D) (科目ナンバリング: IRE082069)				
授業担当者(所属・職名)			研究室所在		
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

概要

履修目標																								
授業の位置づけ																								
到達目標																								
授業全体の内容と概要																								
授業の方法																								
アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	
履修上の注意事項																								
資格指定科目																								

評価方法・基準

評価前提条件					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	アティフプログラム (D) (科目ナンバリング: IRE082069)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	後期集中	授業形態	実習	必修・選択	
科目名称	アクティブプログラム (A) (科目ナンバリング: IRE082069)				
授業担当者(所属・職名)		研究室所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目		左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

概要

履修目標																								
授業の位置づけ																								
到達目標																								
授業全体の内容と概要																								
授業の方法																								
アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	
履修上の注意事項																								
資格指定科目																								

評価方法・基準

評価前提条件					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	アクティブプログラム (A) (科目ナンバリング: IRE082069)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	後期集中	授業形態	実習	必修・選択	
科目名称	地域共生プログラム (M) (科目ナンバリング: ARS092070)				
授業担当者(所属・職名)		研究室所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目		左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

概要

履修目標																								
授業の位置づけ																								
到達目標																								
授業全体の内容と概要																								
授業の方法																								
アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	
履修上の注意事項																								
資格指定科目																								

評価方法・基準

評価前提条件					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	地域共生プログラム (M) (科目ナンバリング: ARS092070)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	後期集中	授業形態	実習	必修・選択	
科目名称	地域共生プログラム (S) (科目ナンバリング: ARS092070)				
授業担当者(所属・職名)		研究室所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目		左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

概要

履修目標																								
授業の位置づけ																								
到達目標																								
授業全体の内容と概要																								
授業の方法																								
アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	
履修上の注意事項																								
資格指定科目																								

評価方法・基準

評価前提条件					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	地域共生プログラム (S) (科目ナンバリング: ARS092070)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	後期集中	授業形態	実習	必修・選択	
科目名称	地域共生プログラム (D) (科目ナンバリング: ARS092070)				
授業担当者(所属・職名)		研究室所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目		左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

概要

履修目標																								
授業の位置づけ																								
到達目標																								
授業全体の内容と概要																								
授業の方法																								
アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	
履修上の注意事項																								
資格指定科目																								

評価方法・基準

評価前提条件												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <td>定期試験</td> <td>レポート</td> <td>課題・作品</td> <td>中間テスト</td> <td>平常点</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他						
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							

ルーブリック																																															
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
評価項目		評価基準																																													
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																										

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	地域共生プログラム (D) (科目ナンバリング: ARS092070)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	後期集中	授業形態	実習	必修・選択	
科目名称	地域共生プログラム (A) (科目ナンバリング: ARS092070)				
授業担当者(所属・職名)		研究室所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目		左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

概要

履修目標																								
授業の位置づけ																								
到達目標																								
授業全体の内容と概要																								
授業の方法																								
アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	
履修上の注意事項																								
資格指定科目																								

評価方法・基準

評価前提条件					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	地域共生プログラム (A) (科目ナンバリング: ARS092070)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	後期集中	授業形態	実習	必修・選択	
科目名称	地域共生プログラム (M) (科目ナンバリング: ARS092071)				
授業担当者(所属・職名)		研究室所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目		左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

概要

履修目標																								
授業の位置づけ																								
到達目標																								
授業全体の内容と概要																								
授業の方法																								
アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	
履修上の注意事項																								
資格指定科目																								

評価方法・基準

評価前提条件					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	後期集中	授業形態	実習	必修・選択	
科目名称	地域共生プログラム (M) (科目ナンバリング: ARS092071)				
授業担当者(所属・職名)			研究室所在		
単位数	1	(単位認定責任者:)	CAP制		
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容				

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	後期集中	授業形態	実習	必修・選択	
科目名称	地域共生プログラム (D) (科目ナンバリング: ARS092071)				
授業担当者(所属・職名)		研究室所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目		左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

概要

履修目標																								
授業の位置づけ																								
到達目標																								
授業全体の内容と概要																								
授業の方法																								
アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	
履修上の注意事項																								
資格指定科目																								

評価方法・基準

評価前提条件					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	地域共生プログラム (D) (科目ナンバリング: ARS092071)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	後期集中	授業形態	実習	必修・選択	
科目名称	地域共生プログラム (A) (科目ナンバリング: ARS092071)				
授業担当者(所属・職名)		研究室所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目		左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

概要

履修目標																								
授業の位置づけ																								
到達目標																								
授業全体の内容と概要																								
授業の方法																								
アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	
履修上の注意事項																								
資格指定科目																								

評価方法・基準

評価前提条件					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	地域共生プログラム (A) (科目ナンバリング: ARS092071)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	後期集中	授業形態	実習	必修・選択	
科目名称	地域共生プログラム (M) (科目ナンバリング: ARS092072)				
授業担当者(所属・職名)		研究室所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目		左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

概要

履修目標																								
授業の位置づけ																								
到達目標																								
授業全体の内容と概要																								
授業の方法																								
アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	
履修上の注意事項																								
資格指定科目																								

評価方法・基準

評価前提条件					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	地域共生プログラム (M) (科目ナンバリング: ARS092072)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	後期集中	授業形態	実習	必修・選択	
科目名称	地域共生プログラム (S) (科目ナンバリング: ARS092072)				
授業担当者(所属・職名)		研究室所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目		左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

概要

履修目標																								
授業の位置づけ																								
到達目標																								
授業全体の内容と概要																								
授業の方法																								
アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	
履修上の注意事項																								
資格指定科目																								

評価方法・基準

評価前提条件					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	地域共生プログラム (S) (科目ナンバリング: ARS092072)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	後期集中	授業形態	実習	必修・選択	
科目名称	地域共生プログラム (D) (科目ナンバリング: ARS092072)				
授業担当者(所属・職名)		研究室所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目		左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

概要

履修目標																								
授業の位置づけ																								
到達目標																								
授業全体の内容と概要																								
授業の方法																								
アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	
履修上の注意事項																								
資格指定科目																								

評価方法・基準

評価前提条件					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	地域共生プログラム (D) (科目ナンバリング: ARS092072)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	3 Q	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	地域共生プログラム (A) (科目ナンバリング: ARS092072)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

概要

履修目標												
授業の位置づけ												
到達目標												
授業全体の内容と概要												
授業の方法												
アクティブラーニングの実施方法												
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>グループワーク</td> <td>フィールドワーク</td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td>ロールプレイ</td> <td>調査学習</td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td>実験・実習・実技</td> <td>双方向授業</td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL	模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業	ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL									
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業									
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)									
履修上の注意事項												
資格指定科目												

評価方法・基準

評価前提条件												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <td>定期試験</td> <td>レポート</td> <td>課題・作品</td> <td>中間テスト</td> <td>平常点</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他						
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							

ルーブリック																																															
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
評価項目		評価基準																																													
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																										

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	3 Q	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	地域共生プログラム (A) (科目ナンバリング: ARS092072)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	後期集中	授業形態	実習	必修・選択	
科目名称	地域共生プログラム (M) (科目ナンバリング: ARS092073)				
授業担当者(所属・職名)		研究室所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目		左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

概要

履修目標																								
授業の位置づけ																								
到達目標																								
授業全体の内容と概要																								
授業の方法																								
アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	
履修上の注意事項																								
資格指定科目																								

評価方法・基準

評価前提条件					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	地域共生プログラム (M) (科目ナンバリング: ARS092073)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	地域共生プログラム (S) (科目ナンバリング: ARS092073)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

概要

履修目標												
授業の位置づけ												
到達目標												
授業全体の内容と概要												
授業の方法												
アクティブラーニングの実施方法												
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>グループワーク</td> <td>フィールドワーク</td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td>ロールプレイ</td> <td>調査学習</td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td>実験・実習・実技</td> <td>双方向授業</td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL	模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業	ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL									
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業									
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)									
履修上の注意事項												
資格指定科目												

評価方法・基準

評価前提条件												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <td>定期試験</td> <td>レポート</td> <td>課題・作品</td> <td>中間テスト</td> <td>平常点</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他						
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							

ルーブリック																																															
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
評価項目		評価基準																																													
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																										

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	地域共生プログラム (S) (科目ナンバリング: ARS092073)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	地域共生プログラム (D) (科目ナンバリング: ARS092073)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

概要

履修目標												
授業の位置づけ												
到達目標												
授業全体の内容と概要												
授業の方法												
アクティブラーニングの実施方法												
<table border="1"> <tr> <td>プレゼンテーション</td> <td>グループワーク</td> <td>フィールドワーク</td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td>模擬授業</td> <td>ロールプレイ</td> <td>調査学習</td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td>ディスカッション</td> <td>実験・実習・実技</td> <td>双方向授業</td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>	プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL	模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業	ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)
プレゼンテーション	グループワーク	フィールドワーク	PBL									
模擬授業	ロールプレイ	調査学習	反転授業									
ディスカッション	実験・実習・実技	双方向授業	その他(授業の方法参照)									
履修上の注意事項												
資格指定科目												

評価方法・基準

評価前提条件												
評価方法												
<table border="1"> <tr> <td>定期試験</td> <td>レポート</td> <td>課題・作品</td> <td>中間テスト</td> <td>平常点</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他						
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他							

ルーブリック																																															
<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">評価項目</th> <th colspan="5">評価基準</th> </tr> <tr> <th>履修項目を超えたレベルを達成している</th> <th>履修項目をほぼ達成している</th> <th>履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している</th> <th>到達目標を達成している</th> <th>到達目標を達成していない</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	評価項目	評価基準					履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																				
評価項目		評価基準																																													
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない																																										

教科書・参考文献・資料等

教科書																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

参考文献・資料等																																										
<table border="1"> <tr> <th>No</th> <th>書籍名</th> <th>著者</th> <th>出版社</th> <th>出版年</th> <th>ISBN</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考	1							2							3							4							5						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考																																				
1																																										
2																																										
3																																										
4																																										
5																																										

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	地域共生プログラム (D) (科目ナンバリング: ARS092073)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当			
開講時期	後期集中	授業形態	実習	必修・選択	
科目名称	地域共生プログラム (A) (科目ナンバリング: ARS092073)				
授業担当者(所属・職名)		研究室所在			
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制			
実務経験のある教員の授業科目		左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容			

概要

履修目標																								
授業の位置づけ																								
到達目標																								
授業全体の内容と概要																								
授業の方法																								
アクティブラーニングの実施方法																								
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>プレゼンテーション</td> <td></td> <td>グループワーク</td> <td></td> <td>フィールドワーク</td> <td></td> <td>PBL</td> </tr> <tr> <td></td> <td>模擬授業</td> <td></td> <td>ロールプレイ</td> <td></td> <td>調査学習</td> <td></td> <td>反転授業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ディスカッション</td> <td></td> <td>実験・実習・実技</td> <td></td> <td>双方向授業</td> <td></td> <td>その他(授業の方法参照)</td> </tr> </table>		プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL		模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業		ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)
	プレゼンテーション		グループワーク		フィールドワーク		PBL																	
	模擬授業		ロールプレイ		調査学習		反転授業																	
	ディスカッション		実験・実習・実技		双方向授業		その他(授業の方法参照)																	
履修上の注意事項																								
資格指定科目																								

評価方法・基準

評価前提条件					
評価方法					
定期試験	レポート	課題・作品	中間テスト	平常点	その他

ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	履修項目を超えたレベルを達成している	履修項目をほぼ達成している	履修目標と到達目標の間にあるレベルに達成している	到達目標を達成している	到達目標を達成していない

教科書・参考文献・資料等

教科書						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

参考文献・資料等						
No	書籍名	著者	出版社	出版年	ISBN	備考
1						
2						
3						
4						
5						

基本情報

科目分類区分		対象学科・配当	
開講時期	後期集中	授業形態	実習 必修・選択
科目名称	地域共生プログラム (A) (科目ナンバリング: ARS092073)		
授業担当者(所属・職名)		研究室所在	
単位数	1 (単位認定責任者:)	CAP制	
実務経験のある教員の授業科目	左記に該当する場合の実務経験と授業関連内容		

授業計画

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			

授業計画			
回	各授業回における学習内容及び授業外学修として準備学習・事後学習の内容・時間		
	学習内容	準備学習(所要時間)	事後学習(所要時間)
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			